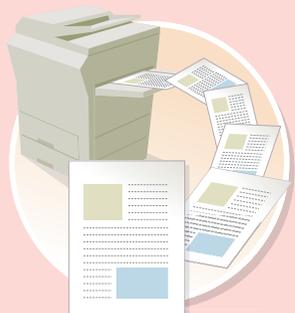
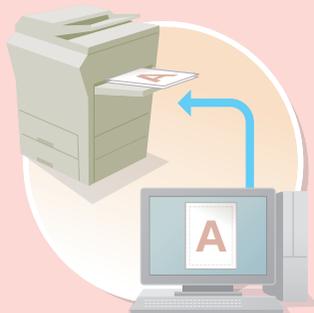




やりたいことから探す



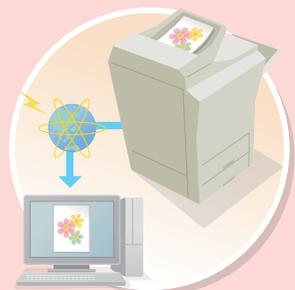
コピーする



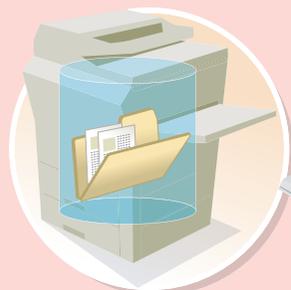
プリントする



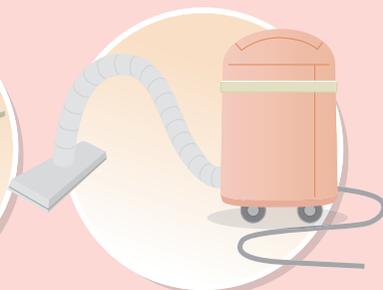
ファクスする



スキャンする/
インターネットFaxする



データを保存して
再利用する



本機のお手入れ



もくじから探す



➡ お使いになる前に



➡ コピー



➡ プリンター



➡ ファクス



➡ スキャナー / インターネットFax



➡ ドキュメントファイリング



➡ システム設定

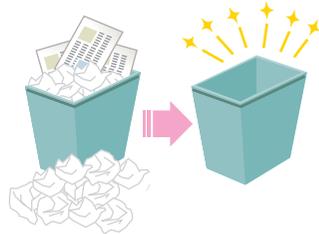


➡ 困ったときは

コピーする



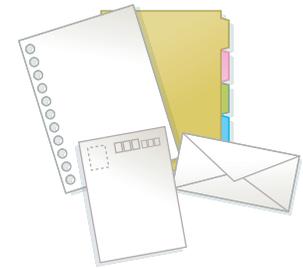
節約したい



ミスコピーを減ら
したい



こんな原稿をコ
ピーしたい



こんな用紙にコ
ピーしたい



日付やページ数を
合成したい



出力紙を冊子のよ
うに仕上げたい

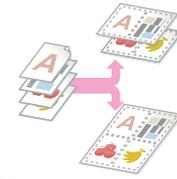


ほかにもこんな便利な機能があります

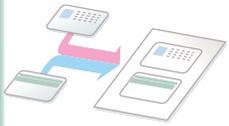
節約したい



用紙の両面にコピーする



用紙の片面に複数ページをコピーする



カードの表裏を1枚にまとめてコピーする

ミスコピーを減らしたい



1部だけコピーして仕上がり
の状態を確認する



コピーの前に、読み込んだ枚
数を確認する

こんな原稿をコピーしたい



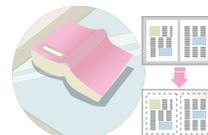
カラーページとモノクロページが混ざった原稿



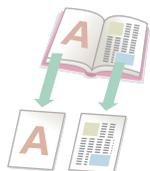
1度にセットできない大量の原稿



異なるサイズが混在している原稿



厚みのある原稿（周辺に影が写る）

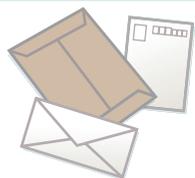


本などの見開き原稿（1ページずつ）

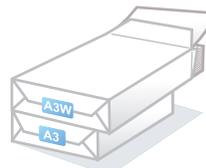


本やパンフレット（実際の見開きどおりに）

こんな用紙にコピーしたい



郵便はがきや封筒など特殊な
用紙



A3ワイド紙



タブ紙



OHPフィルム

日付やページ数を合成したい



日付を付ける



スタンプを付ける



ページを付ける

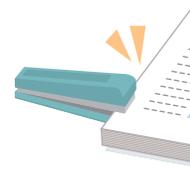


文字を付ける

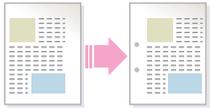
出力紙を冊子のように仕上げたい



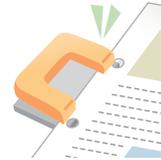
中とじの冊子を作る



用紙をステープルでとじる



パンチする余白を作る



用紙にパンチ穴をあける



ほかにもこんな便利な機能があります

特殊な用途に使える機能

- 写真などを並べてコピーする
- 大判のポスターを作る
- 鏡に映したようなコピーをする
- 用紙の中央にコピーする
- 白と黒の部分を反転させてコピーする

知っておくと便利な機能

- 複合機を2台同時に使う
- 優先的にコピーする
- ジョブの予約状況を確認する
- コピーに表紙／合い紙を挿入する
- 薄い紙の原稿をコピーする
- カラーの仕上がりを調整する

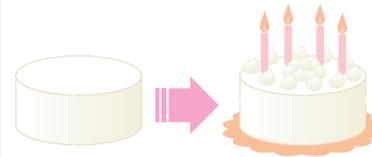
プリントする



節約したい



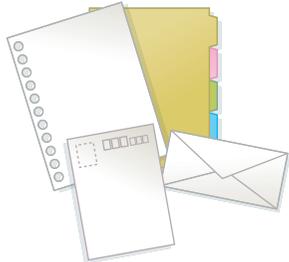
コンピュータを使わず
プリントしたい



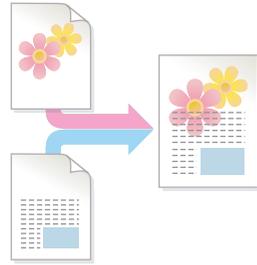
見栄えよくプリン
トしたい



出力紙を冊子のよ
うに仕上げたい



こんな用紙にプリ
ントしたい

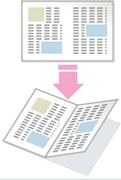


文字や画像を合成
したい

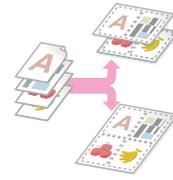


ほかにもこんな便利な機能があります

節約したい



用紙の両面にプリントする



用紙の片面に複数ページをプリントする

コンピュータを使わずプリントしたい



FTPサーバのデータを直接プリントする



USBメモリーのデータを直接プリントする

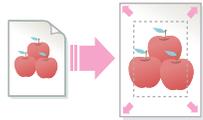


共有フォルダーのデータを直接プリントする

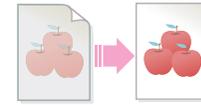


本機に保存しておいたデータをプリントする

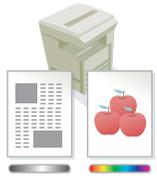
見栄えよくプリントしたい



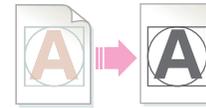
用紙のサイズに合わせてプリントする



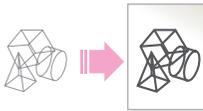
明るさやコントラストを調整する



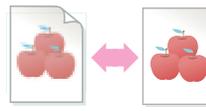
データに応じたカラー設定でプリントする



薄くて見づらい文字や線をはっきりさせる



CADデータなどの線幅を調整してプリントする

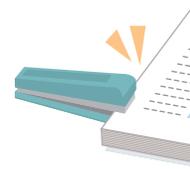


プリントモードを選んでプリントする

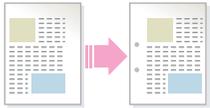
出力紙を冊子ののように仕上げたい



中とじの冊子を作る



用紙をステープルでとじる



パンチする余白を作る



用紙にパンチ穴をあける



特定のページを表面にプリントする

こんな用紙にプリントしたい



郵便はがきや封筒



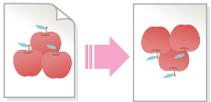
タブ紙



OHPフィルム

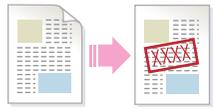


特定のページを異なる用紙で
プリントする



画像の向きを180° 回転さ
せる

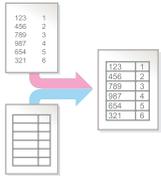
文字や画像を合成したい



すかし文字を入れてプリントする



画像をデータに重ねてプリントする



定型フォームをプリントデータに重ねる



ほかにもこんな便利な機能があります

データのサイズや向きを補正

- データを拡大・縮小してプリントする
- 鏡に映したように反転させてプリントする

セキュリティを重視したい

- プリントした内容を第三者に見られたくない
- 暗号化PDFをプリントする

特殊な用途に使える機能

- 複写伝票のようにプリントする
- 大判のポスターを作る

知っておくと便利な機能

- 優先的にプリントする
- 複合機を2台同時に使う
- よく使うプリント設定を登録して使用する
- プリントデータを保存して使用する

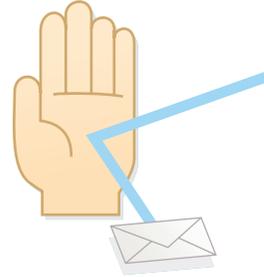
ファクスする



節約したい



こんな原稿を送信
したい



誤送信を防ぎたい



原稿を見やすく送
信したい



手間を省きたい



セキュリティを重
視したい



ほかにもこんな便利な機能があります

節約したい



通信費の安い時間帯に送信する



受信データの内容を確認してからプリントする



2ページ分の原稿を1枚にまとめて送信する

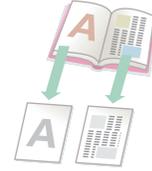


支社などを中継して送信する

こんな原稿を送信したい



厚みのある原稿（周辺に影が写る）



本などの見開き原稿（1ページずつ）



一度にセットできない大量の原稿



異なるサイズが混在している原稿



両面にプリントされている原稿



身分証などのカード

誤送信を防ぎたい



送信する前に、もう一度宛先
を確認する



送信した結果を確認する

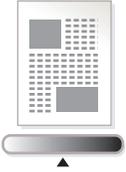


過去の通信履歴を確認する

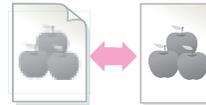


読み込んだ原稿に目印を付ける

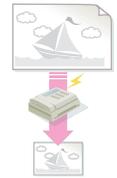
原稿を見やすく送信したい



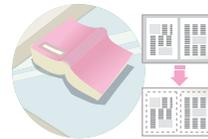
濃度を調整する



画質を調整する

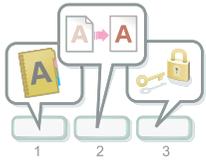


サイズを指定して送信する

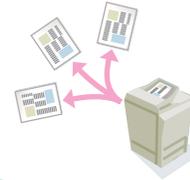


まわりに影ができないように
送信する

手間を省きたい



よく使う設定を登録する



複数の相手にまとめて送信する

☎ XXXX-6789
☎ XXXX-9874
☎ XXXX-4567
☎ XXXX-5432
☎ XXXX-9999

以前に送信した履歴を呼び出す

☎ XXXX-6789
☎ XXXX-9874
☎ XXXX-4567
☎ XXXX-5432
☎ XXXX-9999

宛先をかんたんに呼び出す
(検索番号)



本などの見開き原稿（1ページずつ）

セキュリティを重視したい



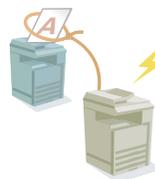
送信する前に、もう一度宛先を確認する



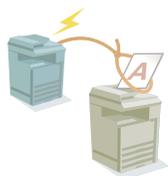
第三者に見られないように送信する



保護されている受信データをプリントする



こちらの操作で相手の原稿を受信する



相手の操作でこちらの原稿を送信する



ほかにもこんな便利な機能があります

管理に役立つ機能

- 受信したファクスのデータを送信先に転送する
- 宛先の一覧をプリントする

知っておくと便利な機能

- 薄い紙の原稿を送信する
- グローバルアドレス帳から宛先を呼び出す
- あとから送信したデータを優先する
- 電話を使用する

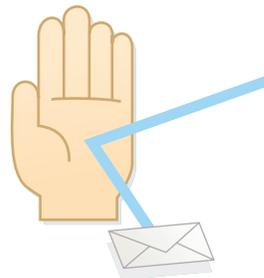
スキャンする / インターネットFaxする



鮮明な画像を送信
したい



こんな原稿を送信
したい



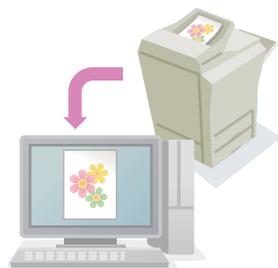
誤送信を防ぎたい



データ量を軽くし
て送りたい



手間を省きたい

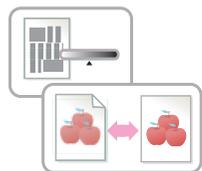


コンピュータからの操
作でスキャンしたい

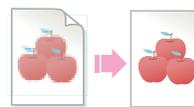


ほかにもこんな便利な機能があります

鮮明な画像を送信したい



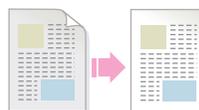
濃度や画質を調節する



解像度を調整して送信する



まわりに影ができないように
送信する

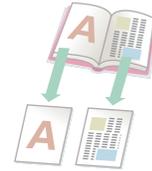


原稿の地色を消して送信する

こんな原稿を送信したい



厚みのある原稿（周辺に影が写る）



本などの見開き原稿（1ページずつ）



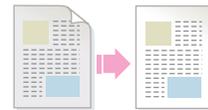
一度にセットできない大量の原稿



異なるサイズが混在している原稿



両面にプリントされている原稿



地色が付いている原稿

誤送信を防ぎたい



送信した結果を確認する

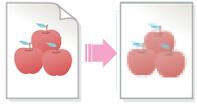


過去の通信記録を確認する

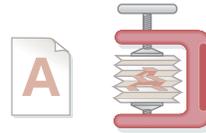


読み込んだ原稿に目印を付ける

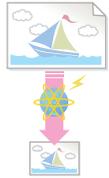
データ量を軽くして送りたい



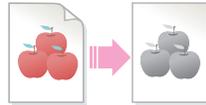
解像度を低くして送信する



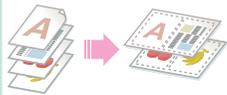
ファイルを圧縮して送信する



画像を縮小して送信する



カラー原稿を白黒にして送信する

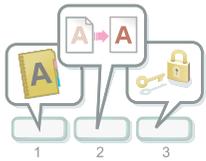


2ページ分の原稿を1枚にまとめて送信する

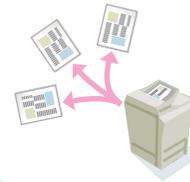


身分証などのカード

手間を省きたい



よく使う設定を登録する



複数の相手にまとめて送信する



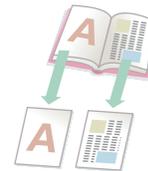
以前に送信した履歴を呼び出す



送信先をかんたんに呼び出す
(検索番号)



コンピュータからインターネットFaxを送信する



本などの見開き原稿（1ページずつ）



ほかにもこんな便利な機能があります

管理に役立つ機能

- 受信したインターネットFaxのデータを送信先に転送する
- 送信先の一覧をプリントする

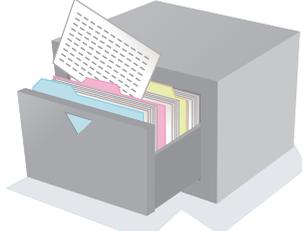
知っておくと便利な機能

- 薄い紙の原稿をスキャンする
- グローバルアドレス帳から送信先を呼び出す
- 時刻を決めて送信する
- あとから送信したデータを優先する
- USBメモリーモードで送信する

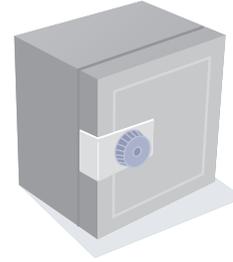
データを保存して再利用する



ファイルを探したい



ファイルを整理したい

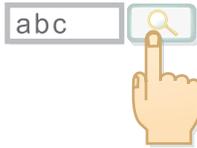


重要な書類を保存したい



まとめてプリントしたい

ファイルを探したい



ファイルをキーワードで検索する



ファイルの中身を見ながら探す

ファイルを整理したい



ファイルを削除する



ファイルをまとめて削除する



ファイルがたまらないように
定期的に削除する

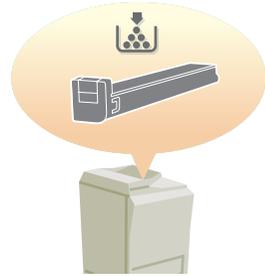


保存場所を変える

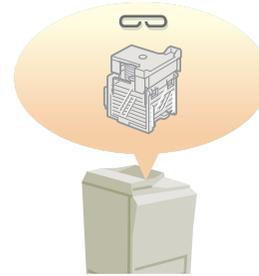
本機のお手入れ



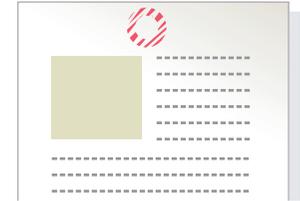
本機を清掃したい



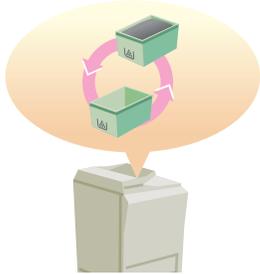
トナーカートリッジを交換したい



針カートリッジを交換したい



済スタンプカートリッジを交換したい



廃トナーボックスを交換したい

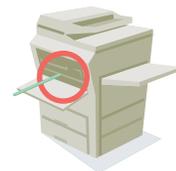


パンチくずを捨てたい

本機を清掃したい



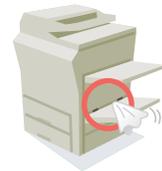
原稿台・原稿自動送り装置の
清掃



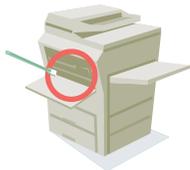
感光体ドラムのメインチャー
ジャーの清掃



原稿給紙ローラーの清掃



手差し給紙ローラーの清掃

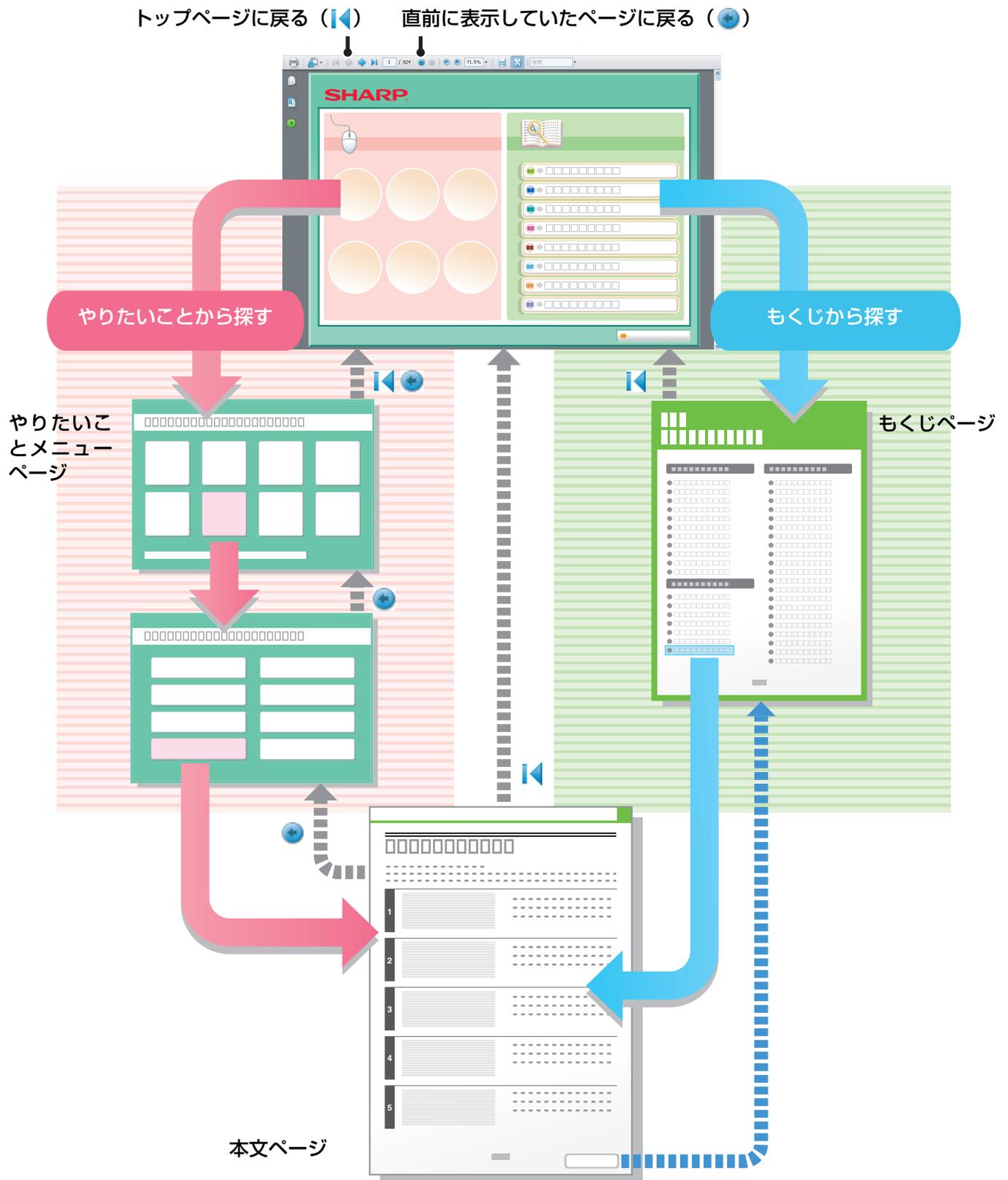


書き込みユニットの清掃

操作ガイドについて

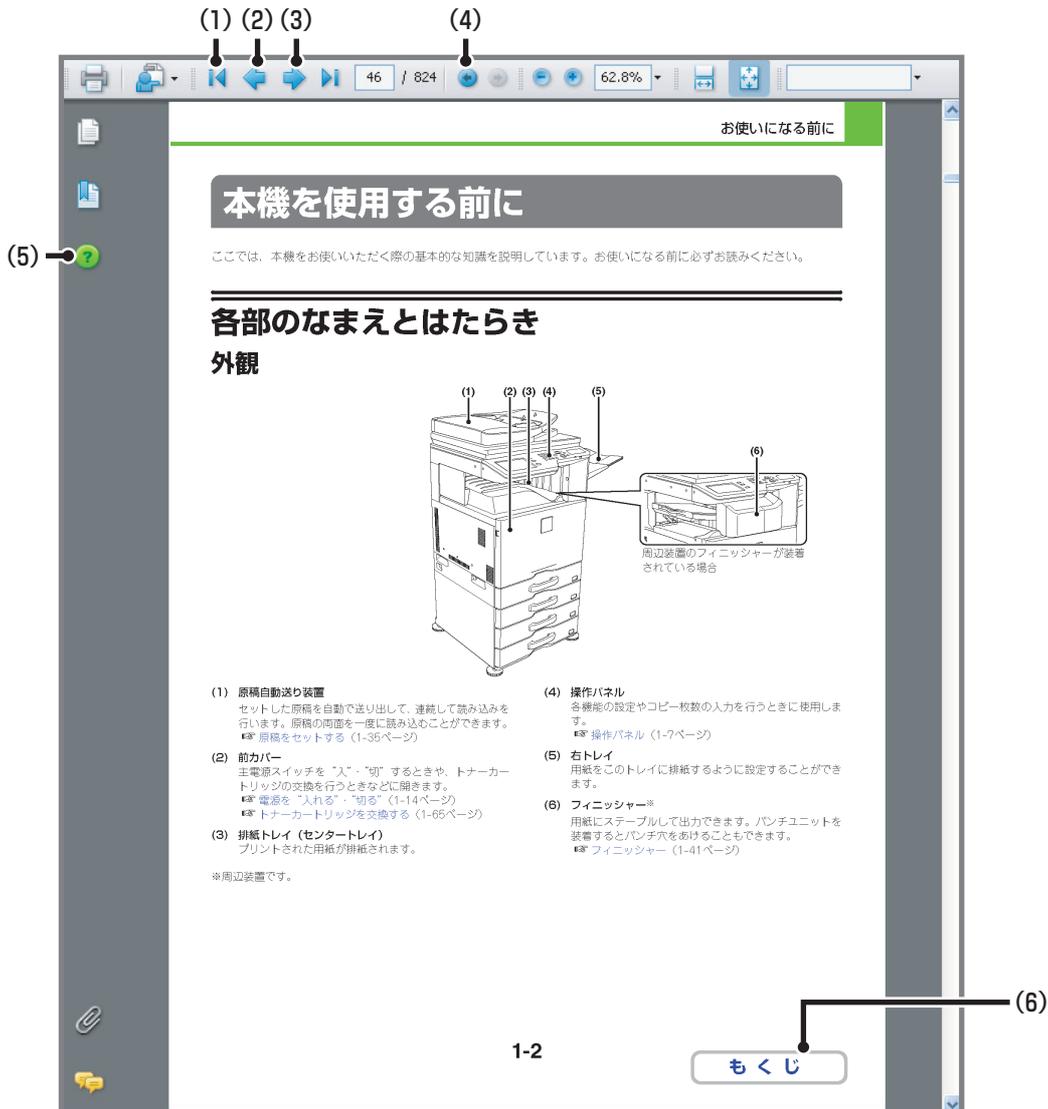
本書では、やりたいことのメニューから目的のページにたどりつく方法と、もくじの一覧から目的のページにたどりつく方法の2通りの方法で検索することができます。

以降の説明ではAdobe Reader 8.0で説明しています（標準状態では表示されていないボタンがあります）。



このマニュアルの使いかた

下記のボタンをクリックして目的のページへ移動してください。



(1) トップページに戻るボタン

操作に迷ったら、このボタンをクリックして最初からやり直してください。

(2) 1ページ戻るボタン

1つ前のページを表示します。

(3) 1ページ進むボタン

次のページを表示します。

(4) 直前に表示していたページに戻るボタン

現在のページを表示した直前のページを表示します。

(5) Adobe Readerヘルプボタン

Adobe Readerのヘルプを表示します。

(6) もくじボタン

各章のもくじページを表示します。
たとえば、現在のページがプリンターについて書かれた章の本文のページであれば、プリンターの章のもくじページを表示します。



表示されていないボタンがある場合、Adobe Readerのヘルプを参照してボタンを表示させてください。

● プリントするときのご注意

すべてのページをプリントすると、前半部分のメニューページまでプリントされてしまいます。各機能の説明ページをプリントする場合は、ページの範囲を指定してください。

取扱説明書の種類について

PDF形式の取扱説明書（本書）

PDF形式の取扱説明書は、本機の詳細な操作方法を機能別に記載しています。PDF形式の取扱説明書を参照するときは、本機の内蔵ハードディスクからダウンロードしてください。ダウンロード方法については、スタートガイドの「操作ガイドの見方」を参照してください。



1. お使いになる前に

基本的な操作方法、用紙の補給方法、機器のお手入れなどについて詳しく記載しています。



2. コピー

コピー機能の操作方法について詳しく記載しています。



3. プリンター

プリンター機能の操作方法について詳しく記載しています。



4. ファクス

ファクス機能の操作方法について詳しく記載しています。



5. スキャナー／インターネットFax

スキャナー機能やインターネットFax機能の操作方法について詳しく記載しています。



6. ドキュメントファイリング

ドキュメントファイリング機能の操作方法について詳しく記載しています。ドキュメントファイリング機能は、原稿やプリントデータを内蔵ハードディスクに読み込んで保存しておき、必要に応じて再利用できる機能です。



7. システム設定

お客様の使用目的や使用状況に応じてさまざまな設定を行ったり、本機の設定状態を表示、プリントすることができる「システム設定」について説明しています。



8. 困ったときは

紙づまりの対処法や、本機の操作に関してよくあるご質問についての対処法を機能別に解説しています。本機の使用方法についてお困りの際にお読みください。

印刷物の取扱説明書

取扱説明書名	記載内容
スタートガイド	本機を安全にお使いいただくための注意事項や、本機を使用いただくための準備、本機と周辺装置の仕様について記載しています。

本書の記載内容について

本書はデジタルフルカラー複合機MX-2310F/MX-3111Fについて説明しています。

お願い

- この取扱説明書に記載のドライバーおよびソフトウェアのインストールについては、ソフトウェアセットアップガイドを参照してください。
- OS（オペレーティングシステム）に関する事柄については、必要に応じてOSの説明書またはヘルプ機能を参照してください。
- この取扱説明書では、Windows環境での画面の説明や操作手順は、Windows Vista®でお使いになる場合を主体に説明しています。OS（オペレーティングシステム）のバージョンやアプリケーションソフトにより表示される画面が異なることがあります。
- この取扱説明書では、Macintosh環境での画面の説明や操作手順は、Mac OS Xの場合はMac OS X v10.4でお使いになる場合を主体にそれぞれ説明しています。OS（オペレーティングシステム）のバージョンやアプリケーションソフトにより表示される画面が異なることがあります。
- この取扱説明書でMX-xxxxと記載しているところは、“xxxx”にお使いのモデル名を入れてお読みください。
- この取扱説明書では、日本郵政株式会社製のはがきを郵便はがきと記載しています。
- この取扱説明書は内容について十分注意し作成しておりますが、万一ご使用中にご不審な点・お気づきのことがありましたら、スタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品および別売品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- この取扱説明書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することを禁止します。
- この取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

本文中で説明しているイラスト、操作パネル、タッチパネルについて

周辺装置は基本的に別売品ですが、お買いあげいただいた本機の種類によっては、一部標準装備されているものもあります。この取扱説明書では、本機に給紙デスクを装着した状態で説明しています。本機の機能や使いかたを説明するために、上記と異なる周辺装置の装着状態で説明している場合があります。

取扱説明書に記載している操作画面、表示されるメッセージ、キー名称などは改良変更などにより実際の表示と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

絵表示について

各取扱説明書で使用している絵表示は、次の事柄を説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	人がけがをしたり、財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

	本機を傷つけたり、故障させる危険がある内容について説明しています。		システム設定の項目名とその内容について説明しています。 「システム設定：」と記載している場合 一般設定の項目について説明しています。 「システム設定（管理者）」と記載している場合 管理者設定の項目について説明しています。
	機能や操作手順について補足説明しています。		
	操作の中止方法や訂正方法について説明しています。		

第1章 お使いになる前に

基本的な操作方法、用紙の補給方法、機器のお手入れなどについて詳しく記載しています。

本機を使用する前に

各部のなまえとはたらき	1-2
• 外観	1-2
• 内部	1-4
• 原稿自動送り装置と原稿台（ガラス面）	1-5
• 側面・背面	1-6
• 操作パネル	1-7
タッチパネルについて	1-9
• 状況表示について	1-11
• システムバーについて	1-12
電源を“入れる”・“切る”	1-14
• 省エネルギー機能について	1-15
• [節電]キーについて	1-15
• 保温ヒータースイッチについて	1-16
ユーザー認証について	1-17
• ユーザー番号方式の場合	1-17
• ログイン名／パスワード方式の場合	1-19
ホーム画面について	1-22
本機の遠隔操作について（リモートオペレーション）	1-23
ジョブログ記録項目一覧	1-24

用紙補給について

用紙補給する前に	1-27
• トレイの位置と名称について	1-27
• 用紙サイズの「R」表記について	1-27
• 使用できる用紙	1-28
トレイ1～4のトレイ設定について	1-30
• 用紙補給とサイズ変更の方法	1-30
手差しトレイへの用紙補給	1-32
• 手差しトレイを使用する場合の注意事項	1-33

原稿について

原稿をセットする	1-35
• 原稿自動送り装置に原稿をセットする	1-35
• 原稿台（ガラス面）に原稿をセットする	1-37

周辺装置について

周辺装置の種類について	1-39
フィニッシャー	1-41
• 各部のなまえ	1-41
• 消耗品について	1-41
• フィニッシャーのお手入れ	1-42
パンチユニット	1-44
• パンチくずの処理	1-44
ICカードを使った認証について	1-46
• MX-ECX2の場合	1-46
Sharp OSAについて	1-50
• アプリケーション通信キット（MX-AMX2）	1-50
• 外部アカウントキット（MX-AMX3）	1-51

お手入れについて

日常のお手入れ	1-53
• 原稿台・原稿自動送り装置部の清掃について	1-53
• 感光体ドラムのメインチャージャーの清掃	1-55
• 1次転写ベルトのPTチャージャーの清掃	1-58
• 手差し給紙ローラーの清掃	1-60
• 原稿給紙ローラーの清掃	1-60
• 書き込みユニットの清掃	1-61
トナーカートリッジを交換する	1-65
廃トナーボックスの交換	1-68
済スタンプカートリッジの交換	1-70

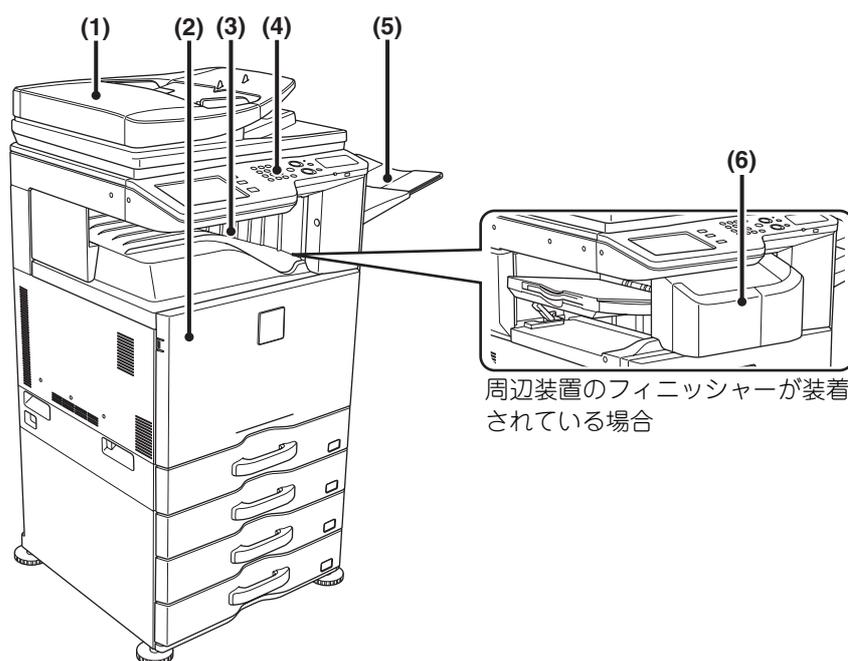
文字入力について

文字入力画面について	1-71
文字入力のしかた	1-72
• 文字を入力する	1-72
• 入力した文字を変換する	1-74
• JISコードを使って文字を入力する	1-75
• JIS漢字コード表	1-76

本機を使用する前に

ここでは、本機をお使いいただく際の基本的な知識を説明しています。お使いになる前に必ずお読みください。

各部のなまえとはたらき 外観



(1) 原稿自動送り装置

セットした原稿を自動で送り出して、連続して読み込みを行います。原稿の両面を一度に読み込むことができます。

☞ [原稿をセットする](#) (1-35ページ)

(2) 前カバー

主電源スイッチを“入”・“切”するときや、トナーカートリッジの交換を行うときなどに開きます。

☞ [電源を“入れる”・“切る”](#) (1-14ページ)

☞ [トナーカートリッジを交換する](#) (1-65ページ)

(3) 排紙トレイ (センタートレイ)

プリントされた用紙が排紙されます。

(4) 操作パネル

各機能の設定やコピー枚数の入力を行うときに使用します。

☞ [操作パネル](#) (1-7ページ)

(5) 右トレイ

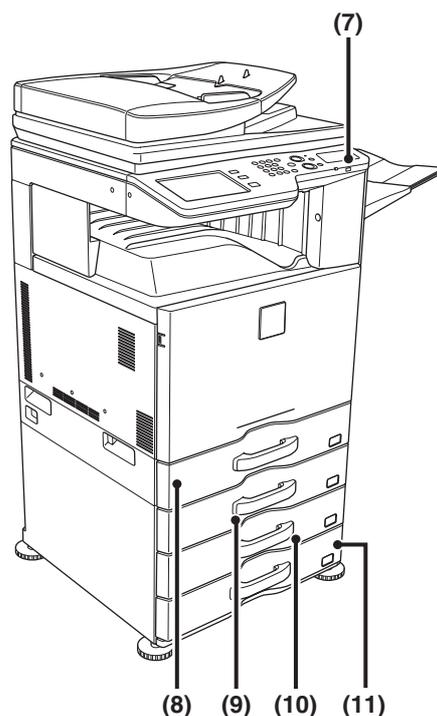
用紙をこのトレイに排紙するように設定することができます。

(6) フィニッシャー*

用紙にステープルして出力できます。パンチユニットを装着するとパンチ穴をあけることもできます。

☞ [フィニッシャー](#) (1-41ページ)

※周辺装置です。



(7) USBコネクタ（Aタイプ）

USB2.0（Hi-Speed）対応です。
本機にUSBメモリーなどのUSB機器を接続して使用します。
USBケーブルは、シールドタイプを使用してください。

(8) トレイ1

用紙を収納します。
☞ [トレイ1～4のトレイ設定について](#)（1-30ページ）

(9) トレイ2（給紙デスク装着時）※

用紙を収納します。
☞ [トレイ1～4のトレイ設定について](#)（1-30ページ）

(10) トレイ3（給紙デスク装着時）※

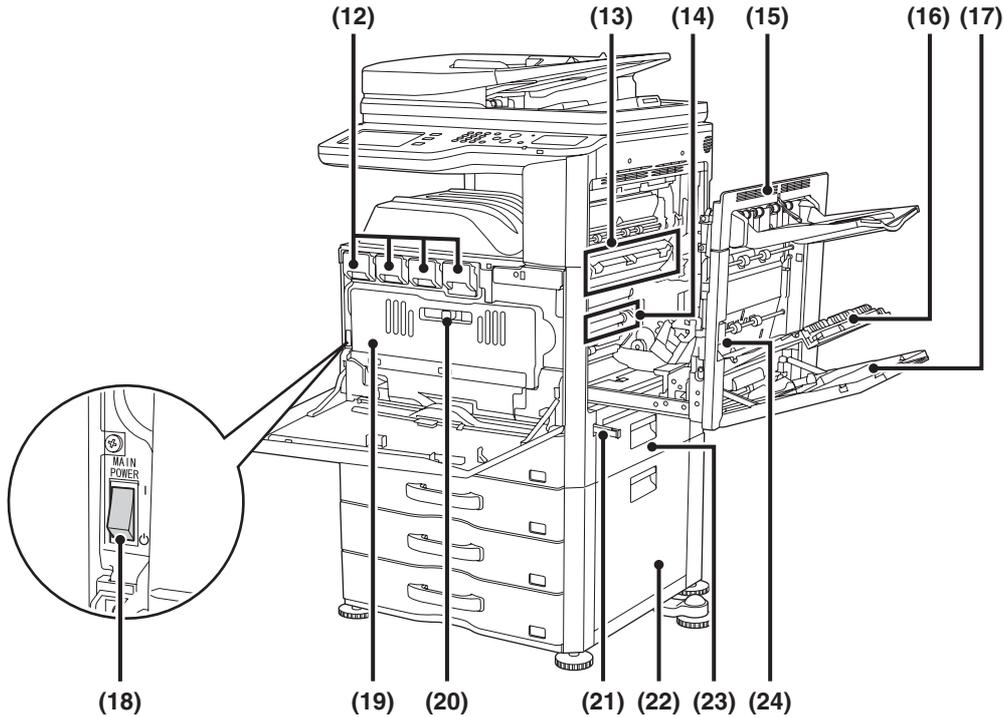
用紙を収納します。
☞ [トレイ1～4のトレイ設定について](#)（1-30ページ）

(11) トレイ4（給紙デスク装着時）※

用紙を収納します。
☞ [トレイ1～4のトレイ設定について](#)（1-30ページ）

※周辺装置です。

内部



(12) トナーカートリッジ

トナーが入っている容器です。トナーがなくなったら、なくなった色のカートリッジを取り出して、新しいカートリッジと交換します。

☞ トナーカートリッジを交換する (1-65ページ)

(13) 定着部

用紙上に転写された画像が熱により定着されるところです。

⚠ 注意

定着部は高温になっています。紙づまりの処置の際には、やけどをしないように十分注意してください。

(14) 転写ベルト

転写ベルトは、フルカラープリントのとき、4色それぞれの感光体上のトナーイメージを転写ベルト上で重ねるはたらきをします。

白黒プリントのときは、黒色のみのトナーイメージを転写ベルト上に写します。

⚠ 触れたり、キズをつけないようにしてください。画像不良の原因となります。

(15) 右側面カバー

用紙がつまったときに開きます。

(16) 用紙反転部カバー

両面プリントのときに用紙の反転に使用します。紙づまりしたときに開きます。

(17) 手差しトレイ

手差しで給紙するときに、ここから用紙を挿入します。大きなサイズ用の紙をセットするときは必ず補助トレイを引き出してください。

☞ 手差しトレイへの用紙補給 (1-32ページ)

(18) 主電源スイッチ

本機の電源を入れるときに使用します。

ファクスやインターネットFaxを使用するときは常に“入”にしてください。

☞ 電源を“入れる”・“切る” (1-14ページ)

(19) 廃トナーボックス

プリントしたときに、余分になった廃トナーが収納されるボックスです。

☞ 廃トナーボックスの交換 (1-68ページ)



交換した廃トナーボックスの回収はサービス担当者が行います。

(20) 廃トナーボックス解除レバー

廃トナーボックスの交換や書き込みユニットの清掃のとき、廃トナーボックスのロックを解除するときに動かします。

☞ 書き込みユニットの清掃 (1-61ページ)

☞ 廃トナーボックスの交換 (1-68ページ)

(21) 取っ手

本機を持ち上げて移動するときに引き出して使用します。

(22) 給紙デスク右側面カバー (給紙デスク装着時)

トレイ2、3、4で紙づまりしたときに開きます。

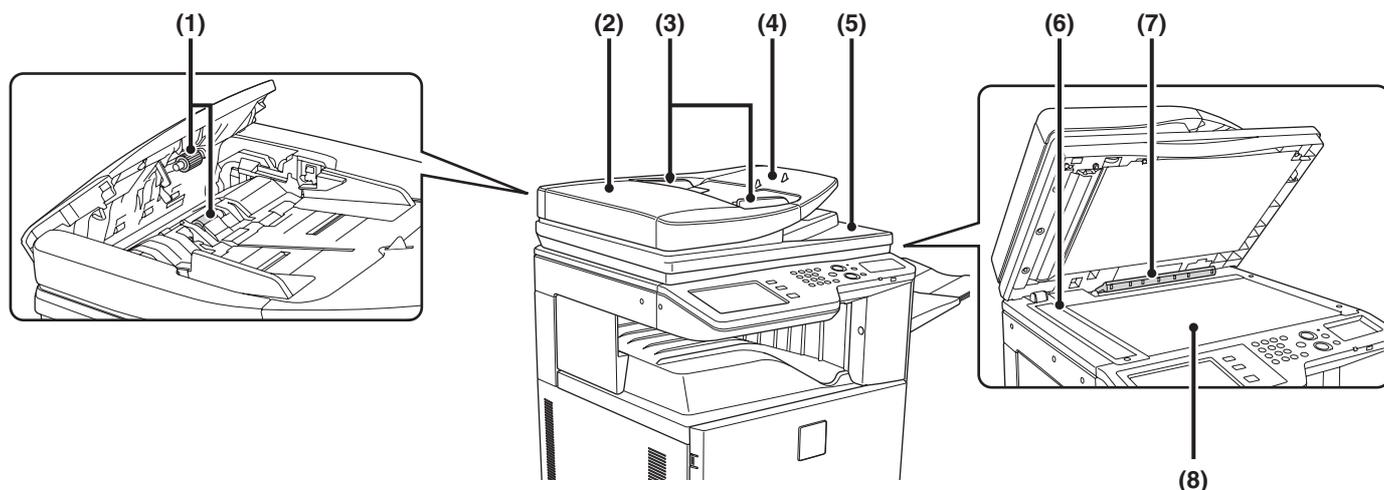
(23) 給紙トレイ右側面カバー

トレイ1で紙づまりしたときに開きます。

(24) 右側面カバー開閉レバー

紙づまりの処理をするとき、このレバーを引き上げながら、右側面カバーを開きます。

原稿自動送り装置と原稿台（ガラス面）



(1) 原稿給紙ローラー

ローラーが回転して、原稿を自動的に搬送します。

(2) 原稿給紙部カバー

原稿の紙づまりの処置や、原稿給紙ローラーを清掃するときに開きます。

(3) 原稿ガイド

原稿を正しく読み取るためのガイドです。セットした原稿サイズの幅に合わせます。

☞ [原稿をセットする](#) (1-35ページ)

(4) 原稿セット台

原稿をセットします。片面原稿の場合、上向きに原稿をセットします。

☞ [原稿をセットする](#) (1-35ページ)

(5) 原稿出紙部

読み取りを終了した原稿が出てきます。

(6) 原稿読み取り部

原稿セット台にセットした原稿は、ここで読み取られます。

☞ [日常のお手入れ](#) (1-53ページ)

(7) 原稿サイズ検知板

原稿台（ガラス面）にセットした原稿のサイズを検知する装置です。

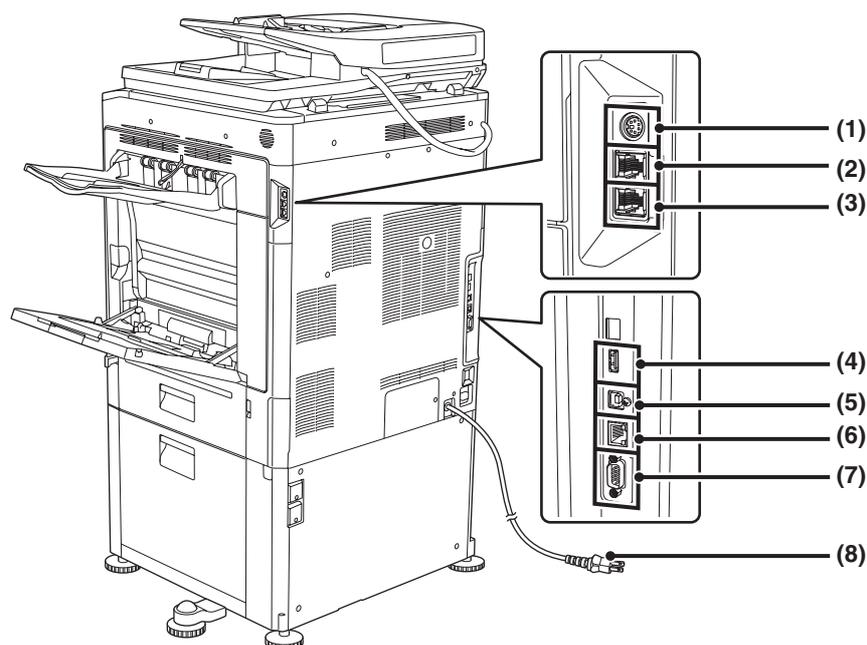
☞ [原稿台（ガラス面）に原稿をセットする](#) (1-37ページ)

(8) 原稿台（ガラス面）

厚手の原稿やブック物などの原稿で、原稿自動送り装置を使うことのできない原稿をセットするときに使います。

☞ [原稿台（ガラス面）に原稿をセットする](#) (1-37ページ)

側面・背面



(1) ハンドセット接続端子

周辺装置のハンドセットを接続する端子です。

(2) 外部電話機接続端子

本機でファクス機能を使用するときに、外部電話機に接続して使用します。

(3) 回線端子

本機でファクス機能を使用するときに、電話線に接続して使用します。

(4) USBコネクター (Aタイプ)

USB2.0 (Hi-Speed) 対応です。
本機にUSBメモリーなどのUSB機器を接続して使用します。

(5) USBコネクター (Bタイプ)

USB2.0 (Hi-Speed) 対応です。
コンピュータと接続して、本機をプリンターとして使用します。
USBケーブルは、シールドタイプを使用してください。

(6) LANコネクター

本機をネットワークで使用するとき、LANケーブルを接続します。
LANケーブルは、シールドタイプを使用してください。

(7) サービス専用のコネクター

⚠ 注意

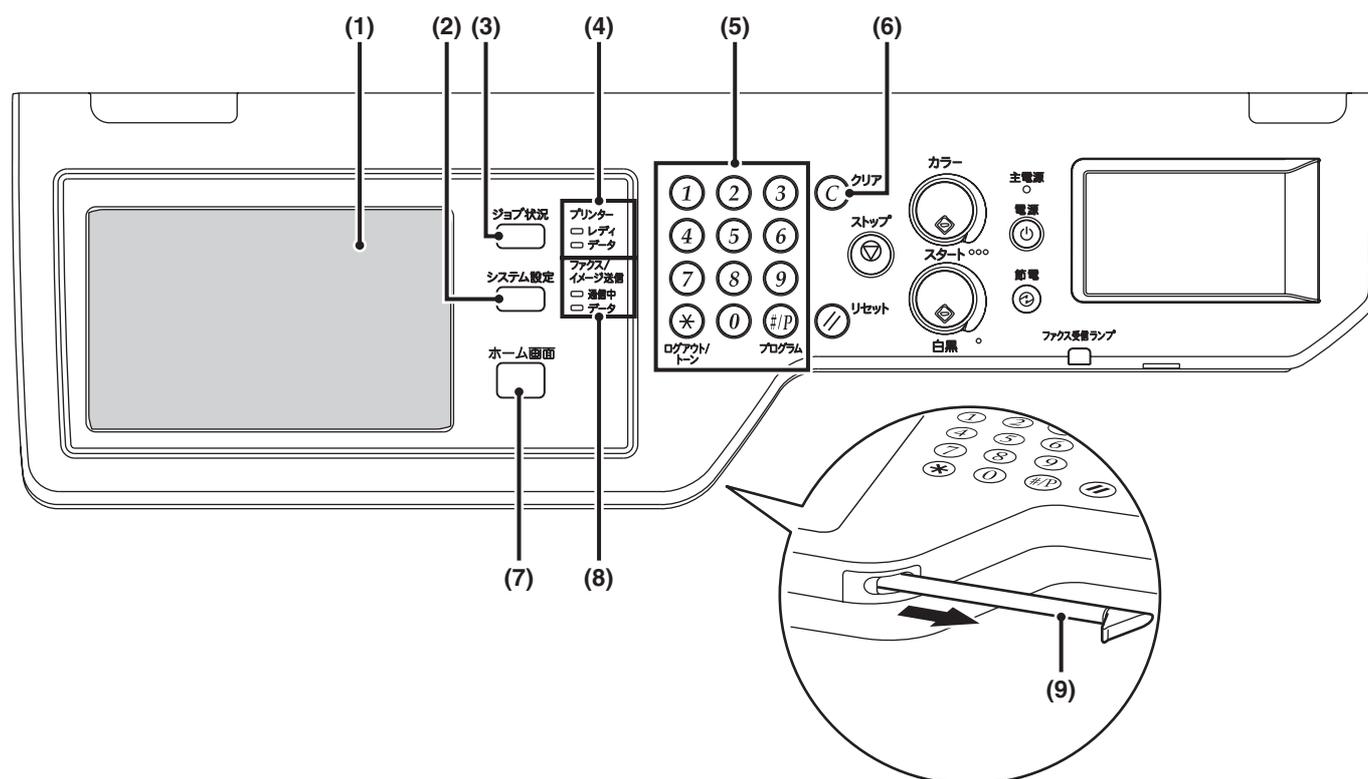
このコネクターはサービス担当者が使用します。
このコネクターに接続すると、機器の不具合が生じるおそれがあります。

サービス担当者への注意事項：

このコネクターに接続するケーブルの長さは3m未満にしてください。

(8) 電源プラグ

操作パネル



(1) タッチパネル

液晶画面にメッセージやキーが表示されます。表示されているキーを指で直接タッチしてさまざまな操作を行います。キーをタッチしたときに音が鳴り、選択した項目は反転表示されるため、確認しながら操作することができます。
 ⓘ [タッチパネルについて](#) (1-9ページ)

(2) [システム設定]キー

このキーを押すとシステム設定メニュー画面が表示されます。給紙トレイ設定や宛先登録などのほかに本機を使いやすいするための設定を行うことができます。

(3) [ジョブ状況]キー

ジョブ状況画面を表示したいときに押します。ジョブ状況画面からは、ジョブの詳細確認や中止などが行えます。詳細については、本書の各機能編を参照してください。

(4) プリンターランプ

- **レディランプ**
このランプが点灯しているとき、プリントデータの受信ができます。
- **データランプ**
プリントデータを受信中に点滅します。またプリント中は点灯します。

(5) 数字キー（10キー）

コピー枚数やファクス番号などを入力するときに使用します。また、各種設定（システム設定を除く）の数値を入力するときにも使用します。

(6) [クリア]キー（C）

部数など設定した数値を“0”に戻すときに使用します。

(7) [ホーム画面]キー

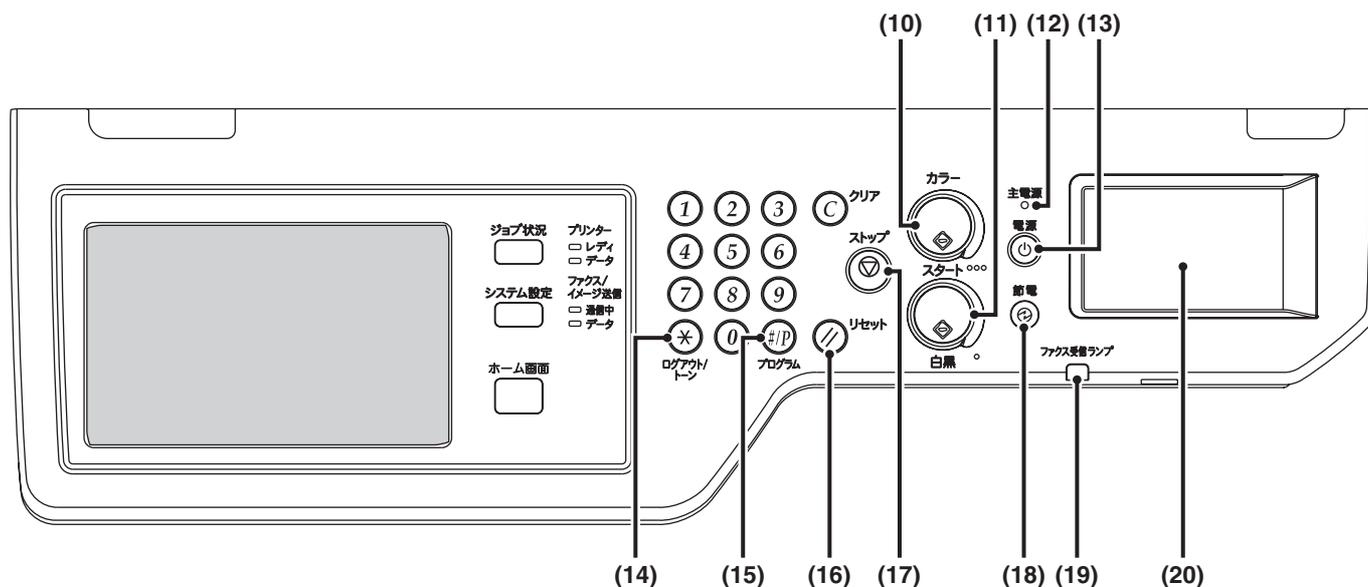
このキーを押すとホーム画面が表示されます。ホーム画面にあらかじめよく使う設定項目を登録しておく、すばやく本機を操作できるようになります。
 ⓘ [ホーム画面について](#) (1-22ページ)

(8) ファクス／イメージ送信ランプ

- **通信中ランプ**
ファクスやインターネットFaxでは送受信中に点灯します。スキャナーでは送信中に点灯します。
- **データランプ**
用紙切れなどファクスやインターネットFaxのデータが出力できないときに点滅します。未送信のデータがあるときは点灯します。

(9) スタイルスペン

タッチパネルに表示されるキーをタッチして操作することができます。



(10) [カラースタート]キー

カラーコピーするときや、原稿をカラーで読み込むときに使用します。
ファクスやインターネットFaxの場合、このキーは使用できません。

(11) [白黒スタート]キー

原稿を白黒で読み込むときに使用します。またファクスやインターネットFaxで原稿を送信するときに使用します。

(12) 主電源ランプ

本機の主電源スイッチが“入”のときに点灯します。
☞ 電源を“入れる”・“切る” (1-14ページ)

(13) [電源]キー (⏻)

本機の電源を入れる、または切るときに使用します。
☞ 電源を“入れる”・“切る” (1-14ページ)

(14) [ログアウト/トーン]キー (✳)

ユーザー認証後、ログアウトするときに使用します。また、ファクス機能を使用しているときはダイヤル回線ドーン信号を出すときに使用します。
☞ ユーザー認証について (1-17ページ)

(15) [プログラム]キー (Ⓜ)

コピー機能使用時はジョブプログラムを使用するときに、ファクス機能使用時はダイヤルするときに使用します。

(16) [リセット]キー (↺)

操作を最初からやり直すときに押します。
操作途中の各種設定の解除や操作を初期状態から始めるときに使用します。

(17) [ストップ]キー (⏹)

コピーを中止するときや、原稿の読み込みを中止するときに使用します。

(18) [節電]キー (Ⓜ) / ランプ

本機を省電力機能のオートパワーシャットオフモードにするときに使用します。
オートパワーシャットオフモード時には[節電]キー(Ⓜ)が点滅しています。
☞ [節電]キーについて (1-15ページ)

(19) ファクス受信ランプ

ファクスやインターネットFaxでデータ受信中に点滅します。出力が終了するとランプは消えます。
右トレイに排紙の場合は、用紙を取り除くとランプが消えます。
主電源スイッチを“入”の位置にして、[電源]キー(⏻)を押して電源を切った場合、このランプはデータを受信中でも点滅しません。

(20) ICカード置き場

ICカードリーダライタを装着した場合に、ICカードをセットすると、ユーザー認証ができます。
☞ ICカードを使った認証について (1-46ページ)

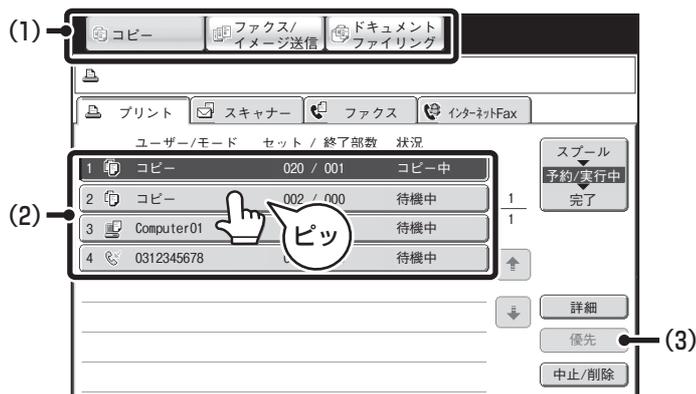
タッチパネルについて

ここではタッチパネルの操作方法について説明しています。

- 文字入力のしかたは「[文字入力について](#)」(1-71ページ)を参照してください。
- システム設定画面の表示や操作方法については、「7. システム設定」の「[共通の操作方法](#)」(7-4ページ)を参照してください。

タッチパネルの使いかた

(例1)



(1) モード切り替えキー

コピー、ファクス/イメージ送信、ドキュメントファイリングの各機能を切り替えるときにタッチします。

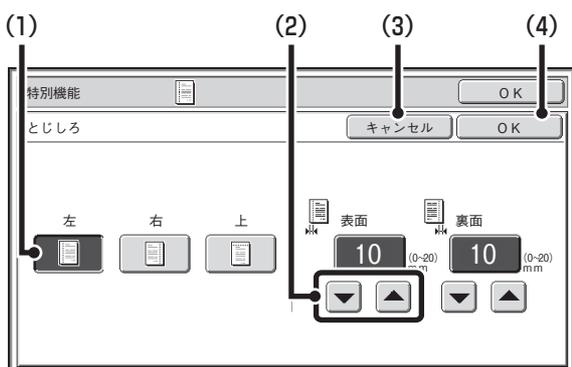
(2) 指で画面上のキーをタッチすることによって、各機能の設定や解除をかんたんに行うことができます。またキータッチ音（ピッ）や反転表示によって、選択の確認をすることができます。

(3) 薄く表示されたキーは選択できません。



選択できないキーをタッチしたときはピピッと鳴ります。

(例2)



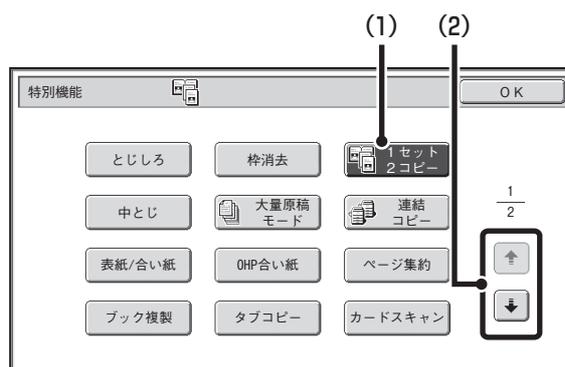
(1) 各設定画面で最初からキーが反転表示しているときはそのキーが選択されています。変更するときには他のキーをタッチすると、タッチしたキーが反転表示になり選択されます。

(2) ▼ ▲ キーで値を増減させることができます。キーをタッチしたままにすると、値をすばやく変化させることができます。

(3) 設定をキャンセルするときにタッチします。

(4) [OK]キーをタッチすると、その設定が確定します。

(例3)

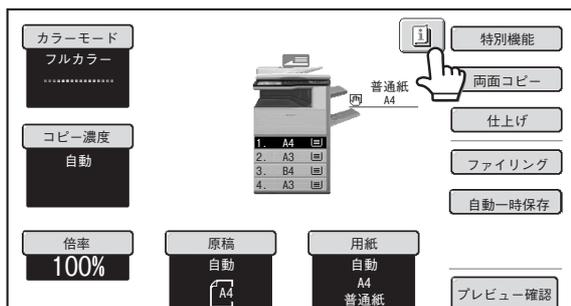


(1) 特別機能画面では各項目のキーをタッチするだけで設定できるものがあります。

設定されている項目を解除したいときは、反転表示しているキーをもう一度タッチして、反転表示を解除してください。

(2) 設定項目が複数画面にわたる場合、▼ ▲ キーまたは ⇄ キーをタッチすると、画面を切り替えることができます。

(例4)

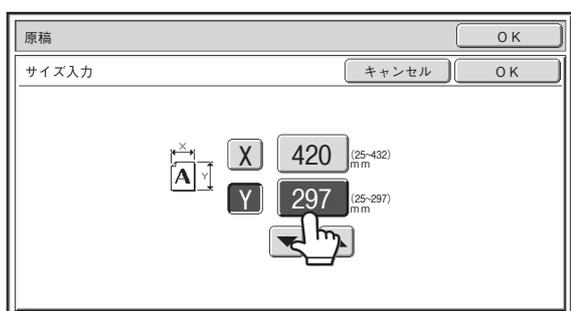


特別機能を設定すると、基本画面に  キーが表示されます。



 キーをタッチすると、特別機能で設定された機能がリストとなって表示されます。

(例5)



数値表示部のキーをタッチすると、数字キーで直接入力することができます。



数字キーを押して任意の数値を入力し、[OK]キーをタッチしてください。

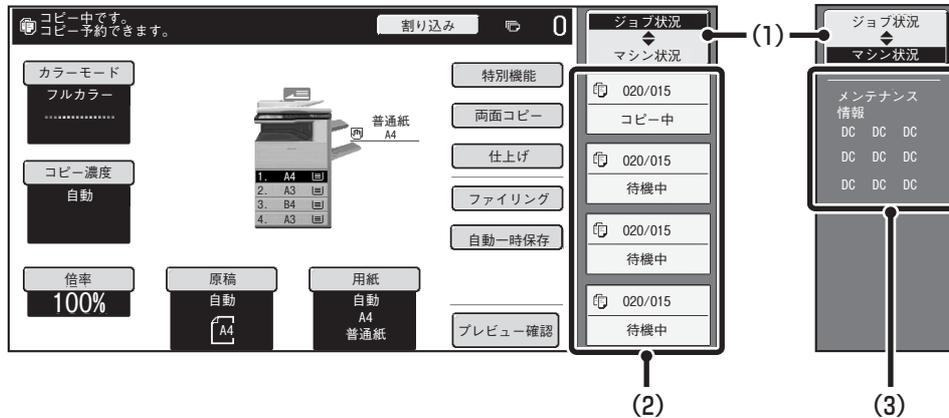
 この取扱説明書の中で説明しているタッチパネル（画面）はイメージです。実際の画面とは異なります。

 **システム設定（管理者）：キータッチ音の設定**
キータッチ音の音量調整ができます。またキータッチ音を鳴らさないように設定できます。

状況表示について

各モードの基本画面などを表示しているとき、タッチパネルの右部には本機の使用状況が表示されています。表示される内容は次のとおりです。

例：コピーモードの基本画面



(1) 表示切り替えキー

状況表示を、「ジョブ状況」、「マシン状況」のいずれかに切り替えます。
ジョブ状況画面を表示させた場合は、自動的に「マシン状況」に切り替わります。

(2) 「ジョブ状況」表示部

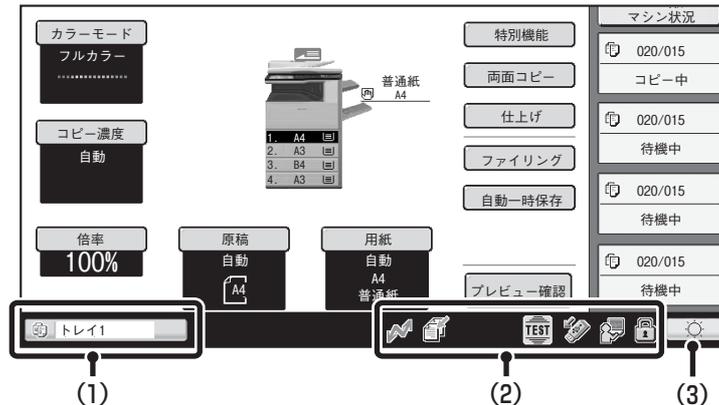
実行中または予約中のプリントジョブが、先頭から4つまで表示されます。ジョブの種類、設定部数と仕上がり部数、ジョブのステータスがそれぞれ表示されます。
ここからジョブの操作はできません。ジョブの操作は、ジョブ状況画面で行ってください。
詳細は、本書の各機能編を参照してください。

(3) 「マシン状況」表示部

本機のシステムに関する情報が表示されます。
「メンテナンス情報」
本機のメンテナンスに関する情報が、規定のコードで表示されます。

システムバーについて

タッチパネルの下部には、システムバーが表示されています。
システムバーには次の内容が表示されます。



(1) ジョブ状況表示部

実行中または予約中のジョブがアイコンで表示されます。表示されるアイコンは次のとおりです。

	プリントジョブ		コピージョブ
	E-mail送信ジョブ		ファイルサーバー送信ジョブ
	共有フォルダー送信ジョブ		デスクトップ送信ジョブ
	ファクス送信ジョブ		ファクス受信ジョブ
	ファクス送信ジョブ (回線1)		ファクス受信ジョブ (回線1)
	ファクス送信ジョブ (回線2)		ファクス受信ジョブ (回線2)
	PC-Fax送信ジョブ		インターネットFax送信ジョブ (ダイレクトSMTP含む)
	PC-Fax送信ジョブ (回線1)		PCインターネットFax送信ジョブ
	PC-Fax送信ジョブ (回線2)		スキャン保存したファイルの再プリントジョブ
	インターネットFax受信ジョブ (ダイレクトSMTP含む)		同報ジョブ※ ネットワーク転送ジョブ
	連結コピー/プリントジョブ		メタデータ送信ジョブ

※ 複数のモードの同報ジョブで表示されます。

ファクス/イメージ送信モード以外の基本画面が表示されているとき、給紙動作中は給紙しているトレイ番号を表示します。その状況によって下表のようにジョブ状況表示部の色が変わります。また、ジョブ状況表示部をタッチすると、ジョブ状況画面が表示されます。

ジョブ状況表示部	本機の状態
緑色	プリンターやスキャナーなどのジョブが通常に行われている状態です。
黄色	本機がウォーミングアップや待機中のとき、またジョブをキャンセルしている状態です。
赤色	本機に紙づまりなどのエラーが発生している状態です。
グレー	ジョブがない状態です。

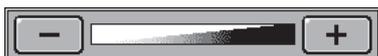
(2) アイコン表示部

	データを通信中のときに表示されます。
	ファクス/スキャナー/インターネットFaxのデータを本機のメモリーに蓄えているときに、アイコンが表示されます。送信データがあるときは (送信アイコン) を、受信データがあるときは (受信アイコン) を表示します。送信データと受信データの両方がメモリーにあるときは (両方アイコン) を表示します。
	サービス担当者がシミュレーションモードに切り替えているときに表示されます。
	本機にUSBメモリーなどのUSB機器が接続されているときに表示されます。
	フィールドサポートシステムを利用しているときに表示されます。

	データセキュリティキットを利用しているときに表示されます。
	外部アプリケーションと通信しているときに表示されます。
	ICカードリーダーが接続されているときに表示されます。
	ICカードリーダーが本体と通信中のときに表示されます。

(3) 明るさ調整キー

タッチパネルの明るさを調整するときにタッチします。タッチするとキーの横に次のような画面が表示されます。



[+]キーまたは[-]キーをタッチして、明るさを調整してください。

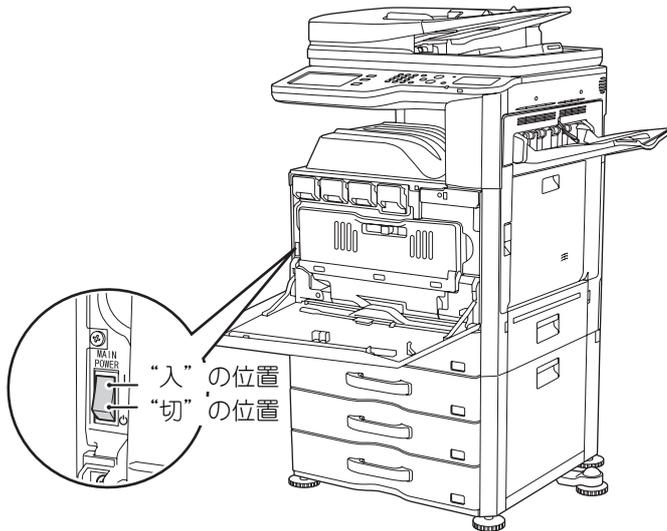
もう一度明るさ調整キーをタッチすると、画面が閉じ設定が完了します。

電源を“入れる”・“切る”

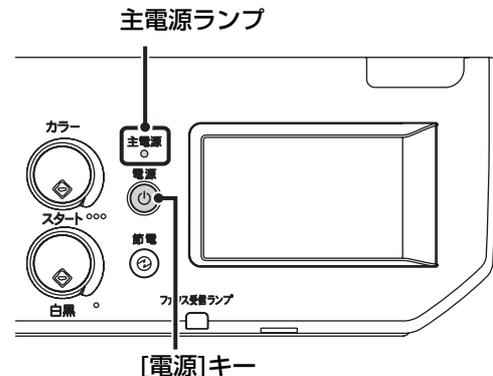
本機には2つの電源スイッチがあります。1つは本体の前カバーを開けた左下にある主電源スイッチで、もう1つは操作パネルの右上にある[電源]キー（）です。

主電源スイッチ

このスイッチを入れると操作パネルの主電源ランプが点灯します。



[電源]キー



電源の入れかた

- (1) 主電源スイッチを“入”の位置にする
- (2) [電源]キー（）を押して電源を入れる

電源の切りかた

- (1) [電源]キー（）を押して電源を切る
- (2) 主電源スイッチを“切”の位置にする

- ❗ 主電源スイッチを切るときは、操作パネル上の各種ランプが消えていることを確認してください。
- ❗ 停電などの理由で、突然、主電源が切れた場合は、本機の電源を入れ直し、正しい順序で電源を切ってください。主電源が[電源]キー（）より先に切られた状態で本機を長時間放置すると、異音や画質低下や故障の原因となります。点灯／点滅中に主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜くと、ハードディスクの破損やデータの消失の原因になることがあります。
- ❗ 故障のおそれのあるときや、近くに強い雷が発生したとき、機器を移動させるときなどは[電源]キー（）、主電源スイッチの両方を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください

- ✎ ファクスやインターネットFax機能を使用するときは、主電源スイッチを常に“入”にしておいてください。

再起動について

本機では、設定した内容を有効にするために再起動が必要になる場合があります。タッチパネルに表示されるメッセージに従い、再起動（[電源]キー（）を押して電源を切ったあと、もう一度押して電源を入れる）を行ってください。

- ✎ 本機の状態によっては、[電源]キー（）による再起動では設定が有効にならない場合があります。この場合は主電源スイッチを入れ直してください。

省エネルギー機能について

環境保全の観点から天然資源のむだづかいや環境汚染を減らすための工夫として、国際エネルギースタープログラムのガイドラインに準拠した、次のような2つの省エネルギー機能を備えています。

予熱モード（低電力モード）

予熱モードとは、待機状態のときシステム設定（管理者）の「予熱モードの設定」で設定された時間が経過すると、自動的に定着部の温度を下げて低消費電力状態で待機する機能です。

プリントデータ受信時、また操作部のキー操作や原稿セット操作などが行われると、予熱モードは自動的に解除されます。

オートパワーシャットオフモード（スリープモード）

オートパワーシャットオフモードとは、待機状態のときシステム設定（管理者）の「オートパワーシャットオフ設定」で設定された時間が経過すると、自動的に表示部や定着部の電源を切り、最も低消費電力の状態です。予熱モードと比べ、節約される電力は大きくなりますが、復帰時間は長くなります。このモードはシステム設定（管理者）の設定で、はたらかないようにすることができます。

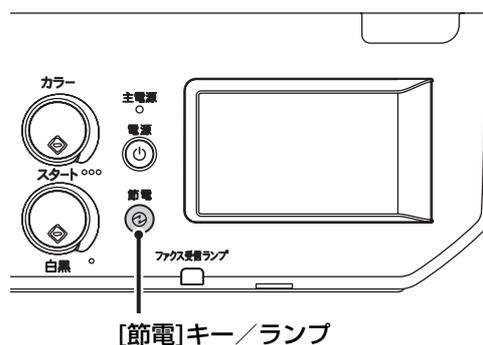
プリントデータ受信時、また点滅中の[節電]キー（Ⓜ）を押すと、オートパワーシャットオフモードは自動的に解除されます。

[節電]キーについて

[節電]キー（Ⓜ）を押すことにより、本機をオートパワーシャットオフモードに移行したり、解除したりできます。

[節電]キー（Ⓜ）にはランプがあり、ランプの状態が本機がオートパワーシャットオフの状態かそうでないか判別できます。

待機中、[節電]キー（Ⓜ）のランプが消えているとき	普通に使用できる状態です。 この時点で[節電]キー（Ⓜ）を押すと、[節電]キー（Ⓜ）のランプが点滅し、しばらくしてからオートパワーシャットオフの状態になります。
[節電]キー（Ⓜ）のランプが点滅しているとき	オートパワーシャットオフの状態です。 この時点で[節電]キー（Ⓜ）を押すと、[節電]キー（Ⓜ）のランプが消え、しばらくしてから通常状態になります。

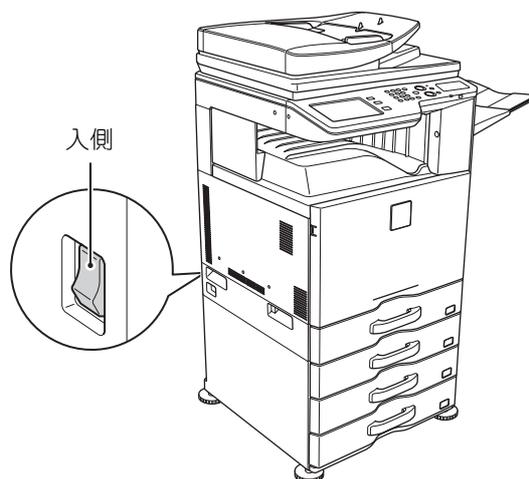


保温ヒータースイッチについて

本機の内部で結露が発生したり、用紙が吸湿すると、画質低下や紙づまりの原因となります。本機には機器内部の結露やトレイ内の用紙の吸湿をおさえる保温ヒーターが内蔵されています。

次のような場合は、保温ヒータースイッチを“入”にしておくことをお勧めします。

- 冬期の使用（暖房を入れた直後など、急激な温度変化が起こる場所では、結露しやすくなります。）
 - 梅雨期などの高湿時や高湿な地域での使用
- ただし夏期などの高温時は、保温ヒータースイッチを切ってご使用ください。



電源プラグをコンセントから抜くと、保温ヒーターがはたらきませんので注意してください。

ユーザー認証について

ユーザー認証は、本機の利用者（ユーザー）を登録することで、登録されたユーザーのみが本機を使用できるようにする機能です。使用できる機能などをユーザーごとに設定することもできるので、使用状況に応じた本機の運用が行えます。ユーザー認証が管理者によって設定されているときは、本機を使用する際にログインする必要があります。ユーザー認証にはいくつかの種類があり、それぞれでログイン方法が異なります。

ログインのしかたについては、それぞれの説明を参照してください。

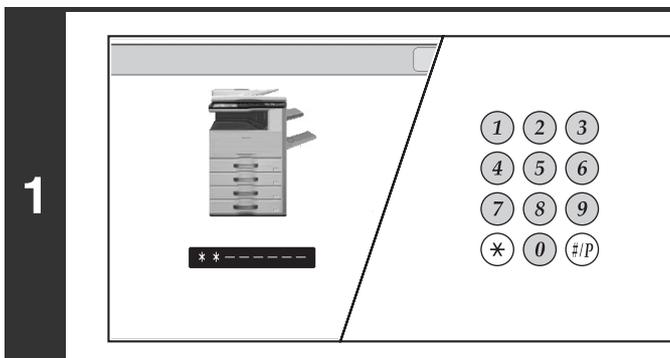
- ☞ [ユーザー番号方式の場合](#)（下記参照）
- ☞ [ログイン名/パスワード方式の場合](#)（1-19ページ）
- ☞ [ICカードを使った認証について](#)（1-46ページ）

ユーザー番号方式の場合

あらかじめ本機の管理者から与えられたユーザー番号を使って、認証を受ける方式です。



ユーザー番号方式で管理している場合



数字キーでユーザー番号（5桁～8桁）を入力する

入力した数字は「*」で表示されます。

2



[OK]キーをタッチする

入力したユーザー番号が認証されたときは、ユーザーの使用枚数が画面にしばらく表示されます。

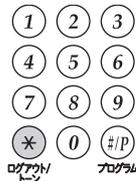
使用状況	: 使用済み/残り枚数
白黒	: 87,654,321/12,345,678
フルカラー	: 87,654,321/12,345,678

残り枚数は、システム設定（管理者）の「使用枚数制限グループリスト」で使用枚数制限が設定されている場合に表示します。（そのユーザーがあと何枚コピーやスキャンなどできるかの残量が表示されます。）この画面の表示時間はシステム設定（管理者）の「メッセージ表示時間の設定」で変更できます。



ユーザー番号が8桁の場合は、この手順は不要です。（ユーザー番号入力後、自動的にログインします。）

3



各機能を使用後、操作を終了するときは[ログアウト/トーン]キー（*）を押す



- ファクスモードで相手先の番号を入力している途中に[ログアウト/トーン]キー（*）を押すとファクス用の入力キーとして扱われます。
- 本機を使った最後の操作から一定時間が経過した場合、オートクリアがはたらきます。オートクリアがはたらくと自動的にログアウトします。ただし、リモートPC スキャンモードを利用中は[ログアウト/トーン]キー（*）を押してもログアウトできず、オートクリアもはたらきません。一度、本機のモードを変更してからログアウトしてください。

ユーザー番号の入力を3回まちがえたときは…

システム設定（管理者）で「ログイン失敗時の警告」を設定しているとき、番号入力を3回まちがえると、それ以上入力できないように5分間ロックされます。

本機の管理者に連絡して、与えられたユーザー番号を確認してください。

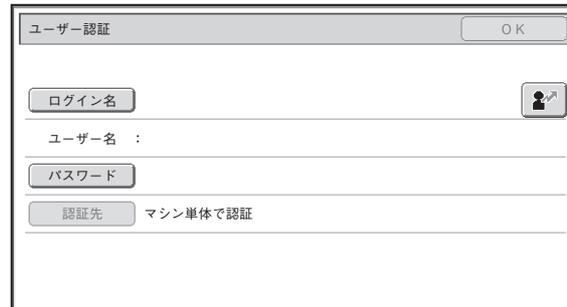


管理者の方はロックされている状態を解除することができます。

Webページのメニューにある[ユーザー管理]→[初期設定]から操作パネルのロックを解除してください。

ログイン名／パスワード方式の場合

あらかじめ本機の管理者またはLDAPサーバーの管理者から与えられたログイン名とパスワードを使って、認証を受ける方式です。



ログイン名／パスワード方式で管理している場合

(ただしLDAP認証を利用しているときは画面の表示項目が異なる場合があります。)

1



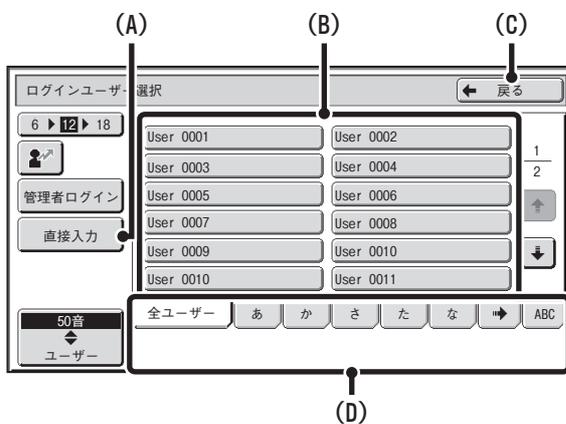
[ログイン名]キーまたは キーをタッチする

[ログイン名]キーをタッチすると、ユーザー名を選択する画面が表示されます。次の手順へ進んでください。

 キーをタッチすると、メッセージ表示部に「登録No.」を入力するエリア[---]が表示されます。

システム設定（管理者）の「ユーザーリスト」であらかじめ設定されている「登録No.」を数字キーで入力します。「登録No.」入力後、手順3へ進んでください。

2



ユーザー名を選択する

(A) [直接入力]キー

システム設定（管理者）でユーザー登録されていない場合で、LDAP認証のみを利用しているユーザーはこのキーを使用します。

このキーをタッチすると、文字入力画面が表示されます。認証に用いるログイン名を入力してください。

(B) ユーザー選択キー

システム設定（管理者）の「ユーザーリスト」で設定されているユーザー名からタッチします。

(C) [戻る]キー

ユーザー認証画面に戻ります。

(D) インデックスタブについて

[全ユーザー]タブには、すべてのユーザーが表示されます。それ以外のタブでは、登録時に入力した検索文字を元に分類されて表示されます。

50音のタブは、「あ」から「な」と、「は」から「わ」に分かれて表示されます。表示されていない50音のタブは、  をタッチして切り替えてください。



LDAP認証は、お客様のサーバー管理者によってLAN（ローカルエリアネットワーク）上でLDAPサービスが提供されているときに使用できます。



[パスワード]キーをタッチする

パスワードを入力するための文字入力画面が表示されます。システム設定（管理者）の「ユーザーリスト」で登録されているパスワードを入力します。

LDAPサーバーで認証を受ける場合はLDAPサーバーのログイン名に登録されているパスワードを入力してください。入力した文字は「*」で表示されます。パスワードの入力が完了したあとは[OK]キーをタッチします。LDAP認証時、システム設定（管理者）の「ユーザーリスト」で登録されているパスワードとLDAPサーバーのパスワードが異なる場合は、LDAPサーバーのパスワードを使用してください。



- LDAPサーバーを登録している場合は、[認証先]が変更できます。
- **ユーザー選択キーからログインしたときは…**
ユーザー登録時に接続するLDAPサーバーを登録しているので、ログイン名を選択したときから認証先が表示されています。手順4へ進んでください。
- **[直接入力]キーからログインしたときは…**
[認証先]キーをタッチします。

3



ログインするLDAPサーバーを選択して、[OK]キーをタッチします。



4



(ただしLDAP認証を利用しているときは画面の表示項目が異なります。)

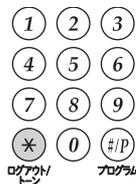
[OK]キーをタッチする

入力したログイン名、パスワードが認証されたときは、ユーザーの使用枚数が画面にしばらく表示されます。

使用状況	: 使用済み/残り枚数
白黒	: 87,654,321/12,345,678
フルカラー	: 87,654,321/12,345,678

残り枚数は、システム設定（管理者）の「使用枚数制限グループリスト」で使用枚数制限が設定されている場合にのみ表示されます。（そのユーザーがあと何枚コピーやスキャンなどできるかの残量が表示されます。）この画面の表示時間はシステム設定（管理者）の「メッセージ表示時間の設定」で変更できます。

5



各機能を使用後、操作を終了するときは[ログアウト/トーン]キー（*）を押す



- ファクスモードで相手先の番号を入力している途中に[ログアウト/トーン]キー（*）を押すとファクス用の入力キーとして扱われます。
- 本機を使った最後の操作から一定時間が経過した場合、オートクリアがはたらきます。オートクリアがはたらくと自動的にログアウトします。ただし、リモートPC スキャンモードを利用中は[ログアウト/トーン]キー（*）を押してもログアウトできず、オートクリアもはたらきません。一度、本機のモードを変更してからログアウトしてください。

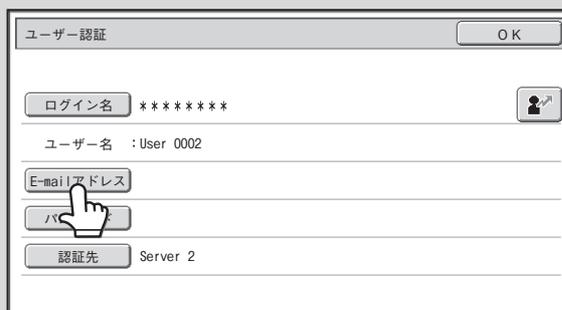
ログイン名、パスワードの入力を3回まちがえたときは…

システム設定（管理者）で「ログイン失敗時の警告」を設定しているとき、ログイン名、パスワードを3回まちがえると、それ以上入力できないように5分間ロックされます。

本機の管理者に連絡して、与えられたログイン名やパスワードを確認してください。



- 管理者の方はロックされている状態を解除することができます。Webページのメニューにある[ユーザー管理]→[初期設定]から操作パネルのロックを解除してください。
- LDAP認証が設定されているときはその認証方法の違いで[E-mailアドレス]キーが表示されている場合があります。手順3で[E-mailアドレス]キーが表示されているときは、そのキーをタッチします。このキーをタッチすると、文字入力画面が表示されます。E-mailアドレスを入力してください。



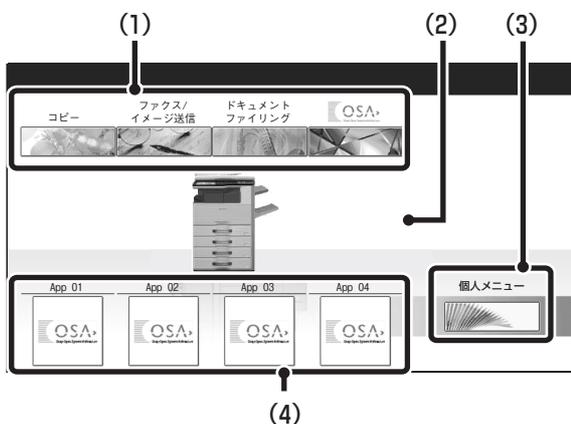
システム設定（管理者）：ユーザーリスト

本機を使用する方のユーザー名を登録します。その際にログイン名、ユーザー番号、パスワードなどの詳細な情報を登録します。本機を使用するために必要な情報は、あらかじめ本機の管理者にお問い合わせください。

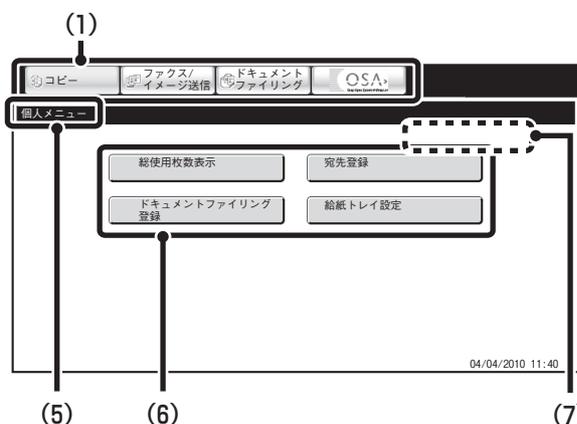
ホーム画面について

本機の操作パネルの[ホーム画面]キーを押すと、タッチパネルにホーム画面が表示されます。ホーム画面には、モード切替キーが表示され、それらをタッチして各モードの基本画面を呼び出すことができます。また、[個人メニュー]キーをタッチすると、あらかじめ登録しておいた機能のショートカットが表示されます。

1画面目



2画面目



(1) モード切り替えキー

コピー、ファクス/イメージ送信、ドキュメントファイリング、Sharp OSAの各機能を切り替えるときにタッチします。キーの名称や画像は変更することができます。(1画面目のみ)

(2) 背景画像

ホーム画面の背景画像です。背景画像は変更することができます。

(3) [個人メニュー]キー

個人メニュー画面へ移動するときにタッチします。キーの名称や画像は変更することができます。

(4) アプリケーションキー

Sharp OSAアプリケーションのショートカットと個人メニュー登録ショートカットをあわせて8つまで表示させることができます。

(5) タイトル

個人メニュー画面のタイトルが表示されます。

(6) ショートカットキー

登録した機能がショートカットキーとして表示されます。キーをタッチすると、登録した機能を呼び出すことができます。

(7) ユーザー名

ログインしているユーザーの名前が表示されます。ユーザー名は、本機のユーザー認証が設定されている場合に表示されます。

個人メニュー画面には、機能のショートカットをキーとして登録できます。登録したキーをタッチすると、その機能の設定画面が表示されます。よく使う機能を個人メニュー画面に登録しておけば、設定画面を呼び出す操作を省略できます。また、ユーザー認証時は、お好み操作グループの個人メニュー画面を表示させることができます。

以下の設定はWebページから行ってください。

- ホーム画面のキー名称変更、画像の変更、アプリケーションキーの登録
- 個人メニュー画面に表示させるキーの登録



システム設定 (管理者)：ホーム画面設定

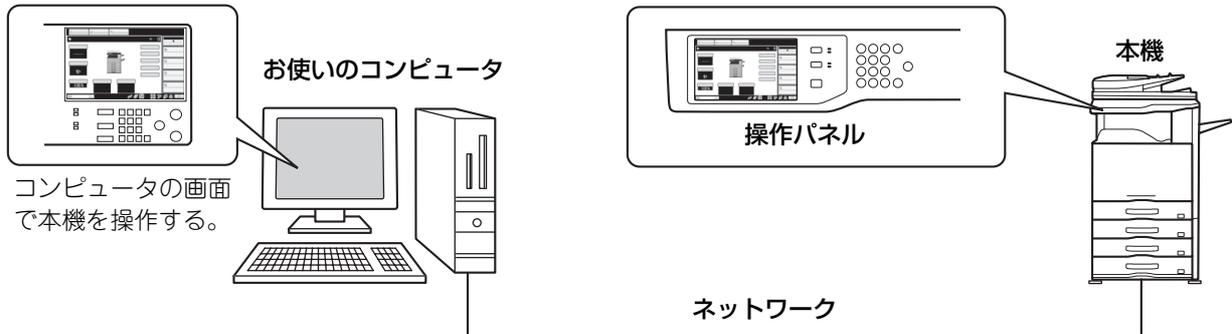
Webページメニューにある[システム設定]→[操作設定]の「ホーム画面設定」で登録します。

システム設定 (管理者)：ホーム画面リスト

ユーザー認証を利用している場合は、「お好み操作グループリスト」ごとにホーム画面を設定することができます。Webページメニューにある[ユーザー管理]の「ホーム画面リスト」で登録します。

本機の遠隔操作について (リモートオペレーション)

リモートオペレーションとは、お使いのコンピュータから本機の遠隔操作を可能にする機能です。この機能を導入すると、本機の実操作パネル部と同じ画面が、お使いのコンピュータに表示されます。これにより、本機の前で操作を行う操作と同じ感覚で、コンピュータから本機を操作することができます。



リモートオペレーション機能を同時に使えるコンピュータは1台までです。

リモートオペレーション機能の使用方法

お使いになる前に、システム設定（管理者）の「リモート操作設定」で「リモートソフトの操作」の「操作権限」を「許可」に設定してください。

☞ 7. システム設定 「リモート操作設定」(7-73ページ)

また、リモートオペレーション機能を使用するためには、本機がネットワークに接続され、お使いのコンピュータにVNCアプリケーションソフトがインストールされている必要があります（推奨VNCソフト：RealVNC）。

この機能を使用する手順は以下のとおりです。

例：RealVNCの場合

1

コンピュータから本機へ接続する

- (1) VNCビューワを起動する
- (2) 「サーバ」の入力欄に、本機のIPアドレスを入力する
- (3) [OK]ボタンをクリックする

2 本機の実操作パネルで、メッセージに従って接続を許可する

2

☞ リモートソフト 接続中は、本機タッチパネルのシステムバーに が表示されます。接続を切断したい場合は、リモートソフトを終了するか、 をタッチしてください。

コンピュータ上に表示される操作パネルの操作は本機と同様です。ただし、キーを押し続けて値を連続で入力することはできません。操作方法については、本書の各機能編を参照してください。

システム設定（管理者）：リモート操作設定
リモートオペレーション機能の操作権限を設定します。

ジョブログ記録項目一覧

本機はジョブを行った記録をジョブログとして記録します。
以下は、ジョブログに記録されている項目のおもな内容です。

-  ジョブログは構成の異なる複合機の使用状況を容易に集計できるよう、周辺装置の装着の有無や記録の目的にかかわらず、常に一定項目で使用状況を記録します。
- ジョブログはジョブ中の電源断などにより、正しく記録されない場合があります。

No.		項目名	内容
1	基本項目	ジョブID	ジョブのIDが記録されます。 最大999999までの連番がログに書き込まれたあとは、1からカウントします。
2		ジョブモード	コピー、プリントなどのジョブモードの種別を記録します。
3		コンピュータ名	プリンタージョブを送信したコンピュータ名を記録します。*
4		ユーザー名	ユーザー認証機能を利用したときのユーザー名を記録します。
5		ログイン名	ユーザー認証機能を利用したときのログイン名を記録します。
6		ICカード発行回数	SSFC ICカードに書き込まれている発行回数を記録します。
7		開始日時	ジョブの開始時刻を記録します。
8		終了日時	ジョブの終了時刻を記録します。
9		白黒合計枚数	印刷ジョブでは合計カウントを記録します。 送信ジョブでは白黒送信ページ数を記録します。同報送信をまとめて記述した場合は、合計のページ数を記録します。 スキャン保存ジョブでは白黒保存枚数を記録します。
10		フルカラー合計枚数	印刷ジョブでは合計カウントを記録します。 送信ジョブではフルカラー送信ページ数を記録します。同報送信をまとめて記述した場合は、合計のページ数を記録します。 スキャン保存ジョブではフルカラー保存枚数を記録します。
11		サイズ別カウント	原稿・用紙サイズとカラー・白黒モード、それぞれの組み合わせのカウント数を記録します。
12		サイズ別用紙枚数	用紙サイズ別に枚数を記録します。
13		白黒無効紙カウント	白黒無効紙のカウントを記録します。
14		カラー無効紙カウント	カラー無効紙のカウントを記録します。
15		予約部数	部数設定した数や予約した宛先件数を記録します。
16		完了部数	完了した部数や送信が成功した宛先件数を記録します。
17		予約ページ数	コピーやプリンター、スキャンなどの原稿のページ数を記録します。
18		完了ページ数	1部あたりの完了ページ数を記録します。
19		結果	ジョブ実行結果を記録します。
20		エラー原因	ジョブ中にエラーが発生したときにその原因を記録します。

No.		項目名	内容
21	印刷ジョブ関連項目	仕上げ方法	印刷ジョブの仕上げ方法を記録します。
22		ステープル	ステープルの状態を記録します。
23		ステープルカウント	ステープルの回数を記録します。
24		パンチカウント	パンチの回数を記録します。
25		プリンター階調性	プリンタージョブの階調性を記録します。
26	イメージ送信関連項目	宛先	イメージ送信ジョブの宛先を記録します。
27		送信者名	イメージ送信ジョブの送信者名を記録します。
28		送信者アドレス	イメージ送信ジョブの送信者アドレスを記録します。
29		送信タイプ	イメージ送信ジョブの送信タイプを記録します。
30		管理連番	イメージ送信ジョブの管理連番を記録します。
31		同報件数	イメージ送信ジョブの同報件数を記録します。
32		予約順番	イメージ送信ジョブの同報送信時の予約順番を記録します。順次ポーリングジョブ記録時に、通信と印刷の関連づけのために用います。
33		ファイル形式	イメージ送信ジョブでファイル形式を記録します。
34		圧縮形式/圧縮率	イメージ送信ジョブのファイルの圧縮形式を記録します。
35		通信時間	イメージ送信ジョブの通信時間を記録します。
36		発信元番号	登録された発信元番号を記録します。
37	ドキュメントファイリング関連項目	ドキュメントファイリング	ドキュメントファイリングの状態を記録します。
38		保存モード	ドキュメントファイリングの保存モードを記録します。
39		ファイル名	ドキュメントファイリングで保存したファイルやリテンションプリントで保存したファイル名を記録します。*
40		ファイル容量[KB]	ファイルの容量を記録します。
41	機能共通項目	カラー設定	ユーザーによって選択されたカラーモードを記録します。
42		特別機能	ジョブ実行時に選択した特別機能を記録します。
43		ファイル名 2	プリントデータのファイル名を記録します。*
44	詳細項目	原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを記録します。 ドキュメントファイリング印刷ジョブでは、ファイルの用紙サイズを記録します。
45		原稿タイプ	文字、印画紙写真など濃度設定画面にて設定した原稿タイプを記録します。
46		用紙サイズ	印刷ジョブでは印刷用紙サイズを記録します。 送信ジョブでは送信用紙サイズを記録します。 スキャン保存ジョブでは保存ファイルの用紙サイズを記録します。
47		用紙タイプ	印刷用紙タイプを記録します。
48		用紙属性:両面不可	「用紙タイプ」で記録した用紙の両面不可属性を記録します。
49		用紙属性:表裏あり	「用紙タイプ」で記録した用紙の表裏あり属性を記録します。
50		用紙属性:ステープル不可	「用紙タイプ」で記録した用紙のステープル不可属性を記録します。

No.		項目名	内容
51	詳細項目	用紙属性:パンチ不可	「用紙タイプ」で記録した用紙のパンチ不可属性を記録します。
52		両面設定	両面設定を記録します。
53		画質/解像度	原稿読み込み時の解像度を記録します。
54	機器項目	製品名	本機のモデル名を記録します。
55		シリアル番号	本機のシリアル番号を記録します。
56		名称	お客様がWebページで設定した本機の名称を記録します。
57		設置場所	お客様がWebページで設定した本機の設置場所を記録します。

※ご利用環境により記録されない場合があります。

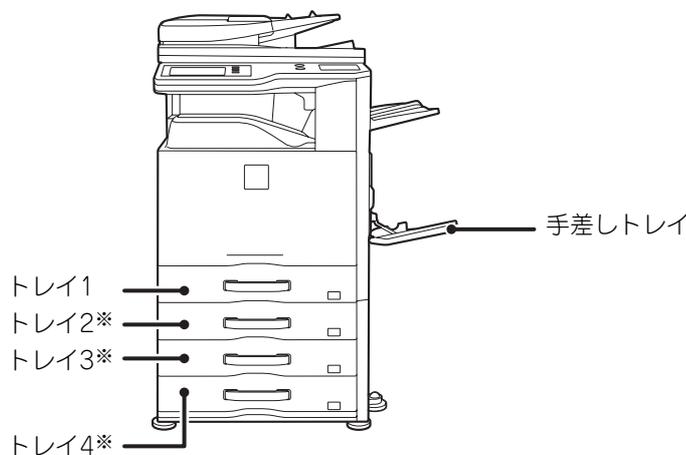
用紙補給について

用紙補給する前に

ここでは用紙をトレイにセットする前に知っておいていただきたいことについて説明しています。トレイに用紙をセットする前に必ずお読みください。

トレイの位置と名称について

各トレイの名称は次のとおりです。



※給紙デスク装着時

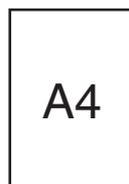
用紙サイズの「R」表記について

縦長方向および横長方向のいずれの向きでもセットできるサイズの原稿や用紙の場合、横長方向でのセット状態を示すときは、サイズの後ろに「R」を付けて表記し、縦長方向でのセット状態と区別しています（A4R、B5R、8-1/2"x11"Rなど）。

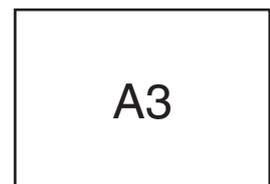
なお横長方向でしかセットできないサイズ（A3W、A3、B4、12"x18"、11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x13"）については、この区別を必要としないため「R」を付けずに表記しています。



横長方向でのセット状態
「R」を付けて表記しています。



縦長方向でのセット状態
「R」を付けずに表記しています。



横長方向でしかセットできない
「R」を付けずに表記しています。

使用できる用紙

一般に市販されている用紙にはさまざまな種類のものがあります。ここでは本機で使用できる用紙を普通紙と特殊紙の2種類に区別して説明しています。それぞれのトレイにセットできる用紙のサイズや種類の詳細については、スタートガイドの「仕様」と「7. システム設定」の「給紙トレイ設定」(7-12ページ)を参照してください。

普通紙、特殊紙について

使用できる普通紙

- シャープ標準用紙 (64g/m²の普通紙。用紙の仕様はスタートガイドの「シャープ標準用紙仕様基準」を参照してください。)
- シャープ標準用紙以外の普通紙 (60g/m²~105g/m²)
再生紙、色紙、パンチ紙などの用紙を使用するときは普通紙と同様の制約があります。ご使用になる際は、お買いあげ販売店またはスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

トレイで使用できる用紙の種類について

各トレイには、次の種類の用紙をセットすることができます。

	トレイ1/トレイ2/トレイ3/トレイ4	手差しトレイ
普通紙	使用可	使用可
印刷済み用紙	使用可	使用可
再生紙	使用可	使用可
レターヘッド紙	使用可	使用可
パンチ紙	使用可	使用可
色紙	使用可	使用可
厚紙1※1	使用可	使用可
厚紙2※1	—	使用可
ラベル紙	—	使用可
光沢紙	—	使用可
OHPフィルム (S4BG68)	—	使用可
タブ紙	—	使用可
封筒	—	使用可
郵便はがき	—	使用可
薄紙※2	—	使用可

※1 「厚紙1」は209g/m²までの厚紙、「厚紙2」は256g/m²までの厚紙です。

※2 使用できる薄紙は55g/m²~59g/m²の用紙です。

用紙の向きについて

トレイに用紙をセットする場合、トレイや用紙の種類によって、用紙をセットするときのプリント面の向きが異なります。

トレイ1からトレイ4の場合

プリントしたい面を上向きにセットしてください。

ただし、用紙の種類（タイプ）が「レターヘッド紙」および「印刷済み用紙」の場合は、プリントしたい面を下向き※にセットしてください。

手差しトレイの場合

プリントしたい面を下向きにセットしてください。

ただし、用紙の種類（タイプ）が「レターヘッド紙」および「印刷済み用紙」の場合は、プリントしたい面を上向き※にセットしてください。

※ システム設定（管理者）の「両面機能の使用禁止」が設定されている場合は、通常の向き（トレイ1～トレイ4では上向き、手差しトレイでは下向き）にセットしてください。

使用禁止用紙

- インクジェットプリンター用特殊紙（ファイン紙／光沢紙／光沢フィルム紙／郵便はがき等）
- カーボン紙／感熱紙
- 糊がついた用紙
- クリップのついた用紙
- 折り跡のある用紙
- 破れのある用紙
- オイルフィード用OHPフィルム（例.S4BG746）
- SF4A6CS/SF4A6FSのOHPフィルム
- 55g/m²未満の薄紙
- 257g/m²以上の厚紙
- 折り目のある往復はがき
- 形状が不規則な用紙
- ステープルされた用紙
- 濡れている用紙
- カールした用紙
- プリントする面または裏面が、他のプリンターや複合機で一度プリントされた用紙
- 吸湿して波打ちした用紙

推奨しない用紙

- アイロンプリント紙
- 和紙
- 折り目がない往復はがき
- ミシン目がある用紙

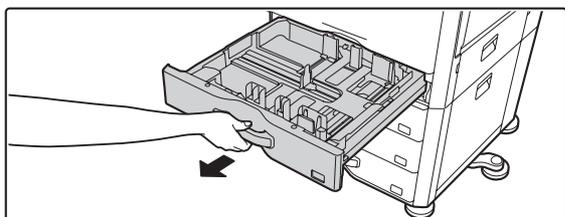
- ❗
- 一般に市販されている普通紙、特殊紙にはさまざまな種類のものがあり、なかにはこの製品で使用できないものもあります。ご使用になる際は、お買いあげ販売店またはスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。
 - 環境、使用条件、用紙の特性によって画質、定着性が変化し、シャープ標準用紙のような画質が得られない場合があります。ご使用になる際は、お買いあげ販売店またはスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。
 - 推奨しない用紙や使用禁止の用紙を使用すると、斜め送り、紙づまり、定着不良（プリント用紙へのトナーの融着力が弱くなり、こすると画像が消える現象）、故障などの原因となります。
 - 推奨しない用紙を使用すると、プリント品位が低下したり、紙づまりなどの原因となりますので、前もって正しくプリントできるか確認してください。

トレイ1~4のトレイ設定について

用紙補給とサイズ変更の方法

トレイ1~4にはA5RからA3 (5-1/2"x8-1/2"Rから11"x17") サイズまでの用紙を最大550枚セットできます。

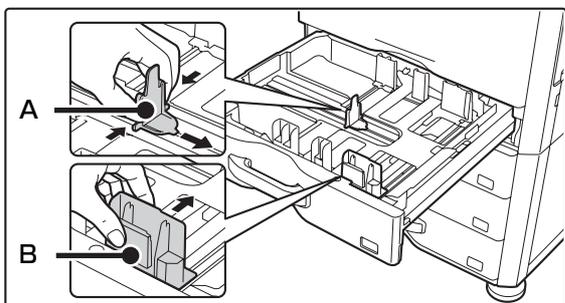
1



トレイを引き出す

トレイを止まるまで静かに引き出してください。そのまま用紙を補給する場合は、手順3へ進んでください。異なるサイズの用紙を補給する場合は、次の手順へ進んでください。

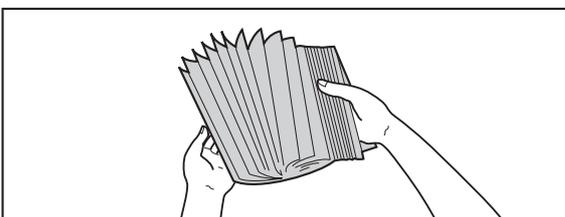
2



トレイ内の仕切り板A、Bを、用紙の縦と横のサイズに合わせる

仕切り板A、Bはスライド式です。固定ノブをつまみながら、スライドさせて変更する用紙サイズに合わせてください。

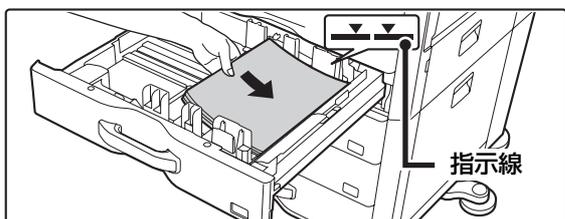
3



用紙をさばく

用紙はセットする前によくさばいてください。さばかないと用紙が重なって複数枚給紙され、紙づまりの原因となります。

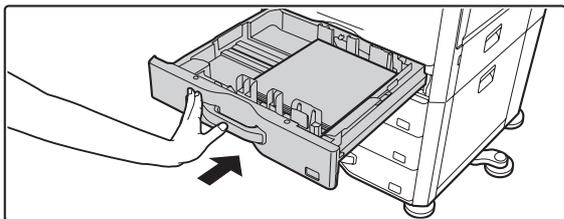
4



用紙をトレイに入れる

用紙はプリントしたい面を上向きにして、指示線をこえない枚数（最大550枚）をセットしてください。

5



トレイを静かに押し込む

奥まで確実に押し込んでください。



用紙の種類（タイプ）やサイズを変更した場合は、システム設定の「給紙トレイ設定」で、必ず設定を確認してください。正しく設定されていないと、用紙の自動選択に影響し、プリントできない・異なるサイズや種類（タイプ）の用紙にプリントされる・紙がつまる、などの原因となります。



トレイを引き出したときに重い物を載せたり、上から強く押さえつけたりしないでください。

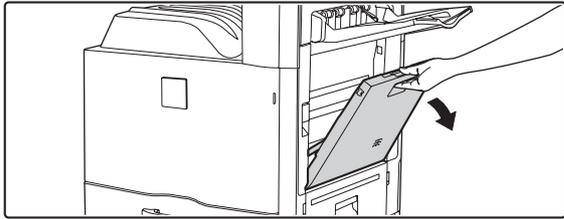


システム設定：給紙トレイ設定（7-12ページ）

トレイにセットする用紙サイズや用紙の種類（タイプ）を変更するときに設定します。

手差しトレイへの用紙補給

手差しトレイを使用すると、普通紙や郵便はがき、封筒、ラベル紙、タブ紙などの特殊紙にプリントすることができます。また、用紙を最大100枚（厚紙は最大40枚、郵便はがきは20枚まで）セットすることができ、他トレイと同じように連続プリントすることができます。



手差しトレイを開く

1

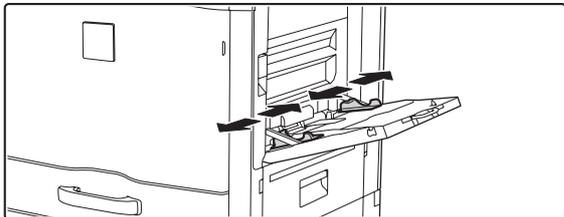


大きなサイズの用紙をセットするときは必ず補助トレイを引き出してください。補助トレイはいっぱいまで確実に引き出してください。確実に引き出さないと、手差しトレイにセットされた用紙のサイズが正しく表示されません。



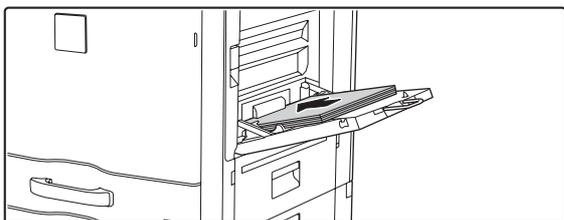
手差しトレイに重い物を載せたり、上から強く押さえたりしないでください。

2



手差しガイドをセットする用紙のサイズに合わせる

3



手差しガイドに沿って突き当たるところまで確実に用紙を挿入する

プリントしたい面を下向きにセットしてください。

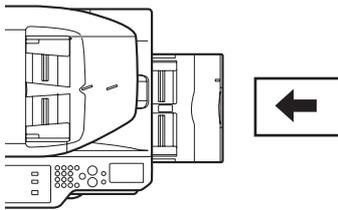


- セットする用紙は強く押し込まないでください。
- 用紙と手差しガイドの間にすき間がある場合は、再度手差しガイドを用紙の幅にきちんと合わせてください。すき間があると斜め送りやシワ寄りの原因となります。

手差しトレイを使用する場合の注意事項

- シャープ標準用紙以外の普通紙や、シャープ推奨のOHPフィルム以外の特殊紙、裏面への出力の場合は、必ず1枚ずつ挿入してください。2枚以上挿入すると、紙づまりの原因となります。
- 用紙をセットする前にカールをよくのばしてください。
- 用紙をつぎたすときは、手差しトレイ上の用紙をいったん取り出し、つぎたす用紙と一緒にそろえてから再度セットしてください。そのままつぎたすと、紙づまりの原因となります。

用紙のセット方法について



A5サイズ以下の用紙や郵便はがきは必ず図のように横長方向にセットしてください。

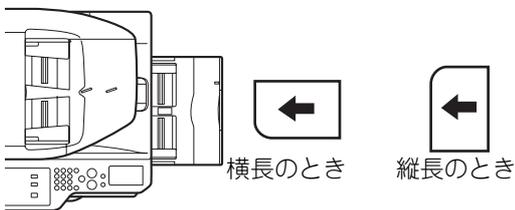
タブ紙のセット方法について

タブ紙にプリントしたいときはプリントしたい面を下向きにして、タブ紙を手差しトレイにセットしてください。



- タブ紙は、紙質のものを使用してください。紙質のもの以外のタブ紙（フィルム状のものなど）は使用できません。
- タブ紙のタブの部分にプリントしたいときは…
コピーモードの場合は、特別機能の「タブコピー」が便利です。プリンターモードの場合は、タブプリントが便利です。

OHPフィルムのセット方法について



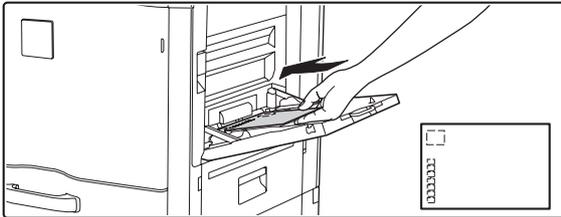
- OHPフィルムは、シャープ推奨のOHPフィルムをお使いください。OHPフィルムを使用するときは、OHPフィルムの丸みのついた角が横長方向のときは左前側、縦長方向のときは左奥側になるよう手差しトレイにセットしてください。
- OHPフィルムを手差しトレイにセットするときは、必ず数回さばいたうえで、セットしてください。
- OHPフィルムにプリントしたときは、必ず出力されて出てくるごとに1枚ずつ取り除いてください。排紙トレイ上で積み重なるとカールすることがあります。

郵便はがき／封筒のセットについて

手差しトレイに郵便はがきおよび封筒をセットする場合は、それぞれ図のような向きでセットしてください。

【郵便はがきのセット例】

必ずコピーやプリントをしたい面を下向きにしてセットしてください。図は宛名面にプリントする場合の例です。



【封筒のセット例】

封筒は宛名面にのみコピーやプリントができます。必ず宛名面を下向きでセットしてください。

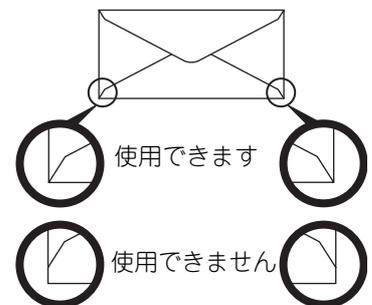


郵便はがきを使用する場合の注意事項

郵便はがきの両面にコピーやプリントをする場合は、一面目にプリントしたあと、カールがついてしまった場合はカールを直してからセットしてください。詳しくは、お買いあげ販売店またはスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

封筒を使用する場合の注意事項

- 封筒の両面にプリントしないでください。紙づまりや写り不良の原因となります。
- 使用する封筒によっては制限があります。詳しくは指定のサービス担当者にご相談ください。
- 使用する環境によってはシワ寄りや汚れ、紙づまりや定着不良、また故障の原因となる場合があります。
- 次のような封筒は使用しないでください。
金属片またはプラスチックのフックやリボンフックなどがついているもの、糸で閉じるようになっているもの、窓がついているもの、裏あてがついているもの、箔押しやエンボス加工など表面に凸凹のあるもの、二重封筒、封をするための接着剤やその他合成物がついているもの、手作り封筒、中に空気が入っているもの、しわや折り曲げ跡、切れ目など損傷のあるもの
- 封筒裏側の角部分の貼り合わせ位置が角の先端からずれているものは、シワ寄りの原因となるため、使用できません。
- 封筒の周囲10mmはプリント品位を保証していません。
- 封筒の4重になっている部分や3重以下の部分で、極端に段差がある部分についてはプリント品位を保証していません。
- フラップ貼付け用の離形紙がある部分についてはプリント品位を保証していません。



原稿について

ここでは、原稿自動送り装置と原稿台（ガラス面）に原稿をセットする方法について説明しています。

原稿をセットする

原稿自動送り装置に原稿をセットする

ここでは原稿を原稿自動送り装置にセットする方法について説明しています。

セットできる原稿の大きさ

最小原稿サイズ	最大原稿サイズ
定形サイズ (自動検知できる最小サイズ) A5 : 148mm (縦) x 210mm (横) 5-1/2" (縦) x 8-1/2" (横) 不定形サイズ (手動設定できる最小サイズ) 131mm (縦) x 140mm (横) 5-1/8" (縦) x 5-1/2" (横)	定形サイズ (自動検知できる最大サイズ) A3 : 297mm (縦) x 420mm (横) 11" (縦) x 17" (横) A3Wは使用できません。 不定形サイズ (手動設定できる最大サイズ) コピーモード : 297mm (縦) x 432mm (横) 11-5/8" (縦) x 17" (横) ファクス/イメージ送信モード : 297mm (縦) x 1000mm (横) 11" (縦) x 39-3/8" (横)

不定形サイズの原稿をセットするときは、それぞれの機能の説明を参照してください。

- ☞ 2. コピー「[原稿サイズを指定する](#)」(2-28ページ)
- ☞ 4. ファクス「[原稿の読み込み設定について](#)」(4-44ページ)
- ☞ 5. スキャナー/インターネットFax「[原稿の読み込み設定について](#)」(5-53ページ)

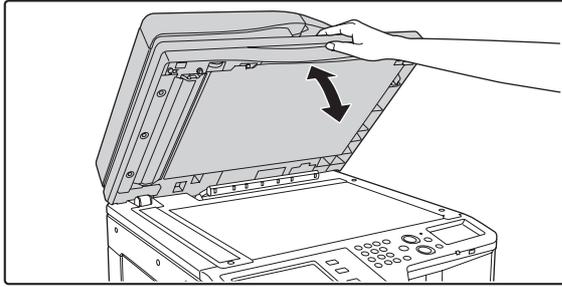
セットできる原稿の用紙坪量

片面コピー時: 35g/m ² ~128g/m ² 両面コピー時: 50g/m ² ~105g/m ²
--

35g/m²~49g/m²までの原稿を読み取るときは、特別機能の「薄紙読み込み」を使用してください。「薄紙読み込み」を設定せずに読み込むと原稿づまりの原因となります。

また「薄紙読み込み」を設定したときは両面読み込みはできません。

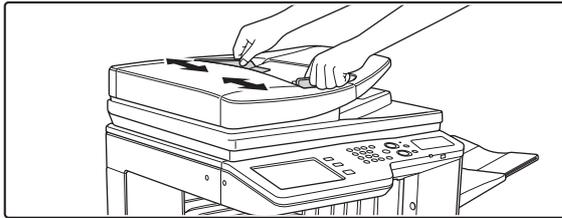
1



原稿が残っていないことを確認する

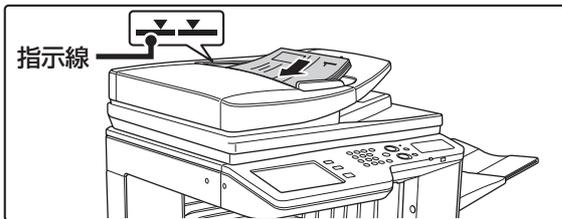
原稿自動送り装置を開け、原稿台（ガラス面）に原稿がないことを確認して原稿自動送り装置を閉じてください。

2



原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

3



原稿をセットする

原稿の端面をそろえてください。

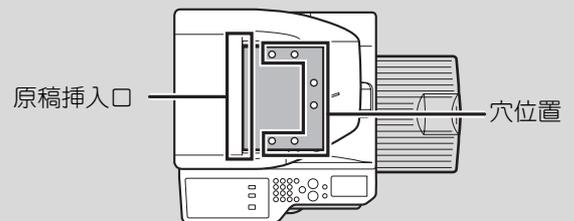
先頭ページを上向きにして原稿セット台の奥まで確実に挿入してください。

原稿セット台の指示線を超えない枚数をセットしてください。最大100枚セットできます。

原稿自動送り装置で読み取りを終了した原稿は、原稿出紙部から必ず取り除いてください。



- 原稿自動送り装置には異なるサイズの原稿をセットすることができます。その場合は各モードの特別機能から混載原稿を設定します。
- クリップやステーブルの針は、原稿から取りはずしてセットしてください。
- のり、インク、修正液が乾いていない原稿はよく乾かしてください。機器の内部や原稿台（ガラス面）の汚れの原因となります。
- 次のような原稿は使用しないでください。原稿サイズの誤検知や原稿がつかったり、送信画像やコピー結果に汚れが写る原因となります。
OHPフィルムや第2原図用紙、トレーシングペーパー、カーボン紙、感熱紙、しわやソリの大きいもの、破れている原稿、折れのある原稿、貼り合わせや切り抜きのある原稿、ファイル用の穴がたくさんあいている原稿（2穴、3穴のファイル穴原稿は使用できます。）、インクリボン（熱転写方式）でプリントした原稿（熱転写用紙など）
- ファイル用の穴のあいている原稿（2穴、3穴のファイル穴原稿）は、穴位置が原稿セット台の原稿挿入口以外の場所になるようにセットしてください。



原稿台（ガラス面）に原稿をセットする

ここでは原稿を原稿台（ガラス面）にセットする方法について説明しています。

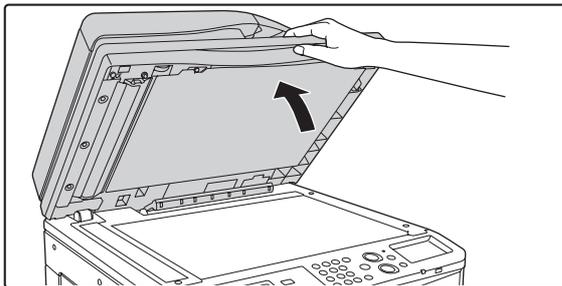
セットできる原稿の大きさ

最大原稿サイズ
定形サイズ A3 : 297mm (縦) x 420mm (横) 11" (縦) x 17" (横)
不定形サイズ 297mm (縦) x 432mm (横) 11-5/8" (縦) x 17" (横)

不定形サイズの原稿をセットするときは、それぞれの機能の説明を参照してください。

- ☞ 2. コピー「[原稿サイズを指定する](#)」(2-28ページ)
- ☞ 4. ファクス「[原稿の読み込み設定について](#)」(4-44ページ)
- ☞ 5. スキャナー／インターネット Fax「[原稿の読み込み設定について](#)」(5-53ページ)

1



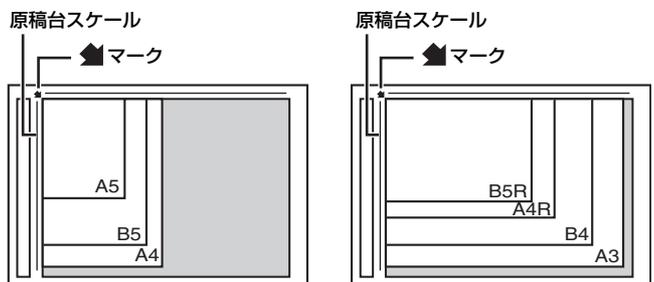
原稿自動送り装置を開く

2



原稿をセットする

原稿は下向きにして原稿台（ガラス面）の左奥を基準にセットしてください。



原稿はすべて左奥を基準にセットしてください。

▲マークの先に原稿左上の角を合わせてください。



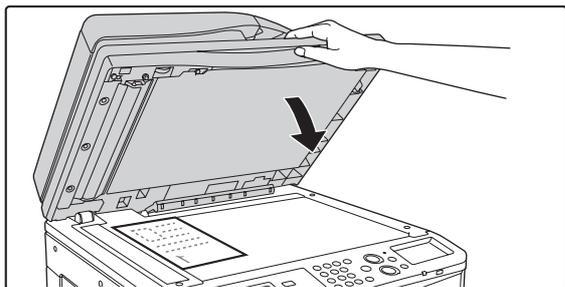
原稿サイズ検知板の下に物を置かないでください。

物がはさまった状態で原稿自動送り装置を閉じると、原稿サイズ検知板が壊れたり、原稿サイズが正しく検知されないことがあります。



原稿サイズが検知されない原稿を原稿台（ガラス面）にセットするときは、A4やB5などの定形サイズの白紙を原稿の上に重ねると原稿サイズが検知されやすくなります。

3

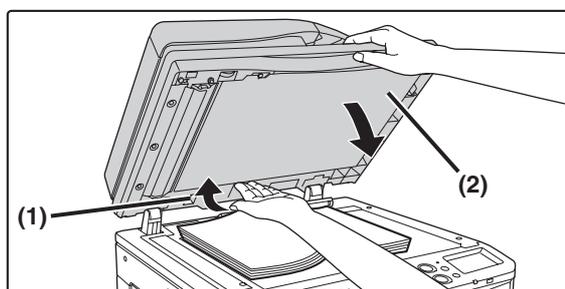


原稿自動送り装置を閉じる

原稿をセットしたあとは、原稿自動送り装置を必ず閉じてください。開いたままだと、原稿以外の部分が黒くコピーされてトナーの過剰消費につながります。

厚めの本などをセットするとき

厚めの本などを読み込むときは、次の方法で原稿を押さえて使用してください。



(1) 原稿自動送り装置の奥側を押し上げる

原稿自動送り装置を支える箇所（蝶番）が折れて、原稿自動送り装置の後ろが浮きあがります。

(2) 原稿自動送り装置をゆっくりと閉じる

⚠ 注意

- 原稿自動送り装置はゆっくりと閉じてください。勢いよく閉じると故障の原因となります。
- 原稿自動送り装置を閉じるときは、手をはさまないように注意してください。

 この状態のままでは、原稿自動送り装置は正しく閉じられません。通常の状態に戻すときは、いったん原稿自動送り装置を全開にしてから閉じると元の状態に戻ります。

周辺装置について

ここでは、本機で使用できる周辺装置の紹介と、フィニッシャーの使いかた、およびSharp OSA（アプリケーション通信キットと外部アカウントキット）について説明しています。

周辺装置の種類について

本機に周辺装置を装着することで、本機をより便利に使用することができます。
周辺装置は基本的に別売品ですが、お買いあげいただいた製品によっては、一部標準装備されているものもあります。

(2011年4月現在)

商品名	品番	説明
1段給紙デスク	MX-DE12	追加の給紙トレイです。それぞれのトレイに最大550枚の用紙をセットすることができます。
2段給紙デスク	MX-DE13	
3段給紙デスク	MX-DE14	
フィニッシャー	MX-FN17	ステーブル機能やオフセット機能を使用できる出力紙の後処理装置です。
パンチユニット	MX-PN11A	コピーなどの出力紙にパンチ穴をあけることができます。フィニッシャーが必要になります。
プラズマクラスターイオン発生装置	MX-PC12	空気中に浮遊しているカビ菌やウイルスを分解し、除去するために使用します。
プラズマクラスターイオン発生装置取り付けキット	MX-XB16	プラズマクラスターイオン発生装置を本機に取り付けるときに必要です。
プリンター拡張キット	MX-PB14	SPDL2-cのプリンター機能を追加します。
漢字フォントキット	MX-PF11	内蔵漢字フォントを追加します。(プリンター拡張キット(MX-PB14)が必要です。)
バーコード用フォントキット	MX-PF10	バーコード用のフォントを追加します。(プリンター拡張キット(MX-PB14)が必要です。)
PS拡張キット	MX-PK11	PostScript3互換プリンターとして使用することができます。(プリンター拡張キット(MX-PB14)が必要です。)
XPS拡張キット	MX-PUX1	XPS互換プリンターとして使用することができます。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。ご使用に際しては、1GBの増設メモリーボード(MX-SM10)が必要になります。(プリンター拡張キット(MX-PB14)が必要です。)
増設メモリーボード(1GB)	MX-SM10	本機で使用できるメモリーを拡張します。
インターネットファクス拡張キット	MX-FWX1	インターネットFax機能を追加します。
ハンドセット	MX-HNX1	受話器のセットです。ファクス機能時にハンドセットで通話することができます。
回線増設キット	MX-FL10	本機に2つの電話回線を接続することができます。
ICカードリーダーライタ	MX-ECX2	ICカードを使ってユーザー認証する際に必要です。非接触式ICカード(MX-CCX1を含む)を読み取ることができます。
ICカード	MX-CCX1	ICカードリーダーライタで使用できるICカードです。

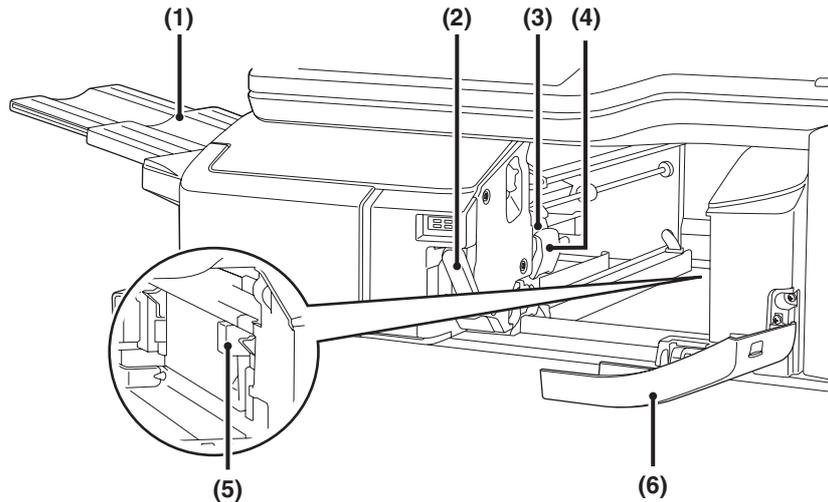
商品名	品番	説明
アプリケーション拡張キット	MX-AMX1	アプリケーション拡張キットとネットワークスキャナー機能を組み合わせて、スキャンした画像ファイルにメタデータファイルを添付して送信します。
アプリケーション通信キット	MX-AMX2	本機と外部のアプリケーションソフトをネットワーク経由で連携させることができます。
外部アカウントキット	MX-AMX3	本機で外部アカウントアプリケーションを利用するために必要です。
Sharpdesk 5ライセンスキット	MX-USX5	書類やコンピュータのファイルを統合管理するソフトウェアです。5ライセンスを使用できます。
SharpFiling 5ライセンスキット	MX-UFX5	書類やコンピュータのファイルを統合管理するソフトウェアです。Sharp OSAと連携して使用できます。5ライセンスを使用できます。
SharpFiling 追加1ライセンスキット	MX-UFX1A	SharpFilingに1ライセンスを追加します。
済スタンプユニット	AR-SU1	イメージ送信モードで読み込み済みの原稿にスタンプを押します。原稿自動送り装置が必要になります。

フィニッシャー

出力された用紙を1部ずつずらして排紙するオフセット機能を備えています。
またソートされた用紙を1部ずつステーブルすることができます。
さらに周辺装置のパンチユニットを装着すると、出力された用紙にパンチ穴をあけることができます。

各部のなまえ

ここではフィニッシャーを開けた状態で説明しています。



(1) 排紙トレイ

オフセットやステーブルされた用紙がここに出てきます。トレイはスライド式です。大きなサイズの用紙（A3W、A3、A4R、B4、B5R、12"x18"、11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x13"、8-1/2"x13-1/2"、8-1/2"x13-2/5"、8-1/2"x11"R、7-1/4"x10-1/2"R、8K、16KRサイズ）に出力するときはトレイをのばしてください。

(2) レバー

紙づまりや、針の交換、針づまりの処置など、フィニッシャーを移動させるときに使用します。

(3) 針ケース

ステーブル用の針カートリッジを入れるケースです。針カートリッジの交換、針づまり処置をするときに引き出します。

(4) 針ケース解除レバー

針ケースを取り出すときに使用します。

(5) パンチくずケース（パンチユニット装着時）

パンチしたときにでるパンチくずをためるケースです。

(6) 前カバー

紙づまりや、針の交換、針づまりの処置、またパンチくずケースを取り出すときに開きます。

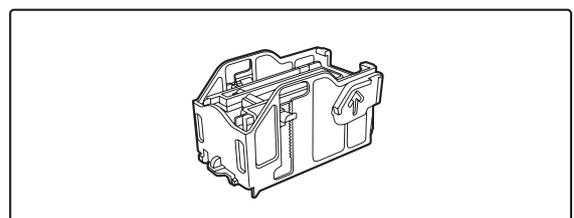


電源を入れたときや出力中は、排紙トレイが上下に動きますので、ご注意ください。

消耗品について

フィニッシャーには、消耗品として次の針カートリッジが必要です。

針カートリッジ（約5000本×3個入）
MX-SCX1



フィニッシャーのお手入れ

針カートリッジの針がなくなると、操作パネルにメッセージが表示されます。次の手順に従って針カートリッジを交換してください。

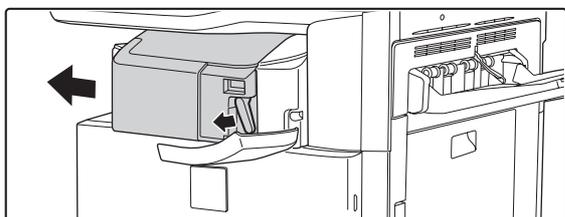
針カートリッジの交換

1



カバーを開ける

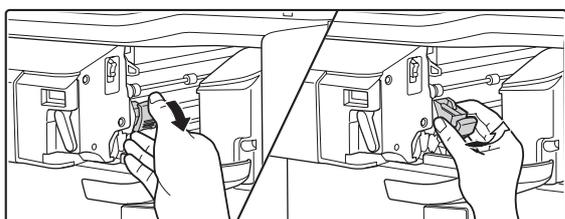
2



レバーを左側に倒しながら、フィニッシャーが止まるまで左側にずらす

フィニッシャーが止まるまで、ゆっくりとずらしてください。

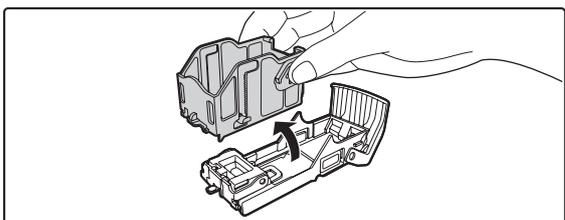
3



針ケースの解除レバーを下げて、針ケースを取りはずす

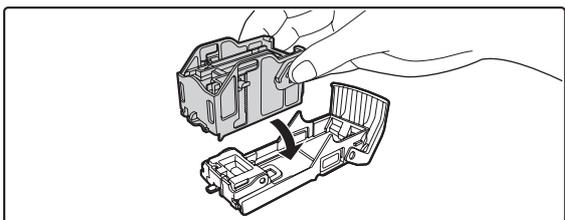
針ケースは右へ引き出してください。

4



針ケースから空の針カートリッジを取り出す

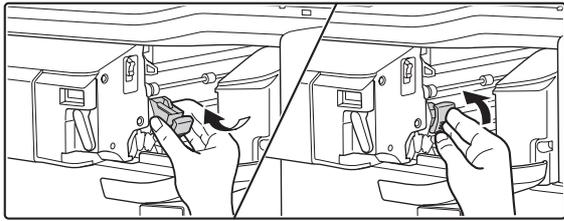
5



図のように新しい針カートリッジを針ケースにセットする

カチッと音がして、針カートリッジが固定されるまで押し込んでください。

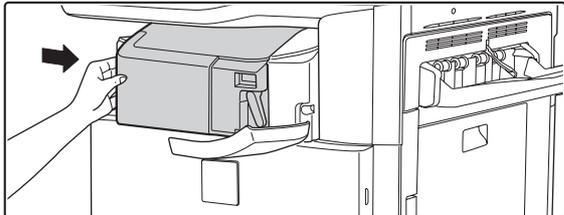
6



針ケースを押し込む

カチッと音がして、針ケースが固定されるまで押し込んでください。

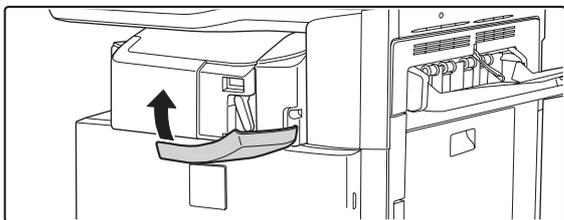
7



フィニッシャーを右側に戻す

フィニッシャーが固定されるまで、ゆっくりと戻してください。

8



カバーを閉じる



ステープルソート機能でためし出力を行い、針が打たれていることを確認してください。

パンチユニット

パンチユニットを装着すると、出力紙にパンチ穴をあけることができます。パンチユニットを装着するときはフィニッシャーが必要です。

パンチくずの処理

パンチ穴をあける際に出るパンチくずは回収箱に溜まります。次の手順でパンチくずを取り除いてください。

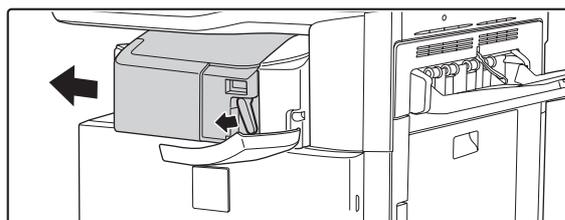
フィニッシャー装着時

1



カバーを開ける

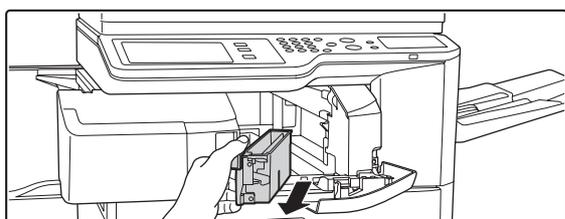
2



レバーを左側に倒しながら、フィニッシャーが止まるまで左側にずらす

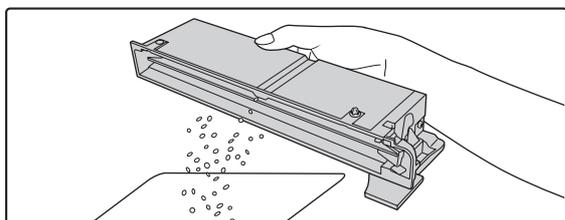
フィニッシャーが止まるまで、ゆっくりとずらしてください。

3

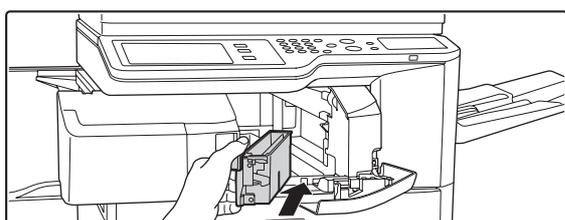


パンチくずのケースのつまみをつかみ、ケースをゆっくりと引き出し、パンチくずを取り除く

パンチくずは散らばらないように、ビニール袋などに入れて捨ててください。

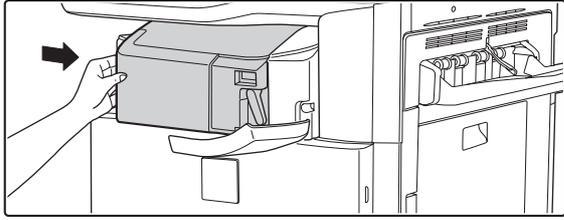


4



ケースをゆっくりと戻す

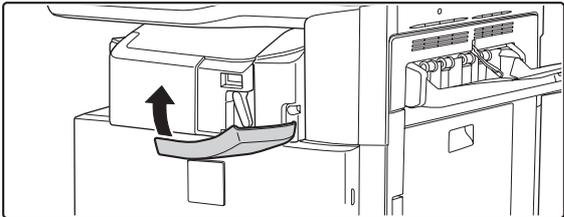
5



フィニッシャーを右側に戻す

フィニッシャーが固定されるまで、ゆっくりと戻してください。

6

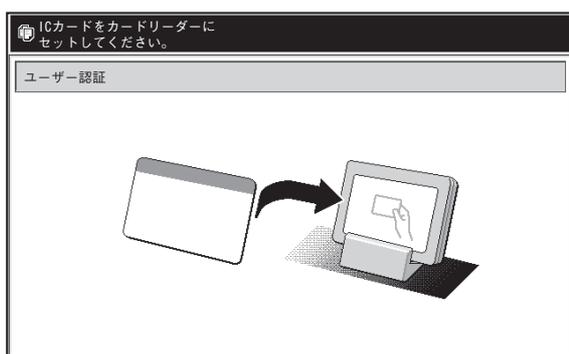


カバーを閉じる

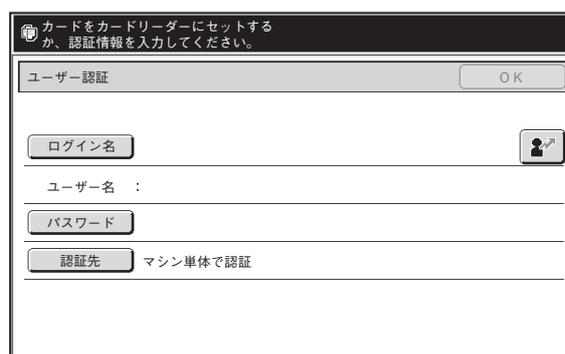
ICカードを使った認証について

MX-ECX2の場合

周辺装置のICカードリーダライタ（MX-ECX2）を装着し、非接触式のICカード（MX-CCX1を含む）を使って、ユーザー認証を行うことができます。ICカードリーダライタで認証を受ける場合、次の画面が表示されます。それぞれのログイン画面で設定されている認証方法によって、ログインの方法が異なります。



ICカードのみログイン可能なモード



ICカードと本機の操作パネルの両方でログイン可能なモード



ICカードを使った認証を使用する場合は、サービス担当者にご相談ください。

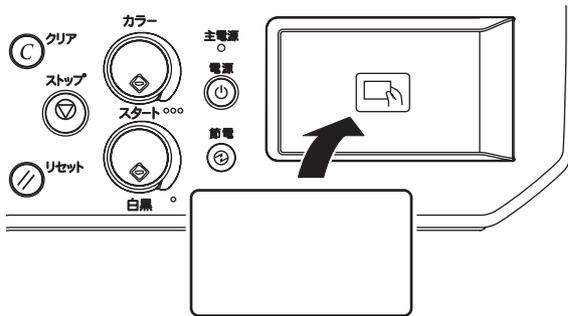


システム設定（管理者）：ICカード設定
ICカードの認証方法を設定します。

ICカードのみログイン可能なモードの場合

ICカードリーダライタが本機と正しく接続されていることを確認してから、認証を行ってください。

1



ICカードをICカード置き場にセットする

ICカードは横向きに1枚のみでセットしてください。
「しばらくお待ちください。」とメッセージを表示したあと、ユーザーの使用枚数が画面にしばらく表示され、ログインが完了します。
ICカードにPINコードが設定されている場合は、次の手順へ進んで、本機にログインしてください。認証先がLDAPサーバーの場合は、手順3へ進んで、本機にログインしてください。本機の操作が完了し、ログアウトしたい場合は、手順4へ進んでください。

2



ICカードにPINコードが設定されている場合は、ICカード用のパスワードを入力する

(1) [パスワード]キーをタッチする

[パスワード]キーをタッチすると、文字入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。

(2) [OK]キーをタッチする

「しばらくお待ちください。」とメッセージを表示したあと、ログインが完了します。



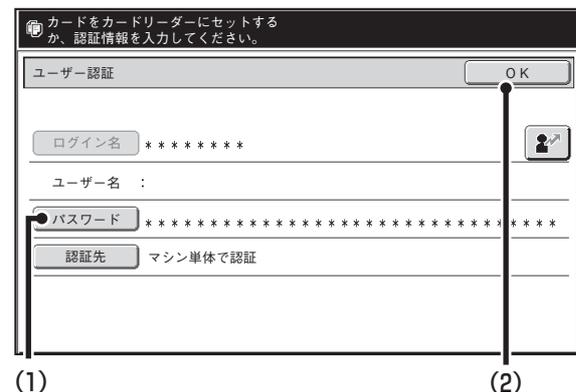
パスワードの入力をまちがえたときは…

パスワードの入力を、ICカードに設定された回数まちがえると、そのICカードでパスワードの入力ができなくなっています。本機の管理者に連絡して、対処してください。



ICカードの認証を行わずにログイン画面へ戻るときは[キャンセル]キーをタッチします。

3



認証先がLDAPサーバーの場合は、認証先のパスワードを入力する

(1) [パスワード]キーをタッチする

[パスワード]キーをタッチすると、文字入力画面が表示されます。LDAPサーバーのログイン名に登録されているパスワードを入力してください。

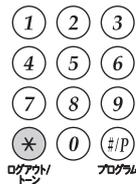
(2) [OK]キーをタッチする

「しばらくお待ちください。」とメッセージを表示したあと、ユーザーの使用枚数が画面にしばらく表示され、ログインが完了します。



- 認証先が表示されているLDAPサーバーと異なる場合は、[認証先]キーをタッチして、表示される画面から認証先のLDAPサーバーを選択してください。
- ログイン名の変更はできません。

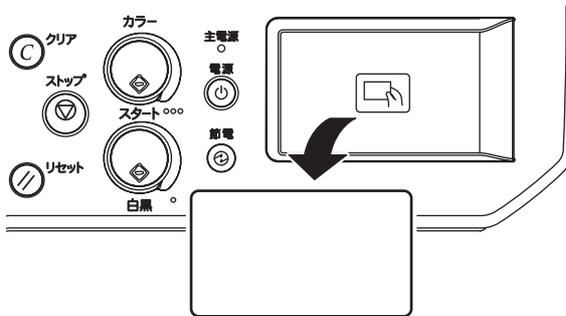
4



各機能を使用後、操作を終了するときは[ログアウト/トーン]キー（*）を押す

システム設定（管理者）の「ICカード設定」で「ICカードで自動的にログアウトする」が設定されている場合、ICカードをICカード置き場から取り去った時点でログアウトが完了します。（自動ログアウト）

5



ICカードをICカード置き場から取り去る

ICカードを取り去ることができる状態になっていることを確認してからICカードを取り去ってください。

認証を3回まちがえたときは…

システム設定（管理者）で「ログイン失敗時の警告」を設定しているとき、ICカードでの認証を3回まちがえると、それ以上入力できないように5分間ロックされます。本機の管理者に連絡して、対処してください。

ICカードと本機の操作パネルの両方でログイン可能なモードの場合

ICカードと本機の操作パネルの両方からログインが可能な場合、ICカードをセットし、認証に成功した場合、ICカードに登録されている「ログイン名」、「ユーザー名」、「認証先」などが入力された状態になります。パスワードの入力や認証先を変更する場合は、それぞれのキーをタッチして変更してください。入力方法や設定方法は「[ログイン名/パスワード方式の場合](#)」（1-19ページ）と同じです。入力が完了したあと、[OK]キーをタッチし、ログインしてください。ログアウトやカードを取り去る方法については上記の手順4、5を参照してください。

システム設定（管理者）の「ICカード設定」で「ICカードで自動的にログインする」が設定されている場合、ICカードをICカード置き場にセットするとログインが完了します。

 操作パネルでログインの情報を入力中に、ICカードをセットすると、入力した内容が消え、ICカードの情報に上書きされます。

自動ログアウトについて

システム設定（管理者）の「ICカードで自動的にログアウトする」が有効の場合、ICカードを取り出した時点で、自動的にログアウトします。コピーなどを実行中にICカードを取り出すと、ログアウトするタイミングや実行中の動作が次のようになります。

ICカードを取り出した状況	本機の状態
コピー、スキャナーなどで原稿を読み取り中の場合	原稿の読み取りが終了したあとに、ログアウトします。ログアウトした時点ではそれぞれのジョブは終了せず、引き続いてコピーや送信を実行します。
コピーを実行中の場合	ICカードを取り出した時点でログアウトします。ログアウトした時点ではコピージョブは終了せず、引き続いてコピーを行います。
リモートPCスキャンを実行中の場合	リモートPCスキャンモードを終了したあとに自動的にログアウトします。
大量原稿モードを実行中の場合	コピーやスキャンなどで大量原稿モードを実行している場合、[読み込み終了]キーをタッチしたあとに自動的にログアウトします。ログアウトした時点では大量原稿モードは終了せず、引き続いて大量原稿モードを実行します。



[ログアウト/トーン]キー（*）を押してもログアウトすることができます。

Sharp OSAについて

Sharp OSA（Open Systems Architecture）とは、デジタル複合機と業務用のアプリケーションソフト（外部アプリケーション）をネットワーク経由で直接結びつける仕組みのことです。

Sharp OSAに対応したデジタル複合機を利用すると、操作パネルのコントロールや、スキャン送信などのデバイス機能を、外部アプリケーションと連携させることができます。

外部アプリケーションは、「一般アプリケーション」と「外部アカウントアプリケーション」に区別されます。「外部アカウントアプリケーション」とは、ネットワーク上のデジタル複合機に対して集中的にアカウント管理をするためのアプリケーションです。「一般アプリケーション」とは、それ以外のアプリケーションのことです。

アプリケーション通信キット（MX-AMX2）

アプリケーション通信キットは、本機で「一般アプリケーション」を利用するために必要な周辺装置です。

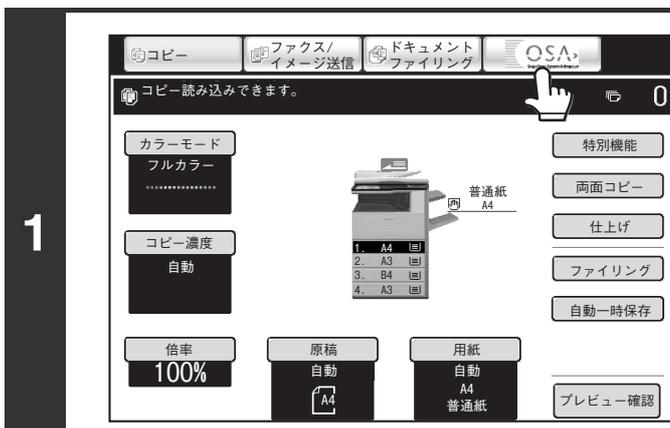
本機のWebページからあらかじめ登録した一般アプリケーションを選択すると、本機は登録されたURLから操作画面を取得します。操作画面のコントロールは一般アプリケーションによって行われ、ファイルサーバー送信スキャン、共有フォルダー送信スキャン、HTTPS通信の実行が可能です。

一般アプリケーションを設定する

本機のWebページから一般アプリケーションを設定するには、管理者用のメニューフレームから[アプリケーション設定]をクリックし、続けて[外部アプリケーション設定]、[一般アプリケーション]の順でクリックします。表示された画面で、一般アプリケーションの設定を行ってください。

一般アプリケーションを選択する

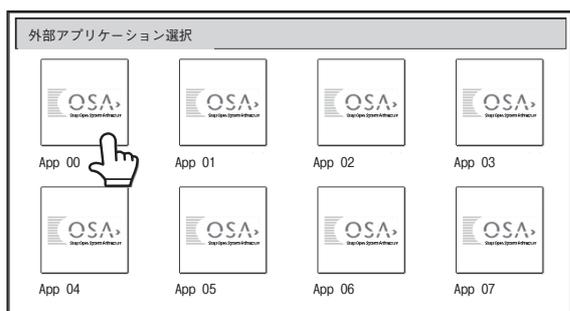
本機のWebページで設定した一般アプリケーションの選択方法は次のとおりです。



モード切り替えキーにある [Sharp OSA] キーをタッチする

Webページで一般アプリケーションが1つも登録されていない場合はタッチできません。

2



一般アプリケーションを選択する

Webページで2つ以上の一般アプリケーションが登録されている場合は、一般アプリケーションを選択する画面が表示されます。使いたい一般アプリケーションをタッチしてください。Webページで一般アプリケーションが1つだけ登録されている場合は、そのまま一般アプリケーションへの接続を開始します。

3

一般アプリケーションと接続する

一般アプリケーションと通信中には、「外部アプリケーションサーバーと接続中です。」とメッセージが表示されます。



スキャン実行中にモード切り替えキーをタッチすることはできません。

外部アカウントキット (MX-AMX3)

外部アカウントキットは、本機で「外部アカウントアプリケーション」を利用するために必要な周辺装置です。外部アカウントアプリケーションは、「外部認証モード」と「外部集計モード」で利用することができます。外部認証モードでは、本機を起動する際に、アプリケーションからログイン画面を取得します。ジョブ終了後は、ジョブ結果通知をアプリケーションに送信して認証ユーザーごとの集計が可能です。外部集計モードでは、本機を起動する際にログイン画面は表示されません。ジョブ結果通知のみアプリケーションに送信します。外部アカウントアプリケーションによるユーザー認証は利用できませんが、内部アカウント機能との併用は可能です。

外部アカウントアプリケーションを設定する

本機のWebページから外部アカウントアプリケーションを設定するには、本機の管理者用のメニューフレームから[アプリケーション設定]をクリックし、続けて[外部アプリケーション設定]、[外部アカウントアプリケーション設定]の順でクリックします。表示された画面で、外部アカウントアプリケーションの設定を行ってください。設定の変更は、本体の再起動後に有効になります。本体の再起動については、「電源を“入れる”・“切る”」(1-14ページ)を参照してください。

外部アカウントモードの動作について

ここでは外部アカウントアプリケーションを使用する際の、2つのモードの動作について記載します。

外部認証モード

システム設定(管理者)の「Sharp OSA設定」の「外部アカウント設定」で、[外部アカウントアプリケーションによる認証を有効にする]チェックボックスをオンにすると、本機は外部認証モードになります。外部認証モード中に本機の電源を「入」にしたときは、外部アカウントアプリケーションにアクセスしてログイン画面を表示します。また、ジョブ状況完了画面から[再操作]キーをタッチしたときにもログイン画面を表示します。(すでに通常の方法でログインしている場合は表示されません)ログイン画面表示中に[ジョブ状況]キーを押すと、ジョブ状況画面が表示されます。元に戻るときは、モード切り替えキーを押してください。



- 外部認証モードでは、本機のユーザー管理機能を利用することができません。ただし、「ユーザー登録」、「ユーザーカウント表示」、「ユーザーカウント消去」、「ユーザー情報プリント」、「ユーザー名表示件数切替」は利用することができます。
- ログイン画面表示中は、モード切り替えキーが無効になります。

ログインに失敗したときは

ログイン画面の表示に失敗したときや、アプリケーションが正常に動作していない場合などは、本機が正常に動作しなくなる場合があります。そんなときには、本機のWebページから外部アカウントモードを終了することをお勧めします。（詳しくは、Webページの[ヘルプ]を参照してください。）

本機の操作パネルから外部アカウントモードを強制終了する場合は、以下の手順を行ってください。

[システム設定] キーを押して、システム設定（管理者）の「外部アカウント設定」を変更します。設定の変更は、本体の再起動後に有効になります。本体の再起動については、「電源を“入れる”・“切る”」（1-14ページ）を参照してください。

外部集計モード

システム設定（管理者）の「Sharp OSA設定」の「外部アカウント設定」で、「外部アカウント管理」の設定のみを有効にした場合、本機は外部集計モードになります。

外部集計モードでは、外部認証モードとは違い、本機が起動する際の外部アカウントアプリケーションによるログイン画面は表示されません。ジョブ結果のみ外部アカウントアプリケーションに送信されます。

また、外部集計モードは、本機のユーザー管理機能と同時に利用することが可能です。（ユーザー管理機能が無効の場合でも、外部集計モードは利用可能です。）

お手入れについて

ここでは、本機の清掃やトナーカートリッジの交換、廃トナーボックスの交換、済スタンプカートリッジの交換について説明しています。

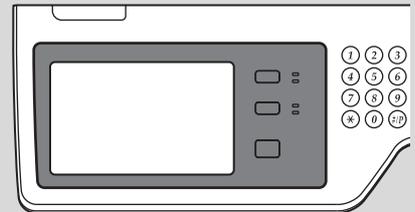
日常のお手入れ

末永くお使いいただくために、本機をときどき清掃してください。

警告

清掃するときは可燃性のスプレーなどを使用しないでください。スプレーのガスが内部の電気部品や定着部の高温部分に触れて火災や感電の原因になります。

- 清掃するときはベンジンやシンナーなどは使用しないでください。キャビネットの表面が変質したり、色が変わったりすることがあります。
- 操作パネルの鏡面仕上げ部分（右図参照）の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。硬い布で拭いたり強くこすったりすると表面に傷がつきます。



■の箇所が鏡面仕上げ部分です。

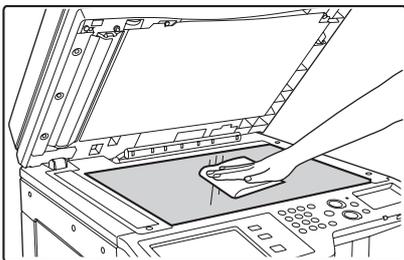
原稿台・原稿自動送り装置部の清掃について

原稿台（ガラス面）や原稿押さえシートが汚れると、読みとった画像に汚れや、色すじや白すじが写ることがあります。つねにきれいな状態でご使用ください。

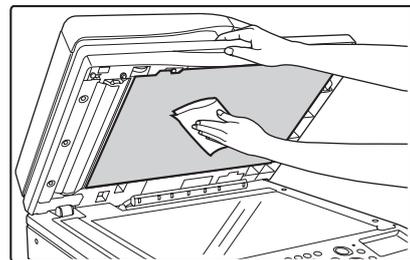
きれいな柔らかい布で拭いてください。

汚れが落ちにくいときは、水または中性洗剤を少し含ませた布で拭いたあと、きれいな布でからぶきしてください。

原稿台



原稿押さえシート

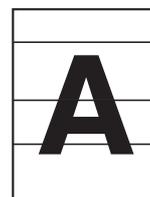


原稿読み取り部分

原稿自動送り装置を使用して読み取った画像に黒すじや白すじなどの汚れが発生するときは、原稿を読み取る部分（原稿台（ガラス面）の横にある細長いガラス面）を清掃します。

この部分を清掃するときは、原稿自動送り装置にあるガラスクリーナーを使用してください。使用後は元の位置に戻してください。

印刷汚れの例

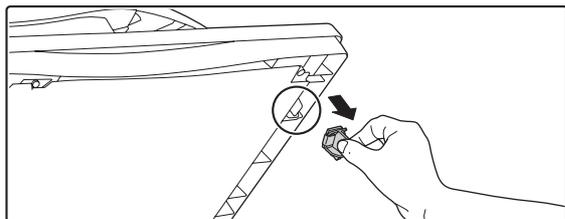


黒すじ



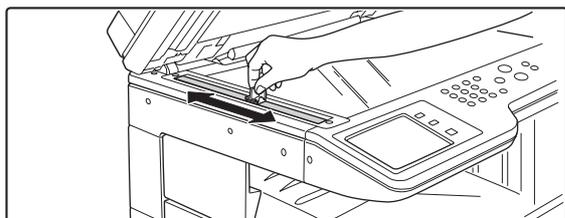
白すじ

1



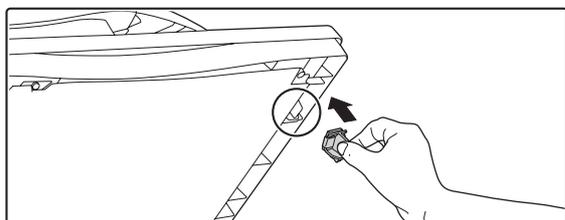
原稿自動送り装置を開き、ガラスクリーナーを取り出す

2



原稿台側の原稿読み取り部をガラスクリーナーで清掃する

3

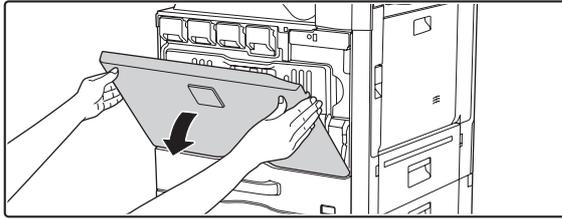


ガラスクリーナーを元の位置に収納する

感光体ドラムのメインチャージャーの清掃

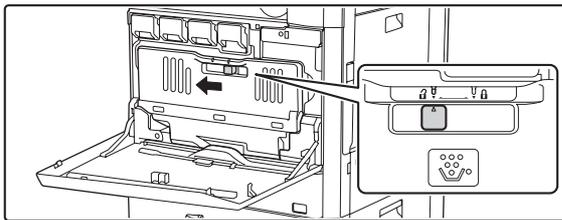
前ページで原稿台・原稿自動送り装置部の清掃を行っても黒ずじや色ずじが発生する場合は、チャージャークリーナーを使って感光体ドラムを帯電させるメインチャージャーを清掃してください。

1



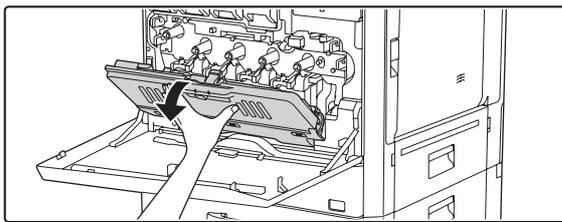
前カバーを開ける

2

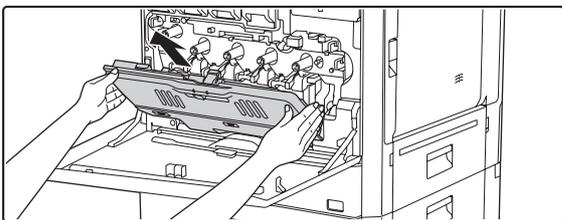


廃トナーボックスのロックを解除する

廃トナーボックスのロックを解除位置まで動かしてください。



廃トナーボックスのロックを解除し、廃トナーボックスを図のように手前に止まるまで倒します。

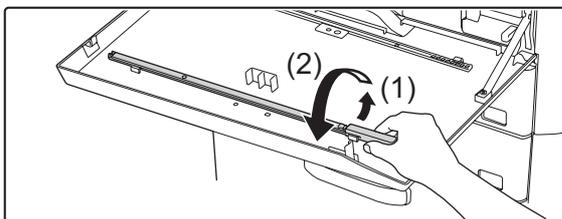


廃トナーボックスを取りはずす

両手で廃トナーボックスを持ち、ゆっくりと上に持ち上げてください。

廃トナーボックスを倒しすぎると取りはずすことができません。(30度ぐらいの角度を目安に取りはずしてください。)

3

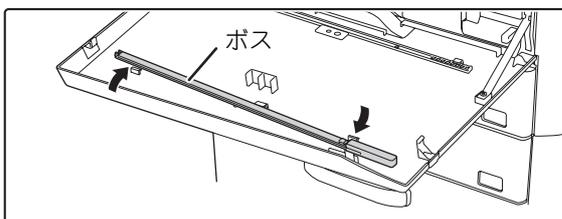


チャージャークリーナーを取りはずす

チャージャークリーナーは本機の前カバーに取り付けられています。

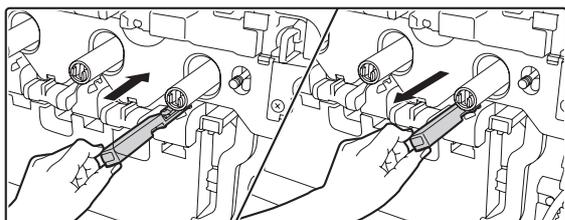
(1) チャージャークリーナーの右側を押して爪からはずす

(2) 爪の上をまたいで手前側に置く



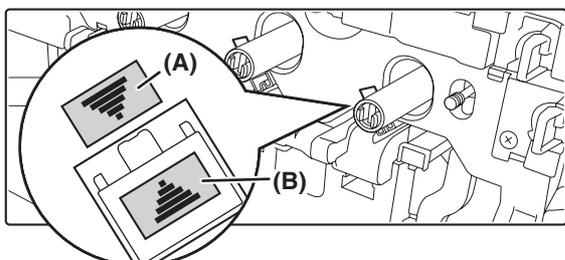
(3) ポスを中心に回転させてチャージャークリーナーを左側の爪からはずす

4



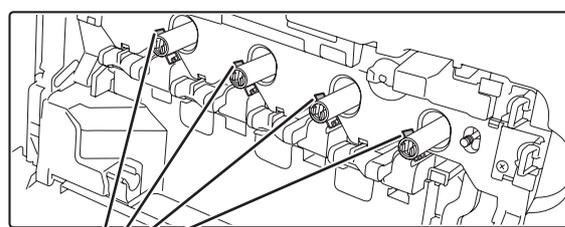
メインチャージャーを清掃する

- (1) チャージャークリーナーをゆっくりと最後まで押し込む
- (2) チャージャークリーナーをゆっくりと引き抜く



清掃箇所側のラベル (A) と、チャージャークリーナー側のラベル (B) が、図のようになる方向で挿入してください。

5

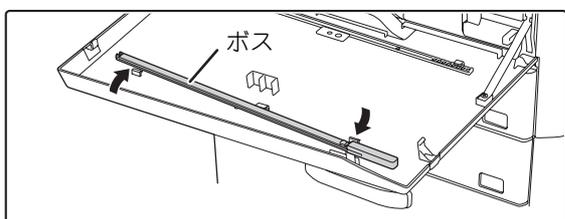


すべてのメインチャージャーで手順4と同様の作業を行う

メインチャージャーの清掃箇所は図のように4箇所あります。

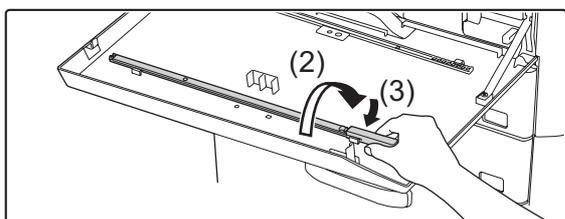
メインチャージャー

6

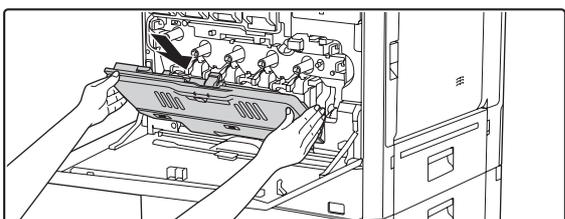


チャージャークリーナーを元の場所に戻す

- (1) チャージャークリーナーをボスにはめて回転させ、先端（持ち手がない方）を左側の爪に引っかける
- (2) チャージャークリーナーの右側を、爪の上をまたいで奥側に置く
- (3) チャージャークリーナーを爪に引っかける



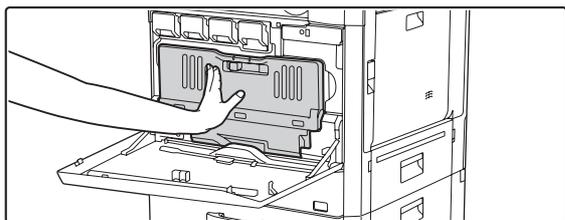
7



廃トナーボックスを取り付ける

上から斜め下に差し込んでください。（取りはずしたときと逆の方向です。）

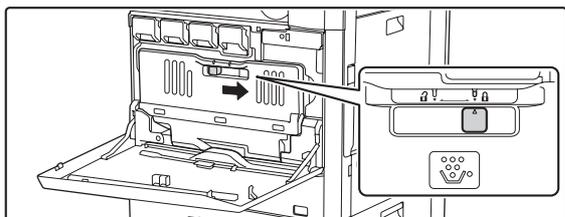
8



廃トナーボックスを奥に押し込む

カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

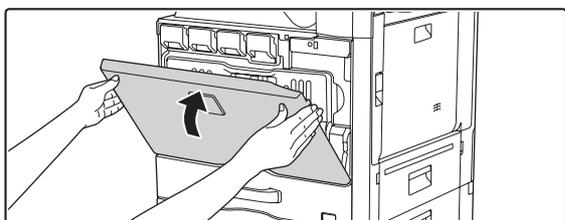
9



廃トナーボックスをロックする

廃トナーボックスのロックをロック位置まで動かしてください。

10



前カバーを閉じる

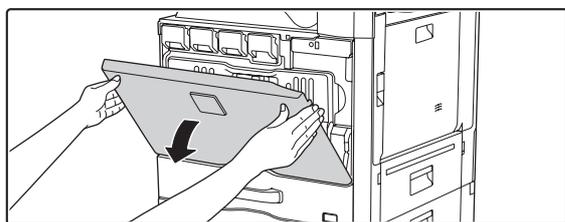


- この操作を行っても直らない場合は、さらに3往復程度クリーニングを行ってください。
- チャージャークリーナーの抜き差しは端から端までゆっくりと行ってください。

1次転写ベルトのPTチャージャーの清掃

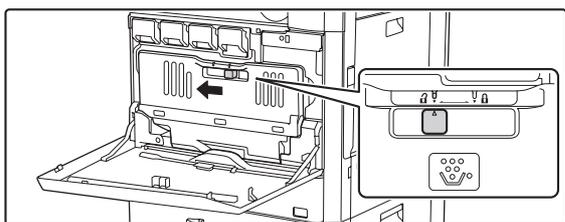
原稿台・原稿自動送り装置部、メインチャージャーの清掃を行っても黒すじや色すじが発生する場合は、PTチャージャークリーナーを使ってPTチャージャーを清掃してください。

1



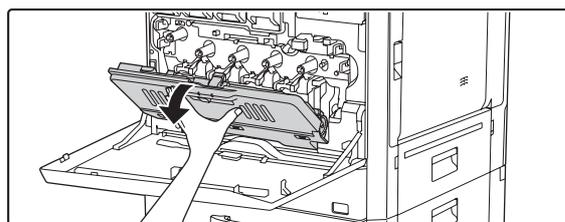
前カバーを開ける

2

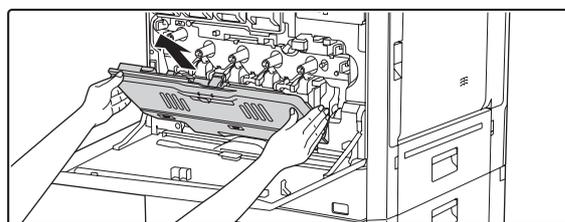


廃トナーボックスのロックを解除する

廃トナーボックスのロックを解除位置まで動かしてください。



廃トナーボックスのロックを解除し、廃トナーボックスを図のように手前に止まるまで倒します。

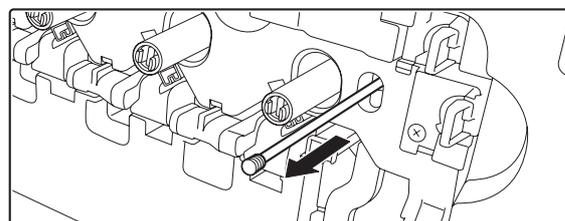


廃トナーボックスを取りはずす

両手で廃トナーボックスを持ち、ゆっくりと上に持ち上げてください。

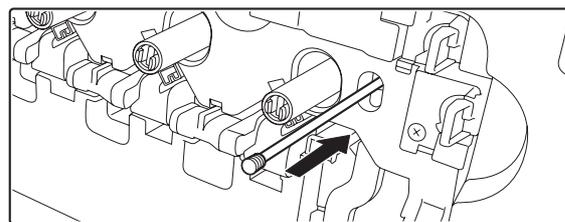
廃トナーボックスを倒しすぎると取りはずすことができません。(30度ぐらいの角度を目安に取りはずしてください。)

3



PTチャージャーを清掃する

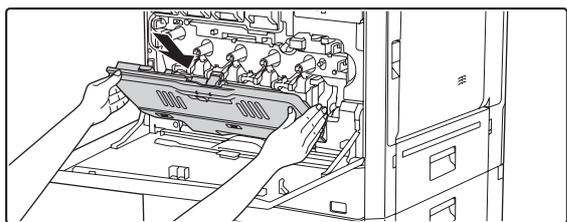
(1) PT チャージャークリーナーをゆっくりと手ごたえのあるところまで引き出す



(2) PT チャージャークリーナーをゆっくりと最後まで押し込む

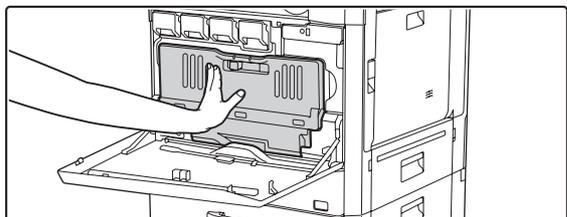
(3) 上記の(1)から(2)を3回くり返す

4



廃トナーボックスを取り付ける

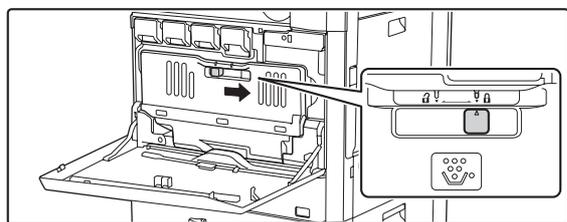
上から斜め下に差し込んでください。(取りはずしたときと逆の方向です。)



廃トナーボックスを奥に押し込む

カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

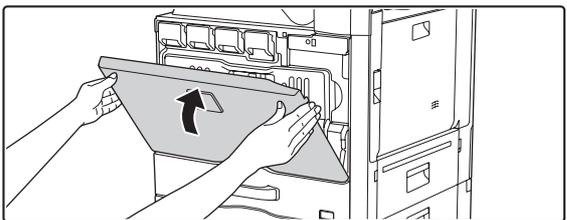
5



廃トナーボックスをロックする

廃トナーボックスのロックをロック位置まで動かしてください。

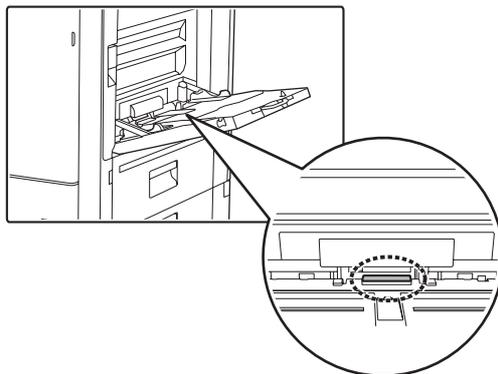
6



前カバーを閉じる

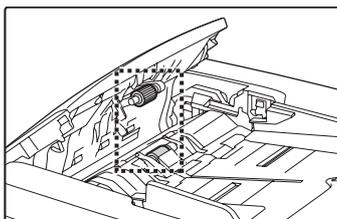
手差し給紙ローラーの清掃

手差しトレイを通る郵便はがきや封筒、厚みのある紙などの紙づまりがたびたび起こる場合は、給紙ローラーの表面を水または中性洗剤を含ませたきれいな柔らかい布で拭いてください。



原稿給紙ローラーの清掃

原稿自動送り装置を使用するときに、読み込まれた原稿にすじなどの汚れが発生するときは、原稿給紙ローラーの表面を水または中性洗剤を含ませたきれいな柔らかい布で拭いてください。



書き込みユニットの清掃

本体内部の書き込みユニットが汚れると、印字画像にすじ状の色むら（色すじ）が発生する可能性があります。

書き込みユニットの汚れが原因となるすじ（色すじ）の見極めかた

- すじ（色すじ）は、常に同じ場所に現れます。（黒すじにはなりません。）
- すじ（色すじ）は、プリント用紙の送り方向に対して水平に現れます。
- すじ（色すじ）は、コピーだけでなくコンピュータからプリントしたときにも現れます。（プリントとコピーの両方で同じ現象が起こります。）

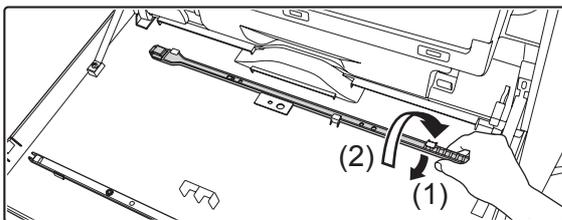
以上のような症状があらわれたときは、次の手順で書き込みユニットの清掃を行ってください。

1



前カバーを開ける

2

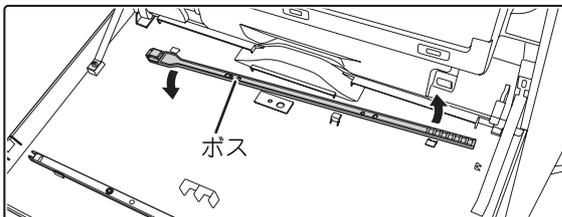


書き込みユニットの清掃器具を取りはずす

清掃器具は本機の前カバーに取り付けられています。

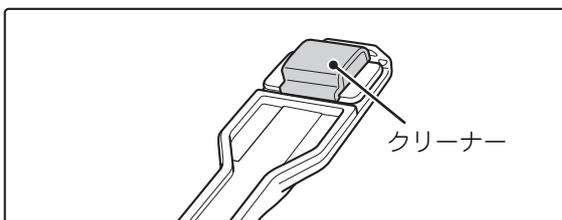
(1) 清掃器具の右側を引いて爪からははずす

(2) 爪の上をまたいで奥側に置く



(3) ポスを中心に回転させて清掃器具を左側の爪からははずす

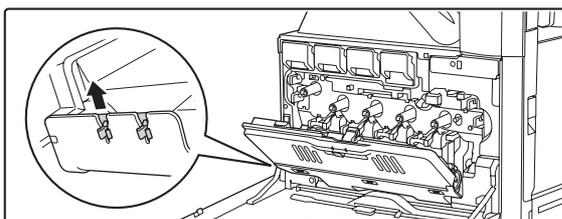
3



清掃器具の先端に付いているクリーナーが汚れていないことを確認する

クリーナーが汚れている場合は、清掃器具からクリーナーを取りはずして、汚れていないものに交換してください。クリーナーの交換方法については手順4～6を参照してください。クリーナーが汚れていないときは手順7へ進んでください。

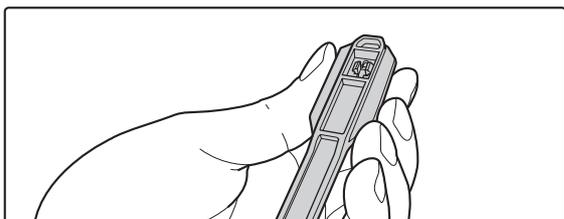
4



内部のカバーを開け、交換用のクリーナーを引き抜く

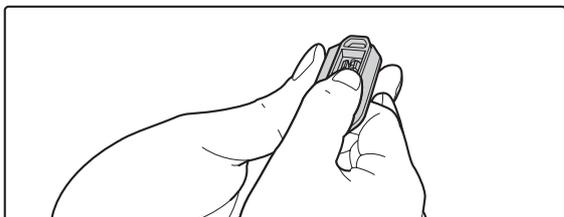
交換用のクリーナーは内部のカバーに収納されています。クリーナーの端をつまみ、カバーから引き抜きます。

5



清掃器具の先端にある汚れたクリーナーを取りはずす

(1) クリーナーが取り付けられた付近をしっかりと持つ

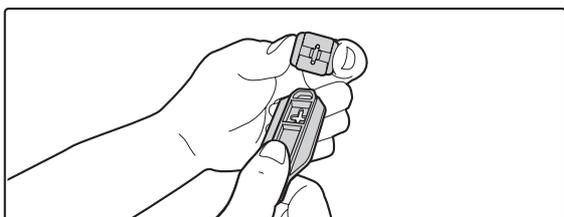


(2) クリーナーを固定している爪の部分をもう一方の手で押さえながら、クリーナーを取りはずす



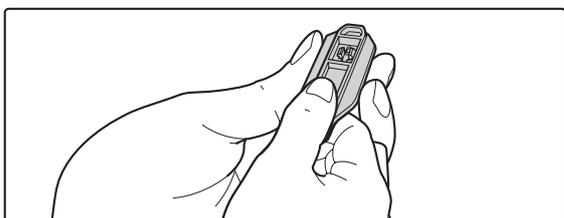
取りはずしたクリーナーは、内部のカバーに戻してください。クリーナーを戻したあとは、必ず内部のカバーを閉じてください。

6



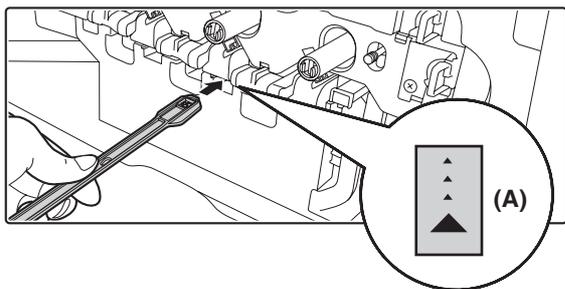
新しいクリーナーを清掃器具に取り付ける

(1) 清掃器具にある取り付け用の穴にクリーナーの固定用の爪を合わせる



(2) クリーナーをしっかりと持ち、清掃器具を押し込む

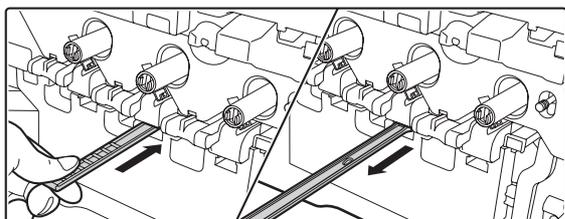
7



書き込みユニットを清掃する

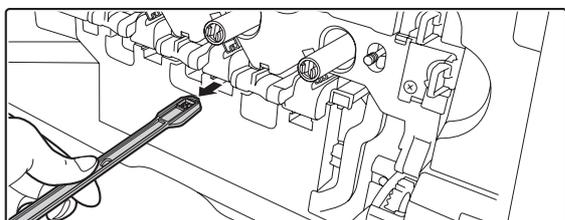
- (1) クリーナーを下に向けて、清掃する穴に清掃器具をゆっくりと挿入する

クリーナーは必ず下に向けてください。
清掃箇所には(A)のようなラベルが表示されています。



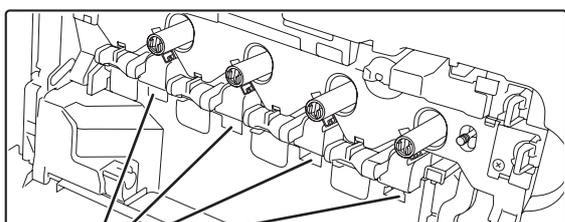
- (2) 清掃器具を奥まで挿入したあと、清掃器具を引き戻す

書き込みユニットのクリーニング面から清掃器具の先端がはずれた感触があるまで引き戻してください。



- (3) 手順(2)を2~3回繰り返したあと、清掃器具を取り出す

8

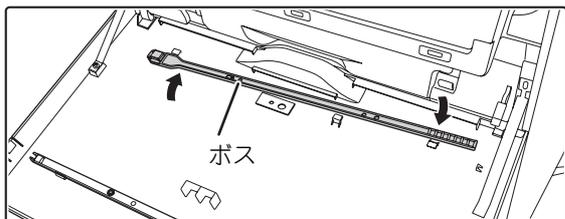


清掃箇所

すべての書き込みユニットの清掃箇所(4箇所)に手順7と同様の作業を行う

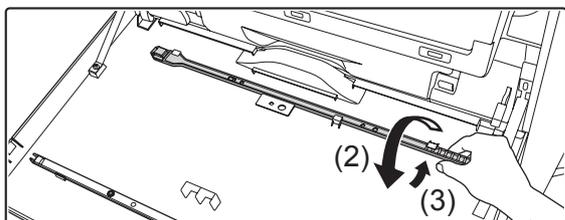
書き込みユニットの清掃箇所は手順7で行った箇所を含めて4箇所あります。すべての箇所で清掃を行ってください。

9



清掃器具を元に戻す

- (1) 清掃器具をボスにはめて回転させ、先端（クリーナーがある方）を左側の爪に引っかける
- (2) 清掃器具の右側を、爪の上をまたいで手前側に置く



- (3) 清掃器具を爪に引っかける

10

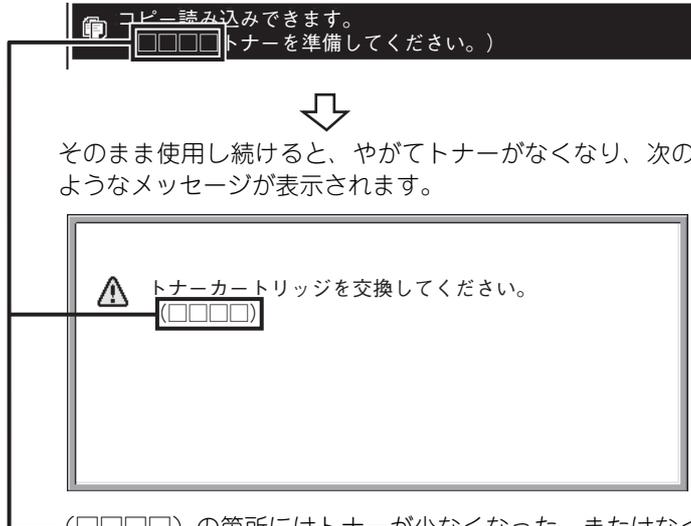


前カバーを閉じる

トナーカートリッジを交換する

トナーが残り少なくなると、「[□□□□]トナーを準備してください。」のメッセージが表示されます。トナーがなくなった際、速やかにトナーカートリッジの交換を行えるよう、あらかじめ交換用のトナーカートリッジを1セット準備しておくことをお勧めします。トナーカートリッジは必ず「トナーカートリッジを交換してください。」のメッセージが表示されてから交換してください。

コピーモードの場合



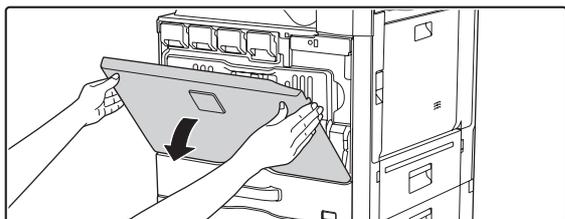
(□□□□)の箇所にはトナーが少なくなった、またはなくなった色が表示されます。

[Y]: イエロー (黄色系) トナー、[M]: マゼンタ (赤色系) トナー、[C]: シアン (青色系) トナー、[BK]: ブラック (黒色) トナー
それぞれの色のトナーカートリッジを交換してください。



- いずれか1色のトナーがなくなるとカラープリントはできません。カラートナーがなくなっても、黒色トナーがなくなっていなければ白黒プリントはできます。
- トナーカートリッジは必ず4本 (Y/M/C/Bk) 装着してください。

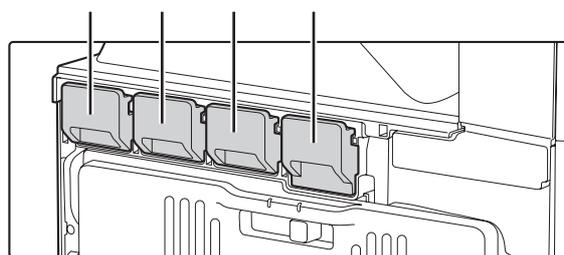
1



前カバーを開ける

トナーカートリッジの各色の配置

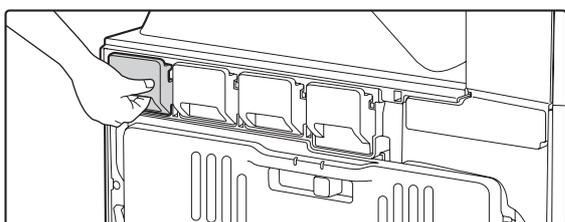
(A) (B) (C) (D)



(A): イエロー (B): マゼンタ
(C): シアン (D): ブラック

2

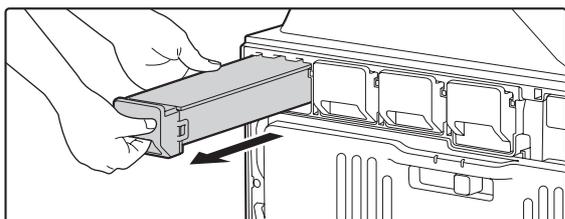
(例) イエローのトナーカートリッジを交換する場合



トナーカートリッジを手前に引き抜く

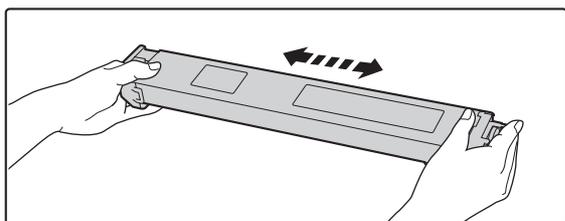
トナーカートリッジをそのまま水平にゆっくりと引き抜いてください。

急に引き抜くとトナーが漏れる場合があります。



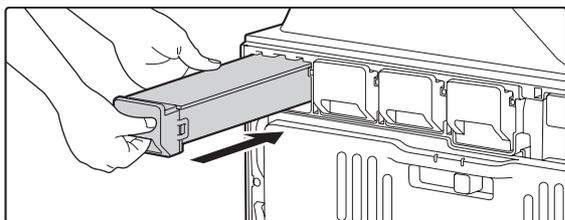
トナーカートリッジは図のように両手に持ってゆっくりと引き抜いてください。

3



新しいトナーカートリッジを取り出し、水平方向に5、6回振る

4

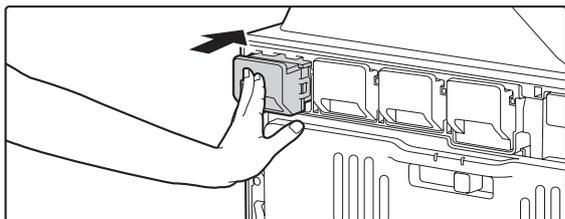


新しいトナーカートリッジを水平にゆっくりと挿入する



色の違うトナーカートリッジは取り付けできません。必ず同色のトナーカートリッジを取り付けてください。

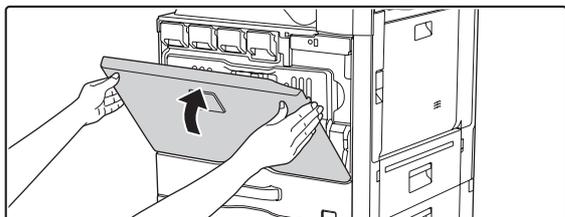
5



ロックがかかるまで確実に押し込む

「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

6



前カバーを閉じる

トナーカートリッジを交換したあと、自動的に画質調整モードに入ります。このとき前カバーを開かないでください。

⚠ 注意

- トナーカートリッジを火中に投げないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因となることがあります。
- トナーカートリッジは、小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。
- トナーカートリッジは立てて保管しておく、トナーが固まって使用できないおそれがあります。トナーカートリッジは必ず横にした状態で保管してください。
- 当社が指定していないトナーカートリッジを使用された場合、本機の本来の品質や性能が発揮できないおそれがあり、また、故障の原因になるおそれもあります。当社が指定するトナーカートリッジを使用してください。

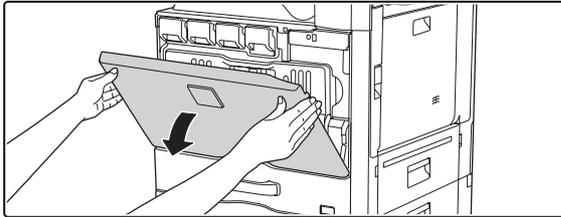


- 使用済のトナーカートリッジは捨てないでビニール袋に入れて保管しておいてください。メンテナンスの際、サービス担当者が回収します。
- プリント中、または待機状態のとき、[コピー]キーをタッチし続けると、その間トナー残量の目安(%表示)を表示させることができます。この表示が「25-0%」になっているときは、トナーがなくなったときに備え、あらかじめ交換用のカートリッジを準備してください。
- 本機に同梱されているトナーカートリッジを装着したときは、トナー残量が最初から「50-25%」と表示されます。
- お客様の使用状況によっては、色が薄くなったり、かすれる場合があります。

廃トナーボックスの交換

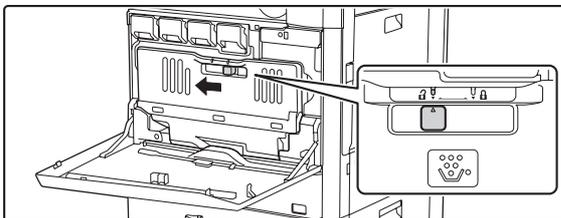
廃トナーボックスは、プリントの際に発生する余分なトナー粉を蓄積している装置です。廃トナーボックスが満杯になると、「トナー回収容器を交換してください。」というメッセージが表示されます。以下の手順に従って廃トナーボックスを交換してください。

1



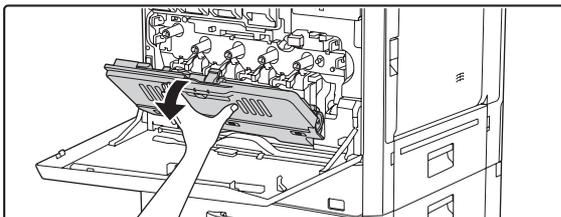
前カバーを開ける

2

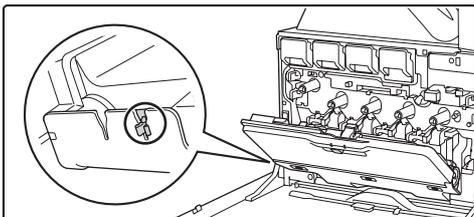


廃トナーボックスのロックを解除する

廃トナーボックスのロックを解除位置まで動かしてください。

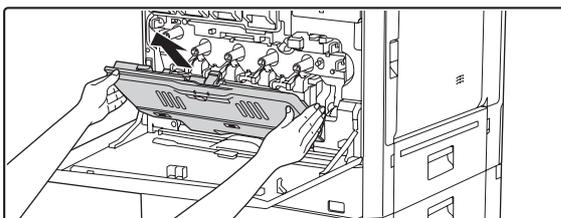


廃トナーボックスのロックを解除し、廃トナーボックスを図のように手前に止まるまで倒します。



未使用の交換用クリーナーは捨てないでください。
新しい廃トナーボックスの左部に収納してください。

3

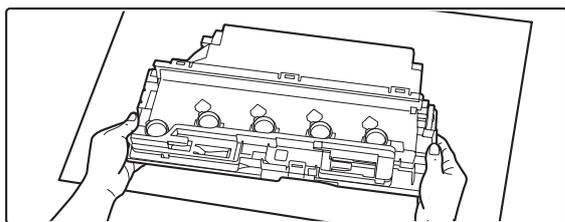


廃トナーボックスを取りはずす

両手で廃トナーボックスを持ち、ゆっくりと上に持ち上げてください。

廃トナーボックスを倒しすぎると取りはずすことができません。(30度ぐらいの角度を目安に取りはずしてください。)

4



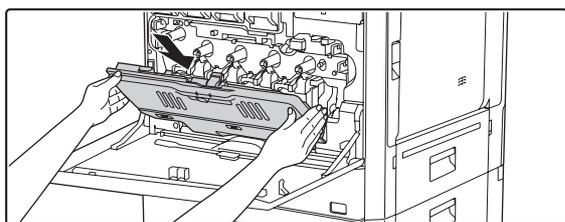
平らな場所に廃トナーボックスを置く

あらかじめ廃トナーボックスを置く場所に新聞紙などを敷いておいてください。



- 中に入っている廃トナーがこぼれますので、穴の部分を下に向けないでください。
- 取り外した廃トナーボックスは捨てないでビニール袋に入れて保管しておいてください。メンテナンスの際、担当員が回収します。

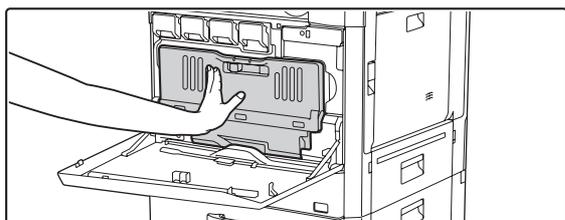
5



新しい廃トナーボックスを取り付ける

上から斜め下に差し込んでください。(取りはずしたときと逆の方向です。)

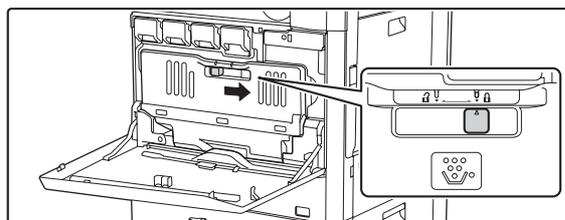
6



廃トナーボックスを奥に押し込む

カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

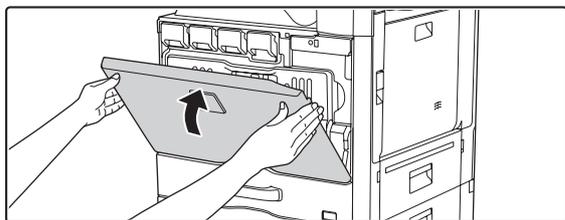
7



廃トナーボックスをロックする

廃トナーボックスのロックをロック位置まで動かしてください。

8



前カバーを閉じる

⚠ 注意

- 廃トナーボックスを火中に投じないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因となることがあります。
- 廃トナーボックスは、小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。



廃トナーボックスを交換するときは、場所や衣服が汚れても支障のないよう十分注意してください。

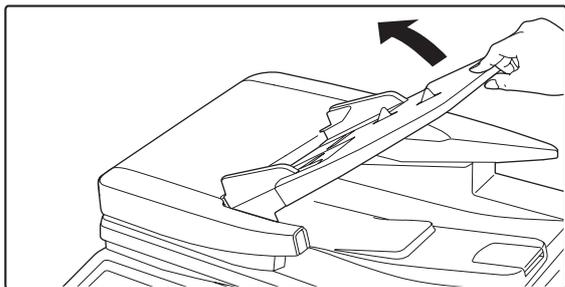
済スタンプカートリッジの交換

原稿自動送り装置に済スタンプユニット（AR-SU1）を装着している場合、済スタンプが薄くなってきたときは、済スタンプカートリッジ（AR-SV1）を交換してください。

消耗品について

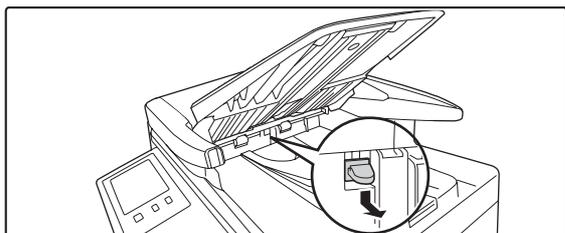
済スタンプカートリッジ（2個入り）AR-SV1

1



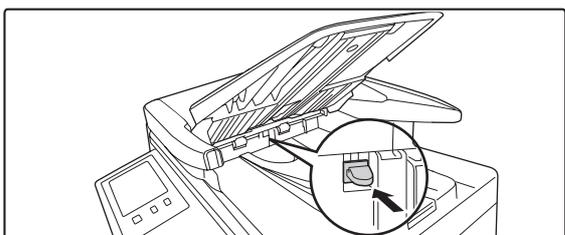
原稿セット台を開く

2



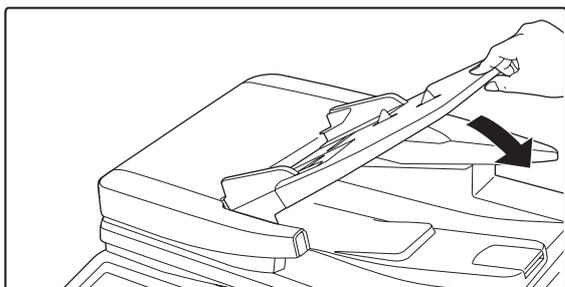
済スタンプカートリッジを下に押しながら取りはずす

3



新しい済スタンプカートリッジを取りつける

4



原稿セット台を閉じる

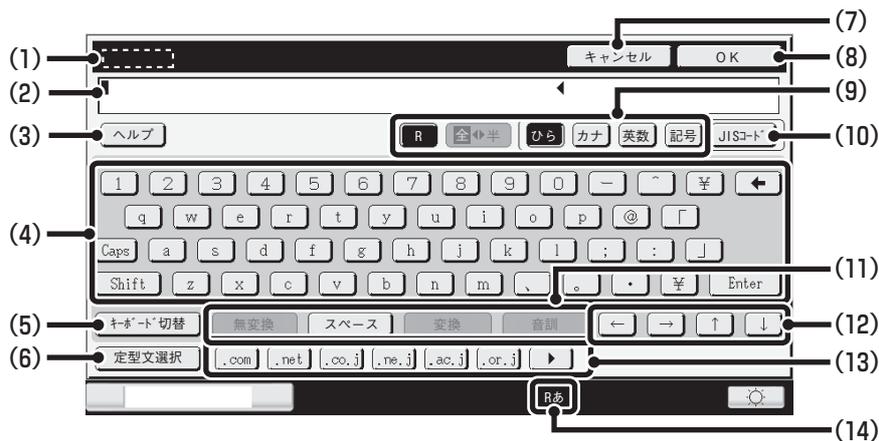
文字入力について

ここでは、本機をご利用の際に使用する文字入力の方法について説明しています。

文字入力画面について

ファイル名、プログラム名、フォルダー名、ユーザー名などの登録を行う際に文字入力画面が表示されます。

例：ローマ字のひらがな入力画面



- (1) 入力する項目名が表示されます。
- (2) 入力した文字が表示されます。
■はカーソルを、◀は入力できる文字数の制限を表しています。◀を超えて文字を入力することはできません。
- (3) **[ヘルプ]キー**
各キーの説明を表示します。
- (4) **キーボード**
キーをタッチして文字を入力します。選択している入力モードによって表示されるキーの種類は異なります。
 - **[←]キー**：
カーソルの左の文字を1文字ずつ削除します。
漢字変換中は確定する前の漢字を元のひらがなの表記に戻します。
 - **[Enter]キー**：
メール本文入力時、文章に改行を入れます。
- (5) **[キーボード切替]キー**
キーボードのキー配列を一時的に他の言語に切り替えるときにタッチします。切り替えたいキー配列を選択してください。
- (6) **[定型文選択]キー**
メールの件名など、あらかじめ登録されている定型文を呼び出すときに使用します。
- (7) **[キャンセル]キー**
文字入力を中止して元の設定画面に戻ります。
- (8) **[OK]キー／[検索]キー**
 - **[OK]キー**：入力した文字を確定して元の設定画面に戻ります。
 - **[検索]キー**：入力した文字を元に検索結果が表示されます。
- (9) **入力モードを切り替えるときに使用します。**
☞ [文字入力のしかた](#) (1-72ページ)
- (10) **[JIS]コードキー**
JISコードで文字を入力するときに使用します。
☞ [JISコードを使って文字を入力する](#) (1-75ページ)
- (11) **[無変換]、[スペース]、[変換]、[音訓]キー**
入力した文字を変換するときに使用します。
[スペース]キーは文字のあいだに空白を入れるときに使用します。
☞ [入力した文字を変換する](#) (1-74ページ)
- (12) **[←]、[→]、[↑]、[↓]キー**
カーソルを移動したり、変換の対象となる範囲を変更するときに使用します。
- (13) **登録語リスト**
「.com」など、あらかじめ登録されている単語を呼び出すときに使用します。単語の登録はシステム設定で行います。
☞ [7. システム設定「ソフトキーボードの登録語設定」](#) (7-73ページ)
- (14) **入力モード表示部**
現在の入力モードが表示されます。
☞ [文字入力のしかた](#) (1-72ページ)

 掲載されている文字入力画面はイメージです。実際の文字入力する状況や入力状態などにより、有効になるキーは異なります。

文字入力のしかた

文字を入力する

文字を入力する際は、文字の種類によって入力モードを切り替えます。ひらがなやカタカナはローマ字で入力するか、かな文字で入力するかを選択することができます。

入力モードは、タッチして反転表示させた、[R]、[全 ◀ 半]、[英数]、[ひら]、[カナ]、[記号]キーの組み合わせで切り替わります。また、選択した入力モードは、タッチパネルの入力モード表示部にアイコンで表示されます。

例：ローマ字でひらがなを入力する場合



文字の種類	反転表示させるキー	入力モード表示部	入力例	
ひらがな	ローマ字入力： [R] [ひら]	[Rあ]	“かいしゃ”と入力する場合	[k] [a] [i] [s] [y] [a]
	かな文字入力：[ひら]	[あ]		[か] [い] [し] [濁/小] [ゃ]
カタカナ	ローマ字入力全角： [R] [全] [カナ]	[Rア]	“レポート”（全角）または “レポ-ト”（半角）と入力する場合	[r] [e] [p] [o] [-] [t] [o]
	ローマ字入力半角： [R] [半] [カナ]	[Rア]		[レ] [濁/小] [ポ] [-] [濁/小]
	かな文字入力全角： [全] [カナ]	[ア]		[ト]
	かな文字入力半角： [半] [カナ]	[ア]		
アルファベット や数字	全角：[全] [英数]	[A]	“No. 7”（全角）または“No. 7”（半角）と入力する場合	[Shift] [N] [o] [.] [スペース]
	半角：[半] [英数]	[A]		[7]
記号※	全角：[全] [記号]	—	<>を入力する場合	[<][>]
	半角：[半] [記号]	—		

※ ファイル名やフォルダー名には次の半角文字は使用できません。

¥ ? / " ; : , < > ! * | & #

また、「スペース」と次の記号は、コンピュータの使用環境によっては、使用できない場合があります。

例えば、ハイパーリンクが正しく動作しない、文字化けが発生することがあります。

\$ % ' () + - . = @ [] ^ ` { } ~ _



- **かな文字入力キーボードの[濁/小]キーについて**

かな文字入力の画面に表示される[濁/小]キーをタッチすると、濁音（「が」など）、半濁音（「ぱ」など）、拗音（「ぁ」など）を入力するためのキーボードに切り替わります。[濁/小]キーをタッチして反転表示を解除するまで入力画面は維持されます。

- **[Shift]キーと[Caps]キーについて**

小文字のアルファベットを入力しているときに、1文字だけ大文字で入力したい場合に[Shift]キーをタッチします。[Shift]キーが反転表示し、キーボードのアルファベットが大文字表記に切り替わります。（数字や記号キーの表記も切り替わります。）いずれかのキーをタッチして文字を入力すると、[Shift]キーの反転表示は解除され、キーの表示も元に戻ります。

[Caps]キーをタッチして反転表示させると、[Shift]キーが常に有効になっているのと同じ状態になります。大文字を連続して入力する場合に適しています。[Caps]キーが反転表示している状態で[Shift]キーをタッチすると、一時的に小文字を入力することができます。

通常の入力画面に戻すときは、[Caps]キーをタッチして反転表示を解除してください。

- JISコードを使って文字を入力することができます。入力方法については、「[JISコードを使って文字を入力する](#)」（1-75ページ）を参照してください。

入力した文字を変換する

ひらがなを入力したときは、漢字やカタカナに変換するか、ひらがなのまま使用するか確定する必要があります。ひらがなのまま使用するときは、[無変換]キーをタッチしてください。

漢字やカタカナに変換するときは、[変換]キーをタッチしてください。画面に変換候補が表示されるので、選択する候補の横にある▶キーをタッチすると変換が確定します。



[変換]キーをタッチするごとに変換候補を切り替えることもできます。その場合は、仮選択されている候補の横にある▶キーをタッチするか、[全確定]キーをタッチすることにより候補を確定できます。

文章を入力したときは

単語ではなく文章を入力した場合、[変換]キーをタッチすると文節単位で変換されます。

例：“会社のカラー複合機”と入力した場合



- 変換の対象となる文節は反転表示されるので、[変換]キーをタッチして候補から選択してください。[次文節]キーをタッチすると、選択されている候補が確定され、次の文節の候補が表示されます。
- 変換の対象となる文節の範囲を変更するときは、[←] [→]キーをタッチしてください。
- 最初に[変換]キーをタッチした時点ですべての文節が目的の文字に変換されていた場合は、[全確定]キーをタッチすることにより一括で確定することができます。

[変換]キーと[音訓]キーの使い分けについて

[変換]キーは、入力した文字を自動的に適切な文節に分けて変換します。文章を変換する場合に適しています。

[音訓]キーは、入力したすべての文字に該当する言葉（読み）を漢字一字（単漢字）に変換します。[変換]キーでは単漢字の候補が表示されにくいので、単漢字に変換するときに適しています。

例：「かいぎのしりょう」という文字を[変換]キーと[音訓]キーで漢字に変換する

[変換]キー：会議の資料（「かいぎの」と「しりょう」と適切な文節に分けてそれぞれに適した漢字の変換を行います。）

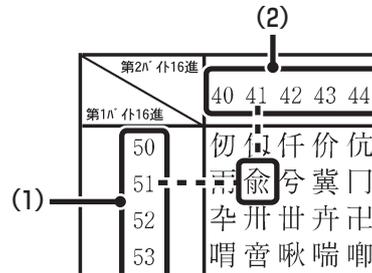
[音訓]キー：（「かいぎのしりょう」という読みに該当する一文字の漢字がないため変換できません。）

JISコードを使って文字を入力する

変換候補に表示されない文字や難しい人名漢字などは、JISコードを使って入力することができます。

[JISコード]キー（1-71ページ）をタッチし、次ページより掲載しているJISコード表を参照して4桁のJISコードを入力してください。

例：“兪” と入力する場合



入力画面には、JISコード表の「第1バイト16進コード」（縦の列）と「第2バイト16進コード」（横の列）を続けて入力します。

“兪”の第1バイト16進コードは“51”、第2バイト16進コードは“41”ですので、“5141”と入力すると“兪”が自動的に入力されます。

入力するコードをまちがえたときは[クリア]キーをタッチして正しいコードを入力し直してください。



JISコードは、文字入力画面のキーをタッチして入力してください。操作パネルの数字キーでは入力できません。

JIS漢字コード表

第1水準

第2水準 16進	20 21 22 23 24 25 26 27	28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F	30 31 32 33 34 35 36 37	38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
第1水準 16進				
20				
21	、 。 , . . :	; ? ! ` ° / \ ` ..	^ _ _ 、 ヽ 、 ヽ ヽ	全 々 〃 〇 ー ー ー /
22	◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼	※ 〒 → ← ↑ ↓ =		∈ ∋ ⊂ ⊃ ⊄ ⊅
23			0 1 2 3 4 5 6 7	8 9
24	あ あい いう え	え お おか が き ぎ く	ぐ け げ こ ご さ ざ し	じ す ず せ ぜ そ ぞ た
25	ア ア イ ウ エ	エ オ オ カ ガ キ ギ ク	グ ケ ゲ コ ゴ サ ザ シ	ジ ス ズ セ ゼ ソ ゾ タ
26	A B Γ Δ E Z H	Θ I K Λ M N Ξ O	Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ	Ω
27	A B B Γ Д E È	Ж З И Й К Л М Н	О П Р С Т У Ф Х	Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э
28	一 冂 冂 冂 冂 冂 冂	冂 冂 冂 冂 冂 冂 冂 冂	冂 冂 冂 冂 冂 冂 冂 冂	冂 冂 冂 冂 冂 冂 冂 冂
29				
2A				
2B				
2C				
2D				
2E				
2F				
30	亜 唾 娃 阿 哀 愛 挨	始 逢 葵 茜 穂 惡 握 渥	旭 葦 芦 鯨 梓 庄 幹 扱	宛 姐 虻 飴 絢 綾 鮎 或
31	院 陰 隱 韻 吋 右 宇	烏 羽 迂 雨 卯 鷓 窺 丑	確 白 渦 嘘 唄 鬱 蔚 鰻	姥 厩 浦 瓜 閨 噂 云 運
32	押 旺 橫 欧 毘 王 翁	襖 鶯 鷓 黃 岡 沖 荻 億	屋 憶 臆 桶 牡 乙 俺 卸	恩 温 穩 音 下 化 仮 何
33	魁 晦 械 海 灰 界 皆	繪 芥 蟹 開 階 貝 凱 効	外 咳 害 崖 慨 概 涯 碍	蓋 街 該 鎧 骸 涅 馨 蛙
34	粥 刈 荊 瓦 乾 侃 冠	寒 刊 勘 勸 卷 喚 堪 姦	完 官 寬 干 幹 患 感 慣	憾 換 敢 柑 桓 棺 款 歛
35	機 婦 毅 氣 汽 畿 祈	季 稀 紀 徽 規 記 貴 起	軌 輝 飢 騎 鬼 龜 偽 儀	妓 宜 戲 技 擬 欺 儀 疑
36	供 俠 僑 兇 競 共 凶	協 巨 卿 叫 喬 境 峽 強	彊 怯 恐 恭 挾 教 橋 況	狂 狹 矯 胸 脅 興 薈 鄉
37	掘 窟 沓 靴 轡 窪 熊	隈 衆 栗 線 桑 欽 勳 君	薰 訓 群 軍 郡 卦 袈 祁	係 傾 刑 兄 啓 圭 珪 型
38	檢 權 牽 犬 猷 研 硯	絹 渠 肩 見 謙 賢 軒 遣	鍵 險 顛 驗 齧 元 原 巖	幻 弦 減 源 玄 現 絃 舷
39	后 喉 坑 垢 好 孔 孝	宏 工 巧 巷 幸 広 庚 康	弘 恒 慌 抗 拘 控 攻 昂	晃 更 杭 校 梗 構 江 洪
3A	此 頃 今 困 坤 壘 婚	恨 懇 昏 昆 根 梱 混 痕	紺 良 魂 些 佐 又 唆 嵯	左 差 查 沙 磋 砂 詐 鎖
3B	察 拶 撮 擦 札 殺 薩	雜 臯 鯖 捌 鑄 鮫 皿 晒	三 傘 參 山 慘 撒 散 棧	燦 珊 產 算 纂 蚕 讚 贊
3C	次 滋 治 爾 璽 痔 磁	示 而 耳 自 蔣 辭 汐 鹿	式 識 鳴 竺 軸 突 雫 七	叱 執 失 嫉 室 悉 湿 漆
3D	宗 就 州 修 愁 拾 洲	秀 秋 終 繡 習 臭 舟 蒐	衆 襲 讐 蹴 輯 週 酋 酬	集 醜 什 住 充 十 從 戎
3E	勝 匠 升 召 哨 商 唱	嘗 獎 妾 娼 宵 將 小 少	尚 庄 床 廠 彰 承 抄 招	掌 捷 昇 昌 昭 晶 松 梢
3F	拭 植 殖 燭 織 職 色	觸 食 蝕 辱 尻 伸 信 侵	唇 娠 寢 審 心 慎 振 新	晋 森 榛 浸 深 申 疹 真
40	澄 摺 寸 世 瀨 畝 是	凄 制 勢 姓 征 性 成 政	整 星 晴 棲 栖 正 清 牲	生 盛 精 聖 声 製 西 誠
41	織 羨 腺 外 船 薦 詮	賤 踐 選 遷 錢 銑 閃 鮮	前 善 漸 然 全 禪 繕 膳	糲 噌 塑 咀 措 曾 楚
42	臍 藏 贈 造 促 側 則	息 捉 束 測 足 速 俗	屬 賊 族 統 卒 袖 其 揃	存 孫 尊 損 村 遜 他 多
43	叩 但 達 辰 奪 脫 巽	豎 迪 棚 谷 狸 鱈 樽 誰	丹 單 嘆 坦 担 探 旦 歎	淡 湛 炭 短 端 筭 統 耽
44	帖 帳 庁 弔 張 彫 徵	懲 挑 暢 朝 潮 牒 町 眺	聽 脹 腸 蝶 調 諜 超 跳	銚 長 頂 鳥 勅 抄 直 朕
45	邸 鄭 釘 鼎 泥 摘 擢	敵 滴 的 笛 適 鎬 溺 哲	徹 撤 轍 迭 鉄 典 填 天	展 店 添 纏 甜 貼 転 顛
46	董 蕩 藤 討 膳 豆 踏	逃 透 鐙 陶 頭 騰 闕 勳	動 同 堂 導 憧 撞 洞 瞳	童 胴 苟 道 銅 峠 錫 匿
47	如 尿 菲 任 妊 忍 認	濡 欄 衤 寧 葱 猫 熱 年	念 捻 撚 燃 粘 乃 迺 之	埜 囊 悩 濃 納 能 腦 膿
48	函 箱 裕 箸 肇 筭 櫨	幡 肌 畑 阜 八 鉢 滌 発	醜 髮 伐 罰 抜 筏 閏 鳩	嘶 塙 蛤 隼 伴 判 半 反
49	鼻 柁 稗 匹 疋 髭 彦	膝 菱 肘 弼 必 畢 筆 逼	桧 姫 媛 紐 百 謬 佞 彪	標 氷 漂 瓢 票 表 評 豹
4A	福 腹 複 覆 淵 弗 払	沸 仏 物 鮒 分 吻 噴 墳	憤 扮 焚 奮 粉 糞 紛 雰	文 聞 丙 併 兵 塀 幣 平
4B	法 泡 烹 砲 縫 胞 芳	萌 蓬 蜂 褒 訪 豊 邦 鋒	飽 鳳 鵬 乏 亡 傍 剖 坊	妨 帽 忘 忙 房 暴 望 某
4C	漫 蔓 味 未 魅 巳 箕	岬 密 蜜 湊 蓑 稔 脈 妙	耗 民 眠 務 夢 無 牟 矛	霧 鷓 掠 婿 娘 冥 名 命
4D	論 輪 唯 佑 優 勇 友	宥 幽 悠 憂 揖 有 柚 湧	涌 猶 猷 由 祐 裕 誘 遊	邑 郵 雄 融 夕 予 余 与
4E	痢 裏 裡 里 離 陸 律	率 立 莅 掠 略 劉 流 溜	琉 留 硫 粒 隆 竜 龍 侶	慮 旅 虜 了 亮 僚 兩 凌
4F	蓮 連 鍊 呂 魯 櫓	賂 路 露 勞 婁 廊 弄	朗 榔 浪 漏 牢 狼 籠 老	輦 輦 輦 輦 輦 輦 輦 輦

第2n 416進	40 41 42 43 44 45 46 47	48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F	50 51 52 53 54 55 56 57	58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
第1n 416進				
20				
21	∖ ~ ... ‘ ‘	“ ” () [] []	{ } < > 《 》 「 」	『 』 【 】 + - ± ×
22	∪ ∩	∧ ∨ ⇨ ⇩ ⇄ ∇	∩ ∪	∠ ⊥ ∩ ∅
23	A B C D E F G	H I J K L M N O	P Q R S T U V W	X Y Z
24	だちぢっつづてで	とどなにぬねのは	ばばひびびふぶぶ	へべぺほぼぼまみ
25	ダチヂツツヅテデ	トドナニヌネノハ	ババヒビピフブブ	へべぺほぼぼまみ
26	α β γ δ ε ζ η	θ ι κ λ μ ν ξ ο	π ρ σ τ υ φ χ ψ ω	
27	Ю Я		а б в г д е ё	ж з и й к л м н
28	+			
29				
2A				
2B				
2C				
2D				
2E				
2F				
30	栗裕安庵按暗案闇	鞍杏以伊位依偉囿	夷委威尉惟意慰易	椅為長異移維緯胃
31	雲荏餌叡營嬰影映	曳棠永泳洩瑛盈穎	穎英衛詠銳液疫益	馱悅謁越閱榎厭円
32	伽伽佳加可嘉夏嫁	家寡科暇果架歌河	火珂禍禾稼閣隔革	茄荷華菓蝦課嘩貨
33	垣柿蛎鈎劃嚇各廓	扞攪格核穀獲確穫	覺角赫較郭閣閻閻	學岳樂額顎掛笠檜
34	汗漢澗漙環甘監看	竿管簡緩缶翰肝艦	莞觀諫貫還鑑問閑	閑閑閑閑閑閑閑閑
35	祇義蟻誼議掬菊鞠	吉吃喫桔橘詰砧杵	黍却客脚虐逆丘久	仇休及吸宮弓急救
36	鏡響饗驚仰凝克曉	業局曲極玉桐料僅	勤均巾錦斤欣欽琴	禁禽筋緊芹菌衿襟
37	契形徑惠慶慧憇揭	携敬景桂溪哇稽系	經繼繫罍莖荊蚩計	詣警輕頸鷄芸迎鯨
38	言諺限乎個古呼固	姑孤己庫弧戸故枯	湖狐糊袴股胡孤虎	誇跨鉗雇顧鼓五互
39	浩港溝甲皇硬稿糠	紅絃絞綱耕考肯肱	腔膏航荒行衡講	購郊醇鉞破鋼閣降
3A	娑坐座挫債催再最	哉塞妻宰彩才採裁	歲濟災采犀碎砦祭	齋細菜裁載際劑在
3B	酸餐斬暫殘仕仔伺	使刺司史嗣四士始	婦姿子屍市師志思	指支攷斯施旨枝止
3C	疾質實蓀篠悃柴芝	屢蕊縞舍写射捨赦	斜煮社紗者謝車遮	蛇邪借勺尺杓灼爵
3D	柔汁洪獸縱重銃叔	夙宿淑祝縮肅塾熟	出術述俊峻春瞬竣	舜駿准循旬楯殉淳
3E	樟樵沼消涉湘燒焦	照症省硝礁祥稱章	笑粧紹肖莒蔣蕉衝	裳訟証詔詳象賞醬
3F	神秦紳臣芯薪親診	身辛進針震人仁刃	塵壬尋甚盡腎訊迅	陣鞞切拙接撰折設
40	誓請逝醒青靜齊稅	脆隻席惜戚斥昔析	石積籍績脊責赤跡	蹟碩切拙接撰折設
41	狙疏疎礎祖租粗素	組蘇訴阻遡鼠僧創	双叢倉喪壯奏爽宋	層匣惣想搜掃挿搔
42	太汰詔唾墮妥惰打	舵舵橈陀駝駝駝	體堆堆堆堆堆堆堆	袋袋袋袋袋袋袋袋
43	胆蛋誕鍛團壇彈斷	暖檀段男談值知地	馳恥智池痴稚置致	蜘蛛遲馳築畜竹筑蓄
44	沈珍賃鎮陳津墜椎	槌追鎚痛通塚梅掴	棍佃漬柘辻薦綴鏢	椿潰坪壺嬌紬爪吊
45	点伝殿澗田電兔吐	堵塗妬屠徒斗杜渡	登菟賭途都鍍砥砺	努度土奴怒倒党冬
46	得德澆特督秃篤毒	独誑柄橡凸突椽届	鳶苦寅酉滯噸屯惇	敦沌豚遁頓吞曇鈍
47	農視蚤巴把播霸杷	波派琶破婆罵芭馬	俳糜拜排敗杯盃牌	背肺輩配倍培媒梅
48	叛帆搬斑板汜汎版	犯班畔繁般藩販範	采煩頌飯挽晚番盤	磐蕃蠻匪卑否妃庇
49	廟描病秒苗錯鉦蒜	蛭鱗品彬斌浜瀨貧	賓類敏瓶不付埠夫	婦富富布府怖扶敷
4A	弊柄並蔽閉陞米頁	僻壁癖碧別瞥蔑飽	偏變片篇編辺返遍	便勉媿弁鞭保舖鋪
4B	棒冒紡肪膨謀貌貿	銓防吠頰北僕卜墨	撲朴牧睦穆釗勃沒	殆堀幌奔本翻凡盆
4C	明盟迷銘鳴姪牝滅	免棉綿緬面麵摸模	茂妄孟毛猛盲網耗	蒙儲木默目李勿餅
4D	譽輿預傭幼妖容庸	揚搖擁曜楊樣洋溶	烙用窯羊耀葉蓉琳	要謡踊遙陽養慾累
4E	寮料梁涼獵療瞭稜	糧良諒遼量陵領	倫厘淋淋淋淋淋淋	輪隣隣隣隣隣隣隣
4F	論倭和話歪賄脇惑	粹鶯互巨鰐詫	灣碗碗碗碗碗碗碗	

第2n 416進	60 61 62 63 64 65 66 67	68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F	70 71 72 73 74 75 76 77	78 79 7A 7B 7C 7D 7E 7F
第1n 416進				
20				
21	÷ = ≠ < > ≤ ≥ ∞	∴ ∫ ∫ ∘ ° ' " °C ¥	\$ ¢ £ % # & * @	§ ☆ ★ ○ ● ◎ ◇
22	▽ ≡ ≡ ≡ ≡ √ ∞ ∞	∴ ∫ ∫ ∘ °	À % # b ♪ †	‡ ¶ ∅ ○
23	a b c d e f g	h i j k l m n o	p q r s t u v w	x y z
24	む め も や や ゆ ゆ よ	よ ら り る れ ろ わ わ	ゐ ゑ を ん	
25	ム メ モ ヤ ヨ ユ ヨ	ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ワ	キ エ ヲ ン ヴ カ ケ	
26				
27	o p r c t y φ x	ц ч ш щ ь ы ь э	ю я	
28				
29				
2A				
2B				
2C				
2D				
2E				
2F				
30	委 衣 謂 違 遺 医 井 亥	域 育 郁 磯 一 壹 溢 逸	稻 茨 芋 颯 允 印 咽 員	因 姻 引 飲 淫 胤 蔭
31	園 堰 奄 宴 延 怨 掩 援	沿 演 炎 焰 煙 燕 猿 綠	艷 苑 菌 遠 鉛 鴛 塩 於	汚 甥 凹 央 奧 往 応
32	迦 過 霞 蚊 俄 峨 我 牙	画 臥 芽 蛾 賀 雅 餓 駕	介 会 解 回 塊 壞 廻 快	怪 悔 恢 懷 戒 拐 改
33	樞 棍 鰭 渴 割 喝 恰 括	活 渴 滑 葛 褐 轄 且 鱈	叶 枇 樺 靴 株 兜 竈 蒲	釜 鎌 嚙 鴨 栢 茅 萱
34	巖 玩 癩 眼 岩 翫 贗 雁	頑 顏 願 企 仗 危 喜 器	基 奇 嬉 寄 岐 希 幾 忌	揮 机 旗 既 期 棋 棄
35	朽 求 汲 泣 灸 球 究 窮	笈 級 糾 給 旧 牛 去 居	巨 拒 拋 擧 渠 虛 許 距	鋸 漁 禦 魚 亨 享 京
36	謹 近 金 吟 銀 九 俱 句	区 狗 玖 矩 苦 軀 馭 駟	駒 具 愚 虞 喰 空 偶 寓	遇 隅 申 櫛 釧 屑 屈
37	劇 戟 擊 激 隙 桁 傑 欠	決 潔 穴 結 血 訣 月 件	儉 倦 健 兼 券 劍 喧 圈	堅 嫌 建 憲 懸 拳 捲
38	伍 午 吳 吾 娛 後 御 悟	梧 檣 瑚 砮 語 誤 護 酬	乞 鯉 交 佼 侯 候 倖 光	公 功 効 勾 厚 口 向
39	項 香 高 鴻 剛 劫 号 合	壕 拷 濠 豪 轟 趨 剋 刻	告 国 穀 酷 鵠 黑 獄 索	腰 甌 忽 惚 骨 狎 込
3A	材 罪 財 冚 坂 阪 堺 榭	肴 咲 崎 埼 碕 鴛 作 削	咋 搾 昨 朔 柵 窄 策 似	錯 桜 鮭 筮 匙 冊 刷
3B	死 氏 獅 祉 私 糸 紙 紫	肢 脂 至 視 詞 詩 試 誌	諳 資 賜 雌 飼 齒 事 似	侍 兒 字 寺 慈 持 時
3C	酌 积 錫 若 寂 弱 惹 主	取 守 手 朱 殊 狩 珠 種	腫 趣 酒 首 儒 受 呪 寿	授 樹 綬 需 囚 収 周
3D	準 潤 盾 純 巡 遵 醇 順	处 初 所 暑 曙 渚 庶 緒	署 書 薯 諸 助 叙 女 穰	序 徐 恕 鋤 除 傷 償
3E	鉦 鍾 鐘 障 鞞 上 丈 丞	乘 冗 剩 城 場 壤 壤 常	情 擾 条 杖 淨 狀 暈 穰	蒸 讓 釀 錠 嘱 埴 飾
3F	逗 吹 垂 帥 推 水 炊 睡	粹 翠 衰 遂 醉 錘 隨 隨	瑞 髓 崇 嵩 数 枢 趨 雛	据 杉 枱 菅 頗 雀 裾
40	窃 節 説 雪 絶 舌 蟬 仙	先 千 占 宣 專 尖 川 戰	扇 撰 栓 梅 泉 浅 洗 染	潜 煎 煽 旋 穿 箭 線
41	操 早 曹 巢 槍 槽 漕 燥	争 瘦 相 窓 槽 綜 綜 聡	草 莊 托 挾 拓 沢 濯 琢 託	鐸 濁 諾 茸 胤 蛸 只
42	退 逮 隊 黛 鯛 代 台 大	第 醜 題 鷹 滝 瀧 卓 啄	宅 托 挾 拓 沢 濯 琢 託	著 貯 丁 兆 凋 喋 寵
43	逐 秩 壑 茶 嫡 着 中 仲	宙 忠 抽 昼 柱 注 虫 衷	悌 抵 挺 提 梯 汀 錠 痘	程 締 艇 訂 諦 蹄 遞
44	釣 鶴 亭 低 停 偵 剝 貞	呈 堤 定 帝 底 庭 廷 弟	悌 盜 淘 湯 涛 灯 燈 当 痘	裱 等 答 筒 糖 統 到
45	凍 刀 唐 塔 塘 套 宕 鳥	嶋 悼 投 搭 東 桃 袴 棟	軟 難 汝 二 尼 式 迓 句	賑 肉 虹 廿 日 乳 入
46	奈 那 内 乍 風 雍 謎 灘	捺 鍋 楯 馴 暇 南 楠 柏	泊 泊 白 箔 粕 舶 薄 迫	曝 漠 爆 縛 莫 駁 麦
47	榎 煤 猥 買 壳 賠 陪 這	蠅 秤 矧 菽 伯 剥 博 拍	柏 泊 白 箔 粕 舶 薄 迫	尾 微 枇 毘 眉 美
48	彼 悲 扉 批 披 斐 比 泌	疲 皮 碑 秘 緋 罷 肥 被	誹 費 避 非 飛 樋 簸 備	尾 微 枇 毘 眉 美
49	斧 普 浮 父 符 腐 膚 芙	譜 負 賦 赴 阜 附 侮 撫	武 舞 葡 燕 部 封 楓 風	茸 落 伏 副 復 幅 服
4A	圃 捕 步 甫 補 輔 穗 募	每 哩 禎 暮 母 簿 菩 倣	俸 包 呆 報 奉 宝 峰 峯	崩 庖 抱 捧 放 方 朋
4B	摩 磨 魔 麻 埋 妹 昧 枚	每 勿 也 冶 夜 爺 野	籜 矢 厄 役 約 藥 濫 藍	迄 佻 爾 磨 万 慢 滿
4C	尤 戾 刳 貫 問 悶 紋 門	来 莱 頼 雷 洛 隸 零	乱 卵 嵐 欄 劣 烈 裂	柳 茲 履 李 梨 理 璃
4D	沃 浴 翌 翼 淀 羅 螺 裸	来 玲 苓 鈴 隸 零	亂 卵 嵐 欄 劣 烈 裂	柳 茲 履 李 梨 理 璃
4E	類 令 伶 例 冷 勵 嶺 伶			
4F				

第2水準

第2水準	第1水準																															
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	
50	弌	丐	丕	个	卍	丷	井	ノ	父	乖	乘	亂	丿	豫	事	舒	弌	于	亞	亟	一	亢	京	毫	宣	从	仍	仄	仆	佂	仗	
51	僉	僂	傳	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	儿	兀	兒	兌	兔	兢	兢	
52	辦	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	匕	匚	匚	匚	匚	匚	匚	
53	咫	晒	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	𠃊	𠃊	𠃊	𠃊	𠃊	𠃊	𠃊	
54	圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	
55	奸	妁	妝	佞	佞	妣	妣	姆	姆	姜	姁	姁	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	
56	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	
57	廖	廣	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	
58	悄	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	
59	憂	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	
5A	據	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	
5B	曄	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	
5C	楮	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	
5D	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	
5E	洳	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	
5F	漾	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	
60	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	燄	
61	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	
62	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	
63	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚	磚
64	篋	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	
65	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	
66	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	罅	
67	隋	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	
68	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	
69	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	
6A	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	蠃	
6B	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	
6C	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	謔	
6D	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	
6E	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	
6F	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	
70	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝		
71	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	
72	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	
73	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝		
74	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯																									
75																																
76																																
77																																
78																																
79																																
7A																																
7B																																
7C																																
7D																																
7E																																
7F																																



第2章 コピー

コピー機能の操作方法について詳しく記載しています。

コピーとして使用する前に

コピーモードの基本画面について	2-3
コピーの流れ	2-6
原稿について	2-9
• 原稿サイズを確認する	2-9
用紙トレイについて	2-11

基本的なコピーのとりかた

コピーする	2-12
• 原稿自動送り装置でコピーする	2-12
• 原稿台（ガラス面）でコピーする	2-14
自動両面コピーする	2-16
• 原稿自動送り装置で自動両面コピーする	2-16
• 原稿台（ガラス面）で自動両面コピーする	2-18
コピーのカラーモードについて	2-21
コピーの濃度や原稿種類を変える	2-22
• 自動で濃度や原稿種類を調整する	2-22
• 原稿種類の選択と手動濃度調整	2-22
拡大・縮小コピーする	2-24
• 自動で倍率を選択する（倍率自動選択）	2-24
• 手動で倍率を選択する（固定倍率／ズーム）	2-25
• 縦横別々の倍率で拡大・縮小コピーする（たてよこ独立変倍）	2-27
原稿サイズについて	2-28
• 原稿サイズを指定する	2-28
• よく使う原稿サイズを登録する	2-29
仕上げについて	2-32
• 仕上げの種類	2-34
手差しトレイを使ってコピーする	2-37

特別機能について

特別機能の種類について	2-40
とじしろをつけてコピーする（とじしろ）	2-43
まわりに影ができないようにコピーする（枠消去）	2-45
見開きページを1ページずつコピーする（1セット2コピー）	2-47
パンフレットのようにコピーする（中とじ）	2-49
大量の原稿を一度にまとめてコピーする（大量原稿モード）	2-52
大量の原稿をすばやくコピーする（連結コピー）	2-55
コピーに表紙／合い紙を挿入する	2-58
• コピーに表紙を挿入する（表紙設定）	2-59
• コピーに合い紙を挿入する（合い紙設定）	2-62
• 表紙／合い紙の設定を変更する（ページレイアウト）	2-66
OHPフィルムがはりつかないようにする（OHP合い紙）	2-69
原稿を1枚にまとめてコピーする（ページ集約）	2-71
パンフレットを実際の見開きどおりにコピーする（ブック複製）	2-73
タブ紙に見出しをコピーする（タブコピー）	2-77
• 原稿とタブ紙の関係	2-77
カードの表裏を1枚にまとめてコピーする（カードスキャン）	2-79
用紙に日付やスタンプを印字してコピーする（印字メニュー）	2-82
• 印字メニューを使用する際の共通手順	2-83
• 日付をつけてコピーする（日付印字）	2-86
• スタンプをつけてコピーする（スタンプ）	2-88
• ページをつけてコピーする（ページ数）	2-90
• 文字を入れてコピーする（文字）	2-94
• 印字メニューのレイアウトを確認する（印字レイアウト）	2-98
• すかし文字を入れてコピーする（ウォーターマーク）	2-100

[画像編集]キーについて	2-102
• 写真などを並べてコピーする（写真リ ピート）.....	2-103
• ポスター大にコピーする（拡大連写）.....	2-105
• 鏡に映したようなコピーをする（鏡像）.....	2-108
• A3サイズの下原稿が欠けないようにコ ピーする（A3ワイドコピー）.....	2-109
• 用紙の中央にコピーする（センタリング）.....	2-111
• 白と黒の部分を反転させてコピーする （白黒反転）.....	2-113
[カラー調整]キーについて	2-115
• 赤・緑・青の濃淡を調整してコピーする （RGB）.....	2-116
• 画像の輪郭を調整してコピーする （シャープネス）.....	2-117
• 色の薄い部分を白くしてコピーする（下 地消去）.....	2-118
• コピーの色合いを調整する（カラーパラ ンス）.....	2-120
• コピーの明るさを調整する（あかるさ調整）.....	2-122
• コピーの鮮やかさを調整する（あざやか 調整）.....	2-123
仕上がりを確かめてからコピーする（お試 しコピー）	2-124
読み込んだ原稿枚数を確認してからコピーす る（原稿枚数カウント）	2-127
大きさの違う原稿をまとめてコピーする （混載原稿）	2-128
薄い紙の原稿をコピーする（薄紙読み込み） ...	2-131

便利なコピー機能

コピー中に割り込んでコピーする（割り込 みコピー）	2-133
コピーの仕上がりイメージを確認する（プ レビュー確認）	2-135
• プレビュー確認画面について.....	2-137
ジョブ状況画面について	2-138
• 予約/実行中画面と完了画面について.....	2-139
• 待機中のコピージョブを中止する	2-141
• 待機中のコピージョブを優先してコピー する	2-142
• 待機中のコピージョブの内容を確認する ...	2-143
コピーの操作を登録して使用する（ジョブ プログラム）	2-144
• ジョブプログラムを登録する（修正・消 去する）.....	2-145
付録	2-147

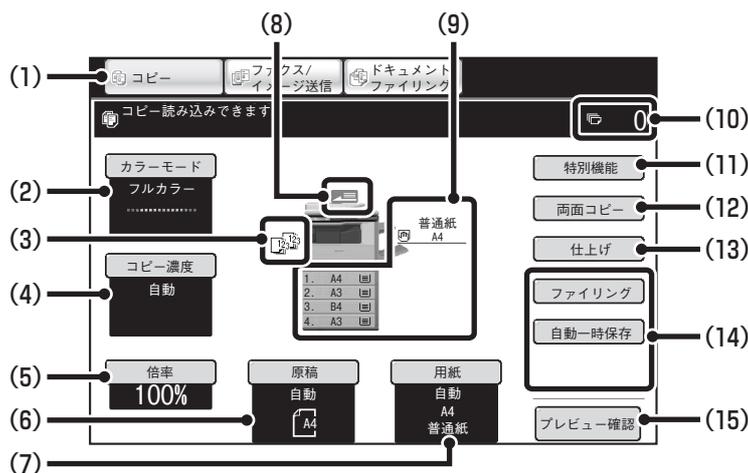
コピーとして使用する前に

コピーとして使用する前に知っておく必要のある事 regarding について説明しています。

コピーモードの基本画面について

タッチパネルの[コピー]キーをタッチすると、コピーモードの基本画面が表示されます。

コピーモードの基本画面には、コピー操作に必要なメッセージ・操作キー・設定した機能などが表示されます。



(1) モード切り替えキー

コピー、ファクス/イメージ送信、ドキュメントファイリングの各機能を切り替えるときにタッチします。コピーモードに切り替えるときは、[コピー]キーをタッチしてください。

(2) [カラーモード]キー

カラーモードを切り替えるときにタッチします。
 ☞ [コピーのカラーモードについて](#) (2-21ページ)

(3) 仕上げ表示部

ソート、グループ、ステープルソートなどの各機能を設定すると、それぞれの機能を示すアイコンが表示されます。
 ☞ [仕上げについて](#) (2-32ページ)

(4) [コピー濃度]キー

現在のコピー濃度と原稿種類が表示されます。コピー濃度と原稿種類を変更するときにタッチします。
 ☞ [コピーの濃度や原稿種類を変える](#) (2-22ページ)

(5) [倍率]キー

現在のコピー倍率が表示されます。コピー倍率を変更するときにタッチします。
 ☞ [拡大・縮小コピーする](#) (2-24ページ)

(6) [原稿]キー

原稿サイズを手動で入力するときにタッチします。原稿をセットすると自動検知された原稿サイズが表示されます。原稿サイズが手動設定されている場合、設定されたサイズが表示されます。
 ☞ [原稿サイズについて](#) (2-28ページ)

(7) [用紙]キー

使用する用紙(トレイ)を変更するときにタッチします。タッチするとトレイ、用紙サイズ、用紙種類(タイプ)が表示されます。用紙サイズ表示部のトレイ1~4をタッチしても同様の画面が表示されます。
 ☞ [用紙トレイについて](#) (2-11ページ)

(8) 原稿送り表示

原稿自動送り装置に原稿をセットしたときに表示されます。

(9) 用紙サイズ表示部

各トレイにセットされている用紙サイズが表示されます。

手差しトレイの部分は、用紙の種類（タイプ）が用紙サイズの上に表示されます。

選択されているトレイは反転表示しています。

「」は用紙残量の目安を表示しています。トレイ1～4をタッチすると[用紙]キーをタッチしたときと同様の画面が表示されます。

☞ [用紙トレイについて](#) (2-11ページ)

(10) コピー枚数表示部

設定されているコピー枚数（部数）が表示されます。

(11) [特別機能]キー

とじしろ、枠消去、1セット2コピーなどの特別機能を使用するときにタッチします。

☞ [特別機能の種類について](#) (2-40ページ)

(12) [両面コピー]キー

両面コピーの機能を設定するときにタッチします。

☞ [自動両面コピーする](#) (2-16ページ)

(13) [仕上げ]キー

ソート、グループ、オフセット、ステープルソート、パンチの各機能を設定するときにタッチします。

☞ [仕上げについて](#) (2-32ページ)

(14) カスタマイズキー

ここに表示されるキーはお好みの設定項目に合わせて変更することができます。工場出荷時は次のキーが表示されています。

☞ [お好みに合わせてキー表示を変更する（カスタマイズキー）](#) (2-5ページ)

[ファイリング]キー、[自動一時保存]キー

ファイリング、自動一時保存などドキュメントファイリング機能を使用するときにタッチします。[特別機能]キーをタッチして表示される[自動一時保存]キー、[ファイリング]キーと同じです。ドキュメントファイリング機能については、「6. ドキュメントファイリング」を参照してください。

(15) [プレビュー確認]キー

コピーの仕上がりがイメージを、あらかじめタッチパネルで確認してからコピーしたいときにタッチします。

☞ [コピーの仕上がりがイメージを確認する（プレビュー確認）](#) (2-135ページ)

 ここで説明している画面は、給紙デスク、フィニッシャー、パンチユニットを装着している場合の表示です。周辺装置の装着状況により表示は異なります。

給紙動作中のトレイについて

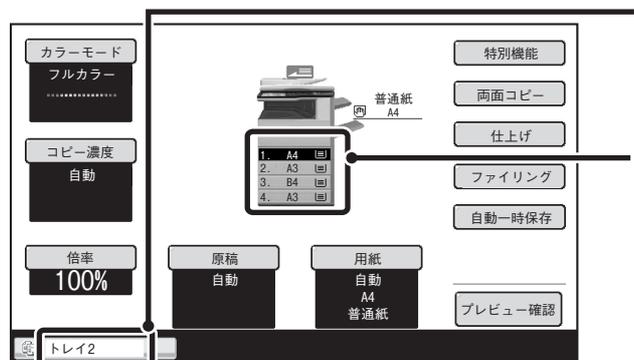
給紙動作中のトレイは、引き出さないでください。引き出すと紙づまりします。

給紙動作中のトレイの見分け方

(1) 給紙動作中は、タッチパネル画面のシステムバーのジョブ状況表示部に、給紙動作中のトレイ番号を表示します。

(2) 基本画面に表示される用紙サイズ表示部にも給紙動作中のトレイを緑色表示します。

基本画面



(1) システムバーのジョブ状況表示部

給紙動作中のトレイ番号を表示します。

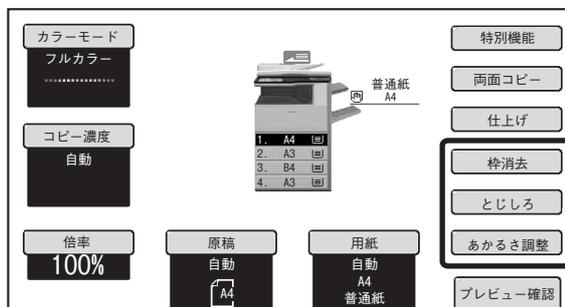
(2) 用紙サイズ表示部

給紙動作中のトレイを緑色表示します。

お好みに合わせてキー表示を変更する（カスタマイズキー）

特別機能の設定キーなどを、基本画面に表示させておくことができます。表示させるキーをよく使う機能に変更しておくと、ワンタッチで設定操作に入ることができ便利です。お好みに合わせてキー表示を変更するときは、Webページの「カスタマイズキー設定」で変更します。

カスタマイズキーを「枠消去」、「とじしろ」、「あかるさ調整」にした場合



この3つのキーをお好みに合わせて変更することができます。



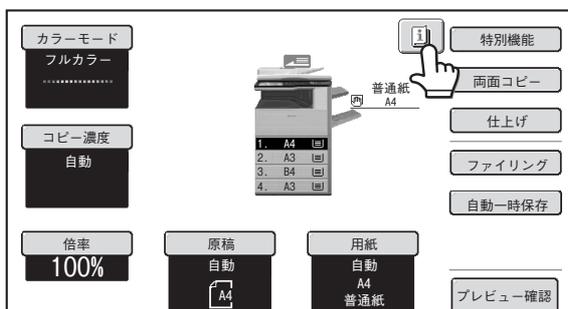
システム設定（管理者）：カスタマイズキー設定

Webページメニューにある[システム設定]→[操作設定]の「カスタマイズキー設定」で登録します。

特別機能の設定状態を確認する

「特別機能」の各項目が設定されているときは、基本画面に  キーが表示されます。

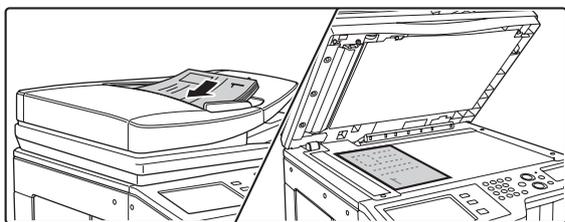
 キーをタッチすると設定内容が表示されます。設定内容の確認画面を閉じるときは[OK]キーをタッチしてください。



コピーの流れ

ここでは、コピーの基本的な手順を説明しています。下記の順に設定を行うと、円滑にコピーが行えます。詳しい設定方法については、それぞれの説明ページを参照してください。

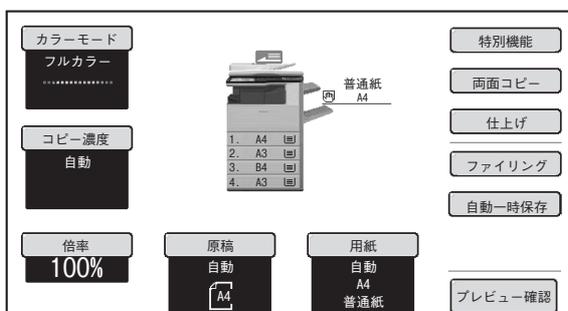
原稿をセットする



原稿を原稿自動送り装置の原稿セット台、または原稿台（ガラス面）のどちらかにセットします。

※ 使用する機能によっては機能を設定してから原稿をセットする場合があります。

コピーの基本設定



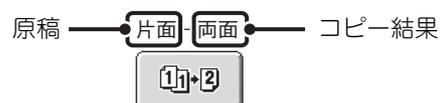
コピーの基本的な設定や調整を行います。主に次の項目を設定します。

- カラーモードの設定 [コピーのカラーモードについて](#) (2-21ページ)
- 濃度と原稿種類の設定 [コピーの濃度や原稿種類を変える](#) (2-22ページ)
- 倍率設定 [拡大・縮小コピーする](#) (2-24ページ)
- 原稿サイズ設定 [原稿サイズについて](#) (2-28ページ)
- 用紙設定 [用紙トレイについて](#) (2-11ページ)

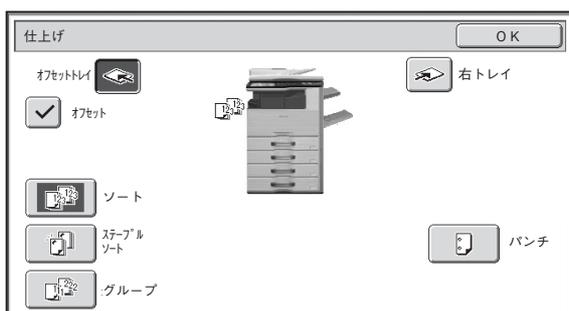
両面コピーの設定



コピーを両面で行う設定や両面原稿を読み込む設定を行います。
[自動両面コピーする](#) (2-16ページ)



仕上げの設定



コピーの仕上げ（コピー出力の設定）を設定します。主に次の項目を設定します。

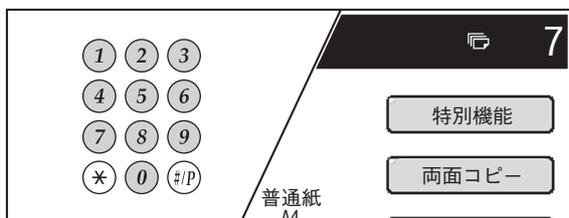
- ソート機能 [ソート機能](#) (2-34ページ)
- グループ機能 [グループ機能](#) (2-34ページ)
- オフセット機能 [オフセット機能](#) (2-34ページ)
- ステープルソート機能 [ステープルソート機能](#) (2-35ページ)
- パンチ機能 [パンチ機能](#) (2-36ページ)

特別機能の設定



とじしろや枠消去などの特別機能の設定を行います。
[特別機能の種類について](#) (2-40ページ)

コピー枚数（部数）の設定



コピー枚数（部数）の設定を行います。

コピーを開始する

原稿を読み込んでコピーを開始します。
[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押してください。

- 特別機能を設定するとコピーの基本画面に  キーが表示されます。 キーをタッチすると、設定されている特別機能のリストが表示され、設定されている特別機能とその設定内容が確認できます。
 - ▶ [特別機能の設定状態を確認する](#) (2-5ページ)
- ドキュメントファイリングでコピーのデータを保存するときは、コピーするための設定を行ったあと、[ファイリング]キーまたは[自動一時保存]キーをタッチして設定してください。

- **すべての設定を解除するときには、[リセット]キー () を押してください。**
[リセット]キー () を押すと、それまで入力した内容や設定をすべて解除して基本画面に戻ります。
- **原稿の読み込みとコピーを中止するときは、[ストップ]キー () を押してください。**
[ストップ]キー () を押すと、ジョブ中止の確認メッセージ画面が表示されます。この画面で[中止する]キーをタッチしてください。

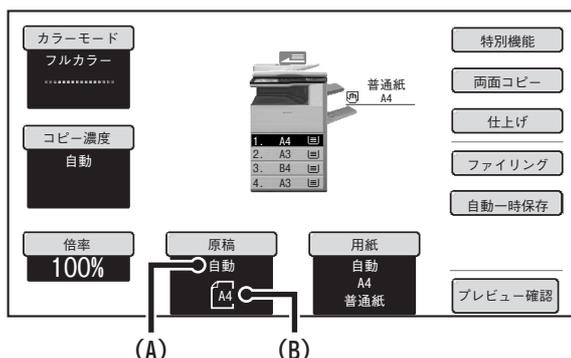
原稿について

原稿サイズを確認する

[原稿]キーに[自動]と表示されている場合は、セットした原稿のサイズを自動的に判別します。(原稿自動検知機能) 原稿をセットすると原稿サイズが自動的に検知され、検知した原稿サイズを基本画面の[原稿]キーの中に表示します。

基本画面の表示例

セットした原稿サイズを表示します。



- (A) 原稿自動検知機能がはたらいっているときに[自動]と表示されます。
 (B) セットされている原稿サイズを表示します。またアイコンで原稿のセット方向を表示します。

規定サイズについて

規定サイズとは、本機が自動検知できるサイズを指します。規定サイズはシステム設定(管理者)の「原稿検知装置の設定」によって設定されます。工場出荷時は「AB-1」に設定されています。

原稿検知装置の設定リスト

選択項目	規定サイズ(原稿検知サイズ)	
	原稿台(ガラス面)	原稿セット台(原稿自動送り装置)
AB-1	A3, A4, A4R, A5, B4, B5, B5R	A3, A4, A4R, A5, B4, B5, B5R, 8-1/2"x11", 8-1/2"x14", 11"x17"
AB-2	A3, A4, A4R, A5, B5, B5R, 216mmx330mm (8-1/2"x13")	A3, A4, A4R, A5, B4, B5, B5R, 8-1/2"x11", 11"x17", 216mmx330mm (8-1/2"x13")
AB-3	A4, A4R, A5, B4, 8K, 16K, 16KR	A3, A4, A4R, A5, B4, 8K, 16K, 16KR, 8-1/2"x11", 11"x17", 216mmx330mm (8-1/2"x13")
AB-4	A3, A4, A4R, A5, B5, B5R, 216mmx340mm (8-1/2"x13-2/5")	A3, A4, A4R, A5, B4, B5, B5R, 8-1/2"x11", 11"x17", 216mmx340mm (8-1/2"x13-2/5")
AB-5	A3, A4, A4R, A5, B5, B5R, 216mmx343mm (8-1/2"x13-1/2")	A3, A4, A4R, A5, B4, B5, B5R, 8-1/2"x11", 11"x17", 216mmx343mm (8-1/2"x13-1/2")
INCH-1	11"x17", 8-1/2"x14", 8-1/2"x11", 8-1/2"x11"R, 5-1/2"x8-1/2"	11"x17", 8-1/2"x14", 8-1/2"x11", 8-1/2"x11"R, 5-1/2"x8-1/2", A4, A3
INCH-2	11"x17", 8-1/2"x13" (216mmx330mm), 8-1/2"x11", 8-1/2"x11"R, 5-1/2"x8-1/2"	11"x17", 8-1/2"x13" (216mmx330mm), 8-1/2"x11", 8-1/2"x11"R, 5-1/2"x8-1/2", A4, A3
INCH-3	11"x17", 8-1/2"x13-2/5" (216mmx340mm), 8-1/2"x11", 8-1/2"x11"R, 5-1/2"x8-1/2"	11"x17", 8-1/2"x13-2/5" (216mmx340mm), 8-1/2"x11", 8-1/2"x11"R, 5-1/2"x8-1/2", A3, A4

● 原稿自動検知機能がはたらいっているときに、規定サイズ以外の原稿(インチ系の原稿や特殊サイズなど)をセットした場合、規定サイズに近い原稿サイズが表示されたり、原稿サイズが表示されない場合があります。このときは、手動で正しい原稿サイズを設定してください。

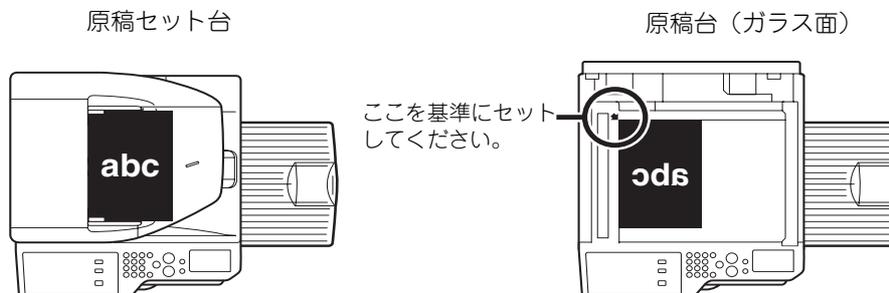
☞ [原稿サイズを指定する](#) (2-28ページ)

● サイズが検知されない原稿を原稿台(ガラス面)にセットするときは、A4やB5などの定形サイズの白紙を原稿の上に重ねると原稿サイズが検知されやすくなります。

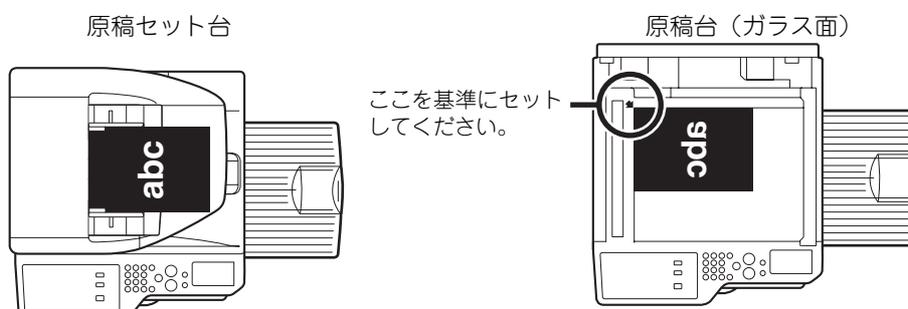
原稿セット時の基準セット方向について

原稿セットの方向は、原稿セット台／原稿台（ガラス面）のどちらにセットする場合でも、原稿の天部（上端）と地部（下端）が図のような位置関係でセットすることを基準としてください。異なる位置関係でセットすると、たとえばステープルコピーのとき、ステープルどめされる位置が適切でないといったことが起こる場合があります。原稿セットの詳細については「1. お使いになる前に」の「[原稿について](#)」（1-35ページ）を参照してください。

【例1】



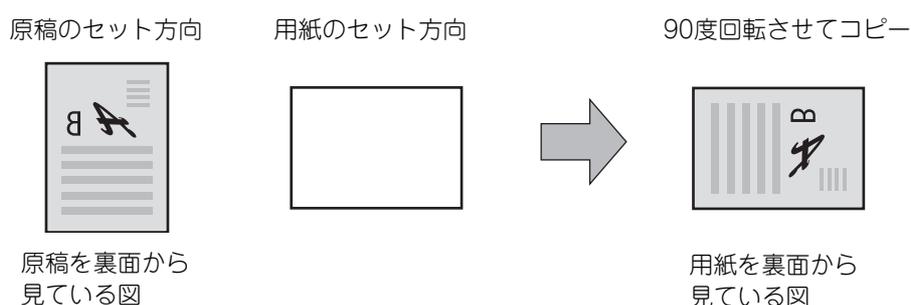
【例2】



コピー画像の自動回転機能について（回転コピー）

原稿と用紙のセット方向（縦・横の向き）が異なる場合は、原稿の画像を自動的に90度回転させてコピーします。（回転コピーする場合は、メッセージが表示されます。）

【例】

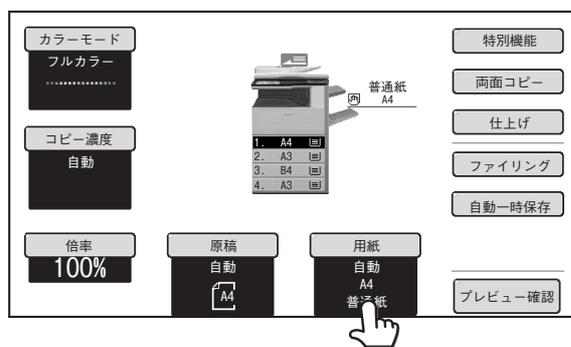


この機能は用紙自動選択または倍率自動選択状態のときにはたつきません。システム設定（管理者）の「回転コピーの設定」により、回転させないようにすることもできます。

用紙トレイについて

本機は、セットした原稿と同じサイズの用紙が入っているトレイを自動的に選択するように設定されています。(自動用紙トレイ選択)

原稿と同じサイズの用紙が選択されない場合や、用紙サイズを変更してコピーしたい場合などは、使用したい用紙トレイを手動で変更します。

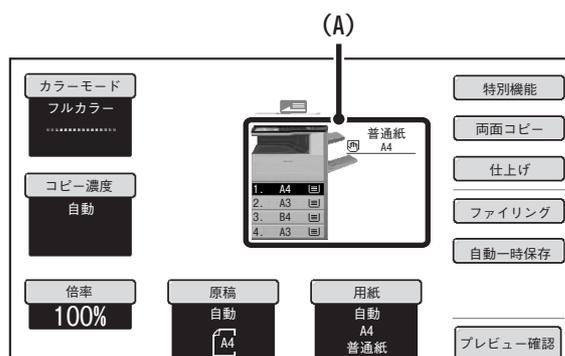


[用紙]キーをタッチする

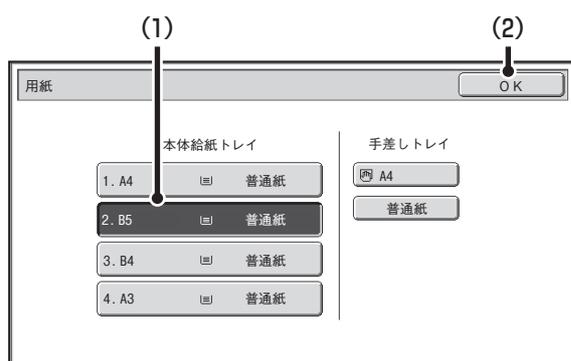
1



用紙サイズ表示部 (A) をタッチして用紙トレイの設定画面を表示させることもできます。



2



使用するトレイを選択する

(1) 使用するトレイのキーをタッチする

(2) [OK]キーをタッチする

基本画面に戻り、選択したトレイが反転表示されます。

コピー中に使用しているトレイの用紙がなくなった場合、同じサイズとタイプの用紙が別のトレイにセットされているときは、そのトレイが自動的に選択され、コピーを継続します。

手動でトレイを変更した場合、自動用紙トレイ選択機能に戻りたいときは、[リセット]キー (⌂) を押してください。

システム設定 (管理者)：コピーモードの標準状態設定 (用紙トレイ) 初期状態で選択されているトレイを変えることができます。

基本的なコピーのとりかた

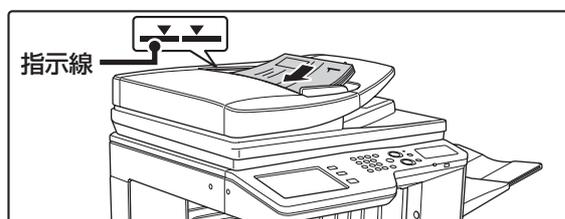
ここでは、標準的なコピーのとりかた、拡大・縮小コピーのとりかたなど、コピー機能の基本的な操作方法について説明しています。

コピーする

原稿自動送り装置でコピーする

原稿自動送り装置を使ってコピーする（片面原稿から片面コピーする）方法について説明します。

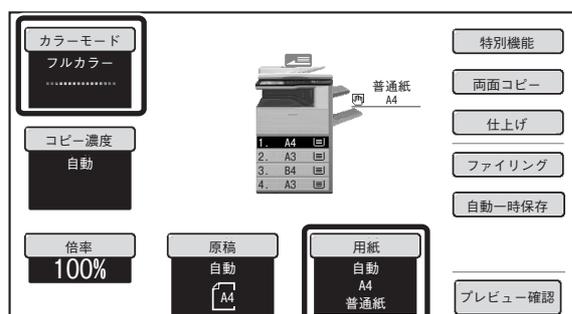
1



原稿の端面をそろえ、先頭ページを上向きにして原稿セット台にセットする

原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。

2



コピーする用紙とカラーモードを確認する

コピーしたい用紙（トレイ）とカラーモードが選択されていることを確認してください。

- 使用する用紙（トレイ）を変更したいときは、[用紙]キーをタッチしてください。
[用紙トレイについて](#) (2-11ページ)
- カラーモードを変更するときは、[カラーモード]キーをタッチしてください。
[コピーのカラーモードについて](#) (2-21ページ)



セットした原稿のサイズによっては自動的に原稿と同じサイズの用紙が選択されない場合があります。その場合は手で用紙サイズを変更してください。

3



数字キーで必要なコピー枚数（部数）を設定する



- 最大999枚（部）まで設定できます。
- 1枚だけコピーするときは、枚数表示が「0」のままでもコピーすることができます。



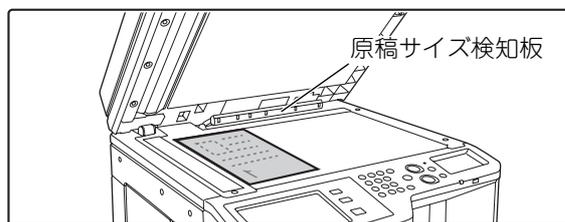
設定枚数をまちがえたときは…
 [クリア]キー（）を押したあと、正しい枚数に設定し直してください。

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

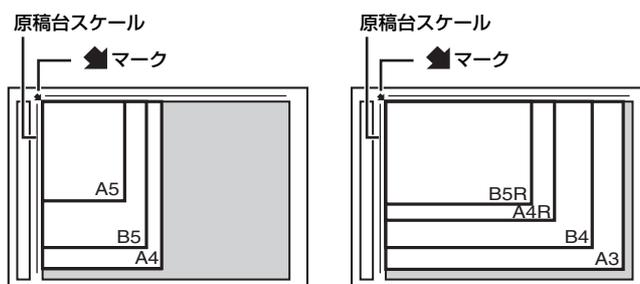
- 4  カラーモードが設定されていても、[白黒スタート]キーを押すと白黒でコピーされます。
-  原稿の読み込みとコピーを中止するには…
[ストップ]キー (⏏) を押して中止してください。

原稿台（ガラス面）でコピーする

原稿自動送り装置で読み込めない原稿や本などの厚手の原稿は、原稿自動送り装置を開いて原稿台（ガラス面）にセットします。ここでは原稿台（ガラス面）を使ってコピーする（片面原稿から片面コピー）方法について説明します。



原稿自動送り装置を開き、原稿を原稿台（ガラス面）に下向きにしてセットしてから、静かに原稿自動送り装置を閉じる

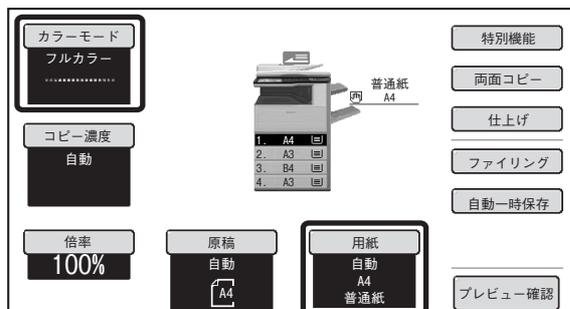


- 原稿台スケールの▲マークの先に原稿の角を合わせてください。
- 原稿はサイズに応じて上図の位置になるようにセットしてください。
- 原稿をセットしたあとは、原稿自動送り装置を必ず閉じてください。開いたままだと、原稿以外の部分が黒くコピーされてトナーの過剰消費につながります。

1



原稿サイズ検知板の下には物をおかないでください。物がはさまった状態で原稿自動送り装置を閉じると、原稿サイズ検知板がこわれたり、原稿サイズが正しく検知されないことがあります。



2

コピーする用紙とカラーモードを確認する

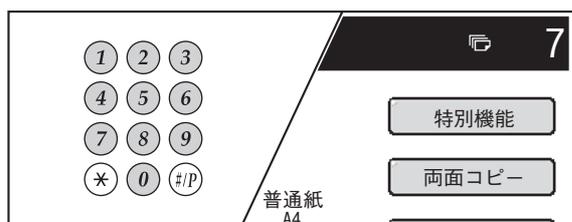
コピーしたい用紙（トレイ）とカラーモードが選択されていることを確認してください。

- 使用する用紙（トレイ）を変更したいときは、[用紙]キーをタッチしてください。
[用紙トレイについて](#) (2-11ページ)
- カラーモードを変更するときは、[カラーモード]キーをタッチしてください。
[コピーのカラーモードについて](#) (2-21ページ)



セットした原稿のサイズによっては自動的に原稿と同じサイズの用紙が選択されない場合があります。その場合は手で用紙サイズを変更してください。

3



数字キーで必要なコピー枚数（部数）を設定する



- 最大999枚（部）まで設定できます。
- 1枚だけコピーするときは、枚数表示が「0」のままでもコピーすることができます。



設定枚数をまちがえたときは…

[クリア]キー（）を押したあと、正しい枚数に設定し直してください。

4

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

通常はコピーが開始されます。

両面コピーなどコピーの設定によっては、すべての原稿を読み込ませてからコピーが開始されます。この場合は、次の手順へ進んでください。



カラーモードが設定されていても、[白黒スタート]キーを押すと白黒でコピーされます。

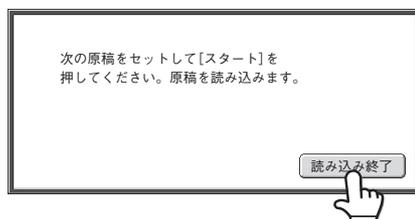
5

次の原稿に入れ替えて、[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿をすべて読み込むまで、この操作を繰り返し行います。

2枚目以降の原稿読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。

6



[読み込み終了]キーをタッチする

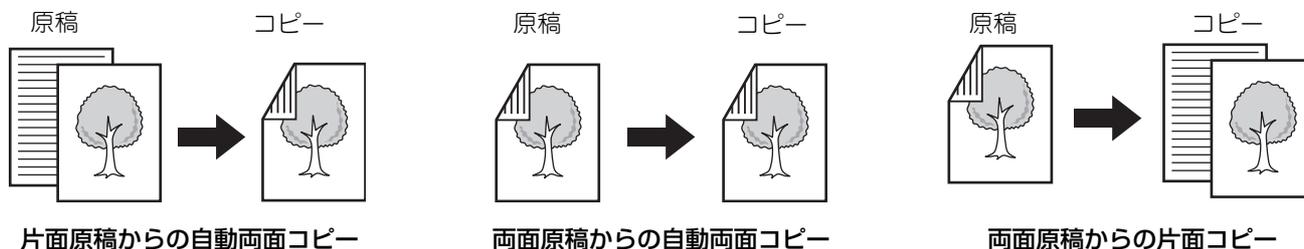


原稿の読み込みとコピーを中止するには…

[ストップ]キー（）を押して中止してください。

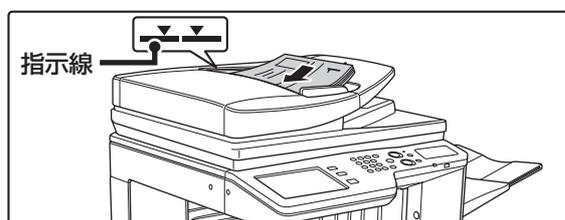
自動両面コピーする

原稿自動送り装置で自動両面コピーする



用紙の両面にコピーすることで用紙の節約になります。

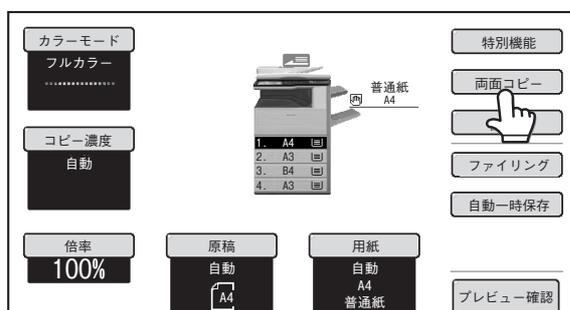
1



原稿の端面をそろえ、先頭ページを上向きにして原稿セット台にセットする

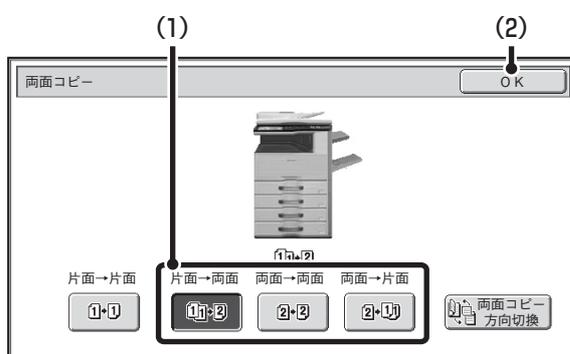
原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。
原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。

2



[両面コピー]キーをタッチする

3



両面コピーを設定する

(1) 設定したい両面コピーのキーをタッチする

- 片面→両面
①→② : 片面原稿からの自動両面コピー
- 両面→両面
②→② : 両面原稿からの自動両面コピー
- 両面→片面
②→① : 両面原稿からの片面コピー

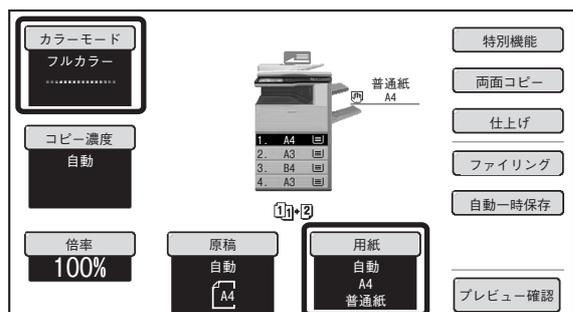
(2) [OK]キーをタッチする



縦向き of 片面原稿を横向きにセットして自動両面コピーするときや、両面原稿の表面と裏面を逆さにコピーするときは[両面コピー方向切換]キーをタッチしてください。

 [両面コピー方向切換]キーについて (2-17ページ)

4



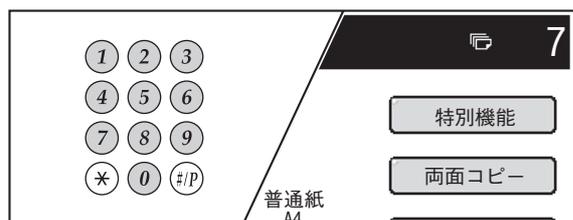
コピーする用紙とカラーモードを確認する

コピーしたい用紙（トレイ）とカラーモードが選択されていることを確認してください。

- 使用する用紙（トレイ）を変更したいときは、[用紙]キーをタッチしてください。
 ☞ [用紙トレイについて](#)（2-11ページ）
- カラーモードを変更するときは、[カラーモード]キーをタッチしてください。
 ☞ [コピーのカラーモードについて](#)（2-21ページ）

☞ セットした原稿のサイズによっては自動的に原稿と同じサイズの下紙が選択されない場合があります。その場合は手で用紙サイズを変更してください。

5



数字キーで必要なコピー枚数（部数）を設定する

- 最大999枚（部）まで設定できます。
- 1枚だけコピーするときは、枚数表示が「0」のままでもコピーすることができます。

☞ 設定枚数をまちがえたときは…
 [クリア]キー（C）を押したあと、正しい枚数に設定し直してください。

6

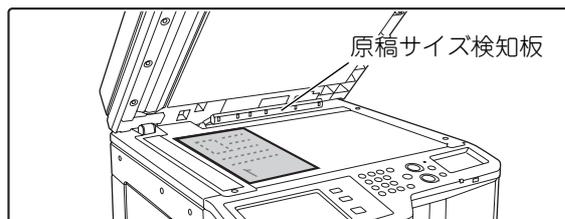
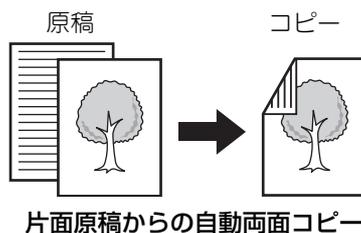
[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

☞ 原稿の読み込みとコピーを中止するには…
 [ストップ]キー（⊙）を押して中止してください。

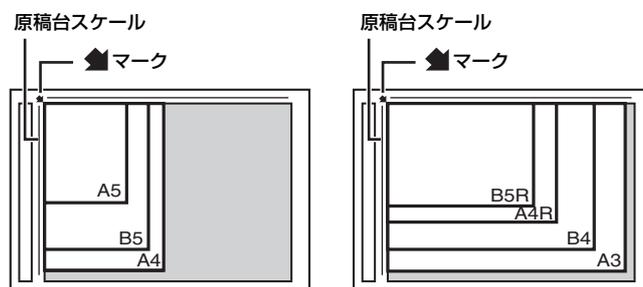
[両面コピー方向切換]キーについて

原稿	両面コピー方向切換を使用する	両面コピー方向切換を使用しない
	<p>表裏で天地が逆になります。</p> <p>縦とじにしたいときに設定します。</p>	<p>表裏とも天地が同じになります。</p> <p>横とじにしたいときに設定します。</p>

原稿台（ガラス面）で自動両面コピーする



原稿自動送り装置を開き、原稿を原稿台（ガラス面）に下向きにしてセットしてから、静かに原稿自動送り装置を閉じる



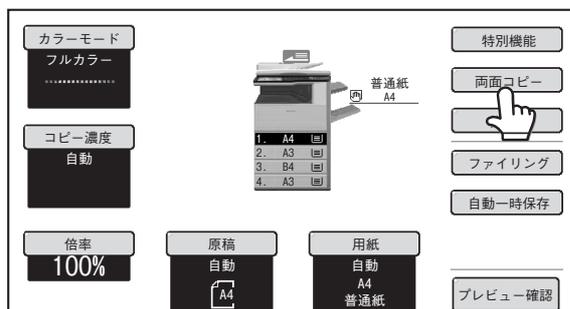
- 原稿台スケールの▲マークの先に原稿の角を合わせてください。
- 原稿はサイズに応じて上図の位置になるようにセットしてください。
- 原稿をセットしたあとは、原稿自動送り装置を必ず閉じてください。開いたままだと、原稿以外の部分が黒くコピーされてトナーの過剰消費につながります。

1



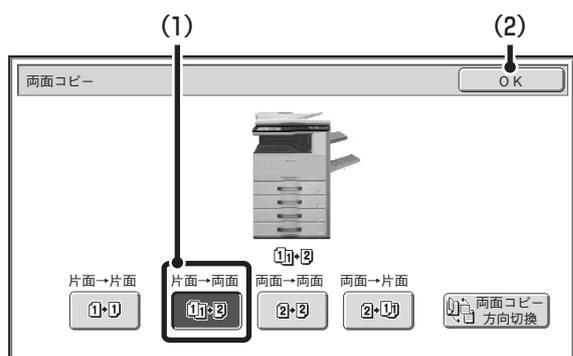
原稿サイズ検知板の下には物をおかないでください。物がはさまった状態で原稿自動送り装置を閉じると、原稿サイズ検知板がこわれたり、原稿サイズが正しく検知されないことがあります。

2



[両面コピー]キーをタッチする

3



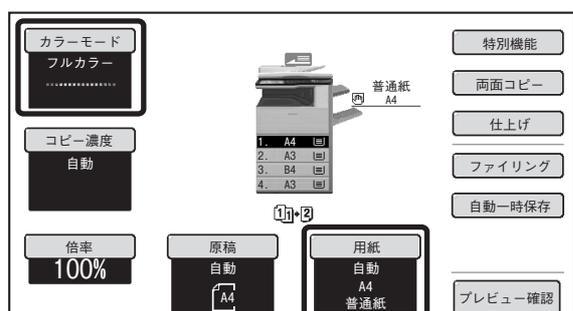
両面コピーを設定する

- (1) [片面→両面]キーをタッチする
- (2) [OK]キーをタッチする



[両面→両面]キーと[両面→片面]キーは原稿台（ガラス面）では使用できません。

4



コピーする用紙とカラーモードを確認する

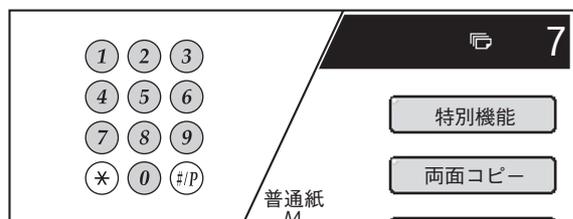
コピーしたい用紙（トレイ）とカラーモードが選択されていることを確認してください。

- 使用する用紙（トレイ）を変更したいときは、[用紙]キーをタッチしてください。
 - ☞ [用紙トレイについて](#)（2-11ページ）
- カラーモードを変更するときは、[カラーモード]キーをタッチしてください。
 - ☞ [コピーのカラーモードについて](#)（2-21ページ）



セットした原稿のサイズによっては自動的に原稿と同じサイズの下紙が選択されない場合があります。その場合は手動で用紙サイズを変更してください。

5



数字キーで必要なコピー枚数（部数）を設定する



- 最大999枚（部）まで設定できます。
- 1枚だけコピーするときは、枚数表示が「0」のままでもコピーすることができます。



設定枚数をまちがえたときは…

[クリア]キー（C）を押したあと、正しい枚数に設定し直してください。

6

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

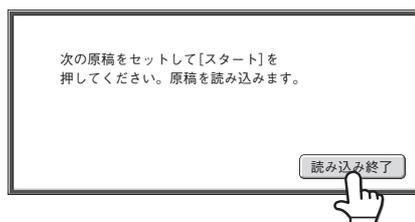
原稿の読み込みが始まります。

7

次の原稿に入れ替えて、[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿をすべて読み込むまで、この操作を繰り返し行います。

2枚目以降の原稿読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。



[読み込み終了]キーをタッチする



原稿の読み込みとコピーを中止するには…

[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。



システム設定 (管理者) : コピーモードの標準状態設定 (両面)

両面コピーモードの初期状態を変えることができます。

コピーのカラーモードについて

[カラースタート]キーのカラーモードは、通常[フルカラー]に設定されているため、[カラースタート]キーを押してコピーしたときは、フルカラーモードでコピーされます。カラー原稿と白黒原稿が混ざっている場合は、カラーモードを[自動]に設定すると、原稿に応じてカラーモードを切り替えてコピーすることができます。基本画面の[カラーモード]キーをタッチすると、次の画面が表示されます。



変更するカラーモードのキーをタッチし、[OK]キーをタッチしてください。

フルカラー	原稿をフルカラーでコピーします。
自動	原稿を自動的に判別し、カラー原稿はフルカラーに、白黒の原稿は白黒に、カラーモードを自動的に切り替えてコピーします。

- 
 自動モードの際、原稿によっては正しくフルカラーと白黒のモードが切り替わらない場合があります。その場合は、手で[カラースタート]キーか[白黒スタート]キーを押してカラーコピーと白黒コピーを切り替えてください。
- カラーモードの設定内容にかかわらず、[白黒スタート]キーを押すと白黒でコピーされます。

- 
システム設定 (管理者) : コピーモードの標準状態設定 (カラーモード)
 カラーモードの初期状態を変えることができます。
- システム設定 (管理者) : カラー自動モード時の判別基準**
 カラーモードを自動に設定しているときに、原稿を判別する度合いを5段階で設定することができます。

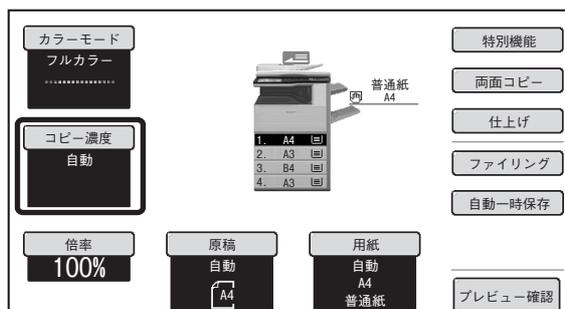
コピーの濃度や原稿種類を変える

原稿に応じて濃度や原稿種類を選ぶことで、鮮明なコピーをとることができます。

自動で濃度や原稿種類を調整する

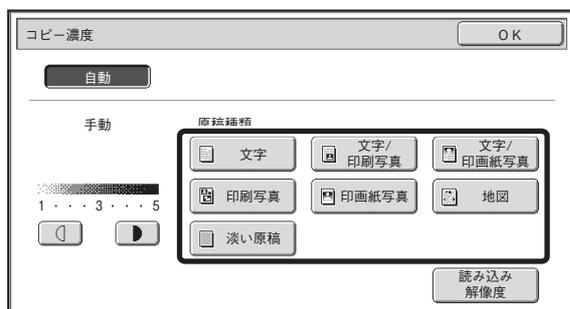
標準状態では、コピーする原稿に合わせて濃度や原稿の種類を自動的に調整する機能がはたらいています。（「自動」を表示しています。）

白黒コピーやフルカラーコピー時に最適なコピーができるように自動的に調整します。



原稿種類の選択と手動濃度調整

コピーする原稿に応じて原稿種類を選択したり、自分で濃度を調整したいときは、コピーモードの基本画面の[コピー濃度]キーをタッチしてから次の操作を行います。



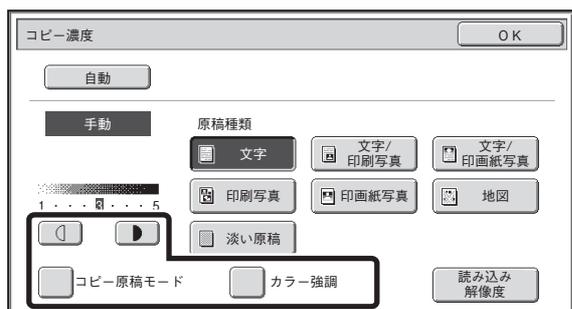
原稿種類を設定する

原稿種類選択キーをタッチして、原稿の種類に応じたモードを選択します。

● 原稿種類選択キーについて

設定項目	説明
文字	通常の文字原稿に適しています。
文字／印刷写真	雑誌やカタログなどの印刷物を原稿としてコピーする際、グラフィック写真部分の画質だけでなく、記事などの文字部分の画質も重視したい場合に適しています。
文字／印画紙写真	印画紙の写真を貼りつけた文字原稿などをコピーするのに適しています。
印刷写真	雑誌やカタログなどの印刷物を原稿としてコピーする際、グラフィック写真部分の画質を優先したい場合に適しています。
印画紙写真	印画紙の写真をコピーするのに適しています。
地図	淡い色などで色分けされ、細かい文字の入った地図などをコピーするのに適しています。
薄い原稿	薄い鉛筆書きのコピーに適しています。

2



コピー濃度を調整する

濃くとりたいときには、 キーをタッチして調整します。
薄くとりたいときには、 キーをタッチして調整します。

• コピー画像やプリントされた画像を原稿にする場合

本機でコピーした用紙やプリントした用紙を原稿として使用するときは、[コピー原稿モード]チェックボックスをタッチして にしてください。

[コピー原稿モード]が設定されていると、選択できる原稿種類選択キーは[文字]、[印刷写真]、[文字/印刷写真]のみとなります。

• カラーコピーの色をより鮮やかにする場合

[カラー強調]チェックボックスをタッチして にしてください。



• 「原稿種類」選択で[文字]を選択している場合の濃度の目安

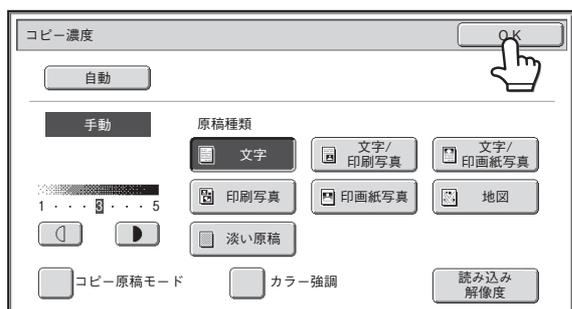
- 1～2：新聞などの濃い原稿
- 3：普通の濃さの原稿
- 4～5：鉛筆書きや薄い色文字の原稿

• カラー強調の制約

「カラー強調」を設定した場合は次の機能が使用できません。

- コピー原稿モード
- 「原稿種類」の[自動]、[薄い原稿]
- 特別機能のあざやか調整

3



[OK]キーをタッチする



• [自動]が選択されているが、画像の濃度が気になるときは…

[自動]を選択している場合で、濃度が薄く感じたり、濃く感じたりしたときは、システム設定（管理者）の「コピー印字濃度調整」で変更することができます。

• 読み込み解像度を変更するときは…

等倍で白黒コピーを行う場合は、[読み込み解像度]キーをタッチして、原稿を読み込む際の解像度を選択できます。原稿台(ガラス面)と原稿自動送り装置で選択できる数値が異なります。



• システム設定（管理者）：コピーモードの標準状態設定（濃度モード）

原稿種類の初期状態を変えることができます。

• システム設定（管理者）：コピー印字濃度調整

自動濃度調整の濃度レベルを調整できます。

• システム設定（管理者）：白黒コピー時の原稿送り装置高画質モード／白黒コピー時の原稿ガラス速度優先モード

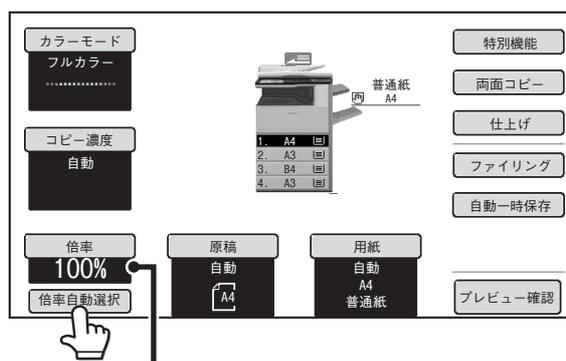
読み込み解像度の初期設定値を変えることができます。

拡大・縮小コピーする

自動で倍率を選択する（倍率自動選択）

用紙サイズに合わせて自動で倍率を選択する機能（倍率自動選択）について説明しています。

手動で用紙トレイを変更したとき、コピーモードの基本画面に[倍率自動選択]キーが表示されます。[倍率自動選択]キーをタッチすると、セットした原稿サイズと選択した用紙サイズに応じた拡大・縮小倍率が自動的に選択されます。あらかじめ原稿をセットし、コピーしたい用紙トレイを選択してから、[倍率自動選択]キーをタッチしてください。



選択された倍率が、倍率表示部に表示されます。

- 「原稿の向きを [縦] → [横] にしてください。」というメッセージが表示された場合は、メッセージの示す方向に原稿の向きを変えてください。
- 不定形サイズの原稿はサイズを入力したときのみ倍率自動選択をはたらせることができます。

- **倍率自動選択を解除するには…**
[倍率自動選択]キーをタッチして、反転表示を解除してください。
- **倍率を100%に戻すには…**
[倍率]キーをタッチして倍率メニューを表示させ、[100%]キーをタッチしてください。

- **システム設定（管理者）：コピーモードの標準状態設定（コピー倍率）**
倍率の初期状態を変えることができます。

手動で倍率を選択する（固定倍率／ズーム）

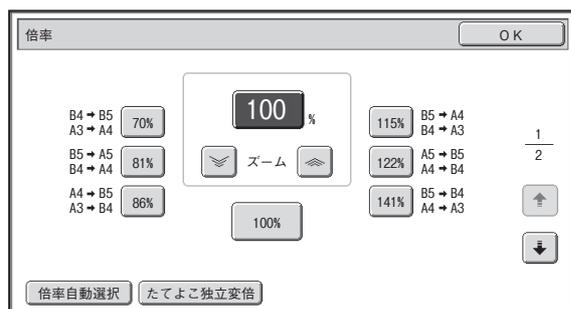
コピーモードの基本画面の[倍率]キーをタッチして表示される拡大キー、縮小キーでそれぞれ5段階の固定倍率（最大400%、最小25%）を選択することができます。

また、ズームキーにより、25%から400%まで1%きざみで任意の倍率を設定することもできます。

倍率を設定する

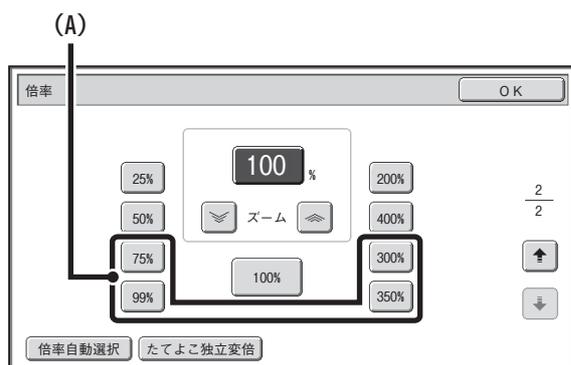
固定倍率キーやズームキーをタッチして倍率を設定します。設定画面は2画面あり、  キーで表示を切り替えます。

● 1画面目



- 拡大キー（3段階） 115%・122%・141%
- 縮小キー（3段階） 70%・81%・86%
- [100%]キー

● 2画面目

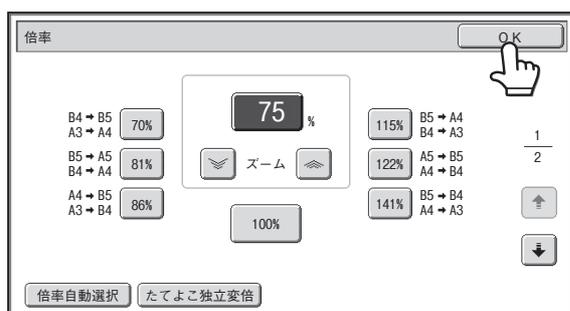


- 拡大キー（2～4段階）
200%・400%・任意の倍率（最大2種類）
- 縮小キー（2～4段階）
25%・50%・任意の倍率（最大2種類）
- [100%]キー



● (A)のキーについて

- (A)の箇所はシステム設定（管理者）の「プログラム倍率の設定」で決定した任意の倍率が表示されます。
- 縮小キーや拡大キーで希望の倍率に近い値を設定してからズームキーで調整すると、倍率設定を手早く行うことができます。
- ズームキーをタッチすると、25%から400%までの倍率を1%きざみで選ぶことができます。
 キーをタッチすると倍率が大きくなり、 キーをタッチすると倍率が小さくなります。（ /  キーをタッチし続けると自動的に倍率が連続して大きくまたは小さくなります。さらに3秒間タッチし続けると早送りを開始します。）
-   キーをタッチするかわりに、数値表示部のキーを直接タッチして数字キーで変更することもできます。
- 拡大倍率を設定したときに「コピー画像が欠けます。」というメッセージが表示されると、原稿の画像がコピーからはみ出る場合があります。



[OK]キーをタッチする

[OK]キーをタッチしたあと、設定した倍率に応じた用紙サイズが選択されていることを確認してください。



原稿自動送り装置を使用する場合は、25～200%の範囲で倍率設定が行えます。



倍率を100%に戻すには…

[倍率]キーをタッチして倍率メニューを表示させ、[100%]キーをタッチしてください。



システム設定（管理者）：プログラム倍率の設定

拡大（101～400%）、縮小（25～99%）それぞれ2種類の倍率を固定倍率として追加設定することができます。また、追加した固定倍率は変更することもできます。

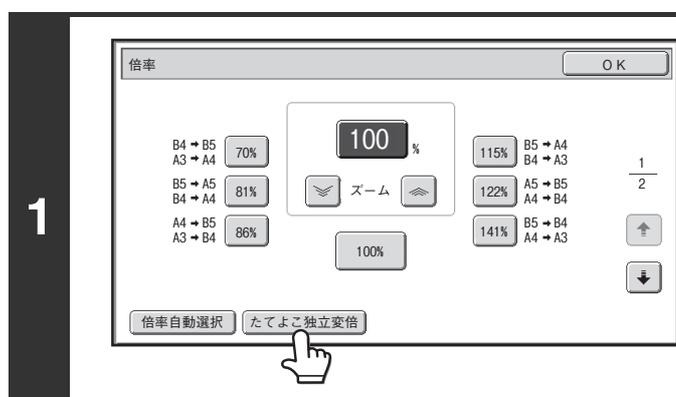
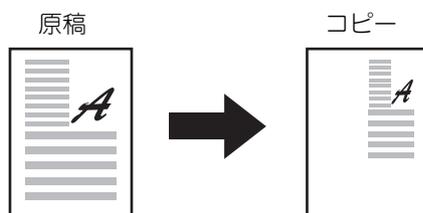
縦横別々の倍率で拡大・縮小コピーする (たてよこ独立変倍)

原稿の縦方向、横方向に独立した倍率を設定します。

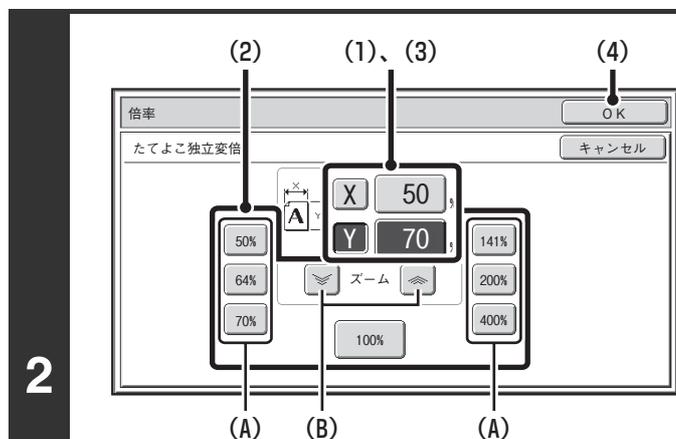
倍率は、縦横ともに25%から400%の範囲で、1%きざみで設定できます。

コピーモードの基本画面の[倍率]キーをタッチしてから、次の操作を行ってください。

横50%、縦70%の倍率を設定した場合



[たてよこ独立変倍]キーをタッチする



縦と横の倍率をそれぞれ設定する

(1) [X]キーをタッチする

[X]キーが反転し、横方向の倍率が設定できます。

(2) 固定倍率キー (A)、ズームキー (B) をタッチして、X (横) 方向の倍率を設定する

(A) タッチした固定倍率キーは反転表示しません。

(B) ズームキーをタッチすると、25%から400%までの倍率を1%きざみで選択できます。

(3) [Y]キーをタッチして、[X]キーと同様の方法で Y (縦) 方向の倍率を設定する

(4) [OK]キーをタッチする

[OK]キーをタッチしたあと、設定した倍率に応じた用紙サイズが選択されていることを確認してください。



- 固定倍率キー (A) で希望の倍率に近い値を設定してからズームキー (B) で調整すると、倍率設定を手早く行うことができます。
- ズームキー (B) をタッチするかわりに、数値表示部のキーを直接タッチして数字キーで変更することもできます。



原稿自動送り装置を使用する場合は、縦横ともに25~200%の範囲で倍率設定が行えます。



独立変倍の設定を解除するには...

倍率設定画面の[たてよこ独立変倍]キーまたは、[キャンセル]キーをタッチしてください。

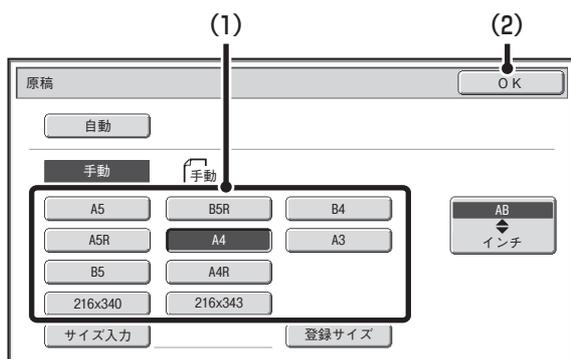
原稿サイズについて

原稿サイズを指定する

規定サイズ以外の原稿（インチ系の原稿や特殊サイズなど）をセットしたときや、原稿サイズが正しく検知されなかったときは、手動で原稿サイズを指定してください。

コピーモードの基本画面の[原稿]キーをタッチしてから、次の操作を行ってください。

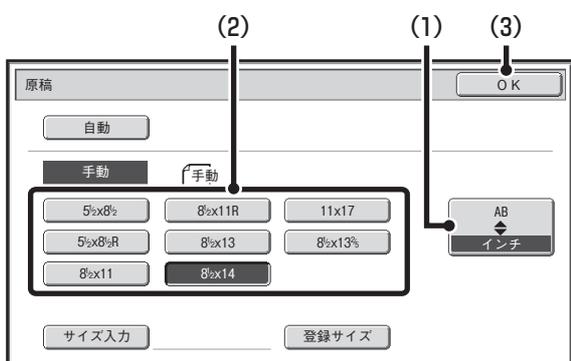
AB系の原稿サイズを指定する



(1) 指定したい原稿サイズキーをタッチする

(2) [OK]キーをタッチする

インチ系の原稿サイズを指定する

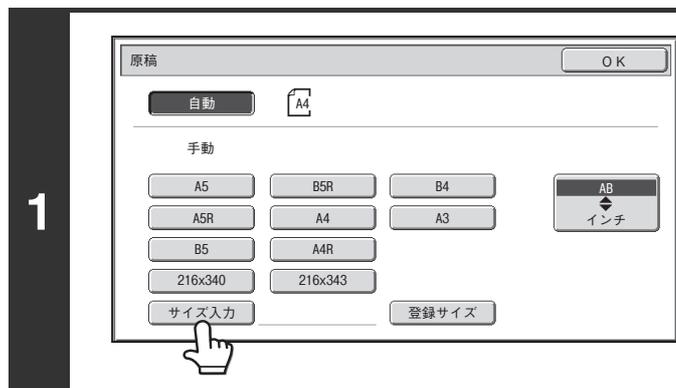


(1) [AB◆インチ]キーをタッチする

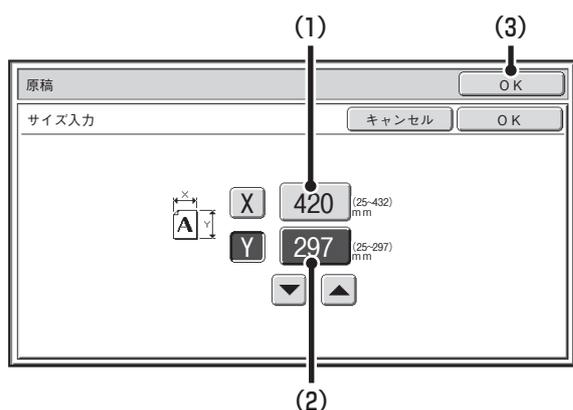
(2) 指定したい原稿サイズキーをタッチする

(3) [OK]キーをタッチする

不定形の原稿サイズを指定する



[サイズ入力]キーをタッチする



原稿サイズを入力する

(1) 原稿のX（横）方向サイズを入力する

X（横）方向の数値表示部のキーをタッチすると、数値入力画面が表示されます。数字キーでX（横）方向の原稿サイズを入力し、数値入力画面の[OK]キーをタッチしてください。原稿台（ガラス面）を使用するときは25mm～432mmの範囲で入力できます。

原稿自動送り装置を使用するときは、140mm～432mmの範囲で入力できます。

140mmを下回るサイズの原稿は原稿台（ガラス面）を使用してください。

(2) 原稿のY（縦）方向サイズを入力する

Y（縦）方向の数値表示部のキーをタッチすると、数値入力画面が表示されます。数字キーでY（縦）方向の原稿サイズを入力し、数値入力画面の[OK]キーをタッチしてください。原稿台（ガラス面）を使用するときは25mm～297mmの範囲で入力できます。

原稿自動送り装置を使用するときは、131mm～297mmの範囲で入力できます。

131mmを下回るサイズの原稿は原稿台（ガラス面）を使用してください。

(3) [OK]キーをタッチする

[OK]キーをタッチすると、基本画面に戻ります。

[原稿]キーに設定したサイズが表示されていることを確認してください。

   キーをタッチして数値を変更することもできます。

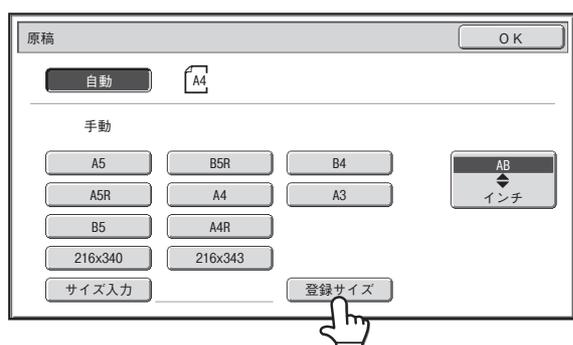
よく使う原稿サイズを登録する

よく使う特殊な原稿サイズを登録することができます。ここでは特殊サイズの原稿の登録方法、また登録した原稿サイズの呼び出し、変更、消去について説明しています。

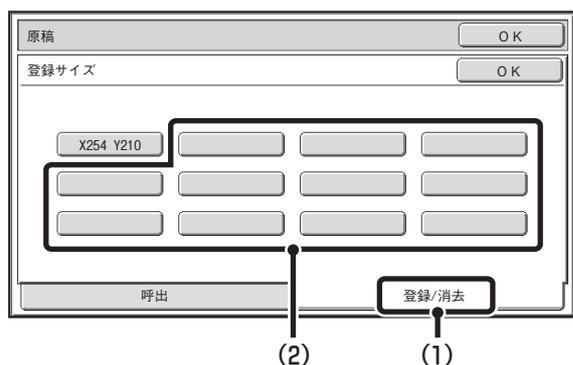
原稿サイズを登録する（修正・消去する）

特殊な原稿サイズを12種類まで登録できます。

コピーモードの基本画面の[原稿]キーをタッチしてから、次の操作を行ってください。



[登録サイズ]キーをタッチする



原稿サイズを登録する

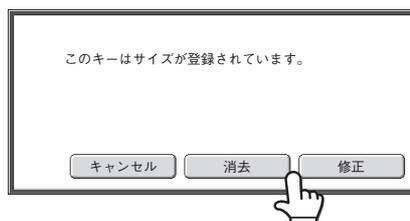
- (1) [登録/消去]タブをタッチする
- (2) 原稿サイズを登録するキーをタッチする
サイズ表示していないキー () をタッチしてください。

2



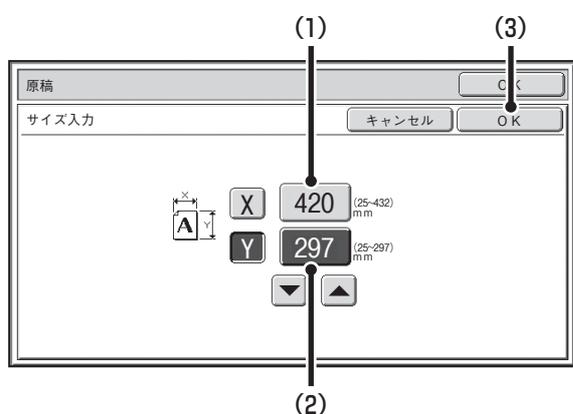
すでに登録されたキーを修正または消去するときは…

修正または消去したいキーをタッチすると次の画面が表示されます。



- 修正する場合は、[修正]キーをタッチして、次の手順へ進んでください。
- 消去する場合は、[消去]キーをタッチしてください。原稿サイズが消去されたことを確認してから[OK]キーをタッチしてください。

3



原稿サイズを入力する

- (1) 原稿のX (横) 方向のサイズを入力する
X (横) 方向の数値表示部のキーをタッチすると、数値入力画面が表示されます。数字キーでX (横) 方向の原稿サイズを入力し、数値入力画面の[OK]キーをタッチしてください。25mm～432mmの範囲で入力できます。
- (2) 原稿のY (縦) 方向のサイズを入力する
Y (縦) 方向の数値表示部のキーをタッチすると、数値入力画面が表示されます。数字キーでY (縦) 方向の原稿サイズを入力し、数値入力画面の[OK]キーをタッチしてください。25mm～297mmの範囲で入力できます。
- (3) [OK]キーをタッチする



▼ ▲ キーをタッチして数値を変更することもできます。



登録した原稿サイズは主電源が切れても消去されません。



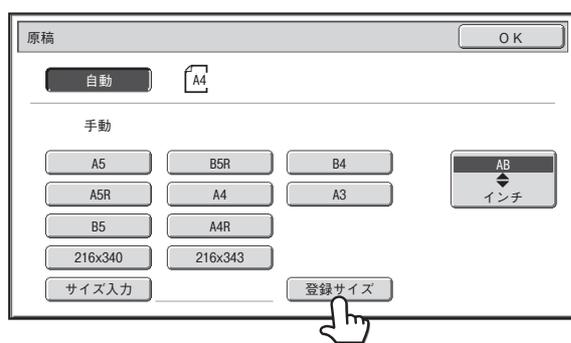
操作を中止するときは…

[リセット]キー () を押してください。

登録した原稿サイズを呼び出す

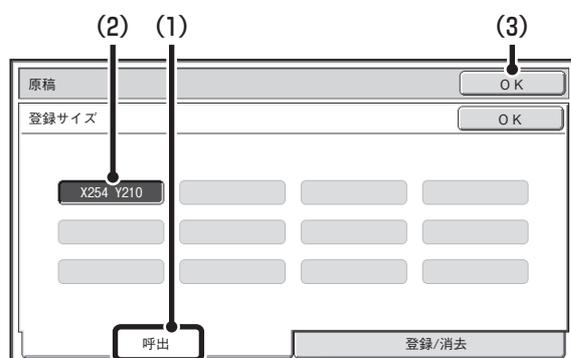
登録した原稿サイズの呼び出しは、コピーモードの基本画面で[原稿]キーをタッチしてから次の操作を行ってください。

1



[登録サイズ]キーをタッチする

2



登録している原稿サイズを呼び出す

- (1) [呼出]タブをタッチする
- (2) 呼び出す原稿サイズのキーをタッチする
- (3) [OK]キーをタッチする

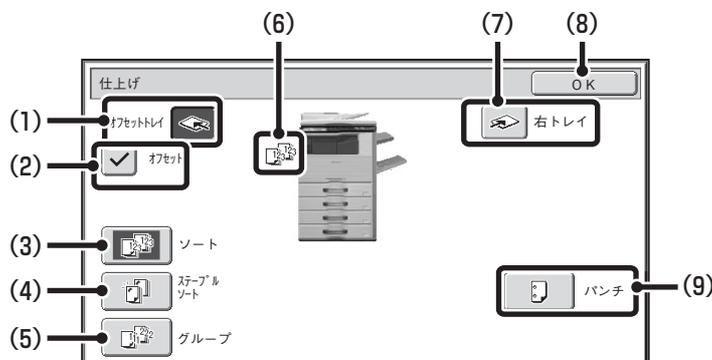


操作を中止するときは…

[リセット]キー (🔄) を押してください。

仕上げについて

コピーモードの基本画面に表示されている[仕上げ]キーをタッチするとソート／グループ／オフセット／ステープルソート／パンチ機能と、排紙トレイを設定することができます。ここではフィニッシャーおよびパンチユニットを装着している状態を例にすべての設定を説明しています。



(1) [オフセットトレイ]キー（[セタトレイ]キー※）

出力される用紙をオフセットトレイ上に排紙します。
[ステープルソート]キーを選択した場合は、[オフセットトレイ]キーが自動的に選択されます。

※ フィニッシャーが装着されていないときは[セタトレイ]キーになります。

(2) [オフセット]キー

仕上がりの一部ずつずらして排紙します。
チェックボックスを にした場合はオフセット機能がはたらき、 にするとオフセット機能がはたらきません。（ステープルソート機能を選択した場合は、オフセットのチェックは自動的に解除されます。）

☞ オフセット機能（2-34ページ）

(3) [ソート]キー

1部ずつ仕分けして出力します。

☞ ソート機能（2-34ページ）

(4) [ステープルソート]キー

仕分けして出力した用紙をステープルして1部ずつトレイに排紙します。（ただし、オフセットはされません。）
選択すると、ステープル位置を設定する3種類のキーが表示されます。

☞ ステープルソート機能（2-35ページ）

(5) [グループ]キー

ページ単位で仕分けして出力します。

☞ グループ機能（2-34ページ）

(6) 仕上げ表示部

仕上げの状態を確認するアイコンが表示されます。

(7) [右トレイ]キー

本体の右側排紙トレイに排紙します。
右トレイを選択するとオフセット／ステープルソート／パンチ機能は設定できません。

(8) [OK]キー

画面を閉じて基本画面に戻ります。

(9) [パンチ]キー

プリントされた用紙にパンチ穴をあけることができます。

☞ パンチ機能（2-36ページ）

 この画面はフィニッシャーおよびパンチユニットを装着しているときのものです。周辺装置の装着状態によって、表示されないキーがあります。
周辺装置の装着状態によっては、設定できないキーがあります。画面が前ページの画面と異なる場合は以下の画面を参照してください。

表示例

フィニッシャーを装着していない状態です。



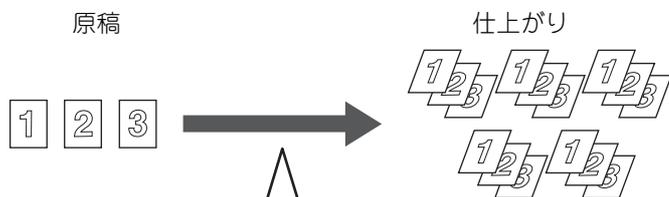
仕上げの種類

ここでは各種機能の仕上がりについて説明しています。

ソート機能

1部ずつ仕分けして出力します。

【例：原稿を5部ソートする】



① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
* 0 #/P

コピー部数 (5部) をセット

↓

仕上げ [仕上げ]キーをタッチ

↓

ソート [ソート]キーをタッチ

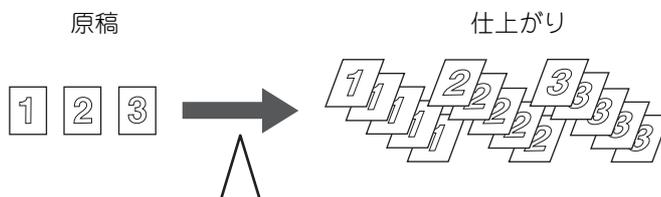
↓

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

グループ機能

ページ単位で仕分けして出力します。

【例：各ページ5枚ずつグループにする】



① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
* 0 #/P

コピー部数 (5部) をセット

↓

仕上げ [仕上げ]キーをタッチ

↓

グループ [グループ]キーをタッチ

↓

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

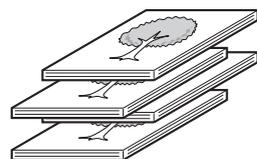
- 原稿を原稿自動送り装置にセットすると自動的にソート機能が選択されます。
- ドキュメントファイリング機能が一時保存フォルダーが一杯になっていると、大量の原稿をソート機能でコピーするときに影響します。一時保存フォルダーにある不要なファイルは削除してください。

- 原稿を原稿台(ガラス面)にセットすると自動的にグループ機能が選択されます。

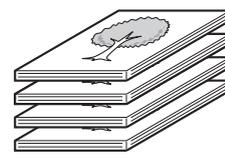
オフセット機能

できあがった出力紙を1部ずつずらして排出し、排紙トレイから取り出しやすくする機能です。

オフセット機能“入”



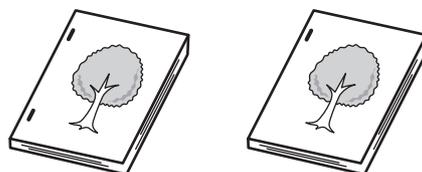
オフセット機能“切”



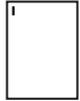
- オフセット機能は、右トレイでは使用できません。
- ステープルソート機能選択時はオフセット機能は選択できません。

ステープルソート機能

ソート機能で出力された用紙の束にステープルして、1部ずつトレイに排紙します。(ステープルソート機能)
 ステープルできる位置、用紙送り方向、使用できる用紙サイズ、ステープル許容枚数の関係は次のようになります。
 原稿セット方向については「[原稿セット方向について \(ステープルソートまたはパンチ機能\)](#)」(2-36ページ)を参照してください。



ステープルソート

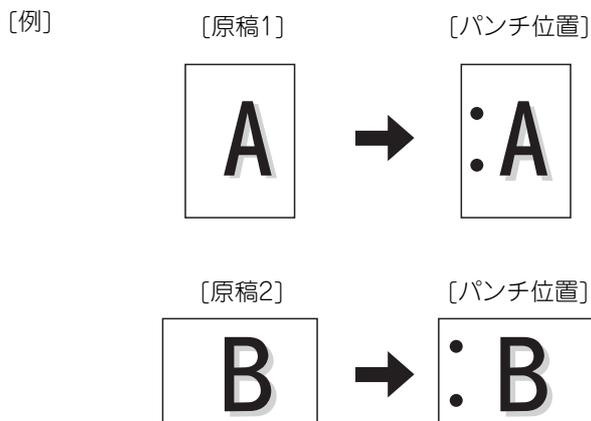
ステープルできる位置	縦長方向での用紙送り		横長方向での用紙送り	
用紙の奥側1箇所 		使用できる用紙サイズ： A4、B5、8-1/2"x11"、16K 一度にステープルできる枚数： 最大50枚※		●フィニッシャー 使用できる用紙サイズ： A3、B4、A4R、11"x17"、 8-1/2"x14"、8-1/2"x13-1/2"、 8-1/2"x13-2/5"、8-1/2"x13"、 8-1/2"x11"R、8K、16KR 一度にステープルできる枚数： A3、B4、11"x17"、8-1/2"x14"、 8-1/2"x13-1/2"、 8-1/2"x13-2/5"、8-1/2"x13"、8K 最大30枚※ A4R、8-1/2"x11"R、16KR 最大50枚※
用紙の手前側1箇所 				
用紙の中央2箇所 				

※ 表紙として最大256g/m²の用紙を2枚挿入してステープルすることができます。その場合、ステープルできる最大枚数から2枚引いた数の用紙が使用できます。

- 一度にステープルできる枚数は、表紙・合い紙を挿入した場合、それらの枚数を含みます。
- 特別機能の混載原稿で「同じ幅」を使ってステープルする際は用紙サイズに関係なく最大枚数がフィニッシャーは30枚になります。

パンチ機能

パンチユニットを装着している場合は、出力された用紙にパンチ穴をあけてトレイに排紙させることができます。パンチできる用紙のサイズはB5R～A3です。ただし、A3ワイド紙やOHPフィルム、タブ紙などの特殊な用紙は使用できません。



原稿セット方向について（ステープルソートまたはパンチ機能）

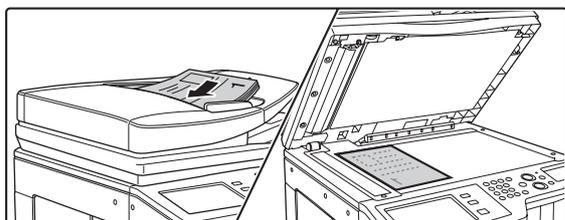
ステープルソートまたはパンチ機能を使用する際、目的の位置にステープルまたはパンチ穴をあけるためには、次の位置関係になるよう原稿をセットしてください。

ステープルソート		パンチ	
原稿セット台	原稿台（ガラス面）	原稿セット台	原稿台（ガラス面）
1箇所とじ（奥側）			
2箇所とじ			
1箇所とじ（手前側）			

手差しトレイを使ってコピーする

手差しトレイを使用すると普通紙のほかに、OHPフィルム、はがき、封筒、タブ紙などにコピーできます。手差しトレイにセットできる用紙の詳細については「1. お使いになる前に」の「[用紙補給する前に](#)」(1-27ページ)を、手差しトレイに用紙をセットする際の注意事項などは「1. お使いになる前に」の「[手差しトレイへの用紙補給](#)」(1-32ページ)をそれぞれ参照してください。

1



原稿をセットする

原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

原稿台（ガラス面）に原稿をセットした場合は…

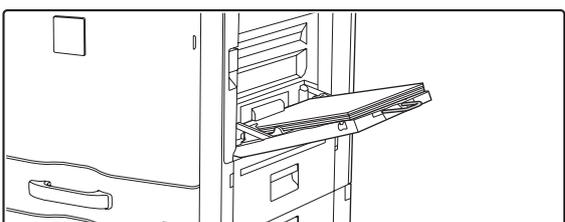
原稿をセットしたあとは、原稿自動送り装置を必ず閉じてください。開いたままだと、原稿以外の部分が黒くコピーされてトナーの過剰消費につながります。

2



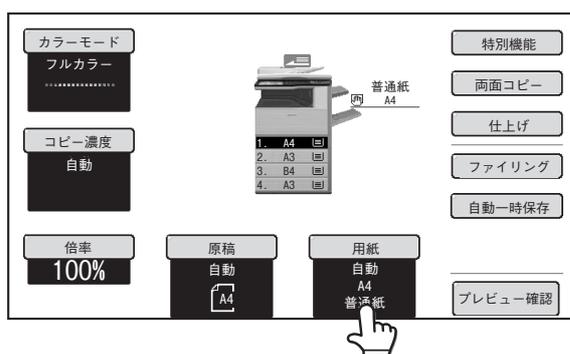
手差しトレイを開いて用紙をセットする

コピーしたい面を下向きにしてセットしてください。



大きなサイズの用紙をセットするときは、必ず補助トレイを引き出してください。補助トレイはいっぱいまで確実に引き出してください。確実に引き出さないと、手差しトレイにセットされた用紙のサイズが正しく表示されません。

3



[用紙]キーをタッチする

4



手差しトレイの用紙を確認し、変更するときは用紙タイプキーをタッチする

「手差しトレイ」の下に表示されている用紙のサイズと種類(タイプ)をそのまま使用する場合は、手順7へ進んでください。

5



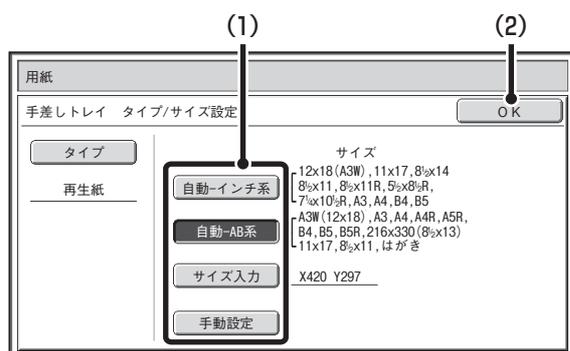
手差しトレイで使用する用紙タイプを選択する

使用する用紙タイプを選択してください。



郵便はがきを使用する場合は、[厚紙1] を選択してください。

6



用紙サイズを設定する

(1) 用紙サイズを選択する

[自動-インチ系]キー

手差しトレイにセットした用紙がインチ系のサイズ (8-1/2"x11"サイズなど) の場合、自動的に判別して適切な用紙サイズを設定します。

[自動-AB系]キー

手差しトレイにセットした用紙がAB系のサイズ (A4サイズなど) の場合、自動的に判別して適切な用紙サイズを設定します。

[サイズ入力]キー

セットした用紙のサイズを数値で入力したい場合にタッチしてください。

☞ [手差しトレイの用紙サイズを入力する \(2-39ページ\)](#)

[手動設定]キー

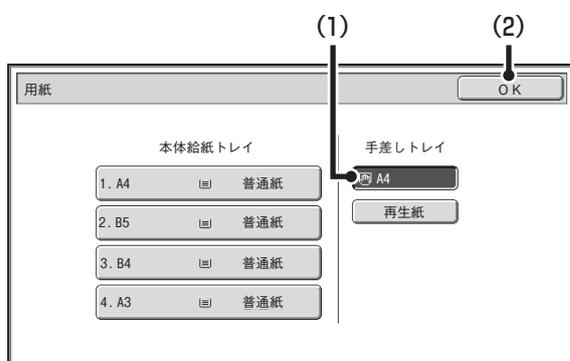
このキーをタッチすると、次の画面に[16K]、[16KR]、[8K]のキーが表示されます。セットした用紙のサイズが該当する場合にタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする



- 封筒を選択したときは、封筒のサイズを指定します。設定が完了すると[OK]キーをタッチします。
- タブ紙を選択したときは、サイズを確認してください。または[自動-インチ系]キー、[自動-AB系]キーのいずれかをタッチします。確認または設定が完了すると[OK]キーをタッチします。

7



手差しトレイを選択する

(1) 手差しトレイの用紙サイズキーをタッチする

(2) [OK]キーをタッチする

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

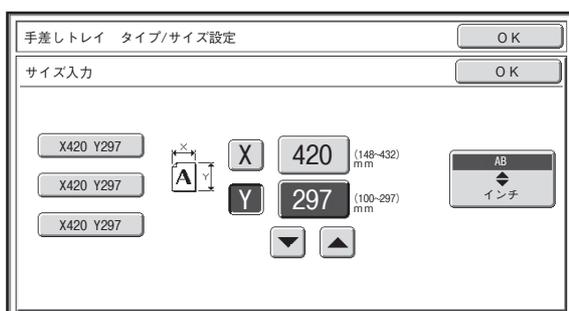
原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をコピーします。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。
ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。（2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。）

 原稿の読み込みやコピーを中止するときは…
[ストップ]キー（）を押して中止してください。

手差しトレイの用紙サイズを入力する

[サイズ入力]キーをタッチすると、用紙サイズの入力画面が表示されます。



X（横）方向の数値表示部のキーをタッチすると、数値入力画面が表示されます。数字キーでX（横）方向の用紙サイズを入力し、数値入力画面の[OK]キーをタッチしてください。

Y（縦）方向の数値表示部のキーをタッチすると、数値入力画面が表示されます。数字キーでY（縦）方向の用紙サイズを入力し、数値入力画面の[OK]キーをタッチしてください。

-   キーをタッチして数値を変更することもできます。
- あらかじめ登録された任意の用紙サイズが左側のキーに表示されます。カスタムサイズの登録はシステム設定で行います。詳しくは「7. システム設定」の「[給紙トレイ設定](#)」（7-12ページ）を参照してください。入力したいサイズのキーが表示されている場合はキーをタッチしてください。

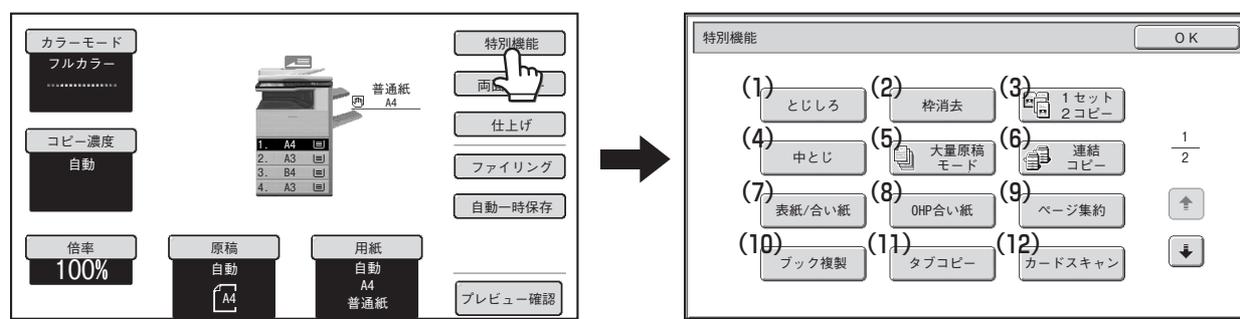
特別機能について

ここでは、とじしろや枠消去、1セット2コピーなど特別機能について説明しています。

特別機能の種類について

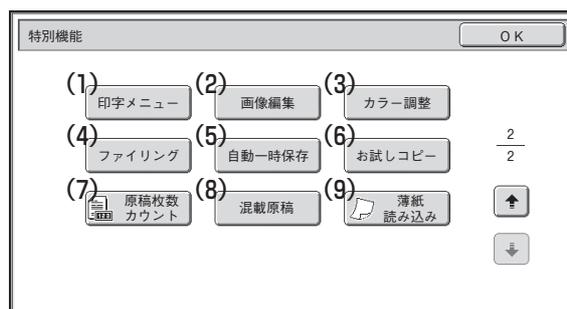
基本画面の[特別機能]キーをタッチすると、特別機能のメニュー画面が表示されます。特別機能のメニュー画面は2画面あり、**↓** **↑** キーをタッチして画面を切り替えます。特別機能を設定後、特別機能のメニュー画面で[OK]キーをタッチすると、設定が完了し、コピーモードの基本画面に戻ります。

特別機能のメニュー画面（1画面目）



- | | |
|--|---|
| <p>(1) [とじしろ]キー
☞ とじしろをつけてコピーする（とじしろ）(2-43ページ)</p> <p>(2) [枠消去]キー
☞ まわりに影ができないようにコピーする（枠消去）(2-45ページ)</p> <p>(3) [1セット2コピー]キー
☞ 見開きページを1ページずつコピーする（1セット2コピー）(2-47ページ)</p> <p>(4) [中とじ]キー
☞ パンフレットのようにコピーする（中とじ）(2-49ページ)</p> <p>(5) [大量原稿モード]キー
☞ 大量の原稿を一度にまとめてコピーする（大量原稿モード）(2-52ページ)</p> <p>(6) [連結コピー]キー
☞ 大量の原稿をすばやくコピーする（連結コピー）(2-55ページ)</p> <p>(7) [表紙/合い紙]キー
☞ コピーに表紙/合い紙を挿入する（2-58ページ）</p> <p>(8) [OHP合い紙]キー
☞ OHPフィルムがはりつかないようにする（OHP合い紙）(2-69ページ)</p> | <p>(9) [ページ集約]キー
☞ 原稿を1枚にまとめてコピーする（ページ集約）(2-71ページ)</p> <p>(10) [ブック複製]キー
☞ パンフレットを実際の見開きどおりにコピーする（ブック複製）(2-73ページ)</p> <p>(11) [タブコピー]キー
☞ タブ紙に見出しをコピーする（タブコピー）(2-77ページ)</p> <p>(12) [カードスキャン]キー
☞ カードの表裏を1枚にまとめてコピーする（カードスキャン）(2-79ページ)</p> |
|--|---|

特別機能のメニュー画面（2画面目）

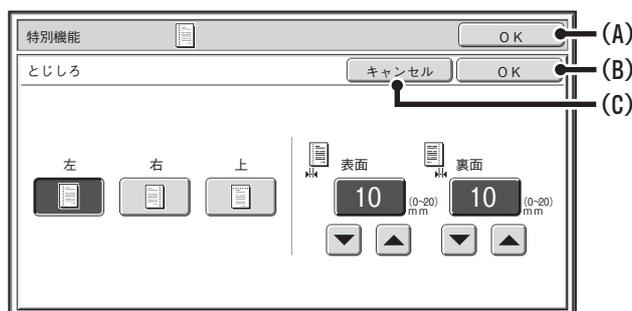


- | | |
|---|--|
| <p>(1) [印字メニュー]キー
 用紙に日付やスタンプを印字してコピーする（印字メニュー）（2-82ページ）</p> <p>(2) [画像編集]キー
 [画像編集]キーについて（2-102ページ）</p> <p>(3) [カラー調整]キー
 [カラー調整]キーについて（2-115ページ）</p> <p>(4) [ファイリング]キー
 ドキュメントファイリング機能のファイリングを行います。</p> <p>(5) [自動一時保存]キー
 ドキュメントファイリング機能の自動一時保存を行います。</p> | <p>(6) [お試しコピー]キー
 仕上がりを確かめてからコピーする（お試しコピー）（2-124ページ）</p> <p>(7) [原稿枚数カウント]キー
 読み込んだ原稿枚数を確認してからコピーする（原稿枚数カウント）（2-127ページ）</p> <p>(8) [混載原稿]キー
 大きさの違う原稿をまとめてコピーする（混載原稿）（2-128ページ）</p> <p>(9) [薄紙読み込み]キー
 薄い紙の原稿をコピーする（薄紙読み込み）（2-131ページ）</p> |
|---|--|

特別機能は他の特別機能と組み合わせて使用することができますが、特別機能の種類によっては、組み合わせて使用できない場合があります。その場合、タッチパネルに組み合わせが不可能であることを示すメッセージが表示されます。

[OK]キーと[キャンセル]キーについて

特別機能の各設定画面には2つの[OK]キーと1つの[キャンセル]キーが表示されている場合があります。それぞれのキーの役割は次のとおりです。

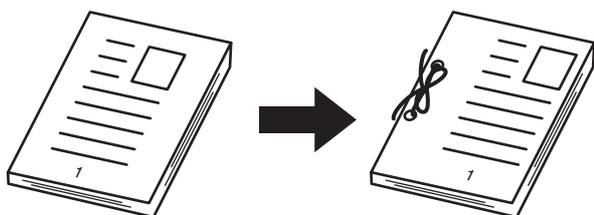


- (A) 特別機能の設定を確定して、コピーモードの基本画面に戻ります。
- (B) 特別機能の設定を確定して、特別機能のメニュー画面に戻ります。引き続き他の特別機能を設定するときにタッチしてください。
- (C) 特別機能を設定中の場合は、設定を行わず特別機能のメニュー画面に戻ります。設定が完了している場合は、その設定を解除して、特別機能のメニュー画面に戻ります。

とじしろをつけてコピーする（とじしろ）

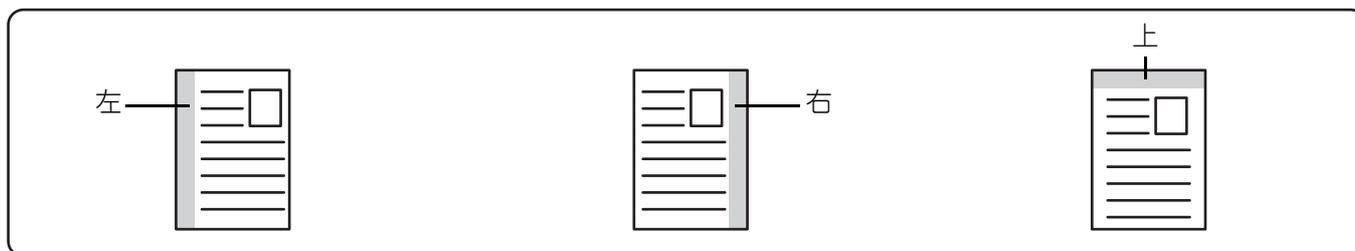
原稿の画像を左右または下に移動させて、コピーにとじしろをつくることができます。
コピーを綴じひもでまとめたり、バインダーに整理するときなどに便利です。

原稿の画像を右にずらし、左側をひもで綴じる場合



とじしろ機能を使わない	とじしろ機能を使う
<p>穴をあけると画像が欠けてしまう。</p>	<p>ひもを綴じる穴の分だけ画像を移動してコピーするので、画像が欠けることがない。</p>

とじしろの位置



1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

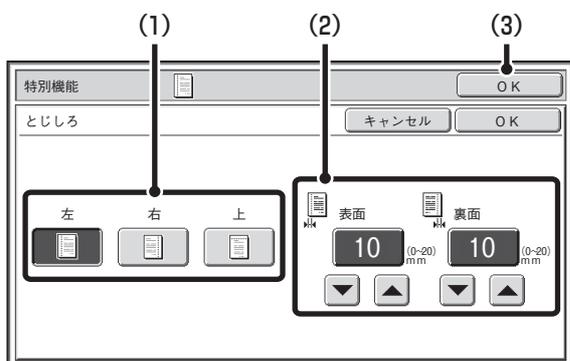
2 特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

(2) [とじしろ]キーをタッチする

☞ 特別機能のメニュー画面（1画面目）（2-40ページ）

3



とじしろを設定する

(1) とじしろ位置をタッチする

3種類から選びます。

(2) ▼ ▲でとじしろ幅を設定する

0mm～20mmの範囲で設定できます。
数値表示部のキーを直接タッチして数字キーで変更することもできます。

(3) [OK]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻ります。

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

原稿台（ガラス面）を使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿を1枚読み込むごとにコピーが行われます。ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。（2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。）

4



原稿の読み込みやコピーを中止するときは…

[ストップ]キー（⊙）を押して中止してください。



とじしろと組み合わせて回転コピーはできません。



とじしろを解除するには…

手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。



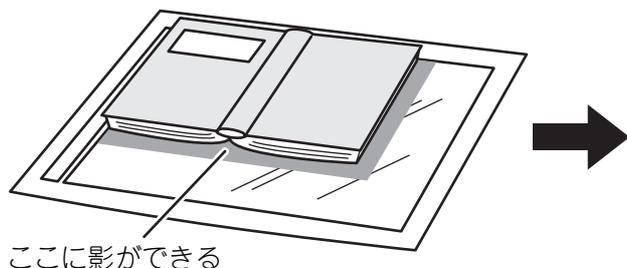
システム設定（管理者）：とじしろの標準値設定

とじしろ幅の標準値設定は、0mm～20mmの範囲で設定できます。工場出荷時は10mmに設定されています。

まわりに影ができないようにコピーする (枠消去)

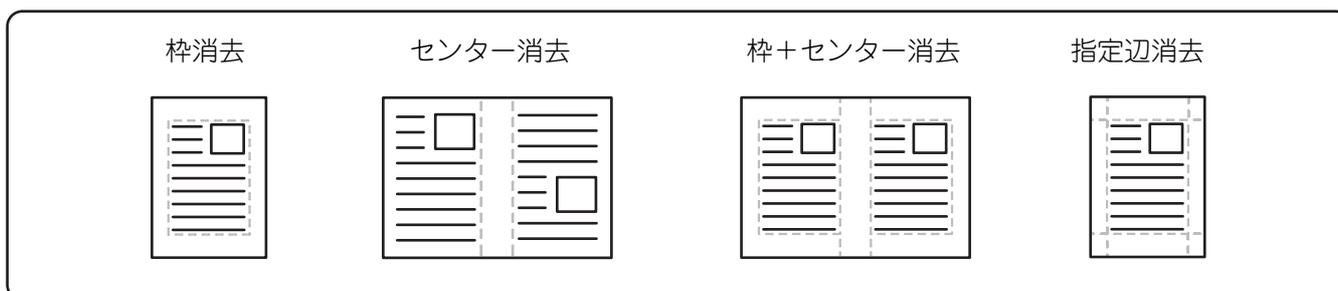
厚手の原稿や本などの見開き原稿をコピーしたときにできる周囲の影を消すことができます。

厚みのある本をコピーする場合



枠消去機能を使わない	枠消去機能を使う
<p>コピーに影ができる。</p>	<p>影ができずにコピーされる。</p>

枠消去の種類



1

原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

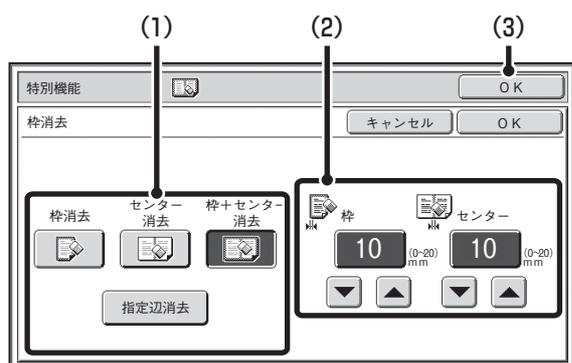
2

特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

(2) [枠消去]キーをタッチする

☞ [特別機能のメニュー画面（1画面目）](#)（2-40ページ）

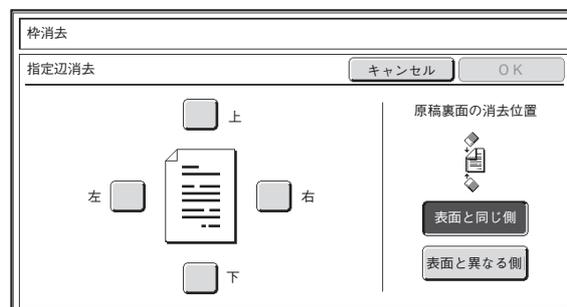


枠消去を設定する

(1) 消去する位置をタッチする

4種類から選びます。

[指定辺消去]キーをタッチすると次の画面が表示されます。



消去したい辺のチェックボックスをタッチして、になっていることを確認します。

片面→両面コピーや両面→両面コピーを行うときは、原稿裏面の消去位置を設定してください。

- [表面と同じ側]キーをタッチすると、表面と同じ位置に枠消去が設定されます。
- [表面と異なる側]キーをタッチすると、表面と反対の位置に枠消去が設定されます。

指定辺設定が完了したら、[OK]キーをタッチしてください。

(2) ▼ ▲ で消去幅を設定する

0mm～20mmの範囲で設定できます。

数値表示部のキーを直接タッチして数字キーで変更することもできます。

(3) [OK]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻ります。

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

原稿台（ガラス面）を使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿を1枚読み込むごとにコピーが行われます。ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。（2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。）



原稿の読み込みやコピーを中止するときは…

[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。



縮小または拡大倍率が同時に設定されていると、枠消去幅は設定倍率に合わせて変わります。たとえば、10mmの枠消去幅を設定したあと70%に縮小してコピーした場合、枠消去幅は7mmになります。



枠消去を解除するには…

手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。



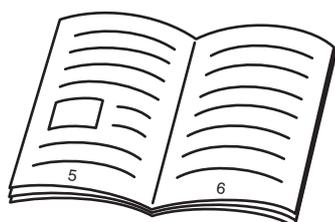
システム設定（管理者）：枠消去幅の標準値設定

消去する枠の幅の標準値は、0mm～20mmの範囲で設定できます。工場出荷時は10mmに設定されています。

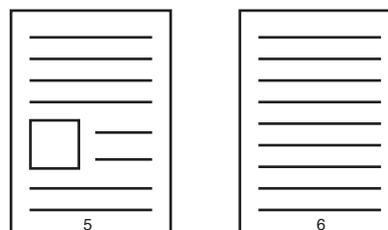
見開きページを1ページずつコピーする (1セット2コピー)

原稿の左右半分を順番にコピーすることができます。本などの見開き原稿を1ページずつ順番にコピーするときに便利です。

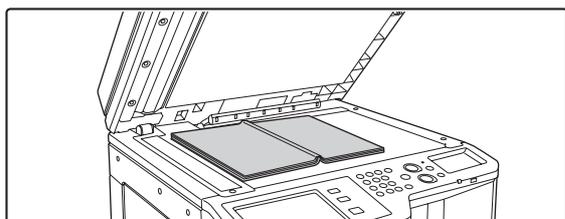
本などの見開き原稿の左右ページをコピーする場合



本などの見開き原稿



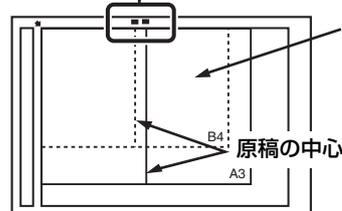
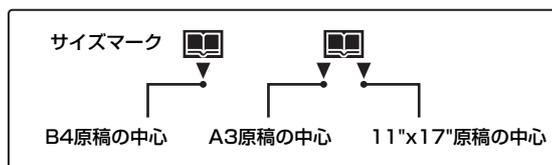
2ページに分割されて
コピーされます。



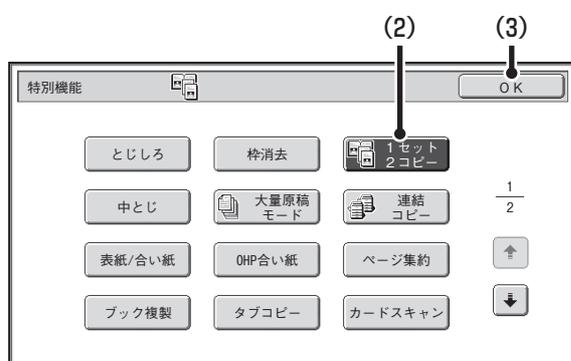
1

原稿を原稿台（ガラス面）にセットする

原稿をセットするときは、原稿の中心をサイズマークの▼に合わせてセットしてください。



こちら側のページから
コピーされていきます。



2

1セット2コピーを選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

☞ [特別機能の種類について](#) (2-40ページ)

(2) [1セット2コピー]キーをタッチして反転表示にする

(3) [OK]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻ります。
A4またはB5サイズの用紙が自動的に選択されていることを確認してください。

別のトレイにある用紙を選択する場合は、[用紙]キーをタッチして表示される用紙トレイ選択画面から、使用したい用紙が入っているトレイを選択してください。

☞ [用紙トレイについて](#) (2-11ページ)

3

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。(2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。)

**原稿の読み込みやコピーを中止するときは…**

[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。



- 1セット2コピーは原稿台（ガラス面）に原稿をセットしてください。
- 本などの見開き原稿をコピーしたときにできる周囲の影を消すために、枠消去と組み合わせてコピーすると便利です。ただし、[センター消去]および[枠+センター消去]と組み合わせて使用することはできません。

**1セット2コピーを解除するには…**

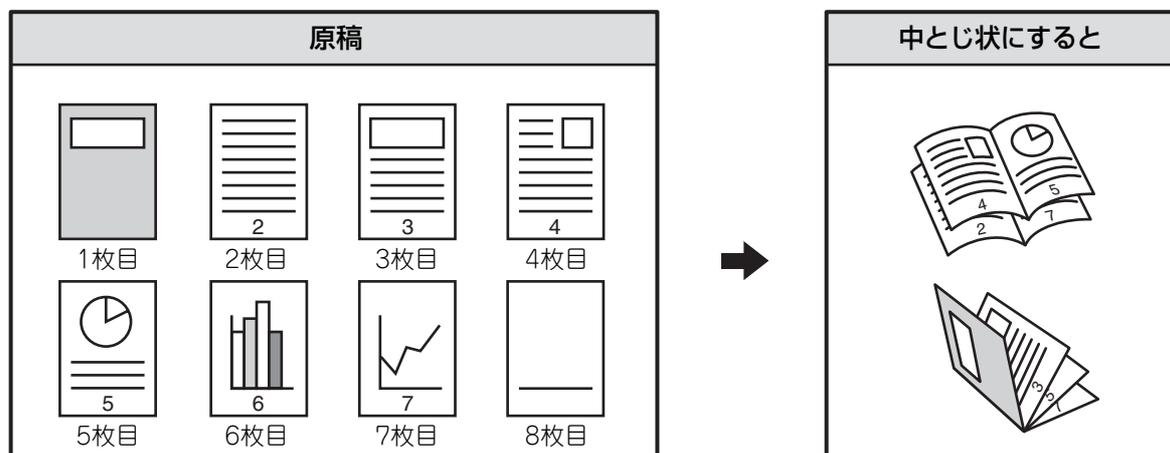
手順2の画面で[1セット2コピー]キーをタッチして、反転表示を解除してください。

パンフレットのようにコピーする（中とじ）

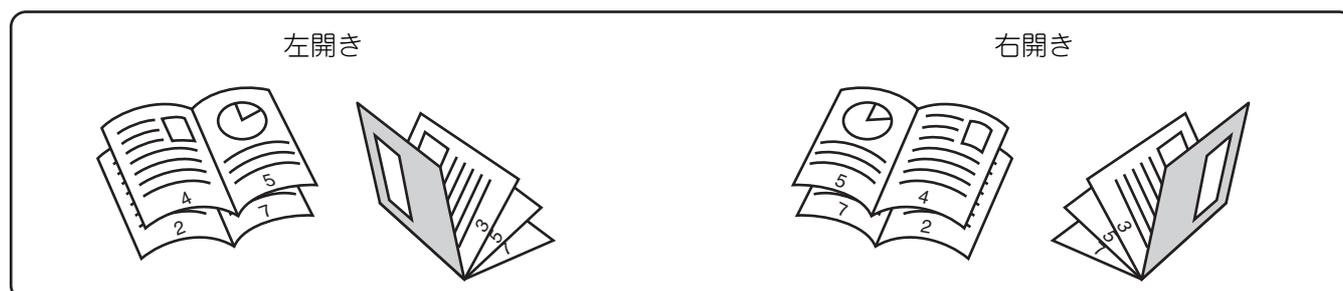
できあがったコピーを中央で二つ折りすると、中とじ状の冊子になるように、1枚の用紙の表と裏にそれぞれ原稿2枚分ずつ両面コピーします。

コピーをパンフレットのように見ばえよく製本して仕上げるときに便利です。

8枚分の原稿を中とじする場合



とじ方向



1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

 両面原稿をセットするときは原稿セット台を使用してください。

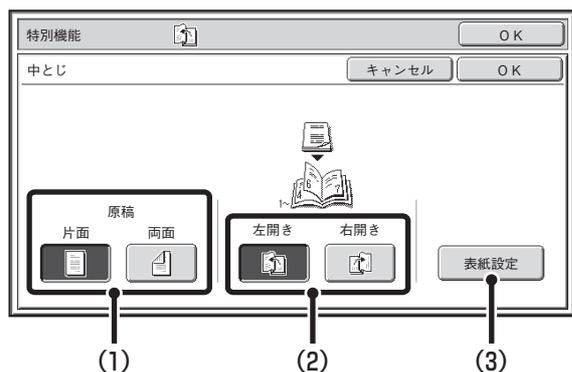
2 特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

(2) [中とじ]キーをタッチする

 特別機能のメニュー画面（1画面目）（2-40ページ）

3

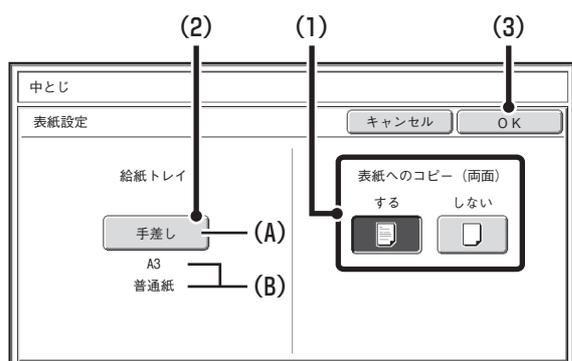


中とじの設定を行う

- (1) 片面原稿なら[片面]キー、両面原稿なら[両面]キーをタッチする
- (2) とじ方向([左開き]または[右開き])を選択する
- (3) 表紙を挿入する場合は、[表紙設定]キーをタッチする

表紙を挿入しない場合は、手順5へ進んでください。

4



表紙設定を行う

- (1) 表紙にコピーする場合は[する]キーを、しない場合は[しない]キーをタッチする

(2) 表紙の用紙設定を行う

(A) 現在選択されている表紙の給紙トレイを表示しています。

(B) 現在選択されている給紙トレイにセットしている用紙サイズと用紙の種類(タイプ)を表示しています。表紙の給紙トレイを変更するときは、「給紙トレイ」のキーをタッチしてください。

「給紙トレイ」のキーをタッチするとトレイ選択画面が表示されます。トレイ選択画面で表紙用紙の給紙トレイを選択して[OK]キーをタッチしてください。



- (3) [OK]キーをタッチする

 表紙にコピーする際、ラベル紙、OHPフィルム、タブ紙は使用できません。

 表紙の設定を中止するときは…
[キャンセル]キーをタッチしてください。

5



[OK]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻ります。

6

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

原稿台（ガラス面）を使ってコピーする場合、原稿を入れ替えて[スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。（2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。）



原稿の読み込みやコピーを中止するときは…

[ストップ]キー（)を押して中止してください。



- 本などの見開き原稿を中とじコピーするときは、ブック複製機能をお使いください。
- 中とじを選択すると自動的に両面コピーモードが選択されます。また、両面コピーができない設定になっているときは中とじは使用できません。
- 原稿の最初のページから読み込ませることで、コピーする順番を本機が自動調整します。原稿の4ページ分を1枚の用紙にコピーするため、原稿の合計ページ数が4の倍数でないときは、自動的に最終ページ側に端数の白紙ページを設けて中とじコピーします。



中とじを解除するには…

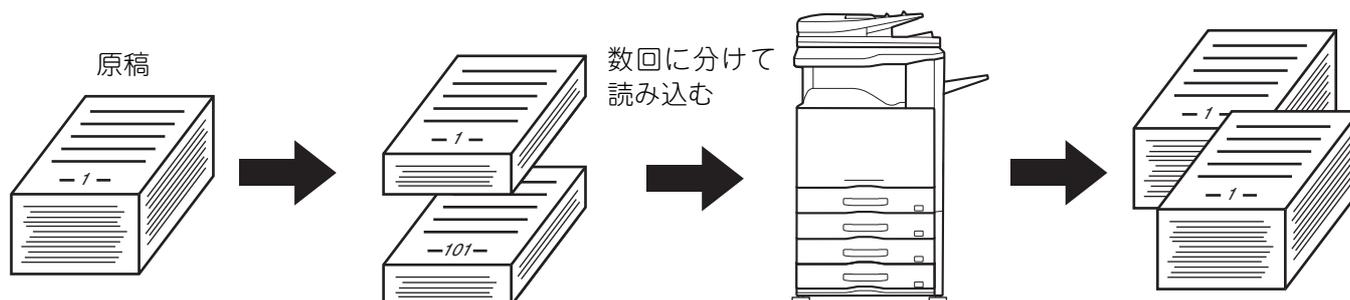
手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

大量の原稿を一度にまとめてコピーする (大量原稿モード)

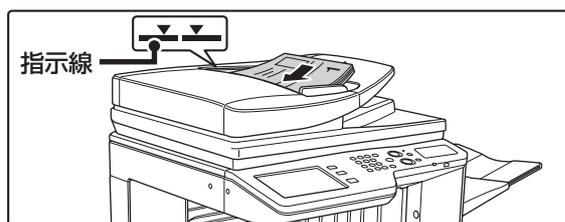
大量の原稿をコピーするときに、原稿自動送り装置で原稿を数回に分けて読み込むことができる機能です。コピーしたい原稿が一度にセットできる枚数を超えている場合にコピーを1つにまとめて行うときに使用します。大量の原稿を複数部コピーするときに、一度にすべての原稿のコピーが行われるので、原稿を分割してコピーするときに比べ、コピーを仕分ける手間が省けて便利です。

分割して原稿を読み込むときは、原稿の各束が原稿自動送りにセットできる枚数以下になるように分割して、先頭ページの束から読み込んでください。最初にセットしたときの設定は最後の束を読み込むまでそのまま利用できます。

大量の原稿を2部コピーする場合



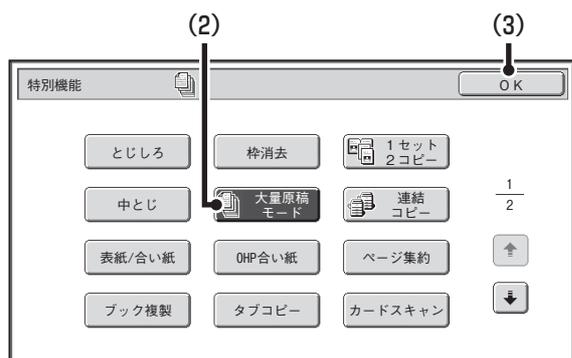
1



原稿セット台に原稿を上向きにセットする

原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。

2



大量原稿モードを選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
▶ 特別機能の種類について (2-40ページ)
- (2) [大量原稿モード]キーをタッチして反転表示にする
- (3) [OK]キーをタッチする
 コピーモードの基本画面に戻ります。

3

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押して、最初の原稿を読み込む
原稿の読み込みが始まります。

⏪ 原稿の読み込みを中止するときは…
[ストップ]キー (⏸) を押して中止してください。

次の原稿をセットして、[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿をすべて読み込むまで、この操作を繰り返します。

4



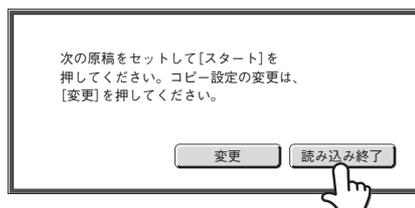
セットする原稿の束ごとにコピー条件（コピー濃度／用紙／倍率のみ）を変更することができます。変更する場合は下記の「セットした原稿の束ごとにコピー条件を変更する」の操作を行ってください。



原稿の読み込みを中止するときは…

[ストップ]キー（Ⓢ）を押して中止してください。すべての読み込みデータが消去されます。

5



[読み込み終了]キーをタッチする



コピーを中止するときは…

[ストップ]キー（Ⓢ）を押して中止してください。

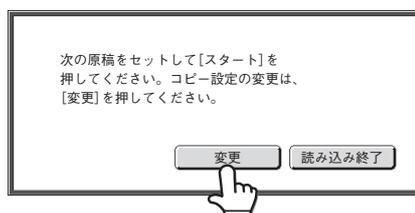
 ドキュメントファイリング機能で一時保存フォルダーがいっぱいになっていると、大量原稿モードでのコピーに影響します。一時保存フォルダーにある不要なファイルは削除してください。

 **大量原稿モードを解除するには…**
手順2の画面で[大量原稿モード]キーをタッチして、反転表示を解除してください。

セットした原稿の束ごとにコピー条件を変更する

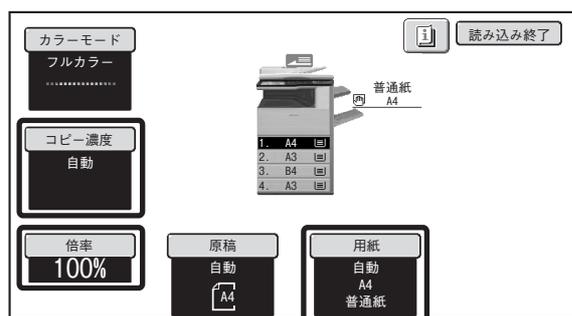
セットする原稿の束ごとにコピー条件（コピー濃度／用紙／倍率のみ）を変更することができます。上記の手順4で[スタート]キーを押して次の原稿を読み込む前に、以下の操作を行ってください。

1



[変更]キーをタッチする

2



表示される画面から変更するコピー条件を設定して、[スタート]キーを押す

変更したコピー条件で新しい原稿の読み込みを開始します。コピー条件の変更をキャンセルし、新しい原稿を読み込まずにコピーを開始させたい場合は、[読み込み終了]キーをタッチしてください。

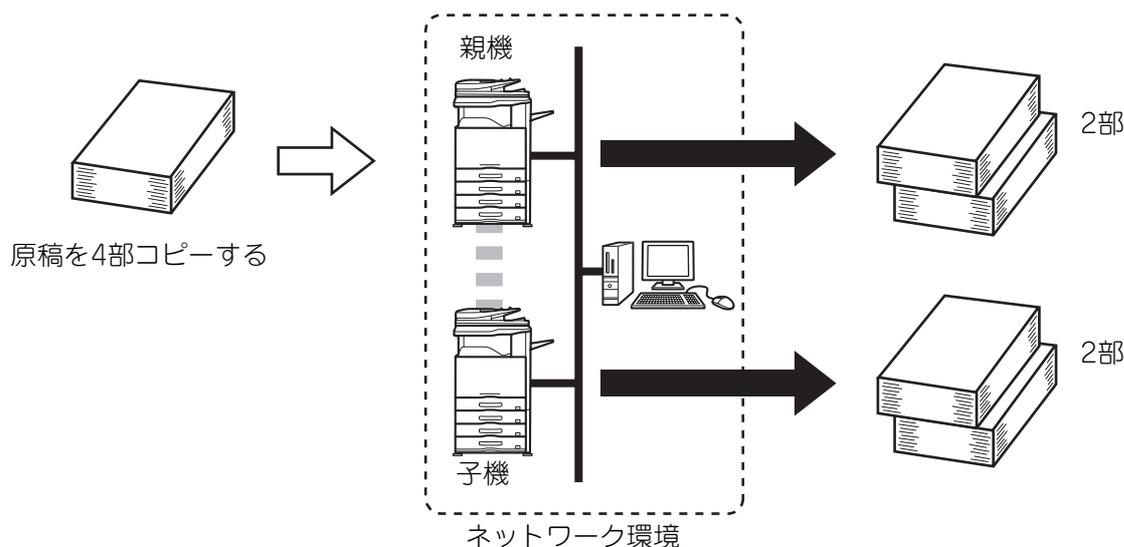
- [カラーモード]キーをタッチしてカラーモードを変更することはできません。
- [原稿]キーをタッチして原稿サイズを手動で変更することはできません。原稿自動検知機能がはたらいている場合は、セットした原稿の束ごとに原稿サイズを検知します。
- 手差しトレイの用紙を選択したときに、用紙種類（タイプ）を変更することはできません。
- 最初に倍率の設定で「たてよこ独立変倍」を設定したときは、倍率を変更することができません。
- 「大量原稿モード」と以下の機能を組み合わせて設定したときは、上記手順1の画面で[変更]キーは表示されません。「中とじ」、「連結コピー」、「表紙／合い紙」、「OHP合い紙」、「ページ集約」、「ブックコピー」、「タブコピー」、ステープルソート

大量の原稿をすばやくコピーする (連結コピー)

ネットワークに接続された2台の本機を使用して、大量のコピー作業を同時に行うことができます。それぞれが半分ずつ出力を分担することで、コピー処理時間を短縮することができます。

親機と子機について

親機とは、コピー原稿を読み込ませる側の複合機です。子機とは、親機に登録されたもう一台の複合機で、原稿の読み込みは行わず、出力のみを行います。



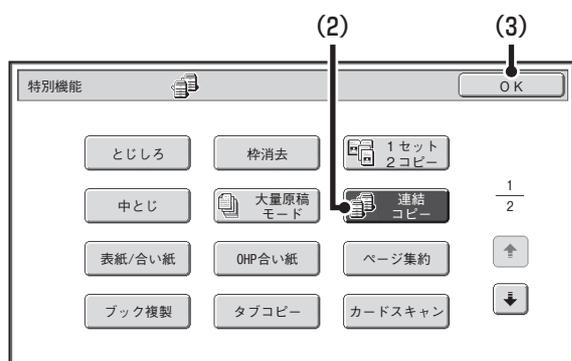
連結コピーを使用する前に

- この機能を使用するためには、ネットワークに接続された2台の本機が必要です。2台以上の本機がネットワークに接続されている場合、コピーを分担させる子機は、いずれか1台のみです。
- 連結コピーを使用するには、システム設定（管理者）で「連結印刷接続設定」を行う必要があります。
- 連結印刷設定の際、親機には子機のIPアドレス情報が必要です。ポート番号はできるだけ工場出荷時の番号（50001）を使用してください。不都合が発生しない限り、この番号は変更しないで使用してください。連結印刷設定はネットワーク管理者が設定してください。子機と親機の双方が入れ替わる形態で連結コピーを利用する場合は、子機側に親機のIPアドレス情報を登録してください。ポート番号は双方で同じ番号が使用可能です。

1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

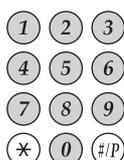
2



連結コピーを選択する

- [特別機能]キーをタッチする
 特別機能の種類について (2-40ページ)
- [連結コピー]キーをタッチして反転表示にする
- [OK]キーをタッチする
 コピーモードの基本画面に戻ります。

3



数字キーで必要なコピー枚数（部数）を設定する

最大999枚（部）まで設定できます。設定したコピー枚数（部数）は[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押したあと親機と子機に自動的に2分割されます。
奇数部数の場合は親機に一部多くコピーされます。



設定枚数をまちがえたときは…

[クリア]キー（）を押したあと、正しい枚数に設定し直してください。

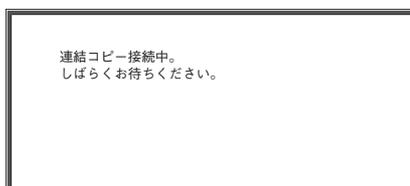
4

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

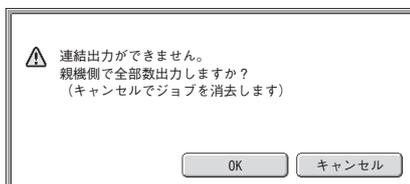
原稿台（ガラス面）を使ってコピーする場合、原稿を入れ替えて[スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。（2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。）

[スタート]キーを押したあと、次の画面が表示されます。



その後、連結コピーを開始します。

連結コピーができない場合は次の画面が表示されます。



[OK]キーをタッチして親機から全部のコピーを行うか、[キャンセル]キーをタッチしてコピーを中止してください。



読み込みを中止するには…

[ストップ]キー（）を押して中止してください。

連結コピーを中止するには…

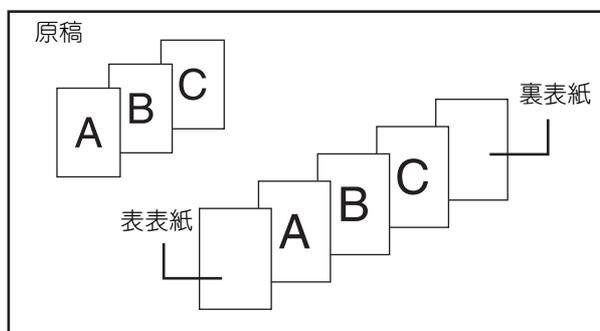
親機と子機のそれぞれの[ストップ]キー（）を押して中止してください。

-  **こんな場合は…**
- 用紙切れを起こした場合**
親機もしくは子機のどちらか一方で用紙切れの場合、用紙切れの側はコピーが保留となり、用紙切れでない側はそのままコピーを続行します。用紙切れの側に用紙を補給すると残りのコピーを開始します。
- ユーザー認証が設定されている場合**
親機でユーザー認証が設定されている→連結コピーできます。
子機でユーザー認証が設定されていて、親機でユーザー認証が設定されていない→連結コピーできません。
- 部数を設定せずに連結コピーを行った場合**
メッセージが表示され、親機と子機から自動的に1部ずつ（合計2部）コピーされます。
-
-  **連結コピーの設定を解除するには…**
手順2の画面で[連結コピー]キーをタッチして、反転表示を解除してください。
-
-  **システム設定（管理者）：連結印刷設定**
連結印刷機能を使用するための設定を行います。また連結印刷機能を使用できないようにもできます。

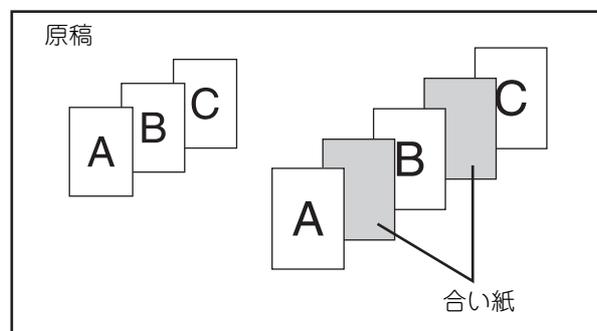
コピーに表紙／合い紙を挿入する

原稿自動送り装置を使用して、原稿の表紙／裏表紙にあたる所に別の用紙を挿入してコピーすることができます。さらに指定したページに別の用紙を合い紙として自動的に挿入することができます。

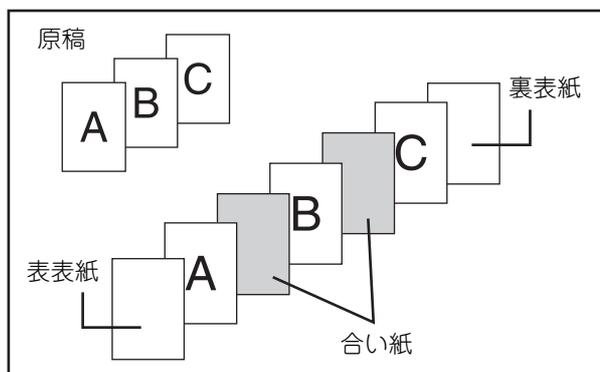
表紙挿入例



合い紙挿入例



表紙／合い紙挿入例



表紙／合い紙の説明について

表紙挿入、合い紙挿入の設定は、さまざまな操作方法があります。表紙／合い紙の説明を分かりやすくするために、表紙挿入と合い紙挿入を区別して説明しています。必要に応じて、「[表紙/合い紙の具体例](#)」(2-147ページ)を参照してください。

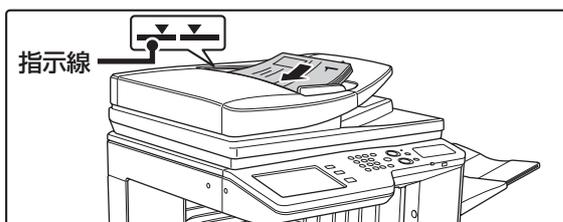
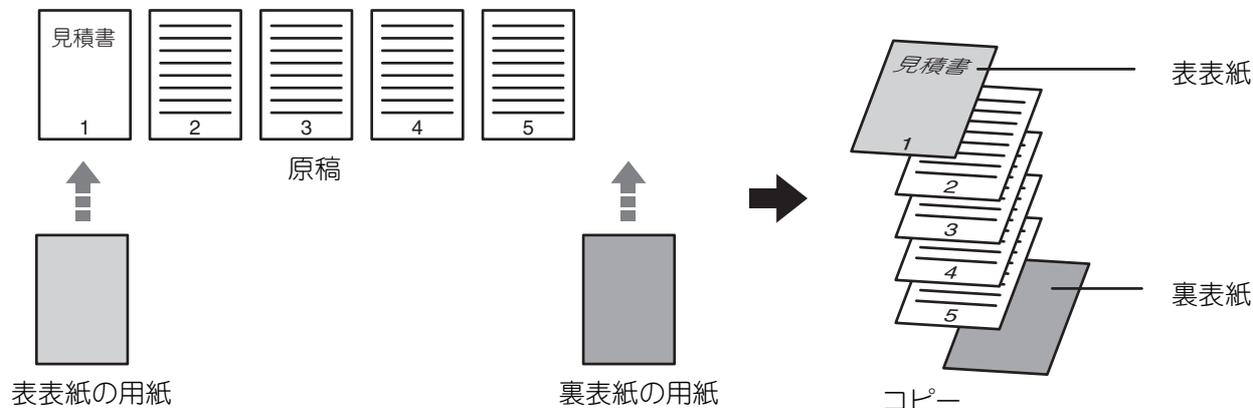
表紙／合い紙の事前準備について

- 表紙／合い紙の機能を使用するときは、挿入用紙を事前にトレイにセットしてください。
- 表紙／合い紙の機能を使用するときは、原稿を原稿セット台にセットして、片面コピーか両面コピーの選択、コピー枚数のセットなど、基本的なコピー条件を事前に選択してから表紙／合い紙の操作を行ってください。
- 原稿のセットは原稿自動送り装置を使用してください。この機能は、原稿台（ガラス面）を使用できません。
- 表紙は表紙と裏表紙のそれぞれ1枚のみ、合い紙のみの場合は100枚まで挿入できます。ただし、同じページに2枚挿入することはできません。
- 両面原稿を両面コピーするときは、原稿の表面と裏面の間に、合い紙を挿入することはできません。

コピーに表紙を挿入する（表紙設定）

原稿の表表紙／裏表紙にあたる箇所に別の用紙を挿入してコピーすることができます。
資料を見やすく仕上げたり、見積書として表紙の用紙を変えたりするときなどに便利です。
合い紙設定と組み合わせて使用することもできます。

表表紙を別の用紙にコピーし、裏表紙を挿入する場合



1 原稿セット台に原稿を上向きにセットする

原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。

 原稿台（ガラス面）を使用することはできません。

2 特別機能を選択する

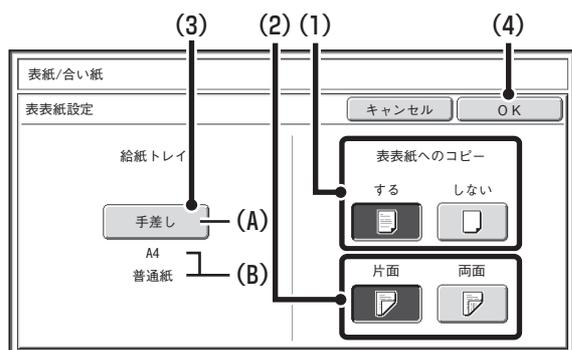
(1) [特別機能]キーをタッチする

(2) [表紙／合い紙]キーをタッチする

 特別機能のメニュー画面（1画面目）（2-40ページ）



3 [表表紙]キーをタッチする



表紙設定を行う

- (1) 表紙にコピーする場合は[する]キーを、しない場合は[しない]キーをタッチする

[しない]キーをタッチすると表紙の挿入のみ行います。
[しない]キーをタッチしたときは手順(3)へ進んでください。

- (2) 表紙に対して片面コピーを行うときは[片面]キーを、両面コピーを行うときは[両面]キーをタッチする

- (3) 表紙の用紙設定を行う

(A) 現在選択されている表紙の給紙トレイを表示しています。

(B) 現在選択されている給紙トレイにセットされている用紙のサイズと種類(タイプ)を表示しています。
表紙の給紙トレイを変更するときは、「給紙トレイ」のキーをタッチしてください。

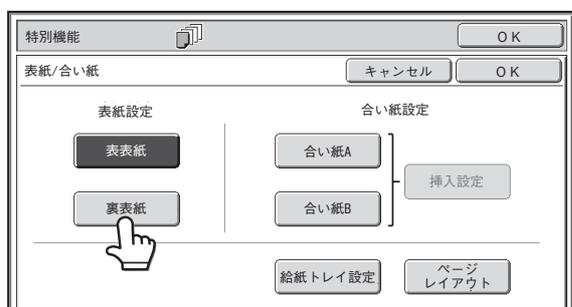
「給紙トレイ」のキーをタッチするとトレイ選択画面が表示されます。トレイ選択画面で表紙用紙の給紙トレイを選択して[OK]キーをタッチしてください。



- (4) [OK]キーをタッチする

 表紙にコピーする際、ラベル紙、OHPフィルム、タブ紙は使用できません。タブ紙は挿入のみ可能です。

 表紙の設定を中止するときは…
[キャンセル]キーをタッチしてください。



裏表紙を挿入するときは、[裏表紙]キーをタッチする

手順4の画面が表示されます。操作は表表紙の場合と同じです。手順4の操作を行ってください。

その際、表表紙を裏表紙と読み替えて操作してください。

6



[OK]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻ります。

[合い紙A]キー、[合い紙B]キーをタッチすると、合い紙設定を続けて行うことができます。

☞ [コピーに合い紙を挿入する \(合い紙設定\) \(2-62ページ\)](#)

[ページレイアウト]キーをタッチすると設定状況一覧を表示し、設定内容を確認することができます。

☞ [表紙/合い紙の設定を変更する \(ページレイアウト\) \(2-66ページ\)](#)

7

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿セット台にある原稿のコピーが開始されます。

⏪ **原稿の読み込みやコピーを中止するときは…**
[ストップ]キー (⏸) を押して中止してください。



- 原稿台（ガラス面）は使用できません。
- システム設定（管理者）で表紙/合い紙の挿入が禁止されているときは設定できません。



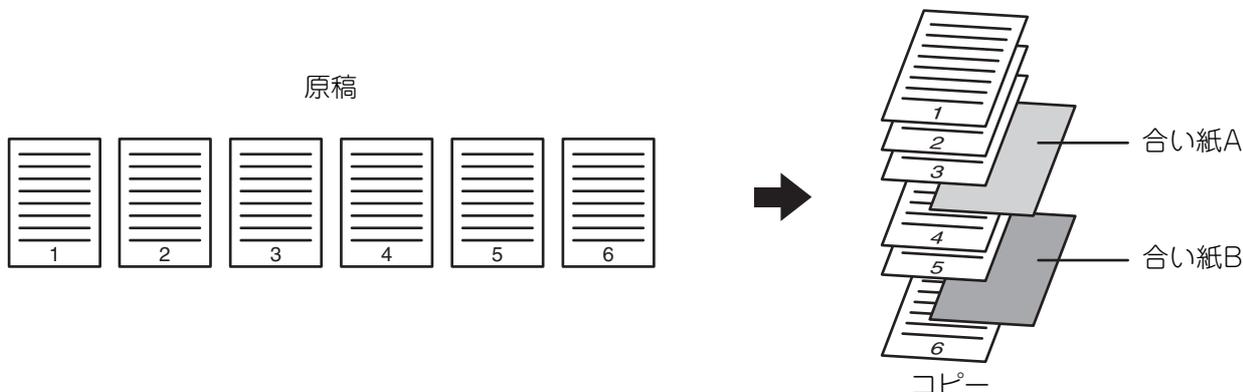
表紙の挿入を中止するときは…
手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

コピーに合い紙を挿入する（合い紙設定）

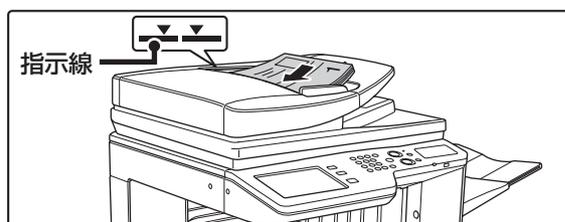
指定したページに別の用紙を合い紙として挿入することができます。合い紙の用紙は2種類使用でき、挿入位置をそれぞれ別に指定することができます。

表紙設定と組み合わせて使用することもできます。

3ページと5ページの後ろに合い紙A/Bを挿入する場合



1



原稿セット台に原稿を上向きにセットする

原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。



原稿台（ガラス面）を使用することはできません。

2

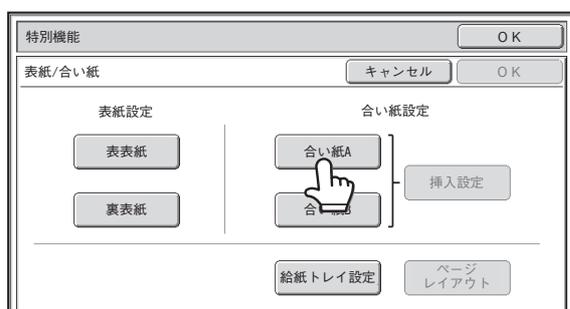
特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

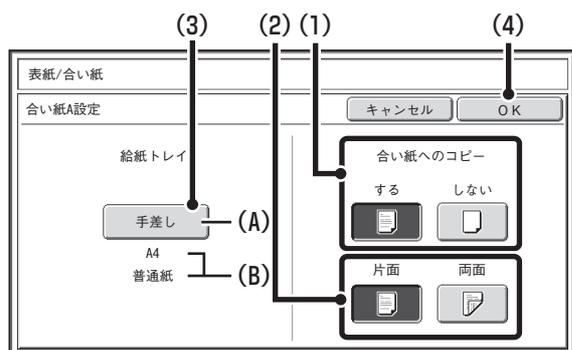
(2) [表紙／合い紙]キーをタッチする

☞ 特別機能のメニュー画面（1画面目）（2-40ページ）

3



[合い紙A]キーをタッチする



合い紙の設定を行う

- (1) 合い紙にコピーする場合は[する]キーを、しない場合は[しない]キーをタッチする

[しない]キーをタッチすると合い紙の挿入のみできます。
[しない]キーをタッチしたときは手順(3)へ進んでください。

- (2) 合い紙に対して片面コピーを行うときは[片面]キーを、両面コピーを行うときは[両面]キーをタッチする

- (3) 合い紙の用紙設定を行う

(A) 現在選択されている合い紙の給紙トレイを表示しています。

(B) 現在選択されている給紙トレイにセットしている用紙のサイズと種類(タイプ)を表示しています。

合い紙の給紙トレイを変更するときは、「給紙トレイ」のキーをタッチしてください。

「給紙トレイ」のキーをタッチするとトレイ選択画面が表示されます。トレイ選択画面で表紙用紙の給紙トレイを選択して[OK]キーをタッチしてください。



- (4) [OK]キーをタッチする



合い紙に両面コピーする際、ラベル紙、OHPフィルム、タブ紙は使用できません。タブ紙は挿入のみ可能です。



別の合い紙を挿入するときは、[合い紙B]キーをタッチする

手順4の画面が表示されます。操作は合い紙Aの場合と同じです。手順4の操作を行ってください。

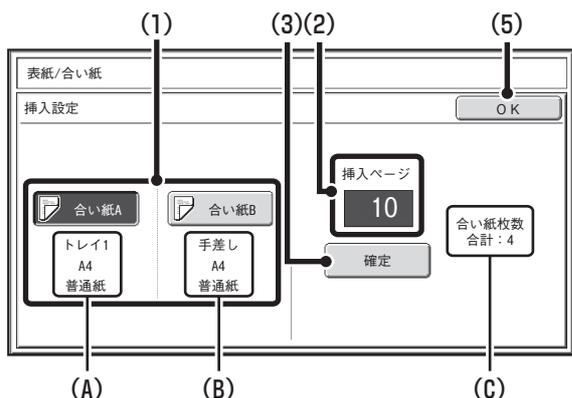
その際、合い紙Aを合い紙Bと読み替えて、操作してください。

6



[挿入設定]キーをタッチする

7



合い紙Aと合い紙Bの挿入するページ位置を設定する

(1) [合い紙A]キーまたは[合い紙B]キーをタッチする

反転している合い紙のページ挿入設定を行います。

(A) [合い紙A]用に選択しているトレイの名称(トレイの位置)、用紙サイズ、用紙種類を表示しています。

(B) [合い紙B]用に選択しているトレイの名称(トレイの位置)、用紙サイズ、用紙種類を表示しています。

[合い紙A]キーが反転表示しているときは、合い紙挿入の設定が[合い紙A]用に適用されます。[合い紙B]キーが反転表示しているときは、[合い紙B]用に適用されます。

(2) 数字キーで合い紙を挿入するページを入力する

詳しくは、「[合い紙挿入 \(片面原稿からコピーする場合\)](#)」(2-152ページ)、および、「[合い紙挿入 \(両面原稿からコピーする場合\)](#)」(2-152ページ)を参照してください。

[クリア]キー(ⓐ)を押すと、選択している項目の設定値が初期値に戻ります。まちがえたときは[クリア]キー(ⓐ)を押したあと、正しく設定し直してください。

(3) [確定]キーをタッチする

(C) 合い紙挿入の合計を表示しています。合い紙は最大100枚まで挿入できます。合い紙を複数枚入力するときは、[数字]キーで挿入ページ(挿入位置)を入力するごとに[確定]キーをタッチしてください。

(4) さらに、合い紙を挿入する場合は、(1)~(3)の手順を繰り返す

(5) [OK]キーをタッチする



合い紙に両面コピーする際、ラベル紙、OHPフィルム、タブ紙は使用できません。タブ紙は挿入のみ可能です。

8



[OK]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻ります。

[表表紙]キーや[裏表紙]キーをタッチすると、表紙設定を続けて行うことができます。

☞ [コピーに表紙を挿入する \(表紙設定\)](#) (2-59ページ)

[ページレイアウト]キーをタッチすると設定状況一覧を表示し、設定内容を確認することができます。

☞ [表紙/合い紙の設定を変更する \(ページレイアウト\)](#) (2-66ページ)

9

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿セット台にある原稿のコピーを開始します。

**原稿の読み込みやコピーを中止するときは…**

[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。



- 合い紙の挿入用紙は、コピーサイズと同じサイズの用紙を使用してください。
- 合い紙は合計100枚まで挿入できます。ただし、同じページに2枚挿入することはできません。
- 両面原稿を両面コピーするときは、原稿の表面と裏面のあいだに、合い紙を挿入することはできません。
- システム設定（管理者）で表紙／合い紙の挿入が禁止されているときは設定できません。

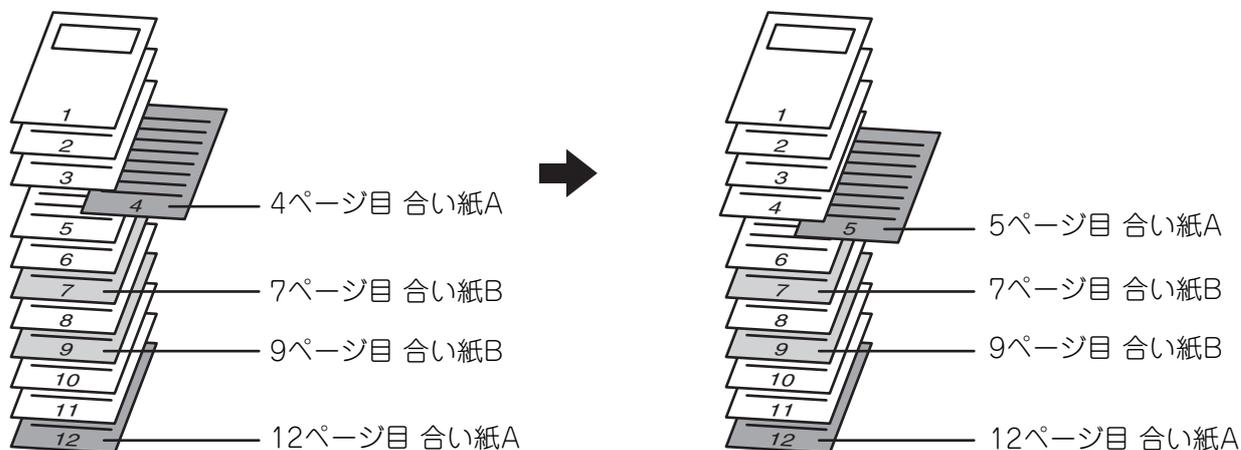
**表紙の挿入を中止するときは…**

手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

表紙／合い紙の設定を変更する (ページレイアウト)

表紙設定と合い紙設定は組み合わせて使用することができます。
ここでは、設定済みの表紙／合い紙の挿入ページの確認と、挿入ページの修正、削除について説明しています。

4ページ目の合い紙Aを5ページ目に変える場合

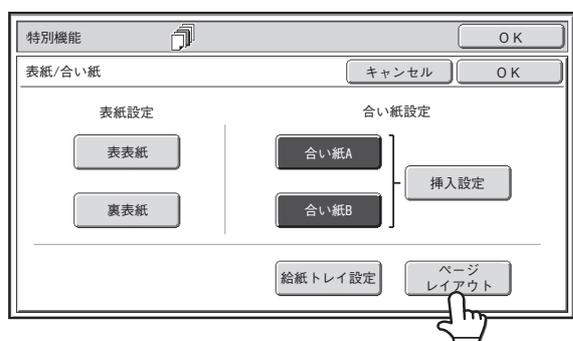


特別機能を選択する

1

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2) [表紙／合い紙]キーをタッチする
- ☞ 特別機能のメニュー画面 (1画面目) (2-40ページ)

2



[ページレイアウト]キーをタッチする

例) 4ページ目の合い紙Aをタッチ



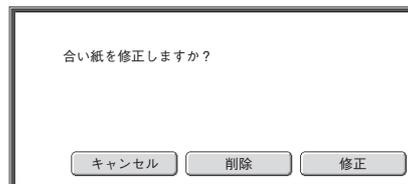
削除または修正するページのキーをタッチする

変更の必要がなければ、[OK]キーをタッチして手順6へ進んでください。

- 各キーにはプリントのイメージを表すアイコンと挿入ページの位置が表示されます。
- 複数画面があるときは、[↓] [↑]キーをタッチして切り替えます。

表紙を修正する場合は、[表表紙]キーまたは[裏表紙]キーをタッチしたあと、手順4へ進んでください。

削除または修正する合い紙のページのキーをタッチすると次の画面が表示されます。



- 削除する場合は[削除]キーをタッチしてください。削除の操作が終了したら[OK]キーをタッチして、手順6へ進んでください。
- 修正する場合は[修正]キーをタッチしてください。合い紙を修正する場合は、[合い紙A]キーまたは[合い紙B]キーをタッチしたあと、手順5へ進んでください。
- 中止する場合は[キャンセル]キーをタッチしてください。

3



アイコンの表示について

- ☐: 表面のみコピーする
- ☐: 裏面のみコピーする
- ☐: 両面コピーする
- ☐: コピーしない

合い紙の場合は、挿入位置のページも表示されます。

*はページ数が入ります。

*/- : *ページに表面のみコピー

*/ * : */*ページに両面コピー

<* : *ページにコピーしない合い紙を挿入

4



表表紙／裏表紙を修正する

修正方法は表紙設定の方法と同じです。「コピーに表紙を挿入する(表紙設定)」(2-59ページ)の手順4を参照して、表紙設定を変更してください。

設定を変更したあとは、[OK]キーをタッチして手順3へ戻ります。



表紙の設定を中止するときは…

[キャンセル]キーをタッチしてください。

5



合い紙A/Bの修正を行う

修正方法は合い紙設定の方法と同じです。「[コピーに合い紙を挿入する（合い紙設定）](#)」(2-62ページ)の手順7を参照して、合い紙設定を変更してください。

設定を変更したあとは、[OK]キーをタッチして手順3へ戻ります。

6

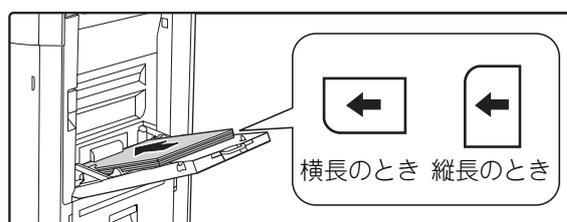
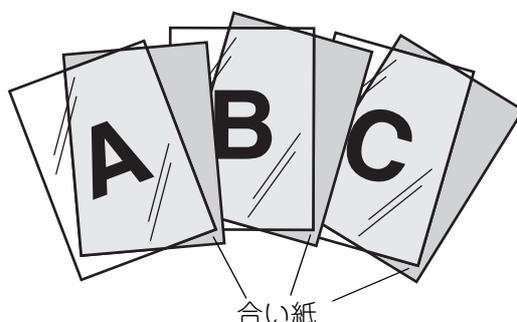


[OK]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻ります。

OHPフィルムがはりつかないようにする (OHP合い紙)

OHPフィルムをそのままコピーするとOHPフィルムどうしが重なり、静電気が起こって扱いにくくなります。OHP合い紙を利用すると、自動的に用紙がOHPフィルムのあいだに挿入され、扱いやすくなります。合い紙にコピーすることもできます。



1 手差しトレイにOHPフィルムをセットする

- OHPフィルムは手差しトレイしかセットできません。
- プリント面を下向きにしてセットしてください。
また、OHPフィルムをセットする際OHPフィルムの丸みのついた角が、
 - 横長方向にセットするときは左前側
 - 縦長方向にセットするときは左奥側
 になるようにセットしてください。
- 手差しトレイにOHPフィルムをセットしたあと、「[手差しトレイを使ってコピーする](#)」(2-37ページ)を参照して、トレイの設定を行ってください。

2 原稿をセットする

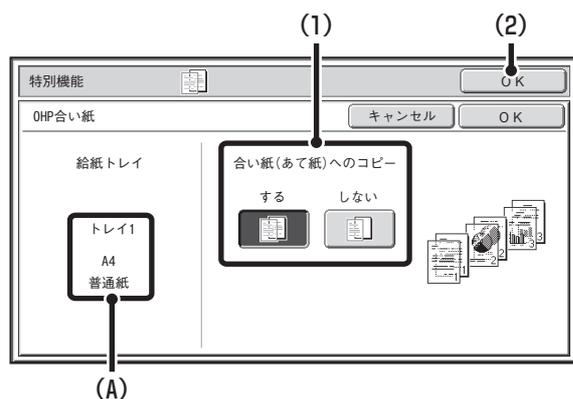
原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

3 特別機能を選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
- (2) [OHP合い紙]キーをタッチする

☞ [特別機能のメニュー画面（1画面目）](#)（2-40ページ）

4



合い紙（あて紙）の設定を行う

(1) 合い紙（あて紙）にコピー [する]、[しない]の
選択を行う

(2) [OK]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻ります。

(A) について

OHP合い紙では、合い紙に適した用紙を自動的に選択します。
ここでは、自動的に選択された用紙トレイ、用紙サイズ、用紙
の種類（タイプ）が表示されます。

5

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。



原稿の読み込みやコピーを中止するときは…

[ストップ]キー（）を押して中止してください。



- この機能では、コピー枚数を設定できません。
- 両面コピーの場合は「両面→片面」モードのみ使用できます。



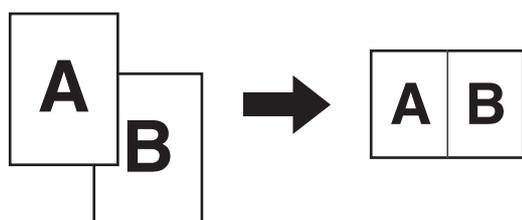
OHP合い紙の設定を解除するには…

手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

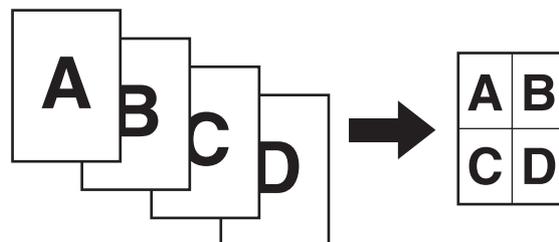
原稿を1枚にまとめてコピーする（ページ集約）

複数ページの原稿を1枚の用紙に均等に割り付けてコピーすることができます。1枚の用紙に原稿2枚分を割り付ける2ページ、または4枚分を割り付ける4ページのいずれかを選べます。ページ数の多い資料をコンパクトにまとめたり、全ページを一覧したいときに便利です。

2ページでコピーする



4ページでコピーする



1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2

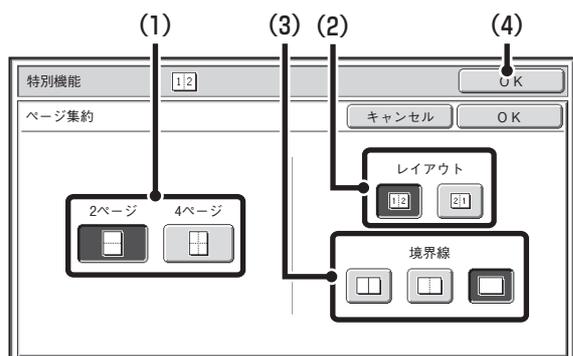
特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

(2) [ページ集約]キーをタッチする

🔍 特別機能のメニュー画面（1画面目）（2-40ページ）

3



1枚の用紙に割り付ける画像の数、レイアウト、境界線を選択する

(1) [2ページ]キーまたは[4ページ]キーをタッチする

用紙方向と割り付ける画像方向は必要に応じて回転してコピーします。

(2) レイアウトを選択する

コピーする順番を選択します。

面数	レイアウト	
2ページ		
4ページ		

上図の矢印は原稿を割り付ける方向と順番を示しています。

(3) 境界線を選択する

実線、破線、境界線なしから選択します。

(4) [OK]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻ります。

4

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

原稿台(ガラス面)を使ってコピーする場合、原稿を入れ替えて[スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。(2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。)



原稿の読み込みやコピーを中止するときは…

[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。



ページ集約コピーでは、原稿のサイズとコピーする用紙サイズおよび設定した面数に応じて、適切な倍率が自動的に設定されます。縮小倍率は25%までです。原稿のサイズとコピーする用紙サイズおよび設定した面数によっては、最適倍率が25%より小さくなる場合があります。この場合、25%でコピーされるので、原稿の画像が欠けることがあります。

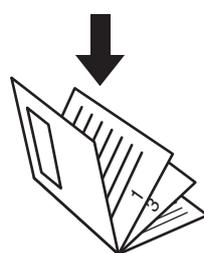
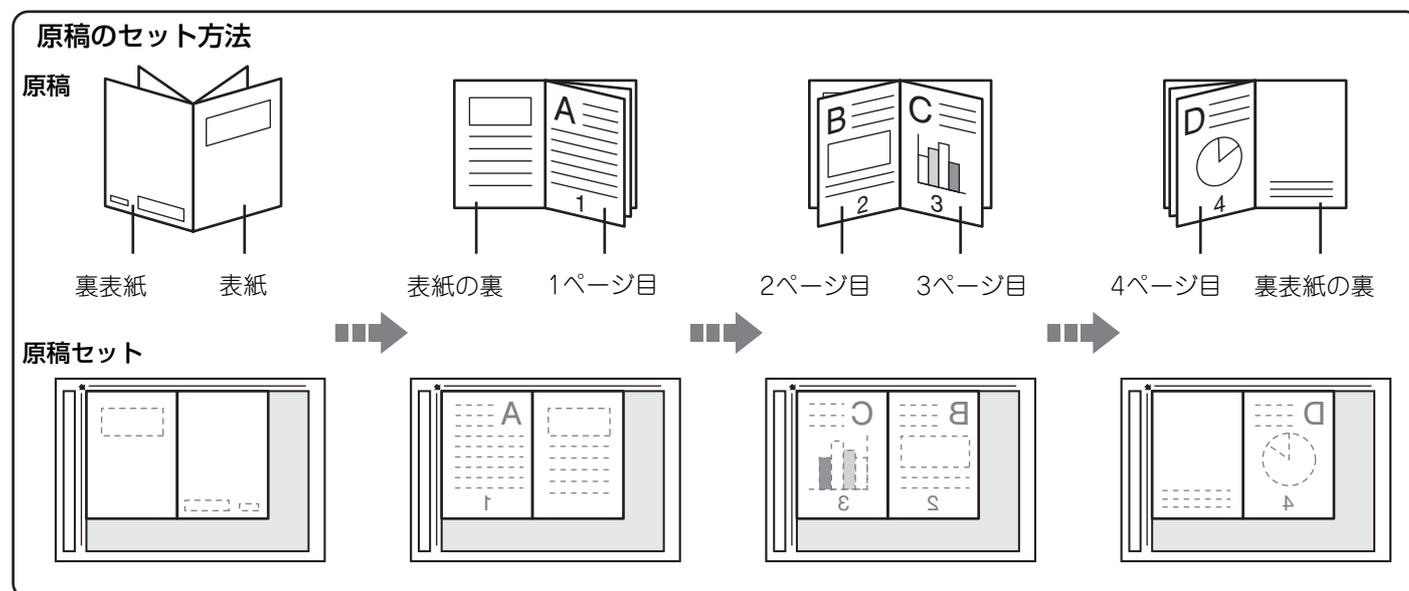


ページ集約の設定を解除するには…

手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

パンフレットを実際の見開きどおりにコピーする (ブック複製)

本などの見開き原稿をコピーするときに、この機能を使用すると、見開きの2ページ単位で原稿を読み取ります。できあがったコピーを中央で二つ折りにすると、中とじ状の冊子となります。コピーをパンフレットのように見ばえよく製本して仕上げるときに便利です。



原稿と同じレイアウトで
コピーができる。

特別機能を選択する

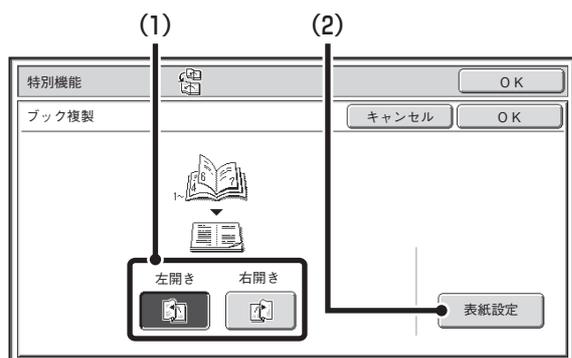
1

(1) [特別機能]キーをタッチする

(2) [ブック複製]キーをタッチする

☞ 特別機能のメニュー画面 (1画面目) (2-40ページ)

2



ブック複製の設定を行う

(1) 原稿のと同じ方向（左開きまたは右開き）を選択する

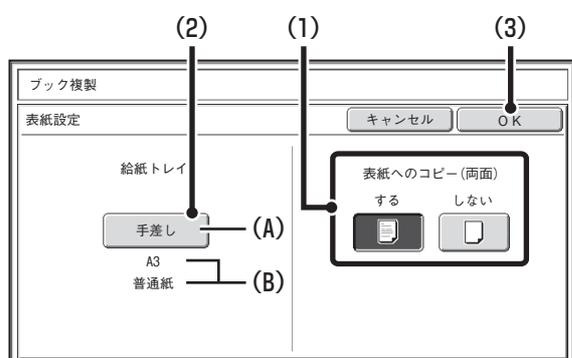
(2) 表紙を挿入する場合は、[表紙設定]キーをタッチする

表紙を挿入しない場合は、手順4へ進んでください。



システム設定（管理者）で表紙／合い紙の挿入が禁止されているときは設定できません。

3



表紙設定を行う

(1) 表紙へコピーする場合は[する]キーを、しない場合は[しない]キーをタッチする

(2) 表紙の用紙設定を行う

(A) 現在選択されている表紙の給紙トレイを表示しています。

(B) 現在選択されている給紙トレイにセットしている用紙のサイズと種類（タイプ）を表示しています。

画面の表示例は、手差しトレイにA3サイズの「普通紙」がセットされています。

表紙の給紙トレイを変更するときは、「給紙トレイ」のキーをタッチしてください。

「給紙トレイ」のキーをタッチするとトレイ選択画面が表示されます。トレイ選択画面で表紙用紙の給紙トレイを選択して[OK]キーをタッチしてください。



(3) [OK]キーをタッチする



表紙にコピーする際、ラベル紙、OHPフィルム、タブ紙は使用できません。



表紙の設定を中止するときは…

[キャンセル]キーをタッチしてください。

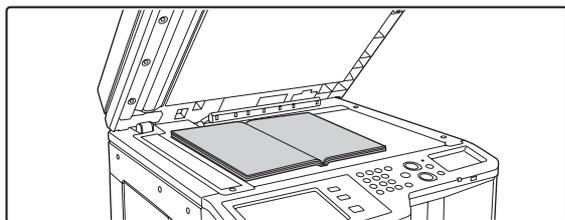
4



[OK]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻ります。

5



原稿台（ガラス面）に原稿を下向きにセットする

「表紙と裏表紙」の見開きをセットしてください。

6

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押して、最初の原稿を読み込む

原稿の読み込みが始まります。

以降の原稿は次の順番で読み込ませてください。

「表紙の裏面と1ページ目」の見開き

「2ページ目と3ページ目」の見開き

⋮

「最終ページと裏表紙の裏面」の見開き



原稿の読み込みを中止するときは…

[ストップ]キー（)を押して中止してください。

7

次の見開きの原稿をセットし、[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿をすべて読み込むまでこの操作を繰り返します。

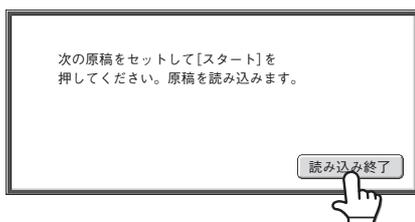
2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した

[スタート]キーを使用してください。



原稿の読み込みを中止するときは…

[ストップ]キー（)を押して中止してください。



[読み込み終了]キーをタッチする
コピーが開始されます。

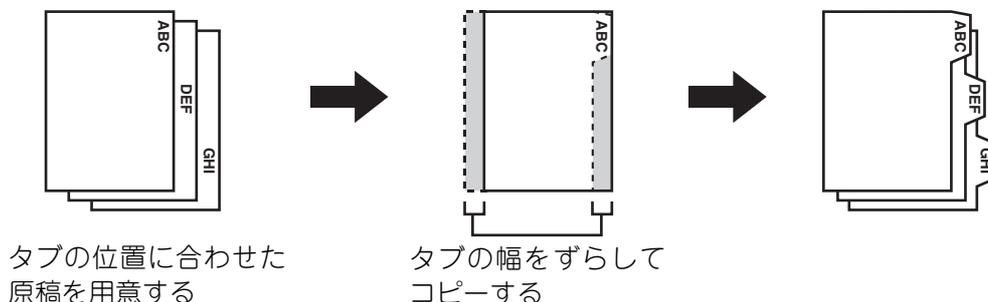
 **原稿の読み込みやコピーを中止するときは…**
[ストップ]キー (⏏) を押して中止してください。

-  原稿4ページ分を1枚の用紙にコピーするため、原稿の合計ページ数が4の倍数でないときは、自動的に最終ページ側に端数の白紙ページを設けてコピーします。
- ブック複製を選択すると自動的に両面コピーモードが選択されます。また、両面コピーができない設定になっているときはブック複製は使用できません。

 **ブック複製の設定を解除するには…**
手順2の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

タブ紙に見出しをコピーする（タブコピー）

タブ紙をセットし、タブの部分にコピーすることができます。タブの見出しになる原稿を用意してください。タブコピーは手差しトレイから行えます。



原稿とタブ紙の関係

左とじのタブコピーを行う場合

原稿	原稿のセットについて	タブ紙のセットについて
<p>原稿</p> <p>完成イメージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 原稿セット台 <p>タブの文字がない方を原稿挿入口に向けてセットします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原稿台（ガラス面） <p>タブの文字が左側にくるようにセットします。</p>	<p>裏面</p> <p>タブ紙の先頭ページは、タブの位置が手前になるようにセットします。</p>

右とじのタブコピーを行う場合

原稿	原稿のセットについて	タブ紙のセットについて
<p>原稿</p> <p>完成イメージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 原稿セット台 <p>タブの文字がない方を原稿挿入口に向けてセットします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原稿台（ガラス面） <p>タブの文字が左側にくるようにセットします。</p>	<p>裏面</p> <p>タブ紙の先頭ページは、タブの位置が奥側になるようにセットします。</p>

1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

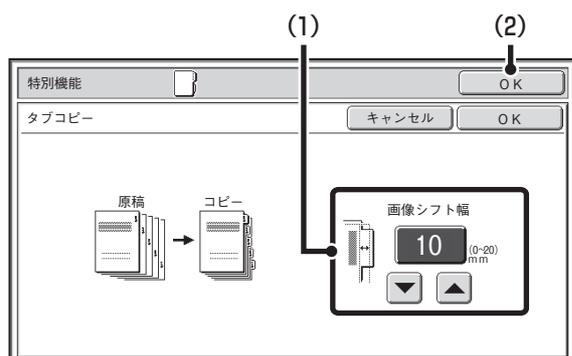
2 特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

(2) [タブコピー]キーをタッチする

☞ 特別機能のメニュー画面（1画面目）（2-40ページ）

3



タブの幅を設定する

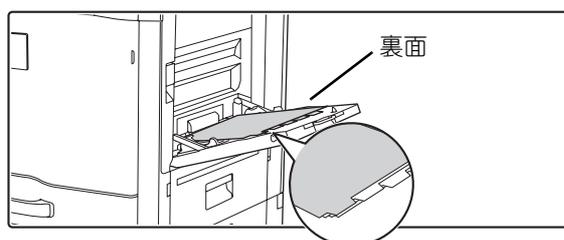
(1) ▼ ▲ で画像シフト幅（タブの幅）を設定する

0mm～20mmの範囲で設定できます。
数値表示部のキーを直接タッチして数字キーで変更することもできます。

(2) [OK]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻ります。

4



タブ紙をセットする

手差しトレイの場合、プリント面を下向きにしてセットしてください。

タブ側が後端になるようにセットしてください。

手差しトレイにタブ紙をセットしたあと、「[手差しトレイを使ってコピーする](#)」（2-37ページ）を参照して、トレイの設定を行ってください。

✎ タブ紙の用紙サイズはA4の横幅（210mm）+20mmまでです。

5 [カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

原稿台（ガラス面）を使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿を1枚読み込むごとにコピーが行われます。ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。（2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。）

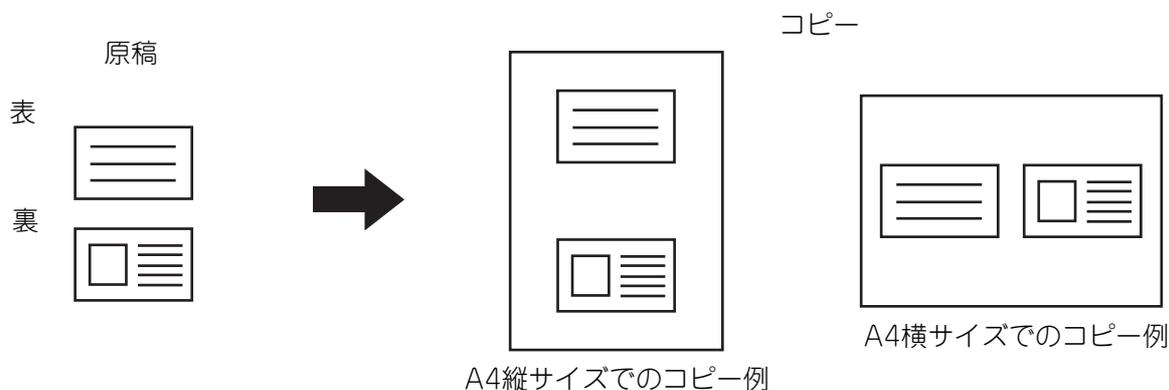
⏪ 原稿の読み込みやコピーを中止するときは…
[ストップ]キー（⏹）を押して中止してください。

⏪ タブコピーを解除するには…
手順3の[キャンセル]キーをタッチしてください。

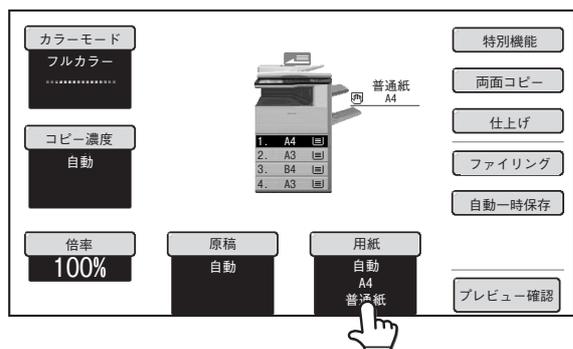
⚙ システム設定（管理者）：タブコピー標準値設定
画像シフト幅の標準値設定は0mm～20mmの範囲で設定できます。工場出荷時は10mmに設定されています。

カードの表裏を1枚にまとめてコピーする (カードスキャン)

各種カードの表と裏を別々の用紙にコピーすることなく1枚の用紙に並べてコピーできます。
お客様の証明用コピーなどを効果的にコピーでき、用紙の節約にもつながります。

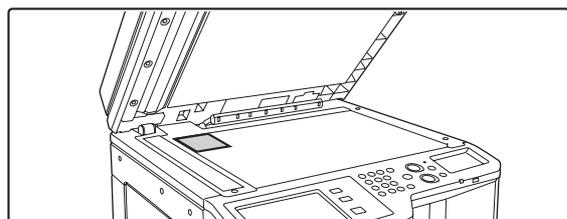


1



カードスキャンで使用する用紙を設定する
「[用紙トレイについて](#)」(2-11ページ)を参照して、用紙を設定してください。

2



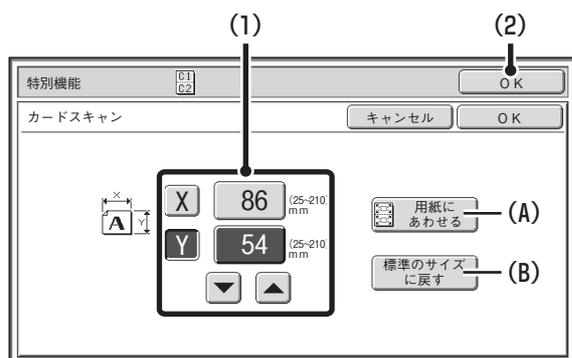
原稿台（ガラス面）に原稿を下向きにセットする

3

特別機能を選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2) [カードスキャン]キーをタッチする
- ☞ [特別機能のメニュー画面（1画面目）](#)（2-40ページ）

4



カードスキャンを設定する

(1) 原稿のサイズを入力する

[X]キーが選ばれている状態で▼▲でX（横）方向サイズを入力します。

[Y]キーをタッチして▼▲でY（縦）方向サイズを入力します。

数値表示部のキーを直接タッチして数字キーで変更することもできます。

(A)[用紙にあわせる]キーをタッチすると、セットした原稿を入力した原稿サイズに合わせて適切な倍率で拡大、縮小を行います。

(B)[標準のサイズに戻す]キーをタッチすると、縦横の数値をシステム設定（管理者）の「カードスキャン標準値設定」で設定されている数値に戻します。

(2) [OK]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻ります。このとき[原稿]キー内に設定したサイズが表示されます。

5

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押して、表面を読み込む

⌂ 原稿の読み込みを中止するときは…
[ストップ]キー（⏹）を押して中止してください。

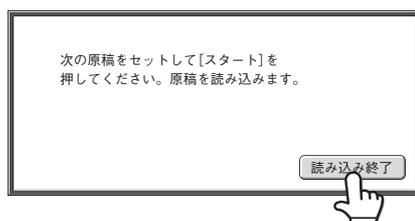
6

カードを裏面に入れ替えて[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押して、裏面を読み込む

表面で読み込んだときに使用した[スタート]キーを押してください。

📎 原稿の読み込みを中止するときは…
[ストップ]キー（⏹）を押して中止してください。

7



[読み込み終了]キーをタッチする

コピーが開始されます。

📎 コピーを中止するときは…
[ストップ]キー（⏹）を押して中止してください。



- 原稿は必ず原稿台（ガラス面）にセットしてください。
- この機能では定形サイズ用紙でのみコピーすることができます。
- この機能ではたてよこ独立変倍を使用できません。
- この機能では画像を回転してコピーすることはできません。

**カードスキャンを解除するには…**

手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

**システム設定（管理者）：カードスキャン標準値設定**

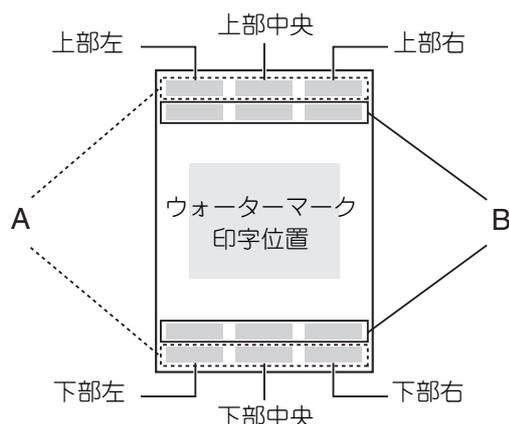
[標準のサイズに戻す]キーをタッチして戻る値を設定します。縦横方向ともに25mm～210mmの範囲で設定できます。工場出荷時はX（横）は86mm、Y（縦）は54mmに設定されています。

用紙に日付やスタンプを印字してコピーする (印字メニュー)

用紙に日付、スタンプ、ページ数、入力した文字を印字してコピーすることができます。また、特定の文言をすかし文字のように原稿の画像と重ね合わせて、コピーすることができます。(ウォーターマーク)

印字する位置は、用紙の上部または下部の左、中央、右の6ヶ所から選択できます。

それぞれの印字位置は、日付、ページ数、文字を印字するエリア(下図A)と、スタンプを印字するエリア(下図B)に分けられています。ウォーターマークは用紙中央に印字されます。



印字メニュー	印字エリア	最大設定数
日付	A	1ヶ所のみ
スタンプ	B	6ヶ所
ページ数	A	1ヶ所のみ
文字	A	6ヶ所
ウォーターマーク	用紙中央	—

- 設定した印字内容が他の位置の印字内容と重なる場合は、ウォーターマーク、右側、左側、中央の順に優先されて印字されます。その際、重なることによって隠れる部分は印字されません。
- 印字する文字は、コピー倍率や用紙サイズにかかわらず、所定の大ききで印字します。
- 印字する文字は、コピー濃度にかかわらず、所定の濃度で印字します。
- コピーする用紙サイズによっては、印字内容が欠けたり、指定の印字位置からずれて印字されることがあります。

他の特別機能と組み合わせた場合の印字について

印字メニューを次の特別機能と組み合わせた場合は、組み合わせた特別機能を反映して印字します。

特別機能	印字動作
とじしろ	コピー画像と同様に、とじしろ量の分を移動して印字します。
タブコピー センタリング	移動するコピー画像と異なり、印字メニューで設定した位置で印字されます。
1セット2コピー カードスキャン	印字内容はコピー用紙ごとに印字されます。
ページ集約	印字内容は原稿のページごとに印字されます。
中とじ ブック複製	製本した際、1ページごとに印字します。
表紙/合い紙	挿入する表紙や合い紙に印字するかどうかは、印字メニューで設定する必要があります。

印字メニューを使用する際の共通手順

印字メニューを行うときは、次の操作を共通して行います。

1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

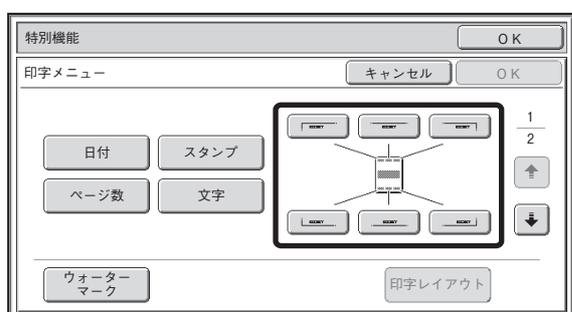
2 特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

2 (2) [↓] [↑] キーで画面を切り替える

(3) [印字メニュー]キーをタッチする

☞ 特別機能のメニュー画面（2画面目）（2-41ページ）



3 印字位置を選択する

上部または下部の、左、中、右の6ヶ所から選択します。この手順を行わないまま次の手順へ進むこともできます。その場合、印字メニューは次の位置に印字されます。

日付：上部の右側 **スタンプ**：上部の左側

ページ数：下部の中央 **文字**：上部の左側

ウォーターマークの場合は、印字位置を選択できません。次の手順へ進んでください。

印字位置について

印字位置を示すキーの表示は、設定状態により次のように表示されます。

	印字メニューが何も設定されておらず、選択されていない状態
	設定のため選択されている状態
	印字メニューがすでに設定されており、選択されていない状態

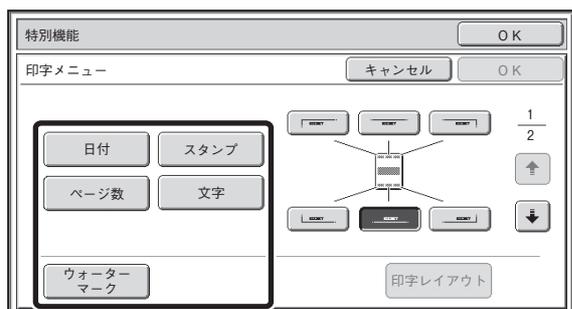
上記のキーは上部左のキーです。キー内のイメージ表示は、キーの位置によって異なります。

3



- 「日付」と「ページ数」は、それぞれ複数箇所を設定することはできません。すでに「日付」や「ページ数」が設定されているときに、別の位置で[日付]キーや[ページ数]キーをタッチすると、選択した位置に印字内容を移動するかどうかを確認するメッセージが表示されます。移動するときは[はい]キーを、移動しないときは[いいえ]キーをタッチしてください。
- 「日付」、「文字」、「ページ数」がすでに設定されている印字位置に、「日付」、「文字」、「ページ数」のいずれかを設定しようとする、メッセージが表示されます。選択した印字メニューで元の印字内容を上書きするときは[はい]キーを、元の設定を変更しないときは[いいえ]キーをタッチします。

4



印字メニューを選択する

各印字メニューの詳細については次の項目を参照してください。

日付: [日付をつけてコピーする \(日付印字\)](#) (2-86ページ)

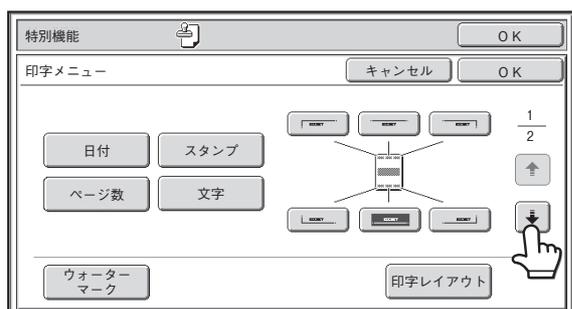
スタンプ: [スタンプをつけてコピーする \(スタンプ\)](#) (2-88ページ)

ページ数: [ページをつけてコピーする \(ページ数\)](#) (2-90ページ)

文字: [文字を入れてコピーする \(文字\)](#) (2-94ページ)

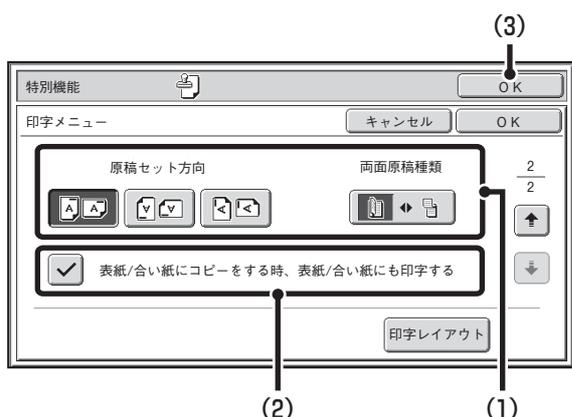
ウォーターマーク: [すかし文字を入れてコピーする \(ウォーターマーク\)](#) (2-100ページ)

5



各印字メニューの設定が完了したあと、 ↓キーをタッチする

6



セットした原稿の設定と表紙／合い紙に印字する設定を行う

(1) セットした原稿の向きを「原稿セット方向」のキーをタッチして指定する

両面原稿をセットした場合は、 キーをタッチして原稿の綴じ位置（横綴じ／縦綴じ）を指定します。

(2) 表紙／合い紙への印字を設定する

表紙／合い紙に印字しない場合は、チェックボックスをタッチして にしてください。

(3) [OK]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻ります。

印字メニューの印字位置の修正や、印字メニューの削除を行いたいときは[印字レイアウト]キーをタッチすることで設定できます。

[印字メニューのレイアウトを確認する \(印字レイアウト\)](#) (2-98ページ)



- 表紙／合い紙にコピーしないときは、チェックマークが付いていても印字されません。
- システム設定（管理者）で表紙／合い紙の挿入が禁止されているときは、設定できません。

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

原稿台（ガラス面）を使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿を1枚読み込むごとにコピーが行われます。ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。（2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。）

7



- カラーで印字するときは[カラースタート]キーを押してください。[白黒スタート]キーを押すとカラーを指定しても白黒で印字されます。
- 白黒原稿でもカラーの印字設定を行うとフルカラーコピーとしてカウントされます。



原稿の読み込みやコピーを中止するときは…

[ストップ]キー（)を押して中止してください。



印字メニューを解除するには…

手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

日付をつけてコピーする（日付印字）

用紙に日付を印字してコピーすることができます。日付印字では、印字位置、印字色、日付の書式、印字ページ（先頭ページのみか全ページかの選択）を設定することができます。

2010年4月4日と用紙の上部右側に印字する場合

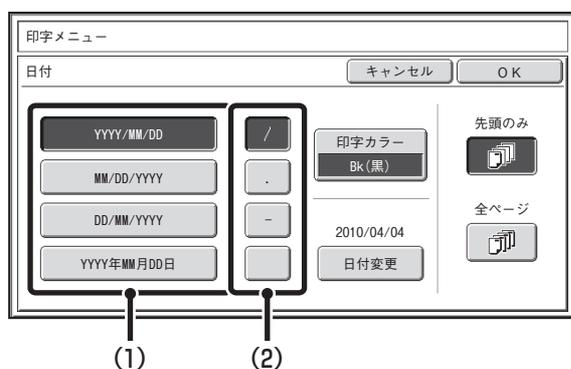


1

印字メニューの選択画面で[日付]キーをタッチする

「印字メニューを使用する際の共通手順」（2-83ページ）の手順1～4を参照してください。

2



日付の書式を設定する

- (1) 使用したい日付の書式のキーをタッチする
- (2) [YYYY/MM/DD]、[MM/DD/YYYY]、[DD/MM/YYYY]を選択した場合、年月日の区切りを[/]、[.]、[-]、[]のキーをタッチして選択する

3



[印字カラー]キーをタッチして、印字の色を設定する

設定したい色をタッチして[OK]キーをタッチしてください。



- [Bk (黒)]以外を選択したときは[カラースタート]キーを押してください。[白黒スタート]キーを押すと日付を白黒で印字します。
- 白黒原稿でカラー日付印字を使用するとフルカラーコピーとしてカウントされます。

4



表示されている日付を確認し、変更する場合は[日付変更]キーをタッチする

印字したい日付を設定して[OK]キーをタッチしてください。



▼ ▲ キーをタッチするかわりに、数値表示部のキーを直接タッチして数字キーで変更することもできます。



- 実際には存在しない日付(例:2月30日など)を指定すると[OK]キーが薄い表示になり、設定することはできません。
- ここで日付を変更してもシステム設定の「日付・時刻設定」の日付は変更されず、本機で設定されている日付に影響しません。

5



印字するページを選択し、[OK]キーをタッチする

先頭ページのみ印字するか、全ページに印字するか選択します。

[OK]キーをタッチしたあとは、「[印字メニューを使用する際の共通手順](#)」(2-83ページ)の手順5以降を参照し、コピーを行ってください。



日付印字の設定を解除するには…

手順2の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

スタンプをつけてコピーする（スタンプ）

用紙に「極秘」などの文字を白抜き文字で印字してコピーすることができます。

スタンプでは、スタンプする位置、スタンプの色、大きさ、濃度、ページ（先頭ページのみか全ページかの選択）を設定することができます。

「極秘」を用紙の上部左側に印字する場合



印字する文字は次の12種類の中から選択できます。

極秘	重要	回収	発行
回覧	コピー厳禁	仮発行	CONFIDENTIAL
至急	仮	URGENT	DRAFT

スタンプの印字濃度（白抜き文字の背景）は3段階の選択が可能です。

スタンプの色は7色より選択できます。

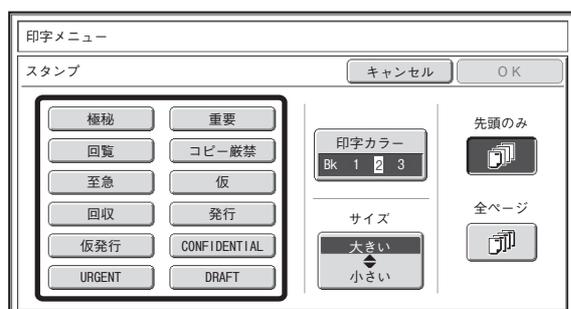
スタンプの大きさは2段階の選択が可能です。

1

印字メニューの選択画面で[スタンプ]キーをタッチする

「[印字メニューを使用する際の共通手順](#)」（2-83ページ）の手順1～4を参照してください。

2



印字したいスタンプのキーをタッチする

3



[印字カラー]キーをタッチして、色と濃度を設定する

設定したい色をタッチします。

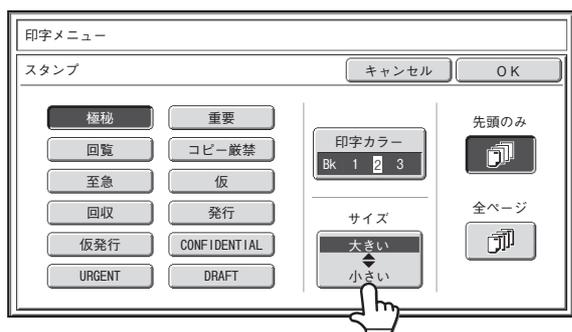
設定した色の濃度を濃くしたいときは、キーをタッチして調整します。薄くしたいときは、キーをタッチして調整します。

設定後、[OK]キーをタッチしてください。



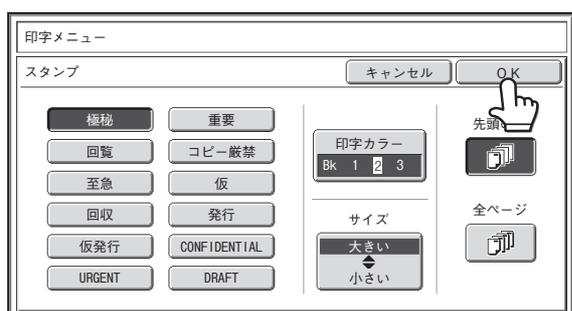
- [Bk (黒)]以外を選択したときは[カラースタート]キーを押してください。[白黒スタート]キーを押すとスタンプを白黒で印字します。
- 白黒原稿でカラーのスタンプ印字を使用するとフルカラーコピーとしてカウントされます。

4



[大きい◆小さい]キーをタッチしてスタンプの大きさを設定する

5



印字するページを選択し、[OK]キーをタッチする

先頭ページのみ印字するか、全ページに印字するか選択します。

[OK]キーをタッチしたあとは、「[印字メニューを使用する際の共通手順](#)」(2-83ページ)の手順5以降を参照し、コピーを行ってください。



スタンプの印字文字は、編集することはできません。



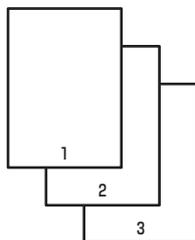
スタンプの設定を解除するには…
手順2の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

ページをつけてコピーする（ページ数）

用紙にページ数を印字してコピーすることができます。

ページ数では、印字位置、印字色、ページ書式、ページ番号を設定することができます。

用紙の下部中央に印字する場合

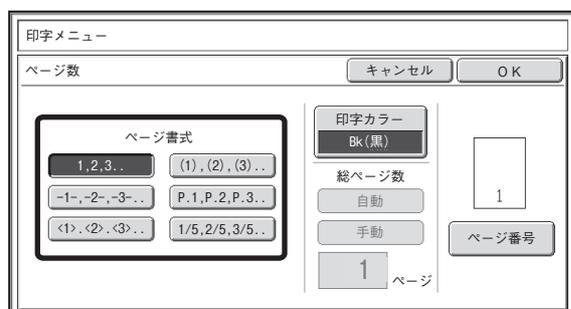


1

印字メニューの選択画面で[ページ数]キーをタッチする

「印字メニューを使用する際の共通手順」（2-83ページ）の手順1～4を参照してください。

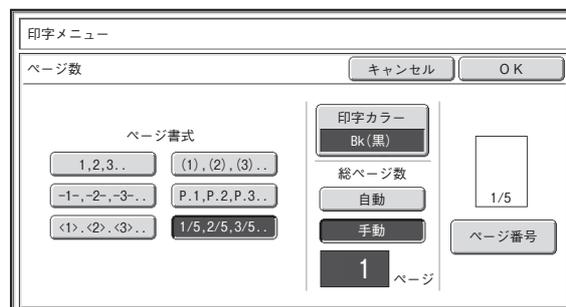
2



ページ番号の書式を選択する

[1/5,2/5,3/5]キーを選択したときは

「ページ番号/総ページ数」が印字されます。総ページ数は最初「自動」が選択されており、読み込んだ原稿面数を自動的に総ページ数に設定します。大量の原稿を分けてコピーするときなど、総ページ数を手動で設定したい場合は、[手動]キーをタッチすると総ページ数の入力画面が表示されます。



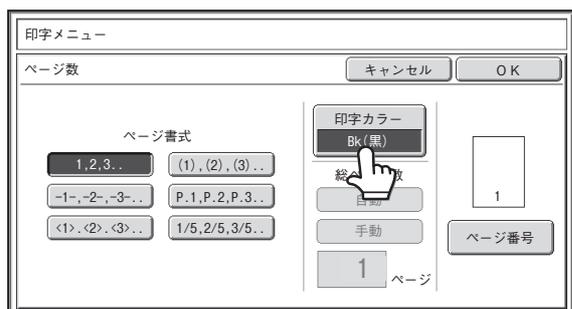
総ページ数（1～999）を数字キーで入力し、[OK]キーをタッチしてください。

[クリア]キー（Ⓢ）を押すと、選択している項目の設定値が初期値に戻ります。まちがえたときは[クリア]キー（Ⓢ）を押したあと、正しく設定し直してください。



- 両面コピーするときは、用紙の面数の合計が総ページ数となります。最終ページが白紙になる場合は、最終ページはカウントされません。ただし、裏表紙を挿入する場合に[裏表紙をカウントする]チェックボックスがになっているときは最終ページもカウントされます。（手順7参照）
- 「1セット2コピー」、「ページ集約」、「カードスキャン」と組み合わせたときは、コピーされる用紙の面数が総ページ数となります。
- 「中とじ」、「ブック複製」と組み合わせたときは、製本した際のページの合計が総ページ数となります。

3



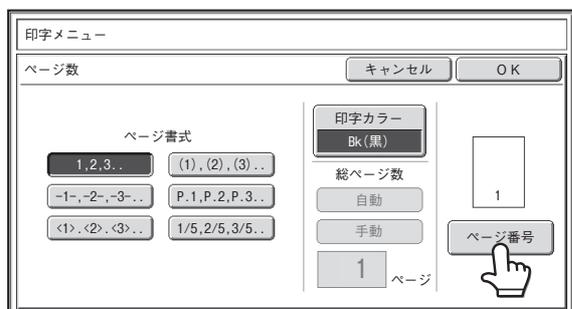
[印字カラー]キーをタッチする

設定したい色をタッチします。
設定後、[OK]キーをタッチしてください。



- [Bk (黒)]以外を選択したときは[カラースタート]キーを押してください。[白黒スタート]キーを押すとページ番号を白黒で印字します。
- 白黒原稿でカラーのページ数印字を使用するとフルカラーコピーとしてカウントされます。

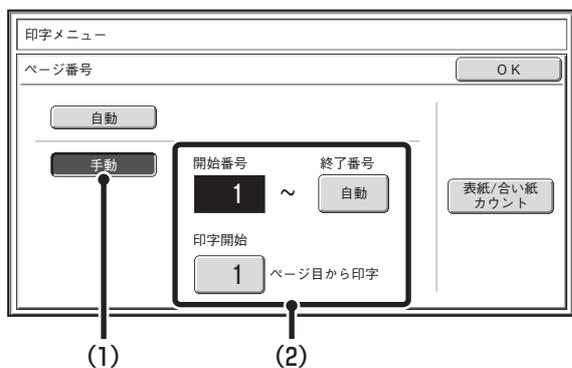
4



ページ番号の設定を行う場合は、[ページ番号]キーをタッチする

ページ番号の設定を行わない場合は、手順9へ進んでください。

5



ページ番号の設定を行う

(1) [手動]キーをタッチする

(2) 開始番号、終了番号、印字開始を設定する

それぞれのキーをタッチし、数字キーで番号を入力してください。(1~999)

[クリア]キー (Ⓢ) を押すと、選択している項目の設定値が初期値に戻ります。まちがえたときは[クリア]キー (Ⓢ) を押したあと、正しく設定し直してください。



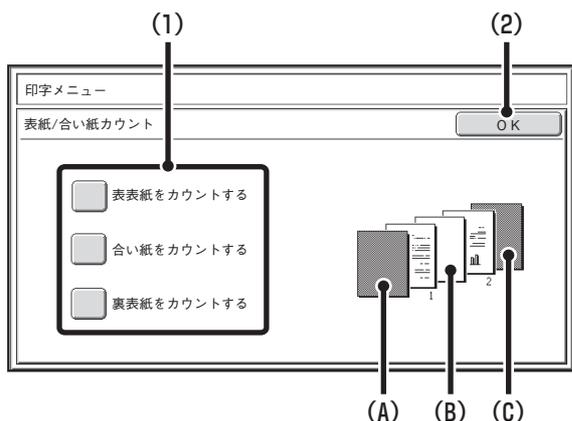
- 「開始番号」より小さい「終了番号」を設定することはできません。
- 「終了番号」が「自動」に設定されている場合は、「開始番号」と「印字開始」の設定に応じて最終ページまで自動でページ数を印字します。
- 「総ページ数」より小さい番号を「終了番号」に設定した場合は、「終了番号」に設定したページ以降の用紙には印字されません。
- 「印字開始」はページ番号の印字を開始したいページ数を設定します。たとえば、「3」を設定すると、片面コピー時はコピーされる用紙の3枚目（原稿の3ページ目）から、両面コピー時はコピーされる用紙の2枚目の表面（原稿の3ページ目）から、印字を開始します。

6



表紙／合い紙を挿入する場合、表紙／合い紙もページ数にカウントして印字するときは、**[表紙/合い紙カウント]**キーをタッチする

7



ページ数にカウントする項目をタッチして にし、**[OK]**キーをタッチする

が付いた項目は、画面右側のプリントイメージに反映されます。

(A)：表表紙イメージ

(B)：合い紙イメージ

(C)：裏表紙イメージ



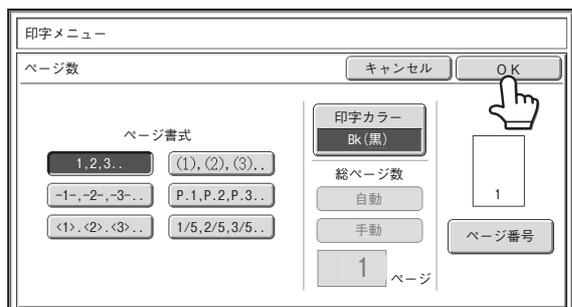
- それぞれのチェックボックスを にした場合、挿入する用紙1枚（表表紙、合い紙、裏表紙）は、片面コピーの場合は1ページ、両面コピーの場合は2ページでカウントされます。ただし、本文が片面コピーで挿入する用紙が両面コピーのときのみ、本文は1ページ、挿入した用紙は2ページでカウントされます。
- 表紙／合い紙へのページ印字は、表紙／合い紙をカウントし、かつ表紙／合い紙にコピーする場合に印字されます。

8



[OK]キーをタッチする

9



[OK]キーをタッチする

[OK]キーをタッチしたあとは、「[印字メニューを使用する際の共通手順](#)」(2-83ページ)の手順5以降を参照し、コピーを行ってください。

- ページ数印字を設定中は、グループモードでコピーできません。自動的にソートモードに切り替わります。
- ページ数の印字位置を右端または左端に設定したとき、「中とし」や「ブック複製」と組み合わせると、見開きにしたときページ番号が用紙の外側（見開き状態での用紙の左右）になるように位置を変更して印字されます。ページ数を設定した位置にスタンプが設定されているときは、スタンプも同様に位置を変更して印字されます。変更される位置に他の印字項目が設定されている場合は、ページ番号／スタンプの印字位置と他の印字項目の位置が入れ替わります。

このとき、ページ数の印字位置変更に関わらない印字メニューは、設定位置どおりに印字されます。

【例】中としコピーで4ページの場合にページ数の書式「1,2,3..」を設定すると、次のようにコピーされます。

この例で、ページ数は用紙下側、日付は用紙上側に設定されていますので、日付は移動しません。

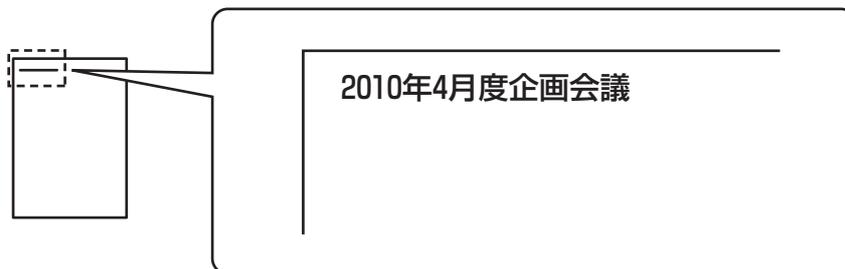


- ページ数印字の設定を解除するには…
手順2の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

文字を入れてコピーする（文字）

入力した文字を印字してコピーすることができます。よく使う文字列は最大30件登録しておくことができます。

「2010年4月度企画会議」と用紙の上部左側に印字する場合



1

印字メニューの選択画面で[文字]キーをタッチする

「[印字メニューを使用する際の共通手順](#)」（2-83ページ）の手順1～4を参照してください。

2

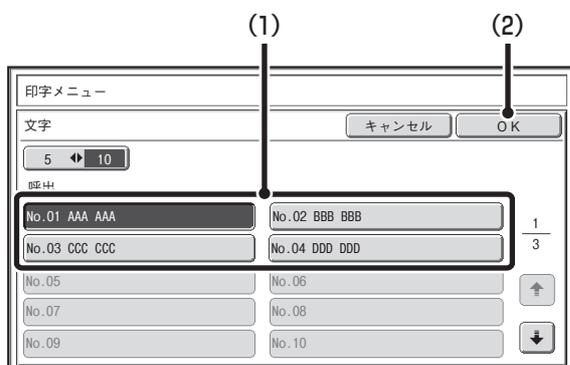


[呼出]キーをタッチする

[直接入力]キーをタッチした場合は、文字入力画面が表示されます。文字入力が終わったら[OK]キーをタッチします。文字の登録や消去を行うときは[登録/消去]キーをタッチします。

☞ [文字を登録する／修正・消去する](#)（2-96ページ）

3



印字したい文字を設定する

(1) 設定したい文字をタッチする

[5 ◀▶ 10]キーをタッチして1画面に表示できるキーの数を5個か10個に切り替えることができます。5個表示の場合は、登録した文字列すべてをキーに表示することができます。

(2) [OK]キーをタッチする

4



[印字カラー]キーをタッチする

設定したい色をタッチします。設定後[OK]キーをタッチしてください。



- [Bk (黒)]以外を選択したときは[カラースタート]キーを押してください。[白黒スタート]キーを押すと印字する文字を白黒で印字します。
- 白黒原稿でカラーの文字印字を使用するとフルカラーコピーとしてカウントされます。

5



印字するページを選択し、[OK]キーをタッチする

先頭ページだけに印字するか、全ページに印字するか選択します。

[OK]キーをタッチしたあとは、「[印字メニューを使用する際の共通手順](#)」(2-83ページ)の手順5を参照し、コピーを行ってください。



印字する文字列の設定は、Webページでも行えます。Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[コピー設定]→[印字メニューの文字設定]をクリックして行います。



文字の設定を解除するには…

手順2の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

文字を登録する／修正・消去する

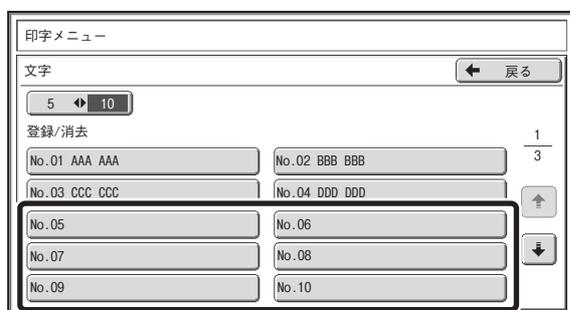
1 印字メニューの選択画面で[文字]キーをタッチする

「印字メニューを使用する際の共通手順」(2-83ページ)の手順1~4を参照してください。

2



[登録/消去]キーをタッチする



文字の登録、または登録した文字を修正・消去する

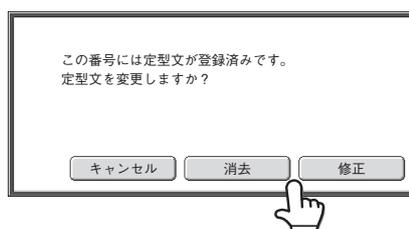
- 文字を登録するときは、文字が登録されていないキーをタッチしてください。
タッチすると文字入力画面に切り替わります。全角25文字(半角50文字)以内で入力してください。文字入力終了したら[OK]キーをタッチして文字入力画面を閉じます。
- 文字を修正または消去するときは、次の説明に従ってください。

3

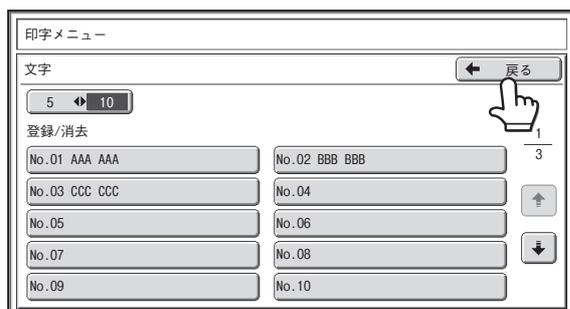


文字を修正または消去するときは…

- 登録されているキーをタッチすると次の画面が表示されます。
[修正]キーをタッチすると、文字入力画面に切り替わります。文字入力画面には登録されている文字が入力された状態になっています。文字の修正を行ってください。文字入力終了したら[OK]キーをタッチして文字入力画面を閉じます。
- [消去]キーをタッチすると、登録された内容が消去されます。



- 印字する文字列の設定は、Webページでも行えます。Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[コピー設定]→[印字メニューの文字設定]をクリックして行います。



[戻る]キーをタッチする

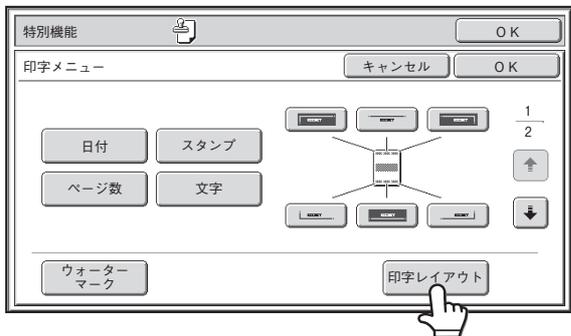
手順2の画面に戻ります。

登録した文字を使ってコピーを行うときは「[文字を入れてコピーする \(文字\)](#)」(2-94ページ) の手順2以降を参照してください。

印字メニューのレイアウトを確認する（印字レイアウト）

印字する項目を設定したあとで印字レイアウトを確認することができ、印字位置を変更したり、印字内容を削除することができます。

1



特別機能 OK

印字メニュー キャンセル OK

日付 スタンプ

ページ数 文字

ウォーターマーク 印字レイアウト

1/2

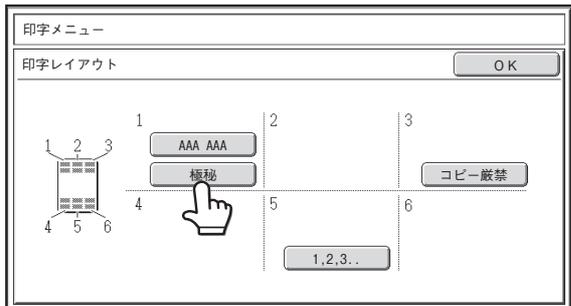
↑

↓

[印字レイアウト]キーをタッチする

印字メニューを設定していない場合は、[印字レイアウト]キーをタッチすることができません。

2



印字メニュー

印字レイアウト OK

1 2 3

AAA AAA

極秘

コピー厳禁

4 5 6

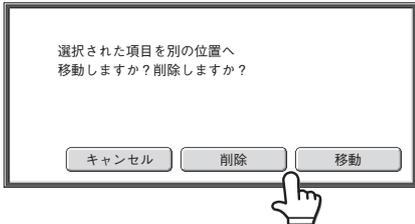
1,2,3...

印字レイアウトが正しいときは、[OK]キーをタッチする

印字位置を修正する場合や印字内容を削除するときは、印字位置を変更するキーまたは印字内容を削除するキーをタッチしてください。

キーには印字文字が全角7文字（半角14文字）まで表示されます。

3



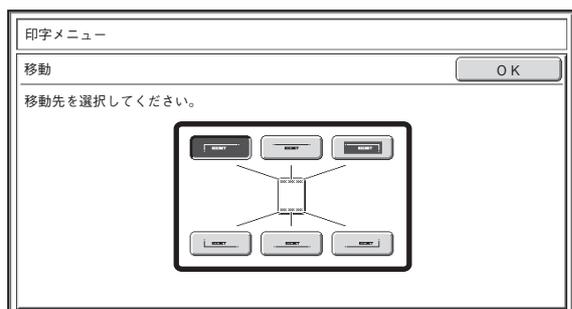
選択された項目を別の位置へ移動しますか？削除しますか？

キャンセル 削除 移動

印字位置を変更する場合は[移動]キーを、印字内容を削除する場合は[削除]キーをタッチする

- [移動]キーをタッチした場合は、移動先の選択画面が表示されます。
- [削除]キーをタッチした場合は、印字内容が削除されます。（手順6へ進んでください。）

4



移動先に指定する位置のキーをタッチする

タッチした移動先のキーが反転表示され、印字位置が変更されます。

印字位置を示すキーの表示は、設定状態により次のように表示されます。

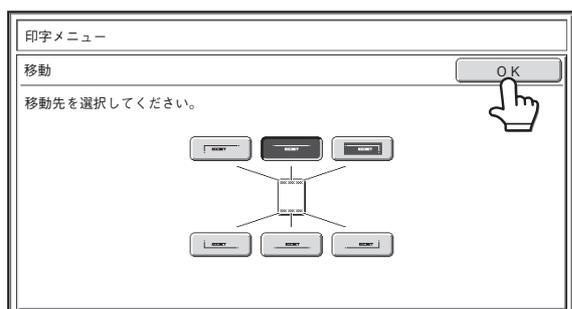
	印字メニューが何も設定されていない印字位置
	現在設定されている印字位置
	競合する他の印字メニューがすでに設定されている状態の印字位置

上記のキーは上部左のキーです。キー内のイメージ表示は、キーの位置によって異なります。



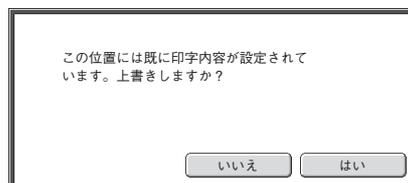
移動先の印字内容と位置を交換したいときは、どちらか一方の印字内容を、登録されていない印字位置に一時的に移動させてから印字位置を変更してください。

5

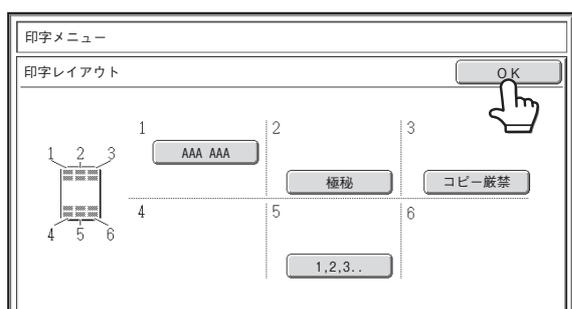


[OK]キーをタッチする

他の印字内容が設定されている位置に移動しようとした場合、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。[はい]キーをタッチすると上書きされます。[いいえ]キーをタッチすると移動が中止されます。



6



[OK]キーをタッチする

すかし文字を入れてコピーする（ウォーターマーク）

特定の文言をすかし文字のように原稿の画像と重ね合わせて、コピーすることができます。ウォーターマークでは、印字色、濃度、角度、印字ページ（先頭ページのみか全ページかの選択）を設定できます。ウォーターマークは用紙の中央に印字されます。

用紙に「極秘」と印字する場合



印字する文字は次の12種類の中から選択できます。

極秘	重要	回収	発行
回覧	コピー厳禁	仮発行	CONFIDENTIAL
至急	仮	URGENT	DRAFT

ウォーターマークの印字濃度は3段階の選択が可能です。

ウォーターマークの色は7色より選択できます。

ウォーターマークの印字角度は、+90度から-90度まで45度きざみでの選択が可能です。

1 印字メニューの選択画面で[ウォーターマーク]キーをタッチする

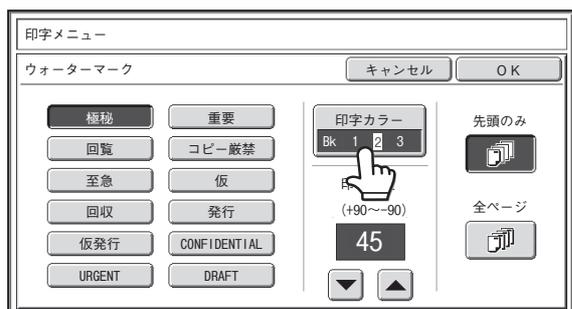
「[印字メニューを使用する際の共通手順](#)」（2-83ページ）の手順1～4を参照してください。

2



印字したいウォーターマークのキーをタッチする

3



[印字カラー]キーをタッチして、色と濃度を設定する

設定したい色をタッチします。

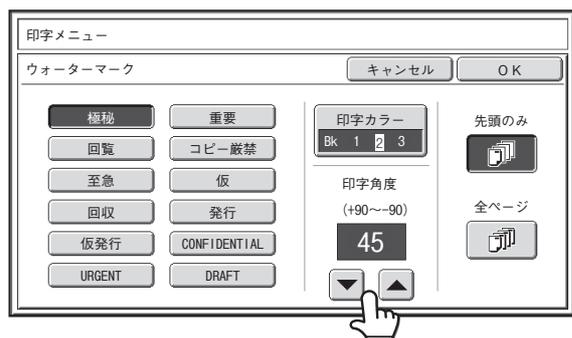
設定した色の濃度を濃くしたいときは、キーをタッチして調整します。薄くしたいときは、キーをタッチして調整します。

設定後、[OK]キーをタッチしてください。



- [Bk (黒)]以外を選択したときは[カラースタート]キーを押してください。[白黒スタート]キーを押すとスタンプを白黒で印字します。
- 白黒原稿でカラーのスタンプ印字を使用するとフルカラーコピーとしてカウントされます。

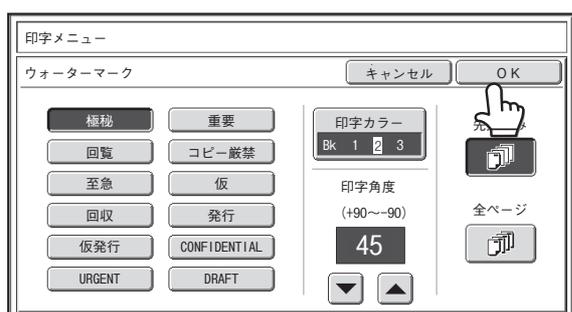
4



キーをタッチしてウォーターマークの印字角度を設定する

+90度から-90度までの角度を45度きざみで選択できます。

5



印字するページを選択し、[OK]キーをタッチする

先頭ページのみ印字するか、全ページに印字するか選択します。

[OK]キーをタッチしたあとは、「[印字メニューを使用する際の共通手順](#)」(2-83ページ)の手順5以降を参照し、コピーを行ってください。



ウォーターマークの印字文字は、編集することはできません。

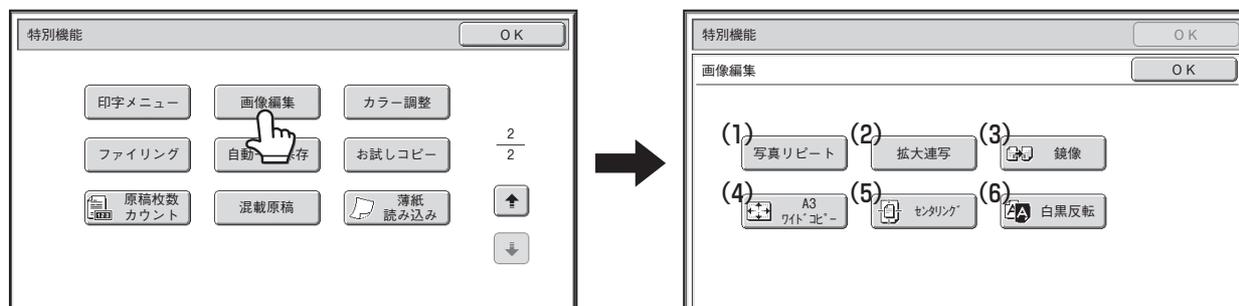


ウォーターマークの設定を解除するには…
手順2の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

[画像編集]キーについて

特別機能のメニュー画面の2画面目にある[画像編集]キーをタッチすると、画像編集メニュー画面が表示されます。

画像編集メニュー画面



- | | |
|--|--|
| <p>(1) [写真リポート]キー
 写真などを並べてコピーする (写真リポート) (2-103ページ)</p> <p>(2) [拡大連写]キー
 ポスター大にコピーする (拡大連写) (2-105ページ)</p> <p>(3) [鏡像]キー
 鏡に映したようなコピーをする (鏡像) (2-108ページ)</p> | <p>(4) [A3ワイドコピー]キー
 A3サイズ原稿が欠けないようにコピーする (A3ワイドコピー) (2-109ページ)</p> <p>(5) [センタリング]キー
 用紙の中央にコピーする (センタリング) (2-111ページ)</p> <p>(6) [白黒反転]キー
 白と黒の部分を反転させてコピーする (白黒反転) (2-113ページ)</p> |
|--|--|

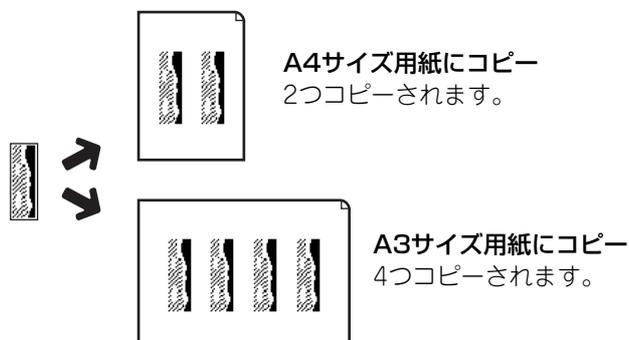
写真などを並べてコピーする（写真リポート）

1枚の写真サイズ of 原稿（E/Lサイズ、はがき、パノラマサイズ、名刺サイズ、証明写真サイズ）を、下の図のように1枚の用紙に最大24個まで（証明写真サイズの場合）コピーできます。

• E/Lサイズ、はがき



• パノラマサイズ



• 名刺サイズ（70mmx100mmまで）



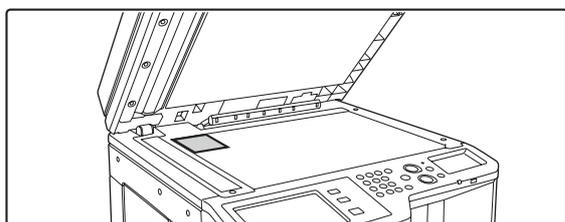
• 証明写真サイズ



• 名刺サイズ（57mmx95mmまで）



1



原稿台（ガラス面）に原稿を下向きにセットする

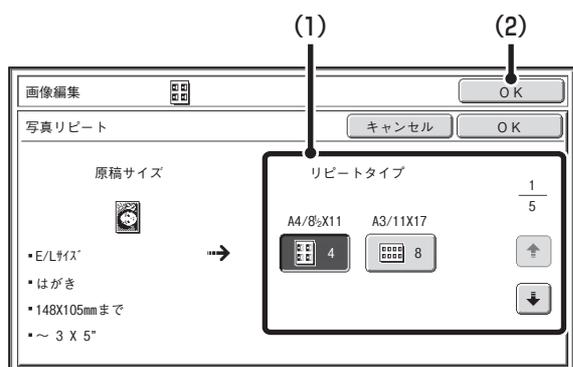
- E/Lサイズ、はがき、パノラマサイズ、証明写真サイズの原稿をセットするときは、原稿の長手方向が原稿台（ガラス面）の左側に沿うようセットしてください。
- 名刺サイズの原稿をセットするときは、原稿の長手方向が原稿台（ガラス面）の奥側に沿うようセットしてください。

特別機能を選択する

2

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2)   キーで画面を切り替える
 - (3) [画像編集]キーをタッチする
 - (4) [写真リPEAT]キーをタッチする
-  [\[画像編集\]キーについて](#) (2-102ページ)

3



写真リPEATを設定する

- (1) 写真リPEATコピーする原稿のタイプと用紙サイズの組み合わせのキーをタッチする
  キーをタッチして画面を切り替え、希望のリPEATタイプのキー (A4またはA3) をタッチしてください。
- (2) [OK]キーをタッチする
 特別機能画面に戻ります。[OK]キーをタッチして、コピーモードの基本画面に戻ってください。



名刺サイズ (57mmx95mmまで) の原稿をリPEATコピーする場合は、A4サイズ用紙のみ選択できます。

4

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。(2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。)



原稿の読み込みやコピーを中止するときは…

[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。



- 原稿は必ず原稿台 (ガラス面) にセットしてください。
- A4 (8-1/2"x11") またはA3 (11"x17") サイズの用紙でのみ行えます。
- コピー倍率は100%になります。(倍率を変更できません。) ただし名刺サイズ (57mmx95mmまで) 原稿のリPEAT時は、縮小 (95%) コピーします。

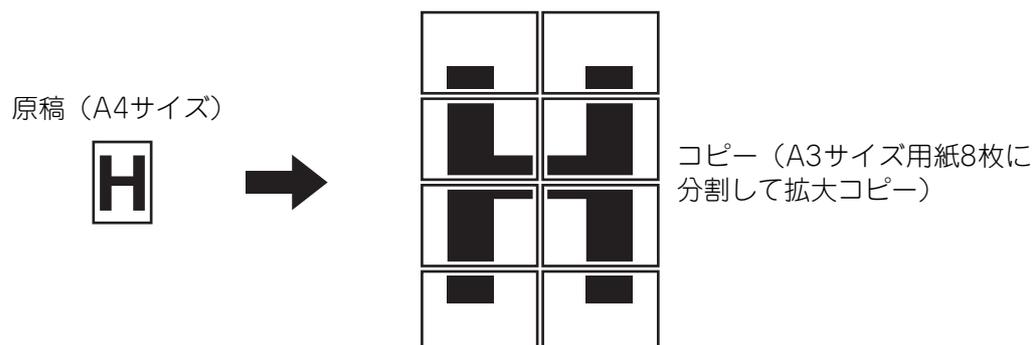


写真リPEATの設定を解除するには…

手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

ポスター大にコピーする（拡大連写）

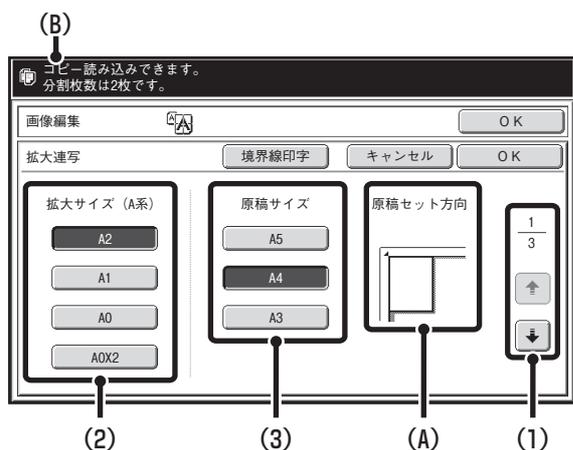
拡大画像を複数枚の用紙に分割してコピーできる機能です。



特別機能を選択する

1

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2)   キーで画面を切り替える
 - (3) [画像編集]キーをタッチする
 - (4) [拡大連写]キーをタッチする
-  [\[画像編集\]キーについて](#) (2-102ページ)



拡大サイズと原稿サイズを設定する

(1) 拡大連写を行うサイズの系列を選択する

↓ ↑ キーをタッチして、希望のサイズ系列の設定画面を表示させてください。

- 1画面目：A系列
- 2画面目：B系列
- 3画面目：インチ系列

(2) 拡大するサイズを選択する

(3) 使用する原稿サイズを選択する

設定した拡大サイズと原稿サイズの組み合わせに応じ、適切な原稿のセット方向 (A) と、分割して出力するために必要な用紙の枚数 (B) が表示されます。

セット方向と分割枚数を確認してください。

拡大連写できる拡大サイズと原稿サイズの組み合わせは左表のとおりです。

2

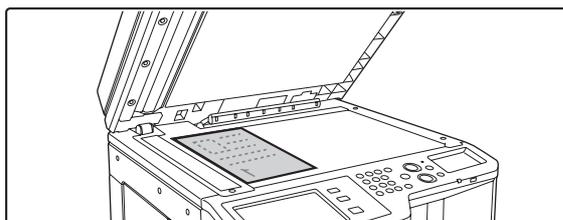
拡大サイズ ↔ 原稿サイズ	
A系列	A2 ↔ A3, A4, A5
	A1 ↔ A3, A4, A5
	A0 ↔ A3, A4
	A0x2* ↔ A3
B系列	B3 ↔ B4, B5
	B2 ↔ B4, B5
	B1 ↔ B4, B5
	B0 ↔ B4
インチ系列	22"x17" ↔ 11"x17", 8-1/2"x14", 8-1/2"x11"
	22"x34" ↔ 11"x17", 8-1/2"x14", 8-1/2"x11"
	34"x44" ↔ 11"x17", 8-1/2"x14", 8-1/2"x11"
	44"x68" ↔ 11"x17"

* A0サイズの2倍の大きさのサイズを表しています。



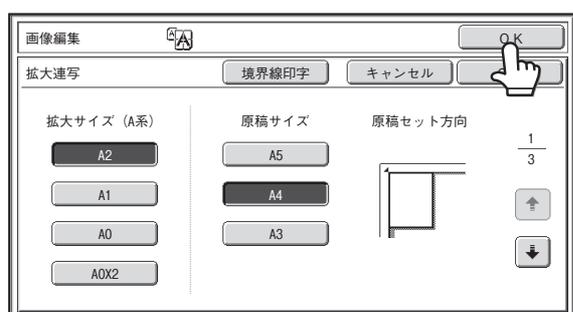
- A系列の原稿をB系列の拡大サイズで、またB系列の原稿をA系列の拡大サイズで拡大連写することはできません。
- コピー画像とのりしろの境界線をプリントする場合は、[境界線印字]キーをタッチして反転表示させてください。

3



画面に表示されたセット方向で原稿を原稿台 (ガラス面) に下向きにセットする

4



[OK]キーをタッチする

特別機能画面に戻ります。[OK]キーをタッチして、コピーモードの基本画面に戻ってください。

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。(2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。)



原稿の読み込みやコピーを中止するときは…

[ストップ]キー (⏏) を押して中止してください。



- 原稿は必ず原稿台（ガラス面）にセットしてください。
- 分割画像の重なりについて
 - 各コピーの周囲には、画像の写らない欠け幅部分があります。
 - 各コピーの先端および後端部分には、隣り合わせの位置となるコピーの画像と重複する画像範囲があります。
- 原稿サイズを選択すると拡大連写可能な拡大サイズを、また拡大サイズを選択するとセット可能な原稿サイズをメッセージで表示します。
- 拡大連写できない組み合わせが選択された場合、無効音が鳴ります。
- 用紙サイズと分割枚数および倍率は設定した原稿サイズと拡大サイズの組み合わせに応じて自動的に選択されます。(任意の用紙サイズと倍率を選択することはできません。)
- 自動選択される用紙のセットされたトレイがないときは、「□□□サイズの用紙をセットしてください。」と表示されます。トレイまたは手差しトレイの用紙をメッセージの示す用紙サイズに交換してください。



拡大連写の設定を解除するには…

手順2の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

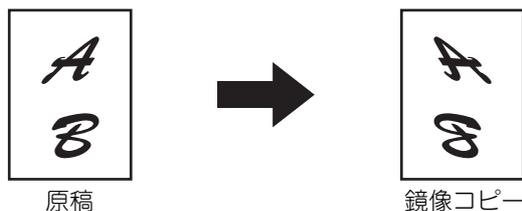
拡大連写の設定を解除しても、自動設定された倍率の値は保持されています。

倍率を100%に戻すには…

[倍率]キーをタッチして倍率メニューを表示させ、[100%]キーをタッチしてください。

鏡に映したようなコピーをする（鏡像）

原稿の画像を左右に反転して、鏡に映した状態のように逆向きにコピーします。



1

原稿をセットする

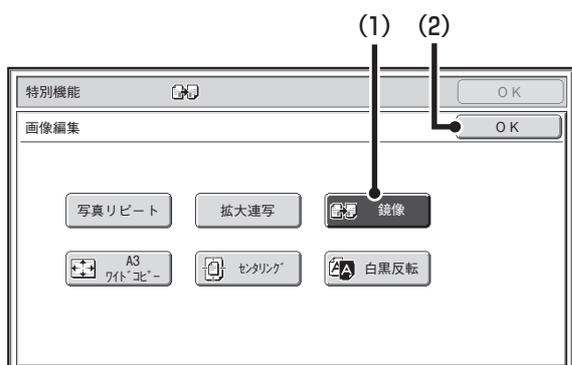
原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2

特別機能を選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2) キーで画面を切り替える
 - (3) [画像編集]キーをタッチする
- [\[画像編集\]キーについて](#) (2-102ページ)

3



鏡像を選択する

- (1) [鏡像]キーをタッチして反転表示にする
- (2) [OK]キーをタッチする

特別機能画面に戻ります。[OK]キーをタッチして、コピーモードの基本画面に戻ってください。

4

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

原稿台（ガラス面）を使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿を1枚読み込むごとにコピーが行われます。ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。（2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。）

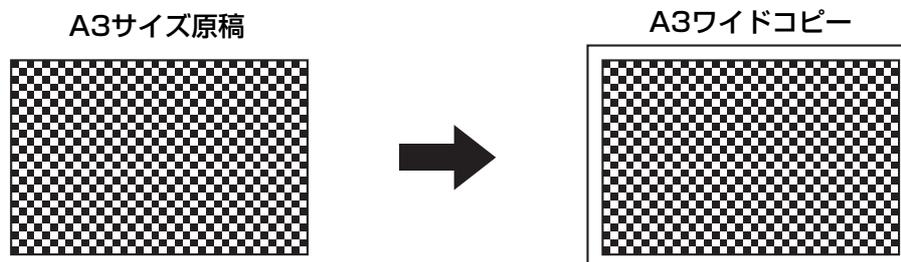
- 原稿の読み込みやコピーを中止するときは…
[ストップ]キー（）を押して中止してください。

鏡像の設定を解除するには…

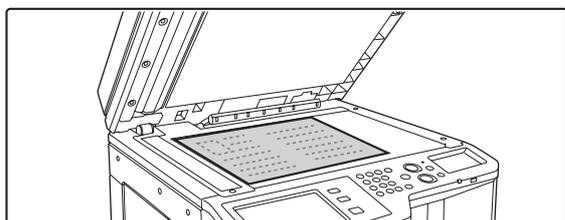
手順3の画面で[鏡像]キーをタッチして、反転表示を解除してください。

A3サイズ原稿が欠けないようにコピーする（A3ワイドコピー）

A3サイズ原稿の全面を、原稿の周囲が欠けないように等倍コピーすることができます。
用紙は、A3サイズ（297mm×420mm）より少し大きめのA3ワイド紙（305mm×457mm）を使用します。



1



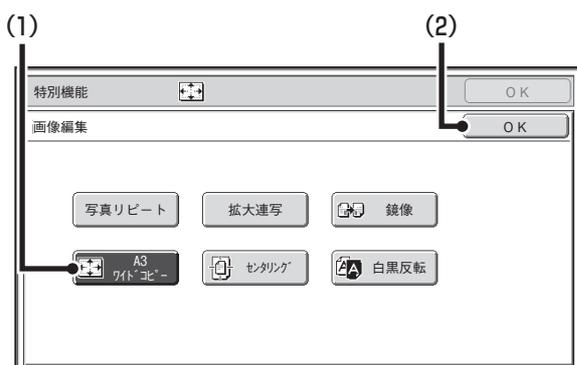
原稿台（ガラス面）に原稿を下向きにセットする

2

特別機能を選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2) キーで画面を切り替える
 - (3) [画像編集]キーをタッチする
- [\[画像編集\]キーについて](#) (2-102ページ)

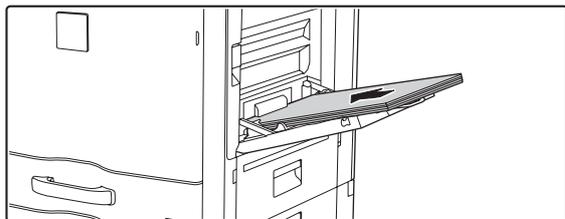
3



A3ワイドコピーを選択する

- (1) [A3ワイドコピー]キーをタッチして反転表示にする
 - (2) [OK]キーをタッチする
- 特別機能画面に戻ります。[OK]キーをタッチして、コピーモードの基本画面に戻ってください。

4



手差しトレイを開いてA3ワイド紙をセットする

補助トレイを引き出してA3ワイド紙の幅にガイドを合わせたうえで、セットしてください。

A3ワイド紙を手差しトレイにセットしたあと、「[手差しトレイを使ってコピーする](#)」(2-37ページ)を参照して、トレイの設定を行ってください。

5

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。(2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。)

 原稿の読み込みやコピーを中止するときは…
[ストップ]キー (⏹) を押して中止してください。



- 原稿は必ず原稿台（ガラス面）にセットしてください。
- コピー倍率は100%になります。倍率を変更することはできません。
- ステープル機能、パンチ機能は使用できません。



A3ワイドコピーの設定を解除するには…

手順3の画面で[A3ワイドコピー]キーをタッチして、反転表示を解除してください。

用紙の中央にコピーする（センタリング）

原稿の画像全体を、用紙のほぼ中央に移動させてコピーすることができます。

原稿サイズが用紙サイズより小さいときや、縮小するときに設定すると、用紙の中央にコピーすることができます。

センタリング機能を使わない	センタリング機能を使う
	

1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2 特別機能を選択する

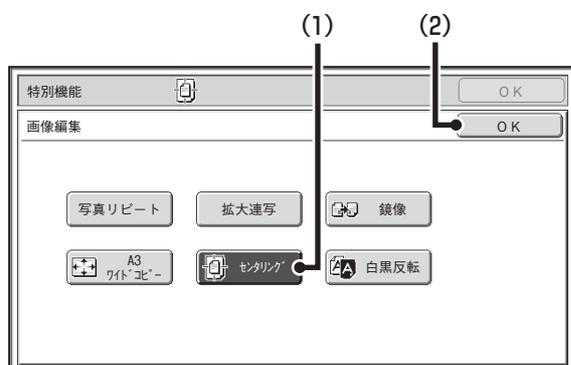
(1) [特別機能]キーをタッチする

2 (2) [下] [上] キーで画面を切り替える

(3) [画像編集]キーをタッチする

 [\[画像編集\]キーについて](#) (2-102ページ)

3



センタリングを選択する

(1) [センタリング]キーをタッチして反転表示にする

(2) [OK]キーをタッチする

特別機能画面に戻ります。[OK]キーをタッチして、コピーモードの基本画面に戻ってください。

4 [カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

原稿台（ガラス面）を使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿を1枚読み込むごとにコピーが行われます。ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。(2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。)

 原稿の読み込みやコピーを中止するときは…
[ストップ]キー (⏏) を押して中止してください。



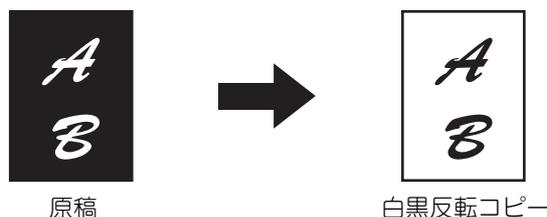
- センタリングで縮小コピーはできますが、拡大コピーはできません。
- 原稿サイズと用紙サイズのいずれかが特殊と表示される場合は、この機能は使用できません。

**センタリングを解除するには…**

手順3の画面で[センタリング]キーをタッチして、反転表示を解除してください。

白と黒の部分を反転させてコピーする（白黒反転）

原稿全体の白い部分と黒い部分を反転させてコピーします。この機能は白黒コピー時のみはたらきます。黒い部分の多い原稿（トナー消費量の多い原稿）を白黒反転させてコピーするとトナーの消費を減らすことができます。



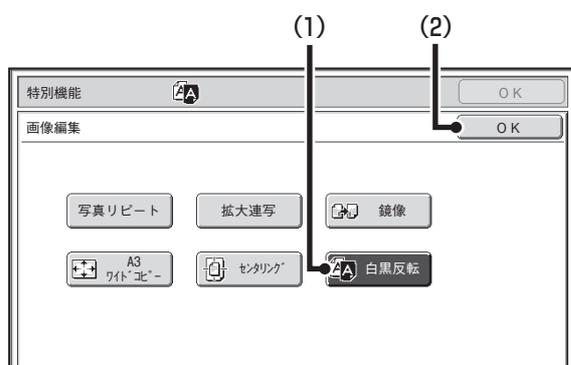
1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2 特別機能を選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - 2 (2) [下] [上] キーで画面を切り替える
 - (3) [画像編集]キーをタッチする
- 📖 [\[画像編集\]キーについて](#) (2-102ページ)

3



白黒反転を選択する

- (1) [白黒反転]キーをタッチして反転表示にする
- (2) [OK]キーをタッチする

特別機能画面に戻ります。[OK]キーをタッチして、コピーモードの基本画面に戻ってください。

4 [白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。
原稿台（ガラス面）を使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿を1枚読み込むごとにコピーが行われます。ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[白黒スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。

🚫 この機能では、[カラースタート]キーは使用できません。

🔄 原稿の読み込みやコピーを中止するときは…
[ストップ]キー (⏹) を押して中止してください。



この機能を設定すると、コピー濃度調整の「原稿種類」の設定は、自動的に「文字」が選択されます。



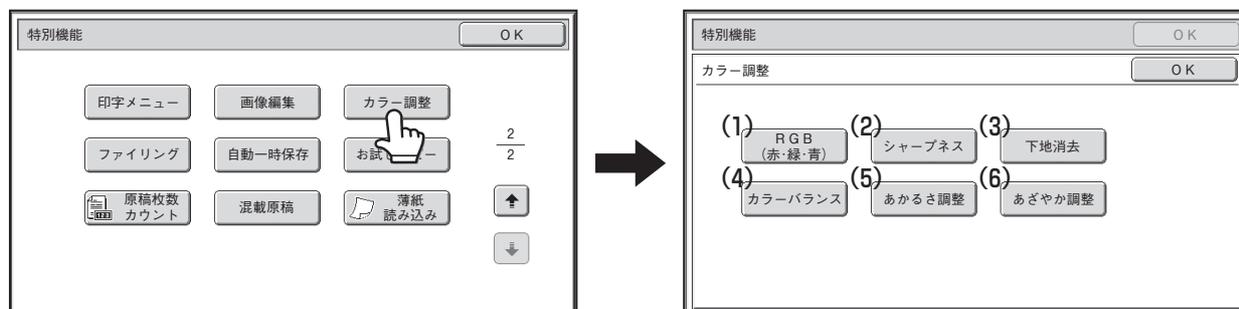
白黒反転の設定を解除するには…

手順3の画面で[白黒反転]キーをタッチして、反転表示を解除してください。

[カラー調整]キーについて

特別機能のメニュー画面の2画面目にある[カラー調整]キーをタッチすると、カラー調整のメニュー画面が表示されます。

カラー調整メニュー画面



(1) [RGB (赤・緑・青)]キー

☞ 赤・緑・青の濃淡を調整してコピーする (RGB)
(2-116ページ)

(2) [シャープネス]キー

☞ 画像の輪郭を調整してコピーする (シャープネス)
(2-117ページ)

(3) [下地消去]キー

☞ 色の薄い部分を白くしてコピーする (下地消去)
(2-118ページ)

(4) [カラーバランス]キー

☞ コピーの色合いを調整する (カラーバランス)
(2-120ページ)

(5) [あかるさ調整]キー

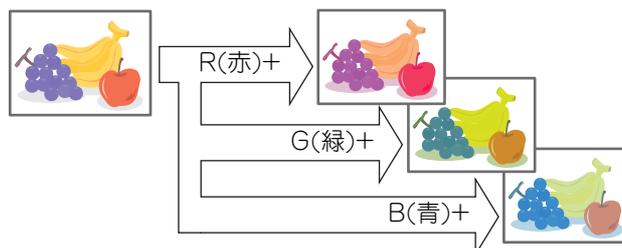
☞ コピーの明るさを調整する (あかるさ調整) (2-122
ページ)

(6) [あざやか調整]キー

☞ コピーの鮮やかさを調整する (あざやか調整)
(2-123ページ)

赤・緑・青の濃淡を調整してコピーする (RGB)

R (赤)、G (緑)、B (青) から色調を選択して、選択した色調を画像全体に強調したり弱めたりすることができます。



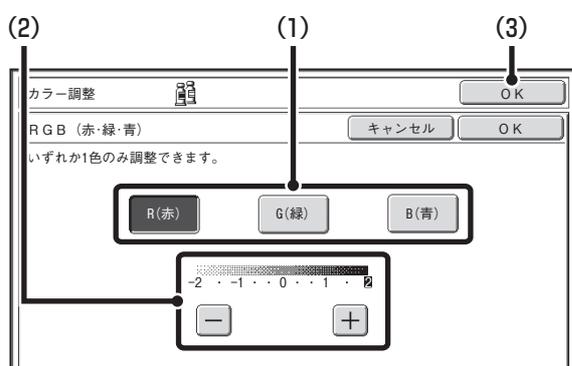
1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2 特別機能を選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2) キーで設定画面を切り替える
 - (3) [カラー調整]キーをタッチする
 - (4) [RGB (赤・緑・青)]キーをタッチする
- [\[カラー調整\]キーについて](#) (2-115ページ)

3



赤・緑・青の調整を行う

- (1) [R (赤)], [G (緑)], [B (青)]キーのうち、調整したい色のキーをタッチする
調整できるのはいずれか1色のみです。(調整完了後、別の色の調整を行うと、先に調整した色の設定は無効になります。)
- (2) 選択した色の調整を行う
選択した色の色味を強めたいときは[+]キーを、弱めたいときは[-]キーをタッチしてください。
- (3) [OK]キーをタッチする
特別機能画面に戻ります。[OK]キーをタッチして、コピーモードの基本画面に戻ってください。

[カラースタート]キーを押す

コピーが開始されます。

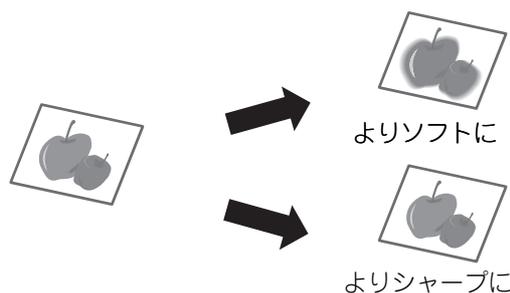
原稿台（ガラス面）を使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿を1枚読み込むごとにコピーが行われます。ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[カラースタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。

- 原稿の読み込みやコピーを中止するときは…
[ストップ]キー () を押して中止してください。

- RGB調整の設定を解除するには…
手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

画像の輪郭を調整してコピーする（シャープネス）

画像の輪郭をくっきりさせたシャープな画像にしたり、逆にソフトな画像にすることができます。



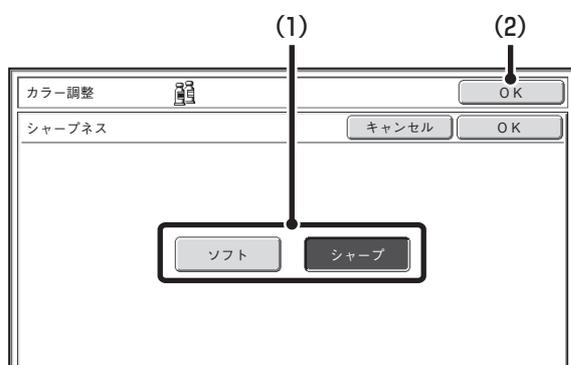
1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2 特別機能を選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2) キーで画面を切り替える
 - (3) [カラー調整]キーをタッチする
 - (4) [シャープネス]キーをタッチする
- [\[カラー調整\]キーについて](#) (2-115ページ)

3



画像を調整する

- (1) [ソフト]または[シャープ]のいずれかのキーをタッチする
 - (2) [OK]キーをタッチする
- 特別機能画面に戻ります。[OK]キーをタッチして、コピーモードの基本画面に戻ってください。

4

[カラースタート]キーを押す

コピーが開始されます。

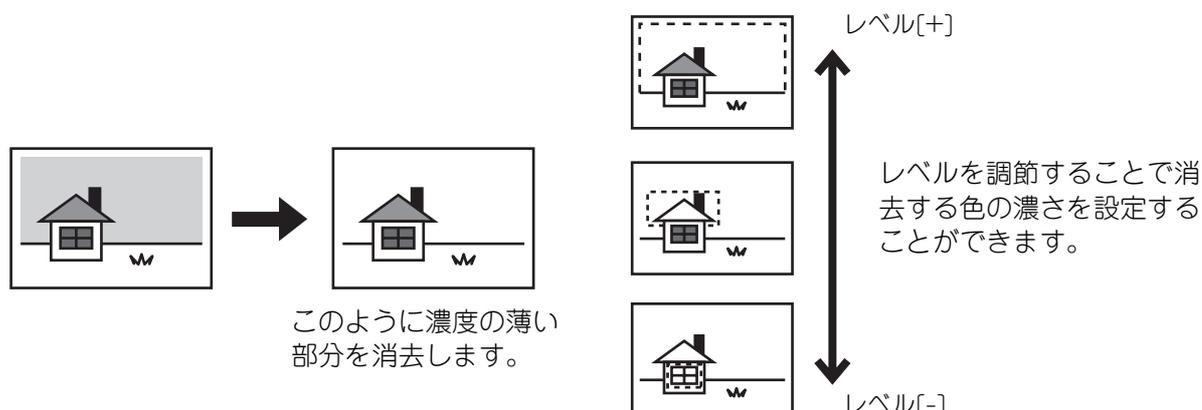
原稿台（ガラス面）を使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿を1枚読み込むごとにコピーが行われます。ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[カラースタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。

原稿の読み込みやコピーを中止するときは…
[ストップ]キー（）を押して中止してください。

シャープネスの設定を解除するには…
手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

色の薄い部分を白くしてコピーする（下地消去）

原稿の濃度の薄い部分を下地として消去することができます。



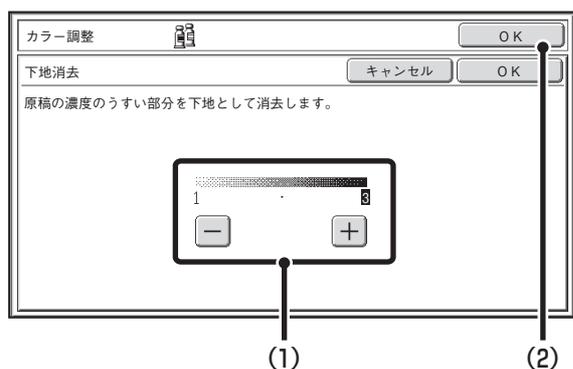
1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2 特別機能を選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2) キーで画面を切り替える
 - (3) [カラー調整]キーをタッチする
 - (4) [下地消去]キーをタッチする
- [\[カラー調整\]キーについて](#) (2-115ページ)

3



下地消去の設定を行う

(1) 下地を消去するレベルを調整する

[+]キーをタッチすると薄い下地のみ消去します。
[-]キーをタッチすると薄い下地から濃い下地まで消去します。

(2) [OK]キーをタッチする

特別機能画面に戻ります。[OK]キーをタッチして、コピーモードの基本画面に戻ってください。

4

[カラースタート]キーを押す

コピーが開始されます。

原稿台（ガラス面）を使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿を1枚読み込むごとにコピーが行われます。ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[カラースタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。



原稿の読み込みやコピーを中止するときは…

[ストップ]キー（Ⓢ）を押して中止してください。

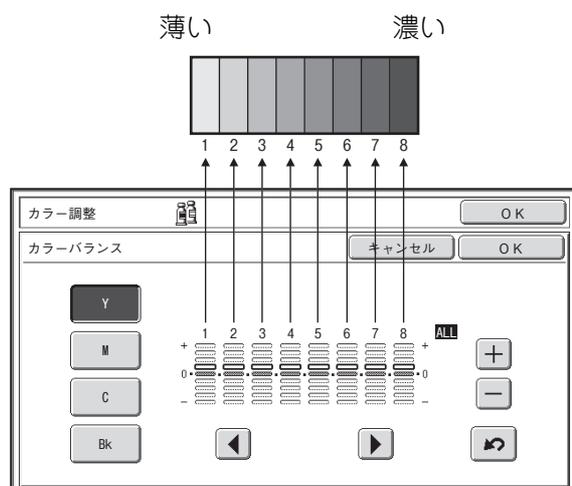


下地消去の設定を解除するには…

手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

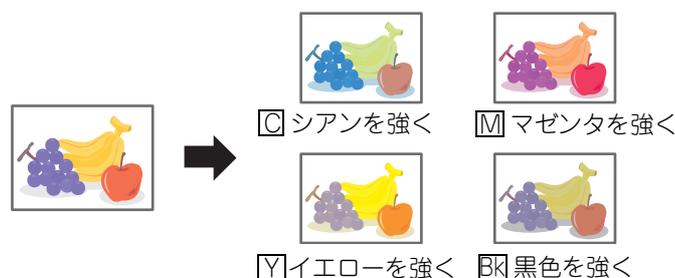
コピーの色合いを調整する（カラーバランス）

カラーコピーの色の具合、階調性、濃度を調整することができます。



イエロー（黄色系）、マゼンタ（赤色系）、シアン（青色系）、黒の各色の濃度の濃い部分から薄い部分を8つの階調に分けて、それぞれの箇所の平均的な濃度の調整を行います。

また、8つの階調をまとめて調整することもできます。

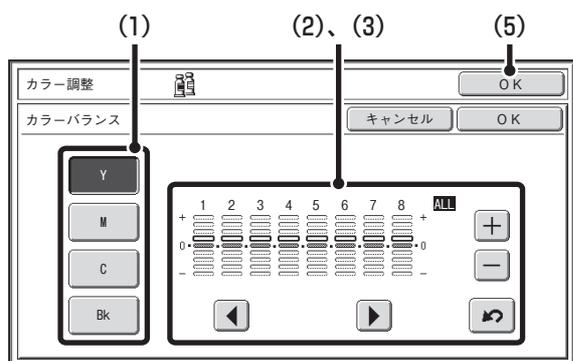


1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

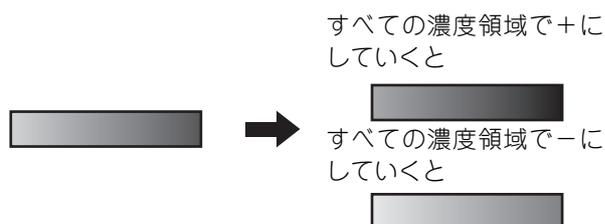
2 特別機能を選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2) キーで画面を切り替える
 - (3) [カラー調整]キーをタッチする
 - (4) [カラーバランス]キーをタッチする
- [\[カラー調整\]キーについて](#) (2-115ページ)



このようなカラーバランスの設定の場合

3



カラーバランスを調整する

(1) 調整する色を選択する

[Y] (イエロー)、[M] (マゼンタ)、[C] (シアン)、[Bk] (黒) の中から選択します。

これらのキーの英字のまわりのみが部分的に四角く反転している場合は、調整値が変更されていることを示します。

(2) 設定する濃度の範囲を選択する

◀ ▶ キーで各階調を設定します。

◀ ▶ キーをタッチすることで、「1」～「8」および「ALL」上の反転表示を移動させることができます。

8つの階調のすべての濃度をまとめて選択するときはこのキーで「ALL」の表示を反転表示させてください。

(3) 濃度を調整する

選択した階調で濃度を濃くしたいときは[+]キーを、薄くしたいときは[-]キーをタッチしてください。キーをタッチするごとにインジケータの指標の枠線が1段階ずつ上下します。

(4) 別の色を設定するときは、手順(1)～(3)を繰り返す

(5) [OK]キーをタッチする

特別機能画面に戻ります。[OK]キーをタッチして、コピーモードの基本画面に戻ってください。

🔄 カラーバランスの調整値を標準に戻すには…

🔄 キーをタッチしてください。8つの階調すべての調整値がカラーバランスの標準設定値に戻ります。

カラーバランスの標準設定値は、システム設定（管理者）の「カラーバランスの標準状態設定」で設定されている値が基準となります。

[カースタート]キーを押す

コピーが開始されます。

原稿台（ガラス面）を使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿を1枚読み込むごとにコピーが行われます。ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[カースタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。

4

🔄 原稿の読み込みやコピーを中止するときは…

[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。

🔄 カラーバランスの設定を解除するには…

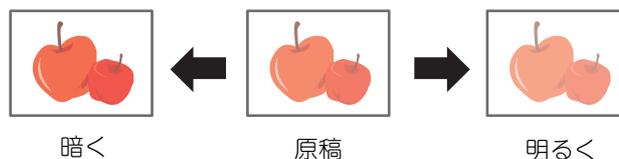
手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

⚙️ システム設定（管理者）：カラーバランスの標準状態設定

🔄 キーをタッチして戻るカラーバランスの標準設定値を設定します。

コピーの明るさを調整する（あかるさ調整）

カラー画像の明るさ（明度）を調整することができます。



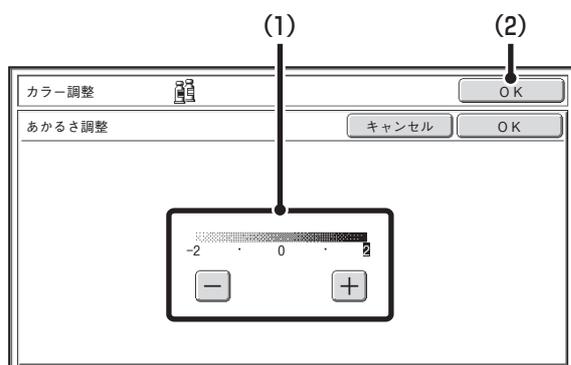
1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2 特別機能を選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2) キーで画面を切り替える
 - (3) [カラー調整]キーをタッチする
 - (4) [あかるさ調整]キーをタッチする
- [\[カラー調整\]キーについて](#) (2-115ページ)

3



あかるさ調整を行う

- (1) 明るさを調整する
明るくするときには[+]キーを、暗くするときには[-]キーをタッチしてください。
- (2) [OK]キーをタッチする
特別機能画面に戻ります。[OK]キーをタッチして、コピーモードの基本画面に戻ってください。

4

[カラースタート]キーを押す

コピーが開始されます。

原稿台（ガラス面）を使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿を1枚読み込むごとにコピーが行われます。ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[カラースタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。

原稿の読み込みやコピーを中止するときは…
[ストップ]キー（）を押して中止してください。

あかるさ調整の設定を解除するには…
手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

コピーの鮮やかさを調整する（あざやか調整）

カラー画像の鮮やかさ（彩度）を調整することができます。



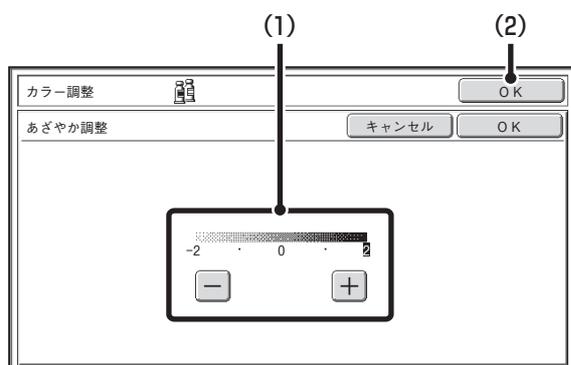
1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2 特別機能を選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2) キーで画面を切り替える
 - (3) [カラー調整]キーをタッチする
 - (4) [あざやか調整]キーをタッチする
- [\[カラー調整\]キーについて](#) (2-115ページ)

3



あざやか調整を行う

(1) 鮮やかさを調整する

より鮮やかにするときは[+]キーを、鮮やかさを弱めるときは[-]キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする

特別機能画面に戻ります。[OK]キーをタッチして、コピーモードの基本画面に戻ってください。

[カラースタート]キーを押す

コピーが開始されます。

原稿台（ガラス面）を使って複数枚の原稿をコピーする場合、原稿を1枚読み込むごとにコピーが行われます。ソート機能が設定されているときなどは、原稿を入れ替えて[カラースタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが開始されます。

4

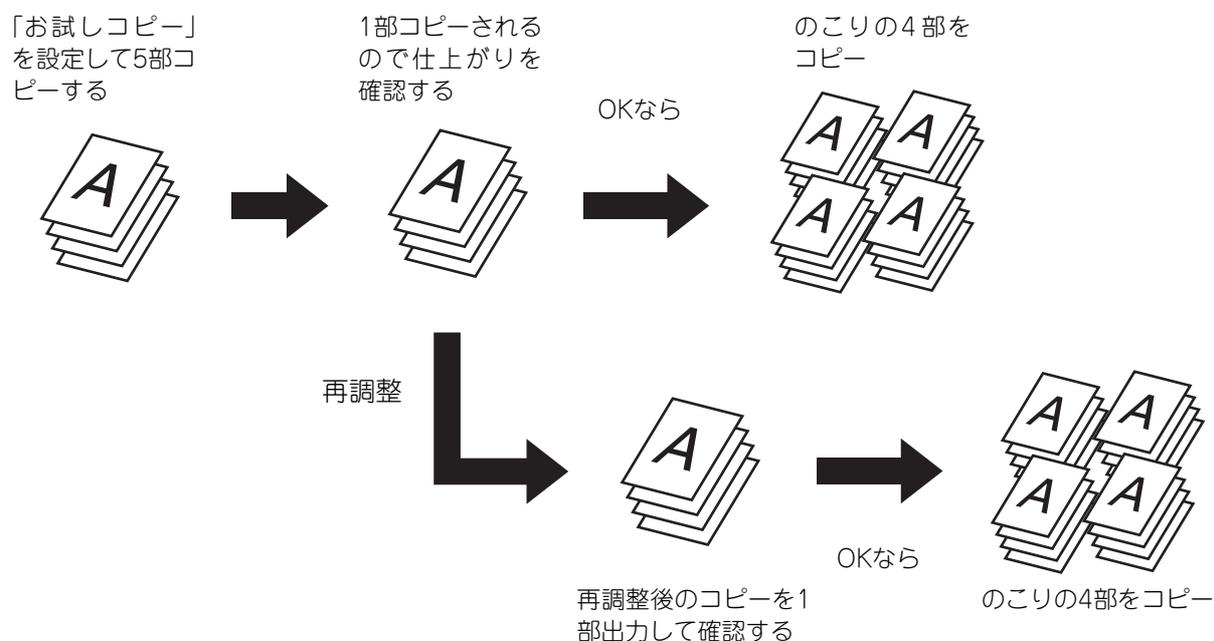
- 原稿の読み込みやコピーを中止するときは…
[ストップ]キー（）を押して中止してください。

コピー濃度にある「コピー原稿モード」、「カラー強調」と組み合わせることはできません。

あざやか調整の設定を解除するには…
手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

仕上がりを確かめてからコピーする (お試しコピー)

設定したコピーの部数に関係なく、1部だけコピーします。仕上がりを確かめてからコピーを続けることができます。また、読み込まれた原稿に対する設定を変更できるので、設定を変更するためには原稿を読み込み直す必要があった従来の方法よりも効率よくコピーできます。

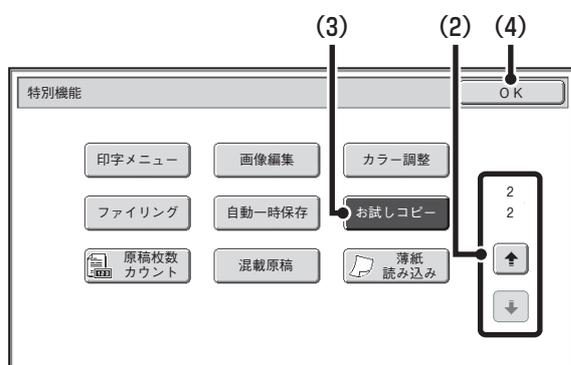


1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2 基本画面からコピーの設定を行う

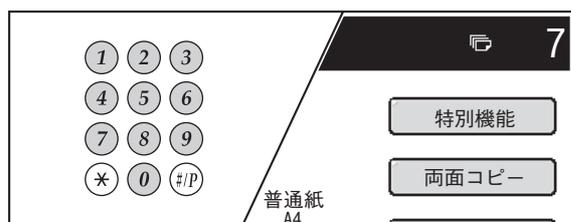
3



お試しコピーを選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
▶ 特別機能の種類について (2-40ページ)
- (2) ↓ ↑ キーで画面を切り替える
- (3) [お試しコピー] キーをタッチして反転表示にする
- (4) [OK]キーをタッチする

4



数字キーで必要なコピー枚数（部数）を設定する

原稿台（ガラス面）を使って複数枚の原稿をコピーする場合は、このあとソートモードに切り替えてください。

🔊 [ソート機能](#)（2-34ページ）



最大999枚（部）まで設定できます。



設定枚数をまちがえたときは…

[クリア]キー（Ⓢ）を押したあと、正しい枚数に設定し直してください。

5

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが1部だけ出力されます。

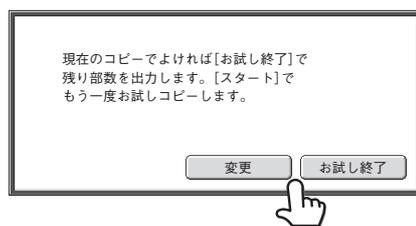
原稿台（ガラス面）を使って複数枚の原稿をコピーする場合は、原稿を入れ替えて[スタート]キーを押す操作を繰り返し、最後に[読み込み終了]キーをタッチするとコピーが1部だけ出力されます。（2枚目以降の読み込みには、1枚目の原稿読み込み時に押した[スタート]キーを使用してください。）



コピーを中止するには…

[ストップ]キー（Ⓢ）を押して中止してください。

6



出力結果を確認し、問題がない場合は[お試し終了]キーを、設定を変更したい場合は[変更]キーをタッチする

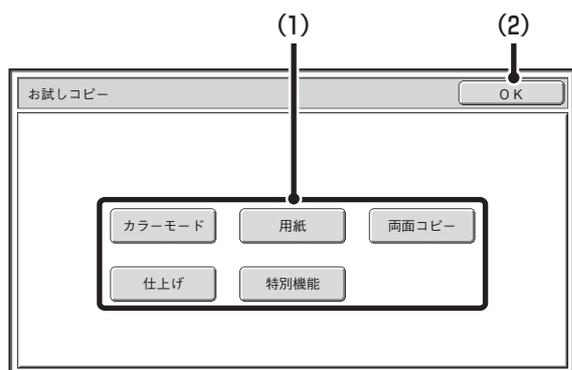
[お試し終了]キーをタッチすると、残りの出力が開始されます。
[変更]キーをタッチした場合は、次の手順へ進んでください。



コピーを中止するには…

[ストップ]キー（Ⓢ）を押して中止してください。

7



設定を変更する

(1) 変更したい機能のキーをタッチする

タッチしたキーの設定画面が表示されます。設定を変更して[OK]キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする



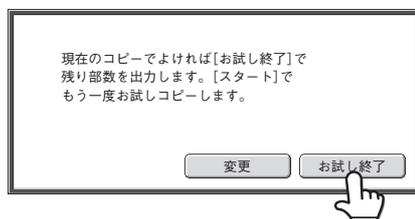
- プリント部数を変更するときは、数字キーで必要な枚数（部数）を設定し直してください。プリント部数を変更したときは、[スタート]キーを押さずにタッチパネルの[お試し終了]キーをタッチすると、設定した部数が出力されます。
- 特別機能で設定できる項目は、とじしろ、中とじ、連結コピー、表紙/合い紙、OHP合い紙、ページ集約、印字メニューです。
- 中とじ、表紙/合い紙、ページ集約の変更はそれぞれの設定の変更のみで、変更時に中とじ、表紙/合い紙、ページ集約の機能を新しく追加したり、解除することはできません。
- OHP合い紙の場合、設定の変更や、新たに機能を追加したり、この機能を解除することはできます。ただし、中とじが設定されている場合はできません。

8

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

設定が変更された状態のコピーが1部出力されます。出力結果を確認し、設定を変更する場合は手順6~8を繰り返してください。（お試しコピーを繰り返してもプリント部数は減算されません。）

9



[お試し終了]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻り、残りの部数が出力されます。



原稿の読み込みやコピーを中止するときは…

[ストップ]キー（⏹）を押して中止してください。



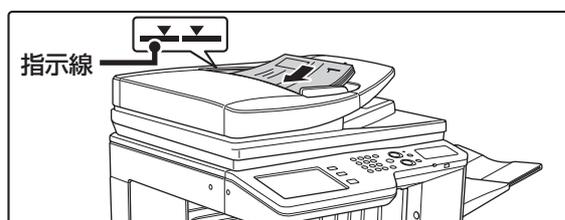
本機が他の出力を行っている場合にお試しコピーを実行すると、出力中のジョブは中断され、先に試し刷りの出力をはじめます。試し刷りの出力が終わったあと、中断されていたジョブの出力が再開されます。ただし、両面プリントとステープル機能が同時に設定されているジョブの出力中にお試しコピーを実行した場合は、出力中のジョブが完了してから試し刷りが出力されます。

本機が他の出力を行っている場合に[お試し終了]キーをタッチして残りの部数の出力を実行したときは、先に予約されているプリントジョブの終了後にプリントが開始されます。

読み込んだ原稿枚数を確認してからコピーする (原稿枚数カウント)

読み込んだ原稿の枚数をカウントして、コピーを実行する前に表示させることができます。読み込んだ原稿の枚数を確認することでコピーミスが減らすことができます。

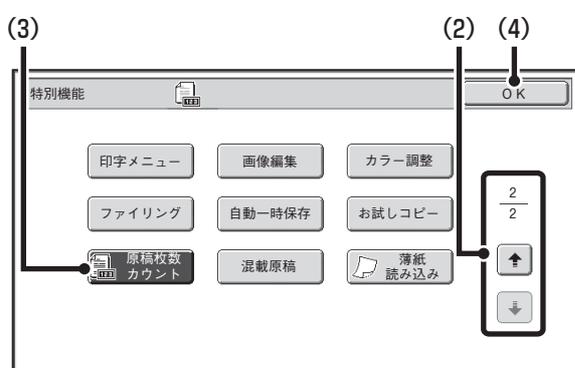
1



原稿セット台に原稿を上向きにセットする

原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。

2



特別機能を選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
- (2) キーで画面を切り替える
- (3) [原稿枚数カウント]キーをタッチして反転表示にする
[特別機能の種類について](#) (2-40ページ)
- (4) [OK]キーをタッチする
コピーモードの基本画面に戻ります。

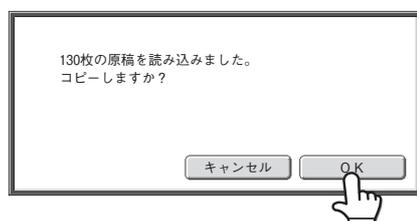
3

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿の読み込みを中止するときは…
[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。

4



読み込みが終了したら、原稿枚数を確認して、[OK]キーをタッチする

コピーが開始されます。

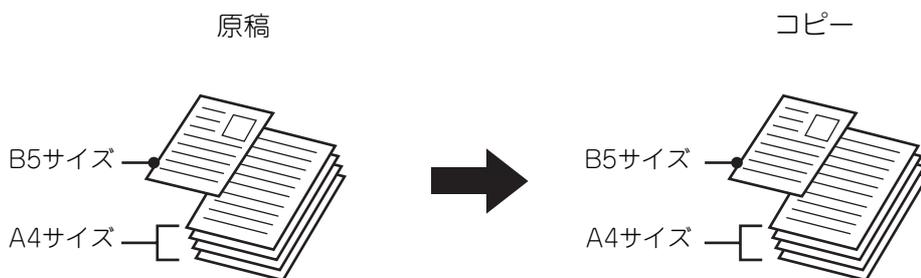
- 大量原稿モードを使用している場合は、[読み込み終了]キーをタッチしたときに、確認のメッセージが表示されます。
- 表示される数字は原稿のページ数ではなく枚数です。たとえば、原稿1枚を両面コピーした場合、表裏の合計ページ数“2”と表示されず、原稿枚数の“1”と表示されます。

- 表示されている原稿枚数が実際の枚数と異なるときは…
[キャンセル]キーをタッチして中止してください。

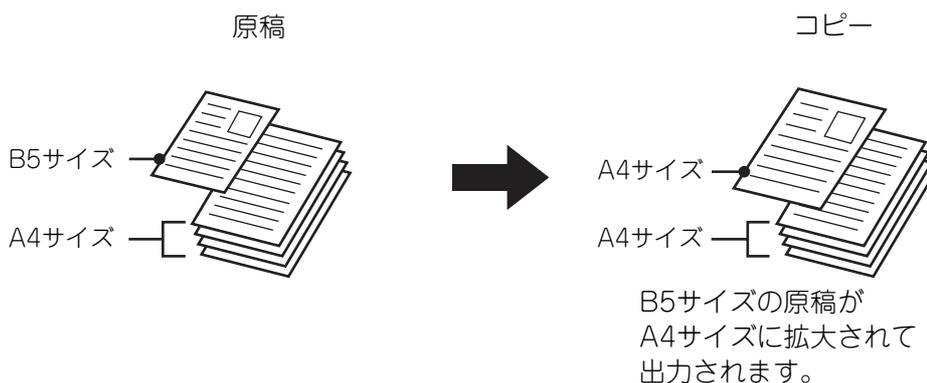
- 原稿枚数カウントの設定を解除するには…
手順2の画面で[原稿枚数カウント]キーをタッチして反転表示を解除してください。

大きさの違う原稿をまとめてコピーする (混載原稿)

A4サイズ原稿の中にB5サイズ原稿が含まれているような場合でも、すべての原稿を一度にまとめてコピーすることができます。原稿を読み取る際に自動的に原稿の大きさを判別して原稿サイズに合わせた用紙でコピーできます。また混載原稿と倍率自動選択を組み合わせると、選択した用紙サイズに合わせて、原稿ごとに倍率を変更し、統一した用紙サイズで出力できます。



混載原稿と倍率自動選択と組み合わせた場合 (倍率自動選択でA4を設定した場合)



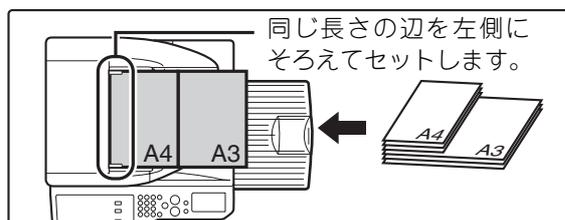
混載原稿では次の2つの設定があります。

<p>同じ幅</p>	<p>同じ幅でサイズが異なる原稿で使用できます。原稿を同じ幅に合わせて原稿セット台にセットし、コピーします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • A3とA4 • B4とB5 • A4RとA5 • 11"x17"と8-1/2"x11" • 8-1/2"x14"と8-1/2"x11"R • 8-1/2"x14"と5-1/2"x8-1/2" • 8-1/2"x13"と8-1/2"x11"R • 8-1/2"x13"と5-1/2"x8-1/2" • 8-1/2"x11"Rと5-1/2"x8-1/2"
<p>異なる幅</p>	<p>異なる幅でサイズも異なる原稿で使用します。次のサイズの組み合わせの場合のみ使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • A3とB4 • A3とB5 • B4とA4 • A4とB5 • B4とA4R • B4とA5 • B5とA4R • B5とA5 • 11"x17"と8-1/2"x14" • 11"x17"と8-1/2"x13" • 11"x17"と5-1/2"x8-1/2"

原稿セット台に原稿を上向きにセットする

● 同じ幅の場合

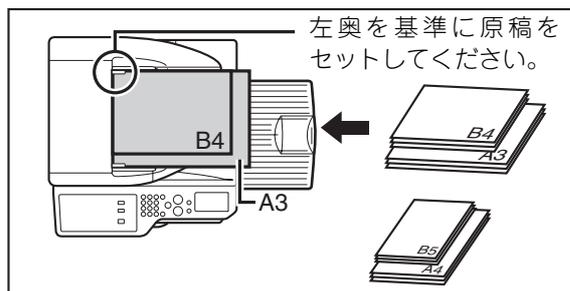
原稿は同じ幅にそろえてセットしてください。



1

● 異なる幅の場合

原稿は原稿セット台の奥側を基準にそろえてセットしてください。

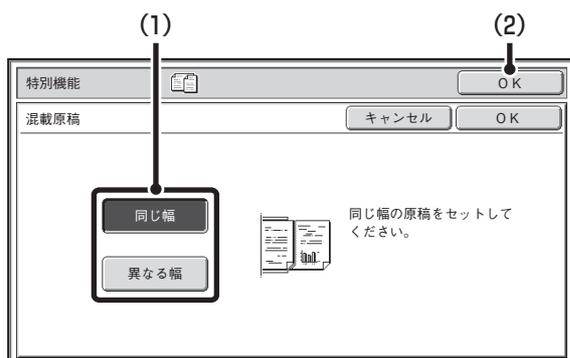


特別機能を選択する

2

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2) [↓] [↑] キーで画面を切り替える
 - (3) [混載原稿]キーをタッチする
- ☞ 特別機能のメニュー画面 (2画面目) (2-41ページ)

3



混載原稿の設定を行う

- (1) セットした原稿に合わせて[同じ幅]または[異なる幅]キーをタッチする
 - (2) [OK]キーをタッチする
- コピーモードの基本画面に戻ります。

4

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

- ☞ 原稿の読み込みやコピーを中止するときは…
[ストップ]キー (⏏) を押して中止してください。

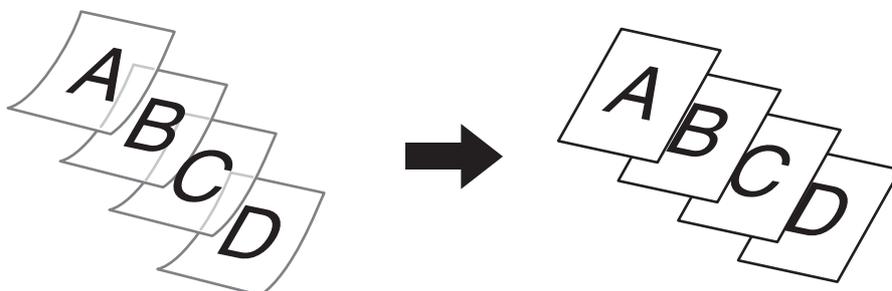
-  [異なる幅]を選択したときは、自動両面コピーは使用できません。
-  [異なる幅]を選択したときは、ステープル機能は使用できません。
-  サイズが同じでも、セットする向きが異なる原稿（A4とA4Rなど）については、混載原稿機能を使用してコピーすることはできません。

 **混載原稿の設定を解除するには…**
手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

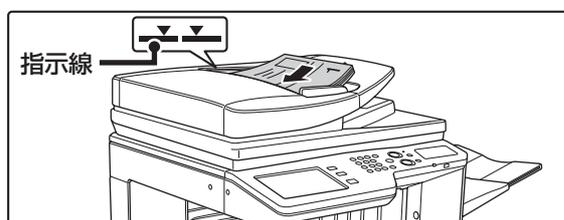
 **システム設定（管理者）：原稿給紙モード**
常に混載原稿で原稿を読み込むように設定できます。

薄い紙の原稿をコピーする（薄紙読み込み）

原稿自動送り装置を使って薄い紙の原稿を読み込みたいときに使用します。この機能を使うことにより、薄い紙の原稿がつまりにくくなります。



1



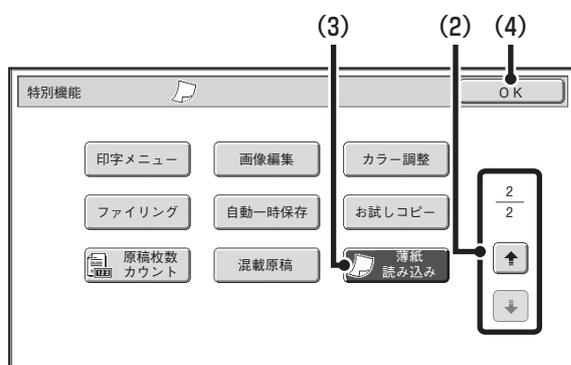
原稿セット台に原稿を上向きにセットする

原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。



原稿をきつく押し込むと、薄紙がよじれて原稿づまりの原因となります。

2



薄紙読み込みを選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
▶ 特別機能の種類について (2-40ページ)
- (2) [↓] [↑] キーで画面を切り替える
- (3) [薄紙読み込み]キーをタッチして反転表示にする
- (4) [OK]キーをタッチする
コピーモードの基本画面に戻ります。

3

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

コピーが開始されます。



原稿の読み込みやコピーを中止するときは…
[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。

 自動両面コピーの「両面→両面」コピーや「両面→片面」コピーは使用できません。

 **薄紙読み込みの設定を解除するには…**
手順2の画面で[薄紙読み込み]キーをタッチして反転表示を解除してください。

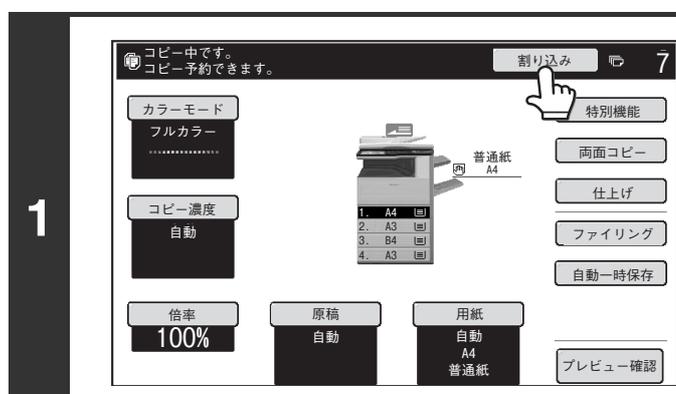
 **システム設定（管理者）：原稿給紙モード**
常に薄紙読み込みで原稿を読み込むように設定できます。

便利なコピー機能

ここでは、他の出力中に割り込んだり、コピー予約した順番を入れ替える機能や、コピー設定のプログラム登録など、便利な機能について説明しています。

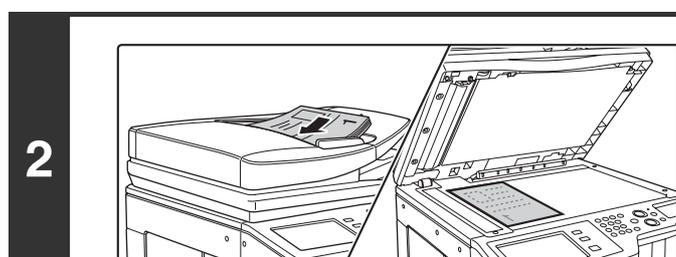
コピー中に割り込んでコピーする (割り込みコピー)

連続コピーの途中や、他の機能で出力中に急ぎのコピーをとりたいときは、割り込みコピーをご使用ください。割り込みコピーはデータの出力を一時中断し、割り込みコピーを行った原稿を優先的に出力します。



[割り込み]キーをタッチする

[割り込み]キーは、原稿の読み込み中は表示されません。



原稿をセットする

原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

3 コピーの設定を行い、[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す
割り込みコピーが開始されます。

4 割り込みコピーの出力が完了後、中断されていた出力が再開される



原稿の読み込みやコピーを中止するときは…
[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。



- ユーザー認証が設定されているときに[割り込み]キーをタッチすると、ユーザー認証の画面が表示されます。ユーザー名やパスワードなどを入力して、ユーザー認証を受けてください。ユーザー認証を受けた方にコピー枚数がカウントされません。
- プリント中の設定内容によっては、[割り込み]キーが表示されない場合があります。
- プリント中の設定内容によっては、[割り込み]キーの代わりに[予約]キーが表示される場合があります。予約コピーは割り込みコピーと異なり、プリント中のコピージョブを一時中断しません。プリント中のコピージョブが終了後、予約コピーのジョブを開始します。
- 割り込みコピーと次の特別機能は組み合わせて使用することができません。
大量原稿モード、連結コピー、ブック複製、カードスキャン、拡大連写、原稿枚数カウント
- 割り込みコピーは原稿台（ガラス面）を使って、両面コピー機能、ソート機能、ステープルソート機能を選択することはできません。これらの機能が必要なときは、原稿自動送り装置を使用してください。

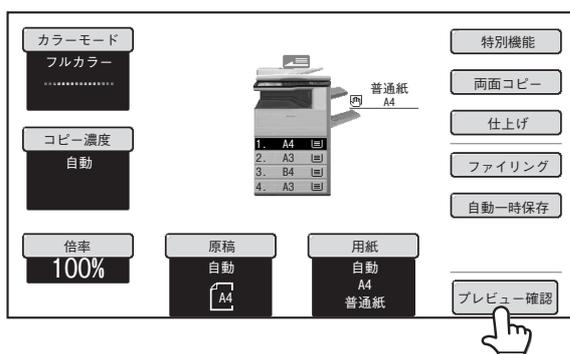
コピーの仕上がりイメージを確認する (プレビュー確認)

基本画面の[プレビュー確認]キーをタッチし、このキーを反転させた状態で原稿を読み込むと、コピーを出力する前に仕上がりイメージをタッチパネルに表示させて確認することができます。

1 原稿をセットする

原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2



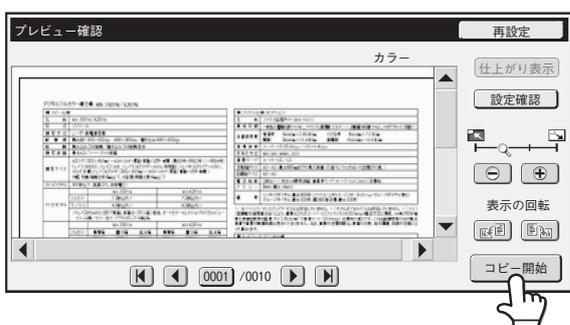
[プレビュー確認]キーをタッチして反転表示にする

3

コピーの設定を行い、[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込み終了後、タッチパネルにプレビュー確認画面が表示されます。読み込んだ原稿は、プレビュー確認画面の[コピー開始]キーをタッチするまでコピーされません。

4



コピーの仕上がりイメージを確認し、[コピー開始]キーをタッチする

コピーの出力が開始されます。
プレビュー確認画面については、「[プレビュー確認画面について](#)」(2-137ページ)を参照してください。

 コピーの設定をやり直したい場合は、[再設定]キーをタッチしてください。

 コピーを中止するには…
[ストップ]キー (⏏) を押して中止してください。

**操作を中止するときは…**

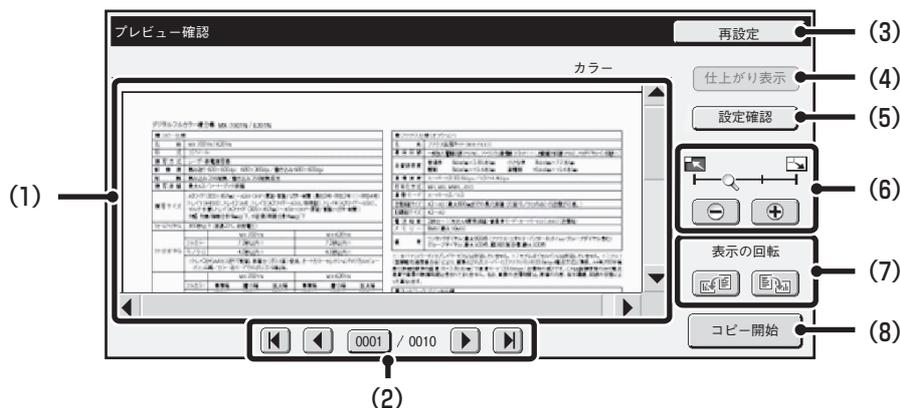
[リセット]キー (⌘) を押してください。

**システム設定 (管理者) : プレビュー確認のデフォルト設定**

初期状態で常に[プレビュー確認]キーをタッチした状態 (反転表示) に設定できます。コピーするときに毎回プレビュー確認を行いたい場合などに設定してください。

プレビュー確認画面について

ここでは、プレビュー確認画面の見かたについて説明しています。



(1) プレビュー画像

読み込んだ原稿の仕上がリイメージが表示されます。画像が切れて表示されている場合は、右と下にあるスクロールバーで表示部分を移動させてください。バーをタッチし、そのままスライドさせると、画像が連動して動きます。(▼ ▲ キーをタッチして動かすこともできます。)

(2) ページ送りキー／ページ指定キー

画像が複数ページある場合に、ページを切り替えます。

- [◀ ▶] キー：最初のページまたは最後のページを表示します。
- [◀ ▶] キー：前のページまたは次のページを表示します。
- ページ数表示：総ページ数と、現在表示中のページ数が表示されます。現在のページ数のキーをタッチして、数字キーで任意の数値を入力すると、目的のページを表示することができます。

(3) [再設定]キー

画像確認後にコピーの設定内容を変更したいときにタッチします。設定を変更したあと、[再プレビュー]キーをタッチすると、設定内容を反映して再度プレビュー確認画面を表示します。



(4) [仕上がり表示]キー

タッチすると、設定されている機能がアイコンなどで表示されます。表示される機能は以下のとおりです。

- 両面コピー
- 中とじ
- ブック複製
- ステープル
- パンチ
- 印字メニュー
- 表紙／合い紙
- OHP合い紙

このキーは、プレビュー確認画面上にプレビュー画像の全体を表示している場合のみタッチできます。

(5) [設定確認]キー

「特別機能」の各項目や、両面コピー、仕上げの設定内容を確認するときにタッチします。

(6) 表示倍率切り替えキー

画像の表示倍率を選択します。左から「全画面表示」、「2倍」、「4倍」、「8倍」と切り替わります。変更は表示ページだけでなく、データ全体に反映されます。

(7) 「表示の回転」キー

画像を左右に90度ずつ回転させます。変更は表示ページだけでなく、データ全体に反映されます。

(8) [コピー開始]キー

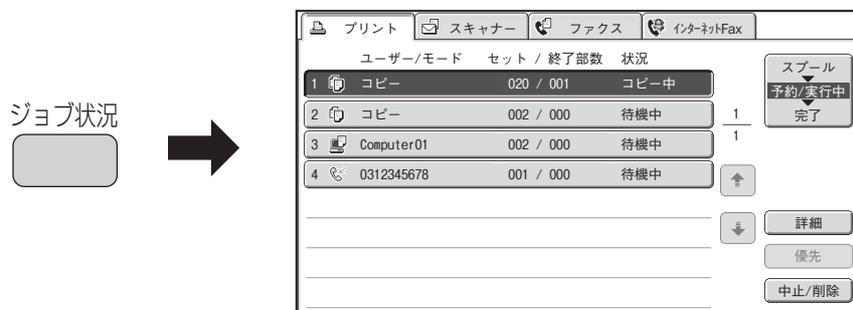
タッチするとコピーの出力を開始します。

- プレビュー画像はタッチパネル表示用のイメージ画像です。実際のプリント結果とは異なります。
- プレビュー画像は、コピー設定や特別機能などの一部の設定が反映された状態で表示されます。プレビュー画像に反映される設定は次のとおりです。
コピー設定：カラーモード、倍率、用紙サイズ
特別機能：とじしろ、枠消去、1セット2コピー、中とじ、表紙／合い紙、OHP合い紙、ページ集約、ブック複製、カードスキャン、画像編集メニュー、カラー調整（シャープネス、カラーバランスを除く）
- 画像の表示倍率によっては、細い線（ページ集約機能の境界線など）が正しく表示されない場合があります。

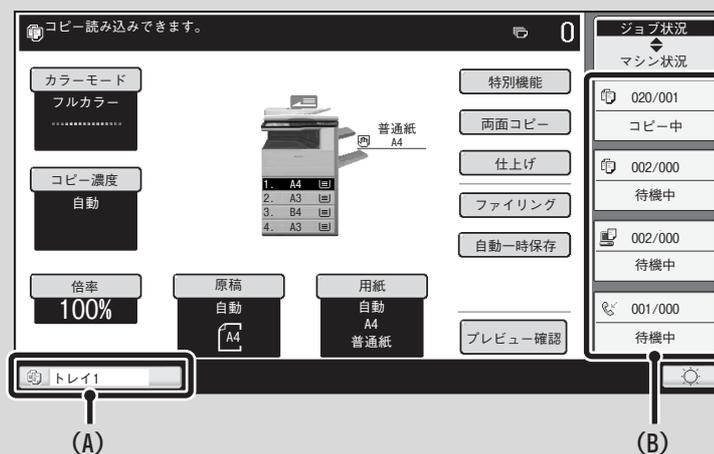
ジョブ状況画面について

操作パネルの[ジョブ状況]キーを押すと、ジョブ状況画面が表示されます。ジョブ状況画面はモード別に切り替えることができ、[ジョブ状況]キーを押す前に使用していたモードのジョブ状況画面が表示されます。ここでは、出力待ちまたは出力が終了したコピーのことをジョブ（コピージョブ）と呼びます。

例：コピーモードで使用しているとき

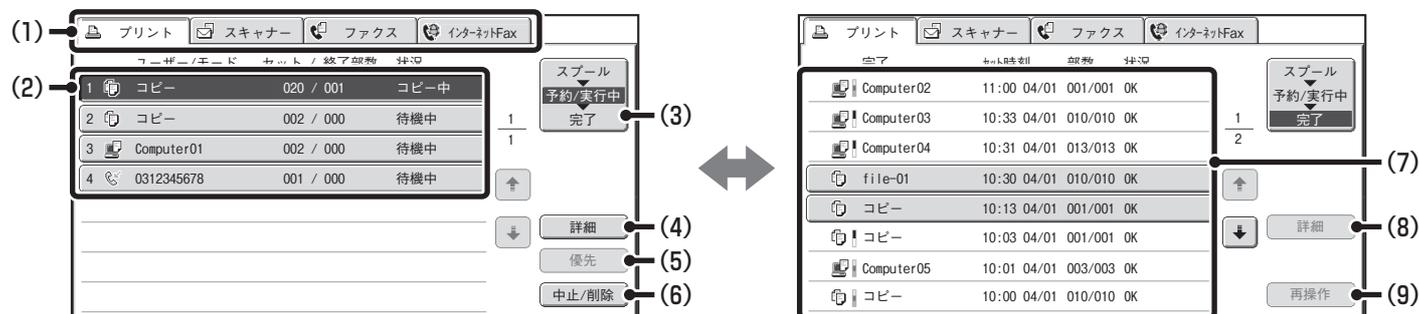


タッチパネルの左下にはジョブ状況表示部 (A) があります。ジョブ状況表示部をタッチしてジョブ状況画面を表示することができます。ジョブ状況表示部 (B) では実行中または予約中のプリントジョブを先頭から4つまで確認できます。



予約/実行中画面と完了画面について

ジョブ状況画面は、コピーやプリンターなどの出力中のジョブや出力待ちのジョブを表示する予約/実行中画面、出力が完了したジョブを表示する完了画面、スプール中のプリントデータやパスワード入力待ちの暗号化PDFを表示するスプール画面があります。ここではコピー機能にかかわる予約/実行中画面と完了画面について説明します。予約/実行中画面と完了画面はジョブ状況画面切り替えキーをタッチすることにより切り替わります。



(1) モード切り替えタブ

各モードのジョブ状況画面に切り替えるときにタッチします。
コピーの場合は[プリント]タブをタッチすることでジョブ状況がわかります。

(2) ジョブリスト (予約/実行中画面)

出力するジョブがキー（ジョブキー）として順番に表示され、上から順に出力されます。それぞれのジョブキーにはジョブの情報と現在の状況が表示されています。

(3) ジョブ状況画面切り替えキー

予約/実行中画面、完了画面、スプール画面に切り替えるときにタッチします。

(4) [詳細]キー (予約/実行中画面)

各ジョブの詳細な情報を表示するときにタッチします。

(5) [優先]キー

選択したジョブを優先して実行するときにタッチします。

(6) [中止/削除]キー

選択したジョブを中止や削除するときにタッチします。

(7) ジョブリスト (完了画面)

出力が完了したジョブを99件まで表示します。ここでは出力したジョブの結果（状況）を表示します。ドキュメントファイリング機能を使用したコピージョブはキーの状態に表示しています。

(8) [詳細]キー (完了画面)

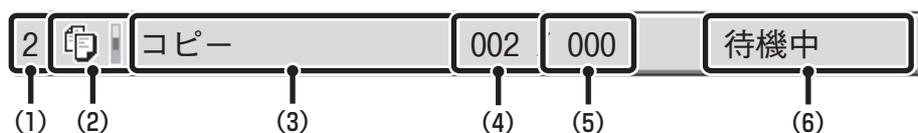
ジョブリストにキーの状態が表示されている場合は、そのジョブの詳細な情報を表示することができます。

(9) [再操作]キー

ドキュメントファイリング機能を使用したコピージョブの再操作を行うときにタッチします。

ジョブのキー表示について

ジョブが実行される順番や現在の状況をキーに表示します。



(1) 予約されているジョブの順番を表示します。

出力中のジョブが終了すると順番は繰り上がります。
完了画面のキーには表示されません。

(2) モードアイコン

コピーでは  のアイコンが表示されます。
完了画面では、そのジョブがカラーか白黒のどちらで実行されたかが分かるカラーバーがアイコンの横に表示されます。(ただし、ドキュメントファイリング機能を使用したジョブや中止した送受信のジョブのキーには、カラーバーのアイコンは表示されません。)

(3) ジョブ名

コピージョブは「コピー」と表示されます。
ユーザー認証時ではコピーを実行したユーザー名が表示されます。

(4) コピーの入力部数

設定したコピー枚数（部数）が表示されます。

(5) コピーの完了部数

完了したコピー枚数（部数）が表示されます。予約/実行中画面で待機中のときは“000”と表示されます。

(6) 状況

ジョブの状況を表示します。

表示	状況
「コピー中」	コピー中です。
「待機中」	実行の順番待ちの状態です。
「トナー切れ」	トナーが切れています。 新しいトナーカートリッジに交換してください。
「用紙切れ」	使用する用紙が切れています。用紙を補給するか、用紙トレイを変更してください。
「リミット」	コピーの制限枚数を超過しています。 本機の管理者にお問い合わせください。
「エラー」	ジョブを実行中にエラーが発生しています。エラーを解除してください。

待機中のコピージョブを中止する

待機中のコピージョブを中止することができます。

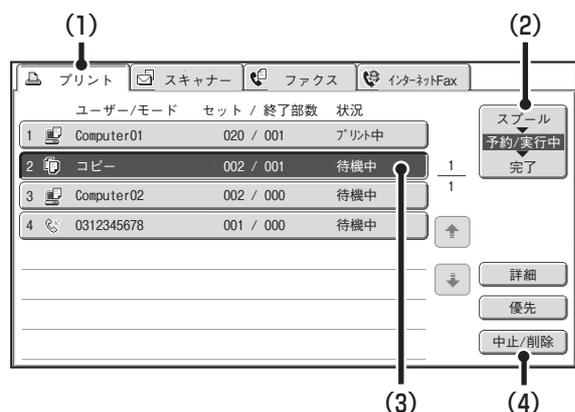
1

ジョブ状況



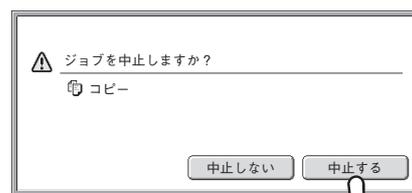
[ジョブ状況]キーを押す

2



中止操作を行う

- (1) [プリント]タブをタッチする
- (2) プリントジョブ状況のモードを[予約/実行中]に切り替える
タッチするごとにモードが切り替わります。選択されているモードが反転表示しています。
- (3) 中止するコピージョブのキーをタッチする
- (4) [中止/削除]キーをタッチする
- (5) 確認メッセージが表示されるので [中止する] キーをタッチする



選んだコピージョブのキーが削除され、プリントが中止されます。

- 出力中のジョブがコピージョブの場合は、[ストップ]キー(⊙)を押しても上記の画面が表示されます。中止するときは[中止する]キーをタッチします。
- 選んだプリントジョブを中止しないときは… (5) の操作で[中止しない]キーをタッチしてください。

待機中のコピージョブを優先してコピーする

出力するジョブが複数ある場合にコピーを開始すると、そのコピージョブはリストの最後に表示されます。しかし、急いで出力するコピーがある場合は、待機中になっているコピージョブの順番を変更して優先的にコピーすることができます。

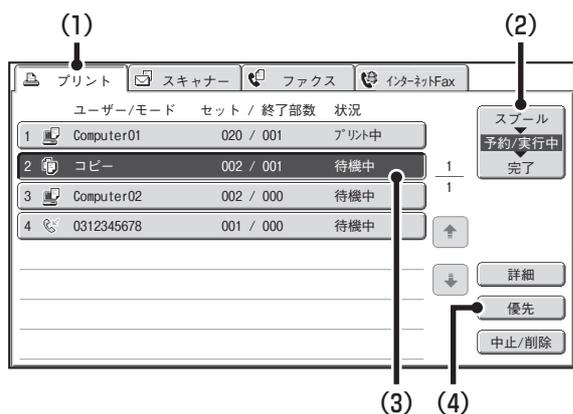
1

ジョブ状況



[ジョブ状況]キーを押す

2



優先操作を行う

- (1) [プリント]タブをタッチする
- (2) プリントジョブ状況のモードを[予約/実行中]に切り替える

タッチするごとにモードが切り替わります。選択されているモードが反転表示しています。

- (3) 優先したいコピージョブのキーをタッチする
- (4) [優先]キーをタッチする

出力中のジョブを中断し、(3)で選択したジョブのコピーを開始します。

待機中のコピージョブの内容を確認する

待機中のコピージョブについて、詳しい内容を表示することができます。

1

ジョブ状況



[ジョブ状況]キーを押す

2



ジョブの内容を確認する

(1) [プリント]タブをタッチする

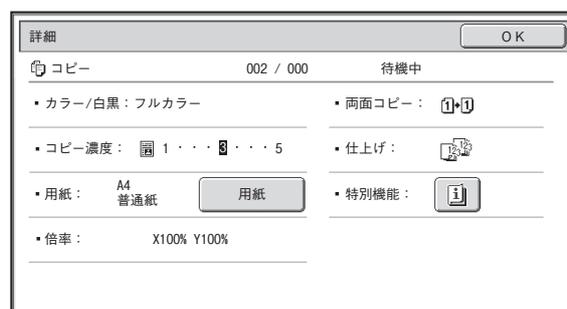
(2) プリントジョブ状況のモードを[予約/実行中]に切り替える

タッチするごとにモードが切り替わります。選択されているモードが反転表示しています。

(3) 確認したいコピージョブのキーをタッチする

(4) [詳細]キーをタッチする

(3)で選択したジョブのジョブ確認画面が表示されます。



[用紙]キーについて

用紙切れでコピーが中断しているとき、[用紙]キーで使用する用紙トレイを変更することができます。
[用紙]キーをタッチすると、用紙トレイ選択画面が表示されます。

☞ [用紙トレイについて](#) (2-11ページ)

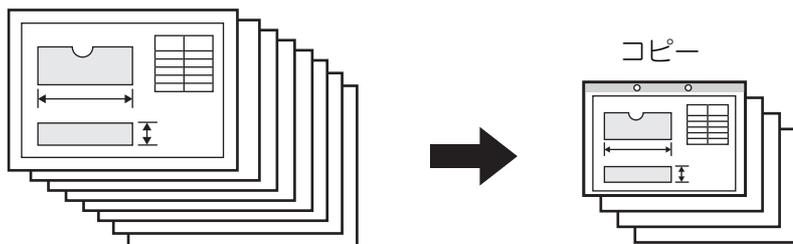
変更する用紙サイズが入っているトレイのキーをタッチして[OK]キーをタッチすると、中断していたコピーが再開されます。

コピーの操作を登録して使用する (ジョブプログラム)

ジョブプログラムとは、いろいろなコピーの設定を1つにまとめる機能です。ジョブプログラムにコピーの設定を登録すると、かんたんな操作で登録したいろいろなコピーの設定を一度に呼び出して使うことができます。

たとえば、毎月A3サイズのCAD図面を保管のため次の設定でコピーするとします。

A3サイズのCAD図面



- (1) A3サイズのCAD図面をA4サイズに縮小してコピーする。
- (2) 線が細くかすれるので、濃く（レベル 4）でコピーする。
- (3) 用紙を半減したいので、両面にコピーする。
- (4) ファイルで綴じるためにパンチ穴をあけたいので、とじしろコピーする。

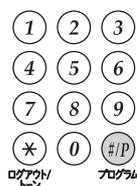
ジョブプログラムを登録していない場合	ジョブプログラムを登録している場合																
<p>A3からA4へ縮小する設定</p> <p>↓</p> <p>濃度設定を変更</p> <p>↓</p> <p>両面コピーを設定</p> <p>↓</p> <p>とじしろを設定</p> <p>↓</p> <p>パンチ穴をあける設定</p> <p>↓</p> <p>[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す</p>	<p>#/P プログラム</p> <p>[プログラム]キー（#/P）を押す</p> <p>↓</p> <div data-bbox="861 1153 1428 1467" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ジョブプログラム 終了</p> <p>プログラム番号を指定してください。</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>1/4</td></tr> <tr> <td>4</td><td>5</td><td>6</td><td></td></tr> <tr> <td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>↑</td></tr> <tr> <td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>↓</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">呼出 登録/消去</p> </div> <p>登録したプログラムキーをタッチする</p> <p>↓</p> <p>[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す</p>	1	2	3	1/4	4	5	6		7	8	9	↑	10	11	12	↓
1	2	3	1/4														
4	5	6															
7	8	9	↑														
10	11	12	↓														
<p>毎月コピーするごとにこのような設定を行う必要があり、手間がかかります。</p> <p>また、途中で設定をまちがうこともあり、コピーミスもありえます。</p>	<p>ジョブプログラムを登録するとワンタッチで設定が完了し、かんたんで手間がかかりません。</p> <p>また、登録内容に従ってコピーするので設定によるコピーミスはありません。</p>																

- ジョブプログラムは48通りまで登録することができ、主電源が切れても設定は残ります。
- ジョブプログラムの設定は、Webページでも行えます。Webページのメニューにある[ジョブプログラム]→[コピー]をクリックして行います。

ジョブプログラムを登録する（修正・消去する）

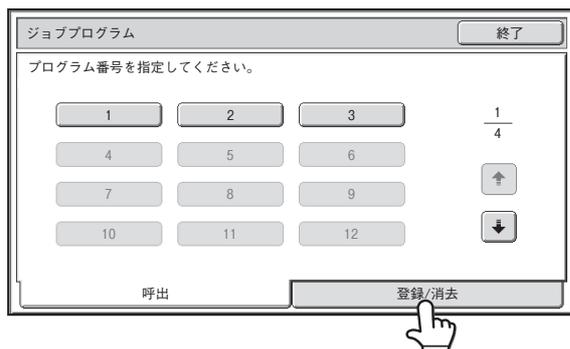
ここではコピー設定のジョブプログラムの登録方法および消去方法について説明しています。

1



[プログラム]キー（#/P）を押す

2



[登録/消去]タブをタッチする

3

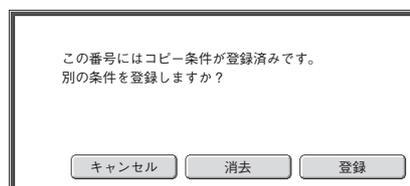


ジョブプログラムを修正または消去するときは・・・

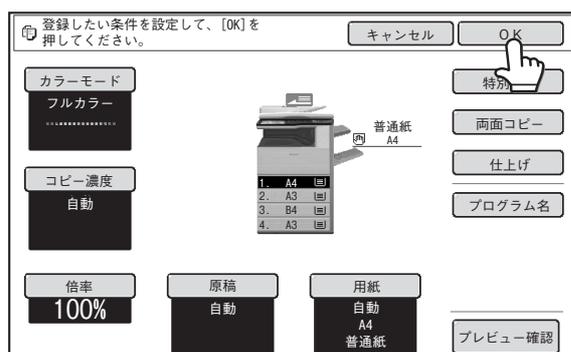
反転している数字キーをタッチすると次の画面が表示されます。

[登録]キーをタッチすると、登録されているコピー設定を消して、新たなコピー設定を上書きすることができます。次の手順へ進んでください。

[消去]キーをタッチすると、登録されている内容が消去されます。消去を完了後、[終了]キーをタッチして、基本画面に戻ってください。



システム設定（管理者）で「登録したコピー条件の書き換え禁止」が設定されているときは、すでに登録されているジョブプログラムの内容を変更または消去することはできません。



ジョブプログラムとして登録したいコピー条件を設定し、[OK]キーをタッチする

プログラム名をタッチすると文字入力画面が表示され、登録するプログラムに名前を付けることができます。

全角/半角10文字以内で入力してください。

(全角文字は最大10文字入力できますが、キーに表示されるのは5文字までです。)

登録が完了したら[OK]キーをタッチしてください。

登録した内容が反映された状態の基本画面に戻ります。

 コピー枚数の設定は登録できません。

付録

表紙/合い紙の具体例

ここでは、表紙/合い紙機能で、表紙または合い紙を挿入してコピーする場合の原稿とコピーの仕上がり状態を次ページ以降に記載しています。

表紙挿入

- 片面原稿から片面コピーする場合
- 両面原稿から片面コピーする場合
- 片面原稿から両面コピーする場合
- 両面原稿から両面コピーする場合

合い紙挿入

- 片面原稿から片面コピーする場合
- 両面原稿から片面コピーする場合
- 片面原稿から両面コピーする場合
- 両面原稿から両面コピーする場合

表紙/合い紙の表記について

表紙/合い紙の説明をわかりやすくするために、次のような表記の規則を使っています。

なお、記入されている数字は、原稿とコピー出力紙の対応関係を表すもので、設定条件によって変化します。

分類	表記	意味	操作部に表示されるアイコン	分類	表記	意味	操作部に表示されるアイコン
表表紙		表表紙にコピーしないときの、表表紙の結果を表しています。		合い紙		合い紙にコピーしないときの合い紙の結果を表しています。	
		表表紙に片面コピーしたときの表表紙の結果を表しています。				合い紙に片面コピーしたときの合い紙の結果を表しています。	
		表表紙に両面原稿を片面コピーしたときの表表紙の結果を表しています。(コピーされなかったページが発生しています。)				合い紙に両面原稿を片面コピーしたときの合い紙の結果を表しています。(コピーされなかったページが発生しています。)	
		表表紙に両面コピーしたときの表表紙の結果を表しています。				合い紙に両面コピーしたときの合い紙の結果を表しています。	
裏表紙		裏表紙にコピーしないときの裏表紙の結果を表しています。		その他		片面原稿または、通常の片面コピー出力紙。	
		片面原稿を片面コピーしたときの裏表紙の結果を表しています。				両面原稿または、通常の両面コピー出力紙。	
		両面原稿を片面コピーしたときの裏表紙の結果を表しています。(コピーされなかったページが発生しています。)				片面原稿または、通常の片面コピー出力紙。	
		両面コピーしたときの裏表紙の結果を表しています。				原稿不足により片面にしかコピーされなかった両面コピー出力紙。	

表紙挿入（片面原稿から片面コピーする場合）

次のような片面原稿を片面コピーします。

1枚目	2枚目	3枚目	4枚目	5枚目	6枚目
					

挿入する表紙へのコピー条件		コピー結果							
表表紙	裏表紙								
しない	しない								
片面コピーする	しない								
両面コピーする	しない								
しない	片面コピーする								
しない	両面コピーする								
片面コピーする	片面コピーする								
片面コピーする	両面コピーする								
両面コピーする	片面コピーする								
両面コピーする	両面コピーする								

表紙挿入（片面原稿から両面コピーする場合）

次のような片面原稿を両面コピーします。

1枚目	2枚目	3枚目	4枚目	5枚目	6枚目
					

挿入する表紙へのコピー条件		コピー結果				
表表紙	裏表紙					
しない	しない					
片面コピーする	しない					
両面コピーする	しない					
しない	片面コピーする					
しない	両面コピーする					
片面コピーする	片面コピーする					
片面コピーする	両面コピーする					
両面コピーする	片面コピーする					
両面コピーする	両面コピーする					

表紙挿入（両面原稿から片面コピーする場合）

次のような両面原稿を片面コピーします。

1枚目	2枚目	3枚目
		

挿入する表紙へのコピー条件		コピー結果							
表表紙	裏表紙								
しない	しない								
片面コピーする	しない								
両面コピーする	しない								
しない	片面コピーする								
しない	両面コピーする								
片面コピーする	片面コピーする								
片面コピーする	両面コピーする								
両面コピーする	片面コピーする								
両面コピーする	両面コピーする								

表紙挿入（両面原稿から両面コピーする場合）

次のような両面原稿を両面コピーします。

1枚目	2枚目	3枚目
		

挿入する表紙へのコピー条件		コピー結果
表表紙	裏表紙	
しない	しない	    
片面コピーする	しない	   
両面コピーする	しない	   
しない	片面コピーする	   
しない	両面コピーする	   
片面コピーする	片面コピーする	  
片面コピーする	両面コピーする	  
両面コピーする	片面コピーする	  
両面コピーする	両面コピーする	  

合い紙挿入（片面原稿からコピーする場合）

次のような片面原稿を片面コピーまたは両面コピーします。合い紙を3枚目に挿入する例を示します。
 （「合い紙設定」の「挿入設定」で「挿入ページ」に「3」と入力した場合）

1枚目	2枚目	3枚目	4枚目	5枚目	6枚目
					

挿入する合い紙へのコピー条件	コピー結果（片面コピーする場合）	コピー結果（両面コピーする場合）
しない	     	   
片面コピーする	     	   
両面コピーする	    	  

合い紙挿入（両面原稿からコピーする場合）

次のような両面原稿を片面コピーまたは両面コピーします。合い紙を3枚目に挿入する例を示します。
 （「合い紙設定」の「挿入設定」で「挿入ページ」に「3」と入力した場合）

1枚目	2枚目	3枚目
		

挿入する合い紙へのコピー条件	コピー結果（片面コピーする場合）	コピー結果（両面コピーする場合）
しない	     	   
片面コピーする	     	  
両面コピーする	    	  

第3章 プリンター

プリンター機能の操作方法について詳しく記載しています。

本機のプリンター機能について 3-3

Windows環境からプリントする

基本的なプリントのしかた 3-4

- 用紙の給紙方法について 3-6
- 郵便はがきや封筒にプリントする方法について 3-7

ユーザー認証機能が設定されている場合のプリント方法 3-8

プリンタードライバーのヘルプを参照する 3-11

よく使うプリント設定を登録して使用する 3-12

- プリント時に設定した内容を登録する 3-12
- 登録した設定を使用してプリントする 3-14

プリンタードライバーの初期設定値を変更する 3-15

Macintosh環境からプリントする

基本的なプリントのしかた 3-17

- 用紙設定を行う 3-17
- プリントする 3-18
- 用紙の給紙方法について 3-19
- 郵便はがきや封筒にプリントする方法について 3-20

ユーザー認証機能が設定されている場合のプリント方法 3-22

よく使うプリント機能について

カラーモードを選択してプリントする 3-24

画質を選択してプリントする 3-26

用紙の両面にプリントする 3-27

用紙のサイズに合わせてプリントする 3-29

1ページに複数ページのデータをプリントする 3-30

用紙をステープルでとじる／パンチ穴をあける 3-32

便利なプリント機能について

冊子やポスターの作成に役立つ仕上げ機能 3-34

- 中とじの冊子を作る（中とじ） 3-34
- とじしろを作ってプリントする（とじしろ） 3-36
- 大判のポスターを作る（ポスター印刷） 3-37

データのサイズや向きなどを補正する機能 3-38

- データを180度回転させてプリントする（180°回転して印刷） 3-38
- データを拡大・縮小してプリントする（ズーム／たてよこ独立変倍） 3-39
- 線幅を調節してプリントする（線幅調整） 3-40
- 鏡に映したように反転させてプリントする（鏡像） 3-41

カラーモード調整機能 3-42

- 画像の明るさやコントラストを調整してプリントする（イメージ調整） 3-42
- 薄くて見づらい文字や線を黒色でプリントする（文字を黒色で印刷する／線を黒色で印刷する） 3-43
- データに応じたカラー設定でプリントする（高度なカラー設定） 3-44
- 本機のカラーバランスに合わせてプリントする 3-46

文字や画像の合成機能 3-47

- すかし文字を入れてプリントする（ウォーターマーク） 3-47
- 画像をデータに重ねてプリントする（イメージスタンプ） 3-48
- 定型フォームを作成してプリントデータを重ねる（オーバーレイ） 3-49

特殊な用途に使えるプリント機能	3-50
• 特定のページを異なる用紙でプリントする (用紙挿入)	3-50
• OHPフィルムにプリントするときの合い紙を挿入する (OHP合い紙)	3-52
• 複写伝票のようにプリントする (カーボンコピー)	3-53
• タブ紙のタブに文字をプリントする (タブ紙設定/タブ紙印刷)	3-54
• 両面プリントで特定のページが表面になるようにプリントする (章分け印刷)	3-56
知っておくと便利なプリント機能	3-57
• 大量のプリントデータを2台に分けてプリントする (連結印刷)	3-57
• プリントデータを保存して使用する (リテンション/ドキュメントファイリング)	3-58

プリンタードライバーを介さずにプリントする

本機からファイルを直接プリントする	3-61
• FTPサーバー上のファイルを直接プリントする	3-62
• USBメモリー内のファイルを直接プリントする	3-63
• 共有フォルダー内のファイルを直接プリントする	3-66
コンピュータからファイルを直接プリントする	3-69
• プリントジョブの送信	3-69
• FTPプリント	3-69
• E-mailプリント	3-70

プリント状況を確認する

ジョブ状況画面について	3-71
• スプール画面・予約/実行中画面・完了画面について	3-72
暗号化PDFをプリントする	3-74
優先的にプリントする/プリントを中止する	3-75
• 優先的にプリントする	3-75
• プリントを中止する	3-76
用紙切れのときに他の用紙サイズに切り替えてプリントする	3-77

付録

プリンタードライバー仕様一覧	3-78
プリンターの仕様	3-80
BMLinkSについて	3-81

本機のプリンター機能について

本機はフルカラープリント機能を標準装備しています。プリンタードライバーをインストールすることにより、お使いのコンピュータからのプリントが可能になります。

お使いの環境で使用できるプリンタードライバーを下表で確認してください。

環境	プリンタードライバーの種類	使用条件
Windows	SAPL-c* シャープ独自のプリンタードライバーです。プリント時にデータを圧縮して送信することにより、スムーズなプリントを可能としています。 (SAPLは、Sharp Advanced Printing Languageの略称です。)	標準状態で使用できます。
	SPDL2-c シャープの提供するページ記述言語SPDLに対応したプリンタードライバーです。高速で高機能なプリント処理を行うことができます。	プリンター拡張キットが必要です。
	PS Adobe Systems社が開発したページ記述言語PostScript 3対応のプリンタードライバーで、本機をPostScript 3互換プリンターとして使用することができます。 (Windows OS標準のPSプリンタードライバーを使用したい場合は、PPDファイルが用意されています。)	プリンター拡張キットとPS拡張キットが必要です。
Macintosh		

※ プリンター拡張キット装着時は使用できません。

Windows環境でお使いの場合

Windows環境でのプリンタードライバーのインストール方法やプリンタードライバーの設定方法については、ソフトウェアセットアップガイドの「2. Windows環境でのセットアップ」を参照してください。

 本書のWindows環境でのプリント方法の説明には、おもにSPDL2-cプリンタードライバーの画面を使用しています。お使いのプリンタードライバーによっては画面の内容が一部異なる場合があります。

Macintosh環境でお使いの場合

Macintosh環境では、本機にプリンター拡張キットとPS拡張キットを装着することによりネットワークプリンターとして使用できます。

Macintosh環境でのインストール方法やプリンタードライバーの設定方法については、ソフトウェアセットアップガイドの「3. Macintosh環境でのセットアップ」を参照してください。

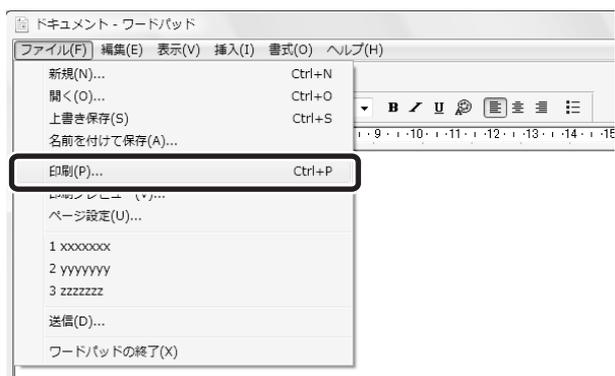
SPDLは、Sharp Printer Description Languageの略称です。

Windows 環境からプリントする

基本的なプリントのしかた

下記の手順は、Windowsに標準で付属しているアプリケーションソフト「ワードパッド」からプリントする場合を例に説明します。

1



ワードパッドの[ファイル]メニューから[印刷]を選択する

Windows 7をお使いの場合は、 をクリックしてください。



プリントを実行するメニューは、[プリント]などお使いのアプリケーションソフトによって異なります。

2



(1)

(2)

プリンタードライバの設定画面を開く

(1) 本機のプリンタードライバを選択する

- プリンタードライバがアイコンで表示されているときは、使用するプリンタードライバのアイコンをクリックします。
- プリンタードライバ名が一覧で表示されているときは、使用するプリンタードライバ名を一覧から選択します。

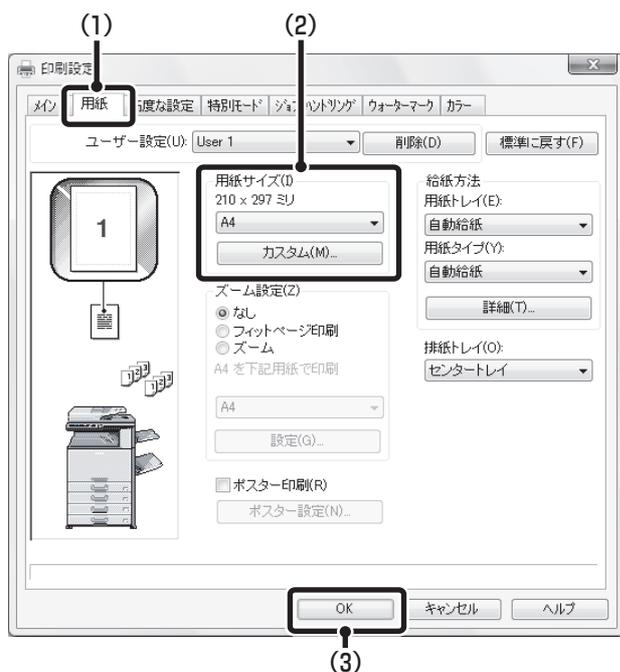
(2) [詳細設定]ボタンをクリックする

Windows 2000をお使いの場合は、[詳細設定]ボタンは表示されません。「印刷」ダイアログボックスのタブを切り替えて各設定を行います。



プリンタードライバの設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

3



プリント設定を行う

(1) [用紙]タブをクリックする

(2) 用紙サイズを選択する

その他の設定項目は各タブをクリックして切り替えて設定してください。

(3) [OK]ボタンをクリックする



- 用紙サイズはアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと必ず一致させてください。
- 任意の用紙サイズを8種類まで登録することができます。登録しておくと、次も同じサイズでプリントしたいときに便利です。
用紙サイズは、プルダウンメニューから[カスタム用紙]または[ユーザー 1]～[ユーザー 7]のいずれかを選択し、[カスタム]ボタンをクリックして登録します。

4



[印刷] ボタンをクリックする

プリントが実行されます。

用紙の給紙方法について

ここでは、プリンタードライバー設定画面の[用紙]タブにある「給紙方法」の設定について説明します。

プリントする前に本機用の紙トレイに設定している用紙サイズ、用紙タイプ、用紙残量を確認してください。[詳細]ボタンをクリックすると、最新のトレイ情報を見ることができます。

給紙方法

用紙トレイ(E):
自動給紙 ▼

用紙タイプ(Y):
自動給紙 ▼

詳細(T)...

• 「用紙トレイ」から[自動給紙]を選択したときは…

「用紙サイズ」、「用紙タイプ」で指定した用紙がセットされたトレイを自動的に選択してプリントします。

• 「用紙トレイ」から[自動給紙]以外を選択したときは…

「用紙サイズ」の設定に関わらず、指定したトレイにセットされた用紙にプリントします。

[手差し]を選択したときは…

「用紙タイプ」も選択してください。本機の手差しトレイに設定されている用紙タイプを確認し、実際に手差しトレイにその用紙タイプがセットされているか確認したうえで、適切な「用紙タイプ」を選択してください。



- 手差しトレイには、郵便はがきや封筒などの特殊紙もセットできます。手差しトレイに用紙をセットする方法については、「1. お使いになる前に」の「[手差しトレイへの用紙補給](#)」(1-32ページ)を参照してください。
- 本機のシステム設定（管理者）「手差し指定サイズ検知有効設定」（工場出荷時は無効）や「手差し指定タイプ検知有効設定」（工場出荷時は有効）が有効の場合は、プリンタードライバーで指定した用紙サイズまたは用紙タイプと、手差しトレイに設定されている用紙サイズまたは用紙タイプが異なっているとプリントされません。

• 「用紙タイプ」から[自動給紙]を選択したときは…

「用紙サイズ」で指定したサイズの普通紙または再生紙が設定されているトレイを自動的に選択してプリントします。（工場出荷時は普通紙のみ）

• 「用紙タイプ」から[自動給紙]以外を選択したときは…

「用紙サイズ」で指定したサイズで、指定したタイプの用紙がセットされたトレイからプリントします。



システム設定（管理者）：自動用紙選択時の手差しトレイ選択禁止

「給紙方法」から[自動給紙]を選択してプリントする場合、手差しトレイにセットされた用紙を対象からはずすかどうかを設定します。工場出荷時は設定されていないため、手差しトレイも自動給紙の対象に含まれてしまいます。手差しトレイに特殊紙をセットすることが多い場合は、この機能を有効にしておくことをお勧めします。

郵便はがきや封筒にプリントする方法について

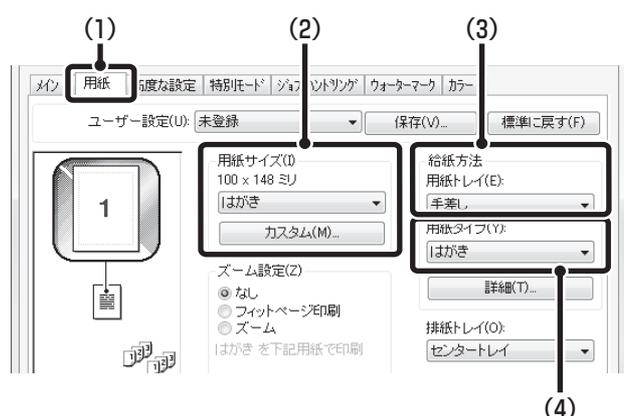
手差しトレイを使用すると、郵便はがきや封筒などの特殊紙にプリントできます。ここでは、プリンタードライバー設定画面から郵便はがきや封筒にプリントする方法を説明します。

手差しトレイにセットできる用紙については、「1. お使いになる前に」の「[用紙補給する前に](#)」(1-27ページ)を参照してください。

手差しトレイに用紙をセットする方法については、「1. お使いになる前に」の「[手差しトレイへの用紙補給](#)」(1-32ページ)を参照してください。

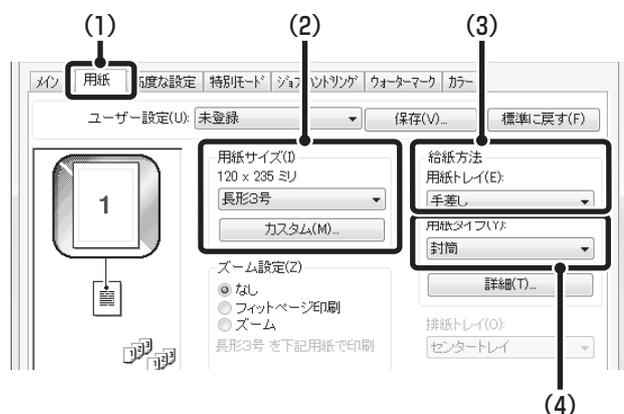
アプリケーションソフトの「ページ設定」などで、データを郵便はがきや封筒（長形3号など）サイズに設定してから、以下の操作を行ってください。

郵便はがきにプリントする



- (1) [用紙]タブをクリックする
- (2) 「用紙サイズ」から、[はがき]を選択する
- (3) 「給紙方法」の「用紙トレイ」から[手差し]を選択する
- (4) 「用紙タイプ」から[はがき]を選択する
本機の手差しトレイの用紙タイプを[厚紙1]に設定し、手差しトレイに郵便はがきがセットされているか確認してください。

封筒にプリントする



- (1) [用紙]タブをクリックする
- (2) 「用紙サイズ」から、封筒のサイズ（長形3号など）を選択する
- (3) 「給紙方法」の「用紙トレイ」から[手差し]を選択する
- (4) 「用紙タイプ」から[封筒]を選択する
本機の手差しトレイの用紙タイプを[封筒]に設定し、手差しトレイに封筒がセットされているか確認してください。

- 郵便はがきや封筒を使う前に、試しにプリントして仕上がりを確かめることをお勧めします。
- 封筒など一定の向きでしか本機にセットできない用紙の場合は、必要に応じて画像の向きを180度回転させてプリントできます。詳しくは、「[データを180度回転させてプリントする \(180° 回転して印刷\)](#)」(3-38ページ)を参照してください。
- 「給紙方法」の詳細については、「[用紙の給紙方法について](#)」(3-6ページ)を参照してください。

ユーザー認証機能が設定されている場合のプリント方法

本機のシステム設定（管理者）でユーザー認証機能が設定されているときは、プリント時にプリンタードライバーの設定画面でユーザー情報（ログイン名やパスワードなど）の入力が必要になります。本機を使用するために必要な情報は、設定されている認証方式によって異なりますので、あらかじめ本機の管理者にご確認ください。



アプリケーションソフトのプリント画面でプリンタードライバーの設定画面を開く

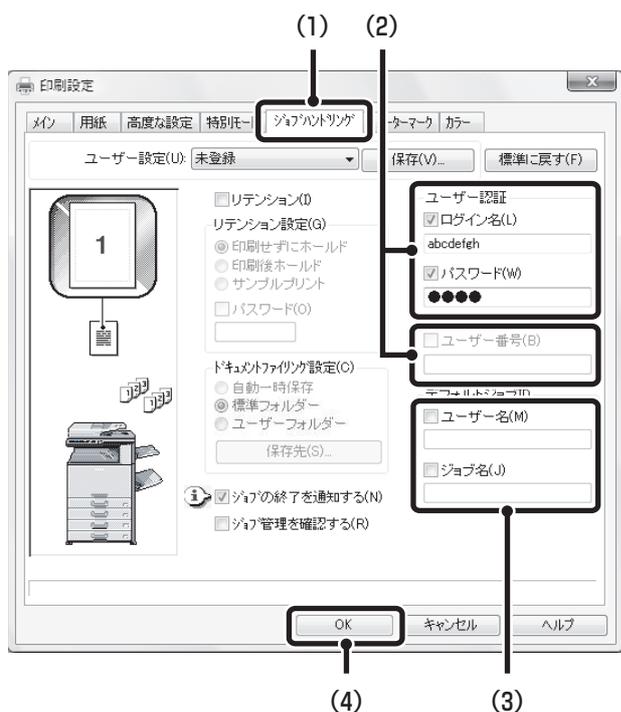
- (1) 本機のプリンタードライバーを選択する
- (2) [詳細設定]ボタンをクリックする

1



プリンタードライバーの設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

2



ログイン名とパスワードを入力する

- (1) [ジョブハンドリング]タブをクリックする
- (2) ユーザー情報を入力する

- ログイン名/パスワード方式で認証している場合
[ログイン名]および[パスワード]チェックボックスをクリックして にし、ログイン名とパスワードを入力します。パスワードは半角1~32文字（英数文字）で入力してください。
- ユーザー番号方式で認証している場合
[ユーザー番号]チェックボックスをクリックして にし、ユーザー番号を半角5~8桁で入力してください。

 「オプション」タブの「印刷機能の制限」で、常にユーザー認証を入力するよう設定した場合は、ここでユーザー情報は入力できません。印刷のたびに表示されるダイアログボックスで入力してください。

- (3) 必要に応じてユーザー名、ジョブ名を入力する

- ユーザー名
[ユーザー名]チェックボックスをクリックして にし、ユーザー名を全角16文字（半角32文字）以内で入力します。入力したユーザー名は本機の実操作パネル上で表示されます。入力しない場合、本機にはコンピュータのログイン名が表示されます。
- ジョブ名
[ジョブ名]チェックボックスをクリックして にし、ジョブ名を全角15文字（半角30文字）以内で入力します。入力したジョブ名は本機の実操作パネル上でファイル名として表示されます。入力しない場合、アプリケーションソフトで設定したファイル名が表示されます。

- (4) [OK]ボタンをクリックする

 [ジョブ管理を確認する]チェックボックスをクリックして にすると、プリント開始前に確認画面を表示させることができます。

3



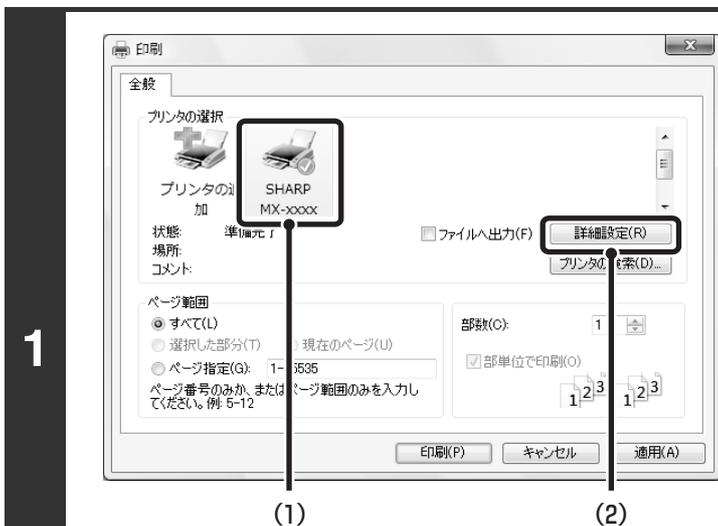
プリントを実行する

-  本機のシステム設定（管理者）でユーザー認証機能が設定されている場合、ユーザー情報を入力しなくてもプリンタードライバで白黒プリントの設定をしている場合はプリントすることができます。白黒プリントの設定については、「[白黒プリントについて](#)」（3-25ページ）を参照してください。プリント枚数は「その他ユーザー」にカウントされません。この場合、ほかにもプリント機能が制限されていることがあります。詳しくは、管理者に問い合わせてください。
- PPDファイル※をインストールしてWindows標準のPSプリンタードライバを使うときは、本機のユーザー認証機能は利用できません。そのため、システム設定（管理者）で無効ユーザーのプリントが禁止されているとプリントできません。
※OS標準のPSプリンタードライバを使用して本機でプリントできるようにするためのものです。

 **システム設定（管理者）：無効ユーザーの印刷禁止**
本機にユーザー情報を登録していないユーザーによるプリントジョブを禁止できます。この機能を設定した場合、ユーザー情報を入力しなかったときや、入力をまちがえたときはプリントできません。

プリンタードライバーのヘルプを参照する

プリンタードライバーの設定項目についての説明は、プリント時にヘルプを表示してその場で確認することができます。



アプリケーションソフトのプリント画面でプリンタードライバーの設定画面を開く

- (1) 本機のプリンタードライバーを選択する
- (2) [詳細設定] ボタンをクリックする

1



プリンタードライバーの設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ] や [印刷設定] など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。



[ヘルプ] ボタンをクリックする

ヘルプ画面が開いて、タブ上の設定項目についてのヘルプを確認することができます。さらに、ダイアログボックスを開いて設定する項目についてのヘルプを見たいときは、ヘルプ画面上部にある下線の文字をクリックしてください。

2

ポップアップヘルプについて

参照したい設定項目をクリックし、[F1]キーを押すと、その設定項目に対するヘルプを参照できます。

※ Windows 2000/XP/Server 2003をお使いの場合は、プリンタードライバー設定画面右上の ? ボタンをクリックしたあと設定項目をクリックすると、その設定項目に対するヘルプを参照できます。

インフォメーションアイコンについて

プリンタードライバーの設定画面では、設定項目の組み合わせによっては使用できない機能があります。その場合、設定項目にインフォメーションアイコン (i) が表示されます。このアイコンをクリックすると、制限事項の説明が表示されます。

よく使うプリント設定を登録して使用する

プリント時に各タブで設定した内容はユーザー設定として登録することができます。よく使用する設定や複雑なカラー設定を行った場合などに名前を付けて登録しておくことで、次に同じ設定でプリントしたいときに操作が簡単です。

プリント時に設定した内容を登録する

登録操作はプリンタードライバー設定画面のどのタブから行うことができます。各タブで設定した内容は登録時に一覧表示されるので、設定内容を確認しながら登録することができます。

(1) (2)

アプリケーションソフトのプリント画面でプリンタードライバーの設定画面を開く

- (1) 本機のプリンタードライバーを選択する
- (2) [詳細設定]ボタンをクリックする

1

プリンタードライバーの設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

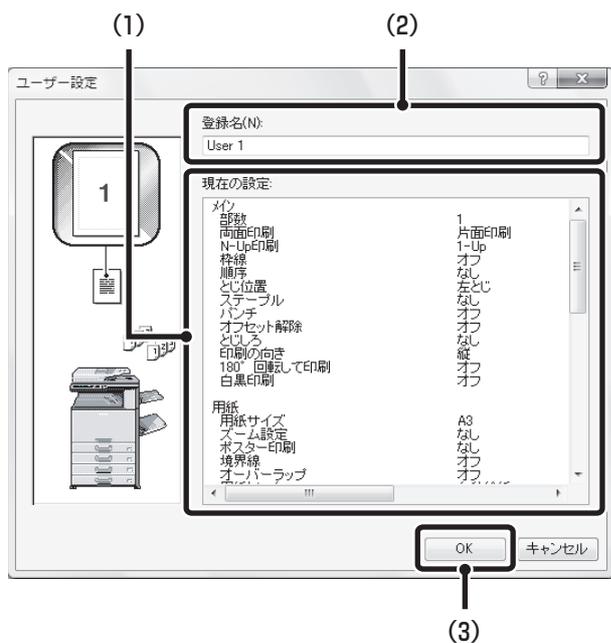
(1) (2)

プリント設定を登録する

- (1) 各タブでプリント設定を行う
- (2) [保存]ボタンをクリックする

SPDLは、Sharp Printer Description Languageの略称です。

3



設定内容を確認して登録する

- (1) 表示された設定内容を確認する
- (2) 登録名を10文字 (半角20文字) 以内で入力する
- (3) [OK]ボタンをクリックする

4



[OK]ボタンをクリックする

5



プリントを実行する



- ユーザー設定は最大30件登録できます。
- ユーザー設定には次の項目を登録することはできません。
 - 作成したウォーターマークの内容
 - 用紙挿入設定の設定内容
 - オーバーレイファイル
 - [特別モード]タブの[タブ紙印刷]の設定内容 (SPDL2-cのみ)
 - [ジョブハンドリング]タブで入力したログイン名、パスワード、ユーザー名、ジョブ名

登録した設定を使用してプリントする

1

アプリケーションソフトのプリント画面でプリンタードライバーの設定画面を開く

- (1) 本機のプリンタードライバーを選択する
- (2) [詳細設定]ボタンをクリックする

プリンタードライバーの設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

2

プリント設定を選択する

- (1) 使用するユーザー設定を選択する
- (2) [OK]ボタンをクリックする

3

プリントを実行する

登録した設定を削除するときは

上記手順2の(1)で削除するユーザー設定を選択し、[削除]ボタンをクリックしてください。

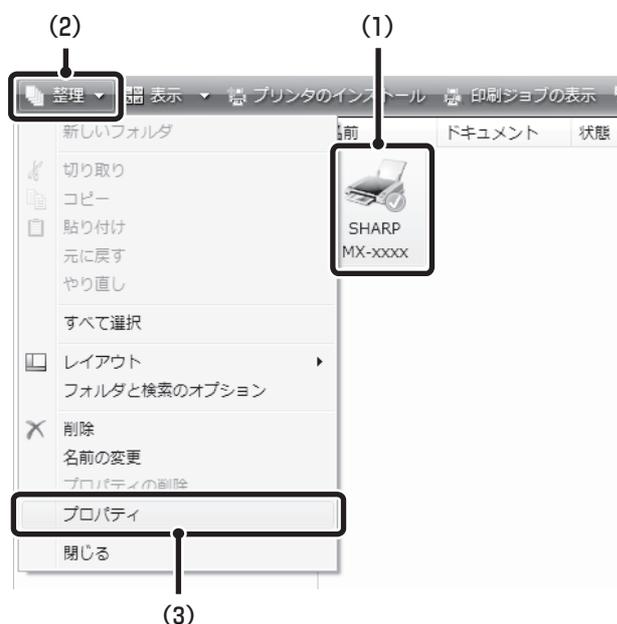
プリンタードライバーの初期設定値を変更する

プリンタードライバーの初期設定値は、次の手順で変更することができます。ここで設定した内容は保存され、アプリケーションソフトからプリントするときの初期設定になります。(アプリケーションソフトからプリント時にプリンタードライバーの設定画面で変更した内容は、アプリケーションソフトを終了すると無効になります。)

1 [スタート]ボタン () をクリックし、[コントロールパネル]→[プリンタ]を選択する

- Windows 7をお使いの場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[デバイスとプリンター]をクリックしてください。
- Windows XP/Server 2003をお使いの場合は、[スタート]ボタンをクリックし、[プリンタとFAX]をクリックしてください。
- Windows 2000をお使いの場合は、[スタート]ボタンをクリックし、[設定]→[プリンタ]を選択してください。

 Windows XPをお使いの場合、[スタート]メニューに[プリンタとFAX]が現れない場合は、[コントロールパネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[プリンタとFAX]の順に選択してください。



プリンターのプロパティ画面を開く

(1) 本機のプリンタードライバーアイコンをクリックする

Windows 7をお使いの場合は、本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックしてください。手順3へ進んでください。

(2) [整理]メニューをクリックする

Windows 2000/XP/Server 2003をお使いの場合は、[ファイル]メニューをクリックしてください。

(3) [プロパティ]を選択する

Windows 7をお使いの場合は、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックしてください。



[全般]タブの[印刷設定]ボタンをクリックする

Windows 7をお使いの場合は、[全般]タブの [基本設定] ボタンをクリックしてください。



各項目を設定し、[OK]ボタンをクリックする

設定項目については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Macintosh 環境からプリントする

基本的なプリントのしかた

下記の手順は、Mac OS Xに標準で付属しているアプリケーションソフト「テキストエディット」(Mac OS 9は「SimpleText」)からプリントする場合を例に説明します。

 Macintoshで本機をプリンターとして使うには、本機にプリンター拡張キットとPS拡張キットを装着し、ネットワークに接続する必要があります。PPDファイルのインストール方法やプリンタードライバーの設定方法については、ソフトウェアセットアップガイドの「3. Macintosh環境でのセットアップ」を参照してください。

用紙設定を行う

プリントを実行する前にプリンタードライバーの用紙設定を行います。

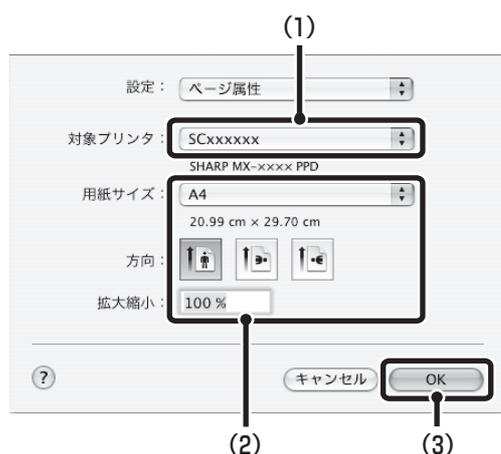
1



テキストエディットの[ファイル]メニューから[ページ設定]を選択する

Mac OS 9をお使いの場合は、SimpleTextの[ファイル]メニューから[用紙設定]を選択してください。

2



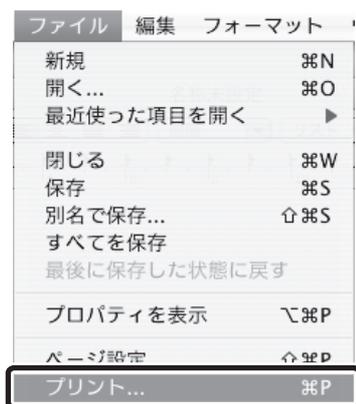
用紙設定を行う

- (1) 使用するプリンターが選択されているか確認する
- (2) 用紙設定を行う
用紙サイズ、用紙の向き、拡大縮小を設定できます。
- (3) [OK]ボタンをクリックする

 「対象プリンタ」メニューに表示される本機の名称は、通常[SCxxxxxx]と表示されます。(「xxxxxx」には、お使いの製品によって異なる文字列が表示されます。)

プリントする

1



テキストエディットの [ファイル] メニューから [プリント] を選択する

Mac OS 9をお使いの場合は、SimpleTextの[ファイル]メニューから[プリント]を選択してください。

プリントを実行するメニューは、[印刷]などお使いのアプリケーションソフトによって異なります。

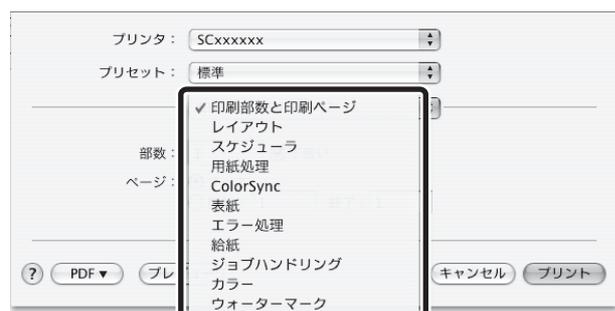
2



使用するプリンターが選択されているか確認する

「プリンタ」メニューに表示される本機の名称は、通常[SCxxxxxx]と表示されます。（「xxxxxx」には、お使いの製品によって異なる文字列が表示されます。）

3



プリント設定を行う

- Mac OS Xをお使いの場合は、[印刷部数と印刷ページ]の▼をクリックし、メニューから設定項目を選択すると、それぞれの設定画面に切り替わります。ただし、Mac OS X v10.5~10.5.8、10.6~10.6.5をお使いの場合、設定項目が表示されていないときは、プリンター名の横に表示される▼をクリックしてください。
- Mac OS 9をお使いの場合は、[一般設定]の⌵をクリックし、メニューから設定項目を選択すると、それぞれの設定画面に切り替わります。

4



[プリント]ボタンをクリックする

プリントが実行されます。

用紙の給紙方法について

ここでは、プリント設定画面の[給紙]設定（Mac OS 9は[一般設定]の「給紙元」設定）について説明します。

- **[自動給紙]（Mac OS 9、Mac OS X v10.2.8、v10.5～10.5.8、10.6～10.6.5は[自動選択]）を選択したときは…**

ページ設定画面（Mac OS 9は用紙設定画面）の「用紙サイズ」で指定したサイズの普通紙または再生紙が設定されているトレイ（工場出荷時は普通紙のみ）を自動的に選択してプリントします。

- **用紙トレイを選択したときは…**

ページ設定画面（Mac OS 9は用紙設定画面）の「用紙サイズ」設定に関わらず、指定したトレイにセットされた用紙にプリントします。

手差しトレイは、用紙タイプも指定できます。本機の手差しトレイに設定されている用紙タイプを確認し、実際に手差しトレイにその用紙タイプがセットされているか確認したうえで、適切な手差しトレイ（用紙タイプ）を選択してください。



- 手差しトレイには、郵便はがきや封筒などの特殊紙もセットできます。手差しトレイに用紙をセットする方法については、「1. お使いになる前に」の「**手差しトレイへの用紙補給**」（1-32ページ）を参照してください。
- 本機のシステム設定（管理者）「手差し指定サイズ検知有効設定」（工場出荷時は無効）や「手差し指定タイプ検知有効設定」（工場出荷時は有効）が有効の場合は、プリンタードライバーで指定した用紙サイズまたは用紙タイプと、手差しトレイに設定されている用紙サイズまたは用紙タイプが異なっているとプリントされません。

- **用紙タイプを選択したときは…**

ページ設定画面（Mac OS 9は用紙設定画面）の「用紙サイズ」で指定したサイズで、指定したタイプの用紙がセットされたトレイからプリントします。



システム設定（管理者）：自動用紙選択時の手差しトレイ選択禁止

[自動給紙]（Mac OS 9、Mac OS X v10.2.8、v10.5～10.5.8、10.6～10.6.5は[自動選択]）を選択してプリントする場合、手差しトレイにセットされた用紙を対象からはずすかどうか設定します。工場出荷時は設定されていないため、手差しトレイも自動給紙の対象に含まれてしまいます。手差しトレイに特殊紙をセットすることが多い場合は、この機能を有効にしておくことをお勧めします。

郵便はがきや封筒にプリントする方法について

手差しトレイを使用すると、郵便はがきや封筒などの特殊紙にプリントできます。ここでは、プリント設定画面から郵便はがきや封筒にプリントする方法を説明します。

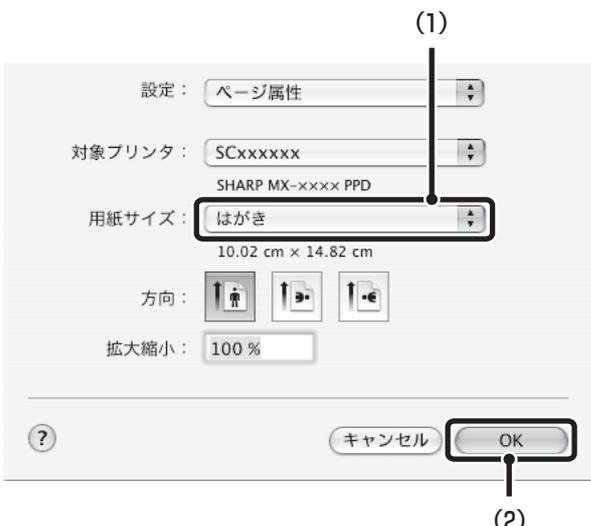
手差しトレイにセットできる用紙については、「1. お使いになる前に」の「[用紙補給する前に](#)」（1-27ページ）を参照してください。

手差しトレイに用紙をセットする方法については、「1. お使いになる前に」の「[手差しトレイへの用紙補給](#)」（1-32ページ）を参照してください。

アプリケーションソフトの「ページ設定」などで、データを郵便はがきや封筒（長形3号など）サイズに設定してから、以下の操作を行ってください。

郵便はがきにプリントする

1

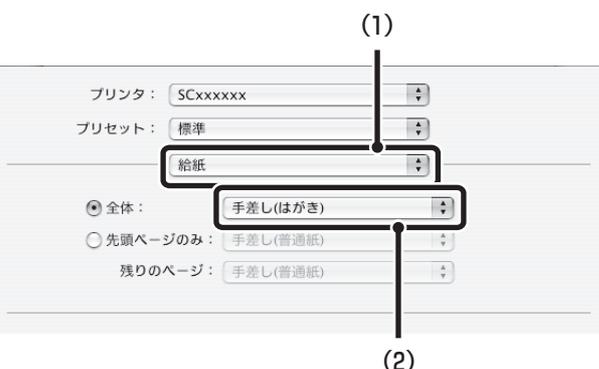


用紙サイズを選択する

(1) ページ設定画面の「用紙サイズ」から、[はがき]を選択する
Mac OS 9をお使いの場合は、用紙設定画面の「用紙」から、[はがき]を選択してください。

(2) [OK]ボタンをクリックする

2



手差しトレイを選択する

(1) プリント設定画面で[給紙]を選択する
Mac OS 9をお使いの場合は、「一般設定」を選択してください。

(2) 「全体」から、[手差し（はがき）]を選択する

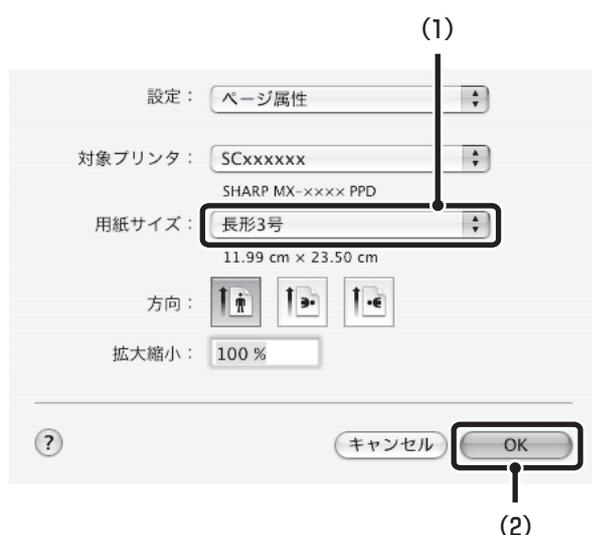
- Mac OS 9をお使いの場合は、「給紙元」の「全体」から、[手差し（はがき）]を選択してください。
- 本機の手差しトレイの用紙タイプを[厚紙1]に設定し、手差しトレイに郵便はがきがセットされているか確認してください。

 「給紙」の詳細については、「[用紙の給紙方法について](#)」（3-19ページ）を参照してください。

 郵便はがきを使う前に、試しにプリントして仕上がりを確かめることをお勧めします。

封筒にプリントする

1



用紙サイズを選択する

(1) ページ設定画面の「用紙サイズ」から、封筒のサイズ（長形3号など）を選択する

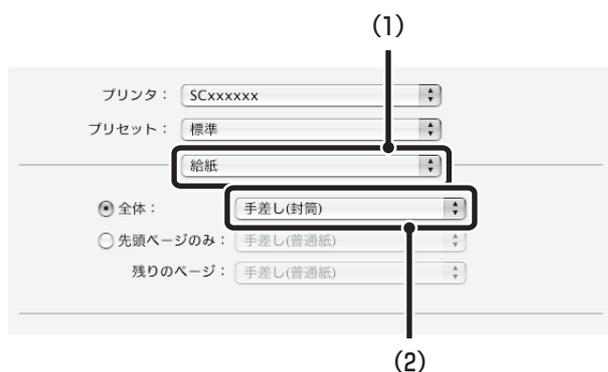
Mac OS 9をお使いの場合は、用紙設定画面の「用紙」から、封筒のサイズを選択してください。

(2) [OK]ボタンをクリックする



封筒など一定の向きでしか本機にセットできない用紙の場合は、必要に応じて画像の向きを180度回転させてプリントできます。詳しくは、「データを180度回転させてプリントする（180°回転して印刷）」（3-38ページ）を参照してください。

2



手差しトレイを選択する

(1) プリント設定画面で[給紙]を選択する

Mac OS 9をお使いの場合は、「一般設定」を選択してください。

(2) 「全体」から、「手差し（封筒）」を選択する

- Mac OS 9をお使いの場合は、「給紙元」の「全体」から、「手差し（封筒）」を選択してください。
- 本機の手差しトレイの用紙タイプを[封筒]に設定し、手差しトレイに封筒がセットされているか確認してください。



「給紙」の詳細については、「用紙の給紙方法について」（3-19ページ）を参照してください。

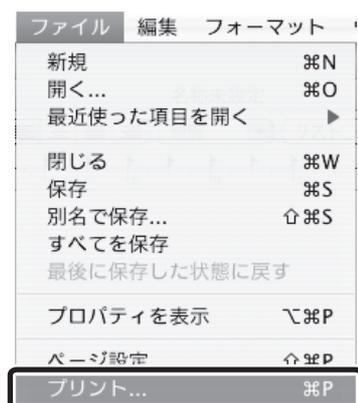


封筒を使う前に、試しにプリントして仕上がりを確かめることをお勧めします。

ユーザー認証機能が設定されている場合のプリント方法

本機のシステム設定（管理者）でユーザー認証機能が設定されているときは、プリント時にユーザー情報（ログイン名やパスワードなど）の入力が必要になります。本機を使用するために必要な情報は、設定されている認証方式によって異なりますので、あらかじめ本機の管理者にご確認ください。

1

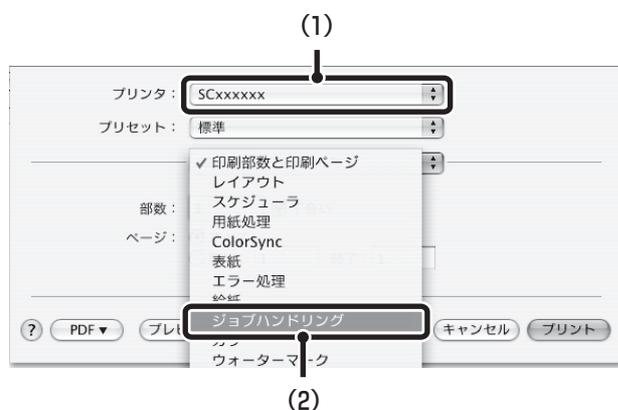


アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[プリント]を選択する



プリントを実行するメニューは、[印刷]などお使いのアプリケーションソフトによって異なります。

2



ジョブハンドリング画面を表示させる

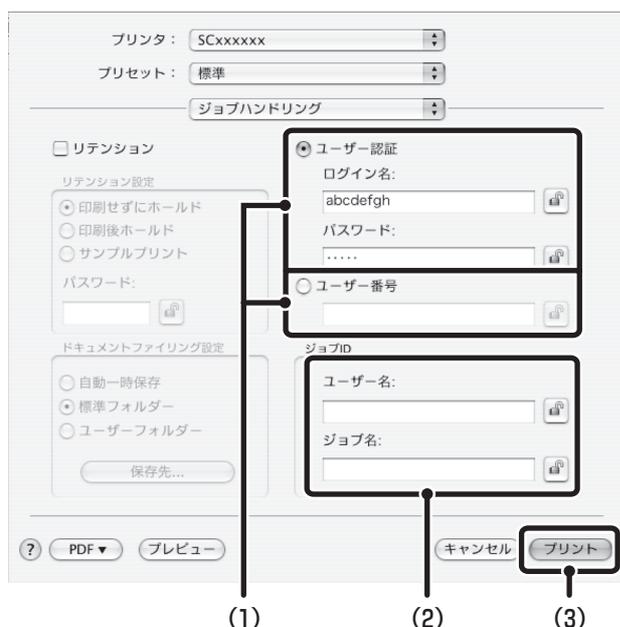
(1) 本機のプリンター名が選択されているか確認する

(2) [ジョブハンドリング]を選択する

- Mac OS X v10.5~10.5.8、10.6~10.6.5をお使いの場合は、[ジョブハンドリング]を選択して画面が表示されたら、[認証]タブをクリックしてください。
- Mac OS 9をお使いの場合は、[ユーザー認証]を選択してください。



「プリンタ」メニューに表示される本機の名称は、通常[SCxxxxxx]と表示されます。（“xxxxxx”には、お使いの製品によって異なる文字列が表示されます。）



プリントを実行する

(1) ユーザー情報を入力する

- ログイン名／パスワード方式で認証している場合
「ログイン名」にログイン名を入力し、「パスワード」にパスワードを半角1～32文字（英数文字）で入力してください。
- ユーザー番号方式で認証している場合
「ユーザー番号」にユーザー番号を半角5～8桁で入力してください。

(2) 必要に応じてユーザー名、ジョブ名を入力する

- ユーザー名
ユーザー名を全角16文字（半角32文字）以内で入力します。入力したユーザー名は本機の操作パネル上に表示されます。入力しない場合、本機にはコンピュータのログイン名が表示されます。
- ジョブ名
ジョブ名を全角15文字（半角30文字）以内で入力します。入力したジョブ名は本機の操作パネル上でファイル名として表示されます。入力しない場合、アプリケーションソフトで設定したファイル名が表示されます。

(3) [プリント]ボタンをクリックする



Mac OS Xをお使いの場合は、ログイン名、パスワード、またはユーザー番号を入力したあと、 ボタンをクリックしてロックしておく、次も同じユーザー認証でプリントしたいときに便利です。



本機のシステム設定（管理者）でユーザー認証機能が設定されている場合、ユーザー情報を入力しなくてもプリンタードライバーで白黒プリントの設定をしている場合はプリントすることができます。白黒プリントの設定については、「[白黒プリントについて](#)」（3-25ページ）を参照してください。プリント枚数は「その他ユーザー」にカウントされます。この場合、ほかにもプリント機能が制限されていることがあります。詳しくは、管理者に問い合わせてください。



システム設定（管理者）：無効ユーザーの印刷禁止

本機にユーザー情報を登録していないユーザーによるプリントジョブを禁止できます。この機能を設定した場合、ユーザー情報を入力しなかったときや、入力をまちがえたときはプリントできません。

よく使うプリント機能について

ここでは、よく使われる機能について説明します。

- カラーモードを選択してプリントする
- 用紙の両面にプリントする (3-27ページ)
- 用紙のサイズに合わせてプリントする (3-29ページ)
- 1ページに複数ページのデータをプリントする (3-30ページ)
- 用紙をステープルでとじる／パンチ穴をあける (3-32ページ)

用紙サイズの設定など基本的な設定が行われていることを前提に説明しています。プリンタードライバー設定画面の開きかたや基本的なプリントのしかたについては、下記を参照してください。

- ☞ Windows環境でお使いの場合：基本的なプリントのしかた (3-4ページ)
- ☞ Macintosh環境でお使いの場合：基本的なプリントのしかた (3-17ページ)

 Windows環境の場合、各プリント方法で使用するプリンタードライバーの設定項目についての詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

カラーモードを選択してプリントする

ここでは、プリンタードライバー設定画面のカラーモードを選択してプリントする手順について説明します。「カラーモード」は、次の3つの項目から選択できます。

- 自動： ページごとに色を判断してプリントします。白黒以外の色が使われているページは Y (イエロー)・M (マゼンタ)・C (シアン)・Bk (ブラック) トナーを使用し、白黒のみが使われているページは Bk (ブラック) トナーのみを使用してプリントします。カラーと白黒が混じっている原稿を複数枚プリントするときには便利ですが、プリント速度は遅くなります。
- カラー： すべてのページをカラーでプリントします。カラーのデータ、白黒のデータのいずれも Y (イエロー)・M (マゼンタ)・C (シアン)・Bk (ブラック) トナーを使用してプリントします。
- グレースケール： すべてのページを白黒でプリントします。画像やプレゼンテーション資料など、カラーのデータも Bk (ブラック) トナーのみを使用してプリントします。レイアウトの確認や文字校正など、カラープリントする必要のない場合に使用するとカラートナーの節約につながります。

-  「カラーモード」で[自動]を選択した場合
 プリント結果が白黒であっても、下記のようなプリントデータは、Y (イエロー)・M (マゼンタ)・C (シアン)・Bk (ブラック) の4色のカラーとしてカウントされます。常に白黒としてカウントしたいときは、[グレースケール]を選択してください。
- データがカラーデータとして作成されているとき
 - データが白黒であっても、アプリケーションソフトがカラーデータとして扱うとき
 - 白黒画像の下に画像が隠れているとき

Windows



- (1) [カラー]タブをクリックする
- (2) 「カラーモード」を選択する

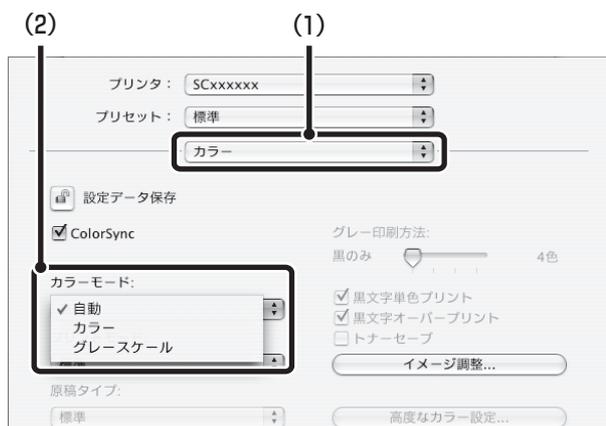
白黒プリントについて

[カラー]タブで設定できる[グレースケール]は、[メイン]タブでも同様に行えます。[メイン]タブにある[白黒印刷]チェックボックスをクリックして にしてください。



[メイン]タブにある[白黒印刷]チェックボックスと、[カラー]タブにある「カラーモード」は、連動しています。[メイン]タブにある[白黒印刷]チェックボックスを にすると、[カラー]タブの[グレースケール]が選択された状態になります。

Macintosh



- (1) [カラー]を選択する
- (2) 「カラーモード」を選択する

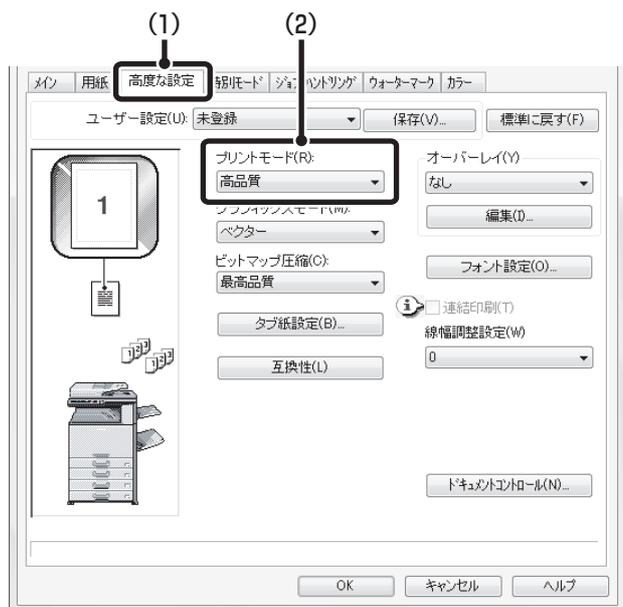
画質を選択してプリントする

ここでは、「プリントモード」から画質を選択してプリントする手順について説明します。「プリントモード」は、次の2つの項目から選択できます。

- ノーマル：文章や表などのプリントに適しています。
- 高品質： カラー写真や文字をきれいにプリントできます。

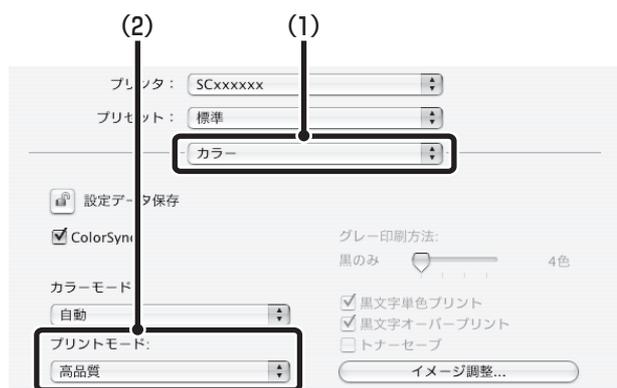
Windows

- (1) [高度な設定]タブをクリックする
- (2) 「プリントモード」を選択する



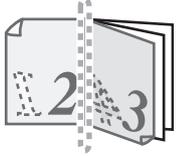
Macintosh

- (1) [カラー]を選択する
- (2) 「プリントモード」を選択する

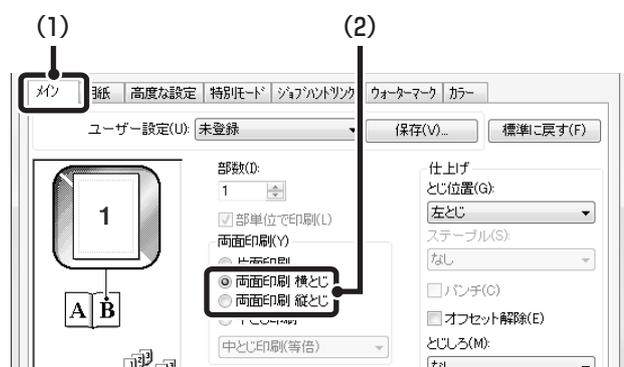


用紙の両面にプリントする

本機はデータを用紙の両面にプリントすることができます。かんたんな冊子を作成したいときなどさまざまな用途に使用できます。また、両面プリントは用紙の節約にもなります。

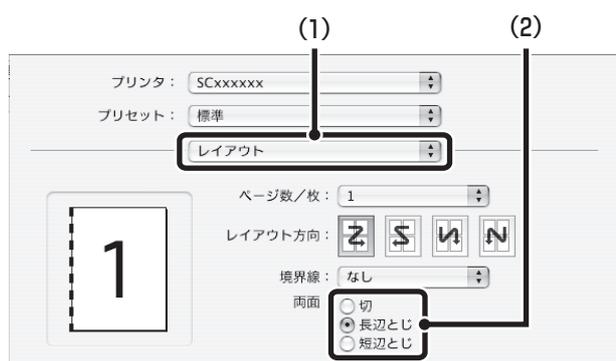
用紙の向き	プリント結果			
	Windows	Macintosh	Windows	Macintosh
縦	両面印刷 横とじ	長辺とじ (長辺で裏返す)	両面印刷 縦とじ	短辺とじ (短辺で裏返す)
				
横	両面印刷 横とじ	短辺とじ (短辺で裏返す)	両面印刷 縦とじ	長辺とじ (長辺で裏返す)
				
用紙の左側または右側でとじることができるようにプリントされます。			用紙の上側でとじることができるようにプリントされます。	

Windows



- (1) [メイン]タブ上で設定する
- (2) [両面印刷 横とじ]または[両面印刷 縦とじ]を選択する

Macintosh



(1) [レイアウト]を選択する

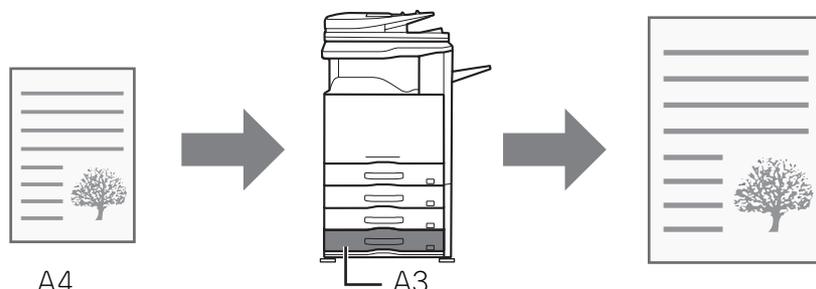
(2) [長辺とじ]または[短辺とじ]を選択する



- Mac OS X v10.2.8をお使いの場合は、[高度な設定]を選択して設定してください。
- Mac OS 9をお使いの場合は、[排紙/ドキュメントスタイル]を選択して[長辺で裏返す]または[短辺で裏返す]を選択してください。

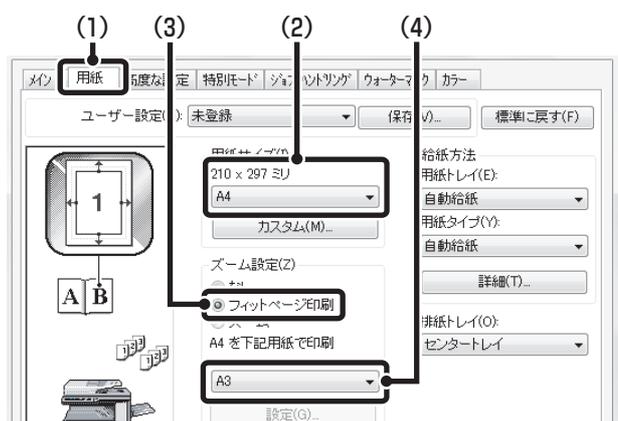
用紙のサイズに合わせてプリントする

本機にセットされている用紙サイズに合わせてデータを自動で拡大または縮小してプリントすることができます。A4サイズのデータをA3サイズに拡大して見やすくプリントしたり、データと同じサイズの用紙がセットされていない場合にプリントしたりするときなどに使用すると便利です。



下記の手順は、A4サイズのデータを、A3サイズの用紙に合わせてプリントする場合を例に説明しています。

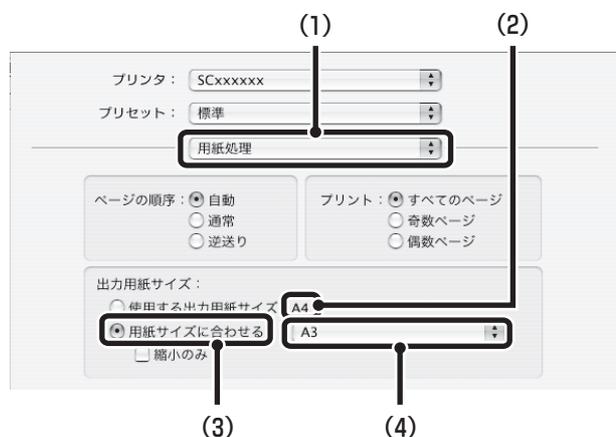
Windows



- (1) [用紙]タブをクリックする
- (2) プリントデータの用紙サイズ (例：A4) を選択する
- (3) [フィットページ印刷]を選択する
- (4) 実際にプリントする用紙のサイズ (例：A3) を選択する

Macintosh

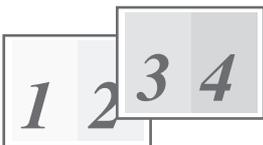
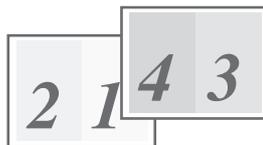
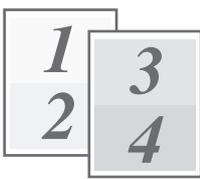
(この機能は、Mac OS X v10.4.11、v10.5～10.5.8、10.6～10.6.5のみ使用できます。)



- (1) [用紙処理]を選択する
- (2) プリントデータの用紙サイズ (例：A4) を確認する
プリントデータの用紙サイズを変更するときは、[ページ設定]を選択すると表示される「用紙サイズ」メニューから行ってください。
- (3) [用紙サイズに合わせる]を選択する
- (4) 実際にプリントする用紙のサイズ (例：A3) を選択する

1ページに複数ページのデータをプリントする

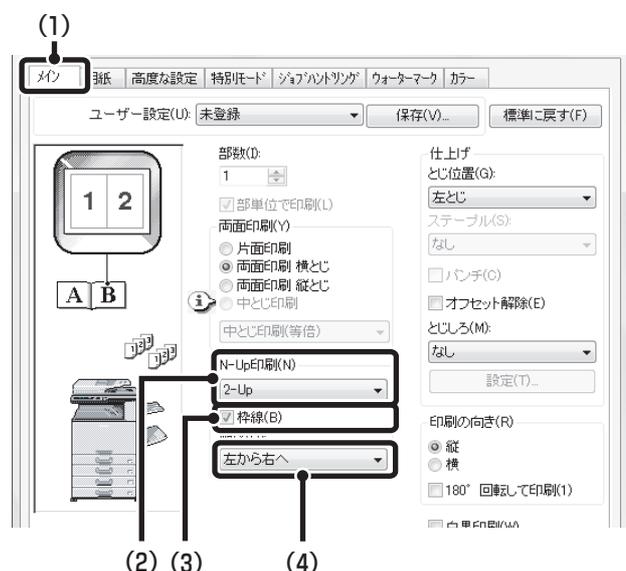
プリントする画像を縮小して1ページ上に複数ページを割り付けてプリントすることができます。写真など複数の画像データを1枚の用紙にプリントしたいときや、用紙を節約したいときに便利です。両面プリント機能と併用すると、さらに用紙を節約することが可能です。たとえば、[2-Up] (2ページ/枚) または[4-Up] (4ページ/枚) を選択した場合、選択した順序によって次に示すようなプリント結果になります。

N-Up (ページ/枚)	プリント結果		
	左から右へ	右から左へ	上から下へ (印刷の向きが横の場合)
2-Up (2ページ/枚)			

N-Up (ページ/枚)	左上から右方向へ	左上から下方向へ	右上から左方向へ	右上から下方向へ
4-Up (4ページ/枚)				

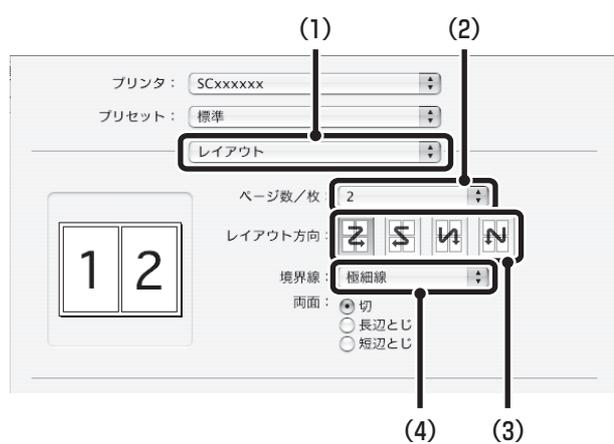
- 6-Up、8-Up、9-Up、16-Upのプリント順序は4-Upと同様です。
- Windows環境でお使いの場合、割り付け順序はプリンタードライバー設定画面のプリントイメージで確認できます。Macintosh環境でお使いの場合は、割り付け順序が選択項目として表示されます。
- Macintosh環境でお使いの場合、1ページに割り付け可能なページ数は、2、4、6、9、16ページです。

Windows



- (1) [メイン]タブ上で設定する
- (2) 1ページに割り付けるページ数を選択する
- (3) ページの境界線をプリントするときは、[枠線] チェックボックスをクリックして にする
- (4) 割り付ける順序を選択する

Macintosh



- (1) [レイアウト]を選択する
- (2) 1ページに割り付けるページ数を選択する
- (3) 割り付ける順序を選択する
- (4) ページの境界線をプリントするときは、境界線の種類を選択する



Mac OS X v10.2.8、v10.3.9をお使いの場合、ページの境界線をプリントするときは、「枠線」メニューから境界線の種類を選択してください。

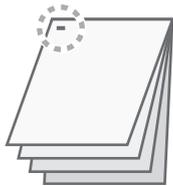
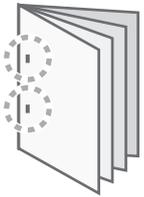
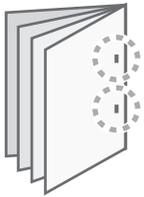
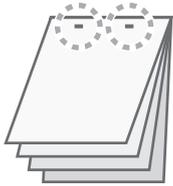
用紙をステープルでとじる／パンチ穴をあける

ステープル機能について

用紙をステープルでとじて排紙することができます。

会議用の資料を作成するときなど、ステープル機能を使用すると資料作成の手間を大幅に削減できます。両面プリント機能と併用すると、さらに完成度の高い資料を作成することも可能です。

とじ位置とステープル数を設定することにより、次のようなステープルプリントができます。

ステープル	左とじ	右とじ	上とじ
1箇所とじ*			
2箇所とじ			

* ステープルの向きは、用紙のサイズや向きによって異なります。

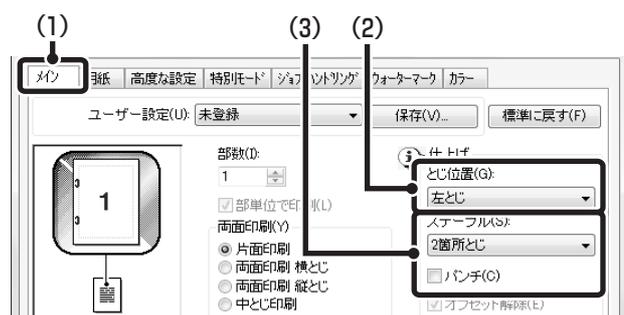
パンチ機能について

パンチ機能を設定すると、プリントした用紙にパンチ穴をあけて排紙することができます。パンチ穴の位置は、とじ位置で設定できます。

左とじ	右とじ	上とじ
		

- ステープル機能を使用するには、フィニッシャーが必要です。
- パンチ機能を使用するには、フィニッシャーにパンチユニットを装着する必要があります。
- ステープルでとじることができる最大枚数については、スタートガイドの「仕様」を参照してください。ステープルでとじることができる最大枚数は、表紙・合い紙を挿入した場合、それらの枚数を含みます。
- ステープル機能とオフセット（ジョブ単位ごとに位置をずらして排紙する）機能は同時に使用できません。
- 本機のシステム設定（管理者）でフィニッシャーの使用が禁止されているときは、ステープル機能とパンチ機能は使用できなくなります。
- 本機のシステム設定（管理者）でステープルまたはパンチ機能の使用が禁止されているときは、ステープルまたはパンチでとじることができません。

Windows



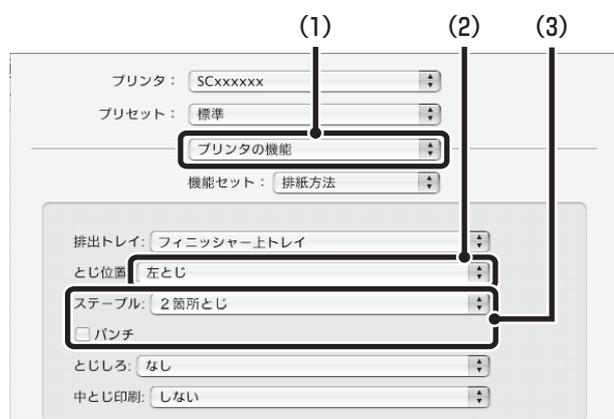
(1) [メイン]タブ上で設定する

(2) 「とじ位置」を選択する

(3) ステープルまたはパンチを設定する

- ステープルでとじるときは、「ステープル」メニューでステープル数を選択してください。
- パンチするときには、[パンチ] チェックボックスをクリックして にしてください。

Macintosh



(1) [プリンタの機能]を選択する

(2) 「とじ位置」を選択する

(3) ステープルまたはパンチを設定する

- ステープルでとじるときは、「ステープル」メニューでステープル数を選択してください。
- パンチするときには、[パンチ] チェックボックスをクリックして にしてください。



- Mac OS X v10.2.8をお使いの場合は、[高度な設定] を選択して設定してください。
- Mac OS 9をお使いの場合は、[排紙/ドキュメントスタイル]を選択して設定してください。

便利なプリント機能について

ここでは、プリントする目的に合わせて使える便利な機能について説明します。

- 冊子やポスターの作成に役立つ仕上げ機能
- データのサイズや向きなどを補正する機能 (3-38ページ)
- カラーモード調整機能 (3-42ページ)
- 文字や画像の合成機能 (3-47ページ)
- 特殊な用途に使えるプリント機能 (3-50ページ)
- 知っておくと便利なプリント機能 (3-57ページ)

用紙サイズの設定など基本的な設定が行われていることを前提に説明しています。プリンタードライバー設定画面の開きかたや基本的なプリントのしかたについては、下記を参照してください。

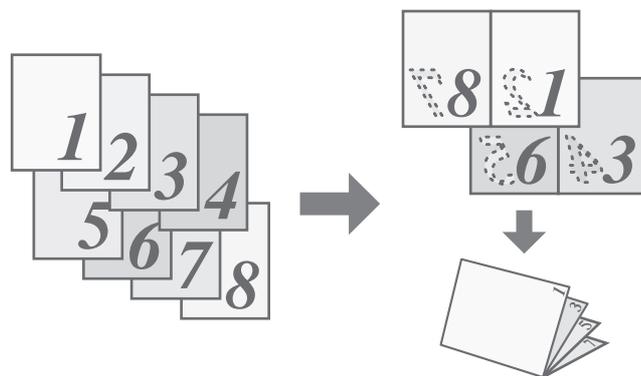
- ☞ Windows環境でお使いの場合：基本的なプリントのしかた (3-4ページ)
- ☞ Macintosh環境でお使いの場合：基本的なプリントのしかた (3-17ページ)

 Windows環境の場合、各プリント方法で使用するプリンタードライバーの設定項目についての詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

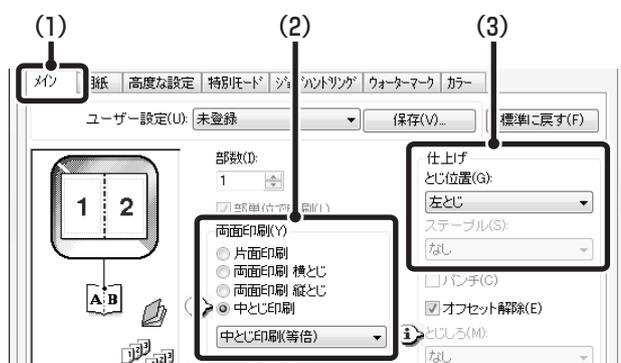
冊子やポスターの作成に役立つ仕上げ機能

中とじの冊子を作る (中とじ)

二つ折りにすると、中とじの冊子になるように用紙の表裏にプリントします。プリントした用紙をパンフレットのように製本して仕上げるときに便利です。

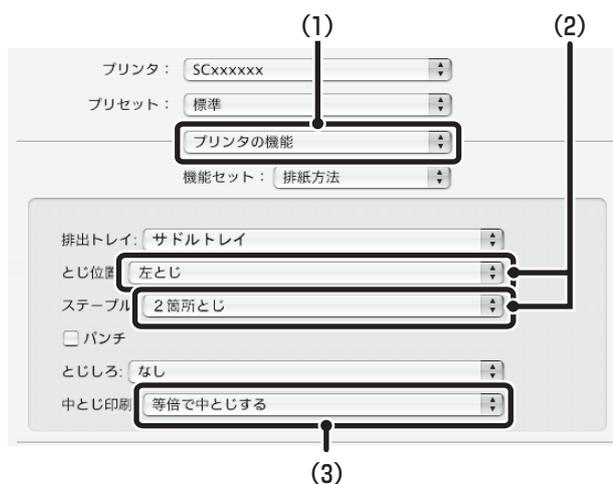


Windows



- (1) [メイン]タブ上で設定する
- (2) [中とじ印刷]を選択する
- (3) 「とじ位置」を選択する

Macintosh



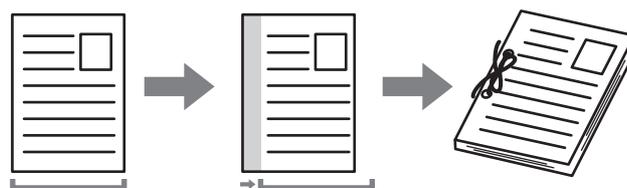
- (1) [プリンタの機能]を選択する
- (2) 「とじ位置」を選択する
- (3) [等倍で中とじする]または[2-Upで中とじする]を選択する



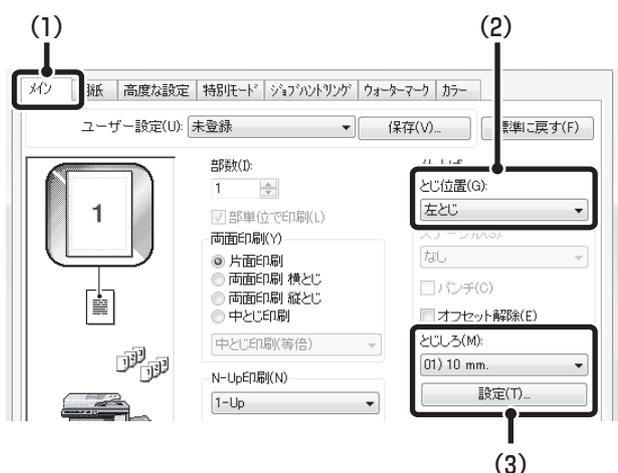
- Mac OS X v10.2.8をお使いの場合は、[高度な設定]にある「両面印刷」および「とじ位置」メニューから選択してください。
- Mac OS 9をお使いの場合は、[排紙/ドキュメントスタイル]を選択して設定してください。

とじしろを作ってプリントする（とじしろ）

プリントデータを移動させて、用紙の左／右／上のいずれかにとじしろを作ることができます。ステープルでとめたり、パンチ穴をあけて用紙をとじたいが、とじ位置が文字に重なってしまうときなどに便利です。フィニッシャー装着時は、本機のステープル機能やパンチ機能と併せて使うことができます。



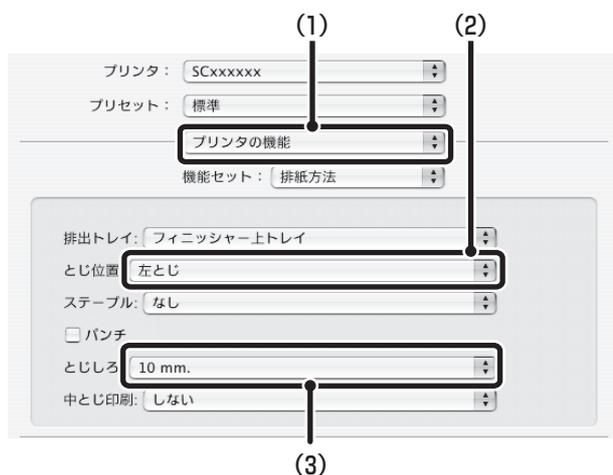
Windows



- (1) [メイン]タブ上で設定する
- (2) 「とじ位置」を選択する
- (3) 「とじしろ」を選択する

「とじしろ」メニューから選択します。その他の数値を設定したい場合は、プルダウンメニューからいずれかを選択したあと[設定]ボタンをクリックして、上下ボタンをクリックするか直接数値を入力してください。

Macintosh



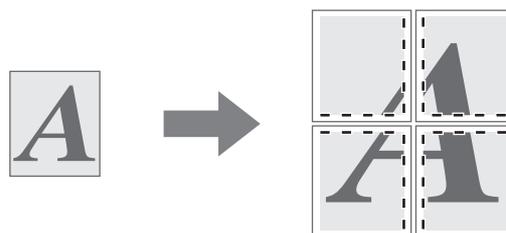
- (1) [プリンタの機能]を選択する
- (2) 「とじ位置」を選択する
- (3) 「とじしろ」を選択する

- Mac OS X v10.2.8をお使いの場合は、[高度な設定]にある「とじ位置」および「とじしろ」メニューから選択してください。
- Mac OS 9をお使いの場合は、[高度な設定]を選択し、とじしろメニューからとじ位置ととじしろを選択してください。

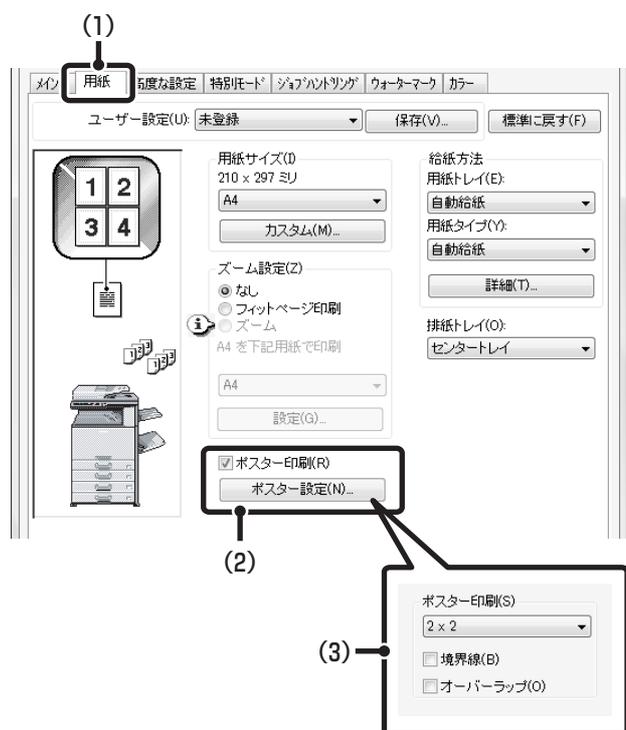
大判のポスターを作る（ポスター印刷）

（この機能はWindows環境でのみ使用できます。）

1ページのプリントデータを拡大して、複数枚の用紙（4枚（2x2）、9枚（3x3）、16枚（4x4）のいずれか）に分割してプリントすることができます。プリント後、用紙を貼り合わせることによって、1枚の大判ポスターに仕上がります。各用紙を貼り合わせるときに連結部分を隙間なくきれいに貼り合わせるように、境界線をプリントしたり、各用紙に重なり合う部分を作成して（オーバーラップ機能）プリントしたりすることもできます。



Windows

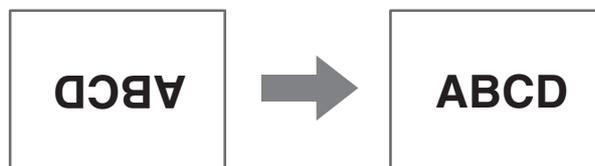


- (1) [用紙]タブをクリックする
- (2) [ポスター印刷] チェックボックスをクリックして にし、[ポスター設定] ボタンをクリックする
- (3) ポスター設定を行う
プルダウンメニューから分割したい枚数を選択します。境界線をプリントしたり、オーバーラップ機能を有効にしてプリントしたりするときは、それぞれのチェックボックスをクリックして にしてください。

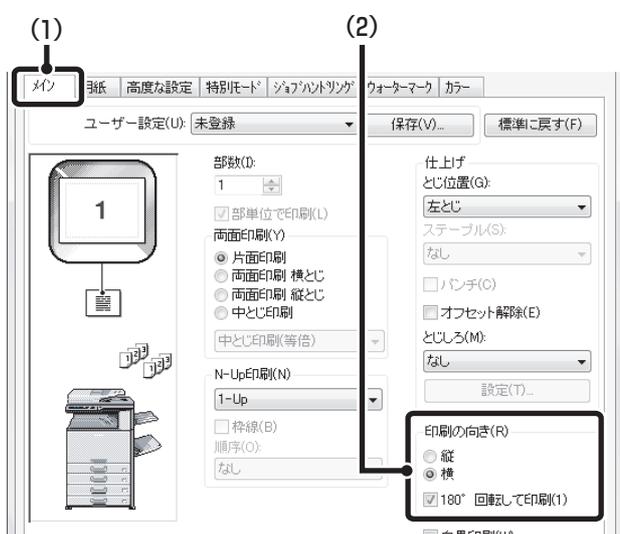
データのサイズや向きなどを補正する機能

データを180度回転させてプリントする (180° 回転して印刷)

一定の向きでしか本機にセットできない用紙（封筒、パンチ用紙など）に対し、正しくプリントできるように画像の向きを180度回転させることができます。（Mac OS Xをお使いの場合は、縦向きのデータを180° 回転させてプリントすることはできません。）

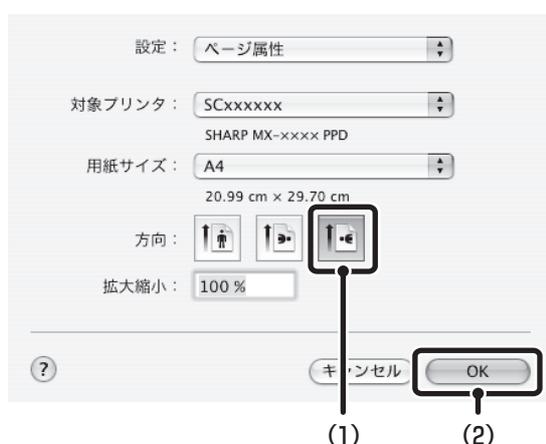


Windows



- (1) [メイン]タブ上で設定する
- (2) [180° 回転して印刷] チェックボックスをクリックして にする

Macintosh

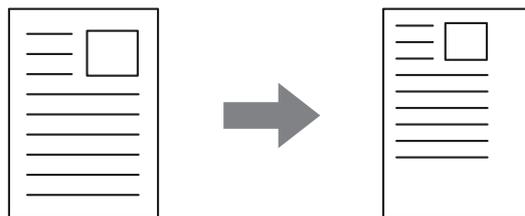


- (1) [ファイル]メニューの[ページ設定]で ボタンをクリックする
Mac OS 9をお使いの場合は、[ファイル]メニューの[用紙設定]で[PostScript オプション]を選択し、[横反転]と[縦反転]チェックボックスを にしてください。
- (2) [OK]ボタンをクリックする

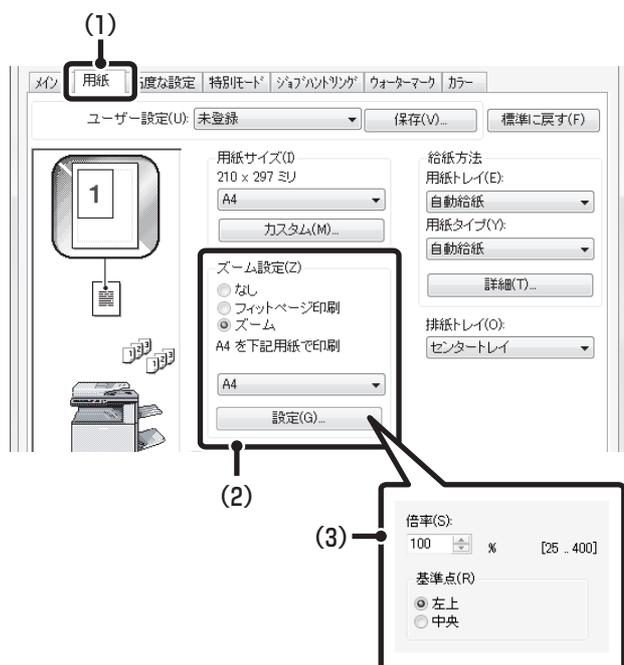
データを拡大・縮小してプリントする (ズーム／たてよこ独立変倍)

画像を数値 (%) で拡大または縮小してプリントすることができます。画像を少し小さくして用紙に余白を作りたいときや、小さな画像を大きくプリントしたいときに使用します。

PSプリンタードライバー (Windows) をお使いの場合は、たてとよこの比率を個別に設定することができます。画像を変形させてプリントすることができます。(たてよこ独立変倍)



Windows



(1) [用紙]タブをクリックする

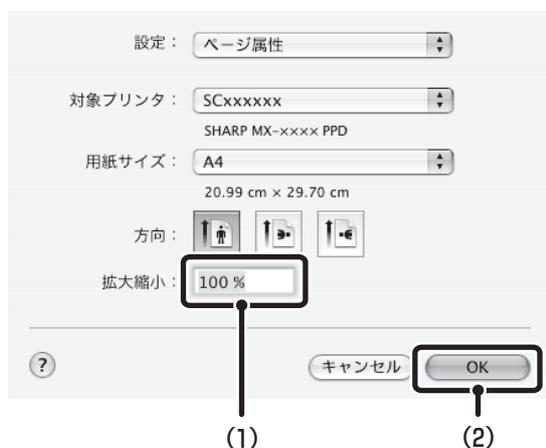
(2) [ズーム]を選択して、[設定]ボタンをクリックする

プルダウンメニューから実際にプリントする用紙のサイズを選択できます。

(3) ズーム設定を行う

直接数値 (%) を入力するか、 ボタンをクリックして1%刻みで倍率を変更します。また、用紙のどの位置を基準としてプリントするか、[左上]または[中央]から選択できます。

Macintosh



(1) [ファイル]メニューの[ページ設定]で倍率 (%) を入力する

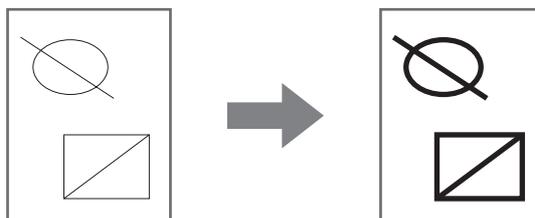
Mac OS 9をお使いの場合は、[ファイル]メニューの[用紙設定]で倍率 (%) を入力してください。

(2) [OK]ボタンをクリックする

線幅を調節してプリントする（線幅調整）

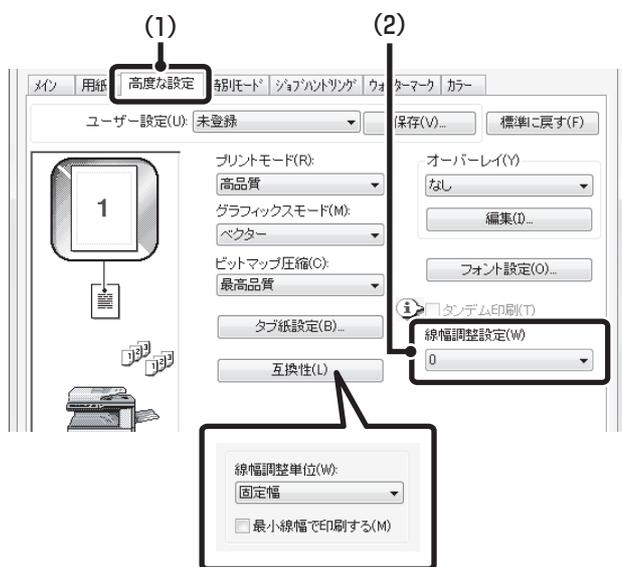
（この機能はWindows環境でのみ使用できます。）

CADなどの特殊用途で線が正しくプリントできないときに、線幅を全体的に太くするなど、ベクターデータの線幅を補正してプリントすることができます。（ビットマップ画像などのラスターデータは補正できません。）また、データ上の幅の異なる線をすべて最小線幅でプリントすることもできます。（白黒プリント時のみ）



Windows

（使用できるプリンタードライバーはSPDL2-cとSAPL-cです。）



(1) [高度な設定]タブをクリックする

(2) 線幅を調整する

プルダウンメニューから数値を選択します。

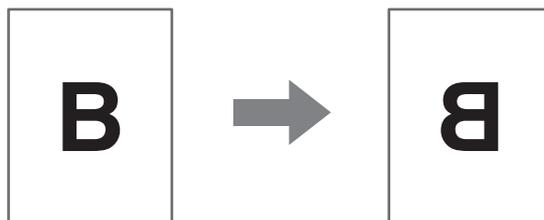


- 線幅調整の単位を「固定幅」または「比率」に変更できます。[互換性]ボタンをクリックして、「線幅調整単位」メニューから選択してください。
- データ上のすべての線を最小線幅でプリントしたいときは、[互換性]ボタンをクリックし、[最小線幅で印刷する]チェックボックスをクリックして にしてください。

SPDLは、Sharp Printer Description Languageの略称です。

鏡に映したように反転させてプリントする（鏡像）

画像を鏡に映したように反転させてプリントすることができます。この機能を使用すると、版画用や転写用の下絵をかんたんにプリントすることができます。



Windows

（使用できるプリンタードライバーはPSです。）



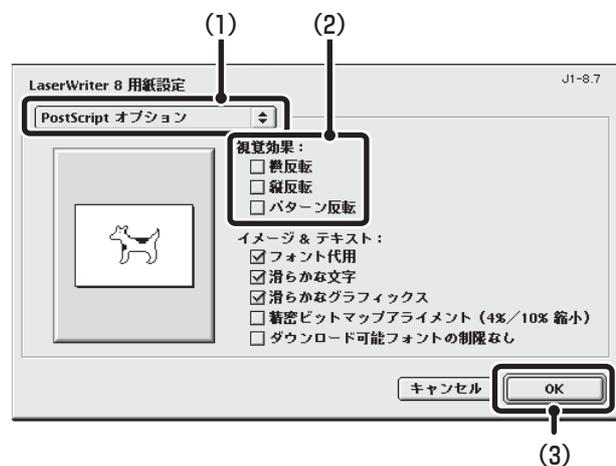
(1) [高度な設定]タブをクリックする

(2) 鏡像設定を行う

左右に反転させたいときは、[水平に反転]を、上下に反転させたいときは、[垂直に反転]を選択します。

Macintosh

（この機能は、Mac OS 9のみ使用できます。）



(1) [ファイル]メニューの[用紙設定]で[PostScript オプション]を選択する

(2) 「視覚効果」を選択する

左右に反転させたいときは、[横反転]を、上下に反転させたいときは、[縦反転]を選択します。

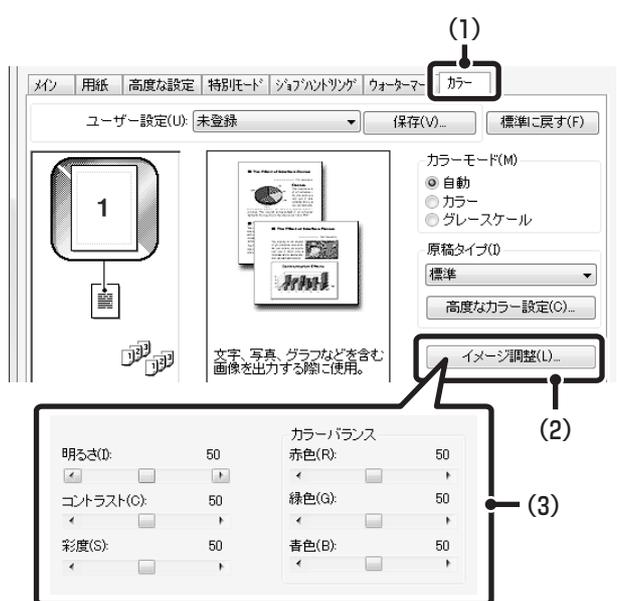
(3) [OK]ボタンをクリックする

カラーモード調整機能

画像の明るさやコントラストを調整してプリントする (イメージ調整)

写真画像などをプリントするときに、プリント時の設定で明るさやコントラストを補正することができます。画像の編集ソフトがお使いのコンピュータにインストールされていないときなど、簡易補正が行えます。

Windows

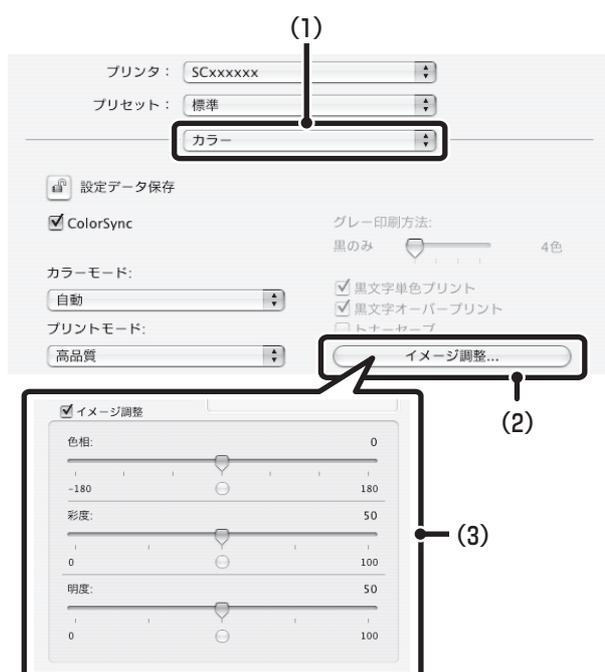


- (1) [カラー]タブをクリックする
- (2) [イメージ調整]ボタンをクリックする
- (3) 画像調整を行う

各設定値は、スライダーをドラッグ、または
ボタンをクリックして調整します。

Macintosh

(この機能は、Mac OS X v10.3.9、v10.4.11のみ使用できます。)



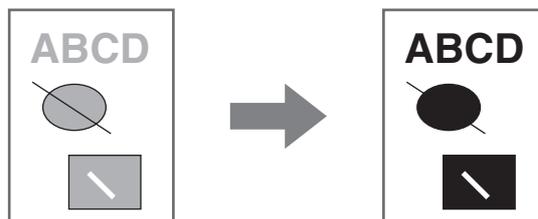
- (1) [カラー]を選択する
- (2) [イメージ調整]ボタンをクリックする
- (3) [イメージ調整]チェックボックスをクリックしてにし、画像調整を行う

各設定値は、スライダーをドラッグして調整します。

薄くて見づらい文字や線を黒色でプリントする (文字を黒色で印刷する / 線を黒色で印刷する)

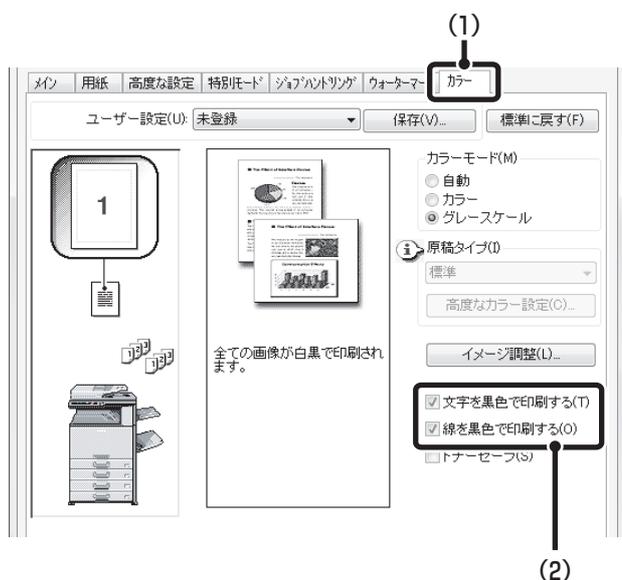
(この機能はWindows環境でのみ使用できます。)

カラーデータをグレースケールでプリントするときに、淡くプリントされるカラーの文字や線を、黒色に変換してプリントすることができます。(ビットマップ画像などのラスターデータは補正できません。) カラーの文字や線がグレースケールプリントでは薄くて見づらい場合に、より見やすくすることができます。



- [文字を黒色で印刷する]を選択すると、白色以外の文字をすべて黒色に変換してプリントできます。
- [線を黒色で印刷する]を選択すると、白色以外の線や面などベクターグラフィック部分をすべて黒色に変換してプリントできます。

Windows



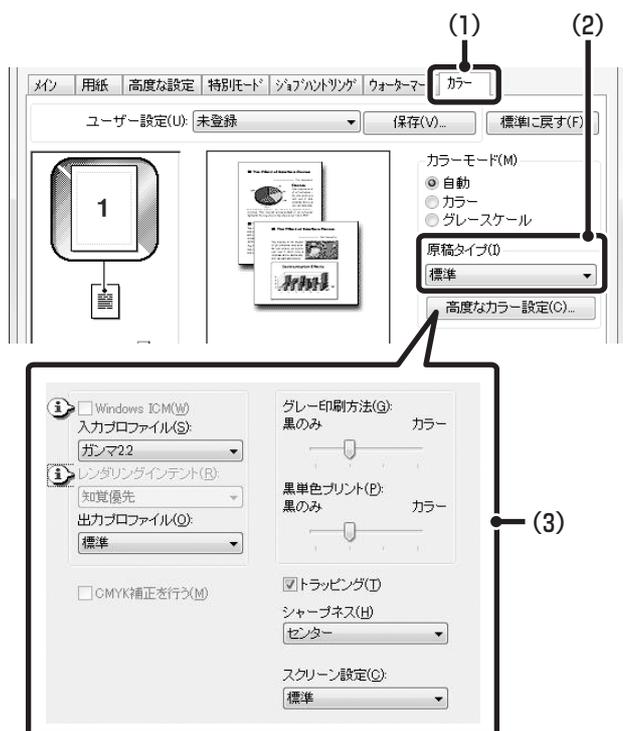
- (1) [カラー]タブをクリックする
- (2) [文字を黒色で印刷する]または[線を黒色で印刷する]チェックボックスをクリックして にする

データに応じたカラー設定でプリントする (高度なカラー設定)

本機のプリンタードライバーには、用途に合わせたカラー設定が用意されており、カラー画像の種類によって最適なカラー設定でプリントすることができます。

また、カラーマネージメントに関する設定や色の階調表現を調整できるスクリーン設定など、カラー画像のプリント用途に合わせた詳細設定が行えます。

Windows



(1) [カラー]タブをクリックする

(2) 「原稿タイプ」を選択する

プルダウンメニューからプリントするデータに合う原稿タイプを選択します。

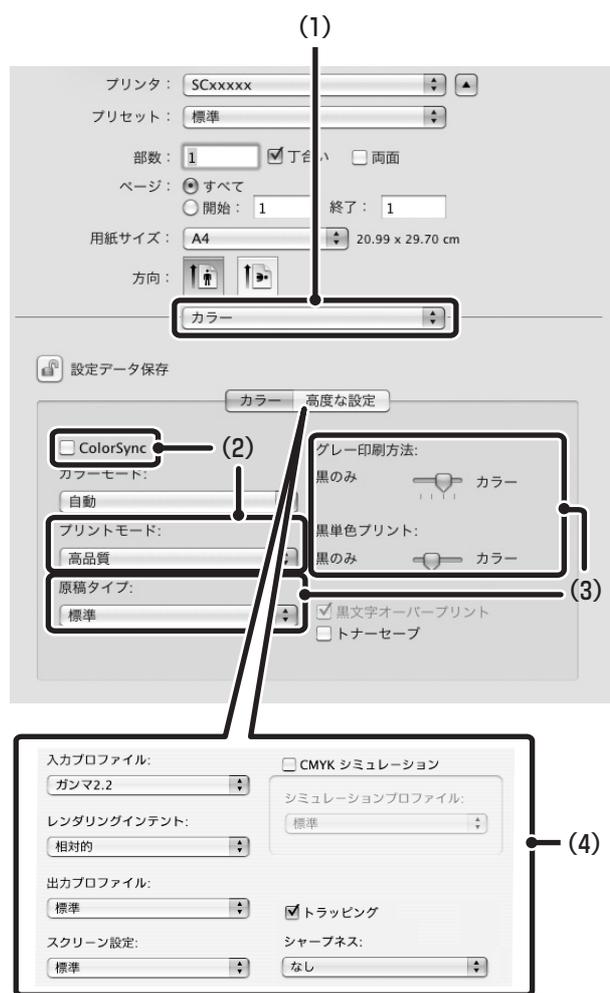
- 標準 (文字、写真、グラフなどを含むデータ)
- グラフィックス (図やイラストが多いデータ)
- 写真画像 (写真や、写真が使用されているデータ)
- CAD (エンジニアリング図面データ)
- スキャン画像 (スキャナーで取り込んだデータ)
- 色差最小 (画面上の色に近づけてプリントしたいデータ)
- 写真画像 (光沢紙) (光沢紙にプリントしたい写真データ)
- カスタム (特定の設定でプリントしたいデータ)

(3) 高度なカラー設定を行う

詳細な設定を行いたいときは、[高度なカラー設定]ボタンをクリックします。OSの持つWindows ICM*を利用しカラーマネージメントを行う場合は、(2)の「原稿タイプ」を[カスタム]に設定してから[Windows ICM]チェックボックスをクリックして☑にしてください。「入力プロファイル」など、詳細なカラーマネージメント設定を行う場合は、それぞれのメニューから使用する設定を選択してください。

*Windows Vista/Server 2008/7上でPSプリンタードライバーをお使いの場合、設定できません。

Macintosh



(1) [カラー]を選択する

(2) カラー設定を行う

Mac OSのカラーマネージメント機能を使用する場合は、[ColorSync]チェックボックスをクリックして にしてください。その場合、「画像タイプ」は選択できません。

(3) カラー画像の種類を選択する

プルダウンメニューからプリントするデータに合う原稿タイプを選択します。

- 標準（文字、写真、グラフなどを含むデータ）
- グラフィックス（図やイラストが多いデータ）
- 写真画像（写真や、写真が使用されているデータ）
- CAD（エンジニアリング図面データ）
- スキャン画像（スキャナーで取り込んだデータ）
- 色差最小（画面上の色に近づけてプリントしたいデータ）
- カスタム（特定の設定でプリントしたいデータ）

[カスタム]を選択したときは「グレー印刷方法」を設定することができます。

(4) 高度なカラー設定を行う

詳細な設定を行いたいときは、[高度な設定]ボタンをクリックします。カラーマネージメント設定を行う場合は、それぞれのメニューから使用する設定を選択してください。「CMYK シミュレーション」を設定するときは、[CMYKシミュレーション]チェックボックスを にしてから設定を行ってください。

- Mac OS X v10.5~10.5.8、10.6~10.6.5をお使いの場合、高度なカラー設定は、[高度なカラー設定]タブをクリックして行います。
- Mac OS X v10.2.8をお使いの場合、カラー画像の種類は、「カラー選択」メニューから選択してください。
- Mac OS 9をお使いの場合、カラーマネージメントに関する設定項目は、[カラー]、[カラー 2]、[カラー 3]を選択してそれぞれの設定を行ってください。

カラーマネージメントに関する設定には、次のものがあります。
 (お使いのOS、プリンタードライバーの種類によって設定できないものもあります。)

- | | |
|-----------------|---|
| • Windows ICM : | Windows環境でのカラーマネージメントの方法 |
| • ColorSync : | Macintosh環境でのカラーマネージメントの方法 |
| • 入力プロファイル : | コンピュータの画面上で画像を表示させる際に使用しているカラープロファイルの選択 |
| • レンダリングインテント : | コンピュータの画面上で表示されている画像の色合いを本機でプリントできる色合いに変換する際の基準 |
| • 出力プロファイル : | プリントする画像に使用するカラープロファイルの選択 |
| • CMYK補正を行う : | CMYKの画像を出力する際に、最適な出力結果が得られるように補正できます。 |
| • スクリーン設定 : | プリントする画像に最適な画像処理方法を設定できます。 |
| • グレー印刷方法 : | グレー部分のプリントに使用するトナー色を指定できます。 |
| • 黒単色プリント : | 黒色のデータを、黒トナーのみでプリントすることができます。 |
| • トラッピング : | 色の境界に白抜けができるのを防ぐことができます。 |
| • シャープネス : | 画像の輪郭をくっきりさせたり、なめらかにすることができます。 |

- ブラックオーバープリント： 黒文字の周囲が白く抜けるのを防ぐことができます。
- CMYKシミュレーション： 印刷機で使用されるプロセスカラーのインクで出力したような結果が得られるように色調整することができます。
- シミュレーションプロファイル： プロセスカラーの選択

本機のカラーバランスに合わせてプリントする

(この機能はWindows環境でのみ使用できます。)

カラーやグレースケールでプリントするとき、本機の色合い情報とコンピュータ側でデータを展開する場合の色合い情報が異なると、満足なプリント結果が得られないことがあります。

プリント結果の色合いがおかしいと感じた場合、「中間調補正」を行うことをお勧めします。

また、以下のような場合は必ず「中間調補正」を行って本機の色合い情報を取得してからプリントしてください。

- プリンタードライバーのインストール後はじめてプリントする場合
- 本機の操作でカラーバランス調整を行った場合
- 本機の操作でプリント印字濃度調整を行った場合

Windows

(使用できるプリンタドライバはSAPL-cです。)

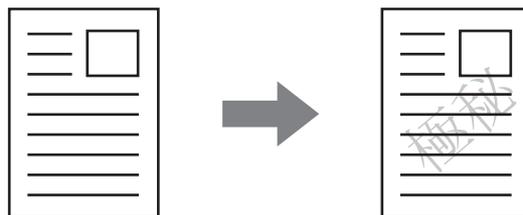
- (1) [カラー]タブをクリックする
- (2) [中間調補正]ボタンをクリックする
- (3) [OK]ボタンをクリックする



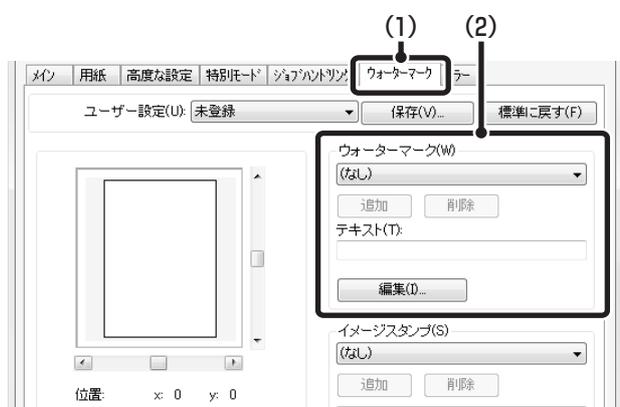
文字や画像の合成機能

すかし文字を入れてプリントする（ウォーターマーク）

プリントデータの背面に影のように薄く文字を入れてプリントすることができます。ウォーターマークの文字サイズ、カラー、濃度、角度は調整することができます。ウォーターマークはあらかじめ登録されている文字をリストの中から選択することができますが、文字を入力してオリジナルを作成することもできます。



Windows



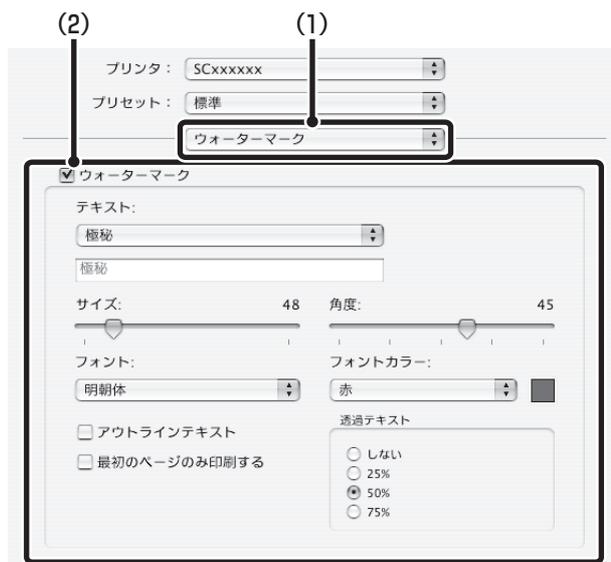
(1) [ウォーターマーク]タブをクリックする

(2) ウォーターマーク設定を行う

プルダウンメニューから登録されたウォーターマークを選択します。[編集]ボタンをクリックすると、フォントや色の編集など、より詳細な設定を行うことができます。

 **新しくウォーターマークを作成したいときは…**
「テキスト」に文字を入力し、[追加]ボタンをクリックしてください。

Macintosh



(1) [ウォーターマーク]を選択する

(2) [ウォーターマーク]チェックボックスをクリックしてウォーターマーク設定を行う

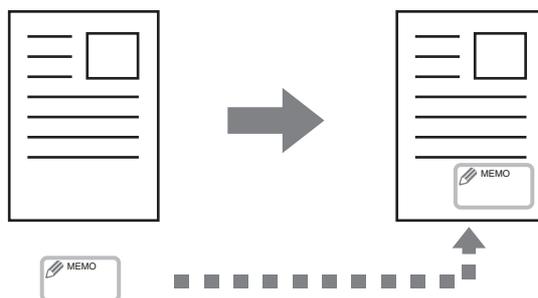
テキストの選択、フォントや色の編集など、ウォーターマークの詳細な設定が行えます。テキストのサイズや角度は、スライダーをドラッグして調整してください。

 Mac OS 9をお使いの場合は、[ウォーターマーク]を選択し、それぞれのメニューから設定を行ってください。

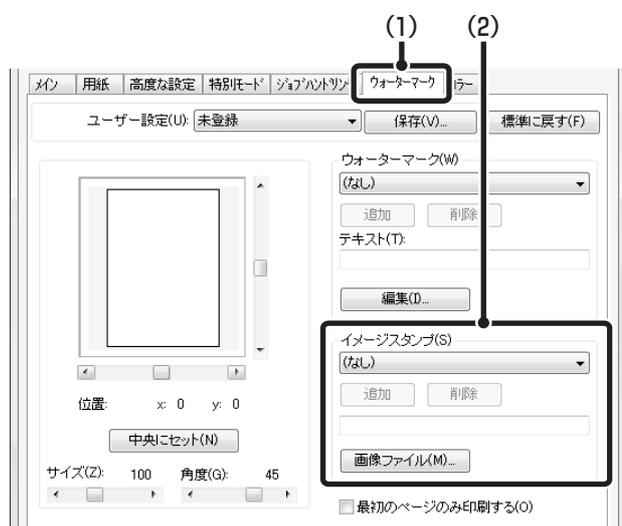
画像をデータに重ねてプリントする（イメージスタンプ）

（この機能はWindows環境でのみ使用できます。）

プリントデータの前面に、コンピュータに保存されているビットマップまたはJPEGの画像を重ねてプリントすることができます。イメージスタンプの画像の大きさ、配置位置、角度は調整することができます。よく使う画像や自作のアイコンなどをスタンプを押したようにプリントすることができます。



Windows



(1) [ウォーターマーク]タブをクリックする

(2) イメージスタンプ設定を行う

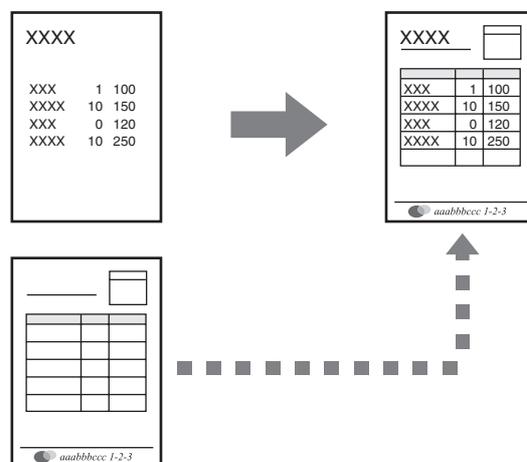
すでに登録したイメージスタンプがある場合は、プルダウンメニューから選択します。

イメージスタンプを登録していない場合は、[画像ファイル]ボタンをクリックし、イメージスタンプにしたいファイルを選択して[追加]ボタンをクリックします。

定型フォームを作成してプリントデータを重ねる (オーバーレイ)

(この機能はWindows環境でのみ使用できます。)

あらかじめ用意した定型フォーマットデータの上に重ねてプリントすることができます。テキストデータと異なるアプリケーションソフトで作成した表枠や飾り枠などをオーバーレイファイルとして登録しておくことで、複雑な操作を行わなくてもかんたんに見栄えのよいプリント結果を得ることができます。

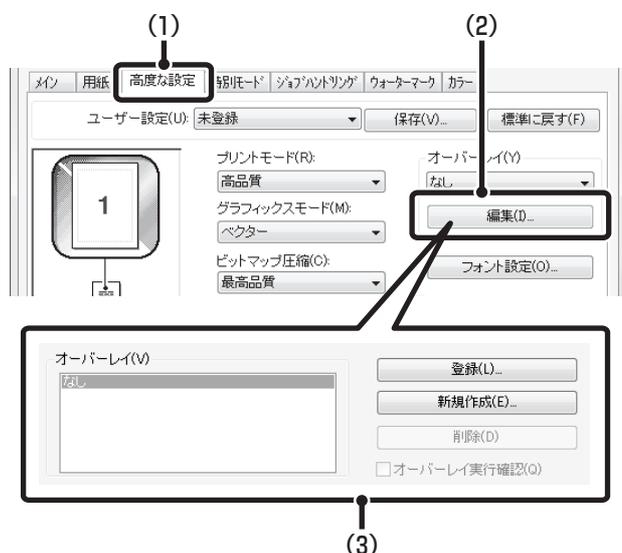


オーバーレイファイル

Windows

(使用できるプリンタードライバーはSPDL2-cとPSです。)

オーバーレイファイルを作成する



(1) [高度な設定]タブをクリックする

オーバーレイ用に作成したいアプリケーションソフトからプリンタードライバー設定を行ってください。

(2) [編集]ボタンをクリックする

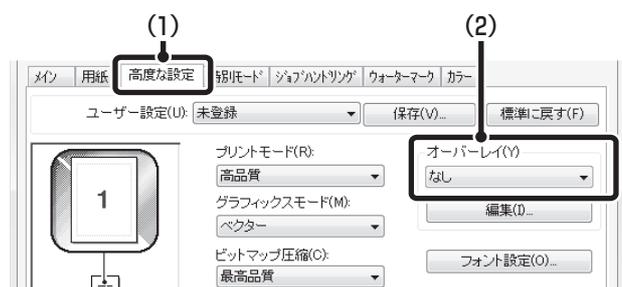
(3) オーバーレイファイルを作成する

[新規作成]ボタンをクリックし、作成したいオーバーレイファイルの名前と保存先を指定します。設定を完了し、プリンタードライバーを開始すると、オーバーレイファイルが作成されます。



- プリントを開始すると、確認メッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックするまでオーバーレイファイルは作成されません。
- [登録]ボタンをクリックすると、既存のオーバーレイファイルを登録することができます。

オーバーレイファイルを使用してプリントする



(1) [高度な設定]タブをクリックする

オーバーレイファイルを使ってプリントしたいアプリケーションソフトからプリンタードライバー設定を行ってください。

(2) オーバーレイファイルを選択する

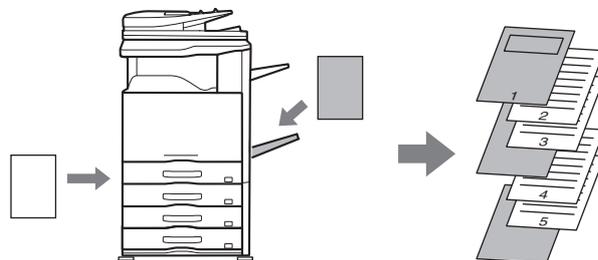
プルダウンメニューからあらかじめ作成または登録したオーバーレイファイルを選択します。

特殊な用途に使えるプリント機能

特定のページを異なる用紙でプリントする（用紙挿入）

• Windows環境でお使いの場合

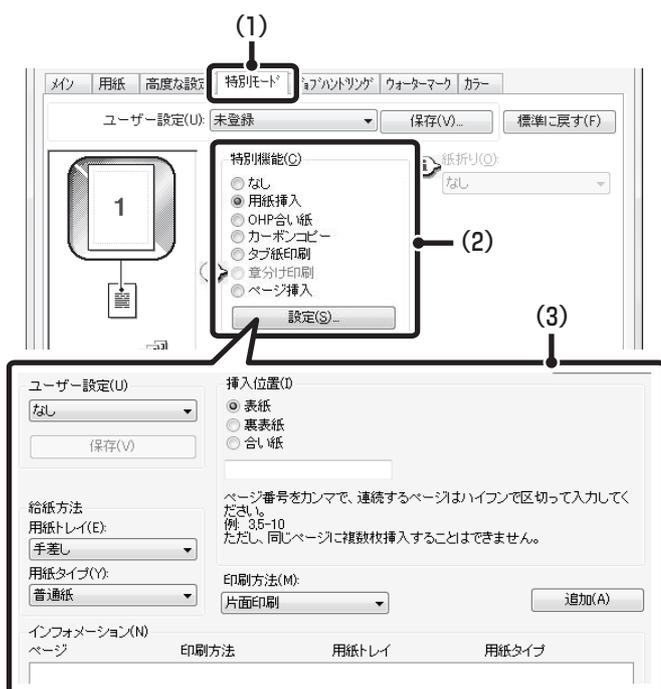
文書の表紙、裏表紙、または特定のページを、他のページと異なる用紙でプリントすることができます。表紙と裏表紙だけ厚紙にプリントしたいときや、指定したページに色紙など別の用紙を挿入したいときに使用します。挿入する用紙にはプリントせず合い紙として挿入することもできます。（SAPL-cでは表紙のみ挿入できます。）



• Macintosh環境でお使いの場合

文書の表紙と裏表紙を他のページと異なる用紙でプリントできます。表紙と裏表紙だけ厚紙にプリントしたいときなどに使用します。

Windows



(1) [特別モード]タブをクリックする

(2) [用紙挿入]を選択し、[設定]ボタンをクリックする

(3) 用紙挿入設定を行う

用紙を挿入する位置、挿入する用紙の給紙方法と印刷方法をそれぞれのメニューから設定してください。[追加]ボタンをクリックすると、設定した内容が「インフォメーション」に表示されます。設定が完了したら、「ユーザー設定」にある[保存]ボタンをクリックし、設定した内容を保存してください。



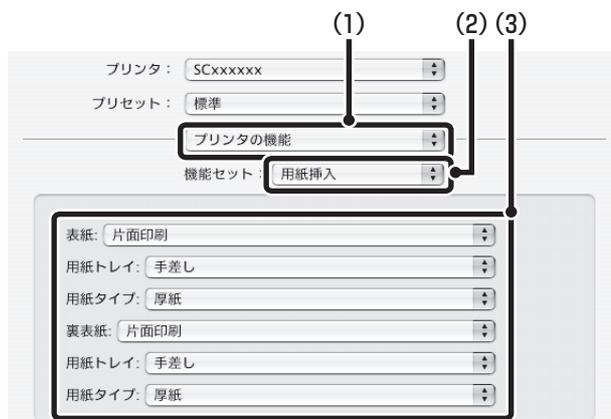
• 「用紙トレイ」から[手差し]を選択したときは、必ず「用紙タイプ」も選択し、本機の手差しトレイも同じタイプに設定してください。

• 合い紙挿入設定について

「挿入位置」で[合い紙]を選択した場合は、ページ番号を直接入力して合い紙の挿入位置を指定できます。ただし、合い紙を同じページに連続して挿入することはできません。また、「印刷方法」を[両面印刷]にした場合は、指定したページとその次のページが用紙の表面と裏面にプリントされるため、裏面にプリントされるページの合い紙設定は無効になります。

Macintosh

(この機能は、Mac OS 9、Mac OS X v10.4.11、v10.5~10.5.8、10.6~10.6.5のみ使用できます。)



(1) [プリンターの機能]を選択する

(2) [用紙挿入]を選択する

(3) 表紙挿入設定を行う

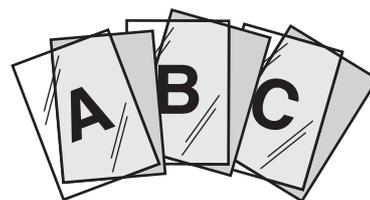
表紙と裏表紙の印刷方法と、それぞれに使用する用紙トレイと用紙タイプを選択してください。



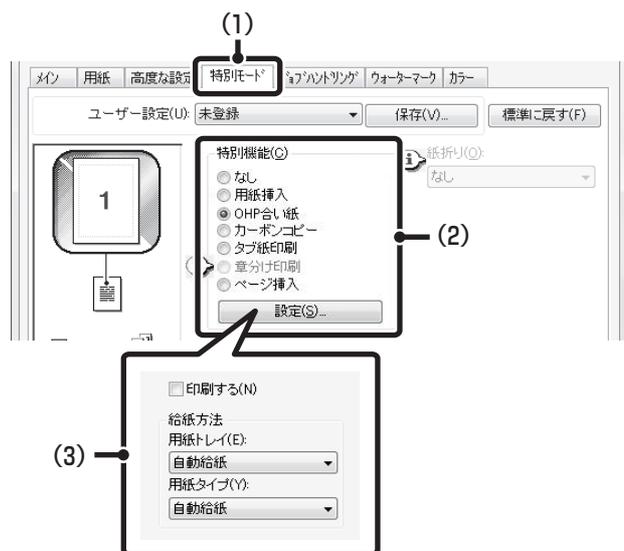
Mac OS 9をお使いの場合は、[用紙挿入]を選択し、表紙と裏表紙の設定を行ってください。

OHPフィルムにプリントするとき合い紙を挿入する (OHP合い紙)

OHPフィルムにプリントする際、用紙を1枚はさむことにより、OHPフィルムどうしが貼り付くのをふせぐ機能です。挿入する用紙には、OHPフィルムにプリントした内容と同じ内容をプリントすることもできます。



Windows

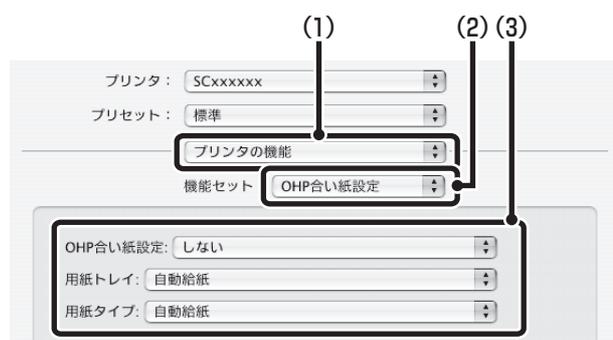


- (1) [特別モード]タブをクリックする
- (2) [OHP合い紙]を選択し、[設定]ボタンをクリックする
- (3) OHP合い紙設定を行う

[印刷する]チェックボックスをクリックして にすると、OHP用紙と同じ文書を合い紙にプリントできます。必要に応じて、給紙方法を設定してください。

本機の手差しトレイの「用紙タイプ」を [OHP] に設定してください。

Macintosh



- (1) [プリンタの機能]を選択する
 - (2) [OHP合い紙設定]を選択する
 - (3) OHP合い紙設定を行う
- 「OHP合い紙設定」から[印刷する]を選択すると、OHP用紙と同じ文書を合い紙にプリントできます。必要に応じて、給紙方法を設定してください。

本機の手差しトレイの「用紙タイプ」を [OHP] に設定してください。

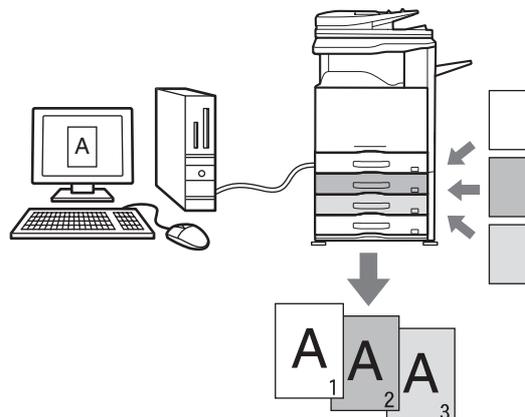
- Mac OS X v10.2.8をお使いの場合は、[高度な設定]の [OHP合い紙設定] チェックボックスをクリックして にしてください。
- Mac OS 9をお使いの場合は、[OHP合い紙設定] を選択し、「OHP合い紙設定」メニューから選択してください。必要に応じて、給紙方法を設定してください。

複写伝票のようにプリントする（カーボンコピー）

（この機能はWindows環境でのみ使用できます。）

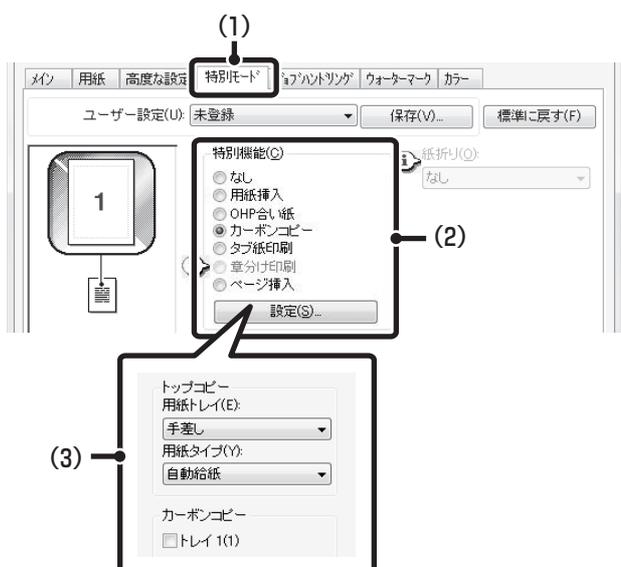
本機の複数のトレイにセットされた同一サイズの用紙に、同一データをプリントする機能です。

たとえば、本機のトレイ1に標準紙、トレイ2に色紙をセットしてカーボンコピープリントを実行すれば、一度のプリント指示で、複写式の伝票のようなプリント結果を得ることができます。また、トレイ1に標準紙、トレイ2に再生紙をセットしてカーボンコピープリントを行うことにより、提出用と控え用の印刷物を同時に用意することも可能です。



Windows

（使用できるプリンタードライバーはSPDL2-cとPSです。）



- (1) [特別モード]タブをクリックする
- (2) [カーボンコピー]を選択し、[設定]ボタンをクリックする
- (3) カーボンコピー設定を行う
最初にプリントするトレイを「トップコピー」から選択し、2枚目以降にプリントするトレイを「カーボンコピー」から選択します。

 手差しトレイを選択したときは、必ず「用紙タイプ」も選択してください。

SPDLは、Sharp Printer Description Languageの略称です。

タブ紙のタブに文字をプリントする(タブ紙設定／タブ紙印刷)

(この機能はWindows環境でのみ使用できます。)

タブ紙のタブ部分に文字をプリントする機能です。

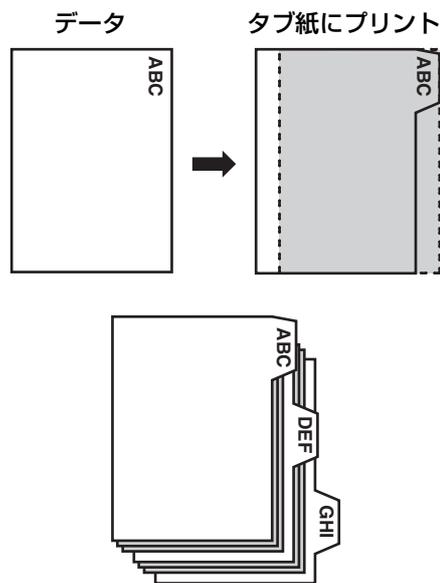
タブ紙設定 (SPDL2-c、PSのみ)

タブ用紙にプリントしたい文字データをアプリケーションソフトで作成したあと、プリンタードライバー設定画面[高度な設定]タブの[タブ紙設定]で、データをどれだけ移動させるか設定することで、タブ部分にプリントすることができます。

タブ紙印刷 (SPDL2-cのみ)

タブ用紙を挿入したいページに挿入しながらプリントすることができます。

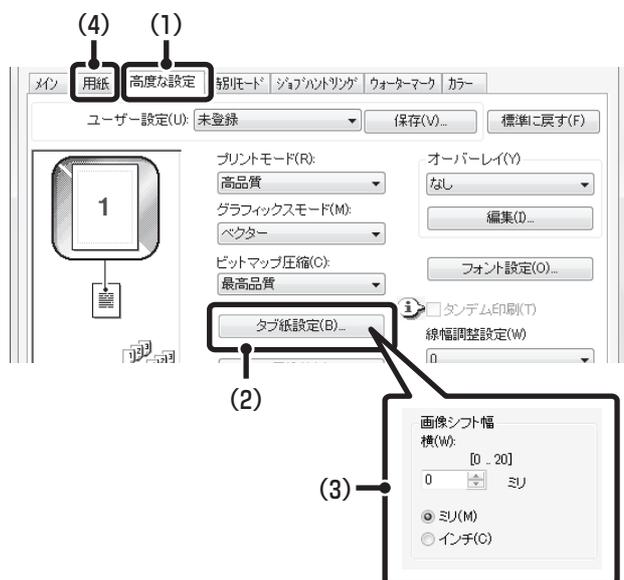
プリンタードライバー設定画面[特別モード]タブの[タブ紙印刷]で、タブ部分にプリントする文字列を入力することができ、タブ部分の大きさや開始位置、次のタブまでの間隔、タブ紙を挿入するページ番号など、詳細な設定ができます。



Windows

タブ紙設定 (SPDL2-c、PSのみ)

アプリケーションソフトで、タブ用紙にプリントするデータを作成したあと、以下の設定を行ってください。



(1) [高度な設定]タブをクリックする

(2) [タブ紙設定]ボタンをクリックする

(3) タブ紙設定を行う

画像を移動させる幅を直接数値で入力するか、 ボタンをクリックして変更します。

(4) 給紙方法を設定する

[用紙]タブをクリックし、「用紙トレイ」に[手差しトレイ]を選択し、「用紙タイプ」は[タブ紙]を選択します。

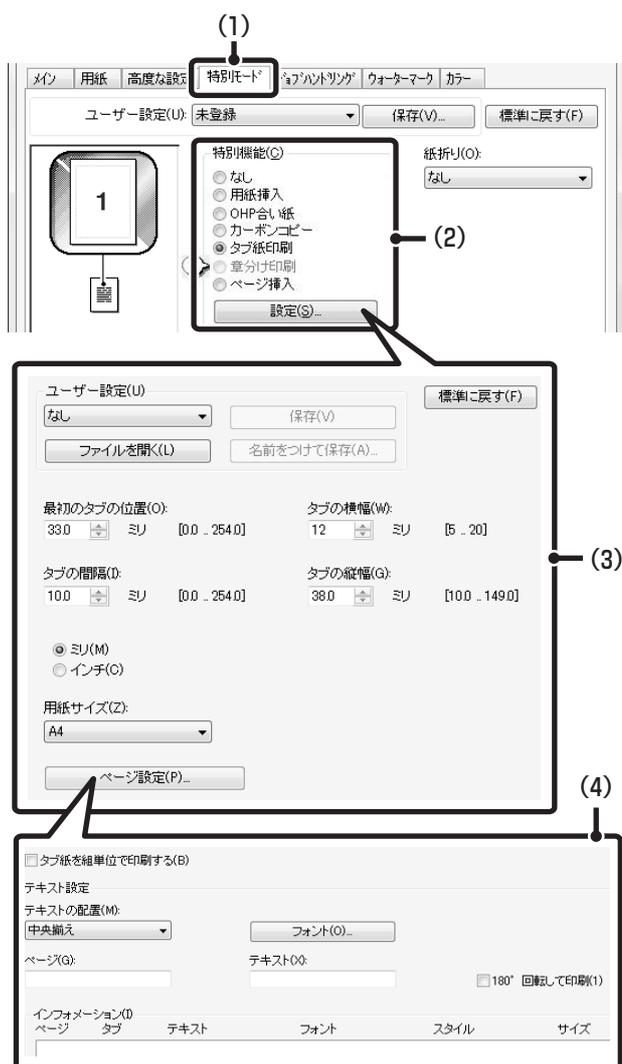


本機の手差しトレイの「用紙タイプ」を[タブ紙]に設定してください。

SPDLは、Sharp Printer Description Languageの略称です。

タブ紙印刷 (SPDL2-cのみ)

タブ紙を挿入したいデータを開いてから設定してください。



(1) [特別モード]タブをクリックする

(2) [タブ紙印刷]を選択し、[設定]ボタンをクリックする

(3) タブの位置設定を行う

市販のタブ紙の場合、「ユーザー設定」から[A4-5tab-D]など既存の設定を使うことができます。その他のタブ紙の場合は、最初のタブの位置、タブの間隔、タブの縦幅と横幅を直接入力するか、 ボタンをクリックして変更します。また、「用紙サイズ」からプリントするタブ紙の用紙サイズを選択できます。

(4) ページ設定を行う

タブ紙を挿入したいページを指定してタブ部分にプリントされる文字を入力します。文字のフォントや配置も設定できます。



- 本機の手差しトレイの「用紙タイプ」を[タブ紙]に設定してください。
- 「ユーザー設定」でタブ紙設定の内容を保存したり、保存したファイルを開いたりすることができます。

SPDLは、Sharp Printer Description Languageの略称です。

両面プリントで特定のページが表面になるようにプリントする（章分け印刷）

（この機能はWindows環境でのみ使用できます。）

特定のページが表面になるようにプリントすることができます。

表面にプリントしたいページ（章扉など）を指定すると、本来裏面にプリントされるページであっても、次の用紙の表面にプリントされます。

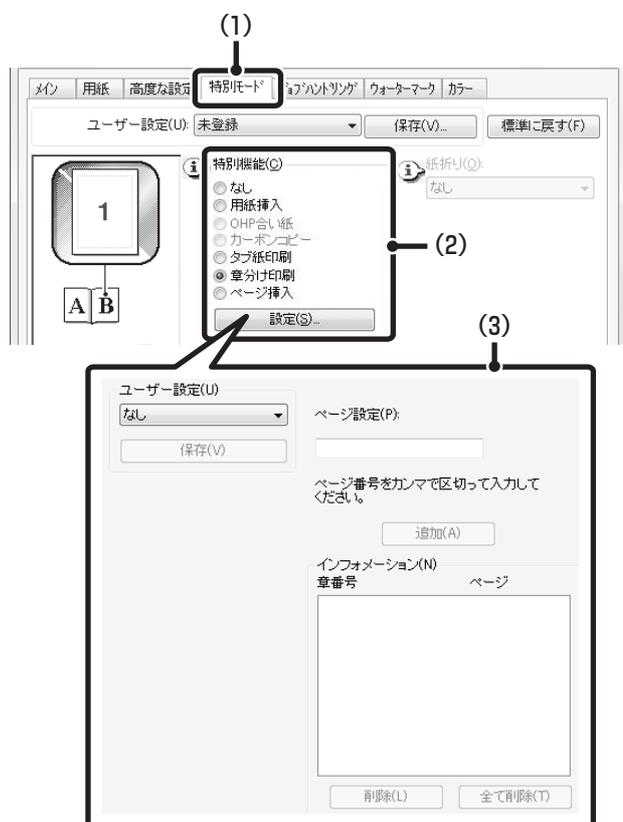
例：ページ設定を“4、8”に指定した場合



（裏は白紙）

Windows

（使用できるプリンタードライバーはSPDL2-cです。）



- (1) [特別モード]タブをクリックする
- (2) [章分け印刷]を選択し、[設定]ボタンをクリックする
- (3) 章分け印刷設定を行う

「ページ設定」に、各章の先頭ページになるページを入力してください。[追加]ボタンをクリックすると、設定した内容が「インフォメーション」に表示されます。設定が完了したら、「ユーザー設定」にある[保存]ボタンをクリックし、設定した内容を保存してください。

SPDLは、Sharp Printer Description Languageの略称です。

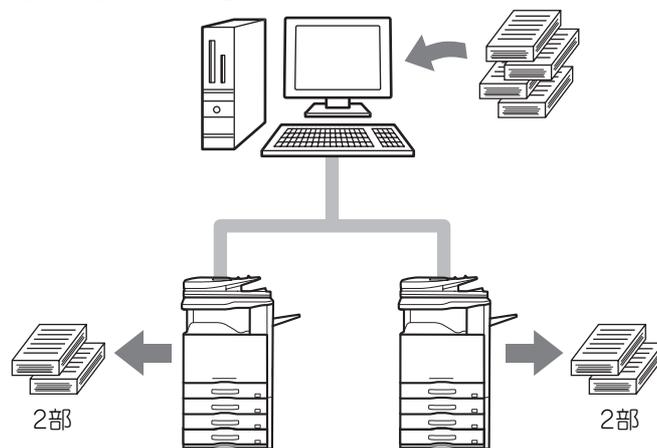
知っておくと便利なプリント機能

大量のプリントデータを2台に分けてプリントする (連結印刷)

この機能を使用するには、本機が2台必要です。ネットワークに接続された2台の本機を使用して、大量のプリント作業を同時に行うことができます。各台でのプリントが半分で済むため、大量の部数をプリントするときにはプリント処理時間を短縮できます。

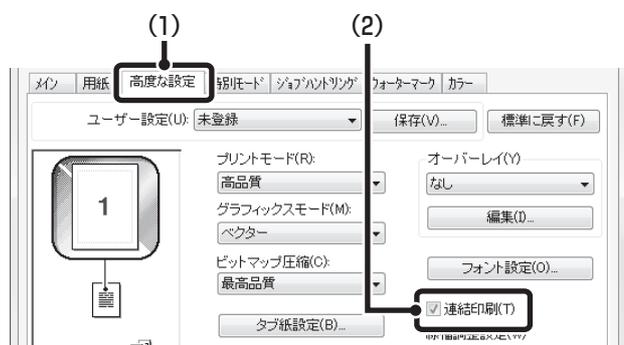
連結印刷を行うには、本機のシステム設定（管理者）「連結印刷設定」で登録されている相手機のIPアドレスをプリンタードライバースに登録する必要があります。Windows環境でお使いの場合は、プリンタードライバースの[オプション]タブで[オプション自動設定]ボタンをクリックすると自動で登録できます。Macintosh環境でお使いの場合は、[連結設定]ボタンをクリックすると自動で登録できます。

例：4部プリントする



Windows

(使用できるプリンタードライバースはSPDL2-cとPSです。)



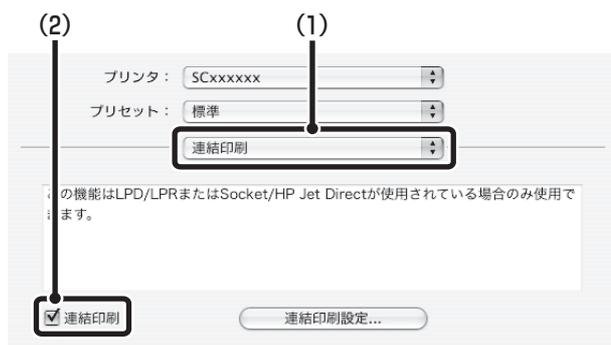
- (1) [高度な設定]タブをクリックする
- (2) [連結印刷] チェックボックスをクリックして にする



連結印刷機能は、プリンタードライバースインストール時に「カスタムインストール」で[LPRダイレクト(アドレス指定/自動検索)]を選択し、「連結印刷機能を使用しますか?」でYesにチェックしてインストールした場合のみ使用できます。

Macintosh

(この機能は、Mac OS Xのみ使用できます。)



- (1) [連結印刷]を選択する
- (2) [連結印刷] チェックボックスをクリックして にする



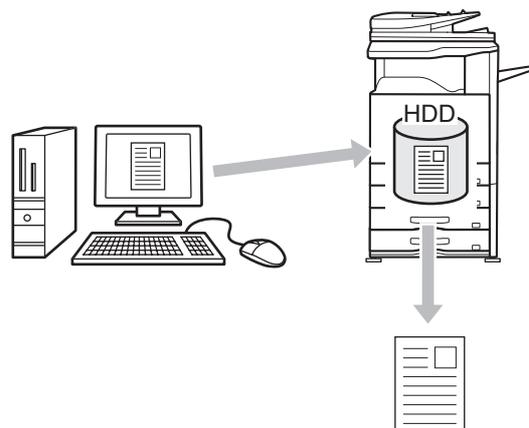
連結印刷機能を使用するには、プリンター設定ユーティリティ(Mac OS X v10.2.8はプリントセンター)でプリンタードライバースを追加する際に、左の画面に表示されるメッセージ内容に従って、使用するプロトコルが選択されている必要があります。

プリントデータを保存して使用する (リテンション／ドキュメントファイリング)

プリントデータを本機内蔵のハードディスクに保存し、必要なときに本機の操作パネルからプリントできる機能です。保存場所の指定もでき、他のユーザーのプリントデータとの混在を防ぎます。

また、コンピュータからプリントするときにパスワード(5～8桁の暗証番号)を設定すると、保存されたデータの機密保持を高めることができます。

パスワード設定時、本機から保存されたデータをプリントするときはパスワードの入力が必要となります。



印刷せずにホールド

データをプリントせずに本機のハードディスクに保存します。

印刷後ホールド

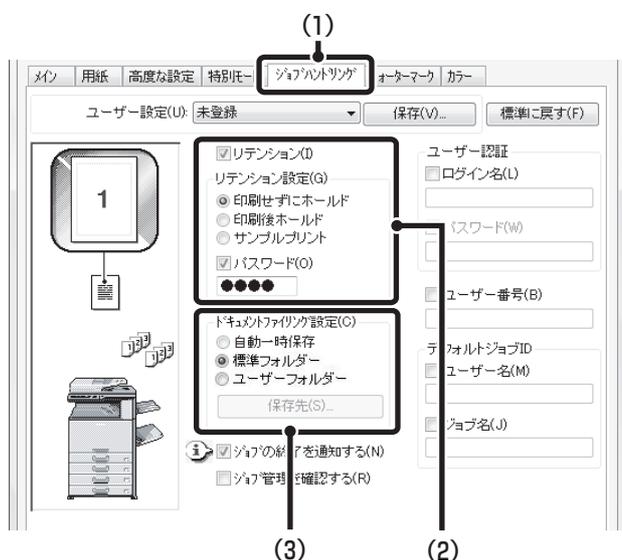
データをプリントし、プリントデータをハードディスクに保存します。

サンプルプリント

複数部プリントするときに、1部だけプリントされます。プリント内容を確認後、残りの部数を本機の操作でプリントできるので、大量のミスプリントを防げます。

本機のハードディスクに保存されたデータをプリントする方法については、「6. ドキュメントファイリング」の「[保存したファイルをプリントする](#)」(6-31ページ)を参照してください。

Windows



(1) [ジョブハンドリング]タブをクリックする

(2) リテンション設定を行う

[リテンション]チェックボックスをクリックして にしてください。「リテンション設定」でプリントデータの保存方法を選択できます。[パスワード]チェックボックスをクリックして にすると、パスワード(5～8桁の暗証番号)を入力することができます。

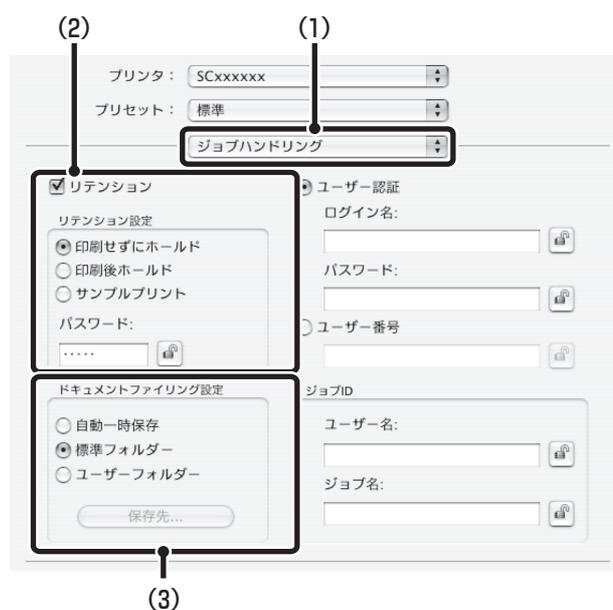
(3) ドキュメントファイリング設定を行う

「ドキュメントファイリング設定」で保存先を選択します。[ユーザーフォルダー]を選択した場合は、[保存先]ボタンでフォルダー名を選択することができます。



- [自動一時保存]を選択すると、「リテンション設定」は[印刷後ホールド]のみに設定されます。
- [自動一時保存]を選択すると、「リテンション設定」で入力したパスワードは解除され使用できません。
- ユーザーフォルダーに保存する場合は、あらかじめ本機のシステム設定(管理者)「ドキュメントファイリング登録」でユーザーフォルダーを作成しておく必要があります。ユーザーフォルダーにパスワードが設定されている場合は、保存先選択画面で「フォルダーパスワード」を入力してください。
- 「オプション」タブの「印刷機能の制限」で常にリテンションを使用するように設定した場合は、[リテンション]チェックボックスは常にチェックされ、チェックを外すことはできません。
- お使いのネットワークがIPv6の場合は、標準フォルダーにのみ保存できます。

Macintosh



(1) [ジョブハンドリング]を選択する

(2) リテンション設定を行う

[リテンション]チェックボックスをクリックして にしてください。「リテンション設定」でプリントデータの保存方法を選択できます。パスワード（5～8桁の暗証番号）を入力したあと、 ボタンをクリックしてロックしておく、次に同じパスワードを設定したいときに操作がかんたんです。

(3) ドキュメントファイリング設定を行う

「ドキュメントファイリング設定」で保存先を選択します。[ユーザーフォルダー]を選択した場合は、[保存先]ボタンでフォルダー名を選択することができます。



- [自動一時保存]を選択すると、「リテンション設定」は[印刷後ホールド]のみに設定されます。
- [自動一時保存]を選択すると、「リテンション設定」で入力したパスワードは解除され使用できません。
- ユーザーフォルダーに保存する場合は、あらかじめ本機のシステム設定（管理者）「ドキュメントファイリング登録」でユーザーフォルダーを作成しておく必要があります。ユーザーフォルダーにパスワードが設定されている場合は、保存先選択画面で「フォルダーパスワード」を入力してください。
- Mac OS X v10.5～10.5.8、10.6～10.6.5をお使いの場合、ドキュメントファイリング設定の保存先にユーザーフォルダーを選択する場合は[ユーザーフォルダー]タブをクリックしてください。
- Mac OS 9をお使いの場合は、[ジョブハンドリング]を選択し、リテンション設定を行ってください。（ドキュメントファイリング機能は使用できません。）

保存データを自動的に一括プリントする

本機のシステム設定（管理者）でユーザー認証機能が設定されている場合、ログインしたユーザーのリテンションプリントデータ(保存データ)を、ログイン後自動的に一括プリントできます。
一括プリントすると、保存データは削除されます。

一括プリントするためには以下の条件が必要です。

- 本機のシステム設定（管理者）で「ログイン後に自動的にリテンションジョブを印刷する」を有効にする
- リテンションプリント時、プリンタードライバー上でユーザー認証情報に加えて、ジョブIDの「ユーザー名」に**本機に登録されているユーザー名**を入力する
 - ☞ Windows環境でお使いの場合: [ユーザー認証機能が設定されている場合のプリント方法](#)（3-8ページ）
 - ☞ Macintosh環境でお使いの場合: [ユーザー認証機能が設定されている場合のプリント方法](#)（3-22ページ）

(1) ログインする

本機のユーザー認証画面でユーザー番号またはログイン名/パスワードを入力します。

(2) 一括プリントを行う

確認メッセージが表示されるので、[OK]キーをタッチします。

一時保存フォルダー、標準フォルダー、ユーザーフォルダーに保存されているデータが自動的にプリントされ、プリント後データは削除されます。

 パスワードが設定されているデータや本機のドキュメントファイリング機能で保護されているデータはプリントされません。また、パスワードが設定されているフォルダー（マイフォルダーを除く）に保存されているデータもプリントされません。

 一括プリントしないときは…
(2)の操作で[キャンセル]キーをタッチしてください。

プリンタードライバーを介さずにプリントする

お使いのコンピュータにプリンタードライバーがインストールされていない場合や、プリントしたいファイルのアプリケーションソフトがない場合など、プリンタードライバーを介さずに本機に直接プリントすることができます。

直接プリントするためには、プリンター拡張キットを装着する必要があります。

直接プリントできるファイルの種類とその拡張子は次のとおりです。

ファイルの種類	TIFF	JPEG	PCL	PDF/ 暗号化PDF	PS	XPS
拡張子	tiff, tif	jpeg, jpg, jpe, jfif	pcl	pdf	ps	xps

- 
 プリント結果が白黒であっても、下記のようなプリントデータは、Y（イエロー）・M（マゼンタ）・C（シアン）・Bk（ブラック）の4色のカラーとしてカウントされます。常に白黒としてカウントしたいときは、白黒印刷を選択してください。
 - データがカラーデータとして作成されているとき
 - データが白黒であっても、アプリケーションソフトがカラーデータとして扱うとき
 - 白黒画像の下に画像が隠れているとき
- PDFおよびPSファイルをプリントするには、PS拡張キットを装着する必要があります。
- XPSファイルをプリントするには、XPS拡張キットを装着する必要があります。
- 上の表に記載しているファイルの中でも、ファイル形式によってはプリントできない場合があります。

本機からファイルを直接プリントする

FTPサーバー上のファイルや共有フォルダー内のファイル、または本機に接続したUSBメモリー内のファイルを、プリンタードライバーを介さず本機の操作パネルから指定してプリントすることができます。

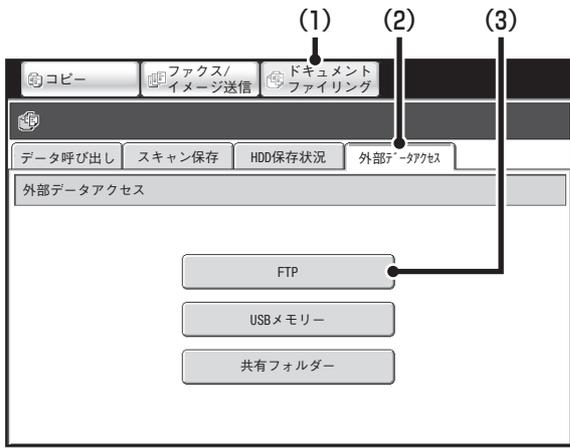


FTPサーバー上のファイルを直接プリントする

本機のWebページでFTPサーバーの登録を行うと、本機の操作パネルからFTPサーバー上のファイルを指定してプリントすることができ、ファイルをダウンロードしてコンピュータからプリントするといった手間が省けます。Webページへのアクセス方法については、スタートガイドを参照してください。

 FTPサーバーの設定は、Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[本体からのプリント設定 (FTP)]をクリックして行います。(管理者権限が必要です。) FTPサーバーは最大20件登録できます。

1



FTPサーバーにアクセスする

(1) [ドキュメントファイリング]キーをタッチする

(2) [外部デバイスアクセス]タブをタッチする

(3) [FTP]キーをタッチする

FTPサーバーが登録されていない場合、[FTP]キーはタッチできません。

2



アクセスするFTPサーバーのキーをタッチする

3

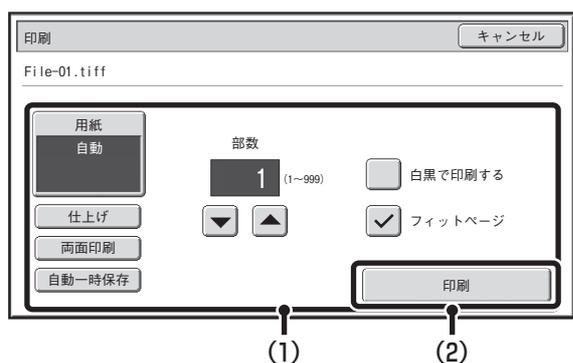


プリントするファイルのキーをタッチする

- プリントできるファイルは、キーの左側に  アイコンが表示されます。
- FTPサーバー上のフォルダーは、キーの左側に  アイコンが表示されます。フォルダー内のファイルやフォルダーを表示させるときは、このキーをタッチしてください。

- ファイルやフォルダーは合わせて100個まで表示できます。
- 1階層上の画面に戻るときは、 キーをタッチしてください。
- フォルダーのキーをタッチして階層を下がると、画面右上に  キーが表示されます。ファイルまたはフォルダー名選択画面に戻るときは、このキーをタッチしてください。
- 画面に表示されているファイルやフォルダーの並び順を変更したいときは、[ファイルまたはフォルダー名]キーをタッチしてください。タッチするごとに昇順、降順の順に切り替わります。

4



選択したファイルをプリントする

(1) プリント条件を設定する

手順3でプリント条件が含まれているファイル（PCL、PS、XPS）を選択したときは、ファイルが持つ設定が適用されます。

(2) [印刷]キーをタッチする

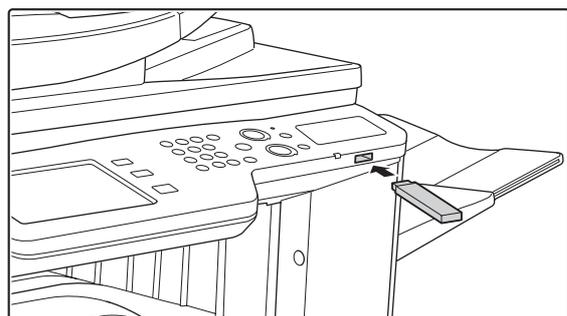
プリントが実行されます。タッチパネルにメッセージが表示されたら、[OK]キーをタッチしてください。

 パスワードが設定されたPDFファイルを選択したときは、ジョブ状況画面でパスワードを入力することによりプリントが実行されます。
 [暗号化PDFをプリントする](#) (3-74ページ)

USBメモリー内のファイルを直接プリントする

本機に接続したUSBメモリー内のファイルを、プリンタードライバーを介さず本機の操作でプリントすることができます。お使いのコンピュータに本機のプリンタードライバーがインストールされていないときなど、市販のUSBメモリーにデータをコピーして本機に接続することにより、直接プリントすることができます。

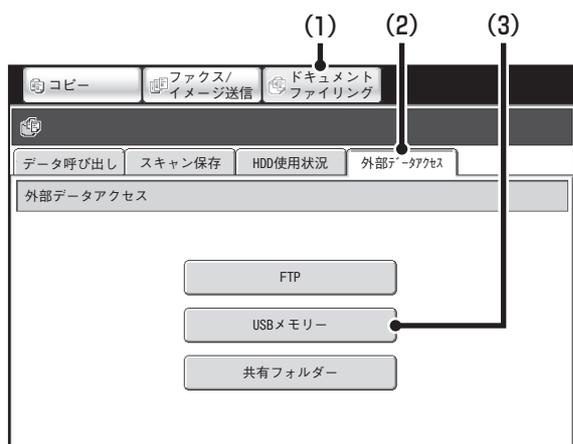
1



USBメモリーを本機に接続する

 FAT32形式のフォーマットで32GB以下のUSBメモリーをお使いください。

2



USBメモリーにアクセスする

- (1) [ドキュメントファイリング]キーをタッチする
- (2) [外部データアクセス]タブをタッチする
- (3) [USBメモリー]キーをタッチする



システム設定 (管理者) : USBメモリーダイレクトプリントの禁止

USBメモリーから直接プリントすることを禁止します。禁止された場合[USBメモリー]キーはタッチできません。

3



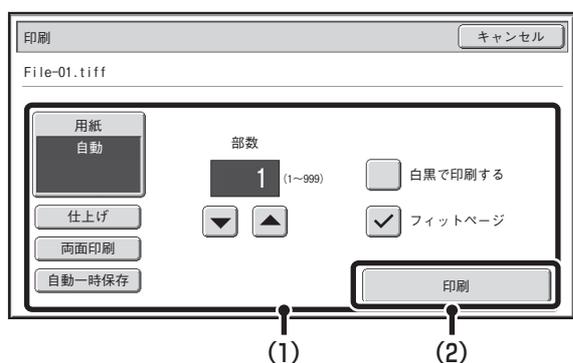
プリントするファイルのキーをタッチする

- プリントできるファイルは、キーの左側に アイコンが表示されます。
- USBメモリー内のフォルダーは、キーの左側に アイコンが表示されます。フォルダー内のファイルやフォルダーを表示させるときは、このキーをタッチしてください。



- ファイルやフォルダーは合わせて100個まで表示できます。
- 1階層上の画面に戻るときは、 キーをタッチしてください。
- フォルダーのキーをタッチして階層を下がると、画面右上に キーが表示されます。ファイルまたはフォルダー名選択画面に戻るときは、このキーをタッチしてください。
- 画面に表示されているファイルやフォルダーの並び順を変更したいときは、[ファイルまたはフォルダー名]キーをタッチしてください。タッチするごとに昇順、降順の順に切り替わります。

4



選択したファイルをプリントする

(1) プリント条件を設定する

手順3でプリント条件が含まれているファイル (PCL、PS、XPS) を選択したときは、ファイルが持つ設定が適用されます。

(2) [印刷]キーをタッチする

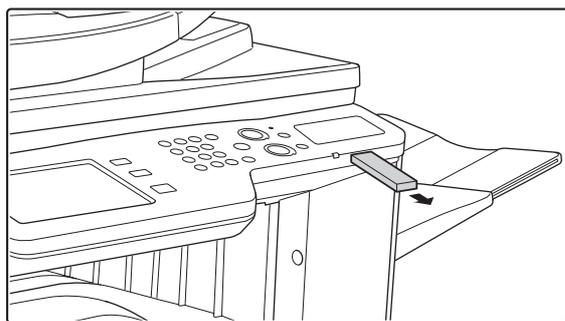
選択したファイルの転送が完了すると、プリントが実行されます。タッチパネルにメッセージが表示されたら、[OK]キーをタッチしてください。



プリントを中止するには…

ファイルの転送中にプリントを中止するときは、タッチパネルに表示されたメッセージ画面の[キャンセル]キーをタッチしてください。

5



USBメモリーを本機から抜き取る

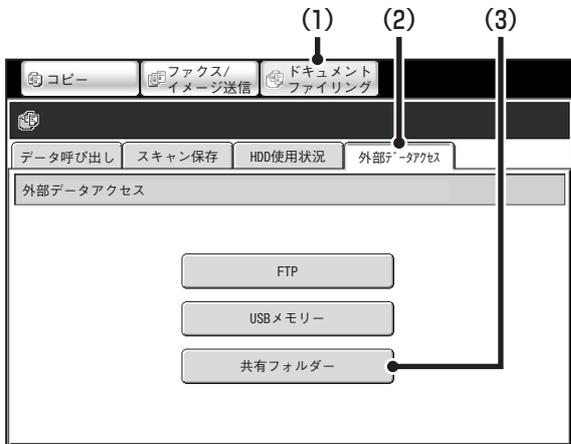
 パスワードが設定されたPDFファイルを選択したときは、ジョブ状況画面でパスワードを入力することによりプリントが実行されます。

 [暗号化PDFをプリントする](#) (3-74ページ)

共有フォルダー内のファイルを直接プリントする

本機とネットワークで接続されているサーバーや個人のコンピュータの共有フォルダー内にあるファイルを、本機の操作パネルから指定してプリントすることができます。

1



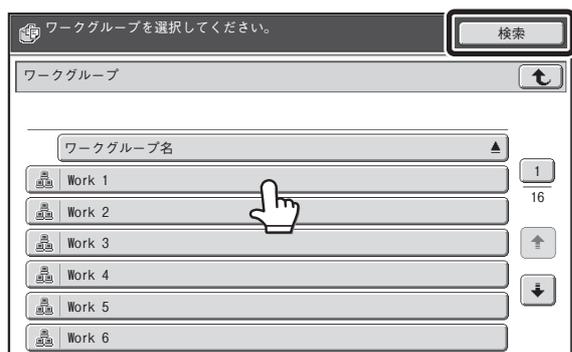
ネットワークにアクセスする

- (1) [ドキュメントファイリング]キーをタッチする
- (2) [外部データアクセス]タブをタッチする
- (3) [共有フォルダー]キーをタッチする



システム設定（管理者）：共有フォルダーダイレクトプリントの禁止

共有フォルダー内のデータを直接プリントすることを禁止します。禁止された場合[共有フォルダー]キーはタッチできません。



共有フォルダーにアクセスする

(1) アクセスするワークグループのキーをタッチする



(2) アクセスするサーバーやコンピュータのキーをタッチする

ユーザー名とパスワードを設定する画面が表示されたときは、サーバー管理者に確認して入力してください。



(3) 共有フォルダーのキーをタッチする



- [検索]キーをタッチしてキーワードを入力すると、ワークグループ、サーバー、共有フォルダーを検索できます。文字入力のしかたは、「1. お使いになる前に」の「[文字入力について](#)」(1-71ページ)を参照してください。
- ワークグループ、サーバー、共有フォルダーはそれぞれ100件まで表示できます。
- 1階層上の画面に戻るときは、 キーをタッチしてください。
- ワークグループ選択画面に戻るときは、 キーをタッチしてください。
- 画面に表示されているキーの並び順を変更したいときは、それぞれの画面で▲または▼が表示されているキーをタッチしてください。タッチするごとに、昇順、降順の順に切り替わります。
- 現在のページ数が表示されている1 キーをタッチして指定ページ数を入力すると、そのページが表示されます。

3



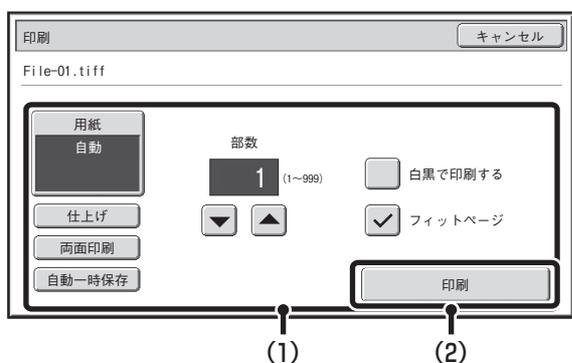
プリントするファイルのキーをタッチする

- プリントできるファイルは、キーの左側に  アイコンが表示されます。
- 共有フォルダー内のフォルダーは、キーの左側に  アイコンが表示されます。フォルダー内のファイルやフォルダーを表示させるときは、このキーをタッチしてください。



- ファイルやフォルダーは合わせて100個まで表示できます。
- 1階層上の画面に戻るときは、 キーをタッチしてください。
- 共有フォルダー選択画面に戻るときは、 キーをタッチしてください。
- 画面に表示されているファイルやフォルダーの並び順を変更したいときは、[ファイルまたはフォルダー名]キーをタッチしてください。タッチすることに昇順、降順の順に切り替わります。

4



選択したファイルをプリントする

(1) プリント条件を設定する

手順3でプリント条件が含まれているファイル（PCL、PS、XPS）を選択したときは、ファイルが持つ設定が適用されます。

(2) [印刷]キーをタッチする

選択したファイルの転送が完了すると、プリントが実行されます。タッチパネルにメッセージが表示されたら、[OK]キーをタッチしてください。



パスワードが設定されたPDFファイルを選択したときは、ジョブ状況画面でパスワードを入力することによりプリントが実行されます。

 [暗号化PDFをプリントする](#) (3-74ページ)

コンピュータからファイルを直接プリントする

本機のWebページで設定を行うことによって、コンピュータからプリンタードライバーを介さずにファイルを直接プリントすることができます。Webページへのアクセス方法については、スタートガイドを参照してください。

プリントジョブの送信

ファイルを指定することにより、プリンタードライバーを介さず直接プリントすることができます。お使いのコンピュータ上のファイルだけでなく、同一ネットワークに接続された他のコンピュータのファイルなど、コンピュータからアクセスできるファイルであればプリントすることができます。コンピュータ上のファイルを直接プリントするには、Webページのメニューにある[ファイル操作]→[プリントジョブの送信]をクリックして行います。

FTPプリント

お使いのコンピュータから、本機のFTPサーバーにプリントしたいファイルをドラッグアンドドロップするだけで簡単にプリントすることができます。

• 設定する

FTPプリントを行うには、Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[PCからのプリント設定]をクリックしてFTPプリントを有効にし、ポート番号を設定します。(管理者権限が必要です。)

• FTPプリントを行う

お使いのコンピュータのWebブラウザのアドレス欄に、次のように「ftp://」のあとに本機のIPアドレスを入力します。

(例)

ftp://192.168.1.28

Webブラウザの画面に表示される「lp」フォルダーの中に、プリントしたいファイルをドラッグアンドドロップすると、自動的にプリントが始まります。



- プリント条件が含まれているファイル (PCL、PS、XPS) をプリントしたときは、ファイルが持つ設定が適用されます。
- 本機のシステム設定 (管理者) でユーザー認証機能が設定されている場合、プリント機能が制限されることがあります。詳しくは、管理者に問い合わせてください。

E-mailプリント

本機にE-mailアカウントを登録することにより、メールサーバーを定期的を確認し、受信メールに添付されたファイルをプリンタードライバーを介さず自動でプリントすることができます。

• 設定する

E-mailプリントを行うには、Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[E-mailプリント設定]をクリックして本機にE-mailアカウントを登録する必要があります。(管理者権限が必要です。) Webページへのアクセス方法については、スタートガイドを参照してください。

• E-mailプリントを行う

お使いのコンピュータのE-mailソフトで、「宛先」を本機のメールアドレスに指定し、プリントするファイルを添付して送信します。

プリント部数やプリント形式は、メールのテキスト入力部に制御コマンドを入力して指定します。制御コマンドを入力するときは、「コマンド名=値」と入力します。

例として制御コマンドには次のものがあります。

機能	コマンド名	値
部数	COPIES	1~999
ステープル※1	STAPLEOPTION	NONE、ONE、TWO
パンチ※2	PUNCH	OFF、ON
仕上げ	COLLATE	OFF、ON
両面プリント	DUPLEX	OFF、TOP、LEFT、RIGHT
部門番号※3	ACCOUNTNUMBER	5~8桁の番号
ファイル形式	LANGUAGE	PCL、PCLXL、POSTSCRIPT、PDF、TIFF、JPG、XPS
用紙	PAPER	使用できる用紙名 (A4など)
ドキュメント ファイリング	FILE	OFF、ON
	FOLDERNAME	全角14文字 (半角28文字) 以内
自動一時保存	QUICKFILE	OFF、ON
排紙トレイ	OUTTRAY	CENTER、RIGHT
白黒で印刷する	B/W PRINT	OFF、ON
フィットページ	FITIMAGETOPAGE	OFF、ON

入力例

```
COPIES=2
DUPLEX=LEFT
ACCOUNTNUMBER=11111
PAPER=A4
B/W PRINT=ON
```

※1 フィニッシャー装着時のみ有効です。

※2 フィニッシャーにパンチユニットを装着している場合のみ有効です。

※3 ユーザー番号方式以外で認証する場合は省略できます。



- メール本文の形式は、テキスト形式を指定して送信してください。リッチテキスト形式 (HTML 形式) で送信した場合、入力した制御コマンドは無効になります。
- メール本文に「Config」と入力して送信すると、制御コマンドの一覧表が返信されます。
- メール本文に何も入力しないで送信すると、本機のシステム設定「プリンター初期設定」の設定内容に基づいてプリントされます。プリント条件が含まれているファイル (PCL、PS、XPS) をプリントしたときは、ファイルが持つ設定が適用されます。
- 「ファイル形式」は、ページ記述言語を指定する場合のみ記述してください。通常は記述する必要はありません。

プリント状況を確認する

ジョブ状況画面について

操作パネルの[ジョブ状況]キーを押すと、ジョブ状況画面が表示されます。ジョブ状況画面はモード別に切り替えることができ、[ジョブ状況]キーを押す前に使用していたモードのジョブ状況画面が表示されます。ここでは、出力待ちまたは出力が終了したジョブのことをプリントジョブと呼びます。

ジョブ状況



ユーザー/モード	セット / 終了部数	状況	
1 Computer01	002 / 001	プリント中	スプール 予約/実行中 ↓ 完了
2 コピー	002 / 000	待機中	
3 コピー	020 / 000	待機中	
4 0312345678	001 / 000	待機中	

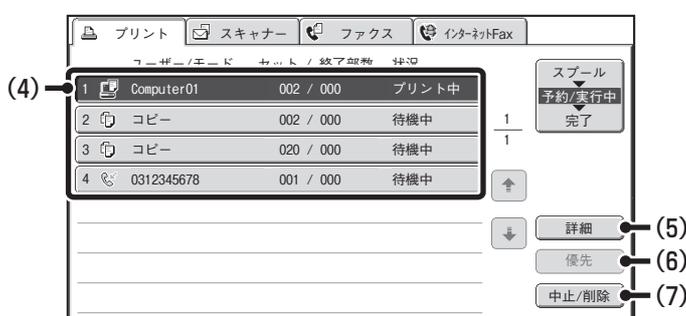
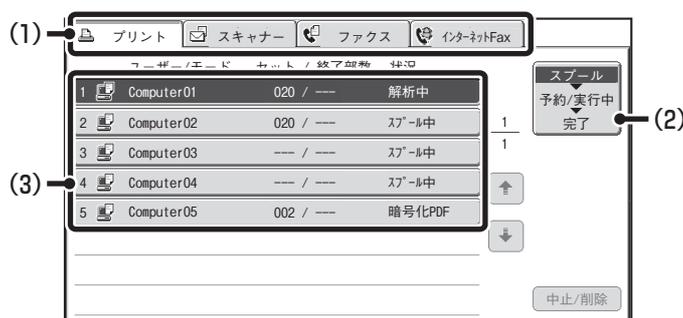
↑ ↓ 詳細 優先 中止/削除

タッチパネルの左下にはジョブ状況表示部 (A) があります。ジョブ状況表示部をタッチしてジョブ状況画面を表示することができます。ジョブ状況表示部 (B) では、実行中または予約中のプリントジョブを先頭から4つまで確認できます。



スプール画面・予約/実行中画面・完了画面について

ジョブ状況画面は、コピーやプリンターなどの出力中のジョブや出力待ちのジョブを表示する予約/実行中画面、出力が完了したジョブを表示する完了画面、スプール中のプリントデータやパスワード入力待ちの暗号化PDFを表示するスプール画面があります。



(1) モード切り替えタブ

各モードのジョブ状況画面に切り替えるときにタッチします。
プリントの場合は[プリント]タブをタッチすることでジョブ状況がわかります。

(2) ジョブ状況画面切り替えキー

予約/実行中画面、完了画面、スプール画面に切り替えるときにタッチします。

(3) ジョブリスト (スプール画面)

スプール中のプリントデータやパスワード入力待ちの暗号化PDFデータが表示されます。

(4) ジョブリスト (予約/実行中画面)

出力するジョブがキー (ジョブキー) として順番に表示され、上から順に出力されます。それぞれのジョブキーにはジョブの情報と現在の状況が表示されています。

(5) [詳細]キー (予約/実行中画面)

各ジョブの詳細な情報を表示するときにタッチします。

(6) [優先]キー

選択したジョブを優先して実行するときにタッチします。

(7) [中止/削除]キー

選択したジョブを中止や削除するときにタッチします。

(8) ジョブリスト (完了画面)

出力が完了したジョブを99件まで表示します。ここでは出力したジョブの結果 (状況) を表示します。

(9) [詳細]キー (完了画面)

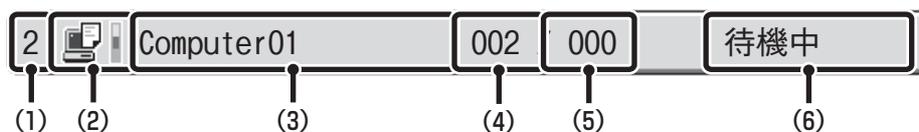
ジョブリストにキーの状態が表示されている場合は、そのジョブの詳細な情報を表示することができます。

(10) [再操作]キー

ドキュメントファイリング機能を使用したプリントジョブの再操作を行うときにタッチします。

ジョブのキー表示について

ジョブが実行される順番や現在の状況をキーに表示します。



(1) 予約されているジョブの順番を表示します。

出力中のジョブが終了すると順番は繰り上がります。
完了画面のキーには表示されません。

(2) モードアイコン

プリントでは  のアイコンが表示されます。
完了画面では、そのジョブがカラーか白黒のどちらで実行されたかが分かるカラーバーがアイコンの横に表示されます。(ただし、ドキュメントファイリング機能を使用したジョブや中止した送受信のジョブのキーには、カラーバーのアイコンは表示されません。)

(3) ユーザー名

プリントジョブではコンピュータのログイン名が表示されます。
プリンタードライバー上で「ユーザー名」を入力すると、プリントを実行したユーザー名が表示されます。

(4) プリント部数

設定したプリント部数が表示されます。

(5) プリントの完了部数

完了したプリント部数が表示されます。予約/実行中画面で待機中のときは“000”と表示されます。

(6) 状況

ジョブの状況を表示します。

表示	状況
「プリント中」	プリント中です。
「待機中」	実行の順番待ちの状態です。
「トナー切れ」	トナーが切れています。 新しいトナーカートリッジに交換してください。
「用紙切れ」	使用する用紙が切れています。用紙を補給するか、用紙トレイを変更してください。
「リミット」	プリントの制限枚数を超過しています。本機の管理者にお問い合わせください。
「エラー」	ジョブを実行中にエラーが発生しています。エラーを解除してください。
「解析中」	プリントデータを解析中です。
「スプール中」	プリントデータ受信中、またはスプール終了後解析待ちの状態です。
「暗号化PDF」	スプールジョブを解析後、データが暗号化PDFの場合にパスワード入力待ちの状態です。

暗号化PDFをプリントする

暗号化PDFとは、パスワードによりPDF文書のプリントや編集が保護されているPDFのことです。FTPサーバー上や本機に接続したUSBメモリー内などにある暗号化PDFを直接プリントするときは、次の手順でパスワードを解除しプリントしてください。

 この機能を使用するには、プリンター拡張キットとPS拡張キットを装着する必要があります。

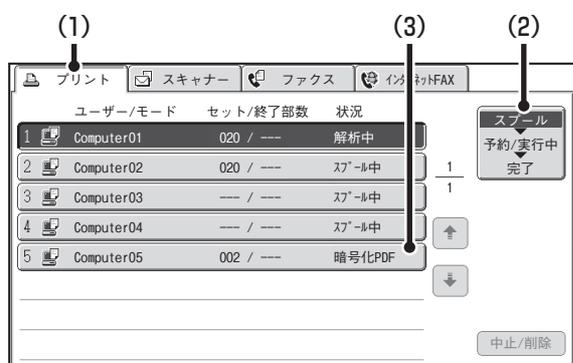
1

ジョブ状況



[ジョブ状況]キーを押す

2



暗号化PDFのプリントジョブを選択する

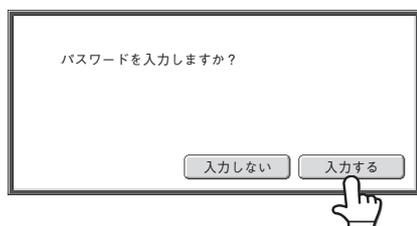
(1) [プリント]タブをタッチする

(2) プリントジョブ状況のモードを [スプール] に切り替える

タッチするごとにモードが切り替わります。選択されているモードが反転表示しています。

(3) パスワードが設定された PDF のプリントジョブキーをタッチする

3



[入力する]キーをタッチする

文字入力画面が表示されます。パスワード（半角32文字以内）を入力し、[OK]キーをタッチしてください。パスワードが解除され、プリントジョブが[予約/実行中]に移動します。

 権限パスワード（マスタパスワード）と文書を開くパスワード（ユーザパスワード）の両方が設定されているときは、権限パスワード（マスタパスワード）を入力してください。

-  暗号化PDFをプリンタードライバーを介してプリントするときは、コンピュータ上でファイルを開くときにパスワードを入力してプリントすることができます。
- PDFデータのパスワードが不明な場合は、プリントを実行することができません。スプールされたプリントジョブは、手順3の画面で[入力しない]キーをタッチし、[中止/削除]キーをタッチして削除することができます。
- 直接プリントできる暗号化PDFのバージョンは、1.6 (Adobe® Acrobat®7.0) 以下です。

優先的にプリントする / プリントを中止する

優先的にプリントする

コピー中やファクス受信データプリント中にプリントジョブが待機しているとき、以下の手順で待機中のプリントジョブを優先してプリントさせることができます。

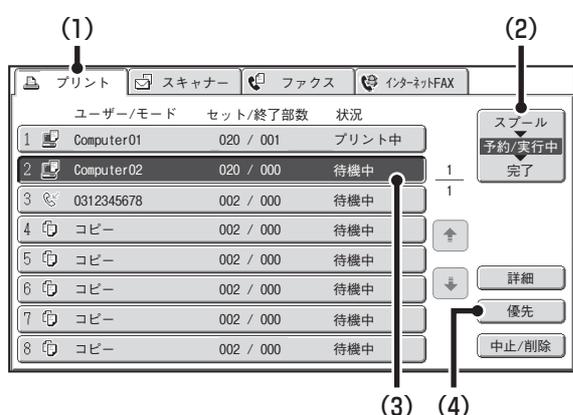
1

ジョブ状況



[ジョブ状況]キーを押す

2



優先操作を行う

- (1) [プリント]タブをタッチする
- (2) プリントジョブ状況のモードを[予約/実行中]に切り替える
タッチするごとにモードが切り替わります。選択されているモードが反転表示しています。
- (3) 優先したいプリントジョブのキーをタッチする
- (4) [優先]キーをタッチする
プリント中のジョブを中断し、(3)で選択したジョブのプリントを開始します。



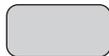
[詳細]キーをタッチすると、選択したジョブのプリント情報を確認することができます。

プリントを中止する

プリント中やプリント待機中のジョブ、またはスプールされているジョブを中止することができます。

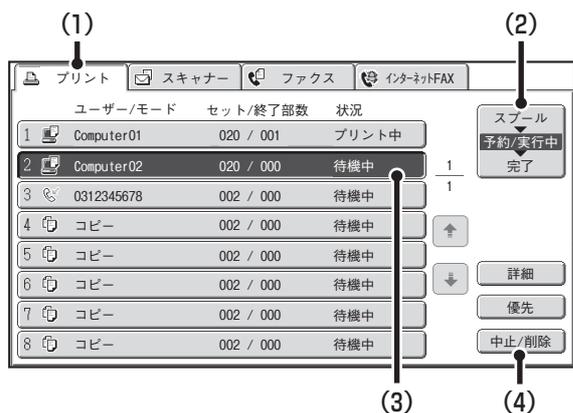
1

ジョブ状況



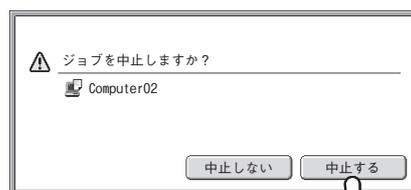
[ジョブ状況]キーを押す

2



中止操作を行う

- (1) [プリント]タブをタッチする
- (2) プリントジョブ状況のモードを [スプール] または [予約/実行中] に切り替える
タッチするごとにモードが切り替わります。選択されているモードが反転表示しています。
- (3) 中止するプリントジョブのキーをタッチする
- (4) [中止/削除]キーをタッチする
- (5) 確認メッセージが表示されるので [中止する] キーをタッチする



選んだプリントジョブのキーが削除され、プリントが中止されます。

🔧 操作パネルの[ストップ]キー (⏹) でプリントを中止することもできます。[ストップ]キー (⏹) を押すと、ジョブ中止の確認メッセージ画面が表示されます。

🔄 選んだプリントジョブを中止しないときは…
(5) の操作で[中止しない]キーをタッチしてください。

用紙切れのときに他の用紙サイズに切り替えてプリントする

用紙がなくなって途中でプリントが中断しているときや、プリンタードライバーで指定したサイズの用紙が本機にセットされていないときは、タッチパネルにメッセージが表示されます。[OK]キーをタッチし、本機に用紙をセットすると、自動的にプリントが開始されます。プリントしたいサイズの用紙がすぐに用意できないなどの理由から、他のトレイにセットされている用紙からプリントする場合は、次の操作を行ってください。

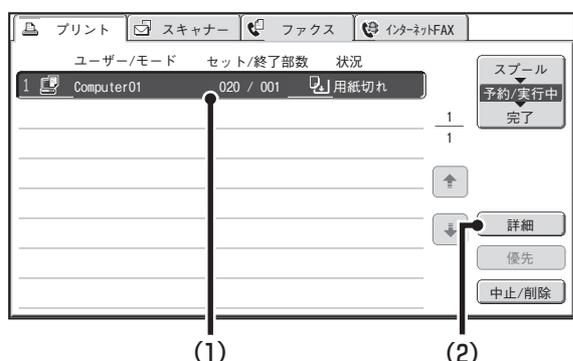
1

ジョブ状況



[ジョブ状況]キーを押す

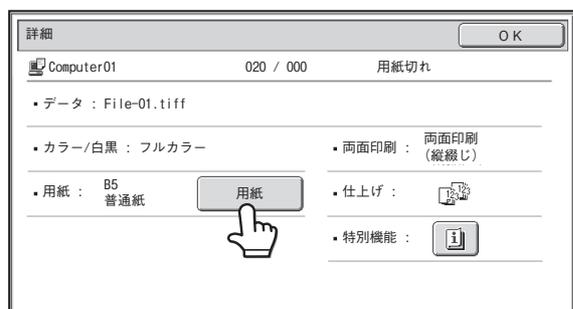
2



用紙切れプリントジョブの詳細を表示する

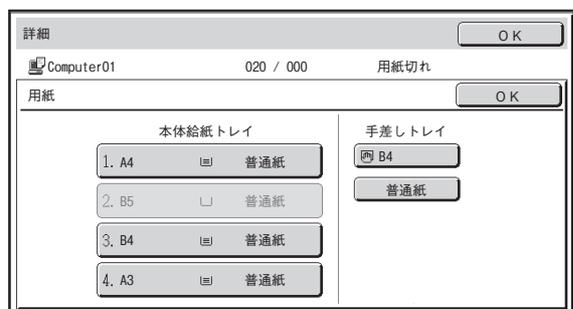
- (1) 「用紙切れ」と表示されたジョブのキーをタッチする
- (2) [詳細]キーをタッチする

3



[用紙]キーをタッチする

4



プリントしたい用紙がセットされたトレイのキーをタッチする

プリントが実行されます。

他の用紙サイズに切り替えてプリントした場合、文字などが用紙からはみ出した状態でプリントされるなど、正常にプリントできない場合があります。

付録

プリンタードライバー仕様一覧

お使いのプリンタードライバーの種類によっては、使用できる機能や出力結果が異なる場合があります。

機能		SAPL-c	SPDL2-c	PS	Windows PPD※1	Macintosh PPD※1	
よく使う機能	部数	1~999	1~999	1~999	1~999	1~999	
	印刷の向き	○	○	○	○	○	
	N-Up	ページ数	2、4、6、8、9、16	2、4、6、8、9、16	2、4、6、8、9、16	2、4、6、9、16	2、4、6、9、16
		順序	選択可能	選択可能	選択可能	選択可能	選択可能
		枠線	あり/なし	あり/なし	あり/なし	○	選択可能
	両面印刷	○	○	○	○	○	
	フィットページ	○	○	○	×	○※2	
	とじ位置	選択可能	選択可能	選択可能	×	○	
	白黒印刷	○	○	○	○	○	
	ステーブル※3	○	○	○	○	○	
パンチ※3	○	○	○	○	○		
用紙	用紙サイズ	○	○	○	○	○	
	カスタム用紙	8サイズ	8サイズ	8サイズ	○	○	
	給紙方法	○	○	○	○	○	
	排紙トレイ	○	○	○	○	○	
便利な機能	中とじ	○	○	○	○	○	
	とじしろ	○	0mm~30mm	0mm~30mm	○	○	
	ポスター印刷	○	○	○	×	×	
	180°回転して印刷	○	○	○	○	○	
	ズーム/たてよこ独立変倍	○※4	○※4	○	○※4	○※4	
	線幅調整	○	○	×	×	×	
	鏡像	×	×	○	○	○※5	

SPDLは、Sharp Printer Description Languageの略称です。

機能		SAPL-c	SPDL2-c	PS	Windows PPD※1	Macintosh PPD※1
特殊な機能	用紙挿入	○※6	○	○	○※6	○※6、7
	OHP合い紙	○	○	○	×	○
	カーボンコピー	×	○	○	×	×
	タブプリント	×	○	○※8	×	×
	章分け	×	○	×	×	×
	ページ挿入	×	○	×	×	×
	連結印刷	×	○	○	×	○※9
	リテンション	○	○	○	×	○
	ドキュメントファイリング	○	○	○	×	○※9
カラーモード調整機能	イメージ調整	○	○	○	×	○※9、10、11
	文字を黒色で印刷する/ 線を黒色で印刷する	○	○	○	×	×
	高度なカラー設定	○	○	○	○	○
文字や画像の合成機能	ウォーターマーク	○	○	○	○	○
	イメージスタンプ	○	○	○	×	×
	オーバーレイ	×	○	○	×	×
画質	プリントモード	ノーマル/ 高品質	ノーマル/ 高品質	ノーマル/ 高品質	ノーマル/ 高品質	ノーマル/ 高品質
	グラフィックスモード選択	×	○	×	×	×
	トナーセーブ※12	○	○	○	○	○
フォント	使用可能内蔵フォント	×	80書体	136書体+ 日本語5書体	136書体+ 日本語5書体	35書体+ 日本語5書体
	選択できるダウンロード形式	×	bitmap, True Type, Graphics	bitmap, True Type, Type1	bitmap, True Type, Type1	×※13
その他の機能	オプション自動設定	○	○	○	×	○※10
	ユーザー認証	○	○	○	×	○

※1 Windows PPDおよびMacintosh PPDの各機能の仕様は、OSやアプリケーションソフトによって異なります。

※2 Mac OS X v10.4.11、v10.5~10.5.8、10.6~10.6.5のみ使用できます。

※3 フィニッシャー装着時（パンチ機能を使用する場合は、パンチユニットの装着も必要です。）

※4 たてとよこの比率を個別に設定することはできません。

※5 Mac OS 9.0~9.2.2のみ使用できます。

※6 表紙以外には挿入できません。

※7 Mac OS X v10.2.8、v10.3.9では使用できません。

※8 アプリケーションソフトで作成した文字列データのシフト幅のみ設定可能です。

※9 Mac OS 9.0~9.2.2では使用できません。

※10 Mac OS X v10.2.8では使用できません。

※11 Mac OS X v10.5~10.5.8、10.6~10.6.5では使用できません。

※12 OSやアプリケーションソフトによって、本機能がはたらかない場合があります。

※13 LaserWriterのバージョンによってはTrueType、Type1の選択が可能です。

SPDLは、Sharp Printer Description Languageの略称です。

プリンターの仕様

形式	内蔵型	
連続プリント速度	MX-2310F: 23枚/分 MX-3111F: 31枚/分 (A4普通紙横送りで、片面同一ページの連続プリントにおける出力2枚目以降のプリント速度(データ転送/処理時間/オフセット出力時を除く))	
書き込み解像度	600x600dpi、9600相当x600dpi	
プリンタードライバーの種類	SAPL-c、SPDL2-c*1、PostScript 3互換*2、XPS*3	
エミュレーション	ESC/P互換、ESC/Pスーパー互換	
対応プロトコル	TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、EtherTalk*2	
対応OS	ソフトウェアセットアップガイドの「動作環境を確認する」を参照してください。	
フォント	SPDL2-c用	欧文80書体、和文2書体*4、バーコード用フォント28書体*5、ビットマップフォント1書体
	PostScript 3互換用*2	欧文136書体、和文5書体
	ESC/P互換、ESC/Pスーパー互換用	和文2書体(明朝、ゴシック)、欧文2書体(ローマン、サンセリフ)
インタフェース	LAN接続: 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T USB接続: USB2.0 (Hi-Speed) 対応	
メモリー	標準: 1GB 拡張メモリー: 1GB*6	
印刷範囲	用紙の各端から4.2mmを除く領域が印刷可能範囲です。ただし、実際の印刷可能範囲は、使用するプリンタードライバーやアプリケーションの種類によって変わります。	

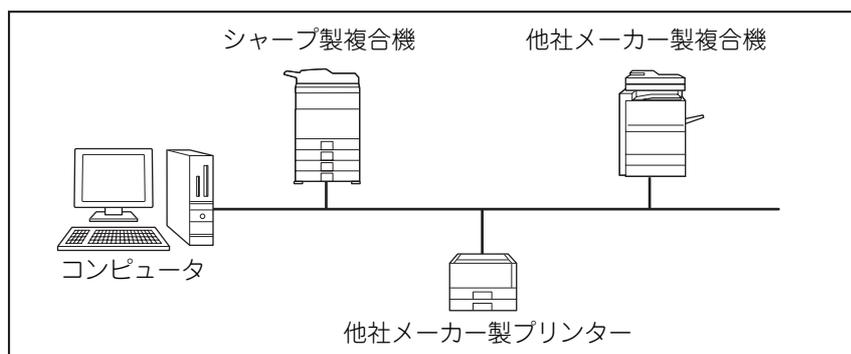
- ※1 プリンター拡張キットが必要です。
- ※2 PS拡張キットを装着していて、本機をPostScriptプリンターとして使用している場合。
- ※3 XPS拡張キットを装着している場合。
- ※4 漢字フォントキットが必要です。
- ※5 バーコード用フォントキットが必要です。
- ※6 プリントデータの内容によりメモリー不足となる場合に必要です。XPS拡張キット装着時には必ず必要です。

BMLinkSについて

BMLinkS※1プリンタードライバーを使用するには、プリンター拡張キットを装着する必要があります。

BMLinkS※1は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA※2）が策定し、推進しているオフィス機器のインターフェースです。

お使いのコンピュータからプリンターや複合機にプリントするためには、通常機器ごとに専用のプリンタードライバーが必要ですが、BMLinkSプリンタードライバーを使用すれば、BMLinkSに対応したプリンターや複合機であればメーカーが異なる場合でもプリントが可能になります。



BMLinkS®

※1 BMLinkSは、「Business Machine Linkage Service」の下線部から作られた名称で、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の登録商標です。

※2 JBMIAは、「Japan Business Machine and Information System Industries Association」の略称です。

BMLinkSプリンタードライバーの入手方法

BMLinkSプリンタードライバーは、下記のBMLinkSホームページからダウンロードすることができます。

BMLinkSホームページURL

<http://www.jbmia.or.jp/bmlinks/>

BMLinkSプリンタードライバーが使用できるコンピュータの動作環境については、BMLinkSプリンタードライバーのダウンロードページを参照してください。

BMLinkSプリンタードライバーのインストール方法や使用方法については、BMLinkSプリンタードライバーに付属のユーザーズマニュアルを参照してください。

BMLinkSプリンタードライバーを使用するための設定について

本機は通常BMLinkSプリンタードライバーでプリントできるように設定されています。

BMLinkSプリンタードライバーを使用するための詳細な設定は、本機内蔵のWebサーバーにアクセスして行うことができます。Webサーバー（Webページ）へのアクセス方法については、かんたん操作ガイドを参照してください。

Webページのメニューにある[ネットワーク設定]→[サービス設定]→[BMLinkS]をクリックして、BMLinkSが有効になっているか確認後、必要に応じてその他の設定も行います。（管理者権限が必要です。）

第4章 ファクス

ファクス機能の操作方法について詳しく記載しています。

ファクスとして使用する前に

ファクスとして使用するための準備	4-3
• 電話回線に接続する	4-3
• 電話回線の種類を設定する	4-4
• 主電源が“入”になっていることを確認する	4-4
• 日付・時刻を確認する	4-5
• 発信元番号を登録する	4-5
• 回線2の設定を変更する（回線増設キット装着時）	4-5
ファクスモードの基本画面について	4-6
• ファクスモード基本画面	4-7
• アドレス帳画面	4-9
• アドレス帳画面のワンタッチキー表示方法を変更する	4-10
ファクス送信の流れ	4-12

相手先の入力方法について

数字キーで相手先番号を入力する	4-15
アドレス帳から相手先番号を呼び出す	4-16
• 相手先を呼び出す	4-17
• 指定した相手先を一覧表示で確かめる／解除する	4-18
検索番号で相手先番号を呼び出す	4-19
グローバルアドレス帳から相手先を呼び出す	4-20
再送信機能を使う	4-22
複数の番号をつなげる（チェーンダイヤル）	4-23

基本的な送信のしかた

送信方法について	4-24
• 原稿セット方向について	4-26
• 送信原稿の自動縮小機能	4-26
• 送信できる原稿サイズ	4-27
• セットした原稿サイズについて	4-27
• 相手が話し中のときは	4-28
• 通信エラーが発生したときは	4-28
• ファクス宛先確認機能について	4-29

原稿自動送り装置を使って送信する	4-30
• 原稿自動送り装置を使用して直接送信モードで送信する	4-31
原稿台（ガラス面）を使って送信する	4-33
• 原稿台（ガラス面）を使用して直接送信モードで送信する	4-35
オンフックダイヤルで送信する	4-37
複数の相手に同じ原稿をまとめて送信する（順次同報送信）	4-38
コンピュータのデータをファクス送信する（PC-Fax）	4-43
ファクシミリ通信網（Fネット）について	4-43
原稿の読み込み設定について	4-44
• 原稿の表裏を自動的に読み込む（両面原稿）	4-45
• 原稿の読み込みサイズ／送信サイズを指定する（拡大・縮小）	4-46
• 原稿の濃度を変える	4-53
• 原稿の画質を変える	4-54
送信の仕上がりイメージを確認する（プレビュー確認）	4-55
• プレビュー確認画面について	4-56

ファクスの受信について

ファクスを受信する	4-57
• ファクスの受信	4-58
• ファクスを手動で受信する	4-59
パスワードで保護されている受信データをプリントする（受信データ印字ホールド）	4-60
受信データの内容を確認してからプリントする	4-61
受信データの内容を確認してから転送する	4-63
• 画像確認画面について	4-64
受信したファクスのデータを転送する（受信転送）	4-65
受信したデータを設定した送信先に転送する（受信データの転送設定）	4-66
• 受信データの転送設定を行う	4-66

特別機能について

特別機能の種類について	4-70
送信操作を登録して使用する (プログラム)	4-72
まわりに影ができないように送信する (枠消去)	4-74
原稿を2ページに分割して送信する (ページ分割)	4-76
時刻を決めて通信する (時刻指定通信)	4-78
2枚の原稿を1枚にまとめて送信する (ページ集約)	4-80
カードの表裏を1枚にまとめて送信する (カードスキャン)	4-83
大量の原稿を一度にまとめて送信する (大量原稿モード)	4-86
大きさの違う原稿をまとめて送信する (混載原稿)	4-88
薄い紙の原稿を送信する (薄紙読み込み)	4-90
読み込んだ原稿の枚数を確認してから送信する (原稿枚数カウント)	4-92
読み込み済みの原稿にスタンプを押す (済スタンプ)	4-94
通信結果表のプリント設定を変更して送信する (通信結果表)	4-96
発信元情報を付けて送信する (発信元印字)	4-98
• 発信元情報を一時的に変更する (発信元選択)	4-100
こちらの操作で相手の原稿を受信する (ポーリング受信)	4-101
• 手動操作でポーリング受信する	4-103
相手からの操作でこちらの原稿を送信する (掲示板)	4-104
• 掲示板を利用できる相手を限定する (ポーリング保護)	4-104
• 掲示板用の原稿をメモリーボックスに読み込む	4-105
• 掲示板用に保存した原稿を確認する	4-107
• 掲示板用に保存した原稿を消去する	4-108
送信する電話回線を選択する (送信回線選択)	4-109

Fコード通信を行う

Fコード通信について	4-111
• Fコード通信のしくみ	4-111
• 本機にFコード通信専用のメモリーボックスを作成する	4-112
• Fコード通信のダイヤル	4-112

Fコードを使って親展通信する	4-113
• Fコード親展送信する	4-114
• Fコード親展受信した受信データを確認する	4-115
Fコードを使ってポーリング受信する	4-117
Fコードを使って掲示板送信する	4-119
• Fコード掲示板用の原稿をメモリーボックスに読み込む	4-119
• Fコード掲示板用に保存した原稿を確認する	4-122
• Fコード掲示板用に保存した原稿を削除する	4-123
Fコードを使って中継同報指示送信する	4-124
Fコードを使って中継同報送信する	4-126

ハンドセット／外部電話機を使用する

ハンドセット (受話器) を使う	4-127
• 着信を判別し自動的に電話／ファクスを切り替える	4-127
• 相手と話してからファクスを送信する (手動送信)	4-128
• 相手と話してからファクスを受信する (手動受信)	4-129
• 電話をかける	4-130
• 電話を受ける	4-131
お手持ちの電話機を接続して使う (外部電話機接続)	4-132
• 着信を判別し自動的に電話／ファクスを切り替える	4-132
• 接続した電話機で電話に出てファクスを受信する (リモート受信)	4-133
• 留守番電話を使用する (留守接続)	4-134
• 電話をかける／受ける	4-134

通信状況を確認する

ジョブ状況画面について	4-135
• 予約/実行中画面と完了画面について	4-136
• 予約/実行中ジョブが完了したときの動作について	4-139
• 予約/実行中ジョブの内容を確認する	4-140
• 完了ジョブの内容を確認する	4-141
通信中や予約中のファクスを中止する	4-142
あとから送信予約したファクスを優先して送信する	4-143
通信記録を確認する (通信記録表)	4-144
• 通信記録表のプリントについて	4-144
• 通信結果欄の内容について	4-145
ファクスの仕様	4-146

ファクスとして使用する前に

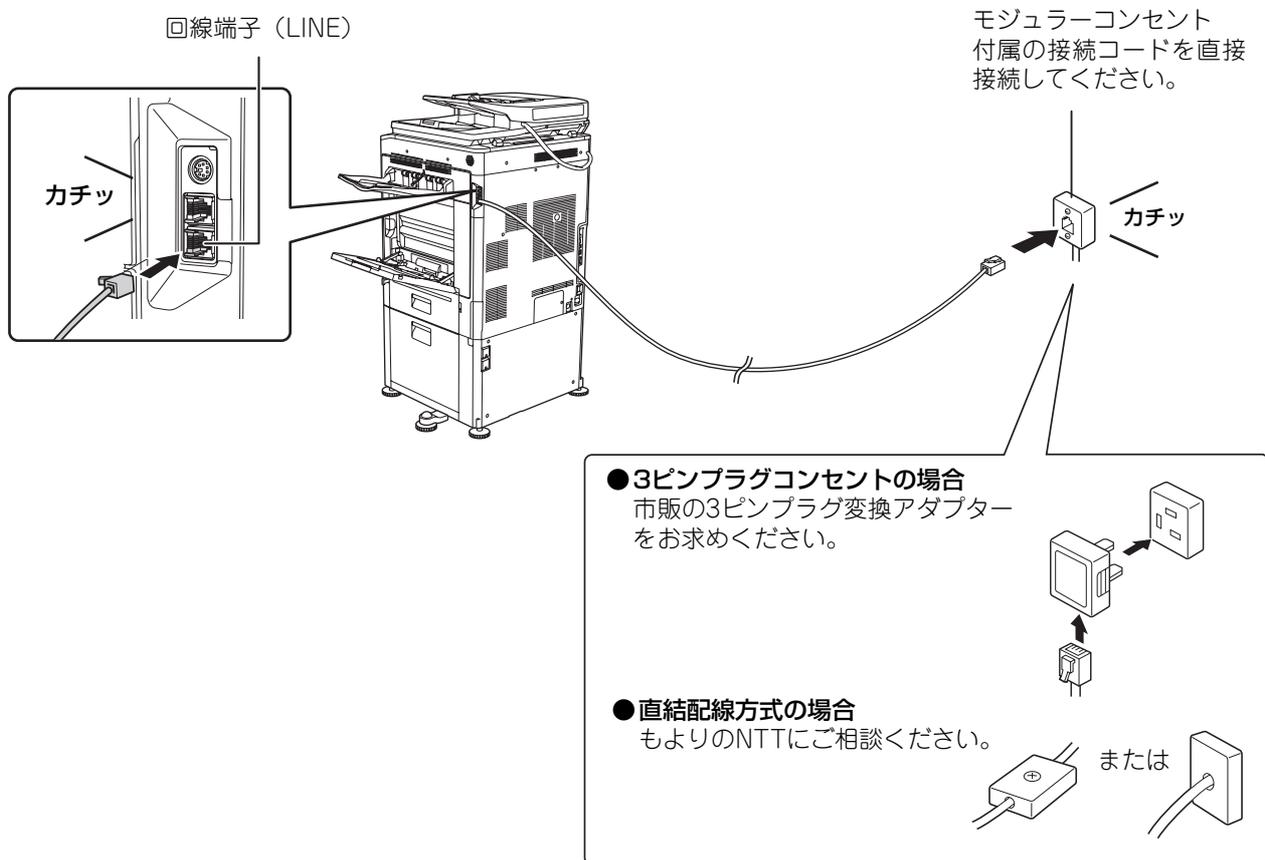
ファクスとして使用する前に知っておく必要のある事からについて説明しています。

ファクスとして使用するための準備

本機をファクスとして使用するときは、電話回線を接続し、電話回線の種類を設定してください。

電話回線に接続する

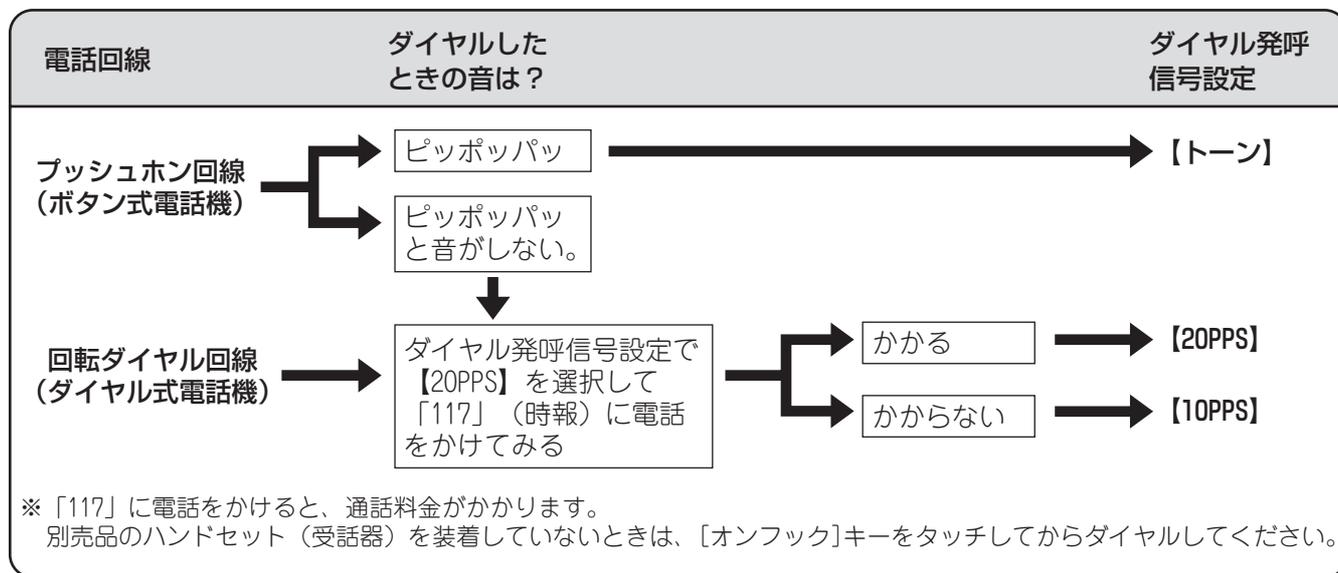
本機器と電話線コンセントとの接続は、必ず付属の接続ケーブルをお使いください。接続する際、図のように接続ケーブルの一方の端子を本機にある回線端子（LINE）に差し込み、もう一方の端子を電話線コンセントに差し込んでください。



電話回線の種類を設定する

お使いの電話回線の種類に合わせて本機の設定を行います。
 正しく設定されていない場合、電話がかからなかったり違う相手先にかかったりします。
 システム設定（管理者）「ダイヤル発呼信号設定」で[自動検出]キーをタッチしてください。お使いの電話回線に合わせて自動的に設定を行います。

以下の操作でお使いの電話回線種別を確かめて、システム設定（管理者）「ダイヤル発呼信号設定」を手動で設定することもできます。

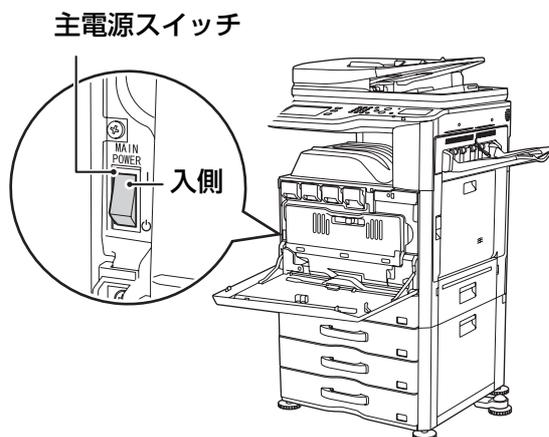
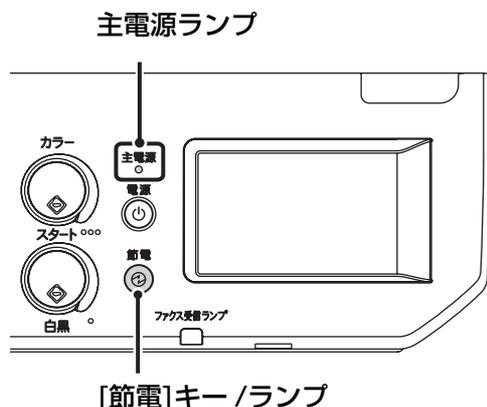


 電話回線の種類を設定したあとは、むやみに切り替えしないでください。

主電源が“入”になっていることを確認する

操作パネルの主電源ランプが点灯していると主電源が“入”になっています。
 主電源ランプが消灯しているときは、主電源が“切”になっていますので、主電源スイッチを“入”にして操作パネルの[電源]キー（）を押してください。
 ファクス機能をお使いいただく場合、特に夜間の受信や時刻指定送信を行うときは、主電源スイッチを常に“入”にしておいてください。

 [節電]キー（）のランプが点滅しているときは、オートパワーシャットオフの状態です。この時点で[節電]キー（）を押すと、[節電]キー（）のランプが消え、しばらくしてから通常状態になります。



日付・時刻を確認する

本機の日付・時刻が正確に登録されているかを確認してください。

日付・時刻の設定は、本機のシステム設定で行います。操作パネルの[システム設定]キーを押すと、タッチパネルにシステム設定のメニュー画面が表示されます。[初期設定]→[日付・時刻設定]→[時刻設定]へと進み、年・月・日・時・分をそれぞれ指定して時刻を合わせてください。

 システム設定（管理者）の「日付・時刻設定の変更禁止」が設定されている場合、日付・時刻設定を行うことはできません。

発信元番号を登録する

利用者の名前を「発信元名」、ファクス番号を「発信元番号」として登録します。これらの登録は、通信上必要な情報となりますので、必ず登録してください。

 システム設定（管理者）：発信元情報登録
発信元名・発信元番号を登録します。

回線2の設定を変更する（回線増設キット装着時）

2回線使用している場合、システム設定（管理者）の「回線2の設定」の各設定について設定変更を行ってください。
電話回線の接続、回線の種類の設定、発信元番号の変更

 システム設定（管理者）：回線2の設定
回線2の各設定を行います。

ファクスモードの基本画面について

ファクスを使用するときは、ファクスモードの基本画面から各種設定や操作を行います。ファクスモード基本画面を表示するときは、[ファクス/イメージ送信]キーをタッチし、[ファクス]タブをタッチしてください。



左の画面はファクス、インターネットFaxを装着しているときの表示です。周辺装置の装着状況により、表示は異なります。

同様に[ファクス/イメージ送信]キーをタッチして表示することができる他のモード(スキャナー・インターネットFax・USBメモリスキャン・リモートPCスキャン・データ入力)にもそれぞれ基本画面があります。

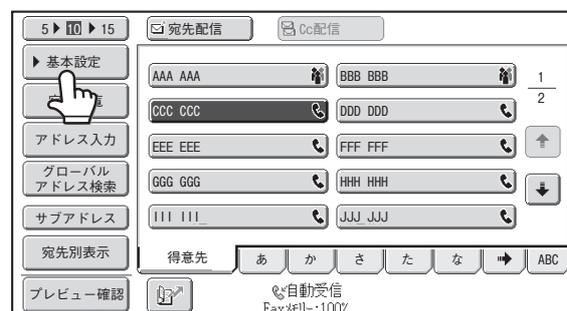
また、送信する相手先をあらかじめアドレス帳のワンタッチキーに登録しておいて、送信などを行うときにアドレス帳画面から呼び出して使用できます。アドレス帳は、ファクス・スキャナー・インターネットFax・データ入力の各モード共通で使用します。

基本画面の[アドレス帳]キーをタッチするとアドレス帳画面を、アドレス帳画面の[基本設定]キーをタッチすると基本画面を表示します。本章では、ファクスモード基本画面のことを基本画面と呼んでいます。

ファクスモード基本画面



アドレス帳画面



本章では、ファクスモード基本画面からの各操作方法で説明しています。



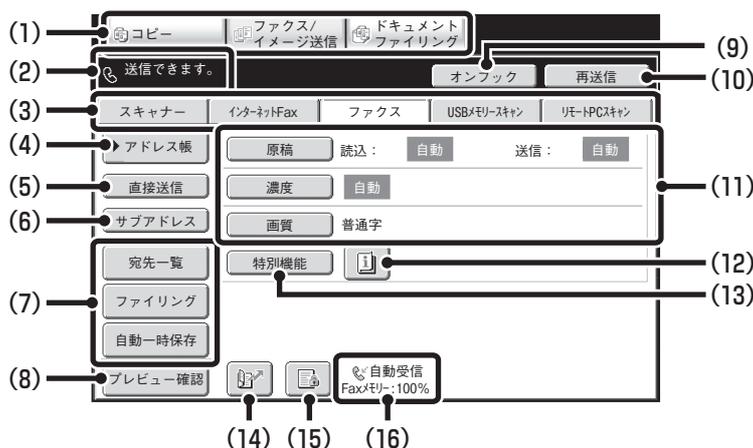
システム設定 (管理者) : デフォルト表示画面

[ファクス/イメージ送信]キーをタッチして最初に表示される画面を次の中から設定します。

- 各モード基本画面 (スキャナー・インターネットFax・ファクス・データ入力)
- アドレス帳画面

ファクスモード基本画面

ファクス送信の設定操作を行う画面です。



(1) モード切り替えキー

コピー、イメージ送信、ドキュメントファイリングの各機能を切り替えるときにタッチします。ファクスモードに切り替えるときは[ファクス/イメージ送信]キーをタッチしてください。

(2) 各種メッセージや入力した相手先などを表示します。

左横に表示されるはファクスモードを表しています。

(3) 送信モード切り替えタブ

「ファクス/イメージ送信」機能のモードを切り替えるときにタッチします。周辺装置の装着状態により、使用できないモードのタブは表示されません。[ファクス]タブが表示されていない場合は、タブをタッチして画面を切り替えることにより表示されます。
 ☞ [ファクスモードの基本画面について](#) (4-6ページ)

(4) [アドレス帳]キー

ワンタッチダイヤルやグループダイヤルを使用するときにタッチします。このキーをタッチするとアドレス帳画面に切り替わります。
 ☞ [アドレス帳から相手先番号を呼び出す](#) (4-16ページ)

(5) [直接送信]キー

直接送信を行うときにタッチします。[直接送信]キーが反転表示していないときは、通常の送信(メモリー送信モード)の状態です。
 ☞ [大量のシート物原稿を送信するときは、原稿自動送り装置をお使いください。 \(4-24ページ\)](#)
 ☞ [送信予約されているファクスより先に送信したいときは、直接送信モードで送信してください。 \(4-25ページ\)](#)

(6) [サブアドレス]キー

Fコード通信のサブアドレスとパスコードを入力するときにタッチします。
 ☞ [Fコード通信のダイヤル](#) (4-112ページ)

(7) カスタマイズキー

ここに表示されるキーはお好みの設定項目に合わせて、変更することができます。
 ☞ [お好みに合わせてキー表示を変更する\(カスタマイズキー\)](#) (4-8ページ)

(8) [プレビュー確認]キー

送信の仕上がりにイメージを、あらかじめタッチパネルで確認してから送信したいときにタッチします。
 ☞ [送信の仕上がりにイメージを確認する\(プレビュー確認\)](#) (4-55ページ)

(9) [オンフック]キー／[ポーズ]キー／[スペース]キー

オンフックダイヤルを使用するときにタッチします。ダイヤル入力時は[ポーズ]キーに、サブアドレス入力時は[スペース]キーに切り替わります。
 ☞ [オンフックダイヤルで送信する](#) (4-37ページ)

(10) [再送信]キー／[次宛先]キー

再ダイヤルするときにタッチします。ダイヤル入力時は[次宛先]キーに切り替わります。
 ☞ [再送信機能を使う](#) (4-22ページ)

(11) 原稿の読み込み設定

原稿の読み込み設定(原稿サイズ、濃度、画質)を行うことができます。
 ☞ [原稿の読み込み設定について](#) (4-44ページ)

(12) キー

「特別機能」の各項目や両面原稿読み込みが設定されているときに表示されます。このキーをタッチすると設定されている内容を表示します。
 ☞ [特別機能の設定状態を確認する](#) (4-8ページ)

(13) [特別機能]キー

特別機能を使用するときにタッチします。
 ☞ [特別機能について](#) (4-70ページ)

(14) キー

検索番号で相手先を呼び出すときにタッチします。
 ☞ [検索番号で相手先番号を呼び出す](#) (4-19ページ)

(15) / / キー

システム設定（管理者）の「受信データ印字ホールド設定」や「受信データの画像確認設定」が有効に設定されているときに、データを受信すると表示されます。

: 「受信データ印字ホールド設定」のみ有効

: 「受信データの画像確認設定」のみ有効

: 両方の設定が有効

パスワードで保護されている受信データをプリントする（受信データ印字ホールド）（4-60ページ）

受信データの内容を確認してからプリントする（4-61ページ）

(16) 選択されているファクス受信モードとファクス用メモリーの残量を表示します。

ファクス用のメモリーの残量が少なくなると、ファクスの受信ができなくなります。

メモリーに受信されているデータを印刷または削除して残量を増やしてください。

ファクスを受信する（4-57ページ）

お好みに合わせてキー表示を変更する（カスタマイズキー）

特別機能の設定キーなどを基本画面に表示させておくことができます。表示させるキーをよく使う機能に変更しておくと、ワンタッチで設定操作に入ることができ便利です。お好みに合わせてキー表示を変更するときはWebページの「カスタマイズキー設定」で変更します。工場出荷時は、次のキーが表示されています。

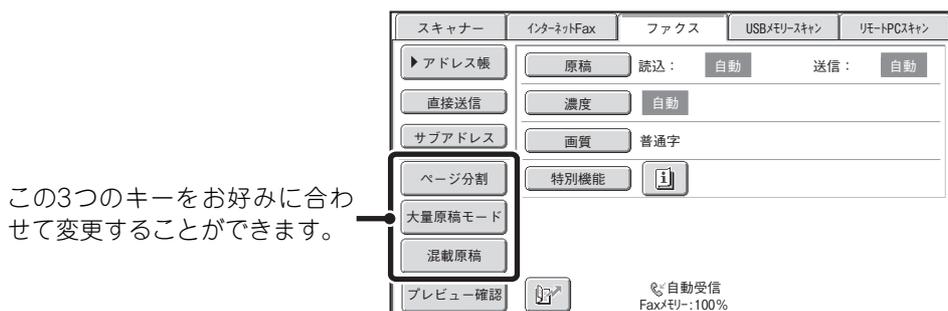
• [宛先一覧]キー

アドレス帳で選択されている送信先や数字キーで入力した相手先番号を一覧表示して確認するときにタッチします。アドレス帳画面にある[宛先一覧]キーと同じです。

• [ファイリング]キー、[自動一時保存]キー

ファイリング、自動一時保存などドキュメントファイリング機能を使用するときにタッチします。

例：「ページ分割」、「大量原稿モード」、「混載原稿」の設定キーをカスタマイズキーで表示させた場合



この3つのキーをお好みに合わせて変更することができます。

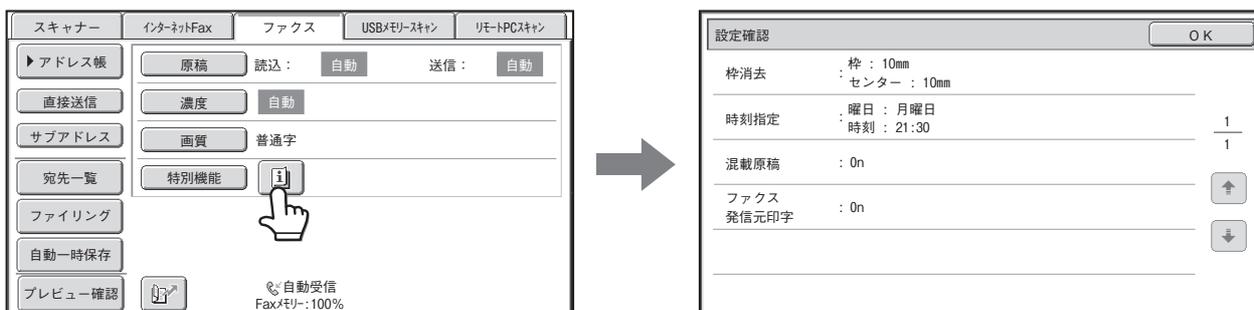
プログラムが登録されているキーを表示しておくことで基本画面からワンタッチでプログラムを呼び出すことができます。
 送信操作を登録して使用する（プログラム）（4-72ページ）

システム設定（管理者）：カスタマイズキー設定
Webページのメニューにある[システム設定]→[操作設定]の「カスタマイズキー設定」で登録します。

特別機能の設定状態を確認する

「特別機能」の各項目や両面原稿読み込みが設定されているときは、基本画面に キーが表示されます。

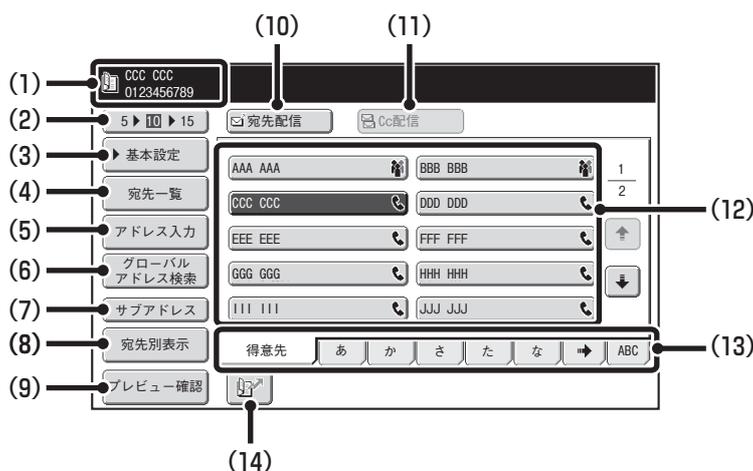
キーをタッチすると設定内容が表示されます。設定内容の確認画面を閉じるときは[OK]キーをタッチしてください。



設定確認画面から特別機能の設定を変更できません。[OK]キーをタッチして設定確認画面を閉じてから、[特別機能]キーをタッチして変更したい機能を設定し直してください。

アドレス帳画面

相手先を一覧表示して入力するときの画面です。



- (1) 選択した相手先を表示します。
- (2) **表示件数切り替えキー**
アドレス帳画面に一度に表示する相手先（ワンタッチキー）の個数を変更するときにタッチします。タッチするごとに5件、10件、15件と切り替わります。
- (3) **[基本設定]キー**
送信の設定操作を行うときにタッチします。このキーをタッチすると基本画面を表示します。
☞ [ファクスモード基本画面](#)（4-7ページ）
- (4) **[宛先一覧]キー**
選択されている相手先を一覧表示して確認するときにタッチします。相手先の選択を訂正することができます。
☞ [指定した相手先を一覧表示で確かめる／解除する](#)（4-18ページ）
- (5) **[アドレス入力] キー**
ファクス機能では使用しません。
- (6) **[グローバルアドレス検索]キー**
本機のWebページでLDAPサーバーが利用できるように設定されている場合に、グローバルアドレス帳から相手先番号を取得するときにタッチします。
☞ [グローバルアドレス帳から相手先を呼び出す](#)（4-20ページ）
- (7) **[サブアドレス]キー**
Fコード通信のサブアドレスやパスコードを入力するときにタッチします。
☞ [Fコード通信のダイヤル](#)（4-112ページ）
- (8) **[宛先別表示]キー**
インデックスタブをユーザーインデックスに切り替えるときや、ワンタッチキーを送信モード別に表示させるときにタッチします。
☞ [アドレス帳画面のワンタッチキー表示方法を変更する](#)（4-10ページ）
- (9) **[プレビュー確認]キー**
送信の仕上がりリイメージを、あらかじめタッチパネルで確認してから送信したいときにタッチします。
☞ [送信の仕上がりリイメージを確認する（プレビュー確認）](#)（4-55ページ）
- (10) **[宛先配信]キー**
選択した相手先（ワンタッチキー）を確定するときにタッチします。
☞ [相手先を呼び出す](#)（4-17ページ）
- (11) **[Cc配信]キー**
ファクス機能では使用しません。
- (12) **ワンタッチキー表示部**
アドレス帳に登録されている相手先のワンタッチキーを表示します。本章では、相手先が登録されたキーやグループ登録されたキーをワンタッチキーと呼びます。ファクス番号が登録されたキーは、☎ を表示しています。
☞ [相手先を呼び出す](#)（4-17ページ）
- (13) **インデックスタブ**
インデックスを切り替えるときにタッチします。
☞ [相手先を呼び出す](#)（4-17ページ）
- (14) **☎ キー**
検索番号で相手先を呼び出すときにタッチします。
☞ [検索番号で相手先番号を呼び出す](#)（4-19ページ）

ネットワークスキャナー機能、インターネットFax機能を使用している場合、ファクス以外の相手先（宛先）が登録されているときは、ワンタッチキー表示部は別のアイコンで表示されます。
[アドレス帳から相手先番号を呼び出す](#)（4-16ページ）

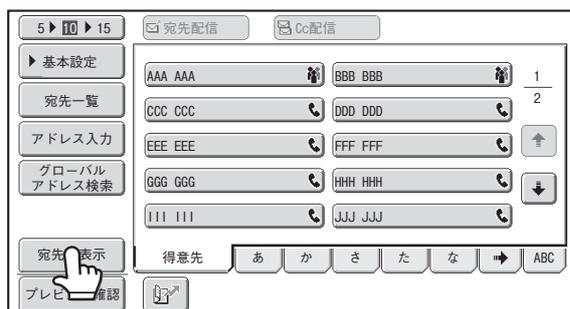
- システム設定：アドレス帳（7-15ページ）**
 相手先のファクス番号をワンタッチキーに登録できます。
- システム設定（管理者）：宛先の表示件数切替**
 アドレス帳画面に表示されるワンタッチキーの標準の個数を変更できます。
- システム設定（管理者）：デフォルト表示画面**
 [ファクス/イメージ送信]キーをタッチして最初に表示される画面を次の中から設定します。
 - 各モード基本画面（スキャナー・インターネットFax・ファクス・データ入力）
 - アドレス帳画面
- システム設定（管理者）：アドレス帳のデフォルト設定**
 アドレス帳画面を表示したときの宛先の並び方を次の項目で設定できます。
 - インデックスタブの種類（50音順・ユーザー）
 - 宛先の種類（すべて・グループ・E-mail・FTP/Desktop・共有フォルダー・インターネットFax・ファクス）

アドレス帳画面のワンタッチキー表示方法を変更する

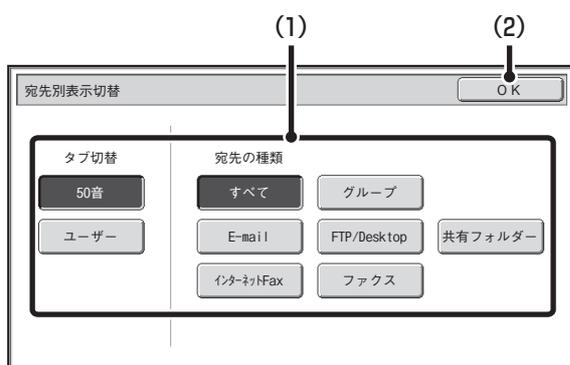
アドレス帳画面で特定の送信モードのみを表示したり、50音で表示しているインデックスを任意で作成したインデックス（ユーザーインデックス）に切り替えて表示することができます。送信先の選択などの操作は変わりません。

[宛先別表示]キーをタッチする

1



2



表示方法を変更する

(1) 表示させるモードやタブのキーをタッチする

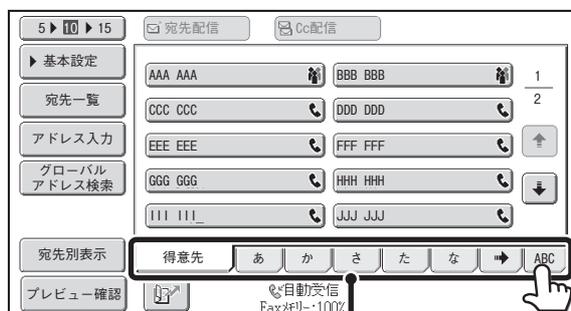
- 特定の送信モードのワンタッチキーのみを表示させるときは、「宛先の種類」から表示させるモードのキーをタッチしてください。
- インデックスタブをユーザーインデックスに切り替えるときは、「タブ切替」の[ユーザー]キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする

インデックス表示について

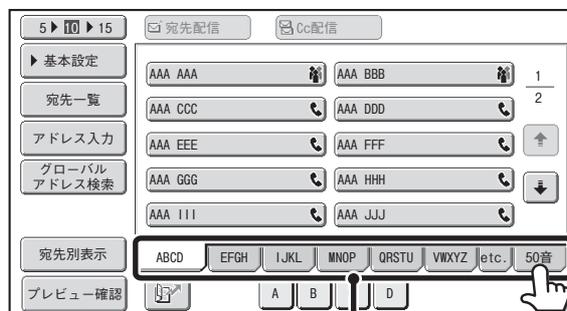
インデックスを使用することで、目的の送信先（ワンタッチキー）をかたんに探すことができます。送信先は、検索文字で50音または英数のインデックスに分けて表示されます。登録されている送信先は、インデックスタブをタッチして表示します。よく使う送信先は、[得意先]に表示されるように登録しておく便利です。送信先登録時に[得意先]インデックスに表示されるように設定してください。

50音順



インデックスタブ

英数順



インデックスタブ

50音のタブは、「あ」から「な」と、「は」から「わ」に分かれて表示されます。表示されていない50音のタブは、 をタッチして表示を切り替えてください。

また、表示している送信先を検索文字で50音順に並べ替えることができます。

表示しているインデックスタブをタッチすることによって検索番号（4-19ページ）順→名前昇順→名前降順→検索番号順…と表示する順番が切り替わります。表示する順番を変更すると、他のインデックスタブでも同じ順番で表示されます。

検索番号順（初期状態）



名前昇順



名前降順



システム設定の「ユーザーインデックス」でインデックスの名前を任意で変更でき、ワンタッチキーをわかりやすくグループ別に分けるなどして使用することができます。



システム設定：ユーザーインデックス（7-19ページ）

ユーザーインデックスに名称を登録します。送信先登録したワンタッチキーを、どのユーザーインデックスに分けるかは、送信先登録時に設定します。

検索文字を絞り込む

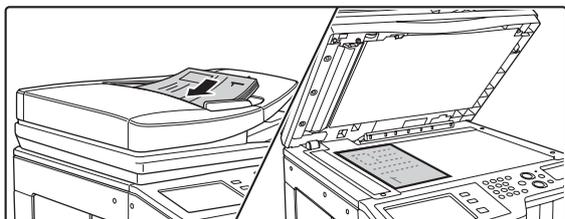
インデックスタブの50音のタブをタッチすると、検索文字がさらに細分化されたキーが表示されます。たとえば、[あ]タブをタッチすると、「あ」から「お」までが細分化されたキーが表示されます。この中で、たとえば、[い]キーをタッチすると、検索文字で「い」から始まる相手先のみを表示させることができます。再度キーをタッチすると解除できます。ただし、[得意先]タブや[etc.]タブ、ユーザーインデックスタブを使用している場合は細分化されません。



ファクス送信の流れ

ファクスを送信するときの基本的な操作を説明します。

原稿をセットする



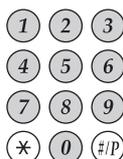
送信する原稿を、原稿自動送り装置の原稿セット台、または原稿台（ガラス面）のどちらかにセットします。



相手先番号を入力する



または



- [アドレス帳]キー：アドレス帳に登録された相手先から呼び出したり、グローバルアドレス帳から検索して呼び出します。
 ☞ [アドレス帳から相手先番号を呼び出す](#) (4-16ページ)
-  キー：検索番号でアドレス帳に登録された相手先を呼び出します。
 ☞ [検索番号で相手先番号を呼び出す](#) (4-19ページ)
- [再送信]キー：最後に送信した相手先番号から過去8件の中から選択して呼び出します。
 ☞ [再送信機能を使う](#) (4-22ページ)
- 数字キー：相手先番号を入力します。
 ☞ [数字キーで相手先番号を入力する](#) (4-15ページ)



原稿の設定



送信する原稿の設定を行います。

- [原稿]キー：原稿読み込みサイズ、原稿送信サイズ、両面原稿読み込みを設定します。
 - ☞ 原稿の読み込みサイズ／送信サイズを指定する（拡大・縮小）（4-46ページ）、原稿の表裏を自動的に読み込む（両面原稿）（4-45ページ）
- [濃度]キー：原稿の濃度を設定します。
 - ☞ 原稿の濃度を変える（4-53ページ）
- [画質]キー：原稿の画質を設定します。
 - ☞ 原稿の画質を変える（4-54ページ）



特別機能の設定



[特別機能]キーをタッチして、時刻指定や枠消去などの便利な機能を設定します。



送信を実行する

原稿を読み込んで送信を実行します。

原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、次の操作で送信を実行します。

通常の送信時（メモリー送信）

- (1) [白黒スタート]キーを押す
- (2) セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替える
- (3) [白黒スタート]キーを押す
- (4) 上記操作の(2)～(3)を繰り返してすべての原稿を読み込む
- (5) [読み込み終了]キーをタッチする

直接送信モードで送信時

直接送信モードでは複数枚の原稿は読み込めません。

[白黒スタート]キーを押すと送信を実行します。



送信終了後は、原稿の設定や特別機能の設定は解除されます。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー（）を押してください。



システム設定（管理者）：デフォルト表示画面

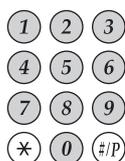
読み込み終了後も設定内容を一定時間保持させることができます。

相手先の入力方法について

送信する相手先番号を入力する方法について説明しています。

数字キー（10キー）を使用して相手先番号を入力する方法、あらかじめ登録されている相手先番号をアドレス帳や検索番号を使用して呼び出す方法があります。

数字キーで相手先番号を入力する



数字キー（10キー）を押して相手先番号を入力する

 相手先番号はまちがいのないように正しく入力してください。

 番号をまちがえたときは…
[クリア]キー（）を押してまちがえた番号を消去し入力し直してください。

番号の間にポーズ（待ち時間）を入力する

構内交換機（PBX）経由で0発信するときの「0」のあとや、国際電話の国番号のあとなどに、ポーズ（待ち時間）を入力してダイヤルします。



[ポーズ]キーをタッチする

[ポーズ]キーを1回タッチすると「-（ハイフン）」が入力されます。

 システム設定（管理者）：ポーズ時間の設定
ポーズ（待ち時間）の長さを設定します。工場出荷時は2秒間に設定されています。

アドレス帳から相手先番号を呼び出す

アドレス帳画面では登録されている相手先をワンタッチキーでわかりやすく表示します。送信する相手先のワンタッチキーをタッチして相手先番号を呼び出します。これをワンタッチダイヤルと呼びます。また、ワンタッチキーに複数の相手先番号を登録しておいて、ワンタッチで呼び出すことができます。これをグループダイヤルと呼びます。送受信する相手先が複数の場合に便利なダイヤル方法です。



ファクスモードで使用する相手先の他にスキャナー機能の各モードで使用する相手先が登録されている場合、ワンタッチキーに相手先名と使用するモードをアイコンで表示しています。

アイコン	使用するモード
	ファクス
	E-mail送信スキャン
	インターネットFax (ダイレクトSMTP)
	ファイルサーバー送信スキャン
	共有フォルダー送信スキャン
	デスクトップ送信スキャン
	複数の宛先が登録されているグループキー



システム設定：アドレス帳 (7-15ページ)

アドレス帳に相手先の名前やファクス番号などを登録します。

相手先を呼び出す

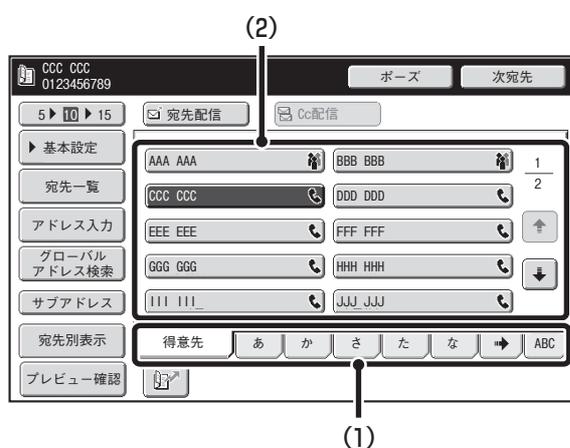
ファクス送信する相手先のワンタッチキーを選択して相手先を呼び出します。

1



[アドレス帳]キーをタッチする

2



送信先を選択する

(1) 相手先が登録されているインデックスタブをタッチする

(2) 相手先のワンタッチキーをタッチする

相手先をまちがって選択したときは、もう一度キーをタッチすることで指定を解除できます。



- よく使う相手先などを[得意先]に表示させることができます。相手先登録時に[得意先]インデックスに表示するように設定します。
- 続けて別の相手先を指定するときは…
[次宛先]キーをタッチしてこの手順の(1)~(2)を繰り返してください。

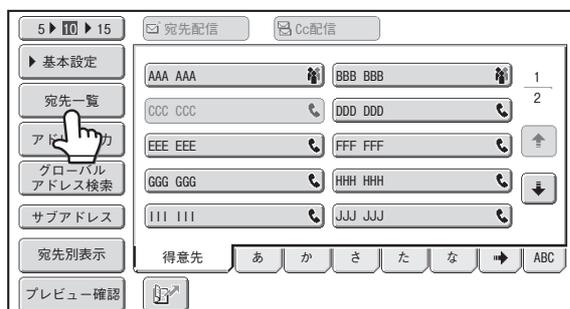


- システム設定 (管理者) : 同報時の次宛先キー入力**
次の相手先を指定する前に[次宛先]キーを省略するかどうか設定します。工場出荷時の状態では、[次宛先]キーの入力を省略できるように設定されています。
- システム設定 (管理者) : 表示順番切り替えの禁止**
アドレス帳画面に表示されるワンタッチキーの表示順番切り替えを禁止します。禁止したときは、禁止時に選択されていた表示順番に固定されます。

指定した相手先を一覧表示で確かめる／解除する

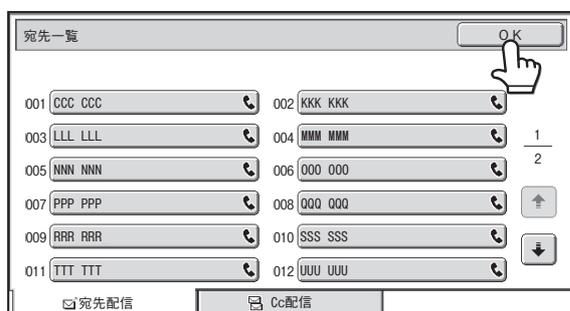
複数の相手先を入力したときに、相手先を一覧表示して確かめます。また、指定した相手先を解除する（選択からはずす）こともできます。

1



[宛先一覧]キーをタッチする

2

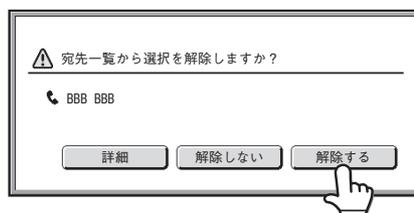


相手先を確かめて[OK]キーをタッチする



指定した相手先を取り消すときは…

取り消したい相手先のワンタッチキーをタッチします。確認のメッセージが表示されるので[解除する]キーをタッチしてください。[詳細]キーをタッチすると、指定した相手先の種類や名前などを確認できます。



検索番号で相手先番号を呼び出す

 キーからアドレス帳に登録されている相手先を呼び出します。各モードの基本画面やアドレス帳画面から使用できます。

1

スキャナー インターネットFax アドレス帳 直接送信 サブアドレス 宛先一覧 ファイリング 自動一時保存 プレビュー確認	ファクス USBメモリースキャン リモートPCキヤン
	原稿 読込: 自動 A4 送信: 自動 濃度 自動 画質 普通字 特別機能 
	自動受信 Faxメモリー:100%



 キーをタッチする

1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#/P

数字キーで検索番号（4桁）を入力する

検索番号を4桁入力すると、登録されている相手先が呼び出され、相手先に指定されます。

- 2

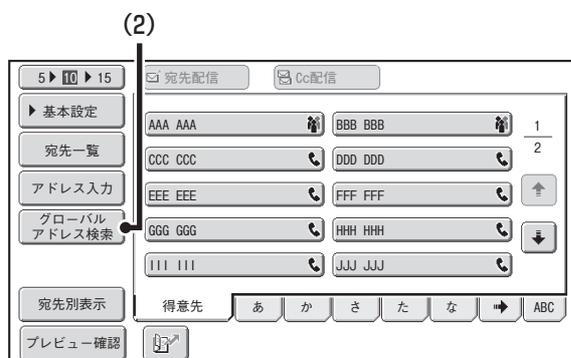
-  検索番号は相手先をアドレス帳に登録するときに設定します。
 - 検索番号がわからないときは、システム設定「宛先登録リスト」のワンタッチアドレスリストをプリントして確認してください。
 - 検索番号が「0001」や「0011」の場合「0」の入力を省略することができます。たとえば、「0001」の場合は「1」を入力して  キーまたは[次宛先]キーをタッチしてください。

 検索番号をまちがえたときは…
[クリア]キー（）を押してまちがえた番号を消去し、入力し直してください。

グローバルアドレス帳から相手先を呼び出す

WebページでLDAPサーバーが設定されているときは、ファクス送信を行うときにグローバルアドレス帳から相手先を検索してファクス番号を取得することができます。

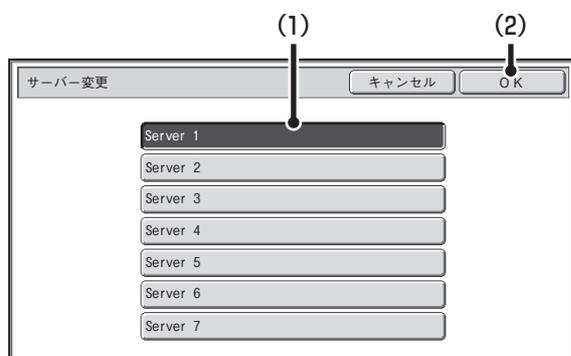
1



グローバルアドレス検索画面を表示する

- (1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする
- (2) [グローバルアドレス検索]キーをタッチする

2



相手先を検索する

設定されているLDAPサーバーが1件のみのときは、(1) (2) の操作は不要です。(3) から操作を行ってください。LDAPサーバーへの認証画面が表示されたときは、ユーザー名とパスワードを入力してください。

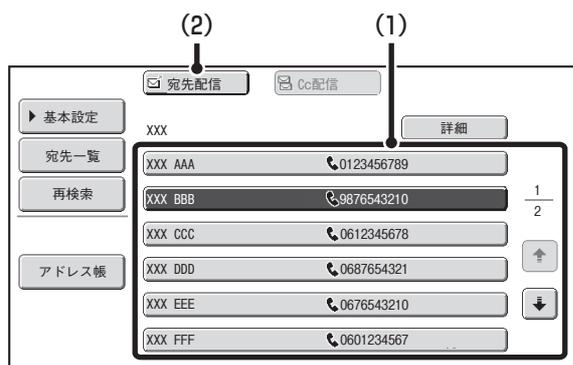
- (1) 使用するLDAPサーバーのキーをタッチする
LDAPサーバーへの認証画面が表示されたときは、ユーザー名とパスワードを入力してください。
- (2) [OK]キーをタッチする
- (3) 表示される検索画面で相手先を検索する
相手先の検索文字を入力し、[検索]キーをタッチしてください。しばらくすると検索結果が表示されます。文字入力のしかたは、「1. お使いになる前に」の「[文字入力について](#)」(1-71ページ)を参照してください。



検索のしかた

検索文字は64文字以内で入力してください。検索文字で始まる相手先名を検索します。検索文字に* (アスタリスク) を使うと次のように検索することができます。

- XXX* : 「XXX」で始まっている名前
- *XXX : 「XXX」で終わっている名前
- *XXX* : 「XXX」を含んでいる名前
- AA*XX : 「AA」で始まり「XX」で終わっている名前



相手先を選択する

(1) 相手先のキーをタッチする

該当する宛先がなかったときはメッセージが表示されます。[OK]キーをタッチしてメッセージを閉じ、[再検索]キーをタッチして検索をやり直してください。

(2) [宛先配信]キーをタッチする

選択したキーを確認します。別の相手先を選択するときはこの手順の(1)(2)を繰り返し操作してください。

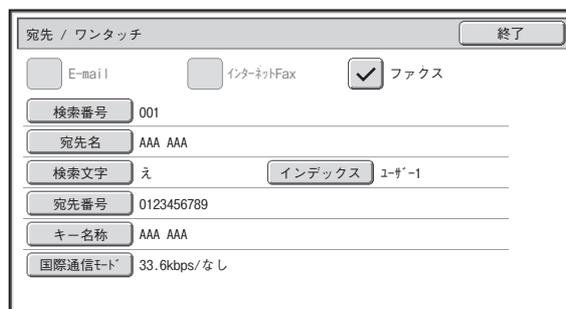


- 検索結果が30件以上あった場合、画面にメッセージが表示されます。[OK]キーをタッチしてメッセージを閉じてください。検索結果は最大300件表示されます。該当する宛先がなかった場合は、[再検索]キーをタッチし、検索文字を追加して再度検索してください。
- 相手先の登録内容を確認するときは…
相手先のキーをタッチし、[詳細]キーをタッチしてください。選択した相手先の登録内容が表示されます。登録内容を確認し、[OK]キーをタッチして検索結果画面に戻ってください。
- 宛先に適用する項目を選択する画面が表示されたときは…
選択した相手先にファクス番号や電話番号の他にE-mailアドレスなどが登録されているとき、宛先に適用（使用）する項目を選択します。ここでは、[Fax]キーをタッチしてファクス番号を取得してください。

グローバルアドレス帳の相手先を本機のアドレス帳に登録するには

グローバルアドレス帳に登録されているファクス番号を、本機のアドレス帳に相手先(ワンタッチキー)として登録することができます。

グローバルアドレス帳の検索結果画面(上記手順3の画面)にある[詳細]キーをタッチすると、選択した相手先の詳細情報が表示されます。詳細情報画面の[アドレス登録]キーをタッチし、宛先に適用する項目(ここでは[ファクス]キー)をタッチすると、次の画面が表示されます。



グローバルアドレス帳に登録されている情報は、自動で入力されます。(必要に応じて設定を変更することもできます。各項目の詳細については、「7. システム設定」の「宛先登録」(7-15ページ)を参照してください。)ただし、次の項目は手動で設定してください。[終了]キーをタッチすると、登録が完了します。

- [検索文字]キー： 50音インデックス内での分類とワンタッチキーの表示順を設定します。10文字以内で検索文字を入力してください。
- [インデックス]キー： ユーザーインデックス表示を切り替えたときの分類されるインデックスを設定します。また、登録する相手先をアドレス帳の「得意先」タブに表示させるかどうかを設定することができます。
- [国際通信モード]キー： 「通信速度」と「国際通信モード」を設定します。あらかじめ設定されていますが、海外や通信エラーが起こりやすい相手先の場合のみ、必要に応じて設定を変更してください。

再送信機能を使う

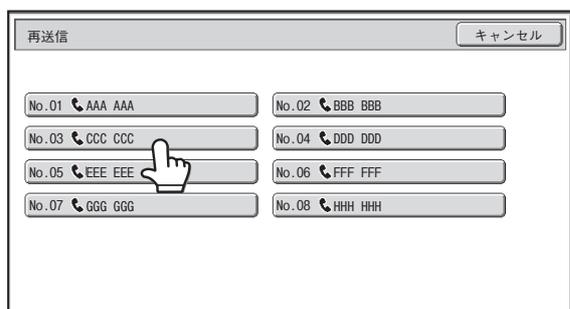
ファクスを送信した相手先番号、E-mail送信スキャンやインターネットFaxの送信先アドレスは、最後に送信した相手先から8件記憶されており、選択して再送信することができます。

1



[再送信]キーをタッチする

2



再ダイヤルする相手先のキーをタッチする

最後にかけた相手先から8件までが表示されています。



- 前回の通信中に数字キーが押されていた場合、正しく再ダイヤルできないことがあります。
- 以下のファクス宛先は、再送信できる宛先として記憶されません。
 - 複数の送信先を登録したワンタッチキー（グループキー）
 - 同報送信の宛先
 - プログラム送信した宛先



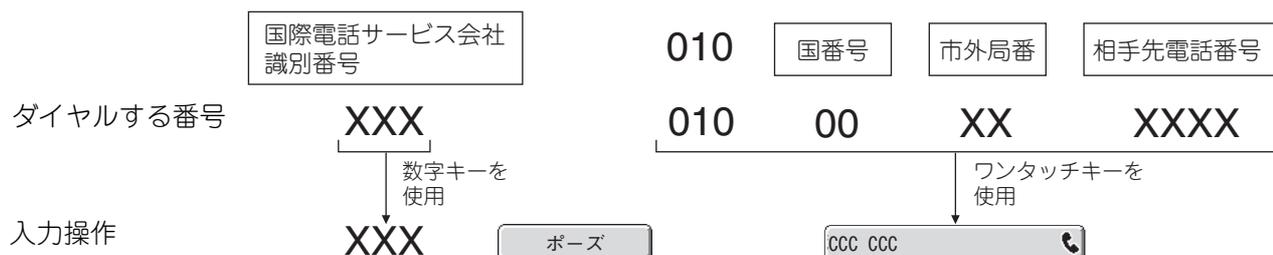
システム設定（管理者）：ファクス/イメージ送信モードからの[再送信]の禁止

再送信機能の使用を禁止します。有効にすると、ファクス/イメージ送信モードの基本画面から[再送信]キーが操作できなくなります。

複数の番号をつなげる（チェーンダイヤル）

数字キーやワンタッチキーで入力した番号をポーズで続けて入力し組み合わせて使用します。
海外の相手先などの長い番号の場合、国番号や市内番号などをワンタッチキーに分けて登録しておいてチェーンダイヤルでつなげて使用します。

例：海外の相手先にダイヤルする場合の入力方法



システム設定（管理者）：ポーズ時間の設定

ポーズ（待ち時間）の長さを設定します。工場出荷時は2秒間に設定されています。

基本的な送信のしかた

ファクスの基本的な送信方法について説明しています。

送信方法について

本機からファクスを送信する方法を説明しています。お使いの状況に合わせて送信方法を選択してください。

大量のシート物原稿を送信するときは、原稿自動送り装置をお使いください。

セットされた原稿を本機のメモリーに読み込んでから送信します（メモリー送信）。

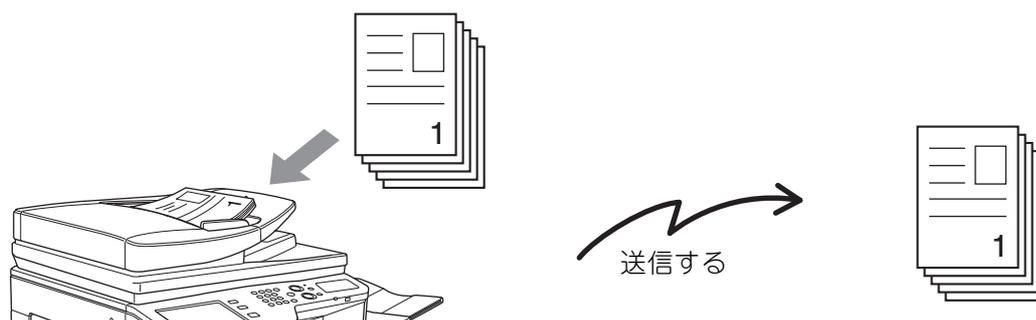
回線があいている状態でメモリー送信に設定し、原稿が複数枚セットされた場合、原稿の読み込みと並行して読み込みが終わったページから順番に送信していきます（クイックオンライン送信）。

相手先が話し中などで、すぐに送信できないときは、原稿をすべて読み込んで送信予約されます。

☞ [原稿自動送り装置を使って送信する](#)（4-30ページ）

ファクスの送受信中に次の送信操作を行って、送信ジョブを予約することができます。予約された送信ジョブは、ジョブ状況画面を表示して確認することができます。

☞ [通信状況を確認する](#)（4-135ページ）

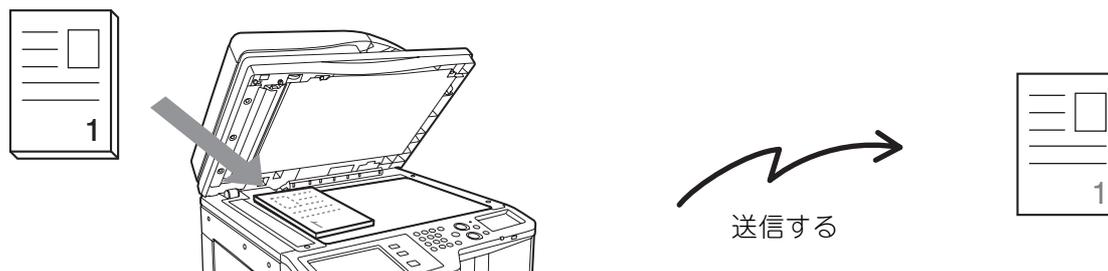


- ☞ 1枚目の原稿を読み込み中にメモリーがいっぱいになったときは、送信が中止されます。
- ☞ 次のような場合、自動的に送信予約（メモリー送信）されます。
 - 相手先が話し中や通信エラーでつながらなかったときに、自動で再送信させる設定を有効にしているとき
 - ☞ [相手が話し中のときは](#)（4-28ページ）、[通信エラーが発生したときは](#)（4-28ページ）
 - 他のファクスが送受信中や電話中で本機の回線が使用中のとき
 - 先に送信予約されているファクスがあるとき
 - 次の機能を使用して送信しているとき
 - 順次同報送信、Fコード通信、時刻指定通信、ページ分割、ページ集約、カードスキャン、大量原稿モード、原稿枚数カウント
 - 原稿台（ガラス面）を使用して送信しているとき（オンフックダイヤル時を除く）
- ☞ 最大で94件まで送信予約できます。
- ☞ 送信が完了すると原稿データは消去されます。ただし、ドキュメントファイリング機能を使用している場合、送信した原稿のデータを保存しています。

☞ **システム設定（管理者）：クイックオンライン送信**
クイックオンライン送信がはたらかないように設定できます。その場合、送信予約（メモリー送信）で送信されます。

厚手の原稿や本を送信するときは、原稿台（ガラス面）をお使いください。

☞ 原稿台（ガラス面）を使って送信する（4-33ページ）



原稿台（ガラス面）を使用して送信するときは、クイックオンライン送信がはたらきません。

送信予約されているファクスより先に送信したいときは、直接送信モードで送信してください。

セットした原稿をメモリーに読み込まないで、相手先に送信します。
直接送信モードで送信すると、現在通信中のファクスの次に割り込んで送信されます。
基本画面の[直接送信]キーをタッチして送信します。

- ☞ 原稿自動送り装置を使用して直接送信モードで送信する（4-31ページ）
- ☞ 原稿台（ガラス面）を使用して直接送信モードで送信する（4-35ページ）

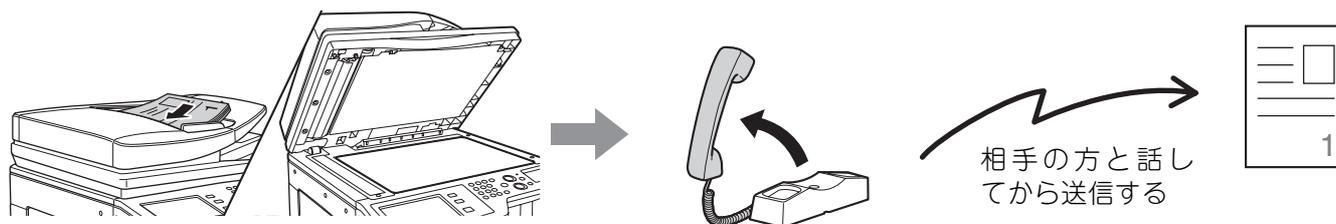


- 直接送信モードで送信が終わると、自動的にメモリー送信モードに戻ります。
- 原稿台（ガラス面）を使用する場合、複数枚の原稿は読み込めません。

相手の方と話してファクスを送信するときは、ハンドセットをお使いください。

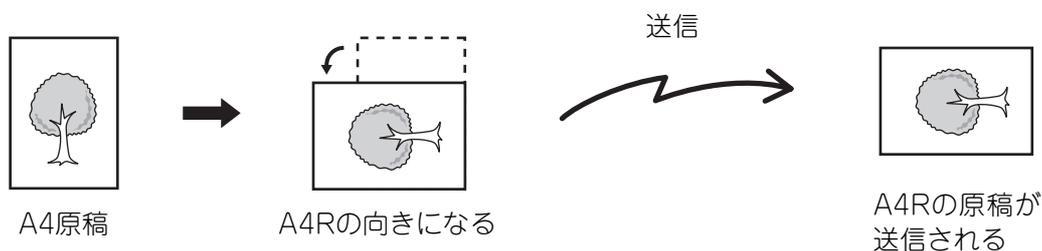
電話をかけて相手の方と通話してからファクス送信に切り替えて原稿を送信します（手動送信）。別売品のハンドセット装着時のみ利用できます。

☞ 相手と話してからファクスを送信する（手動送信）（4-128ページ）



原稿セット方向について

A4原稿を縦長方向（目）にセットした場合、自動的に90度回転して横長方向（罫）で送信するように設定されています（回転送信）。横長方向（罫）にセットした場合、そのまま横長方向（罫）で送信されます。



 A4R、B5、A5サイズの前稿は回転送信されません。

 システム設定（管理者）：回転送信の設定
工場出荷時は、回転送信するように設定されています。解除すると原稿をセットした方向のまま送信します。

送信原稿の自動縮小機能

送信する原稿サイズの幅が相手の用紙サイズの幅より大きい場合、相手の用紙幅に合わせて原稿サイズを自動的に縮小します。

例：縮小サイズと縮小倍率

送信する原稿幅	相手の用紙幅	縮小サイズ	倍率
A3	B4	B4	1 : 0.84
A3	A4	A4R	1 : 0.71
B4	A4	A4R	1 : 0.84

 Fネットを利用する場合は、相手の機種によってFネット内で縮小が行われます。詳しくは、Fネットのパンフレットを参照してください。

 システム設定（管理者）：自動縮小送信
工場出荷時は、自動縮小するように設定されています。解除すると原稿が原寸で送信され、送信した原稿の一部が欠けることがあります。

送信できる原稿サイズ

送信できる原稿サイズは下表のとおりです。

	最小原稿サイズ	最大原稿サイズ
原稿自動送り装置を使用するとき	131mm (縦) x 140mm (横)	297mm (縦) x 1000mm* (横)
原稿台(ガラス面)を使用するとき	—	297mm (縦) x 432mm (横)

※長尺原稿を送信できます。

 Fネットを利用する場合、原稿サイズについて制限があります。詳しくはFネットのパンフレットを参照してください。

セットした原稿サイズについて

規定サイズの原稿をセットすると、自動的に原稿サイズを正しく検知し、基本画面の「読込」サイズに検知したサイズが表示されます。

原稿自動検知機能がはたらいっているときに、規定サイズ以外の原稿をセットした場合、原稿サイズに近い規定サイズが表示されたり、原稿サイズが表示されない場合があります。このときは、手動で正しい原稿サイズを設定してください。

- ☞ [原稿の読み込みサイズを指定する（用紙サイズで指定する）](#)（4-47ページ）
- ☞ [原稿の読み込みサイズを指定する（サイズを数値で指定する）](#)（4-49ページ）

規定サイズについて

規定サイズとは、本機が自動検知できる原稿サイズを指します。規定サイズはシステム設定（管理者）の「原稿検知装置の設定」によって設定されます。工場出荷時は「AB-1」に設定されています。

原稿検知装置の設定リスト

選択項目	規定サイズ（原稿検知サイズ）	
	原稿台（ガラス面）	原稿セット台（原稿自動送り装置）
AB-1	A3、A4、A4R、A5、B4、B5、B5R	A3、A4、A4R、A5、B4、B5、B5R、8-1/2"x11"、8-1/2"x14"、11"x17"
AB-2	A3、A4、A4R、A5、B5、B5R、216mmx330mm (8-1/2"x13")	A3、A4、A4R、A5、B4、B5、B5R、8-1/2"x11"、11"x17"、216mmx330mm (8-1/2"x13")
AB-3	A4、A4R、A5、B4、8K、16K、16KR	A3、A4、A4R、A5、B4、8K、16K、16KR、8-1/2"x11"、11"x17"、216mmx330mm (8-1/2"x13")
AB-4	A3、A4、A4R、A5、B5、B5R、216mmx340mm (8-1/2"x13-2/5")	A3、A4、A4R、A5、B4、B5、B5R、8-1/2"x11"、11"x17"、216mmx340mm (8-1/2"x13-2/5")
AB-5	A3、A4、A4R、A5、B5、B5R、216mmx343mm (8-1/2"x13-1/2")	A3、A4、A4R、A5、B4、B5、B5R、8-1/2"x11"、11"x17"、216mmx343mm (8-1/2"x13-1/2")
INCH-1	11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"	11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"、A4、A3
INCH-2	11"x17"、8-1/2"x13" (216mmx330mm)、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"	11"x17"、8-1/2"x13" (216mmx330mm)、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"、A4、A3
INCH-3	11"x17"、8-1/2"x13-2/5" (216mmx340mm)、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"	11"x17"、8-1/2"x13-2/5" (216mmx340mm)、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"、A4、A3

相手が話し中のときは

送信した相手先が話し中だった場合、自動的に時間をあけて送信し直します。この機能はメモリー送信モードで送信した場合にはたつきません。直接送信モードや手動送信で送信した場合は送信がキャンセルされます。時間をあけて送信し直してください。



送信を中止するときは…

ジョブ状況画面から送信を中止してください。

 [通信中や予約中のファクスを中止する](#) (4-142ページ)



システム設定（管理者）：宛先ビジー時の再コール設定

相手先が話し中などで回線が接続できなかった場合に再コールする時間（間隔）と回数を設定します。工場出荷時は3分間隔で2回に設定されています。

通信エラーが発生したときは

何らかのエラーが発生し、送信が正常に行われなかったときや相手側を一定時間呼び出しても応答が無かった場合、自動的に時間を空けて送信し直します。この機能はメモリー送信モードで送信した場合にはたつきません。



送信を中止するときは…

ジョブ状況画面から送信を中止してください。

 [通信中や予約中のファクスを中止する](#) (4-142ページ)



システム設定（管理者）：通信エラー時の再コール設定

何らかのエラーで正常に送信できなかった場合に再コールする時間（間隔）と回数を設定します。工場出荷時は3分間隔で2回に設定されています。

ファクス宛先確認機能について

ファクス宛先確認機能は、ファクス送信を行うときに宛先確認のメッセージを表示させることでファクスの誤送信を防止する機能です。システム設定(管理者)で設定することができます。この機能が設定されている場合にファクス送信を行うと、[白黒スタート]キーを押したときに宛先の確認メッセージが表示されます。

表示される確認メッセージは、宛先の指定方法によって異なります。

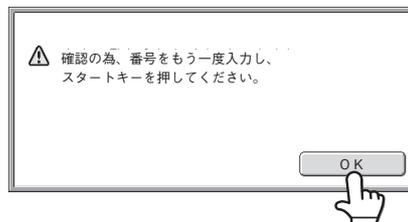
ワンタッチキー／検索番号で宛先を指定した場合



確認メッセージに表示されている宛先が正しいか確認して[OK]キーをタッチすると、原稿の読み込みが開始されます。

宛先をまちがえていた場合は、[キャンセル]キーをタッチし、宛先を選択し直してください。

数字キー、[再送信]キー、[グローバルアドレス検索]キーで宛先を指定した場合



[OK]キーをタッチしたあと、数字キーで宛先を再入力して[白黒スタート]キーを押してください。

再入力した宛先が正しい場合は、原稿の読み込みが開始されます。

再入力した宛先が正しくない場合はメッセージが表示されるので、[OK]キーをタッチしてから再入力してください。確認入力を3回まちがえると、それまでに行った設定がすべてキャンセルされ、基本画面に戻ります。

-  [サブアドレス]キーをタッチしてサブアドレスやパスコードを入力した場合は、確認の際ファクス番号を再入力する必要があります。その際も、[サブアドレス]キーをタッチしてサブアドレスやパスコードを入力してください。
- チェーンダイヤルで入力した場合は、確認の際も[ポーズ]キーをタッチして"- "を入力してください。

制限される機能について

「ファクス宛先確認機能」が設定されている場合、送信先は常に1件となるため、次の機能を使用することができなくなります。

• ファクス宛先を含む複数宛先への同報送信

複数のファクス宛先が登録されたグループキー、プログラムキーが指定できなくなります。また、宛先を1件指定したあとは、他のワンタッチキー、[次宛先]キー、[アドレス入力]キー、[グローバルアドレス検索]キーなどがタッチできなくなります。

• オンフック送信

[オンフック]キーをタッチしたあとに宛先を指定できなくなります。



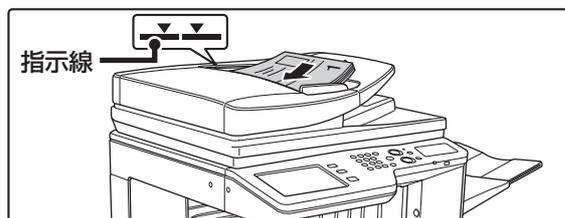
システム設定 (管理者)：ファクス宛先確認機能

ファクス送信を行うときに、宛先確認のメッセージを表示するように設定できます。

原稿自動送り装置を使って送信する

原稿自動送り装置を使って、ファクス送信する方法について説明します。

1



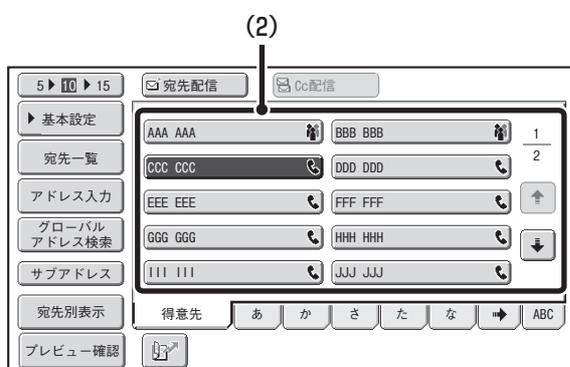
原稿の端面をそろえ、先頭ページを上向きにして原稿セット台にセットする

原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。



1回の送信操作で、原稿セット台と原稿台（ガラス面）の両方から原稿を順次読み込ませることはできません。

2



相手先番号を入力する

- (1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする
- (2) 相手先のワンタッチキーをタッチする



相手先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、数字キーで入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「[相手先の入力方法について](#)」(4-15ページ)を参照してください。

3

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

原稿の読み込みが正常に終了すると「ピー」音が鳴ります。



原稿の読み込みが終了すると、「予約しました。」のメッセージとジョブの管理番号を表示します。通信結果表または通信記録表で通信記録を確認する際に、この管理番号で通信記録を調べることができます。



- 送信操作をしたときに送受信中のファクスがあった場合、その送信は予約されて送受信中のファクスが終了してから送信されます。
- 原稿を読み込み中にメモリーがいっぱいになったときは、メッセージを表示して原稿の読み込みを中止します。そのとき、クイックオンライン送信で送信中の場合は読み込みが済んでいる原稿を送信します。クイックオンライン送信が設定されていないときは送信を中止します。



システム設定（管理者）：原稿読み込み終了音の設定

原稿を読み込むときの終了音を設定できます。

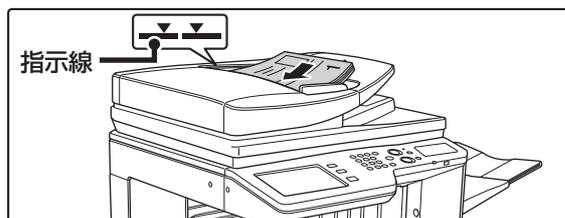


原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。

原稿自動送り装置を使用して直接送信モードで送信する

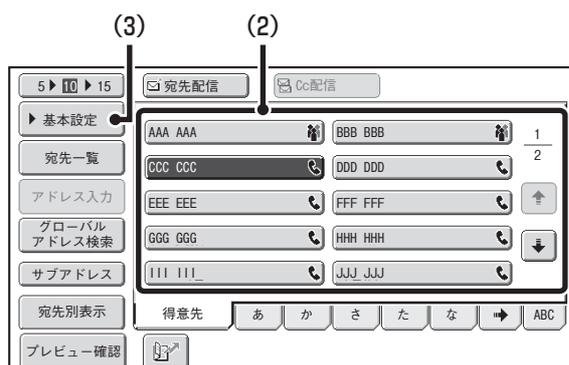
1



原稿の端面をそろえ、先頭ページを上向きにして原稿セット台にセットする

原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。

2



相手先番号を入力する

(1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

(2) 相手先のワンタッチキーをタッチする

(3) [基本設定]キーをタッチする



- 入力できる相手先は1件のみです。複数の相手先が登録されているワンタッチキー（グループダイヤル）は使用できません。
- 相手先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、数字キーで入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「[相手先の入力方法について](#)」(4-15ページ)を参照してください。

3



[直接送信]キーをタッチする

4

[白黒スタート]キーを押す

原稿の送信が始まります。



送信を中止するには…

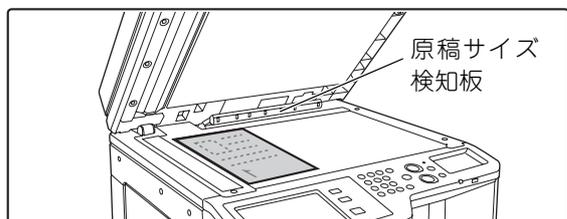
「ダイヤル中です。[停止]キーで中止します。」と表示されているときや、原稿を送信しているときに、[ストップ]キー(⊙)を押してください。

- 
- 直接送信では次の機能が使用できません。
プログラム、時刻指定、ページ集約、カードスキャン、大量原稿モード、掲示板、原稿枚数カウント、ファイリング、自動一時保存、メモリーボックス、送信回線選択（回線増設キット装着時）、両面原稿読み込み、グローバルアドレス帳検索
 - 通信エラーなどで送信ができなかった場合でも再コールしません。
 - 回線2は使用できません。（回線増設キット装着時）
 - 送信操作をしたときに通信中のファクスがあった場合、その通信が終わるまでそのまま待機します。通信が終わると送信を開始します。送信を待機している間、[ジョブ状況]キーを押してジョブ状況画面を表示することができます。それ以外の操作はできません。
☎ [通信状況を確認する](#)（4-135ページ）

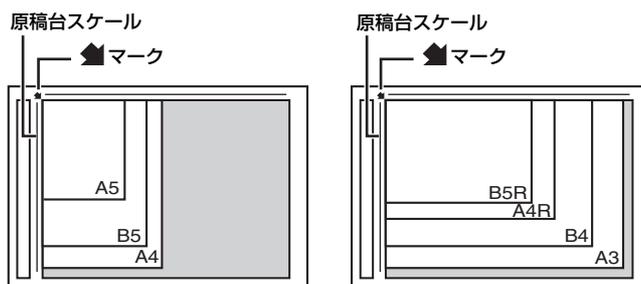
原稿台（ガラス面）を使って送信する

原稿自動送り装置で搬送できない原稿や厚手の原稿などは、原稿自動送り装置を開いて原稿台（ガラス面）にセットしてからファクス送信します。

1



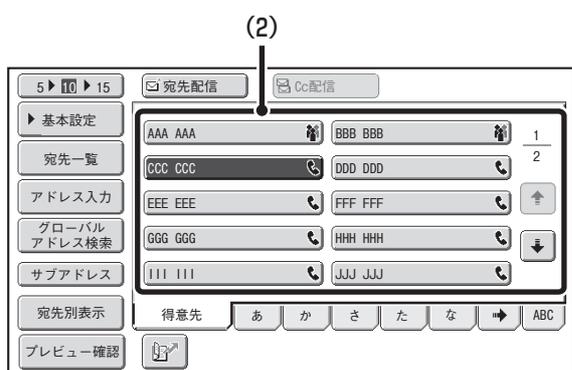
原稿自動送り装置を開き、原稿を原稿台（ガラス面）に下向きにしてセットしてから静かに原稿自動送り装置を閉じる



- 原稿台スケールの▲マークの先に原稿の角を合わせてください。
- サイズに応じて上図の位置になるようにセットしてください。

- ❗ 原稿サイズ検知板の下には物を置かないでください。物がはさまった状態で原稿自動送り装置を閉じると原稿サイズ検知板がこわれたり、原稿サイズが正しく検知されないことがあります。
- ✎ 複数枚の原稿を送信する場合、先頭ページから順にセットしてください。
- ✎ 1回の送信操作で、原稿セット台と原稿台（ガラス面）の両方から原稿を順次読み込ませることはできません。

2



相手先番号を入力する

- (1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする
- (2) 相手先のワンタッチキーをタッチする

- ✎ 相手先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、数字キーで入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「[相手先の入力方法について](#)」(4-15ページ)を参照してください。

3

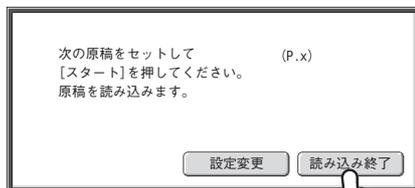
[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

4 次の原稿と入れ替えて、[白黒スタート]キーを押す

送信する原稿をすべて読み込むまで、この操作を繰り返していきます。

 約1分間この操作を行わないと、自動的に読み込みを終了し送信予約されます。



[読み込み終了]キーをタッチする

「ピー」音が鳴ります。

原稿自動送り装置を開いて原稿を取り出してください。

5

-  原稿の読み込みが終了すると「予約しました。」のメッセージとジョブの管理番号を表示します。通信結果表または通信記録表で通信記録を確認する際に、この管理番号で通信記録を調べることができます。
- 確認画面が表示されてから約1分間この操作を行わないと、自動的に読み込みを終了し送信予約されます。
- [設定変更]キーをタッチすると、読み込む原稿ごとに濃度や画質、読み込みサイズ/送信サイズを変更することができます。ただし、特別機能の「ページ集約」および「カードスキャン」を設定している場合で、偶数枚目の原稿を読み込むときは、濃度のみ変更することができます。

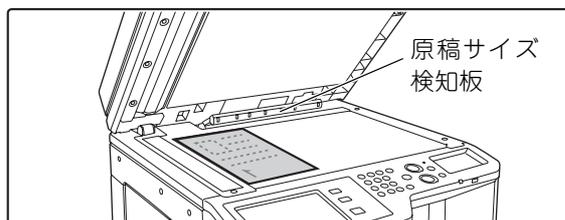
 **送信を中止するには…**
[読み込み終了]キーをタッチする前に、[ストップ]キー (Ⓢ) を押してください。

-  送信操作をしたときに送受信中のファクスがあった場合、その送信は予約されて送受信中のファクスが終了してから送信されます。
- 原稿を読み込み中にメモリーがいっぱいになったときは、メッセージを表示して送信を中止します。

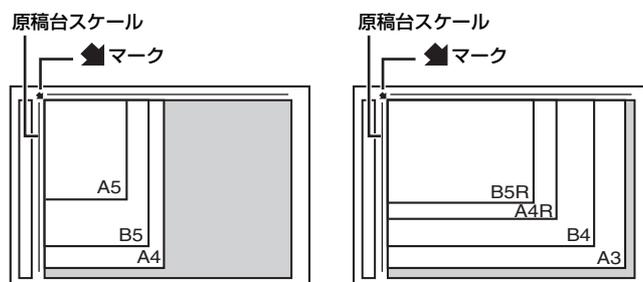
原稿台（ガラス面）を使用して直接送信モードで送信する

直接送信モードで原稿台（ガラス面）から送信できる原稿は1回に1枚です。

1



原稿自動送り装置を開き、原稿を原稿台（ガラス面）に下向きにしてセットしてから静かに原稿自動送り装置を閉じる

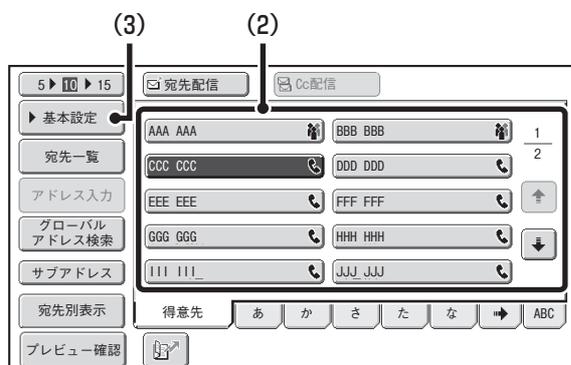


- 原稿台スケールの▲マークの先に原稿の角を合わせてください。
- サイズに応じて上図の位置になるようにセットしてください。



原稿サイズ検知板の下には物を置かないでください。物がはさまった状態で原稿自動送り装置を閉じると原稿サイズ検知板がこわれたり、原稿サイズが正しく検知されないことがあります。

2



相手先番号を入力する

- (1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする
- (2) 相手先のワンタッチキーをタッチする
- (3) [基本設定]キーをタッチする



- 入力できる相手先は1件のみです。複数の相手先が登録されているワンタッチキー（グループダイヤル）は使用できません。
- 相手先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、数字キーで入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「[相手先の入力方法について](#)」（4-15ページ）を参照してください。

3



[直接送信]キーをタッチする

4

[白黒スタート]キーを押す

送信が始まります。



送信を中止するには…

「ダイヤル中です。[停止]キーで中止します。」と表示されているときに、[ストップ]キー (⊙) を押してください。

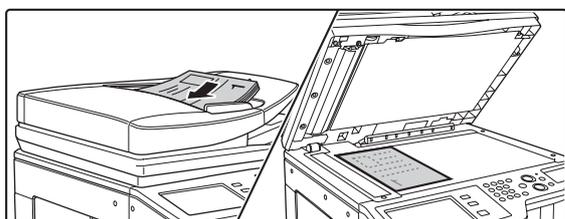


- 直接送信では次の機能が使用できません。
プログラム、時刻指定、ページ集約、カードスキャン、大量原稿モード、掲示板、原稿枚数カウント、ファイリング、自動一時保存、メモリーボックス、送信回線選択 (回線増設キット装着時)、両面原稿読み込み、グローバルアドレス帳検索、
- 通信エラーなどで送信ができなかった場合でも再コールしません。
- 回線2は使用できません。(回線増設キット装着時)
- 送信操作をしたときに通信中のファクスがあった場合、その通信が終わるまでそのまま待機します。通信が終わると送信を開始します。送信を待機している間、[ジョブ状況]キーを押してジョブ状況画面を表示することができます。それ以外の操作はできません。
☞ [通信状況を確認する](#) (4-135ページ)

オンフックダイヤルで送信する

相手先にダイヤルして回線を接続してから原稿を送信します。その際、相手側の声は聞こえますがこちらから話すことはできません。

1

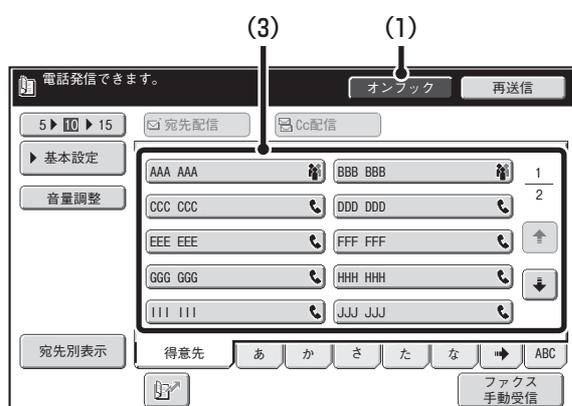


原稿をセットする

原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

原稿台（ガラス面）から送信できるのは1枚のみです。

2



相手先番号を入力する

(1) [オンフック]キーをタッチする

「ツー」という発信音が本機のスピーカーから聞こえます。

(2) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

(3) 相手先のワンタッチキーをタッチする

グループダイヤルが登録されているワンタッチキーは使用できません。



- 相手先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、数字キーで入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「[相手先の入力方法について](#)」(4-15ページ)を参照してください。
- [オンフック]キーをタッチしたあとに、[音量調整]キーをタッチしてスピーカーから聞こえる音の音量を調節することができます。[音量調整]キーをタッチすることに音量が切り替わります。お好みの音量に調節してください。

3

相手先につながったら[白黒スタート]キーを押す

送信を始めます。



送信を中止するときは…

[白黒スタート]キーを押す前に、[オンフック]キーをタッチしてください。通話が切れて送信が中止されます。



- オンフックダイヤルでは原稿をメモリーに読み込まないで送信します。
- Fコード（サブアドレス、パスコード）の入った相手先は使用できません。
- 複数の相手先が登録されている、またはファクス以外の相手先が含まれているワンタッチキーは使用できません。
- 回線2は使用できません。（回線増設キット装着時）

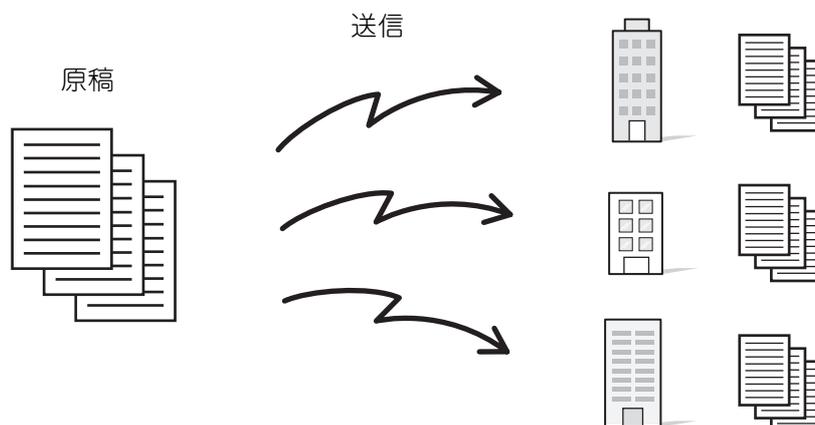


システム設定（管理者）：音設定

音設定の「オンフック」でオンフックダイヤル時のスピーカー音量の初期値を設定します。

複数の相手に同じ原稿をまとめて送信する (順次同報送信)

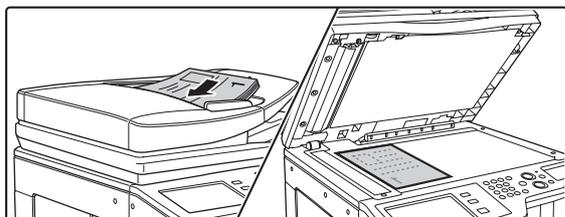
報告書などを各地の支店に送信する場合など、原稿を複数の相手先に送信する場合にお使いいただくと便利です。1回の操作で最大500局まで送信できます。



順次同報送信でよく送信する相手先は、あらかじめグループダイヤルとして登録しておく便利です。グループダイヤルとはワンタッチキーに複数の相手先を登録しておき、ワンタッチで複数の相手先を呼び出す機能です。グループダイヤルの登録は、「7. システム設定」の「宛先登録」(7-15ページ)を参照してください。

グループダイヤルを使用した場合、グループダイヤルに登録されている相手先数が局数となります。10件登録されているグループダイヤルを呼び出した場合、相手先は10局になります。

1

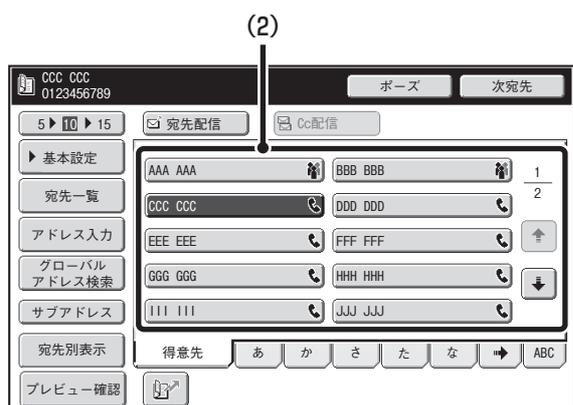


原稿をセットする

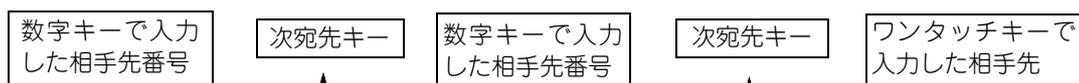
原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

相手先番号を入力する

- (1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする
- (2) 相手先のワンタッチキーをタッチする
- (3) すべての宛先を選択するまで(2)の操作を繰り返す



- 相手先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、数字キーで入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「[相手先の入力方法について](#)」(4-15ページ)を参照してください。
- 相手先番号の入力にはグループダイヤルを利用すると便利です。
- 数字キーで宛先を入力したあと、続けて次の宛先を数字キーで入力するときは、次の宛先を入力する前に[次宛先]キーをタッチしてください。ワンタッチキーで入力した宛先の前後では、[次宛先]キーの入力を省略できます。ただし、システム設定(管理者)の「同報時の次宛先キー入力」が設定されているときは、次の送信先を指定する前に[次宛先]キーをタッチする必要があります。



省略できません

省略できます*

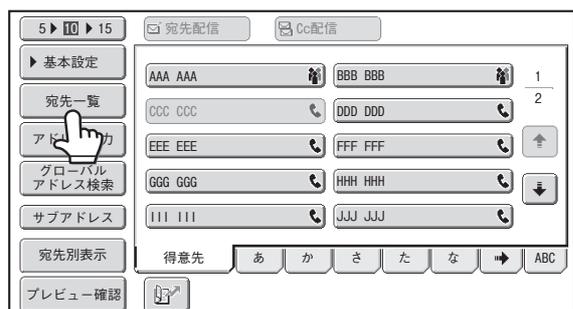
* システム設定(管理者)の「同報時の次宛先キー入力」が設定されているときは省略できません。



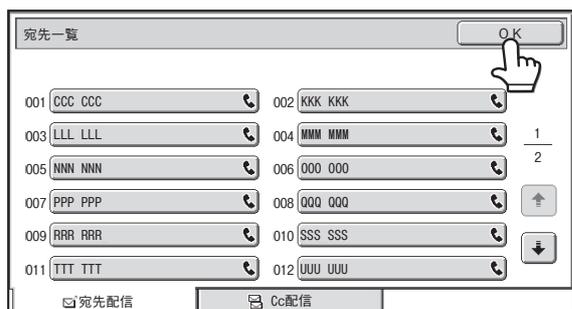
システム設定(管理者)：同報時の次宛先キー入力

同報送信の相手先を入力するときに[次宛先]キーの入力を省略できないように設定します。

[宛先一覧]キーをタッチする



4



相手先を確かめて[OK]キーをタッチする

**指定した相手先を取り消すときは…**

取り消したい相手先のワンタッチキーをタッチします。確認のメッセージが表示されますので[解除する]キーをタッチしてください。

 [指定した相手先を一覧表示で確かめる／解除する](#) (4-18ページ)

5

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

**原稿の読み込みを中止するには…**

[ストップ]キー (⊙) を押してください。

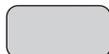
- 順次同報送信は、メモリー送信時のみ行えます。
- 「時刻指定通信」と組み合わせて、夜間など任意の時刻に順次同報送信することができます。また、その他の便利な機能を組み合わせて原稿を送信することができます。
- 送信先に E-mail 送信スキャンやインターネット Fax の相手先を混ぜて入力し順次同報送信することができます。その場合、E-mail送信スキャンやインターネットFaxで送信する原稿は白黒で送信されます。

順次同報送信で送信に失敗した相手先に再送信する

ジョブ状況画面から終了した順次同報送信の送信結果を表示して確認します。送信に失敗した相手先があった場合、その相手先に再送信することができます。

1

ジョブ状況



[ジョブ状況]キーを押す

2



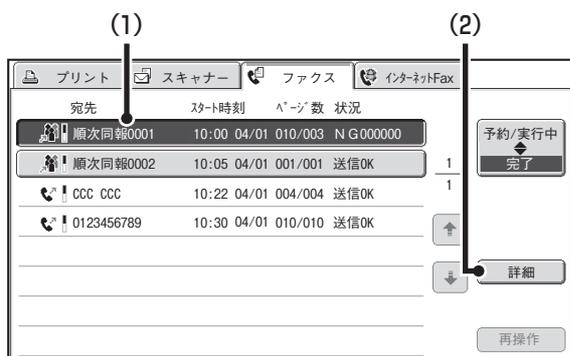
[完了]キーをタッチする

ファクスモードのジョブ状況が表示されていないときは[ファクス]タブをタッチしてください。



モードの異なる送信先を含む同報送信を行ったときは、含まれるモードそれぞれに、同じ順次同報送信のキーが表示されます。

3



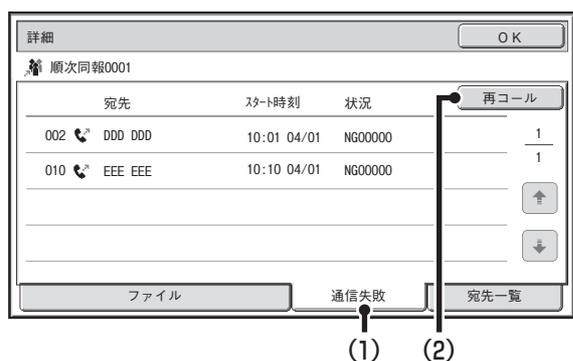
順次同報送信の詳細を表示する

(1) 送信が終了した順次同報送信のキーをタッチする

(2) [詳細]キーをタッチする



順次同報ジョブキーの宛先は「順次同報xxxx」と表示されます。“xxxx”には原稿読み込み終了時にタッチパネルに表示されるジョブの管理番号が入ります。



送信に失敗した相手先に再送信する

- (1) [通信失敗]タブをタッチする
- (2) [再コール]キーをタッチする

4



- ドキュメントファイリング機能を使用している場合と使用していない場合では[再コール]キーをタッチしたあとの操作が異なります。
ドキュメントファイリング機能を使用していないとき
 送信に失敗した相手先が入力された状態で基本画面を表示します。原稿をセットして順次同報送信の操作を行ってください。
- **ドキュメントファイリング機能を使用しているとき**
 送信に失敗した相手先が入力された状態でドキュメントファイリングの再操作画面を表示します。ドキュメントファイリング再送信の操作を行ってください。(原稿を再読み込みする必要はありません)
 親展フォルダーに保存されたジョブ、親展ファイルがある場合は、[再コール]キーをタッチしたあとパスワード入力画面でパスワードを入力してください。
- (1) で[宛先一覧]タブをタッチすると送信した相手先をすべて表示します。画面に表示されている[再コール]キーをタッチして、送信した相手先すべてに再送信することができます。

コンピュータのデータをファクス送信する (PC-Fax)

コンピュータ上のデータを、本機を経由してファクス送信します（PC-Fax機能）。PC-Fax機能を利用したファクス送信は、プリントと同様の操作で行います。お使いのコンピュータのプリンタードライバーをPC-Faxドライバーに切り替えてプリント操作を行うと、送信用の画像データが生成され、ファクス送信が行われます。



操作方法については、PC-Faxドライバーのヘルプを参照してください。

- PC-Fax 機能を利用してファクス送信するには、PC-Fax ドライバーをインストールする必要があります。詳しくは、ソフトウェアセットアップガイドを参照してください。
- この機能は、お使いのコンピュータが、Windows®環境の場合のみ使用できます。
- この機能は、送信のみ行えます。本機がファクス受信したデータを、接続されているコンピュータ上で受信することはできません。

ファクシミリ通信網（Fネット）について

本機は、ファクシミリ通信網（Fネット）のサービスを利用することができます。ご利用については利用契約が必要ですので、お買いあげの販売店にお問い合わせのうえNTTの支店や営業所へお問い合わせください。

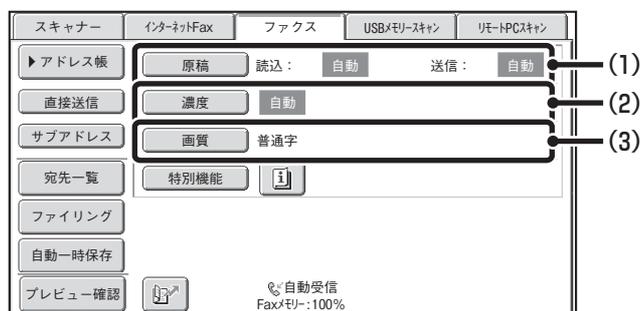
ファクシミリ通信網（Fネット）の詳細についてはパンフレットをご覧ください。

- 本機で行うポーリング受信、掲示板、Fコード通信、電話／ファクス自動切り替えは使用できません。
- 原稿画質の、「精細」、「高精細」、「中間調」は使用できません。

システム設定（管理者）：Fネット設定
本機でFネットサービスを利用する設定を行います。

原稿の読み込み設定について

原稿の読み込み設定は、各モードの基本画面から行います。各設定を行うキーの右側には、それぞれの現在の設定状態が表示されています。



(1) [原稿]キー

原稿の読み込みサイズ、送信サイズ、原稿セットの方向、両面読み込みの設定を行うときにタッチします。

- ☞ 原稿の表裏を自動的に読み込む（両面原稿）（4-45ページ）、原稿の読み込みサイズ／送信サイズを指定する（拡大・縮小）（4-46ページ）

(2) [濃度]キー

原稿読み込み時の濃度を設定するときにタッチします。

- ☞ 原稿の濃度を変える（4-53ページ）

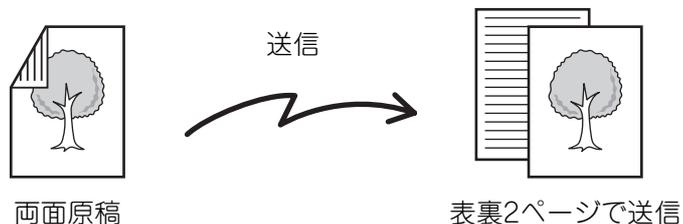
(3) [画質]キー

原稿読み込み時の画質を設定するときにタッチします。

- ☞ 原稿の画質を変える（4-54ページ）

原稿の表裏を自動的に読み込む（両面原稿）

原稿自動送り装置を使用して自動的に原稿の表裏を読み込みます。

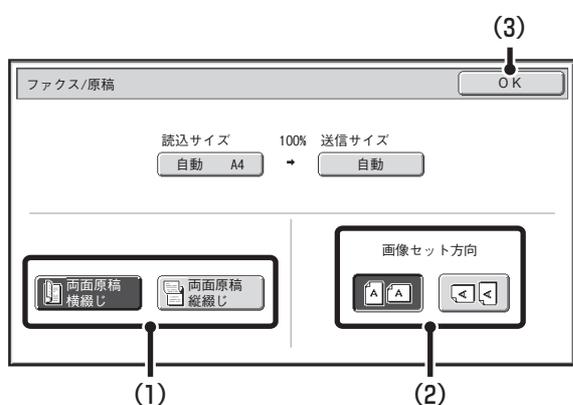


1

[原稿]キーをタッチする

☞ [原稿の読み込み設定について](#) (4-44ページ)

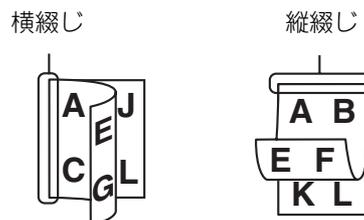
2



両面原稿の綴じ方向と原稿の画像セット方向を指定する

(1) [両面原稿横綴じ]キーまたは[両面原稿縦綴じ]キーをタッチする

横綴じ、縦綴じとは以下のような綴じかたのことです。



(2) セットした原稿の画像と同じ向き of [画像セット方向]キーをタッチする

この設定が正しくないと、適切な画像が送信されることがあります。

(3) [OK]キーをタッチする

☞ 両面読み込みをやめるときは、反転しているキーをタッチして反転表示を解除してください。



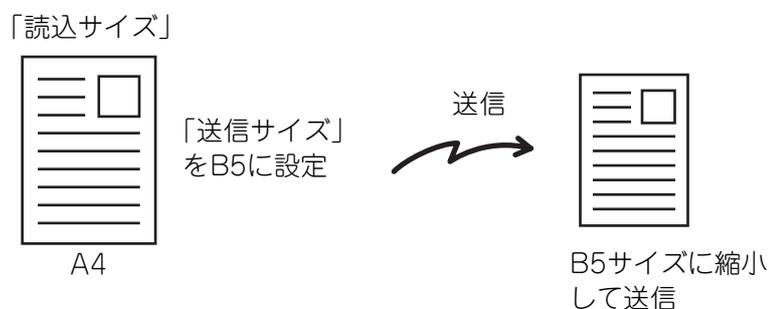
- 両面原稿読み込みは、設定したファクスの送信操作が終了すると解除されます。
- 直接送信時またはオンフック送信時は両面原稿読み込みはできません。

原稿の読み込みサイズ／送信サイズを指定する (拡大・縮小)

原稿をセットすると、原稿サイズが自動的に検知されて基本画面に表示されます。
セットした原稿サイズが読み込みサイズ、送信するサイズが送信サイズとして表示されます。



上記画面の場合は読み込みサイズ（セットした原稿）がA4で送信サイズが自動となっていますが、たとえば読み込みサイズをA4、送信サイズをB5とすると縮小して送信されます。



- 
 原稿サイズを自動検知できるのは規定サイズの原稿をセットしたときです。
 - 
[規定サイズについて](#) (4-27ページ)
- 規定サイズ以外の原稿（インチ系の用紙など）をセットしたときや、原稿サイズが正しく検知されなかったときは原稿の読み込みサイズを手動で指定してください。
 - 
[原稿の読み込みサイズを指定する（用紙サイズで指定する）](#) (4-47ページ)
 - 
[原稿の読み込みサイズを指定する（サイズを数値で指定する）](#) (4-49ページ)

原稿の読み込みサイズを指定する（用紙サイズで指定する）

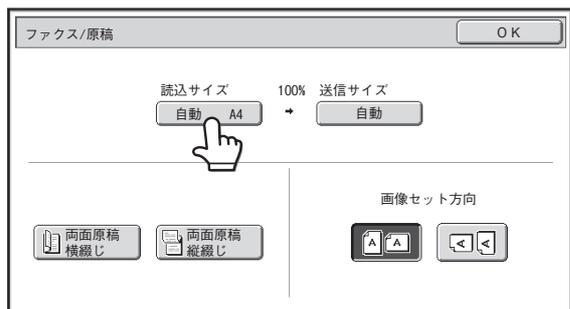
規定サイズ以外の原稿（A5Rサイズやインチ系の原稿など）をセットしたときや読み込みサイズを変更したいときは、[原稿]キーをタッチして手動で原稿サイズを指定する必要があります。原稿セット台または原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたあと、以下の操作を行います。

1 [原稿]キーをタッチする

[原稿]キーの右側には、自動検知された原稿サイズが表示されています。

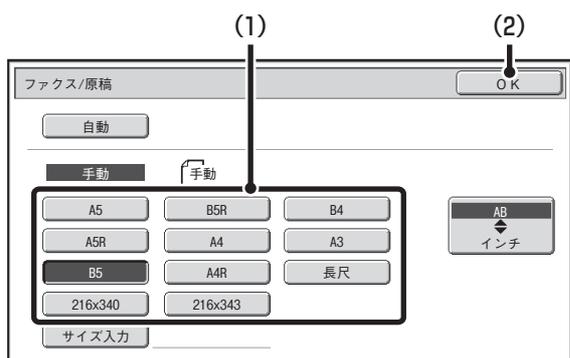
☞ [原稿の読み込み設定について](#)（4-44ページ）

2



「読み込みサイズ」のキーをタッチする

3



読み込みサイズを指定する

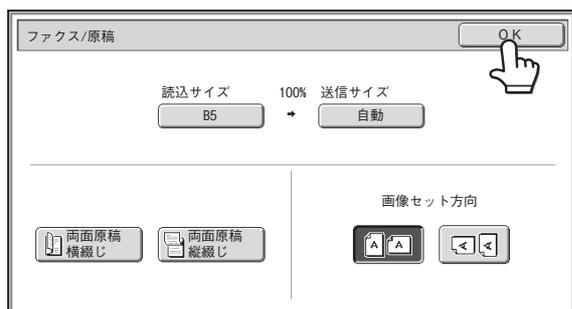
(1) 原稿サイズのキーをタッチする

(2) [OK]キーをタッチする



- 長い原稿（長尺原稿）を送信するときは、[長尺]キーをタッチしてください。長尺原稿は原稿自動送り装置を使用して読み込みます。最長1000mmまで（縦幅は297mm以内）読み込むことができます。
☞ [送信できる原稿サイズ](#)（4-27ページ）
- インチ系の読み込みサイズを設定する場合は、[AB ◆ インチ]キーをタッチして[インチ]部分を反転表示させてから読み込みサイズを指定してください。

4



[OK]キーをタッチする



[長尺]を選択したときは、両面読み込み設定や送信サイズの変更はできません。

原稿の読み込みサイズを指定する（サイズを数値で指定する）

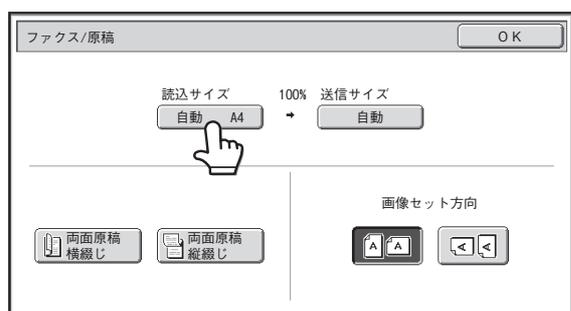
カードや郵便はがきなど、定形サイズで指定できないサイズを読み込みたいときは、以下の手順で用紙サイズを指定してください。用紙サイズは、横幅（X）：25mm～432mm、縦幅（Y）：25mm～297mmの範囲で指定できます。

1 [原稿]キーをタッチする

1 [原稿]キーの右側には、自動検知された原稿サイズが表示されます。

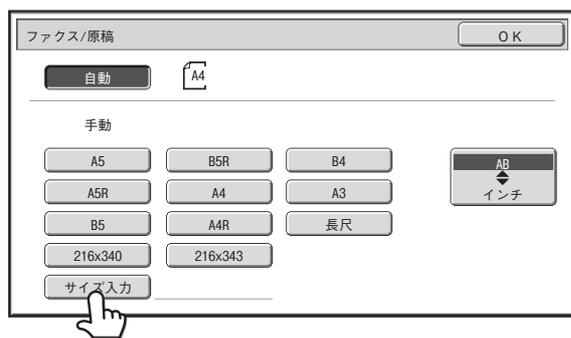
☞ [原稿の読み込み設定について](#)（4-44ページ）

2



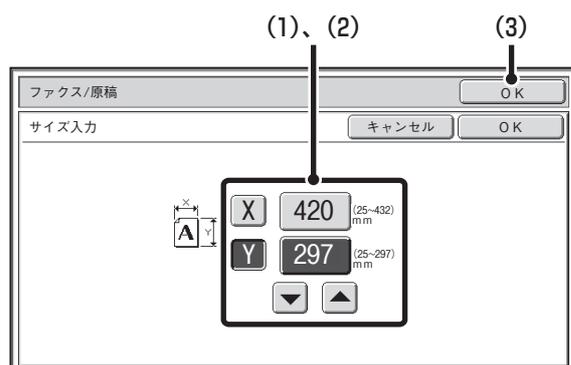
「読み込みサイズ」のキーをタッチする

3



「サイズ入力」キーをタッチする

4



読み込みサイズを入力する

- (1) X（横）方向の数値表示部のキーをタッチし、数字キーでX（横）方向のサイズを入力する
- (2) Y（縦）方向の数値表示部のキーをタッチし、数字キーでY（縦）方向のサイズを入力する
- (3) [OK]キーをタッチする

[キャンセル]キーの横にある[OK]キーをタッチすると、設定を完了して手順3の画面に戻ります。

☞ ▼ ▲ キーをタッチして数値を変更することもできます。



[OK]キーをタッチする

「読み込みサイズ」のキーに指定したサイズを表示しています。

- 読み込みサイズを数値で指定したときは、送信サイズの指定ができません。
- 原稿自動送り装置を使用すると、横幅が432mmよりも長い原稿（最長1000mm）を読み込むことができます。その場合は、手順3の画面で、[長尺]キーをタッチしてください。
 - 原稿の読み込みサイズを指定する（用紙サイズで指定する）（4-47ページ）
 - 送信できる原稿サイズ（4-27ページ）

原稿の送信サイズを指定する

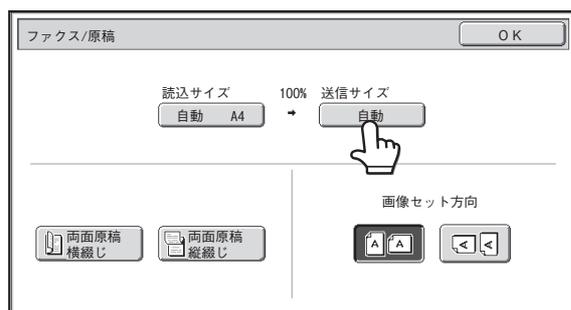
原稿を送信するサイズを用紙サイズで指定します。読み込みサイズより大きなサイズを指定すると拡大、小さなサイズを指定すると縮小して送信します。

 読み込みサイズで[長尺]を選択したときや読み込みサイズを数値 (mm) で指定したときは、送信サイズは指定できません。

1 [原稿]キーをタッチする

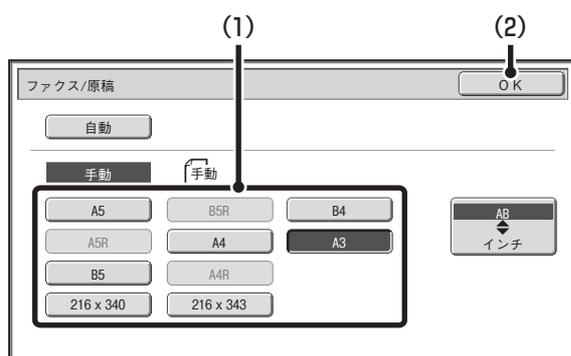
 原稿の読み込み設定について (4-44ページ)

2



「送信サイズ」のキーをタッチする

3

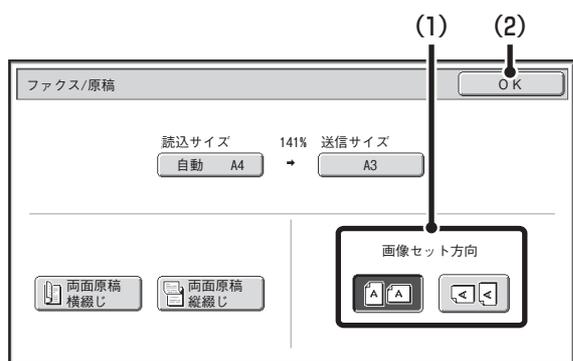


送信するサイズを指定する

(1) 送信するサイズのキーをタッチする

(2) [OK]キーをタッチする

-  「読み込みサイズ」で指定されている用紙サイズによっては、「送信サイズ」に指定できないサイズがあります。「送信サイズ」に指定できないサイズのキーは薄く表示されてタッチできません。
- インチ系の送信サイズを設定する場合は、[AB ◆ インチ]キーをタッチして[インチ]部分を反転表示させてから送信サイズを指定してください。



原稿の画像セット方向を設定する

(1) セットした原稿の画像と同じ向き of [画像セット方向]キーをタッチする

変倍送信時、この設定が正しくないと、適切な画像が送信されることがあります。

(2) [OK]キーをタッチする



「読込サイズ」と「送信サイズ」のあいだに、原稿が拡大または縮小される倍率が表示されます。

原稿の濃度を変える

原稿の濃さに合わせて、送信原稿の濃度を変えます。
下表で濃度の選びかたを確認し、操作を行ってください。

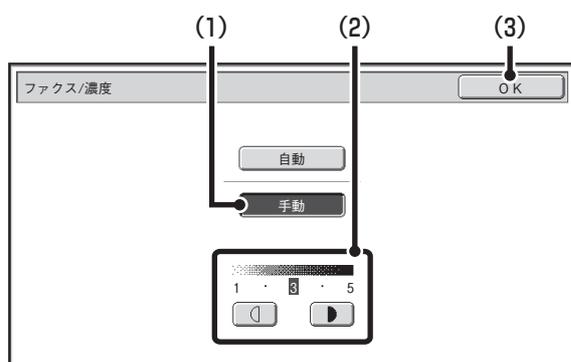
濃度の選びかた

濃度		選びかた
自動		原稿の濃淡に合わせて、自動的に濃度調整されます。
手動	1~2	全体に濃い文字で書かれている原稿のときに選択します。
	3	普通の濃さの原稿のときに選択します。
	4~5	全体に淡い文字で書かれている原稿のときに選択します。

1 [濃度]キーをタッチする

1 [濃度]キーの右側には、現在設定されている濃度が表示されます。
☞ [原稿の読み込み設定について](#) (4-44ページ)

2



濃度を選択する

(1) [手動]キーをタッチする

(2) ◀ ▶ キーで濃度を調整する

濃度を[自動]に設定しているときは、◀ ▶ キーはタッチできません。

▶ キーをタッチすると濃度が濃く、◀ キーをタッチすると濃度が薄くなります。

濃度を自動に戻すには[自動]キーをタッチしてください。

(3) [OK]キーをタッチする

 原稿台（ガラス面）を使って原稿を読み込む場合、原稿を入れ替えるときに濃度を変更することができます。原稿自動送り装置を使用している場合、原稿読み込み途中に濃度を変更することはできません。（ただし、特別機能の「大量原稿モード」を設定しているときは、原稿を入れ替える際に濃度を変更することができます。）

 **システム設定（管理者）：標準濃度設定**
原稿の濃度設定の初期状態を変えることができます。

原稿の画質を変える

文字の大きさ、色の濃さ、写真の有無など、原稿の種類に合わせて画質を変えます。
下表で画質の選びかたを確認し、操作を行ってください。

画質の選択のしかた

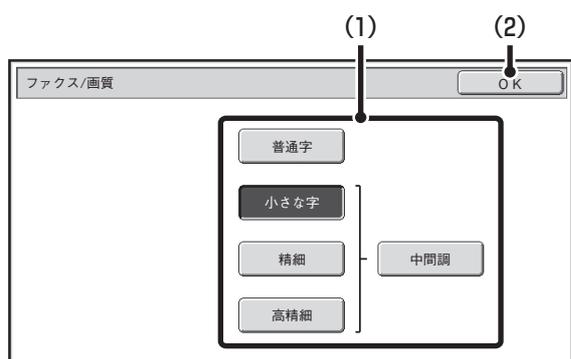
画質	選びかた
普通字	通常の大きさの文字（本書程度）の原稿の場合に選択します。
小さな字	小さな文字や細かな図が描かれている原稿の場合に選択します。 [普通字]の2倍の密度で読み取ります。
精細	複雑な絵やイラストなどを含む原稿の場合に選択します。 [小さな字]よりもきれいな画質で送信できます。
高精細	複雑な絵やイラストなどを含む原稿の場合に選択します。 もっともきれいな画質で送信できます。他の画質に比べて、やや送信時間がかかります。
中間調	写真や色に濃淡のある原稿（カラー原稿など）の場合に選択します。 「小さな字」「精細」「高精細」単独よりも、さらに鮮明に送信することができます。 「普通字」を選択したときは中間調を設定できません。

1 [画質]キーをタッチする

[画質]キーの右側には、現在設定されている画質が表示されます。

🔗 [原稿の読み込み設定について](#)（4-44ページ）

2



画質を選択する

(1) 設定する画質のキーをタッチする

(2) [OK]キーをタッチする



[小さな字][精細][高精細]を選択したときは、[中間調]キーをタッチして中間調を設定できます。

- 原稿台（ガラス面）を使って原稿を読み込む場合、原稿を入れ替えるときに画質を変更することができます。原稿自動送り装置を使用している場合、原稿読み込み途中に画質を切り替えることはできません。（ただし、特別機能の「大量原稿モード」を設定しているときは、原稿を入れ替える際に画質を変更することができます。）
- 送信側で画質を[高精細][精細][小さな字]に設定しても、受信するファクスの機種によって画質が低下することがあります。
- F ネットを利用して原稿を送信する場合、画質選択に制限があります。詳しくは、F ネットのパンフレットを参照してください。



システム設定（管理者）：標準画質設定

原稿の画質設定の初期状態を変えることができます。

送信の仕上がりイメージを確認する (プレビュー確認)

[プレビュー確認]キーをタッチしてから原稿を読み込むと、送信の仕上がりイメージをあらかじめタッチパネルで確認することができます。

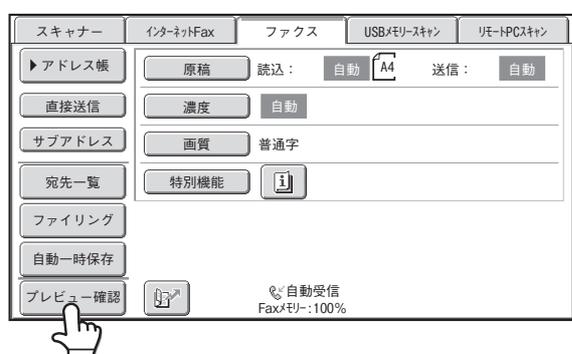
※工場出荷時は無効になっています。

 タッチパネルで表示されるプレビュー確認画面で、送信データの大きさによっては一部表示されない場合があります。

1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2



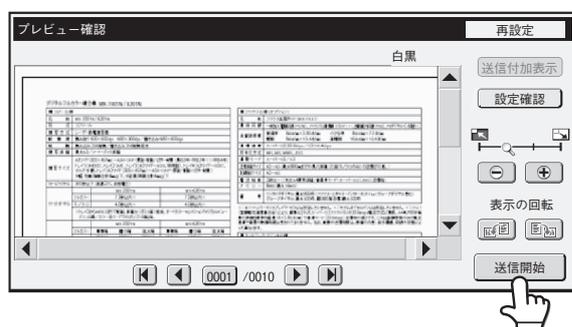
[プレビュー確認]キーをタッチして反転表示にする

3

送信の設定を行い、[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みと同時に「原稿を読み込み中です。」のメッセージが表示され、原稿の読み込みが終了すると、タッチパネルにプレビュー確認画面が表示されます。読み込んだ原稿は、プレビュー確認画面の[送信開始]キーをタッチするまで送信されません。

4



送信の仕上がりイメージを確認し、[送信開始]キーをタッチする

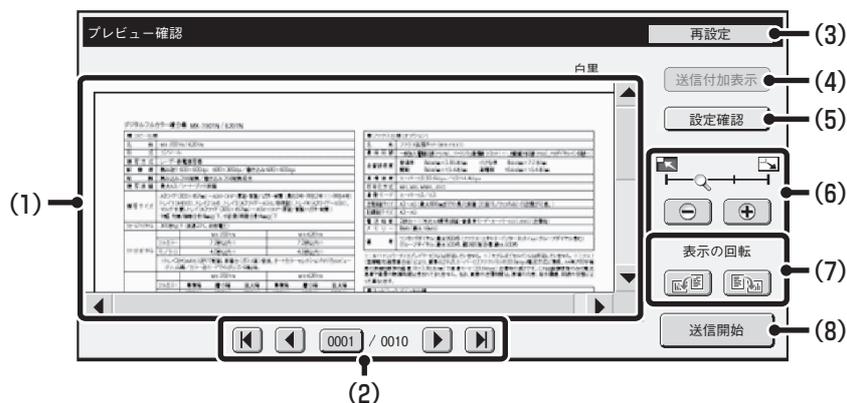
送信を開始します。

プレビュー確認画面については、「[プレビュー確認画面について](#)」(4-56ページ)を参照してください。

 システム設定 (管理者)：プレビュー確認のデフォルト設定
[プレビュー確認]機能を、ファクス/イメージ送信の各モードの基本画面やアドレス帳で有効にするかどうかの設定ができます。

プレビュー確認画面について

ここでは、プレビュー確認画面の見かたについて説明しています。



(1) プレビュー画像

読み込んだ原稿の仕上がリイメージが表示されます。画像が切れて表示されている場合は、右と下にあるスクロールバーで表示部分を移動させてください。バーをタッチし、そのままスライドさせると、画像が連動して動きます。(▼ ▲ キーをタッチして動かすこともできます。)

(2) ページ送りキー／ページ指定キー

ページが複数ある場合に、ページを切り替えます。

- [◀ ▶] キー：最初のページまたは最後のページを表示します。
- [◀ ▶] キー：前のページまたは次のページを表示します。
- ページ数表示：総ページ数と、現在表示中のページ数が表示されます。現在のページ数のキーをタッチして、数字キーで任意の数値を入力すると、目的のページを表示することができます。

(3) [再設定]キー

画像確認後に原稿読み込み設定や特別機能の設定内容を変更したいときにタッチします。プレビュー確認後に再設定が可能な機能は、ファクス発信元印字のみです。設定を変更したあと、[再プレビュー]キーをタッチすると、設定内容を反映して再度プレビューを行います。



(4) [送信付加表示]キー

ファクス発信元印字の発信元情報を表示させたいときにタッチします。このキーは、プレビュー確認画面上にプレビュー画像の全体を表示している場合のみタッチできます。

(5) [設定確認]キー

「特別機能」の各項目や両面原稿読み込みの設定内容を確認するときにタッチします。

(6) 表示倍率切り替えキー

画像の表示倍率を選択します。左から「全画面表示」、「2倍」、「4倍」、「8倍」と切り替わります。変更は表示ページだけでなく、データ全体に反映されます。

(7) 「表示の回転」キー

画像を左右に90度ずつ回転させます。変更は表示ページだけでなく、データ全体に反映されます。

(8) [送信開始] キー

タッチすると、送信を開始します。



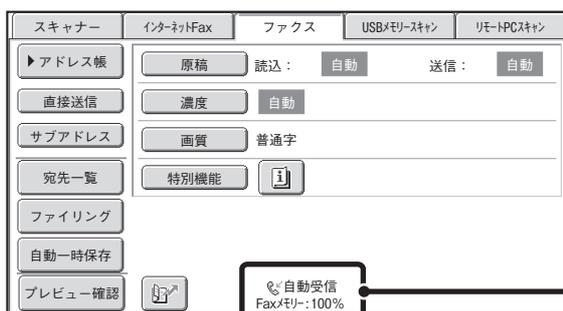
- プレビュー画像はタッチパネル表示用のイメージ画像です。実際の送信結果とは異なります。
- プレビュー画像は、原稿読み込み設定や特別機能などの一部の設定が反映された状態で表示されます。プレビュー画像に反映される設定は、次のとおりです。
原稿設定：原稿
特別機能：枠消去、ページ分割、カードスキャン、ページ集約

ファクスの受信について

ファクスの基本的な受信機能について説明しています。

ファクスを受信する

本機でファクスを受信するときは、ファクス受信モードを「自動受信」でお使いいただくとファクスを自動的に受信してプリントします。また、ファクスの受信を開始すると操作パネルのファクス受信ランプが点滅してお知らせします。ファクスの受信モードは基本画面に表示されています。



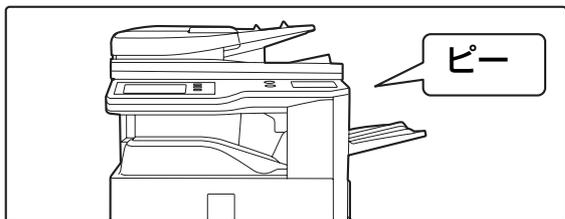
現在のファクス受信モードとメモリー残量を表示しています。

- ファクス受信ランプはファクスの受信を開始してからプリントが完了するまで点滅しています。右トレイに排紙の場合は、用紙を取り除くまで点滅しています。
- 受信中でもメモリー送信モードで送信の操作を行うと、送信予約することができます。
☞ [送信方法について](#) (4-24ページ)
- 受信したファクスをプリントするために本機用の紙トレイに必要な用紙をセットしておいてください。A4サイズとB5サイズの縦向き (☐) と横向き (▭) の違いは受信時に自動的に調整されますので両方の向きに用紙をセットしておく必要はありません。
 A4サイズより小さな原稿を受信したとき、プリントされる用紙サイズは送信側の原稿セット方向 (縦向き/横向き) によって異なります。
- **システム設定：受信設定 (7-112ページ)**
 ファクス受信モードを切り替えます。通常は「自動受信」に設定してお使いください。
 「手動受信」は別売品のハンドセット装着時に、「留守接続」は留守番電話機を外部電話機として接続しているときに設定してください。
- **システム設定 (管理者)：特定番号受信可否設定**
 あらかじめ登録しておいた番号に対してファクスの受信の可否を設定できます。

ファクスの受信

ファクスが送信されてくると自動的に受信してプリントします。

1



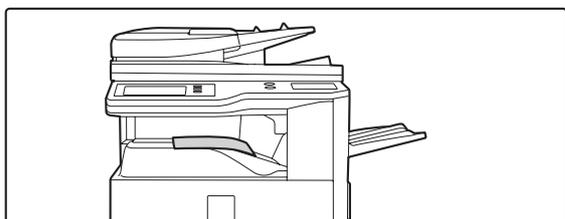
呼出音が鳴り、自動的に受信が開始される

受信が始まるとファクス受信ランプが点滅します。
受信が終わると「ピー」音が鳴ります。



- **システム設定（管理者）：音設定**
「ピー」音（受信音）の音量と音色を変更できます。
- **システム設定（管理者）：自動受信コール回数設定**
着信までの呼出音の回数を変更できます。0回に設定すると呼出音を鳴らさずに受信できます。

2



自動的にプリントされる

プリントが終わるとファクス受信ランプが消灯します。
右トレイに排紙の場合は、用紙を取り除くと消灯します。



- **パスワード入力画面が表示されたときは…**
受信したファクスのデータをプリントするためにパスワードが設定されています。設定されているパスワードを入力すると受信データがプリントされます。
☞ **パスワードで保護されている受信データをプリントする（受信データ印字ホールド）**（4-60ページ）
- **排紙するトレイやステープル（フィニッシャー装着時）を設定することができます。**
受信したデータをプリントする際に、部数、排紙するトレイを設定することができます。フィニッシャー装着時には、プリントする部数、排紙するトレイ、ステープルを設定することができます。



- 受信したデータをプリントする際に、コピー機能やプリンター機能などのプリントジョブが実行中の場合、先に予約されているジョブが終了してから受信したデータをプリントします。
- 用紙やトナーが切れた場合、または紙づまりなどで本機がプリントできない状態になっている場合、受信したデータはプリントされません。本機がプリントできる状態になると自動的に受信データをプリントします。（ただし、用紙がなくなったときは用紙を補給後、タッチパネルの[OK]キーをタッチしてください。）
- 受信したデータがプリントできない場合、あらかじめ登録しておいた他のファクスに受信データを転送することができます。
☞ **受信したファクスのデータを転送する（受信転送）**（4-65ページ）



- **システム設定（管理者）：両面受信設定**
受信したファクスを両面プリントするように設定できます。
- **システム設定（管理者）：受信日時印字設定**
受信データをプリントする際に受信日時を付けてプリントするかどうかの設定ができます。

ファクスを手動で受信する

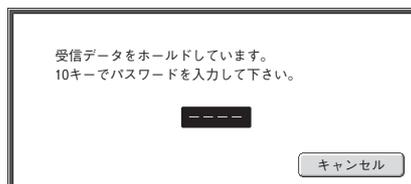
送信されてきたファクスをタッチパネルの操作で受信することができます。電話が鳴っているあいだに基本画面の[オンフック]キーをタッチし、表示される[ファクス手動受信]キーをタッチしてください。



- [オンフック]キーをタッチして電話に出たときは、相手側の声は聞こえますがこちらから話すことはできません。
 - 外部電話機を使って応答したときはタッチパネルを使っての受信はできません。外部電話機を操作して受信してください。
- ☎ [接続した電話機で電話に出てファクスを受信する（リモート受信）](#)（4-133ページ）

パスワードで保護されている受信データをプリントする（受信データ印字ホールド）

システム設定（管理者）の「受信データ印字ホールド設定」で、受信データをプリントせずにメモリーに保存し、パスワードを使用してプリントするように設定できます。この機能を使用している場合、ファクスを受信するとタッチパネルにパスワード入力画面が表示されます。



あらかじめ登録されたパスワード（4桁の数字）を数字キーで入力すると、プリントが開始されます。[キャンセル]キーをタッチするとパスワード入力画面が消えますが、保存データがあることをお知らせするキー（) がタッチパネル上で点滅表示されます。点滅しているキー（) をタッチするか、モードを切り替えるとパスワード入力画面が再び表示されます。

システム設定（管理者）の「受信データの画像確認設定」が設定されている場合、パスワードを入力すると受信データリスト画面が表示されます。受信データをプリントする前にタッチパネルで画像を確認したいときは、次ページの手順2からの操作を行ってください。

本機能を使用する場合のご注意

ファクス受信データをプリントせず残したままにしておくでファクスメモリーが残り少なくなり、それ以降、ファクスの受信ができなくなります。この機能をご使用の場合は、ファクスメモリーに受信データを残したままにせず、早めにプリントしてください。

ファクスメモリーの残量は、ファクス基本画面で確認することができます（下図参照）。



ファクスメモリーの残量

-  受信データは、自動受信、手動受信にかかわらずメモリーに保存されます。
-  システム設定の「受信/転送設定」で受信データを他機へ転送する場合、メモリーに保存されているデータも転送されます。その際、プリント時と同様のパスワード入力画面が表示され、パスワードを入力しないと転送することはできません。

 **システム設定（管理者）：受信データ印字ホールド設定**
受信データをプリントせずにメモリーに保存し、パスワードを使用してプリントするように設定できます。パスワードの登録もここでを行います。

受信データの内容を確認してからプリントする

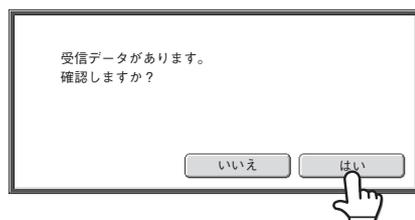
システム設定（管理者）の「受信データの画像確認設定」が有効※に設定されていると、受信データをプリントする前に、あらかじめタッチパネルで画像を確認しておくことができます。この機能を設定している場合、次の操作で受信データをプリントしてください。

※工場出荷時は無効になっています。



タッチパネルに表示される画像確認画面で、受信データの大きさによっては一部表示されない場合があります。

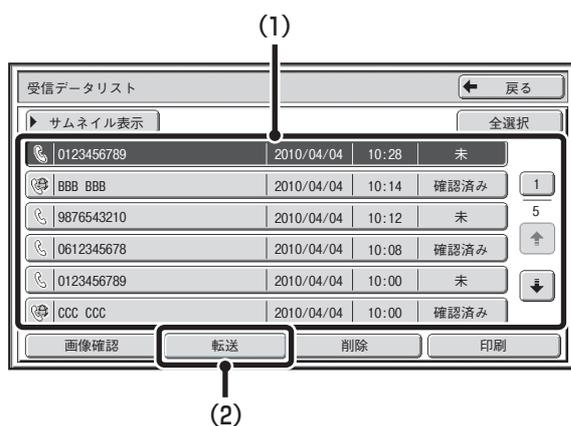
1



データを受信すると確認のメッセージが表示されるので、[はい]キーをタッチする

各種の設定途中にこのメッセージが表示された場合、[はい]キーをタッチすると設定途中の内容は無効になります。また、このメッセージが他のモードで表示された場合は、イメージ送信モードの基本画面に戻ります。

2



受信データを選択する

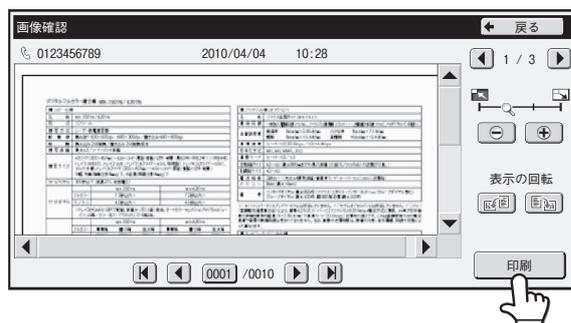
(1) 確認したい受信データのキーをタッチする

受信データは、複数選択できます。

(2) [画像確認]キーをタッチする

- [サムネイル表示]キーをタッチすると、受信データの縮小画像を並べて表示します。
- 選択したデータを消去したいときは[削除]キーを、プリントしたいときは[印刷]キーをタッチしてください。

3



受信データの画像を確認して、[印刷]キーをタッチする

プリントが始まります。画像確認画面については、「[画像確認画面について](#)」(4-64ページ)を参照してください。

本機能を使用する場合のご注意

ファクス受信データをプリントや削除せず残したままにしておくとファクスメモリーが残り少なくなり、それ以降、ファクスの受信ができなくなります。この機能をご使用の場合は、ファクスメモリーに受信データを残したままにせずに、早めにプリントまたは削除してください。

ファクスメモリーの残量は、ファクス基本画面で確認することができます（下図参照）。



ファクスメモリーの残量

 各モードの設定画面で設定を行っているときに手順1の画面が表示された場合、受信データを確認すると設定していた内容は無効になります。また、画像確認を終了すると、直前に表示していたモードに関係なくイメージ送信モードの基本画面に戻ります。

 **システム設定（管理者）：受信データの画像確認設定**
 ファクスのデータを受信した際、プリントする前に受信データの内容を確認するかどうかの設定ができます。

受信データの内容を確認してから転送する

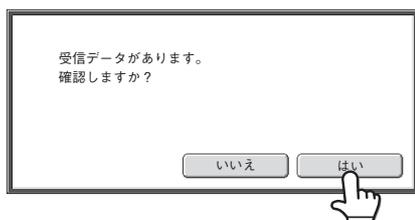
システム設定（管理者）の「受信データの画像確認設定」が有効※に設定されていると、受信したデータをリストから選択し、アドレス帳に登録されている宛先に転送することができます。この機能を設定している場合、次の操作で受信データを転送してください。

※工場出荷時は無効になっています。



タッチパネルに表示される画像確認画面で、受信データの大きさによっては一部表示されない場合があります。

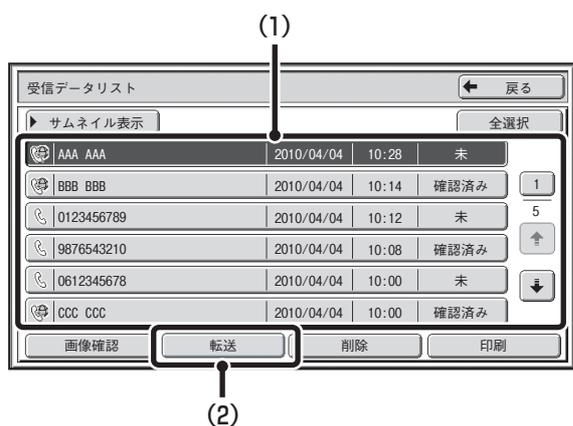
1



データを受信すると確認のメッセージが表示されるので、[はい]キーをタッチする

各種の設定途中にこのメッセージが表示された場合、[はい]キーをタッチすると設定途中の内容は無効になります。また、このメッセージが他のモードで表示された場合は、イメージ送信モードの基本画面に戻ります。

2



受信データを選択する

(1) 確認したい受信データのキーをタッチする

受信データは、複数選択できます。

(2) [転送]キーをタッチする

- [サムネイル表示]キーをタッチすると、受信データの縮小画像を並べて表示します。
 - 受信データは、[画像確認]キーをタッチして、画像を確認することができます。
- ※ [画像確認画面について](#) (4-64ページ)

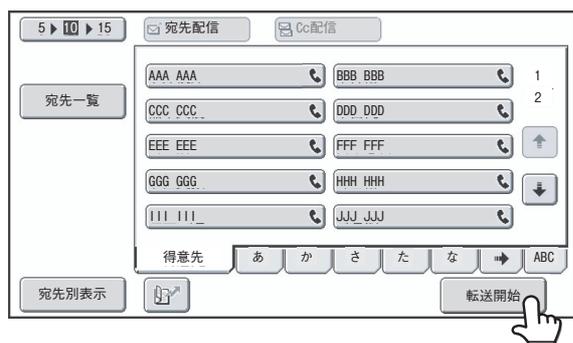
3



アドレス帳から、転送先をタッチして選択する

転送する宛先は、複数選択することができます。

4



転送を開始する

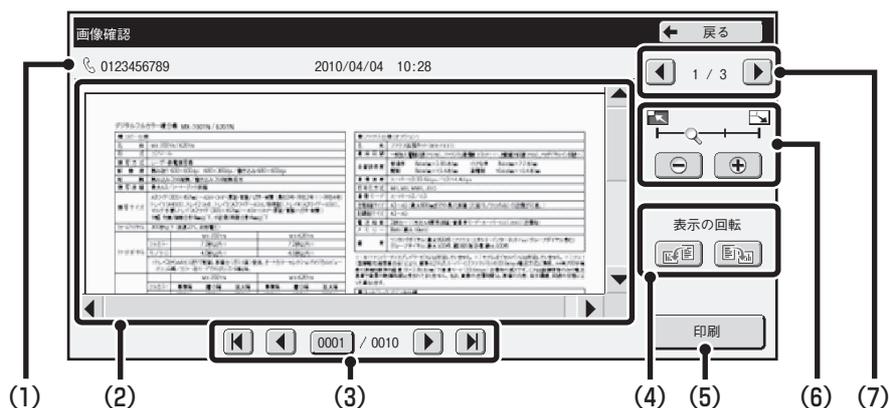
[転送開始]キーをタッチします。

各モードの設定画面で設定を行っているときに手順1の画面が表示された場合、受信データを確認すると設定していた内容は無効になります。また、画像確認を終了すると、直前に表示していたモードに関係なくイメージ送信モードの基本画面に戻ります。

システム設定（管理者）：受信データの画像確認設定
インターネットFaxのデータを受信した際、プリントする前に受信データの内容を確認するかどうかの設定ができます。

画像確認画面について

ここでは、画像確認画面の見かたについて説明しています。



- (1) **情報表示部**
表示中のデータに関する情報が表示されます。
- (2) **プレビュー画像**
選択しているデータの画像が表示されます。画像が切れて表示されている場合は、右下にあるスクロールバーで表示部分を移動させてください。バーをタッチし、そのままスライドさせると、画像が連動して動きます。（▼ ▲ キーをタッチして動かすこともできます。）
- (3) **ページ送りキー／ページ指定キー**
ページが複数ある場合に、ページを切り替えます。
 - ◀ ▶ キー：最初のページまたは最後のページを表示します。
 - ◀ ▶ キー：前のページまたは次のページを表示します。
 - ページ数表示：総ページ数と、現在表示中のページ数が表示されます。現在のページ数のキーをタッチして、数字キーで任意の数値を入力すると、目的のページを表示することができます。
- (4) **「表示の回転」キー**
画像を左右に90度ずつ回転させます。変更は表示ページだけでなく、データ全体に反映されます。
- (5) **【印刷】キー**
タッチすると、プリントが実行されます。
- (6) **表示倍率切り替えキー**
画像の表示倍率を選択します。左から「全画面表示」、「2倍」、「4倍」、「8倍」と切り替わります。変更は表示ページだけでなく、データ全体に反映されます。
- (7) **データ選択キー**
複数のデータを選択してプレビューを表示させている場合に、表示データを切り替えます。

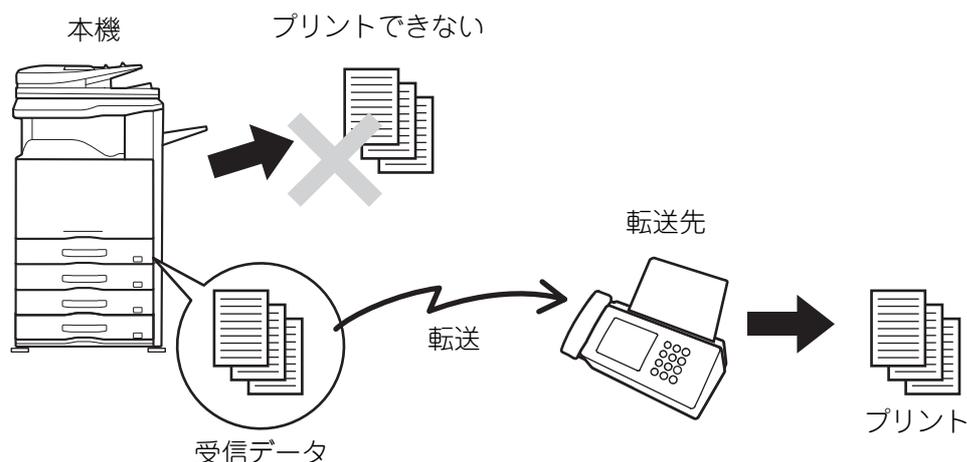
プレビュー画像はタッチパネル表示用のイメージ画像です。実際のプリント結果とは異なります。

受信したファクスのデータを転送する (受信転送)

本機が用紙切れやトナー切れなどでプリントできなくなったときに、受信したデータをあらかじめ登録されている他のファクスに転送します。

受信データが本機にある場合、ファクス受信ランプが点滅しています。

オフィスなどで電話回線が2回線以上あり、本機と異なる回線にファクスが接続されている場合に便利です。



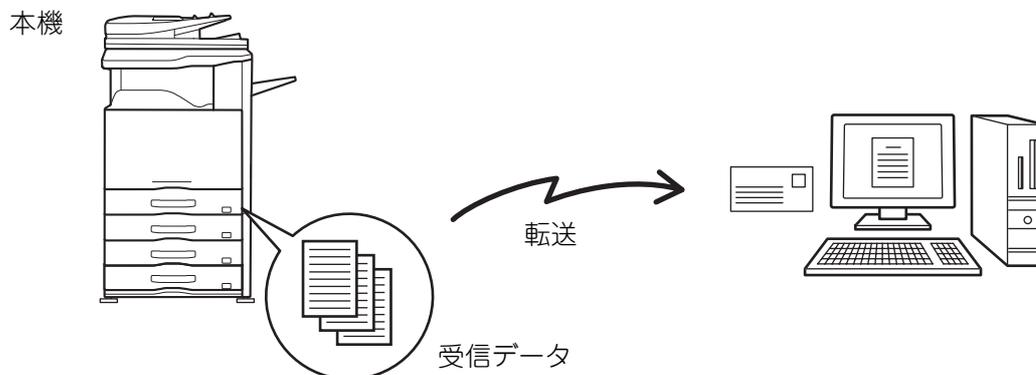
受信転送の操作は、本機のシステム設定で行います。操作パネルの[システム設定]キーを押すと、タッチパネルにシステム設定のメニュー画面が表示されます。[受信/転送設定]→[ファクス設定]へと進み、「受信データ転送」の[実行]キーをタッチしてください。

- プリント中の受信データを転送する場合はプリントできなかったページ以降を転送します。
- 転送したファクスはファクス送信ジョブとなります。送信の中止やエラーなどで送信が中止されると本機の受信データとなりプリント待ちになります。
- 受信転送では受信されているデータをすべて転送します。ただし、Fコード通信の親展メモリーボックスの受信データは転送できません。
- [OK] キーをタッチしたあと、パスワード入力画面が表示されたときは「受信データ印字ホールド設定」が設定されています。数字キーでパスワードを入力すると受信したデータの転送が開始されます。
 パスワードで保護されている受信データをプリントする (受信データ印字ホールド) (4-60ページ)

- **システム設定：受信/転送設定 (7-21ページ)**
本機でプリントできなくなったときに、受信データの転送を行います。
- **システム設定 (管理者)：受信データ転送先電話番号登録**
転送する相手先番号を登録しておきます。

受信したデータを設定した送信先に転送する (受信データの転送設定)

ファクスの受信データを、ファクス/インターネットFax/E-mail/ファイルサーバー/デスクトップ/共有フォルダのアドレスに自動的に転送することができます。この機能を設定すると、受信データをプリントせずに、指定したアドレスへ転送するといった使いかたができます。



- 携帯電話を転送先に指定する場合は、携帯電話の種類によっては正しく転送されない場合がありますので、受信データが携帯電話に届き、正しく表示できることを前もって確認していただくことをお勧めします。
- 親展受信したデータは、この機能を使用できません。
- この機能で転送されたデータを転送先でプリントする際、受信日時を付けてプリントすることはできません。〔受信日時印字設定〕は無効になります。

受信データの転送設定を行う

受信データの転送設定は、すべてWebページで行います。Webページへのアクセス方法については、スタートガイドを参照してください。

以降の説明は、管理者権限でWebページにアクセスしていることを前提にしています。

受信データの転送を行うには、次の手順で設定を行ってください。



受信データの転送設定機能を有効にする

- (1) Webページメニューで[アプリケーション設定] → [受信データのネットワーク転送設定] → [管理設定]をクリックする
- (2) 「受信データのネットワーク転送」で[有効]を選択して[登録]ボタンをクリックする

1

この設定画面では、転送テーブルの登録、変更/削除、使用する転送テーブルの指定について、管理者権限のないユーザーの操作を禁止することができます。操作を禁止する場合は、下記項目のチェックボックスを にしてください。

- 転送テーブルの登録禁止
- 転送テーブルの変更/削除禁止
- 転送許可の変更の禁止

また、受信データを転送する際、本機でプリントを行うかどうかを設定できます。

受信データを常にプリントしてから転送させる場合は、「受信データのプリント設定」で[常にプリント]を選択してください。[エラー時のみプリント]が選択されている場合は、何らかのエラーにより転送できなかったときのみ受信データをプリントします。

[プリントせず、エラー時は以下のE-mailアドレスに転送]が選択されている場合は、エラー時は受信データをプリントせず、指定したE-mailアドレスに受信データを転送します。

これらの設定を行ったあとは、必ず[登録]ボタンをクリックしてください。

送信元番号/アドレスの登録 ヘルプ(?)

登録(L) 更新(R)

入力されたアドレス: 削除(D)

ファクス番号: 半角1500文字以内
グローバルアドレス検索(C)
リストへ追加(O)

インターネットFaxアドレス: 半角1500文字以内
グローバルアドレス検索(M)
リストへ追加(N)

このページの先頭へ ▲

登録(L) 更新(R)

送信元アドレスを登録する

特定のアドレスから受信したデータのみを転送の対象とする場合は、対象となる送信元のアドレスを登録してください。ここで登録した送信元アドレスは、転送テーブルを登録する際にリストから選択できるようになります。

(1) Webページの[受信データのネットワーク転送設定]メニューにある[送信元番号/アドレスの登録]をクリックする

(2) 「インターネット Fax アドレス」または「ファクス番号」に送信元のアドレスを入力し、[リストへ追加] ボタンをクリックする

入力したアドレスが、「入力されたアドレス」のリストに追加されます。

- アドレスは直接入力（半角1500文字まで）するか、[グローバルアドレス検索]ボタンをクリックしてグローバルアドレス帳から指定してください。
- 複数のアドレスを登録する場合は、この操作を繰り返してください。

(3) すべての宛先を入力し終わったら、[登録]ボタンをクリックする



- 登録できる発信元番号/アドレスの件数は最大で500件です。
- 入力したアドレスを削除する場合は、「入力されたアドレス」から削除したいアドレスを選択し、[削除]ボタンをクリックしてください。

転送テーブルを登録する

受信データの転送元と、転送先のアドレスを指定して転送テーブルを登録します。

(1) Web ページメニューの [受信データのネットワーク転送設定] をクリックし、[追加] ボタンをクリックする

(2) 「転送テーブル名」を入力する

(3) 受信する回線を選択する

「受信回線選択」のチェックボックスが になっている回線のみを受信します。

(4) 転送の対象となる送信元を選択する

- 受信したすべてのデータを転送する場合は、[すべての受信データを転送する] を選択してください。
- 特定のアドレスからの受信データのみを転送する場合は、[以下の送信元からの受信データを転送する]、特定のアドレスからの受信データをのぞく場合は、[以下ののぞく送信元からの受信データを転送する] を選択し、対象となる送信元をリストから選択して [追加] ボタンをクリックしてください。

(5) 転送条件を選択する

- 受信データを常に転送する場合は、[常に転送する] を選択してください。
- 受信データを転送する日時を指定したい場合は、[設定日時で転送する] を選択し、転送する曜日のチェックボックスを にしてください。転送時刻を指定する場合は、[転送時刻を設定する] チェックボックスを にして時刻を指定します。

(6) フォーマットを選択する

フォーマットは、転送先ごと（テーブルの中の転送先 1/2/3 ごと）に設定できます。

(7) 転送先を選択する

転送先は、本機のアドレス帳に登録されているアドレスから指定できます。（複数のアドレスを指定できます。）転送先は、最大1000件（ファクス/インターネットFax/ファイルサーバー/デスクトップ/共有フォルダーはあわせて100件）まで登録できます。

(8) [登録] をクリックする



- 転送の対象となる送信元を「送信元番号/アドレスの設定」のリストから選択するときは、キーボードの[Shift]キーや[Ctrl]キーを使って複数選択することができます。
- 登録できる転送テーブルの件数は最大で50件です。
- 受信側の環境によっては、TIFFフォーマットで転送された画像が正しく表示されない場合があります。この場合は、フォーマットをPDFに設定してください。
- 受信データを転送する日時の設定は、1つの転送テーブルに3つまで設定でき、各設定時刻毎に転送先を設定することができます。その場合は、[転送先リスト] タブで切り替えて各設定を行ってください。
- 携帯電話を転送先に指定する場合は、データのバックアップ用として、本手順の[転送先の設定]で携帯電話以外の他の宛先を追加で指定するか、手順1の[受信データのプリント設定]で[常にプリント]を選択することをお勧めします。



使用する転送テーブルを指定する

登録した転送テーブルのうち、使用する転送テーブルを指定して有効にすることで、受信データの転送が機能します。

(1) Web ページメニューの [受信データのネットワーク転送設定] をクリックする

(2) 使用する転送テーブルから [常に転送する] または [設定日時で転送する] を選択する

ここでの転送許可の設定は、手順3で設定した転送条件と連動しています。手順3で設定した転送条件から変更した場合は、各転送許可を設定してください。

(3) [登録] をクリックする

 転送テーブル名の横にあるチェックボックスを にして [削除] をクリックすると、選択した転送テーブルを削除することができます。

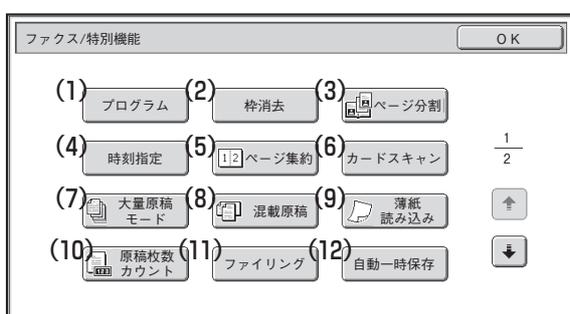
特別機能について

ファクス送信するときには使用できる特別機能について説明しています。

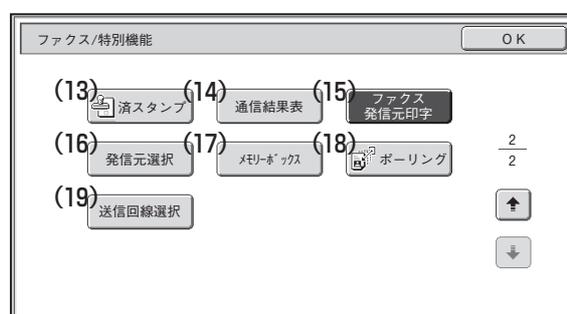
特別機能の種類について

基本画面の[特別機能]キーをタッチすると、特別機能のメニュー画面が表示されます。特別機能のメニュー画面は2画面あります。[↓] [↑] キーをタッチして画面を切り替えてください。特別機能のメニュー画面で[OK]キーをタッチすると、設定を完了して基本画面に戻ります。

1画面目



2画面目



- | | |
|--|---|
| <p>(1) [プログラム]キー
☞ 送信操作を登録して使用する (プログラム) (4-72 ページ)</p> <p>(2) [枠消去]キー
☞ まわりに影ができないように送信する (枠消去) (4-74 ページ)</p> <p>(3) [ページ分割]キー
☞ 原稿を2ページに分割して送信する (ページ分割) (4-76 ページ)</p> <p>(4) [時刻指定]キー
☞ 時刻を決めて通信する (時刻指定通信) (4-78 ページ)</p> <p>(5) [ページ集約]キー
☞ 2枚の原稿を1枚にまとめて送信する (ページ集約) (4-80 ページ)</p> <p>(6) [カードスキャン]キー
☞ カードの表裏を1枚にまとめて送信する (カードスキャン) (4-83 ページ)</p> <p>(7) [大量原稿モード]キー
☞ 大量の原稿を一度にまとめて送信する (大量原稿モード) (4-86 ページ)</p> | <p>(8) [混載原稿]キー
☞ 大きさの違う原稿をまとめて送信する (混載原稿) (4-88 ページ)</p> <p>(9) [薄紙読み込み]キー
☞ 薄い紙の原稿を送信する (薄紙読み込み) (4-90 ページ)</p> <p>(10) [原稿枚数カウント]キー
☞ 読み込んだ原稿の枚数を確認してから送信する (原稿枚数カウント) (4-92 ページ)</p> <p>(11) [ファイリング]キー
ドキュメントファイリング機能のファイリングを行うときに使用します。</p> <p>(12) [自動一時保存]キー
ドキュメントファイリング機能の自動一時保存を行うときに使用します。</p> <p>(13) [済スタンプ]キー※1
☞ 読み込み済みの原稿にスタンプを押す (済スタンプ) (4-94 ページ)</p> |
|--|---|

(14) [通信結果表]キー

☞ 通信結果表のプリント設定を変更して送信する（通信結果表）（4-96ページ）

(15) [ファクス発信元印字]キー

☞ 発信元情報を付けて送信する（発信元印字）（4-98ページ）

(16) [発信元選択]キー

☞ 発信元情報を一時的に変更する（発信元選択）（4-100ページ）

(17) [メモリボックス]キー

☞ 相手からの操作でこちらの原稿を送信する（掲示板）（4-104ページ）

(18) [ポーリング]キー

☞ こちらの操作で相手の原稿を受信する（ポーリング受信）（4-101ページ）

(19) [送信回線選択]キー※2

☞ 送信する電話回線を選択する（送信回線選択）（4-109ページ）

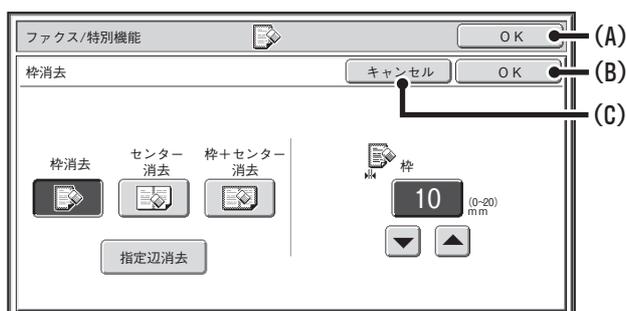
※1 済スタンプユニットを装着していない場合は表示されません。

※2 回線増設キットを装着していない場合は表示されません。

 特別機能は他の特別機能と組み合わせて使用することができますが、特別機能の種類によっては、組み合わせて使用できない場合があります。その場合、タッチパネルにメッセージが表示される場合があります。

[OK]キーと[キャンセル]キーについて

特別機能の各設定画面には2つの[OK]キーと1つの[キャンセル]キーが表示されている場合があります。それぞれのキーの役割は次のとおりです。



(A) 特別機能の設定を確定して、基本画面に戻ります。

(B) 特別機能の設定を確定して、特別機能のメニュー画面に戻ります。引き続き他の特別機能を設定するときにタッチしてください。

(C) 特別機能を設定中の場合は、設定を行わず特別機能のメニュー画面に戻ります。設定が完了している場合は、その設定を解除して、特別機能のメニュー画面に戻ります。

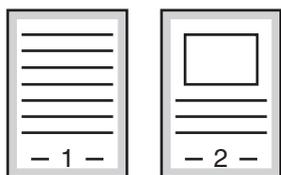
送信操作を登録して使用する（プログラム）

プログラムとは、いろいろな送信の設定を1つにまとめる機能です。あらかじめプログラムに送信の設定を登録すると、登録したいろいろな送信の設定をかんたんな操作で呼び出して使うことができます。

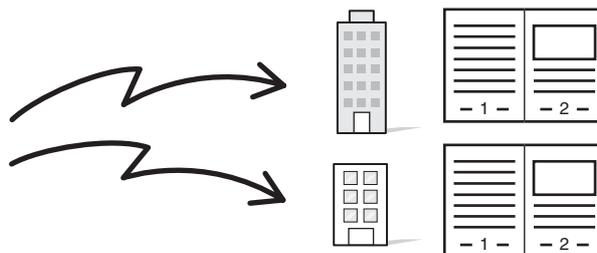
例えば、毎月A4サイズの資料を次の条件で各地の支店に配布するとします。

- (1) 各地の支店に同じ資料を配布する
- (2) 用紙を節約したいので、2枚の書類を1枚に割り付ける
- (3) 書面のふちの汚れを消して送信する

A4サイズの配布する資料



相手先で受信した資料



プログラムを登録していない場合	プログラムを登録している場合
<p>各支店のファクス番号を入力</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ページ集約を設定</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>枠消去を設定</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>[白黒スタート]キーを押す 原稿を読み込んで送信します。</p>	<p>登録しているプログラムを呼び出す</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>[白黒スタート]キーを押す 原稿を読み込んで送信します。</p>
<p>毎月送信するごとに、このような入力や設定を行う必要があり、大変時間がかかります。 また、途中で設定をまちがえることもあり、送信ミスもあります。</p>	<p>プログラムを登録すると登録しているキーをタッチするだけの簡単な操作で設定が完了します。 また、登録内容に従って送信するので送信ごとに設定することによるミスがありません。</p>

- **プログラムの登録、修正、削除についてはシステム設定の「宛先登録」から行います。「7. システム設定」の「プログラム」(7-20ページ)を参照してください。**
- プログラムの登録は、Webページでも行えます。Webページのメニューにある[ジョブプログラム]→[イメージ送信]をクリックして行います。
- 登録したプログラムは、送信を行ったあとも登録内容は消去されません。同じ登録内容で繰り返し送信できます。
- プログラムに登録できる内容は次のとおりです。
 - 相手先： ワンタッチダイヤル、グループダイヤル、検索番号
 - 原稿設定： 原稿の読み込みサイズ、原稿のセット方向、両面原稿読み込み、画質・濃度設定
 - 特別機能： ポーリング受信、ファクス発信元印字、枠消去、ページ分割、大量原稿モード、混載原稿、薄紙読み込み、原稿枚数カウント、済スタンプ、ページ集約、送信回線選択
- Fコード通信： Fコードが含まれている相手先を登録するとFコード通信を行います。
- プログラムは48件まで登録できます。
- 1件で500局まで相手先を登録できます。

1 原稿をセットする

プログラムに登録されている機能に応じて、原稿セット台または原稿台（ガラス面）に原稿をセットしてください。

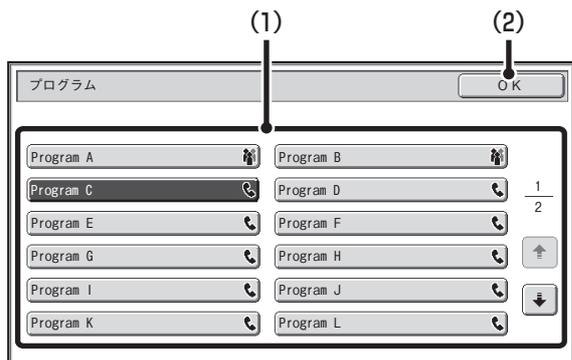
2 特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

(2) [プログラム]キーをタッチする

☞ 特別機能の種類について（4-70ページ）

3

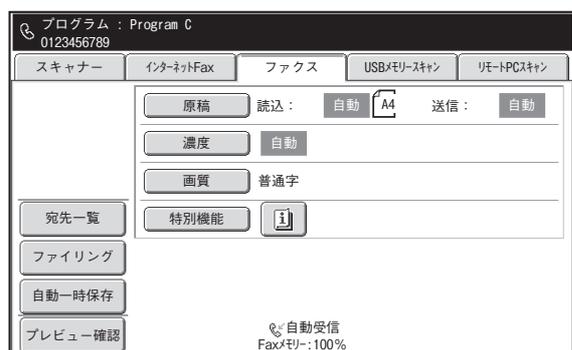


登録したプログラムを呼び出す

(1) 実行するプログラムのキーをタッチする

(2) [OK]キーをタッチする

4



追加設定を行う

呼び出したプログラムに、次の項目を追加で設定することができます。

- 原稿の読み込み設定：原稿の読み込みサイズ※・送信サイズ
- 特別機能：時刻指定、カードスキャン、ファイリング、自動一時保存、発信元選択、通信結果表

※プログラムに登録している場合は、追加で設定することはできません。



- プログラムに登録されている宛先によって、表示される画面は異なります。
- ここでは、モードの切り替えはできません。
- ここでは、プログラムで設定されている機能は解除できません。

5

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

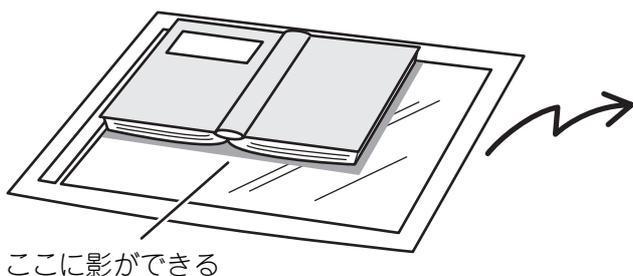


原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー（⊙）を押してください。

まわりに影ができないように送信する (枠消去)

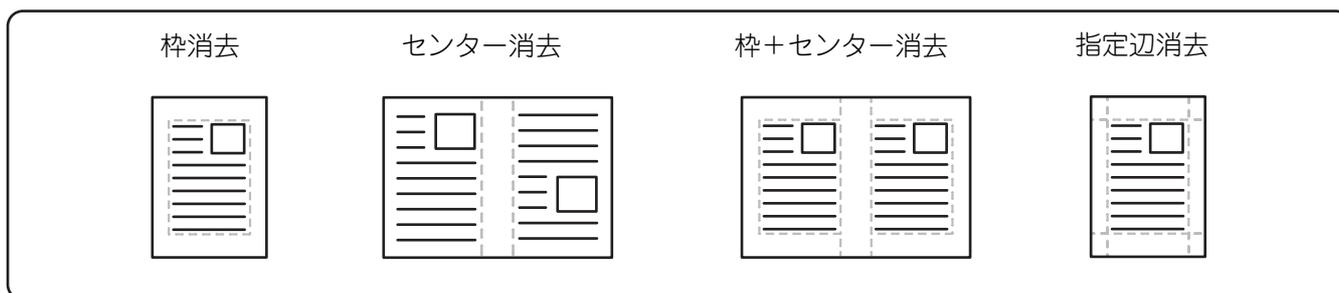
厚手の原稿や本などの見開き原稿を読み込んだときにできる原稿の周囲の影を消すことができます。(影が出やすい範囲の画像を消去します。影を検知して消去するわけではありません。)

厚みのある本を読み込む場合



枠消去機能を使わない	枠消去機能を使う
<p>読み込んだ原稿に影ができる。</p>	<p>影ができずに読み込まれる。</p>

枠消去の種類



1

原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2

相手先番号を入力する

☎ [相手先の入力方法について](#) (4-15ページ)

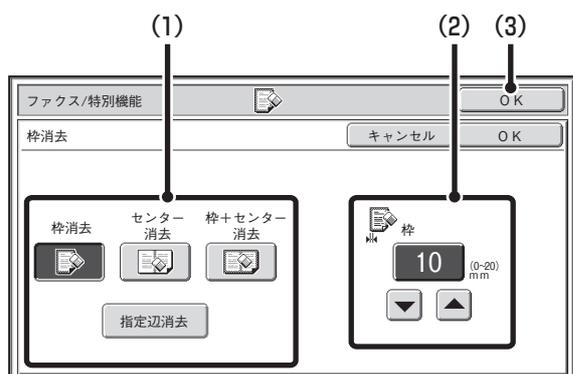
3

特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

(2) [枠消去]キーをタッチする

☎ [特別機能の種類について](#) (4-70ページ)

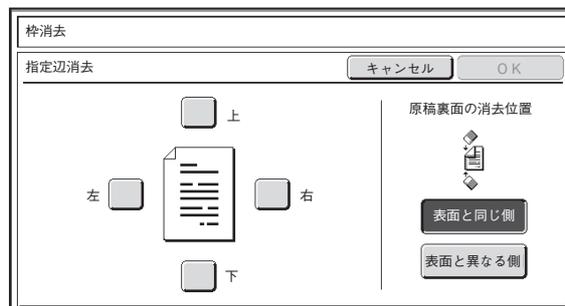


枠消去を設定する

(1) 消去する位置をタッチする

4種類から選びます。

[指定辺消去]キーをタッチすると次の画面が表示されます。



消去したい辺のチェックボックスをタッチして、になっていることを確認します。

両面読み込みを行うときは、原稿裏面の消去位置を設定してください。

- [表面と同じ側]キーをタッチすると、表面と同じ位置に枠消去が設定されます。
- [表面と異なる側]キーをタッチすると、表面と反対の位置に枠消去が設定されます。

設定が完了したら、[OK]キーをタッチしてください。

(2) キーで消去幅を設定する

0mm～20mmの範囲で設定できます。

数値表示部のキーを直接タッチして数字キーで変更することもできます。

(3) [OK]キーをタッチする

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。

「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。

セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。

「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

- 原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (⏏) を押してください。

枠消去を使用して送信する場合は、原稿サイズの外周に対して枠消去されます。したがって縮小または拡大が同時に設定されていると、枠消去幅は設定倍率に合わせて変わります。例えば、10mmの枠消去幅で設定したファクスが送信時に70%で縮小された場合、枠消去幅は7mmになります。

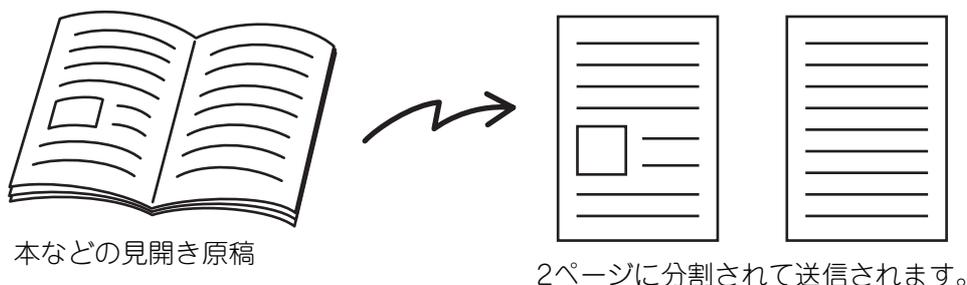
枠消去を解除するには…
手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

システム設定（管理者）：枠消去幅の標準値設定
消去する枠の幅の標準値はコピー機能のシステム設定と連動しており、0mm～20mmの範囲で設定できます。工場出荷時は10mmに設定されています。

原稿を2ページに分割して送信する (ページ分割)

1枚の原稿を左右で分割して、2ページの原稿として送信することができます。本などの見開き原稿を1ページずつ順番に送信したいときに便利です。

例：本の左右ページを送信する場合



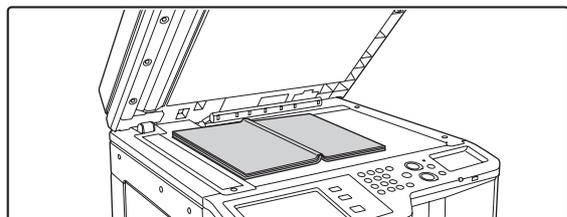
例

読み込み原稿サイズ	送信される原稿
A3×1枚	A4×2枚
B4×1枚	B5×2枚



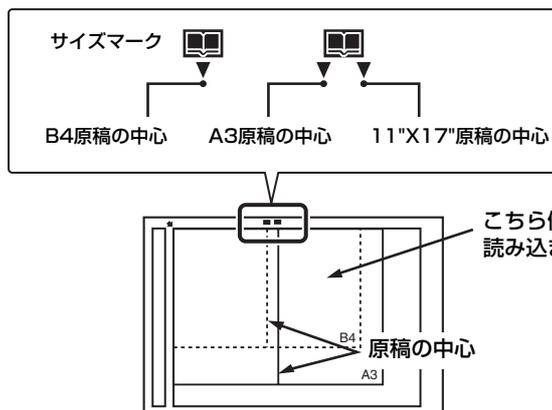
- ページ分割送信では原稿台（ガラス面）に原稿をセットしてください。
- 原稿の送信サイズを変更することはできません。

1



原稿を原稿台（ガラス面）に下向きにセットする

原稿をセットするときは、原稿の中心をサイズマークの▼に合わせてセットしてください。

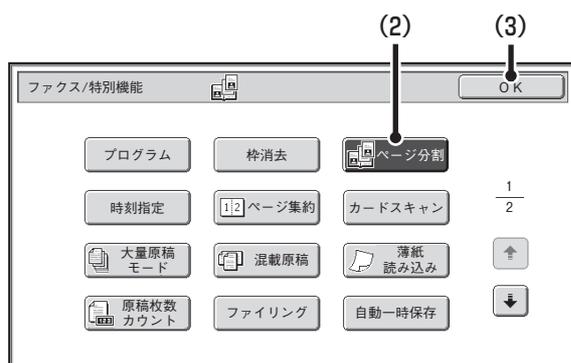


2

相手先番号を入力する

☎ 相手先の入力方法について (4-15ページ)

3



ページ分割を設定する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
☞ 特別機能の種類について (4-70ページ)
- (2) [ページ分割]キーをタッチして反転表示にする
- (3) [OK]キーをタッチする

4

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。

「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。

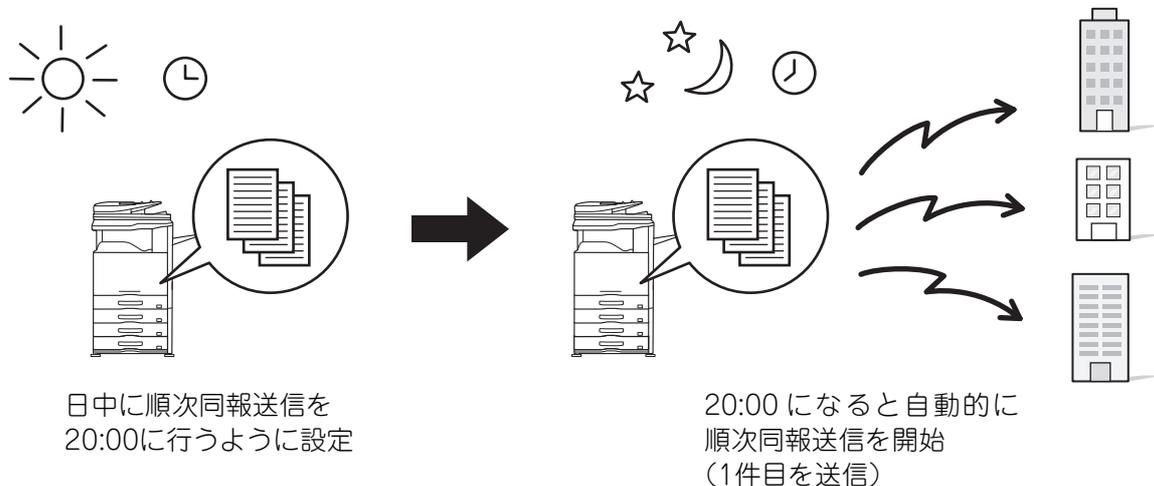
- ⌂ 原稿の読み込みを中止するには…
 [ストップ]キー (⏸) を押してください。

- ✎ 本などの見開き原稿を送信したときにできる周囲の影を消すために、枠消去と組み合わせて使用すると便利です。(ただし、「センター消去」および「枠+センター消去」と組み合わせることはできません。)
- 原稿の読み込みサイズを数値で指定しているとき、この機能は使用できません。

- ⌂ ページ分割を解除するには…
 手順3の画面で[ページ分割]キーをタッチして反転表示を解除してください。

時刻を決めて通信する（時刻指定通信）

順次同報送信などの通信に時刻指定をかけておくと、指定された時刻になると自動的に通信を開始します。不在時や通信料金が安い夜間に、送信予約や順次同報送信などの通信を行うときに便利です。また、ポーリング受信に時刻指定を行うと不在時でも相手先から原稿を受信することができます。



- 時刻指定通信を設定したときは、主電源スイッチを常に“入”にしておいてください。指定した時刻に“切”になっていると通信できません。
- 時刻指定送信では、あらかじめ原稿を読み込んで本機のメモリー内に記憶しておく必要があります。原稿を原稿セット台または原稿台（ガラス面）にセットし、送信予約した時刻に読み込ませることはできません。
- 時刻指定送信で設定した内容（濃度、画質、特別機能など）は、送信後自動的に消去されます。（ただし、ドキュメントファイリング機能を使用したときは、読み込んだ原稿とその設定内容を内蔵のハードディスクに保存しています。）

1

原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2

相手先番号を入力する

☎ [相手先の入力方法について](#)（4-15ページ）

3

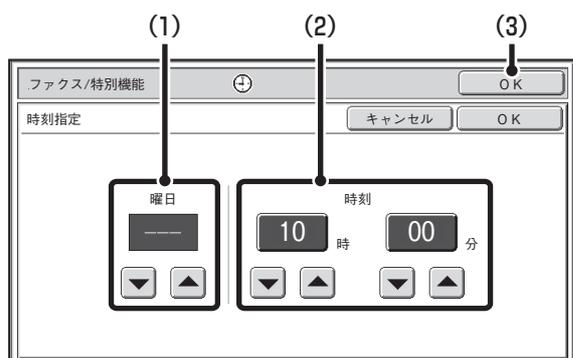
特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

(2) [時刻指定]キーをタッチする

☎ [特別機能の種類について](#)（4-70ページ）

4



▼ ▲ で時刻を指定する

(1) 曜日を指定する

曜日を指定しないときは、[---]を選択してください。この場合、(2)で指定した時刻がきたときに通信が開始されます。

(2) 時刻（時、分）を指定する

時刻は24時間制で指定してください。
数値表示部のキーを直接タッチして数字キーで変更することもできます。

(3) [OK]キーをタッチする



この画面を表示したとき、設定値には現在時刻が表示されます。時刻が異なっているときは[リセット]キー(⌚)を押して操作を中止し、システム設定で時刻を修正してから操作を行ってください。

☞ [日付・時刻を確認する](#) (4-5ページ)

5

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。



- 最長1週間先までの時刻を指定できます。
- 時刻指定できる通信は94件までです。
- ポーリング受信は1件のみ時刻指定を設定できます。複数の相手先からポーリング受信したいときは、順次ポーリングを時刻指定してください。
- 指定した時刻に他の通信が実行中の場合、その通信が終了してから時刻指定した通信を開始します。
- 時刻指定通信を設定したあと、他の通信を行うことができます。
- この機能は直接送信モードやオンフックダイヤルでは使用できません。
- ジョブ状況画面で時刻指定したジョブを優先させると、時刻指定が解除されます。実行中のジョブが終了後、通信が行われます。
☞ [あとから送信予約したファクスを優先して送信する](#) (4-143ページ)



時刻指定通信を解除するときは…

手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

2枚の原稿を1枚にまとめて送信する(ページ集約)

1枚の用紙に原稿2枚分を均等に割り付けて送信することができます。枚数が多い原稿を半分に合わせて送信したいときに便利です。



1 原稿をセットする



原稿をセットするときは次の向きでセットしてください。

原稿	原稿セット台 原稿は上向きにセットしてください。	原稿台 (ガラス面) 原稿は下向きにセットしてください。
縦向きの場合 		
横向きの場合 		

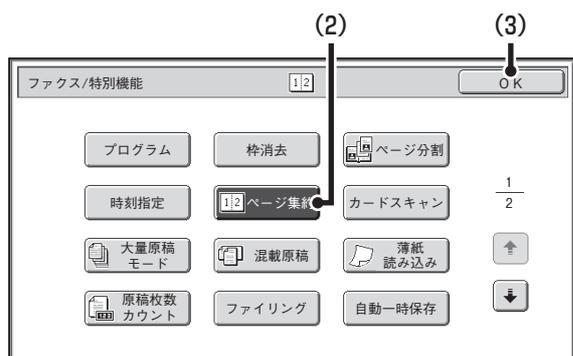
1

2

相手先番号を入力する

[相手先の入力方法について](#) (4-15ページ)

3



ページ集約を設定する

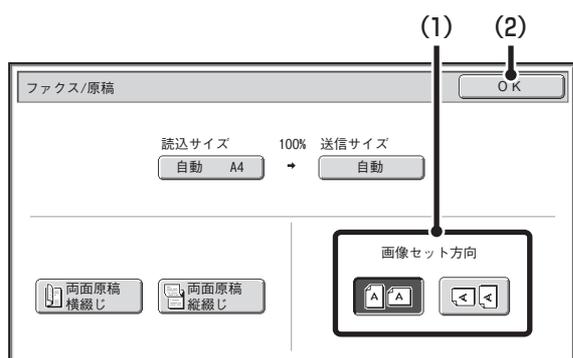
- (1) [特別機能]キーをタッチする
 特別機能の種類について (4-70ページ)
- (2) [ページ集約]キーをタッチして反転表示にする
- (3) [OK]キーをタッチする

4



[原稿]キーをタッチする

5



原稿の画像セット方向を設定する

- (1) セットした原稿の画像と同じ向ききの [画像セット方向]キーをタッチする
 この設定が正しくないと、適切な画像が送信されないことがあります。
- (2) [OK]キーをタッチする

6

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

読み込み終了の確認画面に表示されている[設定変更]キーをタッチすると、濃度や画質、読み込みサイズ/送信サイズを変更することができます。(ただし、偶数枚目の原稿を読み込むときは、濃度のみ変更することができます。)

原稿の読み込みを中止するには…
 [ストップ]キー (⏏) を押してください。



- 原稿サイズより小さいサイズで送信することはできません。
- A4、B5、A5サイズ以外の原稿ではページ集約を使用できません。
- この機能は直接送信モードやオンフックダイヤルでは使用できません。
- 原稿の読み込みサイズを数値で指定しているとき、この機能は使用できません。



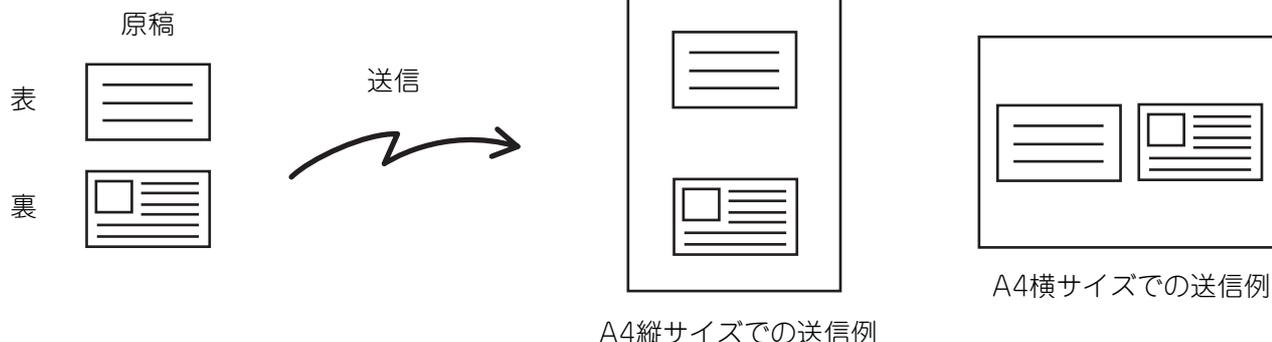
ページ集約を解除するには…

手順3の画面で[ページ集約]キーをタッチして反転表示を解除してください。

カードの表裏を1枚にまとめて送信する (カードスキャン)

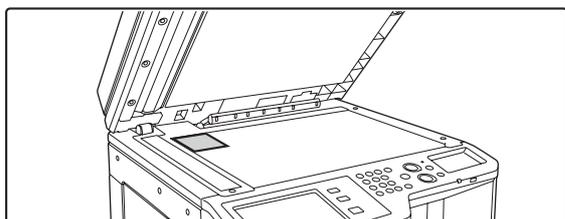
各種カードの表と裏を別々に送信することなく、1枚にまとめて送信できます。

送信画像



 この機能では原稿台（ガラス面）に原稿をセットしてください。

1



原稿台（ガラス面）に原稿を下向きにセットする

2

相手先番号を入力する

 [相手先の入力方法について](#) (4-15ページ)

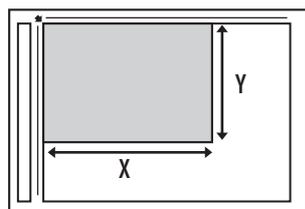
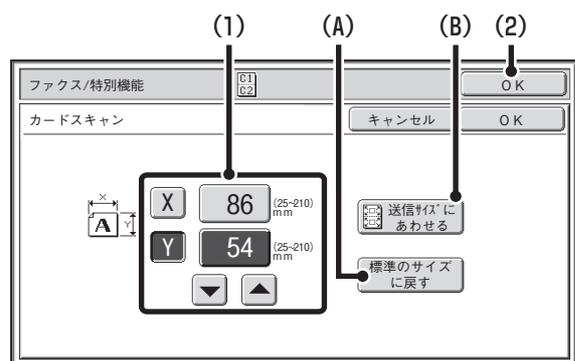
3

特別機能を選択する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
- (2) [カードスキャン]キーをタッチする

 [特別機能の種類について](#) (4-70ページ)

4



原稿のサイズを設定する

(1) 原稿のサイズを入力する

- X (横) 方向の数値表示部のキーをタッチし、数字キーで原稿の横幅 (X) を入力してください。
- Y (縦) 方向の数値表示部のキーをタッチし、数字キーで原稿の縦幅 (Y) を入力してください。

(A) 原稿サイズを標準状態に戻したいときは、[標準のサイズに戻す]キーをタッチしてください。

(B) 原稿を送信サイズに合わせて自動で拡大または縮小したい場合は、[送信サイズにあわせる]キーをタッチしてください。入力した原稿サイズのまま読み込みしたいときは、このキーをタッチする必要はありません。

(2) [OK]キーをタッチする



- ▼ ▲ キーをタッチして数値を変更することもできます。
- 送信サイズは、入力した原稿サイズを元に自動選択されます。
- カードスキャンを設定したあと、基本画面の[原稿]キーをタッチして原稿の読み込みサイズや送信サイズを変更することができます。この場合、読み込みサイズのキーをタッチすると、手順3の画面が表示されます。送信サイズの設定については、「[原稿の送信サイズを指定する](#)」(4-51ページ)を参照してください。

5

[白黒スタート]キーを押して、表面を読み込む



- 原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (⊙) を押してください。

6

カードを裏面に入れ替えて[白黒スタート]キーを押して、裏面を読み込む

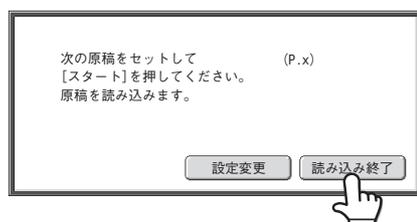


- 裏面を読み込むとき、タッチパネルに表示されている[設定変更]キーをタッチして濃度を変更することができます。



- 原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (⊙) を押してください。

7



[読み込み終了]キーをタッチする



- 続けてカードの表面を読み込むときは、[設定変更]キーをタッチして濃度や画質、読み込みサイズ/送信サイズを変更することができます。



- 原稿の倍率指定や回転送信はできません。
- この機能は直接送信モードやオンフックダイヤルでは使用できません。

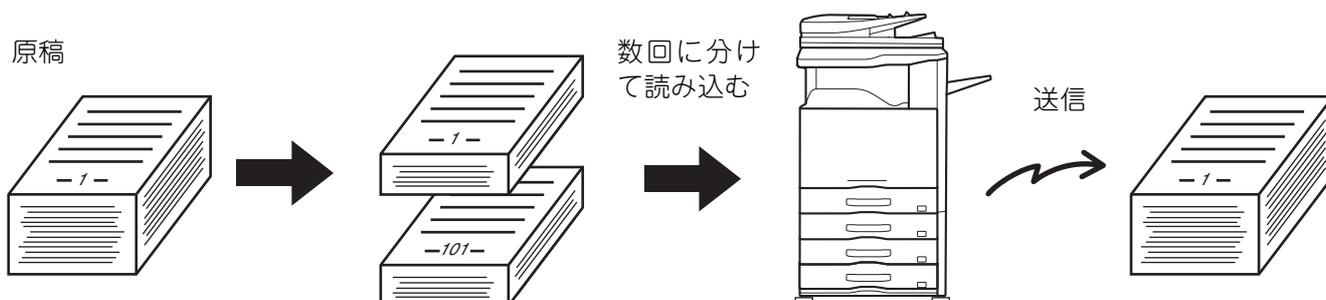
**カードスキャンを解除するには…**

手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

大量の原稿を一度にまとめて送信する (大量原稿モード)

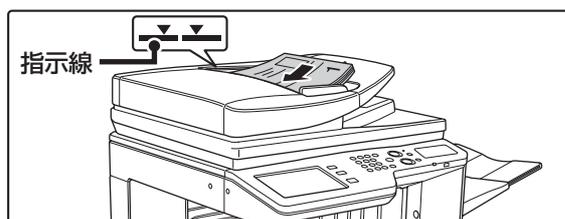
ページ数の多い原稿を原稿自動送り装置で数回に分けて読み込み、一度に送信します。送信したい原稿が一度にセットできる枚数を超過している場合に使用してください。

分割して原稿を読み込むときは、先頭ページの束から読み込んでください。最初にセットしたときの設定は最後の束を読み込むまでそのまま利用できます。



 原稿は最大で999枚まで読み込むことができます。ただし、他の通信などでメモリーを使用している場合は読み込みできる枚数が少なくなります。

1



原稿セット台に原稿を上向きにセットする

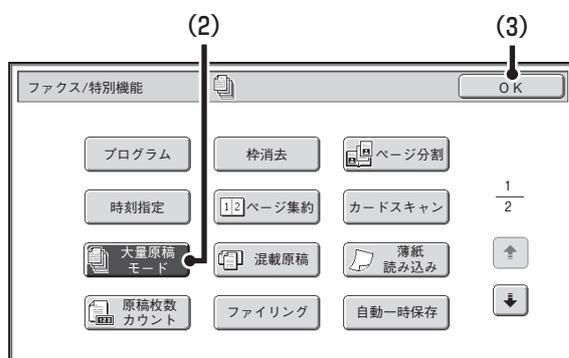
原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。

2

相手先番号を入力する

 [相手先の入力方法について](#) (4-15ページ)

3



大量原稿モードを設定する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 [特別機能の種類について](#) (4-70ページ)
- (2) [大量原稿モード]キーをタッチして反転表示にする
- (3) [OK]キーをタッチする

4 [白黒スタート]キーを押して、最初の原稿を読み込む

4

- ② 原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (Ⓢ) を押してください。

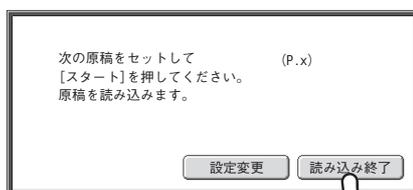
5 次の原稿をセットして、[白黒スタート]キーを押す

原稿をすべて読み込むまで、この操作を繰り返してください。

5

- ② 原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。すべての読み込みデータが消去されます。

6



[読み込み終了]キーをタッチする

- ②
- 確認画面が表示されてから約1分間操作を行わないと、自動的に読み込みを終了して送信予約されます。
 - [設定変更] キーをタッチすると、読み込む原稿ごとに濃度や画質、読み込みサイズ/送信サイズを変更することができます。ただし、特別機能の「ページ集約」と組み合わせて使用している場合で、偶数枚目の原稿を読み込むときは、濃度のみ変更することができます。

- ②
- 途中でメモリーがいっぱいになるとメッセージが表示され、送信操作が中止されます。
 - この機能は直接送信モードやオンフックダイヤルでは使用できません。

- ② 大量原稿モードを解除するには…
手順3の画面で[大量原稿モード]キーをタッチして、反転表示を解除してください。

大きさの違う原稿をまとめて送信する (混載原稿)

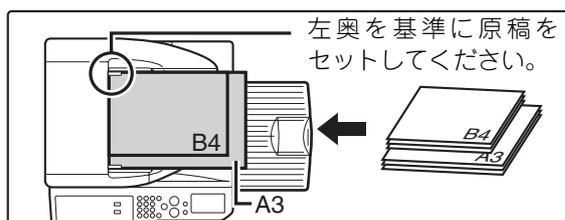
A3サイズの原稿の中にB4サイズの原稿が含まれているような場合でも、原稿自動送り装置に一度にまとめてセットして送信することができます。原稿を読み取る際に自動的に原稿の大きさを判別して送信できます。



混載原稿では次の原稿サイズの組み合わせの場合のみ使用できます。

- A3とB4
- A3とB5
- B4とA4
- A4とB5
- A4RとB5
- B4とA4R
- B4とA5
- B5とA5
- 11"x17"と8-1/2"x14"
- 11"x17"と8-1/2"x13"
- 11"x17"と5-1/2"x8-1/2"

1



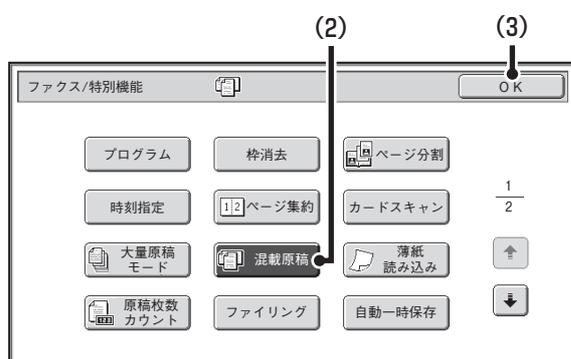
原稿セット台に原稿を上向きにセットする
原稿セット台の左奥を基準にそろえてセットしてください。

2

相手先番号を入力する

☞ [相手先の入力方法について](#) (4-15ページ)

3



混載原稿を設定する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
☞ [特別機能の種類について](#) (4-70ページ)
- (2) [混載原稿]キーをタッチして反転表示にする
- (3) [OK]キーをタッチする



原稿の読み込みサイズを指定していると、[混載原稿]キーをタッチしたときにメッセージが表示されます。混載原稿の設定を有効にするには、読み込みサイズの設定を自動にしてから、もう一度[混載原稿]キーをタッチしてください。

4

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

**原稿読み込みを中止するには…**

[ストップ]キー (Ⓢ) を押してください。



- 混載原稿を設定したあとに原稿の読み込みサイズを指定することはできません。
- 混載原稿設定時は、自動両面読み込みが使用できません。
- 混載原稿設定時は、回転送信しません。

**混載原稿の設定を解除するには…**

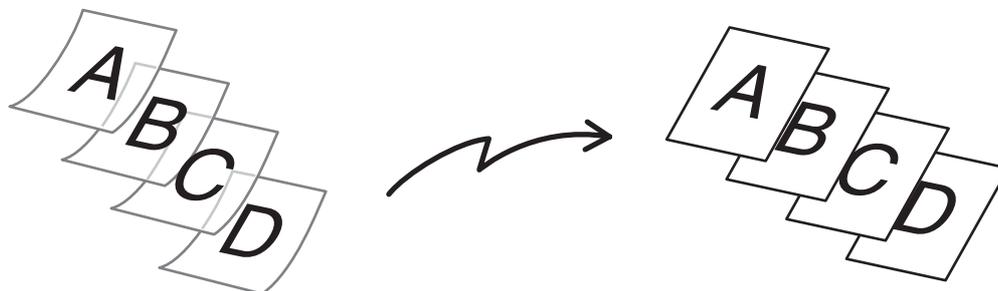
手順3の画面で[混載原稿]キーをタッチして反転表示を解除してください。

**システム設定 (管理者)：原稿給紙モード**

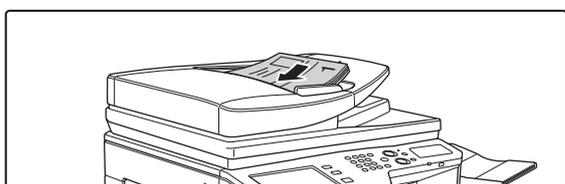
常に混載原稿で原稿を読み込むように設定できます。

薄い紙の原稿を送信する（薄紙読み込み）

原稿自動送り装置を使って薄い紙の原稿を読み込みたいときに使用します。この機能を使うことにより、薄い紙の原稿がつまりにくくなります。



1



原稿セット台に原稿を上向きにセットする
原稿ガイドはゆっくりと動かしてください。



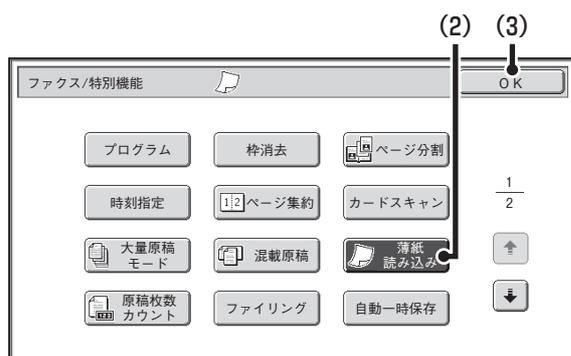
薄紙原稿をきつく押し込むと、よじれて原稿づまりの原因となります。

2

相手先番号を入力する

☞ [相手先の入力方法について](#)（4-15ページ）

3



薄紙読み込みを設定する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
☞ [特別機能の種類について](#)（4-70ページ）
- (2) [薄紙読み込み]キーをタッチして反転表示にする
- (3) [OK]キーをタッチする

4

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (Ⓢ) を押してください。



この機能を設定したときは、自動両面読み込みはできません。



薄紙読み込みの設定を解除するには…

手順3の画面で[薄紙読み込み]キーをタッチして反転表示を解除してください。



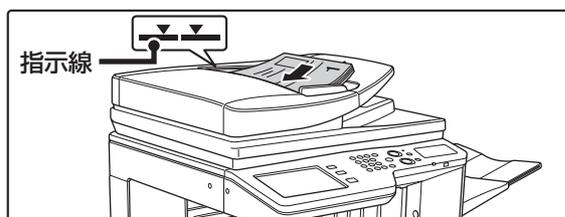
システム設定 (管理者) : 原稿給紙モード

常に薄紙読み込みで原稿を読み込むように設定できます。

読み込んだ原稿の枚数を確認してから送信する (原稿枚数カウント)

読み込んだ原稿の枚数をカウントして、送信する前に表示させることができます。読み込んだ原稿の枚数を確認することで送信ミスが減らすことができます。

1



原稿セット台に原稿を上向きにセットする

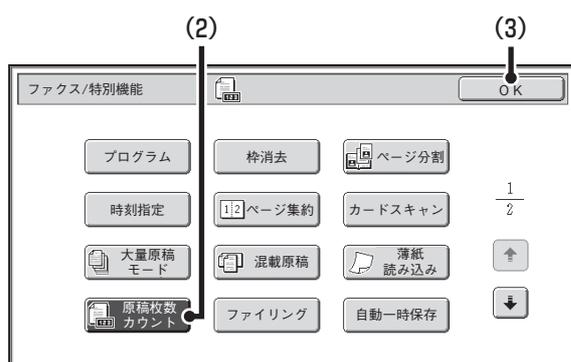
原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。

2

相手先番号を入力する

☞ [相手先の入力方法について](#) (4-15ページ)

3



原稿枚数カウントを設定する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
☞ [特別機能の種類について](#) (4-70ページ)
- (2) [原稿枚数カウント]キーをタッチして反転表示にする
- (3) [OK]キーをタッチする

4

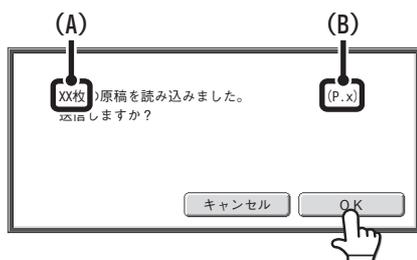
[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。すべての読み込みデータが消去されます。



読み込みが終了したら、原稿枚数を確認して、[OK]キーをタッチする

送信が開始されます。

- 大量原稿モードを使用している場合は、[読み込み終了]キーをタッチしたあとに、確認のメッセージが表示されます。
- 画面に表示されるメッセージには、読み込んだ原稿の枚数(A)と面数(B)が表示されます。たとえば、原稿1枚の両面を読み込んだ場合、(A)には“1”、(B)には“2”と表示されます。

 確認画面が表示されてから約1分間この操作を行わないと、すべての読み込みデータや設定内容が消去され基本画面に戻ります。自動的に読み込みを終了して送信予約されません。

 **表示されている原稿枚数が実際の枚数と異なる時は…**
[キャンセル]キーをタッチし、表示されたメッセージ画面の[OK]キーをタッチすると、すべての読み込みデータが消去されます。読み込み設定や宛先など設定内容は消去されません。原稿をセットし直し、[白黒スタート]キーを押して原稿を読み込み直してください。

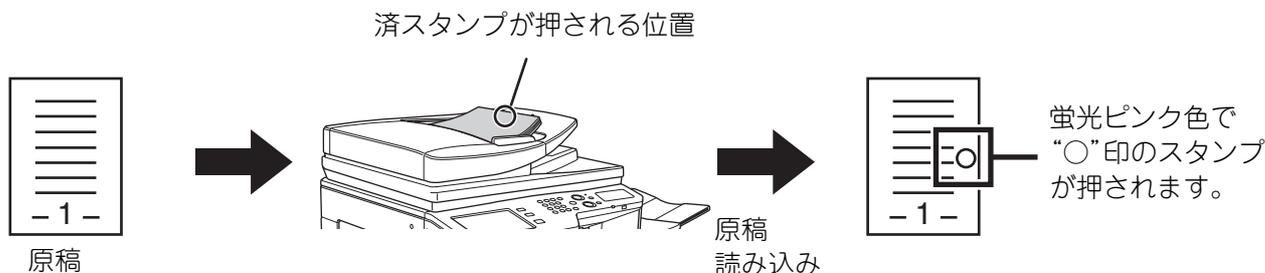
 原稿枚数カウントを有効にすると、他のモードでも有効になります。

 **原稿枚数カウントの設定を解除するには…**
手順3の画面で[原稿枚数カウント]キーをタッチして反転表示を解除してください。

 **システム設定（管理者）：原稿枚数カウントの標準状態設定**
常に原稿枚数カウントを行うように設定できます。設定は各モード個別に行えます。

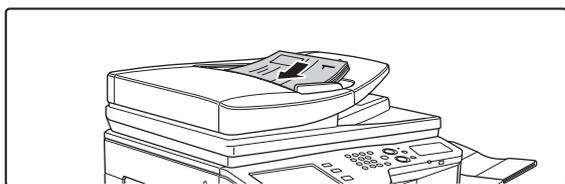
読み込み済みの原稿にスタンプを押す (済スタンプ)

原稿自動送り装置を使用して読み込んだ原稿に読み込み済みの印を付けることができ、すべての原稿が正しく読み込まれたか確認することができます。



この機能は、別売品の済スタンプユニットが装着されているときに使用できます。

1



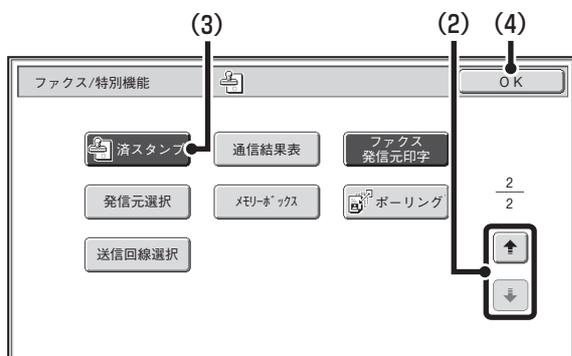
原稿セット台に原稿を上向きにセットする

2

相手先番号を入力する

☞ [相手先の入力方法について](#) (4-15ページ)

3



済スタンプを設定する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
☞ [特別機能の種類について](#) (4-70ページ)
- (2) ↓ ↑ キーで画面を切り替える
- (3) [済スタンプ]キーをタッチして反転表示にする
- (4) [OK]キーをタッチする

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

4



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (Ⓢ) を押してください。



- 両面原稿を使用したときは原稿の表面に2箇所済スタンプが押されます。
- 原稿の読み込み中にエラーが発生したときに、読み込まれなかった原稿に済スタンプが押される場合があります。
- 原稿に押されるスタンプ（“○”印）が薄くなってきた場合は、済スタンプカートリッジを交換してください。済スタンプカートリッジの交換方法については、「1. お使いになる前に」の「[済スタンプカートリッジの交換](#)」（1-70ページ）を参照してください。



済スタンプの設定を解除するには…

手順3の画面で[済スタンプ]キーをタッチして反転表示を解除してください。



システム設定（管理者）：デフォルト済スタンプ設定

常に済スタンプを押すように設定できます。

通信結果表のプリント設定を変更して送信する (通信結果表)

通信に失敗したときや同報送信が行われた場合、自動的に通信結果をプリントすることができます。通信結果表には、通信の内容（日付、開始時刻、相手先名、所要時間、枚数、通信結果など）がプリントされます。

☞ [通信結果欄の内容について](#)（4-145ページ）

通信結果表は、システム設定で設定された条件に従ってプリントされますが、送信ごとに条件を変更することができます。送信時に通信結果表のプリント条件を変更するときは、次の操作を行ってください。

1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2 相手先番号を入力する

☞ [相手先の入力方法について](#)（4-15ページ）

3 特別機能を選択する

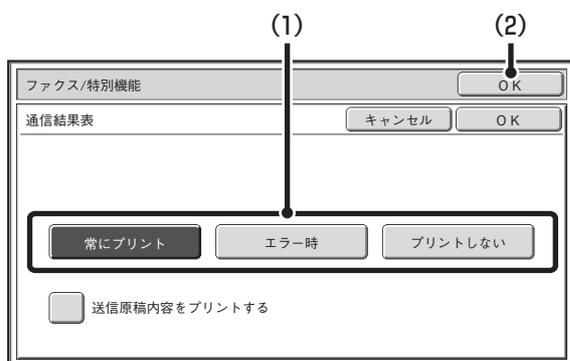
(1) [特別機能]キーをタッチする

3 (2)   キーで画面を切り替える

(3) [通信結果表]キーをタッチする

☞ [特別機能の種類について](#)（4-70ページ）

4



通信結果表のプリント条件を設定する

(1) プリント条件を選択する

(2) [OK]キーをタッチする



- 通信結果表のプリント条件は次のとおりです。
「常にプリント」: 送信が成功または失敗しても通信結果表をプリントします。
「エラー時」: 送信が失敗したときに通信結果表をプリントします。
「プリントしない」: 通信結果表をプリントしません。
- [送信原稿内容をプリントする]チェックボックスをタッチして にすると、通信結果表といっしょに、送信した原稿内容の一部がプリントされます。
- [送信原稿内容をプリントする]チェックボックスが の状態でも、オンフックダイヤル、直接送信、ポーリング受信、Fコード送信を行ったときは原稿の内容をプリントできません。

5

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。
「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。
セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。
「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。

**原稿の読み込みを中止するには…**

[ストップ]キー（)を押して中止してください。



同報送信を行った場合は、変更した通信結果表のプリント条件がすべての送信先に適用されます。

**通信結果表を解除するには…**

手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

**システム設定（管理者）：通信結果表プリント設定**

通信結果表をプリントする条件を設定します。

工場出荷時は に設定されています。

通常送信時： 常にプリント / / プリントしない

同報送信時： / 送信失敗宛先 / プリントしない

受信時： 常にプリント / エラー時 /

親展受信時（ファクスモード）： プリントしない /

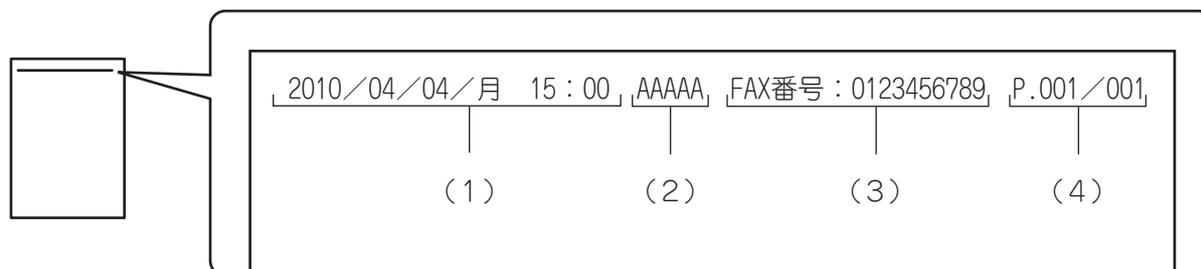
システム設定（管理者）：送信時の原稿内容プリント設定

送信した原稿の一部を通信結果表にプリントするように設定できます。

発信元情報を付けて送信する（発信元印字）

送信原稿の端部に発信元情報（日付、時刻、発信元名、発信元番号、送信ページ数）を付けて送信します。工場出荷時の設定では、発信元情報を常に付けて送信するように設定されています。

発信元情報のプリント例



(1) 日付・時刻：送信時の日付と時間

(2) 発信元名：本機の発信元名

(3) FAX番号

(4) 送信ページ数：送信ページ数／総ページ数

（総ページ数はメモリー送信時のみ印字されます。）

 発信元情報を付けないように設定して順次同報送信を行うと、すべての相手先に発信元情報を付けずに送信されます。

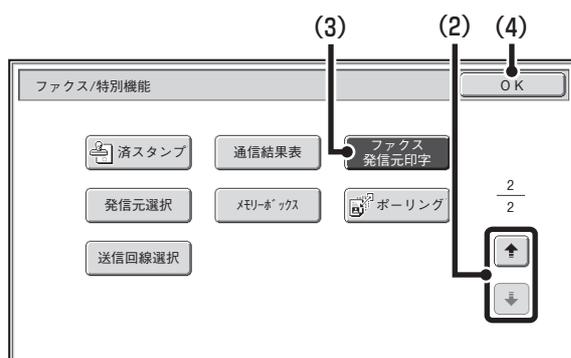
1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2 相手先番号を入力する

 [相手先の入力方法について](#)（4-15ページ）

3



発信元印字を設定する

(1) [特別機能]キーをタッチする

 [特別機能の種類について](#)（4-70ページ）

(2)   キーで画面を切り替える

(3) [ファクス発信元印字] キーをタッチして反転表示にする

工場出荷時は、反転表示しています。

(4) [OK]キーをタッチする

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。

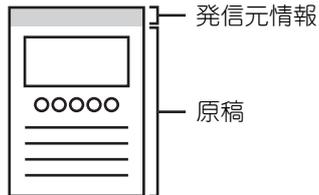
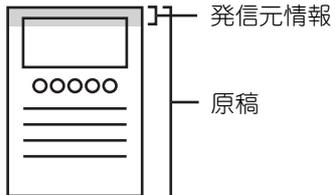


発信元情報の登録や設定について

- 日付・時刻： システム設定の「日付・時刻設定」(7-10ページ) で設定します。
- 発信元名、発信元番号： システム設定（管理者）の「発信元情報登録」で登録します。発信元印字を使用する場合は、必ず登録してください。
- 送信ページ数： システム設定（管理者）の「ページ数印字」で印字する／しないを設定します。ページ番号／総ページ数を表示します。「手動送信」、「クイックオンライン送信」で送信した場合はページ番号のみプリントします。



- **システム設定（管理者）：回線2の設定**
2回線をお使いの場合、回線2の発信元情報を登録しておきます。（回線増設キット装着時）
- **システム設定（管理者）：デフォルト日付発信元送付**
ファクスを送信する場合、常に発信元情報を付ける／付けないを設定します。
- **システム設定（管理者）：日付・発信元印字位置設定**
送信されたときの発信元情報の印字位置を設定します。発信元情報は読み込んだ原稿の外にプリントする（読み込みデータ外）、読み込んだ原稿の中にプリントする（読み込みデータ内）から選びます。

読み込みデータ外（工場出荷時）	読み込みデータ内
 <p>発信元情報 原稿</p> <p>発信元情報＋原稿の長さで送信されます。相手機でプリントするときに、縮小または分割される場合があります。</p>	 <p>発信元情報 原稿</p> <p>発信元情報が原稿内に印字されるので、原稿の長さで送信されます。発信元情報と重なる原稿部分は欠けてしまいますのでご注意ください。</p>

発信元情報を一時的に変更する（発信元選択）

発信元印字で使用する発信元情報を別途登録されている中から選択して一時的に変更します。



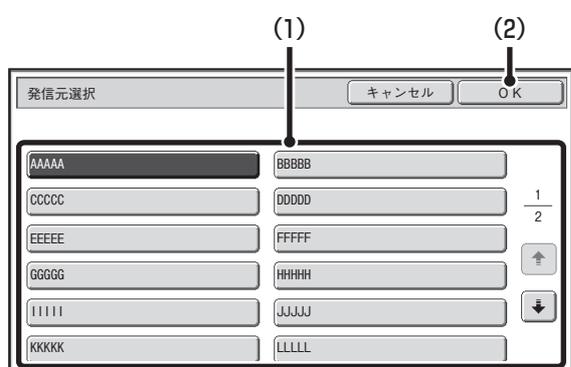
この機能は発信元印字が有効のときに使用できます。また、発信元情報を変更した送信が終わると解除されます。

特別機能を選択する

1

- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2) キーで画面を切り替える
 - (3) [発信元選択]キーをタッチする
- [特別機能の種類について](#)（4-70ページ）

2



発信元情報を選択する

- (1) 発信元に指定する発信元情報のキーをタッチする
- (2) [OK]キーをタッチする

3



[OK]キーをタッチする

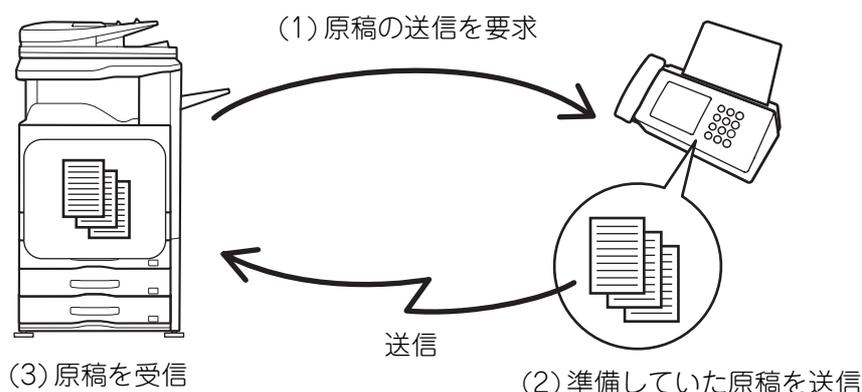


システム設定（管理者）：発信元選択登録

発信元選択で使用する発信元情報を登録します。

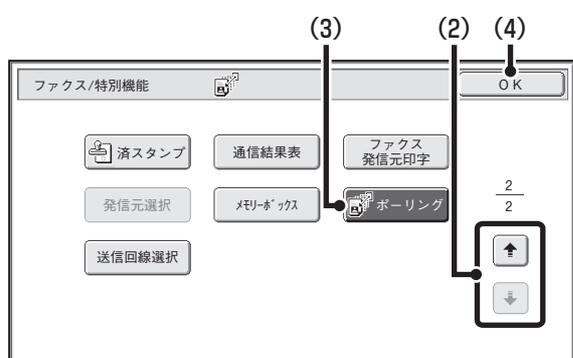
こちらの操作で相手の原稿を受信する (ポーリング受信)

受信側（本機）の操作で相手機に準備されている原稿を送信させることを「ポーリング」と呼びます。ここでは、相手機の原稿を本機からの操作で受信するので「ポーリング受信」と呼びます。



ポーリング受信の操作を行うときは、本機に原稿をセットしないでください。

1



ポーリング受信を設定する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
☞ 特別機能の種類について (4-70ページ)
- (2) キーで画面を切り替える
- (3) [ポーリング]キーをタッチして反転表示にする
- (4) [OK]キーをタッチする

2



相手先番号を入力する

☞ [相手先の入力方法について](#) (4-15ページ)

- 複数の相手先番号が入力できます。
 複数の相手先番号を入力すると、入力した順番にポーリング受信を行います。
 複数の相手先からポーリング受信することを「順次ポーリング」と呼びます。
 最大500件までの相手先番号が入力できます。ここでは、サブアドレスやパスコードが含まれているワンタッチキーは使用できません。
- 複数の相手先を入力するときは、入力した相手先番号に続けて[次宛先]キーをタッチして次の相手先番号を入力してください。

3

[白黒スタート]キーを押す

相手機と通信後、原稿を受信します。



- 時刻指定通信と組み合わせて、不在時や夜間など任意の時刻にポーリング受信することができます（時刻指定のポーリング受信は1件のみ可能）。
- この機能は相手機がスーパー G3またはG3対応機で、ポーリング機能を持っている場合に使用できます。
- ポーリング受信時の電話料金は、受信する側（こちら側）にかかります。

**ポーリング受信の設定を解除するときは…**

手順1の画面で[ポーリング]キーをタッチして反転表示を解除してください。

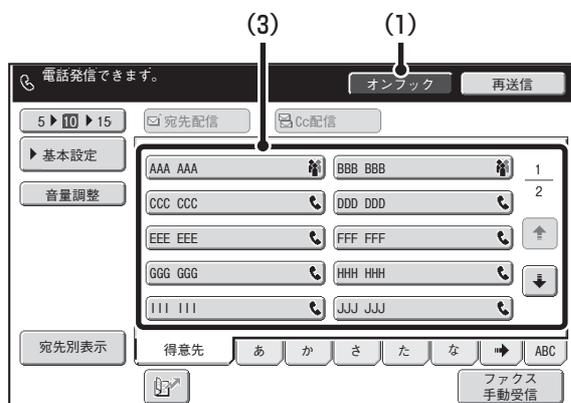
手動操作でポーリング受信する

ファクス情報サービスを利用するときなど、相手側のアナウンスに従って受信を行うときの操作です。



- ポーリング受信の操作を行うときは、本機に原稿をセットしないでください。
- この機能は、複数の相手先にポーリング受信（順次ポーリング）できません。

1



相手先番号を入力する

(1) [オンフック]キーをタッチする

「ツーン」という発信音が本機のスピーカーから聞こえます。

(2) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

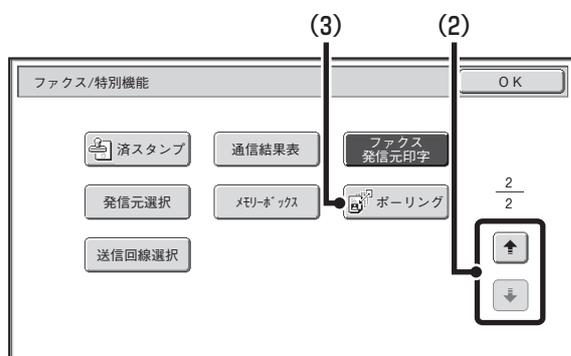
(3) 相手先のワンタッチキーをタッチする

グループダイヤルが登録されているワンタッチキーは使用できません。



- 相手先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、数字キーで入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「[相手先の入力方法について](#)」(4-15ページ)を参照してください。
- [オンフック]キーをタッチしたあとに、[音量調整]キーをタッチしてスピーカーから聞こえる音の音量を調節することができます。[音量調整]キーをタッチするごとに音量が切り替わります。お好みの音量に調節してください。

2



原稿（データ）を受信する

(1) [特別機能]キーをタッチする

☞ [特別機能の種類について](#) (4-70ページ)

(2) ↓ ↑ キーで画面を切り替える

(3) 「ピー」音が聞こえたら、[ポーリング]キーをタッチする

原稿（データ）を受信します。

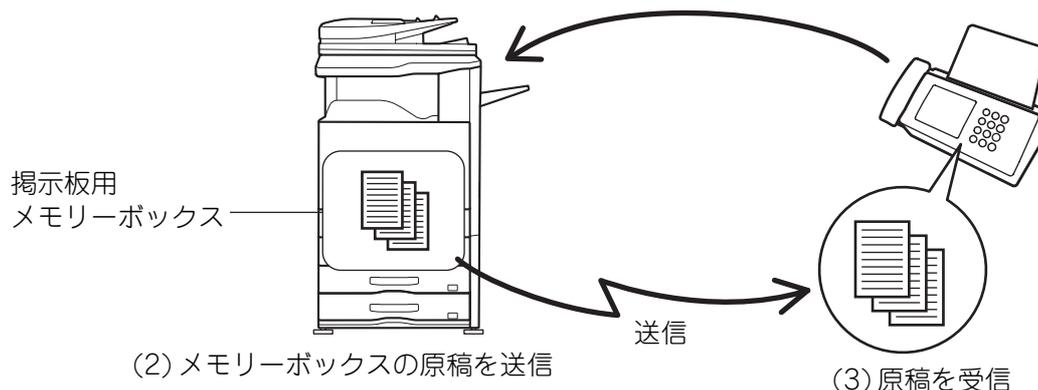


- この機能は相手機がスーパー G3またはG3対応機で、ポーリング機能を持っている場合に使用できます。
- ポーリング受信時の電話料金は、受信する側（こちら側）にかかります。

相手からの操作でこちらの原稿を送信する (掲示板)

相手側の操作で本機のメモリーに読み込んでいる原稿を送信することを「掲示板」と呼びます。
相手側に送信する原稿は、あらかじめ掲示板用のメモリーボックスに読み込んでおきます。
この機能は相手機がスーパー G3またはG3対応機で、ポーリング機能を持っている場合に使用できます。

(1) 原稿の送信を要求



掲示板を利用できる相手を限定する (ポーリング保護)

本機に登録しているポーリング許可番号と原稿の送信を要求してきた相手側の発信元電話番号が一致した場合に、掲示板が利用できるように設定できます。これを「ポーリング保護」と呼びます。

この機能を使用するときは、システム設定で本機にポーリング許可番号（相手機の発信元番号）を登録して、ポーリング保護を設定してください。

 ポーリング保護は10局までの相手先に対して設定できます。

 **システム設定 (管理者)：ポーリング保護設定**
ポーリング保護を設定します。また、ポーリング許可番号を登録します。

掲示板用の原稿をメモリーボックスに読み込む

相手に送信する掲示板用の原稿を本機のメモリーボックス（フリーエリア）に読み込みます。

1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2 特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

2 (2) [↓] [↑] キーで画面を切り替える

(3) [メモリーボックス]キーをタッチする

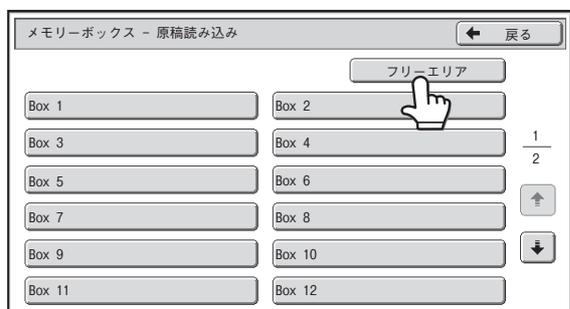
🔊 [特別機能の種類について](#)（4-70ページ）

3



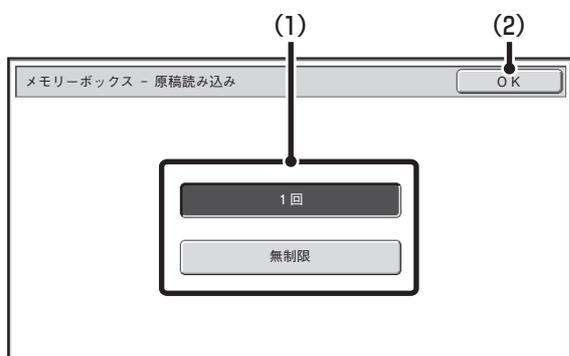
[原稿読み込み]キーをタッチする

4



[フリーエリア]キーをタッチする

5



原稿の送信回数を設定する

(1) 送信回数のキーをタッチする

原稿を送信後消去するときは[1回]キーを、原稿を繰り返し送信するときは[無制限]キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする

6



読み込む原稿の設定や特別機能を設定する



- ここでは、プログラム、時刻指定、通信結果表、ポーリング、ドキュメントファイリング、済スタンプ、送信回線選択（回線増設キット装着時）が設定できません。
- [メモリーボックスリスト]キーをタッチすると手順4の画面に戻ります。

7

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。
セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。



原稿の読み込みを中止するときは…

原稿読み込み中に[ストップ]キー（⊙）を押してください。



他の原稿がメモリーボックス（フリーエリア）に残っていた場合、残っている原稿のあとに追加して保存されます。その際、原稿の送信回数の設定は、あとから設定した回数になります。

掲示板用に保存した原稿を確認する

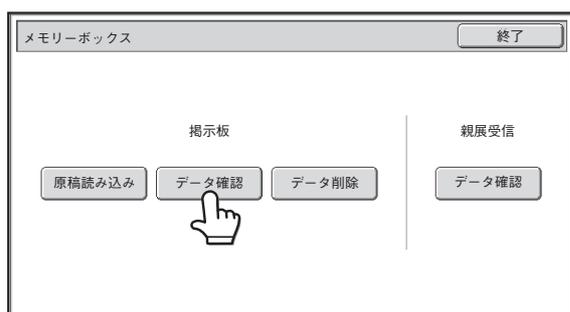
本機のメモリーボックス（フリーエリア）に保存されている掲示板用の原稿の内容を確認します。

特別機能を選択する

1

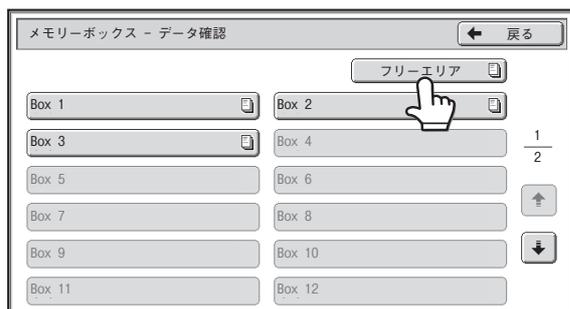
- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2)   キーで画面を切り替える
 - (3) [メモリーボックス]キーをタッチする
-  [特別機能の種類について](#)（4-70ページ）

2



[データ確認]キーをタッチする

3

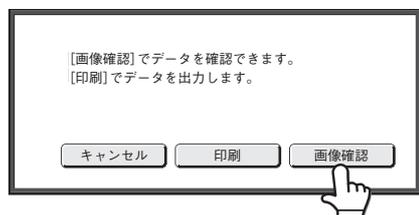


[フリーエリア]キーをタッチする



フリーエリアに原稿が保存されていないときは、[フリーエリア]キーがグレー表示されています。

4



[画像確認]キーをタッチする

画像確認画面で原稿の内容を確認することができます。画像確認画面については、「[画像確認画面について](#)」（4-64ページ）を参照してください。

[印刷]キーをタッチすると、原稿の内容をプリントすることができます。

掲示板用に保存した原稿を消去する

本機のメモリーボックス（フリーエリア）に保存されている掲示板用の原稿が不要な場合は消去します。

特別機能を選択する

1

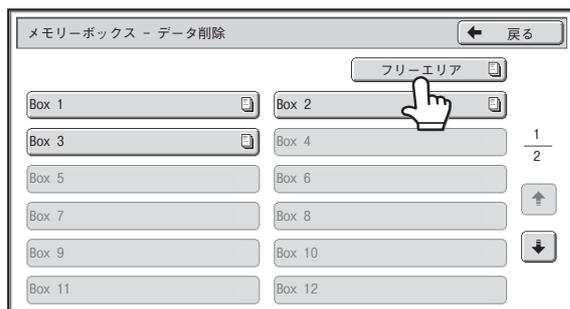
- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2)   キーで画面を切り替える
 - (3) [メモリーボックス]キーをタッチする
-  [特別機能の種類について](#)（4-70ページ）

2



[データ削除]キーをタッチする

3

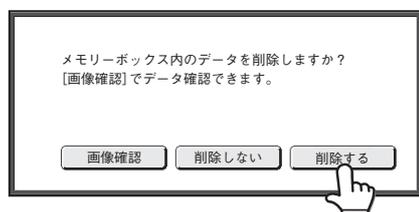


[フリーエリア]キーをタッチする



フリーエリアに原稿が保存されていないときは、[フリーエリア]キーがグレー表示されています。

4



[削除する]キーをタッチする

- 保存されている原稿が消去され、手順3の画面に戻ります。
- [画像確認]キーをタッチすると、データを消去する前にタッチパネルで画像を確認することができます。画像確認画面については、「[画像確認画面について](#)」（4-64ページ）を参照してください。



原稿の消去を中止するときは…

[削除しない]キーをタッチしてください。手順3の画面に戻ります。

送信する電話回線を選択する (送信回線選択)

電話回線が2回線利用できる場合に、回線増設キットを装着すると使用する電話回線を選択できるようになります。送信するときに自動的に空いている回線を選択して使用します。また、送信する回線を指定することができます。

- この機能は、回線増設キットが装着されているときに使用できます。
- 宛先登録時に送信回線を「回線1」または「回線2」に設定している宛先は、送信回線を変更することはできません。

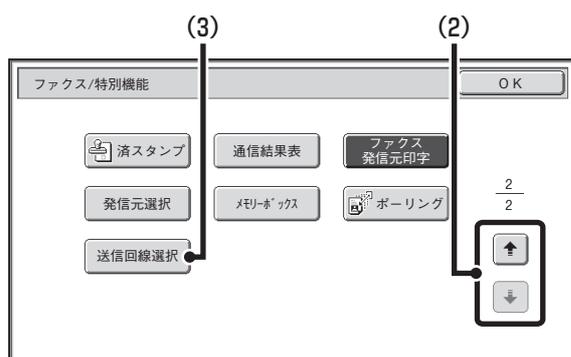
1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2 相手先番号を入力する

☎ [相手先の入力方法について](#)（4-15ページ）

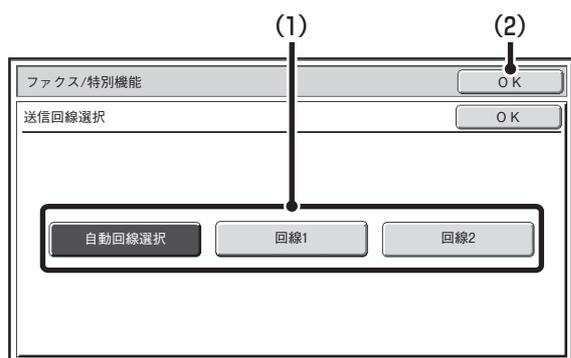
3



送信回線選択を選択する

- [特別機能]キーをタッチする
☎ [特別機能の種類について](#)（4-70ページ）
- ↓ ↑ キーで画面を切り替える
- [送信回線選択]キーをタッチする

4



使用する電話回線を選択する

- 使用する電話回線のキーをタッチする
空いている回線を自動で選択させるときは[自動回線選択]キーをタッチしてください。
- [OK]キーをタッチする

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。



- 次の機能は回線2で使用できません。
クイックオンライン送信、直接送信、オンフックダイヤル、手動受信、別売品のハンドセット（手動送受信、通話）、外部電話機（留守番電話機）
- システム設定（管理者）で「回線2送信禁止設定」を有効にすると、回線2を受信専用にすることができます。



システム設定（管理者）：回線2の設定

回線2の一般的な設定を行います。

Fコード通信を行う

Fコードを使った通信方法を説明しています。Fコード通信は他社のFコード対応機とも通信できます。

Fコード通信について

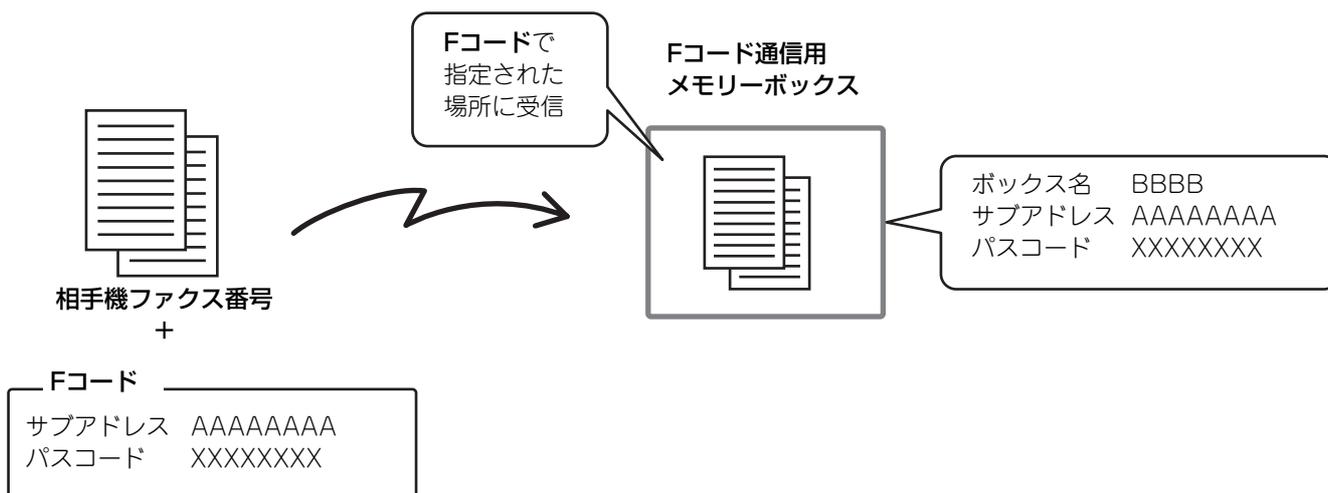
Fコード通信機能を持つ相手機との間で、機密文書のやりとり（親展通信）、情報の取り出し（ポーリング）や配信（掲示板通信）、情報の複数の相手先への配信（中継同報通信）ができます。

通信の際にFコード※を付けることにより、より安全な通信を行うことができます。

※ FコードとはITU-TのG3規格に基づく通信機能です。

Fコード通信のしくみ

Fコードを付けて送信されたファクスは、相手機のFコード通信用メモリーボックスのFコード（サブアドレス、パスコード）で指定された場所に受信されます。Fコードが合わないと相手機は受信しません。



サブアドレスやパスコードなどの名称は他社の製品によって異なる場合があります。相手先にサブアドレスやパスコードをお聞きになるときなどは、通信機械工業会で使用している表現（下表）を参考にしてください。

本機	通信機械工業会		
	Fコード掲示板ボックス	Fコード親展ボックス	Fコード中継同報機能
サブアドレス	SEP	SUB	SUB
パスコード	PWD	SID	SID



Fコードとは、サブアドレスとパスコードのことで、共に20桁以内の数字で設定します。

本機にFコード通信専用のメモリーボックスを作成する

本機でFコード通信するためには、あらかじめシステム設定「Fコードメモリーボックス」で専用のメモリーボックスを作成しておく必要があります。

メモリーボックスにはボックス名とFコード（サブアドレス、パスコードなど）を設定し、登録しておきます。登録したメモリーボックスのサブアドレスとパスコードは、Fコード通信を行う相手に伝えてください。

Fコード通信用 メモリーボックス



- ボックス名
- サブアドレス
- パスコード
- 転送先（Fコード中継同報送信のみ）
- プリントパスコード（Fコード親展受信のみ）

次のFコード通信の機能を使用する場合、本機にメモリーボックスを作成してください。

Fコード親展受信（親展）、Fコード掲示板送信（掲示板）、Fコード中継同報送信（中継同報）
次のFコード通信の機能を使用する場合、相手側にメモリーボックスが必要です。

Fコード親展送信、Fコードポーリング受信、Fコード中継同報指示送信



システム設定：Fコードメモリーボックス（7-110ページ）

Fコード通信で使用するメモリーボックスを登録します。

- メモリーボックスは最大100個まで作成できます。
- メモリーボックス名は18文字以内、サブアドレス・パスコードはそれぞれ20桁以内の数字で設定します。

Fコード通信のダイヤル

Fコード通信するときは、相手機のファクス番号にFコード（サブアドレス、パスコード）を付けてダイヤルします。事前に相手機のメモリーボックスに設定されているFコード（サブアドレス、パスコード）を確認してください。また、あらかじめFコード（サブアドレス、パスコード）をワンタッチダイヤルやグループダイヤルに登録しておくとお便利です。



※ 「/」は画面の[サブアドレス]キーをタッチして入力してください。

次のFコード通信の機能を使用する場合、本機から相手側にダイヤルします。

Fコード親展送信、Fコードポーリング受信、Fコード中継同報指示送信
次のFコード通信の機能を使用する場合、相手側から本機にダイヤルします。

Fコード親展受信、Fコード掲示板送信、Fコード中継同報送信



- 送信先がパスコードを設定していない場合、本機からダイヤルするときにパスコードの入力は不要です。
- Fコード（サブアドレス、パスコード）を使用した通信はオンフックダイヤルや手動送信では使用できません。



システム設定：アドレス帳（7-15ページ）

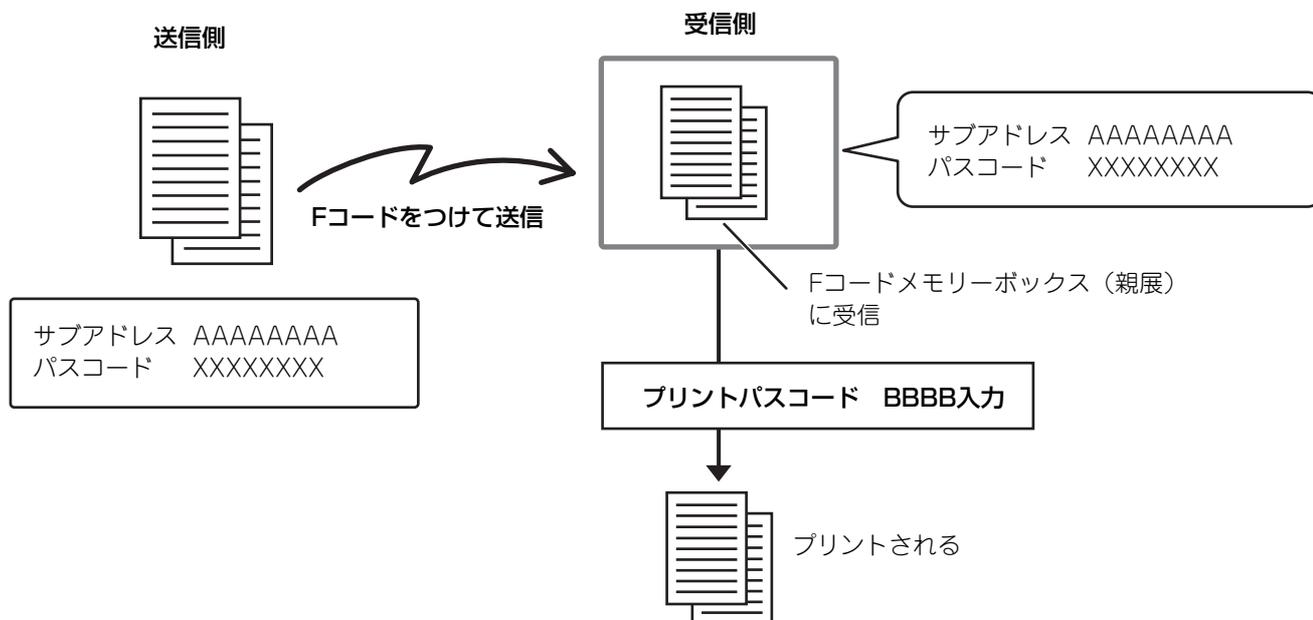
ワンタッチダイヤルやグループダイヤルを登録／変更します。

Fコードを使って親展通信する

受信側（本機または相手機）で登録されているFコードメモリーボックス（親展）に送信することにより、そのメモリーボックスの利用者宛に特定したファクス送信が行えます。

特定の人以外に見られたくない重要な書類を送信するときや、複数の部門でファクスを共有使用する場合などに便利です。

本機でFコード親展受信した原稿データは、プリントパスコードを入力してプリントします。



 使用するFコードメモリーボックスのFコード（サブアドレス、パスコード）は、本機側と相手側で事前に確認しておいてください。

 **システム設定：Fコードメモリーボックス（7-110ページ）**
 Fコード親展通信（親展受信）で使用するメモリーボックスを作成します。
 メモリーボックス名、サブアドレス、パスコード、プリントパスコードを設定します。

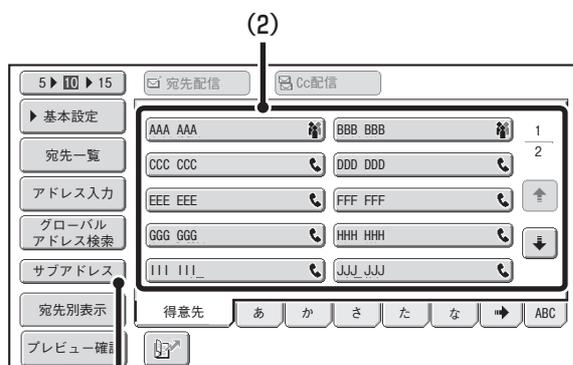
Fコード親展送信する

相手先ファクス番号にFコード（サブアドレス、パスコード）を付けて送信します。

1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2



(3)、(5)

相手先番号を入力する

(1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

(2) 相手先のワンタッチキーをタッチする

アドレス帳のワンタッチキーに登録されていない相手先は、数字キーで相手先番号を入力してください。

ワンタッチキーにサブアドレスとパスコードが登録されている場合は、以下の操作は不要です。手順3へ進んでください。

(3) [サブアドレス]キーをタッチする

「/」が入力されます。

(4) 数字キーでサブアドレスを入力する

(5) [サブアドレス]キーをタッチする

「/」が入力されます。

(6) 数字キーでパスコードを入力する

 送信相手先のメモリーボックスでパスコードが省略されている場合は、(5)(6)の操作は不要です。

3

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

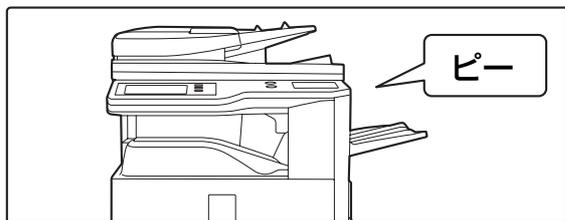
- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

 この機能は、順次同報送信や時刻指定通信と組み合わせて使用できます。また、プログラムに登録することができます。

Fコード親展受信した受信データを確認する

相手側から送られてきたファクスはFコードで指定されたメモリーボックスに受信します。受信データを確認するときは、プリントパスコードを入力して確認します。

1



呼出音が鳴り、受信する

受信が終わると「ピー」音が鳴ります。

2

特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

(2) キーで画面を切り替える

(3) [メモリーボックス]キーをタッチする

[特別機能の種類について](#) (4-70ページ)

3



[データ確認]キーをタッチする

4



親展受信したメモリーボックスのキーをタッチする

受信したデータが入っているメモリーボックスのキーに が表示されます。データが入っていないメモリーボックスのキーはグレー表示され、選択できません。

5



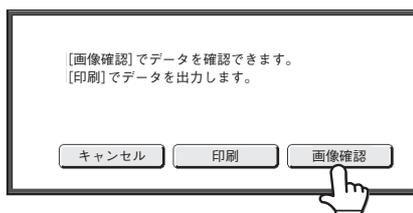
数字キーでプリントパスコードを入力する

数字を入力すると「-」の表示が「*」に変わります。



プリントパスコードを確認して正しく入力してください。間違えていた場合はメッセージを表示して入力画面に戻ります。[キャンセル]キーをタッチすると手順4に戻ります。

6



[画像確認]キーをタッチする

画像確認画面で原稿の内容を確認することができます。画像確認画面については、「[画像確認画面について](#)」(4-64ページ)を参照してください。

[印刷]キーをタッチすると、原稿の内容をプリントすることができます。



- 親展受信したデータのプリントは自動的に優先されます。
- プリントすると受信データが消去されます。
- **プリントパスコードを忘れたときは…**

設定されているプリントパスコードは、本機で再確認することができません。取り扱いには十分注意してください。万一、忘れたりして再確認が必要な場合はお買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご相談ください。

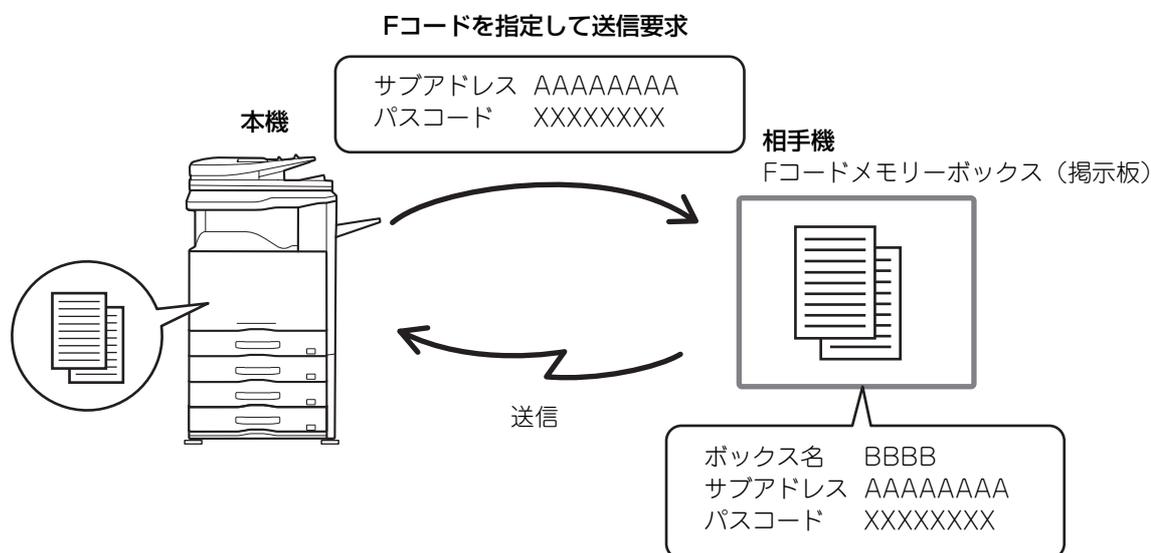


システム設定（管理者）：通信結果表プリント設定

Fコード親展受信すると、通信結果表を自動的にプリントするように設定できます。

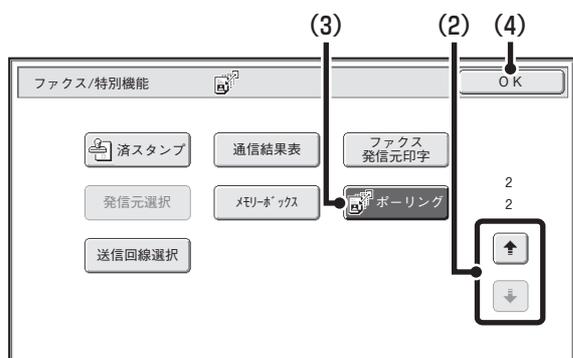
Fコードを使ってポーリング受信する

相手機のFコードメモリーボックス（掲示板）に保存されている原稿データを本機からの操作で送信させて、これを受信する機能です。その際、相手機で保存している原稿データのFコード（サブアドレス、パスコード）を正しく指定しないと相手機側から送信されません。



- あらかじめ相手機のFコードメモリーボックスのFコード（サブアドレス、パスコード）を確認しておいてください。
- この機能を使用するときは、本機に原稿をセットしないでください。
- 電話料金は受信側（本機）にかかります。

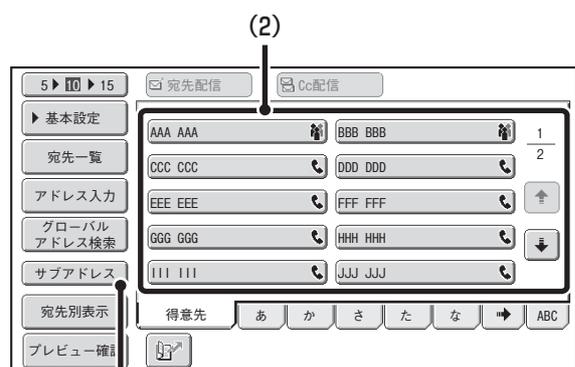
1



ポーリングを設定する

- (1) [特別機能]キーをタッチする
☞ [特別機能の種類について](#) (4-70ページ)
- (2) キーで画面を切り替える
- (3) [ポーリング]キーをタッチして反転表示にする
- (4) [OK]キーをタッチする

2



(3)、(5)

相手先番号を入力する

(1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

(2) 相手先のワンタッチキーをタッチする

アドレス帳のワンタッチキーに登録されていない相手先は、数字キーで相手先番号を入力してください。

ワンタッチキーにサブアドレスとパスコードが登録されている場合は、以下の操作は不要です。手順3へ進んでください。

(3) [サブアドレス]キーをタッチする

「/」が入力されます。

(4) 数字キーでサブアドレスを入力する

(5) [サブアドレス]キーをタッチする

「/」が入力されます。

(6) 数字キーでパスコードを入力する



送信相手先のメモリーボックスでパスコードが省略されている場合は、(5)(6)の操作は不要です。

3

[白黒スタート]キーを押す

相手機と通信後、原稿を受信します。



- 複数の相手先とポーリング受信を行う（順次ポーリング）ことはできません。
- Fコードポーリング受信は、時刻指定通信と組み合わせて使用できます。その際、設定できるのは1件のみです。
 [時刻を決めて通信する（時刻指定通信）](#)（4-78ページ）



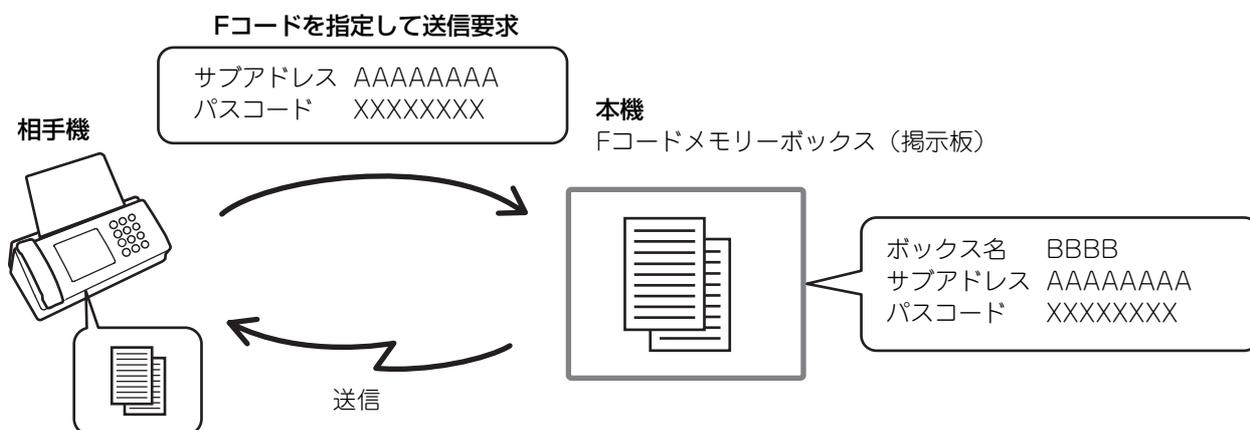
ポーリングを解除するときは…

手順1の操作で[ポーリング]キーをタッチして反転表示を解除してください。

Fコードを使って掲示板送信する

本機のFコードメモリーボックス（掲示板）に保存している原稿データを、相手機から送信要求を受けた場合に相手機へ送信する機能です。その際、本機で設定している原稿データのFコード（サブアドレス、パスコード）を相手機が正しく指定しなかった場合は送信しません。

送信する原稿は、Fコードメモリーボックス（掲示板）に読み込んでおきます。



システム設定：Fコードメモリーボックス（7-110ページ）

Fコード掲示板送信で使用するメモリーボックス（掲示板）を作成します。
メモリーボックス名、サブアドレス、パスコードを設定します。

Fコード掲示板用の原稿をメモリーボックスに読み込む

相手機に送信するFコード掲示板用の原稿を本機のFコードメモリーボックス（掲示板）に読み込みます。

1

原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2

特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

(2) キーで画面を切り替える

(3) [メモリーボックス]キーをタッチする

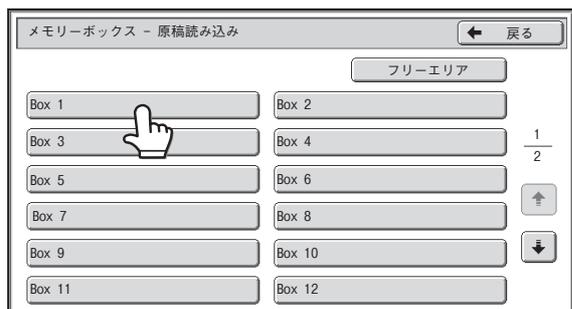
[特別機能の種類について](#)（4-70ページ）

3



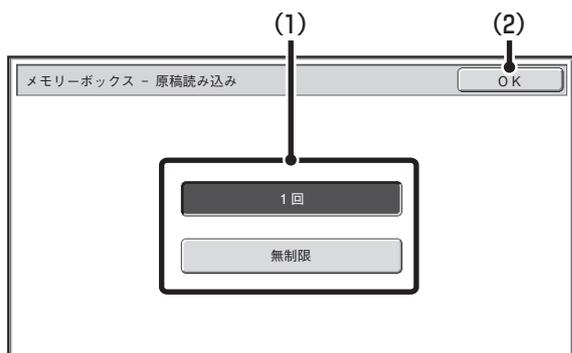
[原稿読み込み]キーをタッチする

4



Fコード掲示板用メモリーボックスのキーをタッチする

5



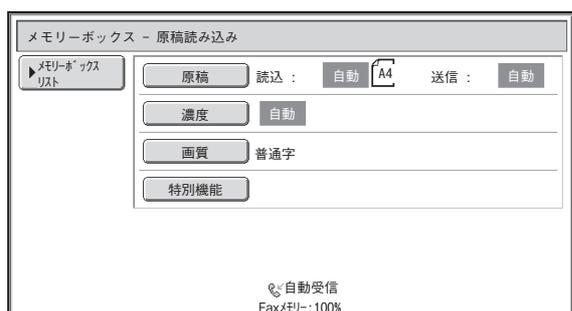
原稿の送信回数を設定する

(1) 送信回数のキーをタッチする

原稿を送信後消去するときは[1回]キーを、原稿を繰り返し送信するときは[無制限]キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする

6



読み込む原稿の設定や特別機能を設定する



- ここでは、プログラム、時刻指定、通信結果表、ポーリング、ドキュメントファイリング、済スタンプ、送信回線選択(回線増設キット装着時)が設定できません。
- [メモリーボックスリスト]キーをタッチすると手順4の画面に戻ります。

7

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。
セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。

**原稿の読み込みを中止するときは…**

原稿読み込み中に[ストップ]キー（）を押してください。



- すでに他の原稿がメモリーボックスに保存されている場合、保存されている原稿のあとに追加登録されます。
- 工場出荷時は、相手機に送信した原稿は自動的に消去するように設定されています。

Fコード掲示板用に保存した原稿を確認する

Fコードメモリーボックス（掲示板）に保存されている原稿の内容を確認します。

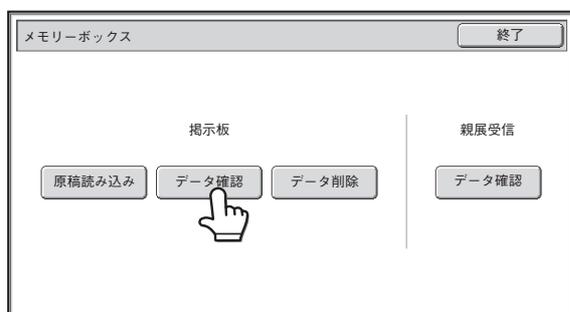
 通信中のメモリーボックス内の原稿データはプリントできません。

特別機能を選択する

1

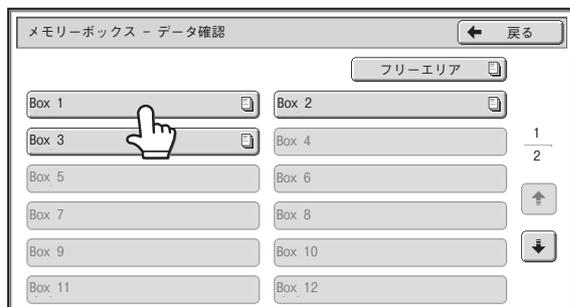
- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2)   キーで画面を切り替える
 - (3) [メモリーボックス]キーをタッチする
-  [特別機能の種類について](#)（4-70ページ）

2



[データ確認]キーをタッチする

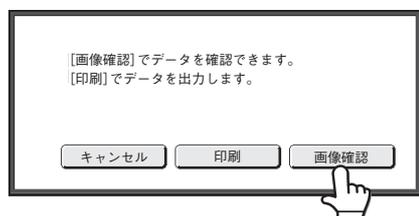
3



プリントしたい原稿が保存されているFコード掲示板用メモリーボックスのキーをタッチする

原稿が保存されているキーには  が表示されています。

4



[画像確認]キーをタッチする

画像確認画面で原稿の内容を確認することができます。画像確認画面については、「[画像確認画面について](#)」（4-64ページ）を参照してください。

[印刷]キーをタッチすると、原稿の内容をプリントすることができます。

Fコード掲示板用に保存した原稿を削除する

新しい原稿を保存する場合など、Fコードメモリーボックス（掲示板）に保存されている原稿を消去します。

 通信中のメモリーボックス内の原稿データは削除できません。

特別機能を選択する

1

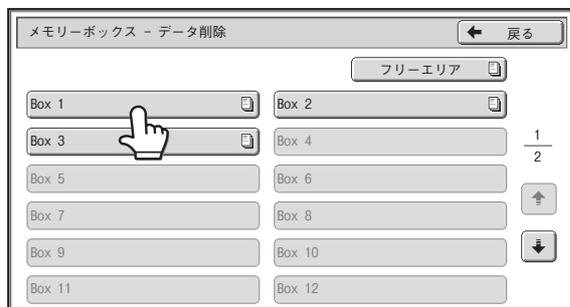
- (1) [特別機能]キーをタッチする
 - (2)   キーで画面を切り替える
 - (3) [メモリーボックス]キーをタッチする
-  [特別機能の種類について](#)（4-70ページ）

2



[データ削除]キーをタッチする

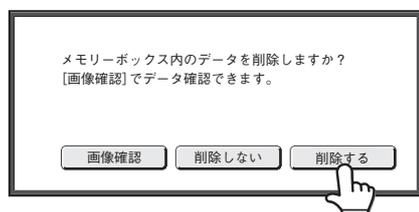
3



削除したい原稿が保存されているFコード 掲示板用メモリーボックスのキーをタッチ する

原稿が保存されているキーには  が表示されています。

4



[削除する]キーをタッチする

- 選んだメモリーボックスの原稿を消去し、手順3の画面に戻ります。
- [画像確認]キーをタッチすると、データを消去する前にタッチパネルで画像を確認することができます。画像確認画面については、「[画像確認画面について](#)」（4-64ページ）を参照してください。



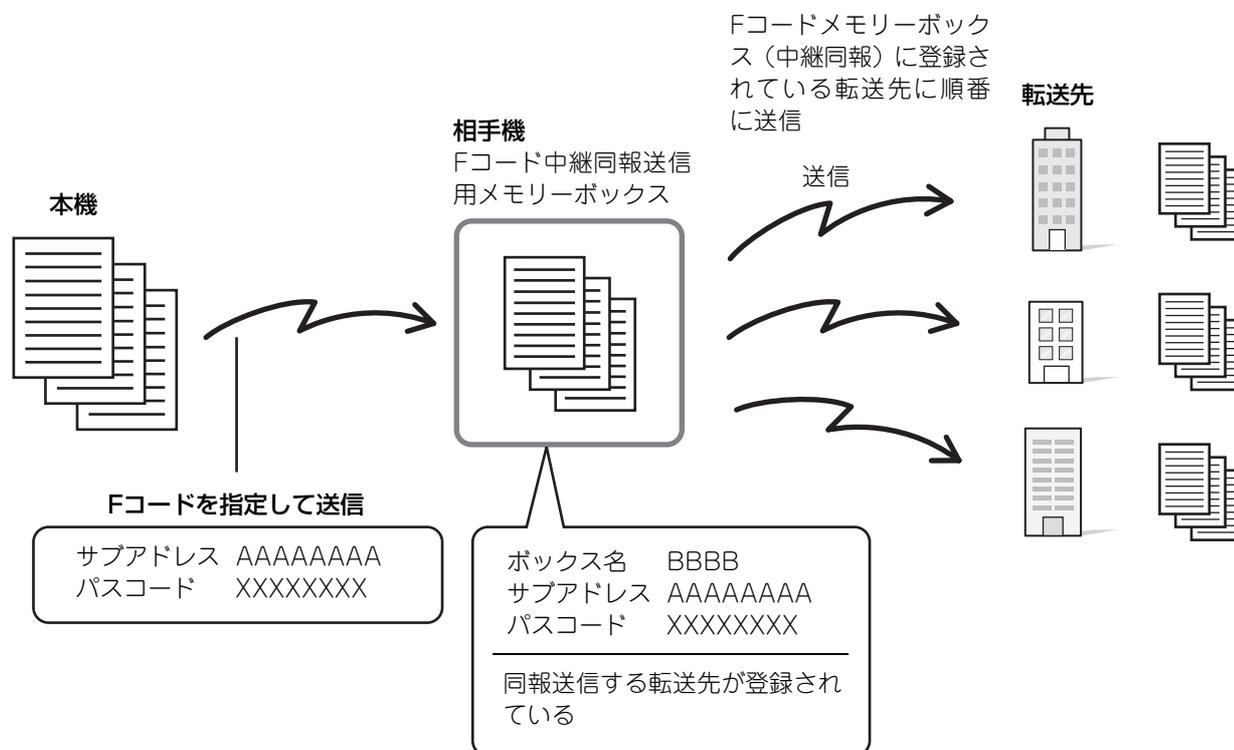
原稿の消去を中止するときは…

[削除しない]キーをタッチしてください。原稿を消去しないで、手順3に戻ります。

Fコードを使って中継同報指示送信する

中継局となる相手機のFコードメモリーボックス(中継同報)に原稿を送信し、相手機から複数の転送先に送信させます。例えば、転送先の多くが遠距離の場合に転送先に近い相手機を選んで送信し、その相手機から中継すると通信料金が節約できます。また、時刻指定通信と組み合わせて夜間などに利用するとさらに経済的です。

時刻を決めて通信する(時刻指定通信) (4-78ページ)



- 相手機のFコードメモリーボックス(中継同報)のFコード(サブアドレス、パスコード)および転送先について、あらかじめ相手側に確認しておいてください。
- 転送先はあらかじめ相手機のFコードメモリーボックス(中継同報)に登録しておいてください。
- 転送先はFコードに対応していなくても送信できます。
- この機能は、順次同報送信や時刻指定通信と組み合わせて使用できます。また、プログラムに登録することができます。
- 本機(中継指示局)にかかる通信料金は相手機(中継局)への送信のみで、各転送先への通信料金は相手機(中継局)にかかります。
- この機能で転送されたデータを転送先でプリントする際、受信日時を付けてプリントすることはできません。(「受信日時印字設定」は無効になります。)



システム設定：Fコードメモリーボックス (7-110ページ)

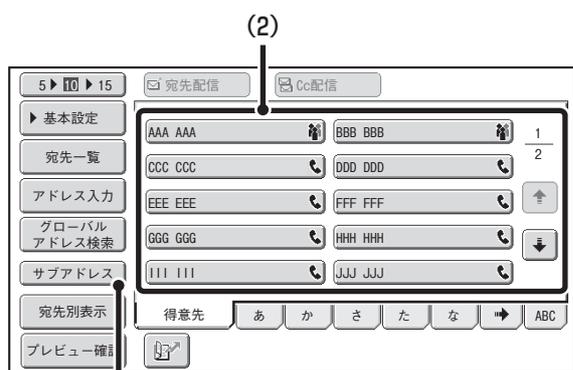
Fコード中継同報指示送信で使用するメモリーボックス(中継同報)を作成します。
メモリーボックス名、サブアドレス、パスコード、転送先を設定します。

1

原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台(ガラス面)の場合は下向きにセットしてください。

2



(3)、(5)

相手先番号を入力する

(1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

(2) 相手先のワンタッチキーをタッチする

アドレス帳のワンタッチキーに登録されていない相手先は、数字キーで相手先番号を入力してください。

ワンタッチキーにサブアドレスとパスコードが登録されている場合は、以下の操作は不要です。手順3へ進んでください。

(3) [サブアドレス]キーをタッチする

「/」が入力されます。

(4) 数字キーでサブアドレスを入力する

(5) [サブアドレス]キーをタッチする

「/」が入力されます。

(6) 数字キーでパスコードを入力する



送信相手先のメモリーボックスでパスコードが省略されている場合は、(5)(6)の操作は不要です。

3

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。
「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。
セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。
「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

相手機で原稿を受信すると、登録されている転送先に自動的に送信します。

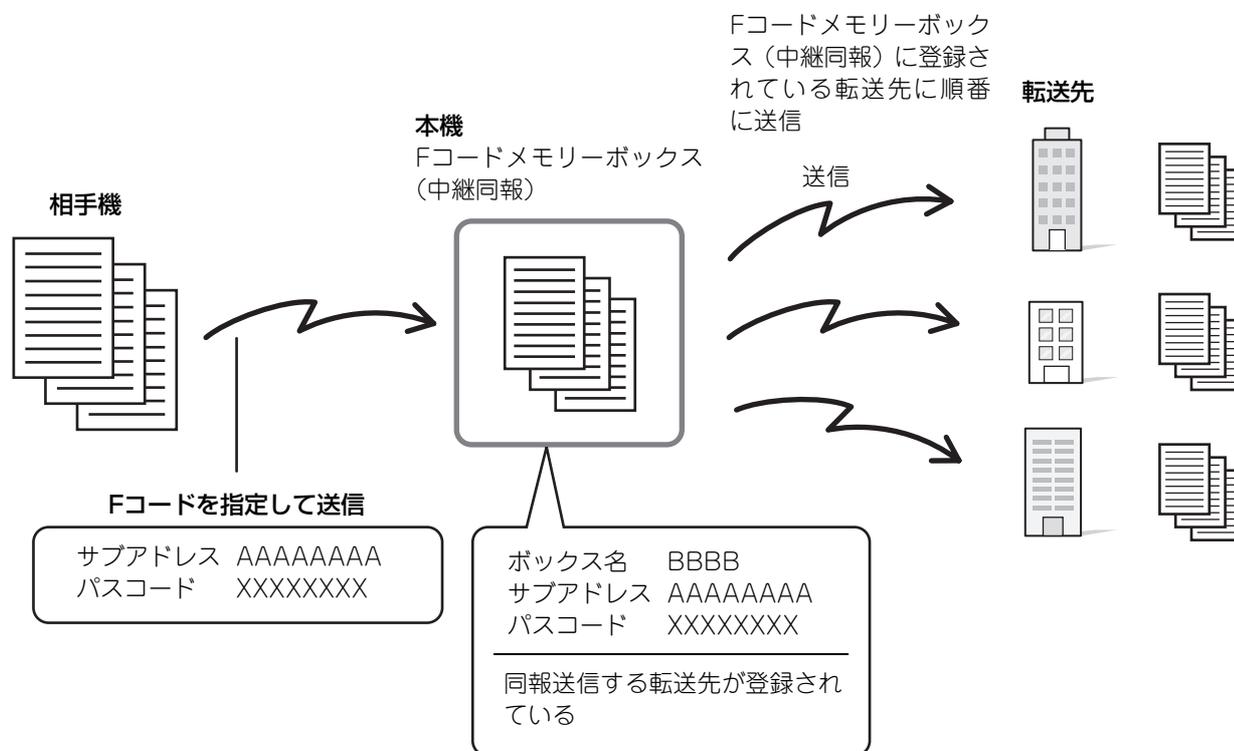


原稿の読み込みを中止するときは…

原稿読み込み中に[ストップ]キー（⊙）を押してください。

Fコードを使って中継同報送信する

本機に対してFコード中継同報指示送信が行われた場合、本機のFコードメモリーボックス（中継同報）に受信します。受信した原稿データは本機から登録されている複数の転送先に転送します。本機から転送先への送信は自動的に行われます。



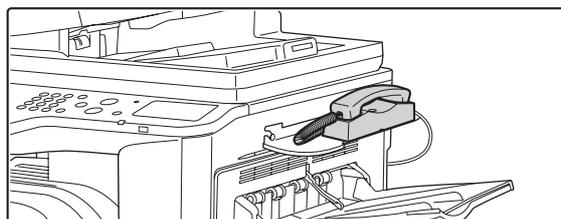
- 本機のFコードメモリーボックス（中継同報）のサブアドレスとパスコードおよび転送先について、あらかじめ本機に対してFコード中継同報指示送信を行う相手側に伝えておいてください。
- 転送先は本機のFコードメモリーボックス（中継同報）作成時に登録しておいてください。
 ■ [本機にFコード通信専用のメモリーボックスを作成する](#)（4-112ページ）
- 転送先はFコードに対応していなくても送信できます。
- 相手機（中継指示局）にかかる通信料金は本機（中継局）への送信のみで、各転送先への通信料金は本機（中継局）にかかります。
- この機能で転送されたデータを転送先でプリントする際、受信日時を付けてプリントすることはできません。（「受信日時印字設定」は無効になります。）

ハンドセット／外部電話機を使用する

別売品のハンドセットやお手持ちの電話機で相手の方と話してから送信したり、電話として使用する方法について説明しています。

ハンドセット（受話器）を使う

別売品のハンドセット（受話器）を使用すると、相手の方と通話してからファクスを送受信することができます。また、普通の電話としても使用できます。



- ハンドセット（受話器）を使用するときは、着信を自動的に判別して電話／ファクスを自動的に切り替える「電話／ファクス自動切替設定」（下記）を設定すると便利です。
- ハンドセット（受話器）の音量を調整するときはオンフックにして[音量調整]キーをタッチしてください。キーをタッチするごとに音量が切り替わります。
- 回線増設キット装着時、ハンドセット（受話器）は回線2で使用できません。

 **システム設定（管理者）：ハンドセット接続**
ハンドセット（受話器）を使用する場合に設定してください。

着信を判別し自動的に電話／ファクスを切り替える

着信が電話の場合は呼出音で呼び出し、ファクスの場合は自動受信します。
電話に出て相手の方と通話したときは、ファクスを手動受信してください。

- **システム設定（管理者）：電話／ファクス自動切替設定**
電話／ファクスの自動切替を行うように設定します。
- **システム設定：受信設定（7-112ページ）**
電話／ファクス自動切替を使用する場合は、「自動受信」に設定してください。

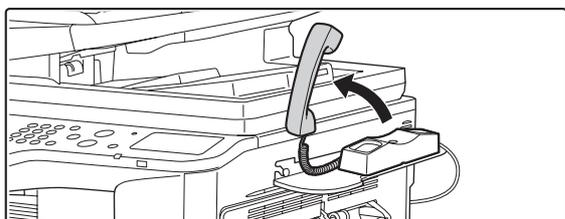
相手と話してからファクスを送信する（手動送信）

相手先に電話をかけて通話してから原稿を送信します。

1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2



ハンドセット（受話器）を取り上げる

「ツー」音が聞こえてダイヤルできる状態になります。

 原稿台（ガラス面）の場合は1回の送信で1枚の原稿のみ送信できます。複数枚の原稿を一度に送信できません。

3 相手先番号を入力する

 [相手先の入力方法について](#)（4-15ページ）

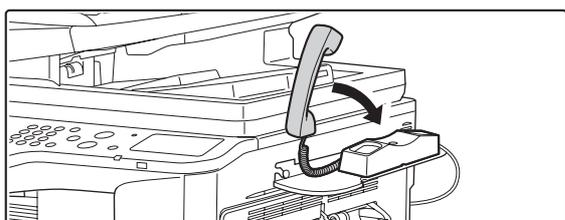
3

 複数の相手先やFコードが登録されているワンタッチキーは使用できません。

4 相手にファクスを送信することを伝えて[白黒スタート]キーを押す

ファクス送信に切り替わり、セットした原稿の送信を開始します。

5

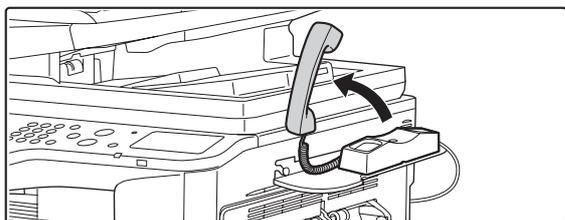


ハンドセット（受話器）を戻す

相手と話してからファクスを受信する（手動受信）

かかってきた電話に出て相手の方と通話してから原稿を受信します。

1



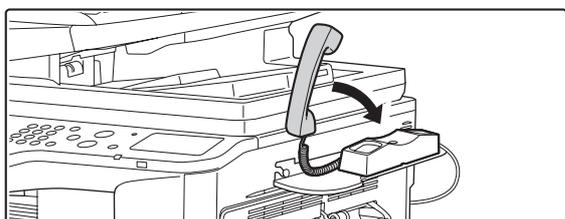
呼出音が鳴っている間にハンドセットを取り上げて通話する

2



[ファクス手動受信]キーをタッチする
ファクス受信に切り替わります。

3



ハンドセットを戻す
受信が終わると「ピー」音が鳴ります。

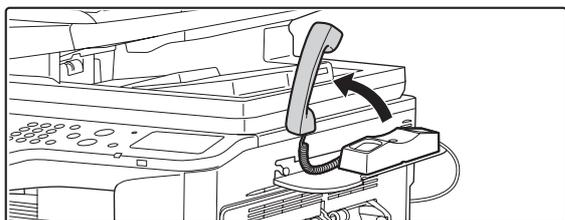
 他のモードのときに電話がかかってきた場合は、呼出音が鳴っている間にハンドセットを取り上げて通話してください。ファクスを受信する場合は[ファクス/イメージ送信]キーを押して通話中の画面に表示される[ファクス手動受信]キーをタッチしてください。

 システム設定：受信設定（7-112ページ）
手動受信する場合は、「手動受信」に設定してください。

電話をかける

ハンドセット（受話器）を取り上げてダイヤルします。電話を切るときはハンドセット（受話器）を戻します。

1



ハンドセットを取り上げる

「ツーン」音が聞こえてダイヤルできる状態になります。

2

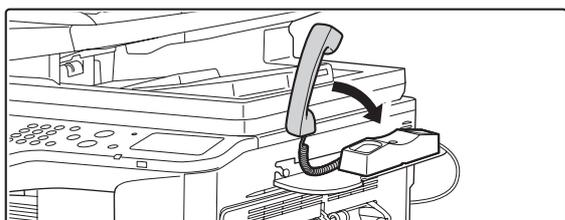
相手先番号を入力する

☎ [相手先の入力方法について](#)（4-15ページ）



複数の相手先やFコードが登録されているワンタッチキーは使用できません。

3



通話が終わったらハンドセット（受話器）を戻す

電話が切れます。

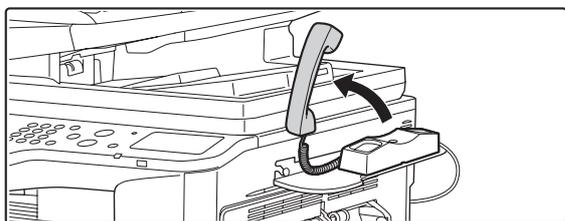


- 通話を保留にできません。
- 回転ダイヤル回線（パルス回線）をお使いの場合でも、トーン信号を出すことができます。通話中に \star （[トーン]キー）を押してください。あとの数字キーでの入力がトーン信号に切り替わります。
- 電源スイッチが入っていない状態では電話を使用できません。

電話を受ける

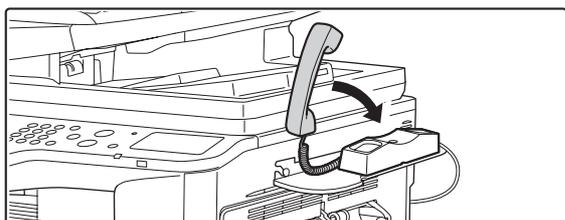
呼出音が鳴っている間にハンドセット（受話器）を取り上げて通話します。電話を切るときはハンドセット（受話器）を戻します。

1



呼出音が鳴っている間にハンドセット（受話器）を取り上げて通話する

2



通話が終わったらハンドセット（受話器）を戻す

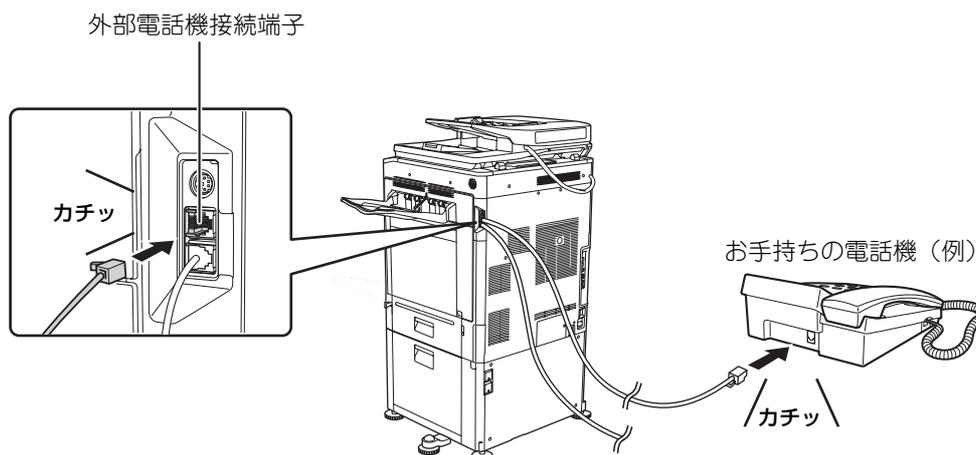
電話が切れます。



- 通話を保留にできません。
- 回転ダイヤル回線（パルス回線）をお使いの場合でも、トーン信号を出すことができます。通話中に*（[トーン]キー）を押してください。あとの数字キーでの入力がトーン信号に切り替わります。
- 電源スイッチが入っていない状態では電話を使用できません。

お手持ちの電話機を接続して使う (外部電話機接続)

お手持ちの電話機を本機に接続して使用することができます。
電話機としてお使いいただけるだけでなく、本機のファクス受信の操作を行うことができます。
下図のようにお手持ちの電話機を接続してください。接続後にシステム設定（管理者）の「外部電話接続」の設定を行ってください。



- お手持ちの電話機からファクスを送信することはできません。
- お手持ちの電話機を使用するときは、着信を判別して電話／ファクスを自動的に切り替える「電話／ファクス自動切替設定」（下記）を設定すると便利です。
- 接続する電話機はモジュージャック式のものをお使いください。また、接続は2芯線をお使いください。2芯線以外を使用すると接続した電話機が正しくはたらかないことがあります。
- 接続コードの形が合わないときは、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご相談ください。
- 回線増設キット接続時、外部電話機は回線2で使用できません。（留守番機能付電話機を外部電話として接続し、留守接続を行う場合も回線2では使用できません。）

 **システム設定（管理者）：外部電話接続**
外部電話機を使用する設定を行います。

着信を判別し自動的に電話／ファクスを切り替える

着信が電話の場合は呼出音で呼び出し、ファクスの場合は自動受信します。
電話に出て相手のかたと通話したときは、ファクスをリモート受信してください。

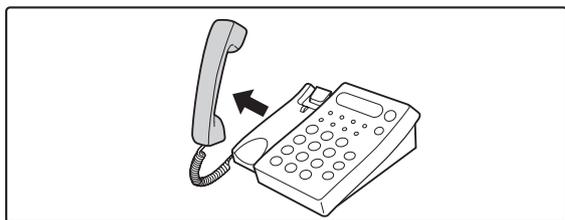
- **システム設定（管理者）：電話／ファクス自動切替設定**
電話／ファクスの自動切替を行うように設定します。工場出荷時は、呼出音が6回鳴ると自動的にファクス受信に切り替わるように設定されています。呼出音の回数は変更できます。
- **システム設定：受信設定（7-112ページ）**
電話／ファクス自動切替を使用する場合は、「自動受信」に設定してください。

接続した電話機で電話に出てファクスを受信する（リモート受信）

かかってきた電話に出て相手の方と通話してから原稿を受信します。

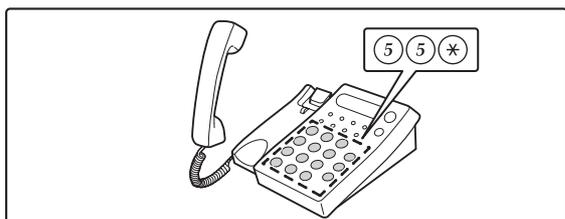
回線ダイヤル回線をお使いの場合、お手持ちの電話機をトーン信号が発信できる状態にして操作してください。

1



呼出音が鳴っているあいだに受話器を取り上げて通話する

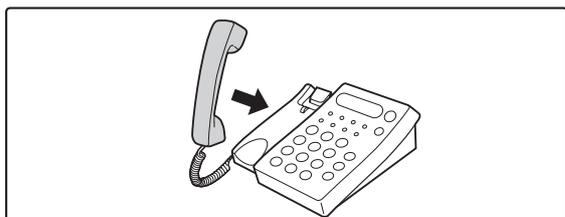
2



本機をファクス受信に切り替える

お手持ちの電話機で⑤⑤*とダイヤルしてください。

3



受話器を戻す

本機で受信が終わると「ピー」音が鳴ります。



• システム設定：受信設定（7-112ページ）

リモート受信する場合は、「手動受信」に設定してください。

• システム設定（管理者）：リモート切替番号設定

本機をファクス受信に切り替えるリモート番号を変更できます。工場出荷時設定は、「55」に設定されています。

留守番電話を使用する（留守接続）

電話がかかってくるとお手持ちの留守番機能付き電話機で呼出音が鳴ってから相手の方のメッセージを録音することができます。

ファクスが送信されてきている場合、お手持ちの留守番機能付き電話機で呼出音が鳴ってから、自動的に本機でファクスを受信します。

この機能を有効にするには、システム設定（管理者）の「外部電話接続」を有効にしておくとともに、お手持ちの電話機が、設定している回数以内で留守番機能がはたらくように設定しておいてください。



- **システム設定（管理者）：外部電話接続**

外部電話機を使用する設定を行います。

- **システム設定（管理者）：留守番電話接続設定**

留守番機能がある電話機を接続したときに設定します。呼出音が鳴る回数を変更できます。工場出荷時は8回に設定されています。

- **システム設定：受信設定（7-112ページ）**

この機能を使用するときは、「留守接続」に設定してください。

電話をかける／受ける

電話をかける／受ける操作は、お手持ちの電話機で電話をかける／受ける場合と同じです。

通信状況を確認する

送信予約や受信したファクスの状況を確認する方法について説明しています。

ジョブ状況画面について

操作パネルの[ジョブ状況]キーを押すと、ジョブ状況画面が表示されます。ジョブ状況画面はモード別に切り替えることができ、[ジョブ状況]キーを押す前に使用していたモードのジョブ状況画面が表示されます。ここでは、予約された送信や受信をジョブと呼びます。

例：ファクスモードで使用しているとき

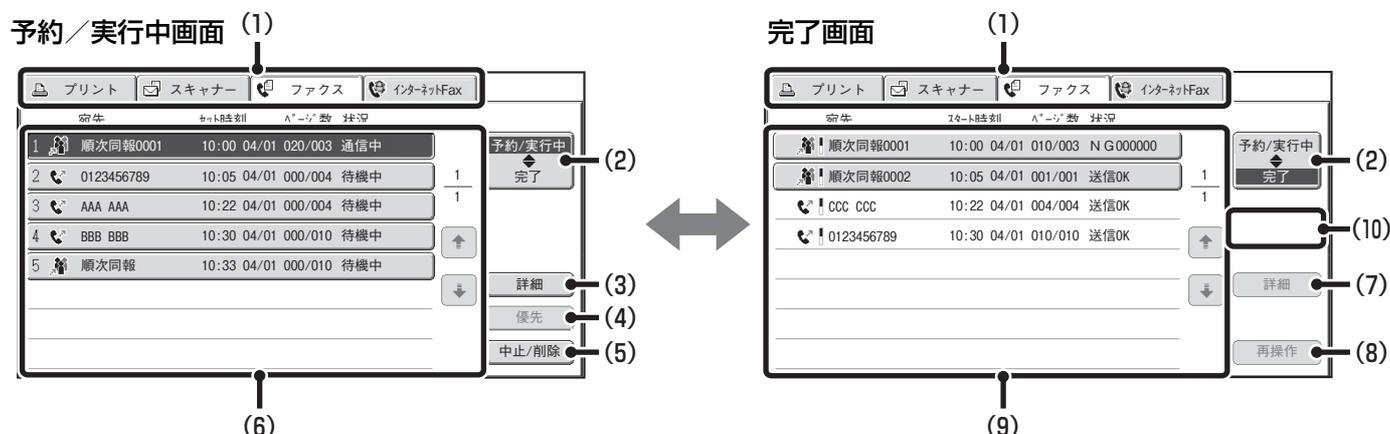


タッチパネルの左下にはジョブ状況表示部があります。ジョブ状況表示部をタッチしてジョブ状況画面を表示することができます。



予約/実行中画面と完了画面について

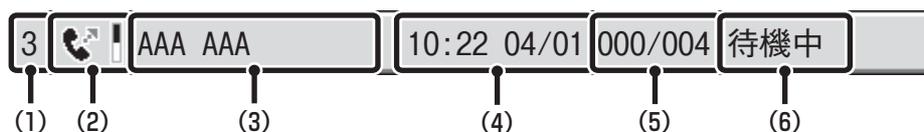
ジョブ状況画面は、実行中ジョブや送信予約されたジョブを表示する予約/実行中画面と、送受信が完了したジョブを表示する完了画面に分けられます。それぞれの画面は、ジョブ状況画面切替キー（下図(2)）をタッチすることにより切り替わります。



- (1) **モード切り替えタブ**
各モードのジョブ状況画面に切り替えるときにタッチします。
- (2) **ジョブ状況画面切替キー**
予約/実行中画面と完了画面を切り替えるときにタッチします。
- (3) **予約/実行中画面[詳細]キー**
予約/実行中の順次同報送信ジョブや順次ポーリングジョブの詳しい内容や通信状況を表示します。表示させたいジョブのキーを(6)の予約/実行中画面ジョブリストから選択し、[詳細]キーをタッチしてください。
☞ [予約 / 実行中ジョブの内容を確認する](#) (4-140 ページ)
- (4) **[優先]キー**
選択したジョブを優先して実行するときにタッチします。
☞ [あとから送信予約したファクスを優先して送信する](#) (4-143ページ)
- (5) **[中止/削除]キー**
選択したジョブを中止や削除するときにタッチします。
☞ [通信中や予約中のファクスを中止する](#) (4-142 ページ)
- (6) **予約/実行中画面ジョブリスト**
予約された順番にジョブをキーで表示します。キーにはジョブの通信内容や現在の状況を表示します。
☞ [ジョブのキー表示について](#) (4-137ページ)
- (7) **完了画面[詳細]キー**
完了した順次同報送信ジョブ、順次ポーリングジョブ、ドキュメントファイリング機能を使用したジョブの詳しい通信結果を表示します。表示させたいジョブのキーを(9)の完了画面ジョブリストから選択し、[詳細]キーをタッチしてください。
詳細表示の画面から通信に失敗した相手先に再送信することができます。
☞ [完了ジョブの内容を確認する](#) (4-141ページ)
- (8) **[再操作]キー**
ドキュメントファイリング機能を使用した送受信の再操作を行うときにタッチします。
- (9) **完了画面ジョブリスト**
送受信が完了したジョブを99件まで表示します。ジョブの通信内容や結果（状況）を表示します。
順次同報送信や順次ポーリングのジョブ、受信データの転送ジョブまたはドキュメントファイリング機能を使用した送受信のジョブはキーの状態に表示しています。
- (10) **[番号表示切替]キー**
ジョブ状況画面中のリストの番号表示を切り替えることができます。
このキーは、「ナンバーディスプレイ設定」が有効の場合に表示されます。

ジョブのキー表示について

ジョブ状況画面に表示される予約実行中ジョブや完了ジョブのキーには、次の情報が表示されます。



(1) 予約されているジョブの順番を表示します。

通信中のジョブが終了すると順番は繰り上がります。
完了画面のキーには表示されません。

(2) モードアイコン

ジョブの種類をアイコンで表示します。完了画面では、白黒のカラーバーがアイコンの横に表示されます。(ただし、ドキュメントファイリング機能を使用したジョブや中止した送受信のジョブのキーには、カラーバーのアイコンは表示されません。)

アイコン	ジョブの種類
	ファクス送信
	ファクス受信
	順次同報送信、順次ポーリング、または受信データの転送
	PC-Fax送信

• 回線増設キットを使用している場合

アイコン	意味
	回線を自動選択で行う送信
	回線1を指定して行う送信（回線2の場合は2と表示します。）
	回線1を指定して行う受信（回線2の場合は2と表示します。）
	回線を自動選択で行うPC-Fax送信
	回線1を指定して行うPC-Fax送信（回線2の場合は2と表示します。）

(3) 相手先名（宛先名）

送信の場合は相手先名または相手先番号を、受信の場合は相手先番号を表示します。
順次同報送信や順次ポーリングの場合は「順次同報」または「順次ポーリング」と表示され、同報管理番号（4桁）が表示されます。

(4) セット時刻／開始時刻

予約/実行中画面のジョブキーはジョブが予約された日時が、完了画面ではジョブが開始された日時が表示されます。

(5) ページ数

送信終了ページ数／原稿の総ページ数を表示します。

(6) 状況

ジョブの状況を表示します。

- 実行中ジョブの場合

表示	状況
「通信中」	接続中
「送信中」	送信中
「受信中」	受信中
「通話中」	別売品のハンドセットや外部電話機を使用して相手先と通話中
「中止」	ジョブを中止している状態
「エラー」	ジョブを実行中にエラーが発生した場合

- 実行待ちのジョブの場合

表示	状況
「待機中」	実行の順番待ちの状態
「再コール」	通信エラーなどにより再コールを行うジョブ
曜日と時間を表示している	時刻指定送信のジョブ（指定時刻を表示）

• 完了ジョブの場合

表示	状況
「送信OK」	送信完了
「未出力」	受信のみ完了し、プリントされていない状態
「受信OK」	ファクス受信データをプリントした
「転送OK」	受信データの転送完了
「中止」	中止操作を行ったジョブ
「削除」	画像確認において受信データを削除した
「送信成功件数/全相手先件数 OK」	順次同報送信、順次ポーリング、または受信データの転送の通信完了送信成功件数3件/全相手先件数5件の場合、「003/005 OK」と表示されます。
「相手先無応答」	送信先の無応答によるエラー
「ビジー」	相手先が通信中や通話中で回線が繋がらなかったことによるエラー
「受信拒否」	受信を拒否している相手先からファクスが送られてきた
「NGxxxxxx」	通信エラーのため、送受信が正常におこなわれなかった（xxxxxxには6桁のエラーコードが表示されます。）
「エラー」	ジョブを実行中にエラーが発生した

予約/実行中ジョブが完了したときの動作について

通常の送信ジョブは、送信が完了すると完了画面に移動し、状況欄には「送信OK」と表示されます。
ファクス受信、時刻指定通信ジョブ、再コール、転送ジョブについては、ジョブ状況画面で次のように動作します。

ファクス受信したジョブの動作について

ファクスを受信しているときは予約/実行中画面で「受信中」と表示されます。
受信が終了するとジョブの表示は完了画面に移動し「未出力」と表示されます。
受信データのプリントが終了すると「受信OK」と表示が変わります。

時刻指定通信ジョブの動作について

時刻指定されているジョブは、指定時刻になるまで予約/実行中画面でジョブリストの最後に表示されています。
指定時刻になるとジョブを実行します。他のジョブが実行中の場合は、実行中ジョブの完了後に時刻指定ジョブを実行します。

再コールジョブの動作について

再コールのジョブは、予約/実行中画面でジョブリストの一番最後に表示されます。再コール設定で設定されている時間（再コールの間隔）になるとジョブを実行します。先に予約されているジョブがある場合は、ジョブリストの一番最後に予約されて順番がきたときに実行されます。

受信データの転送設定が設定されているときの受信ジョブの動作について

受信データの転送設定が設定されているときは、受信データのプリント設定によりジョブの動作が異なります。

☞ [受信したデータを設定した送信先に転送する（受信データの転送設定）](#)（4-66ページ）

• 受信データをプリントしない場合

データを受信中は、予約/実行中画面で「受信中」と表示されます。受信終了後は、スキャナーモードのジョブ状況画面に移動して送信待機中のジョブとなります。

• 受信データをプリントする場合

受信が終了すると、完了のジョブ状況画面に移動し、「未出力」と表示します。受信データのプリントが終了すると「受信OK」と表示されます。また、スキャナーモードのジョブ状況画面に送信待機中のジョブが追加されます。受信データの転送が終了すると「転送OK」と表示されます。

予約/実行中ジョブの内容を確認する

順次同報送信と順次ポーリングのジョブについて、通信の詳しい内容を表示することができます。予約/実行中画面で内容を表示したいジョブのキーを選択（タッチ）して、画面の[詳細]キーをタッチすると、ジョブ確認画面（下記参照）を表示します。



ジョブ確認画面では、画面上部にジョブ名と通信の進行状況（送信済宛先件数/全宛先件数）を表示しています。ジョブの詳しい内容を表示するときは、切替タブをタッチしてください。それぞれのタブで表示される内容は下表のとおりです。

タブ名	表示内容
ファクス通信中	現在通信中の相手先の内容を表示します。 宛先番号：相手先の番号 宛先名：相手先名 管理番号：同報管理番号（3桁） ページ数：通信が終了したページ数／原稿の総ページ数 回線：回線増設キットを使用している場合のみ、使用している回線を表示します。
ファクス待機中	現在待機中の相手先の内容を表示します。各相手先の先頭に同報管理番号（3桁）を表示しています。 宛先：相手先名 状況：通信状況
通信失敗	通信に失敗した相手先の内容を表示します。各相手先の先頭に同報管理番号（3桁）を表示しています。 宛先：相手先名または番号 スタート時刻：通信を開始した時刻 状況：通信状況
宛先一覧	ジョブで設定されたすべての相手先を表示します。各相手先の先頭に同報管理番号（3桁）を表示しています。 宛先：相手先名または番号 スタート時刻：通信を開始した時刻 状況：通信状況

完了ジョブの内容を確認する

ドキュメントファイリングを使用したジョブ、順次同報送信のジョブ、受信データの転送ジョブまたは順次ポーリングのジョブについて、送信相手先の一覧や送信に失敗した相手先など、通信の詳しい内容を表示することができます。完了画面で、内容を表示したいジョブのキーをタッチして[詳細]キーをタッチすると、ジョブ確認画面（下記参照）が表示されます。



ジョブ確認画面では、画面上部にジョブ名を表示しています。

ジョブの詳しい内容を表示するときは、切替タブをタッチしてください。それぞれのタブで表示される内容は下表のとおりです。

タブ名	表示内容
ファイル	ドキュメントファイリングを使用した送受信内容を表示します。 [再操作]キーをタッチしてドキュメントファイリングの再操作を行うことができます。
通信失敗	通信に失敗した相手先の内容を表示します。各相手先の先頭に同報管理番号（3桁）を表示しています。 宛先：相手先名または番号 スタート時刻：通信を開始した時刻 状況：失敗（エラー）の内容 [再コール]キーをタッチすると送信に失敗した相手先に再コールできます。※
宛先一覧	ジョブで指定されたすべての相手先を表示します。各相手先の先頭に同報管理番号（3桁）を表示しています。 宛先：相手先名または番号 スタート時刻：通信を開始した時刻 状況：通信結果 [再コール]キーをタッチするとすべての相手先に再コールできます。※

※ ファイルサーバー送信、共有フォルダー送信、デスクトップ送信の宛先が含まれた順次同報送信のジョブは、再コールできません。

通信中や予約中のファクスを中止する

通信中のファクスジョブや送信予約されているファクスジョブを中止します。

1

ジョブ状況



[ジョブ状況]キーを押す

2



(1)

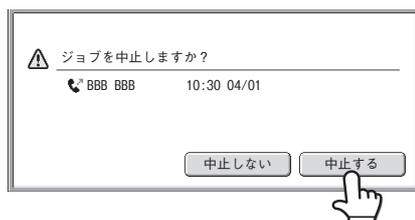
(2)

中止するファクスジョブを選択する

(1) 中止するファクスジョブのキーをタッチする

(2) [中止/削除]キーをタッチする

3



[中止する]キーをタッチする



選択したファクスジョブを中止しないときは…

[中止しない]キーをタッチしてください。



受信したファクスのプリントや、「受信データの転送設定」で転送設定されているジョブは中止できません。

☑ 受信したデータを設定した送信先に転送する (受信データの転送設定) (4-66ページ)

あとから送信予約したファクスを優先して送信する

送信予約されているファクスジョブが複数ある場合、通常は予約されたジョブの順に送信します。ここでは、あとから予約されたファクスジョブの順番を変更して優先的に送信する方法を説明します。

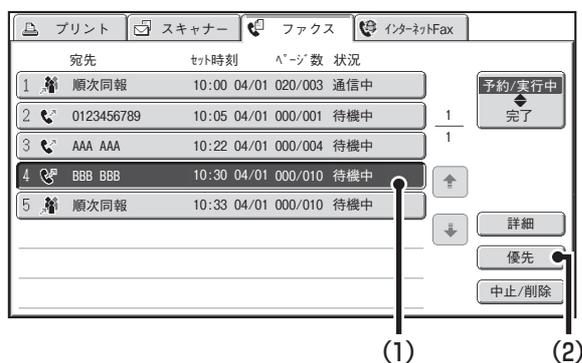
1

ジョブ状況



[ジョブ状況]キーを押す

2



優先して送信したいファクスジョブを選択する

(1) 優先したいファクスジョブのキーをタッチする

(2) [優先]キーをタッチする

選択したファクスジョブのキーが現在実行中のジョブの次に移動します。現在実行中のジョブが終わると選択したファクスジョブが実行されます。

 実行中のファクスジョブが「順次同報送信」または「順次ポーリング」の場合、相手先ごとのファクス通信の間に割り込んで優先したファクスジョブを実行します。ただし、優先するファクスジョブが「順次同報送信」または「順次ポーリング」の場合、実行中のファクスジョブが完了してから選択したファクスジョブが実行されます。

通信記録を確認する（通信記録表）

通信記録表のプリントについて

本機では、過去に行った通信記録（通信日、相手先名、所要時間、通信結果など）をプリントすることができます。通信結果欄には、エラーの種類などのメッセージがプリントされていますので内容を確認してください。

過去の通信記録は、新しいものから200件まで記録されています。

通信記録表は、通信記録が201件に達したときや指定した時刻（1日1回のみ）にプリントすることができます。



通信記録はプリントされると消去されますので、再プリントできません。



システム設定（管理者）：記録表プリント設定

通信記録表をプリントする条件を設定します。工場出荷時はプリントしないように設定されています。

通信記録が201件に達したときや指定した時刻（1日1回のみ）にプリントするように設定できます。

通信結果欄の内容について

通信結果表／通信記録表の通信結果欄には、エラーの種類などが印字されます。通信結果表や通信記録表がプリントされたときは、通信結果欄の内容で通信結果を確認して対処してください。

通信結果欄の印字例

印字	内容
OK	正常に通信が終了した。
G3	G3モードで通信した。
ECM	G3 ECMモードで通信した。
SG3	スーパー G3モードで通信した。
転送	受信データを転送した。
相手無応答	送信相手先が応答しなかった。
ビジー	相手先が通信中などで送信できなかった。
キャンセル	送信中に通信を停止させた。
送信メモリーオーバー	クイックオンライン送信時にメモリーオーバーが発生した。
受信メモリーオーバー	受信中にメモリーオーバーが発生した。
受信長オーバー	1.5m以上の長さの原稿データが送られてきたため、受信できなかった。
原稿エラー	直接送信または手動送信時に紙づまりが発生し、送信できなかった。
ポーリング許可番号不一致	ポーリング許可番号が合致しなかったため通信を切断した。
相手ポーリング機能なし	ポーリングした相手機にポーリング機能がなかった。
ポーリング受け付けず	ポーリングが相手先で受け付けられなかった、または、本機の掲示板にデータがないときにポーリングを受けたため回線を切断した。
Fコードポーリング受け付けず	Fコードポーリングを行ったが相手先にて受け付けられなかった、または、本機Fコード掲示板メモリーボックスにデータがないときにポーリングを受けたため回線を切断した。
Fコード掲示板番号不一致	Fコード掲示板で、設定されていないサブアドレスだったため、回線を切断した。
Fコード掲示板パスコード不一致	Fコード掲示板で、パスコード不一致のため回線を切断した。
BOX NO. NG	Fコード通信を受けたが指定されたサブアドレスのメモリーボックスがなかったため回線を切断した。
Fコードパスコード不一致	Fコード通信を受けたがパスコードが一致しなかったため通信を切断した。
相手Fコード掲示板機能なし	Fコードポーリングをこころみたが、相手先にFコードに対応した掲示板機能がなかった。
相手Fコード機能なし	Fコード通信を行った相手先がFコードに対応していなかった。
Fコード受け付けず	Fコード通信を行ったがサブアドレスの不一致などで相手先で受け付けられなかった。
メモリー BOX:[xxxxxx] *****	親展または中継同報メモリーボックスにデータを受信した場合または掲示板メモリーボックスよりデータを送信した。 [xxxxxx]にはメモリーボックス名、*****にはFコード通信の種別（中継指示受信、掲示板送信、親展のいずれか）がプリントされます。
通信エラー xx (xxxx)	通信エラーのため、送受信が正常に行われなかった。 通信エラー番号の前2桁：00～99のエラーコードが表示されます。 通信エラー番号の下4桁：サービス担当者が利用するためのコードです。
受信拒否	受信を拒否している相手からファクスが送られてきた。

ファクスの仕様

適用回線	一般加入電話回線、自営構内回線、ファクシミリ通信網（Fネット）※1	
走査線密度 （ITU-T規格対応）	8x3.85本/mm（普通字）、8x7.7本/mm（小さな字、小さな字中間調）、8x15.4本/mm（精細、精細中間調）、16x15.4本/mm（高精細、高精細中間調）	
通信速度	33.6kbps→2.4kbps 自動フォールバック	
符号化方式	MH/MR/MMR/JBIG	
通信モード	スーパー G3/G3（本機器で送受信できるのは、相手機もスーパー G3またはG3規格のファクシミリに限られます）	
送信原稿サイズ	AB系： A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、216mmx340mm、216mmx343mm インチ系： 11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x13-2/5"、8-1/2"x13"、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"R 原稿自動送り装置を使用すると長尺原稿（最大幅297mm×最長1000mm、両面読み込み不可）を送信できます。	
記録紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x13-2/5"、8-1/2"x13"、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"R	
電送時間※2	2秒台（スーパー G3モード/33.6kbps、JBIG）、6秒台（G3 ECMモード/14.4kbps）	
電源	本体より供給	
備考	外部電話接続	可能（1台）
	最大回線数	2回線（回線増設キットが必要です）
	ワンタッチ宛先キー登録数※3	最大キー数：1000件
	グループ（1キー）に登録できる宛先数※3	1グループに（1キー）に登録できる宛先数：最大500件
	時刻指定通信	あり
	プログラム機能	あり（48件）
	Fコード通信	対応（SUB/SEP（サブアドレス）、SID/PWD（パスコード）の信号を送受信可能）
画像メモリー容量	1GB	

※1 本機器は1300Hz対応機です。

※2 A4版700字程度の当社標準原稿を、標準的画質（走査線密度8x3.85本/mm）で、高速モード（通信速度33.6kbps（JBIG）または14.4kbps）で送信したときの電送時間です。これは画像情報のみの電送時間で、通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は、原稿の内容・相手機種・回線の状態により異なります。

※3 すべての送信先（E-mail、ファイルサーバー、デスクトップ、共有フォルダー、インターネットFax、ファクス、グループ）を合わせた件数。

第5章

スキャナー／インターネットFax

スキャナー機能やインターネットFax機能の操作方法について詳しく記載しています。
USBメモリスキャンモードは、周辺装置を装着しなくても使用できます。

ネットワークスキャナーとして使用する前に

本機のネットワークスキャナー機能について	5-3
ネットワークスキャナーとしてお使いいただくための準備	5-5
• 主電源が“入”になっていることを確認する	5-5
• 日付・時刻を確認する	5-5
• 送信者登録・発信元登録を行う	5-5
• Webページで必要な設定・登録を行う	5-6
• 各送信方法の宛先をアドレス帳に登録する	5-6
• デスクトップ送信スキャンの送信先登録について	5-7
• ダイレクトSMTPの宛先に送信する前に	5-8
基本画面について	5-9
• アドレス帳画面	5-12
• アドレス帳画面のワンタッチキー表示方法を変更する	5-13
スキャン送信の流れ	5-15
原稿サイズについて	5-17
• 送信できる原稿サイズ	5-17
• セットした原稿サイズについて	5-17

送信先の入力方法について

アドレス帳から送信先を呼び出す	5-18
• 送信先を呼び出す	5-19
• 指定した送信先を一覧表示で確かめる／解除する	5-20
検索番号で送信先を呼び出す	5-21
手動で宛先を入力する	5-22
• 共有フォルダー宛先の指定方法について	5-23
グローバルアドレス帳から送信先を呼び出す	5-25
再送信機能を使う	5-27

送信のしかた

スキャナーモードで送信する	5-28
• 件名、ファイル名、返信先名、メール本文を変える	5-32
USBメモリスキャンモードで送信する	5-35
• ファイルの保存先（フォルダー）を指定する	5-39
• ファイル名を入力する	5-40
インターネットFaxモードで送信する	5-41
• 件名、ファイル名、メール本文を変える	5-44
複数の宛先に同じ原稿をまとめて送信する（順次同報送信）	5-47
• インターネットFaxの送信先が含まれる同報送信について	5-50
コンピュータのデータをインターネットFax送信する（PCインターネットFax）	5-52
原稿の読み込み設定について	5-53
• 原稿の表裏を自動的に読み込む（両面原稿）	5-54
• 原稿の読み込みサイズ／送信サイズを指定する（拡大・縮小）	5-55
• 原稿の濃度と原稿種類を変える	5-61
• 原稿の解像度を変える	5-63
• フォーマットを変える	5-64
• カラーモードを変える	5-68
送信の仕上がりイメージを確認する（プレビュー確認）	5-69
• プレビュー確認画面について	5-70

特別機能について

特別機能の種類について	5-71
スキャンの操作を登録して使用する（プログラム）	5-73
まわりに影ができないようにスキャンする（枠消去）	5-75
原稿を2ページに分割してスキャンする（ページ分割）	5-77
時刻を決めて送信する（時刻指定送信）	5-79
色の薄い部分を白くしてスキャンする（下地消去）	5-81
カードの表裏を1枚にまとめてスキャンする（カードスキャン）	5-83
大量の原稿を一度にまとめてスキャンする（大量原稿モード）	5-86
大きさの違う原稿をまとめてスキャンする（混載原稿）	5-88
薄い紙の原稿をスキャンする（薄紙読み込み）	5-90
読み込んだ原稿の枚数を確認してから送信する（原稿枚数カウント）	5-92
読み込み済みの原稿にスタンプを押す（済スタンプ）	5-94
読み込んだ原稿から白紙ページを省いて送信する（白紙飛ばし）	5-96
2枚の原稿を1枚にまとめて送信する（ページ集約）	5-98
通信結果表のプリント設定を変更して送信する（通信結果表）	5-101
発信元情報を付けて送信する（インターネットFax発信元印字）	5-103

通信状況を確認する

ジョブ状況画面について	5-105
<ul style="list-style-type: none"> 予約/実行中画面と完了画面について 予約/実行中ジョブが完了したときの動作について 完了ジョブの内容を確認する 	5-106 5-109 5-110
送信中や予約中のスキャンデータを中止する	5-111
あとからスキャンしたデータを優先して送信する	5-112
インターネットFaxの通信記録を確認する（通信記録表）	5-113
<ul style="list-style-type: none"> 通信記録表のプリントについて 通信結果欄の内容について 	5-113 5-113

インターネットFaxの受信機能

インターネットFaxを受信する	5-114
<ul style="list-style-type: none"> インターネットFaxを手動受信する 	5-115
パスワードで保護されている受信データをプリントする（受信データ印字ホールド）	5-116
受信データの内容を確認してからプリントする	5-117
受信データの内容を確認してから転送する	5-118
<ul style="list-style-type: none"> 画像確認画面について 	5-119
受信したデータを送信先に転送する（受信データの転送設定）	5-120
<ul style="list-style-type: none"> 受信データの転送設定を行う 	5-120

コンピュータからスキャンする（リモートPCスキャン）

基本的なスキャンのしかた	5-124
--------------	-------

メタデータ送信について

メタデータ送信（データ入力）とは	5-129
メタデータ送信を行うための準備	5-130
<ul style="list-style-type: none"> Webページで必要な設定・登録を行う デスクトップ送信スキャンでメタデータ送信を行うときは 	5-130 5-130
メタデータ送信のしかた	5-131
<ul style="list-style-type: none"> メタデータフィールドについて 	5-133

ネットワークスキャナーの仕様／インターネットFax※1の仕様	5-134
Pullスキャン機能(TWAIN)の仕様	5-134

ネットワークスキャナーとして使用する前に

ネットワークスキャナーとして使用する前に知っておく必要のある事からについて説明しています。

本機のネットワークスキャナー機能について

本機のネットワークスキャナー機能を使用すると、読み取った原稿をファイルとして作成し、ネットワーク経由でお使いのコンピュータやFTPサーバーに送信することができます。また、お使いのコンピュータからTWAIN対応アプリケーションソフトを利用してスキャンすることも可能です。

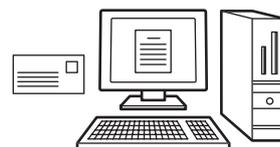
本機のネットワークスキャナー機能では、次のスキャン方法が利用できます。

スキャナーモード

 [スキャナーモードで送信する](#) (5-28ページ)

E-mail送信スキャン

スキャンしたファイルをE-mailで送信します。



ファイルサーバー送信スキャン

スキャンしたファイルを指定したFTPサーバーのディレクトリに送信します。送信時に、あらかじめ登録しておいた宛先へメールを送信し、ファイルの保存場所をお知らせすることもできます。(ファイルサーバー送信スキャン(ハイパーリンク)と呼ばれます。)



デスクトップ送信スキャン

スキャンしたファイルをお使いのコンピュータの指定フォルダーに送信します。デスクトップ送信スキャンについては、販売店に問い合わせてください。



共有フォルダー送信スキャン

スキャンしたファイルを本機と同一ネットワーク上のWindowsコンピュータに作成された共有フォルダーに送信します。



USBメモリースキャンモード

 [USBメモリースキャンモードで送信する](#) (5-35ページ)

USBメモリースキャン

スキャンしたファイルを本機に接続したUSBメモリーに送信して保存します。



インターネットFaxモード

インターネットFax機能を使用するには、インターネットファクス拡張キットを装着する必要があります。

 [インターネットFaxモードで送信する](#) (5-41ページ)

インターネットFax送信

スキャンしたファイルをインターネットFax送信します。また、インターネットFaxの受信も可能です。本機は、メールサーバーを介さずに、社内間でインターネットFaxを直接通信できるダイレクトSMTPに対応しています。



リモートPCスキャンモード

 [コンピュータからスキャンする \(リモートPCスキャン\)](#) (5-124ページ)

リモートPCスキャン

本機と同一ネットワークに接続されたWindowsコンピュータで、TWAIN対応アプリケーションソフトを使用してスキャンします。

リモートPCスキャンを行うには、本機に付属の「ソフトウェアCD-ROM」からスキャナードライバーをインストールする必要があります。

使用できるコンピュータのOSは、Windows 2000/XP/Server 2003/Vista/Server 2008/7です。



データ入力モード

メタデータ送信機能を使用するには、アプリケーション拡張キットを装着する必要があります。

 [メタデータ送信について](#) (5-129ページ)

メタデータ送信

アプリケーション拡張キットとネットワークスキャナー機能を組み合わせて、スキャンした画像ファイルにメタデータ※ファイルを添付して送信します。(メタデータ送信と呼びます。)

本機のタッチパネルから入力したり、本機が自動的に生成した情報を、XML形式のメタデータファイルとしてFTPサーバーのディレクトリやコンピュータ上のアプリケーションなどに送信することができます。

※メタデータとは、データに関する情報や処理方法、他のオブジェクトとの関係情報を示すデータのことです。

ネットワークスキャナーとしてお使いいただくための準備

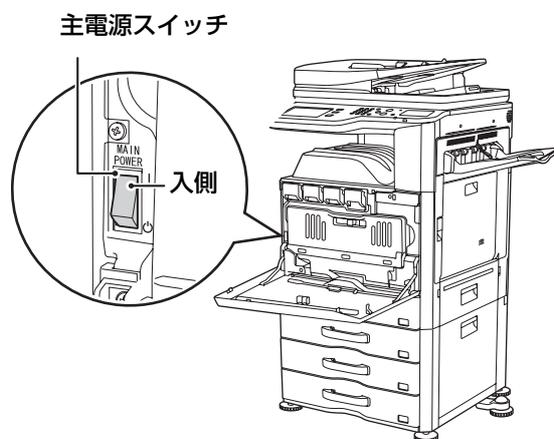
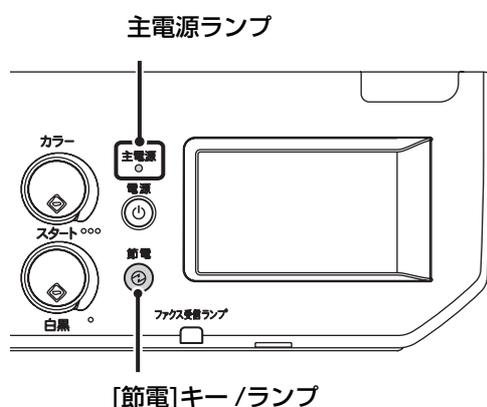
主電源が“入”になっていることを確認する

操作パネル右側の主電源ランプが点灯していると主電源が“入”になっています。

主電源ランプが消灯しているときは、主電源が“切”になっていますので、主電源スイッチを“入”にして操作パネルの[電源]キー（Ⓜ）を押してください。

インターネットFax機能をお使いいただく場合、特に夜間の受信や時刻指定送信を行うときは、主電源スイッチを常に“入”にしておいてください。

 [節電]キー（Ⓜ）のランプが点滅しているときは、オートパワーシャットオフの状態です。この時点で[節電]キー（Ⓜ）を押すと、[節電]キー（Ⓜ）のランプが消え、しばらくしてから通常状態になります。



日付・時刻を確認する

本機の日付・時刻が正確に設定されているか確認してください。

日付・時刻の設定は、本機のシステム設定で行います。操作パネルの[システム設定]キーを押すと、タッチパネルにシステム設定のメニュー画面が表示されます。[初期設定]→[日付・時刻設定]→[時刻設定]へと進み、年・月・日・時・分をそれぞれ指定して時刻を合わせてください。

 システム設定（管理者）の「日付・時刻設定の変更禁止」が設定されている場合、日付・時刻設定を行うことはできません。

送信者登録・発信元登録を行う

これらの登録は、通信上必要な情報となりますので、必ず登録してください。

E-mail送信スキャン機能をお使いいただく場合

返信先を指定しなかったときに適用される返信先の名前を「送信者名」、E-mailアドレスを「返信アドレス」として登録します。

 システム設定（管理者）：標準送信者登録
返信先を選択しなかった場合に適用される返信先の名前とE-mailアドレスを登録します。

インターネットFax機能をお使いいただく場合

利用者の名前を「発信元名」、インターネットFaxのアドレスを「発信元アドレス」として登録します。

 システム設定（管理者）：発信元情報登録
発信元名・発信元アドレスを登録します。

Webページで必要な設定・登録を行う

スキャナーモードやインターネットFaxモードを使用するためには、Webページでネットワークスキャナーの基本設定、SMTPサーバーやDNSサーバーなど各サーバーの設定、送信者アドレスの登録などを行う必要があります。

•各サーバーの設定

Webページのメニューにある[ネットワーク設定]→[サービス設定]をクリックして行います。(管理者権限が必要です。)

•ネットワークスキャナーの基本設定

Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[ネットワークスキャナー設定]をクリックして行います。(管理者権限が必要です。)

•インターネットFax設定

Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[インターネットFax設定]の各項目を設定します。(管理者権限が必要です。)

各送信方法の宛先をアドレス帳に登録する

ファイルサーバー送信スキャンやデスクトップ送信スキャンを利用するときは、送信先をアドレス帳に登録する必要があります。また、E-mail送信スキャンやインターネットFax、共有フォルダーの送信先は、送信時に手動入力したり、グローバルアドレス帳から検索して利用したりすることができますが、アドレス帳に登録しておくことで宛先指定操作が簡略化できます。それぞれの送信先は、次の方法でアドレス帳に登録してください。

スキャナーモードの各送信

- ファイルサーバー送信： Webページのメニューにある[アドレス帳]をクリックすると表示される[追加]ボタンをクリックしてください。「宛先のタイプ」から[FTP]を選択して登録を行います。
- 共有フォルダー送信： Webページのメニューにある[アドレス帳]をクリックすると表示される[追加]ボタンをクリックしてください。「宛先のタイプ」から[共有フォルダー]を選択して登録を行います。
- E-mail送信： Webページのメニューにある[アドレス帳]をクリックすると表示される[追加]ボタンをクリックしてください。「宛先のタイプ」から[E-mail]を選択して登録を行います。また、システム設定でも登録できます。
- デスクトップ送信： 「[デスクトップ送信スキャンの送信先登録について](#)」(5-7ページ)を参照してください。また、Webページでも登録できます。Webページのメニューにある[アドレス帳]をクリックすると表示される[追加]ボタンをクリックしてください。「宛先のタイプ」から[デスクトップ]を選択して登録を行います。

 登録できる宛先は、全1000件までです。ただし、共有フォルダー送信、ファイルサーバー送信、デスクトップ送信の宛先は、合わせて200件までです。

インターネットFaxモードの送信： Webページのメニューにある[アドレス帳]をクリックすると表示される[追加]ボタンをクリックしてください。「宛先のタイプ」から[インターネットFax]または[ダイレクトSMTP]を選択して登録を行います。また、システム設定でも登録できます。



システム設定：アドレス帳 (7-15ページ)

E-mail送信スキャンとインターネットFaxの送信先アドレスを登録することができます。

デスクトップ送信スキャンの送信先登録について

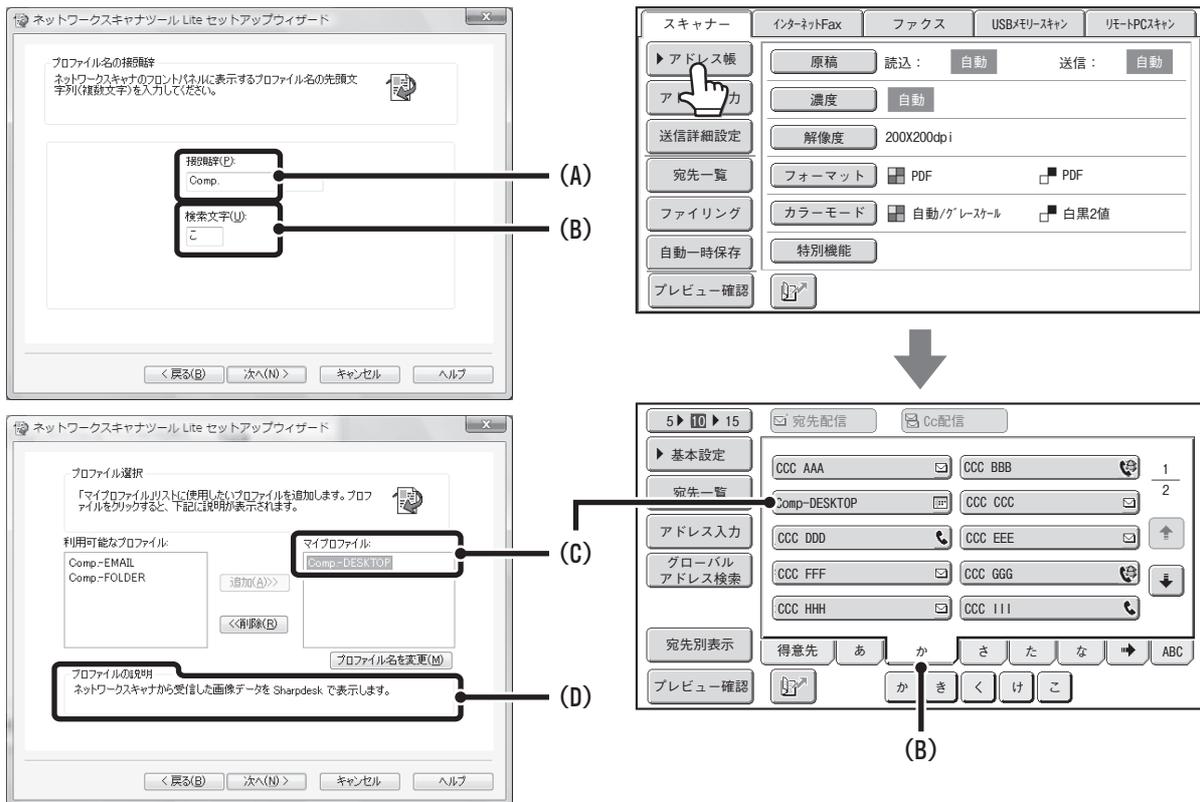
お使いのコンピュータをデスクトップ送信スキャンの送信先として本機に登録するには、ネットワークスキャナーツール Liteをインストールする必要があります。お使いのコンピュータでネットワークスキャナーツール Liteが起動していないと、スキャンデータを送信することはできません。

ネットワークスキャナーツール Liteのインストールについて

ネットワークスキャナーツール Liteのインストールについては、販売店に問い合わせてください。

ネットワークスキャナーツール Liteのインストールを開始すると、セットアップウィザードが自動的に起動します。このウィザードに従ってセットアップを行うと、お使いのコンピュータがデスクトップ送信スキャンの送信先として本機に登録されます。登録した送信先は、アドレス帳画面にワンタッチキーで表示されます。

ネットワークスキャナーツール Liteのセットアップ中に下記画面が表示されます。「マイプロファイル」(C)に選択した項目がワンタッチキーの名称になります。



プロファイル名は、「接頭辞」(A)に入力した文字と、プロファイル※の組み合わせにより決まります。ワンタッチキーは、「検索文字」(B)に入力した文字を元に、アドレス帳画面のインデックスタブに割り振られます。
 ※ コンピュータに送信された画像データに対して、どのような処理を行うかを定義したものです。プロファイルの説明(D)を参照してください。

ダイレクトSMTPの宛先に送信する前に

本機は、メールサーバーを介さずに、社内間でインターネットFaxを直接通信できるダイレクトSMTPに対応しています。ダイレクトSMTPの宛先をアドレス帳に登録する方法については、「[各送信方法の宛先をアドレス帳に登録する](#)」(5-6ページ)を参照してください。登録した送信先は、インターネットFaxモードのアドレス帳に含まれます。

送信先が通信中のときは

送信先が通信中だった場合、自動的に時間をあけて送信し直します。



送信を中止するときは…

ジョブ状況画面から送信を中止してください。

[送信中や予約中のスキャンデータを中止する](#) (5-111ページ)



システム設定（管理者）：宛先ビジー時の再コール設定

相手先が話し中などで回線が接続できなかった場合に再コールする時間（間隔）と回数を設定します。工場出荷時は3分間隔で2回に設定されています。

通信エラーが発生したときは

何らかのエラーが発生し、送信が正常に行われなかったときや相手側を一定時間呼び出しても応答が無かった場合、自動的に時間を空けて送信し直します。



送信を中止するときは…

ジョブ状況画面から送信を中止してください。

[送信中や予約中のスキャンデータを中止する](#) (5-111ページ)



システム設定（管理者）：通信エラー時の再コール設定

何らかのエラーで正常に送信できなかった場合に再コールする時間（間隔）と回数を設定します。工場出荷時は3分間隔で2回に設定されています。

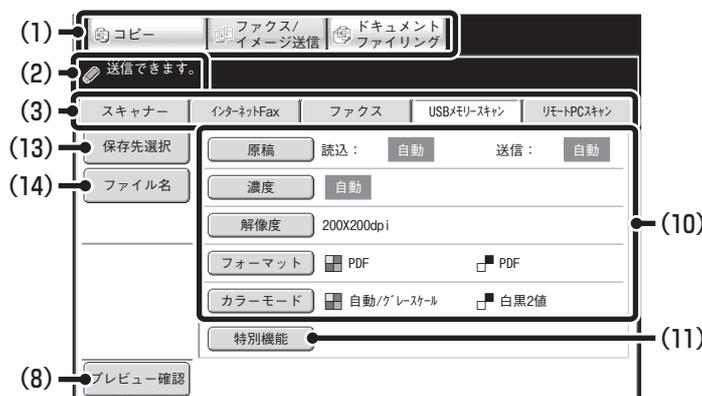
基本画面について

本機のスキャナーモード、USBメモリスキャンモード、インターネットFaxモード、リモートPCスキャンモードを使用するときは、それぞれの基本画面から操作を行います。基本画面を表示するときは、タッチパネルの[ファクス/イメージ送信]キーをタッチし、送信モード切り替えタブをタッチしてそれぞれのモードを選択してください。

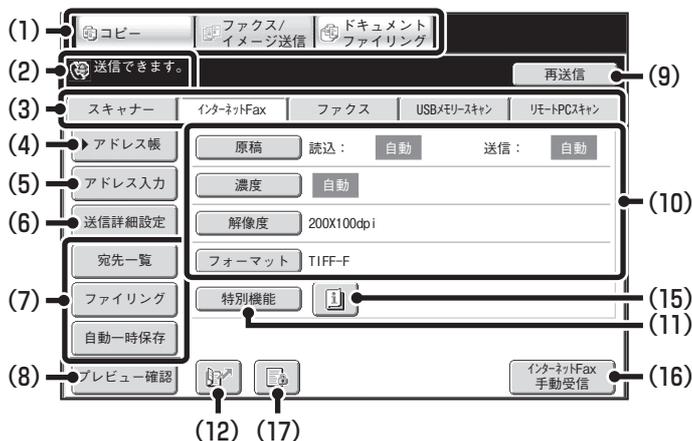
スキャナーモード基本画面



USBメモリスキャンモード基本画面



インターネットFaxモード基本画面



(1) モード切り替えキー

コピー、イメージ送信、ドキュメントファイリングの各機能を切り替えるときにタッチします。
スキャナーモード、USBメモリスキャンモード、インターネットFaxモード、リモートPCスキャンモード、データ入力モードを使用するときは、[ファクス/イメージ送信]キーをタッチしてください。

(2) 各種メッセージを表示します。

選択しているモードのアイコンが左側に表示されます。

(3) 送信モード切り替えタブ

[ファクス/イメージ送信]機能のモードを切り替えるときにタッチします。周辺装置の装着状態により、使用できないモードのタブは表示されません。[USBメモリスキャン]および[リモートPCスキャン]タブが表示されていない場合は、タブをタッチして画面を切り替えることにより表示されます。
[スキャナー]、[インターネットFax]、[ファクス]、および[データ入力]タブが表示されていない場合は、タブをタッチして画面を切り替えることにより表示されます。アプリケーション拡張キットを装着している場合は、[データ入力]タブが表示されています。[データ入力]タブをタッチして行うメタデータ送信については、「[メタデータ送信について](#)」(5-129ページ)を参照してください。

(4) [アドレス帳]キー

登録したワンタッチキーやグループキーを使用するときにタッチします。このキーをタッチするとアドレス帳画面に切り替わります。
 [アドレス帳から送信先を呼び出す](#) (5-18ページ)

(5) [アドレス入力]キー

ワンタッチキーを使わず送信先の宛先を手動で入力するときにタッチします。
 [手動で宛先を入力する](#) (5-22ページ)

(6) [送信詳細設定]キー

あらかじめWebページで登録されている件名、ファイル名、返信先名、およびメール本文を選択したり、入力するときにタッチします。
スキャナーモード：
 [件名、ファイル名、返信先名、メール本文を変える](#) (5-32ページ)
インターネットFaxモード：
 [件名、ファイル名、メール本文を変える](#) (5-44ページ)

(7) カスタマイズキー

ここに表示されるキーはお好みの設定項目に合わせて変更することができます。

- ☞ お好みに合わせてキー表示を変更する (カスタマイズキー) (5-11ページ)

(8) [プレビュー確認]キー

送信の仕上がりイメージを、あらかじめタッチパネルで確認してから送信したいときにタッチします。

- ☞ 送信の仕上がりイメージを確認する (プレビュー確認) (5-69ページ)

(9) [再送信]キー／[次宛先]キー

E-mail送信スキャン、インターネットFax、ファクスモードで送信した宛先は、最後に送信したものから過去8件まで記憶されており、これらの宛先を選択するときにタッチします。宛先指定後は[次宛先]キーに切り替わります。

- ☞ 再送信機能を使う (5-27ページ)
- ☞ 送信先を呼び出す (5-19ページ)

(10) 原稿の読み込み設定

原稿の読み込み設定 (原稿サイズ、濃度、解像度、フォーマット、カラーモード) を行うことができます。

- ☞ 原稿の読み込み設定について (5-53ページ)

(11) [特別機能]キー

特別機能を使用するときにタッチします。

- ☞ 特別機能について (5-71ページ)

(12) [検索]キー

検索番号※を使用して送信先を指定するときにタッチします。

- ※ 送信先の登録時に割り当てる4桁の番号です。
- ☞ 検索番号で送信先を呼び出す (5-21ページ)

(13) [保存先選択]キー

USBメモリーに書き込むファイルの保存先 (フォルダー) を指定するときにタッチします。

- ☞ ファイルの保存先 (フォルダー) を指定する (5-39ページ)

(14) [ファイル名]キー

USBメモリーに書き込むファイル名を入力するときにタッチします。

- ☞ ファイル名を入力する (5-40ページ)

(15) [戻る]キー

「特別機能」の各項目や両面原稿読み込みが設定されているときに表示されます。このキーをタッチすると設定されている内容を表示します。

- ☞ 特別機能の設定状態を確認する (5-11ページ)

(16) [インターネットFax手動受信]キー

インターネットFaxを手動受信するときにタッチします。

- ☞ インターネットFaxを手動受信する (5-115ページ)

(17) [設定] / [戻る] / [戻る] キー

システム設定 (管理者) の「受信データ印字ホールド設定」や「受信データの画像確認設定」が有効に設定されているときに、データを受信すると表示されます。

☞ 「受信データ印字ホールド設定」のみ有効

☞ 「受信データの画像確認設定」のみ有効

☞ 両方の設定が有効

- ☞ パスワードで保護されている受信データをプリントする (受信データ印字ホールド) (5-116ページ)

- ☞ 受信データの内容を確認してからプリントする (5-117ページ)

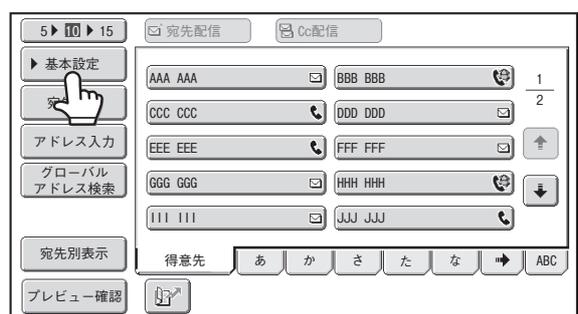
また、送信するときに登録した宛先をアドレス帳画面から呼び出して使用できます。アドレス帳画面は、スキャナー、インターネットFax、ファクス、データ入力の各モード共通で使用します。

基本画面の[アドレス帳]キーをタッチするとアドレス帳画面に切り替わり、アドレス帳画面の[基本設定]キーをタッチすると基本画面に切り替わります。

スキャナーモード基本画面



アドレス帳画面



- 本章では、各モードで共通の操作を説明するとき、スキャナーモードの基本画面を例として使用しています。
- 本章では、[ファクス/イメージ送信]キーをタッチしたときにスキャナーモードの基本画面が表示されるものとして以降の手順などを説明しています。

- システム設定 (管理者) : デフォルト表示画面
[ファクス/イメージ送信]キーをタッチして最初に表示される画面を次の中から設定します。
 - 各モード基本画面 (スキャナー・インターネットFax・ファクス・データ入力)
 - アドレス帳画面

お好みに合わせてキー表示を変更する（カスタマイズキー）

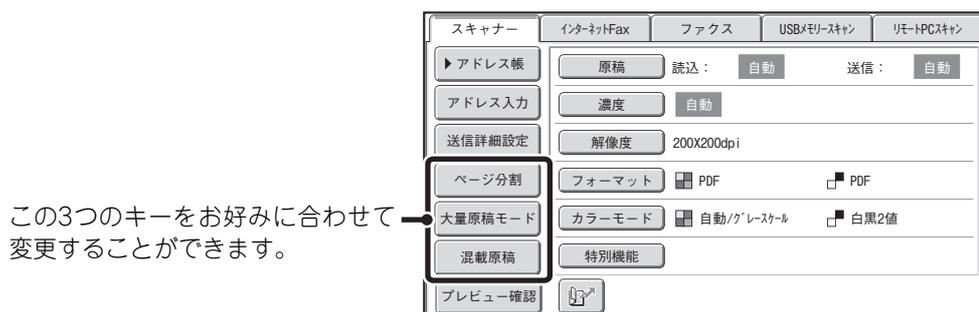
特別機能の設定キーなどを基本画面に表示させておくことができます。表示させるキーをよく使う機能に変更しておくと、ワンタッチで設定操作に入ることができ便利です。お好みに合わせてキー表示を変更するときはWebページの「カスタマイズキー設定」で変更します。工場出荷時は、次のキーが表示されています。

- **[宛先一覧]キー**
アドレス帳で選択されている送信先を一覧表示して確認するときにタッチします。アドレス帳画面にある[宛先一覧]キーと同じです。
- **[ファイリング]キー、[自動一時保存]キー**
ファイリング、自動一時保存などドキュメントファイリング機能を使用するときにタッチします。

USBメモリスキャンモードでは…

カスタマイズキーは表示されていませんが、お好みに合わせて最大3つまでキーを追加して表示させることができます。

例：「ページ分割」、「大量原稿モード」、「混載原稿」の設定キーをカスタマイズキーに表示させた場合

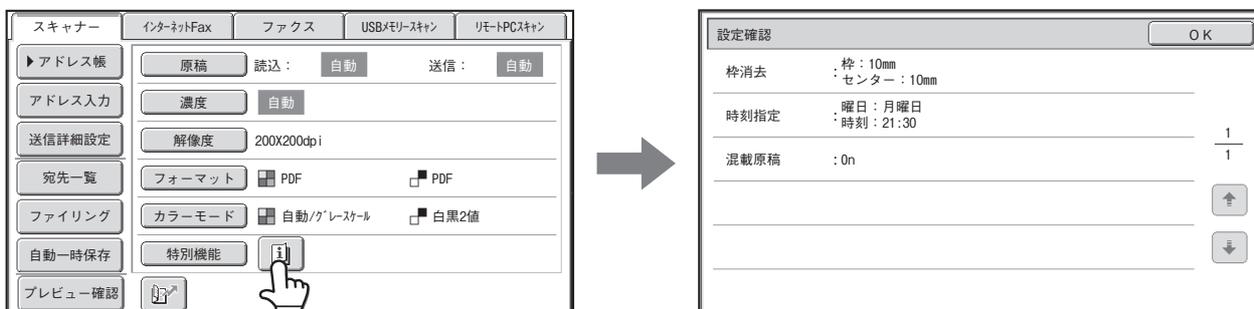


- プログラムが登録されているキーを表示しておくことで基本画面からワンタッチでプログラムを呼び出すことができます。
 **スキャンの操作を登録して使用する（プログラム）**（5-73ページ）
 - 設定できるカスタマイズキーは、モードによって異なります。
- システム設定（管理者）：カスタマイズキー設定**
 Webページのメニューにある[システム設定]→[操作設定]の「カスタマイズキー設定」で登録します。

特別機能の設定状態を確認する

「特別機能」の各項目や両面原稿読み込みが設定されているときは、基本画面に  キーが表示されます。

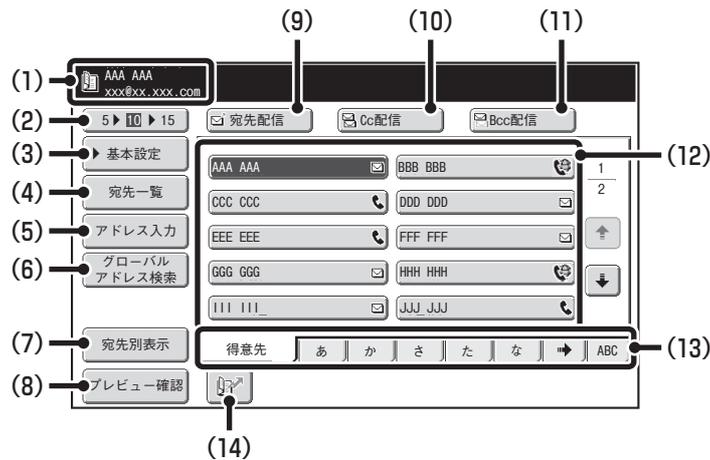
 キーをタッチすると設定内容が表示されます。設定内容の確認画面を閉じるときは[OK]キーをタッチしてください。



- 設定確認画面から特別機能の設定を変更できません。[OK]キーをタッチして設定確認画面を閉じてから、[特別機能]キーをタッチして変更したい機能を設定し直してください。

アドレス帳画面

送信先を指定する画面です。



- (1) 選択した送信先を表示します。
- (2) 表示件数切り替えキー
アドレス帳画面に一度に表示する送信先（ワンタッチキー）の個数を変更するときにタッチします。タッチするごとに5件、10件、15件と切り替わります。
- (3) [基本設定]キー
送信の設定操作を行うときにタッチします。このキーをタッチすると基本画面に切り替わります。
☞ [基本画面について](#) (5-9ページ)
- (4) [宛先一覧]キー
選択されている送信先を一覧表示して確認するときにタッチします。送信先の選択を訂正することができます。
☞ [指定した送信先を一覧表示で確かめる／解除する](#) (5-20ページ)
- (5) [アドレス入力]キー
ワンタッチキーを使わず送信先の宛先を手動で入力するときにタッチします。
☞ [手動で宛先を入力する](#) (5-22ページ)
- (6) [グローバルアドレス検索]キー
本機のWebページでLDAPサーバーが利用できるように設定されている場合に、グローバルアドレス帳から送信アドレスを取得するときにタッチします。
☞ [グローバルアドレス帳から送信先を呼び出す](#) (5-25ページ)
- (7) [宛先別表示]キー
インデックスタブをユーザーインデックスに切り替えるときや、ワンタッチキーを送信モード別に表示させるときにタッチします。
☞ [アドレス帳画面のワンタッチキー表示方法を変更する](#) (5-13ページ)
- (8) [プレビュー確認]キー
送信の仕上がりイメージを、あらかじめタッチパネルで確認してから送信したいときにタッチします。
☞ [送信の仕上がりイメージを確認する（プレビュー確認）](#) (5-69ページ)
- (9) [宛先配信]キー
選択した送信先（ワンタッチキー）を確定するときにタッチします。
☞ [送信先を呼び出す](#) (5-19ページ)
- (10) [Cc配信]キー
E-mail送信スキャンを行うときに、[宛先配信]キーをタッチして選択した送信先以外に同じ内容をCc（Carbon copy）として送信したいときにタッチします。
- (11) [Bcc配信]キー
E-mail送信スキャンを行うときに、[宛先配信]キーをタッチして選択した送信先以外に同じ内容をBcc（Blind carbon copy）として送信したいときにタッチします。Bcc配信として指定した宛先は、他の宛先の受信者には知られません。
このキーは、システム設定（管理者）の「Bcc配信設定」でBcc配信が有効に設定されているときのみ表示されます。
- (12) ワンタッチキー表示部
各インデックスに登録されている送信先（ワンタッチキー）を表示します。本章では、送信先が登録されたキーやグループ登録されたキーをワンタッチキーと呼びます。
☞ [送信先を呼び出す](#) (5-19ページ)
- (13) インデックスタブ
インデックスを切り替えるときにタッチします。
☞ [インデックス表示について](#) (5-14ページ)
- (14) キー
検索番号※を使用して送信先を指定するときにタッチします。
※ ワンタッチキーやグループキーの登録時に割り当てる4桁の番号です。
☞ [検索番号で送信先を呼び出す](#) (5-21ページ)

- アドレス帳画面のワンタッチキーには、送信に使用するモードをアイコンで表示しています。
 **アドレス帳から送信先を呼び出す** (5-18ページ)
- アドレス帳への送信先登録については、「各送信方法の宛先をアドレス帳に登録する」(5-6ページ)を参照してください。
- デスクトップ送信スキャンの送信先登録については、「デスクトップ送信スキャンの送信先登録について」(5-7 ページ)を参照してください。

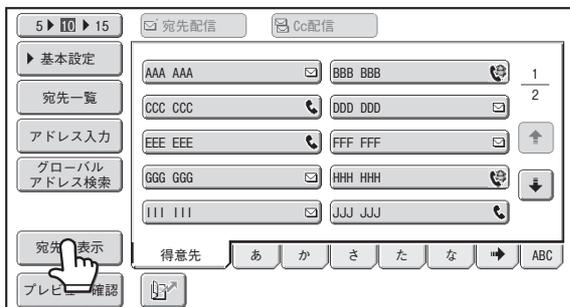
- **システム設定：アドレス帳 (7-15ページ)**
 E-mail送信スキャンやインターネットFaxの送信先アドレスをワンタッチキーに登録できます。
- **システム設定 (管理者)：宛先の表示件数切替**
 アドレス帳画面に表示されるワンタッチキーの標準の個数を変更できます。
- **システム設定 (管理者)：Bcc配信設定**
 Bcc配信を行うかどうか設定できます。有効にすると、アドレス帳画面に[Bcc配信]キーが表示されます。
- **システム設定 (管理者)：デフォルト表示画面**
 [ファクス/イメージ送信]キーをタッチして最初に表示される画面を次の中から設定します。
 - 各モード基本画面 (スキャナー・インターネットFax・ファクス・データ入力)
 - アドレス帳画面
 デフォルト表示画面設定は、[ファクス/イメージ送信設定]→[操作設定]→[各種設定]にあります。
- **システム設定 (管理者)：アドレス帳のデフォルト設定**
 アドレス帳画面を表示したときの宛先の並び方を次の項目で設定できます。
 - インデックスタブの種類 (50音順・ユーザー)
 - 宛先の種類 (すべて・グループ・E-mail・FTP/Desktop・共有フォルダー・インターネットFax・ファクス)

アドレス帳画面のワンタッチキー表示方法を変更する

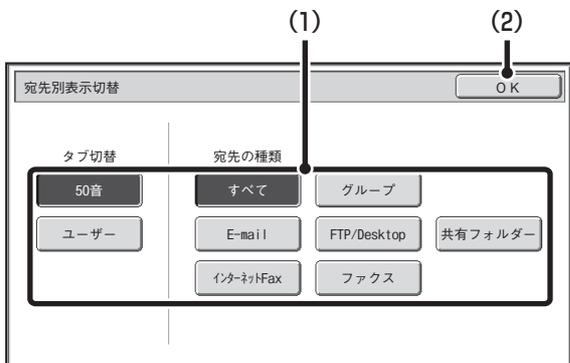
アドレス帳画面で特定の送信モードのみを表示したり、50音で表示しているインデックスを任意で作成したインデックス (ユーザーインデックス) に切り替えて表示することができます。送信先の選択などの操作は変わりません。

[宛先別表示]キーをタッチする

1



2



表示方法を変更する

(1) 表示させるモードやタブのキーをタッチする

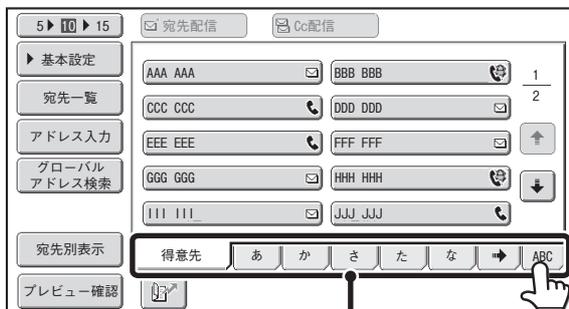
- 特定の送信モードのワンタッチキーのみを表示させるときは、「宛先の種類」から表示させるモードのキーをタッチしてください。
- インデックスタブをユーザーインデックスに切り替えるときは、「タブ切替」の[ユーザー]キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする

インデックス表示について

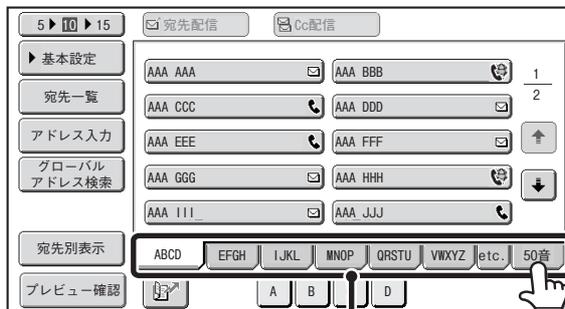
インデックスを使用することで、目的の送信先（ワンタッチキー）をかたんに探すことができます。送信先は、検索文字で50音または英数のインデックスに分けて表示されます。登録されている送信先は、インデックスタブをタッチして表示します。よく使う送信先は、[得意先]に表示されるように登録しておく便利です。送信先登録時に[得意先]インデックスに表示されるように設定してください。

50音順



インデックスタブ

英数順



インデックスタブ

50音のタブは、「あ」から「な」と、「は」から「わ」に分かれて表示されます。表示されていない50音のタブは、 をタッチして表示を切り替えてください。

また、表示している送信先を検索文字で50音順に並べ替えることができます。表示しているインデックスタブをタッチすることによって検索番号（5-21ページ）順→名前昇順→名前降順→検索番号順…と表示する順番が切り替わります。表示する順番を変更すると、他のインデックスタブでも同じ順番で表示されます。

検索番号順（初期状態）



名前昇順



名前降順



システム設定の「ユーザーインデックス」でインデックスの名前を任意で変更でき、ワンタッチキーをわかりやすくグループ別に分けるなどして使用することができます。



システム設定：ユーザーインデックス（7-19ページ）

ユーザーインデックスに名称を登録します。送信先登録したワンタッチキーを、どのユーザーインデックスに分けるかは、送信先登録時に設定します。

検索文字を絞り込む

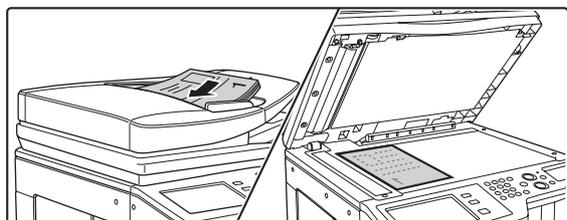
インデックスタブの50音のタブをタッチすると、検索文字がさらに細分化されたキーが表示されます。たとえば、[あ]タブをタッチすると、「あ」から「お」までが細分化されたキーが表示されます。この中で、たとえば、[い]キーをタッチすると、検索文字で「い」から始まる送信先のみを表示させることができます。再度キーをタッチすると解除できます。ただし、[得意先]タブや[etc.]タブ、ユーザーインデックスタブを使用している場合は細分化されません。



スキャン送信の流れ

ここでは、スキャン送信の基本的な手順を説明しています。下記の順に設定を行うと、円滑に送信操作が行えます。詳しい設定方法については、それぞれの説明ページを参照してください。

原稿をセットする



送信する原稿を、原稿自動送り装置の原稿セット台、または原稿台（ガラス面）のどちらかにセットします。

- ☞ [スキャナーモードで送信する](#) (5-28ページ)
- ☞ [USBメモリスキャンモードで送信する](#) (5-35ページ)
- ☞ [インターネットFaxモードで送信する](#) (5-41ページ)



送信先を入力する



スキャンデータを送信する宛先を指定します。

- [アドレス帳]キー：
 - ☞ [アドレス帳から送信先を呼び出す](#) (5-18ページ)
 - ☞ [グローバルアドレス帳から送信先を呼び出す](#) (5-25ページ)
- [アドレス入力]キー：
 - ☞ [手動で宛先を入力する](#) (5-22ページ)
- キー：
 - ☞ [検索番号で送信先を呼び出す](#) (5-21ページ)
- [再送信]キー：
 - ☞ [再送信機能を使う](#) (5-27ページ)



原稿の設定



読み込む原稿の設定を行うことができます。

- 原稿（両面原稿、読み込みサイズ／送信サイズ）
- 濃度・解像度・フォーマット・カラーモード
 - ☞ [原稿の読み込み設定について](#) (5-53ページ)
- 送信詳細設定（ファイル名）
 - スキャナーモード、データ入力モード：
 - ☞ [件名、ファイル名、返信先名、メール本文を変える](#) (5-32ページ)
 - USBメモリスキャンモード：
 - ☞ [ファイル名を入力する](#) (5-40ページ)
 - インターネットFaxモード：
 - ☞ [件名、ファイル名、メール本文を変える](#) (5-44ページ)



特別機能の設定

スキャナー	インターネットFax	ファクス	USBメモリスキャン	リモートPCスキャン
▶ アドレス帳	原稿	読込: 自動	A4	送信: 自動
アドレス入力	濃度	自動		
送信詳細設定	解像度	200X200dpi		
宛先一覧	フォーマット	<input checked="" type="checkbox"/> PDF	<input type="checkbox"/> PDF	
ファイリング	カラーモード	<input checked="" type="checkbox"/> 自動/グレースケール	<input type="checkbox"/> 白黒2値	
自動一時保存	特別機能			
プレビュー確認				

特別機能の設定を行うことができます。
[特別機能について](#) (5-71ページ)



スキャン送信を実行する

原稿を読み込んでスキャン送信を実行します。

原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、次の操作でスキャン送信を実行します。

- (1) [カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す
- (2) セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替える
- (3) [カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す
- (4) 上記操作の(2)～(3)を繰り返してすべての原稿を読み込む
- (5) [読み込み終了]キーをタッチする



- インターネットFaxモードでは、[カラースタート]キーは使用できません。
- 原稿の読み込み終了後、各設定は標準状態に戻ります。



読み込み操作を中止するには…

[ストップ]キー (⏹) を押して中止してください。



システム設定（管理者）：デフォルト表示画面

読み込み終了後も設定内容を一定時間保持させることができます。

原稿サイズについて

送信できる原稿サイズ

送信できる原稿サイズは下表のとおりです。

	最小原稿サイズ (mm)	最大原稿サイズ (mm)
原稿自動送り装置を使用するとき	131 (縦) x 140 (横)	297 (縦) x 1000* (横)
原稿台 (ガラス面) を使用するとき	—	297 (縦) x 432 (横)

* 長尺原稿を送信できます。(スキャン送信時、またはメタデータ送信時にスキャナー宛先のみを含む場合は、白黒2値および300X300dpi以下の解像度で読み込まれます。インターネットFax送信時で解像度が600X600dpiの場合、最大原稿サイズは800mmとなります。)

セットした原稿サイズについて

規定サイズの原稿をセットすると、自動的に原稿サイズを正しく検知し、基本画面の「読込」サイズに検知したサイズが表示されます。

原稿自動検知機能がはたらいっているときに、規定サイズ以外の原稿をセットした場合、原稿サイズに近い規定サイズが表示されたり、原稿サイズが表示されない場合があります。このときは、手動で正しい原稿サイズを設定してください。

- ☞ [原稿の読み込みサイズを指定する \(用紙サイズで指定する\) \(5-56ページ\)](#)
- ☞ [原稿の読み込みサイズを指定する \(サイズを数値で指定する\) \(5-57ページ\)](#)

規定サイズについて

規定サイズとは、本機が自動検知できる原稿サイズを指します。規定サイズはシステム設定 (管理者) の「原稿検知装置の設定」によって設定されます。工場出荷時は「AB-1」と設定されています。

原稿検知装置の設定リスト

選択項目	規定サイズ (原稿検知サイズ)	
	原稿台 (ガラス面)	原稿セット台 (原稿自動送り装置)
AB-1	A3, A4, A4R, A5, B4, B5, B5R	A3, A4, A4R, A5, B4, B5, B5R, 8-1/2"x11", 8-1/2"x14", 11"x17"
AB-2	A3, A4, A4R, A5, B5, B5R, 216mmx330mm (8-1/2"x13")	A3, A4, A4R, A5, B4, B5, B5R, 8-1/2"x11", 11"x17", 216mmx330mm (8-1/2"x13")
AB-3	A4, A4R, A5, B4, 8K, 16K, 16KR	A3, A4, A4R, A5, B4, 8K, 16K, 16KR, 8-1/2"x11", 11"x17", 216mmx330mm (8-1/2"x13")
AB-4	A3, A4, A4R, A5, B5, B5R, 216mmx340mm (8-1/2"x13-2/5")	A3, A4, A4R, A5, B4, B5, B5R, 8-1/2"x11", 11"x17", 216mmx340mm (8-1/2"x13-2/5")
AB-5	A3, A4, A4R, A5, B5, B5R, 216mmx343mm (8-1/2"x13-1/2")	A3, A4, A4R, A5, B4, B5, B5R, 8-1/2"x11", 11"x17", 216mmx343mm (8-1/2"x13-1/2")
INCH-1	11"x17", 8-1/2"x14", 8-1/2"x11", 8-1/2"x11"R, 5-1/2"x8-1/2"	11"x17", 8-1/2"x14", 8-1/2"x11", 8-1/2"x11"R, 5-1/2"x8-1/2", A4, A3
INCH-2	11"x17", 8-1/2"x13" (216mmx330mm), 8-1/2"x11", 8-1/2"x11"R, 5-1/2"x8-1/2"	11"x17", 8-1/2"x13" (216mmx330mm), 8-1/2"x11", 8-1/2"x11"R, 5-1/2"x8-1/2", A4, A3
INCH-3	11"x17", 8-1/2"x13-2/5" (216mmx340mm), 8-1/2"x11", 8-1/2"x11"R, 5-1/2"x8-1/2"	11"x17", 8-1/2"x13-2/5" (216mmx340mm), 8-1/2"x11", 8-1/2"x11"R, 5-1/2"x8-1/2", A4, A3

送信先の入力方法について

アドレス帳から送信先を指定したり、検索番号を入力して送信先を呼び出すなど、送信先を指定する方法について説明しています。

アドレス帳から送信先を呼び出す

アドレス帳画面では登録されている送信先をワンタッチキーでわかりやすく表示します。送信先は検索番号順に表示されます。



アドレス帳画面では、イメージ送信機能の各モードで使用する送信先がすべて表示され、ワンタッチキーに送信先名と使用するモードをアイコンで表示しています。

アイコン	使用するモード
	ファクス
	E-mail送信スキャン
	インターネットFax (ダイレクトSMTP)
	ファイルサーバー送信スキャン
	共有フォルダー送信スキャン
	デスクトップ送信スキャン
	複数の宛先が登録されているグループキー

- アドレス帳への送信先登録については、「各送信方法の宛先をアドレス帳に登録する」(5-6ページ)を参照してください。
- デスクトップ送信スキャンの送信先登録については、「デスクトップ送信スキャンの送信先登録について」(5-7 ページ)を参照してください。

システム設定：アドレス帳 (7-15ページ)
E-mail送信スキャンやインターネットFaxの送信先アドレスをワンタッチキーに登録できます。

送信先を呼び出す

スキャン送信する宛先のワンタッチキーを選択して呼び出します。

1

[アドレス帳]キーをタッチする

2

送信先を指定する

- (1) 送信先が登録されているインデックスタブをタッチする
- (2) 送信先のワンタッチキーをタッチする
送信先をまちがって選択したときは、もう一度キーをタッチすることで指定を解除できます。
- (3) [宛先配信]キーをタッチする
選択した送信先を確定します。

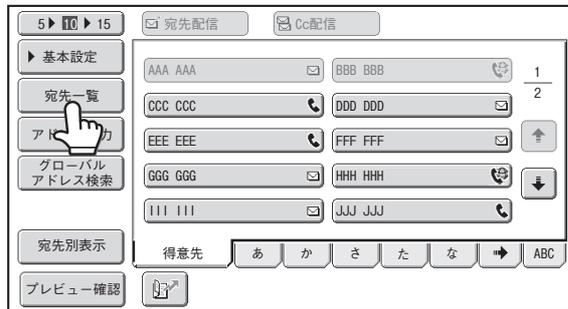
- よく使う送信先は、[得意先]に表示されるように登録しておくくと便利です。送信先登録時に[得意先]インデックスに表示するように設定してください。
- **続けて別の送信先を指定するときは…**
スキャナーモード（E-mail送信スキャン、ファイルサーバー送信スキャン、デスクトップ送信スキャン、共有フォルダー送信スキャン）、インターネットFaxモード、ファクスマードの宛先は複数選択して同報送信することができます（最大500件）。この手順の(1)～(3)を繰り返してください。
E-mail送信スキャンを行うときは、ワンタッチキーをタッチしたあと[Cc配信]キーまたは[Bcc配信]キーをタッチしてCc配信やBcc配信することができます。

- **システム設定（管理者）：Bcc配信設定**
Bcc配信を行うかどうか設定できます。有効にすると、アドレス帳画面に[Bcc配信]キーが表示されます。
- **システム設定（管理者）：同報時の次宛先キー入力**
次の送信先を指定する前に[次宛先]キーを省略するかどうか設定します。工場出荷時の状態では、[次宛先]キーの入力を省略できるように設定されています。
- **システム設定（管理者）：表示順番切り替えの禁止**
アドレス帳画面に表示されるワンタッチキーの表示順番切り替えを禁止します。禁止したときは、禁止時に選択されていた表示順番に固定されます。

指定した送信先を一覧表示で確かめる／解除する

複数の送信先を指定したときに、送信先を一覧表示して確かめます。また、指定した送信先を解除する（選択からはずす）こともできます。

1



[宛先一覧]キーをタッチする

2

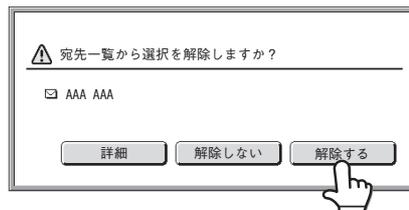


Cc配信またはBcc配信に送信先を指定したときは、それぞれのタブをタッチし、画面を切り替えて確認してください。



指定した送信先を取り消すときは…

取り消したい送信先のワンタッチキーをタッチします。確認のメッセージが表示されるので[解除する]キーをタッチしてください。[詳細]キーをタッチすると、指定した送信先の種類や名前などを確認できます。



検索番号で送信先を呼び出す

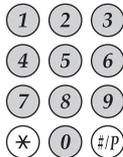
 キーからアドレス帳に登録されている送信先を呼び出します。各モードの基本画面やアドレス帳画面から使用できます。

1



 キーをタッチする

2



数字キーで検索番号（4桁）を入力する

検索番号を4桁入力すると、登録されている宛先が呼び出され、送信先に指定されます。



- 検索番号は送信先をアドレス帳に登録するときに設定します。
- 検索番号がわからないときは、システム設定「宛先登録リスト」でワンタッチアドレスリストをプリントして確認してください。
- 検索番号が「0001」や「0011」の場合「0」の入力を省略することができます。たとえば、「0001」の場合は「1」を入力して  キーまたは[次宛先]キーをタッチしてください。



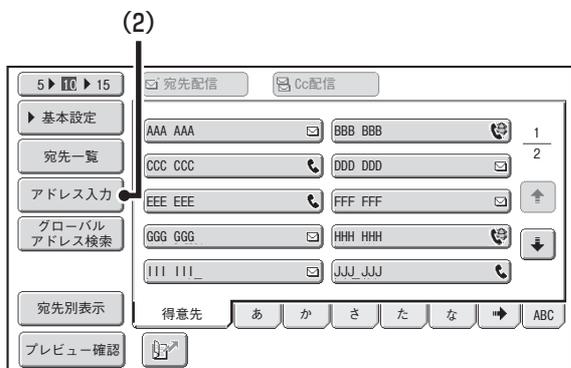
検索番号をまちがえたときは…

[クリア]キー（）を押してまちがえた番号を消去し、入力し直してください。

手動で宛先を入力する

E-mail送信スキャンやインターネットFax送信、データ入力モード、共有フォルダーの送信先アドレスは手動で入力することができます。

1



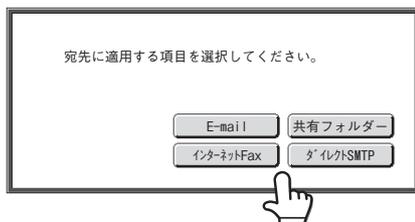
アドレス入力画面を表示する

(1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

基本画面の[アドレス入力]キーをタッチする場合は、あらかじめ使用するモードのタブをタッチしてください。

(2) [アドレス入力]キーをタッチする

2



送信先アドレスを入力する

(1) 配信方法のキーをタッチする

- [E-mail]キーをタッチすると、配信先選択画面が表示されます。通常は[宛先配信]キーをタッチしてください。
- [共有フォルダー]キーをタッチすると、共有フォルダー宛先入力画面が表示されます。共有フォルダー宛先を指定する場合は、「共有フォルダー宛先の指定方法について」(5-23ページ)を参照してください。
- 手順1で基本画面の[アドレス入力]キーをタッチした場合は、使用しているモードによって選択できる配信方法が異なります。

(2) 表示される文字入力画面で送信先アドレスを入力する

送信先アドレスを入力して[OK]キーをタッチしてください。

文字入力のしかたは、「1. お使いになる前に」の「文字入力について」(1-71ページ)を参照してください。



- 入力した送信先をCcで送信するときは、[Cc配信]キーをタッチしてください。
- システム設定(管理者)の「Bcc配信設定」でBcc配信が有効に設定されているときは、[Bcc配信]キーが表示されます。入力した送信先をBccで送信するときは、[Bcc配信]キーをタッチしてください。
- インターネットFaxモードを選択している場合は、送信先アドレスを入力したあと、基本画面に戻りますが、システム設定(管理者)の「送達確認機能有効設定」が有効に設定されていると、送達確認要求の設定画面が表示されます。要求する場合は[はい]キーを、しない場合は[いいえ]キーをタッチしてください。(ダイレクトSMTPでは送達確認は行われません。)



システム設定(管理者)：送達確認機能有効設定

インターネットFax送信時に送達確認を要求します。直接アドレス入力により送信先を指定したときは、送達確認要求を行うかどうかのメッセージが表示されます。(ダイレクトSMTPでは送達確認は行われません。)

システム設定(管理者)：Bcc配信設定

Bcc配信を行うかどうか設定できます。有効にすると、アドレス帳画面や配信方法の選択画面に[Bcc配信]キーが表示されます。

共有フォルダー宛先の指定方法について

本機とネットワークで接続されているサーバーや個人のコンピュータの共有フォルダーを直接指定することができます。前ページ手順2で[共有フォルダー]を選択し、次の操作を行ってください。

共有フォルダー

キャンセル OK

フォルダへのパス

参照

ユーザー名

パスワード

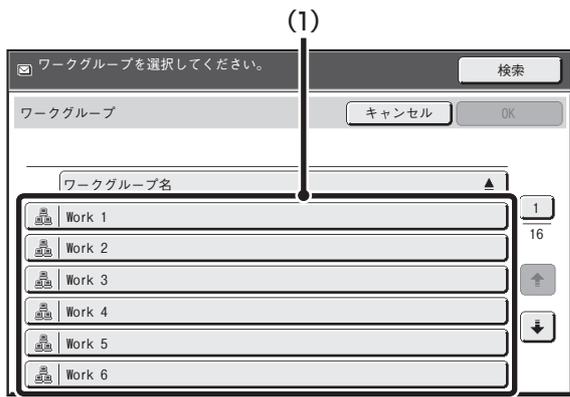
[参照]キーをタッチする

- 宛先を直接入力する場合は、[フォルダへのパス]キーをタッチしてください。文字入力画面が表示されます。
- ユーザー名とパスワードを設定する場合は、サーバー管理者に確認して入力してください。

1



文字入力のしかたは、「1. お使いになる前に」の「[文字入力について](#)」(1-71ページ)を参照してください。



共有フォルダーにアクセスする

(1) アクセスするワークグループのキーをタッチする



(2) アクセスするサーバーやコンピュータのキーをタッチする

ユーザー名とパスワードを設定する画面が表示されたときは、サーバー管理者に確認して入力してください。



(3) 共有フォルダーのキーをタッチする

(4) [OK]キーをタッチする

手順1の画面に戻るので、再度[OK]キーをタッチしてください。宛先が確定されます。

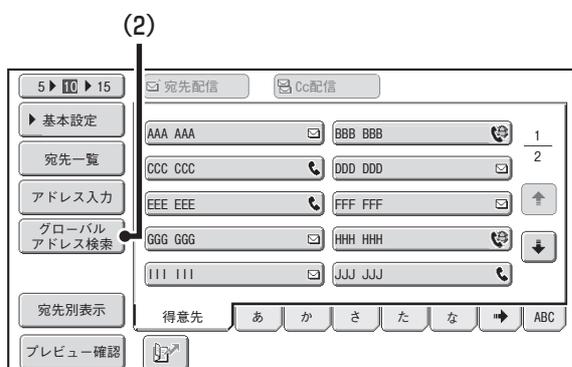


- [検索]キーをタッチしてキーワードを入力すると、ワークグループ、サーバー、共有フォルダーを検索できます。文字入力のしかたは、「1. お使いになる前に」の「[文字入力について](#)」(1-71ページ)を参照してください。
- ワークグループ、サーバー、共有フォルダーはそれぞれ100件まで表示できます。
- キーをタッチすると、一つ上の階層に移動します。
- [キャンセル]キーをタッチすると、手順1の画面に戻ります。
- 画面に表示されているキーの並び順を変更したいときは、それぞれの画面で▲または▼が表示されているキーをタッチしてください。タッチすることにより、昇順、降順の順に切り替わります。
- 現在のページ数が表示されている キーをタッチして指定ページ数を入力すると、そのページが表示されます。

グローバルアドレス帳から送信先を呼び出す

WebページでLDAPサーバーが設定されているときは、E-mail送信スキャンやインターネットFax送信を行うときにグローバルアドレス帳から送信先を検索してE-mail送信スキャンやインターネットFax送信の送信先アドレスを取得することができます（ダイレクトSMTPの宛先を除く）。

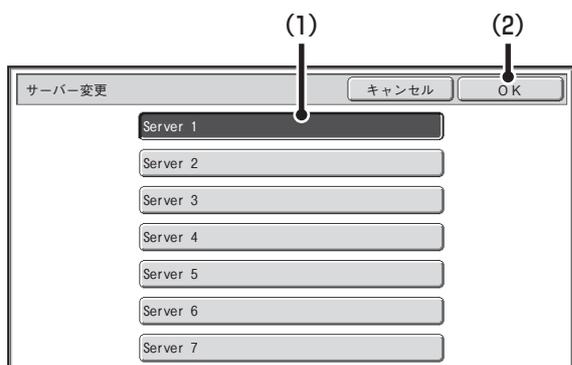
1



グローバルアドレス検索画面を表示する

- (1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする
- (2) [グローバルアドレス検索]キーをタッチする

2



送信先を検索する

LDAPサーバーが1件のみ設定されているときは、(1)、(2)の操作は不要です。(3)から操作を行ってください。LDAPサーバーへの認証画面が表示されたときは、ユーザー名とパスワードを入力してください。

- (1) 使用するLDAPサーバーのキーをタッチする
LDAPサーバーへの認証画面が表示されたときは、ユーザー名とパスワードを入力してください。
- (2) [OK]キーをタッチする
- (3) 表示される検索画面で送信先を検索する
送信先の検索文字を入力し、[検索]キーをタッチしてください。しばらくすると検索結果が表示されます。文字入力のしかたは、「1. お使いになる前に」の「[文字入力について](#)」(1-71ページ)を参照してください。

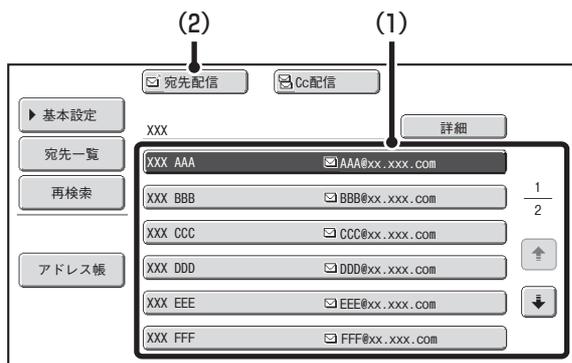


検索のしかた

検索文字は64文字以内で入力してください。検索文字で始まる送信先名を検索します。検索文字に*（アスタリスク）を使うと次のように検索することができます。

- XXX* : 「XXX」で始まっている名前
- *XXX : 「XXX」で終わっている名前
- *XXX* : 「XXX」を含んでいる名前
- AA*XX : 「AA」で始まり「XX」で終わっている名前

3



送信先を選択する

(1) 送信先のキーをタッチする

該当する宛先がなかったときは、メッセージが表示されます。[OK]キーをタッチしてメッセージを閉じ、[再検索]キーをタッチして検索をやり直してください。

(2) [宛先配信]キーをタッチする

選択したキーを確定します。別の送信先を入力するときはこの手順の(1)(2)を繰り返し操作してください。



- 検索結果が30件以上あった場合、画面にメッセージが表示されます。[OK]キーをタッチしてメッセージを閉じてください。検索結果は最大300件表示されます。該当する宛先がなかった場合は、[再検索]キーをタッチし、検索文字を追加して再度検索してください。
- 送信先の登録内容を確認するときは…
送信先のキーをタッチし、[詳細]キーをタッチしてください。選択した送信先の登録内容が表示されます。登録内容を確認し、[OK]キーをタッチして検索結果画面に戻ってください。
- 宛先に適用する項目を選択する画面が表示されたときは…
選択した送信先にE-mailアドレスやインターネットFax送信の送信先アドレスの他にファクス番号や電話番号などが登録されているとき、宛先に適用（使用）する項目を選択します。[E-mail]キーまたは[インターネットFax]キーをタッチしてE-mail送信スキャンやインターネットFax送信の送信先アドレスを取得してください。

グローバルアドレス帳の送信先を本機のアドレス帳に登録するには

グローバルアドレス帳に登録されているE-mailやインターネットFaxなどの送信先アドレスを、本機のアドレス帳に送信先（ワンタッチキー）として登録することができます。

グローバルアドレス帳の検索結果画面（上記手順3の画面）にある[詳細]キーをタッチすると、選択した送信先の詳細情報が表示されます。詳細情報画面の[アドレス登録]キーをタッチし、宛先に適用する項目（[E-mail]キーまたは[インターネットFax]キー）をタッチすると、次の画面が表示されます。

E-mail宛先登録画面

インターネットFax宛先登録画面

グローバルアドレス帳に登録されている情報は、自動で入力されます。（必要に応じて設定を変更することもできます。各項目の詳細については、「7. システム設定」の「宛先登録」（7-15ページ）を参照してください。）ただし、次の項目は手動で設定してください。[終了]キーをタッチすると、登録が完了します。

- [検索文字]キー： 50音インデックス内での分類とワンタッチキーの表示順を設定します。10文字以内で検索文字を入力してください。
- [インデックス]キー： ユーザーインデックス表示に切り替えたときに分類されるインデックスを設定します。また、登録する送信先をアドレス帳の「得意先」タブに表示させるかどうかを設定することができます。
- [フォーマット]キー： E-mail送信時のフォーマットを設定します。フォーマットはあらかじめ標準値が設定されていますが、登録する送信先ごとにフォーマットを設定しておく、送信するたびに設定する必要がなく便利です。
- [圧縮形式]キー： インターネットFax送信時の圧縮形式を設定します。
- [送達確認要求]キー： インターネットFax送信時に送達確認を要求するように設定します。

再送信機能を使う

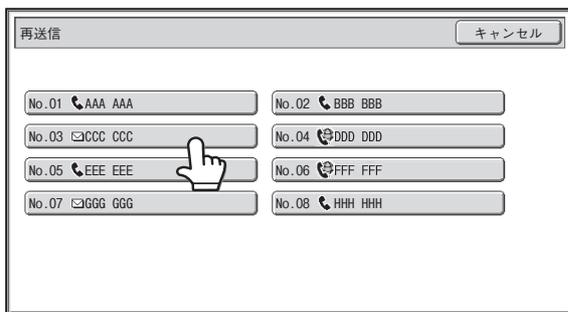
E-mail送信スキャン、インターネットFax（ダイレクトSMTPの宛先を含む）、ファクスの送信先アドレスは、最後に送信した宛先から8件記憶されており、選択して再送信することができます。

1



[再送信]キーをタッチする

2



再送信する宛先のキーをタッチする

最後に送信した宛先から8件までが表示されています。



- [再送信]キーをタッチして送信先を選択したときは、選択した送信先のモードに切り替わります。
- 以下の宛先は、再送信できる宛先として記憶されません。
 - 複数の送信先を登録したワンタッチキー（グループキー）
 - ファイルサーバー・デスクトップ・共有フォルダー送信スキャンの宛先
 - 同報送信の宛先
 - Bcc配信のみの宛先
 - プログラム送信した宛先



システム設定（管理者）：ファクス/イメージ送信モードからの[再送信]の禁止

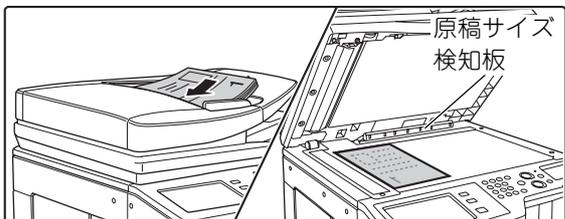
再送信機能の使用を禁止します。有効にすると、ファクス/イメージ送信モードの基本画面から[再送信]キーが操作できなくなります。

送信のしかた

スキャナーモードで送信する

スキャナーモード（E-mail送信スキャン、ファイルサーバー送信スキャン、デスクトップ送信スキャン、共有フォルダー送信スキャン）の基本的な送信のしかたを説明します。

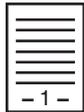
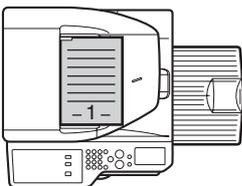
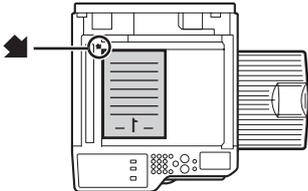
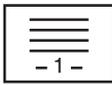
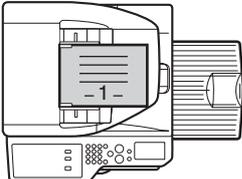
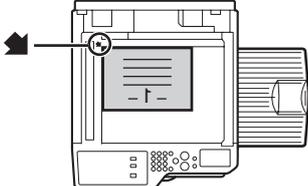
 システム設定（管理者）「デフォルト宛先設定」で初期状態の宛先を設定しておく、モードの切り替えや、送信先の変更・追加はできません。モードを切り替えるときや、送信先を変更する場合は、タッチパネルの[キャンセル]キーをタッチしてから下記操作を行ってください。
ただし、「デフォルト宛先設定」で「ログインしたユーザーのE-mailアドレスを適用する」を設定した場合は、タッチパネルの[宛先追加]キーをタッチすると、モードの切り替えや送信先の追加を行うことができます。



原稿をセットする

原稿サイズ検知板の下には物を置かないでください。物がはさまった状態で原稿自動送り装置を閉じると原稿サイズ検知板がこわれたり、原稿サイズが正しく検知されないことがあります。

 原稿をセットするときは次の向きでセットしてください。

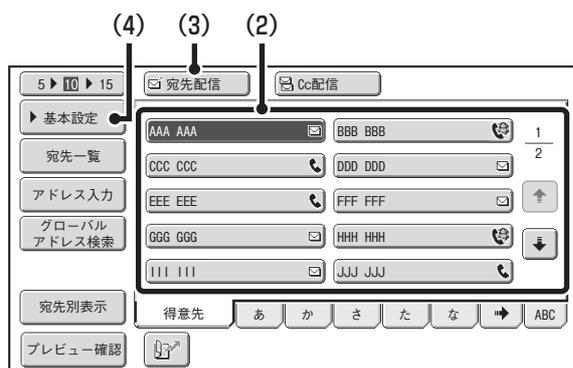
原稿	原稿セット台 原稿は上向きにセットしてください。	原稿台（ガラス面） 原稿は下向きにセットし、原稿台スケール左上の▲マークの先に原稿の角を合わせてください。
縦向きの場合※ 		
横向きの場合 		

※大きなサイズの縦向き原稿をセットするときは、上の図の「横向きの場合」と同じように横長方向にセットし、手順3で原稿のセット方向を指定してください。

- A5サイズの原稿は縦長方向（）にセットしてください。横長方向（）にセットすると誤ったサイズで検知されます。A5Rサイズで原稿をセットするときは原稿サイズを手動で設定してください。
- 1回の送信操作で、原稿セット台と原稿台（ガラス面）の両方から原稿を順次読み込ませることはできません。

1

2



送信先を指定する

(1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする

(2) 送信先のワンタッチキーをタッチする

ワンタッチキーに登録されている送信先の種類は、キーに表示されるアイコンで確認できます。

- : E-mail送信スキャン
- : ファイルサーバー送信スキャン
- : 共有フォルダー送信スキャン
- : デスクトップ送信スキャン

(3) [宛先配信]キーをタッチする

送信先に指定されます。

(4) [基本設定]キーをタッチする



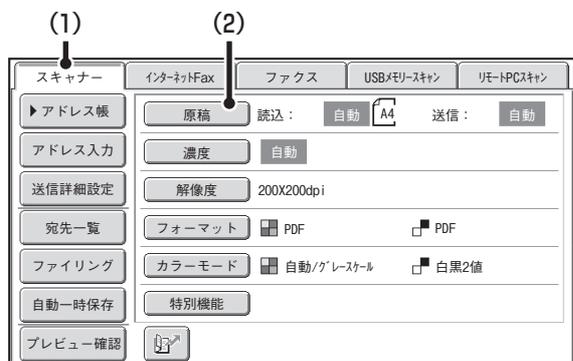
- ワンタッチキーをタッチしたあと、[宛先配信]キーをタッチせずに画面を切り替えたときは、自動的に宛先配信として送信先に指定されます。
- E-mail送信スキャンを行うときは、別の宛先へCcやBccで送信することができます。送信先のキーをタッチしたあと[Cc配信]キーまたは[Bcc配信]キーをタッチしてください。
- 送信先に複数の宛先を指定することができます。その場合は、(2)(3)の操作を繰り返してください。
- 複数のワンタッチキーを選択してから[宛先配信]キー（または[Cc配信]キー、[Bcc配信]キー）をタッチして、まとめて送信先に指定することもできます。
- 送信先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、E-mail送信スキャンや共有フォルダーの送信先は手動で入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「[送信先の入力方法について](#)」(5-18ページ)を参照してください。



システム設定（管理者）：Bcc配信設定

Bcc配信を行うかどうか設定できます。有効にすると、アドレス帳画面に[Bcc配信]キーが表示されます。

3



スキャナーモードに切り替え、原稿設定画面を表示する

(1) [スキャナー]タブをタッチする

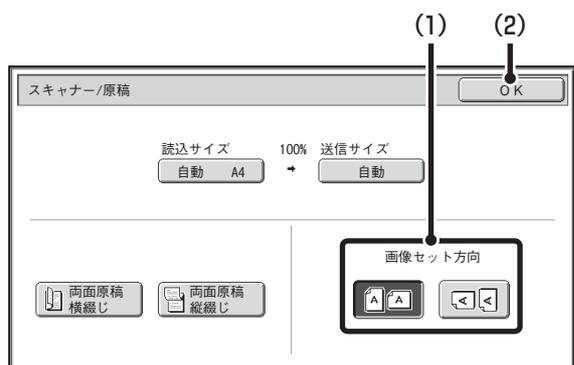
(2) [原稿]キーをタッチする



[原稿]、[濃度]、[解像度]、[フォーマット]、[カラーモード]のそれぞれのキーの右側には、現在の設定値が表示されます。設定内容を変更するときは、それぞれのキーをタッチして行ってください。

- ☞ [原稿の表裏を自動的に読み込む（両面原稿）](#) (5-54ページ)、[原稿の読み込みサイズ／送信サイズを指定する（拡大・縮小）](#) (5-55ページ)、[原稿の濃度と原稿種類を変える](#) (5-61ページ)、[原稿の解像度を変える](#) (5-63ページ)、[フォーマットを変える](#) (5-64ページ)、[カラーモードを変える](#) (5-68ページ)、[特別機能について](#) (5-71ページ)

4



原稿のセット方向を指定する

原稿を正しい向き（ディスプレイの上部に原稿の天部が表示される向き）でスキャンするために、手順1でセットした原稿の向きを指定します。

(1) 原稿をセットした向きのキーをタッチする

原稿の天部を上向きにセットしたときは **[A A]** キーを、左向きにセットした場合は **[<<]** キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする

手順2の画面に戻ります。

原稿のセット方向は、最初 **[A A]** に設定されているため、原稿の天部を上にしてセットした場合はこの操作を行う必要はありません。

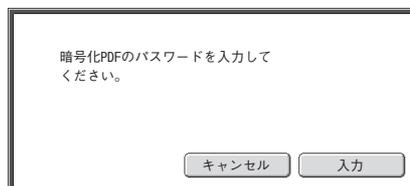
5

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、タッチパネルに[読み込み終了]キーが表示されます。原稿が1枚のときは手順7へ、続けて原稿を読み込むときは、次の手順へ進んでください。
- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、原稿の読み込みが正常に終了すると「ピー」音が鳴り、送信操作が完了します。

- フルカラーで読み込むときは[カラースタート]キーを、白黒で読み込むときは[白黒スタート]キーを押してください。[カラースタート]キーのカラーモード設定が[自動]に設定されているときは、原稿で使用されている色を自動検知してフルカラー、グレースケールまたは白黒2値で読み込まれます。
- ファイル形式を暗号化PDFに設定（フォーマット設定画面で[PDF]を選択し、[暗号化]チェックボックスを に設定）しているときは、[スタート]キーを押すとパスワードの入力を要求する画面が表示されます。



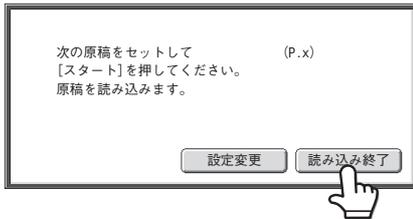
[入力]キーをタッチしてキーボード画面に切り替え、パスワードを半角32文字以内で入力して[OK]キーをタッチしてください。入力したパスワードは、受信側が暗号化PDFを開くときに必要となります。

暗号化PDF形式をやめるときは、[キャンセル]キーをタッチしてください。フォーマット設定画面に切り替わり、ファイル形式を変更することができます。変更後は[スタート]キーを押して送信操作を行ってください。

6

原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、次の原稿と入れ替えて、[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

送信する原稿をすべて読み込むまで、この操作を繰り返します。



[読み込み終了]キーをタッチする

「ピー」音が鳴り、送信操作が完了します。
原稿自動送り装置を開いて原稿を取り出してください。



- 確認画面が表示されてから約1分間この操作を行わないと、自動的に読み込みを終了し送信予約されます。
- [設定変更]キーをタッチすると、読み込む原稿ごとに濃度や解像度、読み込みサイズ／送信サイズを変更することができます。ただし、特別機能の「カードスキャン」を設定している場合で、偶数枚目の原稿を読み込むときは、濃度のみ変更することができます。



- 原稿の読み込みがすべて終了すると、「予約しました。」のメッセージとジョブの管理番号を表示します。通信結果表または通信記録表で通信記録を確認する際に、この管理番号で通信記録を調べることができます。また、同報送信を行った際にジョブ状況画面から通信結果を確認する場合、この番号がジョブのキーに表示されますので、この番号を控えておくことでジョブの確認が容易に行えます。
- 原稿を読み込み中にメモリーがいっぱいになったときは、メッセージを表示して原稿の読み込みを中止します。
- E-mail送信スキャンを行う際は、送信するデータのサイズが大きくなりすぎないように注意してください。サイズが大きくなりがちな複数枚の原稿を送信したいときなどは、原稿の読み込みページ数を減らしたり、送信サイズを小さくするなど工夫が必要です。
- **メールフッターの登録について**
メール本文の最終部に、文章を自動的に付加することができます。コーポレートポリシーなど、定型文の付加をするときに便利な機能です。付加する文章の内容は、Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[ネットワークスキャナー設定]→[管理設定]をクリックして入力します。(管理者権限が必要です。)最大全角／半角900文字入力できます。(メール本文の最大入力文字数には含まれません。)
システム設定(管理者)の「メールフッターのプリセット」で、メールフッターを付加するかどうか設定できます。



原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。



- **システム設定(管理者)：ファクス/イメージ送信設定**
原稿の解像度や濃度の初期状態を変更する設定、標準で使用するカラーモードやファイルフォーマットの設定、同報時のファイル圧縮形式の設定、E-mail送信スキャンを行うときの送信するデータのサイズを制限する設定、標準で使用する送信者や送信先の設定など、スキャン送信に関する設定ができます。
- **システム設定(管理者)：メールフッターのプリセット**
メール本文の最終部に、文章を自動的に付加するかどうか設定します。工場出荷時の状態では、付加しないように設定されています。

件名、ファイル名、返信先名、メール本文を変える

スキャン送信を行うときに、件名、ファイル名、返信先名、メール本文を変更することができます。文字を直接入力することもできます。

- ファイルサーバー送信スキャン、デスクトップ送信スキャン、共有フォルダー送信スキャンを行うときは、ファイル名のみ適用されます。
- 件名、ファイル名を変更しないときは、Webページで設定された内容が使用されます。
- 返信先を変更しないときは、システム設定（管理者）の「標準送信者登録」で設定された内容が使用されます。設定されていない場合は、Webページのメニューにある[ネットワーク設定]→[サービス設定]→[SMTP設定]の返信アドレスを使用します。（管理者権限が必要です。）
- 件名、ファイル名、メール本文の候補は、Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[ネットワークスキャナー設定]をクリックして行います。
- 文字入力のしかたは、「1. お使いになる前に」の「[文字入力について](#)」（1-71ページ）を参照してください。

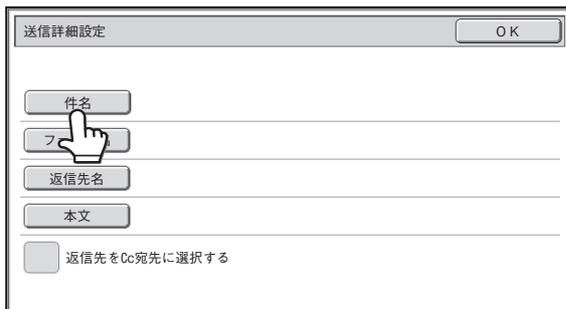
基本画面の[送信詳細設定]キーをタッチする

1

☞ [基本画面について](#)（5-9ページ）

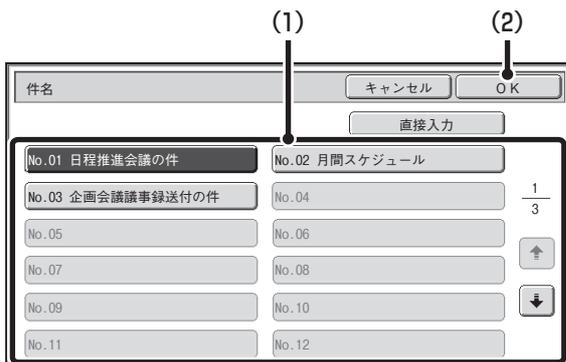
ファイルサーバー送信スキャン、デスクトップ送信スキャン、共有フォルダー送信スキャンの宛先に送信するときは、手順4へ進んでください。

2



件名を変更するときは[件名]キーをタッチする

3



件名を入力する

- (1) 定型文のキーをタッチする
- (2) [OK]キーをタッチする

- 文字を直接入力するときは[直接入力]キーをタッチして文字入力画面に切り替えます。件名を入力して[OK]キーをタッチしてください。
- 定型文のキーをタッチしてから[直接入力]キーをタッチすると、定型文を編集することができます。文字入力画面に切り替わり、選択した定型文が入力された状態で表示されます。（Webページを使って登録する場合は、最大全角／半角80文字入力できますが、タッチパネルでは、最大全角／半角54文字までしか入力できません。）

4



ファイル名を変更するときは[ファイル名]キーをタッチする

- ファイル名の入力方法は、件名の入力方法と同様の操作で行ってください。
- ファイルサーバー送信スキャン、デスクトップ送信スキャン、共有フォルダー送信スキャンの宛先に送信するときは、手順9へ進んでください。

5

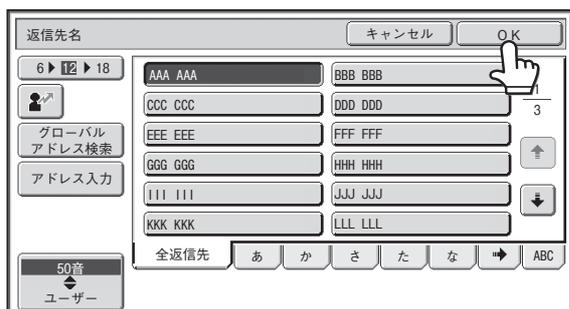


返信先を変更するときは[返信先名]キーをタッチする



ユーザー認証機能を使用している場合は、ログインしたユーザー情報が適用されるため、返信先を変更することはできません。

6



返信先を指定して[OK]キーをタッチする

- 返信先に使用するキーをタッチしてください。
- 返信先の選択と同様に、[グローバルアドレス検索]キーをタッチしてグローバルアドレス帳に登録されているユーザーを返信先に指定することができます。また、[アドレス入力]キーをタッチしてE-mailアドレスを直接入力することもできます。



- [ユーザー]キーをタッチすると、システム設定（管理者）の「ユーザーリスト」であらかじめ設定されている「登録No.」を入力して返信先を指定することができます。
- 返信先に使用するキーを選択するには、システム設定（管理者）の「ユーザーリスト」で登録するユーザーにE-mailアドレスを設定しておく必要があります。

7

メール本文を変更するときは[本文]キーをタッチする

8

メール本文を入力し、[OK]キーをタッチする

- あらかじめWebページで登録した定型文を選択するときは、[定型文選択]キーをタッチしてください。
- 本文を直接入力するときは、[編集]キーをタッチしてください。



- 最大全角／半角1800文字入力できます。(改行は1文字となります。)
- 入力した全内容を消去するときは、[全内容消去]キーをタッチしてください。タッチするとすぐに、選択している行だけでなくメール本文の全内容が消去されます。
- 入力した文章は、▼▲キーで行単位で選択できます。選択した行を編集したいときは、[編集]キーをタッチしてください。文字入力画面に切り替わり、選択した文章が入力された状態で表示されます。

9

[OK]キーをタッチする



[返信先をCc宛先を選択する]チェックボックスをタッチして☑にしたときは、返信先にCcで送信することができません。



件名およびファイル名の定型文は、Webページで登録するときは最大全角／半角80文字入力できます。



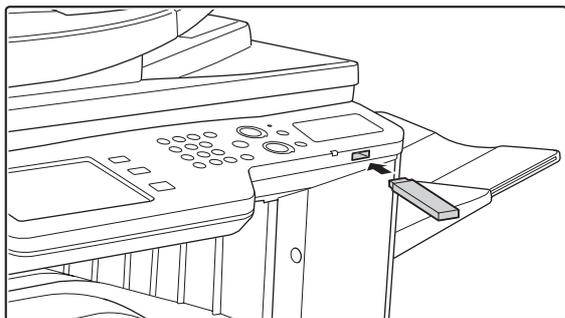
- システム設定（管理者）：件名/ファイル名/本文表示件数切替
一度に表示する件名とファイル名の個数を6件、12件、18件に変更します。
- システム設定（管理者）：標準送信者登録
返信先を選択しなかった場合に適用される返信先の名前とE-mailアドレスを登録します。

USBメモリースキャンモードで送信する

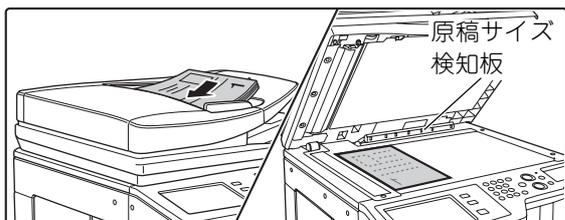
スキャンしたデータを本機に接続した市販のUSBメモリーに送信して保存します。

- FAT32形式のフォーマットで32GB以下のUSBメモリーをお使いください。
- システム設定（管理者）「デフォルト宛先設定」で初期状態の宛先を設定しておく、モードの切り替えはできません。USBメモリースキャンモードに切り替える場合は、タッチパネルの[キャンセル]キーをタッチしてから下記操作を行ってください。

1



本機のUSBコネクタ（Aタイプ）にUSBメモリーを接続する



原稿をセットする

原稿サイズ検知板の下には物を置かないでください。物がはさまった状態で原稿自動送り装置を閉じると原稿サイズ検知板がこわれたり、原稿サイズが正しく検知されないことがあります。

- 原稿をセットするときは次の向きでセットしてください。

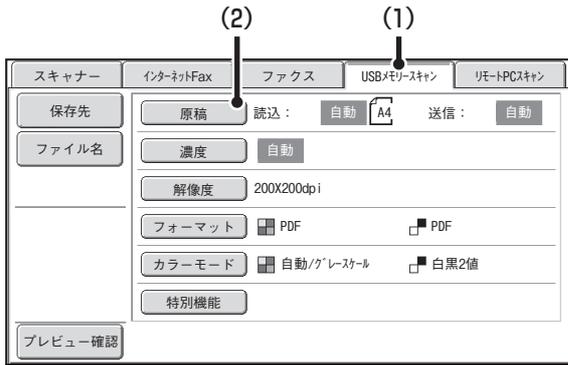
2

原稿	原稿セット台 原稿は上向きにセットしてください。	原稿台（ガラス面） 原稿は下向きにセットし、原稿台スケール左上の ▲マークの先に原稿の角を合わせてください。
縦向きの場合※ 		
横向きの場合 		

※大きなサイズの縦向き原稿をセットするときは、上の図の「横向きの場合」と同じように横長方向にセットし、手順4で原稿のセット方向を指定してください。

- A5サイズの原稿は縦長方向（）にセットしてください。横長方向（）にセットすると誤ったサイズで検知されます。A5Rサイズで原稿をセットするときは原稿サイズを手動で設定してください。
- 1回の送信操作で、原稿セット台と原稿台（ガラス面）の両方から原稿を順次読み込ませることはできません。

3



USBメモリスキャンモードに切り替え、原稿設定画面を表示する

(1) [USBメモリスキャン]タブをタッチする

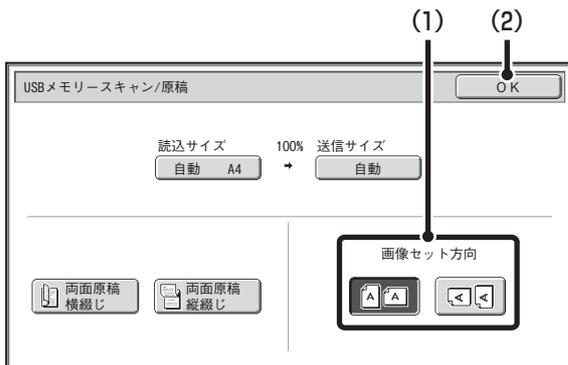
[USBメモリスキャン]タブが表示されていない場合は、 タブをタッチして画面を切り替えてください。

(2) [原稿]キーをタッチする



- USBメモリーにスキャンデータを送信するときは、送信先を指定する必要はありません。
- すでに他のモードの送信先が指定されているときにUSBメモリスキャンモードに切り替えたときは、送信先などの設定内容をクリアする確認メッセージが表示されます。[OK]キーをタッチし、次の手順へ進んでください。
- [原稿]、[濃度]、[解像度]、[フォーマット]、[カラーモード]のそれぞれのキーの右側には、現在の設定値が表示されます。設定内容を変更するときは、それぞれのキーをタッチして行ってください。
 - **原稿の表裏を自動的に読み込む（両面原稿）**（5-54ページ）、**原稿の読み込みサイズ／送信サイズを指定する（拡大・縮小）**（5-55ページ）、**原稿の濃度と原稿種類を変える**（5-61ページ）、**原稿の解像度を変える**（5-63ページ）、**フォーマットを変える**（5-64ページ）、**カラーモードを変える**（5-68ページ）、**特別機能について**（5-71ページ）

4



原稿のセット方向を指定する

原稿を正しい向き（ディスプレイの上部に原稿の天部が表示される向き）でスキャンするために、手順2でセットした原稿の向きを指定します。

(1) 原稿をセットした向きのキーをタッチする

原稿の天部を上向きにセットしたときは  キーを、左向きにセットした場合は  キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする

手順3の画面に戻ります。



- 原稿のセット方向は、最初  に設定されているため、原稿の天部を上にしてセットした場合はこの操作を行う必要はありません。

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

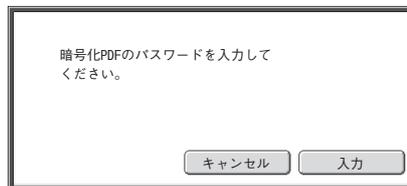
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、タッチパネルに[読み込み終了]キーが表示されます。原稿が1枚のときは手順7へ、続けて原稿を読み込むときは、次の手順へ進んでください。
- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、原稿の読み込みが正常に終了すると「ピー」音が鳴り、送信を開始します。手順8へ進んでください。



タッチパネルに「データ書き込みが完了しました」と表示されるまでUSBメモリーは抜き取らないでください。



- フルカラーで読み込むときは[カラースタート]キーを、白黒で読み込むときは[白黒スタート]キーを押してください。[カラースタート]キーのカラーモード設定が[自動]に設定されているときは、原稿で使用されている色を自動検知してフルカラー、グレースケールまたは白黒2値で読み込まれます。
- ファイル形式を暗号化PDFに設定（フォーマット設定画面で[PDF]を選択し、[暗号化]チェックボックスをに設定）しているときは、[スタート]キーを押すとパスワードの入力を要求する画面が表示されます。



[入力]キーをタッチしてキーボード画面に切り替え、パスワードを半角32文字以内で入力して[OK]キーをタッチしてください。入力したパスワードは、受信側が暗号化PDFを開くときに必要となります。

暗号化PDF形式をやめるときは、[キャンセル]キーをタッチしてください。フォーマット設定画面に切り替わり、ファイル形式を変更することができます。変更後は[スタート]キーを押して送信操作を行ってください。

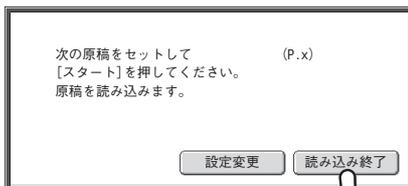
5

6

原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、次の原稿と入れ替えて、[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

送信する原稿をすべて読み込むまで、この操作を繰り返します。

7



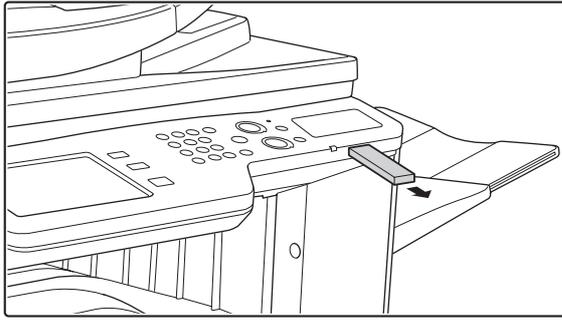
[読み込み終了]キーをタッチする

「ピー」音が鳴り、読み込み操作が完了します。原稿自動送り装置を開いて原稿を取り出してください。



- 確認画面が表示されてから約1分間この操作を行わないと、自動的に読み込みを終了し送信予約されます。
- [設定変更]キーをタッチすると、読み込む原稿ごとに濃度や解像度、読み込みサイズ/送信サイズを変更することができます。ただし、特別機能の「カードスキャン」を設定している場合で、偶数枚目の原稿を読み込むときは、濃度のみ変更することができます。

8



タッチパネルに「データ書き込みが完了しました」と表示されたら、USBメモリーを抜き取る

❗ タッチパネルに「処理中です」や「データ書き込み中です」と表示されているときは、USBメモリーを抜き取らないでください。

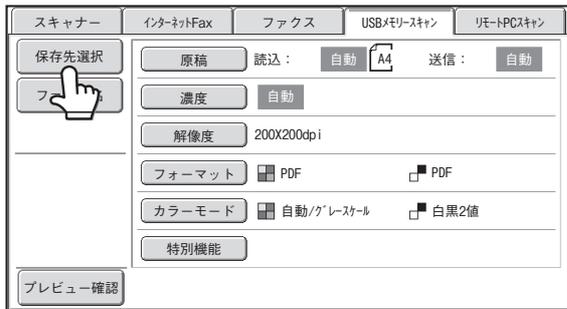
- ✎ • USBメモリーへの送信が完了すると、「データ書き込みが完了しました」のメッセージが表示されます。しばらくするとメッセージが消え、イメージ送信モードの基本画面に戻ります。(イメージ送信モードの基本画面とは、操作パネルの[ファクス/イメージ送信]キーをタッチしたときに表示される画面です。)
- **原稿の読み込み中にUSBメモリーがいっぱいになったときは…**
メッセージが表示され、原稿の読み込みが中止されます。データは保存されません。ただし、ファイルフォーマットにJPEGを指定、または「ページ毎にファイル化」チェックボックスを有効にした場合、書き込みが完了したファイルはUSBメモリーに保存されます。
- ↺ • **原稿の読み込みを中止するには…**
[ストップ]キー (⏏) を押して中止してください。
- **USBメモリーへの書き込みを中止するには…**
スキャンデータの保存中は、「データ書き込み中です」というメッセージと[キャンセル]キーがタッチパネルに表示されます。データの保存を中止するときは、[キャンセル]キーをタッチしてください。
- ⚙️ • **システム設定：USBデバイス確認 (7-31ページ)**
本機に接続されているUSB機器の接続状況を確認できます。
- **システム設定 (管理者)：スキャナー設定**
標準で使用するカラーモードやファイルフォーマットの設定ができます。
- **システム設定 (管理者)：スキャン機能の禁止**
リモートPCスキャンとUSBメモリースキャンの使用を禁止することができます。

ファイルの保存先（フォルダー）を指定する

USBメモリーに送信するデータの保存先（フォルダー）を指定することができます。また、USBメモリー内にフォルダーを新しく作成することもできます。

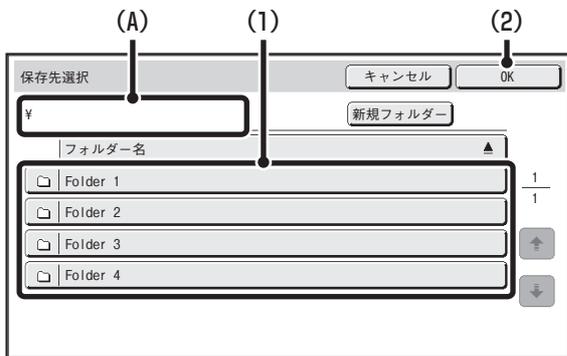
 ファイルの保存先を指定しないときは、USBメモリー内の第1階層に保存されます。

1



[保存先選択]キーをタッチする

2



保存先を選択する

(1) 保存するフォルダーのキーをタッチする

選択したフォルダー内に別のフォルダーがある場合は、さらにそのフォルダーを選択することができます。(A)部には、現在の階層が表示されます。

(2) [OK]キーをタッチする

基本画面に戻り、[保存先選択]キーが反転表示されます。



- 現在表示されている階層に新しくフォルダーを作成するときは、[新規フォルダー]キーをタッチしてください。文字入力画面が表示されるので、フォルダー名を入力して[OK]キーをタッチします。文字入力のしかたは、「1. お使いになる前に」の「[文字入力について](#)」(1-71ページ)を参照してください。
-  キーをタッチすると、一つ上の階層に移動します。このキーは、第2階層以下のフォルダーが選択されているときに表示されます。
- 画面に表示されているキーの並び順を変更したいときは、それぞれの画面で▲または▼が表示されているキーをタッチしてください。タッチするごとに、昇順、降順の順に切り替わります。

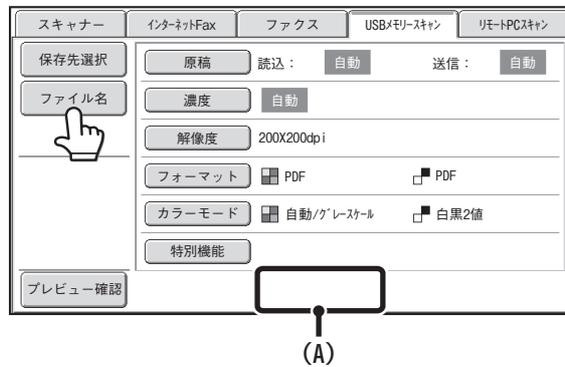
 使用するコンピュータのOS（オペレーティングシステム）の表示字数制限内に収まるように、フォルダー名とファイル名を指定してください。指定したフォルダー名とファイル名が、表示字数制限を超えていると、スキャンしたファイルが表示できない場合があります。

ファイル名を入力する

スキャン送信を行うときに、ファイル名を直接入力することができます。



- ファイル名を入力しないときは、Webページで設定された内容が使用されます。
- 文字入力のしかたは、「1. お使いになる前に」の「[文字入力について](#)」(1-71ページ)を参照してください。

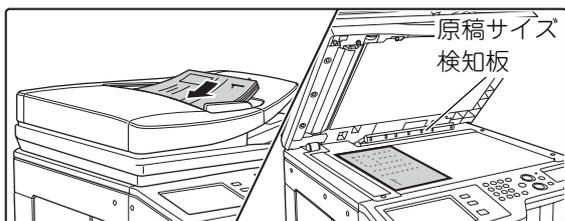


[ファイル名]キーをタッチすると、文字入力画面が表示されます。ファイル名を入力して[OK]キーをタッチしてください。入力したファイル名は、(A) 部に表示されます。

インターネットFaxモードで送信する

インターネットFaxモードの基本的な送信のしかたを説明します。また、ダイレクトSMTPを利用した直接通信のしかたについても次の手順で行うことができます。

 システム設定（管理者）「デフォルト宛先設定」で初期状態の宛先を設定しておく、モードの切り替えや、送信先の変更・追加はできません。インターネットFaxモードに切り替える場合は、タッチパネルの[キャンセル]キーをタッチしてから下記操作を行ってください。
ただし、「デフォルト宛先設定」で「ログインしたユーザーのE-mailアドレスを適用する」を設定した場合は、タッチパネルの[宛先追加]キーをタッチすると、モードの切り替えや送信先の追加を行うことができます。



原稿をセットする

- 原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。
- 原稿サイズ検知板の下には物を置かないでください。物がはさまった状態で原稿自動送り装置を閉じると原稿サイズ検知板がこわれたり、原稿サイズが正しく検知されないことがあります。

1

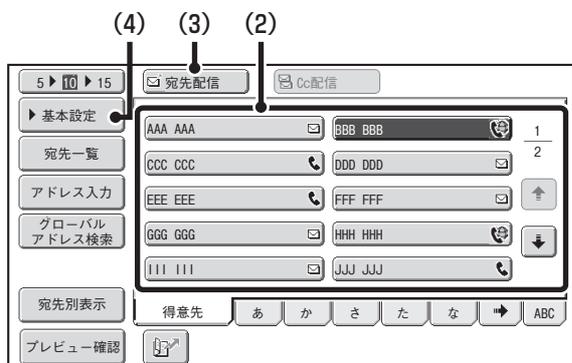
-  A5サイズの原稿は縦長方向（)にセットしてください。横長方向（)にセットすると誤ったサイズで検知されます。A5Rサイズで原稿をセットするときは原稿サイズを手動で設定してください。
- **回転送信について**
A4、B5R、A5Rの原稿は、90°回転してそれぞれA4R、B5、A5の向きで送信されます。（A4R、B5、A5サイズの原稿は回転送信できません。）



- 1回の送信操作で、原稿セット台と原稿台（ガラス面）の両方から原稿を順次読み込ませることはできません。

-  **システム設定（管理者）：回転送信の設定**
読み込んだ原稿を90°回転させて送信するかどうかを設定します。
初期状態では、A4原稿をA4Rの向き、B5RをB5の向き、A5RをA5の向きに回転して送信するように設定されています。

2

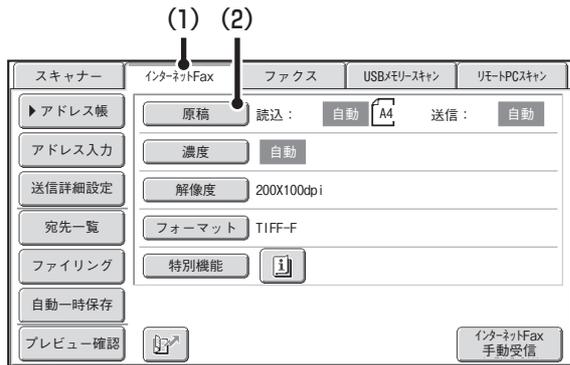


送信先を指定する

- (1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする
- (2) 送信先のキーをタッチする
インターネットFaxのアドレスが登録されたワンタッチキーは、のアイコンを表示しています。
- (3) [宛先配信]キーをタッチする
送信先に指定されます。
- (4) [基本設定]キーをタッチする

-  ワンタッチキーをタッチしたあと、[宛先配信]キーをタッチせずに画面を切り替えたときは、自動的に送信先に指定されます。
- 送信先は、ワンタッチキーでの指定以外に、検索番号で指定することができます。また、手動で入力したり、グローバルアドレス帳から検索したりする方法があります。詳しくは、「[送信先の入力方法について](#)」(5-18ページ)を参照してください。

3



インターネットFaxモードに切り替え、原稿設定画面を表示する

(1) [インターネットFax]タブをタッチする

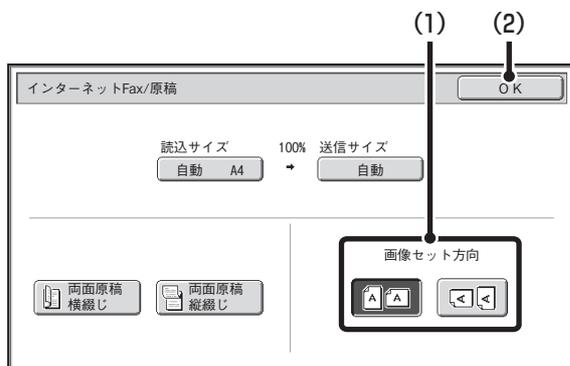
(2) [原稿]キーをタッチする



[原稿]、[濃度]、[解像度]、[フォーマット]のそれぞれのキーの右側には、現在の設定値が表示されます。設定内容を変更するときは、それぞれのキーをタッチして行ってください。

- 原稿の表裏を自動的に読み込む(両面原稿) (5-54ページ)、原稿の読み込みサイズ/送信サイズを指定する(拡大・縮小) (5-55ページ)、原稿の濃度と原稿種類を変える (5-61ページ)、原稿の解像度を変える (5-63ページ)、フォーマットを変える (5-64ページ)、特別機能について (5-71ページ)

4



原稿のセット方向を指定する

送信する画像の向きを設定するために、手順1でセットした原稿の向きを指定します。

(1) 原稿をセットした向きのキーをタッチする

原稿の天部を上向きにセットしたときは キーを、左向きにセットした場合は キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする

手順2の画面に戻ります。



原稿のセット方向は、最初 に設定されているため、原稿の天部を上にしてセットした場合はこの操作を行う必要はありません。

5

[白黒スタート]キーを押す

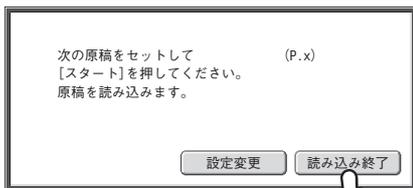
原稿の読み込みが始まります。

- 原稿台(ガラス面)に原稿をセットしたときは、タッチパネルに[読み込み終了]キーが表示されます。原稿が1枚のときは手順7へ、続けて原稿を読み込むときは、次の手順へ進んでください。
- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、原稿の読み込みが正常に終了すると「ピー」音が鳴り、送信操作が完了します。

6

原稿台(ガラス面)に原稿をセットしたときは、次の原稿と入れ替えて、[白黒スタート]キーを押す

送信する原稿をすべて読み込むまで、この操作を繰り返します。



[読み込み終了]キーをタッチする

「ピー」音が鳴り、送信操作が完了します。
原稿自動送り装置を開いて原稿を取り出してください。



- 確認画面が表示されてから約1分間この操作を行わないと、自動的に読み込みを終了し送信予約されます。
- [設定変更]キーをタッチすると、読み込む原稿ごとに濃度や解像度、読み込みサイズ／送信サイズを変更することができます。ただし、特別機能の「ページ集約」および「カードスキャン」を設定している場合で、偶数枚目の原稿を読み込むときは、濃度のみ変更することができます。



- 原稿の読み込みがすべて終了すると、「予約しました。」のメッセージとジョブの管理番号を表示します。通信結果表または通信記録表で通信記録を確認する際に、この管理番号で通信記録を調べることができます。また、同報送信を行った際にジョブ状況画面から通信結果を確認する場合、この番号がジョブのキーに表示されますので、この番号を控えておくことでジョブの確認が容易に行えます。
- 原稿を読み込み中にメモリーがいっぱいになったときは、メッセージを表示して原稿の読み込みを中止します。
- **メールフッターの登録について**
メール本文の最終部に、文章を自動的に付加することができます。コーポレートポリシーなど、定型文の付加をするときに便利な機能です。付加する文章の内容は、Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[ネットワークスキャナー設定]→[管理設定]をクリックして入力します。(管理者権限が必要です。)最大全角／半角900文字入力できます。(メール本文の最大入力文字数には含まれません。)システム設定(管理者)の「メールフッターのプリセット」で、メールフッターを付加するかどうか設定できます。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。



- **システム設定(管理者)：インターネットFax送信設定**
送達確認に関する設定、回転送信の設定、送信するデータのサイズを制限する設定、発信元情報の添付に関する設定など、インターネットFax送信に関する設定ができます。
- **システム設定(管理者)：メールフッターのプリセット**
メール本文の最終部に、文章を自動的に付加するかどうか設定します。工場出荷時の状態では、付加しないように設定されています。

件名、ファイル名、メール本文を変える

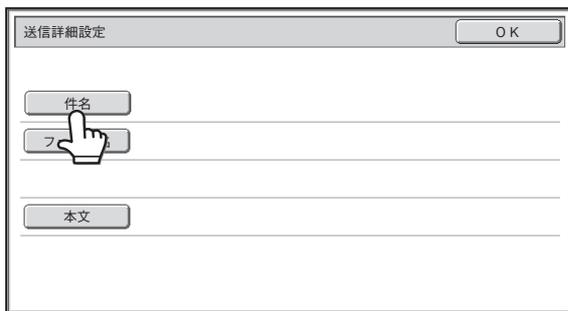
インターネットFax送信を行うときに、件名、ファイル名、メール本文を変更することができます。文字を直接入力することもできます。

- 件名、ファイル名を変更しないときは、Webページで設定された内容が使用されます。
- 件名、ファイル名、メール本文の候補は、Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[ネットワークスキャナー設定]をクリックして行います。
- 文字入力のしかたは、「1. お使いになる前に」の「[文字入力について](#)」(1-71ページ)を参照してください。

1 基本画面の[送信詳細設定]キーをタッチする

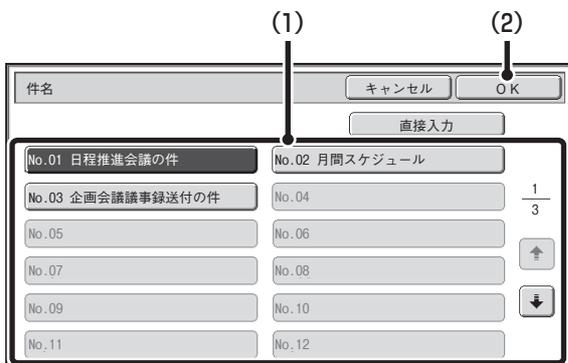
🔊 [基本画面について](#) (5-9ページ)

2



件名を変更するときは[件名]キーをタッチする

3



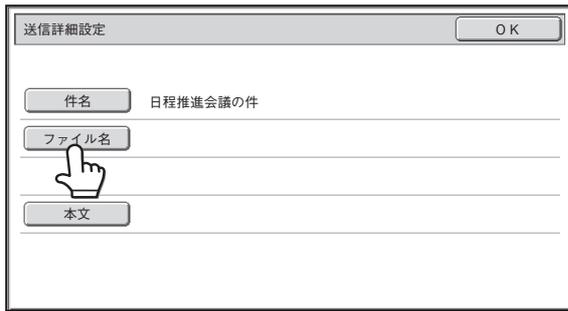
件名を入力する

(1) 定型文のキーをタッチする

(2) [OK]キーをタッチする

- 文字を直接入力するときは[直接入力]キーをタッチして文字入力画面に切り替えます。件名を入力して[OK]キーをタッチしてください。
- 定型文のキーをタッチしてから[直接入力]キーをタッチすると、定型文を編集することができます。文字入力画面に切り替わり、選択した定型文が入力された状態が表示されます。(Webページを使って登録する場合は、最大全角/半角80文字入力できますが、タッチパネルでは、最大全角/半角54文字までしか入力できません。)

4



ファイル名を変更するときは[ファイル名]キーをタッチする

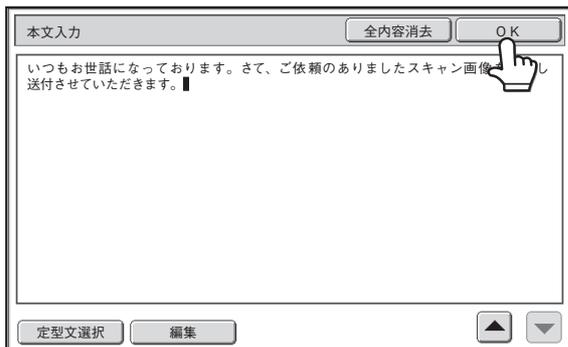
ファイル名の入力方法は、件名の入力方法と同様の操作で行ってください。

5



メール本文を変更するときは[本文]キーをタッチする

6



メール本文を入力し、[OK]キーをタッチする

- あらかじめWebページで登録した定型文を選択するときは、[定型文選択]キーをタッチしてください。
- 本文を直接入力するときは、[編集]キーをタッチしてください。



- 最大全角／半角1800文字入力できます。(改行は1文字となります。)
- 入力した全内容を消去するときは、[全内容消去]キーをタッチしてください。タッチするとすぐに、選択している行だけでなくメール本文の全内容が消去されます。
- 入力した文章は、▼ ▲ キーで行単位で選択できます。選択した行を編集したいときは、[編集]キーをタッチしてください。文字入力画面に切り替わり、選択した文章が入力された状態で表示されます。

7

[OK]キーをタッチする



件名およびファイル名の定型文は、Webページで登録するときは最大全角/半角80文字入力できます。

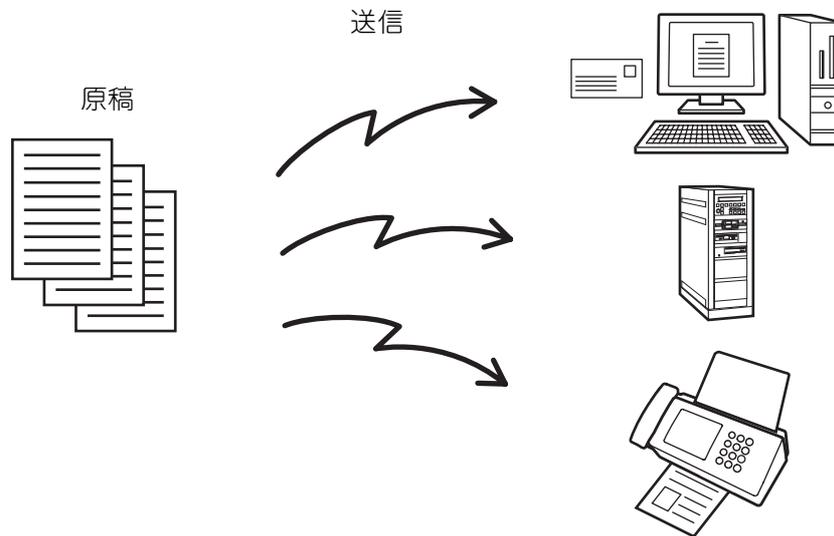


システム設定 (管理者) : 件名/ファイル名/本文表示件数切替

一度に表示する件名とファイル名の個数を6件、12件、18件に変更します。

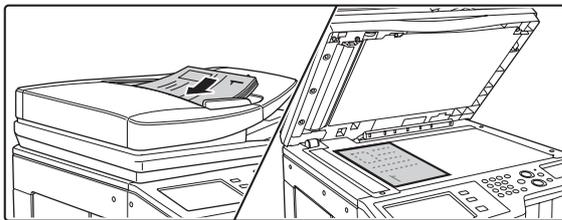
複数の宛先に同じ原稿をまとめて送信する (順次同報送信)

スキャナーモード、インターネットFaxモード、ファクスモードの宛先をまとめ、1回の操作で同じ原稿をスキャン送信することができます。1回の操作で最大500件まで送信できます。



同報送信を頻繁に行う送信先は、グループキーに登録しておく便利です。

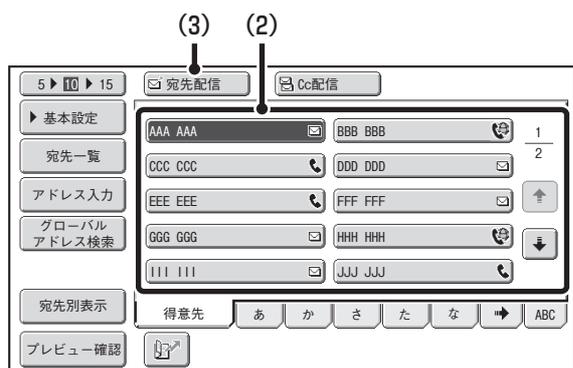
1



原稿をセットする

原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2



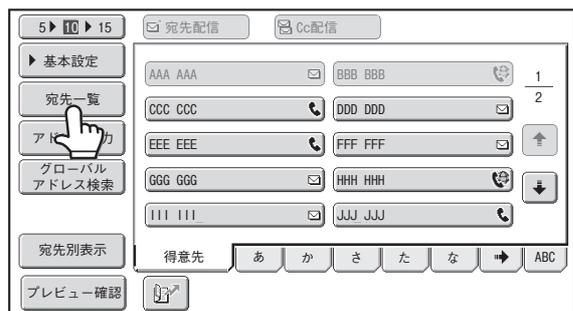
送信先を指定する

- (1) 基本画面の[アドレス帳]キーをタッチする
- (2) 送信先のワンタッチキーをタッチする
- (3) [宛先配信]キーをタッチする
送信先に指定されます。
- (4) すべての宛先を選択するまで (2)(3) の操作を繰り返す



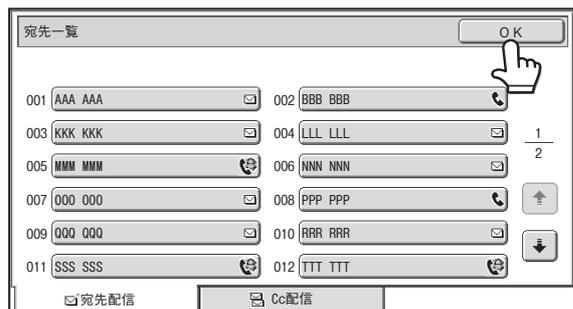
- Cc配信やBcc配信で送信するときは、それぞれの宛先に[Cc配信]キーまたは[Bcc配信]キーをタッチして指定する必要があります。
- システム設定（管理者）の「同報時の次宛先キー入力」が設定されているときは、次の送信先を指定する前に[次宛先]キーをタッチしてください。
- 同報送信できないモードのワンタッチキーは、薄く表示されタッチできません。
- 同報送信を行うときにファイルサーバー送信スキャン（ハイパーリンク）の宛先を指定したときは、ハイパーリンクのメール送信はできません。
- よく同報送信を行う送信先は、グループキーに登録しておく便利です。

3



[宛先一覧]キーをタッチする

4



送信先を確かめて[OK]キーをタッチする



Cc配信やBcc配信に設定した送信先があるときは、[Cc配信]タブまたは[Bcc配信]タブをタッチして同様に確認します。



指定した送信先を取り消すときは…

取り消したい送信先のワンタッチキーをタッチします。確認のメッセージが表示されますので[解除する]キーをタッチしてください。

指定した送信先を一覧表示で確かめる／解除する (5-20ページ)

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。
「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。
セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。
「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。



同報送信を行うときにインターネットFaxやファクスモードの宛先が含まれている場合は、[カラースタート]キーは押しません。白黒2値での読み込みになります。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー（）を押して中止してください。

インターネットFaxの送信先が含まれる同報送信について

スキャナーモードとインターネットFaxモードの送信先が含まれる同報送信は、原稿のセット方向や読み込み設定などでインターネットFaxモードの設定が優先されます。このような同報送信を行うときは、次の内容に注意してください。

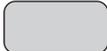
原稿セット方向	インターネットFaxモードのセット方向が優先されます。システム設定（管理者）の「回転送信の設定」が有効になっていると、画像を90度回転して送信するため、正しい向きで表示されない場合があります。	
送信サイズ	インターネットFaxモードのフォーマットを[TIFF-S]に設定したときは、A4Rサイズでしか送信できません。	
濃度	インターネットFaxの設定が優先されます。	
解像度	インターネットFaxモードのフォーマットを[TIFF-S]に設定したときは、スキャナーモードで高解像度の設定を行っていても[200X200dpi]に変更されます。	
ファイルの圧縮形式	システム設定（管理者）の「同報時のファイル圧縮形式」で設定した圧縮形式に統一されます。	
カラー読み込み	カラーモードの設定にかかわらず白黒2値で送信されます。	
特別機能	ページ集約	スキャナーモードでは設定できませんが、インターネットFaxモードで設定されたときのみ、スキャナーの宛先にも適用されます。
送信データサイズ	システム設定（管理者）の「送信データ上限値設定（E-mail）」または「送信データ上限値設定（FTP／デスクトップ／共有フォルダー）」でデータサイズの上限が設定されている宛先と同報送信を行う場合、設定されていない宛先も制限を受けます。（制限は、E-mail送信スキャンまたはインターネットFaxの設定が優先されます。）	

順次同報送信で送信に失敗した送信先に再送信する

ジョブ状況画面から、終了した順次同報送信の送信結果を表示して確認します。送信に失敗した宛先があった場合、その宛先に再送信します。

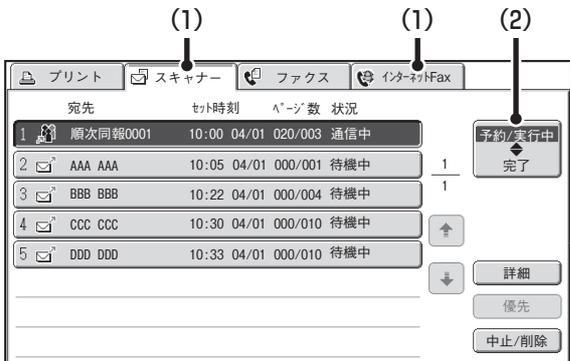
1

ジョブ状況



[ジョブ状況]キーを押す

2



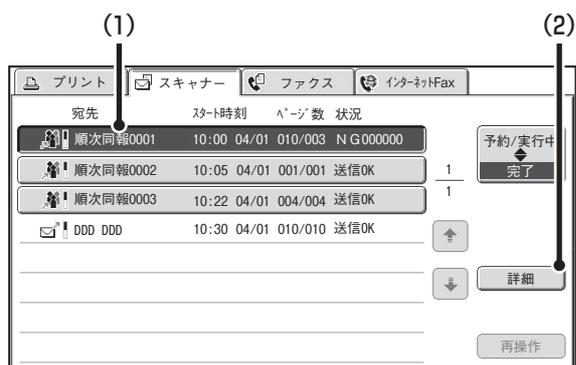
送信完了したジョブを表示する

(1) 表示するモードのタブをタッチする

(2) [完了]キーをタッチする

 モードの異なる送信先を含む同報送信を行ったときは、含まれるモードそれぞれに、同じ順次同報送信のキーが表示されます。

3



順次同報送信の詳細を表示する

- (1) 送信が終了した順次同報送信のキーをタッチする
- (2) [詳細]キーをタッチする



順次同報ジョブキーの宛先は「順次同報xxxx」と表示されます。“xxxx”には原稿読み込み終了時にタッチパネルに表示されるジョブの管理番号が入ります。

4



送信に失敗した宛先に再送信する

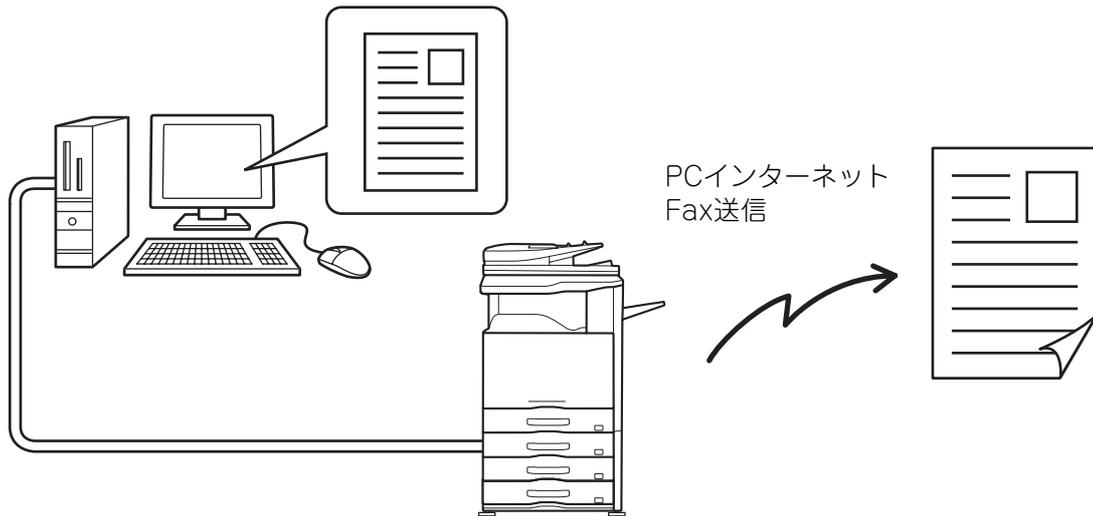
- (1) [通信失敗]タブをタッチする
- (2) [再コール]キーをタッチする



- ドキュメントファイリング機能を使用している場合と使用していない場合では[再コール]キーをタッチしたあとの操作が異なります。
ドキュメントファイリング機能を使用していないとき
 送信に失敗した宛先が入力された状態で基本画面を表示します。原稿をセットして順次同報送信の操作を行ってください。
- ドキュメントファイリング機能を使用しているとき**
 送信に失敗した宛先が入力された状態でドキュメントファイリングの再送信画面を表示します。ドキュメントファイリング再送信の操作を行ってください。(原稿を再読み込みする必要はありません。)
- (1)で[宛先一覧]タブをタッチすると送信した宛先をすべて表示します。画面に表示されている[再コール]キーをタッチして送信した宛先すべてに再送信することができます。

コンピュータのデータをインターネットFax送信する（PCインターネットFax）

コンピュータ上のデータを、本機を経由してインターネットFax送信します（PCインターネットFax機能）。PCインターネットFax機能を利用したインターネットFax送信は、プリントと同様の操作で行います。お使いのコンピュータのプリンタードライバーをPC-Faxドライバーに切り替えてプリント操作を行うと、送信用の画像データが作成され、インターネットFax送信が行われます。



操作方法については、PC-Faxドライバーのヘルプを参照してください。



- PCインターネットFax機能を利用してインターネットFax送信するには、PC-Faxドライバーをインストールし、インターネットファクス拡張キットに付属のCD-ROMでアップデートする必要があります。詳しくは、ソフトウェアセットアップガイドを参照してください。
- この機能は、お使いのコンピュータが、Windows環境の場合のみ使用できます。
- この機能は、送信のみ行えます。本機がインターネットFax受信したデータを、接続されているコンピュータ上で受信することはできません。

原稿の読み込み設定について

原稿の読み込み設定は、各モードの基本画面から行います。各設定を行うキーの右側には、それぞれの現在の設定状態が表示されています。



(1) [原稿]キー

原稿の読み込みサイズ、送信サイズ、原稿のセット方向、両面読み込みの設定を行うときにタッチします。

- ☞ 原稿の表裏を自動的に読み込む (両面原稿) (5-54ページ)、原稿の読み込みサイズ/送信サイズを指定する (拡大・縮小) (5-55ページ)

(2) [濃度]キー

原稿読み込み時の濃度を設定するときタッチします。

- ☞ 原稿の濃度と原稿種類を変える (5-61ページ)

(3) [解像度]キー

原稿読み込み時の解像度を設定するときタッチします。

- ☞ 原稿の解像度を変える (5-63ページ)

(4) [フォーマット]キー

読み込んだ原稿をデータ化するときのフォーマット (ファイルタイプ) を変更するときタッチします。

- ☞ フォーマットを変える (5-64ページ)

(5) [カラーモード]キー

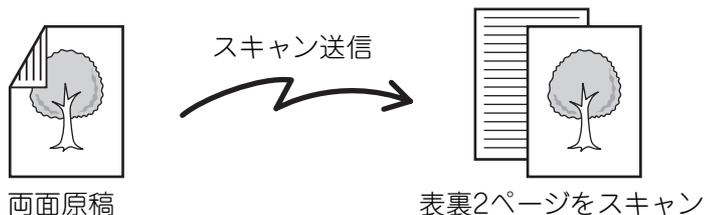
原稿読み込み時のカラーモードを設定するときタッチします。

インターネットFaxモードでは、このキーは表示されません。

- ☞ カラーモードを変える (5-68ページ)

原稿の表裏を自動的に読み込む（両面原稿）

原稿自動送り装置を使用して原稿の表裏を自動的に読み込みます。

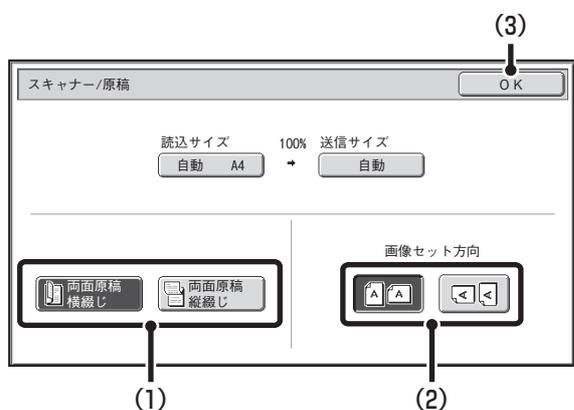


1

モードを切り替え、原稿設定画面を表示する

- (1) 使用するモードのタブをタッチする
 - (2) [原稿]キーをタッチする
- ☞ [原稿の読み込み設定について](#) (5-53ページ)

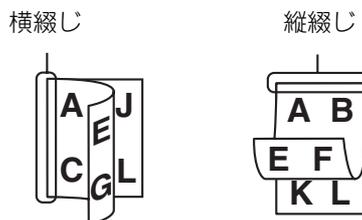
2



両面原稿の綴じ方向と原稿の画像セット方向を指定する

- (1) [両面原稿横綴じ]キーまたは[両面原稿縦綴じ]キーをタッチする

横綴じ、縦綴じとは以下のような綴じかたのことです。



- (2) セットした原稿の画像と同じ向き「画像セット方向」のキーをタッチする

この設定が正しくないと、適切な画像が送信されることがあります。

- (3) [OK]キーをタッチする

☞ 両面読み込みをやめるときは、反転しているキーをタッチして反転表示を解除してください。

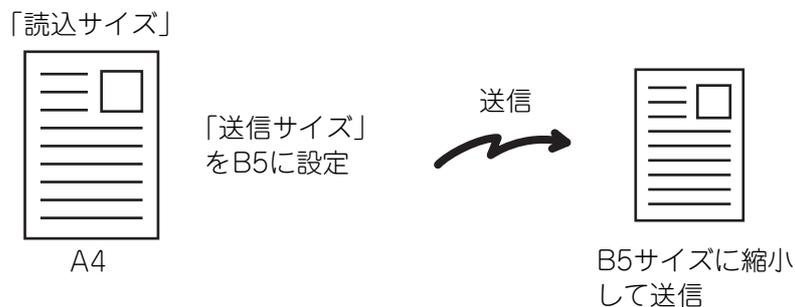
📎 両面原稿読み込みは、設定した送信操作が終了すると解除されます。

原稿の読み込みサイズ／送信サイズを指定する(拡大・縮小)

原稿をセットすると、原稿サイズが自動的に検知されて基本画面に表示されます。
 セットした原稿サイズが読み込みサイズ、送信するサイズが送信サイズとして表示されます。



上記画面の場合は読み込みサイズ(セットした原稿)がA4で送信サイズが自動となっていますが、たとえば読み込みサイズをA4、送信サイズをB5とすると縮小して送信されます。



- ✎ 原稿サイズを自動検知できるのは規定サイズの原稿をセットしたときです。
 - ☞ [規定サイズについて](#) (5-17ページ)
- 規定サイズ以外の原稿(インチ系の用紙など)をセットしたときや、原稿サイズが正しく検知されなかったときは原稿の読み込みサイズを手動で指定してください。
 - ☞ [原稿の読み込みサイズを指定する\(用紙サイズで指定する\)](#) (5-56ページ)
 - ☞ [原稿の読み込みサイズを指定する\(サイズを数値で指定する\)](#) (5-57ページ)

原稿の読み込みサイズを指定する（用紙サイズで指定する）

規定サイズ以外の原稿（A5Rサイズやインチ系の原稿など）をセットしたときや読み込みサイズを変更したいときは、[原稿]キーをタッチして手動で原稿サイズを指定する必要があります。原稿セット台または原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたあと、以下の操作を行います。

モードを切り替え、原稿設定画面を表示する

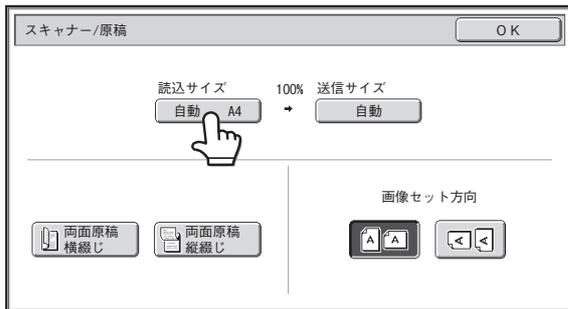
1

- (1) 使用するモードのタブをタッチする
- (2) [原稿]キーをタッチする

[原稿]キーの右側には、自動検知された原稿サイズが表示されます。

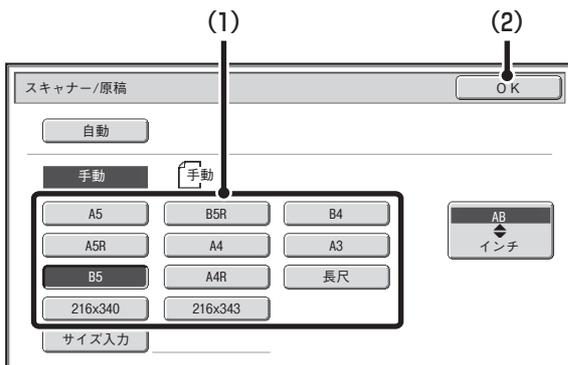
☞ [原稿の読み込み設定について](#)（5-53ページ）

2



「読み込みサイズ」のキーをタッチする

3



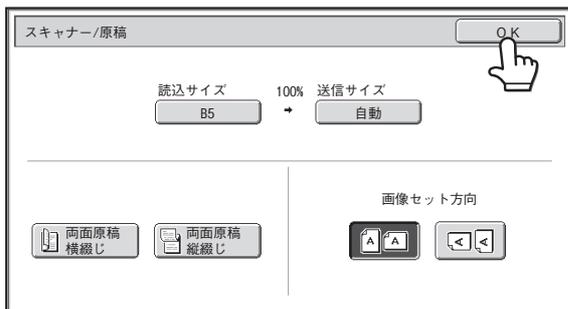
読み込みサイズを指定する

- (1) 原稿サイズのキーをタッチする
- (2) [OK]キーをタッチする



- 長い原稿（長尺原稿）を送信するときは、[長尺]キーをタッチしてください。長尺原稿は原稿自動送り装置を使用して読み込みます。最長1000mmまで（縦幅は297mm以内）読み込むことができます。
☞ [送信できる原稿サイズ](#)（5-17ページ）
- インチ系の読み込みサイズを設定する場合は、[AB◆インチ]キーをタッチして[インチ]部分を反転表示させてから読み込みサイズを指定してください。

4



[OK]キーをタッチする



[長尺]を選択したときは、両面読み込み設定や送信サイズの変更はできません。また、スキャン送信時、またはメタデータ送信時にスキャナー宛先のみを含む場合は、白黒2値で読み込まれます。

原稿の読み込みサイズを指定する（サイズを数値で指定する）

カードや郵便はがきなど、定形サイズで指定できないサイズを読み込みたいときは、以下の手順で用紙サイズを指定してください。用紙サイズは、横幅（X）：25mm～432mm、縦幅（Y）：25mm～297mmの範囲で指定できます。

モードを切り替え、原稿設定画面を表示する

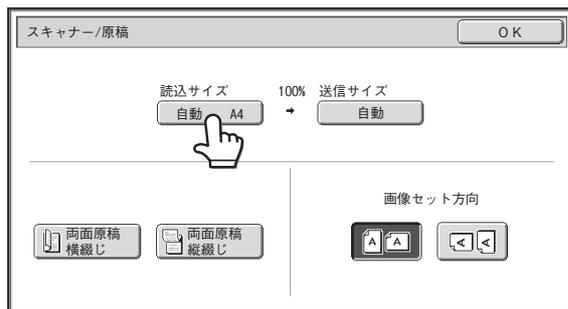
1

- (1) 使用するモードのタブをタッチする
- (2) [原稿]キーをタッチする

[原稿]キーの右側には、自動検知された原稿サイズが表示されます。

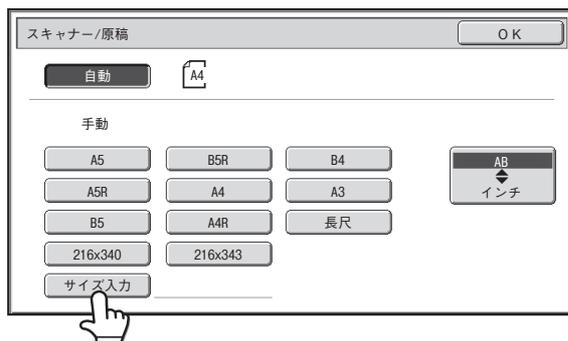
☞ [原稿の読み込み設定について](#)（5-53ページ）

2



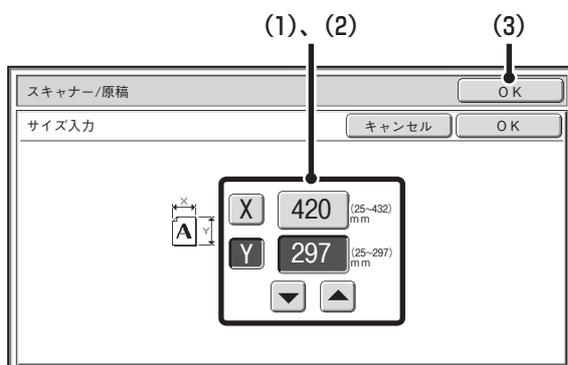
「読み込みサイズ」のキーをタッチする

3



[サイズ入力]キーをタッチする

4



読み込みサイズ（原稿サイズ）を入力する

- (1) X（横）方向の数値表示部のキーをタッチし、数字キーでX（横）方向のサイズを入力する
- (2) Y（縦）方向の数値表示部のキーをタッチし、数字キーでY（縦）方向のサイズを入力する
- (3) [OK]キーをタッチする

[キャンセル]キーの横にある[OK]キーをタッチすると、設定を完了して手順3の画面に戻ります。

☞ ▼ ▲ キーをタッチして数値を変更することもできます。

5



[OK]キーをタッチする

「読み込みサイズ」のキーに指定したサイズを表示しています。

- 読み込みサイズを数値で指定したときは、送信サイズは指定できません。
- 原稿自動送り装置を使用すると、横幅が432mmよりも長い原稿（最長1000mm）を読み込むことができます。その場合は、手順3の画面で[長尺]キーをタッチしてください。
 - ☞ 原稿の読み込みサイズを指定する（用紙サイズで指定する）（5-56ページ）
 - ☞ 送信できる原稿サイズ（5-17ページ）

原稿の送信サイズを指定する

原稿を送信するサイズを用紙サイズで指定します。読み込みサイズより大きなサイズを指定すると拡大、小さなサイズを指定すると縮小してスキャンします。

- 読み込みサイズで[長尺]を選択したときや読み込みサイズを数値(mm)で指定したときは、送信サイズは指定できません。
- インターネットFaxモードのフォーマットで[TIFF-S]を選択したときは、送信サイズは指定できません。(常にA4Rサイズで送信されます。)

モードを切り替え、原稿設定画面を表示する

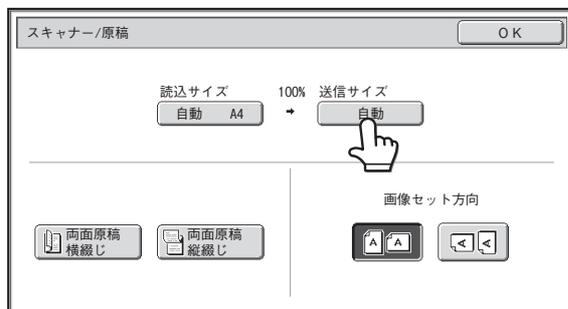
1

(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [原稿]キーをタッチする

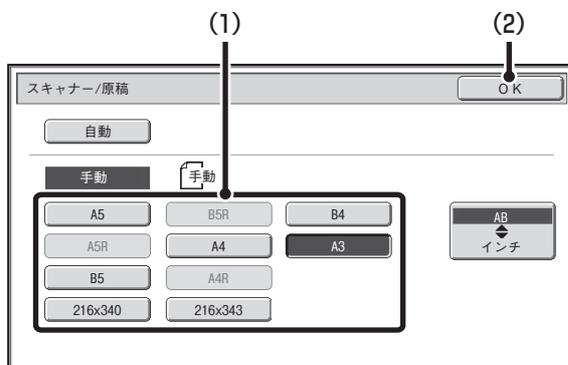
☞ [原稿の読み込み設定について](#) (5-53ページ)

2



「送信サイズ」のキーをタッチする

3

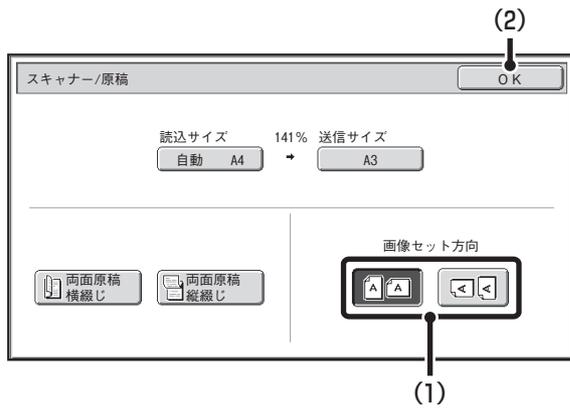


送信するサイズを指定する

(1) 送信するサイズのキーをタッチする

(2) [OK]キーをタッチする

- 「読み込みサイズ」で指定されている用紙サイズによっては、「送信サイズ」に指定できないサイズがあります。「送信サイズ」に指定できないサイズのキーは薄く表示されてタッチできません。
- インチ系の送信サイズを設定する場合は、[AB ◆ インチ]キーをタッチして[インチ]部分を反転表示させてから送信サイズを指定してください。



原稿の画像セット方向を指定する

(1) セットした原稿の画像と同じ向き of 「画像セット方向」のキーをタッチする

変倍送信時、この設定が正しくないと、適切な画像が送信されることがあります。

(2) [OK]キーをタッチする

 「読込サイズ」と「送信サイズ」のあいだに、原稿が拡大または縮小される倍率が表示されます。

原稿の濃度と原稿種類を変える

原稿に応じて濃度や原稿種類を選ぶことで、最適な読み込みを行うことができます。下表で濃度や原稿種類の選びかたを確認し、操作を行ってください。

濃度の選びかた

濃度		選びかた
自動		原稿の濃淡に合わせて、自動的に濃度調整されます。
手動	1~2	全体に濃い文字で書かれている原稿のときに選択します。
	3	普通の濃さの原稿のときに選択します。
	4~5	全体に淡い文字で書かれている原稿のときに選択します。

原稿種類の選びかた（スキャナーモード、USBメモリースキャンモード、データ入力モード）

設定項目		説明
自動		原稿の種類に合わせて、自動的に原稿種類が選択されます。
手動	文字/印刷写真	雑誌やカタログなどの印刷物をスキャンする際、グラフィア写真部分の画質だけでなく、記事などの文字部分の画質も重視したい場合に適しています。
	文字/印画紙写真	印画紙の写真を貼りつけた文字原稿などをスキャンするのに適しています。
	文字	通常の文字原稿に適しています。
	印画紙写真	印画紙の写真をスキャンするのに適しています。
	印刷写真	雑誌やカタログなどの印刷物を原稿としてスキャンする際、グラフィア写真部分の画質を優先したい場合に適しています。
	地図	淡い色などで色分けされ、細かい文字の入った地図をスキャンするのに適しています。

モードを切り替え、濃度設定画面を表示する

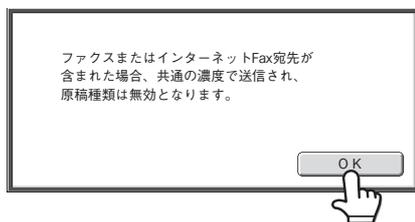
1

(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [濃度]キーをタッチする

☞ [原稿の読み込み設定について](#) (5-53ページ)

2



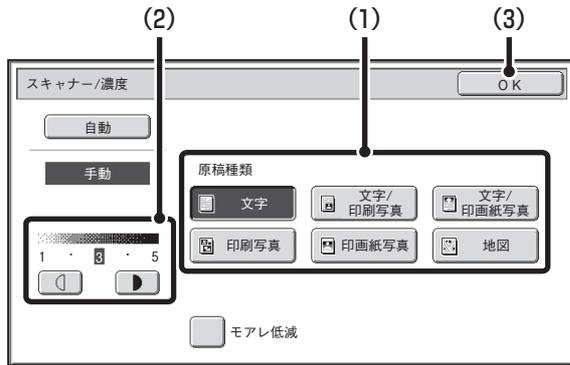
表示されたメッセージを確認し、[OK]キーをタッチする

USBメモリースキャンモードおよびインターネットFaxモードでは表示されません。次の手順へ進んでください。



スキャナーモードの送信先とインターネットFaxの送信先を指定した同報送信を行うときは、インターネットFaxモードの濃度設定が優先されます。

スキャナーモード、USBメモリースキャンモード、データ入力モード



濃度と原稿種類を選択する

(1) 原稿種類を選択する

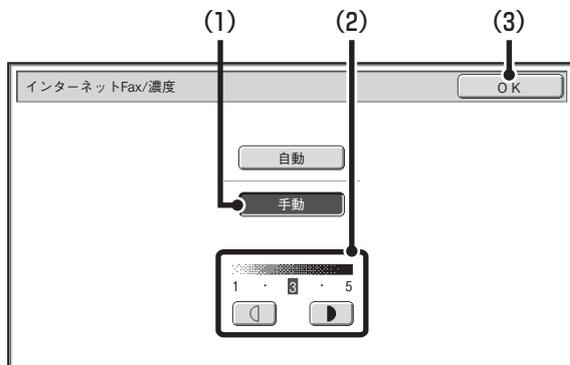
原稿の種類に合わせて原稿種類選択キーをタッチしてください。

(2) ◀ ▶ キーで濃度を調整する

▶ キーをタッチすると濃度が濃く、◀ キーをタッチすると濃度が薄くなります。

(3) [OK]キーをタッチする

3 インターネットFaxモード



(1) [手動]キーをタッチする

(2) ◀ ▶ キーで濃度を調整する

▶ キーをタッチすると濃度が濃く、◀ キーをタッチすると濃度が薄くなります。

(3) [OK]キーをタッチする

- インターネットFaxモードでは、原稿種類およびモアレ低減を設定することはできません。
- [モアレ低減]チェックボックスをタッチして☑にすると、印刷物などの原稿を読み込む際に多少できるしま模様(モアレ)の発生を低減させることができます。

原稿台(ガラス面)を使って原稿を読み込む場合、原稿を入れ替えるときに濃度を変更することができます。原稿自動送り装置を使用している場合、原稿読み込み途中に濃度を変更することはできません。(ただし、特別機能の「大量原稿モード」を設定しているときは、原稿を入れ替える際に濃度を変更することができます。)

システム設定(管理者): 標準濃度設定
原稿の濃度設定の初期状態を変えることができます。

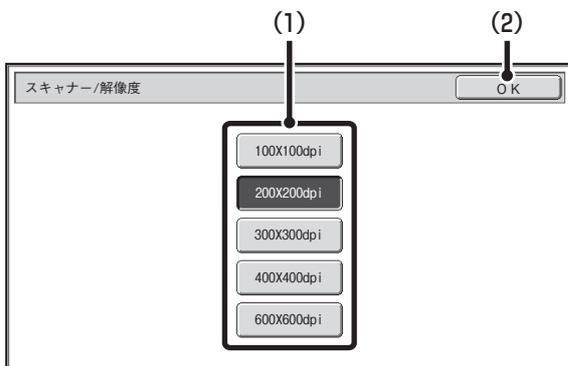
原稿の解像度を変える

原稿の読み込み解像度を設定することができます。

1 モードを切り替え、解像度設定画面を表示する

- (1) 使用するモードのキーをタッチする
 - (2) [解像度]キーをタッチする
- ☞ [原稿の読み込み設定について](#) (5-53ページ)

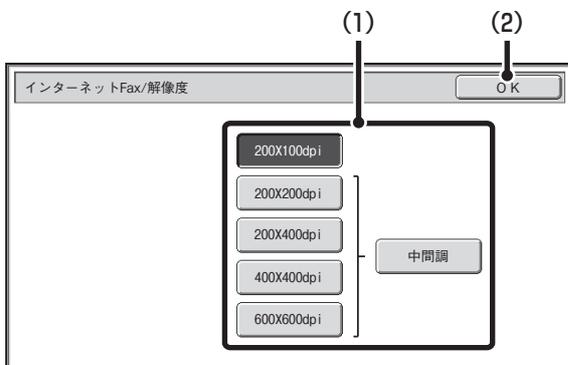
スキャナーモード、USBメモリースキャンモード、データ入力モード



解像度を選択する

- (1) 設定する解像度のキーをタッチする
- (2) [OK]キーをタッチする

2 インターネットFaxモード



☞ インターネットFaxモードでは、[中間調]キーをタッチして中間調を設定できます。([200X100dpi]を選択した場合は設定できません。) 写真やカラーのイラストなど、濃淡の部分が多い原稿を読み込むときに設定すると、通常よりもきれいな画質で送信することができます。

解像度の選びかた

一般的な文字原稿を送信する場合は、200X200dpi（インターネットFaxは200X100dpi）の設定で十分判読できる画像データを作成できます。写真やイラストなどの画像を送信する場合は、高解像度（600X600dpi）に設定すると、高精度なデータを送信できます。ただし、高解像度設定時はデータのサイズが大きくなりますので送信できない可能性があります。この場合は原稿の読み込みページ数を減らしたり、送信サイズを小さくするなどの工夫が必要です。

🔧 フォーマットを変える

原稿の送信サイズを指定する（5-59ページ）



- 原稿台（ガラス面）を使って原稿を読み込む場合、原稿を入れ替えるときに解像度を変更することができます。原稿自動送り装置を使用している場合、原稿読み込み途中に解像度を変更することはできません。（ただし、特別機能の「大量原稿モード」を設定しているときは、原稿を入れ替える際に解像度を変更することができます。）
- インターネットFaxモードでフォーマットを[TIFF-S]に選択しているときは、[200X100dpi]または[200X200dpi]のみ選択できます。



システム設定（管理者）：標準画質設定

原稿の解像度設定の初期状態を変えることができます。

フォーマットを変える

フォーマットを変える

（スキャナーモード、USBメモリースキャンモード、データ入力モード）

スキャン送信時のフォーマット（ファイル形式、圧縮形式／圧縮率）を変更します。また、読み込んだ原稿を分割してファイル化するときの1ファイル当たりのページ数を変更できます。



スキャン送信時のフォーマットは、送信先をワンタッチキーに登録するときに設定されていますが、送信ごとにフォーマットを変更することができます。

モードを切り替え、フォーマット設定画面を表示する

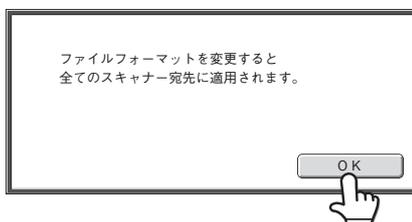
1

(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [フォーマット]キーをタッチする

🔧 原稿の読み込み設定について（5-53ページ）

2

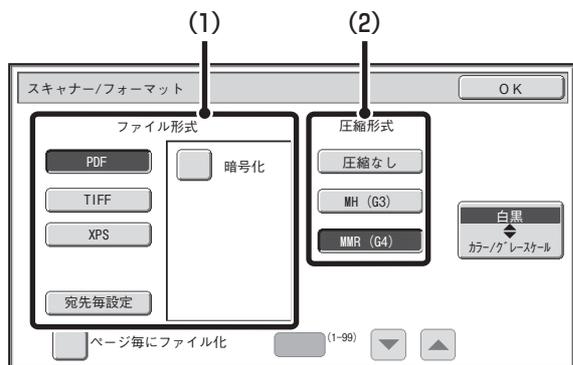


表示されたメッセージを確認し、[OK]キーをタッチする

USBメモリースキャンモードでは表示されません。次の手順へ進んでください。

フォーマットを設定する

● 白黒2値で読み込む場合

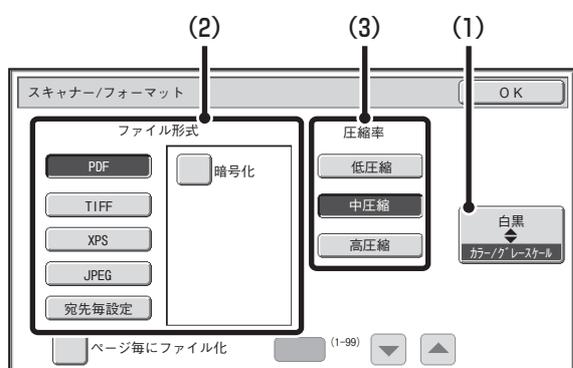


(1) ファイル形式を選択する

暗号化PDFで送信する場合は、[暗号化]チェックボックスをタッチして にしてください。

(2) 圧縮形式を選択する

● カラー／グレースケールで読み込む場合



(1) タッチして[カラー/グレースケール]モードに切り替える

[カラー/グレースケール]が反転表示しているときに[カラー/グレースケール]モードです。

(2) ファイル形式を選択する

暗号化PDFで送信する場合は、[暗号化]チェックボックスをタッチして にしてください。

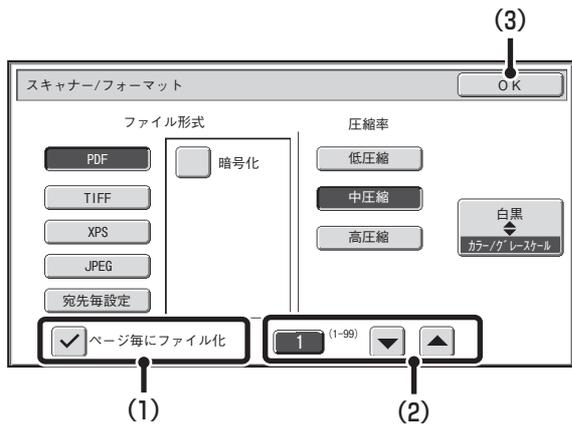
(3) 圧縮率を選択する

- 高圧縮にすると、作成されるファイルのデータサイズは小さくなりますが、画質が若干劣化します。
- ファイル形式で[高圧縮]が設定されている場合、圧縮率は選択できません。

3



- USBメモリスキャンモードでは、[宛先毎設定]キーは表示されません。
- この画面を表示したときは、最初[白黒]モードの設定画面が表示されます。
- [白黒]モードのフォーマット設定は、白黒モードが[白黒2値]に設定されているときに[白黒スタート]キーを押した場合のファイルフォーマットになります。
- [カラー/グレースケール]モードのフォーマット設定は、[カラースタート]キーを押した場合、または白黒モードが[グレースケール]に設定されているときに[白黒スタート]キーを押した場合のファイルフォーマットになります。
- [白黒]モードと[カラー/グレースケール]モードのファイル形式は連動しており、別々のファイル形式を設定することはできません。(カラー/グレースケールモードで[JPEG]を選択したときは、[白黒]モードでは自動的に[TIFF]が選択されます。)



1ファイル当たりのページ数を変更するときは、ページ数を入力し、フォーマットの設定を終了する

(1) [ページ毎にファイル化]チェックボックスをタッチして にする

(2) キーで1ファイル当たりのページ数を設定する

数値表示部のキーを直接タッチして数字キーで変更することもできます。

(3) [OK]キーをタッチする



- [ページ毎にファイル化]チェックボックスが のときは、読み込んだ原稿の全ページを1ファイルで作成します。
- 「ページ毎にファイル化」を設定したとき、作成されたファイル名には連番が追加されます。
- ファイル形式で[JPEG]を選択したときは、常に1ページごとにファイル化されます。そのため、[ページ毎にファイル化]チェックボックスは画面に表示されません。



ファイル形式を暗号化PDFに設定（フォーマット設定画面で[PDF]を選択し、[暗号化]チェックボックスを に設定）したときは、スキャン送信実行時に[スタート]キーを押すと、パスワードの入力を要求する画面が表示されます。表示された画面の[入力]キーをタッチするとキーボード画面に切り替わります。パスワードを半角32文字以内で入力し、[OK]キーをタッチするとスキャン送信を開始します。



システム設定（管理者）：標準ファイルフォーマットの設定

スキャン送信を行うときの標準ファイルフォーマットを設定します。

フォーマットを変える（インターネットFaxモード）

インターネットFax送信時のフォーマットは、通常[TIFF-F]に設定されています。送信先のインターネットFax機がフルモードに対応していない場合（シンプルモード対応機）は、次の手順で[TIFF-S]を選択してください。

インターネットFaxモードに切り替え、フォーマット設定画面を表示する

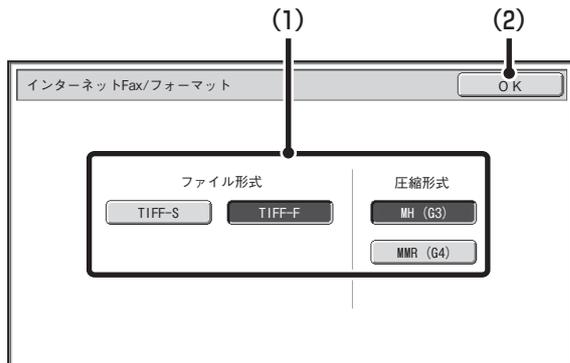
1

(1) [インターネットFax]タブをタッチする

(2) [フォーマット]キーをタッチする

☞ [原稿の読み込み設定について](#)（5-53ページ）

2



フォーマットを選択する

(1) フォーマットのキーをタッチする

[TIFF-F]を選択したときは、圧縮形式を選択してください。

(2) [OK]キーをタッチする

-  [TIFF-S]を選択すると、次の送信設定が制限されます。
- 解像度： [200X100dpi]または[200X200dpi]からの選択となります。[200X400dpi]、[400X400dpi]、[600X600dpi]選択後に[TIFF-S]を選択した場合は、自動的に[200X200dpi]に変更されます。
 - 送信サイズ： 常にA4Rで送信されます。送信サイズ変更後にフォーマットを[TIFF-S]に変更した場合は、自動的にA4Rに固定されます。A4よりも大きいサイズを読み込んだときは、自動的にA4Rサイズに縮小して送信されます。同報送信にこのフォーマットが含まれていると、すべての宛先に対してA4Rサイズで送信されます。
 - 特別機能： ページ分割、カードスキャン、ページ集約、混載原稿のそれぞれと、変倍送信および原稿サイズをサイズ入力した場合の組み合わせはできません。



システム設定（管理者）：標準圧縮形式設定

インターネットFaxを使用して送信操作を行うときの標準圧縮形式を設定します。

カラーモードを変える

スキャン送信時に[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押したときの原稿の読み取り色を変更します。

 この機能は、インターネットFaxモードでは使用できません。

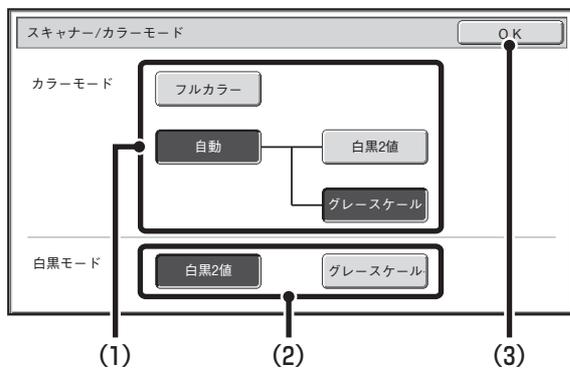
スタートキー	モード	読み取り方法
[カラースタート]キー	自動	原稿が白黒かカラーを判別して、自動的にフルカラーと白黒（白黒2値またはグレースケール）を切り替えてスキャンします。
	フルカラー	原稿をフルカラーでスキャンします。カタログなどのフルカラー原稿に適しています。
[白黒スタート]キー	白黒2値	原稿で使用されている色を白か黒かに置き換えてスキャンします。文字のみの原稿に適しています。
	グレースケール	原稿で使用されているカラーにかかわらず、原稿を白黒（グレースケール）でスキャンします。

モードを切り替え、カラーモード設定画面を表示する

1

- (1) 使用するモードのタブをタッチする
 - (2) [カラーモード]キーをタッチする
-  [原稿の読み込み設定について](#) (5-53ページ)

2



カラーモードを選択する

- (1) [カラースタート]キーを押したときに使うモードのキーをタッチする
 [自動]を選択すると、白黒原稿の読み取りを行う場合に白黒2値かグレースケールのどちらでスキャンするか選択できます。ただし、ファイルフォーマットにJPEGを指定している場合はグレースケールでスキャンされます。
- (2) [白黒スタート]キーを押したときに使うモードのキーをタッチする
- (3) [OK]キーをタッチする



- システム設定（管理者）：標準カラーモード設定
カラーモードの初期状態を変えることができます。
- システム設定（管理者）：カラー自動時の白黒設定変更を禁止する
カラーモードで[自動]を選択したときの白黒原稿の読み取り設定を禁止します。

送信の仕上がりイメージを確認する（プレビュー確認）

[プレビュー確認]キーをタッチしてから原稿を読み込むと、送信の仕上がりイメージをあらかじめタッチパネルで確認することができます。

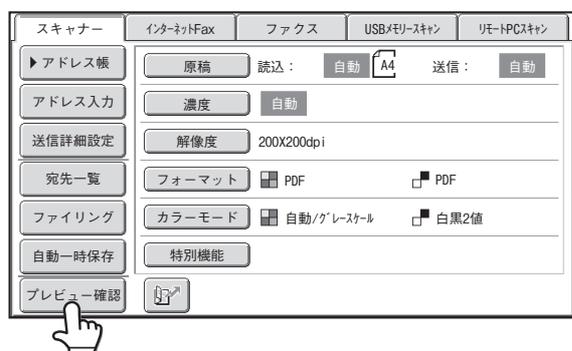
※工場出荷時は無効になっています。

 タッチパネルに表示されるプレビュー確認画面で、送信データの大きさによっては一部表示されない場合があります。

1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2



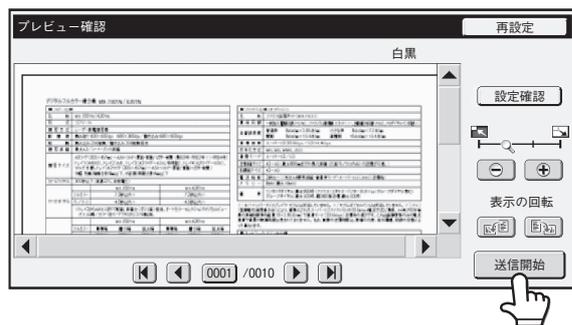
[プレビュー確認]キーをタッチして反転表示にする

3

送信の設定を行い、[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みと同時に「原稿を読み込み中です。」のメッセージが表示され、原稿の読み込みが終了すると、タッチパネルにプレビュー確認画面が表示されます。読み込んだ原稿は、プレビュー確認画面の[送信開始]キーをタッチするまで送信されません。

4



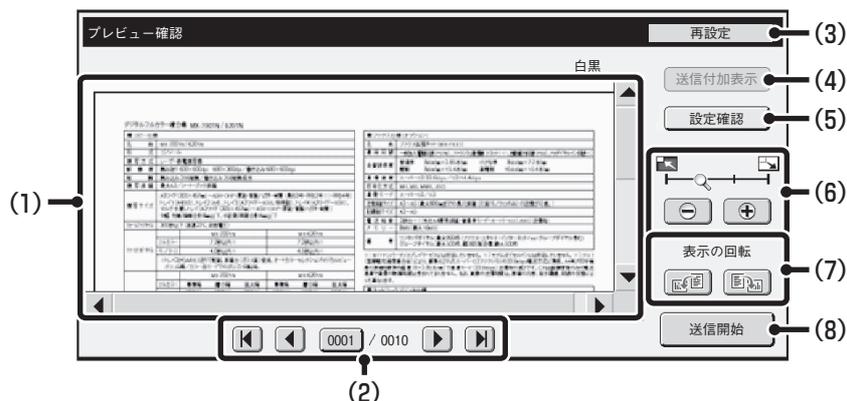
送信の仕上がりイメージを確認し、[送信開始]キーをタッチする

送信を開始します。
プレビュー確認画面については、「[プレビュー確認画面について](#)」（5-70ページ）を参照してください。

 **システム設定（管理者）：プレビュー確認のデフォルト設定**
[プレビュー確認]機能を、ファクス/イメージ送信の各モードの基本画面やアドレス帳で有効にするかどうかの設定ができます。

プレビュー確認画面について

ここでは、プレビュー確認画面の見かたについて説明しています。



(1) プレビュー画像

読み込んだ原稿の仕上がリイメージが表示されます。画像が切れて表示されている場合は、右と下にあるスクロールバーで表示部分を移動させてください。バーをタッチし、そのままスライドさせると、画像が連動して動きます。(▼ ▲ キーをタッチして動かすこともできます。)

(2) ページ送りキー／ページ指定キー

ページが複数ある場合に、ページを切り替えます。

- [◀ ▶] キー：最初のページまたは最後のページを表示します。
- [◀ ▶] キー：前のページまたは次のページを表示します。
- ページ数表示：総ページ数と、現在表示中のページ数が表示されます。現在のページ数のキーをタッチして、数字キーで任意の数値を入力すると、目的のページを表示することができます。

(3) [再設定]キー

画像確認後に原稿読み込み設定や特別機能の設定内容を変更したいときにタッチします。プレビュー確認後に再設定が可能な機能は、インターネットFax発信元印字のみです。設定を変更したあと、[再プレビュー]キーをタッチすると、設定内容を反映して再度プレビューを行います。



(4) [送信付加表示]キー

インターネットFaxモード時、インターネットFax発信元印字の発信元情報を表示させたいときにタッチします。このキーは、プレビュー確認画面上にプレビュー画像の全体を表示している場合のみタッチできます。

(5) [設定確認]キー

「特別機能」の各項目や両面原稿読み込みの設定内容を確認するときにタッチします。

(6) 表示倍率切り替えキー

画像の表示倍率を選択します。左から「全画面表示」、「2倍」、「4倍」、「8倍」と切り替わります。変更は表示ページだけでなく、データ全体に反映されます。

(7) 「表示の回転」キー

画像を左右に90度ずつ回転させます。変更は表示ページだけでなく、データ全体に反映されます。

(8) [送信開始] キー

タッチすると、送信を開始します。



- プレビュー画像はタッチパネル表示用のイメージ画像です。実際の送信結果とは異なります。
- プレビュー画像は、原稿読み込み設定や特別機能などの一部の設定が反映された状態で表示されます。プレビュー画像に反映される設定は、次のとおりです。
原稿設定：原稿
特別機能：枠消去、ページ分割、カードスキャン、ページ集約、白紙飛ばし

特別機能について

スキャン送信するときに使用できる特別機能について説明しています。

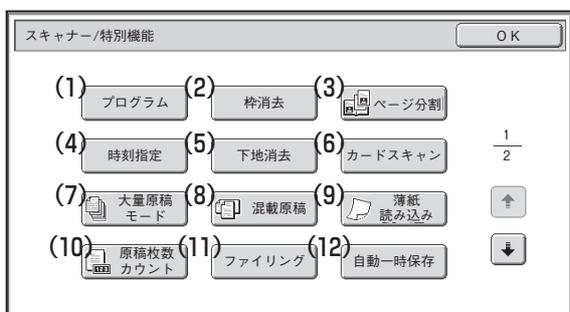
特別機能の種類について

基本画面の[特別機能]キーをタッチすると、特別機能のメニュー画面が表示されます。特別機能のメニュー画面は2画面あります。[↓] [↑] キーをタッチして画面を切り替えてください。特別機能のメニュー画面で[OK]キーをタッチすると、設定を完了して基本画面に戻ります。

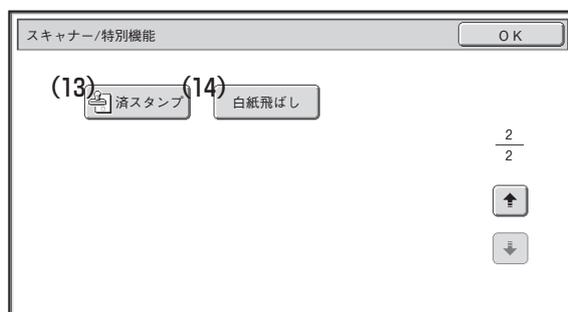
☞ インターネットFaxモード (5-72ページ)

スキャナーモード、USBメモリースキャンモード、データ入力モード

1画面目



2画面目



(1) [プログラム]キー※1、2

☞ スキャンの操作を登録して使用する (プログラム) (5-73ページ)

(2) [枠消去]キー

☞ まわりに影ができないようにスキャンする (枠消去) (5-75ページ)

(3) [ページ分割]キー

☞ 原稿を2ページに分割してスキャンする (ページ分割) (5-77ページ)

(4) [時刻指定]キー※1

☞ 時刻を決めて送信する (時刻指定送信) (5-79ページ)

(5) [下地消去]キー

☞ 色の薄い部分を白くしてスキャンする (下地消去) (5-81ページ)

(6) [カードスキャン]キー

☞ カードの表裏を1枚にまとめてスキャンする (カードスキャン) (5-83ページ)

(7) [大量原稿モード]キー

☞ 大量の原稿を一度にまとめてスキャンする (大量原稿モード) (5-86ページ)

(8) [混載原稿]キー

☞ 大きさの違う原稿をまとめてスキャンする (混載原稿) (5-88ページ)

(9) [薄紙読み込み]キー

☞ 薄い紙の原稿をスキャンする (薄紙読み込み) (5-90ページ)

(10) [原稿枚数カウント]キー※1

☞ 読み込んだ原稿の枚数を確認してから送信する (原稿枚数カウント) (5-92ページ)

(11) [ファイリング]キー※1

ドキュメントファイリング機能のファイリングを行うときに使用します。

(12) [自動一時保存]キー※1

ドキュメントファイリング機能の自動一時保存を行うときに使用します。

(13) [済スタンプ]キー※3

☞ 読み込み済みの原稿にスタンプを押す (済スタンプ) (5-94ページ)

(14) [白紙飛ばし]キー

☞ 読み込んだ原稿から白紙ページを省いて送信する (白紙飛ばし) (5-96ページ)

※1 USBメモリースキャンモードでは表示されません。

※2 データ入力モードでは表示されません。

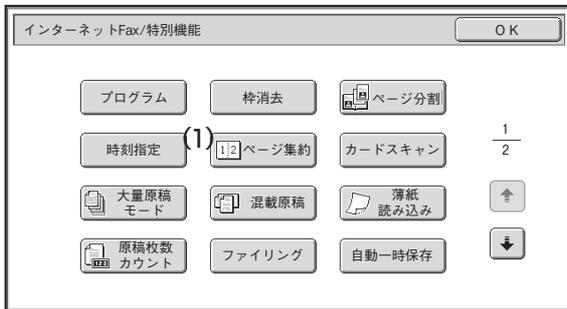
※3 済スタンプユニットを装着していない場合は表示されません。

USBメモリースキャンモードでは1画面目に表示されます。

インターネットFaxモード

下記で説明しているキーは、インターネットFaxモードでのみ使用します。それ以外のキーについては、「スキャナーモード、USBメモリースキャンモード、データ入力モード」(5-71ページ)と同じです。

1画面目



2画面目



(1) [ページ集約]キー

- 2枚の原稿を1枚にまとめて送信する(ページ集約)
(5-98ページ)

(2) [通信結果表]キー

- 通信結果表のプリント設定を変更して送信する(通信結果表)
(5-101ページ)

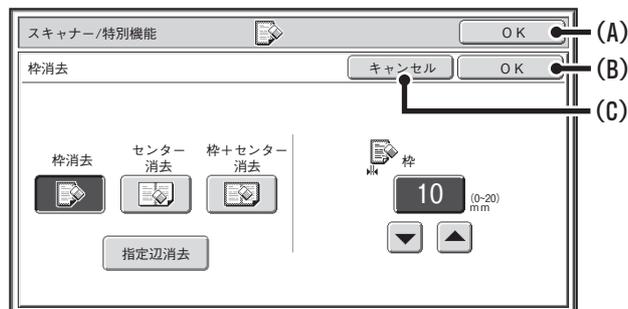
(3) [インターネットFax発信元印字]キー

- 発信元情報を付けて送信する(インターネットFax発信元印字)
(5-103ページ)

特別機能は他の特別機能と組み合わせて使用することができますが、特別機能の種類によっては、組み合わせて使用できない場合があります。その場合、タッチパネルにメッセージが表示されます。

[OK]キーと[キャンセル]キーについて

特別機能の各設定画面には2つの[OK]キーと1つの[キャンセル]キーが表示されている場合があります。それぞれのキーの役割は次のとおりです。



(A) 特別機能の設定を確定して、基本画面に戻ります。

(B) 特別機能の設定を確定して、特別機能のメニュー画面に戻ります。引き続き他の特別機能を設定するときにタッチしてください。

(C) 特別機能を設定中の場合は、設定を行わず特別機能のメニュー画面に戻ります。設定が完了している場合は、その設定を解除して、特別機能のメニュー画面に戻ります。

スキヤンの操作を登録して使用する(プログラム)

送信先や原稿の設定、使用する機能をあらかじめ登録しておいて、かんたんな操作で呼び出してスキヤンします。たとえば、毎月A4サイズの資料をファイル化して各地の支店に送信するとします。

- (1) 各地の支店に同じ資料を送信する
- (2) 見開きの資料を1ページずつ順番に送信する
- (3) 書面のふちの汚れを消して送信する

プログラムを登録していない場合	プログラムを登録している場合
各支店の宛先を指定  ページ分割を設定  枠消去を設定  [スタート]キーを押す 原稿を読み込んで送信します。	登録しているプログラムのキーをタッチする  [スタート]キーを押す 原稿を読み込んで送信します。
毎月送信するごとにこのような入力や設定を行う必要があり、たいへん時間がかかります。また、途中で設定をまちがうこともあり、送信ミスもあります。	プログラムを使用すると登録しているキーをタッチするだけのかんたんな操作で設定が完了します。また、登録内容に従って送信するので設定によるミスがありません。

-  **プログラムの登録、修正、削除についてはシステム設定の「宛先登録」から行います。「7. システム設定」の「プログラム」(7-20ページ)を参照してください。**
- プログラムの登録は、Webページでも行えます。Webページのメニューにある[ジョブプログラム]→[イメージ送信]をクリックして行います。
- 登録したプログラムは、送信を行ったあとも登録内容は消去されません。同じ登録内容で繰り返し送信できます。
- プログラムに登録できる内容は次のとおりです。
 イメージ送信モード：スキャナー、インターネットFax
 送信先
 原稿設定：原稿の読み込みサイズ、原稿のセット方向、両面原稿読み込み、解像度、濃度
 特別機能：枠消去、ページ分割、下地消去、大量原稿モード、混載原稿、薄紙読み込み、原稿枚数カウント、済スタンプ、白紙飛ばし、ページ集約、インターネットFax発信元印字
- プログラムは48件まで登録できます。
- プログラム1件に送信先は500件まで登録できます。
- この機能は、USBメモリースキャンモードおよびデータ入力モードでは使用できません。

1 原稿をセットする

プログラムに登録されている機能に応じて、原稿セット台または原稿台(ガラス面)に原稿をセットしてください。

2

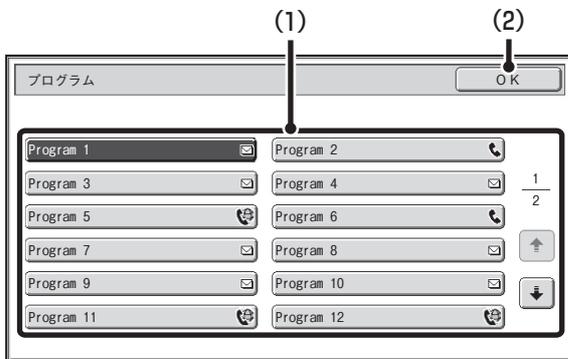
特別機能を選択する

(1) [特別機能]キーをタッチする

(2) [プログラム]キーをタッチする

☞ 特別機能の種類について (5-71ページ)

3



登録したプログラムを呼び出す

(1) 実行するプログラムのキーをタッチする

(2) [OK]キーをタッチする

4



追加設定を行う

呼び出したプログラムに、次の項目を追加で設定することができます。

- 原稿の読み込み設定：原稿の読み込みサイズ※・送信サイズ、フォーマット、カラーモード
- 送信詳細設定
- 特別機能：時刻指定、カードスキャン、ファイリング、自動一時保存、通信結果表

※プログラムに登録している場合は、追加で設定することはできません。



- プログラムに登録されている宛先によって、表示される画面は異なります。
- ここでは、モードの切り替えはできません。
- ここでは、プログラムで設定されている機能は解除できません。

5

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。



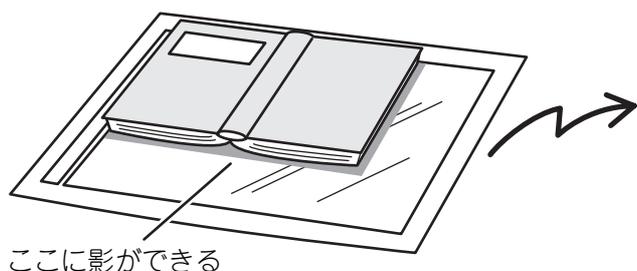
原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。

まわりに影ができないようにスキャンする (枠消去)

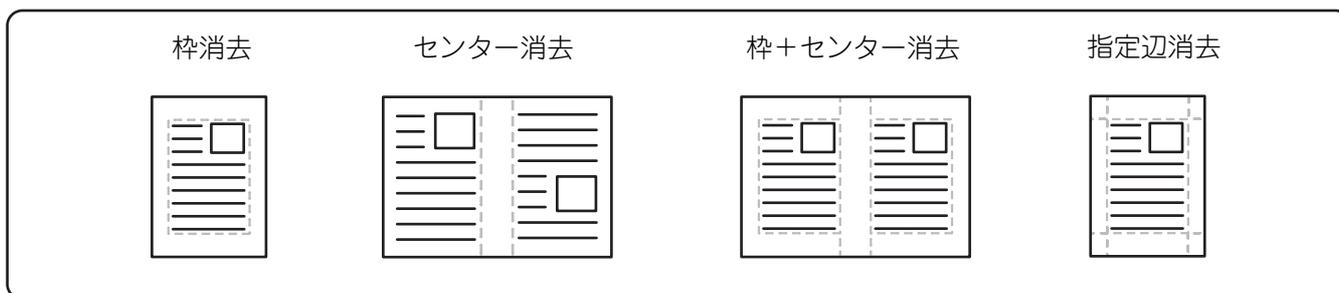
厚手の原稿や本などの見開き原稿を読み込んだときにできる周囲の影を消すことができます。(影が出やすい範囲の画像を消去します。影を検知して消去するわけではありません。)

厚みのある本を読み込む場合



枠消去機能を使わない	枠消去機能を使う
<p>読み込んだ画像に影ができる。</p>	<p>影ができずに読み込まれる。</p>

枠消去の種類



- 原稿自動送り装置を使用する場合も、原稿の周囲を消去して送信できます。
- USBメモリースキャンモードで使用するときは、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2

送信先を指定する

☞ [送信先の入力方法について](#) (5-18ページ)



USBメモリースキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときは、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

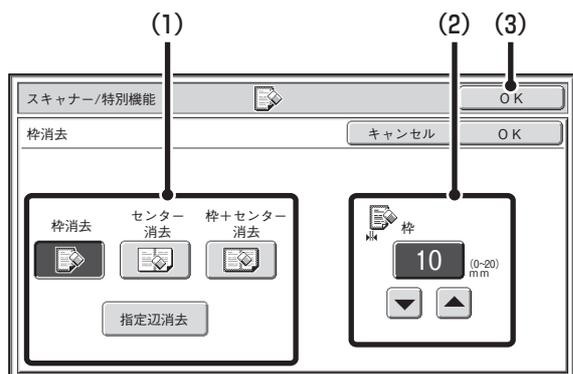
3

特別機能を選択する

- (1) 使用するモードのタブをタッチする
- (2) [特別機能]キーをタッチする
- (3) [枠消去]キーをタッチする

☞ [特別機能の種類について](#) (5-71ページ)

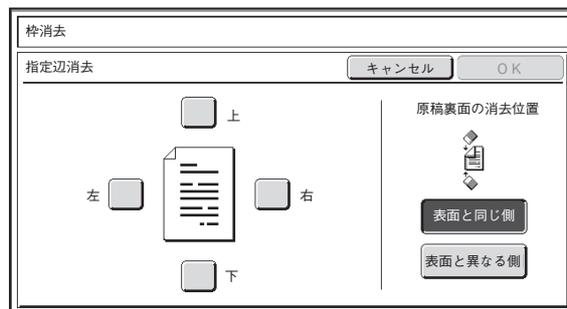
4



枠消去を設定する

(1) 消去する位置をタッチする

4種類から選びます。
[指定辺消去]キーをタッチすると次の画面が表示されます。



消去したい辺のチェックボックスをタッチして、になっていることを確認します。

両面読み込みを行うときは、原稿裏面の消去位置を設定してください。

- [表面と同じ側]キーをタッチすると、表面と同じ位置に枠消去が設定されます。
- [表面と異なる側]キーをタッチすると、表面と反対の位置に枠消去が設定されます。

設定が完了したら、[OK]キーをタッチしてください。

(2) キーで消去幅を設定する

0mm～20mmの範囲で設定できます。
数値表示部のキーを直接タッチして数字キーで変更することもできます。

(3) [OK]キーをタッチする

5

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。

インターネットFax送信する場合は、[白黒スタート]キーを押してください。

原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (⏏) を押して中止してください。

枠消去を使用してスキャンする場合は、原稿サイズの外周に対して枠消去されます。したがって縮小または拡大が同時に設定されていると、枠消去幅は設定倍率に合わせて変わります。たとえば、10mmの枠消去幅を設定したあとに70%に縮小してスキャンした場合、枠消去幅は7mmになります。

枠消去の設定を解除するには…
手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

システム設定（管理者）：枠消去幅の標準値設定
消去する枠の幅の標準値はコピー機能のシステム設定と連動しており、0mm～20mmの範囲で設定できます。工場出荷時は10mmに設定されています。

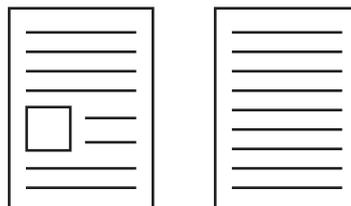
原稿を2ページに分割してスキャンする (ページ分割)

1枚の原稿を左右で分割して、2ページの原稿として読み込むことができます。本などの見開き原稿を1ページずつ順番に読み込みたいときに便利です。

例：本の左右ページをスキャンする場合



本などの見開き原稿



2ページに分割してスキャンされます。

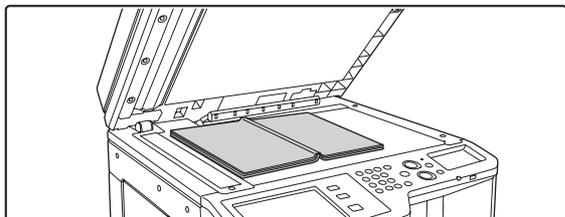
例

読み込み原稿サイズ	送信される原稿
A3×1枚	A4×2枚
B4×1枚	B5×2枚



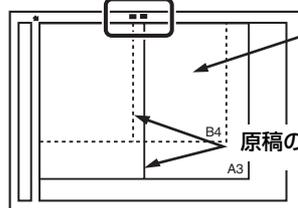
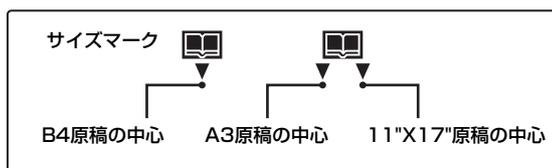
- ページ分割送信では原稿台（ガラス面）に原稿をセットしてください。
- 原稿の送信サイズを変更することはできません。
- USBメモリスキャンモードで使用するときは、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

1



原稿を原稿台（ガラス面）に下向きにセットする

原稿をセットするときは、原稿の中心をサイズマークの▼に合わせてセットしてください。



こちら側のページから読み込まれていきます。

2

送信先を指定する

☎ [送信先の入力方法について](#) (5-18ページ)



USBメモリスキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときは、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

特別機能を選択する

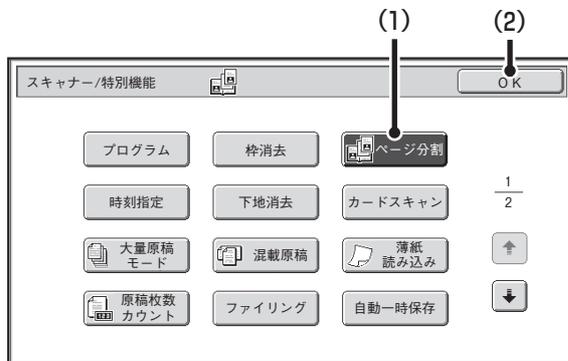
3

(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [特別機能]キーをタッチする

🔊 特別機能の種類について (5-71ページ)

4



ページ分割を設定する

(1) [ページ分割]キーをタッチして反転表示にする

(2) [OK]キーをタッチする

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。

「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。

5

🔧 インターネットFax送信する場合は、[白黒スタート]キーを押してください。

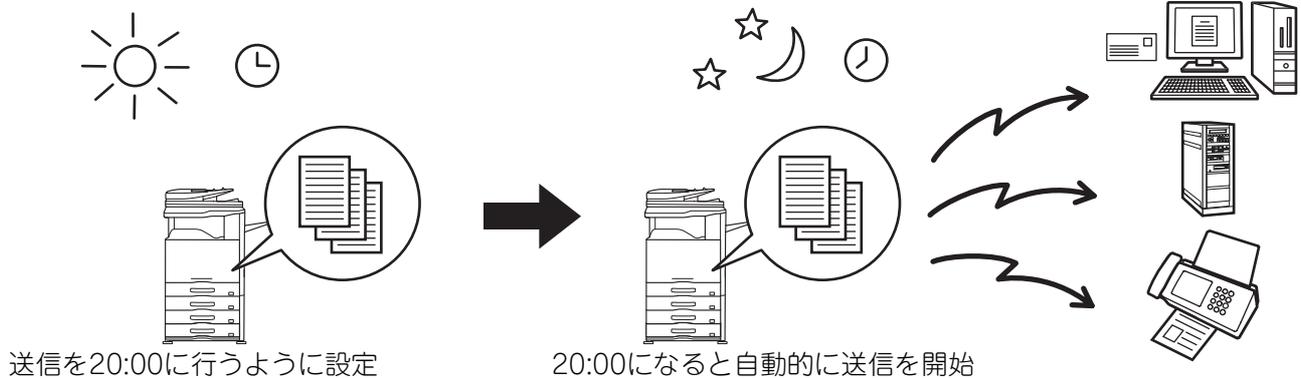
🔄 原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (⏸) を押して中止してください。

- 🔧 本などの見開き原稿を読み込んだときにできる周囲の影を消すために、枠消去と組み合わせて使用すると便利です。(ただし、「センター消去」および「枠+センター消去」と組み合わせることはできません。)
- 原稿の読み込みサイズを数値で指定している場合、この機能は使用できません。

🔄 ページ分割の設定を解除するには…
手順4の画面で[ページ分割]キーをタッチして反転表示を解除し、[OK]キーをタッチしてください。

時刻を決めて送信する（時刻指定送信）

送信や順次同報送信に時刻を指定し、自動的に送信させる機能です。指定された時刻になると自動的に送信を開始します。



- 
 ・時刻指定送信を設定したときは、主電源スイッチを常に“入”にしておいてください。指定時刻に主電源スイッチが“切”になっていると送信できません。
- ・時刻指定送信では、あらかじめ原稿を読み込んで本機のメモリー内に記憶しておく必要があります。原稿を原稿セット台または原稿台（ガラス面）にセットし、送信予約した時刻に読み込ませることはできません。
- ・時刻指定送信で設定した内容（濃度、解像度、特別機能など）は、送信後自動的に消去されます。（ただし、ドキュメントファイリング機能を使用したときは、読み込んだ原稿とその設定内容を内蔵のハードディスクに保存しています。）
- ・この機能は、USBメモリースキャンモードでは使用できません。

1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2 送信先を指定する

 [送信先の入力方法について](#)（5-18ページ）

特別機能を選択する

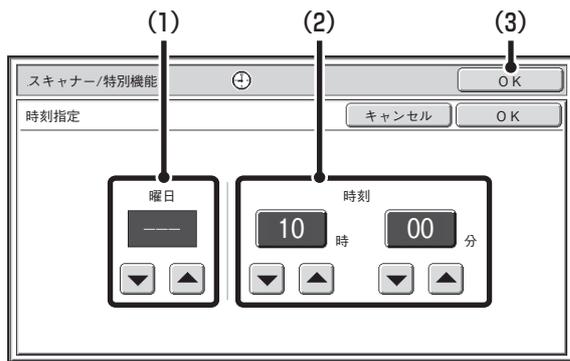
(1) 使用するモードのタブをタッチする

3 (2) [特別機能]キーをタッチする

(3) [時刻指定]キーをタッチする

 [特別機能の種類について](#)（5-71ページ）

4



▼ ▲ キーで時刻を指定する

(1) 曜日を指定する

曜日を指定しないときは、[---]を選択してください。この場合、(2)で指定した時刻がきたときに送信が開始されます。

(2) 時刻（時、分）を指定する

時刻は24時間制で指定してください。数値表示部のキーを直接タッチして数字キーで変更することもできます。

(3) [OK]キーをタッチする



この画面を表示したとき、設定値には現在時刻が表示されます。時刻が異なっているときは[リセット]キー（⌚）を押して操作を中止し、システム設定で時刻を修正してから操作を行ってください。

☞ [日付・時刻を確認する](#) (5-5ページ)

5

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信待機状態になります。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信待機状態になります。



- インターネットFax送信する場合は、[白黒スタート]キーを押してください。
- セットした原稿はメモリーに読み込みます。指定時刻に読み込ませることはできません。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー（⏸）を押して中止してください。



- 最長1週間先までの時刻を指定できます。
 - 時刻指定できる送信は94件までです。
 - 指定した時刻に他の送信が実行中の場合、その送信が終了してから時刻指定した送信を開始します。
 - 時刻指定送信を設定したあと、他の送信は通常どおり行うことができます。
 - 時刻指定したジョブは、ジョブ状況画面で削除できます。
 - ジョブ状況画面で時刻指定したジョブを優先させると、時刻指定が解除されます。実行中のジョブが終了後、送信が行われます。
- ☞ [あとからスキャンしたデータを優先して送信する](#) (5-112ページ)

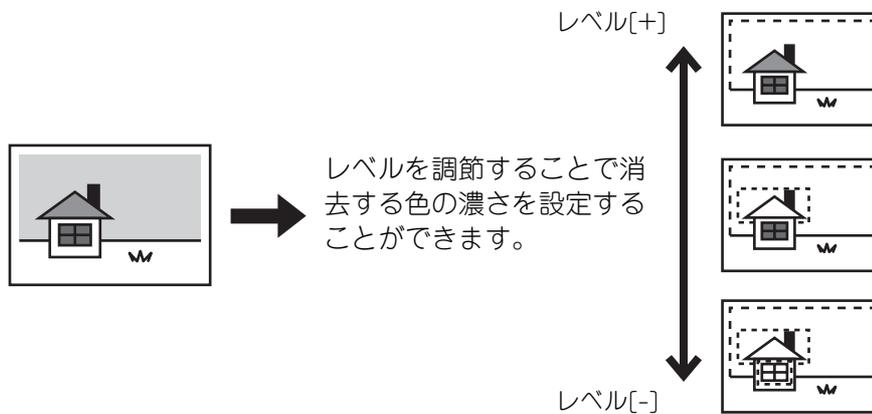


時刻指定送信を解除するときは…

手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

色の薄い部分を白くしてスキャンする (下地消去)

原稿の濃度の薄い部分を下地として消去することができます。



- この機能は、インターネットFaxモードでは使用できません。
- USBメモリスキャンモードで使用するときは、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

1

原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2

送信先を指定する

☎ [送信先の入力方法について](#) (5-18ページ)

☎ USBメモリスキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときは、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

3

特別機能を選択する

(1) 使用するモードのタブをタッチする

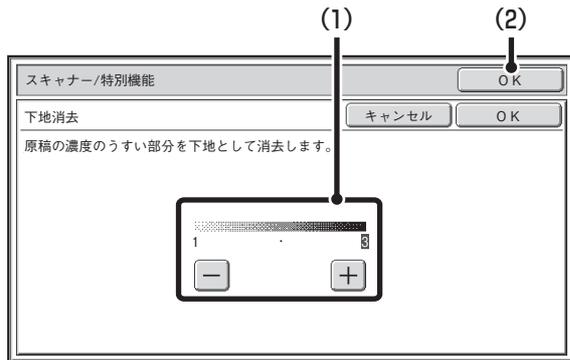
(2) [特別機能]キーをタッチする

(3) [下地消去]キーをタッチする

メッセージが表示されるので、内容を確認して[OK]キーをタッチしてください。

☎ [特別機能の種類について](#) (5-71ページ)

4



下地消去を設定する

(1) 下地を消去するレベルを調整する

[+]キーをタッチすると薄い下地のみ消去します。
[-]キーをタッチすると薄い下地から濃い下地まで消去します。

(2) [OK]キーをタッチする

5

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。



[白黒スタート]キーのカラーモード設定が[白黒2値]に設定されているときは、[白黒スタート]キーを押しても下地消去機能ははたらきません。



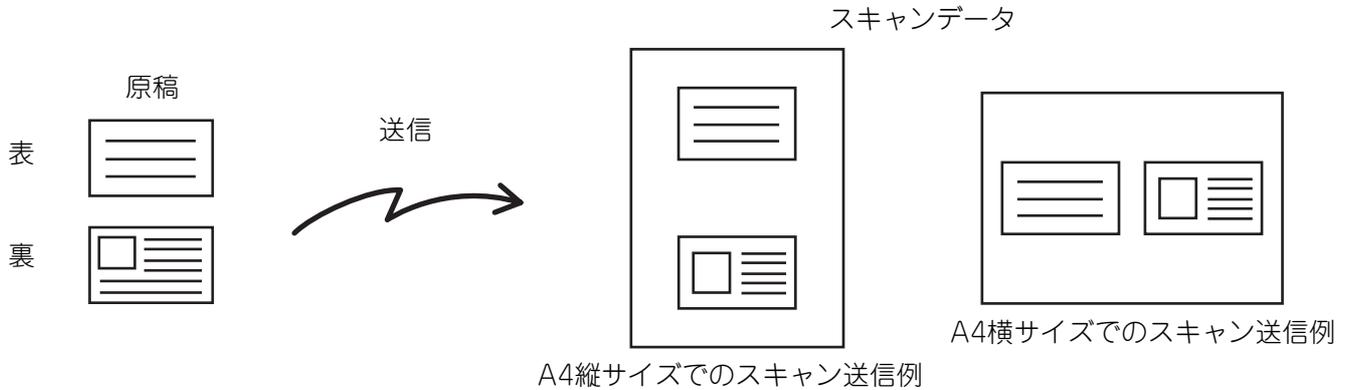
原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。



下地消去の設定を解除するには…
手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

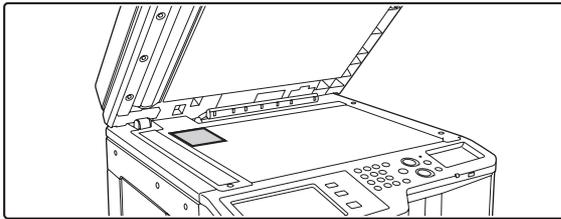
カードの表裏を1枚にまとめてスキャンする (カードスキャン)

各種カードの表と裏を別々に送信することなく、1枚にまとめて送信できます。



- カードスキャン送信では原稿台（ガラス面）に原稿をセットしてください。
- USBメモリスキャンモードで使用するときは、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

1



原稿台（ガラス面）に原稿を下向きにセットする

2

送信先を指定する

☞ [送信先の入力方法について](#) (5-18ページ)



USBメモリスキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときは、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

3

特別機能を選択する

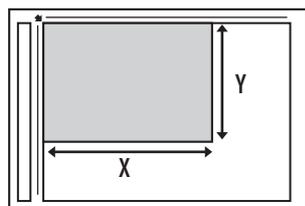
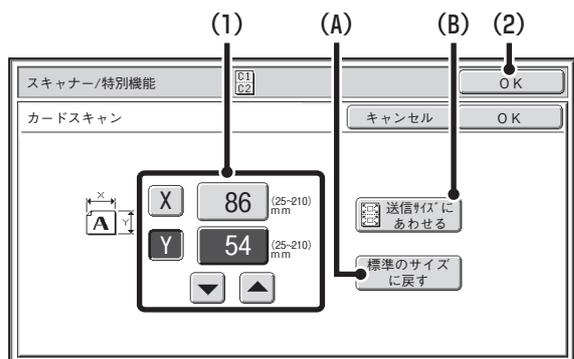
(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [特別機能]キーをタッチする

(3) [カードスキャン]キーをタッチする

☞ [特別機能の種類について](#) (5-71ページ)

4



原稿のサイズを設定する

(1) 原稿のサイズを入力する

- X (横) 方向の数値表示部のキーをタッチし、数字キーで原稿の横幅 (X) を入力してください。
- Y (縦) 方向の数値表示部のキーをタッチし、数字キーで原稿の縦幅 (Y) を入力してください。

(A) 原稿サイズを標準状態に戻したいときは、[標準のサイズに戻す]キーをタッチしてください。

(B) 原稿を送信サイズに合わせて自動で拡大または縮小したい場合は、[送信サイズにあわせる]キーをタッチしてください。入力した原稿サイズのまま読み込みたいときは、このキーをタッチする必要はありません。

(2) [OK]キーをタッチする



- ▼ ▲ キーをタッチして数値を変更することもできます。
- 送信サイズは、入力した原稿サイズを元に自動選択されます。
- カードスキャンを設定したあと、基本画面の[原稿]キーをタッチして原稿の読み込みサイズや送信サイズを変更することができます。この場合、読み込みサイズのキーをタッチすると、この手順の画面が表示されます。送信サイズの設定については、「[原稿の送信サイズを指定する](#)」(5-59ページ)を参照してください。

5



インターネットFax送信する場合は、[白黒スタート]キーを押してください。



原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。

6



裏面を読み込むとき、タッチパネルに表示されている[設定変更]キーをタッチして濃度を変更することができます。

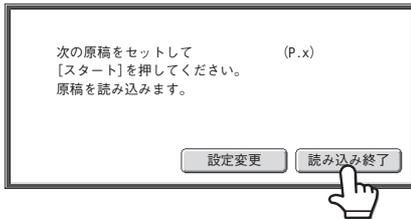


原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。

カードを裏面に入れ替えて[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押して、裏面を読み込む

表面で読み込んだときに使用した[スタート]キーを押してください。

7

**[読み込み終了]キーをタッチする**

続けてカードの表面を読み込むときは、[設定変更]キーをタッチして濃度や解像度、読み込みサイズ／送信サイズを変更することができます。



原稿の倍率指定や回転送信はできません。



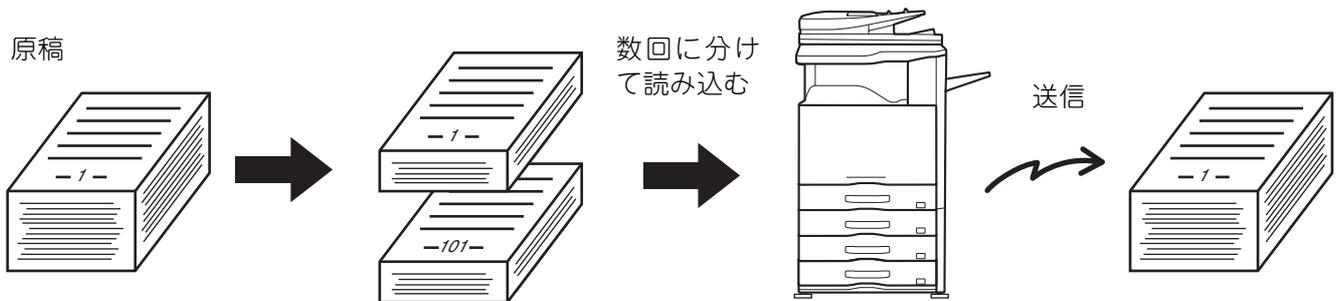
カードスキャンを解除するには…

手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

大量の原稿を一度にまとめてスキャンする (大量原稿モード)

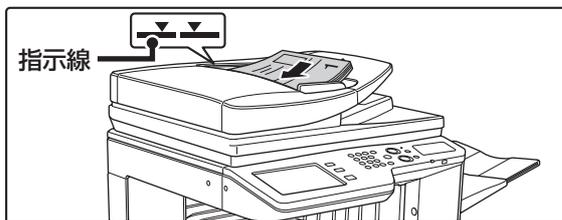
ページ数の多い原稿を原稿自動送り装置で数回に分けて読み込み、一度に送信します。スキャンしたい原稿が一度にセットできる枚数を超過している場合に使用してください。

分割した原稿を読み込むときは、先頭ページの束から読み込んでください。最初にセットしたときの設定は最後の束を読み込むまでそのまま利用できます。



- 原稿は最大で999枚まで読み込むことができます。ただし、他の通信などでメモリーを使用している場合は読み込みできる枚数が少なくなります。
- USBメモリースキャンモードで使用するときは、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

1



原稿セット台に原稿を上向きにセットする

原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。

2

送信先を指定する

☞ [送信先の入力方法について](#) (5-18ページ)



USBメモリースキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときは、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

3

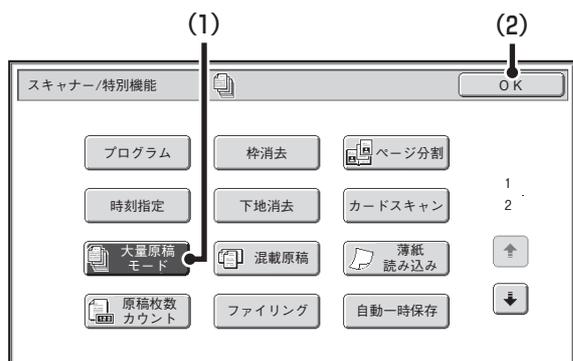
特別機能を選択する

(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [特別機能]キーをタッチする

☞ [特別機能の種類について](#) (5-71ページ)

4



大量原稿モードを設定する

- (1) [大量原稿モード]キーをタッチして反転表示にする
- (2) [OK]キーをタッチする

5

- インターネットFax送信する場合は、[白黒スタート]キーを押してください。
- 原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。

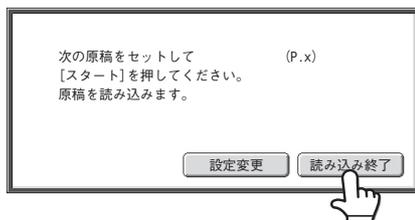
次の原稿をセットして、[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

手順5で押した[スタート]キーを押してください。
原稿をすべて読み込むまで、この操作を繰り返してください。

6

- 原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。すべての読み込みデータが消去されます。

7



[読み込み終了]キーをタッチする

- 確認画面が表示されてから約1分間この操作を行わないと、自動的に読み込みを終了し送信予約されます。
- [設定変更]キーをタッチすると、読み込む原稿ごとに濃度や解像度、読み込みサイズ／送信サイズを変更することができます。ただし、特別機能の「ページ集約」と組み合わせて使用している場合で、偶数枚目の原稿を読み込むときは、濃度のみ変更することができます。

途中でメモリーがいっぱいになるとメッセージが表示され、送信操作が中止されます。

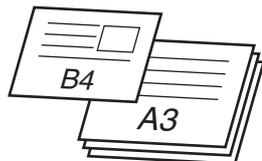
大量原稿モードを解除するには…
手順4の画面で[大量原稿モード]キーをタッチして反転表示を解除してください。

大きさの違う原稿をまとめてスキャンする (混載原稿)

A3サイズの原稿の中にB4サイズの原稿が含まれているような場合でも、すべての原稿を一度にまとめてスキャンすることができます。原稿を読み取る際に自動的に原稿の大きさを判別してスキャンできます。

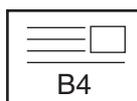
原稿

(A3の原稿にB4の原稿が混ざっている場合)



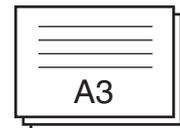
作成されたファイル

1ページ目



B4で読み込まれる

2～4ページ目



A3で読み込まれる

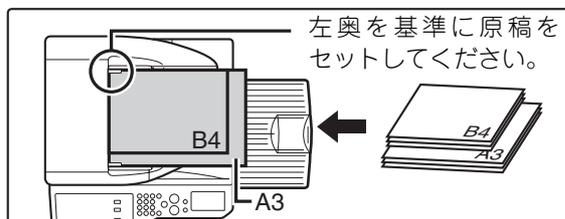
混載原稿では次の原稿サイズの組み合わせの場合のみ使用できます。

- A3とB4 • A3とB5 • B4とA4 • A4とB5
- A4RとB5 • B4とA4R • B4とA5 • B5とA5
- 11"x17"と8-1/2"x14" • 11"x17"と8-1/2"x13" • 11"x17"と5-1/2"x8-1/2"



USBメモリスキャンモードで使用するときには、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

1



原稿セット台に原稿を上向きにセットする

原稿セット台の左奥を基準にそろえてセットしてください。

2

送信先を指定する

☎ [送信先の入力方法について](#) (5-18ページ)



USBメモリスキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときには、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

3

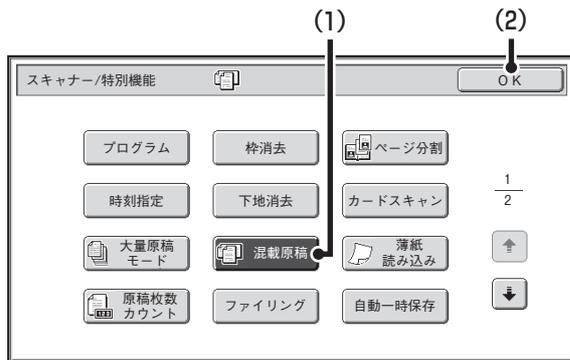
特別機能を選択する

(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [特別機能]キーをタッチする

☎ [特別機能の種類について](#) (5-71ページ)

4



混載原稿を選択する

- (1) [混載原稿]キーをタッチして反転表示にする
- (2) [OK]キーをタッチする

原稿の読み込みサイズを指定しているとき、[混載原稿]キーをタッチしたときにメッセージが表示されます。混載原稿の設定を有効にするには、読み込みサイズの設定を自動にしてから、もう一度[混載原稿]キーをタッチしてください。

5

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

インターネットFax送信する場合は、[白黒スタート]キーを押してください。

原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。

- 混載原稿を設定したあとに原稿の読み込みサイズを指定することはできません。
- 混載原稿設定時は、自動両面読み込みが使用できません。
- 混載原稿設定時は、回転送信しません。

混載原稿の設定を解除するには…
手順4の画面で[混載原稿]キーをタッチして反転表示を解除してください。

システム設定 (管理者)：原稿給紙モード
常に混載原稿で原稿を読み込むように設定できます。

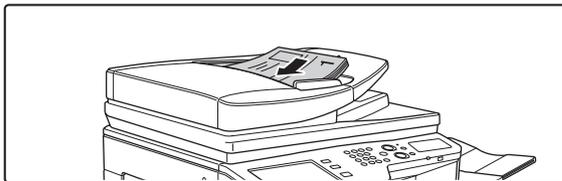
薄い紙の原稿をスキャンする（薄紙読み込み）

原稿自動送り装置を使って薄い紙の原稿を読み込みたいときに使用します。この機能を使うことにより、薄い紙の原稿がつまりにくくなります。



 USBメモリスキャンモードで使用するときは、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

1



原稿セット台に原稿を上向きにセットする
原稿ガイドはゆっくりと動かしてください。

 原稿をきつく押し込むと、薄紙原稿がよじれて原稿づまりの原因となります。

2

送信先を指定する

 [送信先の入力方法について](#)（5-18ページ）

 USBメモリスキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときは、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

3

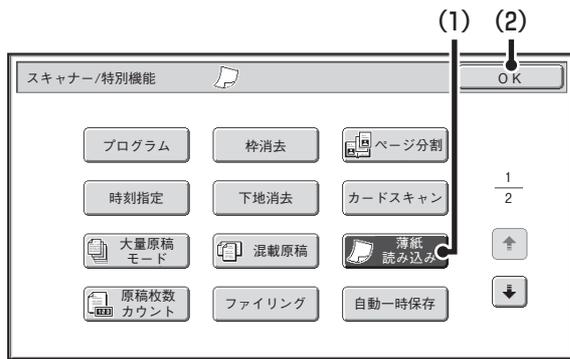
特別機能を選択する

(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [特別機能]キーをタッチする

 [特別機能の種類について](#)（5-71ページ）

4



薄紙読み込みを設定する

- (1) [薄紙読み込み]キーをタッチして反転表示にする
- (2) [OK]キーをタッチする

5

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

 インターネットFax送信する場合は、[白黒スタート]キーを押してください。

 原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。

 この機能を設定したときは、自動両面読み込みはできません。

 薄紙読み込みの設定を解除するには…
手順4の画面で[薄紙読み込み]キーをタッチして反転表示を解除してください。

 システム設定 (管理者) : 原稿給紙モード
常に薄紙読み込みで原稿を読み込むように設定できます。

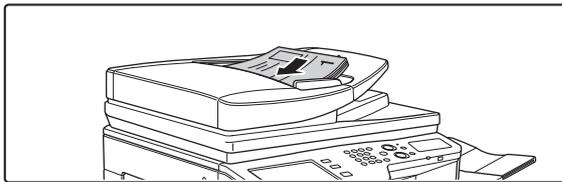
読み込んだ原稿の枚数を確認してから送信する (原稿枚数カウント)

読み込んだ原稿の枚数をカウントして、送信する前に表示させることができます。読み込んだ原稿の枚数を確認することで送信ミスが減らすことができます。



- この機能は、USBメモリースキャンモードでは使用できません。
- この機能は、各モードで独立して設定できます。

1



原稿セット台に原稿を上向きにセットする
原稿をセット台の奥まで確実に挿入してください。原稿は、原稿セット台の指示線までの枚数を一度にセットできます。

2

送信先を指定する

☞ [送信先の入力方法について](#) (5-18ページ)

3

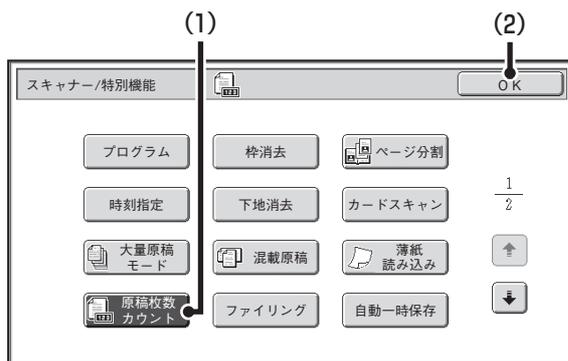
特別機能を選択する

(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [特別機能]キーをタッチする

☞ [特別機能の種類について](#) (5-71ページ)

4



原稿枚数カウントを設定する

(1) [原稿枚数カウント]キーをタッチして反転表示にする

(2) [OK]キーをタッチする

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

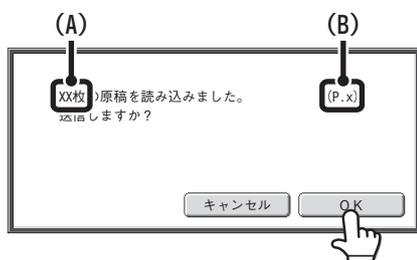
原稿の読み込みが始まります。

5



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。すべての読み込みデータが消去されます。



読み込みが終了したら、原稿枚数を確認して、[OK]キーをタッチする

送信が始まります。

- 大量原稿モードを使用している場合は、[読み込み終了]キーをタッチしたあとに、確認のメッセージが表示されます。
- 画面に表示されるメッセージには、読み込んだ原稿の枚数(A)と面数(B)が表示されます。たとえば、原稿1枚の両面を読み込んだ場合、(A)には“1”、(B)には“2”と表示されます。

6



確認画面が表示されてから約1分間この操作を行わないと、すべての読み込みデータや設定内容が消去され基本画面に戻ります。自動的に読み込みを終了して送信予約されません。



表示されている原稿枚数が実際の枚数と異なるときは…

[キャンセル]キーをタッチし、表示されたメッセージ画面の[OK]キーをタッチすると、すべての読み込みデータが消去されます。読み込み設定や宛先など設定内容は消去されません。原稿をセットし直し、[スタート]キーを押して原稿を読み込み直してください。



同報送信を行う場合、いずれかのモードで原稿枚数カウントが設定されていると、すべての宛先に対してこの機能が適用されます。



原稿枚数カウントの設定を解除するには…

手順4の画面で[原稿枚数カウント]キーをタッチして反転表示を解除してください。

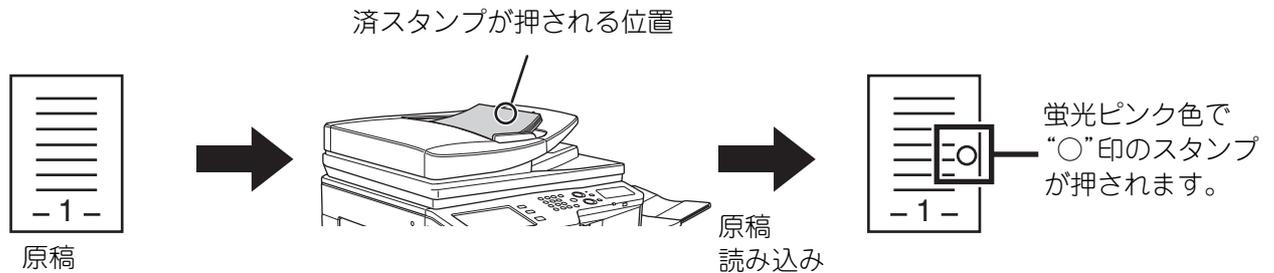


システム設定 (管理者)：原稿枚数カウントの標準状態設定

常に原稿枚数カウントを行うように設定できます。設定は各モード個別に行えます。

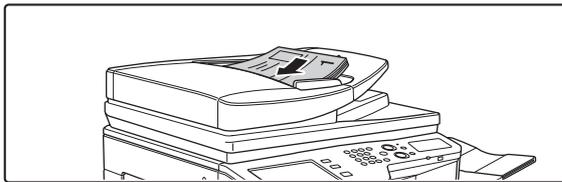
読み込み済みの原稿にスタンプを押す (済スタンプ)

原稿自動送り装置を使用して読み込んだ原稿に読み込み済みの印を付けることができ、すべての原稿が正しく読み込まれたか確認することができます。



- この機能は、別売品の済スタンプユニットが装着されているときに使用できます。
- USBメモリスキャンモードで使用するときは、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

1



原稿セット台に原稿を上向きにセットする

2

送信先を指定する

☞ [送信先の入力方法について](#) (5-18ページ)



USBメモリスキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときは、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

3

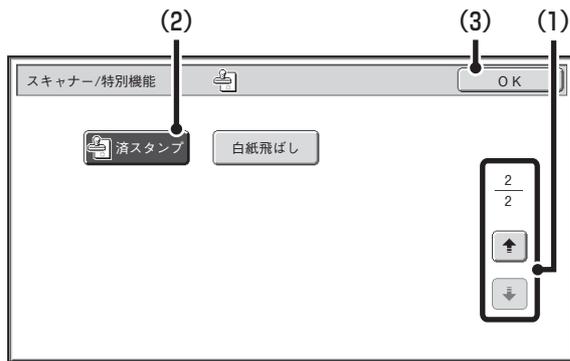
特別機能を選択する

(1) 使用するモードのタブをタッチする

(2) [特別機能]キーをタッチする

☞ [特別機能の種類について](#) (5-71ページ)

4



済スタンプを設定する

- (1) [↓] [↑] キーで画面を切り替える
- (2) [済スタンプ]キーをタッチして反転表示にする
- (3) [OK]キーをタッチする

5

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。

インターネットFax送信する場合は、[白黒スタート]キーを押してください。

原稿の読み込みを中止するには…
[ストップ]キー (Ⓞ) を押して中止してください。

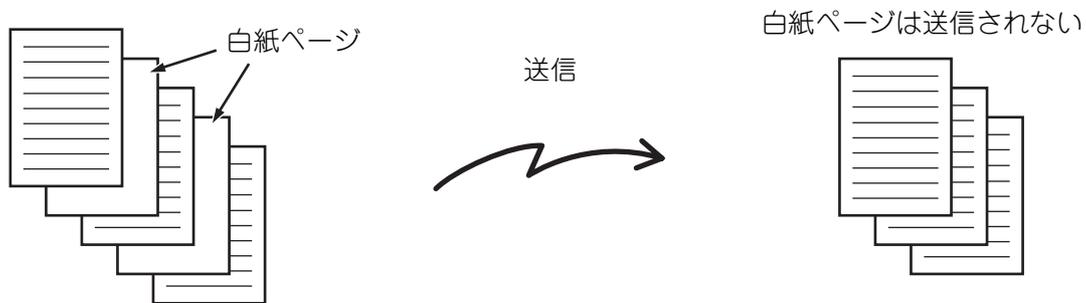
- 両面原稿を使用したときは原稿の表面に2箇所済スタンプが押されます。
- 原稿の読み込み中にエラーが発生したときに、読み込まれなかった原稿に済スタンプが押される場合があります。
- 原稿に押されるスタンプ（“○”印）が薄くなってきた場合は、済スタンプカートリッジを交換してください。済スタンプカートリッジの交換方法については、「1. お使いになる前に」の「[済スタンプカートリッジの交換](#)」（1-70ページ）を参照してください。

済スタンプの設定を解除するには…
手順4の画面で[済スタンプ]キーをタッチして反転表示を解除してください。

システム設定（管理者）：デフォルト済スタンプ設定
常に済スタンプを押すように設定できます。

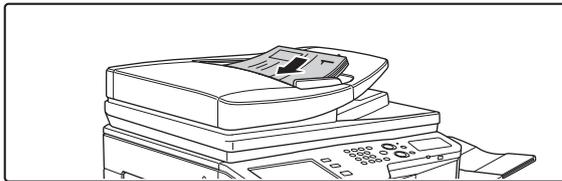
読み込んだ原稿から白紙ページを省いて送信する (白紙飛ばし)

原稿自動送り装置を使用して読み込んだ原稿に白紙ページが混在している場合、それらを自動的に判別し、白紙ページを省いて送信します。



- ① この機能は、インターネットFaxモードでは使用できません。
- ② 原稿によっては、意図しないページが白紙として判断され送信されなかったり、またその反対に白紙として判断されずに送信されたりすることがあります。
- ③ USBメモリスキャンモードで使用するときは、本機にUSBメモリーを接続してから下記操作を行ってください。

1



原稿セット台に原稿を上向きにセットする

2

送信先を指定する

☎ [送信先の入力方法について](#) (5-18ページ)



USBメモリスキャンモードでUSBメモリーにスキャンデータを保存するときは、送信先を指定する必要はありません。手順3へ進んでください。

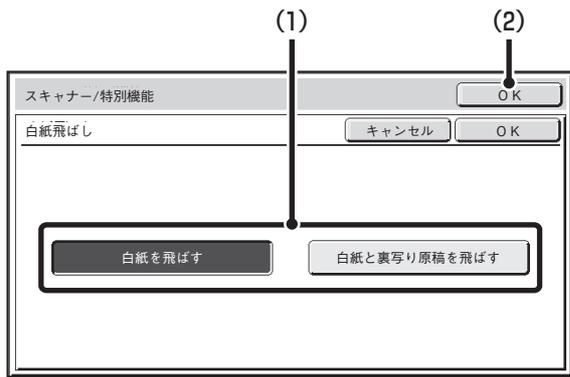
3

特別機能を選択する

- (1) 使用するモードのタブをタッチする
- (2) [特別機能]キーをタッチする
- (3) キーで画面を切り替える
- (4) [白紙飛ばし]キーをタッチする

☎ [特別機能の種類について](#) (5-71ページ)

4



白紙飛ばしを設定する

(1) 対象とする白紙ページの種類を選択する

2種類から選びます。

[白紙と裏写り原稿を飛ばす]キーをタッチすると、裏面の内容が白紙ページに写り込んでいる場合も対象となります。

(2) [OK]キーをタッチする

5

[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押す

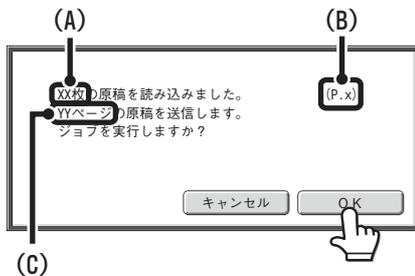
原稿の読み込みが始まります。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (⏏) を押して中止してください。

6



読み込みが終了したら、原稿枚数と送信枚数を確認して、[OK]キーをタッチする

送信が始まります。

- 大量原稿モードを使用している場合は、[読み込み終了]キーをタッチしたあとに、確認のメッセージが表示されます。
- 画面に表示されるメッセージには、読み込んだ原稿の枚数 (A)、面数 (B)、白紙ページを省いた送信枚数 (C) が表示されます。たとえば、白紙2ページを含む原稿5枚の両面を読み込んだ場合、(A) には“5”、(B) には“10”、(C) には“8”と表示されます。



確認画面が表示されてから約1分間この操作を行わないと、すべての読み込みデータや設定内容が消去され基本画面に戻ります。自動的に読み込みを終了して送信予約されません。



システム設定 (管理者) の「プレビュー確認のデフォルト設定」が有効に設定されている場合、白紙飛ばし機能を使って原稿を読み込むと、プレビュー確認画面で白紙ページも含めて確認することができます。詳しくは、「[プレビュー確認画面について](#)」(5-70ページ) を参照してください。



白紙飛ばしの設定を解除するには…

手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。



システム設定 (管理者)：原稿給紙モード

常に白紙ページを省いて送信するように設定できます。

2枚の原稿を1枚にまとめて送信する(ページ集約)

2枚の原稿を半分の大きさに縮小し、1枚の用紙に割り付けて送信します。

縦向き原稿



横向き原稿



この機能は、スキャナーモード、USBメモリースキャンモード、およびデータ入力モードでは使用できません。

1 原稿をセットする



原稿をセットするときは次の向きでセットしてください。

原稿	原稿セット台 原稿は上向きにセットしてください。	原稿台 (ガラス面) 原稿は下向きにセットしてください。
縦向きの場合 		
横向きの場合 		

2 送信先を指定する

送信先を指定する

☎ [送信先の入力方法について](#) (5-18ページ)

特別機能を選択する

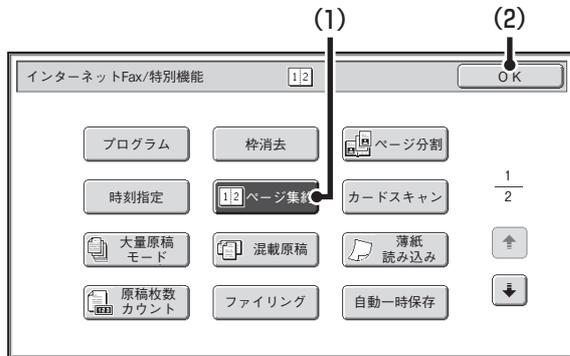
3

(1) [インターネットFax]タブをタッチする

(2) [特別機能]キーをタッチする

☞ 特別機能の種類について (5-71ページ)

4



ページ集約を設定する

(1) [ページ集約]キーをタッチして反転表示にする

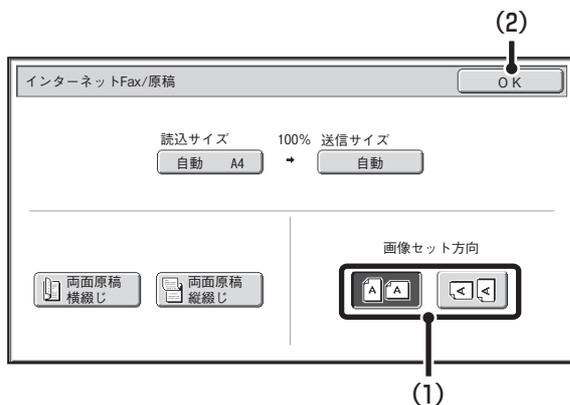
(2) [OK]キーをタッチする

5



[原稿]キーをタッチする

6



原稿の画像セット方向を指定する

(1) セットした原稿の画像と同じ向き「画像セット方向」のキーをタッチする

この設定が正しくないと、適切な画像が送信されないことがあります。

(2) [OK]キーをタッチする

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。
「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。
セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。
「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。



読み込み終了の確認画面に表示されている[設定変更]キーをタッチすると、濃度や解像度、読み込みサイズ／送信サイズを変更することができます。（偶数枚目の原稿を読み込むときは、濃度のみ変更することができます。）



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー（Ⓢ）を押して中止してください。



- 原稿サイズより小さいサイズで送信することはできません。
- A4、B5、A5サイズ以外の原稿ではページ集約を使用できません。
- 原稿の読み込みサイズを数値で指定している場合、この機能は使用できません。



ページ集約を解除するには…

手順4の画面で[ページ集約]キーをタッチして反転表示を解除してください。

通信結果表のプリント設定を変更して送信する (通信結果表)

インターネットFax通信に失敗したときや同報送信が行われた場合、自動的に通信結果をプリントすることができます。通信結果表には、通信の内容（日付、開始時刻、相手先名、所要時間、枚数、通信結果など）がプリントされます。

☞ [通信結果欄の内容について](#) (5-113ページ)



この機能は、スキャナーモード、USBメモリースキャンモード、およびデータ入力モードでは使用できません。

通信結果表は、システム設定で設定された条件に従ってプリントされますが、送信ごとに条件を変更することができます。送信時に通信結果表のプリント条件を変更するときは、次の操作を行ってください。

1

原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2

送信先を指定する

☞ [送信先の入力方法について](#) (5-18ページ)

3

特別機能を選択する

(1) [インターネットFax]タブをタッチする

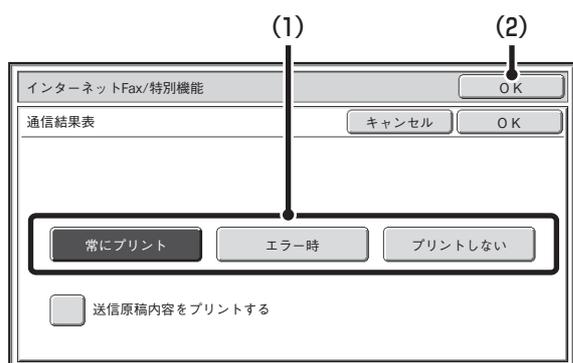
(2) [特別機能]キーをタッチする

(3) キーで画面を切り替える

(4) [通信結果表]キーをタッチする

☞ [特別機能の種類について](#) (5-71ページ)

4



通信結果表のプリント条件を設定する

(1) プリント条件を選択する

(2) [OK]キーをタッチする



- 通信結果表のプリント条件は次のとおりです。
「常にプリント」: 送信が成功または失敗しても通信結果表をプリントします。
「エラー時」: 送信が失敗したときに通信結果表をプリントします。
「プリントしない」: 通信結果表をプリントしません。
- [送信原稿内容をプリントする]チェックボックスをタッチして にすると、通信結果表といっしょに、送信した原稿内容の一部がプリントされます。

5

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。
「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。
セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。
「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。



同報送信を行った場合は、変更した通信結果表のプリント条件がすべての送信先に適用されます。



通信結果表を解除するには…

手順4の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。



• システム設定（管理者）：通信結果表プリント設定

通信結果表をプリントする条件を設定します。

工場出荷時は に設定されています。

通常送信時： 常にプリント / / プリントしない

同報送信時： / 送信失敗宛先 / プリントしない

受信時： 常にプリント / エラー時 /

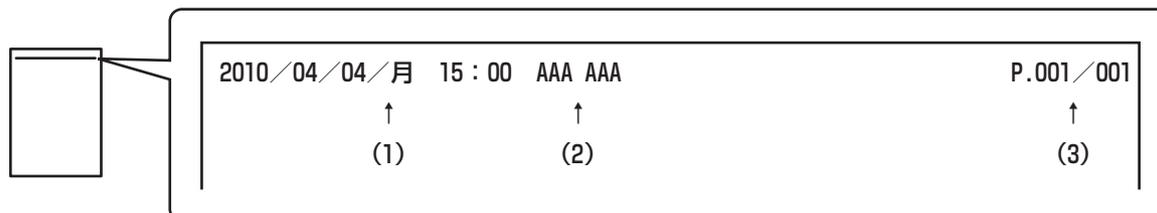
• システム設定（管理者）：送信時の原稿内容プリント設定

送信した原稿の一部を通信結果表にプリントするように設定できます。

発信元情報を付けて送信する (インターネットFax発信元印字)

送信原稿の上部中央に発信元情報（日付、時刻、発信元名、送信ページ数）を付けて送信します。
工場出荷時の設定では、発信元情報を常に付けて送信するように設定されています。

発信元情報のプリント例



- (1) 日付・時刻：送信時の日付と時間 (2) 発信元名：本機の発信元名
(3) 送信ページ数：送信ページ数／総ページ数



- この機能は、スキャナーモード、USBメモリースキャンモード、およびデータ入力モードでは使用できません。
- 発信元情報を付けないように設定して同報送信を行うと、すべての送信先に発信元情報を付けずに送信されます。

1 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

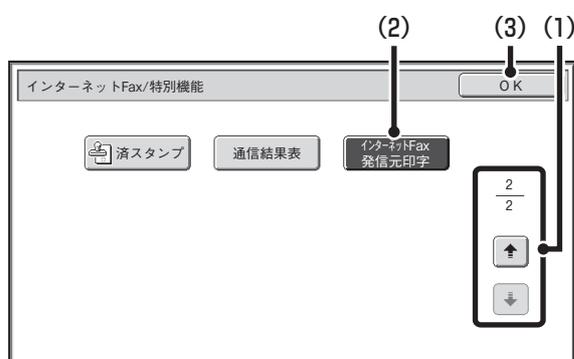
2 送信先を指定する

☞ [送信先の入力方法について](#) (5-18ページ)

3 特別機能を選択する

- (1) [インターネットFax]タブをタッチする
(2) [特別機能]キーをタッチする
☞ [特別機能の種類について](#) (5-71ページ)

4



発信元印字を設定する

- (1) キーで画面を切り替える
(2) [インターネットFax 発信元印字]キーをタッチして反転表示にする
工場出荷時は、反転表示されています。
(3) [OK]キーをタッチする

[白黒スタート]キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。「ピー」音が鳴ると原稿の読み込みが完了し、送信操作は終了です。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて[白黒スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら、[読み込み終了]キーをタッチしてください。「ピー」音が鳴ると送信操作は終了です。



原稿の読み込みを中止するには…

[ストップ]キー (⊙) を押して中止してください。



• 発信元情報の登録や設定について

日付・時刻： システム設定の「日付・時刻設定」で設定します。

発信元名、発信元アドレス： システム設定（管理者）「インターネットFax設定」の「発信元情報登録」で登録します。インターネットFax発信元印字を使用する場合は、必ず登録してください。

送信ページ数： システム設定（管理者）「インターネットFax設定」の「ページ数印字」で印字するかしないかを設定します。

• 発信元情報の添付位置について

発信元情報は、読み込んだ送信データの上部に追加されます。そのため、送信データが読み込みサイズよりも長くなるので、相手機でプリントされるときに縮小または分割される場合があります。



システム設定（管理者）：デフォルト日付発信元送付

インターネットFax送信する場合、常に発信元情報を付けるかどうかを設定します。

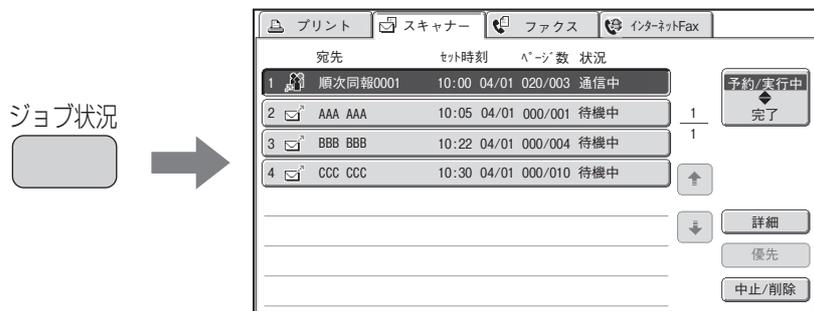
通信状況を確認する

送信予約や受信したインターネットFaxの状況を確認する方法について説明しています。

ジョブ状況画面について

操作パネルの[ジョブ状況]キーを押すと、ジョブ状況画面が表示されます。ジョブ状況画面はモード別に切り替えることができ、[ジョブ状況]キーを押す前に使用していたモードのジョブ状況画面が表示されます。ここでは、予約された送信やインターネットFaxの受信をジョブと呼びます。

例：スキャナーモードで使用しているとき



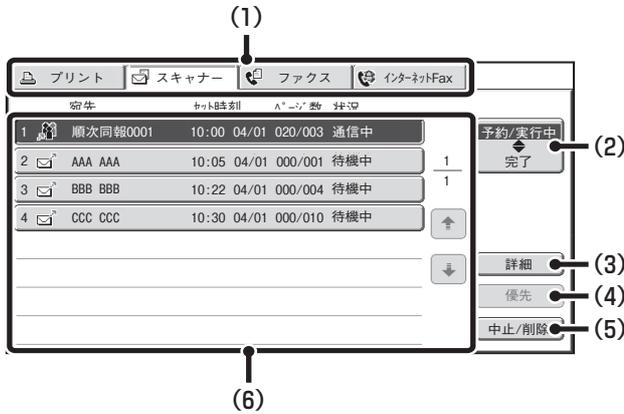
タッチパネルの左下にはジョブ状況表示部があります。ジョブ状況表示部をタッチしてジョブ状況画面を表示することができます。



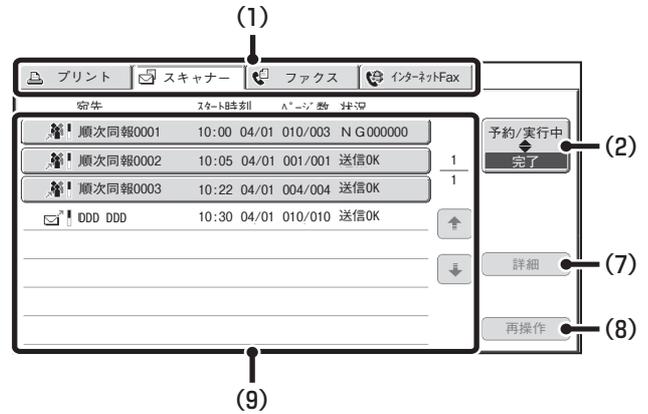
予約/実行中画面と完了画面について

ジョブ状況画面は、実行中ジョブや送信予約されたジョブを表示する予約/実行中画面と、送受信が完了したジョブを表示する完了画面に分けられます。それぞれの画面は、ジョブ状況画面切り替えキー（下図(2)）をタッチすることにより切り替わります。

予約/実行中画面



完了画面



(1) モード切り替えタブ

各モードのジョブ状況画面に切り替えるときにタッチします。

(2) ジョブ状況画面切り替えキー

予約/実行中画面と完了画面を切り替えるときにタッチします。

(3) 予約/実行中画面[詳細]キー

順次同報送信ジョブの詳しい内容や通信状況を表示します。表示させたいジョブのキーを(6)の予約/実行中画面ジョブリストから選択し、[詳細]キーをタッチしてください。

(4) [優先]キー

選択したジョブを優先して実行するときにタッチします。

☞ [あとからスキャンしたデータを優先して送信する](#) (5-112ページ)

(5) [中止/削除]キー

選択したジョブを中止や削除するときにタッチします。

☞ [送信中や予約中のスキャンデータを中止する](#) (5-111ページ)

(6) 予約/実行中画面ジョブリスト

予約された順番にジョブをキーで表示します。キーにはジョブの通信内容や現在の状況を表示します。

☞ [ジョブのキー表示について](#) (5-107ページ)

(7) 完了画面[詳細]キー

完了した順次同報送信ジョブやドキュメントファイリング機能を使用したジョブの詳しい通信結果を表示します。表示させたいジョブのキーを(9)の完了画面ジョブリストから選択し、[詳細]キーをタッチしてください。

☞ [完了ジョブの内容を確認する](#) (5-110ページ)

(8) [再操作]キー

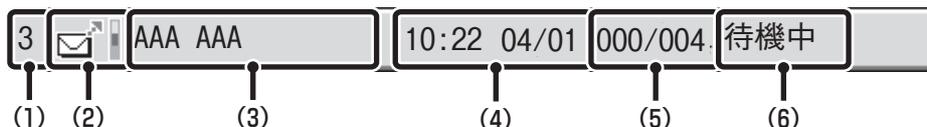
ドキュメントファイリング機能を使用した送受信の再操作を行うときにタッチします。

(9) 完了画面ジョブリスト

送受信が完了したジョブを各モードごとに99件まで表示します。ジョブの通信内容や結果(状況)を表示します。ドキュメントファイリング機能を使用したジョブ、順次同報送信のジョブ、受信データの転送ジョブは、キーの状態に表示しています。

ジョブのキー表示について

ジョブ状況画面に表示される予約/実行中ジョブや完了ジョブのキーには、次の情報が表示されます。インターネットFaxの送受信の情報には、ダイレクトSMTPの情報も含まれます。



(1) 予約されているジョブの順番を表示します。

通信中のジョブが終了すると順番は繰り上がります。完了画面のキーには表示されません。

(2) モードアイコン

ジョブの種類をアイコンで表示します。完了画面では、そのジョブがカラーか白黒のどちらかで実行されたのかわかるカラーバーがアイコンの横に表示されます。(ただし、ドキュメントファイリング機能を使用したジョブや中止した送受信のジョブのキーには、カラーバーのアイコンは表示されません。)

アイコン	ジョブの種類
	E-mail送信スキャンの送信
	ファイルサーバー送信スキャンの送信
	共有フォルダー送信スキャンの送信
	デスクトップ送信スキャンの送信
	インターネットFax送信
	インターネットFax受信
	PCインターネットFax送信
	順次同報送信または受信データの転送
	メタデータ送信

(3) 通信先名（宛先）

送信の場合は送信先名または送信先アドレスを、受信の場合は相手先アドレスを表示します。順次同報送信の場合は「順次同報」と表示され、同報管理番号（4桁）が表示されます。

(4) セット時刻／開始時刻

予約/実行中画面のジョブキーはジョブが予約された日時が、完了画面ではジョブが開始された日時が表示されます。

(5) ページ数

送信終了ページ数／原稿の総ページ数を表示します。

(6) 状況

ジョブの状況を表示します。

- 実行中ジョブの場合

表示	状況
「通信中」	送信先への接続中
「送信中」	データの送信中
「受信中」	インターネットFaxデータの受信中
「中止」	ジョブを中止している状態
「エラー」	ジョブの実行中にエラーが発生した場合

- 実行待ちのジョブの場合

表示	状況
「待機中」	実行の順番待ちの状態
「再コール」	通信エラーなどにより再コールを行うジョブ
「送信済確認待」	送達確認を設定したインターネットFax送信後、送達確認待ちの状態
曜日と時間を表示している	時刻指定送信のジョブ(指定時刻を表示)

•完了ジョブの場合

表示	状況
「送信OK」	送信完了
「未出力」	インターネットFaxの受信のみ完了し、プリントされていない状態
「受信OK」	インターネットFax受信データをプリントした
「転送OK」	インターネットFax受信データの転送完了
「中止」	中止操作を行ったジョブ
「削除」	画像確認において受信データを削除した
「送信成功件数/全宛先件数 OK」	順次同報送信または受信データの転送の通信完了 送信成功件数3件/全宛先件数5件の場合、「003/005 OK」と表示されます。
「相手無応答」	送信先の無応答によるエラー
「OK返信受領」	送達確認を設定したときに正常に送信が終了し、送信先から送達確認が返信された
「NG返信受領」	送達確認を設定したときに、通信が正しく行われず、送信失敗の送達確認が返信された
「返信なし」	送達確認を設定したときに、送達確認待ちタイムアウト時間内に送達確認を受信できなかった
「E-mail受信」	受信時、添付ファイルがなかったためプリントできなかった
「受信拒否」	受信を拒否している相手先からインターネットFaxが送られてきた
「NGxxxxxx」	通信エラーのため、送受信が正常に行われなかった(xxxxxxには6桁のエラーコードが表示されます。)
「エラー」	ジョブの実行中にエラーが発生した

予約/実行中ジョブが完了したときの動作について

通常の送信ジョブは、送信が完了すると完了画面に移動し、状況欄には「送信OK」と表示されます。
インターネットFax受信、時刻指定送信ジョブ、転送ジョブについては、ジョブ状況画面で次のように動作します。

インターネットFax受信したジョブの動作について

インターネットFaxを受信しているときは「受信中」と表示されます。
受信が終了するとジョブの表示は完了画面に移動し「未出力」と表示されます。
受信データのプリントが終了すると「受信OK」と表示が変わりインターネットFax受信が完了します。

時刻指定送信ジョブの動作について

時刻指定されているジョブは、指定時刻になるまでジョブリストの最後に表示されています。
指定時刻になるとジョブを実行します。他のジョブが実行中の場合は、実行中ジョブの完了後に時刻指定ジョブを実行します。

送達確認要求を設定したインターネットFaxの送信ジョブの動作について

送達確認要求が設定されたインターネットFaxの送信ジョブ（ダイレクトSMTPの送信ジョブを除く）は、送信が完了したあと予約/実行中画面の最下部で待機状態になります。状況欄には「送信済確認待」と表示されます。送信先から送達確認メールを受信した時点、または設定された時間内に送達確認を受信できなかった時点で完了画面に移動します。

受信データの転送設定が設定されているときの受信ジョブの動作について

受信データの転送設定が設定されているときは、受信データのプリント設定によりジョブの動作が異なります。
☞ [受信したデータを送信先に転送する（受信データの転送設定）](#)（5-120ページ）

• 受信データをプリントしない場合

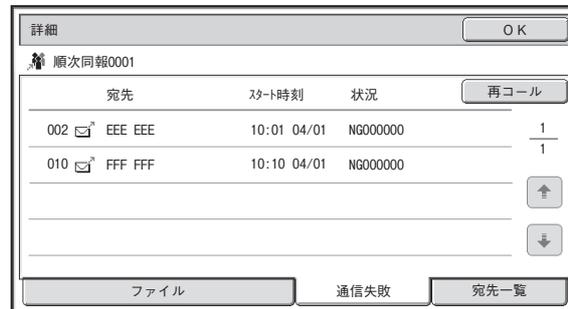
データを受信中は、「受信中」と表示されます。受信終了後は、スキャナーモードのジョブ状況画面に移動して送信待機中のジョブとなります。

• 受信データをプリントする場合

受信が終了すると、完了画面に移動し「未出力」と表示されます。受信データのプリントが終了すると「受信OK」と表示が変わりインターネットFax受信が完了します。また、スキャナーモードのジョブ状況画面に送信待機中のジョブが追加されます。受信データの転送が終了すると「転送OK」と表示されます。

完了ジョブの内容を確認する

ドキュメントファイリング機能を使用したジョブ、順次同報送信のジョブ、受信データの転送ジョブについて、送信宛先の一覧や送信に失敗した宛先など、通信の詳しい内容を表示することができます。完了画面で、内容を表示したいジョブのキーをタッチして[詳細]キーをタッチすると、ジョブ確認画面（下記参照）が表示されます。



ジョブ確認画面では、画面上部にジョブ名を表示しています。

ジョブの詳しい内容を表示するときは、切り替えタブをタッチしてください。それぞれのタブで表示される内容は下表のとおりです。

タブ名	表示内容
ファイル	ドキュメントファイリング機能を使用した送受信内容を表示します。 [再操作]キーをタッチしてドキュメントファイリングの再操作を行うことができます。
通信失敗	通信に失敗した宛先の内容を表示します。 宛先：宛先名または番号 スタート時刻：通信を開始した時刻 状況：失敗（エラー）の内容 [再コール]キーをタッチすると送信に失敗した宛先に再コールできます。※
宛先一覧	ジョブで指定されたすべての宛先を表示します。 宛先：宛先名または番号 スタート時刻：通信を開始した時刻 状況：通信結果 [再コール]キーをタッチするとすべての宛先に再コールできます。※

※ ファイルサーバー送信、共有フォルダー送信、デスクトップ送信の宛先が含まれた順次同報送信のジョブは、再コールできません。

送信中や予約中のスキャンデータを中止する

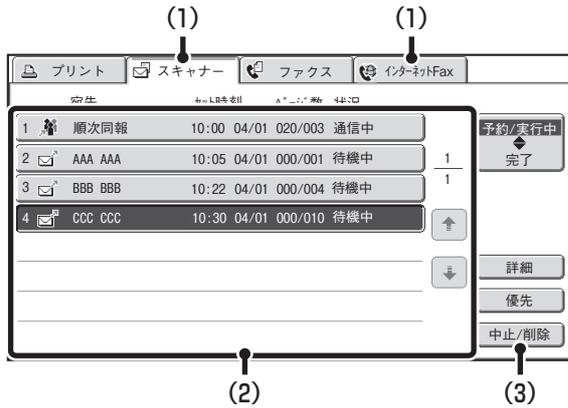
送信中や送信予約されているジョブを中止します。

1



[ジョブ状況]キーを押す

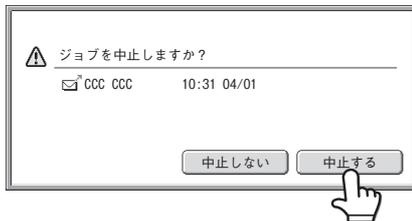
2



中止するジョブを選択する

- (1) 中止したいジョブのモードタブをタッチする
- (2) 中止するジョブのキーをタッチする
- (3) [中止/削除]キーをタッチする

3



[中止する]キーをタッチする



選んだジョブを中止しないときは…
[中止しない]キーをタッチしてください。



受信したインターネットFaxのプリントは中止できません。

あとからスキャンしたデータを優先して送信する

送信予約されているジョブが複数ある場合、通常は予約されたジョブの順に送信します。ここでは、あとから予約されたジョブの順番を変更して優先的に送信する方法を説明します。

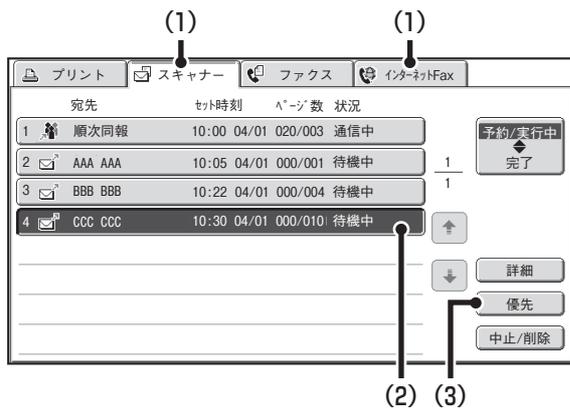
1

ジョブ状況



[ジョブ状況]キーを押す

2



優先して送信したいジョブを選択する

- (1) 優先したいジョブのモードタブをタッチする
- (2) 優先したいジョブのキーをタッチする
- (3) [優先]キーをタッチする

選択したジョブのキーが現在実行中のジョブの次に移動します。現在実行中のジョブが終了後、選択したジョブが実行されます。

インターネットFaxの通信記録を確認する (通信記録表)

通信記録表のプリントについて

本機では、過去に行った通信記録（通信日、相手先名、所要時間、通信結果など）をプリントすることができます。通信結果欄には、エラーの種類などのメッセージがプリントされていますので内容を確認してください。

過去の通信記録は、新しいものから200件まで記録されています。

通信記録表は、通信記録が201件に達したときや指定した時刻（1日1回のみ）にプリントすることができます。



通信記録はプリントされると消去されますので、再プリントできません。



システム設定（管理者）：記録表プリント設定

通信記録表をプリントする条件を設定します。工場出荷時設定はプリントしないように設定されています。通信記録が201件に達したときや指定した時刻（1日1回のみ）にプリントするように設定できます。

通信結果欄の内容について

通信結果表／通信記録表の通信結果欄には、エラーの種類などが印字されます。通信結果表や通信記録表がプリントされたときは、通信結果欄の内容で通信結果を確認して対処してください。

通信結果欄の印字例

印字	内容
OK	正常に通信が終了した。
OK返信受領	送達確認を設定したときに正常に送信が終了し、送信先から送達確認が返信された。
キャンセル	送信中に通信を停止させた、あるいは送信予約を取り消した。
受信メモリーオーバー	受信中にメモリーオーバーが発生した。
受信拒否	受信を拒否している相手先からインターネットFaxが送られてきた。
NG返信受領	送達確認を設定したときに、通信が正しく行われず、異常をお知らせする送達確認が返信された。
返信なし	送達確認を設定したときに、送達確認待ちタイムアウト時間内に送達確認を受信できなかった。
NGリミット	送信データサイズが、本機で設定されている送信データの上限値設定の値を超えたために送信できなかった。
e-mail受信	受信時、添付ファイルがTIFF-F以外の形式のため、または添付ファイルがなかったためプリントできなかった。
通信エラー xx (xxxx)	通信エラーのため、送受信が正常に行われなかった。 通信エラー番号の前2桁：00～99のエラーコードが表示されます。 通信エラー番号の下4桁：サービス担当者が利用するためのコードです。

インターネット Fax の受信機能

インターネットFaxの基本的な受信機能について説明しています。

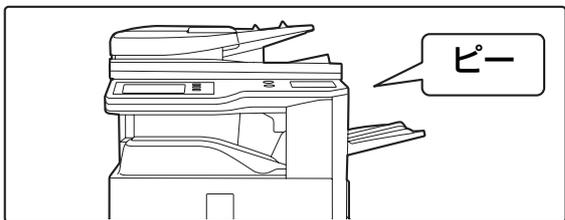
インターネットFaxを受信する

インターネットFaxは、定期的※にメールサーバー（POP3サーバー）に接続して着信の有無を確認し、着信していれば自動的に受信してプリントします。

※ 初期状態では、5分間隔で確認するように設定されています。

 夜間などに受信する場合は、本機の主電源スイッチを常に“入”にしておいてください。

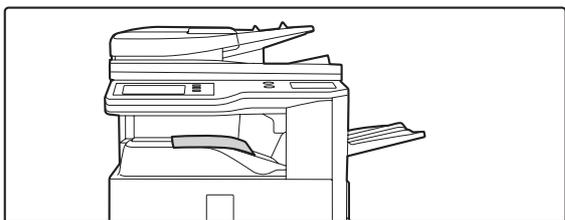
1



自動的に受信する

受信が始まると、ファクス受信ランプが点滅します。受信が終わると「ピー」音が鳴ります。

2



自動的にプリントする

プリントが終わるとファクス受信ランプが消灯します。右トレイに排紙の場合は、用紙を取り除くとファクス受信ランプが消灯します。

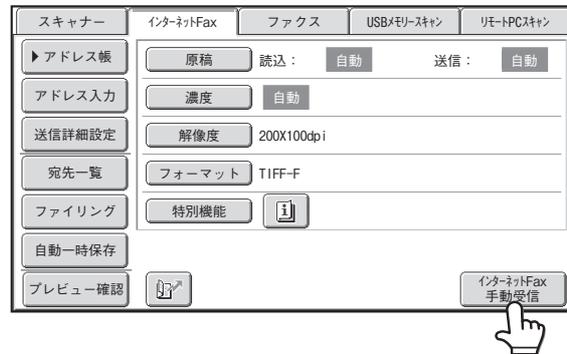
-  用紙切れや受信データをプリントするサイズ用の紙がセットされていないときは、タッチパネルにメッセージが表示されます。メッセージの指示に従い、適切な用紙をセットしてください。
- インターネット Fax を受信すると操作パネルのファクス受信ランプを点滅させてお知らせします。ファクス受信ランプは、インターネットFaxの受信を開始してからプリントが終了するまで点滅しています。右トレイに排紙の場合は、用紙を取り除くまで点滅しています。

-  **システム設定：受信／転送設定（7-21ページ）**
用紙切れやトナー切れで受信データをプリントできないときは、あらかじめ登録しておいた他のインターネットFaxに受信データを転送してプリントすることができます。
- システム設定（管理者）：受信ランプ設定**
ファクス受信ランプを点滅させるかどうか設定できます。
- システム設定（管理者）：インターネットFax初期設定**
[電源]キー（）を“切”（主電源スイッチは“入”）にしたときの受信データの扱い、受信が終わったときに鳴る「ピー」音（受信音）の音量、受信したメールの本文をプリントするかどうかの設定ができます。
- システム設定（管理者）：インターネットFax受信設定**
受信確認の間隔、両面受信の設定、排紙設定、自動縮小プリント、受信可否アドレスの登録などインターネットFaxの受信に関する設定ができます。
- システム設定（管理者）：特定アドレス/ドメイン受信可否設定**
登録したアドレス/ドメインに対して受信の許可/拒否を設定できます。
- システム設定（管理者）：受信日時印字設定**
受信データをプリントする際に受信日時を付けてプリントするかどうかの設定ができます。

インターネットFaxを手動受信する

受信間隔を長めに設定しているときなど、ただちに受信の有無を確認したいときは、手動で受信操作を行うことができます。

インターネットFaxモードの基本画面にある[インターネットFax手動受信]キーをタッチすると、メールサーバーに接続して新着データの受信を開始します。

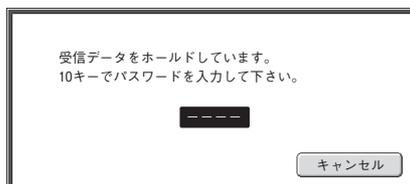


 WebページからPOP3サーバーを設定していない場合、[インターネットFax手動受信]キーは薄く表示され、タッチできません。

 **システム設定：受信／転送設定 (7-21ページ)**
 インターネットFaxモードの基本画面に[インターネットFax手動受信]キーを表示させないように設定できます。[インターネットFax手動受信]キーを表示させないように設定したときは、「受信/転送設定」→「インターネットFax設定」の画面上にある[今すぐ受信]キーをタッチして手動受信してください。

パスワードで保護されている受信データをプリントする（受信データ印字ホールド）

システム設定（管理者）の「受信データ印字ホールド設定」で、受信データをプリントせずにメモリーに保存し、パスワードを使用してプリントするように設定できます。この機能を使用している場合、インターネットFaxを受信するとタッチパネルにパスワード入力画面が表示されます。



あらかじめ登録されたパスワード（4桁の数字）を数字キーで入力すると、プリントが開始されます。[キャンセル]キーをタッチするとパスワード入力画面が消えますが、保存データがあることをお知らせするキー（) がタッチパネル上で点滅表示されます。点滅しているキー（) をタッチするか、モードを切り替えるとパスワード入力画面が再び表示されます。

システム設定（管理者）の「受信データの画像確認設定」が設定されている場合、パスワードを入力すると受信データリスト画面が表示されます。受信データをプリントする前にタッチパネルで画像を確認したいときは、次ページの手順2からの操作を行ってください。

-  受信データは、自動受信、手動受信にかかわらずメモリーに保存されます。
-  システム設定の「受信/転送設定」で受信データを他機へ転送する場合、メモリーに保存されているデータも転送されます。その際、プリント時と同様のパスワード入力画面が表示され、パスワードを入力しないと転送することはできません。

 **システム設定（管理者）：受信データ印字ホールド設定**
受信データをプリントせずにメモリーに保存し、パスワードを使用してプリントするように設定できます。パスワードの登録もここで行います。

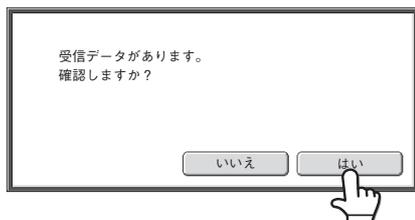
受信データの内容を確認してからプリントする

システム設定（管理者）の「受信データの画像確認設定」が有効※に設定されていると、受信データをプリントする前に、あらかじめタッチパネルで画像を確認しておくことができます。この機能を設定している場合、次の操作で受信データをプリントしてください。

※工場出荷時は無効になっています。

 タッチパネルに表示される画像確認画面で、受信データの大きさによっては一部表示されない場合があります。

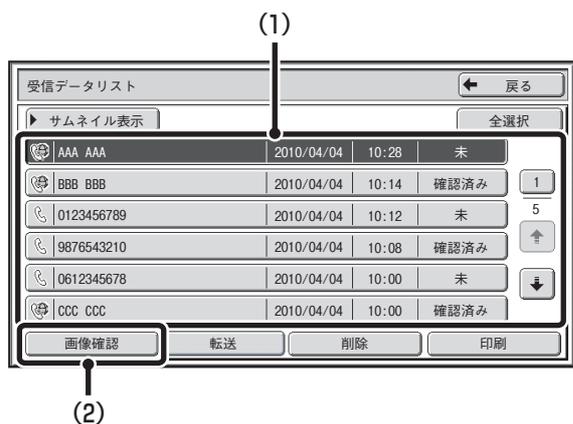
1



データを受信すると確認のメッセージが表示されるので、**[はい]**キーをタッチする

各種の設定途中にこのメッセージが表示された場合、[はい]キーをタッチすると設定途中の内容は無効になります。また、このメッセージが他のモードで表示された場合は、イメージ送信モードの基本画面に戻ります。

2



受信データを選択する

(1) 確認したい受信データのキーをタッチする

受信データは、複数選択できます。

(2) [画像確認]キーをタッチする

- [サムネイル表示]キーをタッチすると、受信データの縮小画像を並べて表示します。
- 選択したデータを消去したいときは[削除]キーを、プリントしたいときは[印刷]キーをタッチしてください。

3



受信データの画像を確認して、**[印刷]**キーをタッチする

プリントが始まります。

画像確認画面については、「[画像確認画面について](#)」(5-119ページ)を参照してください。

 各モードの設定画面で設定を行っているときに手順1の画面が表示された場合、受信データを確認すると設定していた内容は無効になります。また、画像確認を終了すると、直前に表示していたモードに関係なくイメージ送信モードの基本画面に戻ります。

 **システム設定（管理者）：受信データの画像確認設定**
インターネットFaxのデータを受信した際、プリントする前に受信データの内容を確認するかどうかの設定ができます。

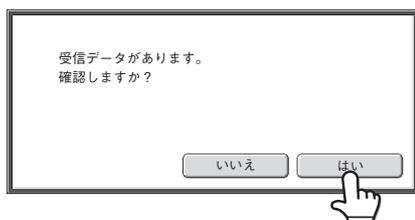
受信データの内容を確認してから転送する

システム設定（管理者）の「受信データの画像確認設定」が有効※に設定されていると、受信データをリストから選択し、アドレス帳に登録されている宛先に転送できます。この機能を設定している場合、次の操作で受信データを転送してください。

※工場出荷時は無効になっています。

 タッチパネルに表示される画像確認画面で、受信データの大きさによっては一部表示されない場合があります。

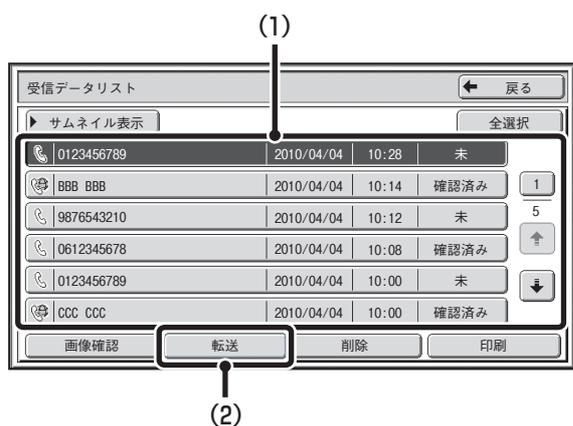
1



データを受信すると確認のメッセージが表示されるので、[はい]キーをタッチする

各種の設定途中にこのメッセージが表示された場合、[はい]キーをタッチすると設定途中の内容は無効になります。また、このメッセージが他のモードで表示された場合は、イメージ送信モードの基本画面に戻ります。

2



受信データを選択する

(1) 確認したい受信データのキーをタッチする

受信データは、複数選択できます。

(2) [転送]キーをタッチする

- [サムネイル表示]キーをタッチすると、受信データの縮小画像を並べて表示します。
- 受信データは、[画像確認]キーをタッチして、画像を確認することができます。
 [画像確認画面について](#) (5-119ページ)

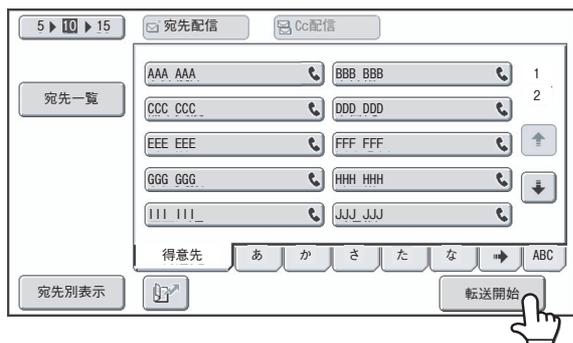
3



アドレス帳から、転送先をタッチして選択する

転送する宛先は、複数選択することができます。

4



転送を開始する

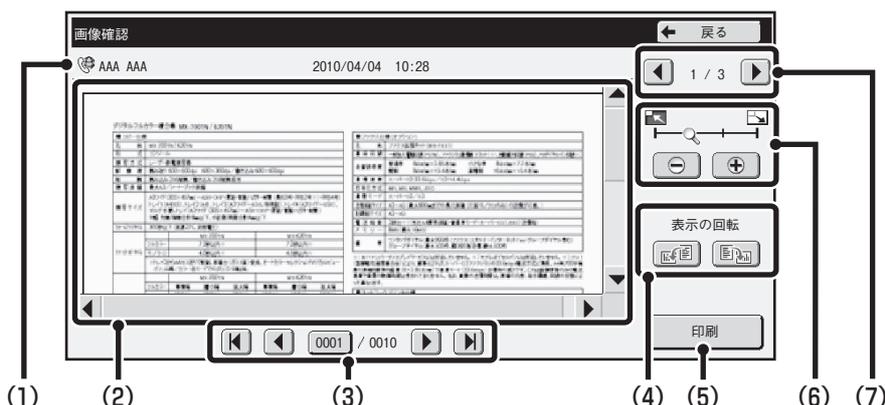
[転送開始]キーをタッチします。

各モードの設定画面で設定を行っているときに手順1の画面が表示された場合、受信データを確認すると設定していた内容は無効になります。また、画像確認を終了すると、直前に表示していたモードに関係なくイメージ送信モードの基本画面に戻ります。

システム設定 (管理者)：受信データの画像確認設定
インターネットFaxのデータを受信した際、プリントする前に受信データの内容を確認するかどうかの設定ができます。

画像確認画面について

ここでは、画像確認画面の見かたについて説明しています。

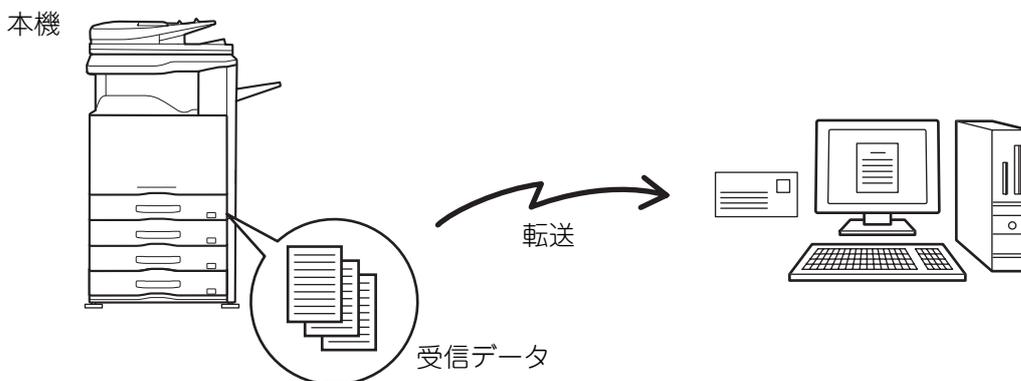


- (1) **情報表示部**
表示中のデータに関する情報が表示されます。
- (2) **プレビュー画像**
選択しているデータの画像が表示されます。画像が切れて表示されている場合は、右下にあるスクロールバーで表示部分を移動させてください。バーをタッチし、そのままスライドさせると、画像が連動して動きます。(▼ ▲ キーをタッチして動かすこともできます。)
- (3) **ページ送りキー／ページ指定キー**
ページが複数ある場合に、ページを切り替えます。
 - ◀ ▶ キー：最初のページまたは最後のページを表示します。
 - ◀ ▶ キー：前のページまたは次のページを表示します。
 - ページ数表示：総ページ数と、現在表示中のページ数が表示されます。現在のページ数のキーをタッチして、数字キーで任意の数値を入力すると、目的のページを表示することができます。
- (4) **「表示の回転」キー**
画像を左右に90度ずつ回転させます。変更は表示ページだけでなく、データ全体に反映されます。
- (5) **【印刷】キー**
タッチすると、プリントが実行されます。
- (6) **表示倍率切り替えキー**
画像の表示倍率を選択します。左から「全画面表示」、「2倍」、「4倍」、「8倍」と切り替わります。変更は表示ページだけでなく、データ全体に反映されます。
- (7) **データ選択キー**
複数のデータを選択してプレビューを表示させている場合に、表示データを切り替えます。

プレビュー画像はタッチパネル表示用のイメージ画像です。実際のプリント結果とは異なります。

受信したデータを送信先に転送する(受信データの転送設定)

インターネットFaxの受信データを、ファクス／インターネットFax／E-mail／ファイルサーバー／デスクトップ／共有フォルダーのアドレスに自動的に転送することができます。この機能を設定すると、受信データをプリントせずに、指定したアドレスへ転送するといった使いかたができます。



- 
 携帯電話を転送先に指定する場合は、携帯電話の種類によっては正しく転送されない場合がありますので、受信データが携帯電話に届き、正しく表示できることを前もって確認していただくことをお勧めします。
- この機能で転送されたデータを転送先でプリントする際、受信日時を付けてプリントすることはできません。〔受信日時印字設定〕は無効になります。

受信データの転送設定を行う

受信データの転送設定は、すべてWebページで行います。Webページへのアクセス方法については、スタートガイドを参照してください。

以降の説明は、管理者権限でWebページにアクセスしていることを前提にしています。

受信データの転送を行うには、次の手順で設定を行ってください。



受信データの転送設定機能を有効にする

- Webページメニューで[アプリケーション設定] → [受信データのネットワーク転送設定] → [管理設定]をクリックする
- 「受信データのネットワーク転送」で[有効]を選択して[登録]ボタンをクリックする

1


 この設定画面では、転送テーブルの登録、変更／削除、使用する転送テーブルの指定について、管理者権限のないユーザーの操作を禁止することができます。操作を禁止する場合は、下記項目のチェックボックスを にしてください。

- 転送テーブルの登録禁止
- 転送テーブルの変更/削除禁止
- 転送許可の変更の禁止

また、受信データを転送する際、本機でプリントを行うかどうかを設定できます。

受信データを常にプリントしてから転送させる場合は、「受信データのプリント設定」で[常にプリント]を選択してください。[エラー時のみプリント]が選択されている場合は、何らかのエラーにより転送できなかったときのみ受信データをプリントします。[プリントせず、エラー時は以下のE-mailアドレスに転送]が選択されている場合は、エラー時は受信データをプリントせず、指定したE-mailアドレスに受信データを転送します。

これらの設定を行ったあとは、必ず[登録]ボタンをクリックしてください。

送信元アドレスを登録する

特定のアドレスから受信したデータのみを転送の対象とする場合は、対象となる送信元のアドレスを登録してください。ここで登録した送信元アドレスは、転送テーブルを登録する際にリストから選択できるようになります。

(1) Webページの[受信データのネットワーク転送設定]メニューにある[送信元番号/アドレスの登録]をクリックする

(2) 「インターネット Fax アドレス」または「ファクス番号」に送信元のアドレスを入力し、[リストへ追加] ボタンをクリックする

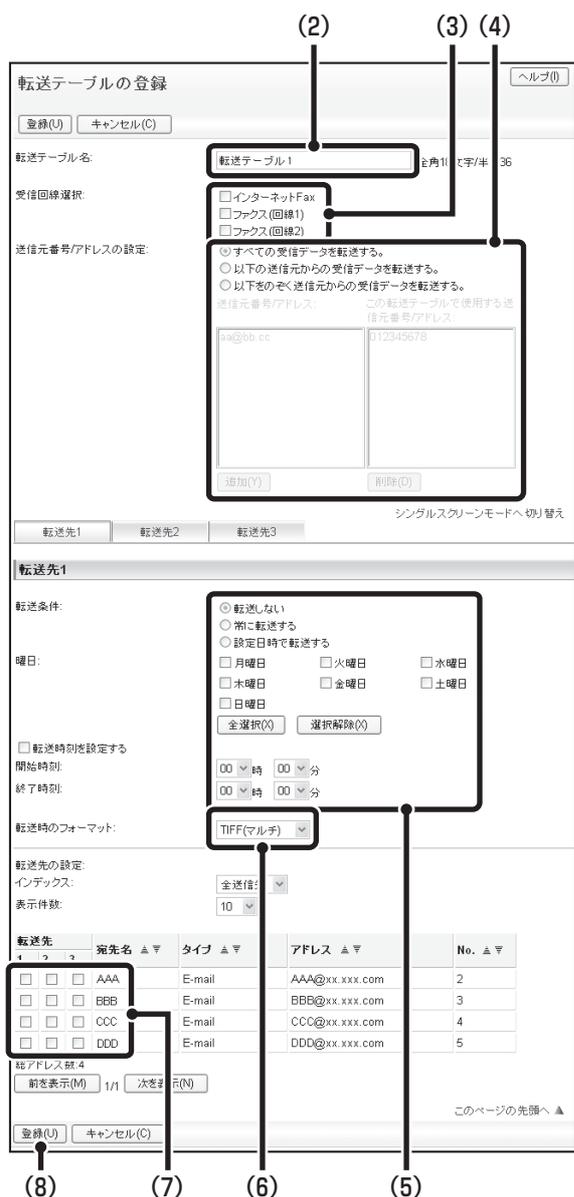
入力したアドレスが、「入力されたアドレス」のリストに追加されます。

- アドレスは直接入力（半角1500文字まで）するか、[グローバルアドレス検索]ボタンをクリックしてグローバルアドレス帳から指定してください。
- 複数のアドレスを登録する場合は、この操作を繰り返してください。

(3) すべての宛先を入力し終わったら、[登録]ボタンをクリックする



- 登録できる発信元番号／アドレスの件数は最大で500件です。
- 入力したアドレスを削除する場合は、「入力されたアドレス」から削除したいアドレスを選択し、[削除]ボタンをクリックしてください。



転送テーブルを登録する

受信データの転送元と、転送先のアドレスを指定して転送テーブルを登録します。

(1) Web ページメニューの [受信データのネットワーク転送設定] をクリックし、[追加] ボタンをクリックする

(2) 「転送テーブル名」を入力する

(3) 受信する回線を選択する

「受信回線選択」のチェックボックスが になっている回線のみを受信します。

(4) 転送の対象となる送信元を選択する

- 受信したすべてのデータを転送する場合は、[すべての受信データを転送する] を選択してください。
- 特定のアドレスからの受信データのみを転送する場合は、[以下の送信元からの受信データを転送する]、特定のアドレスからの受信データをのぞく場合は、[以下ののぞく送信元からの受信データを転送する] を選択し、対象となる送信元をリストから選択して[追加] ボタンをクリックしてください。

(5) 転送条件を選択する

- 受信データを常に転送する場合は、[常に転送する] を選択してください。
- 受信データを転送する日時を指定したい場合は、[設定日時で転送する] を選択し、転送する曜日のチェックボックスを にしてください。転送時刻を指定する場合は、[転送時刻を設定する] チェックボックスを にして時刻を指定します。

(6) フォーマットを選択する

フォーマットは、転送先ごと（テーブルの中の転送先 1/2/3 ごと）に設定できます。

(7) 転送先を選択する

転送先は、本機のアドレス帳に登録されているアドレスから指定できます。（複数のアドレスを指定できます。）転送先は、最大1000件（ファクス／インターネットFax／ファイルサーバー／デスクトップ／共有フォルダーはあわせて100件）まで登録できます。

(8) [登録] をクリックする



- 転送の対象となる送信元を「送信元番号/アドレスの設定」のリストから選択するときは、キーボードの[Shift]キーや[Ctrl]キーを使って複数選択することができます。
- 登録できる転送テーブルの件数は最大で50件です。
- 受信側の環境によっては、TIFFフォーマットで転送された画像が正しく表示されない場合があります。この場合は、フォーマットをPDFに設定してください。
- 受信データを転送する日時の設定は、1つの転送テーブルに3つまで設定でき、各設定時刻毎に転送先を設定することができます。その場合は、[転送先リスト] タブで切り替えて各設定を行ってください。
- 携帯電話を転送先に指定する場合は、データのバックアップ用として、本手順の[転送先の設定]で携帯電話以外の他の宛先を追加で指定するか、手順1の[受信データのプリント設定]で[常にプリント]を選択することをお勧めします。

(2)

受信データのネットワーク転送設定 ヘルプ(H)

登録(U) 更新(R)

受信データのネットワーク転送設定: 有効
表示件数: 10

転送テーブル名	転送条件
<input type="checkbox"/> テーブル1	転送先1 <input type="radio"/> 転送しない <input type="radio"/> 常に転送する <input type="radio"/> 設定日時で転送する
<input type="checkbox"/> テーブル2	転送先2 <input type="radio"/> 転送しない <input type="radio"/> 常に転送する <input type="radio"/> 設定日時で転送する
<input type="checkbox"/> (以下最大50件)	転送先1 <input type="radio"/> 転送しない <input type="radio"/> 常に転送する <input type="radio"/> 設定日時で転送する
	転送先2 <input type="radio"/> 転送しない <input type="radio"/> 常に転送する <input type="radio"/> 設定日時で転送する
	転送先3 <input type="radio"/> 転送しない <input type="radio"/> 常に転送する <input type="radio"/> 設定日時で転送する

総テーブル数: 3
 前を表示(M) 1/1 次を表示(N)
 全選択(S) 選択解除(Z)

削除(D) 追加(Y)

登録(U) 更新(R)

(3)

使用する転送テーブルを指定する

登録した転送テーブルのうち、使用する転送テーブルを指定して有効にすることで、受信データの転送が機能します。

(1) Web ページメニューの [受信データのネットワーク転送設定] をクリックする

(2) 使用する転送テーブルから [常に転送する] または [設定日時で転送する] を選択する

ここでの転送許可の設定は、手順3で設定した転送条件と連動しています。手順3で設定した転送条件から変更した場合は、各転送許可を設定してください。

(3) [登録] をクリックする



転送テーブル名の横にあるチェックボックスを にして [削除] をクリックすると、選択した転送テーブルを削除することができます。

コンピュータからスキャンする (リモートPCスキャン)

基本的なスキャンのしかた

本機に付属のCD-ROMからスキャナードライバーをインストールすることにより、お使いのコンピュータからTWAIN
※対応アプリケーションソフトを使って画像を読み込むことができます。

本機の操作でスキャンする方法が複数原稿の連続読み込みに適しているのに対し、コンピュータからのスキャンは、写真など1枚の原稿をコンピュータ上で画質調整しながら取り込むのに適しています。

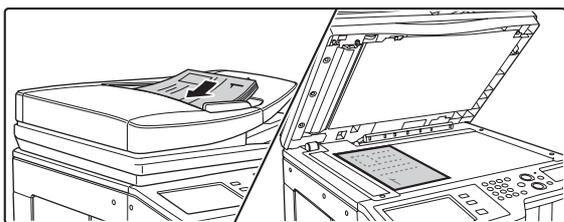
※ スキャナーなどのイメージデータ入力機器で使用されるインタフェース規格の1つです。スキャナードライバーをコンピュータにインストールすると、TWAIN規格に対応したアプリケーションソフトであれば、各アプリケーションソフト上からイメージデータを読み取ることが可能になります。

- リモートPCスキャンモードでのスキャンは、「ソフトウェアCD-ROM」の統合インストーラからスキャナードライバーをインストールしたときのみ使用できます。スキャナードライバーのインストールおよび設定については、ソフトウェアセットアップガイドを参照してください。
- 本機のシステム設定（管理者）「スキャン機能の禁止」でリモートPCスキャンが禁止されているときは、この機能は使用できません。
- お使いのTWAIN対応アプリケーションソフトによって、スキャナードライバーの選択方法や起動方法は異なります。詳しくはアプリケーションソフトに付属の取扱説明書またはヘルプを参照してください。
- 高解像度の設定で広範囲をスキャンすると、データ容量が大きくなり読み取り時間が長くなります。スキャン時の設定は、原稿の種類（テキストや写真など）に合わせて適切に行ってください。

ここでは例としてアプリケーションソフト「Sharpdesk」からスキャンする手順を説明します。

[本機での操作]

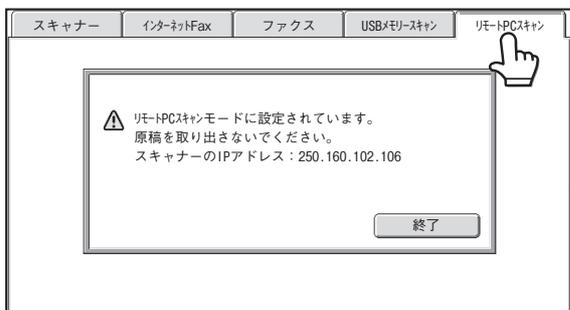
1



原稿をセットする

原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2



[リモートPCスキャン] タブをタッチしてリモートPCスキャンモードに切り替える

[リモートPCスキャン]タブが表示されていない場合は、 タブをタッチして画面を切り替えてください。

- リモートPCスキャンモードを選択しているときは、タッチパネルに表示される[終了]キー以外の操作はできなくなります。

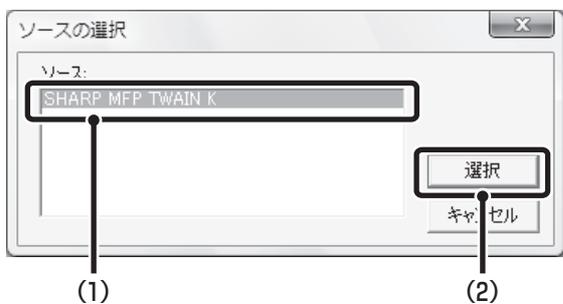
[コンピュータでの操作]

3



お使いのコンピュータでTWAIN対応アプリケーションソフトを起動し、[ファイル]メニューから[スキャナの選択]を選択する

4



本機のスキャナードライバーを選択する

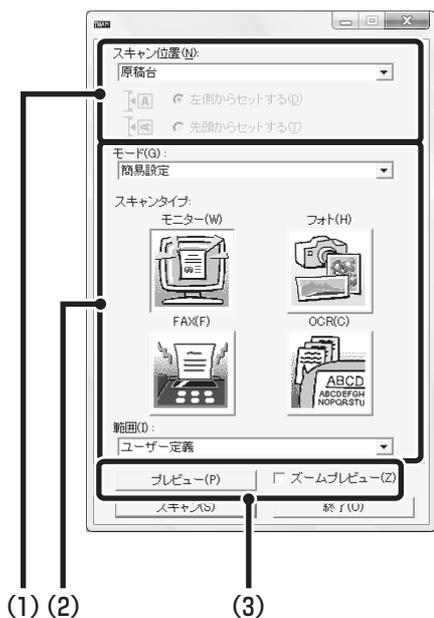
- (1) [SHARP MFP TWAIN K]を選択する
- (2) [選択]ボタンをクリックする

5



[ファイル]メニューから[画像取り込み]を選択する

スキャナードライバーが起動します。



画像をプレビューする

(1) 原稿をセットした場所を選択する

「スキャン位置」メニュー：

- 原稿セット台に片面原稿をセットしたときは、[SPF(片面)]を選択します。
- 原稿セット台に両面原稿をセットしたときは、原稿の綴じ位置によって[SPF(両面-左右開き)]または[SPF(両面-上下開き)]を選択します。また、原稿の向きを[左側からセットする]か[先頭からセットする]を選択します。

(2) 読み取り設定を行う

「モード」メニュー：

「簡易設定」画面と「詳細設定」画面を切り替えます。「簡易設定」画面では、原稿の種類や用途に合わせて「モニター」、「フォト」、「FAX」、「OCR」のいずれかをクリックして選択します。これら4つのボタンの初期設定値を変更するときや、画質、解像度など細かい設定を行ってスキャンするときは、「詳細設定」画面に切り替えます。

「範囲」メニュー：

スキャン範囲を設定します。[自動]を選択すると本機が検知した原稿サイズでスキャンします。また、プレビューウインドウ内でスキャン範囲をマウスを使って自由に設定することもできます。

(3) [プレビュー]ボタンをクリックする

読み取りイメージがスキャナードライバーに表示されます。

表示されたプレビューイメージが適切でない場合は、(2)～(3)を繰り返してください。

[ズームプレビュー]チェックボックスを有効にすると、[プレビュー]ボタンをクリックした際に、選択されている範囲を拡大してプレビューします。チェックをはずすと、通常が表示に戻ります。ただし、「スキャン位置」メニューでSPFを選択した場合は、[ズームプレビュー]機能は使用できません。



- 読み取り設定の詳細は、手順7のプレビューイメージ画面にある ボタンをクリックすると表示されるスキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 原稿セット台からスキャンする場合、[プレビュー]ボタンをクリックすると読み取りイメージとして一枚目の原稿だけスキャンします。同じ原稿をスキャンするときは、原稿を原稿セット台に戻してください。

7



イメージを見ながら読み取り設定を行う

[回転]ボタン：

クリックすることによりプレビュー画像が時計回りに90度回転します。原稿をセットし直さなくても向きを補正することができ、プレビューウィンドウに表示されている向きで画像ファイルをスキャンすることができます。

[画像サイズ]ボタン：

クリックするとダイアログボックスが表示され、数値を入力して読み取り範囲を指定することができます。数値の単位はPixel/mm/Inchから選択できます。あらかじめ任意に読み取り範囲を指定しておくと、入力した数値によって、指定した読み取り範囲の左上を基準に範囲が変化します。

[]ボタン：

プレビュー画像が表示されていて、スキャン範囲を設定していないときに [] ボタンをクリックすると、プレビューされた画像全体をスキャン範囲として自動選択できます。



- 読み取り設定の詳細は、[?] ボタンをクリックすると表示されるスキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、原稿の一番上のページのみをプレビューし、原稿出紙部に排紙します。プレビューした原稿は、再度プレビューする前、またはスキャンを実行する前に原稿セット台に戻してください。

8



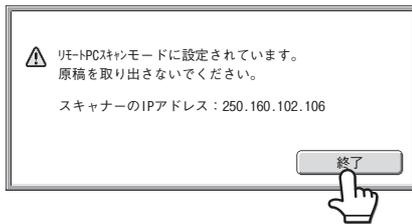
[スキャン]ボタンをクリックする

スキャンが始まり、お使いのアプリケーションソフトに画像が取り込まれます。

お使いのアプリケーションソフトによっては、取り込んだ画像にファイル名を付けて保存してください。

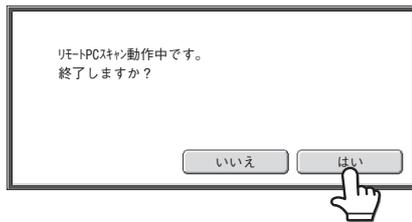
[本機での操作]

9



タッチパネルの[終了]キーをタッチする

10



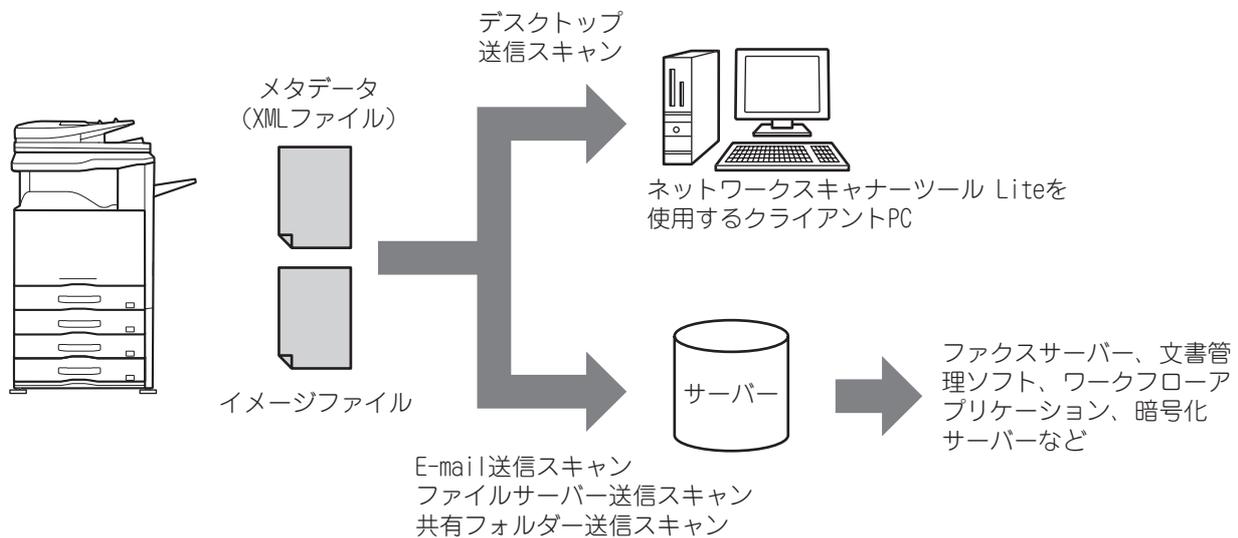
[はい]キーをタッチする

メタデータ送信について

アプリケーション拡張キット装着時に使用できるメタデータ送信について説明しています。

メタデータ送信（データ入力）とは

アプリケーション拡張キットを装着すると、スキャン送信時に生成される画像ファイルとは別に、あらかじめ登録しておいた情報を元にメタデータ（送信データの属性や処理方法を示すデータ）を生成して送信処理を行うことができます。メタデータはXML形式で作成されます。文書管理ソフト、ワークフローアプリケーション、暗号化サーバーなどのアプリケーションプログラムとメタデータを連動させることにより、高度なドキュメントソリューション環境を構築することができます。



アプリケーション拡張キットを使用すると、生成される画像ファイルの情報データをタッチパネルから入力し、画像とともにXMLファイルとして送信することができます。

メタデータ送信を行うための準備

Webページで必要な設定・登録を行う

メタデータに関する設定は、すべてWebページで行います。(管理者権限が必要です。)

Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[メタデータ設定]をクリックして行ってください。

その際、必ずメタデータ送信を有効に設定してください。

メタデータセットを登録する

スキャン時に生成されるXMLファイルに書き込まれる項目(メタデータセット)を登録します。メタデータセットには、最大10件のメタデータ項目を設定できます。登録したメタデータセットは、送信操作時に選択できるようになります。

 メタデータセットを登録する際に、「メタデータの入力を許可する宛先のタイプ」で指定した宛先は、送信操作時にワンタッチキー、手動入力、グローバルアドレス帳検索を使用して送信先を指定することができます。(メタデータの入力が許可されていない宛先は送信先を指定できません。)

デスクトップ送信スキャンでメタデータ送信を行うときは

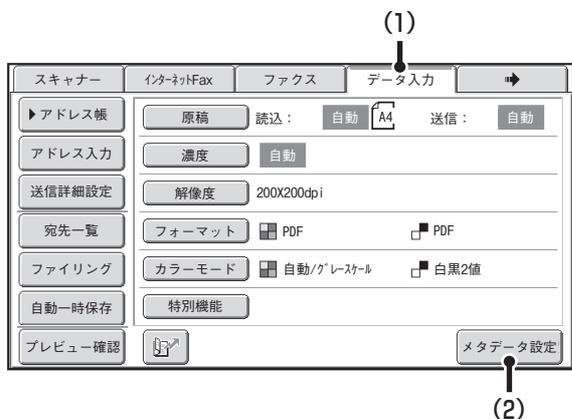
初期設定でネットワークスキャナーツール Liteを使用すると、コンピュータ上に新たなファイル名でファイルが生成されるように設定されています。メタデータファイルを他社製アプリケーションソフトへ送信する手段としてネットワークスキャナーツール Liteを使用する場合、本機が生成したファイル名を画像ファイルとXMLファイルとで相互に参照できるように、この設定を無効にしておく必要があります。([送信詳細設定]でファイル名を設定するときは、コンピュータ上にある既存のファイルが、同名で送信されたファイルによって上書きされないようにするため、生成されるファイルの名前に独自の識別子(日付など)を含めるなど、重複しないファイル名の設定を必ず行ってください。ファイル名が空欄のときは、本機が自動的に重複しないファイル名を生成します。)

-  • メタデータを受信するには、ネットワークスキャナーツール Liteを使用することをお勧めします。
- アプリケーション拡張キットに付属のCD-ROMの取り扱いおよび使用許諾契約については、別冊の「Sharpdeskライセンスキット」取扱説明書を参照してください。
- **他社製アプリケーションソフトの利用について**
他社製のアプリケーションソフトにはさまざまな種類があり、アプリケーションソフトによってはネットワークスキャナーツール Liteから自動的に起動できる場合とできない場合があります。アプリケーションソフトの自動起動機能を有効にしている場合、ネットワークスキャナーツール Liteは、ファイル名をパラメータとして「.exe」を起動させます。通常は、画像ファイルとXMLファイルそれぞれのために1回ずつ、計2回アプリケーションソフトを起動します。たとえば、ネットワークスキャナーツール Liteが「APP.EXE」というアプリケーションを起動するように設定されている状態で、「IMG.TIF」と「IMG.XML」という2つのファイルを受信した場合、次のコマンドが適用されます。
- ```
APP.EXE IMG.TIF
APP.EXE IMG.XML
```

# メタデータ送信のしかた

次の手順でメタデータセットを選択して各項目を入力し、メタデータ送信を行ってください。

1



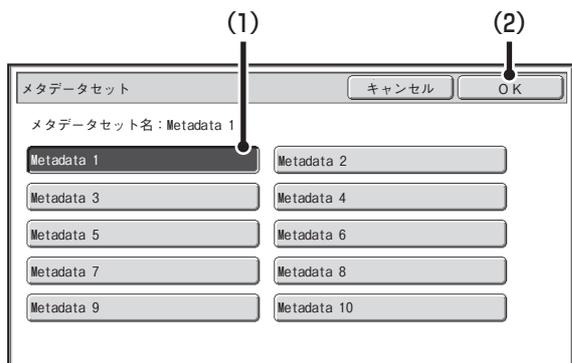
データ入力モードに切り替え、メタデータセット画面を表示する

- (1) [データ入力]タブをタッチする
- (2) [メタデータ設定]キーをタッチする



- メタデータセットが1つも登録されていないときは、[データ入力]タブはタッチできません。Webページでメタデータセットを登録してから送信操作を行ってください。
- 特定のメタデータセットをデフォルトに設定している場合は、手順3へ進んでください。

2



メタデータセットを選択する

- (1) 使用するメタデータのキーをタッチする
- (2) [OK]キーをタッチする

3

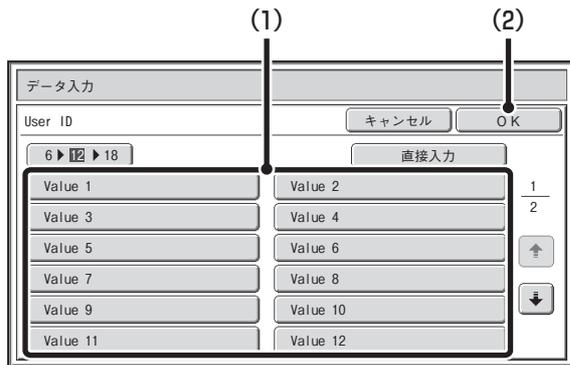


メタデータセットに登録されている項目のキーが表示されるので、入力する項目のキーをタッチする



- 選択するメタデータセットをまちがえたときや、デフォルト設定されている場合に他のメタデータセットを使用するときは、[メタデータセット]キーをタッチしてください。表示されるメッセージ画面の[OK]キーをタッチすると、手順1の画面に戻ります。それまでに入力したメタデータ項目は無効になります。

4



## 選択したメタデータ項目を入力する

### (1) 入力する値のキーをタッチする

- メタデータ項目の入力値が選択形式で登録されている場合は、選択肢がキーで表示されます。値が編集可能な場合は、[直接入力]キーをタッチして手動で入力することができます。
- 文字入力を必要とするメタデータ項目の場合は、文字入力画面が表示されます。必要な情報を入力してください。

### (2) [OK]キーをタッチする



- 一度に表示する項目の個数を変更するときは、表示件数切り替えキーをタッチしてください。タッチすることによって、6件、12件、18件と切り替わります。
- 文字入力のしかたは、「1. お使いになる前に」の「[文字入力について](#)」(1-71ページ)を参照してください。

5



## すべての項目を入力したら、[OK]キーをタッチする

6



## 原稿の読み込み設定などを行い、スキャン送信を行う

- 各種設定や送信操作は、他のモードと同様の操作で行ってください。
- [メタデータ設定]キーを再度タッチすると、選択したメタデータセットの入力画面が表示され、入力した値を修正することができます。



- [データ入力]タブを表示した状態で、メタデータ設定を行わずに送信することはできません。メタデータ送信を行わないときは、それぞれのモードのタブをタッチしてモードを切り替えてから送信操作を行ってください。
- メタデータ設定を行う前は、使用できるすべてのモードの宛先を指定することができます。メタデータ設定後は、選択したメタデータで許可されているモードの宛先のみ指定することができます。
- [データ入力]タブで宛先を指定したときや、メタデータ設定を行ったときは、他のモードに切り替えることはできません。
- ドキュメントファイリング機能を使用してメタデータ送信することができます。ドキュメントファイリングモードの送信設定画面に[データ入力]タブが表示され、メタデータ送信の実行が許可されます。また、Webページの[ファイル操作]からドキュメントファイリング機能を使用してメタデータ送信することもできます。

# メタデータフィールドについて

送信されるXMLファイルには、次の3種類のメタデータが含まれています。

- 本機が自動生成したデータ：これらのデータはXMLファイルに常に含まれていて、自動的にお使いのコンピュータに格納されます。
- あらかじめ定義されたフィールド：これらのフィールドは、本機によって自動的に認識され、適切なXMLタグへ配置されます。これらのフィールドは選択可能で、Webページで設定された場合のみ、XMLファイルに含まれます。
- ユーザ定義のフィールド：XMLファイルにカスタムフィールドを加えることができます。これらのフィールドは選択可能で、Webページで定義することができます。

定義したメタデータフィールドが次のいずれかの場合、入力できないことを知らせるメッセージが表示されます。送信詳細設定画面の関連項目に適切な情報を入力してください。

| メタデータフィールドに入力された名前 | 内容                                                                                                         | 入力場所                                                                                                                                    |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| fromName           | ジョブを送信したユーザー名です。名前がメタデータとして入力されていないと、送信者を決定する通常の規則により決められた送信者名がメタデータとして適用されます。                             | [返信先名]<br>(選択された送信者の送信者名)                                                                                                               |
| replyTo            | 送信結果を送信するためのE-mailアドレスです。                                                                                  | [返信先名]<br>(選択された送信者のE-mailアドレス)                                                                                                         |
| documentSubject    | E-mailの「件名」欄に記載されるジョブの件名、またはファクスの表紙に記載されるジョブの件名です。ユーザーが操作パネル上から送信詳細設定画面の[件名]を入力した場合、入力された値はメタデータとして適用されます。 | [件名]<br>(送信詳細設定画面で値が設定されるまでは空欄のままです。)                                                                                                   |
| fileName           | 送信する画像データのファイル名を入力します。                                                                                     | [ファイル名]<br>(Webページのメタデータ設定画面上で[ファイル名の編集を許可する]チェックボックスが <input checked="" type="checkbox"/> になっている場合のみ)<br>(送信詳細設定画面で値が設定されるまでは空欄のままです。) |

# ネットワークスキャナーの仕様／インターネットFax※<sup>1</sup>の仕様

|               |                                                                                                                                                                    |                                                          |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 形式            | 内蔵型                                                                                                                                                                |                                                          |
| 読み取り解像度 (dpi) | 100x100、200x200、300x300、400x400、600x600<br>インターネットFax送信時は200x100、200x200、200x400、400x400、600x600 (ファイル形式がTIFF-Sのときは200x100、200x200) また、200x100以外の解像度には中間調の設定が可能です。 |                                                          |
| 原稿読み取り速度      | カラー (A4) 片面50枚/分 (200x200dpi)、両面20面/分 (200x200dpi)<br>白黒 (A4) 片面50枚/分 (200x200dpi)、両面20面/分 (200x200dpi)                                                            |                                                          |
| インタフェース       | LAN接続：10Base-T/100Base-TX/1000Base-T                                                                                                                               |                                                          |
| 対応プロトコル       | TCP/IP (IPv4)                                                                                                                                                      |                                                          |
| 出力フォーマット      | カラー (グレースケール含む)                                                                                                                                                    | ファイル形式 TIFF/JPEG/PDF/暗号化PDF/XPS<br>圧縮率 高圧縮/中圧縮/低圧縮       |
|               | 白黒                                                                                                                                                                 | ファイル形式 TIFF/PDF/暗号化PDF/XPS<br>圧縮形式 圧縮なし/MH (G3)/MMR (G4) |
|               | インターネットFax (白黒のみ)                                                                                                                                                  | ファイル形式 TIFF-FX (TIFF-F・TIFF-S)<br>圧縮形式 MH (G3)/MMR (G4)  |
| 備考            | ワンタッチ宛先キー登録数※ <sup>2</sup>                                                                                                                                         | 最大キー数：1000件                                              |
|               | グループ (1キー) に登録できる宛先数※ <sup>2</sup>                                                                                                                                 | 1グループに (1キー) に登録できる宛先数：最大500件                            |
|               | 送信方法                                                                                                                                                               | E-mail送信スキャン/ファイルサーバー送信スキャン/デスクトップ送信スキャン/共有フォルダー送信スキャン   |

※<sup>1</sup> インターネットファクス拡張キットが必要です。

※<sup>2</sup> すべての送信先 (E-mail、ファイルサーバー、デスクトップ、共有フォルダー、インターネットFax、ファクス、グループ) を合わせた件数。

## Pullスキャン機能(TWAIN)の仕様

|         |                                                                                                                      |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対応プロトコル | TCP/IP (IPv4)                                                                                                        |
| 対応OS    | Windows 2000/XP/Server 2003/Vista/Server 2008/7                                                                      |
| カラーモード  | フルカラー、グレースケール、白黒：誤差拡散、白黒：単純2値                                                                                        |
| 解像度     | 75dpi、100dpi、150dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi<br>(50~9600dpiの範囲で数値入力による設定が可能です。ただし、解像度を大きくすると読み取り範囲を小さくする必要があります。) |
| 読み取り範囲  | 最大：A3 (11"x17")                                                                                                      |

# 第6章

# ドキュメントファイリング

ドキュメントファイリング機能の操作方法について詳しく記載しています。ドキュメントファイリング機能は、原稿やプリントデータを内蔵ハードディスクに読み込んで保存しておき必要に応じて再利用できる機能です。

ここでは、コピー機能やスキャナー機能など、すでに他の機能を使用されたことのあるかたを対象に説明しています。ドキュメントファイリング機能を使用するにあたり、コピー機能やスキャナー機能など他の機能と共通する使用方法については、各機能を説明している章を参照してください。

## ドキュメントファイリングについて

|                           |      |
|---------------------------|------|
| ドキュメントファイリングとは            | 6-2  |
| • ドキュメントファイリングの種類         | 6-2  |
| • ドキュメントファイリングでできること      | 6-3  |
| • ドキュメントファイリングでデータ保存する前に  | 6-4  |
| • ドキュメントファイリングを使用する際のご注意  | 6-7  |
| • 各モードからドキュメントファイリングを使うには | 6-8  |
| ドキュメントファイリングの基本画面         | 6-10 |

## ドキュメントファイリングでデータを保存する

|                       |      |
|-----------------------|------|
| 自動一時保存を行う             | 6-11 |
| ファイリングを行う             | 6-13 |
| • 保存詳細設定              | 6-15 |
| 原稿データの保存のみを行う（スキャン保存） | 6-18 |
| • スキャン保存の設定画面         | 6-18 |
| • スキャン保存を行う           | 6-23 |

## ドキュメントファイリングの再操作

|                           |      |
|---------------------------|------|
| ドキュメントファイリングの再操作の流れ       | 6-24 |
| フォルダーやファイルの選択画面について       | 6-26 |
| • フォルダー選択画面について           | 6-26 |
| • ファイル選択画面について            | 6-27 |
| 再操作するファイルの選択方法            | 6-29 |
| • 再操作画面について               | 6-30 |
| 保存したファイルをプリントする           | 6-31 |
| • プリント設定の画面について           | 6-32 |
| • 複数ファイル印刷について            | 6-33 |
| 保存したファイルを送信する             | 6-37 |
| • 送信設定の画面について             | 6-38 |
| 保存したファイルの属性について           | 6-39 |
| • ファイルの属性について             | 6-39 |
| • 属性を変更する                 | 6-39 |
| 保存したファイルを移動する             | 6-41 |
| 保存したファイルを削除する             | 6-43 |
| 保存したファイルの画像を確認する          | 6-44 |
| • 画像確認画面について              | 6-45 |
| ジョブ状況画面から呼び出してファイルの再操作を行う | 6-46 |
| 保存したファイルを検索して呼び出す         | 6-47 |

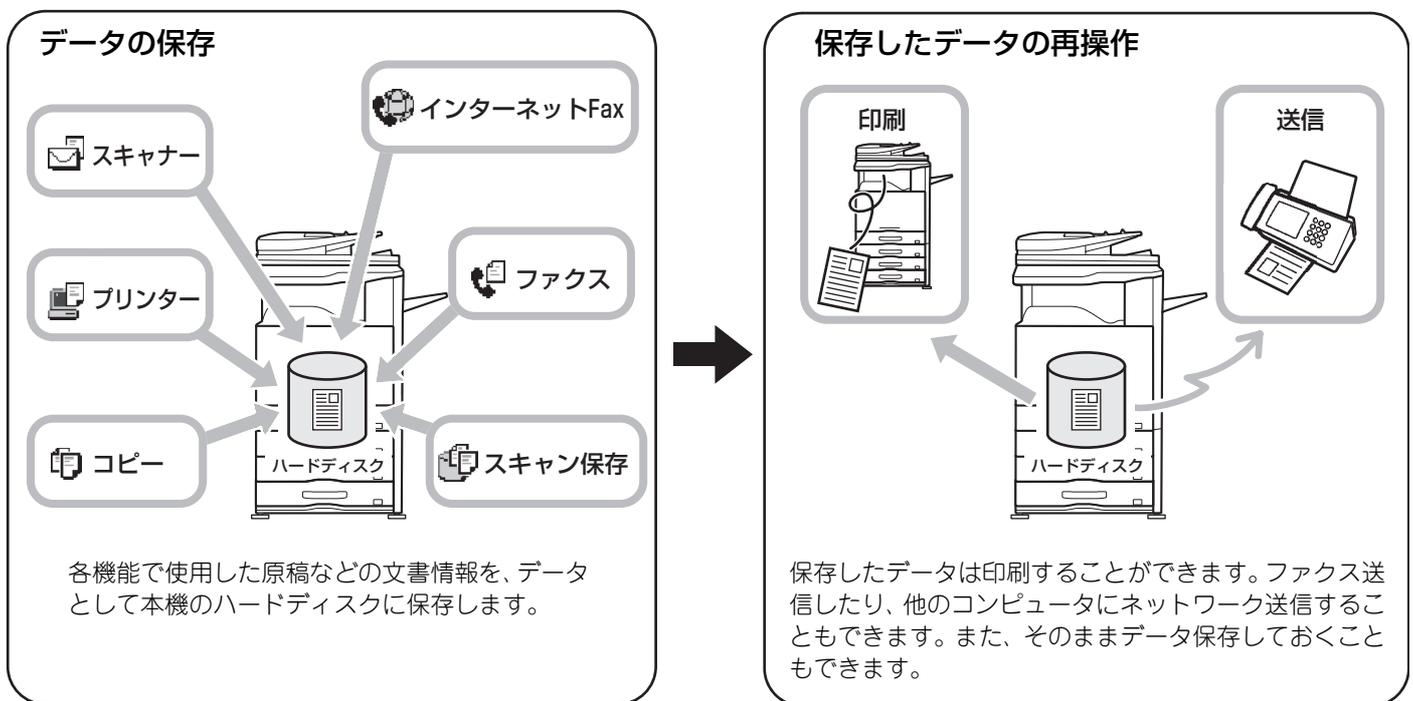
# ドキュメントファイリングについて

ここでは、概要や特長、機能説明や使用時の注意事項など、ドキュメントファイリングを使用するにあたって、あらかじめ知っておいていただきたいことについて説明します。

## ドキュメントファイリングとは

ドキュメントファイリングとは、コピーやスキャン送信した原稿やプリントデータを、本機内蔵のハードディスクにデータとして保存する機能です。

保存したデータは必要なときに呼び出して、プリントや送信などの再操作を行うことができます。



## ドキュメントファイリングの種類

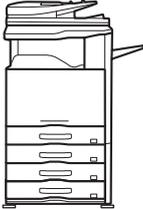
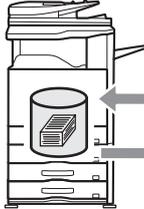
ドキュメントファイリングのデータ保存の方法には「自動一時保存」、「ファイリング」、「スキャン保存」があります。

|        |                                                                                                                                                       |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自動一時保存 | 原稿データをコピーやスキャン送信などの動作と同時にハードディスクに保存します。保存時にファイル名などの設定が不要なため手軽にデータを保存できます。保存したデータは誰でも再操作することができます。したがって、機密性の高いデータなど、第三者に再操作されたくないデータは、この方法で保存しないでください。 |
| ファイリング | 原稿データをコピーやスキャン送信などの動作と同時にハードディスクに保存します。自動一時保存と異なり、保存時にさまざまな情報を付加することができ、データの管理をスムーズに行うことができます。パスワードの設定も行えますので、データに機密性を持たせることもできます。                    |
| スキャン保存 | データ化したい原稿を読み込んで、そのまま保存します。ファイリングと同様に、保存するデータにさまざまな情報を付加することができます。                                                                                     |

# ドキュメントファイリングでできること

## すばやく再操作

例：会議で大量の資料を用意していたが、会議への出席者が1名増え、もう1部の資料が必要になった場合

| ドキュメントファイリングで保存していなかった場合                                                                                                                                                                                                                           | ドキュメントファイリングで保存していた場合                                                                                                                                                                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <p>倍率、カラーモードや特別機能をもう一度設定し直す必要があります。</p> <p>もう一度、大量の原稿を読み込む必要があります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">会議の時間に間に合いそうもない…。</p> |  <p>保存されているデータを読み出して、プリントするだけ。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">すばやく出力できて、会議の時間に間に合いそう！</p> |
| <p>コピーの設定と原稿の読み込みを繰り返す必要があります。このように再び出力するときなど、設定を最初からやり直す必要があります。前回の設定を覚えていなければ、同じ設定で出力するのはたいへんな労力がかかります。</p>                                                                                                                                      | <p>ドキュメントファイリングで保存したデータを読み出せば、コピーの設定や原稿の読み込みを繰り返す必要はありません。すばやく、かんたんにデータを読み出し、前回と同じ設定で出力することができます。</p>                                                                                                               |

このようにドキュメントファイリングでデータを保存しておくことで、再度、原稿を読み込ませたり、各種の設定操作を行う必要がなく、時間が大幅に削減できます。

## よく使う書類を管理するときに便利

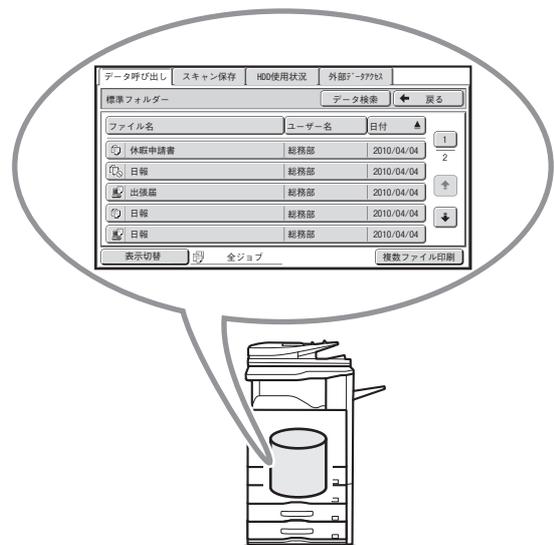
例：多くの申請書類のフォーマットを管理する場合

ドキュメントファイリングを使用しない場合  
該当する書類を探すのに時間がかかります。



ドキュメントファイリングを使用する場合

必要な書類は、ドキュメントファイリングのリストからかんたんに取り出すことができ、書類の管理も楽になります。



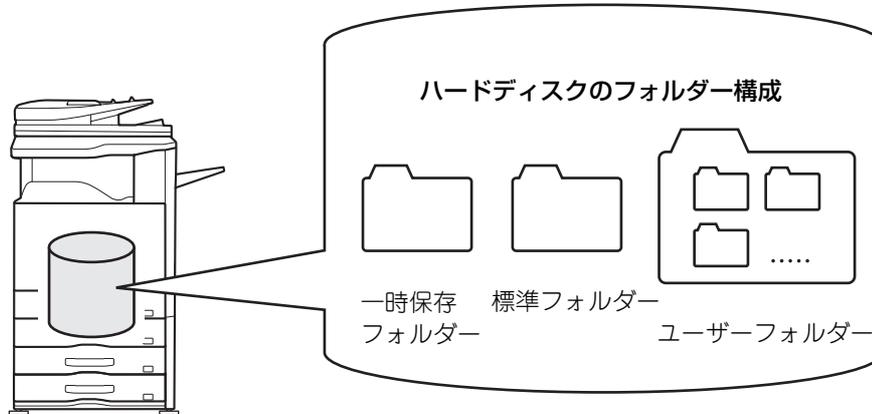
申請書類や日報など業務でよく使用するデータをハードディスクに保存しておくことで、かんたんに検索ができ、必要なときに必要な部数だけプリントすることができます。

# ドキュメントファイリングでデータ保存する前に

ドキュメントファイリング機能を使用するうえで、あらかじめ知っておいていただきたいことについて説明します。

## フォルダーについて

ドキュメントファイリングではデータの保存先として、3つのフォルダーがあります。



### 一時保存フォルダー

[自動一時保存]キーをタッチして読み込んだデータが、このフォルダーに保存されます。読み込んだデータを各ジョブごとに、ユーザー名とファイル名を自動的に付けて保存します。

### 標準フォルダー

[ファイリング]キーをタッチして読み込んだデータが、このフォルダーに保存されます。あらかじめ登録したユーザー名を指定したり、ファイル名を付けて保存できます。保存するファイルにはパスワードが設定（「親展」保存）できます。

### ユーザーフォルダー

このフォルダーの中には、任意の名前を付けたフォルダーを登録できます。[ファイリング]キーをタッチして読み込んだデータが、指定したフォルダーに保存されます。標準フォルダーと同様、あらかじめ登録したユーザー名を指定したり、ファイル名を付けて保存できます。任意に登録するフォルダーと保存するファイルには、パスワードを設定できます。



本機のハードディスクには最大1000個のユーザーフォルダーが作成できます。

## 登録しておく便利な項目

「ファイリング」や「スキャン保存」でデータ保存する場合に、次の項目を登録しておく便利です。これらの設定は、「自動一時保存」でデータ保存する場合は必要ありません。

|           |                                                                                                                                                                |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ユーザー名     | 保存するデータにユーザー名を設定する場合に必要となります。ユーザー名はシステム設定（管理者）の「ユーザーリスト」で登録します。ユーザー名は、データ検索の検索条件にも使われます。                                                                       |
| ユーザーフォルダー | 「ファイリング」や「スキャン保存」の保存先として、最初は標準フォルダーが用意されています。システム設定の「ドキュメントファイリング登録」でユーザーフォルダーが登録されていると、保存先として指定することができます。また、ユーザーフォルダーにはパスワードを設定できます。パスワードを入力すると、フォルダーを利用できます。 |
| マイフォルダー   | システム設定（管理者）の「ユーザーリスト」で登録します。あらかじめ登録されているユーザーフォルダーから選択するか、新しくフォルダーを作成して、マイフォルダーを登録します。ユーザー認証利用時にマイフォルダーが登録されていると、「ファイリング」や「スキャン保存」の保存先として常にマイフォルダーが選択されます。      |



- **システム設定：ドキュメントファイリング登録（7-30ページ）**  
ドキュメントファイリングで使用するユーザーフォルダーを作成します。ユーザーフォルダーにパスワードを設定することもできます。
- **システム設定（管理者）：ユーザーリスト**  
ユーザー名の登録や、マイフォルダーの選択を行います。

## ドキュメントファイリングできるファイル件数やページ数の目安

## ユーザーフォルダーと標準フォルダーに合わせて保存できるページ数とファイル件数

| 原稿タイプの例                                                                                                            | ページ数※      | ファイル件数  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------|
| フルカラー原稿<br>(文字・写真例)<br><br>サイズ：A4 | 最大4500ページ  | 最大3000件 |
| 白黒原稿<br>(テキスト)<br><br>サイズ：A4      | 最大10000ページ |         |

## 一時保存フォルダーに保存できるページ数とファイル件数

| 原稿タイプの例                                                                                                            | ページ数※     | ファイル件数  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------|
| フルカラー原稿<br>(文字・写真例)<br><br>サイズ：A4 | 最大800ページ  | 最大1000件 |
| 白黒原稿<br>(テキスト)<br><br>サイズ：A4    | 最大2000ページ |         |

※ 保存できるページ数は、フルカラー原稿または白黒原稿のいずれか一方で保存したときの目安です。

ソート機能を使ったコピーは、一時保存フォルダーの保存領域を使用します。このため一時保存フォルダーのデータ量が増えすぎると、ソート機能を使った大量コピーができなくなる場合があります。不要なファイルは削除してください。

上記に記載している原稿タイプは、説明をわかりやすくするための参考例であり、実際に保存できるページ数やファイル件数は、原稿画像の内容やファイルの保存時の設定などによって異なります。

## ファイルの自動削除について

あらかじめ予定時刻と対象フォルダーを設定しておくことで、該当するフォルダー内のドキュメントファイリングしたデータを定期的に自動削除することができます。一定のサイクルで本機に保存したデータを削除することで、機密性の高いデータの漏洩を防ぎ、ハードディスクの空き容量を確保することができます。

削除のサイクルは毎日、毎週、毎月から選択でき、それぞれについて予定時刻を設定できます。

たとえば、毎週金曜日の午後6時に一時保存フォルダーのデータを削除するように設定することができます。

ファイルの自動削除の設定は、システム設定（管理者）の「ファイルの自動削除設定」で行います。

設定内容を確認したい場合は、システム設定で次のリストをプリントしてください。

設定した削除サイクルを確認する場合：システム設定（管理者）の「管理者設定リスト」をプリントして確認してください。

削除対象として選択されたフォルダーを確認する場合：システム設定の「ドキュメントファイリングフォルダーリスト」をプリントして確認してください。



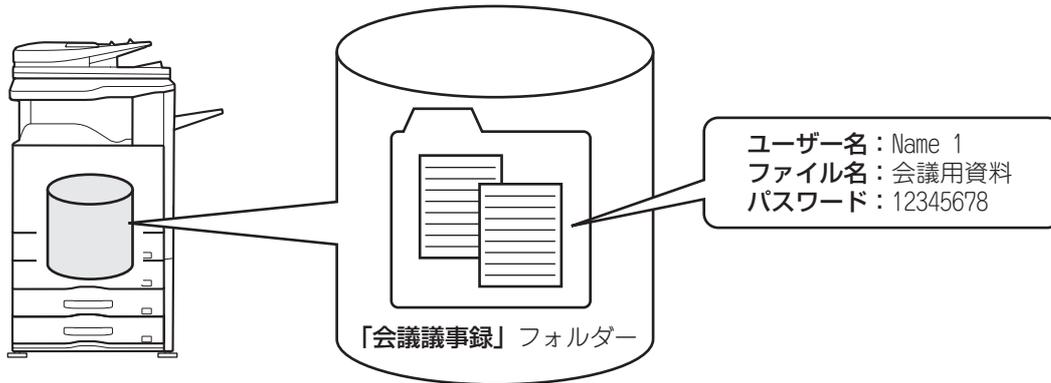
システム設定（管理者）の「ファイルの自動削除設定」を設定した場合、予定時刻を過ぎると設定したフォルダー内のファイルがすべて削除されます。削除したくないファイルは、自動削除設定したフォルダー内に保存しないよう注意してください。



- **システム設定：データリストプリント（7-11ページ）**  
ドキュメントファイリングのフォルダー名のリストをプリントします。
- **システム設定（管理者）：ファイルの自動削除設定**  
ドキュメントファイリングデータを定期的に自動削除する設定を行います。
- **システム設定（管理者）：管理者設定リスト**  
ドキュメントファイリングなどに関する管理者設定のリストをプリントします。

## ファイルについて

「ファイリング」で保存したファイルには、次の情報を入れることができます。



他のファイルと区別するため、このような条件で保存することができます。

**ユーザー名:** ファイルの所有者などの情報を入れるときに使用します。ユーザー名はあらかじめシステム設定（管理者）の「ユーザーリスト」で行ってください。

**ファイル名:** ファイルに名前を入れるときに設定します。

**保存先:** ファイルを保存するフォルダーを設定します。

**親展:** ファイルを無断で使用されないために5桁から8桁までのパスワードを設定することができます。



自動一時保存でファイルを保存するときはこれらの情報を設定することはできません。



システム設定（管理者）：ユーザーリスト  
ユーザー名の登録を行います。

## ドキュメントファイリングを使用する際のご注意

ドキュメントファイリングを使用するときは以下の注意をよく読んでから使用してください。

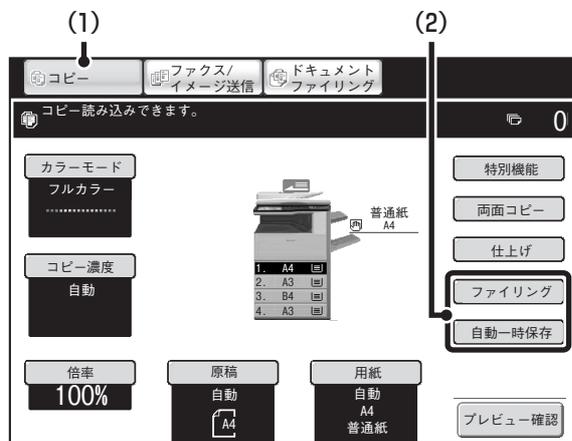
- 「自動一時保存」されたデータは、「共有」属性のファイルとして保存されます。「共有」属性のファイルは誰でも呼び出して出力や送信などの再操作を行うことができます。したがって、機密性の高いデータなど、第三者に再操作されたくないデータは、自動一時保存しないでください。
- 「ファイリング」で保存する場合は、「親展」属性で保存してください。「親展」属性のファイルには、第三者が勝手に再操作することを防ぐために、パスワードを設定することができます。「親展」属性で保存したファイルのパスワードが漏洩しないように十分ご注意ください。
- 「親展」属性で保存したファイルでも、再操作の「属性変更」を行うことで、ファイルの属性を「共有」に変更することができます。機密性の高いデータなど、第三者に再操作されたくないデータは保存しないでください。
- 自動一時保存またはファイリングで保存した一切のデータは、「第三者が勝手に操作することによって情報が漏洩しその結果生じた損害」、及び、「保存した本人の誤操作によって情報が漏洩しその結果生じた損害」について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 各モードからドキュメントファイリングを使うには

コピー、ファクス/イメージ送信の各モードで、出力や送信を行うと同時に原稿をファイルとして、ハードディスクに保存できます。また、スキャン保存モードでは出力や送信をせず、読み込みデータをファイルとして保存できます。

### コピーモード

コピーを行うと同時に原稿を画像として保存します。

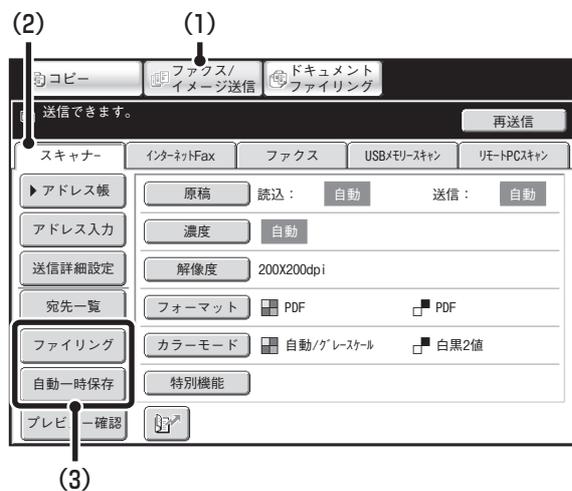


- (1) [コピー]キーをタッチする
- (2) [ファイリング]キーまたは[自動一時保存]キーをタッチする

### ファクス/イメージ送信モード

スキャナーモードの基本画面の例

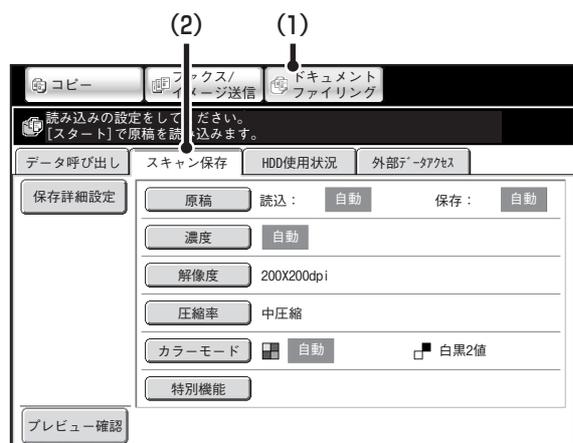
スキャナー送信を行うと同時に原稿を画像として保存します。



- (1) [ファクス/イメージ送信]キーをタッチする
- (2) [スキャナー]タブをタッチする
- (3) [ファイリング]キーまたは[自動一時保存]キーをタッチする

## スキャン保存モード

スキャンした原稿を画像として保存します。このときプリントや送信は行われません。



(1) [ドキュメントファイリング]キーをタッチする

(2) [スキャン保存]タブをタッチする

 **[ファイリング]キーと[自動一時保存]キー**  
Webページの「カスタマイズキー設定」で画面表示が変更されていると、コピーモードやファクス/イメージ送信モードの基本画面に「ファイリング」キーと「自動一時保存」キーが表示されないことがあります。その場合は、それぞれの基本画面に表示されている[特別機能]キーをタッチしてください。特別機能メニューの中の[自動一時保存]キーまたは[ファイリング]キーをタッチして、ドキュメントファイリングを行うことができます。

### プリンターモードの場合

プリンターモードでドキュメントファイリングを使う場合は、プリンタードライバーで設定します。ドキュメントファイリングの詳細については「3. プリンター」の「[知っておくと便利なプリント機能](#)」(3-57ページ)を参照してください。

### PC-Fax/PCインターネットFaxの場合

PC-FaxやPCインターネットFaxでドキュメントファイリングを使う場合は、PC-Faxドライバーで設定します。ドキュメントファイリングの詳細についてはPC-Faxドライバーのヘルプを参照してください。

 **システム設定 (管理者)：カスタマイズキー設定**  
Webページのメニューにある[システム設定]→[操作設定]の「カスタマイズキー設定」で登録します。

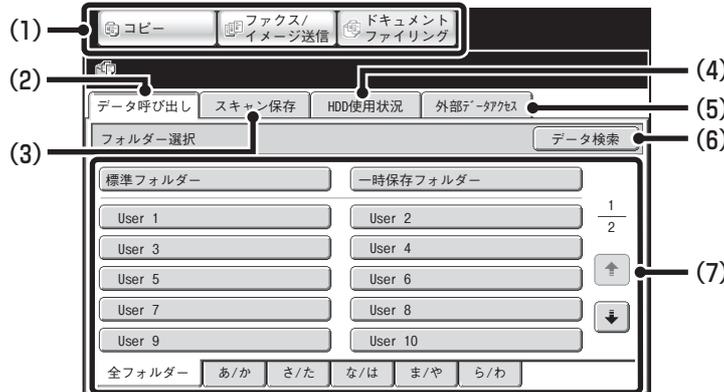
# ドキュメントファイリングの基本画面

タッチパネルの[ドキュメントファイリング]キーをタッチすると、ドキュメントファイリングモードの基本画面が表示されます。この画面から、本機内蔵のハードディスクに保存したデータを呼び出すことができます。

ユーザー認証時、マイフォルダーが設定されているとマイフォルダー内のファイル選択画面が表示されます。認証を受けたユーザーにマイフォルダーが設定されていないときに、フォルダー選択画面が表示されます。

☞ [フォルダー選択画面について](#) (6-26ページ)

☞ [ファイル選択画面について](#) (6-27ページ)



## (1) モード切り替えキー

コピー、ファクス/イメージ送信、ドキュメントファイリングの各機能を切り替えるときにタッチします。ドキュメントファイリングモードに切り替えるときは、[ドキュメントファイリング]キーをタッチしてください。

## (2) [データ呼び出し]タブ

ドキュメントファイリングで保存したデータを呼び出すときにタッチします。タッチするとフォルダー選択画面が表示されます。

☞ [フォルダー選択画面について](#) (6-26ページ)

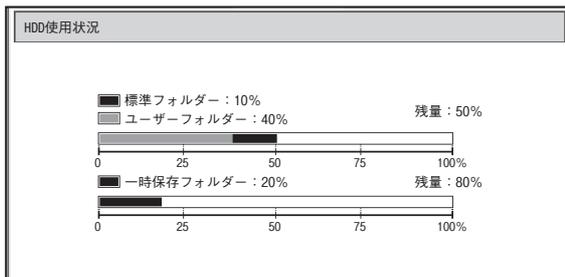
## (3) [スキャン保存]タブ

スキャン保存を設定するときにタッチします。プリントや送信は行いません。データは標準フォルダーまたはユーザーフォルダーに保存されます。

☞ [原稿データの保存のみを行う\(スキャン保存\)](#) (6-18ページ)

## (4) [HDD使用状況]タブ

本機内蔵のハードディスクの使用状況を確認するときにタッチします。1%単位で表示されます。



## (5) [外部データアクセス]タブ

FTP サーバが登録されていたり、USBメモリーが本機と接続されている場合に選択できます。

☞ [3. プリンター「本機からファイルを直接プリントする」](#) (3-61ページ)

## (6) [データ検索]キー

各フォルダーに保存されているファイルを検索するときにタッチします。

ユーザー名、ファイル名またはフォルダー名から検索できます。

☞ [保存したファイルを検索して呼び出す](#) (6-47ページ)

## (7) 保存したデータを呼び出すときに、保存先のフォルダーを選択します。

☞ [フォルダー選択画面について](#) (6-26ページ)

# ドキュメントファイリングでデータを保存する

ここでは、ドキュメントファイリング機能の自動一時保存、ファイリング、スキャン保存など、原稿を画像として保存する方法について説明しています。

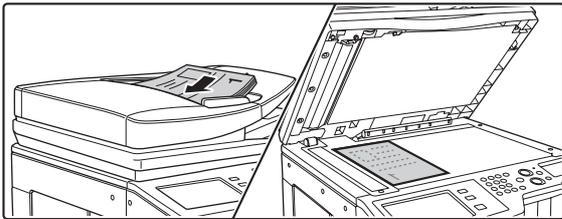
## 自動一時保存を行う

コピー、プリンター、ファクス/イメージ送信の各モード（USBメモリースキャンモードを除く）で出力や送信を行う際に、ドキュメントファイリング機能の「自動一時保存」を選択すると、出力や送信を行うと同時に原稿を画像として一時保存フォルダーに保存します。

自動一時保存した画像は、あとで呼び出すことができるため、原稿を用意しなくてもプリントや送信を行うことができます。

ここではコピーしながら「自動一時保存」する操作を例に説明します。

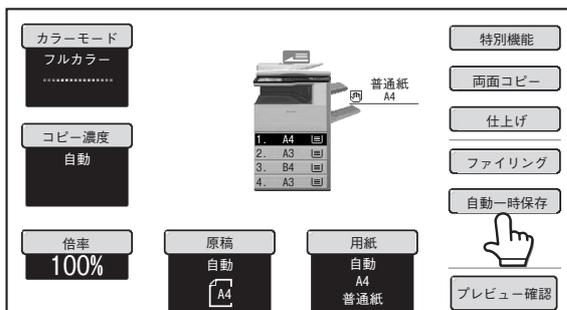
1



### 原稿をセットする

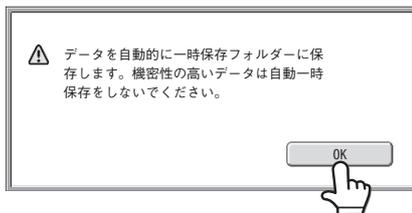
原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2



### [自動一時保存]キーをタッチする

3



### [OK]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻り、[自動一時保存]キーが反転表示されます。



#### 自動一時保存を中止するときは…

[OK]キーをタッチしたあと、手順2の画面で[自動一時保存]キーをタッチして反転表示を解除してください。

## コピー機能の設定を行ったあと、[カラースタート]キーまたは、[白黒スタート]キーを押す

- コピーを開始するとともに、コピーの原稿を画像としてハードディスクに保存します。このとき、コピーで設定した各種設定も保存されます。
- [スタート]キーを押すと、意図せずファイルを保存してしまうことを防ぐため6秒間（初期値）「データは一時保存フォルダーに保存されます。」とメッセージが表示されます。メッセージの表示時間はシステム設定（管理者）の「メッセージ表示時間の設定」で変更できます。
- 原稿セット台に原稿をセットしたときは、セットされている原稿をすべて読み込みます。
- 原稿台（ガラス面）に原稿をセットしたときは、原稿を1枚ずつ読み込みます。セットした原稿の読み込みが終了したら、次の原稿と入れ替えて最初に押した[スタート]キーを押します。繰り返し操作してすべての原稿の読み込みが終了したら[読み込み終了]キーをタッチします。

 **原稿読み込みを中止するには…**  
[ストップ]キー（）を押して中止してください。



自動一時保存を行うと、保存したデータには次のようなユーザー名、ファイル名が自動的に付けられます。

ユーザー名：ユーザー名

ファイル名：各機能\_年・月・日\_時・分・秒

（例：Copy\_20100404\_112030）

保存先：一時保存フォルダー

ユーザー認証時は、認証を受けたユーザー名が自動的に選択されます。

自動一時保存したデータは、ファイル名と保存先のみ変更できます。



**自動一時保存を中止するときは…**

手順2の画面で[自動一時保存]キーをタッチして反転表示を解除してください。



**システム設定（管理者）：一時保存ファイルの全削除**

自動一時保存フォルダーに存在する保護ファイル以外のすべてのファイルを一括削除できます。

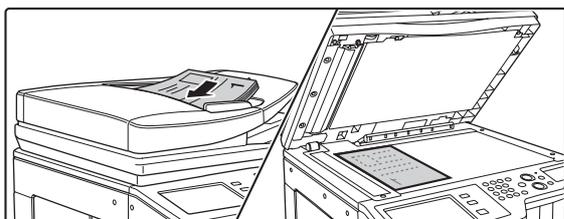
キー操作で一括削除する、または電源を"入"にする度に自動的に一括削除させる設定が行えます。

# ファイリングを行う

コピー、プリンター、ファクス/イメージ送信の各モード（USBメモリースキャンモードを除く）で出力や送信を行う際に、ドキュメントファイリング機能の「ファイリング」を選択すると、出力や送信を行うと同時に原稿を画像として標準フォルダーまたはあらかじめ登録したユーザーフォルダーに保存します。保存した画像は、あとで呼び出すことができるため、原稿を用意しなくても再出力や再送信操作を行うことができます。

ここではコピーしながら「ファイリング」する操作を例に説明します。

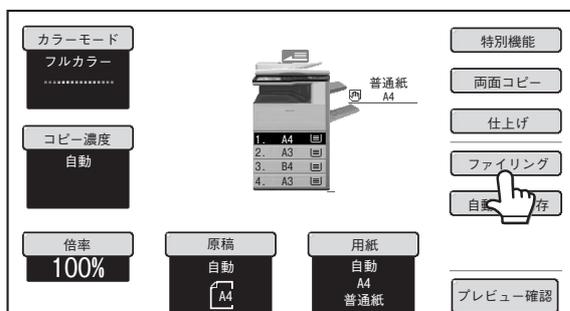
1



## 原稿をセットする

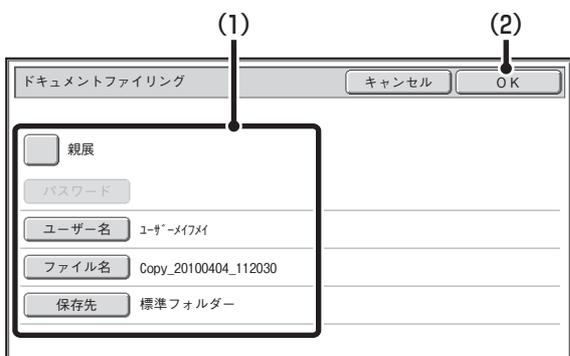
原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2



## [ファイリング]キーをタッチする

3



## 「ファイリング」の設定を行う

### (1) 保存詳細設定を行う

ユーザー名、ファイル名、保存先や親展の有無などの設定を行うときは、「[保存詳細設定](#)」（6-15ページ）を参照してください。

- [ユーザー名を指定する](#)：6-15ページ
- [ファイル名を付ける](#)：6-16ページ
- [保存先を指定する](#)：6-16ページ
- [親展で保存する](#)：6-17ページ

上記の各設定を行ったあと、このページに戻り、次の手順へ進んでください。

保存するデータに、ユーザー名などの指定をしない場合は次の手順へ進んでください。

### (2) [OK]キーをタッチする

コピーモードの基本画面に戻り、[ファイリング]キーが反転表示されます。

## 4

**コピー機能の設定を行ったあと、[カラースタート]キーまたは、[白黒スタート]キーを押す**

- コピーを開始するとともに、コピーの原稿を画像としてハードディスクに保存します。このとき、コピーで設定した各種設定も保存されます。
- 原稿のセット方法については「[自動一時保存を行う](#)」(6-11ページ)の手順4を参照してください。

**原稿読み込みを中止するには…**

[ストップ]キー (Ⓢ) を押して中止してください。



保存詳細設定を行わずにファイリングを行うと、保存したデータには次のようなユーザー名、ファイル名が自動的に付けられます。

ユーザー名：ユーザー名

ファイル名：各機能\_\_年・月・日\_\_時・分・秒

(例：Copy\_20100404\_112030)

保存先：標準フォルダー

ユーザー認証時は、認証を受けたユーザー名が自動的に選択されます。

**ファイリングを中止するときは…**

手順3の画面で[キャンセル]キーをタッチしてください。

## 保存詳細設定

「ファイリングを行う」(6-13ページ)の手順3の設定について説明します。ユーザー名、ファイル名、保存先フォルダーや親展の有無を設定することで、保存データの管理や、データを検索するときに役立ちます。また親展でパスワードを設定すると、第三者が無断でデータを見ることができなくなります。

### ユーザー名を指定する

1

ドキュメントファイリング

キャンセル OK

親展

パスワード

ユーザー名 ユーザー名

ファイル名 Copy\_20100404\_112030

保存先 標準フォルダー

#### [ユーザー名]キーをタッチする

ユーザー認証時は、認証を受けたユーザー名が自動的に選択されます。その場合、この操作は不要です。



ユーザー名はあらかじめシステム設定（管理者）の「ユーザーリスト」で登録する必要があります。

2

ユーザー名

キャンセル OK

6 ▶ 12 ▶ 18

Name 1 Name 2

Name 3 Name 4 1/2

Name 5 Name 6

Name 7 Name 8

Name 9 Name 10

Name 11 Name 12

全ユーザー あ か さ た な ABC

#### 登録されているユーザー名が表示されるので希望のユーザー名をタッチする

##### (1) ユーザー名を選択する

ユーザー名を選択する方法は、下記の2とおりあります。

##### (A) 選択したいユーザー名のキーをタッチする

タッチしたユーザー名が反転表示します。

選択をまちがえたときは、正しいキーをタッチし直してください。

##### (B) キーをタッチする

メッセージ表示部に「登録No.」を入力するエリア [----]が表示されます。システム設定（管理者）の「ユーザーリスト」であらかじめ設定されている「登録No.」を数字キーで入力すると、ユーザー名が選択できます。

##### (2) [OK]キーをタッチする

タッチしたユーザー名が選択され、手順1の画面に戻ります。選択したユーザー名が表示されます。

## ファイル名を付ける

データのファイル名を入力します。



### [ファイル名]キーをタッチする

文字入力画面が表示されるので、ファイル名を入力して[OK]キーをタッチしてください。

ファイル名は全角15文字（半角30文字）以内で入力してください。（全角文字は最大30文字まで入力できますが、表示されるのは15文字までです。）

## 保存先を指定する



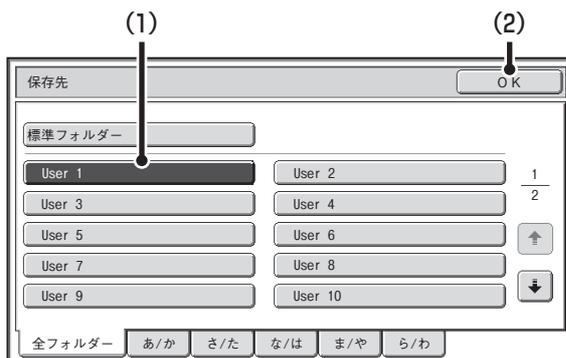
### [保存先]キーをタッチする

1



マイフォルダーが設定されているユーザー名を選択している場合は、そのユーザーのマイフォルダーが自動的に選択されます。

2



### 保存先のフォルダーを選択する

#### (1) 保存先に指定するフォルダーのキーをタッチする

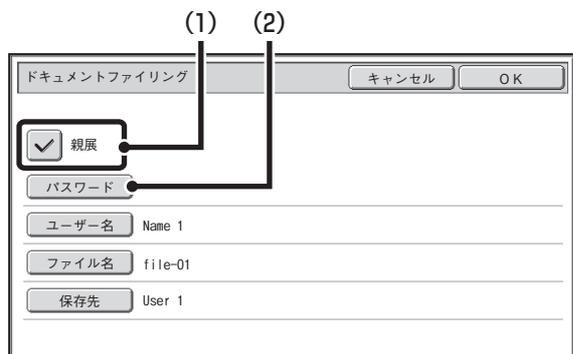
保存先のフォルダーにパスワードが設定されていると、パスワードの入力画面が表示されます。タッチしたフォルダーのパスワード（5桁～8桁）を数字キーで入力して[OK]キーをタッチしてください。

#### (2) [OK]キーをタッチする

## 親展で保存する

保存するデータにパスワードを設定することで、第三者に無断でデータを見られないようにします。パスワード（5桁～8桁）を数字キーで設定します。

1



### 親展を有効にする

(1) [親展] チェックボックスをタッチして  にする

親展モードになり、パスワードの入力が可能になります。

(2) [パスワード] キーをタッチする

2



数字キーでパスワード（5桁～8桁）を入力し、[OK] キーをタッチする

入力するごとに「-」は「\*」に変わります。

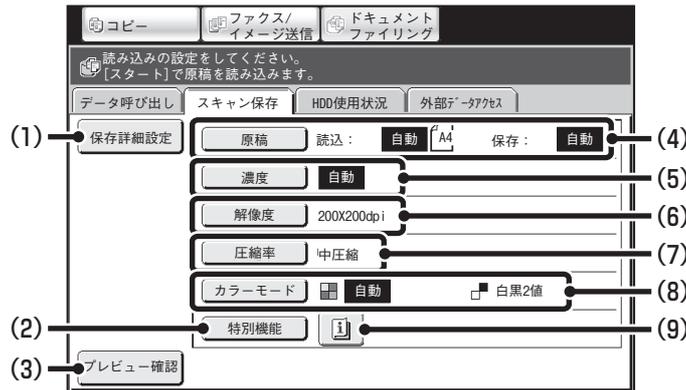
# 原稿データの保存のみを行う（スキャン保存）

スキャン保存は、スキャンした原稿のデータを標準フォルダーまたはユーザーフォルダーに保存する機能です。プリントや送信は行いません。

## スキャン保存の設定画面

ドキュメントファイリングモードで[スキャン保存]タブをタッチすると、次の画面が表示されます。それぞれのキーをタッチしてスキャン保存の設定を行ってください。

各設定を行うキーの右側には、それぞれの現在の設定状態が表示されています。



### (1) [保存詳細設定]キー

スキャン保存したデータに情報を付加できます。設定方法はファイリングの保存詳細設定と同じです。

☞ [保存詳細設定](#) (6-15ページ)

### (2) [特別機能]キー

スキャン保存時に使用する特別機能を設定します。

☞ [スキャン保存の特別機能画面](#) (6-21ページ)

### (3) [プレビュー確認]キー

スキャン保存を行う前に、保存するイメージを確認するときにタッチします。

☞ [画像を確認してから保存する（プレビュー確認）](#) (6-22ページ)

### (4) [原稿]キー

原稿の読み込みサイズ、保存サイズ、原稿のセット方向、両面読み込みの設定を行うときにタッチします。

☞ [\[原稿\]キーについて](#) (6-19ページ)

### (5) [濃度]キー

原稿読み込み時の濃度を設定するときにタッチします。

### (6) [解像度]キー

再送信するときのファイルの解像度を設定します。

長尺サイズを指定した場合は、300X300dpi以下の解像度設定となります。

### (7) [圧縮率]キー

カラーでファイルをスキャン保存するときのカラー圧縮率を設定します。

### (8) [カラーモード]キー

原稿を保存するときのカラーモードを設定します。

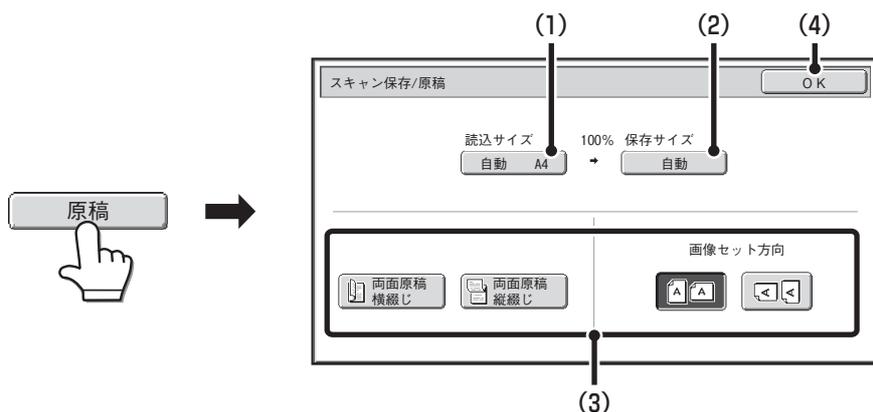
☞ [\[カラーモード\]キーについて](#) (6-20ページ)

### (9) [特別機能]キー

「特別機能」の各項目や両面原稿読み込みが設定されているときに表示されます。このキーをタッチすると設定されている内容を表示します。

## [原稿]キーについて

[原稿]キーをタッチすると次の画面が表示されます。原稿サイズの変更や両面原稿の読み込み設定を行います。



### (1) 「読込サイズ」のキーをタッチする

原稿サイズの自動検知がはたらかない不定形サイズなどの原稿は、「読込サイズ」のキーをタッチして、原稿の読み込みサイズを設定してください。

### (2) 「保存サイズ」のキーをタッチする

原稿サイズと異なるサイズで保存するときは「保存サイズ」のキーをタッチして、保存サイズを変更してください。

### (3) 原稿をセットした向きのキーをタッチする

原稿の天部を上向きにセットしたときは **[A A]** キーを、左向きにセットした場合は **[<< <<]** キーをタッチしてください。両面原稿の場合は、原稿の綴じ方向によって[両面原稿横綴じ]キーまたは[両面原稿縦綴じ]キーをタッチします。

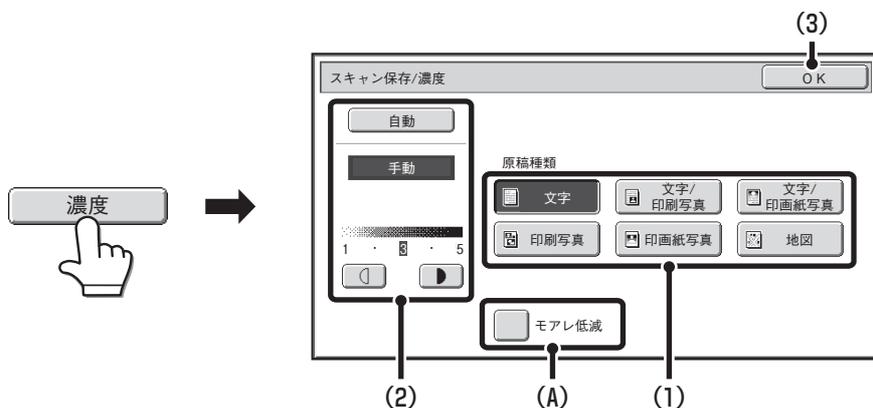
### (4) [OK]キーをタッチする

設定を保持してスキャン保存の設定画面に戻ります。

## [濃度]キーについて

原稿の濃度を調整するときは、[濃度]キーをタッチして調整します。

セットした原稿の種類を選択し、**[<]** キーまたは **[>]** キーをタッチして濃度を調整してください。設定が完了したら[OK]キーをタッチします。



### (1) スキャンする原稿に応じ、原稿種類を選択する

### (2) [自動]または[手動]のいずれかを選択する

[手動]を選択したときは、**[<]** または **[>]** キーをタッチして読み込み濃度を調整してください。(濃くしたいときは、**[>]** キーを、薄くしたいときは、**[<]** キーをタッチして調整します。)

濃度を[自動]に設定しているときは、**[<]** **[>]** キーはタッチできません。

### (A) : モアレ低減について

[モアレ低減]チェックボックスをタッチして  にすると、印刷物などの原稿を読み込む際に多少できるしま模様(モアレ)の発生を低減させることができます。

### (3) [OK]キーをタッチする

設定を保持してスキャン保存の設定画面に戻ります。

## [カラーモード]キーについて

[カラーモード]キーをタッチすると、スキャン保存のカラーモードの設定画面が表示されます。



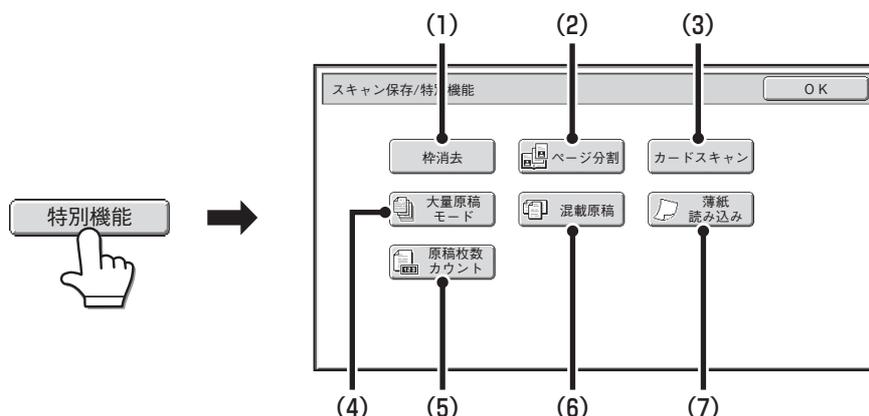
スキャン保存時に[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーを押したときの原稿の読み取り色を設定します。

| スタートキー      | モード     | 読み取り方法                                                                 |
|-------------|---------|------------------------------------------------------------------------|
| [カラースタート]キー | 自動      | 原稿がカラーであるか白黒であるかを判別し、読み取りをフルカラーか白黒（グレースケール）に自動的に切り替えてスキャンします。          |
|             | フルカラー   | 原稿をフルカラーでスキャンします。カタログなどのフルカラー原稿に適しています。<br>原稿が白黒であっても、フルカラーとしてスキャンします。 |
| [白黒スタート]キー  | 白黒2値    | 原稿で使用されている色を白か黒かに置き換えてスキャンします。文字のみの原稿に適しています。                          |
|             | グレースケール | 原稿で使用されているカラーにかかわらず、原稿を白黒（グレースケール）でスキャンします。                            |

モードの設定が完了したら[OK]キーをタッチします。

## スキャン保存の特別機能画面

[特別機能]キーをタッチすると次の画面が表示されます。各項目の詳細については「5. スキャナー/インターネットFax」の「特別機能について」(5-71ページ)を参照してください。



### (1) [枠消去]キー

原稿台（ガラス面）から厚手の原稿や本などの見開き原稿を読み込んだときにできる周囲の影を消すことができます。

### (2) [ページ分割]キー

1枚の原稿を左右で分割して、2ページの原稿として読み込むことができます。本などの見開き原稿を1ページずつ順番に読み込みたいときに便利です。

### (3) [カードスキャン]キー

各種カードの表／裏を別々に保存することなく1ファイルにまとめて保存できます。

### (4) [大量原稿モード]キー

ページ数の多い原稿を原稿自動送り装置で数回に分けて読み込み、1ファイルにまとめて保存します。スキャン保存したい原稿が一度にセットできる枚数を超過している場合に使用してください。

### (5) [原稿枚数カウント]キー

原稿自動送り装置を使って原稿を読み込むときに、原稿枚数が正しいかどうかを確認してからデータを保存することができます。

### (6) [混載原稿]キー

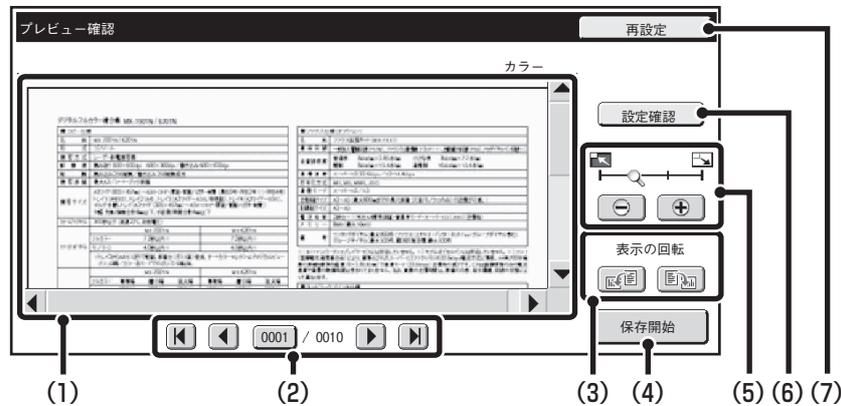
A3サイズの原稿の中にB4サイズの原稿が含まれているような場合でも、すべての原稿を一度にまとめてスキャンすることができます。原稿を読み取る際に自動的に原稿の大きさを判別してスキャンできます。異なる幅で異なるサイズの原稿（A3とB4、A3とB5、A4とB4、A4とB5、B4とA4R、B4とA5、B5とA4R、B5とA5、11"x17"と8-1/2"x14"、11"x17"と8-1/2"x13"、11"x17"と5-1/2"x8-1/2"）を読み取ることができます。

### (7) [薄紙読み込み]キー

原稿自動送り装置を使って、薄い紙の原稿を読み込みたいときに使用します。この機能を使うことにより、薄い紙の原稿がつまりにくくなります。

## 画像を確認してから保存する（プレビュー確認）

[プレビュー確認]キーをあらかじめタッチしてから、スキャン保存を行うと、保存前にイメージ画像を表示します。イメージ画像を確認できるので、データの内容をチェックでき、スキャンに失敗したときにでも、かんたんに再スキャンすることが可能です。また、設定のみを変更することもできるので、設定を変更したいときなどに便利です。



### (1) プレビュー画像

選択しているデータの画像が表示されます。画像が切れて表示されている場合は、右下にあるスクロールバーで表示部分を移動させてください。バーをタッチし、そのままスライドさせると、画像が連動して動きます。（▼ ▲ キーをタッチして動かすこともできます。）

### (2) ページ送りキー／ページ指定キー

ページが複数ある場合に、ページを切り替えます。

- [◀ ▶] キー：最初のページまたは最後のページを表示します。
- [◀ ▶] キー：前のページまたは次のページを表示します。
- ページ数表示：総ページ数と、現在表示中のページ数が表示されます。現在のページ数のキーをタッチして、数字キーで任意の数値を入力すると、目的のページを表示することができます。

### (3) 「表示の回転」キー

画像を左右に90度ずつ回転させます。変更は表示ページだけでなく、データ全体に反映されます。

### (4) [保存開始]キー

スキャン保存を開始します。

### (5) 「表示倍率切り替え」キー

画像の表示倍率を選択します。左から「全画面表示」、「2倍」、「4倍」、「8倍」と切り替わります。変更は表示ページだけでなく、データ全体に反映されます。

### (6) [設定確認]キー

特別機能や原稿など、設定内容を確認することができます。

### (7) [再設定]キー

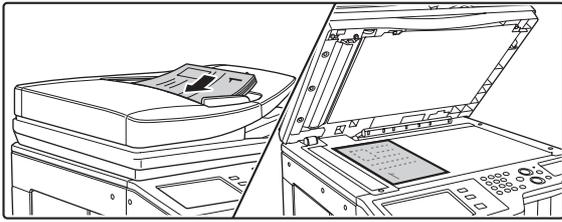
画像や設定内容を確認して、現在の設定を変更したいときに使用します。設定画面に戻ります。プレビュー確認後に再設定が可能な機能は、原稿のみです。



- プレビュー画像はタッチパネル表示用のイメージ画像です。実際の保存結果とは異なります。
- タッチパネルに表示されるプレビュー確認画面で、データの大きさによっては一部表示されない場合があります。

# スキャン保存を行う

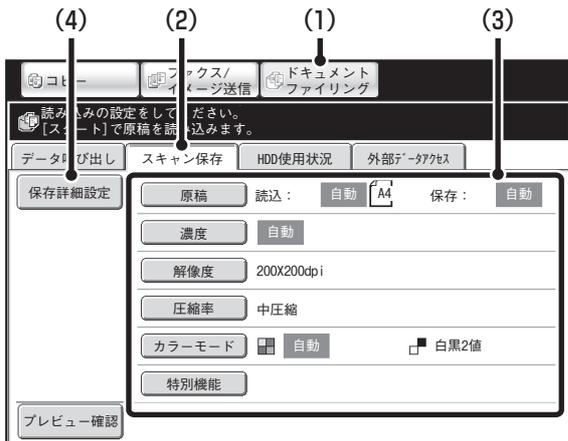
1



## 原稿をセットする

原稿は、原稿セット台の場合は上向きに、原稿台（ガラス面）の場合は下向きにセットしてください。

2



## ドキュメントファイリングモードに切り替えて、スキャン保存の設定を行う

- (1) [ドキュメントファイリング] キーをタッチする
- (2) [スキャン保存] タブをタッチする  
保存するデータの設定を行わない場合は次の手順へ進んでください。
- (3) 原稿サイズ、濃度、解像度、圧縮率、カラーモード、特別機能を設定する  
「スキャン保存の設定画面」(6-18ページ) を参照してください。
- (4) [保存詳細設定] キーをタッチする  
設定はファイリングと同じです。「保存詳細設定」(6-15ページ) を参照してください。



両面原稿の場合は必ず、[原稿] キーをタッチして、原稿に合わせて[両面原稿横綴じ] キーまたは[両面原稿縦綴じ] キーをタッチしてください。

3

## [カラースタート] キーまたは、[白黒スタート] キーを押す

原稿の読み込みが始まります。

原稿のセット方法については「[自動一時保存を行う](#)」(6-11ページ) の手順4を参照してください。

プレビュー確認が設定されているときは、プレビュー確認画面に切り替わります。

☑ [画像を確認してから保存する \(プレビュー確認\)](#) (6-22ページ)

原稿の読み込みが完了し、「ピー」音が鳴るとスキャン保存は終了です。



原稿読み込みを中止するには…

[ストップ] キー (⏏) キーを押して中止してください。



保存詳細設定を行わずにスキャン保存を行うと、保存したデータには次のようなユーザー名、ファイル名が自動的に付けられます。

ユーザー名：ユーザー名

ファイル名：各機能\_年・月・日\_時・分・秒

(例：HDD\_20100404\_112030)

保存先：標準フォルダー

ユーザー認証時は、認証を受けたユーザー名が自動的に選択されます。

# ドキュメントファイリングの再操作

ここでは、ドキュメントファイリングを使用して保存した画像データ呼び出し、もう一度プリントしたり、送信したりする再操作の方法について説明しています。

## ドキュメントファイリングの再操作の流れ

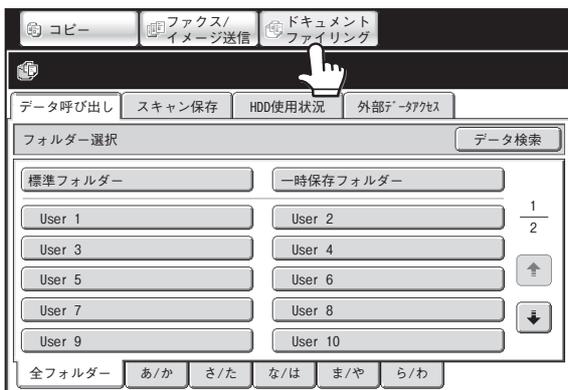
再操作を行うときの基本的な操作を説明します。通常の状態とユーザー認証が設定されている場合で画面の表示や操作が異なります。

それぞれの状況に応じて、再操作の流れを確認してください。

認証方法については「1. お使いになる前に」の「[ユーザー認証について](#)」(1-17ページ)を、ユーザー認証の設定やユーザー名の登録は「7. システム設定」の「[ユーザー管理](#)」(7-52ページ)を参照してください。

 ドキュメントファイリングの再操作は、Webページでも行うことができます。Webページのメニューにある[ファイル操作]→[ドキュメントファイリング]をクリックして、再操作したいデータがあるフォルダーをクリックして行います。また、Webページ上で、保存したファイルのプレビューを確認することもできます。

### モードを切り替える



ドキュメントファイリングモードに切り替えます。  
 [ドキュメントファイリングの基本画面](#) (6-10ページ)

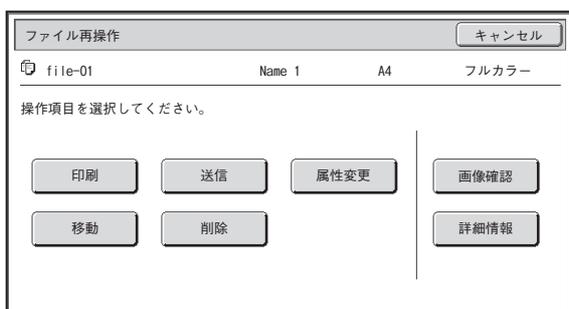
## 再操作するファイルを選択する



- フォルダ選択画面でフォルダを選択します。フォルダを選択すると、そのフォルダ内のファイルが表示されるので、再操作するファイルを選択します。
- 保存したファイルの画像の一覧を表示して、ファイルを選択することができます。
  - ☞ [ファイル選択画面について](#) (6-27ページ)
  - ☞ [再操作するファイルの選択方法](#) (6-29ページ)
- 再操作するファイルを、検索機能を使って探すことができます。
  - ☞ [保存したファイルを検索して呼び出す](#) (6-47ページ)



## 操作項目を選択する



再操作の項目を選択して、設定を行います。

- ☞ [再操作画面について](#) (6-30ページ)
- ☞ [保存したファイルをプリントする](#) (6-31ページ)
- ☞ [保存したファイルを送信する](#) (6-37ページ)
- ☞ [保存したファイルの属性について](#) (6-39ページ)
- ☞ [保存したファイルを移動する](#) (6-41ページ)
- ☞ [保存したファイルを削除する](#) (6-43ページ)
- ☞ [保存したファイルの画像を確認する](#) (6-44ページ)

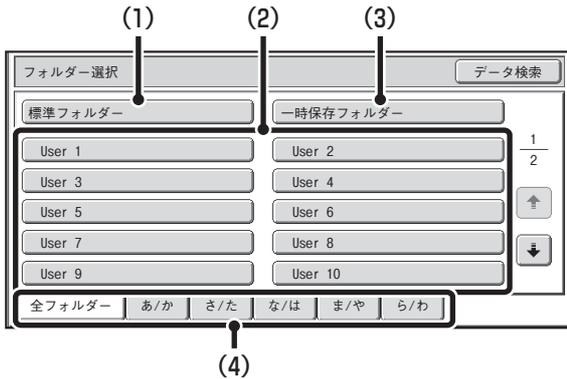
# フォルダーやファイルの選択画面について

ドキュメントファイリングされたファイルを再操作する際に、フォルダーや再操作するファイルを選択する必要があります。ここではフォルダー選択画面とファイル選択画面について説明しています。

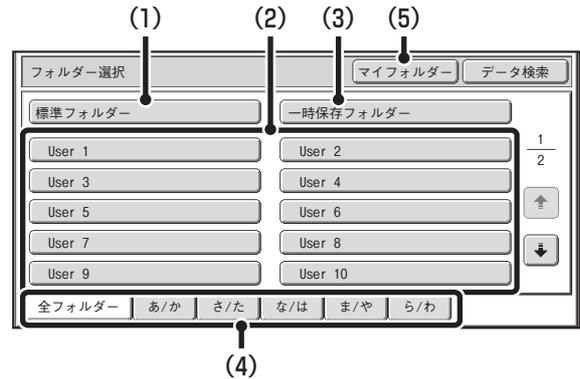
## フォルダー選択画面について

通常の状態とユーザー認証が設定されている場合で画面の表示が異なります。

### 通常の場合



### ユーザー認証が設定されている場合



#### (1) [標準フォルダー]キー

標準フォルダーからファイルを呼び出すときにタッチします。タッチすると標準フォルダー内のファイルが表示されます。

#### (2) ユーザーフォルダーキー

システム設定の「[ドキュメントファイリング登録](#)」(7-30ページ)で登録されているユーザーフォルダーが表示されます。タッチするとそのフォルダーに保存されているファイルが表示されます。ユーザーフォルダーにパスワードが設定されている場合は、タッチするとパスワード入力画面が表示され、パスワードを入力する必要があります。

#### (3) [一時保存フォルダー]キー

一時保存フォルダー内のファイルを呼び出すときにタッチします。タッチすると一時保存フォルダー内のファイルが表示されます。

☑ [自動一時保存を行う](#) (6-11ページ)

#### (4) インデックスタブ

[全フォルダー]タブで、すべてのフォルダーが表示されます。各タブをタッチすると、システム設定の「ドキュメントファイリング登録」で設定した各ユーザーフォルダーの検索文字の頭文字が合致するフォルダーを表示します。

#### (5) [マイフォルダー]キー

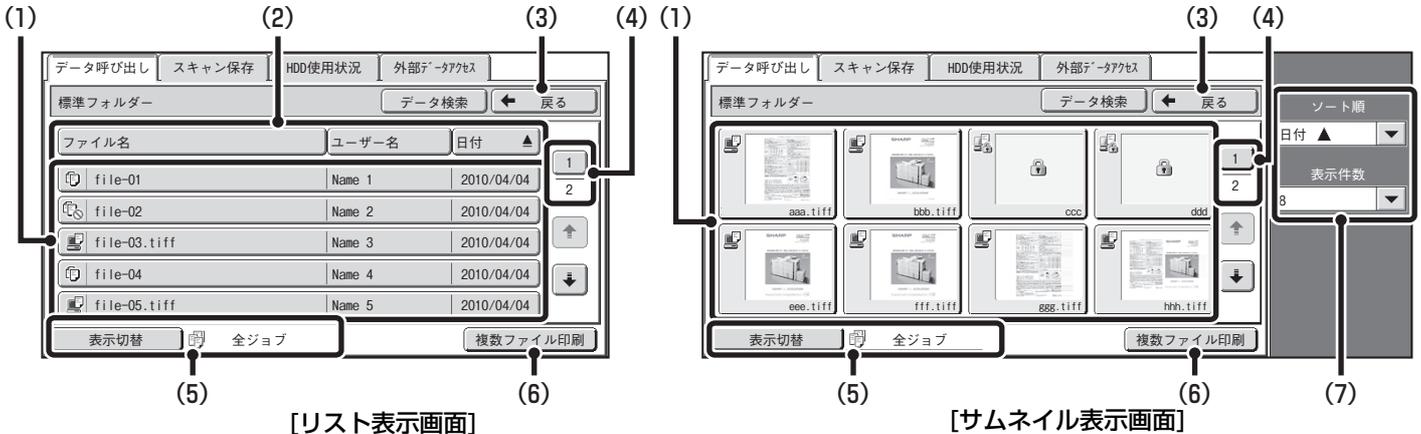
ユーザー認証が設定されているときに表示されます。タッチするとマイフォルダーのファイル選択画面が表示されます。ユーザー認証されていても、マイフォルダーを登録していないときは、薄く表示されてタッチすることはできません。

# ファイル選択画面について

一時保存フォルダー、標準フォルダー、ユーザーフォルダーのファイル選択画面について説明します。

ファイル選択画面では、「リスト表示画面」と、ファイルの縮小画像を表示させる「サムネイル表示画面」の表示形式が選択できます。(選択方法については、下記の(5) [表示切替]キーで説明しています。)

この章では、「リスト表示画面」が設定した状態で説明しています。



## (1) ファイルキー

保存したファイルが表示されます。どのモードでドキュメントファイリングされたかを示すアイコン、ファイル名、ユーザー名、保存した日付が表示されます。タッチすると再操作画面に切り替わります。

### モードのアイコンについて

|  |               |  |                                     |  |               |
|--|---------------|--|-------------------------------------|--|---------------|
|  | コピー           |  | インターネット<br>Fax送信<br>ダイレクト<br>SMTP送信 |  | プリンター         |
|  | ファクス送信        |  | E-mail送信                            |  | スキャン保存        |
|  | ファイルサーバ<br>送信 |  | デスクトップ<br>送信                        |  | 共有フォル<br>ダー送信 |
|  | PC-Fax送<br>信  |  | PCインターネット<br>Fax送信                  |  |               |

### サムネイル表示画面の場合

保存されたファイルの1ページ目の縮小画像が表示されます。

親展で保存しているファイルは縮小画像が表示されず、親展のアイコン (🔒) が表示されます。

## (2) [ファイル名]キー、[ユーザー名]キー、[日付]キー

表示しているファイルキーを並べ替えるときに使用します。それぞれのキーをタッチすると、タッチしたキー内に▲または▼が表示されます。

- [ファイル名]キー・[ユーザー名]キー内に▲が表示されているときは、ファイル名・ユーザー名にそって上から昇順に表示されます。  
[日付]キー内に▲が表示されている場合は保存した日付が古い順に上から表示されます。
- [ファイル名]キー・[ユーザー名]キー内に▼が表示されているときは、ファイル名・ユーザー名にそって上から降順に表示されます。  
[日付]キー内に▼が表示されている場合は保存した日付が新しい順に上から表示されます。

## (3) [戻る]キー

このキーをタッチすると、ドキュメントファイリングの基本画面に戻ります。

[フォルダー選択画面について](#) (6-26ページ)

## (4) ページキー

ページが複数ある場合に、ページ番号を指定してページを開くときに使用します。このキーをタッチするとページ番号の入力画面が表示されます。該当するページ番号(3桁)を数字キーで入力します。たとえば、3ページ目を表示させたいときは「003」と入力します。

## (5) [表示切替]キー

表示するファイルキーをジョブの種類ごとに切り替えたり、ファイルの縮小画像を並べて表示したりすることができます。

[表示切替]キーの右側には、現在選択されているジョブが表示され、最初は[全ジョブ]が選択されています。[表示切替]キーをタッチすると、次の画面が表示されます。



特定のジョブのファイルキーだけを表示させたいときは、画面上部のジョブ別表示からジョブの種類を選択します。

ファイルの縮小画像を並べて表示したいときは、[サムネイル表示]キーをタッチします。サムネイル表示画面からリスト表示画面に変更したいときは、[リスト表示]キーをタッチします。

設定が完了したら[OK]キーをタッチします。

**(6) [複数ファイル印刷]キー**

フォルダー内の複数のファイルを選択してプリントするときにタッチします。

 [複数ファイル印刷について](#) (6-33ページ)

**(7) ソート順／表示件数**

サムネイル表示画面で使用できます。

ソート順では、ファイルの縮小画面の表示の順番を変更することができます。

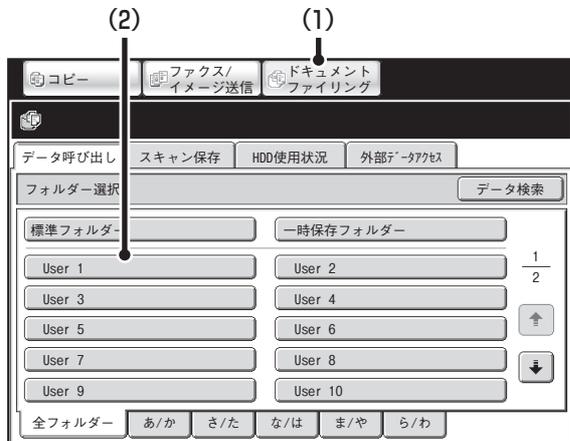
「日付▲」、「日付▼」、「ファイル名▲」、「ファイル名▼」、「ユーザー名▲」、「ユーザー名▼」から選択してください。

表示件数では、ファイルの縮小画面の表示件数を変更することができます。2件と8件のどちらかを選択してください。

# 再操作するファイルの選択方法

再操作するファイルの選択方法について説明します。

1



## 目的のファイルが保存されているフォルダーを選択する

### (1) [ドキュメントファイリング] キーをタッチする

フォルダー選択画面が表示されます。ほかの画面が表示されたときは[データ呼び出し]タブをタッチしてください。ユーザー認証を使用していて、システム設定の「ユーザーリスト」でマイフォルダーを設定しているときは、マイフォルダーとして設定しているユーザーフォルダーが開きます。このときに[戻る]キーをタッチすると、フォルダー選択画面が表示されます。

### (2) 目的のファイルが保存されているフォルダーのキーをタッチする

パスワードが設定されているフォルダーをタッチすると、パスワード入力画面が表示されます。パスワード（5桁～8桁）を数字キーで入力し、[OK]キーをタッチしてください。

2



- [表示切替]キーをタッチすると、コピーやスキャナーなど各機能のキーだけを表示したり、ファイルの縮小画像を並べて表示したりできます。  
[表示切替]キーを使用するとすばやくデータを検索できます。
- [ファイル名]キー、[ユーザー名]キー、[日付]キーをタッチすると、タッチした項目で昇降順に並べ替えることができます。
- [複数ファイル印刷]キーをタッチするとフォルダー内の複数のファイルを選択してプリントすることができます。  
▶ [複数ファイル印刷について](#)（6-33ページ）
- システム設定（管理者）：権限グループリスト（ドキュメントファイリング）で「ログイン中のユーザーのファイルのみ表示する」を許可に設定すると、ログイン中のユーザーが保存したファイルのみを表示させることができます。

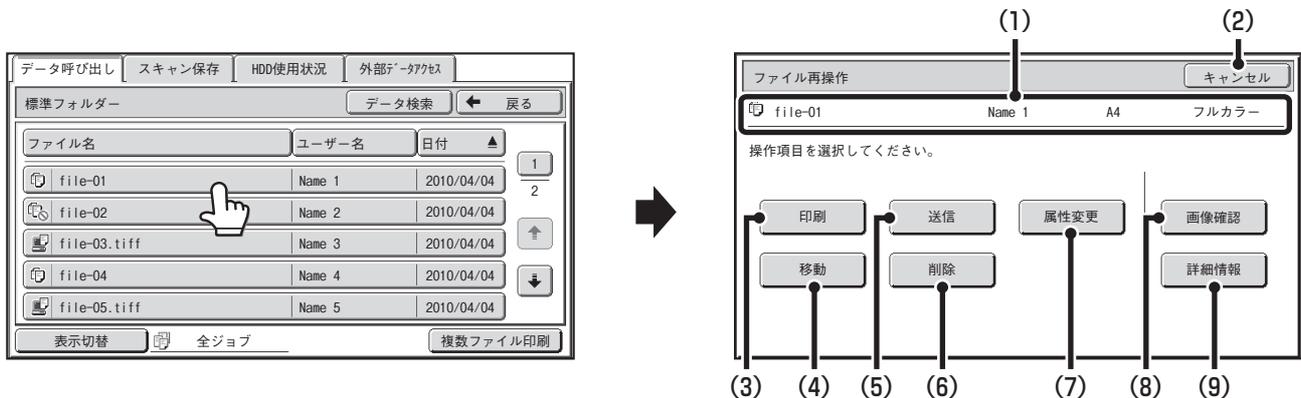
## 目的のファイルのキーをタッチする

パスワードが設定されているファイルをタッチすると、パスワード入力画面が表示されます。パスワード（5桁～8桁）を数字キーで入力し、[OK]キーをタッチしてください。



## 再操作画面について

ファイルキーをタッチすると、次の画面が表示されます。再操作を行う操作項目キーをタッチして、再操作の設定を行ってください。



### (1) ファイル表示部

現在選択しているファイルの情報（モードアイコン、ファイル名、ユーザー名、保存サイズ、保存時のカラーモード）が表示されます。

### (2) [キャンセル]キー

再操作を中止して、ファイル選択画面に戻ります。

### (3) [印刷]キー

保存したファイルを用紙にプリントするときに使用します。

☞ [保存したファイルをプリントする](#) (6-31ページ)

### (4) [移動]キー

ファイルの保存先を変更します。(別のフォルダーにファイルを移動します。)

☞ [保存したファイルを移動する](#) (6-41ページ)

### (5) [送信]キー

保存したファイルをファクス送信、インターネットFax送信、スキャナー送信するときなどに使用します。

☞ [保存したファイルを送信する](#) (6-37ページ)

### (6) [削除]キー

不要なファイルを削除するときを使用します。

☞ [保存したファイルを削除する](#) (6-43ページ)

### (7) [属性変更]キー

保存したファイルの属性（共有、保護、親展）を変更するときを使用します。

☞ [保存したファイルの属性について](#) (6-39ページ)

### (8) [画像確認]キー

保存されたファイルの画像が表示されます。

☞ [保存したファイルの画像を確認する](#) (6-44ページ)

### (9) [詳細情報]キー

ファイルの詳細な情報が表示されます。

タッチすると次のような画面を表示します。



ファイル名を変更するときは、この画面で[ファイル名]キーをタッチしてください。

文字入力画面が表示されるので、希望のファイル名を入力してください。

特別機能が設定されていると  キーが表示されます。 キーをタッチすると、設定されている特別機能の設定確認画面が表示されます。

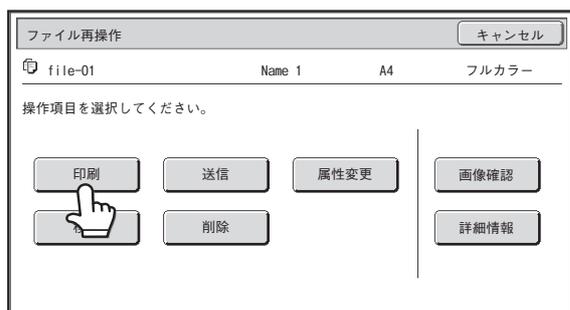
# 保存したファイルをプリントする

ドキュメントファイリングで保存したファイルは、必要なときに呼び出してプリントできます。呼び出したファイルは、保存時の各種設定内容を保持していますので、そのままの状態ですべてプリントできます。また、設定を変更することで、呼び出したファイルを加工してプリントすることもできます。

目的のファイルを選択したあと、次の操作を行ってください。

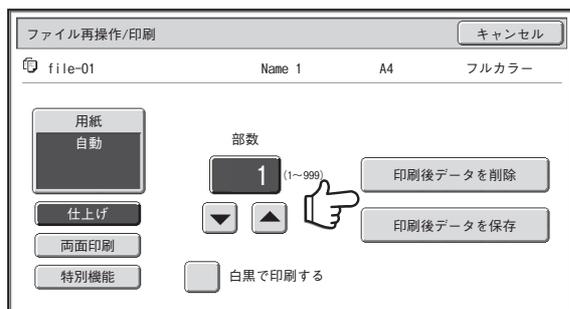
🔍 [再操作するファイルの選択方法](#) (6-29ページ)

1



[印刷]キーをタッチする

2



[印刷後データを削除]キーまたは[印刷後データを保存]キーをタッチする

[印刷後データを削除]キーをタッチすると、プリント終了後、ファイルを自動的に削除します。

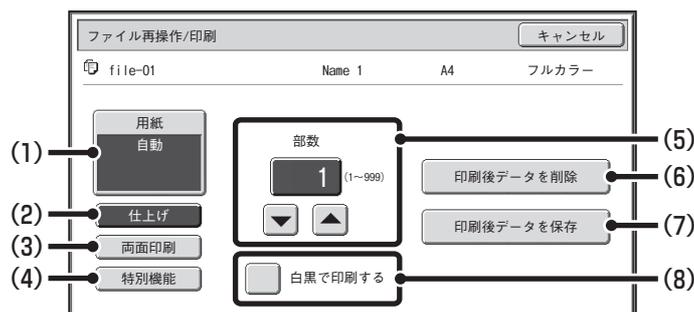
[印刷後データを保存]キーをタッチすると、プリント終了後もファイルはそのまま保存されます。

プリントするデータは、仕上げ、両面印刷、特別機能、部数などを設定することができます。詳細については「[プリント設定の画面について](#)」(6-32ページ)を参照してください。



- 白黒／グレースケールで保存したデータはカラーではプリントできません。
- 長尺サイズの原稿を、スキャン保存やスキャナーモードで保存した場合、プリントすることはできません。スキャナーモードで保存したデータでも、同報送信でファクスモードやインターネットFaxモードの宛先が含まれる場合はプリントが可能です。
- ファイルの再操作で変更したプリント条件のうち、設定を保存できるのは出力部数のみとなります。
- 保存されている画像の解像度または画質によっては、プリント速度は遅くなります。

# プリント設定の画面について



- (1) **[用紙]キー**  
出力用紙サイズを設定できます。
- (2) **[仕上げ]キー**  
ソート、グループ、ステープルソート機能の選択や、出力紙の排紙先（排紙トレイなど）を選択できます。
- (3) **[両面印刷]キー**  
両面プリントするときの裏面の画像の向きを選択できます。表面と裏面の画像を同じ向きで出力させたい場合は、[両面横綴じ]キーを、逆向きで出力させたい場合は、[両面縦綴じ]キーをタッチしてください。ただしファイル保存時の原稿画像のサイズや向きなどによって、これらのキーの効果が逆になる場合があります。また、いずれのキーも選択していない（反転していない）状態では、片面プリントされます。
- (4) **[特別機能]キー**  
とじしろ、中とじ、ページ集約、連結プリント、印字メニューが設定できます。  
プリンター機能のドキュメントファイリングのデータにはこのキーは表示されません。
- (5) **▼ ▲ キー**  
出力部数を設定します。部数の設定は、数値表示部のキーを直接タッチして数字キーで変更することもできます。
- (6) **[印刷後データを削除]キー**  
このキーをタッチすると、プリントを実行します。プリント終了後、プリントしたファイルを自動的に削除します。
- (7) **[印刷後データを保存]キー**  
このキーをタッチすると、プリントを実行します。プリント終了後もプリントしたファイルを削除しません。
- (8) **[白黒で印刷する]チェックボックス**  
カラーで保存したデータを白黒でプリントするときにチェックを入れます。  
白黒でデータを保存したときは、このチェックボックスは表示されません。

# 複数ファイル印刷について

フォルダー内にあるファイルを複数選択して、まとめてプリントできます。

1



## [複数ファイル印刷]キーをタッチする

特定のジョブのファイルを選択したい場合は、[表示切替]キーをタッチして、表示される画面からジョブを選択し、[OK]キーをタッチしてください。

表示されるファイルが選択したジョブのみになるので、[複数ファイル印刷]キーをタッチします。

2



## プリントしたいファイルキーを選択する

プリントしたいファイルキーをタッチします。タッチしたファイルキーは反転表示になり、選択されたことを示します。選択しているファイルを解除したいときは、反転しているファイルキーをタッチし、反転を解除することで、選択が解除されます。

[全選択]キーをタッチすると親展ファイルを除いて、表示されているファイルキーがすべて選択されます。

[一括印刷]キーをタッチすると、フォルダー内の同じユーザー名、同じパスワードが設定されているファイルを一括してプリントすることができます。選択方法や印刷方法などについては「[一括印刷について](#)」(6-35ページ)を参照してください。



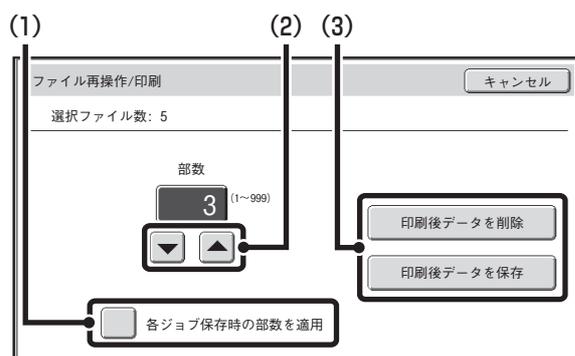
- 親展ファイルは、複数ファイル印刷でプリントすることができません。
- 現在、選択しているフォルダーのファイルと、他のフォルダーのファイルを同時に選択することはできません。
- ファイルを選択中に、[表示切替]キーでジョブの種類を切り替えたり、[戻る]キーをタッチして、画面を切り替えると、選択されたファイルは解除され、ファイルが未選択の状態になります。
- [全選択]キーをタッチしたとき、[全選択]キーは[全解除]キーに切り替わります。[全選択]キーで選択されているすべてのファイルの選択を解除するときは、[全解除]キーをタッチしてください。
- すべてのファイルを[全選択]キーを使わずに選択した場合、キーの名称は[全解除]キーに切り替わらず、[全選択]キーのままとなります。また、すべてのファイルを[全解除]キーを使わずに選択を解除した場合も、キーの名称は[全解除]キーのままとなります。

3



## [確定]キーをタッチする

選択されたファイルが確定され、印刷画面に切り替わります。



## 選択したファイルを印刷する

選択ファイル数には選択されたファイル数が表示されます。部数を設定せず、データの保存時の部数でプリントする場合は、手順 (3) へ進んでください。

(1) [各ジョブ保存時の部数を適用] チェックボックスをタッチして  にする

(2) ▼ ▲ キーで部数を設定する

数値表示部のキーを直接タッチして数字キーで変更することもできます。

(3) [印刷後データを削除] キー、または [印刷後データを保存] キーをタッチする

[印刷後データを削除] キーをタッチすると、プリント終了後、ファイルを自動的に削除します。

[印刷後データを保存] キーをタッチすると、プリント終了後もファイルはそのまま保存されます。

## 一括印刷について

フォルダー内の同じユーザー名、同じパスワードが設定されているファイルを一括でプリントできます。[複数ファイル印刷]キーをタッチすると[複数ファイル印刷]キーが[一括印刷]キーに切り替わります。

1



### [一括印刷]キーをタッチする

2

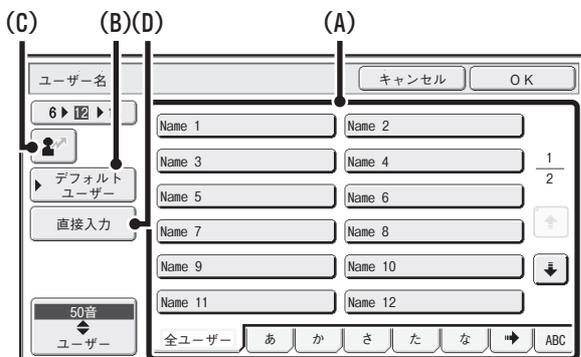


### [ユーザー名]キーをタッチする

ユーザー認証時は、認証を受けたユーザー名が自動的に選択されます。

システム設定（管理者）：権限グループリスト（ドキュメントファイリング）で「ログイン中のユーザーのファイルのみ表示する」が許可に設定されていると、ログイン中のユーザー名が選択された状態になり、他のユーザー名を選択できません。

3



### 使用するユーザー名を選択する

ユーザー名を選択する方法は、下記の(A)～(D)の4通りあります。

#### (A) 選択したいユーザー名のキーをタッチする

タッチしたユーザー名が反転表示します。

選択をまちがえたときは、正しいキーをタッチし直してください。

#### (B) [デフォルトユーザー]キーをタッチする

ユーザー名を、工場出荷時に登録されているユーザーの中から選択できます。

#### (C) [50音]キーをタッチする

メッセージ表示部に「登録No.」を入力するエリア[----]が表示されます。システム設定（管理者）の「ユーザーリスト」であらかじめ設定されている「登録No.」を数字キーで入力すると、ユーザー名が選択できます。

#### (D) [直接入力]キーをタッチする

文字入力画面が表示されます。ユーザー名を直接入力してください。

ユーザー名を選択したら、[OK]キーをタッチします。



システム設定（管理者）で[[全ユーザー]の選択を禁止する]チェックボックスと[[ユーザー名]の選択を禁止する]チェックボックスが無効になっているとき、[全ユーザー]キーと[ユーザー名]キーを選択できます。

[全ユーザー]キーをタッチすると、フォルダー内にあるすべてのユーザーのデータを選択します。

[ユーザー名]キーをタッチすると、フォルダー内にあるユーザー名が設定されていないデータ（ユーザーメイフメイのデータ）をすべて選択します。

4

一括印刷 キャンセル

□ User 1/ 全ジョブ

ユーザー名 Name 1

パスワード

データを削除 印刷後データを削除

印刷後データを保存 部数設定変更

### パスワードを設定している場合は、[パスワード]キーをタッチする

パスワード（5桁～8桁）を数字キーで入力して、[OK]キーをタッチしてください。同じパスワードのデータのみ選択されます。

パスワードを入力しないときは、次の手順へ進んでください。

5

一括印刷 キャンセル

□ User 1/ 全ジョブ

ユーザー名 Name 1

パスワード \*\*\*\*\*

データを削除 印刷後データを削除

印刷後データを保存 部数設定変更

### 部数設定を行う場合は[部数設定変更]キーをタッチする

部数を設定せず、データの保存時の部数でプリントする場合は手順6へ進んでください。

一括印刷 キャンセル

部数設定変更 キャンセル OK

1 (1~999)

各ジョブ保存時の部数を適用

(1) (2) (3)

(1) [各ジョブ保存時の部数を適用] チェックボックスをタッチして□にする

(2) ▼▲キーで部数を設定する

数値表示部のキーを直接タッチして数字キーで変更することもできます。

(3) [OK]キーをタッチする

6

一括印刷 キャンセル

□ User 1/ 全ジョブ

ユーザー名 Name 1

パスワード \*\*\*\*\*

データを削除 印刷後データを削除

印刷後データを保存 部数設定変更

### [印刷後データを削除]キー、または[印刷後データを保存]キーをタッチする

[印刷後データを削除]キーをタッチすると、プリント終了後、ファイルを自動的に削除します。

[印刷後データを保存]キーをタッチすると、プリント終了後もファイルはそのまま保存されます。

検索条件に一致するファイルがない場合は、ファイル一覧画面に戻ります。



[データを削除]キーをタッチすると、現在の条件に一致するファイルをすべて削除することができます。

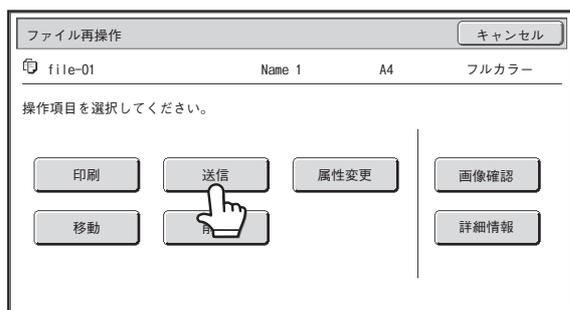
# 保存したファイルを送信する

ドキュメントファイリングで保存したファイルは、必要なときに呼び出して送信できます。呼び出したファイルは、保存時の各種設定内容を保持していますので、そのままの状態ですぐ送信できます。また、送信の設定を変更することで、呼び出したファイルを加工して送信することもできます。

目的のファイルを選択したあと、次の操作を行ってください。

🔍 [再操作するファイルの選択方法](#) (6-29ページ)

1



[送信]キーをタッチする

2



送信の設定を行う

各項目については「[送信設定の画面について](#)」(6-38ページ)を参照してください。

3

[カラースタート]キーまたは、[白黒スタート]キーを押す



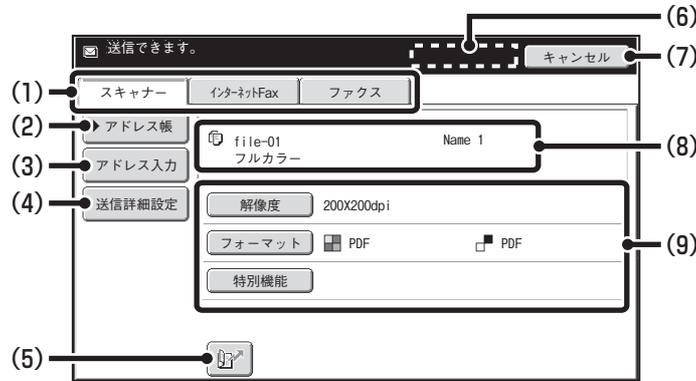
ファクス/インターネットFax送信時は[白黒スタート]キーのみ使用できます。

- 🔍 白黒/グレースケールで保存したデータはカラーでは送信できません。
- 🔍 プリントデータは送信できません。
- 🔍 これらの送信操作は、必要な周辺装置を拡張した状態で行えます。
- 🔍 データが次の特別機能を含んで保存されたときは送信できません。  
中とじ、表紙/合い紙、写真リポート、拡大連写、コピー時のページ集約
- 🔍 データが次の特別機能を含んで保存されたとき、送信はできますが、特別機能を実行しません。  
とじしろ、OHP合い紙、ブック複製、タブコピー、印字メニュー、すべてのカラー調整メニュー、センタリング
- 🔍 保存データの縮小/拡大率によっては、再送信時に指定した解像度では送信できない場合があります。その場合は、解像度を変更してお試しください。  
ただし、インターネットFaxで再送信するときは、解像度を変更しても送信できない場合があります。

## 送信設定の画面について

ここでは送信設定で表示されるキーについて説明しています。各項目の詳細な説明については「4. ファクス」の「[ファクスモードの基本画面について](#)」(4-6ページ)と「5. スキャナー/インターネットFax」の「[基本画面について](#)」(5-9ページ)を参照してください。

### スキャナーモードの例



#### (1) 送信モード切り替えタブ

ファクス、スキャナー、インターネットFax送信などのモードを切り替えます。

#### (2) [アドレス帳]キー

このキーをタッチすると、登録されている宛先のリストが表示されます。

#### (3) [アドレス入力]キーまたは[サブアドレス]キー

スキャナーモード、インターネットFaxモードのときに直接送信先を入力するときに使用します。ファクスモードでは「サブアドレス」と表示されます。Fコード通信でサブアドレスやパスコードの入力に使用します。

#### (4) [送信詳細設定]キー

スキャナーモードまたはインターネットFaxモード時に表示されます。送信する際の件名、ファイル名を設定するときにタッチします。スキャナーモードでは送信者も設定できます。

#### (5) キー

ワンタッチキーやグループキーを登録する際に割り当てられた4桁の検索番号を入力して、宛先を指定することができます。

#### (6) [次宛先]キー

宛先を1件でも入力したときに表示されます。複数の宛先にファイルを送信するときに使用します。

#### (7) [キャンセル]キー

ファイル再操作の項目選択画面に戻ります。

#### (8) ファイル名・ユーザー名表示部

送信するファイルのアイコン、ファイル名、ユーザー名、カラー/白黒のカラーモードを表示します。

#### (9) それぞれのキーをタッチすると、送信するファイルの設定を変更できます。各モードによって設定できる項目が異なります。

##### • スキャナーモード

###### [解像度]キー

送信するファイルの解像度を設定します。保存時に設定した解像度よりも高い解像度は選択できません。

###### [フォーマット]キー

送信するファイルのタイプ、圧縮率、カラーモードの選択が設定できます。

###### [特別機能]キー

[時刻指定]キーが表示されます。

##### • インターネットFaxモード

###### [解像度]キー

送信するファイルの解像度設定を行います。保存時に設定した画質よりも高い画質は選択できません。

###### [フォーマット]キー

送信するファイルのタイプ、圧縮形式を設定します。

###### [特別機能]キー

[時刻指定]、[通信結果表]、[インターネットFax発信元印字]の各キーが表示されます。

##### • ファクスモード

###### [画質]キー

送信するファイルの画質設定を行います。保存時に設定した画質よりも高い画質は選択できません。

###### [特別機能]キー

[時刻指定]、[ファクス発信元印字]、[発信元選択]、[通信結果表]の各キーが表示されます。

# 保存したファイルの属性について

## ファイルの属性について

ドキュメントファイリング機能で保存したファイルは、自動または手動操作によるデータ消去、および手動操作による保存先の移動を防ぐため、必要に応じてファイルを保護する設定を行うことができます。

ファイルには、「共有」、「保護」、「親展」の3種類の属性があり、「共有」の属性で保存されている場合は、データを保護しない状態に、「保護」および「親展」の属性で保存されている場合は、データを保護する状態になっています。

ファイル保存の際、一時保存フォルダーに保存したファイルの属性は、すべて「共有」になります。標準フォルダーやユーザーフォルダーに保存する場合は、「共有」または「親展」のいずれかの属性で保存することができます。

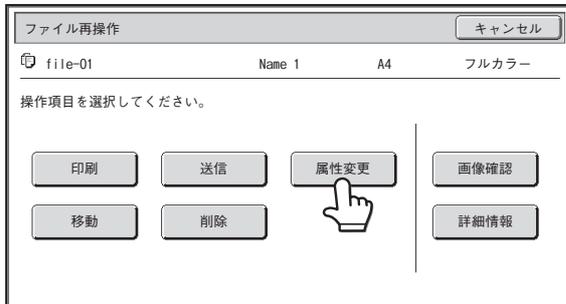
|    |                                                                                        |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 共有 | 「共有」の属性で保存されたファイルは、ファイル再操作の「属性変更」を行うことにより、「保護」または「親展」の属性に変更することができます。                  |
| 保護 | 「保護」には、パスワードの設定はありませんが、「削除」と「移動」はできなくなります。保護のファイルには各モードのアイコンに「🔒」が付きます。                 |
| 親展 | 「親展」は、ファイルにパスワードを設定して保護します。（ファイルを呼び出す際、設定したパスワードの入力を要求します。）親展ファイルには各モードのアイコンに「🔒」が付きます。 |

## 属性を変更する

目的のファイルを選択したあと、次の操作を行ってください。

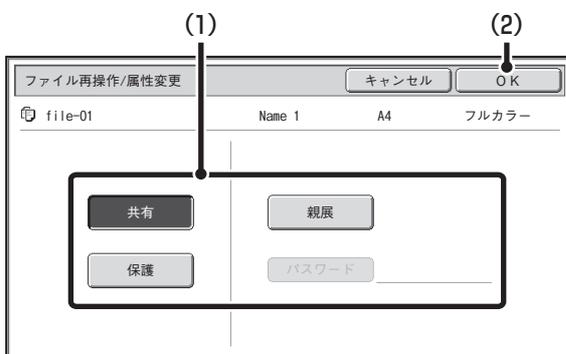
🔗 [再操作するファイルの選択方法](#) (6-29ページ)

1



[属性変更]キーをタッチする

2



属性を選択する

(1) 変更したい属性のキーをタッチする

[親展]キーをタッチすると、[パスワード]キーがタッチできる状態になります。

[パスワード]キーをタッチし、パスワード(5桁~8桁)を数字キーで入力して[OK]キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする

**属性変更の制約**

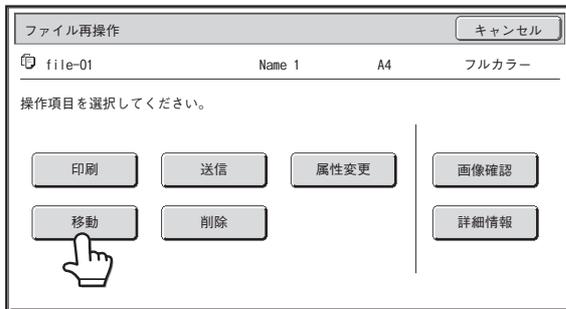
- 「共有」に設定されているファイルは、「保護」または「親展」に属性変更できます。ただし一時保存フォルダーに保存されている「共有」のファイルは、「保護」にのみ属性変更することができます。
- 「保護」に設定されているファイルは、「共有」または「親展」に属性変更できます。ただし一時保存フォルダーに保存されている「保護」のファイルは、「共有」にのみ属性変更することができます。
- 一時保存フォルダーに保存したファイルの属性は「親展」に属性変更できません。保存先を標準フォルダーまたはユーザーフォルダーに移動すれば「親展」に属性変更することができます。
- 1つのファイルに2つの属性を設定することはできません。

# 保存したファイルを移動する

ファイルの保存先を変更します。(別のフォルダーにファイルを移動します。)  
目的のファイルを選択したあと、次の操作を行ってください。

🔍 再操作するファイルの選択方法 (6-29ページ)

1



[移動]キーをタッチする

2

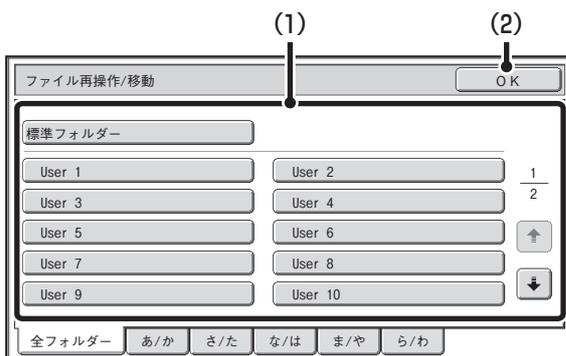


[移動先]キーをタッチする



- 一時保存フォルダーは、移動先として指定できません。この場合、元のファイル名を変更したうえで、指定のフォルダーに移動されます。(コンピュータの別名保存のように、元のファイルを残した状態で指定フォルダーにコピーされるわけではありません。)
- ファイル名を変更するときは、[ファイル名]キーをタッチしてください。

3



移動先を選択する

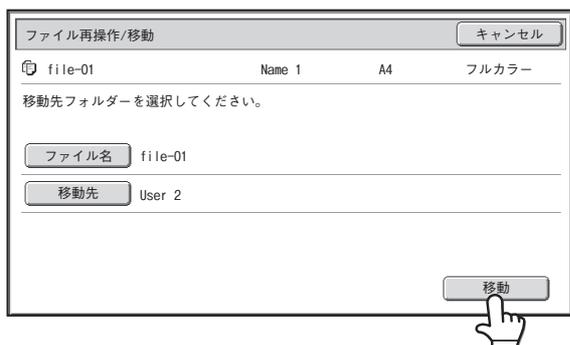
(1) 移動先のフォルダーのキーをタッチする

パスワードが設定されているフォルダーをタッチすると、パスワード入力画面が表示されます。  
パスワード(5桁~8桁)を数字キーで入力し、[OK]キーをタッチしてください。

(2) [OK]キーをタッチする

上記の画面はユーザーフォルダーを表示している例です。

## 4



## [移動]キーをタッチする

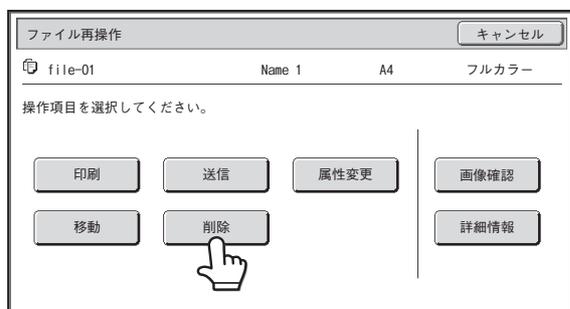
 ファイルの属性が「保護」になっているファイルは移動できません。「保護」のファイルを移動したいときは属性を「共有」か「親展」に変更してください。

# 保存したファイルを削除する

ドキュメントファイリングで保存したファイルで不要なファイルは削除することができます。目的のファイルを選択して、[削除]キーをタッチしてください。

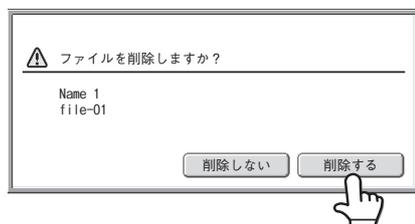
🔍 再操作するファイルの選択方法 (6-29ページ)

1



## [削除]キーをタッチする

2



## ファイルを確認して[削除する]キーをタッチする

🔍 ファイルの属性が「保護」になっているファイルは削除できません。「保護」のファイルを削除したいときは属性を「共有」か「親展」に変更してください。

# 保存したファイルの画像を確認する

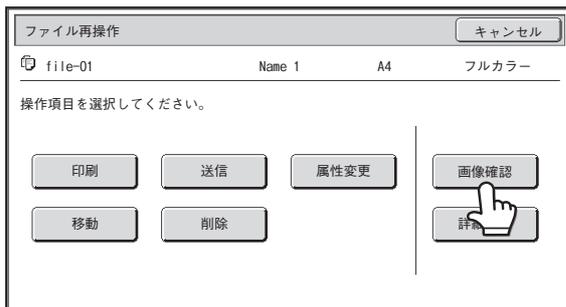
ドキュメントファイリングで保存したファイルの画像を確認することができます。  
目的のファイルを選択して、[画像確認]キーをタッチしてください。

🔍 [再操作するファイルの選択方法](#) (6-29ページ)



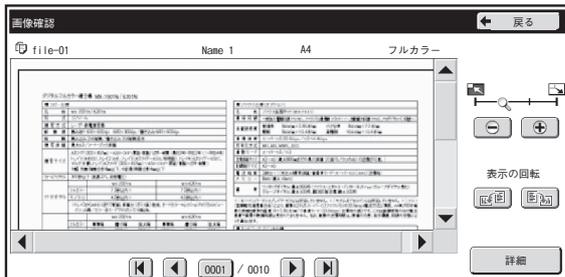
タッチパネルに表示される画像確認画面で、データの大きさによっては一部表示されない場合があります。

1



[画像確認]キーをタッチする

2

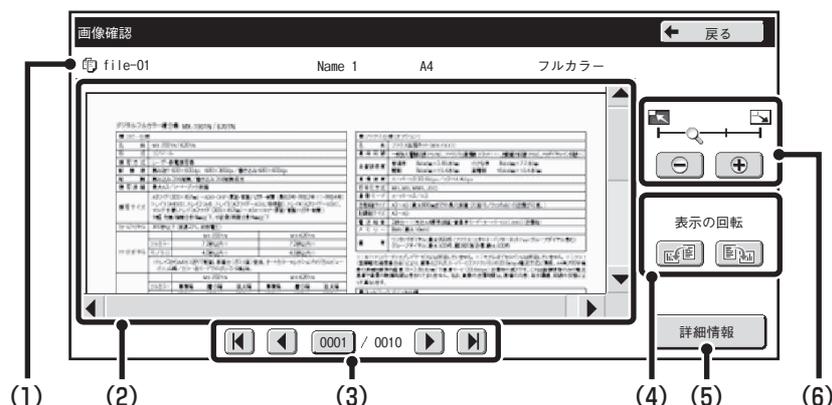


ファイルの画像を確認する

各項目については「[画像確認画面について](#)」(6-45ページ)を参照してください。

# 画像確認画面について

ここでは、画像確認画面の見かたについて説明しています。



## (1) 情報表示部

表示中のデータに関する情報が表示されます。

## (2) プレビュー画像

選択しているデータの画像が表示されます。画像が切れて表示されている場合は、右と下にあるスクロールバーで表示部分を移動させてください。バーをタッチし、そのままスライドさせると、画像が連動して動きます。(▼ ▲ キーをタッチして動かすこともできます。)

## (3) ページ送りキー／ページ指定キー

ページが複数ある場合に、ページを切り替えます。

- ◀ ▶ キー：最初のページまたは最後のページを表示します。
- ◀ ▶ キー：前のページまたは次のページを表示します。
- ページ数表示：総ページ数と、現在表示中のページ数が表示されます。現在のページ数のキーをタッチして、数字キーで任意の数値を入力すると、目的のページを表示することができます。

## (4) 「表示の回転」キー

画像を左右に90度ずつ回転させます。変更は表示ページだけでなく、データ全体に反映されます。

 プリントデータは、回転させることができません。

## (5) [詳細情報]キー

詳細情報の画面に切り替わります。  
 [再操作画面について](#) (6-30ページ)

## (6) 表示倍率切り替えキー

画像の表示倍率を選択します。左から「全画面表示」、「2倍」、「4倍」、「8倍」と切り替わります。変更は表示ページだけでなく、データ全体に反映されます。

 プリントデータは、1ページ目のみ画像が表示され、ページを切り替えることができません。

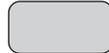
 プレビュー画像はタッチパネル表示用のイメージ画像です。実際のプリント結果とは異なります。

# ジョブ状況画面から呼び出してファイルの再操作を行う

自動一時保存およびファイリング保存を行ったファイルは、ジョブ状況の完了画面にキーとして表示されます。コピーしたデータをすぐにもう一度プリントする場合やファクスで同じデータを他の宛先にすばやく送信するときなどに便利です。

1

ジョブ状況



[ジョブ状況]キーを押す

2



ジョブ状況画面切り替えキーをタッチして[完了]を反転表示させる

3



完了したジョブからファイルを選択する

(1) 目的のファイルのキーをタッチする

(2) [再操作]キーをタッチする

再操作画面が表示されます。

目的の操作項目を選択して再操作を行ってください。

- 再操作画面について (6-30ページ)
- 保存したファイルをプリントする (6-31ページ)
- 保存したファイルを送信する (6-37ページ)
- 保存したファイルの属性について (6-39ページ)
- 保存したファイルを移動する (6-41ページ)
- 保存したファイルを削除する (6-43ページ)
- 保存したファイルの画像を確認する (6-44ページ)



- ファイルの詳細な情報を確認する場合は、目的のファイルを選択したあと、[詳細]キーをタッチしてください。
- ユーザー認証が設定されている場合、ログインしていない状態で[再操作]キーをタッチすると、ユーザー認証画面を表示しますので、ログインしてください。
- システム設定（管理者）：権限グループリスト（ドキュメントファイリング）で「ログイン中のユーザーのファイルのみ表示する」が許可に設定されている場合は、再操作するファイルのユーザー名とログインしたユーザー名が一致しないと再操作できません。

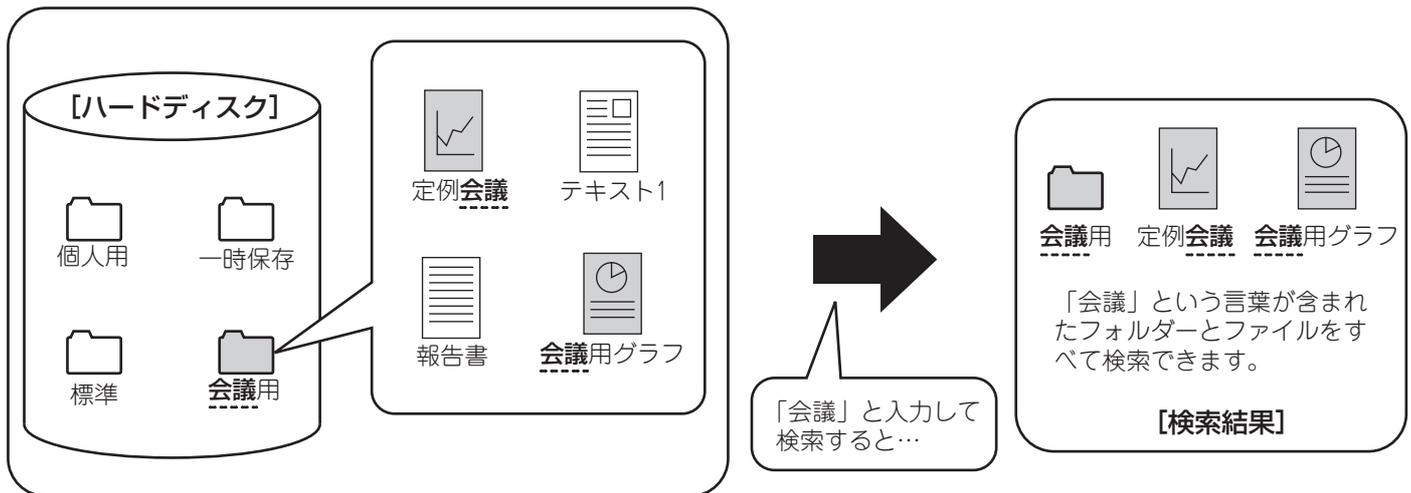
# 保存したファイルを検索して呼び出す

保存したファイルが多くなると、目的のファイルを探し出すのに時間がかかります。ドキュメントファイリングのデータ検索機能を使用すれば、目的のファイルをかたんに検索できます。

ここでは本機のハードディスクにあるファイルやフォルダーを検索する方法について説明しています。

検索するときファイル名やフォルダー名の一部しかわからないときでも、検索することができます。また、検索範囲となるフォルダーを指定することもできます。

例：ファイル名の一部に「会議」が含まれる場合



## データ検索画面を呼び出す

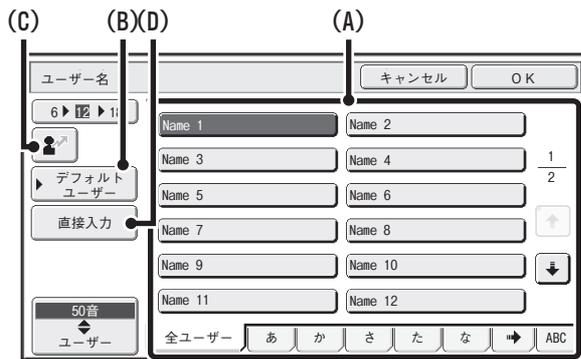
- (1) [ドキュメントファイリング] キーをタッチする
- (2) [データ検索] キーをタッチする

## [ユーザー名]キーまたは[ファイルまたはフォルダー名]キーをタッチする

- 2

ユーザー名がわかっている場合は、[ユーザー名]キーをタッチして手順3の「ユーザー名から検索する」へ進んでください。ファイル名がわかっている場合は、[ファイルまたはフォルダー名]キーをタッチして手順3の「ファイル名またはフォルダー名から検索する」へ進んでください。

システム設定（管理者）：権限グループリスト（ドキュメントファイリング）で「ログイン中のユーザーのファイルのみ表示する」が許可に設定されていると、ログイン中のユーザー名が選択された状態になり、他のユーザー名を選択できません。



## ユーザー名から検索する

ユーザー名を選択する方法は、下記の(A)～(D)の4とおりあります。

### (A) 選択したいユーザー名のキーをタッチする

タッチしたユーザー名が反転表示します。

選択をまちがえたときは、正しいキーをタッチし直してください。

### (B) [デフォルトユーザー]キーをタッチする

ユーザー名を、工場出荷時に登録されているユーザーの中から選択できます。

### (C) [直接入力]キーをタッチする

メッセージ表示部に「登録No.」を入力するエリア[----]が表示されます。システム設定（管理者）の「ユーザーリスト」であらかじめ設定されている「登録No.」を数字キーで入力すると、ユーザー名が選択できます。

### (D) [直接入力]キーをタッチする

文字入力画面が表示されます。ユーザー名を直接入力してください。検索したいユーザー名の一部を何文字か入力するだけでも検索できます。

ユーザー名を選択したら、[OK]キーをタッチします。

選択が完了すると、[パスワード]キーがタッチできます。[パスワード]キーをタッチし、ファイルまたはフォルダー名のパスワードを入力すると、ユーザー名とパスワードが一致したデータのみ検索できます。

(パスワードのみの検索はできません。)

## ファイル名またはフォルダー名から検索する

表示される文字入力画面でファイル名またはフォルダー名を入力して、[OK]キーをタッチします。

## [検索開始]キーをタッチする

検索結果は下図のような画面で表示されます。検索条件と一致したファイルやフォルダーのリストが表示されます。リストから目的のファイルを選択すると、再操作の画面が表示されません。

[キャンセル]キーをタッチすると、ドキュメントファイリングの基本画面に戻ります。

[再検索]キーをタッチすると、データ検索画面に戻ります。

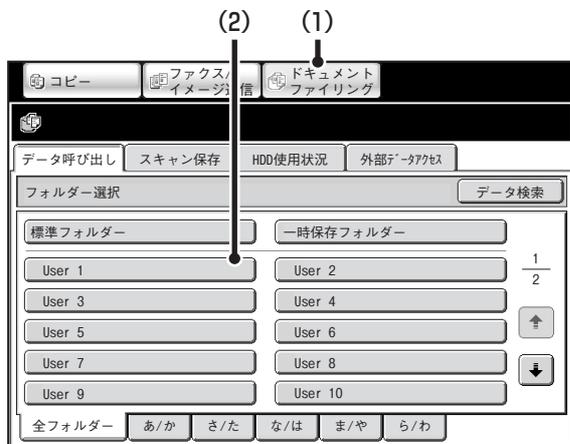


- [ファイルまたはフォルダー名]で検索を行った場合は、検索文字に該当したユーザーフォルダーもリストに表示されます。フォルダーのキーをタッチした場合はフォルダーに保存されたファイルのリストが表示されます。その中から該当するファイルをタッチしてください。
- データの検索は、Webページでも行えます。Webページのメニューにある[ファイル操作]→[ドキュメントファイリング]→[データ検索]をクリックして行います。

## フォルダーを指定して検索する

検索するデータを、指定したフォルダー内で絞り込むことができます。フォルダーの中にあるデータを検索する場合は次の方法で行います。

1



### 検索するフォルダーを開く

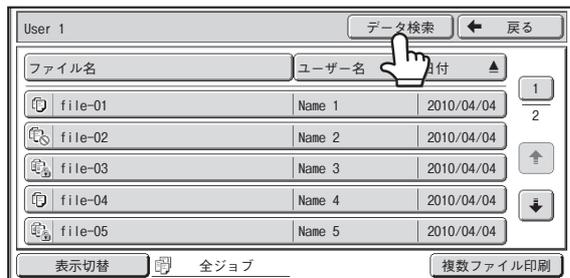
(1) [ドキュメントファイリング] キーをタッチする

(2) 検索するフォルダーのキーをタッチする

パスワードが設定されているフォルダーをタッチすると、パスワード入力画面が表示されます。

パスワード（5桁～8桁）を数字キーで入力し、[OK]キーをタッチしてください。

2



### [データ検索]キーをタッチする

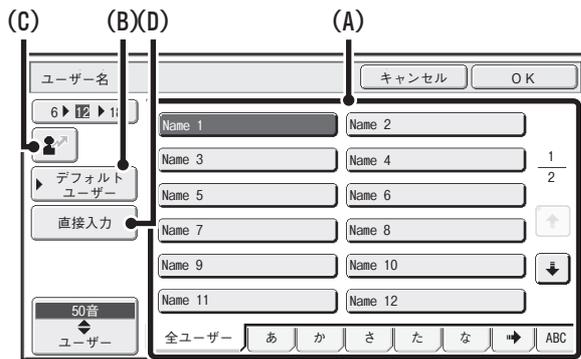
3



### [ユーザー名]キーまたは[ファイルまたはフォルダー名]キーをタッチする

ユーザー名がわかっている場合は、[ユーザー名]キーをタッチして手順4の「**ユーザー名から検索する**」へ進んでください。ファイル名がわかっている場合は、[ファイルまたはフォルダー名]キーをタッチして手順4の「**ファイル名またはフォルダー名から検索する**」へ進んでください。

システム設定（管理者）：権限グループリスト（ドキュメントファイリング）で「ログイン中のユーザーのファイルのみ表示する」が許可に設定されていると、ログイン中のユーザー名が選択された状態になり、他のユーザー名を選択できません。



## ユーザー名から検索する

ユーザー名を選択する方法は、下記の(A)～(D)の4とおりあります。

### (A) 選択したいユーザー名のキーをタッチする

タッチしたユーザー名が反転表示します。

選択をまちがえたときは、正しいキーをタッチし直してください。

### (B) [デフォルトユーザー]キーをタッチする

ユーザー名を、工場出荷時に登録されているユーザーの中から選択できます。

### (C) キーをタッチする

メッセージ表示部に「登録No.」を入力するエリア[----]が表示されます。システム設定（管理者）の「ユーザーリスト」であらかじめ設定されている「登録No.」を数字キーで入力すると、ユーザー名が選択できます。

### (D) [直接入力]キーをタッチする

文字入力画面が表示されます。ユーザー名を直接入力してください。検索したいユーザー名の一部を何文字か入力するだけでも検索できます。

ユーザー名を選択したら、[OK]キーをタッチします。

選択が完了すると、[パスワード]キーがタッチできます。[パスワード]キーをタッチし、ファイルまたはフォルダー名のパスワードを入力すると、ユーザー名とパスワードが一致したデータのみ検索できます。

(パスワードのみの検索はできません。)

## ファイル名またはフォルダー名から検索する

表示される文字入力画面でファイル名を入力して、[OK]キーをタッチします。

データ検索

キャンセル 検索開始

ユーザー名 Name 1

ファイルまたはフォルダー名 file-01

パスワード

現在のフォルダー内で検索する

## 検索を開始する

### (1) [現在のフォルダー内で検索する] チェックボックスをタッチして にする

[現在のフォルダー内で検索する]チェックボックスを  にして検索を開始すると、そのフォルダーにあるファイルを対象にして検索します。

親展フォルダーのファイルは、この方法で検索してください。

### (2) [検索開始]キーをタッチする

検索結果は下図のような画面で表示されます。検索条件と一致したファイルのリストが表示されます。リストから目的のファイルを選択すると、再操作の画面が表示されます。

データ検索

キャンセル 再検索

ファイルまたはフォルダー名 ユーザー名 日付 ▲

|         |        |            |
|---------|--------|------------|
| file-01 | Name 1 | 2010/04/04 |
|---------|--------|------------|

1 / 1

↑

↓

[キャンセル]キーをタッチすると、ドキュメントファイリングの基本画面に戻ります。

[再検索]キーをタッチすると、データ検索画面に戻ります。

# 第7章 システム設定

お客様の使用目的や使用状況に応じてさまざまな設定を行ったり、本機の設定状態を表示、プリントすることができる「システム設定」について説明しています。

知りたいシステム設定の項目がどの階層にあるかをすばやく知りたいときは、「システム設定階層図」(7-123ページ)、または「システム設定(一般)リスト」(7-6ページ)、「システム設定(管理者)リスト」(7-36ページ)を参照してください。ファクス機能のシステム設定に関しては、「ファクス機能システム設定(一般)リスト」(7-107ページ)、「ファクス機能システム設定(管理者)リスト」(7-113ページ)を参照してください。

## システム設定

|            |     |
|------------|-----|
| システム設定について | 7-3 |
| 共通の操作方法    | 7-4 |

## システム設定(一般)

|                  |      |
|------------------|------|
| システム設定(一般)を行うには  | 7-5  |
| システム設定(一般)リスト    | 7-6  |
| 総使用枚数表示          | 7-10 |
| 初期設定             | 7-10 |
| • 日付・時刻設定        | 7-10 |
| • キーボード切替        | 7-11 |
| データリストプリント       | 7-11 |
| 給紙トレイ設定          | 7-12 |
| • トレイ設定          | 7-12 |
| • 用紙タイプ登録        | 7-14 |
| • トレイ自動切り換え      | 7-14 |
| • カスタムサイズ登録(手差し) | 7-14 |
| 宛先登録             | 7-15 |
| • アドレス帳          | 7-15 |
| • ユーザーインデックス     | 7-19 |
| • プログラム          | 7-20 |
| 受信/転送設定          | 7-21 |
| • インターネットFax設定   | 7-21 |
| プリンター環境設定        | 7-22 |
| • プリンター初期設定      | 7-22 |
| • SPDL設定         | 7-23 |
| • PS設定           | 7-23 |
| • ESC/P(スーパー)設定  | 7-24 |
| ドキュメントファイリング登録   | 7-30 |
| USBデバイス確認        | 7-31 |
| ユーザー管理           | 7-32 |
| • ユーザー情報の修正      | 7-32 |

## システム設定(管理者)

|                     |      |
|---------------------|------|
| システム設定(管理者)を行うには    | 7-33 |
| • ユーザー認証が設定されていないとき | 7-33 |
| • ユーザー認証が設定されているとき  | 7-34 |
| システム設定(管理者)リスト      | 7-36 |
| ユーザー管理              | 7-52 |
| • ユーザー認証設定          | 7-52 |
| • 各種設定              | 7-53 |
| • ユーザーリスト           | 7-56 |
| • 使用枚数制限グループリスト     | 7-59 |
| • 権限グループリスト         | 7-60 |
| • お好み操作グループリスト      | 7-63 |
| • ユーザーカウント          | 7-65 |
| • ICカード設定           | 7-66 |
| 省エネルギー設定            | 7-68 |
| 操作設定                | 7-69 |
| • 各種設定              | 7-69 |
| • カスタム表示パターン設定      | 7-71 |
| • カスタマイズキー設定        | 7-71 |
| • ホーム画面設定           | 7-71 |
| • プレビュー設定           | 7-73 |
| • リモート操作設定          | 7-73 |
| • ソフトキーボードの登録語設定    | 7-73 |
| デバイス設定              | 7-74 |
| • 各種設定              | 7-74 |
| • 原稿検知装置の設定         | 7-75 |
| • デバイス禁止設定          | 7-76 |
| • 定着制御設定            | 7-76 |
| コピー設定               | 7-77 |
| • コピーモードの標準状態設定     | 7-77 |
| • 各種設定              | 7-78 |
| • カラー調整             | 7-80 |

SPDLは、Sharp Printer Description Languageの略称です。

|                         |       |
|-------------------------|-------|
| ネットワーク設定 .....          | 7-81  |
| プリンター設定 .....           | 7-82  |
| • 基本設定 .....            | 7-82  |
| • インターフェース設定 .....      | 7-83  |
| • オートカラーキャリブレーション ..... | 7-84  |
| ファクス／イメージ送信設定 .....     | 7-85  |
| • 操作設定 .....            | 7-85  |
| • スキャナー設定 .....         | 7-89  |
| • インターネットFax設定 .....    | 7-91  |
| ドキュメントファイリング設定 .....    | 7-95  |
| • 各種設定 .....            | 7-95  |
| • ジョブ別再操作設定 .....       | 7-97  |
| • ファイルの自動削除設定 .....     | 7-97  |
| リスト／レポートプリント .....      | 7-98  |
| セキュリティ設定 .....          | 7-99  |
| 禁止設定 .....              | 7-100 |
| 管理者パスワードの変更 .....       | 7-103 |
| プロダクトキー入力 .....         | 7-103 |
| データバックアップ .....         | 7-104 |
| システム設定の保存／呼出し .....     | 7-105 |
| Sharp OSA設定 .....       | 7-106 |

## ファクス機能システム設定

|                            |       |
|----------------------------|-------|
| ファクス機能システム設定（一般）リスト .....  | 7-107 |
| 宛先登録 .....                 | 7-108 |
| • アドレス帳 .....              | 7-108 |
| • Fコードメモリーボックス .....       | 7-110 |
| 受信／転送設定 .....              | 7-112 |
| • ファクス設定 .....             | 7-112 |
| ファクス機能システム設定（管理者）リスト ..... | 7-113 |
| ファクス／イメージ送信設定 .....        | 7-116 |
| • ファクス設定 .....             | 7-116 |
| システム設定階層図 .....            | 7-123 |

# システム設定

## システム設定について

システム設定は、使用目的や使用状況に応じてさまざまな設定を行ったり、本機の状態を表示、プリントするための機能です。この機能を使用することにより、本機をより使いやすくすることができます。

システム設定には一般のユーザーが行える設定と、本機の管理者のみが行える設定があります。本書では、両者を区別するために以下のように記載しています。

| システム設定（一般）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | システム設定（管理者）※要ログイン                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>一般のユーザー（管理者を含む）が設定できるシステム設定です。たとえば以下のような設定ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 日付、時刻の設定</li> <li>• 給紙トレイの設定（用紙サイズや用紙タイプの設定）</li> <li>• ファクスやスキャナー機能で使用する宛先の登録</li> <li>• プリンター機能に関する設定</li> <li>• ドキュメントファイリング機能のフォルダー登録</li> <li>• プリントやファクスの通信、スキャンした枚数の表示</li> </ul> <p>詳しくは「<a href="#">システム設定（一般）</a>」（7-5ページ）を参照してください。</p> | <p>管理者が設定できるシステム設定です。設定するには管理者権限でログインする必要があります。たとえば以下のような設定ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機のユーザーの登録</li> <li>• 省エネルギー設定</li> <li>• 操作パネルに関する設定</li> <li>• 本機に装着する周辺装置の設定</li> <li>• コピー機能に関する設定</li> <li>• 本機をネットワークに接続する際の設定</li> <li>• ファクスやイメージの送受信の設定</li> <li>• ドキュメントファイリング機能の詳細な設定</li> </ul> <p>詳しくは「<a href="#">システム設定（管理者）</a>」（7-33ページ）を参照してください。</p> |
| 一般ユーザーが使用できる設定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 管理者が使用できる設定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |



### • 管理者パスワードについて

セキュリティを保護するため、管理者は本機ご購入後すみやかにパスワードを変更してください。（工場出荷時の管理者パスワードについては、スタートガイドの「本機の管理者の方へ」を参照してください。）パスワードの変更方法は「[管理者パスワードの変更](#)」（7-103ページ）を参照してください。

※セキュリティを向上させるには、パスワードを定期的に変更してください。

- 上記で記載している（一般）／（管理者）の分類は、機能を説明するうえでの便宜上のものです。実際のタッチパネルなどには表示されません。
- ファクスの設定に関しては、「[ファクス機能システム設定](#)」（7-107ページ）を参照してください。

### • Webページについて

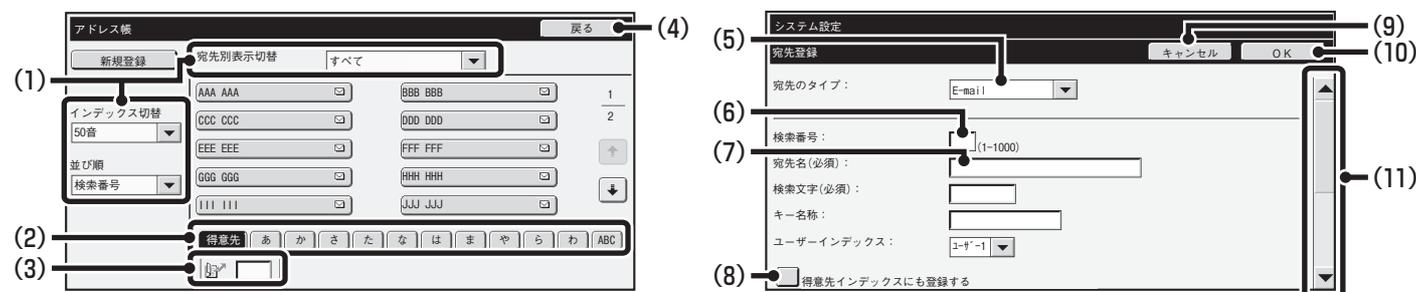
システム設定は、Webページからも行うことができます。Webページからシステム設定を行うときは、Webページのメニューにある[システム設定]をクリックして行います。

Webページでは、システム設定以外にも、ネットワークやセキュリティの設定を行うことができます。設定項目についてはWebページのヘルプを参照してください。

# 共通の操作方法

ここでは、システム設定に共通する特殊な操作方法について説明しています。  
各項目の説明では操作方法について省略しているところがありますので、必ずはじめにお読みください。

## (例) アドレス帳画面



### (1) 表示切り替え

宛先一覧の表示方法や、インデックスの種類を選択することができます。

(例)「アドレス帳」画面では、次の3つの項目で表示を切り替えることができます。

- ・50音／ユーザーインデックス
- ・宛先別表示切替
- ・昇順／降順／番号順

### (2) インデックスキー

それぞれのキーをタッチすると、宛先の一覧がインデックス別に分類表示されます。ここに表示されるインデックスのキーは、「表示選択」の設定により変化します。

### (3) (検索番号入力部)

 をタッチし、検索番号を入力すると、該当する宛先を検索します。

ユーザーを検索するときは、アイコン部分に  が表示されます。

### (4) [戻る]キー

1つ前の画面に戻ります。

### (5) セレクトボックス

 をタッチすると、選択できる項目の一覧が表示されます。一覧からいずれかをタッチすると、その項目が選択された状態になります。

### (6) テキストボックス (数字)

タッチすると、ボックス内に文字が入力できる状態になります。数字キー (10キー) で入力してください。

番号をまちがえたときは、[クリア]キー (⊙) を押して、まちがえた番号を消去してください。

### (7) テキストボックス

タッチすると、文字入力画面が表示されます。入力画面で操作が終了すると、テキストボックスに入力した文字が表示されます。

### (8) チェックボックス

タッチすると、 と  とが交互に切り替わります。該当する設定を有効にする場合は  にし、解除する場合は  にします。

チェックボックスと同様の操作で項目の選択を行うものに、ラジオボタン () があります。(ただし、ラジオボタンの場合は、選択できる項目は択一になります。)

### (9) [キャンセル]キー

設定を中止し、1つ前の画面に戻ります。

### (10) [OK]キー

タッチすると、現在の設定内容を登録します。

### (11) スクロールバー

画面表示を上下に移動させることができます。

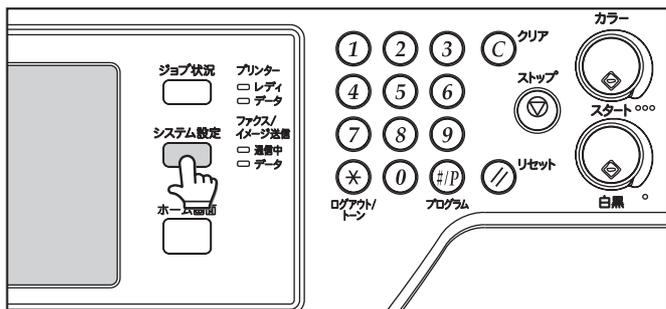
バーをタッチし、そのまま上下にスライドさせると、画面が連動して動きます。

  キーをタッチして上下に動かすこともできます。

# システム設定（一般）

ここでは一般ユーザーが行えるシステム設定について説明しています。

## システム設定（一般）を行うには



本機が待機状態になっていることを確認し、操作パネルの[システム設定]キーを押してください。  
[システム設定]キーを押すと、タッチパネルに以下のメニュー画面が表示されます。



この画面より、設定したい項目をタッチしてそれぞれの設定を行います。設定内容は、システム設定（一般）の各項目の説明を参照してください。

- システム設定を終了するときは、画面右上の[終了]キーをタッチしてください。
- ユーザー認証設定時の操作方法については、「1. お使いになる前に」の「[ユーザー認証について](#)」（1-17ページ）を参照してください。

# システム設定（一般）リスト

以下は、一般の権限で表示されるシステム設定の項目リストと工場出荷時の設定値です。管理者権限の設定項目は、「[システム設定（管理者）リスト](#)」（7-36ページ）を参照してください。



- 本機の仕様や周辺装置の装着状態によっては、いくつかの設定が使用できません。
- ファクス機能に関する項目の説明は「[ファクス機能システム設定](#)」（7-107ページ）を参照してください。

## 総使用枚数表示

| 設定項目                      | 工場出荷時 | ページ  |
|---------------------------|-------|------|
| ■ <a href="#">総使用枚数表示</a> | —     | 7-10 |

## 初期設定

| 設定項目                                | 工場出荷時                       | ページ  |
|-------------------------------------|-----------------------------|------|
| ■ <a href="#">初期設定</a>              |                             | 7-10 |
| ● <a href="#">日付・時刻設定</a>           |                             | 7-10 |
| ▶ <a href="#">時刻設定</a>              | —                           |      |
| ◆ <a href="#">タイムゾーンの指定</a>         | —                           |      |
| ◆ <a href="#">現在日時の設定</a>           | —                           |      |
| ◆ <a href="#">インターネット時刻サーバと同期する</a> | 無効                          |      |
| ▶ <a href="#">サマータイム設定</a>          | 無効                          |      |
| ▶ <a href="#">日付書式設定</a>            | [YYYY/MM/DD]・[/]・[後]・[24時間] | 7-11 |
| ● <a href="#">キーボード切替</a>           | 日本語JIS                      | 7-11 |

## データリストプリント

| 設定項目                                   | 工場出荷時 | ページ  |
|----------------------------------------|-------|------|
| ■ <a href="#">データリストプリント</a>           |       | 7-11 |
| ● <a href="#">全設定リスト</a>               | —     |      |
| ● <a href="#">プリンターテストページ</a>          | —     |      |
| ● <a href="#">宛先登録リスト</a>              | —     |      |
| ● <a href="#">ドキュメントファイリングフォルダーリスト</a> | —     |      |

## 給紙トレイ設定

| 設定項目              | 工場出荷時                                                             | ページ  |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------|------|
| ■ 給紙トレイ設定         |                                                                   | 7-12 |
| ● トレイ設定           |                                                                   | 7-12 |
| ▶ トレイ1            | 普通紙・A4                                                            |      |
| ▶ トレイ2*           | 普通紙・自動-AB系                                                        |      |
| ▶ トレイ3*           |                                                                   |      |
| ▶ トレイ4*           |                                                                   |      |
| ▶ 手差しトレイ          | 普通紙・自動-AB系                                                        |      |
| ◆ 自動検知類似サイズ選択     | 216x330 (8-1/2x13)                                                |      |
| ● 用紙タイプ登録         | —                                                                 | 7-14 |
| ● トレイ自動切り換え       | 有効                                                                | 7-14 |
| ● カスタムサイズ登録 (手差し) | カスタム1 : X=420 Y=297<br>カスタム2 : X=420 Y=297<br>カスタム3 : X=420 Y=297 | 7-14 |

\* 給紙デスク装着時

## 宛先登録

| 設定項目         | 工場出荷時  | ページ  |
|--------------|--------|------|
| ■ 宛先登録       |        | 7-15 |
| ● アドレス帳      | —      | 7-15 |
| ● ユーザーインデックス | ユーザー 1 | 7-19 |
| ● プログラム      | —      | 7-20 |

## 受信／転送設定

| 設定項目                | 工場出荷時 | ページ  |
|---------------------|-------|------|
| ■ 受信／転送設定           |       | 7-21 |
| ● インターネットFax設定*     |       | 7-21 |
| ▶ 今すぐ受信             | —     |      |
| ▶ 基本画面にも手動受信キーを表示する | 有効    |      |
| ▶ 受信データ転送           | —     |      |

\* インターネットファクス拡張キット装着時

## プリンター環境設定

| 設定項目            | 工場出荷時                  | ページ  |
|-----------------|------------------------|------|
| ■ プリンター環境設定※1   |                        | 7-22 |
| ● プリンター初期設定     |                        | 7-22 |
| ▶ 部数            | 1部                     |      |
| ▶ 印刷の向き         | 縦                      |      |
| ▶ 標準給紙用紙サイズ     | A4                     |      |
| ▶ 標準排紙トレイ       | 本機構成により異なる             |      |
| ▶ 標準給紙用紙タイプ     | 普通紙                    |      |
| ▶ 標準解像度設定       | 600dpi (高画質)           |      |
| ▶ 白紙プリントの禁止     | 無効                     |      |
| ▶ 線幅調整          | 5                      |      |
| ▶ 両面印刷          | 片面印刷                   |      |
| ▶ カラーモード        | 自動                     |      |
| ▶ N-Up印刷        | 1-Up                   |      |
| ▶ フィットページ       | 有効                     |      |
| ▶ 仕上げ           | 本機構成により異なる             |      |
| ◆ 部単位で印刷する      | 有効                     |      |
| ▶ 自動一時保存        | 無効                     |      |
| ● SPDL設定        |                        | 7-23 |
| ▶ SPDLシンボルセット設定 | PC-8                   |      |
| ▶ SPDLフォント設定    | 内蔵フォント・0: Courier      |      |
| ▶ SPDL改行コード     | 0. CR=CR; LF=LF; FF=FF |      |
| ▶ A4ワイド         | 無効                     | 7-23 |
| ● PS設定※2        |                        |      |
| ▶ PSエラーを印刷する    | 無効                     |      |
| ▶ バイナリ処理する      | 無効                     |      |

SPDLは、Sharp Printer Description Languageの略称です。

| 設定項目              | 工場出荷時       | ページ  |
|-------------------|-------------|------|
| ● ESC/P (スーパー) 設定 |             | 7-24 |
| ▶ プリントモード         | ESC/Pスーパー   |      |
| ▶ 用紙位置 (PC-PR)    | 左           |      |
| ▶ 位置補正            | 縦：0mm・横：0mm |      |
| ▶ 日本語フォント         | 明朝          |      |
| ▶ 欧文フォント          | ローマン        |      |
| ▶ 文字コード表          | カタカナ        |      |
| ▶ プリント桁範囲         | 用紙幅         |      |
| ▶ プリント開始位置        | 8.5mm       |      |
| ▶ 改行コード           | CR          |      |
| ▶ ミシン目スキップ        | 無効          |      |
| ▶ 各国文字 (PC-PR)    | 日本          |      |
| ▶ ゼロキャラクタ         | 0           |      |
| ▶ 縮小印刷            | しない         |      |

※1 プリンター拡張キット装着時

※2 PS拡張キット装着時

## ドキュメントファイリング登録

| 設定項目             | 工場出荷時 | ページ  |
|------------------|-------|------|
| ■ ドキュメントファイリング登録 |       | 7-30 |

## USBデバイス確認

| 設定項目        | 工場出荷時 | ページ  |
|-------------|-------|------|
| ■ USBデバイス確認 | —     | 7-31 |

## ユーザー管理

| 設定項目        | 工場出荷時 | ページ  |
|-------------|-------|------|
| ■ ユーザー管理※   |       | 7-32 |
| ● ユーザー情報の修正 | —     | 7-32 |

※ ユーザー認証設定時にシステム設定（管理者）の設定権限を持たないユーザーでログインしたとき（工場出荷時に登録されているユーザーを除く）

## 総使用枚数表示

各ジョブの使用回数を一覧で表示します。[総使用枚数]キーをタッチしてください。



- 自動両面コピー時は1枚で2枚としてカウントされます。
- リストプリントなど、本機から直接プリントしたものは「その他出力」にカウントされます。
- 表示（プリント）内容は、本機の仕様または周辺装置の装着状態によって異なります。

## 初期設定

本機を操作するうえで最初に行う、基本的な設定です。[初期設定]キーをタッチして各設定を行ってください。

### 日付・時刻設定

本機に内蔵されている時計の日付と時刻を設定します。

#### 時刻設定

時刻の設定を行います。

| 項目                | 設定内容                                                                                                |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| タイムゾーンの指定         | GMT（グリニッジ標準時）に対して、時差が早い地域は[+]を選択し、時差が遅い地域の場合は[-]を選択します。その後、GMTと使用する地域の時差を時・分で指定します。（例：日本の場合+09時00分） |
| 現在日時の設定           | 年・月・日・時・分をそれぞれ指定して、年月日と時刻を合わせてください。                                                                 |
| インターネット時刻サーバと同期する | 本機がインターネットと接続している状態で使用できます。本機の時刻を自動的にインターネット時刻サーバの時刻に調整します。                                         |

### サマータイム設定

サマータイムを設定します。

| 項目       | 設定内容                                                                                                                                       |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| サマータイム設定 | サマータイム設定を有効にするか無効にするかを選択します。無効にすると以下の設定ができなくなります。                                                                                          |
| 設定タイプ選択  | サマータイムの開始日と終了日を曜日から日付のどちらで設定するかを選択します。                                                                                                     |
| 開始時刻     | サマータイムを開始する日と時刻を設定します。「設定タイプ選択」で「曜日」を選択したときはサマータイムを開始する月、週、曜日を設定します。「設定タイプ選択」で「日付」を選択した場合は開始する月と日を設定します。時刻は、時・分とUTC（協定世界時）を使うかどうかの設定を行います。 |
| 終了時刻     | 開始時刻と同様の方法でサマータイムの終了する日と時刻を設定します。                                                                                                          |
| 調整時間     | サマータイムを開始する際の調整する時間を設定します。                                                                                                                 |

## 日付書式設定

リストプリントなどでプリントされる日付の書式を変更することができます。

| 項目    | 設定内容                                                                                   |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 現在の設定 | 現在の時刻が、日付書式設定で設定されている内容で表示されます。                                                        |
| 書式    | 年/月/日 (YYYY/MM/DD) の表示順番を設定します。                                                        |
| 区切り   | 日付の区切りを3種類の記号または空白から選択します。                                                             |
| 曜日位置  | 曜日の表示を日時の前か後ろのいずれかに設定します。                                                              |
| 時間表示  | 12時間表示か24時間表示かを切り替えます。<br>24時間表示：00：00～23：59<br>12時間表示：00：00AM～11：59AM/00：00PM～11：59PM |

 システム設定（管理者）の「[日付・時刻設定の変更禁止](#)」（7-70ページ）が設定されている場合、日付・時刻設定を行うことはできません。

## キーボード切替

各種の登録操作で使用する入力画面のキー配列を切り替えることができます。

選択できるキー配列は以下のとおりです。

|        |         |        |       |       |         |
|--------|---------|--------|-------|-------|---------|
| 日本語JIS | 英語（US）  | 英語（UK） | フランス語 | ドイツ語  | スウェーデン語 |
| ノルウェー語 | フィンランド語 | デンマーク語 | ロシア語  | ギリシャ語 | トルコ語    |

## データリストプリント

本機で設定した項目や登録内容の一覧をプリントできます。[データリストプリント]キーをタッチして各設定を行ってください。

| リスト名                 | プリント内容                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全設定リスト               | ハードウェアステータス、ソフトウェアステータス、プリンター環境設定、給紙トレイ設定、総使用枚数をすべてプリントします。                                                                                                                                                                                                                  |
| プリンターテストページ          | SPDLシンボルセットリスト、各種フォントリスト、NICページ（ネットワークインターフェースの設定情報など）をプリントします。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• SPDLシンボルセットリスト</li> <li>• SPDL内蔵フォントリスト</li> <li>• SPDL拡張フォントリスト</li> <li>• PSフォントリスト</li> <li>• PS漢字フォントリスト</li> <li>• PS拡張フォントリスト</li> <li>• NICページ</li> </ul> |
| 宛先登録リスト              | 本機に登録されている各種宛先をプリントします。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• ワンタッチアドレスリスト</li> <li>• グループリスト</li> <li>• プログラムリスト</li> <li>• メモリーボックスリスト</li> <li>• 全宛先登録リスト</li> </ul>                                                                                                |
| ドキュメントファイリングフォルダーリスト | ドキュメントファイリングのフォルダーのリストをプリントします。                                                                                                                                                                                                                                              |

 本機の機能の拡張状態により、表示される項目は異なります。  
 システム設定（管理者）の「[テストページの出力禁止](#)」（7-82ページ）が設定されている場合、プリンターテストページをプリントすることはできません。

SPDLは、Sharp Printer Description Languageの略称です。

# 給紙トレイ設定

各給紙トレイの設定および用紙タイプの登録を行います。[給紙トレイ設定]キーをタッチして各設定を行ってください。

## トレイ設定

給紙トレイごとに用紙種類（タイプ）、用紙サイズ、使用する機能（給紙許可ジョブ）の設定を行います。[トレイ設定]キーをタッチすると、トレイの一覧と設定状況が表示されます。

## 各トレイの設定

上記画面で[変更]キーをタッチすると、設定画面が表示されます。設定項目は以下のとおりです。

| 項目      | 設定内容                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| タイプ     | 使用する用紙の種類（タイプ）を選択します。<br>選択できる用紙タイプはトレイにより異なります。詳しくは「 <a href="#">トレイ設定一覧</a> 」（7-13ページ）を参照してください。<br>ユーザータイプの設定方法については「 <a href="#">用紙タイプ登録</a> 」（7-14ページ）を参照してください。                                                                                     |
| サイズ     | 使用する用紙のサイズを一覧から選択します。選択できるサイズは、各トレイにより異なります。また、上記で設定した用紙タイプによっては、選択できるサイズが限定されることがあります。詳しくは「 <a href="#">トレイ設定一覧</a> 」（7-13ページ）を参照してください。<br>希望のサイズが一覧に見当たらない場合は、[サイズ入力]を選択して直接サイズを指定してください（手差しトレイのみ可）。詳しくは「 <a href="#">トレイ設定一覧</a> 」（7-13ページ）を参照してください。 |
| 給紙許可ジョブ | 使用するモードを設定します。設定しているトレイで使用させたくない機能がある場合は、その機能を無効にしてください。<br>「タイプ」が普通紙、再生紙、色紙、ユーザータイプ以外のはきは、[ファクス]および[インターネットFax]は選択できません。                                                                                                                                 |

- 
 ここで設定した用紙サイズと、実際にトレイにセットしている用紙サイズが異なると、プリントの際にトラブルや紙づまりなどの原因となります。  
トレイ側での用紙サイズ変更方法については、「1. お使いになる前に」を参照してください。
- 「表裏有り」などの用紙属性は、用紙タイプを選択することによって自動的に設定されます。この画面で変更することはできません。
- システム設定（管理者）の「[給紙トレイ設定の禁止](#)」（7-76ページ）が設定されている場合、給紙トレイ（手差しトレイを除く）の設定を行うことはできません。

## トレイ設定一覧

| 用紙トレイ              | 用紙タイプ                                        | サイズ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| トレイ1               | 普通紙、印刷済み用紙、再生紙、レターヘッド紙、パンチ紙、色紙、厚紙1※1、ユーザータイプ | A3、A4、A4R、A5R、B4、B5、B5R、216mmx330mm(8-1/2"x13")、216mmx343mm(8-1/2"x13-1/2")、11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x13-2/5" (216mmx340mm)、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、7-1/4"x10-1/2"R、5-1/2"x8-1/2"R、8K、16K、16KR                                                                                                                                                                                                                                              |
| トレイ2<br>(給紙デスク装着時) |                                              | 自動-AB系(A3、A4、A4R、B4、B5、B5R、216mmx330mm(8-1/2"x13"))、自動-インチ系(11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、7-1/4"x10-1/2"R)、                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| トレイ3<br>(給紙デスク装着時) |                                              | 8-1/2"x13-2/5" (216mmx340mm)、216mmx343mm(8-1/2"x13-1/2")、5-1/2"x8-1/2"R、A5R、8K、16K、16KR                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| トレイ4<br>(給紙デスク装着時) |                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 手差しトレイ             | トレイ1~4の用紙タイプに加え、厚紙2※1、薄紙、光沢紙                 | 自動-AB系(A3W、A3、B4、A4、A4R、A5R、B5、B5R、11"x17"、8-1/2"x11"、216mmx330mm(8-1/2"x13"))※2、216mmx340mm(8-1/2"x13-2/5")※2、216mmx343mm(8-1/2"x13-1/2")※2、郵便はがき)、自動-インチ系(12"x18"、11"x17"、8-1/2"x14"※2、8-1/2"x13-2/5"(216mmx340mm)※2、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、7-1/4"x10-1/2"R、5-1/2"x8-1/2"R、A3、A4、B4、B5)、サイズ入力-AB系(X=140mm(フィニッシャー装着時 148mm)~432mm、Y=90mm~297mm)サイズ入力-インチ系(X=5-1/2"(フィニッシャー装着時 5-7/8")~17"、Y=3-5/8"~11-5/8")8K、16K、16KR、カスタム1、カスタム2、カスタム3 |
|                    | ラベル紙                                         | 自動-AB系(A4、A4R、B5、B5R)、自動-インチ系(8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                    | OHP                                          | 自動-AB系(A4、A4R)、自動-インチ系(8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                    | タブ紙                                          | 自動-AB系(A4)、自動-インチ系(8-1/2"x11")                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                    | 封筒                                           | Com-10、Monarch、DL、C5、長形3号、長形4号、洋形2号、洋形4号、角形2号、角形3号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

※1 厚紙1:106g/m<sup>2</sup>~209g/m<sup>2</sup>厚紙

厚紙2:210g/m<sup>2</sup>~256g/m<sup>2</sup>厚紙

※2 手差しトレイの設定画面にある「[自動検知類似サイズ選択](#)」(下記)で自動検知するサイズを選択します。

## 自動検知類似サイズ選択

手差しトレイの設定画面にある「自動検知類似サイズ選択」は、用紙サイズを自動検知する際、大きさが類似している用紙から、あらかじめ自動検知する用紙サイズを選択します。

「自動-AB系」の設定で3種類、「自動-インチ系」の設定で2種類の用紙サイズから選択します。

設定にある用紙を手差しトレイにセットしたときは、選択したサイズのみが自動検知されます。

|         |                                                                                 |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 自動-AB系  | 216mmx330mm(8-1/2"x13")、216mmx340mm(8-1/2"x13-2/5")、216mmx343mm(8-1/2"x13-1/2") |
| 自動-インチ系 | 8-1/2"x14"、8-1/2"x13-2/5"(216mmx340mm)                                          |

## 用紙タイプ登録

用紙タイプの名称が選択肢にないときや、選択肢にない用紙の属性を作成したいときに登録します。用紙タイプは7つまで登録できます。

| 項目      | 設定内容                                                        |
|---------|-------------------------------------------------------------|
| タイプ名    | 任意の名前を登録してください。<br>工場出荷時は「ユーザータイプ1」～「ユーザータイプ7」の名称で登録されています。 |
| 表裏有り    | 表裏の区別がある用紙を使用する場合に設定します。                                    |
| 両面不可    | 両面プリントできない用紙を使用する場合に設定します。                                  |
| ステープル不可 | ステープルできない用紙を使用する場合に設定します。                                   |
| パンチ不可   | パンチできない用紙を使用する場合に設定します。                                     |



設定できる項目は、周辺装置の装着状態によって異なります。

## トレイ自動切り換え

プリント中に用紙切れになったときに、同じサイズとタイプの用紙がセットされた別のトレイに自動的に切り替えてプリントを続けるかどうかを設定できます。

## カスタムサイズ登録（手差し）

手差しトレイで、定形外の特種な用紙サイズを頻繁に使用するとき、あらかじめその用紙サイズを登録することができます。

用紙サイズを登録することで、用紙サイズの設定にかかる手間を省くことができます。

最大3つまで登録することができます。

[カスタム1]キーから[カスタム3]キーで用紙サイズを登録または変更したいキーをタッチすると、次の画面が表示されます。



「サイズ入力-AB系」が「サイズ入力-インチ系」のどちらで入力するかを選択したあと、用紙のX方向、Y方向の数値を設定します。

### 「サイズ入力-AB系」の場合

X方向は、140mm（フィニッシャー装着時は148mm）～432mmで設定できます。工場出荷時は420mmに設定されています。

Y方向は、90mm～297mmで設定できます。工場出荷時は297mmに設定されています。

### 「サイズ入力-インチ系」の場合

X方向は、5-1/2"（フィニッシャー装着時は5-7/8"）～17"で設定できます。工場出荷時は17"に設定されています。

Y方向は、3-5/8"～11-5/8"で設定できます。工場出荷時は11"に設定されています。

## 宛先登録

ワンタッチキー、グループキー、プログラムキー、ユーザーインデックスの登録および修正／削除を行います。[宛先登録]キーをタッチして各設定を行ってください。



- 設定できる項目は、周辺装置の装着状態によって異なります。
- ファクス機能に関する項目の説明は「[ファクス機能システム設定](#)」(7-107ページ)を参照してください。

## アドレス帳

宛先をあらかじめ登録しておくことにより、かんたんにアドレス帳から呼び出せるようにします。[アドレス帳]キーをタッチすると、次の画面が表示されます。



### • [新規登録]キー

宛先を新規に追加します。

### • リスト表示

現在登録されている宛先の一覧が表示されます。各宛先を選択すると、その宛先の修正／削除画面が表示されます。

## 宛先を登録する

上記画面で[新規登録]キーをタッチすると、登録画面が表示されます。宛先は合計1000件まで登録できます。設定項目については「[設定項目一覧](#)」(7-16ページ)を参照してください。



- システム設定(管理者)の「[本体からの宛先登録の禁止設定](#)」(7-87ページ)が設定されている場合、該当する機能の宛先は登録できません。
- ファイルサーバー送信スキャン、共有フォルダー送信スキャン、デスクトップ送信スキャンの宛先を登録するには…  
ファイルサーバー送信スキャンと共有フォルダー送信スキャンの宛先はWebページから登録してください。デスクトップ送信スキャンの宛先はネットワークスキャナーツール Liteで登録してください。登録できる件数は、3つの宛先を合わせて200件までです。

## 宛先を修正／削除する

上記画面のリストから宛先を選択すると、その宛先の修正／削除画面が表示されます。設定項目については「[設定項目一覧](#)」(7-16ページ)を参照してください。宛先の削除は[削除]キーで行います。



- ワンタッチ／グループキーが修正または削除できないときは…  
次の場合ワンタッチ／グループキーの修正または削除はできません。
  - 送信予約中または通信中の場合
  - グループキーに含まれている場合
  - プログラムに含まれている場合
  - 「[デフォルト宛先設定](#)」(7-90ページ)や「[受信データの転送設定](#)」／「[管理者への転送設定](#)」(Webページでの設定)が設定されている場合
  - 「[本体からの宛先登録の禁止設定](#)」(7-87ページ)で本体からの宛先登録が禁止されているとき  
送信予約中または通信中の場合は、通信を中止または終了してから修正／削除を行ってください。  
グループキーなどに含まれている場合は、含まれているグループなどから削除し、修正／削除を行ってください。  
転送先に設定されている場合は、転送先から解除し、修正／削除を行ってください。宛先登録が禁止されているときは、選定を解除してから修正／削除を行ってください。

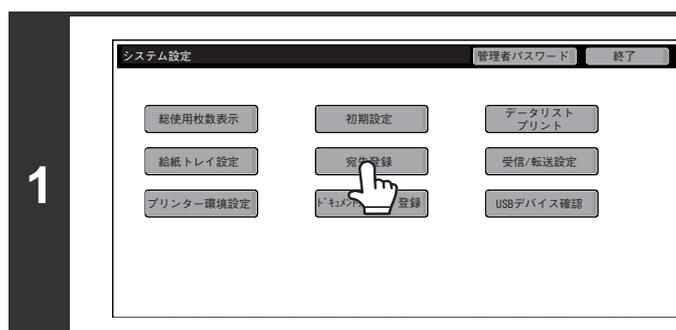
## 設定項目一覧

| 項目                             | 設定内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>共通の登録内容</b>                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 宛先のタイプ                         | アドレス帳に登録する宛先の種類を選択します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• E-mail： E-mailの宛先アドレスをワンタッチキーとして登録します。</li> <li>• インターネットFax： インターネット Fax の宛先アドレスをワンタッチキーとして登録します。</li> <li>• ダイレクトSMTP： ダイレクト SMTP の宛先アドレスをワンタッチキーとして登録します。</li> <li>• ファクス： ファクスの相手先番号をワンタッチキーとして登録します。</li> <li>• グループ： 複数の宛先を順次同報送信のグループとして登録することができます。</li> </ul> |
| 検索番号                           | 検索時に使用する番号を設定します。空いている若い番号が自動的に入力されます。お好みの番号に変更したいときは、0001から1000の範囲で数字を入力してください。ただし、すでに登録されている番号は使用できません。                                                                                                                                                                                                                                 |
| 宛先名                            | 宛先の名称を全角/半角36文字以内で入力します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 検索文字                           | 全角/半角10文字以内で検索文字を入力します。ここで入力する文字により、50音インデックス内での分類とワンタッチキーの表示順が決定されます。                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| キー名称                           | 宛先名とは別にアドレス帳に表示させたい名称がある場合に全角/半角18文字以内入力します。                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ユーザーインデックス                     | ユーザーインデックス表示に切り替えたときに分類されるインデックスを選択します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 得意先インデックスにも登録する                | よく使う宛先を[得意先]インデックスに登録しておくことができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <b>E-mail宛先登録時に表示される項目</b>     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| E-mailアドレス                     | 宛先のE-mailアドレスを半角64文字以内で入力します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| フォーマット                         | 生成するファイル形式および圧縮形式を、白黒、カラーそれぞれのモードに対して設定します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイル形式： 生成するファイル形式を設定します。</li> <li>• 圧縮形式（白黒）： 白黒で送信するときの圧縮形式を選択します。</li> <li>• 圧縮率（カラー/グレースケール）： カラー/グレースケールで送信するときの圧縮率を選択します。</li> </ul>                                                                                                        |
| <b>インターネットFax宛先登録時に表示される項目</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| インターネットFaxアドレス                 | 宛先のインターネットFaxアドレスを半角64文字以内で入力します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| フォーマット                         | 圧縮形式：送信時の圧縮形式を選択します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 送達確認を要求する                      | 送信が完了したとき、確認のメールを要求するかどうかを選択します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

| 項目                                                                                                                     | 設定内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>ダイレクトSMTP宛先登録時に表示される項目</b>                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>ダイレクトSMTPアドレス</li> <li>ホスト名または IP アドレスを別途入力する</li> <li>ホスト名またはIPアドレス</li> </ul> | <p>この3つの設定を使って、ダイレクトSMTP送信の宛先を設定します。多くの場合、(1)の設定方法で、送信できます。</p> <p>なお、「ダイレクトSMTPアドレス」テキストボックスと「ホスト名またはIPアドレス」テキストボックスには半角64文字以内で入力します。</p> <p><b>(1) メールアドレスのドメイン部分に受信機のIPv4アドレスを使用する場合</b><br/>           受信機のメールアドレスのドメイン部分を受信機のIPv4アドレスで置き換えて、[ダイレクトSMTPアドレス]テキストボックスに入力します。<br/>           例) 受信機のメールアドレスが「user@sample_domain.com」でIPv4アドレスが「192.168.123.45」の場合<br/>           user@192.168.123.45<br/>           を[ダイレクトSMTPアドレス]テキストボックスに入力します。</p> <p><b>(2) メールアドレスのドメイン部分に受信機のホスト名を使用する場合</b><br/>           受信機のメールアドレスのドメイン部分に受信機のホスト名で置き換えて、[ダイレクトSMTPアドレス]テキストボックスに入力します。<br/>           例) 受信機のメールアドレスが「user@sample_domain.com」でホスト名が「HOST」の場合<br/>           user@HOST<br/>           を[ダイレクトSMTPアドレス]テキストボックスに入力します。</p> <p><b>(3) 受信機が特定のメールアドレス宛のメールしか受信しない設定の場合</b><br/>           指定された特定のメールアドレスをそのまま[ダイレクトSMTPアドレス]テキストボックスに入力します。<br/>           「ホスト名またはIPアドレスを別途入力する」チェックボックスにチェックを入れ、[ホスト名またはIPアドレス]テキストボックスに受信機のホスト名またはIPv4アドレスを入力します。<br/>           例) 受信機のメールアドレスが「user@sample_domain.com」でIPv4アドレスが「192.168.123.45」の場合<br/>           user@sample_domain.com<br/>           を[ダイレクトSMTPアドレス]テキストボックスに<br/>           92.168.123.45<br/>           を[ホスト名またはIPアドレス]テキストボックスに入力します。</p> |
| フォーマット                                                                                                                 | 圧縮形式：送信時の圧縮形式を選択します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <b>グループ登録時に表示される項目</b>                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 宛先                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>アドレス帳：アドレス帳の中から、グループに登録する宛先を選択します。</li> <li>直接入力：アドレス帳に目的の宛先が登録されていない場合、直接宛先を入力することができます。各モードでの宛先登録と同じ要領で宛先を入力してください。ただし、インターネットFaxの宛先を登録する場合、圧縮形式と送達確認の要求は設定できません。</li> <li>宛先一覧：選択している宛先の一覧を表示します。登録を取りやめたい宛先がある場合は、その宛先を選択して解除することができます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

## グループキーを登録する

ここではグループキーを登録する場合の手順を説明します。



### [宛先登録]キーをタッチする

2



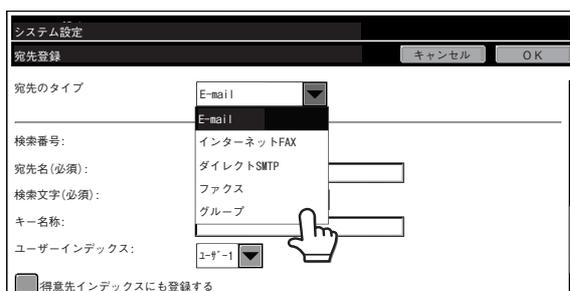
[アドレス帳]キーをタッチする

3



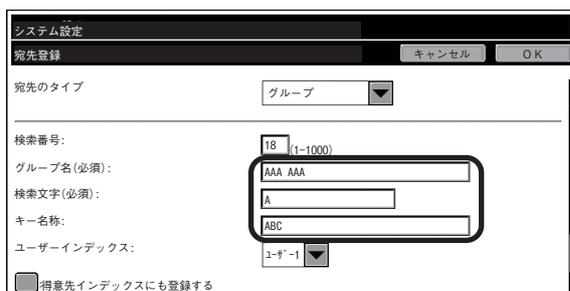
[新規登録]キーをタッチする

4



[宛先のタイプ]のプルダウンリストより「グループ」を選ぶ

5



[グループ名]、[検索文字]、[キー名称]を設定する（その他は任意）

6



スクロールバーで画面下を表示させ、画面下部の[アドレス帳]キーをタッチする

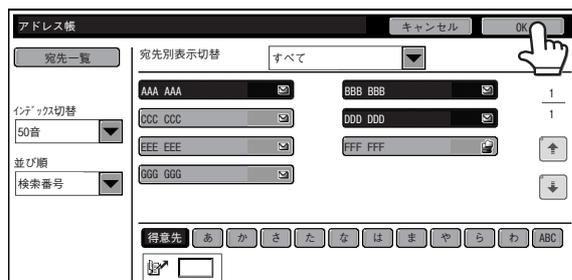
[直接入力]キーをタッチするとワンタッチキーに登録していない宛先を登録することができます。

7



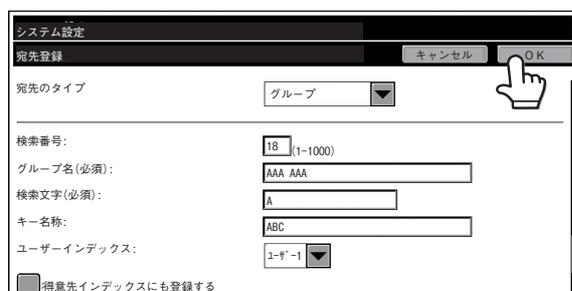
グループに登録したいワンタッチキーをタッチする（ここでは3件登録）

8



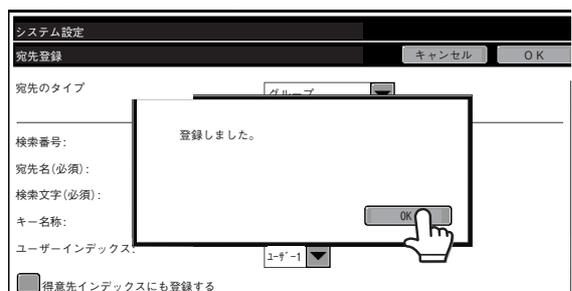
[OK]キーをタッチする

9



[OK]キーをタッチする

10



表示されるダイアログボックスの [OK] キーをタッチする

11

グループキーの新規登録画面に戻るので、必要なければ[キャンセル]キーをタッチして前の画面に戻る

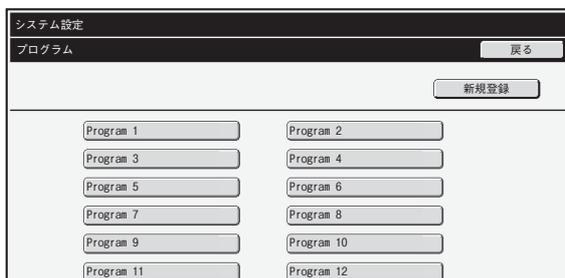
## ユーザーインデックス

ユーザーインデックスを、より使いやすくするために独自の名称に変更することができます。すでに入力されている文字を削除してから、全角/半角6文字以内で入力してください。工場出荷時は、「ユーザー 1」の名称で登録されています。

# プログラム

ファクス／イメージ送信機能でよく使う機能や宛先をあらかじめ登録しておくことにより、かんたんな操作で登録内容呼び出して通信を行うことができます。

[プログラム]キーをタッチすると、次の画面が表示されます。



## • [新規登録]キー

プログラムを新規に追加します。

## • リスト表示

現在登録されているプログラムの一覧が表示されます。各プログラムを選択すると、そのプログラムの修正／削除画面が表示されます。

## プログラムを登録する

上記画面で[追加]キーをタッチすると、登録画面が表示されます。プログラムは48件まで登録することができます。設定項目については「[設定項目一覧](#)」(7-20ページ)を参照してください。



- プログラムに通信を行う時刻を登録する（時刻指定通信）ことはできません。
- ワンタッチキーが1件も登録されていない場合は、登録操作を行うことはできません。

## プログラムを修正／削除する

上記画面のリストからプログラムを選択すると、そのプログラムの修正／削除画面が表示されます。

設定項目については「[設定項目一覧](#)」(7-20ページ)を参照してください。

プログラムの削除は[削除]キーで行います。

## 設定項目一覧

| 項目      | 設定内容                                                                                                    |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| プログラム番号 | プログラムに割り振る番号を設定します。空いている若い番号が自動的に入力されます。お好みの番号に変更したいときは、01から48の範囲で数字を入力してください。ただし、すでに登録されている番号は使用できません。 |
| プログラム名  | プログラムの名称を全角／半角18文字以内で入力します。                                                                             |
| 宛先      | プログラムで使用する宛先を、アドレス帳の中から選択します。プログラム1件に、宛先は500件まで登録できます。                                                  |
| アドレス帳画面 | 現在登録されている宛先の一覧が表示されます。                                                                                  |
| 基本設定    | [設定]キーをタッチすると、宛先別の設定画面に切り替わります                                                                          |
| モード切替   | 宛先に使用するモードを選択します（インターネットFaxやスキャナーなど）。選択すると、各モードの設定項目が表示されます。                                            |
| 各モードの設定 | 各モードでの機能設定と同じ要領で、よく使う設定を登録することができます。                                                                    |

SPDLは、Sharp Printer Description Languageの略称です。

# 受信／転送設定

受信と転送に関する各種設定を行います。[受信/転送設定]キーをタッチして各設定を行ってください。



ファクス機能に関する項目の説明は「[ファクス機能システム設定](#)」(7-107ページ)を参照してください。

## インターネットFax設定

インターネットファクス拡張キットを装着しているときに設定できます。

### 今すぐ受信

このキーをタッチすると、ただちにメールサーバー（POP3サーバー）に接続して受信の有無を確認し、受信していれば回収してプリントします。



この設定を行うには、POP3サーバーを設定する必要があります。Webページのメニューにある[アプリケーション設定]→[インターネットFax設定]をクリックして表示される画面で、設定を行ってください。

### 基本画面にも手動受信キーを表示する

[インターネットFax手動受信]キーをインターネットFaxモードの基本画面上に表示します。

### 受信データ転送

本機が用紙切れやトナー切れなどでプリントできなくなったときに、受信したデータを他のインターネットFaxに転送することができます。



- 転送先アドレスの登録方法は、システム設定（管理者）の「[受信データ転送先アドレス登録](#)」(7-93ページ)を参照してください。
- 送信の中止や通信エラーなどで転送できなかった場合は、転送を予定していたデータはふたたび本機でプリント待ち状態に戻ります。
- プリント中の受信データを転送するときは、プリントできなかったページ以降を転送します。
- 転送できる受信データがないときや転送先を登録していないときは、転送できません。
- 「[受信データ印字ホールド設定](#)」(7-86ページ)が有効に設定されている場合、パスワードの入力を要求されます。数字キー（10キー）で正しいパスワードを入力してください。



転送を中止するときは…

[ジョブ状況]キーを押し、送信の中止操作と同様の操作を行ってください。

# プリンター環境設定

プリンター環境設定は、プリンターの基本的な設定やDOSアプリケーションソフトからプリントする場合の設定を行うときに使用します。[プリンター環境設定]キーをタッチして各設定を行ってください。



この設定は、プリンター拡張キットを装着しているときに使用できます。

## プリンター初期設定

プリンター初期設定は、プリンタードライバーを使用しない環境（MS-DOSからのプリントや付属のプリンタードライバーをインストールしていないコンピュータからのプリントなど）からプリントするときに、詳細なプリント条件を設定します。（ただし、白紙プリントの禁止はSPDL2-cプリンタードライバーを使用しているときも有効になります。）



プリンタードライバーを使用してプリントする場合は、プリンタードライバー側の設定が優先されます。

## 設定項目一覧

| 設定項目      | 設定値                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部数        | 1～999部                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 印刷の向き     | <ul style="list-style-type: none"> <li>縦</li> <li>横</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                            |
| 標準給紙用紙サイズ | A3W、A3、B4、A4、B5、A5、12"x18"、11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x13-2/5"(216mmx340mm)、216mmx330mm(8-1/2"x13")、216mmx343mm(8-1/2"x13-1/2")、8-1/2"x11"、7-1/4"x10-1/2"、5-1/2"x8-1/2"、8K、16K                                                                                                              |
| 標準排紙トレイ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>センタートレイ</li> <li>オフセットトレイ※1</li> <li>右トレイ</li> </ul>                                                                                                                                                                                               |
| 標準給紙用紙タイプ | 普通紙、レターヘッド紙、印刷済み用紙、パンチ紙、再生紙、色紙                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 標準解像度設定   | <ul style="list-style-type: none"> <li>600dpi</li> <li>600dpi（高画質）</li> </ul>                                                                                                                                                                                                             |
| 白紙プリントの禁止 | <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/>（禁止する）</li> <li><input type="checkbox"/>（禁止しない）</li> </ul>                                                                                                                                                      |
| 線幅調整※2    | 0～9                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 両面印刷      | <ul style="list-style-type: none"> <li>片面印刷</li> <li>両面印刷（横とじ）</li> <li>両面印刷（縦とじ）</li> </ul>                                                                                                                                                                                              |
| カラーモード    | <ul style="list-style-type: none"> <li>自動</li> <li>白黒</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                          |
| N-Up印刷※3  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1-Up</li> <li>2-Up</li> <li>4-Up</li> </ul>                                                                                                                                                                                                        |
| フィットページ※4 | <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/>（フィットページ印刷する）</li> <li><input type="checkbox"/>（フィットページ印刷しない）</li> </ul>                                                                                                                                        |
| 仕上げ       | <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/>（部単位で印刷する）</li> <li><input type="checkbox"/>（部単位で印刷しない）</li> <li>ステーブル位置※1：しない、奥1箇所とじ、2箇所とじ、2箇所とじ（上とじ）</li> <li><input type="checkbox"/>（パンチする）</li> <li><input checked="" type="checkbox"/>（パンチしない）</li> </ul> |

| 設定項目   | 設定値                                                                                                                                            |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自動一時保存 | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> (自動一時保存する)</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> (自動一時保存しない)</li> </ul> |

※1 フィニッシャー装着時

※2 プリント時のベクトルグラフィックスの線幅を調整する際に設定します（白黒プリント時のみ）。CAD等の用途以外では、通常は変更する必要はありません。「0」を選択すると、すべての線を1ドット幅でプリントします。

※3 この機能を使用できる用紙サイズは、A3、B4、A4、11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x11"です。（プリントの方法によっては、この機能が有効にならない場合があります。）

※4 PDF、JPEG、TIFFファイルをプリントする場合にのみ有効です。

## SPDL設定

SPDL2-c環境で使用するシンボルセットやフォント、改行コードなどを設定します。

### 設定項目一覧

| 設定項目          | 設定内容                                                                                | 設定値                                                                                                                                                                                    |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| SPDLシンボルセット設定 | プリントに使用するシンボルセットを設定します。                                                             | 35項目から選択                                                                                                                                                                               |
| SPDLフォント設定    | プリントするフォントを設定するときに使用します。                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>内蔵フォント</li> <li>拡張フォント</li> </ul> (拡張フォントが装着されていないときは内蔵フォントの一覧)                                                                                 |
| SPDL改行コード     | 改行コードが送られてきたときのプリントの動作を設定します。                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>0.CR=CR; LF=LF; FF=FF</li> <li>1.CR=CR+LF; LF=LF; FF=FF</li> <li>2.CR=CR; LF=CR+LF; FF=CR+FF</li> <li>3.CR=CR+LF; LF=CR+LF; FF=CR+FF</li> </ul> |
| A4ワイド         | 設定すると、A4サイズの内紙に10ピッチフォント（半角英数文字）を1行に80文字プリントすることができます。（設定しない場合は、1行に78文字までプリントできます。） | <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> (有効)</li> <li><input type="checkbox"/> (無効)</li> </ul>                                                      |

## PS設定

PostScriptデータのプリントエラー時にエラー内容をプリントする設定やPostScriptのデータをバイナリ形式で受信する設定を行います。

### 設定項目一覧

| 設定項目       | 設定内容                                                                             | 設定値                                                                                                                               |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| PSエラーを印刷する | PostScriptデータのプリント処理が失敗してPS (PostScript) エラーが発生した場合に、エラーの原因についてプリントするかどうかを設定します。 | <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> (有効)</li> <li><input type="checkbox"/> (無効)</li> </ul> |
| バイナリ処理する   | PostScriptデータをバイナリ形式のデータとして受信します。                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> (有効)</li> <li><input type="checkbox"/> (無効)</li> </ul> |



PS拡張キットを装着しているときに設定が行えます。

## ESC/P（スーパー）設定

DOSアプリケーションソフトなどからプリントするために、ESC/PとESC/Pスーパーの2つのエミュレーションモードが用意されています。ESC/Pモードは、ESC/Pの制御コードのみでプリント処理を行い、ESC/PスーパーモードはESC/Pの制御コードに加え、PC-PR201Hの制御コードでのプリント処理も行います。本機は、セイコーエプソン株式会社のVP-1100のエミュレーションを行います。

### ESC/Pエミュレーションモード

プリンターがESC/Pのコントロールコードで動作する状態のことで、エプソン24ドット漢字プリンターに対応したアプリケーションソフトのほとんどを使うことができます。

### ESC/Pスーパーモード

プリンターがESC/PまたはPC-PR201Hのコントロールコードで動作する状態です。エプソン24ドット漢字プリンターまたはNECのPC-PR201Hに対応したアプリケーションソフトのほとんどを使うことができます。



ESC/P、ESC/Pスーパー環境で使用するにはコンピュータのシステムが下記の条件を満たす必要があります。

- ハードウェアがIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）、NEC PC-9821シリーズ、PC98-NXシリーズであること。
- 使用するDOSアプリケーションソフトがESC/PまたはESC/Pスーパー対応であること。

## アプリケーションソフト上のプリンタードライバー設定について

DOSアプリケーションソフトからこの製品の機能を利用するためには、プリントする前にアプリケーションソフト側でプリンタードライバーを指定する必要があります。設定方法は、使用するアプリケーションソフトや環境によって異なります。



不適切なプリンタードライバーを選択したときや、他のプリンタードライバーで代用する場合は、本機の機能を充分に利用できない場合があります。アプリケーションソフト上で適切なプリンタードライバーを選択することは、プリンターとして使用する上で最も重要な条件になります。

## プリンタードライバーの選択

DOSアプリケーションソフトでは、各ソフトウェアの設定メニューの中でプリンター名を選択します。設定項目の名称や設定方法は、ご使用のソフトウェアによって異なりますが、多くは「プリンター名の選択・設定」、「プリンター設定」などの項目でプリンター名を指定するようになっています。詳しくは、ご使用のDOSアプリケーションソフトの説明書を参照してください。

DOSアプリケーションソフトのプリンター機種選択では、次の優先順位でプリンターの機種名を選択します。

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 優先順位高 | VP-1100                   |
|       | ESC/P24-J84               |
|       | ESC/P24-J83               |
|       | ESC/P                     |
| 優先順位低 | PC-PR201H（ESC/Pスーパーモードのみ） |



本機はVP-1100が保有するESC/Pスーパー機能を利用できますが、以下の点において若干の違いがあります。

- 文字
  - 書体名が同じでもフォントデザインの違いにより、プリントの書体、印字結果が若干異なります。
  - 外字とダウンロードフォントはドット数の違いにより、プリントの書体が粗くなります。
- イメージデータ
  - 解像度の違いにより、プリント結果が若干異なります。

## 設定項目一覧

| 設定項目            | 設定値                                                                      | 適用されるエミュレーション    |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------|------------------|
| プリントモード         | ESC/P、ESC/Pスーパー                                                          | —                |
| 用紙位置<br>(PC-PR) | 左、中央、中央-5mm、<br>中央+5mm                                                   | ESC/Pスーパー        |
| 位置補正            | -99～+99mm (1mmごとに設定可)、縦：0mm<br>横：0mm                                     | ESC/P、ESC/Pスーパー  |
| 日本語フォント         | 明朝、ゴシック                                                                  | ESC/P、ESC/Pスーパー※ |
| 欧文フォント          | ローマン、サンセリフ                                                               | ESC/P、ESC/Pスーパー※ |
| 文字コード表          | カタカナ、拡張グラフィック                                                            | ESC/P、ESC/Pスーパー※ |
| プリント桁範囲         | 用紙幅、136ケタ                                                                | ESC/P、ESC/Pスーパー  |
| プリント開始位置        | 8.5mm、10mm、22mm、最大行数                                                     | ESC/P、ESC/Pスーパー  |
| 改行コード           | CR、CR+LF                                                                 | ESC/P、ESC/Pスーパー  |
| ミシン目スキップ        | <input checked="" type="checkbox"/> (する)、 <input type="checkbox"/> (しない) | ESC/P、ESC/Pスーパー※ |
| 各国文字<br>(PC-PR) | アメリカ、ドイツ、イギリス、<br>スウェーデン、日本                                              | ESC/Pスーパー        |
| ゼロキャラクタ         | 0、∅                                                                      | ESC/P、ESC/Pスーパー  |
| 縮小印刷            | しない、F15→B4横、F15→A4横<br>F10→A4縦、B4横→A4横、B4縦→A4縦                           | ESC/P、ESC/Pスーパー  |

※ 本機側で設定している値とDOSアプリケーションソフト上で設定した値が異なる場合、DOSアプリケーションソフトで設定した値が優先されます。それぞれのドキュメントのプリント処理が終わると、本機側で設定した設定値に戻ります。

## プリントモード

ESC/Pのモードを選択します。

ESC/Pモード時はESC/Pの制御コードのみ処理を行います。ESC/Pスーパーモード時はESC/Pの制御コードに加え、PC-PR201Hの制御コードも処理することができます。

ESC/P、ESC/Pスーパーのいずれかを選択できます。

 プリントモードは、基本的にESC/Pスーパー（工場出荷時の設定）で使用してください。コントロールコードがESC/PであるかPC-PR201Hであるかを自動判別します。国内版DOSアプリケーションソフトを使用していて、画面とは違う文字がプリントされる場合やプリントに不具合が生じる場合はESC/Pモードでプリントしてください。

## 用紙位置

ESC/PスーパーモードでPC-PR201H用アプリケーションソフトを使用しているときに、横方向の印字範囲のどの位置に用紙を合わせるか設定します。

左、中央、中央-5mm、中央+5mmのいずれかを選択できます。

 アプリケーションソフトでの左右マージンの設定によっては一部プリントが行われない部分が出る可能性があります。

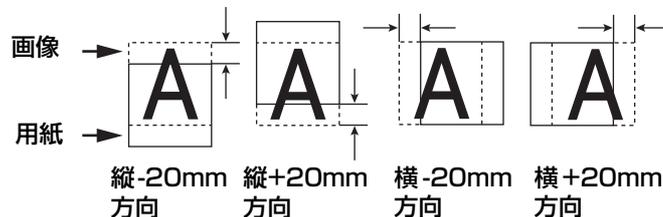
## 位置補正

プリントする位置の補正をします。

位置補正は用紙の縦・横には関係なく画像の天地左右に対しての位置を表します。

1mm単位で縦0±99mm、横0±99mmの範囲内で指定できます。

【例：各方向に20mm補正する場合】



位置を補正した場合、プリントするデータによっては一部プリントが行われない部分が出る可能性があります。

## 日本語フォント

日本語の書体設定を行います。

明朝・ゴシックのいずれかを選択できます。

明朝

あいうえお

ゴシック

あいうえお



JIS第1水準、JIS第2水準の2バイト系漢字コードを使用（JISX0208-1983準拠）

## 欧文フォント

欧文の書体（ANK文字）の設定を行います。

ローマン・サンセリフのいずれかを選択できます。

ローマン

ABCDE abcde

サンセリフ

ABCDE abcde

## 文字コード表

文字コード（1バイト系）表の設定を行います。

カタカナ・拡張グラフィックのいずれかを選択できます。

## プリント桁範囲

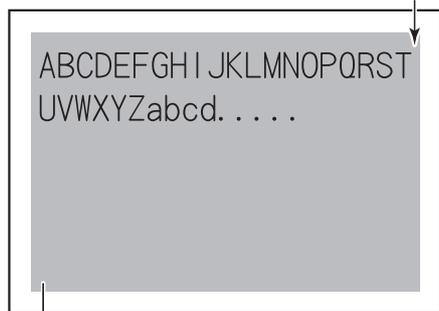
プリント範囲の設定を行います。

[用紙幅]選択時は、設定された用紙および用紙方向の幅がプリント桁範囲になります。[136ケタ]選択時は、既定の右マージンは無効になり、文字ピッチが10CPIのとき136桁がプリント桁範囲になります。ただし、設定された用紙がA3またはB4で用紙方向が横の場合は、[用紙幅]に設定されていても約34.5cmが右マージンになります。用紙幅、136ケタのいずれかを選択できます。

 [136ケタ]を選択した場合、設定する用紙によっては一部プリントが行われない可能性があります。

### プリント桁範囲：用紙幅

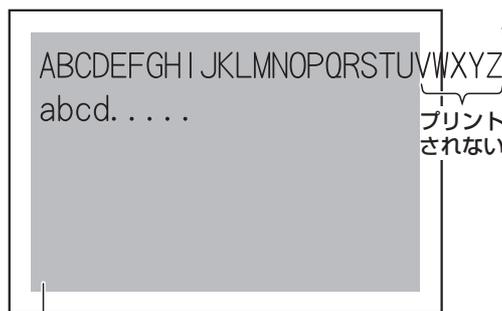
用紙幅で自動的に改行



印字可能領域

### プリント桁範囲：約34.5cm

約34.5cmの位置で改行



印字可能領域

## プリント開始位置

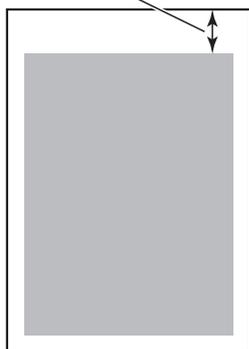
プリントの開始位置（用紙の上端から第1行目までの距離）の設定を行います。

プリント開始位置を変更すると印字領域の大きさが変わります。

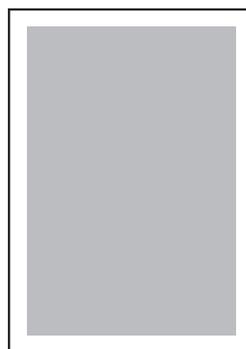
8.5mm、10mm、22mm、最大行数のいずれかを選択できます。

 プリント開始位置は、アプリケーションソフト側での設定が優先されます。

[8.5mm][10mm][22mm]  
から選択



[最大行数]を選択  
印字可能領域いっぱいまでプリント



## 改行コード

改行コードが送られてきたときのプリントの動作を設定します。

[CR]を選択すると、復帰のみを行います。

[CR+LF]を選択すると、復帰後さらに改行を行います。

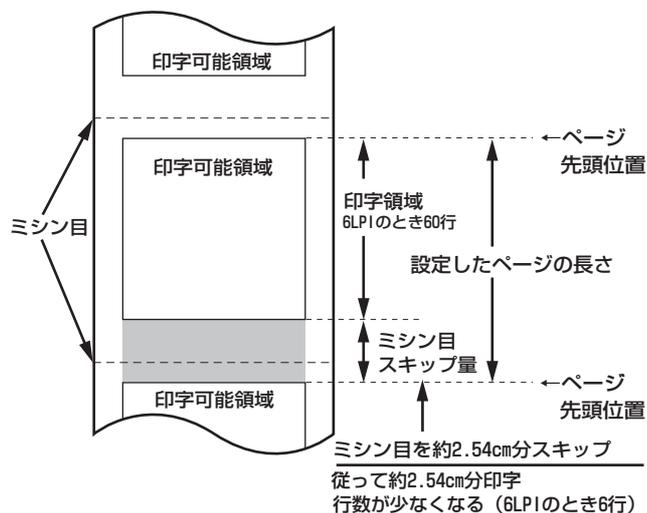
CR、CR+LFのいずれかを選択できます。

 アプリケーションソフトの種類によっては、復帰・改行動作を行うときにCRコードのみを送るものがあります。[CR+LF]に設定すると、CRコードのみで復帰、改行動作を行います。

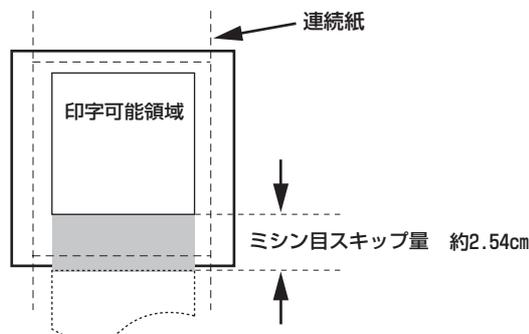
## ミシン目スキップ

ミシン目のスキップ約2.54cmを行うかどうかを設定します。ミシン目スキップとは、連続用紙でミシン目が入っていると想定し、その部分にプリントする文字がかからないように、あいだをあけてプリントすることです。この設定は、コンピュータフォームなどの連続用紙にプリントできるプリンターを使用することを前提としたアプリケーションソフト側の設定項目です。本機では連続用紙は使用できませんが、この設定によりアプリケーションソフトでの設定を生かした形で、連続用紙にプリントするときのようにミシン目をスキップさせることができます。(ミシン目スキップを)する/しないのいずれかを選択できます。

【連続用紙でのミシン目スキップ  
連続用紙にプリント可能なプリンターでのプリント例】



【本機器でミシン目スキップを想定した場合のプリント例】



## 各国文字

ESC/PスーパーモードでPC-PR201H用アプリケーションソフト使用時に、英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国の文字に対応させるか設定します。

アメリカ、ドイツ、イギリス、スウェーデン、日本のいずれかを選択できます。

## ゼロキャラクタ

英数カナ文字コード表の「0」の書体を設定します。

0、∅のいずれかを選択できます。

## 縮小印刷

連続用紙またはB4のプリントデータを縮小印刷する際の縮小率を設定します。たとえば、「F15→B4横」に設定すると、F15サイズ連続用紙へのプリントを想定して作られたデータをB4サイズに縮小して横方向でプリントします。「設定しない」以外に設定した場合、「[プリンター初期設定](#)」(7-22ページ)の「標準給紙用紙サイズ」および「印刷の向き」の設定値は無視され、本項目で設定された縮小先の用紙サイズおよびプリントの向きが適用されます。プリントに合った用紙をトレイにセットしてください。

しない、F15→B4横、F15→A4横、F10→A4縦、B4横→A4横、B4縦→A4縦のいずれかを選択できます。

## 【設定値とプリント結果例】

| 設定値     | 原稿                                                                                        | プリント結果                                                                                     |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| F15→B4横 | F15<br>  | B4<br>   |
| F15→A4横 |          | A4<br>   |
| F10→A4縦 | F10<br> | A4<br>  |
| B4横→A4横 | B4<br> | A4<br> |
| B4縦→A4縦 | B4<br> | A4<br> |

# ドキュメントファイリング登録

ドキュメントファイリングで使用するユーザーフォルダーを登録、修正、削除することができます。[ドキュメントファイリング登録]キーをタッチして各設定を行ってください。

[ドキュメントファイリング登録]キーをタッチすると、次の画面が表示されます。

| フォルダーリスト                   |         | 戻る   |
|----------------------------|---------|------|
|                            |         | 新規登録 |
| 表示順番 昇順                    |         |      |
| 全フォルダー あ/か さ/た な/は ま/や ら/わ |         |      |
| User 1                     | User 2  | 1    |
| User 3                     | User 4  | 2    |
| User 5                     | User 6  | ↑    |
| User 7                     | User 8  |      |
| User 9                     | User 10 | ↓    |

## • [新規登録]キー

ユーザーフォルダーを新規に追加します。

## • リスト表示

現在登録されているユーザーフォルダーの一覧が表示されます。各フォルダーを選択すると、そのフォルダーの修正/削除画面が表示されます。

## ユーザーフォルダーを登録する

上記画面で[新規登録]キーをタッチすると、登録画面が表示されます。ユーザーフォルダーは最大1000個まで登録できます。

設定項目については「[設定項目一覧](#)」(7-31ページ)を参照してください。

## ユーザーフォルダーを修正/削除する

上記画面のリストからユーザーフォルダーを選択すると、そのフォルダーの修正/削除画面が表示されます。

設定項目については「[設定項目一覧](#)」(7-31ページ)を参照してください。

フォルダーの削除は[削除]キーで行います。



- フォルダーにパスワードが設定されている場合は、ファイルを削除する前に正しいパスワードを入力する必要があります。
- ファイルが保存されているフォルダーは削除できません。あらかじめ削除したいフォルダーに保存されているすべてのファイルを別のフォルダーに移動させるか、または削除してからフォルダーの削除操作を行ってください。

## 設定項目一覧

| 項目          | 設定内容                                                                          |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| フォルダー名      | 登録するユーザーフォルダーの名前を全角／半角28文字以内で入力します。すでに同じ名前のフォルダーが登録されている場合、その名前で登録することはできません。 |
| フォルダーの検索文字  | 全角ひらがな10文字以内で検索文字を入力します。ここで入力する文字により、50音インデックス内での分類とワンタッチキーの表示順が決定されます。       |
| フォルダーのパスワード | ユーザーフォルダーにパスワードを設定する場合は5～8桁の数字を入力します。                                         |
| ユーザー名の選択    | ユーザーリストの中から、設定したいユーザーを選択します。                                                  |

---

---

## USBデバイス確認

接続されているUSB機器の接続状況を確認することができます。[USBデバイス確認]キーをタッチして、確認を行ってください。



本機に対応していないUSBデバイスの接続状況は表示されません。

# ユーザー管理

ユーザーの管理に関する設定を行います。[ユーザー管理]キーをタッチして各設定を行ってください。



- 「[ユーザー認証設定](#)」(7-52ページ) が有効に設定されているときに設定できます。
- ログインしているユーザーによっては、次の設定は使用できません。

## ユーザー情報の修正

ログインしているユーザーの情報を修正することができます。

### 設定項目一覧

| 項目                                           | 設定内容                                                                                                                                                                               |
|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ユーザー名                                        | 全角/半角32文字以内で、ユーザーの名称を修正してください。このユーザー名は認証画面のキー名称、ドキュメントファイリングユーザー名、送信者名に利用されます。「 <a href="#">ログイン後に自動的にリテンションジョブを印刷する</a> 」(7-53ページ) 機能を使いたい場合、全角文字は、16文字以内で登録してください。(ユーザー名は重複登録不可) |
| 検索文字                                         | ユーザー名リストの表示順を決定する検索文字を全角ひらがな10文字以内で修正してください。                                                                                                                                       |
| インデックス                                       | 登録するユーザーインデックスを選択してください。ユーザーインデックスの名称は、アドレス帳などで使用するものと共有されます。                                                                                                                      |
| ログイン名                                        | 修正できません。                                                                                                                                                                           |
| パスワード                                        | ログイン名/パスワードによる認証設定時に使用するパスワードを、1~32文字で修正してください。(省略可)                                                                                                                               |
| マイフォルダー                                      | 修正できません。                                                                                                                                                                           |
| E-mail アドレス                                  | 修正できません。                                                                                                                                                                           |
| 認証先                                          | 修正できません。                                                                                                                                                                           |
| 使用枚数制限                                       | 修正できません。                                                                                                                                                                           |
| 権限                                           | 修正できません。                                                                                                                                                                           |
| お好み操作                                        | ログイン時に適用されるお好み操作グループが表示されます。お好み操作グループの設定内容に関しては、管理者に問い合わせてください。                                                                                                                    |
| ユーザー番号                                       | 修正できません。                                                                                                                                                                           |
| アカウントの削除                                     | 修正できません。                                                                                                                                                                           |
| カードID<br>※ICカードリーダーライター (MX-ECX2)<br>装着時のみ表示 | 修正できません                                                                                                                                                                            |



設定されている認証方法によって表示される項目は異なります。

# システム設定（管理者）

ここでは、管理者が行うシステム設定について説明しています。

## システム設定（管理者）を行うには

システム設定（管理者）を行うには次の方法でログインする必要があります。

### ユーザー認証が設定されていないとき

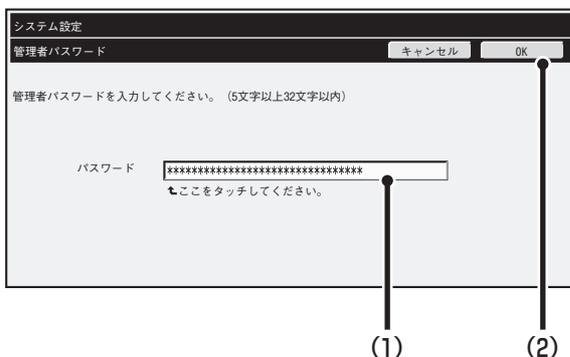
「[ユーザー認証設定](#)」（7-52ページ）が設定されていないときは、次の手順に従ってください。

1



[管理者パスワード]キーをタッチする

2



ログインする

- (1) [パスワード]のテキストボックスをタッチして管理者パスワードを入力する
- (2) [OK]キーをタッチする



以上の操作で管理者ログインは完了です。システム設定（管理者）を使用することができます。



工場出荷時はユーザー認証は設定されていません。

ログアウトするには…

画面右上の[ログアウト]キーをタッチしてください。または、[終了]キーをタッチしてシステム設定を終了してください。（オートクリアモードがはたらくと自動的にログアウトされます。）

## ユーザー認証が設定されているとき

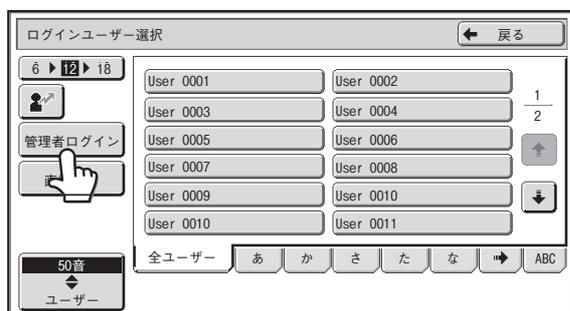
「[ユーザー認証設定](#)」(7-52ページ) が設定されているときは、次の手順に従ってください。

 固定ユーザーでログインする設定のときは認証画面は表示されません。

## 認証方法がログイン名／パスワード（／E-mailアドレス）の場合

 ユーザー選択画面で管理者ログインを行います。ユーザー認証設定時の操作方法についての詳細は、「1. お使いになる前に」の「[ユーザー認証について](#)」(1-17ページ) を参照してください。

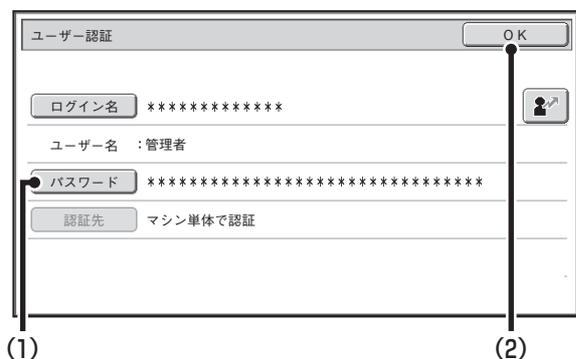
1



### [管理者ログイン]キーをタッチする

[▶▶]タブまたは[◀◀]タブにタッチすると、隠れている50音のタブが表示され、選択できるようになります。

2



### ログインする

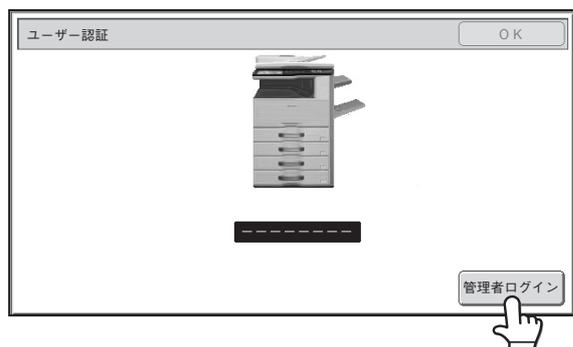
#### (1) [パスワード]キーをタッチする

表示される管理者パスワード入力画面で、管理者パスワードを入力してください。

#### (2) [OK]キーをタッチする

-  認証方法をログイン名／パスワード／E-mailアドレスに設定している場合は、「ユーザー名」の下に[E-mailアドレス]キーが表示されます。
- 工場出荷時の管理者パスワードについては、スタートガイドの「本機の管理者の方へ」を参照してください。
- 以上の操作で管理者ログインは完了です。システム設定（管理者）を使用することができます。

## 認証方法がユーザー番号の場合



### [管理者ログイン]キーをタッチする

表示される管理者パスワード入力画面で、管理者パスワードを入力してください。

以上の操作で管理者ログインは完了です。システム設定（管理者）を使用することができます。

- ✎
 ユーザー一覧より管理者権限のあるユーザーを選択した場合、または管理者権限のあるユーザー番号を入力してログインした場合でも、[管理者ログイン]キーをタッチしてログインした場合と同様にシステム設定（管理者）を使用することができます。ユーザー認証設定時の操作方法については、「1. お使いになる前に」の「[ユーザー認証について](#)」（1-17ページ）を参照してください。
- ICカードリーダーライター(MX-ECX2)を使ってログインする場合は、「1. お使いになる前に」の「[ICカードを使った認証について](#)」（1-46ページ）を参照してください。
- 「[ICカードでの認証方法設定](#)」（7-66ページ）で「ICカードを使用した認証のみ許可する」が有効になっている場合、管理者が本機にログインするときは、2通りの方法があります。次の方法でログインしてください。
  - ICカードリーダーライターからICカードを離し、[管理者ログイン]キーをタッチして、管理者ログイン画面を表示させる
  - [プログラム]キー（ $\#P$ ）と数字キーの[0]を同時に押して、管理者ログイン画面を表示させる
- ログアウトするには…**  
 [ログアウト]キー（ $\ast$ ）を押してください。（ファクス番号入力時を除く。）  
 （オートクリアモードがはたらくと自動的にログアウトされます。）

# システム設定（管理者）リスト

以下は、管理者の権限で表示されるシステム設定の項目リストと工場出荷時の設定値です。



- 本機の仕様や周辺装置の装着状態によっては、いくつかの設定が使用できません。
- 一般権限項目の詳細は、「システム設定（一般）リスト」（7-6ページ）を参照してください。
- ファクス機能に関する項目の説明は「ファクス機能システム設定」（7-107ページ）を参照してください。

## ユーザー管理

| 設定項目                       | 工場出荷時                   | ページ  |
|----------------------------|-------------------------|------|
| ■ ユーザー管理                   |                         | 7-52 |
| ● ユーザー認証設定                 |                         | 7-52 |
| ▶ ユーザー認証                   | 無効                      | 7-52 |
| ▶ 認証方法設定                   | ログイン名とパスワードによるユーザー認証を行う | 7-52 |
| ▶ 固定ユーザーログイン設定             | 無効                      | 7-52 |
| ● 各種設定                     |                         | 7-53 |
| ▶ 印刷ジョブ使用枚数制限到達時の動作設定      | 使用枚数制限到達時もジョブ終了まで印刷する   | 7-53 |
| ▶ ユーザー名表示件数切替              | 12件                     | 7-53 |
| ▶ ログイン失敗時の警告               | 無効                      | 7-53 |
| ▶ 無効ユーザーの印刷禁止              | 無効                      | 7-53 |
| ▶ ログイン後に自動的にリテンションジョブを印刷する | 無効                      | 7-53 |
| ▶ 標準ネットワーク認証先設定            | —                       | 7-53 |
| ▶ LDAPサーバーでアクセスコントロールを行う   | 無効                      | 7-54 |
| ▶ ログイン後に使用枚数を表示する          | —                       | 7-55 |
| ▶ ユーザー情報プリント               | —                       | 7-55 |
| ● ユーザーリスト                  | —                       | 7-56 |
| ● 使用枚数制限グループリスト            | —                       | 7-59 |
| ● 権限グループリスト                | —                       | 7-60 |
| ● お好み操作グループリスト※1           | —                       | 7-63 |
| ▶ お好み操作グループ登録※1            | —                       | 7-63 |
| ▶ 個人メニュー画面リスト※1            | —                       | 7-64 |
| ● ユーザーカウント                 | —                       | 7-65 |

| 設定項目                   | 工場出荷時                       | ページ  |
|------------------------|-----------------------------|------|
| ● ICカード設定※2            |                             |      |
| ▶ 自動ログインの設定            |                             |      |
| ◆ ICカードで自動的にログインする     | 有効                          | 7-66 |
| ◆ ICカードで自動的にログアウトする    | (「ICカードで自動的にログインする」が有効時) 有効 |      |
| ▶ ICカードでの認証方法設定        | ICカードを使用した認証のみ許可する          |      |
| ▶ ICカードIDの設定           |                             |      |
| ◆ ユーザー権限でカードIDの変更を許可する | 無効                          | 7-66 |
| ▶ SSFC ICカード設定※3       |                             |      |
| ◆ CLコード設定              |                             |      |
| ・設定1～設定5               | CLコード1～5：－、<br>システムコード1～5：－ | 7-67 |
| ◆ 入室フラグ設定              |                             |      |
| ・入室フラグを確認する            | 有効                          |      |
| ・部屋番号                  | 0                           |      |
| ・フロア番号                 | 0                           |      |
| ・ビル番号                  | 0                           |      |
| ・地域番号                  | 0                           |      |
| ・セキュリティレベル             | 0                           |      |
| ・カードの有効期限を確認する         | 有効                          |      |
| ● ICカード設定※4            |                             |      |
| ▶ カードリーダーデバイスの登録       |                             | 7-67 |

※1 本機からは設定できません。Webページの[ユーザー管理]から設定してください。

※2 ICカードリーダーライタ装着時

※3 ICカードリーダーライタ装着時でSSFC ICカードが使用可能な状態

※4 HIDカードリーダー装着時

## 省エネルギー設定

| 設定項目             | 工場出荷時     | ページ  |
|------------------|-----------|------|
| ■ 省エネルギー設定       |           | 7-68 |
| ● トナーセーブモード*     |           | 7-68 |
| ▶ プリント           | 無効        |      |
| ● オートパワーシャットオフ   | 有効        | 7-68 |
| ● オートパワーシャットオフ設定 | 移行時間を固定する | 7-68 |
| ● 予熱モードの設定       | 1分        | 7-68 |

\* プリンター拡張キット装着時

## 操作設定

| 設定項目                       | 工場出荷時    | ページ  |
|----------------------------|----------|------|
| ■ 操作設定                     |          | 7-69 |
| ● 各種設定                     |          | 7-69 |
| ▶ キータッチ音の設定                | 中        | 7-69 |
| ◆ 基準値のキータッチ音の設定            | 無効       |      |
| ▶ オートクリアモードの設定             | 60秒      | 7-69 |
| ◆ オートクリアモードの禁止             | 無効       |      |
| ▶ メッセージ表示時間の設定             | 6秒       | 7-69 |
| ▶ 表示言語の設定                  | 日本語      | 7-69 |
| ▶ デフォルト表示画面                | 設定しない    | 7-69 |
| ▶ ジョブ優先機能の禁止               | 無効       | 7-69 |
| ▶ 印刷時の追い越し禁止               | 無効       | 7-69 |
| ▶ キー操作の設定                  | 0.0秒     | 7-69 |
| ◆ キーリピートの禁止                | 無効       |      |
| ▶ 日付・時刻設定の変更禁止             | 無効       | 7-70 |
| ▶ 表紙/合い紙機能の使用禁止            | 無効       | 7-70 |
| ▶ キーボードの入力優先設定             | ソフトキーボード | 7-70 |
| ▶ 原稿枚数カウントの標準状態設定          | すべて無効    | 7-70 |
| ● カスタム表示パターン設定             | パターン4    | 7-71 |
| ● カスタマイズキー設定 <sup>※1</sup> |          | 7-71 |
| ▶ コピー                      |          |      |
| ◆ カスタマイズ1                  | ファイリング   |      |
| ◆ カスタマイズ2                  | 自動一時保存   |      |
| ◆ カスタマイズ3                  | —        |      |
| ▶ スキャナー                    |          |      |
| ◆ カスタマイズ1                  | 宛先一覧     |      |
| ◆ カスタマイズ2                  | ファイリング   |      |
| ◆ カスタマイズ3                  | 自動一時保存   |      |
| ▶ インターネットFax <sup>※2</sup> |          |      |
| ◆ (スキャナーと同様)               |          |      |

| 設定項目                  | 工場出荷時                                                                                                | ページ  |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| ▶ ファクス                |                                                                                                      | 7-71 |
| ◆(スキャナーと同様)           |                                                                                                      |      |
| ▶ USBメモリースキャン         |                                                                                                      |      |
| ◆カスタマイズ1              | —                                                                                                    |      |
| ◆カスタマイズ2              | —                                                                                                    |      |
| ◆カスタマイズ3              | —                                                                                                    |      |
| ▶ データ入力※3             |                                                                                                      |      |
| ◆(スキャナーと同様)           |                                                                                                      |      |
| ● ホーム画面設定※1           | —                                                                                                    | 7-71 |
| ▶ 個人メニュー画面設定※1        | —                                                                                                    | 7-72 |
| ● プレビュー設定             |                                                                                                      | 7-73 |
| ▶ プレビュー確認のデフォルト設定     | すべて無効                                                                                                |      |
| ▶ プレビュー表示のデフォルト設定     |                                                                                                      |      |
| ◆コピー                  | 全画面                                                                                                  |      |
| ◆ファクス/イメージ送信          | スキャナー送信：全画面<br>インターネットFax送信：全画面<br>ファクス送信：全画面<br>データ入力：全画面<br>USBメモリー：全画面<br>受信データ：2倍<br>メモリーボックス：2倍 |      |
| ◆ドキュメントファイリング         | 画像確認：2倍<br>スキャン保存：全画面                                                                                |      |
| ▶ 受信データの画像確認設定        | 無効                                                                                                   |      |
| ▶ リスト/サムネイル表示のデフォルト設定 | リスト表示                                                                                                |      |
| ● リモート操作設定            |                                                                                                      | 7-73 |
| ▶ リモートソフトの操作          |                                                                                                      |      |
| ◆操作権限                 | 禁止                                                                                                   |      |
| ◆パスワード入力画面の表示         | 両方に表示                                                                                                |      |
| ▶ 特定PCからの操作           |                                                                                                      |      |
| ◆操作権限                 | 禁止                                                                                                   |      |
| ◆接続するPCのホスト名またはIPアドレス | —                                                                                                    |      |
| ◆パスワード入力画面の表示         | 両方に表示                                                                                                |      |
| ▶ 接続パスワードを持つユーザーからの操作 |                                                                                                      |      |
| ◆操作権限                 | 禁止                                                                                                   |      |
| ◆パスワード入力画面の表示         | 両方に表示                                                                                                |      |
| ● ソフトキーボードの登録語設定      | —                                                                                                    | 7-73 |

※1 本機からは設定できません。Webページのシステム設定から設定してください。

※2 インターネットファクス拡張キット装着時

※3 アプリケーション拡張キット装着時

## デバイス設定

| 設定項目             | 工場出荷時                                  | ページ  |
|------------------|----------------------------------------|------|
| ■ デバイス設定         |                                        | 7-74 |
| ● 各種設定           |                                        | 7-74 |
| ▶ 原稿給紙モード        | すべて設定しない                               | 7-74 |
| ▶ 用紙自動選択機能設定     | 普通紙                                    | 7-74 |
| ▶ 連結印刷設定         |                                        | 7-74 |
| ◆ 連結する相手のIPアドレス  | 0.0.0.0                                |      |
| ◆ ポート番号          | 50001                                  |      |
| ◆ 連結送信禁止         | 無効                                     |      |
| ◆ 連結受信禁止         | 無効                                     |      |
| ▶ カラー自動モード時の判別基準 | 3                                      | 7-74 |
| ▶ レジスト調整         |                                        | 7-74 |
| ▶ ハードディスクの最適化    | —                                      | 7-74 |
| ▶ ジョブログの全消去      | —                                      | 7-74 |
| ● 原稿検知装置の設定      |                                        | 7-75 |
| ▶ 原稿検知サイズ組み合わせ選択 | AB-1                                   |      |
| ▶ 原稿台の検知解除       | 無効                                     |      |
| ● デバイス禁止設定       |                                        | 7-76 |
| ▶ 原稿送り装置の使用禁止    | 無効                                     | 7-76 |
| ▶ 両面機能の使用禁止      | 無効                                     | 7-76 |
| ▶ 給紙デスクの使用禁止※1   | 無効                                     | 7-76 |
| ▶ 給紙トレイ設定の禁止     | 無効                                     | 7-76 |
| ▶ フィニッシャーの使用禁止※2 | 無効                                     | 7-76 |
| ▶ オフセットの使用禁止     | 無効                                     | 7-76 |
| ▶ ステープルの使用禁止※2   | 無効                                     | 7-76 |
| ▶ パンチの使用禁止※3     | 無効                                     | 7-76 |
| ▶ カラーモードの使用禁止※4  | 無効                                     | 7-76 |
| ● 定着制御設定         | 60g/m <sup>2</sup> ~79g/m <sup>2</sup> | 7-76 |

※1 給紙デスク装着時

※2 フィニッシャー装着時

※3 パンチユニット装着時

※4 カラー関連トラブル発生時

## コピー設定

| 設定項目                  | 工場出荷時         | ページ  |
|-----------------------|---------------|------|
| ■ コピー設定               |               | 7-77 |
| ● コピーモードの標準状態設定       |               | 7-77 |
| ▶ カラーモード              | フルカラー         |      |
| ▶ 用紙トレイ               | 本機構成により異なる    |      |
| ▶ 濃度モード               | 自動            |      |
| ▶ コピー倍率               | 100%          |      |
| ▶ 両面                  | 片面→片面         |      |
| ▶ 仕上げ                 | 本機構成により異なる    |      |
| ● 各種設定                |               | 7-78 |
| ▶ コピー印字濃度調整           |               | 7-78 |
| ◆ カラー                 | 5             |      |
| ◆ 白黒                  | 5             |      |
| ▶ 回転コピーの設定            | 有効            | 7-78 |
| ▶ サイズ/方向警告時のコピー禁止     | 無効            | 7-78 |
| ▶ プログラム倍率の設定          | —             | 7-78 |
| ▶ コピー枚数の上限値設定         | 999           | 7-78 |
| ▶ とじしろの標準値設定          |               | 7-78 |
| ◆ 表面                  | 10mm          |      |
| ◆ 裏面                  | 10mm          |      |
| ▶ 枠消去幅の標準値設定          |               | 7-78 |
| ◆ 枠消去幅                | 10mm          |      |
| ◆ センター消去幅             | 10mm          |      |
| ▶ カードスキャン標準値設定        |               | 7-78 |
| ◆ 原稿サイズ               | X:86mm Y:54mm |      |
| ◆ 用紙にあわせる             | 無効            |      |
| ▶ タブコピー標準値設定          | 10mm          | 7-78 |
| ▶ 登録したコピー条件の書き換え禁止    | 無効            | 7-79 |
| ▶ 両面コピー時手差しトレイ使用禁止    | 無効            | 7-79 |
| ▶ 用紙自動選択の禁止           | 無効            | 7-79 |
| ▶ 用紙補給トレイ自動選択設定       | 無効            | 7-79 |
| ▶ 白黒コピー時の原稿送り装置高画質モード | 無効            | 7-79 |
| ▶ 白黒コピー時の原稿ガラス速度優先モード | 有効            | 7-79 |
| ▶ コピージョブ実行前のオートクリア    | 無効            | 7-79 |
| ● カラー調整               |               | 7-80 |
| ▶ カラーバランスの標準状態設定      | 工場出荷状態        | 7-80 |
| ▶ オートカラーキャリブレーション     | —             | 7-80 |

## ネットワーク設定

| 設定項目            | 工場出荷時 | ページ  |
|-----------------|-------|------|
| ■ ネットワーク設定      |       | 7-81 |
| ● IPv4設定        | DHCP  | 7-81 |
| ● IPv6設定        | 無効    | 7-81 |
| ● TCP/IP有効設定    | 有効    | 7-81 |
| ● NetWare有効設定   | 無効    | 7-81 |
| ● EtherTalk有効設定 | 無効    | 7-81 |
| ● NetBEUI有効設定   | 無効    | 7-81 |
| ● NICリセット       | —     | 7-81 |
| ● Pingコマンド      | —     | 7-81 |

## プリンター設定

| 設定項目                     | 工場出荷時 | ページ  |
|--------------------------|-------|------|
| ■ プリンター設定                |       | 7-82 |
| ● 基本設定                   |       | 7-82 |
| ▶ 注意通告ページの出力禁止           | 有効    | 7-82 |
| ▶ テストページの出力禁止            | 無効    | 7-82 |
| ▶ A4/レターサイズの自動変換         | 無効    | 7-82 |
| ▶ プリント印字濃度調整             |       | 7-82 |
| ◆ カラー                    | 3     |      |
| ◆ 白黒                     | 3     |      |
| ▶ CMYK各色の濃度調整            | すべて0  | 7-82 |
| ▶ 手差し給紙設定                |       | 7-82 |
| ◆ 手差し指定サイズ検知有効設定         | 無効    | 7-82 |
| ◆ 手差し指定タイプ検知有効設定         | 有効    | 7-82 |
| ◆ 自動用紙選択時の手差しトレイ選択禁止     | 無効    | 7-82 |
| ▶ プリントデータのスプール受信         | 有効    | 7-82 |
| ▶ USB メモリーダイレクトプリントの禁止※  | 無効    | 7-82 |
| ▶ 共有フォルダーダイレクトプリントの禁止※   | 無効    | 7-82 |
| ● インターフェース設定             |       | 7-83 |
| ▶ 16進ダンプモード※             | 無効    | 7-83 |
| ▶ I/Oタイムアウト時間            | 60秒   | 7-83 |
| ▶ USBポート有効設定             | 有効    | 7-83 |
| ▶ USBポートエミュレーション切替方法※    | 自動    | 7-83 |
| ▶ ネットワークポート有効設定          | 有効    | 7-83 |
| ▶ ネットワークポートエミュレーション切替方法※ | 自動    | 7-83 |

| 設定項目              | 工場出荷時    | ページ  |
|-------------------|----------|------|
| ▶ ポート切替方法         | ジョブ終了で切替 | 7-83 |
| ● オートカラーキャリブレーション | —        | 7-84 |

※ プリンター拡張キット装着時

## ファクス／イメージ送信設定

| 設定項目                               | 工場出荷時                         | ページ  |
|------------------------------------|-------------------------------|------|
| ■ ファクス／イメージ送信設定                    |                               | 7-85 |
| ● 操作設定                             |                               | 7-85 |
| ▶ 各種設定                             |                               | 7-85 |
| ◆ デフォルト表示画面                        | ファクス                          | 7-85 |
| ・読み込み終了後も設定内容を一定時間保持する             | 無効                            |      |
| ◆ アドレス帳のデフォルト設定                    | タブ切替：50音、宛先種類：すべて             | 7-85 |
| ◆ 標準画質設定                           |                               | 7-85 |
| ・スキャナー                             | 保存時の画質を適用する：無効、<br>200X200dpi |      |
| ・インターネットFax※ <sup>1</sup>          | 保存時の画質を適用する：無効、<br>200X100dpi |      |
| ・ファクス                              | 保存時の画質を適用する：無効、<br>普通字        |      |
| ◆ 標準濃度設定                           | 自動                            | 7-86 |
| ・標準原稿種類                            | 文字                            |      |
| ・モアレ低減                             | 無効                            |      |
| ◆ 受信ランプ設定                          | 有効                            | 7-86 |
| ◆ 同報時の次宛先キー入力                      | 無効                            | 7-86 |
| ◆ 原稿読み込み終了音の設定                     | 中                             | 7-86 |
| ◆ 件名／ファイル名／本文表示件数切替                | 12                            | 7-86 |
| ◆ 宛先の表示件数切替                        | 10                            | 7-86 |
| ◆ 表示順番切り替えの禁止                      | 無効                            | 7-86 |
| ◆ 受信データ印字ホールド設定                    | 無効                            | 7-86 |
| ◆ デフォルト済スタンプ設定                     | 無効                            | 7-86 |
| ◆ 枠消去幅の標準値設定                       |                               | 7-86 |
| ・枠消去幅                              | 10mm                          |      |
| ・センター消去幅                           | 10mm                          |      |
| ▶ 登録禁止設定                           |                               | 7-87 |
| ◆ 本体からの宛先登録の禁止設定                   | すべて無効                         | 7-87 |
| ◆ Web 画面からの宛先登録の禁止設定※ <sup>2</sup> | すべて無効                         | 7-87 |
| ◆ プログラムの登録禁止                       | すべて無効                         | 7-87 |
| ◆ メモリーボックスの登録禁止                    | すべて無効                         | 7-87 |

| 設定項目                                 | 工場出荷時      | ページ  |
|--------------------------------------|------------|------|
| ◆グローバルアドレス検索からの宛先登録禁止設定※2            | すべて無効      | 7-87 |
| ◆ネットワークスキャナーツールからの登録禁止※2             | 無効         | 7-87 |
| ▶送信禁止設定                              |            | 7-87 |
| ◆ファクス/イメージ送信モードからの[再送信]の禁止           | 無効         | 7-87 |
| ◆アドレス帳からの選択禁止                        | すべて無効      | 7-87 |
| ◆直接入力 of 禁止                          | すべて無効      | 7-87 |
| ◆PCインターネットFaxからの送信禁止※1               | 無効         | 7-88 |
| ◆PC-Faxからの送信禁止                       | 無効         | 7-88 |
| ▶発信元登録                               |            | 7-88 |
| ◆発信元情報登録                             |            | 7-88 |
| • 発信元名                               | —          |      |
| • ファクス発信元番号                          | —          |      |
| • インターネットFax発信元アドレス※1                | —          |      |
| ◆発信元情報登録（回線2）※3                      |            | 7-88 |
| • 発信元名                               | —          |      |
| • ファクス発信元番号                          | —          |      |
| ◆発信元選択登録                             | —          | 7-88 |
| ●スキャナー設定                             |            | 7-89 |
| ▶各種設定                                |            | 7-89 |
| ◆標準送信者登録                             | —          | 7-89 |
| ◆標準カラーモード設定                          |            | 7-89 |
| • 白黒モード                              | 白黒2値       |      |
| • カラーモード                             | 自動、グレースケール |      |
| • カラー自動時の白黒設定変更を禁止する                 | 無効         |      |
| ◆標準ファイルフォーマットの設定                     |            | 7-89 |
| • ファイル形式                             | PDF        |      |
| • 白黒                                 | MMR(G4)    |      |
| • カラー/グレースケール                        | 中圧縮        |      |
| • ページ毎にファイル化                         | 無効         |      |
| • ページ数                               | 1          |      |
| ◆同報時のファイル圧縮形式                        |            | 7-89 |
| • 白黒                                 | MH (G3)    |      |
| • カラー/グレースケール                        | 中圧縮        |      |
| ◆送信データ上限値設定 (E-mail)                 | 無制限        | 7-90 |
| ◆送信データ上限値設定 (FTP / デスクトップ / 共有フォルダー) | 無制限        | 7-90 |

| 設定項目                 | 工場出荷時              | ページ  |
|----------------------|--------------------|------|
| ◆ Bcc配信設定            |                    |      |
| • Bcc配信を有効にする        | 無効                 | 7-90 |
| • ショブ状況画面にBcc宛先を表示する | 無効                 |      |
| ◆ スキャン機能の禁止          |                    |      |
| • USBメモリースキャン        | 無効                 | 7-90 |
| • リモートPCスキャン         | 無効                 |      |
| ◆ メールフッターのプリセット      | 無効                 | 7-90 |
| ▶ デフォルト宛先設定          | 無効                 | 7-90 |
| ● インターネットFax設定※1     |                    | 7-91 |
| ▶ インターネットFax初期設定     |                    | 7-91 |
| ◆ オート立ち上げモード         | 有効                 | 7-91 |
| ◆ 標準圧縮形式設定           | MH (G3)            | 7-91 |
| ◆ 音量設定               |                    |      |
| • 受信音                | 中                  | 7-91 |
| • 通信エラー音             | 中                  |      |
| ◆ 送信時の原稿内容プリント設定     | エラー時               | 7-91 |
| ◆ 通信結果表プリント設定        |                    |      |
| • 通常送信時              | 送信失敗時              | 7-91 |
| • 同報送信時              | 常にプリント             |      |
| • 受信時                | プリントしない            |      |
| ◆ 記録表プリント設定          |                    |      |
| • メモリーフル時自動プリント      | 無効                 | 7-92 |
| • 時刻指定プリント           | 無効                 |      |
| ◆ 本文印刷設定             | 無効                 | 7-92 |
| ◆ メールフッターのプリセット      | 無効                 | 7-92 |
| ▶ インターネットFax送信設定     |                    | 7-92 |
| ◆ 送達確認機能有効設定         | 無効                 | 7-92 |
| ◆ 送達確認待ちタイムアウト時間     | 1時間                | 7-92 |
| ◆ 送達エラー受信時の再送信回数設定   | 2回                 | 7-92 |
| ◆ 送信データ上限値設定         | 無制限                | 7-92 |
| ◆ 回転送信の設定            | すべて有効              | 7-93 |
| ◆ デフォルト日付発信元送付       | 有効                 | 7-93 |
| ◆ ページ数印字             | 有効                 | 7-93 |
| ◆ 宛先ビジー時の再コール設定      | 再コールする・回数：2回・間隔：3分 | 7-93 |
| ◆ 通信エラー時の再コール設定      | 再コールする・回数：2回・間隔：3分 | 7-93 |

| 設定項目                  | 工場出荷時      | ページ  |
|-----------------------|------------|------|
| ▶ インターネットFax受信設定      |            | 7-93 |
| ◆ 定形サイズへの自動縮小プリント     | 有効         | 7-93 |
| ◆ 両面受信設定              | 無効         | 7-93 |
| ◆ 受信データ転送先アドレス登録      |            | 7-93 |
| ・ダイレクトSMTP            | 無効         |      |
| ・ホスト名またはIPアドレスを別途入力する | 無効         |      |
| ・ホスト名またはIPアドレス        | —          |      |
| ◆ レター受信時縮小印字設定        | 無効         | 7-94 |
| ◆ 受信日時印字設定            | 無効         | 7-94 |
| ◆ POP3通信タイムアウト時間設定    | 60秒        | 7-94 |
| ◆ 受信確認サイクル設定          | 5分         | 7-94 |
| ◆ 排紙設定                | 本機構成により異なる | 7-94 |
| ▶ 特定アドレス/ドメイン受信可否設定   | すべて無効      | 7-94 |

※1 インターネットファクス拡張キット装着時

※2 ネットワーク有効時

※3 回線増設キット装着時

## ドキュメントファイリング設定

| 設定項目                  | 工場出荷時      | ページ  |
|-----------------------|------------|------|
| ■ ドキュメントファイリング設定      |            | 7-95 |
| ● 各種設定                |            | 7-95 |
| ▶ デフォルトモード設定          | 共有モード      | 7-95 |
| ▶ ソート項目設定             | 日付         | 7-95 |
| ▶ 管理者の権限設定            |            | 7-95 |
| ◆ ファイルの削除             | 無効         |      |
| ◆ フォルダーの削除            | 無効         |      |
| ◆ パスワードの変更            | 無効         |      |
| ▶ 一時保存ファイルの全削除        |            | 7-95 |
| ◆ 今すぐ削除               | —          |      |
| ◆ 電源ON時に一時保存ファイルを削除する | 有効         |      |
| ▶ 標準カラーモード設定          |            | 7-95 |
| ◆ カラー                 | 自動         |      |
| ◆ 白黒                  | 白黒2値       |      |
| ▶ 標準濃度設定              | 自動         | 7-95 |
| ◆ 標準原稿種類              | 文字         |      |
| ◆ モアレ低減               | 無効         |      |
| ▶ 標準解像度設定             | 600X600dpi | 7-95 |

| 設定項目                              | 工場出荷時             | ページ  |
|-----------------------------------|-------------------|------|
| ▶ カラーデータ圧縮率の設定                    | 中圧縮               | 7-96 |
| ▶ 原稿読み込み終了音の設定                    | 中                 | 7-96 |
| ▶ 標準排紙トレイ                         | 本機構成により異なる        | 7-96 |
| ▶ 再印刷時の印字メニュー設定禁止                 | 無効                | 7-96 |
| ▶ 一括印刷設定                          |                   |      |
| ◆ [全ユーザー]の選択を禁止する                 | 有効                | 7-96 |
| ◆ [ユーザー名]の選択を禁止する                 | 有効                |      |
| ▶ 枠消去幅の標準値設定                      |                   |      |
| ◆ 枠消去幅                            | 10mm              | 7-96 |
| ◆ センター消去幅                         | 10mm              |      |
| ▶ カードスキャン標準値設定                    |                   |      |
| ◆ 原稿サイズ                           | X : 86mm Y : 54mm | 7-96 |
| ◆ 保存サイズにあわせる                      | 無効                |      |
| ● ジョブ別再操作設定                       |                   |      |
| ▶ 印刷                              |                   |      |
| ◆ コピー                             | 有効                | 7-97 |
| ◆ プリンター                           | 有効                |      |
| ◆ スキャナー送信                         | 無効                |      |
| ◆ インターネットFax送信 (PCインターネットFax含む) ※ | 無効                |      |
| ◆ ファクス送信 (PC-Fax含む)               | 無効                |      |
| ◆ スキャン保存                          | 有効                |      |
| ▶ スキャナー送信                         |                   |      |
| ◆ コピー                             | 無効                | 7-97 |
| ◆ スキャナー送信                         | 有効                |      |
| ◆ インターネットFax送信 (PCインターネットFax含む) ※ | 無効                |      |
| ◆ ファクス送信 (PC-Fax含む)               | 無効                |      |
| ◆ スキャン保存                          | 有効                |      |
| ▶ インターネットFax送信※                   |                   |      |
| ◆ コピー                             | 無効                |      |
| ◆ スキャナー送信                         | 無効                |      |
| ◆ インターネットFax送信 (PCインターネットFax含む)   | 有効                |      |
| ◆ ファクス送信 (PC-Fax含む)               | 無効                |      |
| ◆ スキャン保存                          | 無効                |      |

| 設定項目                              | 工場出荷時 | ページ  |
|-----------------------------------|-------|------|
| ▶ ファクス送信                          |       | 7-97 |
| ◆ コピー                             | 無効    |      |
| ◆ スキャナー送信                         | 無効    |      |
| ◆ インターネットFax送信 (PCインターネットFax含む) ※ | 無効    |      |
| ◆ ファクス送信 (PC-Fax含む)               | 有効    |      |
| ◆ スキャン保存                          | 無効    |      |
| ● <a href="#">ファイルの自動削除設定</a>     | すべて無効 | 7-97 |

※ インターネットファクス拡張キット装着時

## リスト／レポートプリント

| 設定項目                             | 工場出荷時 | ページ  |
|----------------------------------|-------|------|
| ■ <a href="#">リスト／レポートプリント</a>   |       | 7-98 |
| ● <a href="#">管理者設定リスト</a>       | —     | 7-98 |
| ● <a href="#">通信記録表</a>          | —     | 7-98 |
| ● <a href="#">受信転送リスト</a>        | —     | 7-98 |
| ● <a href="#">Web設定リスト</a> ※1    | —     | 7-98 |
| ● <a href="#">メタデータセットリスト</a> ※2 | —     | 7-98 |

※1 ネットワーク有効時

※2 アプリケーション拡張キット装着時

## セキュリティ設定

| 設定項目                                | 工場出荷時 | ページ  |
|-------------------------------------|-------|------|
| ■ <a href="#">セキュリティ設定</a>          |       | 7-99 |
| ● <a href="#">SSL設定</a>             |       | 7-99 |
| ▶ <a href="#">サーバポート</a>            |       |      |
| ◆ HTTPS                             | 有効    |      |
| ◆ IPP-SSL                           | 無効    |      |
| ◆ マシンのWebページへのHTTP接続をHTTPSに転送する     | 無効    |      |
| ▶ <a href="#">クライアントポート</a>         |       |      |
| ◆ HTTPS                             | 有効    |      |
| ◆ FTPS                              | 有効    |      |
| ◆ SMTP-SSL                          | 有効    |      |
| ◆ POP3-SSL                          | 有効    |      |
| ◆ LDAP-SSL                          | 有効    |      |
| ◆ 暗号化の強度                            | 低     |      |
| ● <a href="#">IPsec設定</a>           | 無効    |      |
| ● <a href="#">IEEE802.1X設定</a>      | 無効    | 7-99 |
| ● <a href="#">個人情報および本機内データの初期化</a> | —     | 7-99 |

## 禁止設定

| 設定項目                         | 工場出荷時 | ページ   |
|------------------------------|-------|-------|
| ■ 禁止設定                       |       | 7-100 |
| ● プリンター環境設定                  |       | 7-100 |
| ▶ 白紙プリントの禁止                  | 無効    | 7-100 |
| ● ユーザー管理                     |       | 7-100 |
| ▶ 無効ユーザーの印刷禁止                | 無効    | 7-100 |
| ● 操作設定                       |       | 7-100 |
| ▶ オートクリアモードの禁止               | 無効    | 7-100 |
| ▶ ジョブ優先機能の禁止                 | 無効    | 7-100 |
| ▶ 印刷時の追い越し禁止                 | 無効    | 7-100 |
| ▶ キーリピートの禁止                  | 無効    | 7-100 |
| ▶ 日付・時刻設定の変更禁止               | 無効    | 7-100 |
| ▶ 表紙／合い紙機能の使用禁止              | 無効    | 7-100 |
| ● デバイス設定                     |       | 7-100 |
| ▶ 原稿送り装置の使用禁止                | 無効    | 7-100 |
| ▶ 両面機能の使用禁止                  | 無効    | 7-100 |
| ▶ 給紙デスクの使用禁止※ <sup>1</sup>   | 無効    | 7-100 |
| ▶ 給紙トレイ設定の禁止                 | 無効    | 7-100 |
| ▶ フィニッシャーの使用禁止※ <sup>2</sup> | 無効    | 7-100 |
| ▶ オフセットの使用禁止                 | 無効    | 7-100 |
| ▶ ステープルの使用禁止※ <sup>2</sup>   | 無効    | 7-100 |
| ▶ パンチの使用禁止※ <sup>3</sup>     | 無効    | 7-100 |
| ▶ カラーモードの使用禁止※ <sup>4</sup>  | 無効    | 7-101 |
| ▶ 連結送信禁止                     | 無効    | 7-101 |
| ▶ 連結受信禁止                     | 無効    | 7-101 |
| ● コピー設定                      |       | 7-101 |
| ▶ サイズ／方向警告時のコピー禁止            | 無効    | 7-101 |
| ▶ 登録したコピー条件の書き換え禁止           | 無効    | 7-101 |
| ▶ 両面コピー時手差レトレイ使用禁止           | 無効    | 7-101 |
| ▶ 用紙自動選択の禁止                  | 無効    | 7-101 |
| ● プリンター設定                    |       | 7-101 |
| ▶ 注意通告ページの出力禁止               | 有効    | 7-101 |
| ▶ テストページの出力禁止                | 無効    | 7-101 |
| ▶ 自動用紙選択時の手差レトレイ選択禁止         | 無効    | 7-101 |
| ▶ USB メモリーダイレクトプリントの禁止       | 無効    | 7-101 |
| ▶ 共有フォルダーダイレクトプリントの禁止        | 無効    | 7-101 |

| 設定項目                                  | 工場出荷時 | ページ   |
|---------------------------------------|-------|-------|
| ● ファクス/イメージ送信設定                       |       | 7-101 |
| ▶ 各機能の禁止                              |       | 7-101 |
| ◆ 表示順番切り替えの禁止                         | 無効    | 7-101 |
| ◆ 回線2送信禁止設定 <sup>※5</sup>             | 無効    | 7-101 |
| ◆ スキャン機能の禁止                           |       | 7-101 |
| ・USBメモリースキャン                          | 無効    |       |
| ・リモートPCスキャン                           | 無効    |       |
| ▶ 登録禁止設定                              |       | 7-101 |
| ◆ 本体からの宛先登録の禁止設定                      | 無効    | 7-101 |
| ◆ Web 画面からの宛先登録の禁止設定 <sup>※6</sup>    | 無効    | 7-102 |
| ◆ プログラムの登録禁止                          | 無効    | 7-102 |
| ◆ メモリーボックスの登録禁止                       | 無効    | 7-102 |
| ◆ グローバルアドレス検索からの宛先 <sup>※6</sup>      | 無効    | 7-102 |
| ◆ ネットワークスキャナーツールからの登録禁止 <sup>※6</sup> | 無効    | 7-102 |
| ▶ 送信禁止設定                              |       | 7-102 |
| ◆ ファクス/イメージ送信モードからの[再送信]の禁止           | 無効    | 7-102 |
| ◆ アドレス帳からの選択禁止                        | 無効    | 7-102 |
| ◆ 直接入力 of 禁止                          | 無効    | 7-102 |
| ◆ PCインターネットFaxからの送信禁止 <sup>※7</sup>   | 無効    | 7-102 |
| ◆ PC-Faxからの送信禁止                       | 無効    | 7-102 |
| ● ドキュメントファイリング設定                      |       | 7-102 |
| ▶ 再印刷時の印字メニュー設定禁止                     | 無効    | 7-102 |
| ▶ 一括印刷設定                              |       | 7-102 |
| ◆ [全ユーザー]の選択を禁止する                     | 有効    |       |
| ◆ [ユーザー/マイ]の選択を禁止する                   | 有効    |       |

※1 給紙デスク装着時

※2 フィニッシャー装着時

※3 パンチユニット装着時

※4 カラー関連トラブル発生時

※5 回線増設キット装着時

※6 ネットワーク有効時

※7 インターネットファクス拡張キット装着時

## 管理者パスワードの変更

| 設定項目          | 工場出荷時                         | ページ   |
|---------------|-------------------------------|-------|
| ■ 管理者パスワードの変更 | スタートガイドの「本機の管理者の方へ」を参照してください。 | 7-103 |

## プロダクトキー入力

| 設定項目                 | 工場出荷時 | ページ   |
|----------------------|-------|-------|
| ■ <b>プロダクトキー入力</b> ※ |       | 7-103 |
| ● シリアルNo.表示          | —     | 7-103 |
| ● バーコード用フォントキット      | —     | 7-103 |
| ● 漢字フォントキット          | —     | 7-103 |
| ● PS拡張キット            | —     | 7-103 |
| ● インターネットFax拡張キット    | —     | 7-103 |
| ● E-mailアラート/ステータス   | —     | 7-103 |
| ● アプリケーション拡張キット      | —     | 7-103 |
| ● アプリケーション通信キット      | —     | 7-103 |
| ● 外部アカウントキット         | —     | 7-103 |
| ● XPS拡張キット           | —     | 7-103 |

※ 周辺装置の装着状態によっては、いくつかの設定が使用できません。

## データバックアップ

| 設定項目               | 工場出荷時 | ページ   |
|--------------------|-------|-------|
| ■ <b>データバックアップ</b> |       | 7-104 |
| ● ストレージバックアップ      | —     | 7-104 |
| ● デバイスクローニング       | —     | 7-104 |

## システム設定の保存／呼出し

| 設定項目                   | 工場出荷時 | ページ   |
|------------------------|-------|-------|
| ■ <b>システム設定の保存／呼出し</b> |       | 7-105 |
| ● 工場出荷時設定リセット          | —     | 7-105 |
| ● 現在の設定保存              | —     | 7-105 |
| ● 保存設定値の呼出し            | —     | 7-105 |

## Sharp OSA設定

| 設定項目                         | 工場出荷時      | ページ   |
|------------------------------|------------|-------|
| ■ <b>Sharp OSA設定</b> ※       |            | 7-106 |
| ● 外部アカウント設定                  |            | 7-106 |
| ▶ 外部アカウント管理                  | 無効         |       |
| ▶ 外部アカウントアプリケーションによる認証を有効にする | 無効         |       |
| ● USBドライバー設定                 |            | 7-106 |
| ▶ 外部キーボード                    | 内部ドライバーを使用 |       |
| ▶ ICカードリーダライタ                | 内部ドライバーを使用 |       |
| ▶ USBメモリー                    | 内部ドライバーを使用 |       |
| ▶ 暗号化の強度                     | なし         |       |
| ● ジョブ処理の優先度設定                | プリント優先     | 7-106 |

※ 外部アカウントキットまたはアプリケーション通信キット装着時

# ユーザー管理

ユーザー認証に関する設定を行います。[ユーザー管理]キーをタッチして各設定を行ってください。

## ユーザー認証設定

ユーザー認証設定の有無と認証方法を設定することができます。

ユーザー認証を適用すると、本機の利用者をユーザー単位で登録し、それぞれのユーザーでログインしたときに個別の設定を適用することができます。この機能により、セキュリティおよびランニングコストなどに関して従来よりきめ細かな管理を行うことができます。

また、本機にユーザー情報が登録されていない場合でも、LDAPサーバーに登録されているユーザー情報を直接入力して本機にログインすることもできます。この場合、工場出荷時に登録されている「ユーザー」がログインユーザーとして適用されます。詳しくは「[工場出荷時に登録されているユーザー](#)」(7-57ページ)を参照してください。

-  ユーザー登録の方法については「[ユーザーリスト](#)」(7-56ページ)を参照してください。
-  ユーザー認証設定時の操作方法については、「1. お使いになる前に」の「[ユーザー認証について](#)」(1-17ページ)を参照してください。

## ユーザー認証

[ユーザー認証]を設定すると、ジョブ状況画面以外※の各モードで操作を開始する前に認証画面が表示されます。あらかじめ登録したユーザーでログインしてください。ログイン後は各モード間を自由に移動できます。

※ ジョブ状況画面で、ドキュメントファイリングの再操作、同報ジョブの再コールを行おうとした場合を除く。

## 認証方法設定

認証方法を選択します。ユーザー認証を使用する場合、この設定は必ず最初に行ってください。認証方法を設定したあとに登録したユーザーは、それぞれの認証方法に合わせて設定項目が変わります。

### ログイン名とパスワードによるユーザー認証を行う

ログイン名とパスワードを利用する標準的な認証方法です。

### ログイン名とパスワードとE-mailアドレスによるユーザー認証を行う

ログイン名とパスワードに加えて、E-mailアドレスのチェックも行う認証方法です。

### ユーザー番号のみでユーザー認証を行う

ネットワーク認証を利用しない場合など、簡易認証として使用できます。

-  選択する認証方法によって認証画面は異なります。詳しくは「1. お使いになる前に」の「[ユーザー認証について](#)」(1-17ページ)を参照してください。
-  認証方法を「ユーザー番号のみでユーザー認証を行う」に設定しているときは、ネットワーク認証は使用できません。
-  「SSFCICカード設定」が有効な場合、「ユーザー番号のみでユーザー認証を行う」は設定できません。SSFCICカード設定については、「[SSFC ICカード設定](#)」(7-67ページ)を参照してください。

## 固定ユーザーログイン設定

特定のユーザーを固定ログインのユーザーとして登録することができます。この設定を行うと、登録したユーザーで自動ログインします。

この機能を使用することにより、毎回認証画面でログインする手間を省きながら、選択したユーザーの設定(ネットワーク認証や、お好み操作など)を適用することができます。たとえば、「カラーコピーのみ認証して使用する」といった運用が可能になります。

また、一時的に固定ユーザー以外のユーザーで本機にログインし、そのユーザーの権限で作業をすることができます。[常に固定ユーザーでログイン]が有効になった状態で、[異なるユーザーでのログインを許可する]を有効にしてください。

-  固定ユーザーログイン時、何らかの原因で自動ログインできなかつたり、ログインユーザーの権限が管理者権限でなかった場合はシステム設定全般、もしくはシステム設定(管理者)が使用できなくなります。その場合は、管理者がシステム設定画面の[管理者パスワード]キーをタッチしてログインし直してください。
-  [異なるユーザーでのログインを許可する]が有効の状態、固定ユーザー以外のユーザーでログインしたい場合は、[ログアウト]キー(⊗)を押し、固定ユーザーのログイン状態を解除します。ユーザー認証画面が表示されるので、ログインしたいユーザーでログインしてください。本機を使用後、[ログアウト]キー(⊗)を押し、現在のユーザーのログイン状態を解除してください。

## 各種設定

### 印刷ジョブ使用枚数制限到達時の動作設定

使用枚数制限到達時にジョブを実行中の場合、そのジョブが終了するまでプリントを続けるかどうか設定することができます。

設定項目は以下のとおりです。

- 使用枚数制限到達にてジョブを停止する
- 使用枚数制限到達時でもジョブ終了まで印刷する

### ユーザー名表示件数切替

ユーザー選択画面で一つの画面に表示される件数を6件、12件、18件の中から選択できます。



この設定はドキュメントファイリングのユーザー選択画面や送信者選択画面にも適用されます。

### ログイン失敗時の警告

3回連続でログインに失敗したときに警告表示を出し、ログイン操作を5分間禁止することができます。これにより、総当たり手法のパスワード入力により本機が使用されることを防ぎます。(電源を切っても失敗のカウントは消去されません。)



Webページのメニューにある[ユーザー管理]→[初期設定]→[本体操作パネルロックの解除]で、5分間の禁止動作を解除することができます。

### 無効ユーザーの印刷禁止

プリンタードライバで適正なユーザー情報を入力していないジョブや、WebページからFTPサーバーのデータをプリントするときなど、本機にユーザー情報を登録していないユーザーによるプリントジョブを禁止することができます。



本機に登録されていないユーザーでプリントジョブなどを行うと、工場出荷時に登録されている「その他ユーザー」がログインユーザーとして適用されず。詳しくは「[工場出荷時に登録されているユーザー](#)」(7-57ページ)を参照してください。

### ログイン後に自動的にリテンションジョブを印刷する

プリンタードライバでリテンションを設定し、本機にプリントデータがスプールされている状態で、リテンションを設定したユーザーが本機にログインした場合、自動的にスプールされているプリントデータをプリントすることができます。

### 標準ネットワーク認証先設定

標準状態のネットワーク認証先を設定します。

本機に登録されていないユーザー情報を使用して、Webページにログインしたり、プリンター機能でプリントを行うと、認証先の設定が不明となります。この設定では、認証先となるサーバーをあらかじめ本機に登録されているLDAPサーバーから選択することができます。



ネットワーク認証を使用し、本機に登録されていないユーザー情報でログインした場合は、工場出荷時に登録されている「ユーザー」がログインユーザーとして適用されます。詳しくは「[工場出荷時に登録されているユーザー](#)」(7-57ページ)を参照してください。

## LDAP サーバーでアクセスコントロールを行う

LDAPサーバーに、枚数制限や権限、お好み操作の各アクセスコントロール情報をあらかじめ登録し、このLDAPサーバーでネットワーク認証を行うことで、登録したアクセスコントロールに沿ったユーザー認証で運用することができます。

LDAPサーバーやディレクトリサービス (Active Directory など) を利用したネットワーク認証でユーザー認証を行っている場合に利用できます。

この機能を使用する前に、LDAPサーバーで認証する設定を行い、「使用枚数制限グループ」、「権限グループ」、「お好み操作グループ」、「マイフォルダー」の各管理番号 (各グループの基準となる設定内容を含む) を取得して、本機に登録された管理番号と関連付けてください。

この機能を使用するためには、あらかじめユーザー認証に使用するLDAPサーバーのDirectory情報に、「権限グループ」、「使用枚数制限グループ」、「お好み操作グループ」、「マイフォルダー」と関連付ける属性を追加する必要があります。

各属性情報は次のとおりです。なお、あらかじめ本機で登録されている設定値は変更できません。

| 属性         | 工場出荷時の属性の名前 | 設定値                                                                                                 |
|------------|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 使用枚数制限グループ | pagelimit   | 本機に登録されている使用枚数制限グループの登録番号。<br>または、あらかじめ本機に登録されているグループ名。<br>制限なし: unlimited                          |
| 権限グループ     | authority   | 本機に登録されている権限グループの登録番号。<br>または、あらかじめ本機に登録されているグループ名。<br>管理者権限: admin<br>ユーザー権限: user<br>ゲスト権限: guest |
| お好み操作グループ  | favorite    | 本機に登録されているお好み操作グループの登録番号。<br>または、あらかじめ本機に登録されているグループ名。<br>システム設定に従う: systemsettings                 |
| マイフォルダー    | myfolder    | 本機に登録されているユーザーフォルダーのフォルダー名。<br>標準フォルダーを指定する場合は、何も入力しません。                                            |

本機がLDAPサーバーから取得する属性の名前は、Webページの「ネットワーク設定」>「LDAP設定」にある「使用枚数制限グループ」、「権限グループ」、「お好み操作グループ」、「マイフォルダー」で変更することができます。

各ユーザーの実際に得られる権限や設定を決定するのは、各複合機に登録されている「使用枚数制限グループ」、「権限グループ」、「お好み操作グループ」です。本機能を利用して、どの複合機でも同じ権限や設定を得られるようにするには、同じ権限内容の「使用枚数制限グループ」、「権限グループ」、「お好み操作グループ」を、各複合機に同じ番号で登録されるように登録する必要があります。

「マイフォルダー」も複合機毎に同じ名前のフォルダーを「ユーザーフォルダー」に登録する必要があります。

使用するLDAPサーバーのDirectory情報は、本機からは変更できません。LDAPサーバーの管理者にご相談ください。

### 自動登録ユーザー

アクセスコントロールを有効にしている場合にネットワーク認証でログインすると、LDAPサーバーのユーザー情報が自動的に本機に登録されます。登録される内容は次のとおりです。

| 項目         | 設定内容                 |
|------------|----------------------|
| ユーザー名      | LDAPサーバーから情報を取得します。※ |
| 検索文字       | 1                    |
| インデックス     | ユーザー 1               |
| カードID      | —                    |
| パスワード      | —                    |
| 認証先設定      | ネットワーク認証             |
| 認証サーバー     | LDAPサーバーから情報を取得します。  |
| E-mailアドレス |                      |
| マイフォルダー    |                      |
| 使用枚数制限グループ |                      |
| 権限グループ     |                      |
| お好み操作グループ  |                      |

※ ユーザー名を取得できなかった場合は、ネットワーク認証時にログイン名として使用した文字列の先頭から16文字分 (全角/半角) を適用します。

ログイン名が異なりLDAPサーバーから取得したユーザー名が同じである場合、または本機に既に同じユーザー名で登録されている場合、「同じユーザー名が登録されているためログインできませんでした。」が表示され、ログインできません。この場合は、LDAPサーバーに登録しているユーザー名、または本機に登録しているユーザー名を変更する必要があります。本機の管理者に相談してください。

また、すでにユーザーが1000件登録されているとき、新たにLDAP認証で自動登録しようとする、「ユーザー名の登録可能件数は1000件です。使用されていないユーザー名を削除してください。」が表示され、ログインできません。本機の管理者に相談してください。



- 認証先のLDAPサーバーからアクセスコントロールの情報が取得できない場合は、ユーザー認証できません。
- 本機でユーザー登録されているユーザーがネットワーク認証した場合、使用枚数制限グループ、権限グループ、お好み操作グループ、マイフォルダーの設定は、本機のユーザー登録の設定が優先されます。
- LDAPサーバーから取得したアクセスコントロールが本機に登録されていない場合は工場出荷時に設定されているユーザー権限に従います。
- この機能が設定されていない状態で、未登録ユーザーとしてネットワーク認証した場合は工場出荷時に設定されているユーザー権限に従います。

## ログイン後に使用枚数を表示する

ユーザー認証設定時、各ユーザーがログインしたときに使用枚数を表示させるかどうかを設定することができます。

## ユーザー情報プリント

以下の項目のリストプリントを行います。

- ユーザーリスト
- 使用枚数リスト
- 使用枚数制限グループリスト※
- 権限グループリスト
- お好み操作グループリスト※
- 全ユーザー情報プリント

それぞれの項目のキーをタッチするとプリントが行われます。

※ 1件も登録されていないときはプリントできません。

## ユーザーリスト

ユーザー認証設定時に使用するユーザーを、登録、修正、削除することができます。  
[ユーザーリスト]キーをタッチすると、次の画面が表示されます。



- **[新規登録]キー**

ユーザーを新規に追加します。

- **[全ユーザー削除]キー**

登録されているすべてのユーザーを削除します。(工場出荷時に登録されているユーザーを除く。) この操作は、本機の管理者のみ行うことができます。

- **[自動登録ユーザー全削除]キー**

登録されているすべての自動登録ユーザーを削除します。

🔊 [自動登録ユーザー](#) (7-54ページ)

- **ユーザーリスト**

工場出荷時に登録されているユーザーと現在登録されているユーザーの一覧を表示します。自動登録されたユーザーは、ユーザー名の前に[\*]が表示されます。各ユーザー名を選択すると、そのユーザーの修正/削除画面が表示されます。

## ユーザーを登録する

上記画面で[新規登録]キーをタッチすると、登録画面が表示されます。最大1000件まで登録できます。設定項目については「[設定項目一覧](#)」(7-57ページ)を参照してください。

## ユーザーを修正/削除する

上記画面のリストからユーザーを選択すると、そのユーザーの修正/削除画面が表示されます。

設定項目については「[設定項目一覧](#)」(7-57ページ)を参照してください。

ユーザーの削除は[削除]キーで行います。



- 固定ユーザーでログインする認証方法のときは、全ユーザー削除は行えません。
- 工場出荷時に登録されているユーザーは削除できません。

## カードIDの登録方法

ICカードリーダーライタ (MX-ECX2) を使用して、ユーザー認証を行うときは、使用するICカードのカードIDを登録する必要があります。

ICカードのカードIDを読み込むには、ユーザー登録時に以下の操作を行ってください。

- (1) ユーザー登録画面で[登録]キーをタッチする
- (2) ICカードをICカードリーダーライタにセットする
- (3) [読み込み]キーをタッチする
- (4) [OK]キーをタッチする



- カードIDを登録するときは、ログイン名を必ず設定してください。
- カードIDの重複登録はできません。
- 「SSFCICカード設定」が有効な場合、「社員番号をユーザー名に適用する」チェックボックスが表示されます。このチェックボックスを☑にすると、社員番号とCLコード(会社識別コード)がユーザー名として登録されます。「SSFCICカード設定」については「[SSFC ICカード設定](#)」(7-67ページ)を参照してください。
- 登録されているユーザーのカードIDを削除する場合は、上記手順(3)の画面で[削除]キーをタッチしてください。

## 工場出荷時に登録されているユーザー

本機には、工場出荷時に以下のユーザーが登録されています。

- 管理者： 工場出荷時に登録されている、本機の管理者用のアカウントです。
- ユーザー： ネットワーク認証利用時に、本機に登録されていないログイン名を直接入力してログインした場合に適用されます。(ログインユーザー画面で選択することはできません。)
- その他ユーザー： 無効なユーザー情報でプリンタージョブを行った場合に適用されます。(ログインユーザー画面で選択することはできません。)

それぞれのユーザーに関する設定値については、次の表を参照してください。

| ユーザー名      | 管理者                   | ユーザー     | その他ユーザー |
|------------|-----------------------|----------|---------|
| ログイン名      | admin                 | users    | Other   |
| パスワード      | (スタートガイドを参照してください。)※1 | users※1  | —       |
| マイフォルダー    | 標準フォルダー               |          |         |
| 認証先設定      | マシン単体で認証              | —        |         |
| 使用枚数制限グループ | 制限なし※1                |          |         |
| 権限グループ※2   | 管理者権限                 | ユーザー権限※1 | ゲスト権限※1 |
| お好み操作グループ  | システム設定に従う※1           |          |         |
| ICカード※3    | 未設定※3                 | —        |         |

※1 変更可能な項目

※2 詳細については、「[設定項目一覧と各ひな形の工場出荷時の設定](#)」(7-61ページ)を参照してください。

※3 ICカードリーダー/ライター (MX-ECX2) 装着時

## 設定項目一覧

| 項目                 | 設定内容                                                                                                                                                                               |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ユーザー名              | 全角/半角32文字以内で、ユーザーの名称を登録してください。このユーザー名は認証画面のキー名称、ドキュメントファイリングのユーザー名、送信者名に利用されます。「 <a href="#">ログイン後に自動的にリテンションジョブを印刷する</a> 」(7-53ページ)機能を使いたい場合、全角文字は、16文字以内で登録してください。(ユーザー名は重複登録不可) |
| ユーザー名をログイン名に適用する※1 | キーをタッチすると、ユーザー名に入力された名称をログイン名に入力します。                                                                                                                                               |
| 検索文字               | ユーザー名リストの表示順を決定する検索文字です。全角ひらがな10文字以内で入力してください。                                                                                                                                     |
| インデックス             | 登録するユーザーインデックスを選択してください。ユーザーインデックスの名称は、アドレス帳などで使用するものと共有されます。                                                                                                                      |
| ユーザー番号※2           | ユーザー番号を5～8桁の範囲で入力してください。                                                                                                                                                           |
| カードID※3            | カードIDの登録画面が表示されます。詳細は「 <a href="#">カードIDの登録方法</a> 」(7-56ページ)を参照してください。                                                                                                             |
| ログイン名※1            | ログイン名/パスワード認証設定時に使用するログイン名を、全角/半角255文字以内で入力してください。プリンタードライバーからユーザー認証してプリントしたい場合、全角文字は127文字以内で入力してください。(ログイン名は重複登録不可)                                                               |
| パスワード※1、4          | ログイン名/パスワードによる認証設定時に使用するパスワードを、1～32文字で入力してください。(省略可)                                                                                                                               |
| E-mailアドレス         | 送信者リストと、LDAP認証の照合に使用するE-mailアドレスを半角64文字以内で入力してください。                                                                                                                                |

| 項目         | 設定内容                                                                                                                         |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| マイフォルダー    | ドキュメントファイリング時に使用するフォルダーを、ユーザー専用のフォルダー(マイフォルダー)として登録できます。登録済みのユーザーフォルダーから選択するか、新規にフォルダーを作成して設定してください。                         |
| 認証先設定※1    | 認証先を、[マシン単体で認証]、[ネットワーク認証] (LDAP有効時) のいずれかに選択してください。                                                                         |
| 認証サーバー     | [ネットワーク認証]を設定した場合は、Webページで登録したLDAPサーバーの一覧より、認証を行うサーバーを選択してください。                                                              |
| 使用枚数制限グループ | ユーザーの使用枚数制限を、登録されている使用枚数制限グループの中から選択してください。工場出荷時は[制限なし]が選択されています。<br>詳細は「 <a href="#">使用枚数制限グループリスト</a> 」(7-59ページ)を参照してください。 |
| 権限グループ     | ユーザーの権限を、登録されている権限グループの中から選択してください。工場出荷時は[ユーザー権限]が選択されています。<br>詳細は「 <a href="#">権限グループリスト</a> 」(7-60ページ)を参照してください。           |
| お好み操作グループ  | ログイン時に適用されるお好み操作グループが表示されます。工場出荷時は[システム設定に従う]が選択されています。<br>設定の変更はWebページの[ユーザー管理]メニューから行ってください。                               |

※1 認証方法をユーザー番号にしている場合は表示されません。

※2 認証方法をユーザー番号にしている場合にのみ表示されます。

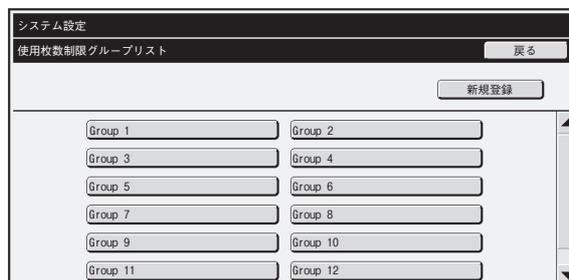
※3 ICカードリーダライタ (MX-ECX2) 装着時

※4 ネットワーク認証利用時はLDAPサーバーに登録されているパスワードを使用するため、設定する必要はありません。

## 使用枚数制限グループリスト

使用枚数制限の設定をあらかじめグループごとに登録します。各ユーザーの使用枚数制限は、ここで登録したグループからユーザー登録の際に選択します。

[使用枚数制限グループリスト]キーをタッチすると、次の画面が表示されます。



- [新規登録]キー

グループを新規に追加します。

- リスト表示

登録されているグループの一覧を表示します。各グループ名を選択すると、そのグループの修正画面が表示されます。

## 使用枚数制限グループを登録する

上記画面で[新規登録]キーをタッチすると、登録画面が表示されます。最大20件まで登録できます。設定項目については「[設定項目一覧](#)」を参照してください。

## 使用枚数制限グループを修正する

上記画面のリストからグループを選択すると、そのグループの修正画面が表示されます。

設定項目については「[設定項目一覧](#)」を参照してください。

グループを工場出荷時の状態に戻したい場合は、修正画面で「モデルにするグループ名」を[制限なし]にしてください。

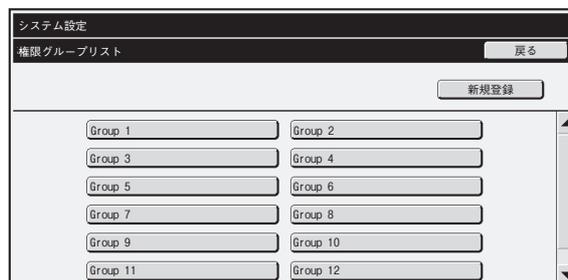
## 設定項目一覧

| 項目          | 設定内容                                                                                                                      |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| グループ名       | 全角/半角32文字以内で、グループの名称を登録してください                                                                                             |
| モデルにするグループ名 | すでに登録されているグループの中から、ひな形として使用するグループを選択します。選択すると、そのグループの設定内容が適用されます。                                                         |
| 各機能の名称      | 設定できる機能の名称が表示されます。それぞれの機能に制限を設定してください。                                                                                    |
| 制限枚数        | [禁止]を選択した場合は、そのモードからの入出力が禁止されます。<br>[制限なし]を選択した場合は、そのモードからの入出力枚数は制限されません。<br>[制限あり]を選択した場合は、1~99999999枚の範囲で制限枚数を入力してください。 |

## 権限グループリスト

ユーザーの権限に関する設定をあらかじめグループごとに登録します。各ユーザーの権限は、ここで登録したグループからユーザー登録の際に選択します。

[権限グループリスト]キーをタッチすると、次の画面が表示されます。



- [新規登録]キー

グループを新規に追加します。

- リスト表示

登録されているグループの一覧を表示します。各グループ名を選択すると、そのグループの修正画面が表示されます。

## 権限グループを登録する

上記画面で[新規登録]キーをタッチすると、登録画面が表示されます。最大20件まで登録できます。

設定項目については「[設定項目一覧と各ひな形の工場出荷時の設定](#)」(7-61ページ)を参照してください。

## 権限グループを修正する

上記画面のリストからグループを選択すると、そのグループの修正画面が表示されます。設定項目については「[設定項目一覧と各ひな形の工場出荷時の設定](#)」(7-61ページ)を参照してください。

グループを工場出荷時の状態に戻したい場合は、修正画面で[管理者権限に戻す]、[ユーザー権限に戻す]、[ゲスト権限に戻す]のいずれかを選択してください。

## 設定項目一覧と各ひな形の工場出荷時の設定

| 項目                                                                                                                                                                                                                                               | 設定内容                                                                                                   |        |        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|
| グループ名                                                                                                                                                                                                                                            | 全角/半角32文字以内で、グループの名称を登録してください。                                                                         |        |        |
| モデルにするグループ名                                                                                                                                                                                                                                      | すでに登録されているグループの中から、ひな形として使用するグループを選択します。選択すると、そのグループの設定内容が適用されます。工場出荷時に登録されているグループと、それぞれの設定値は以下のとおりです。 |        |        |
|                                                                                                                                                                                                                                                  | 管理者権限                                                                                                  | ユーザー権限 | ゲスト権限  |
| <b>コピー</b>                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                        |        |        |
| カラーモード許可設定                                                                                                                                                                                                                                       | すべて許可                                                                                                  | すべて許可  | 白黒のみ許可 |
| 特別機能の利用                                                                                                                                                                                                                                          | 許可                                                                                                     | 許可     | 禁止     |
| <b>プリンター</b>                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                        |        |        |
| カラーモード許可設定                                                                                                                                                                                                                                       | 許可                                                                                                     | 許可     | 白黒のみ許可 |
| FTPプルプリント                                                                                                                                                                                                                                        | 許可                                                                                                     | 許可     | 禁止     |
| USBメモリーダイレクトプリント                                                                                                                                                                                                                                 | 許可                                                                                                     | 許可     | 禁止     |
| 共有フォルダプルプリント                                                                                                                                                                                                                                     | 許可                                                                                                     | 許可     | 禁止     |
| <b>ファクス/イメージ送信</b>                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                        |        |        |
| モード別許可設定                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                        |        |        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• E-mail</li> <li>• FTP</li> <li>• デスクトップ</li> <li>• 共有フォルダー</li> <li>• USBメモリー</li> <li>• リモートPC スキャン</li> <li>• インターネットFax送信</li> <li>• PCインターネットFax送信</li> <li>• ファクス送信</li> <li>• PC-Fax送信</li> </ul> | すべて許可                                                                                                  | すべて許可  | すべて許可  |
| カラースキャン                                                                                                                                                                                                                                          | 許可                                                                                                     | 許可     | 禁止     |
| 特別機能の利用                                                                                                                                                                                                                                          | 許可                                                                                                     | 許可     | 禁止     |
| 宛先指定方法許可設定                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                        |        |        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 直接入力許可設定</li> <li>• ローカルアドレス帳利用許可設定</li> <li>• グローバルアドレス帳利用許可設定</li> </ul>                                                                                                                              | すべて許可                                                                                                  | すべて許可  | すべて許可  |
| <b>ドキュメントファイリング</b>                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                        |        |        |
| スキャン保存                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                        |        |        |
| カラーモード許可設定                                                                                                                                                                                                                                       | すべて許可                                                                                                  | すべて許可  | 白黒のみ許可 |
| 特別機能の利用                                                                                                                                                                                                                                          | 許可                                                                                                     | 許可     | 禁止     |
| ドキュメントファイリング印刷                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                        |        |        |
| カラーモード許可設定                                                                                                                                                                                                                                       | すべて許可                                                                                                  | すべて許可  | 白黒のみ許可 |
| 特別機能の利用                                                                                                                                                                                                                                          | 許可                                                                                                     | 許可     | 禁止     |
| ドキュメントファイリングデータの画像確認                                                                                                                                                                                                                             | 許可                                                                                                     | 許可     | 禁止     |
| ログイン中のユーザーのファイルのみ表示する                                                                                                                                                                                                                            | 禁止                                                                                                     | 禁止     | 禁止     |

| 項目                               | 設定内容      |               |           |
|----------------------------------|-----------|---------------|-----------|
| <b>共通機能</b>                      |           |               |           |
| 両面印刷許可設定                         | [片面/両面許可] | [片面/両面許可]     | [片面/両面許可] |
| 仕上げ許可設定                          | すべて許可     | すべて許可         | すべて禁止     |
| <b>システム設定</b>                    |           |               |           |
| システム設定                           |           |               |           |
| システム設定※1                         | 許可※2      | ユーザー権限の設定のみ許可 | 全設定禁止     |
| Web設定                            |           |               |           |
| デバイス/ネットワークステータスの表示              | 許可        | 許可            | 禁止        |
| 電源のリセット                          |           | 禁止            |           |
| 複合機情報設定                          |           | 禁止            |           |
| ネットワーク設定                         |           | 禁止            |           |
| アプリケーション設定<br>(定型文/転送テーブルの登録を除く) |           | 禁止            |           |
| 定型文/転送テーブルの登録                    |           | 許可            |           |
| E-Mailアラート/ステータス                 |           | 禁止            |           |
| ジョブログ                            |           | 禁止            |           |
| ポート設定/フィルタ設定                     |           | 禁止            |           |
| ストレージバックアップ                      |           | 禁止            |           |
| カスタムリンクの設定                       |           | 禁止            |           |
| 取扱説明書のダウンロード                     |           | 許可            |           |

※1 項目の詳細はシステム設定（一般）/（管理者）リストを参照してください。

※2 管理者パスワードの変更以外可能です。



本機の仕様や周辺装置の装着状態によっては、いくつかの設定が使用できません。

# お好み操作グループリスト

お好み操作グループと個人メニュー画面の登録を行います。



この設定はWebページでのみ行えます。本機のタッチパネルで設定することはできません。

## お好み操作グループ登録

グループごとに使いやすく設定した環境を登録することができます。たとえば母国語が異なるユーザーが本機を使用するとき、通常なら使用のたびに表示言語を変更しなくてははいけませんが、ここで言語をあらかじめ登録しておけばログインするだけで設定が適用されます。

### 設定項目一覧

| 項目                       | 設定内容                                                                                                          |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| グループ名                    | 全角/半角32文字以内で、グループの名称を登録します。                                                                                   |
| モデルにするグループ名              | すでに登録されているグループの中から、ひな形として使用するグループを選択します。選択すると、そのグループの設定内容が適用されます。                                             |
| <b>コピー</b>               |                                                                                                               |
| 標準状態設定                   | カラーモード、用紙トレイ、濃度モード、コピー倍率、両面、仕上げをそれぞれ設定します。                                                                    |
| <b>ファクス/イメージ送信</b>       |                                                                                                               |
| 標準状態設定                   | 画質、濃度、解像度、カラーモード、ファイルフォーマット、原稿種類をそれぞれ設定します。また、ファクスの発信元名を登録します。                                                |
| <b>ドキュメントファイリング</b>      |                                                                                                               |
| スキャン保存：標準状態設定            | カラーモード、濃度、原稿種類、解像度、圧縮率をそれぞれ設定します。                                                                             |
| ドキュメントファイリング印刷           | ドキュメントファイリング印刷の標準排紙トレイを設定します。                                                                                 |
| <b>システム設定</b>            |                                                                                                               |
| 原稿検知装置の設定                | 原稿検知のAB系、インチ系の設定、原稿台（ガラス面）の検知解除を設定します。                                                                        |
| 表示言語の設定                  | 表示言語を選択します。                                                                                                   |
| キー操作の設定                  | キータッチの確定時間、キーリピートの設定をします。                                                                                     |
| キータッチ音の設定                | キータッチ音の設定をします。                                                                                                |
| キーボード切替                  | キーボードの表示言語を設定します。                                                                                             |
| カスタム表示パターン設定             | タッチパネルの配色パターンを選択します。                                                                                          |
| ログイン後に自動的にリテンションジョブを印刷する | プリンタードライバーでリテンションを設定し、本機にプリントデータがスプールされている状態で、リテンションを設定したユーザーが本機にログインした場合、自動的にスプールされているプリントデータをプリントすることができます。 |
| 個人メニュー画面設定               | 個人メニュー画面を選択します。                                                                                               |
| <b>プレビュー設定</b>           |                                                                                                               |
| プレビュー表示のデフォルト設定          | ファクス/イメージ送信：受信系とメモリーボックスで表示できるプレビューの表示倍率を設定できます。<br>ドキュメントファイリング：データ保存の呼び出し時に表示できるプレビューの表示倍率を設定できます。          |
| リスト/サムネイル表示のデフォルト設定      | 標準の表示状態をリスト表示とサムネイル表示から選択できます。                                                                                |
| <b>カスタマイズキー設定</b>        |                                                                                                               |
| カスタマイズキー設定               | 各モードのカスタマイズキーの設定をします。                                                                                         |

## 個人メニュー画面リスト

個人メニュー画面の設定をあらかじめ登録します。各個人メニュー画面は、お好み操作グループ登録の際に選択します。

### 設定項目一覧

| 項目          | 設定内容                                                                    |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 個人メニュー画面名   | 個人メニュー画面の名称を全角／半角32文字以内で入力します。                                          |
| モデルにするグループ名 | すでに登録されている個人メニュー画面の中から、ひな形として使用するものを選択します。選択すると、その個人メニュー画面の設定内容が適用されます。 |
| タイトルを表示する   | 個人メニュー画面にタイトルを表示させます。                                                   |
| タイトル        | タイトルの名称を全角／半角70文字以内で入力します。                                              |
| ユーザー名を表示する  | 個人メニュー画面に、ログイン中のユーザー名を表示させます。                                           |
| 日付を表示する     | 個人メニュー画面に日付を表示させます。                                                     |
| 背景画像        | 個人メニュー画面の背景に表示される画像を選択します。                                              |
| デザインテンプレート  | 個人メニュー画面のデザインのひな型（テンプレート）を一覧の中から選択します。選択されているテンプレートは、サンプルで確認することができます。  |
| 画面内のキーレイアウト | 個人メニュー画面に割り付けられているキー配列が表示されています。                                        |
| キー番号        | 「画面内のキーレイアウト」を参考にして、設定したいキーの番号を選択してください。                                |
| キー名称        | 「キー番号」で選択しているキーの名称を、全角／半角48文字以内で変更することができます。                            |
| リンク項目       | 「キー番号」で選択しているキーに、使用する機能を登録します。                                          |

## ユーザーカウント

ユーザーごとに印刷集計枚数などを表示します。

[ユーザーカウント]キーをタッチすると、次の画面が表示されます。



- **[全ユーザー選択]キー**

すべてのユーザーを選択します。

- **[表示]キー**

選択したユーザーのカウントを表示します。

- **[消去]キー**

選択したユーザーのカウントを消去します。

- **ユーザーリスト**

工場出荷時に登録されているユーザーと現在登録されているユーザーの一覧を表示します。各ユーザー名を選択すると、そのユーザーが選択されます。

## ユーザーカウントを表示する

上記画面でユーザーを選択して[表示]キーをタッチすると、そのユーザーのカウントが表示されます。

| 項目     | 設定内容                                     |
|--------|------------------------------------------|
| 次を表示   | 次のユーザー（登録番号順）を表示します。                     |
| 前を表示   | 1つ前のユーザー（登録番号順）を表示します。                   |
| カウント表示 | 選択されているユーザーのカウントと使用できる残り枚数が、機能ごとに表示されます。 |
| 制限枚数   | カウントの下の括弧には、ユーザーに設定されている制限枚数が表示されます。     |

- 装着していない周辺装置のカウントは表示されません。
- ユーザーカウントの保存は、Webページのメニューにある[ユーザー管理]→[ユーザーカウント]→[ユーザーカウントの保存]をクリックして表示される画面から行ってください。

## ユーザーカウントを消去する

設定画面でユーザーを選択して[消去]キーをタッチすると、そのユーザーのカウント消去画面が表示されます。単一のユーザーを選択するか、複数のユーザーを選択するかで、表示される消去画面は異なります。それぞれの場合に表示される項目については、以下の表を参照してください。

### 単一ユーザーを選択した場合

| 項目        | 設定内容                                      |
|-----------|-------------------------------------------|
| 次を表示      | 次のユーザー（登録番号順）を表示します。                      |
| 前を表示      | 1つ前のユーザー（登録番号順）を表示します。                    |
| カウント表示    | 選択されているユーザーの、カウントと使用できる残り枚数が、機能ごとに表示されます。 |
| カウントのクリア  | 選択した項目のカウントを“0”に戻します。                     |
| 全カウントのクリア | 選択されているユーザーの、すべての項目のカウントを“0”に戻します。        |

### 複数ユーザーを選択した場合

| 項目        | 設定内容                                      |
|-----------|-------------------------------------------|
| カウント表示    | 選択されているユーザーの、カウントと使用できる残り枚数が、機能ごとに表示されます。 |
| カウントのクリア  | 選択した項目のカウントを“0”に戻します。                     |
| 全カウントのクリア | 選択されているユーザーの、すべての項目のカウントを“0”に戻します。        |

## ICカード設定

(ICカードリーダーライタ装着時)

ICカードの認証方法を設定します。

### 自動ログインの設定

ICカードでの自動ログインと自動ログアウトの方法を設定します。

#### ICカードで自動的にログインする

ICカードを検知し、認証が有効な場合はすぐにログインします。認証が無効の場合は、正しい認証先に変更してください。

#### ICカードで自動的にログアウトする

ICカードをICカードリーダーライタから離れた時点でログアウトします。([ログアウト]キー (⊛) を押してもログアウトすることができます。)

### ICカードでの認証方法設定

ICカードでの認証方法を設定します。

#### ICカードを使用した認証のみ許可する

ユーザー認証がICカードのみとなります。

#### ICカードの利用と操作パネルからの入力の両方を許可する

ICカードと操作パネルの両方からユーザー認証が可能となります。

### ICカードIDの設定

#### ユーザー権限でICカードの変更を許可する

ログイン中のユーザーが、本人のカードID情報を本機に登録/変更/削除することができるかを設定します。

- 
 設定されている認証方法によっては、「ICカードで自動的にログインする」を無効にすることができません。設定されている認証方法の確認については、お買い上げ販売店またはスタートガイドに記載のシャープお客様相談窓口にご連絡してください。
- 「IC カードで自動的にログインする」が有効の場合のみ、「ICカードで自動的にログアウトする」を有効にすることができます。

## SSFC ICカード設定

(ICカードリーダー装着時でSSFC ICカードが使用可能な状態)

ICカードリーダーを装着し、SSFC仕様のICカード（SSFC ICカード）を使って、ユーザー認証する場合に設定します。SSFC ICカードを使用できる設定については、指定のサービス担当者にご相談ください。

### CLコード設定

SSFC仕様に従って、CLコード（会社識別コード）やシステムコードを設定します。

#### 設定1～設定5

CLコードとシステムコードを登録します。必ず1箇所にはCLコードとシステムコードを入力してください。

#### CLコード1～5

CLコードを入力します。CLコードは10桁入力します。

#### システムコード1～5

CLコードを入力した箇所には、必ずシステムコードを入力します。システムコードは16進数で4桁入力してください。



システムコードで「0xffff」は登録できません。

### 入室フラグ設定

本機が設置されている場所の情報を登録します。

SSFC ICカードの情報を照合することで、SSFC ICカードの使用者が、正しく入室したか、また本機を使用できる権限を持っているかを判断します。

#### 入室フラグを確認する

SSFC ICカードを使用して入室したことを確認する設定を行います。この設定が有効になっていると、SSFC ICカードを使用して入室していないユーザーは、本機へのログインが拒否されます。

#### 部屋番号

部屋を識別する番号を0～65535の範囲で入力します。

#### フロア番号

建物の階数を0～65535の範囲で入力します。

#### ビル番号

建物を識別する番号を0～65535の範囲で入力します。

#### 地域番号

地域を識別する番号を0～65535の範囲で入力します。

#### セキュリティレベル

設定されたセキュリティのレベルを0～65535の範囲で入力します。

#### カードの有効期限を確認する

SSFC ICカードで認証したときに、SSFC ICカードの有効期限を確認します。  
SSFC ICカードの有効期限が切れていると、本機へのログインが拒否されます。

## ICカード設定

(HIDカードリーダー装着時)

Sharp OSAの外部認証アプリケーションとHIDカードを使って、ユーザー認証する場合に設定します。

### カードリーダーデバイスの登録

この設定では、接続されているHIDカードリーダーのプロダクトIDとベンダーIDが表示されます。HIDカードリーダーを登録する場合、[読み込み] キーをタッチしてください。

※HIDカードを使用できる設定については、サービス担当者にご相談ください。

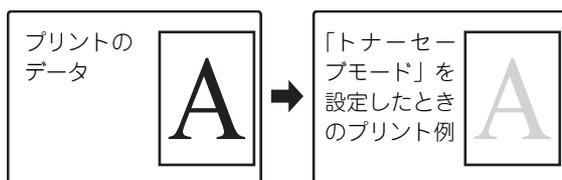
# 省エネルギー設定

「省エネルギー設定」は、お客様の電力消費コストを節減するとともに、環境保全の観点から天然資源のむだづかいや環境汚染を減らすことを目的とした機能です。[省エネルギー設定]キーをタッチして各設定を行ってください。

## トナーセーブモード

(プリンター拡張キット装着時)

プリントする際の、トナーの消費量を減らすことができます。



トナーセーブモードの[プリント]は、本機専用のプリンタードライバーを使用しない環境で有効です。プリンタードライバーを使用しているときは、プリンタードライバーの設定が優先されます。

なお、お使いのアプリケーションソフトやOSの種類によっては、本機能がはたらかない場合があります。

## オートパワーシャットオフ

オートパワーシャットオフの入/切を行います。お客様の使用状況により、何らかの理由でオートパワーシャットオフをはたらかせたくない場合にご使用ください。

プリント終了後、放置した状態で設定時間が経過すると、オートパワーシャットオフがはたらき、消費電力を最大限に節約する状態で待機します。

この機能によりお客様の電力消費コストを節減するとともに、ひいてはそれが、天然資源のむだづかいや環境汚染を減らすことにつながります。

省エネルギー設定の目的をご理解いただき、なるべくオートパワーシャットオフをはたらかない状態に設定せずに、オートパワーシャットオフがはたらくまでの時間を長めに設定したり、時間帯を設定したりすることで、ご対応いただくことをお勧めします。(オートパワーシャットオフがはたらくまでの時間設定など、使用状況に応じた設定は、次の「[オートパワーシャットオフ設定](#)」で行います。)

## オートパワーシャットオフ設定

オートパワーシャットオフがはたらくまでの時間や時間帯など使用状況に応じて設定することができます。

「移行時間を固定する」の場合、「最短」または1~240分の範囲で設定することもできます。

「リモートジョブ終了後すぐにオートパワーシャットオフへ移行する」が有効の場合は、プリントジョブやファクス受信後はいつも最短でオートパワーシャットオフがはたらきます。

使用状況に応じて設定したい場合は「移行時間を時間帯別に変更する」を選びます。

標準設定では本機の利用状況から自動的に時間帯が設定されます。手動を選択すると、以下から選ぶことができます。

- 全て「省エネ優先2」：どの時間帯も最短でオートパワーシャットオフをはたらかせたい場合に設定。
- 8:00~18:00「省エネ優先1」：この時間帯に他の時間帯より頻繁に本機を使う場合に設定。
- 8:00~18:00「ジョブ開始優先1」：この時間帯に他の時間帯より、かなり頻繁に本機を使う場合に設定。
- 上記3つのパターンをお使いの状況に合わせて、編集設定したものも選べます。

## 予熱モードの設定

予熱モードがはたらくまでの時間を1分単位で1~240分の範囲で設定できます。

プリント終了後、放置された状態で設定した時間が経過すると予熱モードに入ります。この機能によりお客様の電力消費コストを節減するとともに、ひいてはそれが、天然資源のむだづかいや環境汚染を減らすことにつながります。

お客様の使用状況に応じて、最も適切と思われる時間に設定されることをお勧めします。



予熱モードの禁止はできません。

# 操作設定

操作関連の設定を行います。[操作設定]キーをタッチして各設定を行ってください。

## 各種設定

### キータッチ音の設定

キータッチ音量の大きさを調整したり、鳴らないようにするときには使用します。また、コピーモードの倍率設定画面および各モードの濃度調整画面で設定するときには基準となる値にくるとキー音（ピッ）を3回鳴らして、お知らせするように設定できます。

| 設定が有効になる画面                                  | 基準値             |
|---------------------------------------------|-----------------|
| コピー基本画面に表示される倍率設定画面                         | 倍率100%          |
| コピー基本画面に表示される濃度調整画面                         | 濃度調整値：<br>3（中央） |
| ファクス、インターネットFax、ネットワークスキャナー基本画面に表示される濃度調整画面 |                 |
| ドキュメントファイリングでスキャン保存を行う場合の濃度調整画面             |                 |

### オートクリアモードの設定

オートクリアモードがはたらくまでの時間を10秒単位で10～240秒の範囲で設定できます。

設定した時間、放置した状態が続くと、オートクリアがはたらき、コピーモードの基本画面やジョブ状況画面に戻り、設定していた内容も消去されます。

#### オートクリアモードの禁止

オートクリアモードをはたらかないようにします。

### メッセージ表示時間の設定

タッチパネルに表示されるメッセージ（一定時間表示されたあと自動的に消えるもの）の表示時間を1秒単位で1～12秒の範囲で設定できます。

### 表示言語の設定

タッチパネルに表示されるメッセージを日本語以外に切り替えることができます。



ユーザー認証設定時、お好み操作グループで表示言語を設定しているときは、そちらの設定が優先されます。

### デフォルト表示画面

オートクリアしたあとや、ログイン後に表示される画面を設定します。

コピー、ファクス/イメージ送信、ドキュメントファイリングの基本画面、ホーム画面、Sharp OSA画面\*から選択できます。

※ アプリケーション通信キット装着時

### ジョブ優先機能の禁止

ジョブ優先機能を禁止し、ジョブ状況画面に[優先]キーを表示しないように設定します。

### 印刷時の追い越し禁止

印刷時の追い越し（指定の用紙がトレイに無くプリントが停止\*している場合に、そのジョブを追い越して待機中のジョブデータを優先プリントする動作）を行わないようにするときには使用します。

※プリント中に用紙がなくなった場合を除く。

### キー操作の設定

タッチパネルのキーをタッチした際、キー入力が行われたことを確定するまでの時間を0.5秒単位で0～2秒の範囲で設定できます。

この時間を長めに設定しておく、キータッチを誤った場合でも、設定した時間に達するまでにキータッチをやめれば、キー入力が行われたことにならないため、誤入力されません。ただし設定した時間、キーをタッチし続けると、キー入力が行われたことにならないので、ご注意ください。

#### キーリピートの禁止

キーリピートをはたらかないようにします。

キーリピートとは、キーをタッチするごとに設定値を変化させるだけでなく、キーをタッチし続けても、連続的にその値を変化させることができる機能です。

---

## 日付・時刻設定の変更禁止

日付・時刻設定の変更を禁止するときに使用します。

---

## 表紙／合い紙機能の使用禁止

表紙や合い紙の挿入機能の使用を禁止にするときに使用します。

---

## キーボードの入力優先設定

外部キーボードを装着時の文字入力時に、ソフトキーボードを使用するか、外部キーボードを使用するか、選択することができます。

---

## 原稿枚数カウントの標準状態設定

機能ごとに、特別機能の「原稿枚数カウント」を有効にするかどうかを設定します。

### コピー

- コピー

### ファクス／イメージ送信

- スキャナー
- インターネットFax
- ファクス
- データ入力

### ドキュメントファイリング

- スキャン保存

## カスタム表示パターン設定

タッチパネルの配色パターンを、6種類の中から選択することができます。  
選択されているパターンは、サンプルで確認できます。

## カスタマイズキー設定

使用頻度の高い機能をショートカットとして、各モードの基本画面に表示させることができます。  
カスタマイズキーについては、各機能の章を参照してください。  
設定項目は以下のとおりです。

| 項目           | 設定内容                                                                  |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------|
| カスタマイズキー 1~3 | カスタマイズキーの名称を全角/半角14文字以内で入力します。(全角文字は最大14文字入力できますが、キーに表示されるのは7文字までです。) |
| 設定項目         | カスタマイズキーに設定したい項目を選択します。選択できる項目は、各モードにより異なります。                         |
| 工場出荷値に戻す     | すべてのカスタマイズキーが工場出荷時の状態に戻ります。                                           |



この設定はWebページでのみ行えます。本機のタッチパネルで設定することはできません。

## ホーム画面設定

操作パネルの[ホーム画面]キーを押したときに表示されるホーム画面を設定します。  
設定項目は以下のとおりです。

| 項目         |      | 設定内容                                                                                |
|------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| モードキー      | キー名称 | [カスタム]を選択すると任意のキー名称を16文字以内で入力できます。                                                  |
|            | 画像   | [カスタムイメージを使用する]を選択すると、モードキーの画像を10KBまでのgifファイルを使って変更できます。                            |
| アプリケーションキー |      | Sharp OSAアプリケーションへのショートカットキーもしくは、個人メニューに登録されているキーを合計8個まで登録できます。                     |
| 背景画像       |      | [カスタムイメージを使用する]を選択するとホーム画面の背景画像を310KBまでの392 x 800ドットのgif/png/jpg/bmpファイルを使って変更できます。 |



この設定はWebページでのみ行えます。本機のタッチパネルで設定することはできません。

## 個人メニュー画面設定

ホーム画面の[個人メニュー]キーをタッチしたときに表示される個人メニュー画面を設定します。  
設定項目は以下のとおりです。

| 項目          | 設定内容                                                                |
|-------------|---------------------------------------------------------------------|
| タイトルを表示する   | ホーム画面にタイトルを表示させます。                                                  |
| タイトル        | タイトルの名称を全角/半角70文字以内で入力します。                                          |
| ユーザー名を表示する※ | ホーム画面に、ログイン中のユーザー名を表示させます。                                          |
| 日付を表示する     | ホーム画面に日付を表示させます。                                                    |
| 背景画像        | ホーム画面の背景に表示される画像を選択します。                                             |
| デザインテンプレート  | ホーム画面のデザインのひな型（テンプレート）を一覧の中から選択します。選択されているテンプレートは、サンプルで確認することができます。 |
| 画面内のキーレイアウト | ホーム画面に割り付けられているキー配列が表示されています。                                       |
| キー番号        | 「画面内のキーレイアウト」を参考にして、設定したいキーの番号を選択してください。                            |
| キー名称        | 「キー番号」で選択しているキーの名称を、全角/半角48文字以内で変更することができます。                        |
| リンク項目       | 「キー番号」で選択しているキーに、使用する機能を登録します。                                      |

※ユーザー認証を設定していないときは表示されません。



この設定はWebページでのみ行えます。本機のタッチパネルで設定することはできません。

## プレビュー設定

ファクス／イメージ送信とドキュメントファイリングで使用できるプレビュー画面の設定を行います。

### プレビュー確認のデフォルト設定

以下の各画面で、[プレビュー確認]キーの選択状態を設定します。

#### コピー

##### ファクス／イメージ送信

- スキャナー送信
- インターネットFax送信
- ファクス送信
- データ入力
- USBメモリースキャン
- アドレス帳

##### ドキュメントファイリング

- スキャン保存

### プレビュー表示のデフォルト設定

コピーやファクス／イメージ送信、ドキュメントファイリングのプレビュー画面の表示倍率を設定できます。

### 受信データの画像確認設定

ファクスやインターネットFaxの受信データの画像をプレビューで確認するか、しないかを選択できます。

### リスト/サムネイル表示のデフォルト設定

ドキュメントファイリングのファイル選択画面やファクスなどの受信データリスト画面で、標準状態の表示をリスト表示かサムネイル表示のどちらかから選択できます。

## ソフトキーボードの登録語設定

アドレスやドメイン入力時など文字入力によく使う単語をあらかじめ登録することができます。全角／半角16文字以内で入力できます。

## リモート操作設定

本機とネットワークで接続されているコンピュータで、本機をリモート操作するときに必要な設定を行います。

### リモートソフトの操作

#### 操作権限

リモートソフトを使って、本機をリモート操作するときに使用します。

#### パスワード入力画面の表示

リモートソフトを使って本機をリモート操作する際、パスワードの入力画面を本機またはコンピュータ、もしくはその両方に表示させることができます。

### 特定PCからの操作

#### 操作権限

特定のコンピュータを使って、本機をリモート操作するときに使用します。

#### 接続するPCのホスト名またはIPアドレス

接続する特定のコンピュータのホスト名またはIPアドレスを入力します。半角127文字以内で入力してください。

#### パスワード入力画面の表示

特定のコンピュータを使って、本機をリモート操作する際、パスワードの入力画面を本機またはコンピュータ、もしくはその両方に表示させることができます。

### 接続パスワードを持つユーザーからの操作

#### 操作権限

接続パスワードを持つユーザーが、本機をリモート操作するときに使用します。接続パスワードについては指定のサービス担当者にご相談ください。

#### パスワード入力画面の表示

接続パスワードを持つユーザーが、本機をリモート操作する際、パスワードの入力画面を本機またはコンピュータ、もしくはその両方に表示させることができます。

# デバイス設定

本機に装着されている各装置の設定を行います。[デバイス設定]キーをタッチして各設定を行ってください。

## 各種設定

### 原稿給紙モード

コピー、ファクス/イメージ送信、スキャン保存の原稿給紙モードで、以下の機能を標準状態に設定することができます。頻繁に以下の機能を使用する場合、使用のたびに特別機能で設定する必要がなくなります。

- 混載原稿（同じ幅（コピーのみ）／異なる幅）
- 薄紙読み込み
- 白紙飛ばし（ファクス/イメージ送信のみ※）

※ ファクスモードとインターネットFaxモードを除く

### 用紙自動選択機能設定

用紙自動選択機能がはたらく用紙の種類（タイプ）※を以下のいずれかに設定できます。

- 普通紙
- 普通紙と再生紙
- 再生紙

設定した種類の用紙以外は、用紙自動選択機能がはたらくきません。

※ システム設定（一般）の「給紙トレイ設定」（7-12ページ）で各給紙トレイに設定されている用紙の種類

### 連結印刷設定

TCP/IPプロトコルを使用したネットワークプリンターとして2台の本機を使用している場合、連結する子機のIPアドレスおよびポート番号を設定します。

#### 連結送信禁止

連結送信を行わないようにする場合に設定します。（通常は行う必要はありません。）

#### 連結受信禁止

連結受信を行わないようにする場合に設定します。（通常は行う必要はありません。）



- 工場出荷時のポート番号は、「50001」に設定されています。不都合が発生しない限り、この番号は変更しないで使用してください。
- ユーザー認証を設定して連結するときは、親機、子機ともに同じログイン名、パスワードの設定が必要です。同じログイン名、パスワードが設定されていないと、適切にユーザーカウントされなかったり、親機だけでプリントすることになります。

### カラー自動モード時の判別基準

コピーモードでカラーモードを自動に設定しているときに、原稿を判別する度合いを5段階で設定することができます。[白黒より]側に設定すると、白黒原稿として識別しやすくなります。[カラーより]側に設定すると、カラー原稿として識別しやすくなります。

### レジスト調整

カラープリントしたときに印刷面の色がずれる場合、各色の印字位置を調整して、色ズレを低減することができます。

この設定を行うときは、[自動調整]キーをタッチしてください。キーをタッチするとメッセージが表示されるので、[実行]キーをタッチしてください。

### ハードディスクの最適化

本機のハードディスクを最適化して、データの断片化を解消します。実行中のジョブがある場合はメッセージが表示され、ジョブが終了するまで最適化は実行されません。実行中は、以下の項目に関する動作は制限されます。

- Webページのアクセス、プリントデータの受信
- 操作パネル上のキー入力
- 本機の主電源スイッチによる電源切断
- オートパワーシャットオフ

最適化が終了すると、自動的に再起動を行います。



ドキュメントファイリング機能を多用していて、再出力が遅く感じられたときに最適化を行うと改善されることがあります。

### ジョブログの全消去

ジョブ履歴をすべて消去したいときに使用します。（通常は使用する必要はありません。）

本機は使用されたジョブの履歴をログファイルとして残しています。ログファイルは一般的に実行された処理の追跡に使われます。本機が保持するログファイルは、Webページ操作により、ご使用のパソコンにCSV形式のデータで書き出せます。

## 原稿検知装置の設定

原稿サイズ検知機能でサイズ検知できる定形原稿サイズを、次の8種類のグループの中から選択することができます。

| 選択項目   | 原稿検知サイズ                                                                  |                                                                                |
|--------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
|        | 原稿台（ガラス面）                                                                | 原稿セット台（原稿自動送り装置）                                                               |
| AB-1   | A3、A4、A4R、A5、B4、B5、B5R                                                   | A3、A4、A4R、A5、B4、B5、B5R、11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x11"                           |
| AB-2   | A3、A4、A4R、A5、B5、B5R、216mmx330mm (8-1/2"x13")                             | A3、A4、A4R、A5、B4、B5、B5R、11"x17"、8-1/2"x11"、216mmx330mm (8-1/2"x13")             |
| AB-3   | A4、A4R、A5、B4、8K、16K、16KR                                                 | A3、A4、A4R、A5、B4、11"x17"、8-1/2"x11"、216mmx330mm (8-1/2"x13")、8K、16K、16KR、       |
| AB-4   | A3、A4、A4R、A5、B5、B5R、216mmx340mm (8-1/2"x13-2/5")                         | A3、A4、A4R、A5、B4、B5、B5R、11"x17"、8-1/2"x11"、216mmx340mm (8-1/2"x13-2/5")         |
| AB-5   | A3、A4、A4R、A5、B5、B5R、216mmx343mm (8-1/2"x13-1/2")                         | A3、A4、A4R、A5、B4、B5、B5R、11"x17"、8-1/2"x11"、216mmx343mm (8-1/2"x13-1/2")         |
| Inch-1 | 11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"                  | 11"x17"、8-1/2"x14"、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"、A3、A4                  |
| Inch-2 | 11"x17"、216mmx330mm(8-1/2"x13")、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"     | 11"x17"、216mmx330mm(8-1/2"x13")、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"、A3、A4     |
| Inch-3 | 11"x17"、8-1/2"x13-2/5"(216mmx340mm)、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2" | 11"x17"、8-1/2"x13-2/5"(216mmx340mm)、8-1/2"x11"、8-1/2"x11"R、5-1/2"x8-1/2"、A3、A4 |

### 原稿台の検知解除

原稿台（ガラス面）の原稿サイズ検知をはたらかないようにします。設定すると原稿台（ガラス面）にセットした原稿はすべて特殊サイズとして扱われます。

## デバイス禁止設定

本機に装着されている各装置が故障したときや、使用を禁止したいときに設定します。

### 原稿送り装置の使用禁止

原稿自動送り装置の使用を禁止するときや原稿自動送り装置が故障したときに使用します。(原稿台(ガラス面)からの原稿読み込みは可能です。)

### 両面機能の使用禁止

両面プリント機能を禁止するときや両面機能が故障したときに使用します。

### 給紙デスクの使用禁止

(給紙デスク装着時)

給紙デスクの使用を禁止するときや故障したときに使用します。

### 給紙トレイ設定の禁止

給紙トレイ(手差しトレイを除く)の設定を禁止するときに使用します。

### フィニッシャーの使用禁止

(フィニッシャー装着時)

フィニッシャーの使用を禁止するときや故障したときに使用します。

### オフセットの使用禁止

オフセットを禁止するときに使用します。

### ステープルの使用禁止

(フィニッシャー装着時)

ステープルを禁止するときやフィニッシャーのステープルユニットが故障したときに使用します。

### パンチの使用禁止

(パンチユニット装着時)

パンチを禁止するときやフィニッシャーのパンチユニットが故障したときに使用します。

### カラーモードの使用禁止

(カラー関連トラブル発生時)

カラー関連のトラブルが発生してプリントができない場合、カラーモードを使用禁止にして一時的に白黒プリントのみを可能にすることができます。



この機能は、あくまで応急処置です。カラーモードの使用禁止は、いったん設定するとお客様には解除できなくなります。サービス担当者による問題解決と合わせて設定の解除が必要ですので、すみやかに買いあげ販売店またはスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口に連絡してください。

## 定着制御設定

使用する用紙の坪量に応じて、トナーの定着温度の制御を行います。ここでの設定が、普通紙、パンチ紙、印刷済み用紙、レターヘッド紙、色紙、ユーザータイプの各用紙で適用されます。60g/m<sup>2</sup>~79g/m<sup>2</sup>と80g/m<sup>2</sup>~105g/m<sup>2</sup>から選択できます。



- ここで設定した坪量と同じ範囲の坪量の用紙を必ず使用してください。設定範囲と異なる普通紙などを混ぜてトレイにセットしないでください。
- 設定の変更は、本機の再起動後に有効になります。本機の再起動については、「1. お使いになる前に」の「電源を“入れる”・“切る”」(1-14ページ)を参照してください。

# コピー設定

コピーに関する設定を行います。[コピー設定]キーをタッチして各設定を行ってください。  
設定した標準値は、コピー機能だけでなく本機全体に適用されます。

## コピーモードの標準状態設定

[電源]キー（Ⓞ）を“入”にしたときや、[リセット]キー（Ⓢ）を押したとき、またオートクリアがはたらく時間が経過したとき、コピー機能の設定は標準状態に戻ります。この設定を行うと、コピーモードの標準状態の設定を変更することができます。

変更できる項目は以下のとおりです。

| 項目       | 設定内容                                                                                                 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カラーモード   | 標準状態でのカラーモードの設定を行います。                                                                                |
| 用紙トレイ    | 標準状態で選択される用紙トレイを設定します。                                                                               |
| 濃度モード    | 標準状態での濃度モードの設定を行います。                                                                                 |
| コピー倍率    | 標準状態で選択されるコピー倍率を設定します。                                                                               |
| 両面       | 標準状態で選択される両面モードの設定を行います。<br>両面機能の標準状態を片面→片面以外に設定しても、両面機能や原稿自動送り装置が故障していたり、使用が禁止されていると、片面→片面の設定に戻ります。 |
| 仕上げ      | 標準状態で選択される仕上げの方法や排紙先トレイを設定します。                                                                       |
| 工場出荷時に戻す | すべての項目を工場出荷時の状態に戻します。                                                                                |

## 各種設定

### コピー印字濃度調整

コピー濃度を[自動]で使用しているときの濃度レベルを調整することができます。

#### カラー

カラーモードでのコピー濃度レベルを、原稿台（ガラス面）と原稿自動送り装置でそれぞれ設定します。

#### 白黒

白黒モードでのコピー濃度レベルを、原稿台（ガラス面）と原稿自動送り装置でそれぞれ設定します。

### 回転コピーの設定

原稿と用紙のセット方向（縦・横の向き）が異なる場合に原稿の画像を自動的に90°回転させてコピーすることができます。



- 用紙自動選択または倍率自動選択が設定されたときのみ、回転します。
- A5（または5-1/2"x8-1/2"）サイズの原稿をA5R（または5-1/2"x8-1/2"R）サイズの用紙にコピーする場合は、必ず回転コピーの設定を行ってください

### サイズ／方向警告時のコピー禁止

コピー用紙と原稿の方向が異なる場合、または最適サイズのコピー用紙がセットされていない場合のコピーを禁止することができます。



「[回転コピーの設定](#)」が解除されているときに有効になります。

### プログラム倍率の設定

拡大（101～400%）、縮小（25～99%）それぞれ2種類の倍率を固定倍率として追加設定することができます。また、追加した固定倍率は変更することもできます。



追加した設定以外の固定倍率は変更できません。

### コピー枚数の上限値設定

コピー設定枚数（連続コピー枚数）の入力上限値を1枚単位で1～999枚の範囲で設定できます。

### とじしろの標準値設定

とじしろ量の標準値を設定します。表面、裏面それぞれ1mm単位で0mm～20mmの範囲で設定できます。

### 枠消去幅の標準値設定

枠消去時の消去幅の標準値を設定します。枠消去幅、センター消去幅をそれぞれ1mm単位で0mm～20mmの範囲で設定できます。

### カードスキャン標準値設定

カードスキャン時の原稿サイズの標準値を設定するときに使用します。

原稿サイズの標準値の設定は、原稿用紙のX（横）とY（縦）方向ともに1mm単位で25mm～210mmの範囲で設定できます。

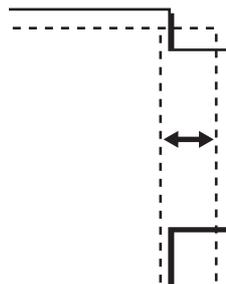
#### 用紙に合わせる

カードスキャン設定画面で[用紙にあわせる]キーを常に表示させます。

### タブコピー標準値設定

タブコピー時の画像シフト幅（タブ幅）の標準値を設定するときに使用します。

1mm単位で0mm～20mmの範囲で設定できます。



## 登録したコピー条件の書き換え禁止

コピー条件登録機能（ジョブプログラム）で登録したコピー条件の書き換えや消去を禁止するときに使用します。

## 両面コピー時手差しトレイ使用禁止

両面コピーを行うときに手差しトレイからの給紙を禁止するときに使用します。

手差しトレイは、ラベル紙、OHPフィルムなど、両面コピーが禁止された特殊紙の給紙によく使用されます。両面コピーが禁止された特殊紙が反転ユニット部に入ると紙づまりや故障の原因となります。両面コピーが禁止された特殊紙をよく使用する場合は、この設定を行うことをお勧めします。

## 用紙自動選択の禁止

用紙自動選択機能を禁止するときに使用します。設定すると、原稿台（ガラス面）や原稿自動送り装置の原稿セット台に原稿をセットしても同一サイズの用紙を自動選択しません。

## 用紙補給トレイ自動選択設定

コピーモードで待機状態のとき、用紙補給が行われた給紙トレイを自動選択するように設定することができます。

## 白黒コピー時の原稿送り装置高画質モード

原稿自動送り装置を使用して白黒コピーを行うときの原稿読み取り解像度を、600X400dpiから600X600dpi（高画質モード）に設定するときに使用します。

高画質モードを設定すると、コピーの極細文字や細線などの再現性が向上しますが、原稿の読み込み速度は遅くなります。



ジョブスピードを優先して無効にしているときに、600X400dpiの解像度で原稿の読み込みを行うには、次の条件をすべて満たしている必要があります。

- コピー倍率は100%（等倍）に設定していること
- 特別機能で倍率が変わるものを選択していないこと
- [コピー原稿モード]が有効になっていないこと
- [カラースタート]キーで白黒コピーしないこと

## 白黒コピー時の原稿ガラス速度優先モード

原稿台（ガラス面）を使用して白黒コピーを行うときの原稿読み取り解像度を、600X600dpiから600X300dpi（速度優先モード）に設定するときに使用します。

速度優先モードを設定すると、ファーストコピータイムは早くなりますが、コピー画質が多少粗くなります。



ジョブスピードを優先して有効にしているときに、600X300dpiの解像度で原稿の読み込みを行うには、次の条件をすべて満たしている必要があります。

- コピー倍率は100%（等倍）に設定していること
- 特別機能で倍率が変わるものを選択していないこと
- [コピー原稿モード]が有効になっていないこと
- [カラースタート]キーで白黒コピーしないこと

## コピージョブ実行前のオートクリア

コピー設定中、コピージョブが完了していなくても、オートクリア機能を働かせることができます。

コピージョブを完了せず、途中で本機が放置されている状態などが続くことを防ぐことができます。

# カラー調整

カラーに関する設定を行います。

## カラーバランスの標準状態設定

特別機能の「カラーバランス」調整を使用して設定したカラーバランスの調整値を、あらかじめプログラム登録(1~48件)しておくことにより、その調整値を呼び出して、標準設定値※として登録することができます。お望みの色調に設定した調整値や、カラーバランスに変化が生じた際に色調補正した調整値を、恒常的な標準設定値として使用したい場合などにお使いください。

※ 特別機能の「カラーバランス」調整の設定画面を表示させたときに、あらかじめ設定されている値です。

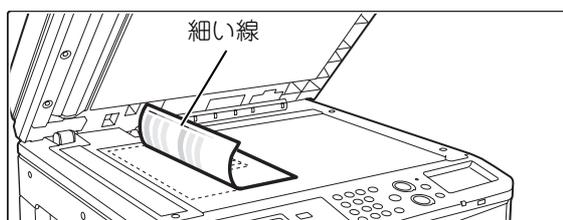
### 工場出荷時の状態に戻す

登録された調整値を工場出荷時の値(各色の8段階すべての調整値が「0」の位置)に戻します。

## オートカラーキャリブレーション

カラーコピーの色階調がずれた場合、色階調を補正できます。出力されたテストパターンを原稿として読み込ませることで、自動的に色階調のずれを補正します。

[実行]キーをタッチしてテストパターンを出力したあと、自動調整の開始を求めるメッセージが表示されません。原稿台(ガラス面)にテストパターンを下記のように(紙面片側の細い線が左側にくるように)セットしてください。



テストパターンと同じサイズのコピー用紙(5枚程度)を、セットしたテストパターンの上に重ねて原稿自動送り装置を静かに閉じ、[実行]キーをタッチしてください。



- オートカラーキャリブレーションを行う前に、レジスト調整が合っているか確認してください。
- 「オートカラーキャリブレーション」を行っても、色階調のずれが残る場合は、再度実行すると改善されることがあります。

# ネットワーク設定

ネットワークに関する設定を行います。[ネットワーク設定]キーをタッチして各設定を行ってください。

 設定の変更は、本機の再起動後に有効になります。本機の再起動については、「1. お使いになる前に」の「電源を“入れる”・“切る”」(1-14ページ)を参照してください。

## IPv4設定

TCP/IPプロトコル (IPv4) を使用したネットワークで本機を使用するときに、本機のIPアドレスを設定します。設定項目は以下のとおりです。

### IPアドレス

本機のIPアドレスを入力します。

### IPネットマスク

ネットマスクを入力します。

### IPゲートウェイ

ゲートウェイのアドレスを入力します。

### DHCP

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) を使用して、IPアドレスを自動的に取得します。この設定を有効にしている場合、IPアドレスを手動で入力する必要はありません。

 • TCP/IP プロトコルのネットワークで本機を使用するときは、「TCP/IP有効設定」を必ず有効にしてください。

• DHCP 使用時、本機に割り当てられた IP アドレスは、自動的に変更されることがあります。変更された場合、プリントできません。

## IPv6設定

TCP/IPプロトコル (IPv6) を使用したネットワークで本機を使用するときに、本機のIPアドレスを設定します。設定項目は以下のとおりです。

### IPv6有効設定

この設定を有効にします。

### DHCPv6

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) を使用して、IPアドレスを自動的に取得します。この設定を有効にしている場合、IPアドレスを手動で入力する必要はありません。

### 手動設定アドレス

本機のIPアドレスを入力します。

### プレフィックス長

プレフィックス長 (0~128) を入力します。

### デフォルトゲートウェイ

ゲートウェイのアドレスを入力します。



- TCP/IP プロトコルのネットワークで本機を使用するときは、次の項目の「TCP/IP有効設定」を必ず有効にしてください。
- DHCP 使用時、本機に割り当てられた IP アドレスは、自動的に変更されることがあります。変更された場合、プリントできません。
- IPv6環境での本機の対応プロトコルは、LPD/IPPPです。

## TCP/IP有効設定

TCP/IPプロトコルを使用したネットワークで本機を使用するときに設定します。

## NetWare有効設定

NetWareプロトコルを使用したネットワークで本機を使用するときに設定します。

## EtherTalk有効設定

EtherTalkプロトコルを使用したネットワークで本機を使用するときに設定します。

## NetBEUI有効設定

NetBEUIプロトコルを使用したネットワークで本機を使用するときに設定します。

## NICリセット

「ネットワーク設定」のすべての設定項目を工場出荷時の状態に戻します。

## Pingコマンド

本機とネットワーク上のコンピュータが、ネットワーク接続されているかどうか調べたいときに使用します。調べたいコンピュータのIPアドレスを指定して[実行]キーをタッチすると、相手のコンピュータから応答があるかどうかのメッセージを表示します。

# プリンター設定

プリンター機能に関する設定を行います。[プリンター設定]キーをタッチして各設定を行ってください。

## 基本設定

プリンターに関する基本設定を行います。

### 注意通告ページの出力禁止

注意通告ページのプリントを禁止するときに使用します。

### テストページの出力禁止

テストページのプリントを禁止するときに使用します。設定すると、システム設定のプリンターテストページのプリントはできません。

### A4／レターサイズの自動変換

8-1/2"x11"（レター）サイズをプリントするときに、用紙トレイに8-1/2"x11"サイズ用の紙がセットされていない場合、A4用紙にプリントするようにします。

### プリント印字濃度調整

カラーおよび白黒でのプリント濃度を薄く、または濃くするときに使用します。プリントされる画像の濃度を5段階に分けて調整します。

### CMYK各色の濃度調整

シアン（C）、マゼンタ（M）、黄（Y）、黒（K）の各色の濃度を調整するときに使用します。各色の濃度を17段階に分けて調整します。

### 手差し給紙設定

#### 手差し指定サイズ検知有効設定

プリントデータで指定されている用紙サイズと、手差しトレイに設定されている用紙サイズが異なる場合にプリントを禁止します。

#### 手差し指定タイプ検知有効設定

プリントデータで指定されている用紙タイプと、手差しトレイに設定されている用紙タイプが異なる場合にプリントを禁止します。

#### 自動用紙選択時の手差しトレイ選択禁止

用紙選択が自動となっている場合に、手差しトレイを対象からはずすことができます。手差しトレイに特殊紙などをセットすることが多い場合にお勧めします。

### プリントデータのスパール受信

この機能が設定されていると、受信したプリントジョブをジョブ状況画面のスパールキュー画面に表示し、解析後、予約／実行ジョブに表示します。スパールキュー画面では、解析前の複数のジョブ表示が可能です。この機能が設定されていないと、受信したプリントジョブをスパールキュー画面に表示せず、予約／実行ジョブに表示します。ただし、暗号化PDFをプリントした場合は、スパールキュー画面に表示します。

### USB メモリーダイレクトプリントの禁止

USB メモリーダイレクトプリントを禁止するときに使用します。

### 共有フォルダーダイレクトプリントの禁止

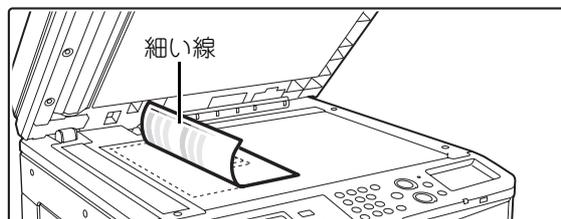
共有フォルダーダイレクトプリントを禁止するときに使用します。



## オートカラーキャリブレーション

カラープリントの色階調がずれた場合、色階調を補正できます。出力されたテストパターンを原稿として読み込ませることで、自動的に色階調のずれを補正します。

[実行]キーをタッチしてテストパターンを出力したあと、自動調整の開始を求めるメッセージが表示されます。原稿台（ガラス面）にテストパターンを下記のように（紙面片側の細い線が左側にくるように）セットしてください。



テストパターンと同じサイズのコピー用紙（5枚程度）を、セットしたテストパターンの上に重ねて原稿自動送り装置を静かに閉じ、[実行]キーをタッチしてください。

- オートカラーキャリブレーションを行う前に、レジスト調整が合っているか確認してください。
- 「オートカラーキャリブレーション」を行っても、色階調のずれが残る場合は、再度実行すると改善されることがあります。

# ファクス／イメージ送信設定

スキャナーやインターネットFaxなどのファクス／イメージ送信機能に関する設定を行います。[ファクス/イメージ送信設定]キーをタッチして各設定を行ってください。



ファクスに関する設定の説明は、「[ファクス機能システム設定](#)」(7-107ページ)を参照してください。

## 操作設定

ファクス／イメージ送信機能に共通する操作の設定を行います。

### 各種設定

#### デフォルト表示画面

[ファクス/イメージ送信]キーをタッチしたときや、ファクス／イメージ送信モード画面で[リセット]キー(Ⓢ)を押したときに表示される基本画面を次の5種類から選択することができます。

- アドレス帳
- スキャナー
- インターネットFax
- ファクス
- データ入力

#### 読み込み終了後も設定内容を一定時間保持する

原稿を読み込んだあとも、設定内容を保持するようにします(オートクリアモードがはたらくまで)。

#### アドレス帳のデフォルト設定

アドレス帳画面の初期状態の表示を、以下の中から設定することができます。

##### タブ切替

- 50音
- ユーザー

##### 宛先種類

- すべて
- E-mail
- FTP/Desktop
- 共有フォルダー
- インターネットFax (ダイレクトSMTP含む)
- ファクス
- グループ

### 標準画質設定

スキャナー、インターネットFax、ファクスモードの画質の標準値を以下の中から設定することができます。

スキャナー：100X100dpi、200X200dpi、  
300X300dpi、400X400dpi、  
600X600dpi

インターネットFax：200X100dpi  
200X200dpi  
200X400dpi  
400X400dpi  
600X600dpi

中間調

ファクス：普通字  
小さな字  
精細  
高精細

中間調

#### 保存時の画質を適用する

ファイル保存した画像を再操作する際、保存したときの画質設定を適用します。

## 標準濃度設定

ファクス／イメージ送信モードの原稿読み取り濃度の標準値を設定します。[自動]または[手動]のいずれかを選択してください。[手動]を選択した場合は濃度を5段階で設定することができます。

### 標準原稿種類

原稿の種別をあらかじめ選択しておくことにより、原稿にあった画質で送信することができます（スキャナーモード・USBメモリースキャンモードのみ）。

設定項目は以下のとおりです。

- 文字／印刷写真
- 文字／印画紙写真
- 文字
- 印画紙写真
- 印刷写真
- 地図



濃度が[自動]に選択されているときは選択できません。

### モアレ低減

印刷物の原稿を読み取る場合に発生するモアレ（縞模様）を低減させます（スキャナーモード・USBメモリースキャンモードのみ）。

## 受信ランプ設定

ファクスおよびインターネットFaxの受信開始からプリント完了まで受信ランプを点滅させます。右トレイに排紙時は、用紙を取り除くまで受信ランプを点滅させません。

## 同報時の次宛先キー入力

同報送信を行うとき、[次宛先]キーをタッチしないと次の宛先が入力できないように設定できます。設定されていると、[次宛先]キー入力が省略できなくなり、次に入力する宛先がワンタッチキーでも常に[次宛先]キーをタッチしてからでないと入力できなくなります。この場合[次宛先]キーをタッチせずに次の宛先を入力しようとすると、「ピピッ」と警告音が鳴り、次の宛先を入力することができません。

## 原稿読み込み終了音の設定

原稿を読み込むときの終了音を設定できます。

## 件名／ファイル名／本文表示件数切替

画面に表示される件名／ファイル名を、1画面6件、12件、18件のいずれかに切り替えることができます。

## 宛先の表示件数切替

アドレス帳画面に表示されるワンタッチキーを、1画面5個、10個、15個のいずれかに切り替えることができます。

## 表示順番切り替えの禁止

アドレス帳などの、検索番号順／昇順／降順の表示順番の並べ替えを禁止します。

設定すると、アドレス帳画面などのタブをタッチしても並べ替えが行われません。表示順番は常に禁止時に選択されていた表示順番になります。

## 受信データ印字ホールド設定

ファクス／インターネットFaxの受信データをプリントせずにメモリーに保存しておき、数字キー（10キー）でパスワード（工場出荷時：0000）を入力することにより、まとめてプリントすることができます。

### パスワード

[受信データ印字ホールド設定]が設定されている場合に、パスワード（4桁の数字）を入力します。



これらの設定は、本機のメモリー内に受信データが残っていないときに変更できます。（親展および中継同報メモリーボックス内のデータを除きます。）

## デフォルト済スタンプ設定

（済スタンプユニット装着時）

原稿自動送り装置で原稿を読み込むとき、読み込みの終わった原稿に常に済スタンプを押すように設定することができます。

## 枠消去幅の標準値設定

枠消去時の消去幅の標準値を設定します。枠消去幅、センター消去幅をそれぞれ1mm単位で0mm～20mmの範囲で設定できます。

## 登録禁止設定

本機、Webページ、コンピュータからの宛先の登録を、それぞれ禁止します。

### 本体からの宛先登録の禁止設定

本機の操作による宛先の登録を禁止します。以下の項目でそれぞれ設定してください。

- グループ（直接入力）
- グループ（アドレス帳）
- ワンタッチ

**全選択**：すべての項目を選択します。

**選択解除**：すべての項目の選択を解除します。

### Web 画面からの宛先登録の禁止設定

(ネットワーク有効時)

Webページからの宛先の登録を禁止します。以下の項目でそれぞれ設定してください。

- グループ（直接入力）
- グループ（アドレス帳）
- ワンタッチ

**全選択**：すべての項目を選択します。

**選択解除**：すべての項目の選択を解除します。

### プログラムの登録禁止

プログラム登録時にアドレス帳の使用を禁止します。以下の項目でそれぞれ設定してください。

- E-mail
- FTP
- デスクトップ
- 共有フォルダー
- インターネットFax（ダイレクトSMTP含む）
- ファクス

**全選択**：すべての項目を選択します。

**選択解除**：すべての項目の選択を解除します。

### メモリーボックスの登録禁止

メモリーボックスにおける各種登録を禁止します。以下の項目でそれぞれ設定してください。

掲示板、親展、中継同報（直接入力）、中継同報（アドレス帳）

**全選択**：すべての項目を選択します。

**選択解除**：すべての項目の選択を解除します。

### グローバルアドレス検索からの宛先登録禁止設定

(ネットワーク有効時)

グローバルアドレス検索からの宛先登録を禁止します。

以下の項目でそれぞれ設定してください。

E-mail、インターネットFax、ファクス

**全選択**：すべての項目を選択します。

**選択解除**：すべての項目の選択を解除します。

### ネットワークスキャナーツールからの登録禁止

(ネットワーク有効時)

ネットワークスキャナーツール Liteからの宛先の登録を禁止します。

## 送信禁止設定

送信に関する次の操作をそれぞれ禁止します。

### ファクス/イメージ送信モードからの[再送信]の禁止

ファクス/イメージ送信モードの基本画面で、[再送信]キーの使用を禁止します。

### アドレス帳からの選択禁止

アドレス帳からの送信先の選択を禁止します。

以下の項目でそれぞれ設定してください。

- E-mail
- FTP
- デスクトップ
- 共有フォルダー
- インターネットFax（ダイレクトSMTP含む）
- ファクス

**全選択**：すべての項目を選択します。

**選択解除**：すべての項目の選択を解除します。

### 直接入力の禁止

アドレスなどの宛先の直接入力を禁止します。

以下の項目でそれぞれ設定してください。

- E-mail
- 共有フォルダー
- インターネットFax（ダイレクトSMTP含む）
- ファクス

**全選択**：すべての項目を選択します。

**選択解除**：すべての項目の選択を解除します。

## PCインターネットFaxからの送信禁止

(インターネットファクス拡張キット装着時)

PCインターネットFaxからの送信を禁止します。

## PC-Faxからの送信禁止

PC-Faxからの送信を禁止します。

### 発信元登録

インターネットFax／ファクスの発信元に関する登録を行います。

## 発信元情報登録

ファクスやインターネットFaxを利用する際の発信元名と、ファクスの発信元番号、インターネットFaxの発信元アドレスを登録するときに使用します。登録した発信元名、ファクス発信元番号、インターネットFax発信元アドレスは、送信時に相手の用紙の上部にプリントされます。

### 発信元名

全角／半角20文字以内で、標準の発信元名を入力します。

### ファクス発信元番号

発信元番号を設定します。

番号のあいだにポーズ（待ち時間）を入力するときは[-]キーをタッチしてください。

番号のあいだに半角スペースを挿入したいときは、[スペース]キーをタッチしてください。

### インターネットFax発信元アドレス

半角56文字以内で、標準の発信元アドレスを入力します。

## 発信元情報登録（回線2）

(回線増設キット装着時)

増設した回線2での、ファクス発信元名とファクス発信元番号を登録するときに使用します。登録した発信元名と発信元番号は、送信時に相手の用紙の上部にプリントされます。

### 発信元名

全角／半角20文字以内で、回線2の発信元名を入力します。

### ファクス発信元番号

回線2の発信元番号を設定します。

番号のあいだにポーズ（待ち時間）を入力するときは[-]キーをタッチしてください。

番号のあいだに半角スペースを挿入したいときは、[スペース]キーをタッチしてください。

## 発信元選択登録

特別機能の「発信元選択」で使用する発信元名を登録します。登録できる件数は最大で18件です。

### 新規登録

発信元名を登録します。設定できる発信元名の最大文字数は20文字までです。発信元名を入力したら、[登録]キーをタッチします。登録番号は01～18で、登録開始時に最も若い空き番号が自動的に割り当てられ、変更することはできません。

### 発信元名一覧

登録されている発信元名の一覧を表示します。

各発信元名を選択すると、その発信元名を削除することができます。

# スキャナー設定

スキャナーに関する設定を行います。

## 各種設定

### 標準送信者登録

E-mail送信スキャン時に、送信詳細設定の[返信先]を指定しなかった場合は、ここで登録した情報が返信先として適用されます。

#### 送信者名

全角／半角20文字以内で、標準の送信者の名前を入力します。

#### 返信アドレス

半角64文字以内で、標準の返信アドレスを入力します。



送信者名のみ登録では、送信者情報として適用されません。

### 標準カラーモード設定

スキャナーモードでのカラーモードの標準状態を、白黒、カラーそれぞれに対して設定します。

#### 白黒モード

白黒2値、グレースケール

#### カラーモード

自動（白黒2値、グレースケール※）、フルカラー  
※カラーモード[自動]で白黒原稿読み取り時

#### カラー自動時の白黒設定変更を禁止する

カラーモードを自動に設定しているときに、基本画面から白黒設定を行えないようにします。

## 標準ファイルフォーマットの設定

E-mail送信スキャンおよびUSBメモリースキャンを使用して送信操作を行う場合、[アドレス入力]キーをタッチしてE-mailアドレスを手動で入力したときの標準ファイルフォーマットを設定することができます。

#### ファイル形式

PDF、TIFF、JPEG※、暗号化PDF、XPS  
※[白黒]選択時は[TIFF]になります。

#### 白黒

圧縮形式：圧縮なし、MH(G3)、MMR(G4)

#### カラー/グレースケール

圧縮率：低圧縮、中圧縮、高圧縮

#### ページ毎にファイル化

原稿を読み込む際に、ページごとにファイルを分割して生成します。  
ページごとにファイル化する場合、ページ数を設定することができます。

#### ページ数

ファイルを分割する単位を、任意のページ数で指定することができます。[ページ毎にファイル化]が有効なときに設定できます。



ファイル形式で「JPEG」を選択したときは、[ページ毎にファイル化]は設定できません。

## 同報時のファイル圧縮形式

E-mail送信スキャン、およびインターネットFaxを使用して同報送信を行う場合の圧縮形式を設定します。それぞれの送信先に異なる圧縮形式が設定されていても、ここで設定した圧縮形式に統一されます。

#### 白黒

MH(G3)、MMR(G4)

#### カラー/グレースケール

低圧縮、中圧縮、高圧縮

## 送信データ上限値設定 (E-mail)

E-mail送信スキャンで送信する画像データのファイルサイズが大きくなりすぎないように、ファイルサイズの上限値を1MB単位で、1MB～10MBの範囲で設定できます。読み込んだ原稿画像から生成された画像データのファイルサイズが、設定した上限値をこえた場合、その画像データは破棄されます。

上限値を設定しないときは、[無制限]を選択してください。



この設定は、インターネットFax送信設定の「[送信データ上限値設定](#)」(7-92ページ)と連動します。

## 送信データ上限値設定 (FTP / デスクトップ / 共有フォルダー)

ファイルサーバー送信スキャン、デスクトップ送信スキャン、共有フォルダー送信スキャンで送信できるファイルサイズに上限を設定することができます。選択できる上限値は、50MB、150MB、300MBの3つです。読み込んだ原稿画像から生成された画像データのファイルサイズが、設定した上限値をこえた場合、その画像データは破棄されます。

上限値を設定しないときは、[無制限]を選択してください。



E-mailおよびインターネットFaxの宛先を含む同報送信を行う場合、「[送信データ上限値設定 \(E-mail\)](#)」(7-90ページ)で設定された上限値が優先されます。

## Bcc配信設定

### Bcc配信を有効にする

Bcc配信を使用したいときに設定します。設定すると、ファクス/イメージ送信のアドレス帳画面で[Bcc配信]キーが表示されます。

### ジョブ状況画面にBcc宛先を表示する

ジョブ状況画面のリストおよび宛先一覧のタブにBcc宛先が表示されます。

## スキャン機能の禁止

リモートPCスキャン、USBメモリースキャンの使用をそれぞれ禁止します。

禁止されていると、基本画面のモード切り替え時、それぞれのモードが薄く表示されます。

## メールフッターのプリセット

メール本文の最終部に、文章を自動的に付加することができます。コーポレートポリシーなど、定型文の付加をするときに便利な機能です。

付加する文章の内容はWebページで設定します。この設定では有効/無効の切り替えのみ可能です。



この設定は、インターネットFax初期設定の「[メールフッターのプリセット](#)」(7-92ページ)と連動します。

## デフォルト宛先設定

初期状態の宛先を登録しておくことにより、宛先を設定することなく、[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーのみで送信ができるようになります。「ログインしたユーザーのE-mailアドレスを適用する」を選択すると、ログインしたユーザーのE-mailアドレスをデフォルト宛先に設定することができます。



- デフォルト宛先を設定すると、基本画面がスキャナーモードに変更されます。
- E-Mail送信スキャン、ファイルサーバー送信スキャン、デスクトップ送信スキャン、共有フォルダー送信スキャンに対して単独の送信先のみ設定可能です。

# インターネットFax設定



インターネットファクス拡張キットを装着しているときに設定が行えます。

## インターネットFax初期設定

インターネットFaxに関する初期設定を行います。

## オート立ち上げモード

[電源]キー (Ⓞ) が“切” のとき (ただし、主電源スイッチは“入”)、インターネットFax受信すると本機を自動で起動してプリントするように設定します。

この設定を解除すると、インターネットFaxを受信しても、受信するだけで[電源]キー (Ⓞ) を“入” にするまでプリントは実行されません。

## 標準圧縮形式設定

インターネットFaxを使用して送信操作を行うときの標準圧縮形式を設定することができます。

設定項目は以下のとおりです。

- MH (G3)
- MMR (G4)

## 音量設定

スピーカーから聞こえる受信音および通信エラー音の大きさを調整することができます。

受信音は、本機がメールサーバーへ新着データを確認し、取り込みを開始して終了すると鳴ります。通信エラー音は、送信先インターネットFaxからの送達確認エラーメール受信時に鳴ります。

## 送信時の原稿内容プリント設定

通信結果表がプリントされた際に、送信原稿内容 (1ページ目の一部) を一緒にプリントするかどうか、以下の中から動作を設定することができます。

- 常にプリント
- エラー時
- プリントしない

次の「[通信結果表プリント設定](#)」を「プリントしない」に設定すると、この設定は無効になります。

## 通信結果表プリント設定

通信結果表をプリントするかどうか、またプリントする場合の条件を設定することができます。下記より、それぞれの動作時の設定を選択してください。

### 通常送信時

- 常にプリント
- 送信失敗時
- プリントしない

### 同報送信時

- 常にプリント
- 送信失敗宛先
- プリントしない

### 受信時

- 常にプリント
- エラー時
- プリントしない

通信結果表がプリントされた際に、送信原稿内容 (1ページ目の一部) を一緒にプリントするかどうかを設定することができます。詳細は「[送信時の原稿内容プリント設定](#)」を参照してください。

## 記録表プリント設定

本機のメモリーに記憶されている通信記録を定期的にプリントすることができます。

通信記録の記憶件数が送受信合わせて200件に達したときに自動的にプリントする、または、指定した時刻（1日1回のみ）になると自動的にプリントするように設定できます。（両方設定することもできます。）



- [時刻指定プリント]のみをにした場合、指定した時刻までに通信記録が200件に達したときは、古い通信記録から順に、プリントされずに消去されます。
- 通信記録表は、手動でプリントすることもできます。システム設定（管理者）の「[リスト/レポートプリント](#)」（7-98ページ）を参照してください。

## 本文印刷設定

インターネットFaxは、メールに添付されたイメージファイルをプリントしますが、メール本文（ヘッダー部、テキスト部）のプリントも行うことができます。

添付ファイルのないメールについても、この設定にしたがってメール本文のみのプリントを行います。



本文プリントは、最大5ページまで可能です。

## メールフッターのプリセット

メール本文の最終部に、文章を自動的に付加することができます。コーポレートポリシーなど、定型文の付加をするときに便利な機能です。

付加する文章の内容はWebページで設定します。この設定では有効/無効の切り替えのみ可能です。



この設定は、スキャナー設定の「[メールフッターのプリセット](#)」（7-90ページ）と連動します。

## インターネットFax送信設定

インターネットFax送信に関する設定を行います。

### 送達確認機能有効設定

インターネットFax送信時に送達確認を要求するように設定します。

### 送達確認待ちタイムアウト時間

インターネットFax送信相手先からの送達確認（返信メール）の待ち時間を1分単位で1～240時間の範囲で設定できます。



「[送達確認機能有効設定](#)」が設定されているときに有効になります。

### 送達エラー受信時の再送信回数設定

送信先インターネットFaxから返信エラーメールを受信した場合に、再送信する回数を0～15回の範囲で設定できます。



「[送達確認機能有効設定](#)」が設定されているときに有効になります。

### 送信データ上限値設定

インターネットFaxで送信する画像データのファイルサイズが大きくなりすぎないように、ファイルサイズの上限値を1MB単位で、1MB～10MBの範囲で設定できます。読み込んだ原稿画像から生成された画像データのファイルサイズが、設定した上限値をこえた場合、その画像データは破棄されます。

上限値を設定しないときは、[無制限]を選択してください。



- この設定は、スキャナー設定の「[送信データ上限値設定 \(E-mail\)](#)」（7-90ページ）と連動します。
- ダイレクト SMTP 送信時の上限値はこの設定に含まれません。

## 回転送信の設定

原稿を以下のサイズで送信するときに、原稿を反時計回りに90°回転して送信するように設定します。(各サイズごとに個別に設定することができます。)

A4、B5R、A5R、8-1/2"x11"、5-1/2"x8-1/2"R、16K



A4Rおよび8-1/2"x11"R原稿は回転しません。

## デフォルト日付発信元送

送信した画像が相手機でプリントされる時、用紙上部に送信時の日付および発信元情報登録の内容(発信元名称、アドレス)をプリントするように設定できます。

## ページ数印字

送信した原稿が相手機でプリントされる際、用紙の上部にページ番号をプリントするように設定できます。

## 宛先ビジー時の再コール設定

(この設定はダイレクトSMTP送信の場合のみ有効です。)

相手機がビジー時に、自動で送信し直すかどうかを設定できます。

### ビジー時の再コール回数

相手機がビジー時に再コールするかどうかを設定します。また再コールするときは再コールする回数を設定できます。設定できる回数は0~15回です。

### ビジー時の再コール間隔

再コールする間隔を設定できます。設定できる時間は1~15分です。

## 通信エラー時の再コール設定

(この設定はダイレクトSMTP送信の場合のみ有効です。)

送信時、通信エラーが発生して送信に失敗したときに、自動で送信し直す設定を行います。

### エラー時の再コール回数

通信エラー時に再コールするかどうかを設定します。また再コールするときは再コールする回数を設定できます。設定できる回数は0~15回です。

### エラー時の再コール間隔

再コールする間隔を設定できます。設定できる時間は1~15分です。

## インターネットFax受信設定

インターネットFax受信に関する設定を行います。

## 定形サイズへの自動縮小プリント

受信したデータに発信元名や発信元アドレスなどの印字情報が付いているとき、実際には定形サイズより若干大きいデータを、自動的に縮小して定形サイズに合わせてプリントする設定を行います。



- 自動縮小しないように設定すると、定形サイズを超えた部分は印字されません。ただし、原稿と等倍でプリントされるため縮小時より画質が優れています。
- 定形サイズとは、A4やB5などの用紙サイズを指します。

## 両面受信設定

受信データをプリントする際、用紙の両面にプリントすることができます。

設定すると2ページ以上の同一用紙サイズデータを受信したときはすべて両面プリントされます。

## 受信データ転送先アドレス登録

本機が何らかのトラブルで受信データをプリントできないときに、受信データを転送するアドレスを登録しておくことができます。

### 転送先アドレス

転送先に指定するアドレスを半角64文字以内で入力してください。

### ダイレクトSMTP

ダイレクトSMTPでの転送を行いたいときに設定します。

### ホスト名またはIPアドレスを別途入力する

ホスト名またはIPアドレスを別途入力するときに設定します。

### ホスト名またはIPアドレス

「ホスト名またはIPアドレスを別途入力する」を有効にしたときに設定します。ホスト名またはIPアドレス半角64文字以内で入力してください。



転送先アドレスを複数登録することはできません。

## レター受信時縮小印字設定

8-1/2"x11"R (レターR) サイズのデータを受信したときに、A4R幅に縮小してプリントできるようにする設定です。



この設定を行っているときは、A4R受信時にも縮小プリントが行われます。

## 受信日時印字設定

受信した日時をプリントするときに設定します。受信した日時をプリントする位置を[受信データ内]、[受信データ外]から選択します。[受信データ内]を設定すると、受信データ上に受信日時をプリントします。[受信データ外]を設定すると、受信データを縮小して、できた余白に受信日時をプリントします。



「定形サイズへの自動縮小プリント」(7-93ページ)を設定していない状態では、受信日時印字設定の[受信データ外]は選択できません。

## POP3通信タイムアウト時間設定

メールサーバー (POP3サーバー) から応答がない場合に、データの受信を中止するまでの待ち時間を、30秒単位で30~300秒の範囲で設定することができます。

## 受信確認サイクル設定

メールサーバー (POP3サーバー) に新着データが届いたかどうかを自動的に確認する間隔を、1分単位で0分~8時間の範囲で設定することができます。0時間0分に設定すると、メールサーバーへの新着データの確認を自動的にはおこないません。



主電源投入時にもメールサーバー (POP3サーバー) への新着データ確認を行います。(ただし0時間0分設定を除く。)

## 排紙設定

インターネットFax受信時の排紙トレイを設定します。本機の構成により、表示される項目は異なります。

## 特定アドレス／ドメイン受信可否設定

登録済みのアドレス／ドメインに対して、受信の許可／拒否をどうかを設定することができます。

| 項目            | 設定内容                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 受信拒否          | 登録したアドレス／ドメインの受信を拒否します。                                                                                                                                                                                                                 |
| 受信許可          | 登録したアドレス／ドメインのみ受信を許可します。                                                                                                                                                                                                                |
| すべて無効         | アドレスやドメインが登録されていても、その登録を無視してすべてを受信します。                                                                                                                                                                                                  |
| 新規登録          | 受信可否設定を行うアドレスまたはドメインを新規に追加します (最大50件)。アドレス／ドメインを半角64文字以内で入力し、[登録]キーをタッチしてください。入力された内容中、1文字目が「@」でなければアドレス、「@」であればドメインと判断されます。(xxx@xx.xxx.comはアドレス、@xx.xxx.comはドメインとみなされます。) アドレスは特定のアドレスを1件指定しますが、ドメインを設定した場合は、同ドメインを含むアドレスすべてに設定を適用します。 |
| 登録アドレス／ドメイン一覧 | 登録されているアドレスとドメインを一覧表示します。この画面でアドレスまたはドメインを選択すると、一覧から削除することができます。                                                                                                                                                                        |



受信可否設定するアドレス／ドメインが1件も登録されていないときは、[新規登録]以外のキーは選択できません。

# ドキュメントファイリング設定

ドキュメントファイリングに関する設定を行います。[ドキュメントファイリング設定]キーをタッチして各設定を行ってください。

## 各種設定

### デフォルトモード設定

ドキュメントファイリング機能でファイリングを行うとき、共有または親展のどちらを標準状態にするかを設定します。

[親展モード]を選択すると、ファイリング時の情報画面の[親展]チェックボックスがになります。

### ソート項目設定

標準フォルダー、ユーザーフォルダー、一時保存フォルダー内に保存しているファイルの表示リストを、以下の項目から、どの項目を優先した表示順にするかを設定できます。

- ファイル名
- ユーザー名
- 日付

### 管理者の権限設定

パスワードを設定しているファイル、およびユーザーフォルダーに対して、パスワードの代わりに管理者パスワードを入力しても、パスワードを解除できるようにする設定です。

また、管理者によってパスワードの変更もできます。

### 一時保存ファイルの全削除

一時保存フォルダーに存在する保護ファイル以外のすべてのファイルを一括削除するときに使用します。

#### 今すぐ削除

このキーをタッチすると、ただちにファイルの一括削除を開始します。

#### 電源ON時に一時保存ファイルを削除する

[電源]キー (⏻) を“入”にしたときに、一時保存フォルダーに存在する保護ファイル以外のすべてのファイルを自動的に一括削除します。

### 標準カラーモード設定

白黒、カラーそれぞれのスキャン保存時の標準状態を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

#### カラー

自動、フルカラー

#### 白黒

白黒2値、グレースケール

### 標準濃度設定

ファイリング時の濃度の標準状態を設定します。[自動]または[手動]のいずれかを選択してください。[手動]を選択した場合は濃度を5段階で設定してください。

#### 標準原稿種類

原稿の種別をあらかじめ選択しておくことにより、原稿にあった画質でスキャンすることができます。

設定項目は以下のとおりです。

- 文字／印刷写真
- 文字／印画紙写真
- 文字
- 印画紙写真
- 印刷写真
- 地図



濃度が[自動]に選択されているときは選択できません。

#### モアレ低減

印刷物の原稿を読み取る場合に発生するモアレ（縞模様）を低減させます。

### 標準解像度設定

再送信時の解像度の標準状態を、以下の中から設定することができます。

- 100X100dpi
- 200X200dpi
- 300X300dpi
- 400X400dpi
- 600X600dpi

---

## カラーデータ圧縮率の設定

カラーでファイルを再送信するときのカラーデータ圧縮率の標準状態を、「低圧縮」、「中圧縮」、「高圧縮」の3段階から選択できます。

---

## 原稿読み込み終了音の設定

原稿読み込み終了音を調整したり、鳴らないようにするとき 사용합니다。

---

## 標準排紙トレイ

スキャン保存したファイルをプリントするときの標準排紙先を設定します。  
本機の構成により、表示される項目は異なります。

---

## 再印刷時の印字メニュー設定禁止

再操作でプリントを行う際、特別機能の「印字メニュー」を設定できないようにします。すでに印字メニューが設定されている場合は、印字メニューの設定が変更できなくなります。  
この機能により、元データと再出力の日付の不一致などを防ぐことができます。

---

## 一括印刷設定

ファイルの一括印刷時、ユーザー名選択画面の[全ユーザー]キーおよび[ユーザー名]キーの選択を禁止します。

---

## 枠消去幅の標準値設定

枠消去時の消去幅の標準値を設定します。枠消去幅、センター消去幅をそれぞれ1mm単位で0mm～20mmの範囲で設定できます。

---

## カードスキャン標準値設定

カードスキャン時の原稿サイズの標準値を設定するときに使用します。  
原稿サイズの標準値の設定は、原稿用紙のX（横）とY（縦）方向ともに1mm単位で25mm～210mmの範囲で設定できます。

### 保存サイズに合わせる

カードスキャン設定画面で[保存サイズにあわせる]キーを常に表示させます。

## ジョブ別再操作設定

保存されているファイルの再操作を許可するかどうか、再操作のジョブおよび保存時のモードごとに設定することができます。



本機の機能の拡張状態により、表示される項目は異なります。

| 項目                                 | 設定内容                                    |
|------------------------------------|-----------------------------------------|
| 印刷                                 | 再操作でのプリントを許可するかどうか、モードごとに設定します。         |
| スキャナー送信                            | 再操作でのスキャナー送信を許可するかどうか、モードごとに設定します。      |
| インターネット Fax 送信<br>(PCインターネットFax含む) | 再操作でのインターネットFax送信を許可するかどうか、モードごとに設定します。 |
| ファクス送信 (PC-Fax含む)                  | 再操作でのファクス送信を許可するかどうか、モードごとに設定します。       |

## ファイルの自動削除設定

ファイルを削除する予定時刻と対象フォルダーを設定しておくことにより、該当するフォルダー内のドキュメントファイルリングデータを自動削除することができます。自動削除の設定は最大3件まで登録できます。この機能を使用する手順は以下のとおりです。

- (1)[設定1]～[設定3]のいずれかを選択する
- (2)自動削除を行う日時を設定する
- (3)対象となるフォルダーを選択する
- (4)保護ファイル、親展ファイルの削除の可否を設定する
- (5)登録した設定を有効にする

| 項目        | 設定内容                                                                                                                                                                              |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スケジュール    | 自動削除を行う周期を選択します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• 毎日：指定時刻になると、自動削除を行います。</li> <li>• 毎週：指定した曜日の指定時刻になると、自動削除を行います。</li> <li>• 毎月：指定した日にちの指定時刻になると、自動削除を行います。</li> </ul> |
| 対象フォルダー   | 個別にフォルダーを選択する場合は[フォルダー選択]を選択し、任意のフォルダーを選択してください。今後登録するフォルダーを含む、すべてのフォルダーを対象とする場合は[全フォルダー(今後登録するフォルダーも含む)]を選択します。                                                                  |
| 保護ファイルも削除 | この設定を有効にすると、保護ファイルも自動削除の対象になります。                                                                                                                                                  |
| 親展ファイルも削除 | この設定を有効にすると、親展ファイルも自動削除の対象になります。                                                                                                                                                  |

### 今すぐ削除

フォルダーが設定されている状態で実行すると、日時の設定に関係なく、即時にフォルダー内のデータが削除されます。

---

---

# リスト／レポートプリント

管理者にしか参照できないリストやレポートをプリントするときに使用します。[リスト/レポートプリント]キーをタッチして各設定を行ってください。

---

## 管理者設定リスト

それぞれの機能に関する管理者設定の一覧をプリントすることができます。

- コピー
- プリンター
- ファクス／イメージ送信
- ドキュメントファイリング
- セキュリティ
- 共通
- 全管理者設定リスト

---

## 通信記録表

以下の通信記録表を個別にプリントします。

- スキャナー通信記録表
- インターネットFax通信記録表
- ファクス通信記録表

---

## 受信転送リスト

受信設定および転送設定に関する以下のリストをプリントすることができます。

- 受信拒否番号表
- 受信可否アドレス／ドメイン表
- ネットワーク転送テーブルリスト
- 管理者への転送リスト

---

## Web設定リスト

(ネットワーク有効時)

Webページで行う設定の一覧をプリントします。

---

## メタデータセットリスト

(アプリケーション拡張キット装着時)

Webページで登録されたメタデータセットの一覧をプリントします。

# セキュリティ設定

セキュリティに関する設定を行います。[セキュリティ設定]キーをタッチして各設定を行ってください。

## SSL設定

ネットワーク上のデータ送受信にSSL通信を適用することができます。

SSLとは、ネットワーク上で情報を暗号化して送受信することができるプロトコルです。データを暗号化し、重要な情報などを安全に送受信することができます。

以下のそれぞれのプロトコルで設定します。

### サーバポート

- HTTPS： HTTPを用いた通信にSSL暗号化を適用します。
- IPP-SSL： IPPを用いた通信にSSL暗号化を適用します。
- マシンのWebページへのHTTP接続をHTTPSに転送する：この設定を有効にすると、本機にHTTPで接続しようとする通信をHTTPSの通信へ転送します。

### クライアントポート

- HTTPS： HTTPを用いた通信にSSL暗号化を適用します。
- FTPS： FTPを用いた通信にSSL暗号化を適用します。
- SMTP-SSL： SMTPを用いた通信にSSL暗号化を適用します。
- POP3-SSL： POP3を用いた通信にSSL暗号化を適用します。
- LDAP-SSL： LDAPを用いた通信にSSL暗号化を適用します。

### 暗号化の強度

暗号化の強度を3段階で設定することができます。

## IPsec設定

ネットワーク上のデータ送受信にIPsecを適用することができます。

IPsecを適用すると、IPのパケットを暗号化するためWebブラウザなどの上位のアプリケーションを意識することなく、データを安全に送受信することができます。

本設定では、IPsecの有効／無効の設定のみ行い、IPsecの詳細については、Webページで設定してください。

有効にする時には以下の点にご注意ください。

- 設定が反映されるまでにしばらく時間がかかることがあります。その間は本機へ接続できません。
- Webページで設定が正しく行われていないと、本機への接続ができず、プリント、スキャン、Webページの表示等ができなくなる場合があります。その際は、本機からこの設定を無効にし、Webページで正しく設定し直してください。

## IEEE802.1X設定

IEEE802.1Xを使用して、接続されたユーザーを認証し、本機を利用することができます。

IEEE802.1Xとは、有線LANや無線LANで使用される認証について規定したプロトコルです。

IEEE802.1Xを用いた認証を使用することにより、認証された機器のみネットワークの利用を許可することが可能となり、第三者によるネットワークの不正利用を防ぐことが可能です。

本設定では、IEEE802.1Xの有効／無効の設定のみを行います。IEEE802.1Xの詳細については、Webページで設定してください。なお、Webページの設定によっては、本機への接続ができなくなり、プリント、スキャン、Webページの表示などができなくなる場合があります。その際は、この設定を無効にし、Webページの設定を変更してください。

## 個人情報および本機内データの初期化

本機に保存されているデータを消去し、システム設定値などを工場出荷時の状態にもどすことができます。

この機能を実行した後は本機はロックされ使用することができません。

使いたい場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 禁止設定

各機能の禁止に関する設定を行います。[禁止設定]キーをタッチして各設定を行ってください。



これらの禁止設定は、各設定内の禁止設定と重複しており、設定した内容はお互いに連動しています。

## プリンター環境設定

(プリンター拡張キット装着時)

### 白紙プリントの禁止

白紙ページのプリントを禁止するときに使用します。

## ユーザー管理

### 無効ユーザーの印刷禁止

プリンタードライバーで適正なユーザー情報を入力していないジョブや、WebページからFTPサーバーのデータをプリントするときなど、本機にユーザー情報を登録していないユーザーによるプリントジョブを禁止することができます。

## 操作設定

### オートクリアモードの禁止

オートクリアモードを禁止するときに使用します。

### ジョブ優先機能の禁止

ジョブ優先機能を禁止し、ジョブ状況画面に[優先]キーを表示しないように設定します。

### 印刷時の追い越し禁止

印刷時の追い越し（指定の用紙がトレイに無くプリントが停止\*している場合に、そのジョブを追い越して待機中のジョブデータを優先プリントする動作）を行わないようにするときに使用します。

\* 出力中に用紙がなくなった場合を除く

### キーリピートの禁止

キーリピート機能を禁止するときに使用します。

### 日付・時刻設定の変更禁止

日付・時刻設定の変更を禁止するときに使用します。

### 表紙／合い紙機能の使用禁止

表紙や合い紙の挿入機能の使用を禁止にするときに使用します。

## デバイス設定

### 原稿送り装置の使用禁止

原稿自動送り装置の使用を禁止するときや原稿自動送り装置が故障したときに使用します。（原稿台（ガラス面）からの原稿読み込みは可能です。）

### 両面機能の使用禁止

両面プリント機能を禁止するときや両面機能が故障したときに使用します。

### 給紙デスクの使用禁止

(給紙デスク装着時)

給紙デスクの使用を禁止するときや故障したときに使用します。

### 給紙トレイ設定の禁止

給紙トレイの設定を禁止するときに使用します。

### フィニッシャーの使用禁止

(フィニッシャー装着時)

フィニッシャーの使用を禁止するときや故障したときに使用します。

### オフセットの使用禁止

オフセットを禁止するときに使用します。

### ステープルの使用禁止

(フィニッシャー装着時)

ステープルを禁止するときやフィニッシャーのステープルユニットが故障したときに使用します。

### パンチの使用禁止

(パンチユニット装着時)

パンチを禁止するときやフィニッシャーのパンチユニットが故障したときに使用します。

## カラーモードの使用禁止

(カラー関連トラブル発生時)

カラー関連のトラブルが発生してプリントができない場合、カラーモードを使用禁止にして一時的に白黒プリントのみを可能にすることができます。



この機能は、あくまで応急処置です。カラーモードの使用禁止は、いったん設定するとお客様には解除できなくなります。サービス担当者による問題解決と合わせて設定の解除が必要ですので、すみやかに買いあげ販売店またはスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口にご連絡してください。

## 連結送信禁止

連結送信を禁止します。

(通常は設定する必要はありません。)

## 連結受信禁止

連結受信を禁止します。

(通常は設定する必要はありません。)

## コピー設定

### サイズ／方向警告時のコピー禁止

コピー用紙と原稿の方向が異なる場合、または最適サイズのコピー用紙がセットされていない場合のコピーを禁止することができます。



「[回転コピーの設定](#)」(7-78ページ)が解除されているときに有効になります。

### 登録したコピー条件の書き換え禁止

コピー条件登録機能(ジョブプログラム)で登録したコピー条件の書き換えや消去を禁止するときに使用します。

### 両面コピー時手差しトレイ使用禁止

両面コピーを行うときに手差しトレイからの給紙を禁止するときに使用します。

手差しトレイは、ラベル紙、OHPフィルムなど両面コピーが禁止された特殊紙の給紙によく使用されます。両面コピーが禁止された特殊紙が反転ユニット部に入ると紙づまりや故障の原因となります。両面コピーが禁止された特殊紙をよく使用する場合は、この設定を行うことをお勧めします。

### 用紙自動選択の禁止

用紙自動選択機能を禁止するときに使用します。

設定すると、原稿台(ガラス面)や原稿自動送り装置の原稿セット台に原稿をセットしても同一サイズの用紙を自動選択しません。

## プリンター設定

### 注意通告ページの出力禁止

注意通告ページのプリントを禁止するときに使用します。

### テストページの出力禁止

テストページのプリントを禁止するときに使用します。設定すると、システム設定のプリンターテストページのプリントはできません。

### 自動用紙選択時の手差しトレイ選択禁止

用紙選択が自動となっている場合に、手差しトレイを対象からはずすことができます。手差しトレイに特殊紙などをセットすることが多い場合にお勧めします。

### USB メモリーダイレクトプリントの禁止

USB メモリーダイレクトプリントを禁止するときに使用します。

### 共有フォルダーダイレクトプリントの禁止

共有フォルダーダイレクトプリントを禁止するときに使用します。

## ファクス／イメージ送信設定

### 各機能の禁止

#### 表示順番切り替えの禁止

アドレス帳などの、検索番号順／昇順／降順の表示順番の並べ替えを禁止します。設定すると、アドレス帳画面などのタブをタッチしてもソートが行われません。常に表示順番は禁止時に選択されていた表示順番になります。

#### 回線2送信禁止設定

(回線増設キット装着時)

増設した回線2を使用時の送信を禁止するときに使用します。

#### スキャン機能の禁止

リモートPCスキャン、USBメモリースキャンの使用をそれぞれ禁止します。禁止されていると、基本画面のモード切り替え時、それぞれのモードが薄く表示されます。

### 登録禁止設定

#### 本体からの宛先登録の禁止設定

本機の操作による宛先の登録を禁止します。以下の項目でそれぞれ設定してください。

- グループ(直接入力)
- グループ(アドレス帳)
- ワンタッチ

全選択：すべての項目を選択します。

選択解除：すべての項目の選択を解除します。

**Web 画面からの宛先登録の禁止設定**

(ネットワーク有効時)

Webページからの宛先の登録を禁止します。

以下の項目でそれぞれ設定してください。

- グループ (直接入力)
- グループ (アドレス帳)
- ワンタッチ

全選択：すべての項目を選択します。

選択解除：すべての項目の選択を解除します。

**プログラムの登録禁止**

プログラム登録時にアドレス帳の使用を禁止します。

以下の項目でそれぞれ設定してください。

- E-mail
- FTP
- デスクトップ
- 共有フォルダー
- インターネットFax (ダイレクトSMTP含む)
- ファクス

全選択：すべての項目を選択します。

選択解除：すべての項目の選択を解除します。

**メモリーボックスの登録禁止**

メモリーボックスにおける各種登録を禁止します。

以下の項目でそれぞれ設定してください。

掲示板、親展、中継同報 (直接入力)、中継同報 (アドレス帳)

全選択：すべての項目を選択します。

選択解除：すべての項目の選択を解除します。

**グローバルアドレス検索からの宛先**

(ネットワーク有効時)

グローバルアドレス検索からの宛先登録を禁止します。

以下の項目でそれぞれ設定してください。

E-mail、インターネットFax、ファクス

全選択：すべての項目を選択します。

選択解除：すべての項目の選択を解除します。

**ネットワークスキャナーツールからの登録禁止**

(ネットワーク有効時)

ネットワークスキャナーツール Liteからの宛先の登録を禁止します。

**送信禁止設定**

送信に関する次の操作をそれぞれ禁止します。

**ファクス/イメージ送信モードからの[再送信]の禁止**  
ファクス/イメージ送信モードの基本画面で、[再送信]キーの使用を禁止します。

**アドレス帳からの選択禁止**

アドレス帳からの送信先の選択を禁止します。

以下の項目でそれぞれ設定してください。

- E-mail
- FTP
- デスクトップ
- 共有フォルダー
- インターネットFax (ダイレクトSMTP含む)
- ファクス

全選択：すべての項目を選択します。

選択解除：すべての項目の選択を解除します。

**直接入力の禁止**

アドレスなどの宛先の直接入力を禁止します。

以下の項目でそれぞれ設定してください。

- E-mail
- 共有フォルダー
- インターネットFax (ダイレクトSMTP含む)
- ファクス

全選択：すべての項目を選択します。

選択解除：すべての項目の選択を解除します。

**PCインターネットFaxからの送信禁止**

(インターネットファクス拡張キット装着時)

PCインターネットFaxからの送信を禁止します。

**PC-Faxからの送信禁止**

PC-Faxからの送信を禁止します。

---

**ドキュメントファイリング設定****再印刷時の印字メニュー設定禁止**

再操作でプリントを行う際、特別機能の「印字メニュー」を設定できないようにします。すでに印字メニューが設定されている場合は、印字メニューの設定が変更できなくなります。

この機能により、元データと再出力の日付の不一致などを防ぐことができます。

**一括印刷設定**

ファイルの一括印刷時、ユーザー名選択画面の[全ユーザー]キーおよび[ユーザー名]キーの選択を禁止します。

## 管理者パスワードの変更

管理者パスワードを変更するときに使用します。[管理者パスワードの変更]キーをタッチして設定を行ってください。パスワードを変更される際は、新しいパスワードを必ず覚えておいてください。(管理者パスワードは定期的に変更されることをお勧めします。)

### パスワード

5~32文字で新しく設定する管理者パスワードを入力してください。

### パスワード (確認)

確認のため、新しいパスワードをもう一度入力してください。



工場出荷時のパスワードについては、スタートガイドの「本機の管理者の方へ」を参照してください。

## プロダクトキー入力

下記の拡張機能を使用するためのプロダクトキーの入力を行います。[プロダクトキー入力]キーをタッチして各設定を行ってください。



- 周辺装置の装着状態によっては、いくつかの設定が使用できません。
- 入力するプロダクトキーは、お買いあげの販売店にお問い合わせください。

### シリアルNo.表示

プロダクトキーを取得するのに必要な本機のシリアル番号を表示します。

### バーコード用フォントキット

バーコード用フォントキットのプロダクトキーを入力します。

### 漢字フォントキット

漢字フォントキットのプロダクトキーを入力します。

### PS拡張キット

PS拡張キットのプロダクトキーを入力します。

### インターネットFax拡張キット

インターネットファクス拡張キットのプロダクトキーを入力します。

### E-mailアラート／ステータス

E-mailアラート／ステータスのプロダクトキーを入力します。

### アプリケーション拡張キット

アプリケーション拡張キットのプロダクトキーを入力します。

### アプリケーション通信キット

アプリケーション通信キットのプロダクトキーを入力します。

### 外部アカウントキット

外部アカウントキットのプロダクトキーを入力します。

### XPS拡張キット

XPS拡張キットのプロダクトキーを入力します。

# データバックアップ

本機に保存されている、登録データや設定内容をUSBメモリーに保存することができます。

-  USBメモリーを装着しているときに設定が行えます。
- システム設定使用中や、ジョブの実行中、予約中のジョブがある場合は、この機能は使用できません。
- データをインポートできる複合機については、お買いあげ販売店またはスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

## ストレージバックアップ

USBメモリーを介して、本機で登録したアドレス帳やユーザー情報などのデータの書き出し／取り込みを行います。

### エクスポート

USBメモリーにデータを書き出します。

### インポート

「エクスポート」でUSBメモリーに書き出したデータを、本機に取り込みます。

## デバイスクローニング

デバイスクローニングとは、本機の各種設定情報をXML形式で保存して、他の複合機にコピーする機能です。この機能を使用すると、複数の複合機ごとに繰り返し同じ設定をする手間が省けます。

### エクスポート

USBメモリーにデータを書き出します。

### インポート

「エクスポート」でUSBメモリーに書き出したデータを、複合機に取り込みます。

-  以下の内容は、デバイスクローニングでコピーされません。
- リスト印字やファクスのデータ転送等の実行系項目
- カウンタ表示、デバイス状態表示等の表示系項目
- 本体 IP アドレス、デバイス名、管理者パスワード、ファクス／イメージ送信の発信元など、複合機固有の情報
- 画面コントラスト／カラー調整など、各ハード固有の調整値

# システム設定の保存／呼出し

システム設定の設定内容を、独自に保存した設定内容に復帰させたり、工場出荷時の状態に戻すことができます。[システム設定の保存/呼出し]キーをタッチして各設定を行ってください。

## 工場出荷時設定リセット

システム設定で設定した内容を工場出荷時の状態に戻します。戻す前に現在の設定内容を控えておきたい場合は、システム設定（管理者）の「[リスト／レポートプリント](#)」（7-98ページ）であらかじめプリントしておいてください。



設定の変更は、本機の再起動後に有効になります。本機の再起動については、「1. お使いになる前に」の「[電源を“入れる”・“切る”](#)」（1-14ページ）を参照してください。

## 現在の設定保存

システム設定で設定した内容をメモリーに保存します。保存内容は[電源]キー（）を“切”にしても消えません。保存した設定を読み出すときは、次の項目で説明する「[保存設定値の呼出し](#)」を使用します。

### 保存しない項目

- ネットワーク設定：ネットワーク設定が予期せぬ設定となり、ネットワークにダメージを与える可能性があるため対象外とします。
- 各プロダクトキー：プロダクトキーの再発行を伴う場合があるので対象外とします。

## 保存設定値の呼出し

「[現在の設定保存](#)」で保存した内容を読み出して、保存されている設定に復帰させるときに使用します。現在設定している内容は、読み出した内容に変更されません。

# Sharp OSA設定



この設定は外部アカウントキットまたはアプリケーション通信キットを装着している時に使用できます。

## 外部アカウント設定

### 外部アカウント管理

この設定を有効にすると、本機は外部集計モードになり、外部アカウントアプリケーションによる集計機能が使用可能になります。

### 外部アカウントアプリケーションによる認証を有効にする

この設定を有効にすると、本機は外部認証モードになります。本機へのアクセスは外部アカウントアプリケーションにより制御されます。



設定の変更は、本機の再起動後に有効になります。本機の再起動については、「1. お使いになる前に」の「電源を“入れる”・“切る”」(1-14ページ)を参照してください。

## USBドライバー設定

外部アカウントキットまたはアプリケーション通信キットを装着時に、接続するUSB機器のドライバーを設定します。

### 外部キーボード

外部キーボードのドライバーで、内部ドライバーか外部ドライバーのどちらを使用するか選択します。

### ICカードリーダーライター

ICカードリーダーライターのドライバーで、内部ドライバーか外部ドライバーのどちらを使用するか選択します。

### USBメモリー

USBメモリーのドライバーで、内部ドライバーか外部ドライバーのどちらを使用するか選択します。

### 暗号化の強度

外部ドライバーを使用して通信する際の暗号化強度を選択します。

なし、AES-128、AES-256から選択してください。



- 外部ドライバーを選択したときは、通常では、接続したUSB機器を未接続として扱い、使用できなくなります。
- 設定の変更は、本機の再起動後に有効になります。本機の再起動については、「1. お使いになる前に」の「電源を“入れる”・“切る”」(1-14ページ)を参照してください。
- 本機に接続しているUSB機器を確認したいときは、「USBデバイス確認」(7-31ページ)を参照してください。

## ジョブ処理の優先度設定

Sharp OSAアプリケーション上で再生する動画の再生速度を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

- プリント優先
- 中間
- 動画再生優先



「動画再生優先」または「中間」を選択すると、本機のジョブ（プリントなど）の処理速度が低下する場合があります。プリントジョブの処理速度を優先したい場合は、「プリント優先」を選択してください。

# ファクス機能システム設定

ここでは、ファクス機能特有のシステム設定について記載しています。

## ファクス機能システム設定（一般）リスト

以下は、一般の権限で表示されるファクス機能システム設定の項目リストと工場出荷時の設定値です。管理者権限の設定項目は、「[ファクス機能システム設定（管理者）リスト](#)」（7-113ページ）を参照してください。

 本機の仕様や周辺装置の装着状態によっては、いくつかの設定が使用できません。

### 宛先登録

| 設定項目                           | 工場出荷時 | ページ   |
|--------------------------------|-------|-------|
| ■ <a href="#">宛先登録</a>         |       | 7-108 |
| ● <a href="#">アドレス帳</a>        | —     | 7-108 |
| ● <a href="#">Fコードメモリーボックス</a> | —     | 7-110 |

### 受信／転送設定

| 設定項目                      | 工場出荷時 | ページ   |
|---------------------------|-------|-------|
| ■ <a href="#">受信／転送設定</a> |       | 7-112 |
| ● <a href="#">ファクス設定</a>  |       | 7-112 |
| ▶ <a href="#">受信設定</a>    | 自動受信  |       |
| ▶ <a href="#">複数部数印字</a>  | 無効    |       |
| ▶ <a href="#">ステーブル*</a>  | 無効    |       |
| ▶ <a href="#">受信データ転送</a> | —     |       |

\*フィニッシャー装着時

# 宛先登録

## アドレス帳

ここでは「宛先登録」におけるファクス特有の設定項目について説明しています。ファクス以外の機能でも共通で使用する設定項目については、「[宛先登録](#)」(7-15ページ)を参照してください。

[アドレス帳]キーをタッチすると、次の画面が表示されます。



### • [新規登録]キー

宛先を新規に追加します。

### • リスト表示

現在登録されている宛先の一覧が表示されます。各宛先を選択すると、その宛先の修正／削除画面が表示されます。

## 宛先を登録する

上記画面で[新規登録]キーをタッチすると、登録画面が表示されます。宛先は合計1000件まで登録できます。設定項目については「[設定項目一覧](#)」(7-109ページ)を参照してください。

 システム設定（管理者）の「[本体からの宛先登録の禁止設定](#)」(7-87ページ)が設定されている場合、該当する機能の宛先は登録できません。

## 宛先を修正／削除する

上記画面のリストから宛先を選択すると、その宛先の修正／削除画面が表示されます。設定項目については「[設定項目一覧](#)」(7-109ページ)を参照してください。宛先の削除は[削除]キーで行います。

 **ワンタッチ／グループダイヤルが修正または削除できないときは…**  
 次の場合ワンタッチ／グループダイヤルの修正または削除はできません。

- 送信予約中または通信中の場合
- グループダイヤルに含まれている場合
- プログラムに含まれている場合
- Fコード中継同報通信の転送先に設定されている場合
- 「[本体からの宛先登録の禁止設定](#)」(7-87ページ)で本体からの宛先登録が禁止されているとき

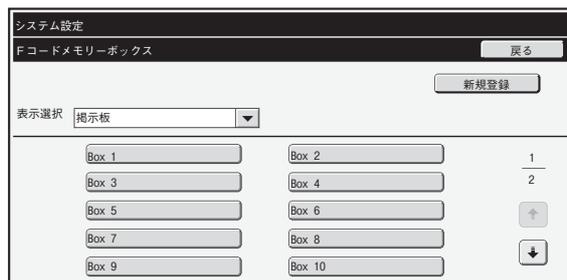
送信予約中または通信中の場合は、通信を中止または終了してから修正／削除を行ってください。  
 グループなどに含まれている場合は、含まれているグループなどから削除し、修正／削除を行ってください。  
 転送先に設定されている場合は、転送先から解除し、修正／削除を行ってください。宛先登録が禁止されているときは、設定を解除してから修正／削除を行ってください。

## 設定項目一覧

| 項目               | 設定内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 共通の登録内容          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 宛先のタイプ           | アドレス帳に登録する宛先の種類を選択します。<br>ここでは[ファクス]を選択してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 検索番号             | 検索時に使用する番号を設定します。空いている若い番号が自動的に入力されます。お好みの番号に変更したいときは、0001から1000の範囲で数字を入力してください。ただし、すでに登録されている番号は使用できません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 宛先名              | 宛先の名称を全角／半角36文字以内で入力します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 検索文字             | 全角／半角10文字以内で検索文字を入力します。ここで入力する文字により、50音インデックス内での分類とワンタッチキーの表示順が決定されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| キー名称             | 宛先名とは別にアドレス帳に表示させたい名称がある場合に入力します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| ユーザーインデックス       | ユーザーインデックス表示に切り替えたときに分類されるインデックスを選択します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 得意先インデックスにも登録する  | よく使う宛先を[得意先]インデックスに登録しておくことができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| ファクス番号           | 宛先のファクス番号を半角64文字以内で入力します。<br><b>番号の途中でポーズ（待ち時間）を入力するときは…</b><br>ポーズ（待ち時間）を入力したい場所で[-]キーをタッチしてください。<br><b>Fコード（サブアドレス、パスコード）を入力するときは…</b><br>(1) 相手先ファクス番号を入力する<br>(2) [/]キーをタッチする<br>(3) サブアドレス（20桁以内）を入力する<br>(4) [/]キーをタッチする<br>(5) パスコード（20桁以内）を入力する<br>相手先がパスコードを設定していない場合、パスコードの入力の操作は不要です。<br>入力できる相手先番号は、すべて含めて64桁ですが、画面に表示されるのは32桁までです。                                                                                            |
| 送信回数（回線増設キット装着時） | 送信する回線を指定することができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 国際通信モード          | 登録するファクス送信時の通信速度や国際通信モードの設定をします。適切な設定を行うことで通信エラーを解消することができます。<br><b>通信速度について</b><br>33.6kbps、14.4kbps、9.6kbps、4.8kbpsのいずれかに設定できます。数値が大きいほど高速でファクス通信を行います。<br>海外への通信など、通信回線の回線事情が悪く、あらかじめどの通信速度が最適かわかっているときは、通信速度の設定を変更してください。通信回線の回線事情が不明のときは、通信速度の設定は変更しないでください。<br><b>国際通信モードについて</b><br>なし、モード1、モード2、モード3のいずれかに設定できます。<br>海外へファクスを送信するときは、回線の状態によって画像が乱れたり、通信が中断してしまうことがあります。海外への通信でエラーがよく起きる場合は、モード1～3をそれぞれ試してみて、正常に通信できるモードを設定してください。 |

# Fコードメモリーボックス

Fコードを使用した各種通信を行うためのメモリーボックスを登録します。  
[Fコードメモリーボックス]キーをタッチすると、次の画面が表示されます。



- **[新規登録]キー**

メモリーボックスを新規に追加します。

- **リスト表示**

現在登録されているメモリーボックスの一覧が表示されます。各メモリーボックスを選択すると、そのメモリーボックスの修正／削除画面が表示されます。

## メモリーボックスを登録する

上記画面で[新規登録]キーをタッチすると、登録画面が表示されます。Fコードメモリーボックスは、各機能（掲示板、親展、中継同報）の合計で100個まで登録できます。

設定項目については「[設定項目一覧](#)」（7-111ページ）を参照してください。

## メモリーボックスを修正／削除する

上記画面のリストからメモリーボックスを選択すると、そのボックスの修正／削除画面が表示されます。

設定項目については「[設定項目一覧](#)」（7-111ページ）を参照してください。

メモリーボックスの削除は[削除]キーで行います。

## 設定項目一覧

| 項目                             | 設定内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>各属性で共通の項目</b>               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| ボックスのタイプ                       | <p>メモリーボックスの属性を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 掲示板： Fコード掲示板通信を行うためのメモリーボックスを登録します。ここで登録したサブアドレスとパスコードは、相手側が本機に対してFコードポーリング受信の送信要求を行うときに必要になります。</li> <li>• 親展： Fコード親展通信を行うためのメモリーボックスを登録します。また、親展受信したデータをプリントするためのプリントパスコードを登録します。ここで登録したサブアドレスとパスコードは、相手側が本機に対してFコード親展送信を行うときに必要になります。</li> <li>• 中継同報： Fコード中継同報送信を行うためのメモリーボックスを登録します。また、受信したデータの転送先を30件まで登録できます。ここで登録したサブアドレスとパスコードは、相手側が本機に対してFコード中継同報指示送信を行うときに必要になります。</li> </ul> |
| ボックス名                          | 登録するメモリーボックスの名前を全角/半角18文字以内で入力します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| サブアドレス/パスコード                   | サブアドレスとパスコードを入力します。入力できるサブアドレスおよびパスコードは、ともに41文字までです。サブアドレスとパスコードは「/ (スラッシュ)」で区切ってください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <b>親展メモリーボックス登録時に表示される項目</b>   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| プリントパスコード                      | 親展時のプリントパスコードを設定します。4桁の数字を入力してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <b>中継同報メモリーボックス登録時に表示される項目</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 転送先                            | <p>中継同報時の転送先を選択します。アドレス帳より転送先に指定する宛先を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アドレス帳： アドレス帳から宛先を選択します。</li> <li>• 直接入力： アドレス帳に目的の宛先が登録されていない場合、直接宛先を入力することができます。各モードでの宛先登録と同じ要領で宛先を入力してください。</li> <li>• 宛先一覧： 選択している宛先の一覧を表示します。登録を取りやめたい宛先がある場合は、その宛先を選択して解除することができます。</li> </ul>                                                                                                                                                             |

-  • 新しくメモリーボックスを登録するときは、すでに登録されているメモリーボックスと同じサブアドレスを使用することはできません。ただし、パスコードは同じものを使うことができます。
- パスコードの登録は省略することができます。
  - サブアドレスの入力には、「\*」「#」を使用できません。
  - プリントパスコードは忘れないようにしてください。万一忘れたときは、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご相談ください。

# 受信／転送設定

受信と転送に関する各種設定を行います。

## ファクス設定

「ファクス設定」を行う場合の表示内容は次の項目です。

| 項目      | 設定内容                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 受信設定    | ファクス受信時の受信方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動受信：着信があると呼出音を鳴らしてから自動的にファクスを受信します。</li> <li>• 手動受信：お手持ちの電話機（外部電話機）を接続しているときに使用できます。お手持ちの電話機で電話に出てから手動操作でファクスを受信します。</li> <li>• 留守接続：留守番電話の機能を持った電話機を接続しているときに使用できます。着信があったときにお手持ちの電話機の留守番電話機能で相手のかたのメッセージを録音します。</li> </ul> |
| 複数部数印字  | 受信データを2部以上プリントするかどうかを設定します。部数の設定は「 <a href="#">排紙設定</a> 」(7-121ページ)で行います。                                                                                                                                                                                                                  |
| ステーブル   | ステーブルするかどうかを設定します。(フィニッシャー装着時のみ) 綴じかたの設定は「 <a href="#">排紙設定</a> 」(7-121ページ)で行います。                                                                                                                                                                                                          |
| 受信データ転送 | 本機が用紙切れやトナー切れなどでプリントできなくなったときに、受信したデータをあらかじめ登録されている他のファクスに転送します。                                                                                                                                                                                                                           |

-  • プリント中の受信データを転送する場合はプリントできなかったページ以降を転送します。
- 転送したファクスはファクス送信ジョブとなります。送信の中止やエラーなどで送信が中止されると、本機の受信データとなりプリント待ちになります。
- 受信転送では受信されているデータをすべて転送します。ただし、Fコード通信の親展メモリーボックスの受信データは転送できません。
- 転送先宛先番号の登録方法は、システム設定（管理者）の「[受信データ転送先電話番号登録](#)」(7-120ページ)を参照してください。
- 転送できる受信データがないときや転送先を登録していないときは、転送できません。
- 「[受信データ印字ホールド設定](#)」(7-86ページ)が有効に設定されている場合、パスワードの入力を要求されます。数字キー（10キー）で正しいパスワードを入力してください。

# ファクス機能システム設定（管理者）リスト

以下は、管理者の権限で表示されるファクス機能システム設定の項目リストと工場出荷時の設定値です。一般権限項目の詳細は、「[ファクス機能システム設定（一般）リスト](#)」（7-107ページ）を参照してください。

-  システム設定（管理者）を使用する方法については、「[システム設定（管理者）を行うには](#)」（7-33 ページ）を参照してください。
- 本機の仕様や周辺装置の装着状態によっては、いくつかの設定が使用できません。

## ファクス／イメージ送信設定

| 設定項目                             | 工場出荷時                           | ページ   |
|----------------------------------|---------------------------------|-------|
| ■ <a href="#">ファクス／イメージ送信設定</a>  |                                 | 7-116 |
| ● <a href="#">ファクス設定</a>         |                                 | 7-116 |
| ▶ <a href="#">ファクス初期設定</a>       |                                 | 7-116 |
| ◆ <a href="#">ダイヤル発呼信号設定</a>     | トーン                             | 7-116 |
| ◆ <a href="#">オート立ち上げモード</a>     | 有効                              | 7-116 |
| ◆ <a href="#">ポーズ時間の設定</a>       | 2秒                              | 7-116 |
| ◆ <a href="#">ファクス宛先確認機能</a>     | 無効                              | 7-116 |
| ◆ <a href="#">音設定</a>            |                                 | 7-116 |
| ・オンフック                           | 音量：5                            |       |
| ・呼出音                             | 音量：5                            |       |
| ・回線モニター                          | 音量：5                            |       |
| ・受信終了音                           | 音量：5・音色パターン：3<br>通信終了音時間：3秒     |       |
| ・送信終了音                           | 音量：5・音色パターン：3<br>通信終了音時間：3秒     |       |
| ・送受信エラー音                         | 音量：5・音色パターン：3<br>通信終了音時間：0.3秒ごと |       |
| ◆ <a href="#">リモート切替番号設定</a>     | 55                              | 7-116 |
| ◆ <a href="#">ハンドセット接続</a>       | 無効                              | 7-116 |
| ◆ <a href="#">外部電話接続</a>         | 無効                              | 7-116 |
| ◆ <a href="#">電話／ファクス自動切替設定</a>  | 無効                              | 7-117 |
| ◆ <a href="#">ダイヤルイン設定</a>       | 無効                              | 7-117 |
| ・PBダイヤルイン                        | 無効                              |       |
| ・モデムダイヤルイン                       | 無効                              |       |
| ◆ <a href="#">Fネット設定</a>         | 無効                              | 7-117 |
| ◆ <a href="#">ナンバーディスプレイ設定</a>   | 無効                              | 7-117 |
| ◆ <a href="#">留守番電話接続設定</a>      | 無効                              | 7-117 |
| ◆ <a href="#">送信時の原稿内容プリント設定</a> | エラー時                            | 7-118 |

| 設定項目               | 工場出荷時              | ページ   |
|--------------------|--------------------|-------|
| ◆ 通信結果表プリント設定      |                    |       |
| • 通常送信時            | 送信失敗時              | 7-118 |
| • 同報送信時            | 常にプリント             |       |
| • 受信時              | プリントしない            |       |
| • 親展受信時            | プリントする             |       |
| ◆ 記録表プリント設定        |                    |       |
| • メモリーフル時自動プリント    | 無効                 | 7-118 |
| • 時刻指定プリント         | 無効                 |       |
| ◆ ECM              | 有効                 | 7-118 |
| ▶ ファクス送信設定         |                    | 7-119 |
| ◆ 自動縮小送信           | 有効                 | 7-119 |
| ◆ 回転送信の設定          | すべて有効              | 7-119 |
| ◆ クイックオンライン送信      | 有効                 | 7-119 |
| ◆ ページ数印字           | 有効                 | 7-119 |
| ◆ デフォルト日付発信元送付     | 有効                 | 7-119 |
| ◆ 日付・発信元印字位置設定     | 送信データ外             | 7-119 |
| ◆ 宛先ビジー時の再コール設定    | 再コールする・回数：2回・間隔：3分 | 7-119 |
| ◆ 通信エラー時の再コール設定    | 再コールする・回数：2回・間隔：3分 | 7-119 |
| ▶ ファクス受信設定         |                    | 7-120 |
| ◆ 自動受信コール回数設定      | 2回                 | 7-120 |
| ◆ 手動受信から自動受信への切替設定 | 無効                 | 7-120 |
| ◆ 両面受信設定           | 無効                 | 7-120 |
| ◆ 定形サイズへの自動縮小プリント  | 有効                 | 7-120 |
| ◆ 受信データプリント条件設定    | 等倍または縮小してプリント      | 7-120 |
| ◆ 受信データ転送先電話番号登録   | —                  | 7-120 |
| ◆ レター受信時縮小印字設定     | 無効                 | 7-120 |
| ◆ 受信日時印字設定         | 無効                 | 7-121 |
| ◆ 排紙設定             | 本機構成により異なる         | 7-121 |
| ▶ 特定番号受信可否設定       | 無効                 | 7-121 |
| ▶ ポーリング保護設定        | 有効                 | 7-121 |
| ▶ 回線2の設定※          |                    | 7-122 |
| ◆ ダイヤル発呼信号設定       | トーン                | 7-122 |
| ◆ ポーズ時間の設定         | 2秒                 | 7-122 |

| 設定項目            | 工場出荷時                           | ページ   |
|-----------------|---------------------------------|-------|
| ◆音設定            |                                 |       |
| •呼出音            | 音量：5                            | 7-122 |
| •回線モニター         | 音量：5                            |       |
| •受信終了音          | 音量：5・音色パターン：3<br>通信終了音時間：3秒     |       |
| •送信終了音          | 音量：5・音色パターン：3<br>通信終了音時間：3秒     |       |
| •送受信エラー音        | 音量：5・音色パターン：3<br>通信終了音時間：0.3秒ごと |       |
| ◆ナンバーディスプレイ設定   | 無効                              | 7-122 |
| ◆ECM            | 有効                              | 7-122 |
| ◆送信回線選択のデフォルト設定 | 自動回線選択                          | 7-122 |
| ◆回線2送信禁止設定      | 無効                              | 7-122 |
| ◆自動受信コール回数設定    | 2回                              | 7-122 |

※ 回線増設キット装着時

# ファクス／イメージ送信設定

ファクスなどのファクス／イメージ送信機能に関する設定を行います。[ファクス／イメージ送信設定]キーをタッチして各設定を行ってください。

## ファクス設定

### ファクス初期設定

各種ファクス機能の設定を使用状況に応じて設定したり、解除できます。

### ダイヤル発呼信号設定

使用する電話回線の種類を設定します。

#### ダイヤル発呼信号設定

電話回線を一覧の中から選択します。

#### 自動検出

電話回線が接続済みのときに実行すると、20ppsの回転ダイヤル回線またはプッシュホン回線のいずれかを自動的に判別します。(10ppsの回転ダイヤルを使用しているときは手動で設定してください。)

### オート立ち上げモード

[電源]キー(Ⓞ)が“切”のとき(主電源スイッチは“入”)、ファクス受信すると本機を自動で起動してプリントします。

この設定を解除すると、ファクスを受信しても、メモリーに保存されて[電源]キー(Ⓞ)を“入”にするまでプリントは実行されません。

### ポーズ時間の設定

ファクス番号に入れる待ち時間(ポーズ時間)の長さを変更するときに設定します。

相手先番号をダイヤルしたり登録する際に「- (ハイフン)」を入力すると、1回の入力につき2秒の待ち時間が入力されます。

1秒単位で1～15秒のあいだで設定できます。

### ファクス宛先確認機能

ファクスを送信するとき、誤送信を防止するために宛先確認メッセージを表示するかどうかを設定します。

### 音設定

スピーカーから聞こえるオンフック、呼出音、回線モニター、受信終了音、送信終了音、送受信エラー音の音量設定を行います。また、受信終了音、送信終了音、送受信エラー音は、音量設定に加え、音色パターン、通信終了音時間の設定ができます。

#### 設定音確認

設定した音色パターンと音量を確認することができます。

### リモート切替番号設定

本機に接続された外部電話機から2桁の番号と(\*)キーを押すことにより、本機をファクス受信状態にすることができます。この2桁の番号をリモート切替番号と呼び、00～99のあいだで設定することができます。

### ハンドセット接続

ハンドセットを接続したときに設定します。設定すると、ハンドセットを使用して通話や手動送信が行えます。



ハンドセットを実際に接続していないときに設定しないでください。ファクスを正常に受信できないことがあります。

### 外部電話接続

外部電話機を接続したときに設定します。設定すると外部電話機でファクスを手動受信したり、電話機として使用することができます。



外部電話機を接続していないときに設定しないでください。ファクスを正常に受信できないことがあります。

## 電話／ファクス自動切替設定

(外部電話機接続時でファクスの受信モードが[自動受信]に設定されているときのみ)

自動受信モードのときに、電話とファクスを自動的に切り替えるように設定します。その際、呼出音の回数と応答メッセージを設定します。

### 自動切替する

自動受信モード時、電話とファクスを自動的に切り替えるように設定できます。

### 呼出音回数設定

自動切替設定時、自動切替するまでの呼出音の回数を1～15回の範囲で設定できます。無制限に設定したときは、外部電話機の受話器を上げるまで呼出音が鳴りつづけます。

### 応答メッセージ選択

自動切替設定時、自動切り替えが行われるまでの応答メッセージを設定できます。

## ナンバーディスプレイ設定

NTTより通知される番号を使用して発信された場合、この機能を有効にすることで、特定番号受信可否設定や、ポーリング許可番号の判定などにナンバーディスプレイ番号を使うことができます。

回線2使用時この機能を使うことができます。



- ナンバーディスプレイを利用する場合は、PB ダイヤルインサービスとの併用はできません。
- ナンバーディスプレイをご利用になる場合は、NTT とのご契約が必要です。

## ダイヤルイン設定

(外部電話機接続時でファクスの受信モードが[自動受信]に設定されているときのみ)

NTTのダイヤルインサービスの設定とダイヤルイン番号を登録します。サービスに加入している場合のみ設定してください。「電話／ファクス自動切替設定」、「留守番電話接続設定」との併用はできません。

### PBダイヤルイン

- ダイヤルイン設定する (デフォルト無効)  
設定を有効にすると、ダイヤルイン設定が有効となり、ダイヤルイン番号が入力可能になります。
- ダイヤルイン番号  
10キーを使って、NTTより通知されてダイヤルイン番号を入力します。

### モデムダイヤルイン

- ダイヤルイン設定する (デフォルト無効)  
設定を有効にすると、ダイヤルイン設定が有効となり、ダイヤルイン番号が入力可能になります。
- ダイヤルイン番号  
10キーを使って、NTTより通知されてダイヤルイン番号を入力します。



- 接続した外部電話機によっては、呼出音を鳴らさずにファクス受信するように設定していても、呼出音が短く鳴ることがあります。
- ダイヤルインをご利用になる場合は、NTTとのご契約が必要です。

## Fネット設定

NTTのFネットサービスの設定をします。サービスに加入している場合のみ設定してください。

## 留守番電話接続設定

留守番電話機能付きの外部電話機を接続している場合、何らかの理由で外部電話機の留守番機能がはたらかず着信を受け付けない状態になったとき、呼出音がこの機能で設定した回数に達すると、自動的に本機でのファクス受信に切り替えさせることができます。

### 留守番電話接続にする

留守番電話接続を有効にします。

### 呼出音回数

呼出音の回数を設定します。設定できる回数は3～15回です。(外部電話機の留守番電話機能がはたらく呼出音の設定回数よりも多い回数を設定してください。)

## 送信時の原稿内容プリント設定

メモリー送信時に通信結果表がプリントされた際、送信原稿内容（1ページ目の一部）を一緒にプリントするかどうか、以下の中から動作を設定することができます。

- 常にプリント
- エラー時
- プリントしない

次の「[通信結果表プリント設定](#)」の設定を「プリントしない」に設定すると、この設定は無効になります。

## 通信結果表プリント設定

通信結果表をプリントするかどうか、またプリントする場合の条件を設定することができます。下記より、それぞれの動作時の設定を選択してください。

### 通常送信時

- 常にプリント
- 送信失敗時
- プリントしない

### 同報送信時

- 常にプリント
- 送信失敗宛先
- プリントしない

### 受信時

- 常にプリント
- エラー時
- プリントしない

### 親展受信時

- プリントする
- プリントしない

通信結果表がプリントされた際に、送信原稿内容（1ページ目の一部）を一緒にプリントするかどうかを設定することができます。詳細は「[送信時の原稿内容プリント設定](#)」を参照してください。



「受信時」でプリントする設定を行っていても、「[特定番号受信可否設定](#)」（7-121ページ）で受信拒否をしている相手先から受信した場合は、通信結果表をプリントしません。

## 記録表プリント設定

本機のメモリーに記憶されている通信記録を定期的にプリントするように設定できます。

通信記録の記憶件数が送受信合わせて200件に達したときに自動的にプリントする、または指定した時刻（1日1回のみ）になると自動的にプリントするように設定できます。（両方設定することもできます。）



- [時刻指定プリント]のみをにした場合、指定した時刻までに通信記録が200件に達したときは、古い通信記録から順に、プリントされずに消去されます。
- 通信記録表は、手動でプリントすることもできます。詳細は、「[リスト/レポートプリント](#)」（7-98ページ）を参照してください。

## ECM

ファクスを送信したとき、回線のノイズなどにより画像が乱れることがあります。ECM（自動誤り再送機能）が設定されていると、画像の乱れた部分のみが自動的に送信し直されます。



送信相手先がスーパー G3対応機の場合は、この設定にかかわらず、常にECMがはたらきます。

## ファクス送信設定

ファクス送信に関する設定を行います。

### 自動縮小送信

相手機の記録紙サイズに合わせて自動縮小するように設定します。

設定を解除すると、自動縮小せず原寸のまま送信します。この場合、相手の記録紙サイズに合わせないため、原稿の一部がプリントされないことがあります。

### 回転送信の設定

原稿を以下のサイズで送信するときに、原稿を反時計回りに90°回転して送信するように設定します。(各サイズごとに個別に設定することができます。)

A4、B5R、A5R、8-1/2" x 11"、5-1/2" x 8-1/2"R、16K



A4Rおよび8-1/2" x 11"R原稿は回転しません。

### クイックオンライン送信

送信原稿の1ページ目を読み込み後、2ページ目以降の読み込みと並行して送信動作を開始する機能を設定します。

この機能を解除すると、手動送信した場合をのぞき、原稿をすべて読み込んだあとに送信操作を行うようになります。

### ページ数印字

送信した原稿が相手機でプリントされる際、記録紙の上部にページ番号をプリントさせるかどうか設定できます。

### デフォルト日付発信元送

送信した原稿が相手機でプリントされるとき、記録紙上部に送信時の日付、発信元名称および電話番号をプリントさせるかどうかを設定できます。

## 日付・発信元印字位置設定

相手機の記録紙上部にプリントされる日付と発信元の印字位置を設定します。読み込んだ原稿データの上部・外側に付けるときは、[送信データ外]キーをタッチし、原稿の内側に付けるときは、[送信データ内]キーをタッチして選択してください。

印字位置については、「4. ファクス」の「[発信元情報を付けて送信する\(発信元印字\)](#)」(4-98ページ)を参照してください。

## 宛先ビジー時の再コール設定

相手が話中だったときなどに、自動で送信し直すかどうかを設定できます。

### ビジー時の再コール回数

相手機がビジー時に再コールするかどうかを設定します。また再コールするときは再コールする回数を設定できます。設定できる回数は1~15回です。

### ビジー時の再コール間隔

再コールする間隔を設定できます。設定できる時間は1~15分です。



直接送信または手動送信した場合は、設定されていても再コールされません。

## 通信エラー時の再コール設定

送信時、通信エラーが発生して送信に失敗したときに、自動で送信し直す設定を行います。

### エラー時の再コール回数

通信エラー時に再コールするかどうかを設定します。また再コールするときは再コールする回数を設定できます。設定できる回数は1~15回です。

### エラー時の再コール間隔

再コールする間隔を設定できます。設定できる時間は1~15分です。



直接送信または手動送信した場合は、設定されていても再コールされません。

## ファクス受信設定

ファクス受信に関する設定を行います。

### 自動受信コール回数設定

自動受信モードでファクスの着信があったとき、自動的に受信操作を開始するまでに呼出音を鳴らす回数を0～15回のあいだで設定することができます。



呼出音の回数を0回に設定した場合は、ファクスの着信があると、呼出音を鳴らさず、すぐに受信操作を開始します。

### 手動受信から自動受信への切替設定

手動受信モードでファクスの着信があったとき、自動的に自動受信に切り替えることができます。また、自動受信に切り替わるまでに呼出音を鳴らす回数を1～32回のあいだで設定できます。

### 両面受信設定

受信データをプリントする際、記録紙の両面にプリントするかどうかを設定することができます。設定すると2ページ以上の同一用紙サイズデータを受信したときは、すべて両面プリントされます。

### 定形サイズへの自動縮小プリント

受信したデータに発信元名や発信元電話番号などの印字情報が付いているとき、実際には定形サイズより若干大きいデータを、自動的に縮小して定形サイズに合わせてプリントする設定を行います。



- 自動縮小しないように設定すると、定形サイズをこえたデータは印字されません。ただし、原稿と等倍でプリントされるため縮小時より画質が優れています。
- 定形サイズとは、A4やB5などの用紙サイズを指します。

## 受信データプリント条件設定

受信データをプリントする際用の用紙選択条件を設定することができ、次の3種類からいずれかを選択することができます。

### 等倍でプリント（分割禁止）

受信した画像データをそのままのサイズで（複数の用紙に分割しないで）プリントします。受信した画像と同じサイズまたは、受信した画像より大きいサイズの用紙がセットされていないときは、メモリーにすべて一時保存され、用紙がセットされるまでプリントしません。ただし、受信データの長さがA3サイズより長い場合のみ自動的に分割してプリントします。

### 等倍でプリント（分割許可）

受信した画像をそのままのサイズで、必要に応じて複数の用紙に分割してプリントします。

### 等倍または縮小してプリント

通常は等倍でプリントし、それができない場合は自動縮小してプリントします。

## 受信データ転送先電話番号登録

本機が何らかのトラブルで受信データをプリントできないとき、転送機能を使って受信データを転送するファクスの電話番号を登録します。転送先は1件のみ、電話番号は最大64桁まで登録できます。番号のあいだにポーズ（待ち時間）を入力するときは[-]キーをタッチしてください。転送先にFコード親展メモリーボックスを指定するときは、電話番号に続けて[/]キーをタッチしてFコード（サブアドレス、パスコード）を入力してください。

## レター受信時縮小印字設定

8-1/2"x11"R（レター R）サイズのデータを受信したときに、A4R幅に縮小してプリントする設定です。



この設定を行っているときは、A4R受信時にも縮小プリントが行われます。

## 受信日時印字設定

受信した日時をプリントするときを設定します。  
 受信した日時をプリントする位置を[受信データ内]、[受信データ外]から選択します。  
 [受信データ内]を設定すると、受信データ上に受信日時をプリントします。  
 [受信データ外]を設定すると、受信データを縮小して、できた余白に受信日時をプリントします。



「定形サイズへの自動縮小プリント」(7-120ページ)を設定していない状態では、受信日時印字設定の[受信データ外]は選択できません。

## 排紙設定

受信データをプリントするときの排紙先と部数を設定します。フィニッシャー装着時は排紙先にフィニッシャートレイを選択し、ステープルを設定することができます。

### 排紙トレイ

受信データ印刷時の排紙トレイを選択します。

### 排紙トレイ (回線2)

(回線増設キット装着時)

増設した回線2で受信したデータの排紙トレイを選択します。

### 印刷部数

受信データ印刷時の印刷部数を1～99の範囲で設定します。

### ステープル位置

フィニッシャー装着時、受信データ印刷時のステープル位置を選択します。

### 用紙サイズ

フィニッシャー装着時、受信データ印刷時に使用する用紙を選択します。



- 「ファクス設定」(7-112ページ)の[複数部数印字]および[ステープル]チェックボックスがになっている場合のみ、この設定が使用されます。
- ステープルできる最大枚数は50枚です。(横長方向にセットされた用紙は30枚までステープルできます。)

## 特定番号受信可否設定

登録済みの番号に対して、受信の許可/拒否をすることができるようを設定することができます。

| 項目         | 設定内容                                                       |
|------------|------------------------------------------------------------|
| 受信拒否       | 登録した番号の受信を拒否します。                                           |
| 受信許可       | 登録した番号のみ受信を許可します。                                          |
| すべて無効      | 番号が登録されていても、その登録を無視してすべてを受信します。                            |
| 新規登録       | 受信可否設定を行う番号を新規に追加します(最大50件)。番号を20桁以内で入力し、[登録]キーをタッチしてください。 |
| 登録番号一覧     | 登録されている番号を一覧表示します。この画面で番号を選択すると、一覧から削除することができます。           |
| 非通知番号を拒否する | チェックON時、特定番号受信設定の内容に関わらず、非通知設定となっている番号からの受信を拒否します。         |

### 非通知番号を拒否する

特定番号受信設定の内容に関わらず、非通知設定となっている番号からの受信を拒否できます。



受信可否設定する番号が1件も登録されていないときは、[新規登録]以外のキーは選択できません。

## ポーリング保護設定

メモリーボックス内フリーエリアを使用した通常の掲示板送信に関する設定が行えます。

### ポーリング保護を行う

掲示板送信を行うとき、不特定の相手からのポーリングを無条件に受け入れるか、登録した相手からポーリングを受けたときのみ送信するかを設定することができます。

### 新規登録

ポーリング保護が設定されているときに、本機とポーリングを行える相手機の番号の登録や削除を行います。登録する番号は相手側のファクス番号(最大20桁)で、10件まで登録することができます。

### ポーリング許可番号キーリスト

登録したポーリング許可番号を一覧で表示します。各番号を選択すると、その番号を削除することができます。



ここで設定した内容はFコード掲示板送信には適用されませんのでご注意ください。

## 回線2の設定

(回線増設キット装着時)

回線2について、回線1と同様に次の設定を行います。

### ダイヤル発呼信号設定

回線2の電話回線の種類を設定します。

設定方法や詳細については「[ダイヤル発呼信号設定](#)」(7-116ページ)を参照してください。

### ポーズ時間の設定

相手先ファクス番号などの番号の間に入れる待ち時間(ポーズ時間)の長さを設定します。

設定方法や詳細については「[ポーズ時間の設定](#)」(7-116ページ)を参照してください。

### 音設定

回線2を使用時にスピーカーから聞こえる呼出音、回線モニター、受信終了音、送信終了音、送受信エラー音の音量や音色を設定します。

設定方法や詳細については「[音設定](#)」(7-116ページ)を参照してください。

### ナンバーディスプレイ設定

回線2を使用時に、NTTより通知される番号を使用して発信された場合、この機能を有効にすることで、特定番号受信可否設定や、ポーリング許可番号の判定などにナンバーディスプレイ番号を使うことができます。



ナンバーディスプレイをご利用になる場合は、NTTとのご契約が必要です。

### ECM

回線2のECM(自動誤り再送機能)を設定します。

設定方法や詳細については「[ECM](#)」(7-118ページ)を参照してください。

### 送信回線選択のデフォルト設定

送信するときに使用する回線を設定します。

自動回線選択に設定すると送信時に回線1が使用中の場合、自動的に回線2を使用します。

[自動回線選択]、[回線1]、[回線2]のいずれかを選択します。



「[回線2送信禁止設定](#)」(下記)が設定されている場合、この機能は使用できません。

### 回線2送信禁止設定

回線2からの送信を禁止します。

この機能を使用すると回線2から送信できなくなり、受信専用になります。

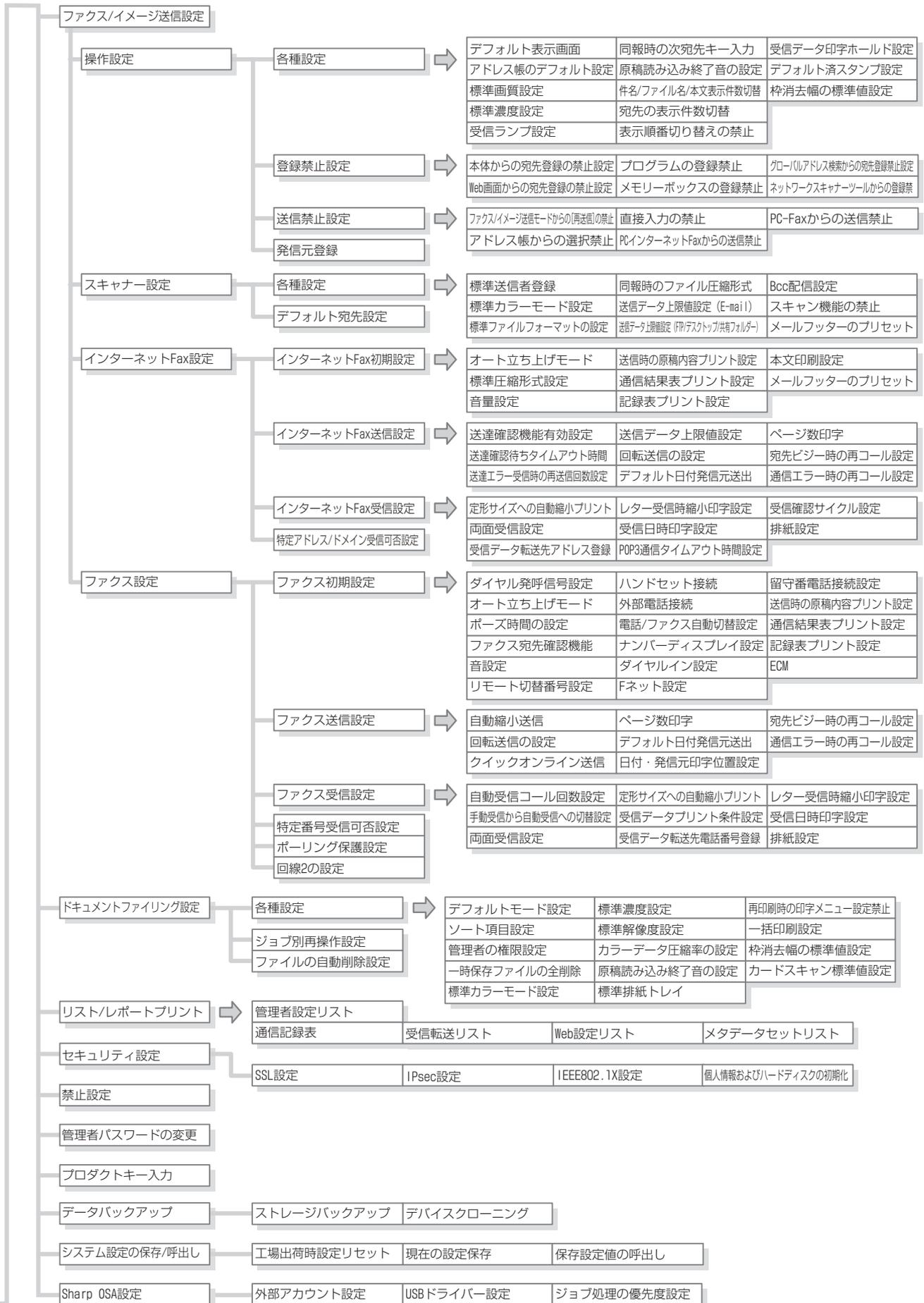
### 自動受信コール回数設定

回線2で自動受信コール回数を0~15回の間で設定します。

設定方法や詳細については「[自動受信コール回数設定](#)」(7-120ページ)を参照してください。

# システム設定階層図





# 第8章

## 困ったときは

ここでは、よくある質問を一問一答形式で記載しています。この章の内容をすべて確認しても問題が解決できない場合は、お買いあげの販売店、またはスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。

### システム設定について

本書には、下記のようなシステム設定に関する記載があります。

例) → システム設定 (管理者) > 「コピー設定」 > 「各種設定」 > 「回転コピーの設定」 >

これは、システム設定での設定方法を省略して表記したものです。「>」は設定の流れを表し、は設定完了後の状態を表します。設定を行う際の参考にしてください。

### 問題を解決するために

#### よくあるご質問

- 不定形サイズ of 原稿をコピーするには ..... 8-3
- コンピュータからプリントできないのですが ..... 8-4
- 郵便はがきや封筒にプリントするには ..... 8-5
- プリントジョブ of 用紙サイズを変更するには ..... 8-6
- ファクス受信時の呼出音が大きすぎるのですが ..... 8-7
- 転送しているのに出力してしまうのですが ..... 8-7
- 本機の通信記録を確認したいのですが ..... 8-7

#### 紙づまりの対応

- 紙づまり of 処置 ..... 8-8
- 紙づまりイラスト ..... 8-9

#### 針づまりの対応

- フィニッシャー of 場合 ..... 8-11

#### コピー

- コピー of 動作に関して ..... 8-13
- コピー結果に関して ..... 8-15

#### プリンター

- プリンター of 動作に関して ..... 8-16
- プリント結果に関して ..... 8-19

### ファクス

- 送信に関して ..... 8-23
- 受信に関して ..... 8-25
- 電話に関して ..... 8-26
- 音に関して ..... 8-27
- ワンタッチキー / グループキーに関して ..... 8-28

### スキャナー / インターネットFax

- スキャナー / インターネットFax of 動作に関して ..... 8-29
- スキャン結果に関して ..... 8-31
- ワンタッチキー / グループキーに関して ..... 8-33

### ドキュメントファイリング

- ファイリングに関して ..... 8-35
- ファイル of 管理に関して ..... 8-36

### 共通の問題

- 本機 of 動作に関して ..... 8-39
- 給紙 / 排紙に関して ..... 8-41
- 画質 / プリント結果に関して ..... 8-43
- 周辺装置に関して ..... 8-45
- そのほかに ..... 8-47

# 問題を解決するために

次の図は問題が起きたときの解決手順を表しています。この手順に沿って、問題を解決してください。



## まずこの章を見る

問題の解決方法がここに載っているかもしれません。



## 管理者に問い合わせる

問題の症状や、分からないことなどを、本機の管理者に問い合わせてください。



## 他の取扱説明書を参照する

本書の他章、または本機に付属している他の取扱説明書を参照すると、解決方法が見つかることがあります。



## 電源を切ってから入れ直す

これで解決することがありますので、故障かな？と思う前に試してみてください。

[電源]キー (⏻) および主電源スイッチを“切”にし、10秒以上経ってから主電源スイッチ、[電源]キー (⏻) の順で“入”にしてください。

- 電源を切るときは、必ず操作パネルの[電源]キー (⏻) を押して、15秒待ったあと、主電源スイッチを切ってください。
- 主電源スイッチを切るときは、操作パネルのプリンターのデータランプ、ファクス/イメージ送信の通信中ランプとデータランプが点灯/点滅していないことを確認してください。

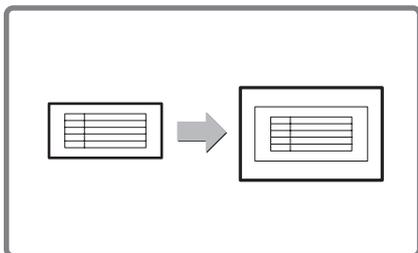


## シャープお客様ご相談窓口へ

どうしても解決できない場合は、お買いあげ販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にご連絡ください。

# よくあるご質問

## 不定形サイズ of 原稿をコピーするには……

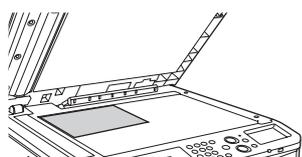


ここでは、伝票のような不定形サイズの原稿をコピーする場合の操作の流れを説明します。  
コピーモードの特別機能「センタリング」を組み合わせると、用紙の中央にコピーできます。

### 1 原稿をセットする

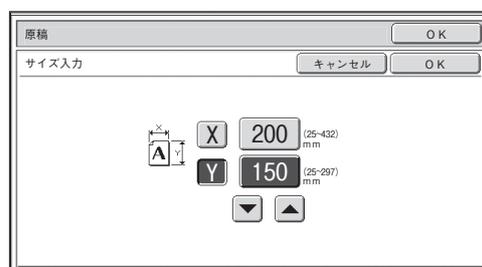


X(横)方向が140mm、  
Y(縦)方向が131mm  
を下回るサイズの原稿は、原稿台(ガラス面)にセットしてください。  
薄い原稿を読み込む場合は「薄紙読み込み」機能を利用してください。



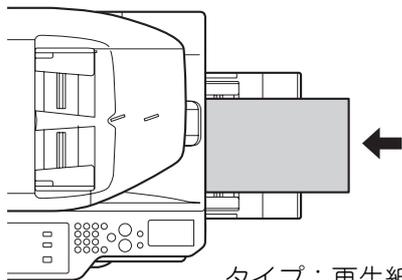
### 2 原稿サイズを入力する

コピーモードの基本画面から  
[原稿]-[サイズ入力]の順にタッチしてください。



### 3 手差しトレイにセットする

ここでは、本体の給紙トレイにない用紙にコピーするために手差しトレイを使っています。



タイプ：再生紙  
サイズ：A4

### 4 手差しトレイを選択する

コピーモードの基本画面から  
[用紙]-「手差しトレイの用紙タイプ」の順にタッチしてください。



# コンピュータからプリントできないのですが……

お使いの複合機のプリンタードライバーがプリント時に選択されていることをまず確認してください。また、プリンタードライバーのポートが正しく設定されているかどうかを確認してください。

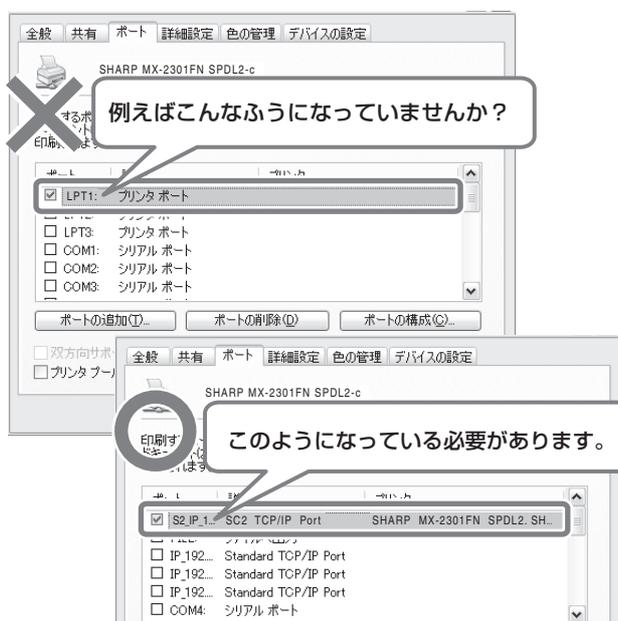
## ・ プリンター名を確認する



印刷ダイアログの[プリンター名]がお使いの複合機のプリンター名になっていることを確認し、なっていない場合は選択し直してください。

お使いのプリンター名がない場合は、プリンタードライバーがインストールされていないので、インストールしてからお使いください。

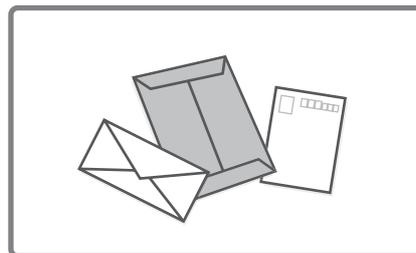
## ・ プリンタードライバーでポートの設定を確認する



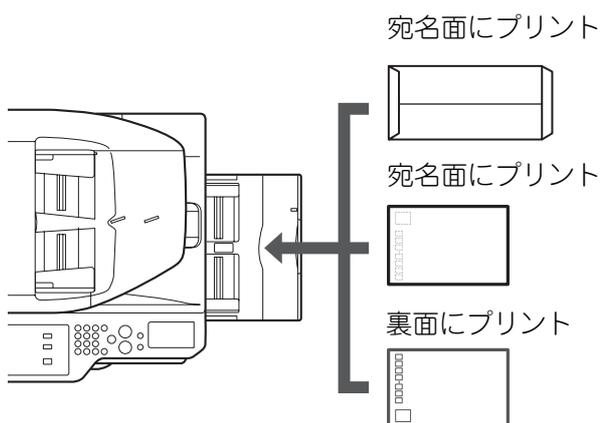
使用するプリンタードライバーのプロパティダイアログを表示し、[ポート]タブを開いてください。

# 郵便はがきや封筒にプリントするには……

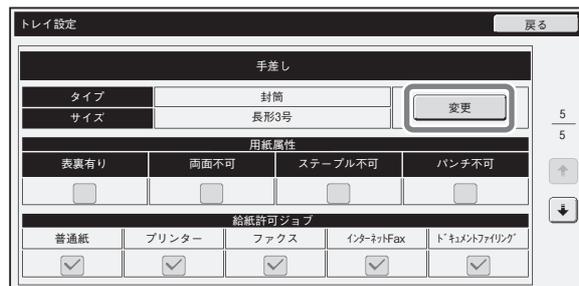
ここでは、郵便はがきや封筒にプリントする場合の操作の流れを説明します。封筒は宛名面にのみプリントできます。郵便はがきや封筒を使う前に、試しにプリントして仕上がりを確かめてください。



## - 1 手差しトレイにセットする -

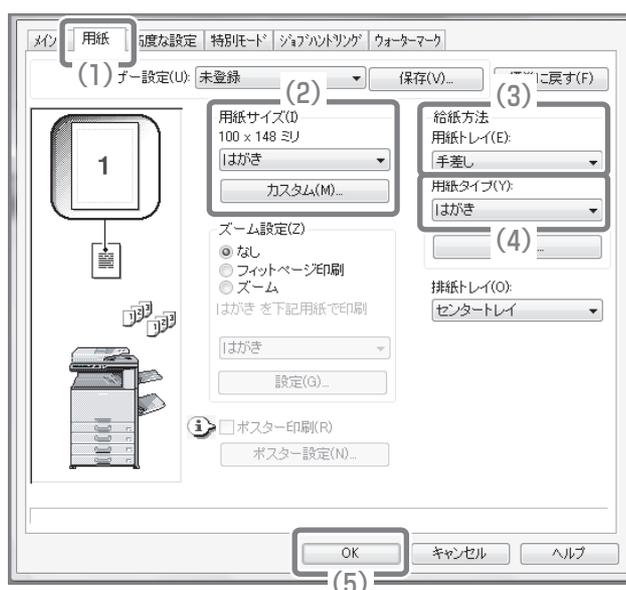


## - 2 トレイ設定



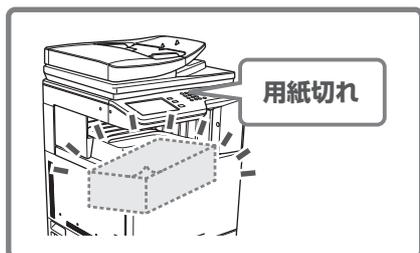
-  タイプ：厚紙1
-  タイプ：封筒  
サイズ：封筒のサイズを選択

## - 3 プリンタードライバーで設定する



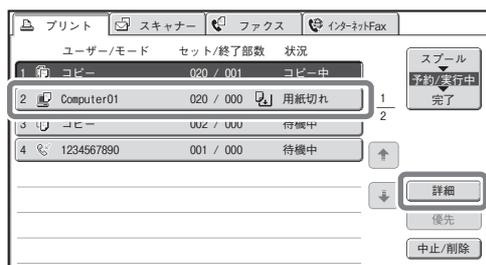
- (1) [用紙]タブをクリックする
- (2) 「用紙サイズ」から[はがき]またはセットした封筒のサイズを選択する
- (3) 「給紙方法」の「用紙トレイ」から[手差し]を選択する
- (4) 「用紙タイプ」から[はがき]または[封筒]を選択する  
封筒にプリントする場合は、必要に応じて[メイン]タブにある「印刷の向き」の「180°回転して印刷」チェックボックスを  にしてください。

# プリントジョブの用紙サイズを変更するには……



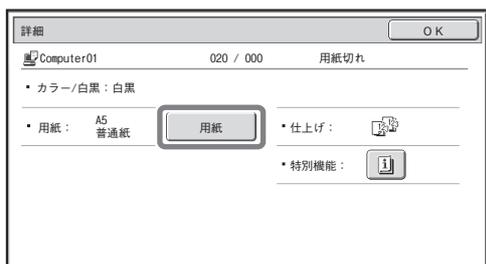
プリントジョブの用紙サイズが、本機にセットされていないような場合に、ジョブの用紙サイズを変更する方法です。

## 1 ジョブの詳細情報を確認する



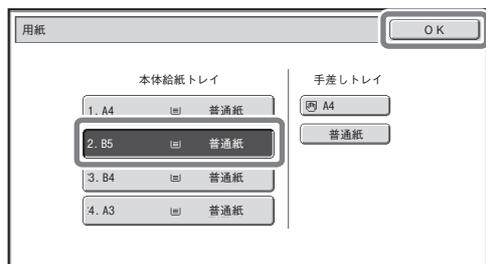
操作パネルの[ジョブ状況]キーを押し、ジョブ状況画面を表示させてください。  
「用紙切れ」になっているジョブを選択し、[詳細]キーをタッチしてください。

[中止/削除]キーをタッチすると、ジョブを削除することができます。



詳細画面でジョブに指定されている用紙サイズを確認して、[用紙]キーをタッチしてください。

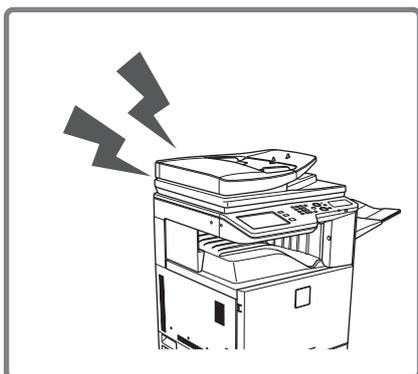
## 2 ジョブの用紙サイズを変更する



セットされている用紙からジョブをプリントする用紙を選択してください。

このとき、ジョブに指定されているサイズよりも大きな用紙を選択しないとプリントが欠けてしまいます。

## ファクス受信時の呼出音が大きすぎるのですが……



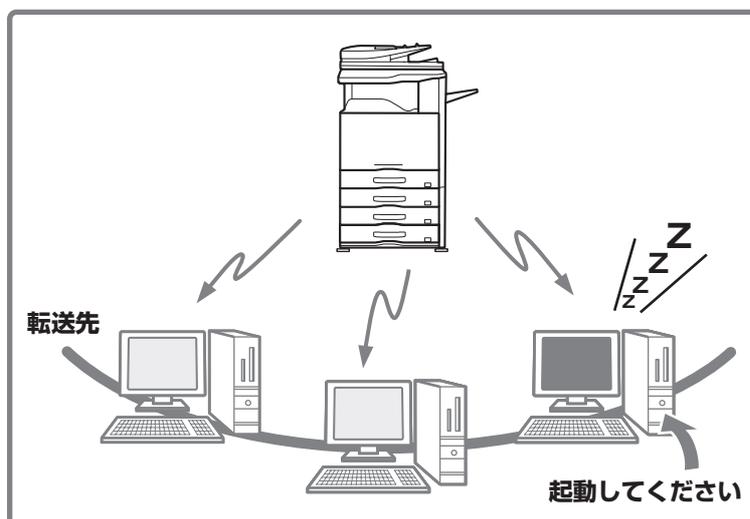
ファクス受信時の呼出音が、大きすぎてうるさかったり、小さすぎて聞こえにくかったりするような場合は、以下の方法で音量を調整できます。ファクスの呼出音の調整はシステム設定から行います。

操作パネルの[システム設定]キーを押したあと、  
[ファクス/イメージ送信設定]-[ファクス設定]-[ファクス初期設定]-[音設定]-[呼出音]の順番でキーをタッチし、音量を選択してください。

## 転送しているのに出力してしまうのですが……

ファクス受信データを共有フォルダーに転送するときに、転送先コンピュータの電源が入っていることを確認してください。

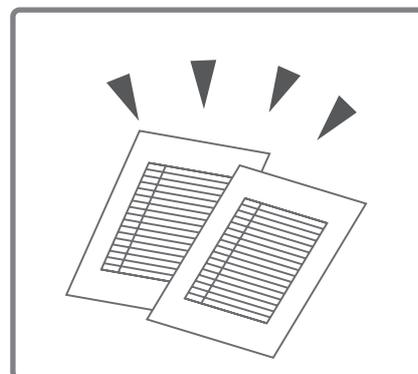
コンピュータの電源が入っていないと、ファクス受信データは複合機に出力されてしまいます。また、複数台のコンピュータが転送先になっている場合は、そのうちの1台でも電源が入っていないと受信データは出力されます。



## 本機の通信記録を確認したいのですが……

本機のイメージ送信機能の通信記録を確認したい場合は、以下の方法で通信記録表をプリントできます。通信記録表のプリントはシステム設定から行います。

操作パネルの[システム設定]キーを押したあと、  
[リスト/レポートプリント]-[通信記録表]の順番でキーをタッチし、通信記録表をプリントしてください。



# 紙づまりの対応

ここでは、本機が紙づまりを起こしたときの対処法を説明しています。

## ⚠ 注意

定着部は高温になっています。紙づまりの処置の際には、やけどをしないように十分注意してください。



- 紙を取り除くときに転写ベルトにキズをつけたり手をふれたりしないでください。
- つまった紙を破らないように確実に引き出してください。
- 奥でつまっていることがありますので、よく確認して取り出してください。
- 紙が破れた場合は、紙片を本機の中に残さないように完全に取り除いてください。

## 紙づまりの処置

紙づまりが発生すると、タッチパネルに「紙がつまりました。」というメッセージが表示され、プリントや原稿の読み込みが中断されます。このようなときは、タッチパネルに表示されている[操作ガイド]キーをタッチしてください。キーをタッチすると、紙づまりの処置方法のガイダンスが表示されるので、ガイダンスに従って紙づまりの処置を行ってください。紙づまりを解除すると、メッセージは自動的に終了します。

下図の▼マークの点滅している箇所がおおよその紙づまり位置です。

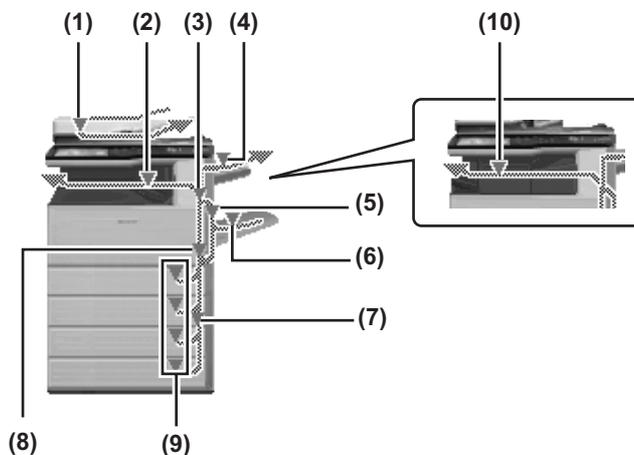


- メッセージ表示中は、プリントや原稿の読み込みを再開することはできません。
- 紙づまりの処置を行ってもメッセージが消えない場合は、以下の原因が考えられます。再度確認してください。
  - 紙づまりの処置が正しく行われていない。
  - 本機の中に紙片などが残っている。
  - 紙づまり処置のために動かした、カバーやユニットが、元の位置に戻されていない。

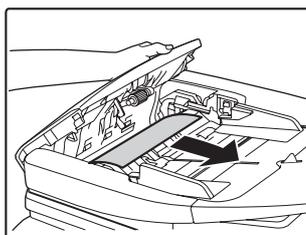
# 紙づまりイラスト

タッチパネルの操作ガイドで分かりづらいところがあったときは、以降の紙づまりイラストをお役立てください。下図のイラストを参考にして、該当する紙づまり箇所のイラスト(1)~(10)を参照してください。

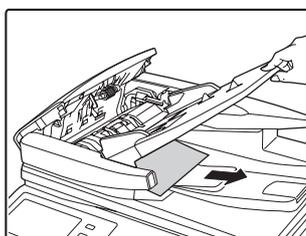
☞ (1)~(2)：下記参照、(3)~(9)：8-10ページ、(10)：8-9ページ



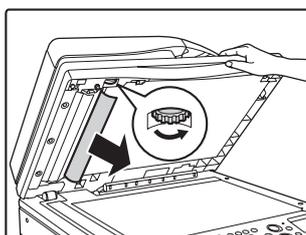
## (1) 原稿づまり



原稿給紙部カバーを開いて、つまっている原稿を取り出してください。

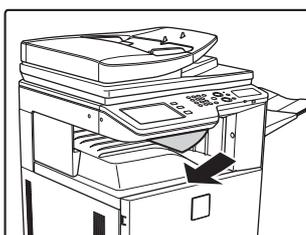


原稿セット台を開いて、つまっている原稿を取り出してください。



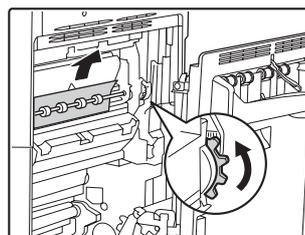
原稿自動送り装置を開いて、搬送ローラーを矢印の方向に回しながら、つまっている原稿を取り出してください。

## (2) 出紙部での紙づまり

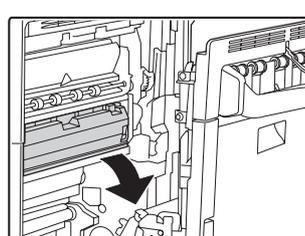


つまっている用紙を取り出してください。

## (3) 定着部での紙づまり



ローラー回転ノブを回して、つまっている用紙を取り出してください。



緑色の箇所を下へ押すようにして定着部を手前に倒して、つまった用紙が定着部の内部へはいりこんでいるかを確認してください。

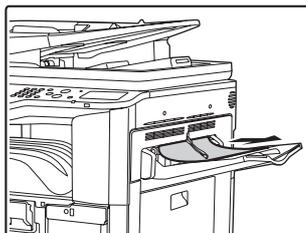
### ⚠ 注意

定着部は熱くなっていますので、十分注意してください。  
(金属部分にはさわらないでください。)



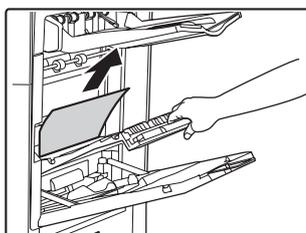
取り出した紙には未定着のトナーが付いていることがありますので、手や衣服を汚さないように気をつけてください。

(4) 右トレイでの紙づまり



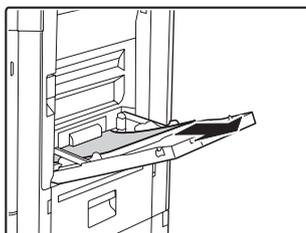
つまっている用紙を取り出して  
ください。

(5) 用紙反転部での紙づまり



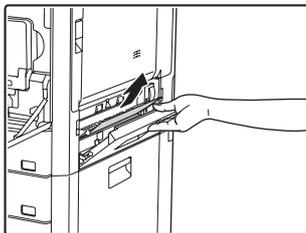
用紙反転部カバーを開いて、  
つまっている用紙を取り出  
してください。

(6) 手差しトレイでの紙づまり

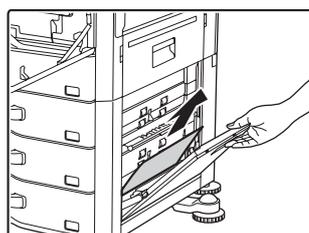


つまっている用紙を取り出  
してください。

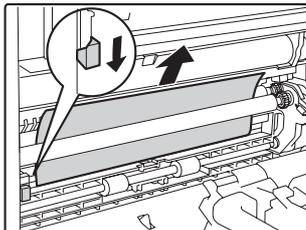
(7) トレイ1~4での紙づまり (側面)



奥でつまっていることがあ  
りますので、よく確認して取  
り出してください。

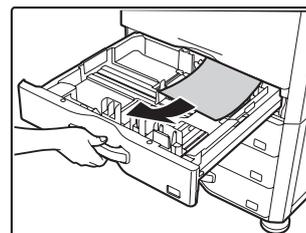


(8) 搬送部での紙づまり



レバーを矢印方向に下げて、  
つまっている用紙を送り出  
して取り出してください。

(9) トレイ1~4での紙づまり (トレイ内)



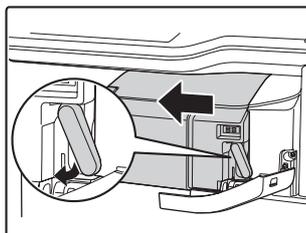
トレイを引き出す前に、必ず  
右側面カバーを開けて用紙  
がつまっていないかどうか  
を確認してください。確認せ  
ずにトレイを引き出すと、給  
紙途中でつまっている紙が  
破れて紙片が機器の中に残  
り、取り除きにくくなること  
があります。

☞ (7) トレイ1~4での紙づまり (側面)

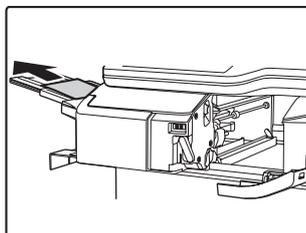
(10) フィニッシャーでの紙づまり



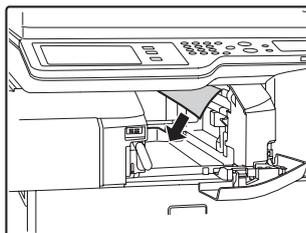
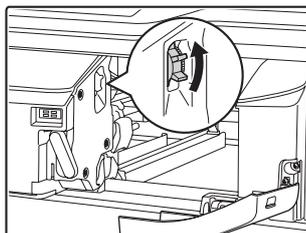
前カバーを開いてください。



レバーを左側に倒しながら、  
フィニッシャーが止まるま  
で左側にずらしてください。



ローラー回転ノブを矢印の  
方向に回し、つまっている  
用紙を取り出してください。



本体側に用紙がつまってい  
ないか確認してください。

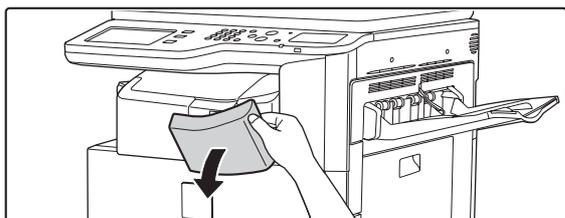
# 針づまりの対応

針づまりを起こしたときは、次の手順に従って針づまりを解除してください。

☞ [フィニッシャーの場合](#)

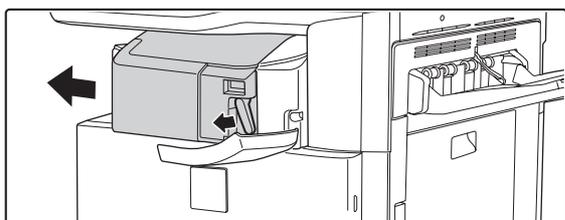
## フィニッシャーの場合

1



カバーを開ける

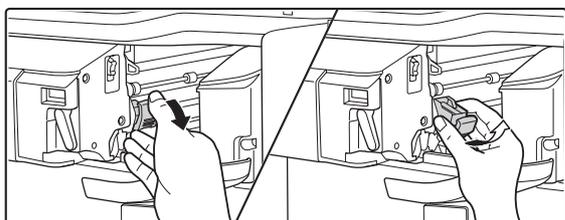
2



レバーを左側に倒しながら、フィニッシャーが止まるまで左側にずらす

フィニッシャーが止まるまで、ゆっくりとずらしてください。

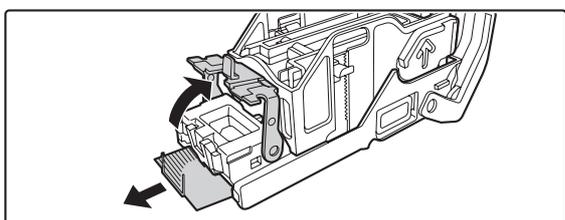
3



針ケースの解除レバーを下げ、針ケースを取りはずす

針ケースは右へ引き出してください。

4

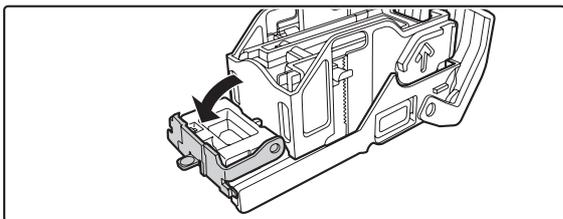


針ケースの先端のレバーを上げ、針づまりを起こしている針を取り出す

先端の針が曲がっているときは必ず切り取ってください。曲がった針が付いたまま使用すると針づまりの原因となります。

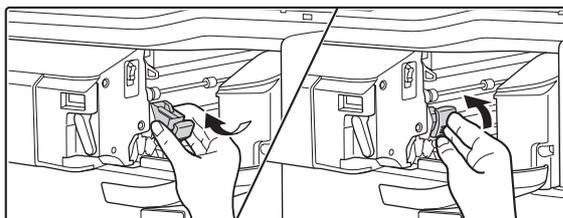
⚠ 曲がった針でけがをしないように、十分ご注意ください。

5



針ケースの先端のレバーを下げる

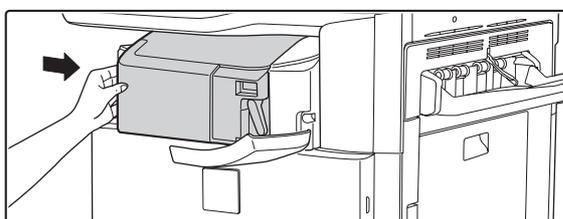
6



針ケースを押し込む

カチッと音がして、針ケースが固定されるまで押し込んでください。

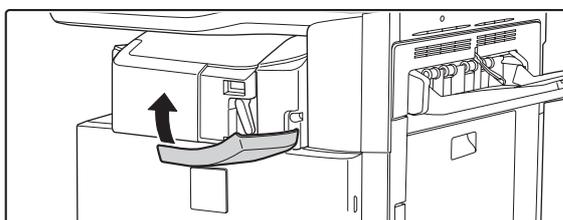
7



フィニッシャーを右側に戻す

フィニッシャーが固定されるまで、ゆっくりと戻してください。

8



カバーを閉じる

# コピー

## コピーの動作に関して

- コピーできない ..... 8-13
- 自動でカラーモードを識別しない ..... 8-13
- 回転コピーしない ..... 8-14
- 両面コピーできない ..... 8-14
- トレイの用紙サイズが設定できない ..... 8-14

## コピー結果に関して

- 画像が薄い、または濃い ..... 8-15
- 色がずれる ..... 8-15
- 画像が欠ける ..... 8-15
- コピーが白紙になる ..... 8-15

- 上記のもくじにお探しの項目が見当たらない場合は、「共通の問題」(8-38ページ)を参照してください。
  - これらの対処法で問題が解決しない場合は、[電源]キー (Ⓞ) および主電源スイッチを“切”にし、10秒以上経ってから主電源スイッチ、[電源]キー (Ⓞ) の順で“入”にしてください。
- 通信中ランプが点灯、またはデータランプが点灯/点滅しているときは、本機の主電源スイッチを切ったり電源プラグを抜き差ししないでください。ハードディスクの破損やデータ消失の原因となることがあります。

## コピーの動作に関して

| 問題              | チェックポイント                                                                                                                                        | 解決法                                                                                                                             |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コピーできない         | 管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？                                                                                                                     | システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。管理者に問い合わせてください。<br>ユーザー認証設定時、ログインしているユーザーの設定によっては、使用できる機能が制限されていることがあります。管理者に問い合わせてください。 |
| 自動でカラーモードを識別しない | 次のような原稿を使用していませんか？<br><b>白黒にならない場合</b><br>• 用紙自体が色味がかっている原稿（わら半紙など）<br><b>カラーにならない場合</b><br>• 色が非常に薄い原稿<br>• 色が非常に濃く、黒に近い原稿<br>• カラー部分が極めて少ない原稿 | カラーモードを「自動」に設定して[カラースタート]キーを押すと、白黒原稿かカラー原稿かを自動で識別してコピーしますが、左記のような原稿をお使いの場合には自動識別が正常にはたらかないことがあります。このようなときは手動で原稿を区別してコピーしてください。  |

| 問題               | チェックポイント                           | 解決法                                                                                                                                                                                |
|------------------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 回転コピーしない         | 用紙サイズやコピー倍率を手動で選択していませんか？          | 用紙選択および倍率を自動に設定してコピーを行ってください。                                                                                                                                                      |
|                  | 回転コピーができない設定でコピーを実行していませんか？        | 回転コピーはほかの特別機能と組み合わせて使用することができますが、特別機能の種類によっては、組み合わせて使用できない場合があります。その場合、タッチパネルにメッセージが表示されます。                                                                                        |
|                  | システム設定（管理者）で「回転コピーの設定」が解除されていませんか？ | 管理者に問い合わせてください。<br>あなたが管理者の場合は、「回転コピーの設定」を有効な状態にしてください。<br>→システム設定（管理者）＞「コピー設定」＞「各種設定」＞「回転コピーの設定」＞ <input checked="" type="checkbox"/>                                             |
| 両面コピーできない        | 選択したトレイに両面コピーできない用紙タイプが設定されていませんか？ | システム設定で「トレイ設定」を確認してください。<br>[両面不可]チェックボックスが <input checked="" type="checkbox"/> になっている場合は、そのトレイにセットされた用紙で両面コピーができません。用紙タイプを両面プリント可能な用紙に変更してください。<br>→システム設定＞「給紙トレイ設定」＞「トレイ設定」＞「変更」 |
|                  | 特殊な種類やサイズ of 用紙を使用していませんか？         | 両面コピーできる用紙の種類やサイズなどについては、スタートガイドの「仕様」を参照してください。                                                                                                                                    |
|                  | 両面コピーができない設定でコピーを実行していませんか？        | 両面コピーはほかの特別機能と組み合わせて使用することができますが、特別機能の種類によっては、組み合わせて使用できない場合があります。その場合、タッチパネルにメッセージが表示されます。                                                                                        |
|                  | 管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？        | システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。管理者に問い合わせてください。<br>ユーザー認証設定時、ログインしているユーザーの設定によっては、使用できる機能が制限されていることがあります。管理者に問い合わせてください。                                                    |
| トレイの用紙サイズが設定できない | 管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？        | システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。管理者に問い合わせてください。                                                                                                                             |

# コピー結果に関して

| 問題          | チェックポイント                           | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 画像が薄い、または濃い | 原稿の画像が薄くありませんか？                    | <p>セットした原稿の種類に応じた画質に切り替えて、コピー濃度を手動で調整してください。</p> <p>セットした原稿に応じて、原稿種類を以下の中から選択してコピーしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>文字</b><br/>通常の文字原稿に適しています。</li> <li>• <b>文字/印刷写真</b><br/>雑誌やカタログなどの印刷物をコピーする際、グラフィック写真部分の画質だけでなく、記事などの文字部分の画質も重視したい場合に適しています。</li> <li>• <b>文字/印画紙写真</b><br/>印画紙の写真を貼りつけた文字原稿などをコピーするのに適しています。</li> <li>• <b>印刷写真</b><br/>雑誌やカタログなどの印刷物を原稿としてコピーする際、グラフィック写真部分の画質を優先したい場合に適しています。</li> <li>• <b>印画紙写真</b><br/>印画紙の写真をコピーするのに適しています。</li> <li>• <b>地図</b><br/>淡い色などで色分けされ、細かい文字の入った地図などをコピーするのに適しています。</li> <li>• <b>淡い原稿</b><br/>薄い鉛筆書きのコピーに適しています。</li> </ul> |
|             | 原稿の画像が濃くありませんか？                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|             | 原稿の種類に適した画質を選択していますか？              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 色がずれる       | 「レジスト調整」は行いましたか？                   | <p>管理者に依頼して、「レジスト調整」を行ってください。</p> <p>→システム設定（管理者） &gt; 「デバイス設定」 &gt; 「各種設定」 &gt; 「レジスト調整」</p> <p>色階調がずれている場合は、レジスト調整終了後「オートカラーキャリブレーション」を行ってください。（ずれが残るときは、再度実行すると改善されることがあります。）</p> <p>→システム設定（管理者） &gt; 「コピー設定」 &gt; 「カラー調整」 &gt; 「オートカラーキャリブレーション」</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 画像が欠ける      | 原稿サイズと用紙サイズの組み合わせに適した倍率が設定されていますか？ | 原稿とコピーする用紙に合った倍率でコピーしてください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|             | インチ系のサイズ of 原稿を使用していますか？           | インチ系のサイズの原稿をコピーするときは、原稿サイズを手動で設定してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| コピーが白紙になる   | 原稿をセットする面をまちがえていませんか？              | 原稿台（ガラス面）をお使いの場合はコピーする面を下向きに、原稿自動送り装置をお使いの場合はコピーする面を上向きにそれぞれセットしてください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

# プリンター

## プリンターの動作に関して

- プリントできない..... 8-16
- カラープリントできない..... 8-18
- 両面プリントできない..... 8-18
- コンピュータの共有フォルダー内のファイルを直接プリントできない..... 8-19
- 本機に装着しているトレイやフィニッシャーなどの周辺装置が使用できない..... 8-19

## プリント結果に関して

- 画像が粗い..... 8-19
- 画像が明るい、もしくは暗い..... 8-19
- 色がずれる..... 8-19
- 文字や線が薄くて見づらい..... 8-19
- 画像が欠ける..... 8-20
- データの内容が上下逆さまになる..... 8-20
- 文字化けしたデータが大量にプリントされる..... 8-21

- 上記のもくじにお探しの項目が見当たらない場合は、「[共通の問題](#)」(8-38ページ)を参照してください。
  - これらの対処法で問題が解決しない場合は、[電源]キー (Ⓞ) および主電源スイッチを“切”にし、10秒以上経ってから主電源スイッチ、[電源]キー (Ⓞ) の順で“入”にしてください。
- 通信中ランプが点灯、またはデータランプが点灯/点滅しているときは、本機の主電源スイッチを切ったり電源プラグを抜き差ししないでください。ハードディスクの破損やデータ消失の原因となることがあります。

## プリンターの動作に関して

| 問題       | チェックポイント                                   | 解決法                                                                                                                                                                     |
|----------|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| プリントできない | 本機とコンピュータは正しく接続されていますか？                    | <p>コンピュータと本機のLANコネクターまたはUSBコネクターにケーブルが正しく接続されているか確認してください。</p> <p>ネットワークに接続しているときは、LANケーブルを接続しているハブ側でも確認してください。</p> <p>☞ 1. お使いになる前に「<a href="#">側面・背面</a>」(1-6ページ)</p> |
|          | お使いのコンピュータと同じネットワーク環境(LANなど)に本機が接続されていますか？ | <p>お使いのコンピュータが接続されているネットワークに本機を接続してください。</p> <p>接続されているネットワークが不明なときは、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</p>                                                                          |

| 問題       | チェックポイント                                                                                          | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| プリントできない | IPアドレスは正しく設定されていますか？<br>(Windows)                                                                 | <p><b>IPアドレスの設定を確認してください。</b><br/>                     本機のIPアドレスが固定されていない場合（DHCP環境でお使いの場合など）、IPアドレスが変更されるとプリントできなくなります。本機のIPアドレスはシステム設定の「全設定リスト」をプリントして確認できますので、確認のうえIPアドレスが変更されている場合はプリンタードライバーのポートを設定し直してください。<br/>                     →システム設定 &gt; 「データリストプリント」&gt; 「全設定リスト」<br/>                     ⓘ ソフトウェアセットアップガイド<br/>                     頻りにIPアドレスが変更される場合は、IPアドレスを固定してお使いになることをお勧めします。<br/>                     →システム設定（管理者） &gt; 「ネットワーク設定」</p> |
|          | Standard TCP/IP Portで作成したプリンターポートを使用していませんか？<br>(Windows 2000/XP/Server 2003/Vista/Server 2008/7) | <p><b>コンピュータの設定を確認してください。</b><br/>                     OS標準のStandard TCP/IP Portで作成したポートを使用している場合、[SNMPステータスを有効にする]チェックボックスが<input checked="" type="checkbox"/>になっていると、正しくプリントできない場合があります。[SNMPステータスを有効にする]チェックボックスを<input type="checkbox"/>にしてください。<br/>                     ⓘ ソフトウェアセットアップガイド</p>                                                                                                                                                           |
|          | AppleTalkの「経路先」が[Ethernet]になっていますか？<br>(Mac OS 9.0～9.2.2)                                         | <p><b>[コントロールパネル]の[AppleTalk]を開き、[経路先]メニューで[Ethernet]が選択されているか確認してください。</b><br/>                     [Ethernet]が選択されていないとプリントすることはできません。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|          | コンピュータが不安定な状態になっていませんか？                                                                           | <p><b>コンピュータを再起動してください。</b><br/>                     アプリケーションソフトを多数起動しているときや、コンピュータのメモリーやハードディスクの空き容量が少なくなっているときなどは、プリントできない場合があります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|          | プリントするアプリケーションソフトで、本機を正しく指定していますか？                                                                | <p><b>アプリケーションソフトのプリント画面で本機のプリンタードライバーが選択されているか確認してください。</b><br/>                     本機のプリンタードライバーが表示されない場合は、正しくインストールできていない場合があります。プリンタードライバーを削除後、再度インストールしてください。<br/>                     ⓘ ソフトウェアセットアップガイド</p>                                                                                                                                                                                                                                            |
|          | ネットワークを接続している装置類は正常に作動していますか？                                                                     | <p><b>ネットワークを接続しているルータなどの動作を確認してください。</b><br/>                     電源が入っていなかったり、エラー表示が出ている場合などは、機器に付属の取扱説明書を参照して問題を解決してください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|          | I/Oタイムアウトの時間を短くしていませんか？                                                                           | <p><b>管理者に問い合わせてください。</b><br/>                     I/Oタイムアウト時間が短すぎると、プリンターへの書き込みエラーが発生することがあります。管理者に依頼して、「I/Oタイムアウト時間」で適切な時間を設定してください。<br/>                     →システム設定（管理者）&gt; 「プリンター設定」&gt; 「インターフェイス設定」&gt; 「I/Oタイムアウト時間」</p>                                                                                                                                                                                                                             |

| 問題                 | チェックポイント                                   | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------------------|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>プリントできない</p>    | <p>注意通告ページがプリントされていませんか？</p>               | <p><b>注意通告ページを確認してください。</b><br/>                     指定したとおりのプリントが行えない場合で、かつその原因が操作パネルに表示されないときは、指定されたとおりにプリントが行えない原因を記載した注意通告ページがプリントされます。プリントされた内容をよく読んで対処してください。<br/>                     たとえば、次のような場合に注意通告ページがプリントされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリントデータが多くてメモリーに入りきらないとき</li> <li>• 管理者によって禁止されている機能が指示されているとき</li> </ul> <p>工場出荷時は注意通告ページはプリントしないように設定されています。</p>                           |
|                    | <p>管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？</p>         | <p><b>管理者に問い合わせてください。</b><br/>                     ユーザー認証設定時、ログインしているユーザーの設定によっては、使用できる機能が制限されていることがあります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>カラープリントできない</p> | <p>カラーモードが[カラー]に設定されていますか？</p>             | <p><b>カラーモードの設定で[自動]または[カラー]を選択してください。</b><br/>                     カラーモードの設定は、<br/>                     Windows：<br/>                     プリンタードライバーの[カラー]タブで行います。<br/>                     Macintosh：<br/>                     プリント画面の[カラー]メニューで行います。<br/>                     また、Windowsをお使いの場合はプリンタードライバーの[メイン]タブからも[白黒印刷]を設定できます。カラーでプリントしたいときは、[メイン]タブの[白黒印刷]チェックボックスを <input type="checkbox"/> の状態にしてください。</p> |
|                    | <p>管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？</p>         | <p><b>管理者に問い合わせてください。</b><br/>                     ユーザー認証設定時、ログインしているユーザーの設定によっては、使用できる機能が制限されていることがあります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>両面プリントできない</p>  | <p>選択したトレイに両面プリントできない用紙タイプが設定されていませんか？</p> | <p><b>システム設定で「トレイ設定」を確認してください。</b><br/>                     [両面不可]チェックボックスが <input checked="" type="checkbox"/> になっている場合は、そのトレイで両面プリントができません。用紙タイプを両面プリント可能な用紙に変更してください。<br/>                     →システム設定 &gt; 「給紙トレイ設定」&gt; 「トレイ設定」&gt; 「変更」</p>                                                                                                                                                                     |
|                    | <p>特殊な種類やサイズの内紙を使用していませんか？</p>             | <p><b>両面プリントできる用紙の種類やサイズなどについては、スタートガイドの「仕様」を参照してください。</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                    | <p>管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？</p>         | <p><b>管理者に問い合わせてください。</b><br/>                     システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。<br/>                     ユーザー認証設定時、ログインしているユーザーの設定によっては、使用できる機能が制限されていることがあります。管理者に問い合わせてください。</p>                                                                                                                                                                                                                         |

| 問題                                 | チェックポイント                          | 解決法                                                                                                                                         |
|------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コンピュータの共有フォルダー内のファイルを直接プリントできない    | 本機の「IPsec設定」が有効になっていませんか？         | 管理者に問い合わせてください。<br>システム設定（管理者）で「IPsec設定」が有効になっている場合、お使いのコンピュータの使用環境によっては共有フォルダー内のファイルをプリントできない場合があります。<br>→システム設定（管理者）＞「セキュリティ設定」＞「IPsec設定」 |
| 本機に装着しているトレイやフィニッシャーなどの周辺装置が使用できない | 本機に装着している周辺装置をプリンタードライバーで設定しましたか？ | プリンターのプロパティを開き、[オプション]タブの[オプション自動設定]キーをクリックしてください。（Windows）<br>自動設定が行えない場合は、ソフトウェアセットアップガイドを参照してください。                                       |

## プリント結果に関して

| 問題            | チェックポイント                               | 解決法                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 画像が粗い         | プリンタードライバーの設定がプリントデータに合っていますか？         | プリンタードライバーの設定を確認してください。<br>プリント時の設定で、プリントモードを、[ノーマル]、[高品質]から選択することができます。より鮮明なプリントが必要なときは[高品質]を選択してください。<br>Windows：<br>プリンタードライバー設定画面の[高度な設定]タブで行います。<br>Macintosh：<br>プリント画面の[高度な設定]メニューで行います。（Mac OS v10.5はプリント画面の[カラー]メニューで行います。） |
| 画像が明るい、もしくは暗い | 写真画像などのデータに補正が必要ではありませんか？<br>（Windows） | プリンタードライバーの設定を確認してください。<br>プリンタードライバーの[カラー]タブの中にある[イメージ調整]を行うと、明るさやコントラストを補正することができます。画像の編集ソフトがお使いのコンピュータにインストールされていないときなど、簡易補正が行えます。                                                                                                |
| 色がずれる         | 「レジスト調整」は行いましたか？                       | 管理者に依頼して、「レジスト調整」を行ってください。<br>→システム設定（管理者）＞「デバイス設定」＞「各種設定」＞「レジスト調整」<br>色階調がずれている場合は、レジスト調整終了後「オートカラーキャリブレーション」を行ってください。（ずれが残るときは、再度実行すると改善されることがあります。）<br>→システム設定（管理者）＞「プリンター設定」＞「オートカラーキャリブレーション」                                   |
| 文字や線が薄くて見づらい  | カラーデータを白黒でプリントしましたか？<br>（Windows）      | プリンタードライバーの設定を確認してください。<br>カラーの文字や線は、白黒でプリントすると薄くて見づらくなる場合があります。プリンタードライバーの[カラー]タブで、[文字を黒色で印刷する]または[線を黒色で印刷する]を選択すると、淡くプリントされるカラーの文字または線（面）を黒色に変換してプリントすることができます。（ビットマップ画像などのラスターデータは補正できません。）                                       |

| 問題                     | チェックポイント                                      | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>画像が欠ける</p>          | <p>データ用の紙サイズとトレイにセットした用紙サイズは合っていますか？</p>      | <p><b>用紙サイズの設定が本機にセットした用紙サイズと合っているかを確認してください。</b><br/>用紙サイズの設定は、<br/>Windows：<br/>プリンタードライバーの[用紙]タブで行います。<br/>[フィットページ印刷]を設定している場合は、トレイにセットしている用紙と設定している用紙サイズが合っているかを確認してください。<br/>Macintosh：<br/>[ページ設定]メニューで行います。<br/>(Mac OS 9.0~9.2.2は[用紙設定]メニューで行います。)</p>                                                               |
|                        | <p>プリント方向(縦・横)の設定をまちがえていませんか？</p>             | <p><b>プリント方向を画像データに合わせて設定してください。</b><br/>プリント方向の設定は、<br/>Windows：<br/>プリンタードライバーの[メイン]タブで行います。<br/>Macintosh：<br/>[ページ設定]メニューで行います。<br/>(Mac OS 9.0~9.2.2は[用紙設定]メニューで行います。)</p>                                                                                                                                               |
|                        | <p>アプリケーションソフトのレイアウト設定で、余白を正しく設定していますか？</p>   | <p><b>アプリケーションソフトのレイアウト設定で、適切な用紙サイズと余白を設定してください。</b><br/>用紙の端など、本機でのプリント可能領域を超えた箇所に画像データがあると、画像が欠ける原因となります。</p>                                                                                                                                                                                                               |
| <p>データの内容が上下逆さまになる</p> | <p>一定の方向にしかセットできない用紙(封筒、パンチ紙など)を使用していますか？</p> | <p><b>データを180°回転させてプリントしてください。</b><br/>データと用紙のサイズが同じで向きが異なる場合、自動的に向きを回転してプリントしますが、その際プリント方向が決まっている用紙に上下が逆さまにプリントされてしまうことがあります。<br/>180°回転の設定は、<br/>Windows：<br/>プリンタードライバーの[メイン]タブで行います。<br/>Macintosh (OS X v10.3.9~10.5.1)：<br/>[ページ設定]メニューで行います。(横向きのみ)<br/>(Mac OS 9.0~9.2.2では[用紙設定]メニューの[PostScriptオプション]メニューで行います。)</p> |
|                        | <p>両面プリントの綴じ位置(縦・横)をまちがえていませんか？</p>           | <p><b>綴じ位置を適切に設定してください。</b><br/>両面プリント時、綴じ位置の設定によってはページごとに天地が逆にプリントされます。<br/>綴じ位置の設定は、<br/>Windows：<br/>プリンタードライバーの[メイン]タブで行います。<br/>Macintosh：<br/>プリント画面の[レイアウト]メニューで行います。<br/>(Mac OS 9.0~9.2.2は[排紙/ドキュメントスタイル]で行います。)</p>                                                                                                 |

| 問題                          | チェックポイント                            | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>文字化けしたデータが大量にプリントされる</p> | <p>コンピュータまたは本機が不安定な状態になっていませんか？</p> | <p><b>プリントを中止し、コンピュータと本機を再起動してからプリントし直してください。</b></p> <p>コンピュータのメモリーやハードディスクの空き容量が少なくなっているとき、また、本機側で多数のジョブがスプールされメモリーの空き容量が少なくなっているときなどは、プリントした文字が化けることがあります。</p> <p>プリントを中止するには、</p> <p>Windows：<br/>       タスクバー右下に表示されるプリンターアイコンをダブルクリックし、[プリンター]メニューから[すべてのドキュメントの取り消し]（または[印刷ドキュメントの削除]）をクリックします。</p> <p>Macintosh：<br/>       プリンターリストの本機の名前をダブルクリックし、削除するプリントデータを選択して削除してください。（Mac OS 9.0～9.2.2は、デスクトップ上のプリンターアイコンをダブルクリックし、削除するプリントデータを選択して削除してください。）</p> <p>本機での操作：<br/>       操作パネルの[ジョブ状況]キーを押し、[プリント]タブをタッチして画面を切り替え、削除したいプリントジョブのキーをタッチして[中止/削除]キーをタッチします。確認メッセージが表示されるので、[中止する]キーをタッチしてください。</p> <p>再起動後にプリントを行って文字が化ける場合は、管理者に依頼して、システム設定（管理者）の「I/Oタイムアウト時間」でタイムアウト時間を長く設定してください。</p> <p>→システム設定（管理者）&gt;「プリンター設定」&gt;「インターフェイス設定」&gt;「I/Oタイムアウト時間」</p> <p>これらの対処法を行っても文字が化けるときは、プリンタードライバを削除してインストールし直してください。</p> |

# ファクス

## 送信に関して

- 送信できない ..... 8-23
- 送信した原稿の画像が白紙でプリントされる ..... 8-24
- 送信した原稿の画像が相手側で縮小して受信される ..... 8-24
- 指定した時刻に通信が開始できない ..... 8-24

## 受信に関して

- 受信してもプリントしない ..... 8-25
- 手動受信／ポーリング受信ができない ..... 8-25
- 受信した画像が薄い ..... 8-25
- 本機がファクス受信に切り替わらない ..... 8-26

## 電話に関して

- ダイヤルできない ..... 8-26
- 留守番電話機能がはたらかない ..... 8-27
- 相手と通話できない ..... 8-27

## 音に関して

- 音が聞こえにくい ..... 8-27
- 音が鳴らない ..... 8-27

## ワンタッチキー／グループキーに関して

- ワンタッチキー（またはグループキー）が登録できない ..... 8-28
- ワンタッチキー（またはグループキー）が修正／削除できない ..... 8-28

- 上記のもくじにお探しの項目が見当たらない場合は、「[共通の問題](#)」(8-38ページ)を参照してください。
  - これらの対処法で問題が解決しない場合は、[電源]キー (Ⓜ) および主電源スイッチを“切”にし、10秒以上経ってから主電源スイッチ、[電源]キー (Ⓜ) の順で“入”にしてください。
- 通信中ランプが点灯、またはデータランプが点灯／点滅しているときは、本機の主電源スイッチを切ったり電源プラグを抜き差ししないでください。ハードディスクの破損やデータ消失の原因となることがあります。

# 送信に関して

| 問題     | チェックポイント                           | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 送信できない | 電話線がはずれていませんか？                     | 回線端子、モジュラーコンセント、モジュラー延長アダプターなど、すべての接続箇所を確認して、はずれている場合は確実に接続してください。<br>☞ 側面・背面 (1-6ページ)                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|        | 電話回線の種類は正しく設定されていますか？              | お使いの電話回線に合った設定になっているか、管理者に問い合わせてください。<br>システム設定（管理者）の「ダイヤル発呼信号設定」で電話回線の種類を選択することができます。<br>→システム設定（管理者）＞「ファクス/イメージ送信設定」＞「ファクス設定」＞「ファクス初期設定」＞「ダイヤル発呼信号設定」                                                                                                                                                                                                                              |
|        | 相手が話し中ではありませんか？                    | 相手が話し中のときは、いったん送信を中止し、のちほど自動的に送信し直します。（工場出荷時：3分間隔で2回）<br>→システム設定（管理者）＞「ファクス/イメージ送信設定」＞「ファクス設定」＞「ファクス送信設定」＞「宛先ビジー時の再コール設定」<br>送信を中止するときは、操作パネルの[ジョブ状況]キーを押し、削除したいジョブのキーをタッチして[中止/削除]キーをタッチします。確認メッセージが表示されるので、[中止する]キーをタッチしてください。                                                                                                                                                     |
|        | 通信エラーが起きていませんか？                    | 何らかの原因でエラーが起こり、送信が正常に行われなかったときは、いったん送信を中止し、のちほど自動的に送信し直します。（工場出荷時：3分間隔で2回）<br>→システム設定（管理者）＞「ファクス/イメージ送信設定」＞「ファクス設定」＞「ファクス送信設定」＞「通信エラー時の再コール設定」<br>送信を中止するときは、操作パネルの[ジョブ状況]キーを押し、削除したいジョブのキーをタッチして[中止/削除]キーをタッチします。確認メッセージが表示されるので、[中止する]キーをタッチしてください。<br>本機はECM（自動誤り再送機能）に対応しており、回線のノイズなどで送信画像が乱れた部分を自動的に送信し直すように設定されています。<br>→システム設定（管理者）＞「ファクス/イメージ送信設定」＞「ファクス設定」＞「ファクス初期設定」＞「ECM」 |
|        | メモリーオーバーをお知らせするメッセージが表示されていませんか？   | 複数回に分けて送信するか、直接送信してください。<br>メモリーがいっぱいになると、その送信はキャンセルされます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|        | 原稿サイズが検知されなかったというメッセージが表示されていませんか？ | 再度原稿をセットし直してください。<br>それでも原稿サイズが正しく検知されなかった場合は、原稿サイズを手動で指定してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

| 問題                      | チェックポイント                                  | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 送信できない                  | 送信できなかったという内容が、ジョブ状況画面（完了）や通信結果表に出ていませんか？ | <p><b>あらためて送信し直してください。</b><br/>                     「宛先ビジー時の再コール設定」、「通信エラー時の再コール設定」で設定されている再コールが行われても送信できなかった場合、ジョブ状況画面や通信結果表などに送信できなかった内容を表示します。<br/>                     →システム設定（管理者）＞「ファクス／イメージ送信設定」＞「ファクス設定」＞「ファクス送信設定」＞「宛先ビジー時の再コール設定」<br/>                     →システム設定（管理者）＞「ファクス／イメージ送信設定」＞「ファクス設定」＞「ファクス送信設定」＞「通信エラー時の再コール設定」</p> |
|                         | 長尺原稿を読み込む際、原稿台（ガラス面）にセットしていませんか？          | <p><b>原稿自動送り装置の原稿セット台にセットしてください。</b><br/>                     長尺原稿は、原稿台（ガラス面）からの読み込みはできません。</p>                                                                                                                                                                                                                                           |
|                         | 折りたたまれた状態の原稿をセットしていませんか？                  | <p><b>表示されているメッセージに従って、原稿を伸ばした状態でセットし直し、再度読み込んでください。</b><br/>                     原稿自動送り装置に折りたたまれた状態の原稿をセットした場合、読み込み途中で実際の原稿サイズが検知されると、エラーとなり読み込みを中止します。</p>                                                                                                                                                                              |
|                         | サブアドレスやパスコードをまちがえていませんか？（Fコード通信時）         | <p><b>相手側に確認して、正しいパスコードやサブアドレスを使って送信してください。</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                         | 管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？               | <p><b>管理者に問い合わせてください。</b><br/>                     ユーザー認証設定時、ログインしているユーザーの設定によっては、使用できる機能が制限されていることがあります。</p>                                                                                                                                                                                                                             |
| 送信した原稿の画像が白紙でプリントされる    | 原稿をセットする面をまちがえていませんか？                     | <p><b>正しい向きにセットし直し、再度送信してください。</b><br/>                     原稿台（ガラス面）をお使いの場合は画像面を下向きに、原稿自動送り装置をお使いの場合は画像面を上向きにそれぞれセットして、再度送信してください。</p>                                                                                                                                                                                                   |
|                         | 相手側の記録紙が感熱紙で、表裏逆にセットされていませんか？             | <p><b>相手側に確認してください。</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 送信した原稿の画像が相手側で縮小して受信される | 回転送信が設定されていますか？                           | <p><b>「回転送信の設定」を設定して送信してください。</b><br/>                     「回転送信の設定」が設定されていない（回転送信しない）場合、縦向きにセットした原稿が相手側で縮小される場合があります。<br/>                     →システム設定（管理者）＞「ファクス／イメージ送信設定」＞「ファクス設定」＞「ファクス送信設定」＞「回転送信の設定」＞<input checked="" type="checkbox"/><br/>                     ただし、特別機能の「混載原稿」を設定している場合に異なる幅の原稿を送信すると、回転送信は無効になります。</p>          |
| 指定した時刻に通信が開始できない        | 本機に内蔵されている時計が現在時刻に設定されていますか？              | <p><b>現在時刻に設定し直してください。</b><br/>                     →システム設定＞「初期設定」＞「日付・時刻設定」＞「時刻設定」</p>                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                         | 通信中ではありませんか？                              | <p>指定した時刻に他の通信が実行中の場合、その通信が終了してから時刻指定した通信を開始します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

# 受信に関して

| 問題                | チェックポイント                                                          | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 受信してもプリントしない      | 画面に用紙補給警告、トナー補給警告などのメッセージが表示されていませんか？（表示されていると、プリントができない状態にあります。） | メッセージに従って、プリントできる状態に戻してください。                                                                                                                                                                                                                              |
|                   | パスワードの入力画面が表示されていませんか？                                            | 数字キー（10キー）でパスワードを入力してください。「受信データ印字ホールド設定」が有効になっています。パスワードが不明なときは、管理者に問い合わせてください。                                                                                                                                                                          |
|                   | システム設定（管理者）で分割プリントが禁止されていませんか？                                    | 受信した画像と同じサイズの用紙をセットしてください。<br>システム設定（管理者）の「受信データプリント条件設定」で「等倍でプリント（分割禁止）」が設定されている場合、受信した画像と同じサイズ以上の用紙がセットされていないときは、メモリーへの一時保存を行い、プリントしません。（ただし、A3サイズより長いサイズの画像データを受信したときは、複数枚の用紙に分割してプリントします。）                                                            |
|                   | Webページで受信データの転送機能が設定されていませんか？                                     | 受信データのプリントが必要な場合は、管理者に依頼してください。<br>Webページで受信データの転送機能が設定されている場合、受信したデータを自動的に指定のアドレスに転送します。この設定で「エラー時のみプリント」が選択されていると、受信データはエラー時以外にプリントされません。                                                                                                               |
| 手動受信／ポーリング受信ができない | ファクス受信メモリーが少なくなっていますか？                                            | 下記の事項に該当する場合は、受信データをプリントまたは削除して、ファクス受信メモリーの残量を増やしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ファクス画像確認用の受信データがある。</li> <li>親展受信したデータやパスワードで保護されている受信データがある。</li> <li>メモリーボックスに保存されているデータがある。</li> </ul> 別売のファクスメモリーを装着していただくと、より多くの受信データを受け付けておくことができます。 |
|                   | F ネットを利用していませんか？                                                  | F ネットを利用した通信を行うとき、本機のポーリング受信は使えません。                                                                                                                                                                                                                       |
| 受信した画像が薄い         | 相手側の送信原稿が薄くありませんか？                                                | 相手側に適切な濃度（濃くする）での再送信を依頼してください。                                                                                                                                                                                                                            |

| 問題                | チェックポイント                      | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本機がファクス受信に切り替わらない | システム設定で受信モードが[手動受信]になっていませんか？ | <p><b>受信モードを[自動受信]に設定してください。</b><br/>                     受信モードを[手動受信]にしていると、ファクスを自動で受信しません。<br/>                     →システム設定 &gt; 「受信/転送設定」 &gt; 「ファクス設定」 &gt; 「受信設定」</p> <p>また、システム設定（管理者）の「手動受信から自動受信への切替設定」を設定すると、手動受信モードでファクスの着信があった場合、指定回数の呼出音を鳴らしたあと、自動的に自動受信に切り替えてファクスを受信することができます。<br/>                     管理者に設定を依頼してください。<br/>                     →システム設定（管理者） &gt; 「ファクス/イメージ送信設定」 &gt; 「ファクス設定」 &gt; 「ファクス受信設定」 &gt; 「自動受信への切替設定」 &gt; <input checked="" type="checkbox"/></p> |
|                   | ファクス受信メモリーが少なくなっていますか？        | <p><b>下記の事項に該当する場合は、受信データをプリントまたは削除して、ファクス受信メモリーの残量を増やしてください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ファクス画像確認用の受信データがある。</li> <li>• 親展受信したデータやパスワードで保護されている受信データがある。</li> <li>• メモリーボックスに保存されているデータがある。</li> </ul> <p>別売のファクスメモリーを装着していただくと、より多くの受信データを受け付けておくことができます。</p>                                                                                                                                                                                                          |

## 電話に関して

| 問題       | チェックポイント                                     | 解決法                                                                                                                                                                                               |
|----------|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ダイヤルできない | 電話機がはずれていませんか？                               | <p><b>接続箇所を確認してください。</b><br/>                     回線端子、外部電話機接続端子、モジュラーコンセント、モジュラー延長アダプターなど、すべての接続箇所を確認して、はずれている場合は確実に接続してください。</p>                                                                |
|          | システム設定（管理者）でハンドセットが設定されていますか？<br>（ハンドセット接続時） | <p><b>管理者に依頼して、「ハンドセット接続」を有効な状態にしてください。</b><br/>                     →システム設定（管理者） &gt; 「ファクス/イメージ送信設定」 &gt; 「ファクス設定」 &gt; 「ファクス初期設定」 &gt; 「ハンドセット接続」 &gt; <input checked="" type="checkbox"/></p> |
|          | システム設定（管理者）で外部電話機が設定されていますか？<br>（外部電話機接続時）   | <p><b>管理者に依頼して、「外部電話接続」を有効な状態にしてください。</b><br/>                     →システム設定（管理者） &gt; 「ファクス/イメージ送信設定」 &gt; 「ファクス設定」 &gt; 「ファクス初期設定」 &gt; 「外部電話接続」 &gt; <input checked="" type="checkbox"/></p>     |
|          | 回線2を使用していませんか？<br>（回線増設キット装着時）               | <p><b>ハンドセットおよび外部電話を使用する際は、回線1を使用してください。</b></p>                                                                                                                                                  |

| 問題             | チェックポイント                               | 解決法                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 留守番電話機能がはたらかない | システム設定（管理者）で留守番電話機能を設定しましたか？           | <p>管理者に依頼して、「留守番電話接続設定」を有効な状態にしてから、「受信設定」を「留守接続」に設定してください。</p> <p>→システム設定（管理者）&gt; 「ファクス/イメージ送信設定」&gt; 「ファクス設定」&gt; 「ファクス初期設定」&gt; 「留守番電話接続する」&gt; <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>→システム設定 &gt; 「受信/転送設定」&gt; 「ファクス設定」&gt; 「受信設定」</p> |
|                | システム設定（管理者）で外部電話機が設定されていますか？（外部電話機接続時） | <p>管理者に依頼して、「外部電話接続」を有効な状態にしてください。</p> <p>→システム設定（管理者）&gt; 「ファクス/イメージ送信設定」&gt; 「ファクス設定」&gt; 「ファクス初期設定」&gt; 「外部電話接続」&gt; <input checked="" type="checkbox"/></p>                                                                                  |
|                | 留守番電話機側の設定は適切ですか？                      | <p>管理者に問い合わせてください。</p> <p>本機に取り付けている留守番電話機側での呼出音回数の設定を、システム設定（管理者）の「留守番電話接続設定」で設定している回数よりも少なくしてください。回数を少なくしないと、外部電話機の留守番電話機能はたらく前にファクスを受信してしまいます。</p> <p>→システム設定（管理者）&gt; 「ファクス/イメージ送信設定」&gt; 「ファクス設定」&gt; 「ファクス初期設定」&gt; 「留守番電話接続設定」</p>        |
| 相手と通話できない      | オンフックダイヤルで電話をかけていませんか？                 | <p>ハンドセットまたは外部電話機の手話器を取ってお話しください。</p> <p>オンフックダイヤルで電話をかけた場合、相手の声は聞こえますがこちらの声は相手に聞こえません。（ハンドセットまたは外部電話機を装着していない場合、相手と通話できません。）</p>                                                                                                                |

## 音に関して

| 問題                                                                                                                                                        | チェックポイント                         | 解決法                                                                                                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>音が聞こえにくい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンフック</li> <li>・呼出音</li> <li>・回線モニター</li> <li>・受信終了音</li> <li>・送信終了音</li> <li>・送受信エラー音</li> </ul> | システム設定（管理者）で音量の値が小さくなっていませんか？    | <p>管理者に依頼して、「音設定」でそれぞれの音量の値を大きく設定してください。</p> <p>→システム設定（管理者）&gt; 「ファクス/イメージ送信設定」&gt; 「ファクス設定」&gt; 「ファクス初期設定」&gt; 「音設定」</p>   |
| <p>音が鳴らない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼出音</li> <li>・回線モニター</li> <li>・受信終了音</li> <li>・送信終了音</li> <li>・送受信エラー音</li> </ul>                   | システム設定（管理者）で音量の設定が「なし」になっていませんか？ | <p>管理者に依頼して、「音設定」でそれぞれの音量を「なし」以外に設定してください。</p> <p>→システム設定（管理者）&gt; 「ファクス/イメージ送信設定」&gt; 「ファクス設定」&gt; 「ファクス初期設定」&gt; 「音設定」</p> |

# ワンタッチキー／グループキーに関して

| 問題                                   | チェックポイント                                                                              | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ワンタッチキー（またはグループキー）が登録できない            | 登録件数が上限に達していませんか？                                                                     | <b>登録件数を調整してください。</b><br>使用していないワンタッチキー（またはグループキー）を削除するなどして調整してください。                                                                                                                                                                                                                    |
|                                      | 管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？                                                           | <b>管理者に問い合わせてください。</b><br>システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。                                                                                                                                                                                                                       |
| ワンタッチキー（またはグループキー）が修正／削除できない         | 修正または削除したいワンタッチキーが、グループキーに含まれていませんか？                                                  | <b>グループキーから修正／削除したいワンタッチキーを解除し、修正／削除を行ってください。</b><br>（複数登録されている場合は、すべて解除する必要があります。）<br>→システム設定 > 「宛先登録」> 「アドレス帳」<br><br>登録しているグループキーが多数にわたるときは、システム設定の「宛先登録リスト」でグループリストをプリントしてください。どこにワンタッチキーを登録しているのかが一覧で確認できます。<br>→システム設定 > 「データリストプリント」> 「宛先登録リスト」> 「グループリスト」                       |
|                                      | 修正または削除したいキーに、送信予約中または通信中の宛先が含まれていませんか？                                               | <b>送信予約を解除するか、通信が終了してから修正／削除を行ってください。</b>                                                                                                                                                                                                                                               |
|                                      | 修正または削除したいキーが、プログラムに含まれていませんか？                                                        | <b>プログラムから修正／削除したいワンタッチキー（またはグループキー）を解除し、修正／削除を行ってください。</b><br>（複数登録されている場合は、すべて解除する必要があります。）<br>→システム設定 > 「宛先登録」> 「プログラム」<br><br>登録しているプログラムが多数にわたるときは、システム設定の「宛先登録リスト」でプログラムリストをプリントしてください。どこにワンタッチキー（またはグループキー）を登録しているのかが一覧で確認できます。<br>→システム設定 > 「データリストプリント」> 「宛先登録リスト」> 「プログラムリスト」 |
|                                      | 修正または削除したいキーを、Fコード中継同報送信の転送先に登録していませんか？                                               | <b>Fコード中継同報送信の転送先から削除し、修正／削除を行ってください。</b><br>転送先として登録されているワンタッチキー（またはグループキー）は、修正／削除することができません。<br>→システム設定 > 「宛先登録」> 「Fコードメモリーボックス」                                                                                                                                                      |
|                                      | 管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？                                                           | <b>管理者に問い合わせてください。</b><br>システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。                                                                                                                                                                                                                       |
| 管理者によって、修正または削除ができなくなる機能が設定されていませんか？ | <b>管理者に問い合わせてください。</b><br>「受信データのネットワーク転送設定」（Webページでの設定）などが管理者によって設定されていると修正／削除できません。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

# スキャナー／インターネット Fax

## スキャナー／インターネットFaxの動作に関して

- 送信できない ..... 8-29
- アドレスが指定できない ..... 8-30
- モードを選択できない ..... 8-30
- 自動でカラーモードを識別しない ..... 8-30
- 受け取った画像データを開けない ..... 8-31
- 送信に時間がかかる ..... 8-31
- 送信先が選択された状態になっている ..... 8-31
- USBメモリーに書き込みできない（USBメモリースキャン時） ..... 8-31

## スキャン結果に関して

- 読み取った画像が欠ける ..... 8-31
- 読み取った画像の質が悪い ..... 8-32
- 白紙でスキャンされる ..... 8-32
- 読み取った画像の天地が逆になっていたり、横向きになっている ..... 8-32
- [カラースタート]キーのランプが消えている ..... 8-32
- ファイル形式でJPEGを選択したがTIFFで生成された ..... 8-32
- 読み取った画像が明るい、もしくは暗い（リモートPCスキャン時） ..... 8-33

## ワンタッチキー／グループキーに関して

- ワンタッチキー（またはグループキー）が登録できない ..... 8-33
- ワンタッチキー（またはグループキー）が修正／削除できない ..... 8-34

• 上記のもくじにお探しの項目が見当たらない場合は、「共通の問題」（8-38ページ）を参照してください。

• これらの対処法で問題が解決しない場合は、[電源]キー（Ⓞ）および主電源スイッチを“切”にし、10秒以上経ってから主電源スイッチ、[電源]キー（Ⓞ）の順で“入”にしてください。

通信中ランプが点灯、またはデータランプが点灯／点滅しているときは、本機の主電源スイッチを切ったり電源プラグを抜き差ししないでください。ハードディスクの破損やデータ消失の原因となることがあります。

## スキャナー／インターネットFaxの動作に関して

| 問題     | チェックポイント                                                                        | 解決法                                                                                                                                                        |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 送信できない | 送信先（送信先情報）の選択をまちがえていませんか？また、登録されている送信先（E-mailアドレスやFTPサーバーの送信先情報）の設定をまちがえていませんか？ | 正しい送信先（送信先情報）の設定と選択をしてください。<br>E-mail送信（E-mail送信スキャン）でデータが送信先に届かないときは、不達通知などのエラー情報があらかじめ設定されている管理者のE-mailアドレスに届いている場合があります。データが送信先に届かない原因を調べるときの参考にしてください。 |

| 問題              | チェックポイント                                                                                                                                        | 解決法                                                                                                                                              |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 送信できない          | システム設定（管理者）で上限設定されている最大送信データ量をこえていませんか？                                                                                                         | <b>管理者に問い合わせてください。</b><br>管理者によって最大送信データ量に上限値が設定されている場合、上限を超えたデータを送信することはできません。                                                                  |
|                 | メールサーバーの管理者によって制限されている最大送信データ量をこえていませんか？<br>(E-mail送信スキャン時)                                                                                     | <b>1回のE-mail送信のデータ量（読み込む原稿のページ数）を少なくしてください。</b><br>または、読み込み時の解像度の設定を下げることでデータ量を減らすこともできます。1回のE-mail送信で扱える最大送信データ量はメールサーバーの管理者（プロバイダなど）に確認してください。 |
|                 | 送信先に指定したコンピュータのフォルダーを書き込みできるように共有設定していますか？<br>(共有フォルダー送信スキャン時)                                                                                  | <b>送信先のフォルダーが共有になっていない場合はフォルダーのプロパティで共有に設定してください。</b><br>フォルダーの移動などに伴い、共有が解除されることがあります。                                                          |
|                 | 本機の「IPsec設定」が有効になっていませんか？<br>(共有フォルダー送信スキャン時)                                                                                                   | <b>管理者に問い合わせてください。</b><br>システム設定（管理者）で「IPsec設定」が有効になっている場合、お使いのコンピュータの環境によっては共有フォルダーへのスキャンができない場合があります。<br>→システム設定（管理者）＞「セキュリティ設定」＞「IPsec設定」     |
|                 | 長尺原稿を読み込む際、原稿台（ガラス面）にセットしていませんか？                                                                                                                | <b>原稿自動送り装置の原稿セット台にセットしてください。</b><br>長尺原稿は、原稿台（ガラス面）からの読み込みはできません。                                                                               |
|                 | 折りたたまれた状態の原稿をセットしていませんか？                                                                                                                        | <b>表示されているメッセージに従って、原稿を伸ばした状態でセットし直し、再度読み込んでください。</b><br>原稿自動送り装置に折りたたまれた状態の原稿をセットした場合、読み込み途中で実際の原稿サイズが検知されると、エラーとなり読み込みを中止します。                  |
| アドレスが指定できない     | 管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？                                                                                                                     | <b>管理者に問い合わせてください。</b><br>システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。管理者に問い合わせてください。                                                                 |
| モードを選択できない      |                                                                                                                                                 | ユーザー認証設定時、ログインしているユーザーの設定によっては、使用できる機能が制限されていることがあります。                                                                                           |
| 自動でカラーモードを識別しない | 次のような原稿を使用していませんか？<br><b>白黒にならない場合</b><br>• 用紙自体が色味がかっている原稿（わら半紙など）<br><b>カラーにならない場合</b><br>• 色が非常に薄い原稿<br>• 色が非常に濃く、黒に近い原稿<br>• カラー部分が極めて少ない原稿 | <b>手で原稿を区別してスキャンしてください。</b><br>カラーモードを「自動」に設定して[カラースタート]キーを押すと、白黒原稿がカラー原稿かを自動で識別してスキャンしますが、左記のような場合には自動識別が正常にはたらかないことがあります。                      |

| 問題                            | チェックポイント                                        | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 受け取った画像データを開けない               | 受信側で使用しているビューワなどのソフトウェアが受け取った画像データの形式に対応していますか？ | ファイルタイプと圧縮形式の組み合わせに対応したソフトウェアを使用して開いてください。<br>送信時に選択するファイルタイプと圧縮形式の組み合わせを変更すると開く場合があります。                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                               | パスワードの入力を求められていますか？                             | 送信者にパスワードを確認するか、暗号化していない画像形式で再度送信を依頼してください。<br>受信したデータが暗号化PDFになっています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 送信に時間がかかる                     | スキャン時の解像度設定は適切ですか？                              | 送信目的に応じた適切な解像度やデータ圧縮の設定を行ってください。<br>解像度とファイルサイズのバランスがとれた画像データを生成するために以下の点にご注意ください。<br>解像度のモードについて：<br>最初は標準値として[200X200dpi]（スキャナー、USBメモリスキャンモード）/[200X100dpi]（インターネットFaxモード）に設定されています。ハーフトーン画像（写真やイラストなど）が含まれない原稿については、標準値で読み込ませるほうがより実用的なスキャン画像が得られます。それより細かい解像度や「中間調」（インターネットFaxモードのみ）は写真などの画像が含まれる原稿で写真部分の画質を優先したい場合にのみ選択してください。その場合、標準値よりもファイルサイズが大きくなりますのでご注意ください。 |
| 送信先が選択された状態になっている             | システム設定（管理者）で「デフォルト宛先設定」が設定されていませんか？             | 設定されている送信先と異なる宛先に送信したいときは、 <b>[キャンセル]キーをタッチしてください。</b><br>あなたが管理者の場合で、標準の送信先（デフォルトの宛先）を変更または解除したいときは、「デフォルト宛先設定」で設定を行ってください。<br>→システム設定（管理者）＞「ファクス/イメージ送信設定」＞「スキャナー設定」＞「デフォルト宛先設定」                                                                                                                                                                                      |
| USBメモリーに書き込みできない（USBメモリスキャン時） | 接続されたUSB機器は正しく認識されていますか？                        | システム設定の「USBデバイス確認」で、認識されているかどうかを確認してください。<br>→システム設定＞「USBデバイス確認」<br>認識されていない場合は、もう一度接続し直してみてください。                                                                                                                                                                                                                                                                       |

## スキャン結果に関して

| 問題          | チェックポイント                                 | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読み取った画像が欠ける | 原稿の読み取りサイズ設定で原稿のサイズよりも小さなサイズが設定されていませんか？ | 実際の原稿サイズを設定してください。<br>意図的に原稿の実サイズよりも小さなサイズを設定している場合は、設定した読み取りサイズでの原稿セット基準位置を想定して原稿をセットしてください。たとえば原稿台（ガラス面）に実サイズA4の原稿をB5サイズでの読み取りサイズ設定でセットする場合は、ガラス面左端の原稿台スケール側を基準としたB5サイズ原稿のセット範囲内に、読み込ませたい画像範囲がおさまるように原稿をセットしてください。<br>☞ 1. お使いになる前に「原稿台（ガラス面）に原稿をセットする」（1-37ページ） |

| 問題                            | チェックポイント                                         | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読み取った画像の質が悪い                  | 印刷物の原稿を読み取っていませんか？                               | <p><b>以下の方法でモアレの発生を低減させてください。</b><br/>印刷物の原稿の場合、しま模様（モアレ）が多少発生することがあります。基本画面の[濃度]キーをタッチすると表示される濃度設定画面に[モアレ低減]チェックボックスがあります。このチェックボックスをタッチして<input checked="" type="checkbox"/>にすると、モアレの発生を低減できます（スキャナーモード・USBメモリースキャンモードのみ）。また、読み取り解像度を変えたり、原稿台のガラス面に原稿をセットしている場合は、原稿の位置やセット角度を少しずらすとモアレの発生を多少軽減できる場合があります。</p> |
|                               | カラー原稿やグレースケールの原稿を読み込むときに、カラーモードが「白黒2値」になっていませんか？ | カラーモードが「白黒2値」に設定されていると、原稿で使用されている色を白か黒かに置き換えてスキャンします。文字のみの原稿には適していますが、イラストなどの画像を含む原稿を読み込むときは、[白黒スタート]キーのカラーモードを[グレースケール]に設定するか、[カラースタート]キーのカラーモードを[フルカラー]または[自動]→[グレースケール]に設定してスキャンしてください。                                                                                                                      |
|                               | フォーマットで[TIFF-S]を選択した送信先が含まれていませんか？               | <p><b>スキャナーモードの送信先に高解像度で送信したいときは、インターネットFaxの送信先と分けて送信してください。</b><br/>スキャナーモードの送信先と、フォーマットで[TIFF-S]を選択したインターネットFaxの送信先が含まれた同報送信を行うときは、高解像度の設定を行っても、解像度は[200X200dpi]に変更されます。</p>                                                                                                                                  |
| 白紙でスキャンされる                    | 原稿をセットする面をまちがえていませんか？                            | <p><b>正しい向きにセットし直し、再度送信してください。</b><br/>原稿台（ガラス面）をお使いの場合は送信する面または画像面を下向きに、原稿自動送り装置をお使いの場合は送信する面または画像面を上向きにそれぞれセットしてください。</p>                                                                                                                                                                                     |
| 読み取った画像の天地が逆になっていたり、横向きになっている | インターネットFaxモードの宛先が含まれていませんか？                      | <p><b>インターネットFaxの宛先と分けて送信してください。</b><br/>スキャナーモードの宛先とインターネットFaxモードの宛先が含まれる同報送信を行うときは、インターネットFaxの原稿送信方向が優先されるため、コンピュータでファイルを表示したときに正しい向きで表示されない場合があります。</p>                                                                                                                                                      |
| [カラースタート]キーのランプが消えている         | インターネットFaxまたはファクスの送信先が含まれていませんか？                 | <p><b>[白黒スタート]キーを使用してください。</b><br/>宛先にインターネットFaxまたはファクスの送信先が含まれていると、[白黒スタート]キーしか使用できません。</p>                                                                                                                                                                                                                    |
| ファイル形式でJPEGを選択したがTIFFで生成された   | [白黒スタート]キーを押してスキャンしませんでしたか？                      | <p><b>カラーモードを[フルカラー]にして[カラースタート]キーを押してください。</b><br/>フォーマットを[JPEG]に選択していても、原稿を白黒2値で読み込んだ場合は、TIFFでファイルが生成されます。</p>                                                                                                                                                                                                |

| 問題                                  | チェックポイント             | 解決法                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読み取った画像が明るい、もしくは暗い<br>(リモートPCスキャン時) | しきい値は適切ですか？          | 「しきい値」の設定を確認してください。<br>TWAINドライバーの「詳細設定」画面の「カラーモード」から[白黒：単純2値]を選択してスキャンするときは、「しきい値」の設定を確認してください。「しきい値」が大きいときは暗くなり、「しきい値」が小さいときは明るくなります。「しきい値」を自動的に調整するときは「詳細設定」画面の[画質調整]タブの[しきい値の自動調整]ボタンをクリックしてください。 |
|                                     | 明るさとコントラストの設定は適切ですか？ | スキャンした結果が明るすぎるなど、明るさとコントラストの設定が適切でない場合には、「詳細設定」画面の[色調整]タブの[入出力レベルの自動調整]ボタンをクリックしてください。また、[明るさ/コントラスト]ボタンをクリックすると、スキャン結果を確認しながら明るさとコントラストを設定することができます。                                                 |

## ワンタッチキー／グループキーに関して

| 問題                        | チェックポイント                                | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ワンタッチキー（またはグループキー）が登録できない | 登録件数が上限に達していませんか？                       | 登録件数を調整してください。<br>使用していないワンタッチキー（またはグループキー）を削除するなどしてください。                                                                                                                                                                                                  |
|                           | 管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？             | 管理者に問い合わせてください。<br>システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。                                                                                                                                                                                                 |
|                           | 修正または削除したいワンタッチキーが、グループキーに含まれていませんか？    | グループキーから修正／削除したいワンタッチキーを解除し、修正／削除を行ってください。<br>(複数登録されている場合は、すべて解除する必要があります。)<br>→システム設定 > 「宛先登録」> 「アドレス帳」<br><br>登録しているグループキーが多数にわたるときは、システム設定の「宛先登録リスト」でグループリストをプリントしてください。どこにワンタッチキーを登録しているのかが一覧で確認できます。<br>→システム設定 > 「データリストプリント」> 「宛先登録リスト」> 「グループリスト」 |
|                           | 修正または削除したいキーに、送信予約中または通信中の宛先が含まれていませんか？ | 送信予約を解除するか、通信が終了してから修正／削除を行ってください。                                                                                                                                                                                                                         |

| 問題                                  | チェックポイント                                    | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>ワンタッチキー（またはグループキー）が修正／削除できない</p> | <p>修正または削除したいキーが、プログラムに含まれていませんか？</p>       | <p><b>プログラムから修正／削除したいワンタッチキー（またはグループキー）を解除し、修正／削除を行ってください。</b><br/>                     （複数登録されている場合は、すべて解除する必要があります。）<br/>                     →システム設定 &gt; 「宛先登録」&gt; 「プログラム」</p> <p>登録しているプログラムが多数にわたるときは、システム設定の「宛先登録リスト」でプログラムリストをプリントしてください。どこにワンタッチキー（またはグループキー）を登録しているのかが一覧で確認できます。<br/>                     →システム設定 &gt; 「データリストプリント」&gt; 「宛先登録リスト」&gt; 「プログラムリスト」</p> |
|                                     | <p>管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？</p>          | <p><b>管理者に問い合わせてください。</b><br/>                     システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                                     | <p>管理者によって、修正または削除ができなくなる機能が設定されていませんか？</p> | <p><b>管理者に問い合わせてください。</b><br/>                     「デフォルト宛先設定」（本体での設定）や「受信データのネットワーク転送設定」（Webページでの設定）などが管理者によって設定されていると修正／削除できません。</p>                                                                                                                                                                                                                                          |

# ドキュメントファイリング

## ファイリングに関して

- ドキュメントファイリングができない ..... 8-35
- ファイリングしたデータをプリントできない ..... 8-36
- ユーザーフォルダーにファイリングできない ..... 8-36

## ファイルの管理に関して

- 保存されているファイルが消えた ..... 8-36
- ファイルを削除できない ..... 8-36
- ファイルの属性変更で「親展」に設定することができない ..... 8-36
- 親展ファイル、親展フォルダーが開けない ..... 8-36
- ファイル名が登録または変更できない ..... 8-36
- ユーザーフォルダー名が登録または変更できない ..... 8-36
- ファイル名が途中で切れる ..... 8-37

- 上記のもくじにお探しの項目が見当たらない場合は、「[共通の問題](#)」(8-38ページ)を参照してください。
  - これらの対処法で問題が解決しない場合は、[電源]キー (Ⓞ) および主電源スイッチを“切”にし、10秒以上経ってから主電源スイッチ、[電源]キー (Ⓞ) の順で“入”にしてください。
- 通信中ランプが点灯、またはデータランプが点灯/点滅しているときは、本機の主電源スイッチを切ったり電源プラグを抜き差ししないでください。ハードディスクの破損やデータ消失の原因となることがあります。

## ファイリングに関して

| 問題                | チェックポイント                   | 解決法                                                                                                                                                                            |
|-------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ドキュメントファイリングができない | ドキュメントファイリングの設定をしましたか？     | <b>ドキュメントファイリングの設定をしてください。</b><br>プリンターモードの場合、プリンタードライバーの[ジョブハンドリング]タブで、ドキュメントファイリングを使用できるように設定してください。<br>コピーモードやイメージ送信モードの場合、[自動一時保存]キーや[ファイリング]キーをタッチしてから、ドキュメントファイリングを行います。 |
|                   | 管理者によって、機能の使用制限が設定されていますか？ | <b>管理者に問い合わせてください。</b><br>システム設定(管理者)で、機能を使用できないように設定している場合があります。管理者に問い合わせてください。<br>ユーザー認証設定時、ログインしているユーザーの設定によっては、使用できる機能が制限されていることがあります。                                     |

| 問題                   | チェックポイント                                                   | 解決法                                                                                                                                 |
|----------------------|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ファイリングしたデータをプリントできない | 管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？                                | 管理者に問い合わせてください。<br>システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。管理者に問い合わせてください。<br>ユーザー認証設定時、ログインしているユーザーの設定によっては、使用できる機能が制限されていることがあります。 |
| ユーザーフォルダーにファイリングできない | プリンタードライバーの「フォルダー情報」に本機で作成したユーザーフォルダーが表示されていますか？（プリンター使用時） | プリンタードライバーのドキュメントファイリングの保存先設定画面で[フォルダー情報の取得]ボタンをクリックして、本機で作成したユーザーフォルダーを呼び出してください。                                                  |
|                      | ユーザーフォルダーにパスワードが設定されていませんか？                                | ドキュメントファイリングの保存先設定画面で、本機で設定したパスワードを入力してください。                                                                                        |

## ファイルの管理に関して

| 問題                         | チェックポイント                              | 解決法                                                                                                                                              |
|----------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保存されているファイルが消えた            | ファイルの再操作で[印刷後データを削除]キーをタッチしませんでしたか？   | [印刷後データを保存]キーをタッチして再印刷を行ってください。<br>[印刷後データを削除]キーをタッチして再印刷を行うと、ジョブ終了後ファイルを自動的に削除します。<br>ファイルの属性を「保護」にすることで、簡単に削除できないようにできます。                      |
|                            | ドキュメントファイリングデータが自動削除されるように設定されていませんか？ | 必要なデータが削除されている場合は、管理者に相談してください。<br>システム設定(管理者)で「ファイルの自動削除設定」が設定されていると、指定されたフォルダー内のドキュメントファイリングデータは定期的に削除されます。（「親展」および「保護」にしている場合でも削除されることがあります。） |
| ファイルを削除できない                | ファイルの属性を「保護」に設定していませんか？               | ファイルの属性変更で設定を「保護」から「共有」に戻したうえで、ファイルの削除を行ってください。<br>ファイルの属性を「保護」に設定している場合は、ファイルを削除できません。                                                          |
| ファイルの属性変更で「親展」に設定することができない | 一時保存フォルダーに入っているファイルではありませんか？          | 別のフォルダーに移動して設定を行ってください。<br>一時保存フォルダーのファイルには「親展」の設定が行えません。（一時保存フォルダーのファイルでも、「保護」にすることで簡単に削除できないようにできます。）                                          |
| 親展ファイル、親展フォルダーが開けない        | 間違ったパスワードを入力していませんか？                  | 管理者に問い合わせてください。<br>どうしてもパスワードを思い出せない場合は、システム設定（管理者）でファイルやフォルダーのパスワードを変更し、新しく設定し直すことができます。                                                        |
| ファイル名が登録または変更できない          | ファイル、フォルダー名に使用できない文字が含まれていませんか？       | ファイル名およびフォルダー名を入力する場合、次の半角記号は使用できません。<br>? / " ; : , < > ! * & # ¥                                                                               |
| ユーザーフォルダー名が登録または変更できない     |                                       |                                                                                                                                                  |

| 問題           | チェックポイント                                    | 解決法                                                                                                                                                        |
|--------------|---------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ファイル名が途中で切れる | スキャナー、インターネットFax送信時、送信詳細設定でファイル名を登録していませんか？ | 送信詳細設定を自動一時保存またはファイリングの設定よりも先に行っている場合、自動一時保存またはファイリングされるファイル名は送信詳細設定で登録されたファイル名が設定されます。そのため自動一時保存のファイル名の文字数（全角15文字／半角30文字）を超えている場合は、超えている分の文字が切れてなくなってしまう。 |

# 共通の問題

## 本機の動作に関して

- 特定の機能が使用できない..... 8-39
- 操作ができない..... 8-39
- プリントできない、またはプリントが途中で止まる..... 8-40
- 原稿サイズが自動的に選択されない、または原稿サイズと異なる用紙が選択される..... 8-40
- 手差しの用紙サイズ表示が違う..... 8-40

## 給紙／排紙に関して

- 原稿がつまる（原稿自動送り装置）..... 8-41
- 用紙がつまる..... 8-41
- 給紙トレイから用紙が給紙されない..... 8-42
- 用紙に対して斜めにプリントされる..... 8-42
- 原稿自動送り装置が使えない..... 8-42

## 画質／プリント結果に関して

- 読み取った画像にすじ状の汚れが写る..... 8-43
- プリントした用紙が汚れる..... 8-43
- トナーののりが悪かったり、出力紙がシワよりしている..... 8-43
- プリント結果が薄い..... 8-43
- 画像が欠ける..... 8-44
- 用紙のプリントしたい面の裏側にプリントされる..... 8-44
- 表紙や合い紙が、指定した用紙でプリントされない..... 8-44

## 周辺装置に関して

- 接続したUSB機器が使用できない..... 8-45
- 接続したUSBメモリーが使用できない..... 8-45
- フィニッシャーが動作しない..... 8-45
- ステープルできない..... 8-45
- パンチできない..... 8-46
- ステープル位置またはパンチ位置がおかしい..... 8-46

## そのほかに…

- プレビュー画像や縮小画像が表示されない..... 8-47
- タッチパネルの画面が見えにくい..... 8-47
- 何もしていないのに、勝手にログアウトしてしまう..... 8-47
- 管理者パスワードを忘れてしまった..... 8-47
- 保守サービスの連絡先が分からない..... 8-47

これらの対処法で問題が解決しない場合は、[電源]キー（) および主電源スイッチを“切”にし、10秒以上経ってから主電源スイッチ、[電源]キー（) の順で“入”にしてください。

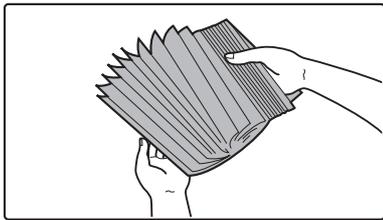
通信ランプが点灯、またはデータランプが点灯／点滅しているときは、本機の主電源スイッチを切ったり電源プラグを抜き差ししないでください。ハードディスクの破損やデータ消失の原因となることがあります。

# 本機の動作に関して

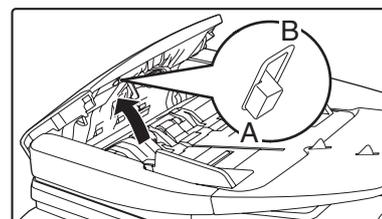
| 問題           | チェックポイント                                                                                                 | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特定の機能が使用できない | 管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？                                                                              | <b>管理者に問い合わせてください。</b><br>システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。管理者に問い合わせてください。ユーザー認証設定時、ログインしているユーザーの設定によっては、使用できる機能が制限されていることがあります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 操作ができない      | 主電源ランプは点灯していますか？                                                                                         | <b>点灯していない場合は、電源を入れてください。</b><br>電源プラグが確実に差し込まれていることを確認してから主電源スイッチを“入”にし、[電源]キー（  )を押して電源を入れてください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|              | 電源を入れた直後ではありませんか？                                                                                        | <b>用意ができたことをお知らせするメッセージが表示されるまでお待ちください。</b><br>[電源]キー（  )を“入”にすると、しばらくのあいだウォームアップが行われます。ウォームアップ動作中は各機能の設定はできません、ジョブを実行することはできません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|              | [節電]キー（  )が点滅していませんか？ | <b>[節電]キー（)を押して、オートパワーシャットオフモードを解除してください。</b><br>☞ 1. お使いになる前に「[節電]キーについて」（1-15ページ）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|              | 各カバーや装置類が開いたり、離れたたりしていませんか？                                                                              | <b>メッセージをよく読んで対処してください。</b><br>各カバーが確実に閉められていないときや装置類が離れていると、警告メッセージを表示します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|              | ログインを3回連続して失敗しましたか？                                                                                      | <b>復帰後、正しいユーザー情報でログインしてください。</b><br>システム設定（管理者）で「ログイン失敗時の警告」が設定されていると、3回連続してログインを失敗したときに警告が表示され、ユーザー認証の操作が5分間禁止されます。（ユーザー情報が不明なときは、管理者に連絡してください。）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|              | 固定ユーザーでのログインに失敗したというメッセージが表示されていませんか？                                                                    | <b>管理者に問い合わせてください。</b><br>ネットワークトラブルなどにより、自動ログインに失敗しています。<br>あなたが管理者の場合は、[管理者パスワード]キーをタッチし、管理者権限でログインしてからシステム設定（管理者）で一時的に設定を変更してください。（ネットワークトラブルなどの原因が解消されたあとは、元の設定に戻せます。）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|              | タッチパネルに「エラーです。コード:xx-xx※ 電源を入れ直してください。」というメッセージが表示されていませんか？<br>※ xx-xxはアルファベットと数字が表示されます。                | <b>電源を入れ直してください。</b><br>操作パネルの通信中ランプが点灯、またはデータランプが点灯／点滅していないことを確認してから[電源]キー（  )および主電源スイッチを“切”にし、10秒以上経ってから主電源スイッチ、[電源]キー（  )の順で“入”にしてください。<br>何度か電源スイッチおよび[電源]キー（  )を入れ直しても同じメッセージが表示される場合は、故障の可能性がありますので、この場合は、すみやかに使用をやめて電源プラグを抜き、お買いあげ販売店、またはスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口にご連絡してください。（ご連絡の際は、表示されているエラーコード番号も一緒にご連絡ください。） |

| 問題                                           | チェックポイント                                                                          | 解決法                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>プリントできない、またはプリントが途中で止まる</p>               | <p>用紙切れを起こしていませんか？</p>                                                            | <p>タッチパネルに表示されるメッセージに従い、用紙を補給してください。</p>                                                                                                                                                         |
|                                              | <p>トナー切れを起こしていませんか？</p>                                                           | <p>トナーカートリッジを交換してください。<br/>トナーが残り少なくなると、トナーカートリッジの交換をお知らせするメッセージが表示されます。トナーカートリッジの交換方法については、「1. お使いになる前に」の「<a href="#">お手入れについて</a>」(1-53ページ)を参照してください。</p>                                      |
|                                              | <p>紙づまりを起こしていませんか？</p>                                                            | <p>タッチパネルに表示されるメッセージに従い、つまった紙を取り除いてください。<br/>☞ <a href="#">紙づまりの対応</a> (8-8ページ)</p>                                                                                                              |
|                                              | <p>排紙トレイに用紙が満杯になっていませんか？</p>                                                      | <p>トレイから用紙を取り出し、プリントを再開してください。<br/>排紙トレイに用紙が満杯になると、検知機能がはたらき、プリントが中断されます。</p>                                                                                                                    |
|                                              | <p>廃トナーボックスが満杯になっていませんか？</p>                                                      | <p>タッチパネルに表示されるメッセージに従い、廃トナーボックスを交換してください。<br/>☞ 1. お使いになる前に「<a href="#">お手入れについて</a>」(1-53ページ)</p>                                                                                              |
|                                              | <p>各機能※ごとに、使用する給紙トレイが制限されていませんか？<br/>※ コピー、プリンター、ファクス、インターネットFax、ドキュメントファイリング</p> | <p>給紙トレイ設定で各機能のチェックボックス(給紙許可ジョブ)にチェックマークが付いているか確認してください。<br/>チェックマークが付いていない機能は、そのトレイでプリントすることができません。<br/>→ システム設定 &gt; 「給紙トレイ設定」 &gt; 「トレイ設定」 &gt; <input checked="" type="checkbox"/> (各機能)</p> |
| <p>原稿サイズが自動的に選択されない、または原稿サイズと異なる用紙が選択される</p> | <p>原稿が反ったり、折れたりしていませんか？</p>                                                       | <p>原稿の反りや折れを直してください。<br/>原稿が反っていたり、折れていたりと正しく原稿サイズを認識できません。</p>                                                                                                                                  |
|                                              | <p>A5サイズより小さい原稿をセットしていませんか？</p>                                                   | <p>原稿サイズを手動で設定してください。<br/>A5サイズより小さい原稿は、サイズ検知されません。原稿台(ガラス面)で小さな原稿を読み取るときは、A4やB5などのプリントしたいサイズの白紙を原稿の上に重ねると便利です。</p>                                                                              |
| <p>手差しの用紙サイズ表示が違う</p>                        | <p>補助トレイが引き出されていますか？</p>                                                          | <p>手差しトレイの補助トレイを引き出してください。<br/>A3などの大きな用紙を手差しトレイにセットするとき、正しく用紙サイズを検知させるために必ず補助トレイを引き出してください。また、補助トレイは最後まで確実に引き出してください。しっかりと引き出されていないと、用紙サイズを正しく検知できない場合があります。</p>                                |

# 給紙／排紙に関して

| 問題                | チェックポイント                      | 解決法                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 原稿がつまる (原稿自動送り装置) | 原稿セット台にセットした原稿枚数が上限を超えていませんか？ | 指示線以内に収まるように原稿をセットし直してください。                                                                                                                                                                            |
|                   | 長尺の原稿を使用していませんか？              | 原稿自動送り装置を使用して長尺原稿を読み込む場合は、原稿の読み込みサイズを[長尺]に設定してください。(ただし、コピー機能では長尺原稿は使用できません。)                                                                                                                          |
|                   | 原稿に薄紙を使用していませんか？              | 原稿を原稿台(ガラス面)にセットして読み込んでください。<br>原稿自動送り装置をお使いになる場合は、特別機能の[薄紙読み込み]を使用して原稿を読み込んでください。                                                                                                                     |
|                   | 原稿給紙ローラーが汚れていませんか？            | 原稿給紙ローラーの表面を清掃してください。<br>☞ 1. お使いになる前に「 <a href="#">お手入れについて</a> 」(1-53ページ)                                                                                                                            |
| 用紙がつまる            | 内部に用紙の破片が残っていませんか？            | 残っている用紙を完全に除去してください。<br>☞ <a href="#">紙づまりの対応</a> (8-8ページ)                                                                                                                                             |
|                   | トレイにセットした用紙枚数が上限を超えていませんか？    | 指示線以内に収まるように用紙をセットし直してください。                                                                                                                                                                            |
|                   | 用紙が何枚か重なって給紙されていませんか？         | 用紙をよくさばいてからセットしてください。<br>                                                                                          |
|                   | 規定外の用紙を使用していませんか？             | シャープ推奨紙をお使いください。<br>対応していない用紙を使用すると、紙づまりや用紙のシワより、プリント汚れなどの原因となります。<br>☞ スタートガイド「 <a href="#">消耗品の種類と保管方法</a> 」<br>使用が禁止または推奨されていない用紙については、「1. お使いになる前に」の「 <a href="#">使用できる用紙</a> 」(1-28ページ)を参照してください。 |
|                   | 給紙トレイ内の用紙が吸湿していませんか？          | 保温ヒータースイッチをご利用ください。<br>寒冷地または高湿地域でお使いの場合は、トレイ内の用紙の吸湿を防ぐため、本機の保温ヒータースイッチを“入”にしておくことをお勧めします。<br>☞ <a href="#">保温ヒータースイッチについて</a> (1-16ページ)<br>また、用紙を長期間使用しないときは、トレイから用紙を取り出し、吸湿しないように袋に入れて冷暗所に保管してください。  |
|                   | 手差しトレイのガイドが用紙の幅と合っていますか？      | 手差しトレイのガイドをプリントする用紙の幅に合わせてください。                                                                                                                                                                        |
|                   | 手差しトレイの補助ガイドが引き出されていますか？      | 大きなサイズの用紙をセットするときは、補助トレイを引き出してください。                                                                                                                                                                    |
|                   | 手差し給紙ローラーが汚れていませんか？           | 手差し給紙ローラーの表面を清掃してください。<br>☞ 1. お使いになる前に「 <a href="#">お手入れについて</a> 」(1-53ページ)                                                                                                                           |

| 問題               | チェックポイント                                                                  | 解決法                                                                                                                                                                           |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 用紙がつまる           | A5サイズ用の紙をセットしていませんか？                                                      | A5サイズの用紙をセットするときは、横向き（A5R）にセットしてください。                                                                                                                                         |
|                  | 用紙サイズが設定されていますか？                                                          | 特殊なサイズの用紙をセットするときは必ず用紙サイズを設定してください。<br>また、トレイの用紙サイズを変更した場合は、必ず用紙サイズの設定も確認してください。<br>→システム設定 > 「給紙トレイ設定」 > 「トレイ設定」                                                             |
|                  | 手差しトレイに用紙をつぎたしましたか？                                                       | 用紙をつぎたすときは手差しトレイ上の用紙をいったん取り出し、つぎたす用紙と一緒にそろえてから再度セットしてください。<br>そのままつぎたすと、紙づまりの原因となります。                                                                                         |
| 給紙トレイから用紙が給紙されない | 給紙トレイに用紙が正しくセットされていますか？                                                   | セットする用紙のサイズにガイドを合わせてください。<br>また、トレイ内の指示線以内に収まるようにセットしてください。                                                                                                                   |
|                  | 各機能※ごとに、使用する給紙トレイが制限されていませんか？<br>※ コピー、プリンター、ファクス、インターネットFax、ドキュメントファイリング | 給紙トレイ設定で各機能のチェックボックス（給紙許可ジョブ）にチェックマークが付いているか確認してください。<br>チェックマークが付いていない機能は、そのトレイでプリントすることができません。<br>→システム設定 > 「給紙トレイ設定」 > 「トレイ設定」 > <input checked="" type="checkbox"/> （各機能） |
| 用紙に対して斜めにプリントされる | 手差しトレイにセットした用紙枚数が上限を超えていませんか？                                             | 上限枚数を超えないように用紙をセットしてください。<br>上限枚数は用紙タイプによって異なります。詳細はスタートガイドの「仕様」を参照してください。                                                                                                    |
|                  | 手差しトレイのガイドが用紙の幅と合っていますか？                                                  | 手差しトレイのガイドをプリントする用紙の幅に合わせてください。                                                                                                                                               |
|                  | 原稿ガイドが原稿の幅と合っていますか？                                                       | 原稿ガイドを原稿の幅に合わせてください。                                                                                                                                                          |
|                  | 異なる幅の原稿で混載読み込みをしていませんか？                                                   | 異なる幅の原稿で混載原稿読み込みを行っているときに斜めにプリントされる場合は、原稿給紙部カバーを開いてスイッチを切り替えてから、原稿をセットしてください。<br>スイッチはA側が通常読み込み時、B側が混載原稿読み込み時です。<br>混載原稿読み込みの操作終了後は、必ずスイッチをAの位置に戻してください。                      |
| 原稿自動送り装置が使えない    | 管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？                                               | 管理者に問い合わせてください。<br>システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。                                                                                                                    |



## 画質／プリント結果に関して

| 問題                        | チェックポイント                                       | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読み取った画像にすじ状の汚れが写る         | 原稿台（ガラス面）、原稿自動送り装置の原稿読み取り部が汚れていませんか？           | 原稿台（ガラス面）、原稿自動送り装置の原稿読み取り部を清掃してください。<br>☞ 1. お使いになる前に「 <a href="#">お手入れについて</a> 」（1-53ページ）                                                                                                                                                                                      |
|                           | 手差し給紙ローラーが汚れていませんか？                            | 手差し給紙ローラーの表面を清掃してください。<br>☞ 1. お使いになる前に「 <a href="#">お手入れについて</a> 」（1-53ページ）                                                                                                                                                                                                    |
| プリントした用紙が汚れる              | 規定外の用紙を使用していませんか？                              | シャープ推奨紙をお使いください。<br>対応していない用紙を使用すると、紙づまりや用紙のシワより、プリント汚れなどの原因となります。<br>☞ スタートガイド「消耗品の種類と保管方法」                                                                                                                                                                                    |
|                           | パンチ紙を使用してプリントしていませんか？                          | パンチ紙の穴のあいている位置に原稿の画像が重ならないようにしてください。<br>パンチ紙の穴のあいている位置に原稿の画像が重なると、片面プリントの場合は、出力紙の裏面に、両面プリントの場合は、出力紙の表面と裏面に、汚れが写る場合があります。                                                                                                                                                        |
|                           | メンテナンス（保守点検）の実施時期であることをお知らせするメッセージが表示されていませんか？ | すみやかに買いあげ販売店、またはスタートガイドに記載のシャープお客様相談窓口にご連絡してください。                                                                                                                                                                                                                               |
| トナーののりが悪かったり、出力紙がシワよりしている | 規定外の用紙を使用していませんか？                              | シャープ推奨紙をお使いください。<br>他機種用の用紙や対応していない特殊紙を使用すると、紙づまりや用紙のシワより、プリント汚れなどの原因となります。<br>☞ スタートガイド「消耗品の種類と保管方法」                                                                                                                                                                           |
|                           | 用紙の種類が正しく設定されていますか？                            | 使用する用紙に合わせてトレイ設定を行ってください。<br>特に以下のような場合には注意が必要です。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• 厚紙を使用しているときに、トレイ設定で厚紙以外の用紙種類を選択している。<br/>（こすると画像が消えることがあります。）</li> <li>• 厚紙以外の用紙を使用しているときに、トレイ設定で厚紙を選択している。<br/>（用紙のシワよりや紙づまりの原因となります。）</li> </ul> → システム設定 > 「給紙トレイ設定」 > 「トレイ設定」 |
|                           | セットした用紙の表裏をまちがえていませんか？                         | 用紙の表裏を確認してください。<br>ラベル紙やOHPフィルムなど、用紙の種類によっては表裏がある場合があります。誤ってトレイにセットしてしまうとトナーののりが悪くなり、きれいにプリントすることができません。                                                                                                                                                                        |
| プリント結果が薄い                 | 「トナーセーブモード」が設定されていませんか？                        | 管理者に問い合わせてください。<br>システム設定（管理者）の「トナーセーブモード」を設定していると、トナーを節約してプリントするので、プリント結果は薄くなります。                                                                                                                                                                                              |

| 問題                             | チェックポイント                            | 解決法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>画像が欠ける</p>                  | <p>用紙サイズが設定されていますか？</p>             | <p><b>特殊なサイズの内紙をセットするときは必ず用紙サイズを設定してください。</b><br/>                     また、トレイの内紙サイズを変更した場合は、必ず用紙サイズの設定も確認してください。<br/>                     →システム設定 &gt; 「給紙トレイ設定」 &gt; 「トレイ設定」</p>                                                                                                                                                                              |
|                                | <p>原稿のセット位置をまちがえていませんか？</p>         | <p><b>原稿を原稿台（ガラス面）にセットするときは、ガラス面の左奥を基準にセットしてください。</b><br/>                     ⓘ 1. お使いになる前に「<b>原稿台（ガラス面）に原稿をセットする</b>」（1-37ページ）</p>                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>用紙のプリントしたい面の裏側にプリントされる</p>  | <p>トレイにセットした用紙の向き（表・裏）は合っていますか？</p> | <p><b>用紙の向きを確認してください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• トレイ1からトレイ4：<br/>                         プリントする面を上向き※にセットしてください。</li> <li>• 手差しトレイ：<br/>                         プリントする面を下向き※にセットしてください。</li> </ul> <p>※ 用紙タイプが「印刷済み用紙」または「レターヘッド紙」の場合は、プリントする面を逆にセットしてください。（ただし、システム設定（管理者）で「両面機能の使用禁止」が設定されている場合を除きます。設定の状態については、管理者に問い合わせてください。）</p> |
| <p>表紙や合い紙が、指定した用紙でプリントされない</p> | <p>用紙の種類が正しく設定されていますか？</p>          | <p><b>表紙や合い紙に指定した用紙が入っているトレイで、用紙タイプを正しく設定してください。</b><br/>                     表紙や合い紙で指定した用紙タイプと、給紙トレイで設定されている用紙タイプが一致しない場合は、異なるトレイから給紙されてしまいます。<br/>                     →システム設定 &gt; 「給紙トレイ設定」 &gt; 「トレイ設定」</p>                                                                                                                                               |

# 周辺装置に関して

| 問題                 | チェックポイント                                                                                         | 解決法                                                                                                 |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 接続したUSB機器が使用できない   | お使いのUSB機器は本機に対応していますか？                                                                           | 本機に対応している機器かどうか、お買いあげの販売店に確認してください。<br>対応していない機器は使用できません。                                           |
|                    | 接続されたUSB機器は正しく認識されていますか？                                                                         | システム設定の「USBデバイス確認」で、認識されているかどうかを確認してください。<br>→システム設定 > 「USBデバイス確認」<br>認識されていない場合は、もう一度接続し直してみてください。 |
| 接続したUSBメモリーが使用できない | USBメモリーのフォーマットがFAT32形式になっていますか？                                                                  | USBメモリーのフォーマットを確認してください。<br>USBメモリーのフォーマットがFAT32形式以外になっている場合は、お使いのコンピュータでFAT32形式のフォーマットに変更してください。   |
|                    | USBメモリーの容量が32GBより大きいものを使用していないですか？                                                               | USBメモリーは32GB以下のものを使用してください。                                                                         |
| フィニッシャーが動作しない      | ステープルコンパイラーから用紙を取り出す必要があることをお知らせするメッセージが表示されていませんか？                                              | ステープルコンパイラーに残っている用紙をすべて取り出してください。                                                                   |
|                    | タッチパネルに以下のメッセージが表示されていませんか？<br>「フィニッシャー故障中です。電源を入れ直してください。xx-xx※」<br>※ xx-xx はアルファベットと数字が表示されます。 | フィニッシャーの接続ケーブルの差し込み部品を確認してください。<br>接続ケーブルを抜き差しして確実に差し込んだあと、本機の電源を入れ直してください。                         |
|                    | 管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？                                                                      | 管理者に問い合わせてください。<br>システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。                                          |
| ステープルできない          | ステープルユニットをチェックする必要があることをお知らせするメッセージが表示されていませんか？                                                  | すみやかに針づまりの処置をしてください。<br>☞「針づまりの対応」(8-11ページ)                                                         |
|                    | 針を補給する必要があることをお知らせするメッセージが表示されていませんか？                                                            | 針カートリッジを交換してください。<br>または針ケースの取り付けを忘れていないか確認してください。<br>☞「針づまりの対応」(8-11ページ)                           |
|                    | 異なる幅の用紙が混在していませんか？                                                                               | 混載ステープルを行うときは、[同じ幅]に設定してください。<br>異なる幅の用紙が混在しているときは、ステープルできません。コピーの場合、特別機能の「混載原稿」から「同じ幅」に設定してください。   |
|                    | ステープルで綴じることのできる枚数を超えてプリントしていませんか？                                                                | ステープルで綴じることのできる枚数については、スタートガイドの「仕様」を参照してください。                                                       |
|                    | プリントデータにステープルプリントできない用紙サイズが含まれていませんか？                                                            | ステープルで綴じることのできる用紙サイズについては、スタートガイドの「仕様」を参照してください。                                                    |

| 問題                           | チェックポイント                                             | 解決法                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステープルできない                    | プリンタードライバーで指定した用紙トレイが、ステープルプリントできない用紙タイプに設定されていませんか？ | 本機側で設定されている用紙タイプを確認し、ステープルプリントできる用紙※が設定されているトレイを選択する必要があります。プリンタードライバー設定画面[用紙]タブの[給紙方法]にある[詳細]ボタンをクリックし、本機用の紙トレイに設定している用紙タイプを確認してください。<br>※ラベル紙、タブ紙、OHP フィルム、光沢紙、郵便はがき、封筒にはステープルプリントできません。また、属性を[ステープル不可]にしているユーザータイプにはステープルプリントできません。 |
|                              | 管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？                          | <b>管理者に問い合わせてください。</b><br>システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。                                                                                                                                                                      |
| パンチできない                      | パンチユニットをチェックする必要があることをお知らせするメッセージが表示されていませんか？        | <b>パンチくずの処置をしてください。</b><br>☞ 1. お使いになる前に「 <a href="#">パンチユニット</a> 」（1-44ページ）                                                                                                                                                           |
|                              | 異なるサイズの用紙が混在していませんか？                                 | 異なる幅の用紙が混在しているときは、パンチはできません。サイズが混在した用紙をパンチするときは、[同じ幅]に設定してください。コピーの場合、特別機能の「混載原稿」から「同じ幅」に設定してください。                                                                                                                                     |
|                              | プリントデータにパンチプリントできない用紙サイズが含まれていませんか？                  | <b>パンチプリントできる用紙サイズについては、スタートガイドの「仕様」を参照してください。</b>                                                                                                                                                                                     |
|                              | プリンタードライバーで指定した用紙トレイが、パンチプリントできない用紙タイプに設定されていませんか？   | 本機側で設定されている用紙タイプを確認し、パンチプリントできる用紙※が設定されているトレイを選択する必要があります。プリンタードライバー設定画面[用紙]タブの[給紙方法]にある[詳細]ボタンをクリックし、本機用の紙トレイに設定している用紙タイプを確認してください。<br>※ラベル紙、タブ紙、OHP フィルム、光沢紙、郵便はがき、封筒にはパンチプリントできません。また、属性を[パンチ不可]にしているユーザータイプにはパンチプリントできません。         |
|                              | 管理者によって、機能の使用制限が設定されていませんか？                          | <b>管理者に問い合わせてください。</b><br>システム設定（管理者）で、機能を使用できないように設定している場合があります。                                                                                                                                                                      |
| ステープル位置またはパンチ位置がおかしい         | ステープル位置にあわせてステープル機能を設定していますか？                        | <b>ステープル可能位置を確認して対処してください。</b><br>☞ 2. コピー「 <a href="#">仕上げについて</a> 」（2-32ページ）                                                                                                                                                         |
|                              | パンチ位置にあわせてパンチ機能を設定していますか？                            | <b>パンチ穴可能位置を確認して対処してください。</b><br>☞ 2. コピー「 <a href="#">仕上げについて</a> 」（2-32ページ）                                                                                                                                                          |
| フィニッシャーの排紙トレイに出力された用紙が不揃いになる | 出力された用紙がカールしていませんか？                                  | 給紙トレイの用紙を表裏逆にしてセットすると改善される場合があります。                                                                                                                                                                                                     |
| ステープルされた用紙が不揃いになる            | 出力された用紙がカールしていませんか？                                  | 給紙トレイの用紙を表裏逆にしてセットすると改善される場合があります。                                                                                                                                                                                                     |

## そのほかに…

| 問題                      | チェックポイント                | 解決法                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| プレビュー画像や縮小画像が表示されない     | 処理待ちのジョブがたまっていますか？      | 処理待ちのジョブがいくつか終了するまでお待ちください。                                                                                                                                                                                           |
| タッチパネルの画面が見えにくい         | 画面の見やすさを調整していますか？       | タッチパネルのシステムバーにある明るさ調整キー (☀️) をタッチして、画面の見やすさを調整してください。<br>☞ 1. お使いになる前に「システムバーについて」(1-12ページ)                                                                                                                           |
| 何もしていないのに、勝手にログアウトしてしまう | オートクリアモードがはたらいていませんか？   | 再度ログインしてください。<br>ユーザー認証時、オートクリアモードがはたらくと、ログイン中のユーザーは自動的にログアウトされます。(リモートPCスキャンモード時を除く)<br>あなたが管理者の場合で、オートクリアモードの設定を変えたい場合は、「オートクリアモードの設定」で設定時間を変更するか、使用を禁止してください。<br>→ システム設定 (管理者) > 「操作設定」 > 「各種設定」 > 「オートクリアモードの設定」 |
| 管理者パスワードを忘れてしまった        | 工場出荷時の管理者パスワードを変更しましたか？ | お買いあげ販売店、またはスタートガイドに記載のシャープお客様相談窓口に連絡してください。<br>工場出荷時の管理者パスワードは、スタートガイド「本機の管理者の方へ」を参照してください。パスワードを変更される場合は、必ず覚えておいてください。                                                                                              |
| 保守サービスの連絡先が分からない        | スタートガイドは参照していただきましたか？   | スタートガイドの「アフターサービスについて」を参照してください。                                                                                                                                                                                      |



**SHARP**<sup>®</sup>

シャープホームページ <http://www.sharp.co.jp/>